HITACHI
Inspire the Next

Cosminexus V9 アプリケーションサーバ メッセージ(構築／運用／開発用)

操作書

3020-3-Y27-60

■ 対象製品

マニュアル「アプリケーションサーバ & BPM/ESB 基盤 概説」の前書きの対象製品の説明を参照してください。

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

Borland のブランド名および製品名はすべて，米国 Borland Software Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

CORBA は，Object Management Group が提唱する分散処理環境アーキテクチャの名称です。

HP-UX は，Hewlett-Packard Development Company, L.P.のオペレーティングシステムの名称です。

IBM，AIX は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

IIOP は，OMG 仕様による ORB(Object Request Broker)間通信のネットワークプロトコルの名称です。

Linux は，Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

OMG, CORBA, IIOP, UML, Unified Modeling Language, MDA, Model Driven Architecture は, Object Management Group, Inc.の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

RSA は，米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SOAP（Simple Object Access Protocol）は，分散ネットワーク環境において XML ベースの情報を交換するための通信プロトコルの名称です。

すべての SPARC 商標は，米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標がついた製品は，米国 Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。

UNIX は，The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

VisiBroker は，英国，米国，その他の国における Micro Focus (IP) Limited の商標または登録商標です。

VMware，vCenter Server は，米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

Eclipse は，開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc.により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/).

■ 発行

2015 年 4 月 3020-3-Y27-60

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, 2015, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容(3020-3-Y27-60)　uCosminexus Application Server 09-70，uCosminexus Application Server(64) 09-70，uCosminexus Client 09-70，uCosminexus Developer 09-70，uCosminexus Service Architect 09-70，uCosminexus Service Platform 09-70，uCosminexus Service Platform(64) 09-70

追加・変更内容	変更個所
メッセージの説明・対処を変更した。 KDJE30233-E	7.2
メッセージを追加した。 KDJE30265-E	7.2
メッセージテキストの説明を追加した。 KDJE34500-W，KDJE34661-W	7.2
メッセージテキストの説明を追加した。 KDJE55025-I	7.5
メッセージの apt を cjapt に変更した。 KDJW61002-E，KDJW61004-E，KDJW69999-E	10.8
メッセージを追加した。 KDJW61901-E	10.8
メッセージの対処を変更した。 KDJW71026-E	10.9
メッセージを追加した。 KECX01232-E，KECX01233-E	11.2

uCosminexus Application Server 09-60，uCosminexus Application Server(64) 09-60，uCosminexus Client 09-60，uCosminexus Developer 09-60，uCosminexus Service Architect 09-60，uCosminexus Service Platform 09-60，uCosminexus Service Platform(64) 09-60

追加・変更内容	変更個所
記載内容は変更なし（リンク情報だけを変更した）。	－

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルをお読みになる際の前提情報については，マニュアル「アプリケーションサーバ & BPM/ESB 基盤 概説」のはじめにの説明を参照してください。

目次

第 1 編　概要

1 メッセージの概要 1

1.1 メッセージの種類 2

第 2 編　システムの構築・運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージ

2 システムの構築・運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージの概要 5

2.1 メッセージの出力先と出力形式 6

3 KDAL（監査ログライブラリ機能で出力されるメッセージ） 11

3.1 メッセージの記述形式 12

3.2 KDAL で始まるメッセージ 14

4 KDAN（CJMS プロバイダで出力されるメッセージ） 23

4.1 メッセージの記述形式 24

4.2 KDAN で始まるメッセージ 26

5 KDCC（SOAP アプリケーション開発支援機能で出力されるメッセージ） 373

5.1 メッセージの記述形式 374

5.1.1 C4Fault クラスによって出力されるメッセージ（KDCCP）の形式 374

5.1.2 C4Exception クラスによって出力されるメッセージ（KDCCE05）の形式 375

5.1.3 SOAP エンジンによって出力されるメッセージ（KDCCE06，KDCCE9，KDCCS30）の形式 376

5.1.4 UDDI クライアントライブラリによって出力されるメッセージ（KDCCR）の形式 377

5.1.5 開発支援コマンドによって出力されるメッセージ（KDCCC）の形式 377

5.1.6 送受信データのサイズチェックによって出力されるメッセージ（KDCCS1151 から KDCCS1199 まで）の形式 378

5.1.7 SAAJ によって出力されるメッセージ（KDCCS1001 から KDCCS1150）の形式 379

5.1.8 PRF トレースの取得によって出力されるメッセージ（KDCCT0）の形式 379

5.1.9 トレース機能によって出力されるメッセージ（KDCCT1）の形式 380

5.1.10 DII 使用時に出力されるメッセージ（KDCCP30）の形式 380

5.1.11 注意事項 381

5.2 KDCCC0001 から KDCCC9999 までのメッセージ 382

5.3 KDCCE0501 から KDCCE0599 までのメッセージ 406

5.4 KDCCE0601 から KDCCE0699 までと KDCCE9000 のメッセージ 408
5.5 KDCCP0001 から KDCCP2999 までと KDCCP9000 のメッセージ 414
5.6 KDCCP3000 から KDCCP3999 までのメッセージ 423
5.7 KDCCR1001 から KDCCR9999 までのメッセージ 428
5.8 KDCCS1001 から KDCCS1150 までのメッセージ 445
5.9 KDCCS1151 から KDCCS1199 までのメッセージ 447
5.10 KDCCS3000 から KDCCS3999 までのメッセージ 448
5.11 KDCCT0001 から KDCCT0999 までのメッセージ 450
5.12 KDCCT1001 から KDCCT1999 までのメッセージ 452

6 KDCG（Web サービスセキュリティ機能で出力されるメッセージ） 453
6.1 メッセージの記述形式 454
6.2 KDCGA で始まるメッセージ 456
6.3 KDCGC で始まるメッセージ 457
6.4 KDCGD で始まるメッセージ 459
6.5 KDCGF で始まるメッセージ 460
6.6 KDCGJ で始まるメッセージ 465
6.7 KDCGK で始まるメッセージ 467
6.8 KDCGO で始まるメッセージ 468
6.9 KDCGP で始まるメッセージ 470
6.10 KDCGS で始まるメッセージ 473
6.11 KDCGW で始まるメッセージ 478

7 KDJE（Component Container が出力するメッセージ） 481
7.1 メッセージの記述形式 482
7.2 KDJE30000 から KDJE39999 までのメッセージ 484
7.3 KDJE40000 から KDJE49999 までのメッセージ 838
7.4 KDJE50000 から KDJE54099 までのメッセージ 1062
7.5 KDJE55000 から KDJE59999 までのメッセージ 1124
7.6 KDJE90000 から KDJE99999 までのメッセージ 1192
7.7 KDJE42039-E および KDJE42270-W の詳細情報一覧 1195
7.7.1 M00001 から M09999 までの詳細情報 1195
7.7.2 S00001 から S09999 までの詳細情報 1203
7.7.3 S70001 から S79999 までの詳細情報 1233
7.7.4 S80001 から S89999 までの詳細情報 1255
7.7.5 Z00001 から Z09999 までの詳細情報 1258
7.8 通信処理を示す文字列と通信処理の対応 1261

8 KDJJ（Component Container が出力するメッセージ） 1263
8.1 メッセージの記述形式 1264
8.2 KDJJ10000 から KDJJ19999 までのメッセージ 1266
8.3 KDJJ20000 から KDJJ29999 までのメッセージ 1273
8.4 KDJJ30000 から KDJJ39999 までのメッセージ 1275
8.5 サブメッセージ 1278
8.6 サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報） 1285

9 KDJR（Component Container が出力するメッセージ） 1287
9.1 メッセージの記述形式 1288
9.2 KDJR00000 から KDJR09999 までのメッセージ 1290
9.3 KDJR10000 から KDJR19999 までのメッセージ 1291
9.4 KDJR20000 から KDJR29999 までのメッセージ 1294

10 KDJW（Component Container が出力するメッセージ） 1297
10.1 メッセージの記述形式 1298
10.2 KDJW00000 から KDJW09999 までのメッセージ 1300
10.3 KDJW10000 から KDJW19999 までのメッセージ 1303
10.4 KDJW20000 から KDJW29999 までのメッセージ 1309
10.5 KDJW30000 から KDJW39999 までのメッセージ 1317
10.6 KDJW40000 から KDJW49999 までのメッセージ 1321
10.7 KDJW50000 から KDJW59999 までのメッセージ 1328
10.8 KDJW60000 から KDJW69999 までのメッセージ 1353
10.9 KDJW70000 から KDJW79999 までのメッセージ 1378

11 KECX（XML Processor が出力するメッセージ） 1387
11.1 メッセージの記述形式 1388
11.2 KECX01001 から KECX01999 までのメッセージ 1389
11.3 KECX02001 から KECX02999 までのメッセージ 1425
11.4 KECX03001 から KECX03999 までのメッセージ 1453
11.5 KECX04001 から KECX04999 までのメッセージ 1469
11.6 KECX06001 から KECX06999 までのメッセージ 1485
11.7 KECX07001 から KECX07999 までのメッセージ 1520
11.8 KECX09001 から KECX09999 までのメッセージ 1536
11.9 JAXB に関連するメッセージ 1539

12 KEDT（Developer が出力するメッセージ） 1627
12.1 メッセージの記述形式 1628
12.2 KEDT で始まるメッセージ 1629
13 KEOS（Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージ） 1635
13.1 メッセージの記述形式 1636
13.2 KEOS02000 から KEOS09999 までのメッセージ 1638
13.3 KEOS10000 から KEOS19999 までのメッセージ 1644
13.4 KEOS20000 から KEOS29999 までのメッセージ 1747
14 KEQR（仮想サーバマネージャの構築ツールで出力されるメッセージ） 2027
14.1 メッセージの記述形式 2028
14.2 KEQR20000 から KEQR29999 までのメッセージ 2030
15 KEUC（実行環境の切り替えで出力されるメッセージ） 2047
15.1 メッセージの記述形式 2048
15.2 KEUC で始まるメッセージ 2050
16 KEXS（XML Security - Core が出力するメッセージ） 2057
16.1 メッセージの記述形式 2058
16.2 KEXS で始まるメッセージ 2059
17 KFCB（TPBroker が出力するメッセージ） 2071
17.1 メッセージの記述形式 2072
17.2 KFCB29000 から KFCB29999 までのメッセージ 2074
17.3 KFCB30000 から KFCB39999 までのメッセージ 2130
17.4 KFCB40000 から KFCB49999 までのメッセージ 2188
17.5 KFCB50000 から KFCB59999 までのメッセージ 2214
17.6 KFCB32206（Java OTS が出力するメッセージ）の詳細 2215
17.6.1 Java OTS が出力するメッセージの形式 2215
17.6.2 SystemException および UserException に組み込まれるメッセージ 2216
17.7 標準エラー出力に出力されるメッセージ 2228
18 KFCB（TPBroker の運用で出力されるメッセージ） 2229
18.1 メッセージの記述形式 2230
18.2 KFCB91000 から KFCB91999 までのメッセージ 2232
18.3 KFCB92000 から KFCB92999 までのメッセージ 2235
18.4 トレース情報取得ができない場合に出力されるメッセージ 2238

18.5 hvmgtee コマンドのエラーメッセージ 2239
18.6 hdumpns コマンドのエラーメッセージ 2241

19 KFCT（CTM および PRF が出力するメッセージ） 2243
19.1 メッセージの記述形式 2244
19.2 KFCT20000 から KFCT29999 までのメッセージ 2246
19.3 KFCT70000 から KFCT79999 までのメッセージ 2247
19.4 KFCT のメッセージの詳細情報 2360
19.4.1 エラーコード一覧 2360
19.4.2 場所コード一覧 2361
19.4.3 完了状態一覧 2361
19.4.4 内容コード一覧 2362
19.5 アボートコード一覧 2385

20 KFDB（DABroker Library が出力するメッセージ） 2389
20.1 メッセージの記述形式 2390
20.2 KFDB で始まるメッセージ 2392
20.3 KFDB で始まるメッセージのエラーコード 2423
20.4 DABroker Library のメッセージの注意事項 2425

21 KFDJ（DABroker Library が出力するメッセージ） 2427
21.1 メッセージの記述形式 2428
21.2 KFDJ で始まるメッセージ 2430

22 KFRM（Reliable Messaging が出力するメッセージ） 2459
22.1 メッセージの記述形式 2460
22.2 KFRM で始まるメッセージ 2462

23 Web サーバ(HTTP Server)が出力するメッセージ 2525
23.1 メッセージの記述形式 2526
23.2 注意事項 2528
23.3 基本機能についてのメッセージ 2529
23.4 SSL についてのメッセージ 2590
23.5 リバースプロキシについてのメッセージ 2591
23.6 流量制限機能についてのメッセージ 2597
23.7 静的コンテンツキャッシュ機能についてのメッセージ 2599
23.8 LDAP 連携機能についてのメッセージ 2601
23.9 コマンド・プログラムについてのメッセージ 2607

24 番号やメッセージ本文だけが出力されるメッセージ 2625
24.1 Web サーバ（HTTP Server）が出力するメッセージ 2626
24.2 XML Processor の JAXB 機能が出力するメッセージ 2627
24.3 作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ 2628
24.4 開発調査ログに出力されるメッセージ 2650

1 メッセージの概要

この章では, アプリケーションサーバで出力されるメッセージの概要と記載個所について説明します。

アプリケーションサーバでは，システムの構築・運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージと，監査ログメッセージの 2 種類のメッセージが出力されます。

1.1　メッセージの種類

ここでは，アプリケーションサーバのメッセージの種類について説明します。

(1)　システムの構築・運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージ

アプリケーションサーバのシステム構築時，運用時，またはアプリケーション開発時にメッセージが出力されます。

メッセージのプリフィックスはメッセージを出力した構成ソフトウェアまたは機能と対応しています。アプリケーションサーバで出力されるメッセージのプリフィックスおよびメッセージの分類と参照先を次の表に示します。出力されたメッセージのプリフィックスを基に，参照先を確認してください。なお，HTTP Server が出力するメッセージ，XML Processor の JAXB 機能が出力するメッセージ，および TPBroker の運用で出力されるメッセージの一部にはプリフィックスがありません。

表 1-1　アプリケーションサーバで出力されるメッセージの参照先

プリフィックス	メッセージの分類	参照先マニュアル	参照個所
KDAL	監査ログライブラリ機能で出力されるメッセージ	このマニュアル	3 章
KDAN	CJMS プロバイダで出力されるメッセージ	このマニュアル	4 章
KDCC	SOAP アプリケーション開発支援機能で出力されるメッセージ	このマニュアル	5 章
KDCG	Web サービスセキュリティ機能で出力されるメッセージ	このマニュアル	6 章
KDEC	サービスプラットフォーム基盤で出力されるメッセージ	サービスプラットフォームメッセージ	－
KDJE	Component Container が出力するメッセージ	このマニュアル	7 章
KDJJ		このマニュアル	8 章
KDJR		このマニュアル	9 章
KDJW		このマニュアル	10 章
KECT	サービスプラットフォームの開発環境で出力されるメッセージ	サービスプラットフォームメッセージ	－
KECX	XML Processor が出力するメッセージ	このマニュアル	11 章
KEDT	Developer が出力するメッセージ	このマニュアル	12 章
KEOS02000～KEOS29999	Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージ	このマニュアル	13 章
KEOS50000～KEOS59999	サービスプラットフォームの HCSC-Manager で出力されるメッセージ	サービスプラットフォームメッセージ	－

プリフィックス	メッセージの分類	参照先マニュアル	参照個所
KEQR	仮想サーバマネージャの構築ツールで出力されるメッセージ	このマニュアル	14 章
KEUC	実行環境の切り替えで出力されるメッセージ	このマニュアル	15 章
KEXS	XML Security - Core が出力するメッセージ	このマニュアル	16 章
KFCB29000～KFCB59999	TPBroker が出力するメッセージ	このマニュアル	17 章
KFCB91000～KFCB92999	TPBroker の運用で出力されるメッセージ	このマニュアル	18 章
KFCT	CTM および PRF が出力するメッセージ	このマニュアル	19 章
KFDB	DABroker Library が出力するメッセージ	このマニュアル	20 章
KFDJ		このマニュアル	21 章
KFRM	Reliable Messaging が出力するメッセージ	このマニュアル	22 章
プリフィックスなし	Web サーバ（HTTP Server）が出力するメッセージ	このマニュアル	23 章
プリフィックスなし	XML Processor の JAXB 機能が出力するメッセージ	このマニュアル	24.2
プリフィックスなし	作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ	このマニュアル	24.3
プリフィックスなし	開発調査ログに出力されるメッセージ	このマニュアル	24.4

（凡例）　－：マニュアル全体を参照する。

(2)　監査ログメッセージ

コマンド実行時には，システムの監査で使用される監査ログメッセージが出力されます。

メッセージのプリフィックスはメッセージを出力した構成ソフトウェアまたは機能と対応しています。アプリケーションサーバで出力される監査ログメッセージのプリフィックスおよび監査ログメッセージの分類と参照先を次の表に示します。

表 1-2　システムの監査で使用される監査ログメッセージの分類と参照先

プリフィックス	メッセージの分類	参照先マニュアル	参照個所
KAWS10000～KAWS19999	HTTP Server が出力する監査ログメッセージ	アプリケーションサーバ メッセージ(監査者用)	3 章
KDJE54100～KDJE54999	Component Container が出力する監査ログメッセージ	アプリケーションサーバ メッセージ(監査者用)	4 章

プリフィックス	メッセージの分類	参照先マニュアル	参照個所
KEOS80000～KEOS89999	Manager が出力する監査ログメッセージ	アプリケーションサーバ メッセージ(監査者用)	5 章
KFCT80000～KFCT99999	CTM および PRF が出力する監査ログメッセージ	アプリケーションサーバ メッセージ(監査者用)	6 章

2 システムの構築・運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージの概要

この章では，システムの構築・運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージの概要として，メッセージの出力先と出力形式について説明します。

2.1　メッセージの出力先と出力形式

ここでは，メッセージの出力先と出力形式について説明します。

(1)　メッセージの出力先

アプリケーションサーバでのシステムの構築･運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージの出力先を次の表に示します。

表 2-1　アプリケーションサーバでのシステムの構築・運用時またはアプリケーション開発時に出力されるメッセージの出力先

プリフィックス	メッセージの分類	出力先	備考
KDAL	監査ログライブラリ機能で出力されるメッセージ	• 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル	ログファイルの出力先については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「4. トラブルシューティングで必要な資料の出力先と出力方法」を参照してください。
KDAN	CJMS プロバイダで出力されるメッセージ	• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル • 各構成ソフトウェアが提供する GUI（Web ブラウザおよびダイアログ）	
KDCC	SOAP アプリケーション開発支援機能で出力されるメッセージ	• トレースファイル • 標準出力，標準エラー出力 • ユーザ作成のプログラムに返される例外クラスの要素（詳細メッセージなど）	SOAP アプリケーション開発支援機能および SOAP 通信基盤の例外クラスやトレースファイルについては，マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」を参照してください。
KDCG	Web サービスセキュリティ機能で出力されるメッセージ	• SOAP 通信基盤のトレースファイル • Web サービスセキュリティ機能のトレースファイル • 標準出力，標準エラー出力 • ユーザ作成のプログラムに返される，SOAP 通信基盤の例外クラスの要素（詳細メッセージ等） • JAX-WS エンジンの稼働ログ	SOAP 通信基盤の例外クラスについては，マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」の「13.　SOAP 通信基盤が提供する API」を参照してください。SOAP 通信基盤のトレースファイルについては，マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」の「14.4　トレースファイル」を参照してください。 Web サービスセキュリティ機能のトレースファイル，JAX-WS エンジンの稼働ログ，および JAX-WS エンジンの保守ログについては，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガ

プリフィックス	メッセージの分類	出力先	備考
KDCG	Web サービスセキュリティ機能で出力されるメッセージ	• JAX-WS エンジンの保守ログ	イド」の「6.　障害対策」を参照してください。
KDJE	Component Container が出力するメッセージ	• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル • 各構成ソフトウェアが提供する GUI（Web ブラウザおよびダイアログ）	ログファイルの出力先については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「4. トラブルシューティングで必要な資料の出力先と出力方法」を参照してください。
KDJJ		• ログファイル • 標準出力，標準エラー出力 • ユーザ作成のプログラムに返される例外クラスの要素（詳細メッセージなど）	例外クラスやログファイルについては，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービス開発ガイド」の「13.　JAX-RS 機能の設定と動作」を参照してください。
KDJR		• ログファイル • 標準出力，標準エラー出力 • ユーザ作成のプログラムに返される例外クラスの要素（詳細メッセージなど）	－
KDJW		• ログファイル • 標準出力，標準エラー出力 • ユーザ作成のプログラムに返される例外クラスの要素（詳細メッセージなど）	例外クラスやログファイルについては，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービス開発ガイド」の「10.　JAX-WS 機能の設定と動作」を参照してください。
KECX	XML Processor が出力するメッセージ	出力先は上位コンポーネントまたはユーザーアプリケーションに依存します。	－
KEDT	Developer が出力するメッセージ	• コンソール • ログファイル	ログファイルの出力先については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「4. トラブルシューティングで必要な資料の出力先と出力方法」を参照してください。
KEOS02000～KEOS29999	Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージ	• イベントログまたは syslog	

プリフィックス	メッセージの分類	出力先	備考
KEOS02000～KEOS29999	Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージ	• 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル • 各構成ソフトウェアが提供する GUI（Web ブラウザおよびダイアログ）	ログファイルの出力先については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「4. トラブルシューティングで必要な資料の出力先と出力方法」を参照してください。
KEQR	仮想サーバマネージャの構築ツールで出力されるメッセージ	• コンソール • ログファイル	
KEUC	実行環境の切り替えで出力されるメッセージ	• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル • 各構成ソフトウェアが提供する GUI（Web ブラウザおよびダイアログ）	ログファイルの出力先については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 互換編」の「7.2.6　構築済み実行環境の切り替えで出力するログの取得」を参照してください。
KEXS	XML Security - Core が出力するメッセージ	• 標準出力 • ログファイル	－
KFCB29000～KFCB59999	TPBroker が出力するメッセージ	• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル	ログファイルの出力先については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「4. トラブルシューティングで必要な資料の出力先と出力方法」を参照してください。
KFCB91000～KFCB92999	TPBroker の運用で出力されるメッセージ	• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル	
KFCT	CTM および PRF が出力するメッセージ	• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル • 各構成ソフトウェアが提供する GUI（Web ブラウザおよびダイアログ）	
KFDB	DABroker Library が出力するメッセージ	• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力	ログファイルの出力先については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 互換編」の「4.6.2 DABroker Library で取得できる

プリフィックス	メッセージの分類	出力先	備考
KFDB	DABroker Library が出力するメッセージ	• ログファイル • 各構成ソフトウェアが提供する GUI（Web ブラウザおよびダイアログ）	ログの種類と出力先」を参照してください。
KFDJ		• イベントログまたは syslog • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル • 各構成ソフトウェアが提供する GUI（Web ブラウザおよびダイアログ）	
KFRM	Reliable Messaging が出力するメッセージ	• Component Container のコンソール • 標準出力，標準エラー出力 • ログファイル	－
－	Web サーバ（HTTP Server）が出力するメッセージ	• 標準出力 • 標準エラー出力 • エラーログファイル	－
－	XML Processor の JAXB 機能が出力するメッセージ	メッセージの出力先は上位コンポーネントまたはユーザーアプリケーションに依存します。	－
－	作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ	このメッセージの前に出力されたメッセージの出力先によって異なります。	－
－	開発調査ログに出力されるメッセージ	開発調査ログ	開発調査ログについては，「24.4 開発調査ログに出力されるメッセージ」を参照してください。なお，開発調査ログを出力するためには設定が必要です。

（凡例）　－：該当なし。

(2)　メッセージの出力形式

アプリケーションサーバのメッセージの出力形式および出力項目については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「5.2.1　トレース共通ライブラリ形式のログの出力形式と出力項目」を参照してください。

3 KDAL（監査ログライブラリ機能で出力されるメッセージ）

この章では, 監査ログライブラリ機能で出力されるメッセージについて説明します。

3.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KDALnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KDALnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KDAL

監査ログライブラリ機能で出力されるメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

監査ログライブラリ機能で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

監査ログライブラリ機能で出力されるメッセージテキストを示します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した構成ソフトウェアの動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

3.2　KDAL で始まるメッセージ

監査ログライブラリ機能で出力される KDAL00001 から KDAL99999 までのメッセージについて説明します。

KDAL00001-I

Setup of the audit log will now be executed. (aa....aa)

aa....aa：auditsetup コマンドのコマンド名

説明

監査ログのセットアップを実行します。

KDAL00002-I

Setup of the audit log was executed successfully.

説明

監査ログのセットアップに成功しました。

KDAL00003-W

An invalid property was specified. (aa....aa = bb....bb) The default value cc....cc will be used.

aa....aa：プロパティ名称

bb....bb：指定値

cc....cc：デフォルト値

説明

不正なプロパティが指定されています。デフォルト値を使用します。

対処

プロパティの値を確認してください。

KDAL00004-E

An attempt to open the configuration file has failed. (path = aa....aa)

aa....aa：定義ファイルの絶対パス

説明

定義ファイルのオープンに失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。

- **定義ファイルが不正**
  指定した定義ファイルのパスを確認してください。
- **定義ファイルのアクセス権が不正**
  定義ファイルに読み込み権限が存在することを確認してください。

KDAL00005-E

The specified property is invalid. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名称

bb....bb：指定値

説明

不正なプロパティが指定されています。

対処

プロパティの値を確認してください。

KDAL00006-E

The specified parameter is invalid. (parameters = aa....aa)

USAGE: auditsetup

aa....aa：指定した引数

説明

引数が不正です。

対処

指定した引数を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDAL00007-E

An attempt to create the audit log file has failed. (directory = aa....aa)

aa....aa：監査ログの出力ディレクトリの絶対パス

説明

監査ログファイルの生成に失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。

- **監査ログの出力ディレクトリの値が不正**
  出力ディレクトリの指定値を確認してください。

KDAL00008-I

The audit log file was rotated successfully. (file = aa....aa)

aa....aa：ローテーション後の出力ファイル名

説明

監査ログがローテーションしました。

KDAL00009-E

An attempt to output the audit log has failed. message = (aa....aa)

aa....aa：出力しようとしたメッセージ

説明

監査ログの出力に失敗しました。

対処

監査ログを出力したプロセスの実行ユーザに監査ログの読み込みおよび書き込み権限が与えられていないおそれがあります。監査ログのアクセス権限を確認してください。

KDAL00010-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

例外のスタックトレースです。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00011-E

An attempt to output the log has failed. (file = aa....aa)

aa....aa：出力しようとしたファイル名

説明

ログの出力に失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。

- **ディスクの空き容量の不足**
  不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先へ変更してください。
- **ディスク装置の障害**
  ディスク装置が壊れている場合，システムの管理者へ連絡して，装置を交換してください。この要因に当てはまらない場合は，保守員に連絡してください。
- **アクセス権限がない**
  出力ディレクトリへのアクセス権限を確認してください。

KDAL00012-E

An attempt to initialize the log has failed. (file = aa....aa, filesize = bb....bb, filenum= cc....cc)

aa....aa：出力しようとしたファイル名

bb....bb：ファイルサイズ

cc....cc：ファイル面数

説明

ログの初期化に失敗しました。

対処

ログの出力ディレクトリの値を確認してください。

KDAL00013-E

An attempt to open the audit log has failed. (directory = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：オープンしようとしたディレクトリ

bb....bb：詳細情報

説明

監査ログのオープンに失敗しました。

対処

監査ログの出力ディレクトリの値が不正であるか，または監査ログを出力したプロセスの実行ユーザに監査ログの読み込みおよび書き込み権限が与えられていないおそれがあります。監査ログの出力ディレクトリの値を確認するか，または監査ログのアクセス権限を確認してください。

KDAL00014-E

An error occurred in the system call. (name = aa....aa, args = bb....bb, errno = = cc....cc, details = dd....dd)

aa....aa：システムコール名

bb....bb：引数など

cc....cc：エラーコード

dd....dd：詳細情報

説明

システムコールでエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00015-E

An error occurred in an internal function. (name = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：関数名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

内部関数でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00016-E

A memory shortage occurred. (size = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：確保しようとしたサイズ

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

メモリ確保に失敗しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00017-W

A warning has occurred in an internal function. (name = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：関数名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

内部関数でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00018-W

The library of HNTRLib2 cannot be loaded. (path = aa....aa)

aa....aa：HNTRLib2 のパス

説明

HNTRLib2 ライブラリのロードに失敗しました。

対処

HNTRLib2 がインストールされているかを確認してください。

KDAL00019-E

The library of HULALib cannot be loaded. (path = aa....aa)

aa....aa：HULALib のパス

説明

HULALib ライブラリのロードに失敗しました。

対処

HULALib がインストールされているかを確認してください。

KDAL00020-E

An error has occurred in the HULALib. (name = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：関数名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

HULALib 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00021-W

A warning has occurred in the HULALib. (name = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：関数名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

HULALib 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00022-E

An error has occurred in the HNTRLib2. (name = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：関数名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

HNTRLib2 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00023-W

A warning has occurred in the HNTRLib2. (name = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：関数名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

HNTRLib2 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00024-E

A command aborted. (command = aa....aa, errno = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：詳細情報

説明

コマンドの実行に失敗しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00025-E

An attempt to change the owner of the audit log has failed. (file = aa....aa, errno = bb....bb, uid = cc....cc, gid = dd....dd)

aa....aa：所有者を変更しようとしたファイル名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：ユーザ ID

dd....dd：グループ ID

説明

監査ログの所有者の変更に失敗しました。

対処

変更しようとしたユーザ，グループの指定が正しいかを確認してください。また，所有者を変更できる権限を持っているかを確認してください。

監査ログが存在しているディレクトリ内のファイルを退避または削除して，再度コマンドを実行してください。

KDAL00026-E

An error has occurred in the HULALib. (details = aa....aa)

aa....aa：発生した例外

説明

HULALib 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00027-W

An warning has occurred in the HULALib. (details = aa....aa)

aa....aa：発生した例外

説明

HULALib 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00028-E

An error has occurred in the HNTRLib2. (ErrPosInfo = aa....aa, MethodId = bb....bb, ErrCode = cc....cc, JniApiId = dd....dd, JniErrCode = ee....ee, JniErrno = ff....ff)

aa....aa：エラー位置

bb....bb：エラーメソッドのメソッド ID

cc....cc：エラーコード

dd....dd：エラーが発生した API の ID

ee....ee：エラーが発生した API エラーコード

ff....ff：エラーが発生した API のエラー番号

説明

HNTRLib2 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00029-W

A warning has occurred in the HNTRLib2 (ErrPosInfo = aa....aa, MethodId = bb....bb, ErrCode = cc....cc, JniApiId = dd....dd, JniErrCode = ee....ee, JniErrno = ff....ff).

aa....aa：エラー位置

bb....bb：エラーメソッドのメソッド ID

cc....cc：エラーコード

dd....dd：エラーが発生した API の ID

ee....ee：エラーが発生した API エラーコード

ff....ff：エラーが発生した API のエラー番号

説明

HNTRLib2 内でエラーが発生しました。

対処

このメッセージが出力される際に同時に出力されているほかのメッセージの内容を確認して，要因を取り除いてください。

KDAL00030-E

The library of AuditLog cannot be loaded. (library name = aa....aa)

aa....aa：ライブラリ名

説明

AuditLog ライブラリのロードに失敗しました。

対処

監査ログライブラリがインストールされているかを確認してください。

KDAL00031-E

An attempt to read a system property has failed (key = aa....aa).

aa....aa：キー

説明

システムプロパティの読み込みに失敗しました。

対処

システムプロパティが指定されているかを確認してください。

KDAL00032-E

The audit log file already exists. (directory = aa....aa, filenum = bb....bb)

aa....aa：監査ログの出力ディレクトリの絶対パス

bb....bb：ファイル面数

説明

監査ログがすでに存在します。

対処

すでに監査ログが存在している場合，監査ログが存在しているディレクトリ内のファイルを退避または削除して，再度コマンドを実行してください。

4 KDAN (CJMS プロバイダで出力されるメッセージ)

この章では，CJMS プロバイダで出力されるメッセージについて説明します。

4.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KDANnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KDANnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KDAN

CJMS プロバイダで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

CJMS プロバイダで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

Q（Question）

出力したメッセージに対して，ユーザの応答を通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，ユーザの応答を待ちます。

メッセージテキスト

CJMS プロバイダで出力されるメッセージテキストを示します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した構成ソフトウェアの動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，保守員が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

4.2　KDAN で始まるメッセージ

CJMS プロバイダで出力される KDAN00001 から KDAN99999 までのメッセージについて説明します。

KDAN00001-I

Connection id aa....aa closing. Client ID is bb....bb

aa....aa：コネクション id

bb....bb：クライアント id

説明

コネクションのクローズ時に発生します。

KDAN00002-I

onEvent() Connection Event for ManagedConnection aa....aa and event ID bb....bb

aa....aa：Managed コネクション id

bb....bb：イベント id

説明

クライアントランタイムによって生成されたコネクションイベントのデリバリ時に発生します。

KDAN00003-I

onEvent() Connection Event for ManagedConnection aa....aa:, event ID bb....bb: and New AddressList= cc....cc:

aa....aa：管理接続 id

bb....bb：イベント id 文字列

cc....cc：addressList 文字列

説明

addressList が null 以外でクライアントランタイムによって生成される接続イベントを提供するときに発生します。

KDAN00004-I

connectionClosed event ID aa....aa cleanup&destroy ManagedConnection bb....bb

aa....aa：イベント id

bb....bb：Managed コネクション

説明

物理的コネクションのクローズ時に発生します。

KDAN00005-I

Creating managed connection Id aa....aa Using xa connection factory config bb....bb

aa....aa：Managed コネクション id

bb....bb：Managed コネクションファクトリ

説明

Managed コネクションの構築時に発生します。

KDAN00006-I

In getConnection() managed connection Id aa....aa XA connection Id bb....bb opening ConnectionAdapter, setting ClientId cc....cc

aa....aa：Managed コネクション id

bb....bb：ダイレクトコネクション id

cc....cc：クライアント id

説明

新規コネクションの取得時に発生します。

KDAN00008-I

EndpointConsumer Activation Spec aa....aa

aa....aa：Activation Spec（起動仕様）

説明

ExceptionListener インターフェースの onException メソッドの呼び出し時に発生します。

KDAN00009-I

EndpointConsumer reconnect attempt loop# aa....aa Delayed bb....bb milliseconds.

aa....aa：ループカウント

bb....bb：ループ遅延

説明

エンドポイントコンシューマーを一回以上再接続しようとしたときに発生します。

KDAN00010-I

EndpointConsumer reconnect success on loop# aa....aa for bb....bb.

aa....aa：ループカウント

bb....bb：Activation Spec（起動仕様）

説明

エンドポイントコンシューマーが正常に再接続されたときに発生します。

KDAN00012-I

ResourceAdapter JMS Resource Adapter starting...

説明

リソースアダプタの開始時に発生します。

KDAN00013-I

Resource Adapter Configuration aa....aa

aa....aa：リソースアダプタコンフィグレーション

説明

リソースアダプタの開始時，リソースアダプタコンフィグレーション情報を表示する際に発生します。

KDAN00014-I

ResourceAdapter JMSRA Connection Factory Config = aa....aa.

aa....aa：XA コネクションファクトリコンフィグレーション

説明

リソースアダプタの開始時，リソースアダプタコネクションファクトリコンフィグレーション情報を表示する際に発生します。

KDAN00015-I

ResourceAdapter JMSRA Started Broker Type = aa....aa.

aa....aa：ブローカータイプ

説明

リソースアダプタの開始時，ブローカータイプを表示するときに発生します。

KDAN00016-I

ResourceAdapter JMSRA stopping...

説明

リソースアダプタの停止時に発生します。

KDAN00017-I

ResourceAdapter Closing Connection. Connection ID = aa....aa.

aa....aa：コネクション id

説明

リソースアダプタの停止時に発生します。

KDAN00018-I

ResourceAdapter JMSRA stopped.

説明

リソースアダプタを停止したときに発生します。

KDAN00020-I

ResourceAdapter endpointActivation : createMessageConsumer Done. Factory ID = aa....aa Consumer ID = bb....bb.

aa....aa：ファクトリ id

bb....bb：コンシューマー id

説明

メッセージコンシューマーの作成後に発生します。

KDAN00023-I

ResourceAdapter endpointDeactivation : stopMessageConsumer. Factory ID = aa....aa Consumer ID = bb....bb.

aa....aa：ファクトリ id

bb....bb：コンシューマー id

説明

メッセージコンシューマーの停止時に発生します。

KDAN00026-I

ResourceAdapter onException Reconnect unsuccessfull on loop # aa....aa.

aa....aa：ループカウント

説明

再接続リトライ回数以内にリソースアダプタが再接続できなかった場合に発生します。

KDAN00027-I

ResourceAdapter onEvent : Connection Event : aa....aa.

aa....aa：イベント id

説明

EventListener インターフェースの onEvent メソッドの呼び出し時に発生します。

KDAN00028-I

ResourceAdapter getConnectionURL : returning default of "localhost" for empty connectionURL.

説明

リソースアダプタ用のコネクション url の取得時に発生します。

KDAN00029-I

ResourceAdapter getJMXServiceURLList : addressList component = aa....aa.

aa....aa：コネクション url

説明

リソースアダプタ用の JMXServiceURLList の取得時に発生します。

KDAN00030-I

ResourceAdapter getJMXServiceURLList : address = aa....aa.

aa....aa：imq アドレス

説明

リソースアダプタ用の imqAddress の設定後に発生します。

KDAN00031-I

ResourceAdapter getJMXServiceURLList: JMXServiceURL ストリング for addressList component aa....aa = bb....bb.

aa....aa：コネクション url

bb....bb：JMXServiceURL

説明

リソースアダプタ用の JMXServiceURLList の取得時に発生します。

KDAN00032-I

ResourceAdapter init done. ResourceAdapter UID = aa....aa.

aa....aa：リソースアダプタ uid

説明

リソースアダプタコネクションファクトリのコンフィグレーション時に発生します。

KDAN00033-I

ResourceAdapter start : Connection ID = aa....aa.

aa....aa：コネクション id

説明

コネクションを作成する時にブローカーのタイプが direct でない場合に発生します。

KDAN03001-W

setResourceAdapter Illegal to re-associate ResourceAdapter aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタ Javabean が ActivationSpec に連携されていない場合に発生します。

対処

ActivationSpec インスタンスにすでに割り当てられているリソースアダプタ Javabean を割り当てしないように注意してください。

KDAN03002-W

setResourceAdapter Using default addressList due to setAddressList Exception

説明

imqAddressList プロパティ設定時で，原因は次のどれかとなります。

- プロパティ名が無効な場合
- プロパティ値が無効な場合
- readOnly フラグがセットされているときに，設定値を変更しようとした場合

対処

有効なプロパティ名および値を指定してください。

KDAN03003-W

setResourceAdapter Using default userName due to setUserName Exception

説明

imqDefaultUsername プロパティ設定時で，原因は次のどれかとなります。

- プロパティ名が無効な場合
- プロパティ値が無効な場合
- readOnly フラグがセットされているときに，設定値を変更しようとした場合

対処

有効なプロパティ名および値を指定してください。

KDAN03004-W

setResourceAdapter Using default password due to setPassword Exception

説明

imqDefaultPassword プロパティ設定時で，原因は次のどれかとなります。

- プロパティ名が無効な場合
- プロパティ値が無効な場合
- readOnly フラグがセットされているときに，設定値を変更しようとした場合

対処

有効なプロパティ名および値を指定してください。

KDAN03005-W

Property aa....aa is defaulted to bb....bb ,Since the value = cc....cc is invalid

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティのデフォルト値

cc....cc：ユーザが指定したプロパティ値

説明

原因は次のどちらかとなります。

- コネクションファクトリに対する reconnectAttempts プロパティの値が 1 未満である場合
- コネクションファクトリに対する reconnectInterval プロパティの値が 0（ゼロ）より小さい場合

対処

reconnectAttempts プロパティおよび reconnectInterval プロパティは設定しないでください。

KDAN03007-W

connectionErrorOccurred, event ID aa....aa destroy ManagedConnection bb....bb

aa....aa：イベント ID

bb....bb：Managed コネクション情報

説明

Managed コネクションを破棄するときに発生します。

対処

内部エラーであるため，保守員にお問い合わせください。

KDAN03009-W

Previously destroyed ManagedConnection Id aa....aa

aa....aa：Managed コネクション ID

説明

すでに終了した Managed コネクションである場合に発生します。

対処

必ず終了していない Managed コネクションを指定してください。

KDAN03010-W

TemporaryDestination delete() Can only delete user created TemporaryDestinations.

説明

システムで作成された一時送信先を削除しようとした場合に発生します。

対処

必ずユーザで作成された一時送信先をご使用ください。

KDAN03011-W

TemporaryDestination delete() Cannot delete TemporaryDestination with active consumers.

説明

削除したい一時送信先に該当するアクティブなコンシューマーがいる場合に発生します。

対処

削除する前に，アクティブなコンシューマーを必ず終了してください。

KDAN03012-W

ResourceAdapter - Resource Adapter already Started. Ignoring...

説明

リソースアダプタがすでに開始されている場合に発生します。

対処

リソースアダプタが開始されていないことを確認してください。

KDAN03014-W

ResourceAdapter start:Invalid to perform doInitOnlyOnStart if RA has been started previously and stopped:Ignoring and Resetting doInitOnlyOnStart.

説明

リソースアダプタがすでに開始されている場合に発生します。

対処

リソースアダプタが開始されていないことを確認してください。

KDAN03015-W

ResourceAdapter - Resource Adapter already Stopped. Ignoring...

説明

リソースアダプタが開始されていない場合に発生します。

対処

リソースアダプタが終了されているかどうかを確認してください。

KDAN03016-W

ResourceAdapter onException Connection Failed aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

原因は，次のどちらかとなります。

- リソースアダプタの実行時に，CJMSP ブローカーが終了された場合
- リソースアダプタから CJMSP ブローカーへのコネクションが切断された場合

対処

CJMSP ブローカーが終了している場合，CJMSP ブローカーを起動してください。またはリソースアダプタおよび CJMSP ブローカー間のコネクションを復活させるために必要な作業をしてください。

KDAN03017-W

ResourceAdapter onException Reconnecting... Loop Attempt # aa....aa. Delayed bb....bb milliseconds.

aa....aa：ループカウント

bb....bb：遅延（ミリ秒単位）

説明

リソースアダプタおよび CJMSP ブローカー間のコネクションが切断され，リソースアダプタが CJMSP ブローカーへの接続を試しています。

対処

リソースアダプタおよび CJMSP ブローカー間のコネクションを復活させるために必要な作業をしてください。

KDAN03018-W

ResourceAdapter onException Reconnect successfull on loop # aa....aa.

aa....aa：ループカウント

説明

リソースアダプタおよび CJMSP ブローカー間のコネクションが切断され，リソースアダプタによる CJMSP ブローカーへの再接続が成功した状態です。

対処

コネクションが復活したため，特に何もする必要がありません。

KDAN03019-W

ResourceAdapter getJMXServiceURL : RA not started. Returning null.

説明

リソースアダプタが開始されていない場合に発生します。

対処

リソースアダプタを開始してください。

KDAN03022-W

Property MsgLogFileNum is defaulted to : aa....aa. Since the valid file num should be between 1 to bb....bb.

aa....aa：デフォルト値

bb....bb：ファイル番号の最大値

説明

リソースアダプタの"MsgLogFileNum"プロパティに対して無効な値を指定した場合に発生します。

対処

リソースアダプタの"MsgLogFileNum"プロパティ値の有効範囲は 1 から 16（整数）です。

KDAN03023-W

Property MsgLogFileSize is defaulted to : aa....aa. Since the valid file size should be between bb....bb to cc....cc.

aa....aa：デフォルト値

bb....bb：ログファイルサイズの最小値

cc....cc：ログファイルサイズの最大値

説明

リソースアダプタの"MsgLogFileSize"プロパティに対して無効な値を指定した場合に発生します。

対処

リソースアダプタの"MsgLogFileSize"プロパティ値の有効範囲は 8192 から 4194304（整数）です。

KDAN03024-W

Property ExpLogFileNum is defaulted to : aa....aa. Since the valid file num should be between 1 to bb....bb.

aa....aa：デフォルト値

bb....bb：ファイル番号の最大値

説明

リソースアダプタの"ExpLogFileNum"プロパティに対して無効な値を指定した場合に発生します。

対処

リソースアダプタの"ExpLogFileNum"プロパティ値の有効範囲は 1 から 16（整数）です。

KDAN03025-W

Property ExpLogFileSize is defaulted to : aa....aa. Since the valid file size should be between bb....bb to cc....cc.

aa....aa：デフォルト値

bb....bb：ログファイルサイズの最小値

cc....cc：ログファイルサイズの最大値

説明

リソースアダプタの"ExpLogFileSize"プロパティに対して無効な値を指定した場合に発生します。

対処

リソースアダプタの"ExpLogFileSize"プロパティ値の有効範囲は 8192 から 4194304（整数）です。

KDAN03026-W

Non-supported feature, Transacted session creation is used.

説明

Transacted の値が TRUE のとき，Session，QueueSession または TopicSession が作成された場合に警告メッセージが表示されます。

対処

Transacted の値が TRUE のときに Session，QueueSession または TopicSession の作成を避け，FALSE をご使用ください。

KDAN03027-W

Non-supported feature, JTA transaction(XA) is used.

説明

リソースアダプタで，XATransaction をトランザクションサポートレベルとして使用した場合に警告メッセージが表示されます。

対処

XATransaction をトランザクションサポートレベルとして使用するのを避けてください。代わりに，LocalTransaction をご使用ください。

KDAN06001-E

Invalid property value aa....aa = bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：不正な値

説明

クライアントがプロパティ名に無効な値をセットした場合に発生します。

対処

適切なプロパティ名を指定してください。

KDAN06002-E

setResourceAdapter Incompatible ResourceAdapter class

説明

クライアントが ActivationSpec インスタンスに関連づける互換性のない ResourceAdapter クラスを使用したときに発生します。

対処

ActivationSpec に関連づけるために互換性のある ResourceApapter クラス名を指定するようにしてください。

KDAN06004-E

Associating unknown resource adapter class-

説明

クライアントが ManagedConnectionFactory インスタンスに関連づける互換性のない ResourceAdapter クラスを使用したときに発生します。

対処

ManagedConnectionFactory に関連づけるために互換性のある ResourceApapter クラス名を指定するようにしてください。

KDAN06005-E

Illegal to change resource adapter association

説明

ManagedConnectionFactory インスタンスに関連づいている Resource Adapter Javabean の設定時に ra オブジェクトが null になった場合に発生します。

対処

ManagedConnectionFactory インスタンスに関連づいている Resource Adapter Javabean の設定時に ra オブジェクトが null にならないようにしてください。

KDAN06006-E

Invalid property value, aa....aa must be greater than or equal to 0 Invalid value bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：不正な値

説明

クライアントがプロパティ名に対して無効な値（<0）を指定したときに発生します。

対処

プロパティの値が有効であることを確認してください。

不正な場合は有効なプロパティ値を設定してください。

KDAN06007-E

Invalid property value, aa....aa must be greater than 0 Invalid value bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：不正な値

説明

クライアントがプロパティ名に対して無効な値（<=0）を指定したときに発生します。

対処

プロパティの値が有効であることを確認してください。

不正な場合は有効なプロパティ値を設定してください。

KDAN06008-E

Invalid property value, subscriptionName and clientId must be non-null. subscriptionName= aa....aa clientId= bb....bb

aa....aa：サブスクライバー名

bb....bb：クライアント ID

説明

サブスクライバー名やクライアント ID プロパティの値が null の場合に発生します。

対処

サブスクライバー名やクライアント ID が null にならないようにしてください。

KDAN06009-E

Invalid property value, endpointPoolSteadySize must be less than or equal to endpointPoolMaxSize endpointPoolSteadySize= aa....aa endpointPoolMaxSize bb....bb

aa....aa：EndpointPoolSteadySize

bb....bb：EndpointPoolMaxSize

説明

クライアントが endpointPoolSteadySize および endpointPoolMaxSize に無効な値をセットした場合に発生します。endpointPoolSteadySize は endpointPoolMaxSize 以下である必要があります。

対処

endpointPoolSteadySize が endpointPoolMaxSize 以下であることを確認してください。

KDAN06010-E

Unsupported- aa....aa

aa....aa：動作名

説明

クライアントがサポートされていない機能を使用しようとしたときに発生します。

対処

サポートされてない機能を使用しないようにしてください。

KDAN06011-E

While closing got JMSExcption during _closeForPooling aa....aa

aa....aa：コネクションのデバッグ情報

説明

Managed コネクションがアクティブでない状態で，それをリソースアダプタと関連づけるまたはコネクションをクローズしようとしたときに発生します。

対処

関連づけている際に，またはクローズ操作時に Managed コネクションがアクティブであることを確認してください。

KDAN06012-E

aa....aa failed, Only one JMS Session allowed when managed connection is involved in a transaction

aa....aa：セッション，キューセッションまたはトピックセッション

説明

Managed コネクションで複数のセッションを作成したときに発生します。Managed コネクションの場合は，一つの JMS セッションに限定されています。

対処

Managed コネクションの場合は，一つ以上のセッションを作成しないようにしてください。

KDAN06013-E

Illegal operation, Connection is closed

説明

動作中にコネクションが失われた場合に発生します。コネクションがクローズされた場合は，IllegalStateException が投げられます。

対処

ra で動作中にコネクションが失われないようにしてください。

KDAN06014-E

Unable to associate ManagedConnection - Connection is destroyed

説明

Managed コネクションがアクティブでない状態で，それを ra と関連づけるときに発生します。

対処

関連づけている際に，Managed コネクションがアクティブであることを確認してください。

KDAN06015-E

While Destroy Exception on physical cnxn close-ignoring aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

コネクションを破棄するときに例外が起こった場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06016-E

sendEvent:Unknown Event aa....aa

aa....aa：イベントの種別

説明

イベントの種別が登録されたリスナーのリストに存在しない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06017-E

connectionErrorOccurred Exception on cleanup&destroy event ID aa....aa and ManagedConnection bb....bb

aa....aa：イベント ID

bb....bb：Managed コネクション

説明

コネクションのクローズ時，クリーンアップおよび破棄の処理中にコネクションエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06018-E

connectionErrorOccurred Exception on destroy() event ID aa....aa and ManagedConnection bb....bb

aa....aa：イベント ID

bb....bb：Managed コネクション

説明

コネクションのクローズ時，破棄の処理中にコネクションエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06019-E

While destroyConnections Exception occurred aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

コネクションの破棄中にコネクションエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06020-E

JMSException on createConnection aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

- ブローカーがダウンした場合に発生します。
- コネクション作成でエラーが発生しました。

対処

ブローカーの起動が正常に行われているかを確認してください。

例外メッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN06021-E

Exception on setExceptionListener- aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

Managed コネクション用に例外リスナーを設定するときにエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06022-E

Exception on XA Resource creation- aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

Managed コネクション用に xa リソースを作成するときにエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06023-E

In getConnection auth failed for Subject aa....aa

aa....aa：サブジェクト　オブジェクト

説明

無効なユーザ資格を使用して新規コネクションハンドラの作成時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06024-E

InvalidClientIDException in Managed Connection- aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

無効なクライアント ID を使用して新規コネクションを作成しようとしたときにエラーが発生しました。

対処

クライアント ID が妥当であることを確認してください。

KDAN06025-E

JMSException in Managed Connection- aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

Managed コネクションの作成時に RA でエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06026-E

associateConnection() invalid connection class name- aa....aa toString()- bb....bb

aa....aa：コネクションクラス

bb....bb：コネクション値

説明

コネクションオブジェクトが ConnectionAdapter の型でないためエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06027-E

Destroyed-Id in Managed Connection- aa....aa

aa....aa：Managed コネクション ID

説明

Managed コネクションの破棄中にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06028-E

ConnectionFactoryAdapter getReference() NOT Supported

説明

ConnectionFactory インターフェースの getReference メソッドがコールされたときにエラーが発生しました。

対処

サポートされていないメソッドをコールしないでください。

KDAN06029-E

ConnectionFactoryAdapter allocation failure for aa....aa

aa....aa：コネクションまたはキューコネクションまたはトピックコネクション

説明

- ブローカーがダウンした場合に発生します。
- ブローカーとの接続時，ConnectionFactoryAdapter にてエラーが発生しました。

対処

ブローカーの起動が正常に行われているかを確認してください。

例外メッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN06030-E

EndpointConsumer Exception setting Connection Factory reconnect params- aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

imqReconnectEnabled，imqReconnectAttempts，imqReconnectInterval，imqAddressListIterations プロパティの設定時に次の原因のどれかでエラーが発生します。

- 無効なプロパティ名をセットしたとき
- 無効なプロパティ値をセットしたとき
- ReadOnly フラグがセットされているのに，変更しようとしたとき

対処

有効なプロパティ名と値を指定してください。

KDAN06031-E

EndpointConsumer Either ResourceAdapter or EndPointFactory or ActivationSpec value is null.

説明

ResourceAdapter や MessageEndpointFactory や ActivationSpec のどれかが null の場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。また，ほかのログも確認してください。

KDAN06032-E

EndpointConsumer Unsupported ActivationSpec Class - aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

サポートされていない動作をしたときに発生します。

対処

サポートされていない動作を避けてください。

KDAN06034-E

EndpointConsumer createRemoteMessageConsumer Exception setting XA-ConnectionFactory properties - aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

imqDefaultUsername，imqDefaultPassword，imqAddressList，imqReconnectEnabled プロパティの設定時に次の原因のどれかでエラーが発生します。

- 無効なプロパティ名をセットしたとき
- 無効なプロパティ値をセットしたとき
- ReadOnly フラグがセットされているのに，変更しようとしたとき

対処

有効なプロパティ名と値を指定してください。

KDAN06035-E

EndpointConsumer createConnection failed on addressListIteration # aa....aa of bb....bb Exception = cc....cc.

aa....aa：カレントアドレスリスト繰り返し

bb....bb：アドレスリスト繰り返し

cc....cc：例外メッセージ

説明

クライアント ID の設定時に発生するもので，原因は次のどちらかになります。

- 指定されたクライアント ID が無効や重複しているとき
- クライアント ID が管理上構成されているとき

対処

- 指定されたクライアント ID が有効で重複していないことを確認してください。
- クライアント ID が管理上構成されていないことを確認してください。

KDAN06036-E

EndpointConsumer createConnction failed. aborting after aa....aa addressListIterations.

aa....aa：アドレスリスト繰り返し

説明

指定されたアドレスリスト繰り返しカウントを超えた場合に発生します。

対処

アドレスリスト繰り返しカウントを増やしてください。

KDAN06037-E

EndpointConsumer createDurableConsumer: createConnection failed: aborting due to aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

指定されたアドレスリスト繰り返しカウントを超えた場合に発生します。

対処

アドレスリスト繰り返しカウントを増やしてください。

KDAN06039-E

EndpointConsumer Error creating Remote Message Consumer aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

リモートメッセージコンシューマーの作成時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06040-E

EndpointConsumer Error on closing MessageConsumer.

説明

リモートメッセージコンシューマーの終了時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06041-E

EndpointConsumer Error on closing JMS Connection.

説明

JMS コネクションのクローズ時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06042-E

EndpointConsumer Invalid Destination - aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

無効な送信先名を指定したときに発生します。

対処

有効な送信先名を指定してください。

KDAN06043-E

EndpointConsumer Need Valid SubscriptionName - aa....aa.

aa....aa：サブスクライバー名

説明

無効なサブスクライバー名を指定したときに発生します。

対処

有効なサブスクライバー名を指定してください。

KDAN06044-E

EndpointConsumer Need Valid ClientID - aa....aa.

aa....aa：クライアント ID

説明

無効なクライアント ID を指定したときに発生します。

対処

有効なクライアント ID を指定してください。

KDAN06045-E

EndpointConsumer Exception setting ConnectionFactory properties - addressList = aa....aa.

aa....aa：アドレスリスト

説明

imqAddressList，imqReconnectEnabled プロパティの設定時に次の原因のどれかでエラーが発生します。

- 無効なプロパティ名をセットしたとき
- 無効なプロパティ値をセットしたとき
- ReadOnly フラグがセットされているのに，変更しようとしたとき

対処

有効なプロパティ名と値を指定してください。

KDAN06046-E

EndpointConsumer createConnection failed on addressListIteration # aa....aa of bb....bb. Exception = cc....cc.

aa....aa：カレントアドレスリスト繰り返し

bb....bb：アドレスリスト繰り返し

cc....cc：例外メッセージ

説明

クライアント ID の設定時に発生するもので，原因は次のどちらかになります。

- 指定されたクライアント ID が無効や重複しているとき
- クライアント ID が管理上構成されているとき

対処

- 指定されたクライアント ID が有効で重複していないことを確認してください。
- クライアント ID が管理上構成されていないことを確認してください。

KDAN06049-E

EndpointConsumer Error creating Durable Message Consumer aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

デュアラブルサブスクライバの作成時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06050-E

EndpointConsumer Clustered Non-Durable Message Consumer requires non-null clientID OR mdbName. clientID = aa....aa, mdbName = bb....bb.

aa....aa：クライアント ID

bb....bb：MDB 名

説明

非デュアラブルコンシューマーの作成時に，MDB 名が null や空白になっている場合に発生します。

対処

有効な MDB 名を指定してください。

KDAN06053-E

EndpointConsumer Error creating Non-Durable Message Consumer aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

非デュアラブルサブスクライバの作成時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06054-E

EndpointConsumer Error creating Direct Message Consumer aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

非デュアラブルサブスクライバまたはデュアラブルサブスクライバの作成時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06055-E

EndpointConsumer Error on closing Direct MessageConsumer.

説明

非デュアラブルサブスクライバまたはデュアラブルサブスクライバの終了時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06056-E

EndpointConsumer Error closing DircetConnection.

説明

コネクションのクローズ時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06057-E

LocalTransaction startTransaction exception - Connection is closed.

説明

コネクションがクローズされたときに発生します。

対処

コネクションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN06058-E

LocalTransaction startTransaction exception - aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

- ブローカーがダウンした場合に発生します。
- ローカルトランザクションを開始する際にエラーが発生しました。

対処

ブローカーの起動が正常に行われているかを確認してください。

例外メッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN06059-E

LocalTransaction commitTransaction exception - Connection is closed.

説明

コネクションがクローズされたときに例外が起こった場合に発生します。

対処

コネクションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN06060-E

LocalTransaction commit exception aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

- ブローカーがダウンした場合に発生します。
- ローカルトランザクションのコミット時にエラーが発生しました。

対処

ブローカーの起動が正常に行われているかを確認してください。

例外メッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN06061-E

LocalTransaction rollbackTransaction exception - Connection is closed.

説明

コネクションがクローズされたときに発生します。

対処

コネクションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN06062-E

LocalTransaction rollback exception:aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

- ブローカーがダウンした場合に発生します。
- ローカルトランザクションのロールバック時にエラーが発生しました。

対処

ブローカーの起動が正常に行われているかを確認してください。

例外メッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN06063-E

MessageListener onMessage - JMSException on getOnMessageRunner.

説明

プールからの OnMessageRunner の取得時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06064-E

MessageListener Endpoint Unavailable - Shutting down delivery for aa....aa

aa....aa：ActivationSpec(起動仕様)

説明

このセッションのメッセージのデリバリのシャットダウン時にメッセージエンドポイントが null の場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06065-E

MessageListener Exception setting ContextClassLoader aa....aa.

aa....aa：エラーメッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN06066-E

MessageListener JMSException on acknowledge.

説明

リソースアダプタからのメッセージの応答確認時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06067-E

MessageListener Caught Exception from onMessage() - aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタからのメッセージの応答確認時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06068-E

MessageListener Exhausted redeliveryAttempts - shutting down delivery for aa....aa

aa....aa：起動仕様

説明

endpointExceptionRedeliveryAttempts プロパティの値が 0 より大きい場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06069-E

MessageListener onMessage caught Throwable - Before OR On OR After Delivery - Class = aa....aa Message = bb....bb

aa....aa：例外クラス

bb....bb：例外メッセージ

説明

MessageEndPoint への JMS メッセージのデリバリ時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06070-E

OnMessageRunner Exception on XAResource creation - aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタ用に XA リソースを構築する際にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06071-E

OnMessageRunner createEndpoint - UnavailableException. Sleeping for aa....aa MilliSeconds.

aa....aa：ミリ秒

説明

MessageEndPointFactory からのエンドポイントの作成時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06072-E

OnMessageRunner Endpoint Unavailable - Marking OMR as invalid. omrId = aa....aa for bb....bb

aa....aa：omr id

bb....bb：ActivationSpec（起動仕様）

説明

このセッションのメッセージのデリバリのシャットダウン時にメッセージエンドポイントが null の場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06073-E

OnMessageRunner EndPoint invalid-Ack Undeliverable And remove OMR for pool-omrId = aa....aa msg = bb....bb

aa....aa：omrid

bb....bb：メッセージ

説明

メッセージエンドポイントが null の場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06074-E

OnMessageRunner EndPoint invalid JMSException on Ack Undeliverable - aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタからのデリバリ不可のメッセージの応答確認時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06075-E

OnMessageRunner Exception setting ContextClassLoader - aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN06076-E

OnMessageRunner JMSException on message acknowledgement - Rolling back if in transaction.

説明

MDB やリソースエンドポイントからのメッセージに対して応答確認を行うときにエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06077-E

OnMessageRunner Caught Exception from onMessage Redelivering - aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースエンドポイントや MDB からのメッセージに対して応答確認を行うときにエラーが発生しました。

対処

- MDB アプリケーションの onMessage 処理を確認してください。
- 送信先にメッセージが格納されているかどうか確認してください。

KDAN06078-E

OnMessageRunner Exception on setJMSRedelivered() - aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

内部エラーの理由で再デリバリ状態にセットできなかった場合にエラーが発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06079-E

OnMessageRunner Exhausted redeliveryAttempts - aa....aa = bb....bb

aa....aa：Activation Spec

bb....bb：Activation Spec のプロパティ情報

説明

再配信回数の値が endpointExceptionRedeliveryAttempts プロパティの値を超えた場合に発生します。

対処

- MDB アプリケーションの onMessage 処理を確認してください。
- 送信先にメッセージが格納されているかどうか確認してください。

KDAN06080-E

OnMessageRunner Message returned and marked for aa....aa.

aa....aa：Routing to the DMQ または Redelivery by the broker

説明

デリバリ不可のメッセージをデッドメッセージキューに送信するときに発生します。

対処

- MDB アプリケーションの onMessage 処理を確認してください。
- 送信先にメッセージが格納されているかどうか確認してください。

KDAN06081-E

OnMessageRunner omrId = aa....aa Acknowledged Undeliverable - Message = bb....bb

aa....aa：omrid

bb....bb：メッセージ

説明

direct モードで動作時にエラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN06082-E

OnMessageRunner JMSException when Acknowledging Undeliverable Message -aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタエンドポイントからのデリバリ不可のメッセージの応答確認時，または，MDB に対するデッドメッセージの応答確認時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06083-E

OnMessageRunner caught Throwable - Before OR On OR After Delivery - Class = aa....aa Message = bb....bb

aa....aa：例外クラス名

bb....bb：例外メッセージ

説明

リソースアダプタエンドポイントからのデリバリ不可のメッセージの応答確認時，または，MDB に対するデッドメッセージの応答確認時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06084-E

OnMessageRunner WorkException - aa....aa on omrId = bb....bb.

aa....aa：例外メッセージ

bb....bb：omrid

説明

メッセージデリバリを実行するために WorkManager を使用してスケジューリングをする際にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06085-E

OnMessageRunnerPool - Unable to get OMR from pool - aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

プールから OnMessageRunner を取得時に割り込み例外が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06086-E

OnMessageRunnerPool Did not finish waiting for OMRs to return - aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

すべての OnMessageRunners を待機中，割り込み例外発生時にこのエラーが発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06087-E

ManagedConnectionMetaData getEISProductName - Failed aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

内部エラーの理由でメタデータの取得が失敗した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06088-E

ManagedConnectionMetaData getEISProductName()

説明

内部エラーの理由でメタデータの取得が失敗した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06089-E

ManagedConnectionMetaData getEISProductVersion - Failed - aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

内部エラーの理由でメタデータの取得が失敗した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06090-E

ManagedConnectionMetaData getEISProductVersion()

説明

内部エラーの理由でメタデータの取得が失敗した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06091-E

ManagedConnectionMetaData getUserName - Failed - ManagedConnection is destroyed.

説明

Managed コネクションが破棄された場合に発生します。

対処

Managed コネクションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN06092-E

ManagedConnectionMetaData getUserName()

説明

Managed コネクションが破棄された場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06093-E

SessionAdapter closeAdapter - Exception - aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

コネクションアダプタをクローズするときにエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06094-E

SessionAdapter createSender() disallowed on TopicSession.

説明

TopicSession で createSender()メソッドをコールしようとしたときに発生します。

対処

QueueSession で createSender()メソッドを呼ぶことができます。

KDAN06095-E

SessionAdapter createBrowser() disallowed on TopicSession.

説明

TopicSession で createBrowser()メソッドをコールしようとしたときに発生します。

対処

QueueSession で createBrowser()メソッドを呼ぶことができます。

KDAN06096-E

SessionAdapter createSubscriber Exception. Require non-null, non-empty clientId for clustered non-durable subscription. ClientId = aa....aa.

aa....aa：クライアント ID

説明

指定されたクライアント ID が null または空白の場合に発生します。

対処

有効なクライアント ID を指定してください。

KDAN06097-E

SessionAdapter unsubscribe() disallowed on QueueSession.

説明

QueueSession で unsubscribe()メソッドをコールしようとしたときに発生します。

対処

TopicSession で unsubscribe()メソッドを呼ぶことができます。

KDAN06098-E

SessionAdapter createTemporaryTopic() disallowed on QueueSession.

説明

QueueSession で createTemporaryTopic()メソッドをコールしようとしたときに発生します。

対処

TopicSession で createTemporaryTopic()メソッドを呼ぶことができます。

KDAN06099-E

SessionAdapter createTemporaryQueue() disallowed on TopicSession.

説明

TopicSession で createTemporaryQueue()メソッドをコールしようとしたときに発生します。

対処

QueueSession で createTemporaryQueue()メソッドを呼ぶことができます。

KDAN06100-E

SessionAdapter Disallowed - Session.run()

説明

run()メソッドをコールしたときに発生します。

対処

run()メソッドをコールしないようにしてください。

KDAN06101-E

SessionAdapter IllegalState - Session is closed.

説明

セッションがクローズされたときに発生します。

対処

セッションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN06102-E

ResourceAdapter Property msgLogLevel is defaulted to : ERROR. Since the valid msgLogLevel should be INFO or WARNING or ERROR.

説明

無効なログレベルを指定したときに発生します。

対処

ログレベルとして DEBUG／INFO／WARNING／ERROR を指定してください。

KDAN06103-E

Resource Adapter cannot be started since the property "raName" is a reserved device name.

説明

raName に予約デバイス名を指定したときに発生します。

対処

raName が予約のデバイス名でないことを確認してください。

KDAN06104-E

ResourceAdapter start : Aborting : Exception performing doInitOnlyOnStart on broker = aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタの起動時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06107-E

ResourceAdapter Aborting : Exception starting LOCAL broker = aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタの起動時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06108-E

ResourceAdapter Aborting : Exception starting EMBEDDED broker = aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

リソースアダプタの起動時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06110-E

ResourceAdapter start : Aborting JMSException on createConnection = aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

コネクションの初期化や RA コネクションファクトリの構成時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06111-E

ResourceAdapter Exception on Stopping RA. Ignoring...

説明

リソースアダプタのインスタンスの終了時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06112-E

ResourceAdapter JMSRA - Cannot perform Endpoint Activation. RA not started. Aborting...

説明

リソースアダプタがすでにスタートされている場合に発生します。

対処

リソースアダプタを停止して再度スタートしてください。

KDAN06114-E

ResourceAdapter endpointDeactivation() Exception on stopMessageConsumer. Ignoring.

説明

この EndpointConsumer に関連づいているコンシューマーやコネクションの終了時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06115-E

ResourceAdapter stopMessageConsumer exception. ignoring...

説明

この EndpointConsumer に関連づいているコンシューマーやコネクションの終了時にエラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06116-E

ResourceAdapter AdjustInApplicationClientContainer System Property inACC is NOT null.

説明

システムプロパティである ResourceAdapter AdjustInApplicationClientContainer（inACC）が null でない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN06117-E

ResourceAdapter AdjustInApplicationClientContainer setting inACC to aa....aa.

aa....aa：正または負

説明

ResourceAdapter AdjustInApplicationClientContainer（inACC）プロパティを正または負にセットするときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN10001-E

Packet acknowledge failed.

説明

クライアントによって，CJMSP からの ACK を読み込み・処理中にエラーが発生しました。

考えられる原因は，CJMSP とのコネクションの切断です。

対処

ネットワーク接続が正常であること，また，CJMSP がセットアップされているマシンがアクセス可能になっていることを確認してください。

KDAN10002-E

Write packet failed.

説明

クライアントから CJMSP に情報を送信する際にエラーが発生しました。

考えられる原因は，CJMSP とのコネクションの切断です。

対処

ネットワーク接続が正常であること，また，CJMSP がセットアップされているマシンがアクセス可能になっていることを確認してください。

KDAN10003-E

Read packet failed.

説明

クライアントによって，CJMSP から情報を読み込む際にエラーが発生しました。

考えられる原因は，CJMSP とのコネクションの切断です。

対処

ネットワーク接続が正常であること，また，CJMSP がセットアップされているマシンがアクセス可能になっていることを確認してください。

KDAN10004-E

Error occurred on connection creation aa....aa.

aa....aa：コネクション種別

説明

クライアントから CJMSP への接続する際にエラーが発生しました。

考えられる原因は次のとおりです。

- CJMSP が動作していない
- CJMSP が動作しているサーバマシンがアクセス不可になっている

対処

- CJMSP が動作していることを確認してください。
- ネットワーク接続が正常であること，また，CJMSP が動作しているマシンがアクセス可能になっていることを確認してください。

KDAN10005-E

Error occurred on connection close.

説明

CJMSP とのコネクションをクローズしようとしたときにエラーが発生しました。考えられる原因は次のとおりです。

- CJMSP がシャットダウンされている
- ネットワーク障害

対処

- CJMSP が動作していることを確認してください。
- ネットワーク接続が正常であることを確認してください。

KDAN10006-E

Get properties from packet failed.

説明

クライアントが CJMSP によって送信されたパケットのプロパティ情報を読み込むときにエラーが発生しました。考えられる原因は，CJMSP とのコネクションの切断です。

対処

ネットワーク接続が正常であること，また，CJMSP がセットアップされているマシンがアクセス可能になっていることを確認してください。

KDAN10007-E

Set properties to packet failed.

説明

クライアントが CJMSP から受信したパケットのプロパティ情報を読み込むときに内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN10008-E

Durable subscription aa....aa in use.

aa....aa：デュアラブルサブスクライバー名

説明

原因は次のとおりです。

1. クライアントがすでに存在している名前でデュアラブルサブスクライバを作成しようとしました。
2. クライアントがほかのコンシューマーによって使用中のデュアラブルサブスクライバをアンサブスクライブしようとしました。

対処

1. デュアラブルサブスクライバの作成時に，同じ名前のほかのデュアラブルサブスクライバが存在しないことを確認してください。
2. デュアラブルサブスクライバのアンサブスクライブ時に，該当デュアラブルサブスクライバからメッセージをサブスクライブしているコンシューマーが存在しないことを確認してください。

KDAN10009-E

Message in read-only mode.

説明

クライアントがメッセージボディーをクリアしないでそのボディーを変更しようとしたときに発生します。

対処

メッセージのボディーを変更する前に，clearBody()メソッドを呼び出してください。

KDAN10010-E

Message in write-only mode.

説明

クライアントが StreamMessage や BytesMessage のボディーを読み込むときに，もしそのボディーが空白の場合，このエラーが発生します。

対処

StreamMessage や BytesMessage のボディーを読み込む前に，それらのメッセージのボディーが空白になっているかを確認してください。

KDAN10011-E

Read message failed.

説明

クライアントがバイトストリームから BytesMessage を読み込むときに発生します。BytesMessage のボディーが書き込みモードになっていることが原因の可能性があります。

対処

BytesMessage のボディーを読み込みモードに変更するには，BytesMessage.reset()メソッドを呼び出してください。

KDAN10012-E

Write message failed.

説明

クライアントが BytesMessage をバイトストリームに書き込むときにこのエラーが発生します。BytesMessage のボディーが読み込みモードになっていることが原因の可能性があります。

対処

BytesMessage のボディーを書き込みモードに変更するには，BytesMessage.clearBody()メソッドを呼び出しください。

KDAN10013-E

Reset message failed.

説明

メッセージをリセットしようとするときに発生します。原因は，内部エラーまたは無効なメッセージフォーマットのおそれがあります。

対処

メッセージフォーマットが正しいかを確認してください。

KDAN10014-E

Unexpected end of stream when read message

説明

原因は次のとおりです。

- クライアントが BytesMessage や StreamMessage の空白になっているボディーを読み込むときに発生します。
- クライアントがストリームの最後になっても読み込もうとするとこのエラーが発生します。

対処

読み込む前にストリームの最後に達していないかを確認してください。

KDAN10015-E

Cannot serialize the Message body.

説明

クライアントがボディーとして Java オブジェクトを MapMessage または ObjectMessage にセットするときに，発生します。Java オブジェクトがシリアライズ不可になっていることが原因です。

対処

MapMessage や ObjectMessage にセットされる Java オブジェクトが java.io.Serializable インターフェースをインプリメントしていることを確認してください。

KDAN10016-E

Failed to Deserialize message body.

説明

クライアントがシリアライズ不可のメッセージボディーをデシリアライズしようとしたときに発生します。

対処

デシリアライズの前に，Java オブジェクトが java.io.Serializable をインプリメントする必要があります。

KDAN10017-E

Error occurred during message acknowledgement.

説明

クライアントがメッセージを受信したことを通知しようとしたときに発生します。考えられる原因は，CJMSP とのコネクションの切断です。

対処

ネットワーク接続が正常であること，また，CJMSP がセットアップされているマシンがアクセス可能になっていることを確認してください。

KDAN10018-E

Invalid message format.

説明

クライアントがプロパティ値オブジェクトを無効な Java オブジェクト型に変換しようとしたときにエラーが発生しました。

対処

プロパティ値は次のどれかの型に変換されていることを確認してください。

Integer，Short，Float，Double，Long，String，Character，Byte，Byte Array，Boolean

KDAN10019-E

Error occurred on request message redeliver.

説明

JMS セッションで recover()や rollback()の処理中に，CJMSP にパケットを再度デリバリをするときにネットワークエラーが発生しました。

対処

ネットワークが正常に動作していることを確認してください。

KDAN10020-E

Destination not found: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

- クライアントが，削除済みの一時的な送信先を使用してメッセージプロデューサやメッセージコンシューマーを作成しようとしたときに発生します。
- メッセージプロデューサやメッセージコンシューマーの作成時，または，メッセージの送信時に，送信先として null が指定された場合に，発生します。
- CJMSP に該当送信先が存在しない場合に発生します。

対処

- メッセージプロデューサやメッセージコンシューマーを作成する前に一時的送信先が存在することを確認してください。
- CJMSP に存在する妥当な送信先を指定してください。

KDAN10021-E

Temporary destination belongs to a closed connection or another connection - aa....aa.

aa....aa：一時送信先名

説明

- クライアントが，クローズ済みのコネクションを使用して一時的送信先を作成しようとしたときに発生します。
- クライアントが，ほかのコネクションの一時的送信先を使用してメッセージコンシューマーを作成しようとしたときに発生します。

対処

- 一時的送信先を作成する前にコネクションがクローズされていないことを確認してください。
- メッセージコンシューマーを作成用に使用された一時的送信先に該当するコネクションを確認してください。

KDAN10022-E

Consumer not found.

説明

アプリケーションまたはクライアントによって，メッセージを処理する前に，コンシューマーがクローズされた場合に発生します。

対処

アプリケーションやクライアントによってコンシューマーがクローズされないようにしてください。

KDAN10023-E

Invalid Message selector expression: aa....aa.

aa....aa：セレクター式

説明

不正なメッセージセレクタ式の場合に発生します。

対処

SQL92 のシンタックスに準拠する妥当なセレクター式を指定してください。

KDAN10024-E

Client unacknowledged messages exceeded the system defined limit.

説明

CLIENT_ACKNOWLEDGE モードで，確認応答がされていないメッセージの数がシステムによって定義されたリミット値を超えたときに発生します。

対処

受信したメッセージに対して確認応答がされていることを確認してください。

KDAN10025-E

The session is not transacted.

説明

クライアントが，Non Transacted セッションに対してコミットやロールバック動作をしようとしたときに発生します。

対処

トランザクションセッションを使用しないでください。

KDAN10026-E

Cannot call this method from a transacted session.

説明

クライアントが，Transacted セッションに対して，recover メソッドを呼び出したときに発生します。

対処

トランザクションセッションを使用しないでください。

KDAN10027-E

Client non-committed messages exceeded system defined limit.

説明

Transacted セッションにて，コミットされていないメッセージの数がシステムによって定義されたリミット値を超えた場合に発生します。

対処

トランザクションセッションを使用しないでください。

KDAN10033-E

Cannot use receive() when message listener is set.

説明

クライアントが，非同期メッセージコンシューマーに対して，同期受信動作をしようとしたときに発生します。

対処

同期受信動作は同期メッセージコンシューマーに対してだけするようにしてください。

KDAN10034-E

Authentication type not match: aa....aa and bb....bb.

aa....aa：クライアントによってランタイムで使用された認証タイプ

bb....bb：CJMSP によって要求された認証タイプ

説明

クライアントの認証タイプが CJMSP の認証タイプと異なった場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10037-E

A broker error occurred.

説明

リクエストの処理中にブローカーが停止された場合，またはブローカーが不正な状態の場合に発生します。

対処

ブローカーが停止していないか，または不正な状態でないかを確認してください。

KDAN10038-E

Broker is unavailable or broker timeout.

説明

CJMSP に対してパケットデータの書き込み中にブローカーが停止された場合に発生します。

対処

CJMSP へのパケット書き込み中にブローカーが停止されないようにしてください。

KDAN10039-E

aa....aa is the cause for bb....bb.

aa....aa：原因

bb....bb：元原因例外メッセージ

説明

- メッセージ書き込みや CJMSP からのプロパティ取得時にネットワークエラーが発生します。
- CJMSP の無効なアドレスを指定されたときに発生します。

対処

- ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- CJMSP の妥当なアドレスを指定してください。

KDAN10040-E

Cannot delete destination

説明

- クライアントがほかのコネクションオブジェクトの一時的送信先を削除しようとしたときに発生します。
- クライアントがコンシューマーを持つ一時的送信先を削除しようとしたときに発生します。

対処

- 該当するコネクションの一時的送信先を削除するようにしてください。
- 一時的送信先を削除する前にコンシューマーがクローズされていることを確認してください。

KDAN10041-E

Invalid ObjectProperty type

説明

JMS メッセージプロパティとして非プリミティブ Java オブジェクトをセットしようとしたときに発生します。

対処

プロパティ値の型は次のどれかであることを確認してください。

Boolean，Byte，Short，Integer，Long，Float，Double，String

KDAN10042-E

Reserved word used as property name - aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティ名として JMS 予約語を使用した場合に発生します。

対処

プロパティ名に JMS 予約語を使用しないでください。

KDAN10043-E

Illegal first character of property name - aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティ名に無効な文字が入っている場合に発生します。

対処

プロパティ名として無効な文字が使用されないようにしてください。

KDAN10044-E

Illegal character aa....aa used in property name - bb....bb.

aa....aa：無効な文字

bb....bb：プロパティ名

説明

プロパティ名に無効な文字が入っている場合に発生します。

対処

プロパティ名として無効な文字が使用されないようにしてください。

KDAN10045-E

Browser timeout.

説明

クライアントがキューブラウザ間隔のタイムアウト後にメッセージをブラウズしようとしたときに発生します。

対処

適切な時間間隔を指定してください。

KDAN10046-E

No more elements in the Queue to browse.

説明

クライアントが空のキューをブラウズしようとしたときに発生します。

対処

ブラウズする前にキューが空白になっていないことを確認してください。

KDAN10047-E

QueueBrowser closed.

説明

クライアントがすでにクローズされたキューをブラウズしようとしたときに発生します。

対処

ブラウズする前にブラウザがクローズされていないことを確認してください。

KDAN10050-E

Cannot call Connection.close(), stop(), etc from message listener.

説明

クライアントが，メッセージリスナーによってメッセージの受信中に，コネクションをクローズまたは終了させようとした場合に発生します。

対処

コネクションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN10051-E

Invalid destination name - aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

- 指定された送信先名が null の場合に発生します。
- クライアントが特殊文字を使用して送信先名を作成しようとしたときに発生します。

対処

- 指定された送信先名が null でないことを確認してください。
- 送信先名が無効な文字を含んでいないことを確認してください。

KDAN10052-E

Invalid message delivery parameter. aa....aa : bb....bb.

aa....aa：デリバリモード

bb....bb：デリバリモード値

説明

クライアントがメッセージ送信時に次のパラメータに対して無効な値を指定したときに発生します。

Delivery Mode，Priority および Time to Live

対処

次の値を指定するようにしてください。

```
Delivery Mode-PERSISTENTまたはNON_PERSISTENT
Priority-0～9
Time to Live-ゼロ以上
```

KDAN10053-E

Client ID is already in use - aa....aa.

aa....aa：クライアント ID

説明

すでにシステムに存在しているクライアント ID をセットしようとしたときに発生します。

対処

ユニークなクライアント ID を指定してください。

KDAN10054-E

Invalid client ID - aa....aa.

aa....aa：クライアント ID

説明

クライアント ID に対して無効な値を指定しようとしたときに発生します。

対処

妥当なクライアント ID を指定してください。

KDAN10055-E

Cannot set client ID, invalid state.

説明

コネクションが，コネクションの作成後に最初の動作としてクライアント ID を設定しない場合に発生します。

対処

クライアント ID を設定しないでください。

KDAN10056-E

Session in conflict. Concurrent operations on a session.

説明

複数のスレッドでセッションへの同時アクセスの場合に発生します。

対処

セッションに対して複数の動作の同時発生を避けてください。

KDAN10057-E

Received goodbye message from broker.

説明

ブローカーとの接続が失われた場合に発生します。

対処

CJMSP が起動されていることを確認してください。

KDAN10059-E

Cannot acknowledge message for closed consumer.

説明

メッセージの処理中にコンシューマーがクローズされた場合に発生します。

対処

メッセージの処理中にコンシューマーがクローズされていないことを確認してください。

KDAN10060-E

Cannot perform operation on a closed session.

説明

クライアントがクローズされたセッションに対して動作をしようとしたときに発生します。

対処

クローズされたセッションに対して動作をしないでください。

KDAN10062-E

Connection recovery failed, cannot recover connection.

説明

クライアントが関連づいている接続コンシューマーを持つ接続を復活しようとしたときに発生します。

対処

コネクションのリストアの前に，コネクションコンシューマーがクローズされていることを確認してください。

KDAN10063-E

Cannot perform operation, connection is closed.

説明

クライアントがクローズされたコネクションに対して動作をしようとしたときに発生します。

対処

クローズされたコネクションに対して動作をしないでください。

KDAN10064-E

Cannot perform operation, consumer is closed.

説明

クライアントがクローズされたコンシューマーに対して動作をしようとしたときに発生します。

対処

クローズされたコンシューマーに対して動作をしないでください。

KDAN10065-E

Cannot perform operation, producer is closed.

説明

クライアントがクローズされたプロデューサに対して動作をしようとしたときに発生します。

対処

クローズされたプロデューサに対して動作をしないでください。

KDAN10067-E

Invalid or empty Durable Subscription Name used: aa....aa.

aa....aa：デュアラブルサブスクライバ名

説明

クライアントがデュアラブルサブスクライバー名に対して null または無効な値をセットしたときに発生します。

対処

有効なデュアラブルサブスクライバー名を指定してください。

KDAN10068-E

Invalid session acknowledgement mode: aa....aa.

aa....aa：確認応答モード

説明

クライアントが無効な確認応答モードでセッションを作成しようとしたときに発生します。

対処

確認応答モードが次のどれかであることを確認してください。

AUTO_ACKNOWLEDGE，CLIENT_ACKNOWLEDGE，DUPS_OK_ACKNOWLEDGE

KDAN10069-E

Invalid Destination Classname: aa....aa.

aa....aa：送信先クラス名

説明

クライアントが無効なタイプの送信先を作成しようとしたときに発生します。

対処

送信先タイプは"QUEUE"または"TOPIC"であることを確認してください。

KDAN10070-E

Cannot perform commit or rollback on an XASession.

説明

クライアントが，Transaction Manager によって管理されているトランザクションに対してコミットやロールバックをしようとしたときに発生します。

対処

XASession に対してコミットやロールバックをしないようにしてください。

KDAN10072-E

Invalid method in this messaging domain: aa....aa.

aa....aa：メソッド名

説明

1. Point To Point ドメインで Publish/Subscribe ドメイン専用の動作をしようとした場合に発生します。
2. Publish/Subscribe ドメインで Point To Point ドメイン専用の動作をしようとした場合に発生します。

対処

適切なドメイン専用の動作をするようにしてください。

KDAN10073-E

Illegal property name - "" or null.

説明

クライアントがプロパティ名に null または空白の値をセットしようとしたときに発生します。

対処

有効なプロパティ名を指定するようにしてください。

KDAN10074-E

A JMS destination limit was reached. Too many Subscribers/Receivers for aa....aa : bb....bb.

aa....aa：送信先タイプ

bb....bb：送信先名

説明

JMS 送信先が自分のリミットに達成したときに発生します。

対処

JMS 送信先のリミットを増やすか，または不要なサブスクライバやレシーバを削除してください。

KDAN10077-E

Client does not have permission to create producer on destination: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

クライアントがプロデューサを作成するための権限がない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10078-E

Client is not authorized to create destination: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

クライアントが送信先を作成するための権限がない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10079-E

Client is unauthorized to send to destination: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

クライアントが送信先に対してメッセージをプロデュースする権限がない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10080-E

Client does not have permission to register a consumer on the destination: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

クライアントが送信先からメッセージをコンシュームする権限がない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10081-E

Client does not have permission to delete consumer: aa....aa.

aa....aa：コンシューマー

説明

クライアントが送信先からコンシューマーを削除する権限がない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10082-E

Client does not have permission to unsubscribe: aa....aa.

aa....aa：デュアラブルサブスクライバ名

説明

クライアントが指定されたデュアラブルサブスクライバをアンサブスクライブするための権限がない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10083-E

Client is not authorized to access destination: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

アプリケーションクライアントが指定された送信先をアクセスする権限がありません。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10084-E

Client does not have permission to browse destination: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

アプリケーションクライアントが指定された送信先をブラウズする権限がありません。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10086-E

Delete consumer failed. Consumer was not found: aa....aa.

aa....aa：コンシューマー

説明

クライアントが存在しないコンシューマーを削除しようとしたときに発生します。

対処

削除する前にコンシューマーが CJMSP に存在することを確認してください。

KDAN10087-E

Unsubscribe failed. Subscriber was not found: aa....aa.

aa....aa：サブスクライバ

説明

クライアントが CJMSP に存在しないデュアラブルサブスクライバをアンサブスクライブしようとしたときに発生します。

対処

指定されたサブスクライバが CJMSP に存在することを確認してください。

KDAN10088-E

Set Client ID operation failed. Invalid Client ID: aa....aa.

aa....aa：クライアント ID

説明

クライアントがコネクション用に無効なクライアント ID を指定したときに発生します。

対処

コネクション用に有効なクライアント ID を指定してください。

KDAN10089-E

A JMS destination limit was reached. Too many producers for aa....aa : bb....bb.

aa....aa：送信文字列

bb....bb：送信先名

説明

プロデューサ作成時に送信先のプロデューサ数が上限に達した場合に発生します。

対処

送信先の最大プロデューサ数の上限を増やしてください。

KDAN10090-E

Caught JVM Error: aa....aa.

aa....aa：元原因例外メッセージ

説明

JVM がクラッシュしたときに発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10091-E

Invalid port number. Broker is not available or may be paused or quiesced: aa....aa.

aa....aa：ホスト名，ポート番号

説明

JVM 内で例外が起こった場合に発生します。

対処

ブローカーがリクエストに対応するポートの番号を指定するようにしてください。

KDAN10094-E

Received wrong packet type. Expected: aa....aa, but received: bb....bb.

aa....aa：受信する必要があるパケットタイプ

bb....bb：受信されたパケットタイプ

説明

メッセージの処理が失敗した場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10095-E

The destination this message was sent to could not be found: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

クライアントが CJMSP に存在しない送信先へメッセージを送信しようとしたときに発生します。

対処

メッセージを送信する前に該当送信先が存在することを確認してください。

KDAN10096-E

Message exceeds the single message size limit for the broker or destination: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

クライアントが最大サイズを超えたメッセージを送信しようとしたときに発生します。

対処

送信先の最大メッセージサイズの上限を増やしてください。

KDAN10097-E

Destination is full and is rejecting new messages: aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

- クライアントが送信先に対して最大リミット以上に，プロデューサやコンシューマーを作成しようとした場合に発生します。
- ブローカーの JVM ヒープサイズを超えた場合に発生します。

対処

- 送信先のメッセージの最大リミットを増やしてください。
- CJMSP－ブローカーの JVM ヒープサイズを増やしてください。

KDAN10099-E

Unknown broker service: aa....aa.

aa....aa：サービス名

説明

クライアントが，サポートされていないサービスを使用しようとしたときに発生します。

対処

指定したサービスがサポートされているか確認してください。

KDAN10115-E

Bad imqAddressListBehavior value : aa....aa.

aa....aa：imqAddressListBehavior プロパティの値

説明

指定された imqAddressListBehavior プロパティ値が無効な場合に発生します。

対処

imqAddressListBehavior プロパティを指定しなでください。

KDAN10116-E

ConnectionRecover aborted!

説明

切断されたコネクションのリカバリを停止しようとしたときに発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10117-E

Timeout on ConnectionRecover object. Broker: aa....aa.

aa....aa：最後にやり取りしたブローカーのアドレス

説明

最大待ち時間を超えた場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10118-E

Exception caught when reading portmapper.

説明

- ソケット作成時に I/O エラーが発生します。
- 不明なホスト名を指定されています。

対処

妥当なホスト名アドレスを指定してください。

KDAN10119-E

Name MUST NOT be null or empty.

説明

指定された Name が null または空白ストリングの場合に発生します。

対処

妥当な Name を指定してください。

KDAN10123-E

JVM Error. Message Queue is null. Create time:aa....aa duration: bb....bb.

aa....aa：作成日時

bb....bb：現在日時と作成日時の差異

説明

指定された送信先が null の場合に JVM エラーが発生します。

対処

送信先の名前の指定が適切であることを確認してください。

KDAN10129-E

Exception thrown closing session. Reason : aa....aa

aa....aa：エラーの理由

説明

セッションクローズ時の内部エラーが発生しました。

対処

エラー理由を見て措置してください。

KDAN10130-E

Exception thrown when exiting a connection. Reason : aa....aa

aa....aa：エラーの理由

説明

- コンシューマーのコネクションクローズが失敗したときに発生しました。
- セッションクローズが失敗したときに発生しました。

対処

エラー理由を見て措置してください。

KDAN10131-E

Connection recover failed. Reason : aa....aa

aa....aa：エラーの理由

説明

- コネクションと関連したアクティブな一時送信先で発生しました。
- セッション処理で発生しました。
- 未確認応答メッセージがクライアント確認応答で発生しました。

対処

エラー理由を見て措置してください。

KDAN10132-E

JMSException thrown when recreate the consumer. Reason : aa....aa

aa....aa：エラーの理由

説明

- セッション間のメッセージ送出を止めることができないときに発生しました。
- コンシューマーキューをクリーンにするか，削除できないときに発生しました。
- ブローカーにコンシューマーステートを登録することができないときに発生しました。

対処

エラー理由を見て措置してください。

KDAN10133-E

Internal error : aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

エラーメッセージの内容を見て措置してください。

KDAN10134-E

JMSException thrown while starting direct MessageConsumer.

説明

接続ができないときに発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10135-E

JMSException thrown while creating direct MessageConsumer.

説明

- コネクションを開始できないときに発生しました。
- セッションが作成できないときに発生しました。
- コンシューマーを作成できないときに発生しました。
- コンシューマーに directMessageListener を設定できないときに発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN10136-E

Exception delivering message aa....aa.

aa....aa：エラーメッセージ

説明

メッセージを Session から配信するときにエラーが発生しました。

対処

エラーメッセージの内容を見て措置してください。

KDAN10137-E

Exception creating Endpoint:aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

directMessageListener の新しいインスタンスを作成するときにエラーが発生しました。

対処

エラーメッセージの内容を見て措置してください。

KDAN10138-E

Invalid destination name - "" or null.

説明

指定された送信先が無効であるか NULL 文字である時に発生しました。

対処

指定された送信先が無効な文字列や NULL 文字でないことを確認してください。

KDAN10139-E

Throw JMS Exception: aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

JMS エラーが発生しました。

対処

エラーメッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10140-E

EndpointConsumer got Exception aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

ExceptionListener インターフェースの onException メソッドを呼ぶときに発生しました。

対処

エラーメッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10141-E

ResourceAdapter endpointActivation() Failed due to aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

メッセージコンシューマーの開始時にエラーが発生しました。

対処

エラーメッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10142-E

ResourceAdapter onException Reconnect unsuccessfull on loop # aa....aa Exception = bb....bb

aa....aa：繰り返し回数

bb....bb：エラーメッセージ

説明

RA が再接続できないときに発生しました。

対処

エラーメッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10143-E

Connection closed due to broker crashed: aa....aa.

aa....aa：秒数

説明

ブローカーのクラッシュ時に発生しました。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10144-E

Connection closed. The connection is closed due to the broker is not responsive: aa....aa.

aa....aa：秒数

説明

ブローカーが無応答の時に発生しました。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10145-E

Connection closed. The connection is closed due to a
network problem, broker crashed, or internal error: aa....aa.

aa....aa：秒数

説明

- クライアント実行時にブローカーとの接続が切れるときに発生します。
- ネットワーク上の問題が発生したか，ブローカーがクラッシュしたときに発生します。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10146-E

Connection closed due to broker error: aa....aa.

aa....aa：秒数

説明

Out Of Memory が発生したときに発生します。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10147-E

Connection reconnect to the broker failed: aa....aa.

aa....aa：秒数

説明

クライアント実行時にブローカーとの接続のリトライ時に発生します。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10148-E

EndpointConsumer Unable to re-establish connection for aa....aa in bb....bb

aa....aa：Activation Spec 名

bb....bb：リソースアダプタ名

説明

end point コンシューマーが再接続できないときに発生します。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10149-E

ResourceAdapter endpointActivation() JMSRA not started : Aborting...

説明

リソースアダプタが開始されていないときに発生しました。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10150-E

ResourceAdapter endpointDeactivation() JMSRA not started. Aborting...

説明

リソースアダプタが開始されていないときに発生しました。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10151-E

ResourceAdapter endpointDeactivation : Ignoring : Not found Activation Spec aa....aa

aa....aa：Activation Spec 名

説明

メッセージコンシューマーを停止したときに発生しました。

対処

エラーログの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN10152-E

Caused by aa....aa

aa....aa：例外メッセージ

説明

JMSException が発生した場合に発生します。

対処

例外メッセージの内容を見て措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN12001-W

Received unknown packet:

説明

クライアントランタイムが認識できないメッセージパケットを受信したときに発生します。ネットワークの変動が原因である可能性があります。

対処

ネットワークが安定していることを確認してください。

KDAN12002-W

packet not processed, no message consumer: aa....aa.

aa....aa：パケット情報

説明

受信通知の受信時に，クライアントランタイムが予期せぬメッセージパケットを受信した場合に発生します。ネットワークの変動が原因である可能性があります。

対処

ネットワークが安定していることを確認してください。

KDAN12003-W

Failed to close JMSXAConnection.

説明

クライアントが XAConnection を停止した場合に発生します。原因としては次のことが考えられます。

- CJMSP がシャットダウンされていること
- ネットワーク障害

対処

- CJMSP が起動中であることを確認してください。
- ネットワーク接続を正しいかどうかを確認してください。

KDAN12004-W

Broker not responding [aa....aa] for bb....bb seconds. Still trying...cc....cc

aa....aa：パケット種別

bb....bb：経過時間

cc....cc：ブローカーアドレス,コネクション id , クライアント id,コンシューマ id

説明

ブローカーより表示された時間が経過してもレスポンスがない場合に発生します。原因としては次のことが考えられます。

- CJMSP がシャットダウンされていること
- ネットワーク障害

対処

- CJMSP が起動中であることを確認してください。
- ネットワーク接続を正しいか否かを確認してください。

KDAN12005-W

[Informational]: aa....aa

aa....aa：パケットの内容

説明

パケット送信後の応答が一定時間ない時に発生します。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN12006-W

transaction is not in prepared state: aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

トランザクションが準備状態でないときに発生します。

対処

トランザクションが準備状態にあることを確認してください。

KDAN12009-W

Caught JVM Exception: aa....aa.

aa....aa：エラー情報

説明

クライアント実行中にエラーが発生したときに発生します。

対処

メッセージをチェックし，それに従って対応するか，または保守員に連絡してください。

KDAN14001-I

Connection closing in aa....aa seconds (bb....bb milliseconds): cc....cc

aa....aa：残り時間（秒単位）

bb....bb：残り時間（ミリ秒単位）

cc....cc：ブローカーアドレス

説明

コネクションのクローズ時に発生します。

KDAN14002-I

Connection closed due to admin requested shutdown: aa....aa

aa....aa：残り時間（秒単位）

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

KDAN14003-I

Connection closed due to admin requested restart: aa....aa

aa....aa：残り時間（秒単位）

説明

アドミンからのブローカーの再起動要求時に発生します。

KDAN14005-I

Connection closed due to admin killed the connection: aa....aa

aa....aa：残り時間（秒単位）

説明

アドミンがコネクションを Kill した際に発生します。

KDAN14009-I

Connection reconnected to the broker: aa....aa

aa....aa：残り時間（秒単位）

説明

クライアントランタイムがブローカーと再接続しようとしたときに発生します。

KDAN14011-I

Connection is permanent broken: aa....aa

aa....aa：残り時間（秒単位）

説明

コネクションの終了時に発生します。

KDAN14012-I

Broker address list changed: aa....aa

aa....aa：残り時間（秒単位）

説明

アドレスリストに一つでもブローカーアドレスが存在する場合に発生します。

KDAN14013-I

Connection created: aa....aa

aa....aa：接続タイプ

説明

コネクション作成時に発生します。

KDAN14014-I

Connection closed: aa....aa

aa....aa：コネクション種別

説明

アプリケーションによってコネクションがクローズされた場合に発生します。

KDAN14016-I

PAUSED MESSAGE DELIVERY FOR: aa....aa

aa....aa：フロー制御エントリ

説明

メッセージデリバリの一時停止時に発生します。

KDAN14017-I

RESUME MESSAGE DELIVERY FOR: aa....aa

aa....aa：フロー制御エントリ

説明

メッセージデリバリの再開時に発生します。

KDAN14018-I

Inbound Packet: aa....aa;bb....bb

aa....aa：パケット

bb....bb：コネクション

説明

パケットの読み込み時に発生します。

KDAN14019-I

Outbound Packet:aa....aa;bb....bb

aa....aa：パケット

bb....bb：コネクション

説明

パケットの書き込み時に発生します。

KDAN14020-I

Connection recover state: aa....aa, broker: bb....bb

aa....aa：リカバー状態

bb....bb：最後に接続されたブローカーのアドレス

説明

コネクションのリカバリ時に発生します。

KDAN14021-I

Received MOVED_PERMANENTLY status from broker: aa....aa, Redirecting to broker: bb....bb

aa....aa：最後に接続されたブローカーのアドレス

bb....bb：JMQ ストア所有者

説明

ほかのブローカーへリダイレクトする際に発生します。

KDAN14022-I

Received TIME_OUT status from broker: aa....aa

aa....aa：最後に接続されたブローカーのアドレス

説明

ブローカーからタイムアウトステータスを受信した時に発生します。

KDAN14026-I

Session created: aa....aa

aa....aa：セッション

説明

セッションの作成時に発生します。

KDAN14027-I

Session closed: aa....aa

aa....aa：セッション

説明

セッションのクローズ時に発生します。

KDAN14028-I

Message consumer created: aa....aa

aa....aa：メッセージコンシューマー

説明

メッセージコンシューマーの作成時に発生します。

KDAN14029-I

Message consumer closed: aa....aa

aa....aa：メッセージコンシューマー

説明

メッセージコンシューマーのクローズ時に発生します。

KDAN14030-I

Message delivered to consumer: aa....aa

aa....aa：メッセージコンシューマー

説明

コンシューマーへのメッセージのデリバリ時に発生します。

KDAN14031-I

Message producer created: aa....aa

aa....aa：メッセージプロデューサ

説明

メッセージプロデューサの作成時に発生します。

KDAN14032-I

Message producer closed: aa....aa

aa....aa：メッセージプロデューサ

説明

メッセージプロデューサのクローズ時に発生します。

KDAN14033-I

Message producer sending message: aa....aa

aa....aa：メッセージプロデューサ

説明

送信先へのメッセージの送信時に発生します。

KDAN14097-I

Re-creating consumers for the session: aa....aa

aa....aa：セッション id

説明

指定された応答確認タイプが AUTO_ACKNOWLEDGE の場合，リモートブローカーが失敗したときに発生します。

KDAN14098-I

Consumers recreated for the session: aa....aa

aa....aa：セッション id

説明

指定された応答確認タイプが AUTO_ACKNOWLEDGE の場合，リモートブローカーが失敗したときに発生します。

KDAN14103-I

Re-create message consumer for RA starting ...

説明

リソースアダプタ用にメッセージコンシューマーを再作成する前に発生します。

KDAN14104-I

Re-create message consumer for RA finished ...

説明

リソースアダプタ用にメッセージコンシューマーを再作成した後に発生します。

KDAN14107-I

Starting to exit connection ...

説明

コネクションのクローズ前に発生します。

KDAN14108-I

Message consumer closed: aa....aa.

aa....aa：コンシューマー id

説明

メッセージコンシューマーのクローズ後に発生します。

KDAN14109-I

all sessions closed ...

説明

すべてのセッションのクローズ後に発生します。

KDAN14110-I

closing all sessions ...

説明

すべてのセッションのクローズ前に発生します。

KDAN14111-I

***** set logger aa....aa to level bb....bb

aa....aa：ロガー名

bb....bb：レベル

説明

ロギングコンフィグレーションの設定時，ログレベルを設定するときに発生します。

KDAN14112-I

**** Handler: aa....aa

aa....aa：ハンドラクラス名

説明

ロギングコンフィグレーションの設定時，ログハンドラクラス名を表示するときに発生します。

KDAN14113-I

**** logging pattern: aa....aa

aa....aa：ロギングパターンの値

説明

ロギングコンフィグレーションの設定時，ロギングパターンを表示するときに発生します。

KDAN14114-I

*** setting formatter to handler: aa....aa

aa....aa：formatter クラス名

説明

ロギングコンフィグレーションの設定時，formatter クラスを表示するときに発生します。

KDAN14115-I

***** set handler aa....aa to loggerbb....bb

aa....aa：ハンドラクラス名

bb....bb：ロガー名

説明

ロガーへのハンドラの設定後に発生します。

KDAN14116-I

No consumer for pkt: aa....aa.

aa....aa：パケット

説明

メッセージ送信時に発生します。

KDAN14117-I

No Session for pkt: aa....aa.

aa....aa：パケット

説明

メッセージ送信時に発生します。

KDAN14118-I

closing session. consumer table size: aa....aa.

aa....aa：コンシューマー数

説明

セッションのクローズ時に発生します。

KDAN14119-I

***** consumer table size:aa....aa.

aa....aa：コンシューマー数

説明

セッションのクローズ時に発生します。

KDAN14120-I

SessionImpl.matchConsumerIDs: Consumer ID matches:aa....aa.

aa....aa：コンシューマー id

説明

リモートブローカーが失敗した際に発生します。

KDAN14121-I

XA verifyPrepare(), jmqXid: aa....aa.

aa....aa：jmqXid

説明

準備ステータスの確認時に発生します。

KDAN14122-I

transaction in prepared state: aa....aa.

aa....aa：トランザクション id

説明

準備ステータスの確認時に発生します。

KDAN14125-I

read packet ... aa....aa

aa....aa：パケット

説明

パケットの読み込み時に発生します。

KDAN14126-I

sent packet ... aa....aa

aa....aa：パケット

説明

パケットの書き込み時に発生します。

KDAN14127-I

Cleaning up consumers in session. SessionID: aa....aa

aa....aa：セッション id

説明

セッションをクローズする際にコンシューマーのクリーンアップ時に発生します。

KDAN14128-I

RedirectURL= aa....aa:

aa....aa：コネクションリダイレクト URL

説明

リダイレクトの URL を設定するときに発生します。

KDAN14129-I

transaction is in prepred state,committing the transaction: aa....aa:

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクションが準備された状態の場合に発生します。

KDAN14130-I

prepared transaction committed successfully: aa....aa:

aa....aa：トランザクション id

説明

準備された状態のトランザクションがコミットされるときに発生します。

KDAN20001-E

Could not open persistent message store.

説明

永続ストアをアクセスしようとしたときに CJMSP にてエラーが発生しました。永続化に使用するファイルが破損しているか，または，構成されたファイルが存在しません。

対処

再度，操作を行ってください。問題が解決されない場合は，ブローカーを再起動してください。

KDAN20002-E

Defaulting to use the fallback properties. The Broker will only run in a minimal configuration using these settings. Fallback properties are being used because the defaults.property files could not be loaded. Please check the value of CJMSP_HOME.

説明

CJMSP が default.properties ファイルを見つけることができなかった場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20003-E

Unable to load Persistence Store implementation class aa....aa.

Instance properties cannot be loaded or saved.

aa....aa：永続化を行うクラスの名前

説明

CJMSP が永続化を行う Persistence Store クラスをロードしようとしたときにエラーが発生しました。考えられる原因は，CJMSP 関連の JAR ファイルがクラスパスに存在しないことです。

対処

クラスパスが CJMSP 関連 JAR ファイルを指していることを確認してください。

問題が解決されない場合は，内部エラーの可能性があるため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20004-E

Unable to store modified properties in file aa....aa.

aa....aa：config.properties ファイルのロケーション

説明

CJMSP がコンフィグレーションファイルを更新しようとしたときに発生します。考えられる原因は，コンフィグレーションファイルが読み込み専用になっていることです。

対処

コンフィグレーションファイルが該当ユーザに対して書き込み権限を持つことを確認してください。

KDAN20005-E

No threads are available to process a new connection on service aa....aa. bb....bb threads out of a maximum of cc....cc threads are already in use by other connections. A minimum of 2 threads must be available to process the connection. Please either limit the # of connections or increase the imq.<service>.max_threads property. Closing the new connection.

aa....aa：サービス名

bb....bb：実行中のスレッド数

cc....cc：最大スレッド数

説明

あるサービスに対して CJMSP へのコネクション数が設定された最大コネクション数を超えた場合に発生します。

対処

- imq.<service_name>.max_threads プロパティに予想される以上のコネクション数の値をセットしてください。
- CJMSP へのほかのコネクションがクローズされるおそれがあるので，しばらくしてから再度接続してください。

KDAN20007-E

Failed to open persistent store.

説明

CJMSP が永続化を行う Persistence Store クラスをロードしようとしたときにエラーが発生しました。考えられる原因は，CJMSP 関連の JAR ファイルがクラスパスに存在しないことです。

対処

クラスパスが CJMSP 関連 JAR ファイルを指していることを確認してください。

問題が解決されない場合は，内部エラーの可能性があるため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20008-E

Message aa....aa on destination bb....bb could not be found in the store.

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：送信先名

説明

CJMSP が永続化ストアに存在しない ID を使用してメッセージを取得, 削除や更新しようとしたときに発生します。

対処

永続化ストアにメッセージが存在していることを確認してください。

KDAN20009-E

Message aa....aa on destination bb....bb exists in the store already.

aa....aa：JMS メッセージのシステムメッセージ id

bb....bb：送信先名

説明

すべてのエラーメッセージが CJMSP によって自動生成されるユニーク ID を持ちます。

このエラーは，CJMSP のメッセージ ID ジェネレータがすでにある ID を生成した場合に発生します。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20010-E

Unable to start service aa....aa.

aa....aa：サービス名

説明

CJMSP ブローカーを開始しようとしたときに発生します。考えられる原因は，必要となるコンフィグレーションがないことです。

対処

CJMSP マニュアルを参照して，必要となるコンフィグレーション情報を config.properties ファイルに指定してください。

問題が解決されない場合は，保守員に問い合わせてください。

KDAN20011-E

Consumer aa....aa on destination bb....bb exists in the store already.

aa....aa：ユニークコンシューマー ID

bb....bb：送信先名

説明

すべてのコンシューマーが CJMSP によって自動生成されるユニーク ID を持ちます。

このエラーは，CJMSP のコンシューマー ID ジェネレータがすでにある ID を生成した場合に発生します。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20012-E

Consumer aa....aa on destination bb....bb could not be found in the store.

aa....aa：コンシューマーのユニーク ID

bb....bb：送信先名

説明

CJMSP が永続化ストアに存在しない ID を使用してコンシューマーを取得, 削除や更新しようとしたときに発生します。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20013-E

Destination aa....aa exists in the store already.

aa....aa：送信先名

説明

ユーザがすでにある名前で送信先を作成しようとしたときに発生します。

対処

作成する送信先名が CJMSP に存在していないことを確認してください。ユニークな送信先名を指定してください。

KDAN20014-E

Destination aa....aa could not be found in the store.

aa....aa：送信先名

説明

CJMSP に，指定された名前の送信先が存在しない場合に発生します。

対処

CJMSP に，指定された名前の送信先が存在することを確認してください。

KDAN20015-E

State of consumer aa....aa for message bb....bb could not be found in the store.

aa....aa：コンシューマー ID

bb....bb：メッセージ ID

説明

CJMSP が永続化ストアに存在しないコンシューマーの状態情報を取得しようとしたときに発生します。

対処

永続化ストアにコンシューマーが存在していることを確認してください。

KDAN20016-E

Transaction id aa....aa exists in the store already.

aa....aa：トランザクション id

説明

CJMSP が永続化ストアにトランザクション情報を保存しようとしたときに発生します。考えられる原因は，CJMSP で生成されたトランザクション ID が永続化ストアにすでに存在することです。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20017-E

Transaction id aa....aa could not be found in the store.

aa....aa：トランザクション id

説明

CJMSP がトランザクション情報を取得，削除や更新しようとしたときに発生します。考えられる原因は，永続化ストアに該当トランザクション ID が存在しないことです。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20018-E

Failed to create the store hierarchy - aa....aa

aa....aa：作成するディレクトリ

説明

ファイル永続化ストア用のファイル作成時に，CJMSP がディレクトリの作成に失敗したときに発生します。考えられる原因は，ユーザが該当ディレクトリへ書き込み権限を持っていないことです。

対処

ユーザがディレクトリ作成用の権限を持つことを確認してください。

KDAN20019-E

Unable to run the service aa....aa, the broker will no longer accept connections on this service.

aa....aa：サービス名

説明

CJMSP ブローカーを開始しようとしたときに発生します。考えられる原因は，必要となるコンフィグレーションがないことです。

対処

CJMSP マニュアルを参照して，必要となるコンフィグレーション情報を config.properties ファイルに指定してください。

問題が解決されない場合は，保守員に問い合わせてください。

KDAN20023-E

Could not run the service aa....aa on port bb....bb:

aa....aa：サービス名

bb....bb：ポート番号

説明

指定されたポートが無効な場合，または，該当ポートが使用中の場合に発生します。

対処

別のポート番号を設定してブローカーを再起動してください。指定されたポート番号が使用中でないことを確認してください。

KDAN20025-E

Failed to load JDBC driver: aa....aa

aa....aa：JDBC ドライバ URL

説明

指定された JDBC URL が無効な場合，または，指定されたクラスパスが JDBC ドライバ JAR ファイルを参照していない場合に発生します。

対処

クラスパスに JDBC ドライバ JAR ファイルが指定されていることを確認してください。

KDAN20032-E

Bad name value pair specified (aa....aa) for option: bb....bb.Please use the format: name=value

aa....aa：使用された不正な名前／値ペア

bb....bb：使用されたオプション

説明

コマンドラインオプションに指定された名前や値が null の場合に発生します。

対処

有効な名前／値ペアを指定してください。

KDAN20035-E

Error detected while validating command line options.

説明

指定されたロケーションにパスファイルが見つかりません。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20042-E

Internal Error

説明

CJMSP 内に予期しないエラーが発生しました。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20048-E

User aa....aa already exists in the password file.

aa....aa：存在するユーザ名

説明

ユーザ情報を追加時に，CJMSP インスタンスの"etc"ロケーションにすでに存在するユーザ名を指定したときに発生します（例：cjmsusermgr add -u guest -p guest）。

対処

ユニークなユーザ名を指定してください。

KDAN20055-E

Invalid option aa....aa

aa....aa：コマンドラインオプション

説明

無効なコマンドライン引数が渡されたときに発生します。

対処

有効なコマンドラインオプションを指定してください。

KDAN20058-E

Acknowledgement aa....aa for Transaction id bb....bb already exists in the store.

aa....aa：応答確認

bb....bb：トランザクション id

説明

CJMSP が永続化ストアにトランザクションの応答確認を永続しようとしたときに発生します。考えられる原因は，永続化ストアに該当トランザクション用の応答確認がすでに存在していることです。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20060-E

Exception when pausing service aa....aa

aa....aa：サービス

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20062-E

Could not start the Broker's portmapper service because hostname/port is invalid.

説明

- 該当ポートがほかのアプリケーション（ブローカーのほかのインスタンス）ですでに使用中の場合に発生します。
- ホスト名が無効の場合に発生します。

対処

- 別のポート番号を指定してブローカーを再起動してください。指定されたポート番号が使用中でないことを確認してください。
- 有効なホスト名を指定してください。

KDAN20063-E

Portmapper got an exception in accept(). Continuing

説明

クライアントコネクションを待機中に I/O エラーが発生しました。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN20064-E

Portmapper could not create ServerSocket. Exiting.

説明

サーバソケットの作成時に予期しないエラーが発生しました。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20066-E

Invalid timestamp specified (aa....aa), timestamp should be greater than 0.

aa....aa：タイムスタンプ

説明

コンフィグレーションファイルに指定されたタイムスタンプが無効な場合に発生します。

対処

コンフィグレーションファイルに指定するタイムスタンプ値は 0 以上であることを確認してください。

KDAN20075-E

The message aa....aa has an associated acknowledgement list already.

aa....aa：メッセージ用のユニーク ID

説明

すべてのメッセージがコンシューマリストに関連づいています。このエラーは，CJMSP が，ファイル／JDBC ストアに，指定されたコンシューマリストおよびその状態を指定されたメッセージ ID に該当するように保存するときに発生します。

考えられる原因は，生成されたメッセージ ID がすでに存在することです。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20076-E

The arrays for consumer ids and states have different size or are empty.

説明

指定されたコンシューマーおよびその状態を保存しようとしたときに発生します。

- コンシューマーがストアに存在しない場合
- コンシューマー id と状態が異なるサイズになっている場合

対処

コンシューマーがストアに存在することを確認してください。

KDAN20077-E

The broker got an exception when trying to acquire the lock file:aa....aa,bb....bb

The lock file may be corrupted, or there may be a permission problem with the lock file or the directory that contains the lock file.If you are certain no other copy of the broker is running with the instance name "cc....cc" then you may remove the lock file and try starting the broker again.

aa....aa：ロックファイルパス

bb....bb：例外の詳細メッセージ

cc....cc：インスタンス名

説明

ロックファイルが破損しているか，該当ロックファイルやそれを格納しているディレクトリに権限の問題がある場合に発生します。

対処

該当インスタンス名で別のブローカーのコピーが実行中でないことが確実にわかっている場合は，該当ロックファイルを削除してブローカーを再起動してください。

KDAN20078-E

The broker has detected an active lock file: aa....aa This file indicates that there is another copy of the broker running on bb....bb that is also using the instance name "cc....cc".Please use a different instance name or terminate the broker on bb....bb.

aa....aa：ロックファイルパス

bb....bb：ホスト:ポート

cc....cc：インスタンス名

説明

ブローカーインスタンスを開始または削除時に発生します。考えられる原因は次のとおりです。

- 別のポートで同じブローカーインスタンスがすでに実行中の場合
- 削除しようとしたブローカーが稼働中である場合

対処

- ブローカーインスタンスをスタートする前に，そのブローカーインスタンスがすでに稼働中でないことを確認してください。稼働中の場合は，それを停止して再度スタートしてください。
- ブローカーインスタンスを停止してからそれを削除するようにしてください。

KDAN20079-E

Cannot update port number in lock file

説明

ロックファイルでホスト名やポートを更新する際に I/O エラーが発生しました。

対処

ロックファイルの権限が適切であることを確認してください。

KDAN20085-E

Unexpected Broker Internal Error : [aa....aa].

aa....aa：内部エラーの理由

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20086-E

Error retrieving persisted data

説明

CJMSP が永続化ストアから送信先情報をロードしようとしたときに発生します。考えられる原因は次のとおりです。

- ファイルベースの永続化の場合は，ファイルが破損しているか，または，見つからない場合に発生します。
- データベースベースの永続化の場合は，テーブルが破損しているか，または，作成されていない場合に発生します。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20087-E

Store method accessed after the store is closed.

説明

永続化ストアがクローズしている状態で永続化ストアに情報を保存しようとしたときに発生します。

対処

永続化ストアがクローズしていないことを確認してください。

KDAN20091-E

Attempt to free memory failed, taking more drastic measures.

説明

CJMSP にて，ハンドラが受信したパケットの処理時に，OutofMemory エラーが発生しました。考えられる原因は以下のとおりです。

- CJMSP に割り当てられたメモリやディスク容量が不十分な場合
- CJMSP ブローカーの JVM ヒープサイズが超えた場合

対処

CJMSP が適切なメモリおよびディスク容量で構成されていることを確認してください。

メモリおよびディスク容量構成の詳細は，CJMSP マニュアルを参照してください。

CJMSP ブローカーの JVM ヒープサイズを増加してください。

KDAN20093-E

Cannot update service port number dynamically.The change will take effect after a broker restart.

説明

サービスの更新時に内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20097-E

No such transaction: aa....aa.

aa....aa：トランザクション id

説明

CJMSP が永続化ストアからトランザクション情報を取得しようとしたときに発生します。考えられる原因は，永続化ストアに該当トランザクション ID が存在しないことです。

対処

操作を再実行してください。問題が解決されない場合，保守員に問い合わせてください。

KDAN20098-E

Cannot perform operation. Transaction aa....aa is not in PREPARED state.

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクションが PREPARED 状態にない状態で，ユーザがトランザクションをコミットしようとしたときに発生します。

対処

コミットする前にトランザクションがスタートされていることを確認してください。

KDAN20099-E

File aa....aa contains bad file magic number.

aa....aa：ファイル名

説明

"configrecord"ファイルのマジック番号が定義済みのマジック番号と一致しない場合に発生します。ファイルが破損しているおそれがあります。

対処

内部エラーが発生しました。保守員に問い合わせてください。

KDAN20100-E

Failed to reset store, cannot remove: aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

該当ファイルは削除権限がありません。

対処

ファイルの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20101-E

Failed to encrypt password: aa....aa

aa....aa：例外文字列

説明

ユーザ情報の追加／更新時，パスワードの暗号化ができなかった場合に発生します。

対処

適切な暗号化方法を使用してください。

KDAN20102-E

The broker instance "aa....aa" does not exist.

aa....aa：インスタンス名

説明

ブローカーをスタートするときに無効なブローカーインスタンスが指定された場合に発生します。

対処

指定されたブローカーインスタンス名が有効であることを確認してください。

KDAN20103-E

Failed to remove file store: aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

該当ファイルは削除権限がありません。

対処

ファイル，ディレクトリが削除権限を持っていることを確認してください。

KDAN20107-E

Old persistent store might be corrupted: found unexpected version aa....aa. Expected bb....bb.

aa....aa：ファイルバージョン

bb....bb：バージョン

説明

旧バージョンのファイルが破損しており，パースできる整数を含んでいません。

KDAN20108-E

Old persistent store might be corrupted: no version file aa....aa exists.

aa....aa：バージョンファイル名

説明

旧バージョンファイルが存在しません。

対処

旧バージョンファイルが存在することを確認してください。

KDAN20109-E

No table schema specified for table aa....aa by imq.persist.jdbc.table.aa....aa

aa....aa：データベーステーブル名

説明

JDBC ストア用に，CJMSP にサポートされていないデータベースが使用されている場合に発生します。

対処

CJMSP にサポートされているデータベースを指定・使用してください。

KDAN20110-E

Unknown destination bb....bb of type aa....aa.

aa....aa：送信先タイプ

bb....bb：送信先名

説明

情報取得時や送信先の削除時に，該当送信先が CJMSP に存在しない場合に発生します。

対処

CJMSP に存在する有効な送信先を指定してください。

KDAN20111-E

Unsupported persistent store found at aa....aa.

aa....aa：ディレクトリパス名

説明

CJMSP インスタンス永続化ストアにサポートされていないストアが見つかりました（例：ファイルストア"fs370"および"fs360"という名前のディレクトリが作成された）。

対処

CJMSP インスタンスファイルストアロケーションからサポートされていない永続化ストア（ディレクトリ）を削除してください。

KDAN20112-E

No such connection: aa....aa

aa....aa：コネクション識別子

説明

コネクションの破棄時，または，コネクション情報の取得時に，CJMSP で該当コネクションが見つからない場合に発生します。

対処

適切なコネクションを指定してください。

KDAN20116-E

Destination is not paused.

説明

圧縮したい送信先が一時停止されていない場合に発生します。

対処

圧縮する前に，送信先を一時停止してください。

KDAN20117-E

Some destinations are not paused.

説明

すべての送信先を圧縮する際，一部の送信先が一時停止されていないときに発生します。

対処

すべての送信先を一時停止してから圧縮操作を行ってください。

KDAN20119-E

The broker instance "aa....aa" does not exist. Run the broker to create the instance before using the user manager utility.

aa....aa：インスタンス名

説明

ユーザマネージャ（cjmsusermgr）コマンドラインユーティリティを実行時にブローカーインスタンスが存在しない場合に発生します。

対処

CJMSP を起動してインスタンスを作成してください。

KDAN20120-E

Unable to parse property aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティファイルで互換性のないデータタイプ値が指定された場合に発生します。

対処

プロパティファイルで適切なデータタイプ値を指定してください。

KDAN20122-E

Unable to use CJMS_VAR_HOME aa....aa.

aa....aa：パスが使用できない理由

説明

CJMSP ホームに不正なディレクトリパスが指定された場合に発生します。

対処

CJMSP ホームディレクトリのパスが正しいであることを確認してください。

KDAN20125-E

Broker is forcibly closing the connection to aa....aa.

aa....aa：is コネクション id

説明

CJMSP とクライアント間の通信時に OutofMemory エラーが発生しました。

対処

CJMSP と新規コネクションを作成してください。

KDAN20126-E

Unable to read message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

- 無効な送信先が指定されています。
- 無効なメッセージ ID が指定されています。

対処

有効な送信先を指定していることを確認してください。

KDAN20127-E

Unable to remove message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

- メッセージの削除時にエラーが発生しました。
- メッセージが永続化ストアに見つかりませんでした。

対処

永続化ストアにメッセージが存在していることを確認してください。

KDAN20128-E

Unable to load durable subscriptions

説明

送信先のロード時に次のエラーが発生しました。

- すべてのコンシューマーを取得できませんでした。

- CJMSP から送信先を取得できませんでした。
- 送信先にコンシューマーを追加できませんでした。

対処

CJMSP を再起動します。または，保守員に問い合わせてください。

KDAN20129-E

Unable to store durable subcription aa....aa bb....bb for destination cc....cc.

aa....aa：デュアラブルサブスクライバ名

bb....bb：クライアント id

cc....cc：送信先名

説明

デュアラブルサブスクライバの保存中に次のエラーが発生しました。

- ストアに同じ id を持つコンシューマーがすでに存在します。
- コンシューマーを永続する際に I/O エラーが発生しました。

対処

ストアに同じ id を持つコンシューマーがすでに存在しないことを確認してください。

KDAN20130-E

Unable to remove durable subcription aa....aa bb....bb from destination cc....cc.

aa....aa：デュアラブルサブスクライバ名

bb....bb：クライアント id

cc....cc：送信先名

説明

デュアラブルサブスクライバの削除時に次のエラーが発生しました。

- ストアにコンシューマーが見つかりませんでした。
- コンシューマーを削除時に I/O エラーが発生しました。

対処

指定されたコンシューマーがストアに存在することを確認してください。

KDAN20131-E

Unable to create durable subcription aa....aa bb....bb from destination cc....cc.

aa....aa：デュアラブルサブスクライバ名

bb....bb：クライアント id

cc....cc：送信先名

説明

デュアラブルサブスクライバの保存中に次のエラーが発生しました。

- ストアに同じ id を持つコンシューマーがすでに存在します。
- コンシューマーを永続する際に I/O エラーが発生しました。

対処

ストアに同じ id を持つコンシューマーがすでに存在しないことを確認してください。

KDAN20132-E

Unable to resolve hostname "aa....aa"

aa....aa：IP アドレスに変換できなかったホスト名

説明

無効なホスト名が指定されました。

対処

ブローカーインスタンス用に有効なホスト名を指定してください。

KDAN20133-E

Unable to resolve hostname "aa....aa" specified by property "bb....bb"

aa....aa：ホスト名

bb....bb：プロパティ名

説明

config.properties で, portmapper ホスト名として無効なホスト名が指定された場合に発生します。この場合は，CJMSP が終了します。

対処

portmapper ホスト名に有効なホスト名を指定してください。

KDAN20134-E

Unable to resolve local hostname

説明

ローカルマシンに IP アドレスが見つかりませんでした。

対処

ローカルマシンが IP アドレスを持つことを確認してください。

KDAN20135-E

Invalid Java version: aa....aa. Minimum Java version required: bb....bb.

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：メッセージ id

説明

1.4 より古い JRE バージョンがインストールされています。この場合は，CJMSP は使用できません。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20138-E

Cannot create address URL for broker. URL string used: aa....aa

aa....aa：文字列/url

説明

config.properties ファイルに指定されたホスト名値が無効な場合に発生します。

対処

有効なホスト名値を指定してください。

KDAN20142-E

The portmapper service got an exception processing a request from client aa....aa. The client may need to attempt the connection again

aa....aa：IP アドレス

説明

portmapper データを書き込み時に次のエラーが発生しました。

- ソケットがクローズされています。
- 指定された DataOutputStream に portmapper データを書き込み中に I/O エラーが発生しました。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- I/O デバイス/ドライバーが動作しているか確認してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

KDAN20158-E

Unable to shutdown a broker that is running in process.

説明

メッセージ処理中に CJMSP がシャットダウンされた場合に発生します。

対処

メッセージ処理が終わってから CJMSP をシャットダウンしてください。

KDAN20159-E

Failed to create transaction log file aa....aa.

aa....aa：ファイル名

説明

ログライターを作成する時に I/O エラーが発生しました。

対処

ルートディレクトリの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20160-E

Unable to process transaction log record with sequence aa....aa: bb....bb.

aa....aa：シーケンス値

bb....bb：レコードタイプ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20162-E

Failed to reconstruct persistence store from transaction log files.

説明

トランザクションのログファイルから永続化ストアの復元をしている時に I/O エラーが発生しました。

対処

ファイルベースの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20164-E

Failed to purge messages on destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

送信先をパージする際に発生します。考えられる原因は次のとおりです。

- ストアに該当送信先が存在しません。
- メッセージの削除時に I/O エラーが発生しました。

対処

ストアに該当送信先が存在することを確認してください。

KDAN20165-E

Unable to open protocol bb....bb for cc....cc service using aa....aa.

aa....aa：プロトコルクラス

bb....bb：プロトコルタイプ

cc....cc：インスタンス名

説明

1. 指定されたポートがほかのアプリケーションですでに使用中の場合に発生します。
2. 無効なホスト名が指定された場合に発生します。

対処

1. 同じポート番号がほかのアプリケーションに使用されないようにしてください。
2. 有効なホスト名を指定してください。

KDAN20166-E

aa....aa protocol unavailable: cannot load protocol class needed for service bb....bb.

aa....aa：プロトコルのクラス

bb....bb：サービスの名前

説明

サービスの作成時に無効なプロトコルクラス名が指定された場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20167-E

Unable to start service aa....aa: missing property bb....bb.

aa....aa：サービス名

bb....bb：プロパティ名

説明

プロトコルタイプのプロパティの値に null を指定した場合に発生します。

対処

プロトコルタイプのプロパティに有効な値を指定しているか確認してください。

KDAN20168-E

Failed to persist message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

- メッセージに関連するファイルは書き込み権限がありません。
- メッセージに関連するファイルが破損しています。

対処

- メッセージを保管するファイルに書き込み権限を与えてください。
- ブローカーを再実行してください。この場合は，古いデータが失われます。

KDAN20169-E

Failed to retrieve message aa....aa for destination bb....bb.

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：送信先名

説明

永続化ストアからメッセージの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN20171-E

Unable to unsubscribe to durable topic aa....aa with [Durable Name, Client ID] = [bb....bb, cc....cc]: consumer is in use.

aa....aa：送信先名

bb....bb：サブスクライバー名

cc....cc：クライアント id

説明

コンシューマーに使用中の永続化サブスクライバーをアンサブスクライブしようとしたときに発生します。

対処

コンシューマーが指定した永続化サブスクライバーを使用していないことを確認してください。

KDAN20172-E

Failed to persist consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマー id

説明

- メッセージのファイルストアが書き込み権限がありません。
- メッセージのファイルストアが破損しています。
- ストアに同じ名前のコンシューマーがすでに存在します。
- コンシューマー id で識別されるコンシューマーの保存時に実行時例外が発生しました。

対処

- メッセージを保存するファイルストアに書き込み権限を与えてください。
- CJMSP を再起動してください。この場合は，古いデータが失われます。

KDAN20174-E

Failed to persist destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

- ファイルでアクセスエラーが発生しました。
- データが破損しています。
- 永続化ストアに送信先を保存しようとしたときに実行時例外が発生しました。
- 永続化ストアの送信先を更新しようとしたときに実行時例外が発生しました。

対処

ファイルベースの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20175-E

Failed to persist state of consumer aa....aa for message bb....bb.

aa....aa：コンシューマー id
bb....bb：メッセージ id

説明

- 指定されたメッセージが永続化ストアに存在しません。
- コンシューマーがメッセージに関連づいていません。
- ファイルでアクセスエラーが発生しました。
- データが破損しています。

対処

- CJMSP を再起動してください。この場合は，古いデータが失われます。
- ファイルベースの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20176-E

Could not locate destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

指定された送信先がストアに存在しない場合に発生します。

対処

指定された送信先がストアに存在することを確認してください。

KDAN20177-E

Failed to persist transaction aa....aa.

aa....aa：トランザクション id

説明

- ファイルでアクセスエラーが発生しました。
- データが破損しています。
- 永続化ストアにトランザクションを保存しようとしたときに実行時例外が発生しました。
- 永続化ストアのトランザクションを更新しようとしたときに実行時例外が発生しました。

対処

ファイルの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20178-E

while reading from passfile

説明

- ユーザ情報に関連するファイルは読み込み権限がありません。
- ファイルが破損しています。

対処

- ユーザ情報に関連するファイルに読み込み権限を与えてください。
- CJMSP を再起動してください。この場合は，古いデータが失われます。

KDAN20179-E

The Maximum Number of messages currently in the system [aa....aa] has been exceeded, rejecting message bb....bb.

aa....aa：最大メッセージ数

bb....bb：メッセージ id

説明

最大メッセージ数の上限を超えた場合に発生します。

対処

最大メッセージ数の上限を増やしてください。

KDAN20180-E

The Maximum Size limit for the messages currently in the system [aa....aa] has been exceeded, rejecting message bb....bb.

aa....aa：システム id

bb....bb：メッセージ id

説明

最大総メッセージサイズの上限を超えた場合に発生します。

対処

最大総メッセージサイズの上限を増やしてください。

KDAN20181-E

The size [aa....aa bytes] of Message bb....bb is larger than the individual message limit (maxBytesPerMsg) of cc....cc bytes, rejecting the message.

aa....aa：最大メッセージサイズ

bb....bb：メッセージ id

cc....cc：最大バイト数／メッセージ

説明

メッセージサイズがシステムに定義されている個別メッセージリミットを超えた場合に発生します。

対処

- 個別メッセージのサイズを増加してください。
- 制限なしのメッセージサイズを指定してください。

KDAN20182-E

Invalid property value: aa....aa = bb....bb.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

- プロパティ値が指定されていない場合に発生します。
- 無効なプロパティ値が指定された場合に発生します。
- プロパティ値がパース可能な整数を有さない場合に発生します。

対処

有効なプロパティ値を指定してください。

KDAN20183-E

Invalid property: aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

無効なプロパティ名が指定された場合に発生します。

対処

有効はプロパティ名を指定してください。

KDAN20184-E

Failed to load destinations from store.

説明

永続化ストアから送信先の取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- I/O デバイス/ドライバーが動作しているか確認してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

KDAN20185-E

Failed to load transactions from store.

説明

永続化ストアからトランザクションの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- I/O デバイス/ドライバーが動作しているか確認してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

KDAN20187-E

Failed to remove consumer aa....aa from store.

aa....aa：コンシューマー id

説明

- ファイルでアクセスエラーが発生しました。
- データが破損しています。
- コンシューマーを永続化ストアから削除する際に実行時エラーが発生しました。

対処

ファイルの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20188-E

Failed to load consumers from store.

説明

- ブローカー起動時に不正な varhome のロケーションを指定した場合に発生します。
- 永続化ストアからコンシューマーの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

varhome のロケーションに指定した値が適切であることを確認してください。

KDAN20194-E

Connection not authenticated.

説明

接続が認証されない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20196-E

Access Control class not defined for type aa....aa.

aa....aa：アクセス制御タイプ

説明

アクセス制御クラスが指定されていない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20202-E

aa....aa is not an administrator

aa....aa：ユーザ名

説明

指定されたユーザは管理者権限がありません。

対処

該当ユーザは管理者権限があることを確認してください。

KDAN20203-E

Failed to load transaction acknowledgements from store.

説明

永続化ストアからトランザクション応答確認の取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN20204-E

Failed to clear the transaction acknowledgement file: aa....aa.

aa....aa：ファイル名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20205-E

Failed to persist acknowledgement aa....aa for transaction bb....bb.

aa....aa：応答確認

bb....bb：トランザクション id

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20206-E

No such service: aa....aa.

aa....aa：サービス名

説明

不正なサービス名を指定した場合に発生します。

対処

指定したサービス名が適切であることを確認してください。

KDAN20207-E

Unable to unsubscribe to consumer with a durable name of aa....aa and a client id of bb....bb - consumer does not exist.

aa....aa：デュアラブル名

bb....bb：コンシューマー名

説明

すでに破棄されているコンシューマーをアンサブスクライブしようとした場合に発生します。

対処

コンシューマーがすでにアンサブスクライブされていない場合だけ，アンサブスクライブしてください。

KDAN20209-E

Failed to remove acknowledgements for transaction aa....aa.

aa....aa：トランザクション id

説明

指定されたトランザクション id のすべての応答確認を削除するときに実行時例外が発生しました。

対処

ログファイルを確認した上で，適切な措置をしてください。

KDAN20210-E

Cannot use Transaction ID aa....aa : ID is currently in use.

aa....aa：トランザクション id

説明

指定されたトランザクション id がすでに存在しており，使用中の場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20211-E

Error storing information associated with Transaction aa....aa : data may be lost if the broker exits before the transaction completed.

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクションに関連する情報を保存している時にファイルが適切な権限を持っていない場合に発生します。

対処

ファイルベースの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20212-E

Cannot create Destination aa....aa - the destination already exists.

aa....aa：送信先名

説明

すでに存在する送信先を再度作成しようとしたときに発生します。

対処

送信先にユニークな名前を指定してください。

KDAN20215-E

Forbidden authenticated name aa....aa from service bb....bb[cc....cc] on administration destination.

aa....aa：プリンシパル名

bb....bb：サービス名

cc....cc：サービスタイプ

説明

- 非アドミンサービスが送信先にアクセスしようとしたときに発生します。
- 制限されたアドミンサービスが送信先にアクセスしようとしたときに発生します。

対処

- 送信先にアクセスするには ADMIN サービスを使用してください。
- 送信先にアクセスするためのアクセスを ADMIN サービスに与えてください。

KDAN20221-E

Failed to load configuration change records from store.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20222-E

Failed to persist configuration change record with timestamp aa....aa.

aa....aa：タイムスタンプ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20223-E

No properties modified for service: aa....aa.

aa....aa：サービス名

説明

指定したポート番号が不正です。

対処

指定した数値が正しいことを確認してください。

KDAN20224-E

Unable to destroy destination: aa....aa, because bb....bb

aa....aa：送信先名

bb....bb：エラーの原因

説明

- 指定された送信先がデッドメッセージキューであり，デッドメッセージキューは削除できません。
- 送信先が存在しません。
- 無効な送信先 id が指定されました。

対処

- 送信先がデッドメッセージキューでないことを確認してください。
- 有効な送信先を指定してください。

KDAN20225-E

The Destination of aa....aa contains invalid characters.

aa....aa：JMQ 送信先の情報

説明

指定された送信名が無効な文字を含んでいます。

対処

有効な送信先名を指定してください。

KDAN20226-E

Could not resume service: aa....aa, because bb....bb

aa....aa：送信先名

bb....bb：例外メッセージ

説明

- 無効なサービス名が指定されました。
- サービスが一時停止／再開できませんでした。

対処

有効なサービス名を指定していることを確認してください。

KDAN20227-E

Durable subscription aa....aa:bb....bb is already active on destination cc....cc.

aa....aa：デュアラブル名

bb....bb：クライアント id

cc....cc：送信先 id

説明

指定されたデュアラブルサブスクライバーが送信先ですでにアクティブです。

対処

ユニークなデュアラブルサブスクライバーを作成してください。

KDAN20228-E

Failed to clear all records from configuration change record tables.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20232-E

Access non-administration destination aa....aa denied for restricted administration service bb....bb.

aa....aa：送信先名

bb....bb：サービス名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20234-E

Failed to persist consumer list for message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20235-E

Cannot remove lock file.

説明

ソケット作成時に I/O エラーが発生しました。ロックファイルを削除できませんでした。

対処

ロックファイルの権限とネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN20236-E

Failed to load message aa....aa from store.

aa....aa：メッセージ id

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20237-E

Connection logged out.

説明

- 無効な認証タイプが指定されました。
- 認証プロトコルハンドラが指定されていません。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20238-E

Invalid client ID aa....aa.

aa....aa：クライアントから送信されたクライアント ID

説明

- コネクションコンシューマ作成時にクライアント id が null になっています。
- クライアント ID 設定時にクライアント ID が null または空白になっています。

対処

有効なクライアント ID 値を指定してください（null や空白を除く）。

KDAN20239-E

Minimum threads aa....aa greater than maximum threads bb....bb.

aa....aa：最小スレッド値

bb....bb：最大スレッド値

説明

最小スレッド値が最大スレッド値より大きい場合に発生します。

対処

最小スレッド値が常に最大スレッド値より小さいことを確認してください。

KDAN20240-E

Failed to persist property aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティ更新時に内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20241-E

Failed to load properties from store.

説明

- ファイルからプロパティ情報を取得時にアクセスエラーが発生しました。
- データが破損しています。

対処

ファイルの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20242-E

Verification of persistent store version failed with exception.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20243-E

Unable to set thread values to min=aa....aa max=bb....bb.

aa....aa：最小値

bb....bb：最大値

説明

最大スレッド値より大きい最小スレッド値を設定しようとしたときに発生します。

対処

最小スレッド値が最大スレッド値より小さいことを確認してください。

KDAN20244-E

Unexpected Broker Exception: [aa....aa].

aa....aa：例外メッセージ

説明

ブローカー内部エラーの理由で例外が発生しました。

対処

ログファイルを確認した上で，適切な措置をしてください。

KDAN20245-E

Cannot store message aa....aa on destination bb....bb. The message limit (maxNumMsgs) of cc....cc has been reached.

aa....aa：sysmsgid

bb....bb：送信先名

cc....cc：リミット

説明

送信先のメッセージ数が最大値を超えている場合に発生します。

対処

送信先の最大メッセージ数を増加してください。

KDAN20246-E

Cannot store message aa....aa on destination bb....bb. The byte limit (maxTotalMsgBytes) of cc....cc bytes has been reached.

aa....aa：sysmsgid

bb....bb：送信先名

cc....cc：リミット

説明

送信先の総メッセージバイトサイズが最大値を超えた場合に発生します。

対処

送信先の総メッセージバイト数を増加してください。

KDAN20247-E

Cannot store message aa....aa on destination bb....bb. The message size of cc....cc bytes is larger than the individual message byte limit (maxBytesPerMsg) of dd....dd bytes.

aa....aa：sysmsgid

bb....bb：送信先名

cc....cc：リミット

dd....dd：超えた値

説明

メッセージサイズが個別メッセージの最大サイズ（バイト数リミット）を超えた場合に発生します。

対処

送信先の個別メッセージサイズを増加してください。

KDAN20254-E

Port number conflict. Please use different port numbers for TCP and HTTP services.

説明

指定されたポート番号が使用中である場合に発生します。

対処

ユニークなポート番号を指定してください。

KDAN20256-E

Cannot add durable consumer aa....aa. No ClientID was set on connection.

aa....aa：コンシューマー ID

説明

コンシューマーの作成時にコネクションに対してクライアント ID が設定されていない場合に発生します。

対処

コネクションに対して有効なクライアント ID を設定してください。

KDAN20257-E

The thread pool maximum for service aa....aa cannot be set to bb....bb.

aa....aa：サービス名

bb....bb：最大スレッド数

説明

最大スレッド数が 0（ゼロ）に設定されている場合に発生します。

対処

最大スレッド数を 0（ゼロ）より大きい値に設定してください。

KDAN20260-E

Failed to clear transactions that are not in state aa....aa, all transactions will be cleared.

aa....aa：除外するトランザクションの状態

説明

指定された状態にないすべてのトランザクションのクリア時にランタイム例外が発生しました。

対処

詳細はログファイルを参照し，対策を施してください。

KDAN20261-E

Broker is shutting down.

説明

CJMSP のシャットダウン中に CJMSP に対して操作をした場合に発生します。

対処

CJMSP が実行中であることを確認してください。

KDAN20262-E

Failed to upgrade configuration change record.

説明

コンフィギュレーション変更レコードのアップグレード時に I/O エラーが発生します。

対処

ファイルが適切なアクセス権限を有することを確認してください。

KDAN20263-E

Failed to parse message from a VRecord for destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20264-E

Failed to remove destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20265-E

Failed to load messages for destination aa....aa from store.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20266-E

Failed to release message directory aa....aa for destination bb....bb.

aa....aa：ディレクトリ名

bb....bb：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20267-E

Failed to load message directory aa....aa for destination bb....bb.

aa....aa：ディレクトリ名

bb....bb：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20268-E

Got exception while reading packet size from file aa....aa.

aa....aa：ファイル名

説明

レコードの読み込み時に I/O エラーが発生しました。

対処

ファイルはプロパティ権限があり，破損していないことを確認してください。

KDAN20269-E

Resetting messages failed; failed to remove all files in aa....aa.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20273-E

Failed to upgrade messages.

説明

旧ストアからメッセージをアップグレードする際，I/O エラーが発生しました。

対処

メッセージストアが適切な権限を有することを確認してください。

KDAN20274-E

Failed to upgrade properties from aa....aa to bb....bb.

aa....aa：旧ファイル

bb....bb：バッキングファイル

説明

旧ストアからプロパティをアップグレードする際，I/O エラーが発生しました。

対処

メッセージストアが適切な権限を有することを確認してください。

KDAN20275-E

Failed to upgrade durables from aa....aa to bb....bb.

aa....aa：旧ファイル

bb....bb：バッキングファイル

説明

旧ストアからコンシューマーをアップグレードする際，I/O エラーが発生しました。

対処

メッセージストアが適切な権限を有することを確認してください。

KDAN20276-E

Failed to upgrade transaction acknowledgement from aa....aa to bb....bb.

aa....aa：旧ファイル

bb....bb：バッキングファイル

説明

旧ストアからトランザクションの確認応答をアップグレードする際，I/O エラーが発生しました。

対処

メッセージストアが適切な権限を有することを確認してください。

KDAN20277-E

Failed to upgrade transactions from aa....aa to bb....bb.

aa....aa：旧ファイル

bb....bb：バッキングファイル

説明

旧ストアからトランザクションをアップグレードする際，I/O エラーが発生しました。

対処

メッセージストアが適切な権限を有することを確認してください。

KDAN20278-E

Failed to upgrade destinations from aa....aa to bb....bb.

aa....aa：旧ファイル

bb....bb：バッキングファイル

説明

旧ストアから送信先をアップグレードする際，I/O エラーが発生しました。

対処

メッセージストアが適切な権限を有することを確認してください。

KDAN20279-E

Failed to load configuration change records from old store aa....aa.

aa....aa：旧ファイル

説明

旧ストアからコンフィギュレーション変更レコードを更新する際，I/O エラーが発生しました。

対処

永続化ストアの権限が適切かどうか確認してください。

KDAN20280-E

Could not compact destinations, because aa....aa

aa....aa：例外文字列

説明

"cjmsicmd compact dst"コマンドを使用し，送信先を圧縮する際，送信先が一時停止されていません。

対処

圧縮する前（"cjmsicmd pause dst"コマンドを使用する前）にすべての送信先を一時停止してください。

KDAN20281-E

Could not compact destination: aa....aa, because bb....bb

aa....aa：送信先名

bb....bb：例外文字列

説明

"cjmsicmd compact dst -n <destination name> -t <destination type>"コマンドを使用し，単一送信先を圧縮する際，その送信先が一時停止されていません。

対処

圧縮する前（"cjmsicmd pause dst -n <destination name> -t <destination type>"コマンドを使用する前）に該当送信先を一時停止してください。

KDAN20292-E

The following destination cannot be created: aa....aa.Destination names starting with "bb....bb" are reserved for internal Message Queue use. They cannot be created administratively.

aa....aa：送信先名

bb....bb：内部送信先名の接頭辞（例：mq)

説明

送信先を作成する際，送信先名が"mq."から始まる場合，送信先が作成されません。

対処

送信先名が "mq.(dot)"から始まらないように注意してください。

KDAN20293-E

Cannot create property file aa....aa.

aa....aa：プロパティファイル

説明

properties ファイルの作成に指定されたパスが誤っている場合に発生します。

対処

var ディレクトリパスが有効であることを確認してください。

KDAN20294-E

Max Producer Count for aa....aa cannot be set to 0.

aa....aa：送信先名

説明

キュー・トピック送信先の最大プロデューサ数が 0（ゼロ）に設定されています。

対処

送信先の最大プロデューサ数が 0（ゼロ）より大きな値に設定されていることを確認してください。

KDAN20295-E

Max Consumer Count for aa....aa cannot be set to 0.

aa....aa：送信先名

説明

キュー送信先の最大コンシューマ数が 0（ゼロ）に設定されています。

対処

送信先の最大コンシューマ数が 0（ゼロ）より大きな値に設定されていることを確認してください。

KDAN20296-E

Support for feature aa....aa is unavailable on destination bb....bb, please upgrade to the Enterprise Edition to enable this feature.

aa....aa：送信先の監視

bb....bb：送信先名

説明

- 送信先の監視機能が有効になっていません。
- ローカルでない送信先がローカル送信先のスコープを使用しようとしています。
- 無効な最大アクティブコンシューマ数が指定されています。
- 無効な最大アクティブバックアップコンシューマ数が指定されています。

対処

- 送信先の監視機能を有効にしてください。
- 有効な送信先スコープを指定してください。
- 有効な最大アクティブコンシューマ数を指定してください。
- 有効な最大アクティブバックアップコンシューマ数を指定してください。

KDAN20298-E

Consumer cannot be added to destination aa....aa, limit of bb....bb consumers would be exceeded.

aa....aa：送信先

bb....bb：最大コンシューマ数

説明

CJMSP 内送信先で，制限値を超過した数のコンシューマを作成しようとした場合に発生します。

対処

- 処理が終了しているコンシューマを終了してください。
- 送信先に該当する最大コンシューマ数を増加させてください。

KDAN20299-E

Producer cannot be added to destination aa....aa, limit of bb....bb producers would be exceeded.

aa....aa：送信先

bb....bb：最大プロデューサ数

説明

CJMSP 内送信先で，制限値を超過した数のプロデューサを作成しようとした場合に発生します。

対処

- 処理が終了しているプロデューサを終了してください。
- 送信先に該当する最大プロデューサ数を増加させてください。

KDAN20300-E

Producers are not allowed to produce messages to a monitoring destinations aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

デッドメッセージキューに対してメッセージを作成しようとした場合に発生します。

対処

デッドメッセージキュー用にプロデューサを作成できません。別の送信先を指定してください。

KDAN20301-E

Autocreation of bb....bb destinations is not allowed, destination aa....aa must be administratively created before it can be monitored.

aa....aa：送信先名

bb....bb：送信先種別

説明

imq.autocreate.queue プロパティまたは imq.autocreate.topic プロパティの指定値が false です。

対処

imq.autocreate.queue プロパティまたは imq.autocreate.topic プロパティの値を true に設定してください。

KDAN20303-E

Failed to move message aa....aa from destination bb....bb to destination cc....cc.

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：ソース送信先

cc....cc：ターゲット送信先

説明

旧送信先からのメッセージの移動に失敗しました。

対処

旧ストアの権限が適切であることを確認してください。

KDAN20304-E

The size [aa....aa bytes] of packet bb....bb is larger than the individual packet limit of cc....cc bytes, rejecting packet.

aa....aa：パケットサイズ

bb....bb：パケット

cc....cc：最大パケットサイズ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20305-E

The useDMQ attribute cannot be changed on the Dead Message Queue.

説明

デッドメッセージキューの属性の変更時に"Use Dead Message Queue"オプションが選択されている場合に発生します。

対処

デッドメッセージキューの"Use Dead Message Queue"属性が変更できません。

KDAN20306-E

Dead Message retains on its original destination.

説明

デッドメッセージキューにメッセージを配置する際，問題が発生しました。

対処

保守員にお問い合わせください。

KDAN20307-E

FLOW_CONTROL is not a legal behavior for the Dead Message Queue.

説明

デッドメッセージキューの限界で動作が FLOW_CONTROL に設定されています。

対処

FLOW_CONTROL 限界動作がデッドメッセージキューに適用されません。これは制限事項です。次の有効な限界動作を指定してください。

- REMOVE_OLDEST
- REJECT_NEWEST
- REMOVE_LOW_PRIORITY

KDAN20308-E

Number of Producers cannot be changed on the Dead Message Queue.

説明

デッドメッセージキューのプロデューサ数が 0（ゼロ）からほかの整数値に変更された場合に発生します。

対処

デッドメッセージキュー用のプロデューサを作成できません。別の送信先を指定してください。

KDAN20309-E

The Dead Message Queue cannot be destroyed.

説明

"cjmsicmd destroy dst -n <送信先名> -t <送信先種別>"を使用し, デッドメッセージキューを破棄しようとした場合に発生します。

対処

デッドメッセージキューが CJMSP の内部処理に使用されるため，削除できません。

KDAN20310-E

Failed to load a destination.

説明

送信先に該当するファイルストア内のファイルが破損している場合に発生します。

対処

CJMSP を再起動してください。新送信先ファイルが作成されますが，旧送信先データが失われます。

KDAN20311-E

Failed to load a consumer.

説明

コンシューマーに該当するファイルストア内のファイルが破損している場合に発生します。

対処

CJMSP を再起動してください。新コンシューマーファイルが作成されますが，旧コンシューマーデータが失われます。

KDAN20312-E

Failed to load a property.

説明

プロパティに該当するファイルストア内のファイルが破損している場合に発生します。

対処

CJMSP を再起動してください。新プロパティファイルが作成されますが，旧プロパティデータが失われます。

KDAN20313-E

Failed to load a transaction.

説明

トランザクションに該当するファイルストア内のファイルが破損している場合に発生します。

対処

CJMSP を再起動してください。新トランザクションファイルが作成されますが，旧トランザクションデータが失われます。

KDAN20314-E

Failed to load a transaction acknowledgement.

説明

トランザクション確認応答に該当するファイルストア内のファイルが破損している場合に発生します。

対処

CJMSP を再起動してください。新トランザクション確認応答ファイルが作成されますが，旧トランザクション確認応答データが失われます。

KDAN20315-E

Failed to load a destination from the old store.

説明

旧ストアから送信先をロードする際，エラーが発生しました。

対処

旧ストアの権限が適切であることを確認してください。

KDAN20316-E

Failed to load a consumer from the old store.

説明

旧ストアからコンシューマーをロードする際，エラーが発生しました。

対処

旧ストアの権限が適切であることを確認してください。

KDAN20317-E

Failed to load a property from the old store.

説明

旧ストアからプロパティをロードする際，エラーが発生しました。

対処

旧ストアの権限が適切であることを確認してください。

KDAN20318-E

Failed to load a transaction from the old store.

説明

旧ストアからトランザクションをロードする際，エラーが発生しました。

対処

旧ストアの権限が適切であることを確認してください。

KDAN20319-E

Failed to load a transaction acknowledgement from the old store.

説明

旧ストアからトランザクション確認応答をロードする際，エラーが発生しました。

対処

旧ストアの権限が適切であることを確認してください。

KDAN20320-E

Failed to reestablish database connection to aa....aa.

aa....aa：データベース URL

説明

コネクションプールにあるすでに終了されたアイドルコネクションに対して新たにコネクションを作成しようとしたとき，データベースエラーが発生しました。

対処

データベース接続が正常であることを確認してください。

KDAN20321-E

Failed to attach to a consumer to shared consumer bb....bb on

topic aa....aa:number of subscribers dd....dd is at or above the limit

of cc....cc

aa....aa：送信先

bb....bb：サブスクライバ

cc....cc：最大アクティブコンシューマー集

dd....dd：作成されたサブスクライバ数

説明

作成済みコンシューマー数が所定最大値に等しい場合に発生します。

KDAN20322-E

Unable to unsubscribe to subscription with a durable name of aa....aa and a client id of bb....bb - Destination cc....cc and its associated consumers have been destroyed.

aa....aa：永続的サブスクライバー名

bb....bb：クライアント ID

cc....cc：送信先名

説明

サブスクライバー名に該当するコンシューマーがすでに削除されている場合に発生します。

対処

コンシューマーが存在することを確認してください。

KDAN20323-E

JAAS authentication configuration name index not defined.

説明

JAAS 認証名が設定されていない場合に発生します。

対処

JAAS 認証用に正当なコンフィギュレーション名を設定してください。

KDAN20324-E

Message aa....aa already exists in destination bb....bb.

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：送信先名

説明

指定されたメッセージが送信先内にすでに存在している場合に発生します。

KDAN20325-E

Unable to get loopback IP address on the system for validation of broker address aa....aa.

説明

ループバックインタフェースの IP アドレスの取得に失敗しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20327-E

Failed to load destination aa....aa from store.

aa....aa：送信先

説明

1. データベーステーブル内のデータが破損しています。
2. 送信先を取得する際，データベースエラーが発生しました。

対処

データベース接続が正常であることを確認してください。

KDAN20328-E

Failed to remove consumer states for destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

1. データベーステーブル内のデータが破損しています。
2. 送信先のコンシューマー状態を削除する際，データベースエラーが発生しました。

対処

データベース接続が正常であることを確認してください。

KDAN20330-E

Failed to load acknowledgements for transaction aa....aa.

aa....aa：トランザクション ID

説明

1. データベーステーブル内のデータが破損しています。
2. トランザクションの確認応答を取得する際，データベースエラーが発生しました。

対処

データベース接続が正常であることを確認してください。

KDAN20331-E

Failed to get message counts for broker aa....aa from database.

aa....aa：ブローカー ID

説明

- データベーステーブル内のデータが破損しています。
- CJMSP のメッセージ数を戻す際，データベースエラーが発生しました。

対処

データベース接続が正常であることを確認してください。

KDAN20333-E

Failed to remove property aa....aa from store.

aa....aa：プロパティ名

説明

- データベーステーブル内のデータが破損しています。
- プロパティを削除する際，データベースエラーが発生しました。

対処

データベース接続が正常であることを確認してください。

KDAN20335-E

Failed to load transactions for broker aa....aa from store.

aa....aa：ブローカー id

説明

- データベーステーブル内のデータが破損しています。

- データベースエラーが発生しました。

対処

データベース接続が正常であることを確認してください。

KDAN20341-E

Unable to load destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

送信先を継続的にアクセスした場合に，I/O エラーが発生しました。

対処

適切な権限を使用すればファイルストアがアクセス可能であることを確認してください。

KDAN20342-E

Cannot stop service which is not running.

説明

実行中でないサービスを停止しようとした場合に発生します。

対処

停止する前にサービスが実行中であることを確認してください。

KDAN20343-E

Cannot start service which is not paused.

説明

一時停止されていないサービスを開始しようとした場合に発生します。

対処

開始する前にサービスが一時停止されていることを確認してください。

KDAN20360-E

Acknowledgement aa....aa for bb....bb exists already.

aa....aa：確認応答

bb....bb：トランザクション ID

説明

メッセージに対する確認応答がすでに存在する場合に発生します。

対処

メッセージの確認応答が一回だけであることを確認してください。

KDAN20361-E

Connection aa....aa is closing.

aa....aa：コネクション ID

説明

非持続的コンシューマー・サブスクライバを終了するときにコネクションが切断され，破棄された場合に発生します。コンシューマーが終了されません。

対処

コンシューマーを終了する際，コネクションがオープン状態にあることを確認してください。共有のコネクションの場合，一つのスレッドがコネクションに対して操作している間に別のスレッドがコネクションを終了しないように注意してください。

KDAN20362-E

No session found for consumer aa....aa on connection bb....bb.

aa....aa：コンシューマー uid

bb....bb：コネクション uid

説明

コンシューマーの破棄時に，セッションが終了され，破棄されています。

対処

コンシューマーを終了する際，セッションがオープン状態にあることを確認してください。

KDAN20371-E

Auto-creation of destination aa....aa is not allowed on service bb....bb because service restriction cc....cc is in effect.

aa....aa：送信先名

bb....bb：サービス名

cc....cc：サービス制限

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20372-E

Creation of producer on topic aa....aa is not allowed on service bb....bb because service restriction cc....cc is in effect.

aa....aa：送信先名

bb....bb：サービス名

cc....cc：サービス制限

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20373-E

Creation of consumer on topic aa....aa is not allowed on service bb....bb because service restriction cc....cc is in effect.

aa....aa：送信先名

bb....bb：サービス名

cc....cc：サービス制限

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20381-E

Missing operator)

説明

メッセージコンシューマの作成時に無効なメッセージセレクター式（右角括弧が抜けている）が指定されました。コンシューマが作成されません。

対処

SQL92 構文を基にした有効なセレクター式を指定してください。

KDAN20382-E

Invalid Character : ','

説明

メッセージコンシューマの作成時に無効なメッセージセレクター式（BETWEEN が使用されている）が指定されました。コンシューマが作成されません。

対処

SQL92 構文を基にした有効なセレクター式を指定してください。

KDAN20383-E

Temporary destination belongs to a closed connection or another connection - aa....aa.

aa....aa：一時送信先名

説明

すでに終了されたコネクションまたはほかのコネクションの一時送信先をアクセスしようとした場合に発生します。

対処

すでに終了されたコネクションまたはほかのコネクションの一時送信先はアクセスできません。

KDAN20390-E

Unable to start Broker with an instance name of bb....bb. The instance directory aa....aa does not have the correct permissions. Exiting.

aa....aa：ブローカーの現在名

bb....bb：インスタンスディレクトリ名

説明

インスタンスディレクトリはリードまたはライトの権限がありません。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20450-E

No Destination Type was set on the command.

説明

送信先種別が指定されていません。

対処

送信先種別として q（キュー）または t（トピック）を指定してください。

KDAN20451-E

No Destination Name was set on the command.

説明

送信先名が指定されていません。

対処

妥当な送信先名を指定してください。

KDAN20452-E

Unable to create destination: aa....aa, because bb....bb

aa....aa：送信先名

bb....bb：理由

説明

1. 送信先の作成時に，ブローカーがシャットダウンされました。
2. 指定された送信先が既存でした。

対処

1. ブローカーが実行中であることを確認してください。
2. 指定された送信先がすでに存在しないことを確認してください。

KDAN20453-E

Unable to set/update attributes destination: aa....aa, because bb....bb

aa....aa：送信先名

bb....bb：例外メッセージ

説明

ストア内に指定された送信先が存在しません。

対処

ストア内に指定された送信先が存在することを確認してください。

KDAN20495-E

Broker cannot be started.

説明

次の場合に発生します。

- 指定されたインスタンス名が予約デバイス名の場合
- 指定したパスに書き込み権限がない場合
- 指定したパスが不正な場合

対処

インスタンス名を変更してください。

パスの指定が正しいことを確認してください。

KDAN20496-E

Broker cannot be started since the default services(jms/admin) are not started.

説明

jms および admin サービスが実行されていません。

対処

詳細にはエラーログファイルを参照し，jms および admin サービスが開始されるように適切な処理をしてください。

KDAN20497-E

Destination logger: Can't log to destination:aa....aa.

aa....aa：トピック送信先

説明

ログファイルへメッセージを出力する場合に発生します。考えられる原因としては次のことがあります。

- ログファイルにメッセージを書き込むときに I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20498-E

Could not get or configure logging destination aa....aa. Closing destination logger:bb....bb.

aa....aa：トピック送信先

bb....bb：例外

説明

ログファイルへメッセージを出力する場合に発生します。考えられる原因としては次のことがあります。

- ストア内に指定された送信先が存在しません。

対処

ストア内に指定された送信先が存在することを確認してください。

KDAN20499-E

Uncaught Exception in thread aa....aa.

aa....aa：スレッド

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20500-E

error with properties

説明

パケットレファレンスからプロパティを取得する際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20501-E

trying to timeout a non-TIMEOUT thread

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20502-E

attempting to destroy unknown thread aa....aa

aa....aa：ハンドラ ID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20503-E

Unexpected Exception or Error

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20504-E

loading memory manager

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20506-E

Error closing portmapper

説明

サーバソケットを終了する際，I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20507-E

assigning read for aa....aa to available thread bb....bb.

aa....aa：IMQIPConnection

bb....bb：オペレーション Runnable

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20508-E

Internal Error, unable to convert old packet.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20509-E

Requested removal of producer aa....aa which is not associated with connection bb....bb.

aa....aa：プロデューサ UID

bb....bb：コネクション UID

説明

要求されたプロデューサが現在のコネクションに関連しない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20510-E

Requested removal of session aa....aa which is not associated with connection bb....bb.

aa....aa：セッション UID

bb....bb：コネクション UID

説明

要求されたセッションが現在のコネクションに関連しない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20511-E

starting paused service aa....aa.

aa....aa：IMQ ダイレクトサービスオブジェクト

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20513-E

Cannot deliver message to aa....aa.

aa....aa：コンシューマオブジェクト

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20514-E

Cannot determine behavior from imq.packet.read.override = aa....aa not one of the valid setting [heap,direct].

aa....aa：imq.packet.read.override プロパティの値

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20515-E

Cannot determine behavior from jmq.packet.fill.override = aa....aa not one of the valid setting [heap,direct].

aa....aa：jmq.packet.fill.override プロパティの値

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20516-E

Received out of memory error trying to shutdown.

説明

JVM ヒープサイズを超えた場合に発生します。

対処

JVM ヒープサイズを増加させてください。

KDAN20517-E

Internal Error: Received unexpected exception processing connection closing connection

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20519-E

Internal error, got interrupted exception.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20520-E

Unable to allocate connection aa....aa on service bb....bb , closing

aa....aa：IMQIPConnection

bb....bb：コネクション名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20521-E

Connection going away

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20522-E

Closing destination logger.

説明

ログへメッセージを出版する際，例外が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20524-E

Address is not an IPv4 or IPv4-mapped IPv6 address.

説明

指定された IP アドレスが IPv4 アドレスではない場合に発生します。

対処

IPv4 アドレスを指定してください。

KDAN20526-E

JMSServiceReply has no return property values.

説明

JMSServiceReply の戻り値にプロパティ値がない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20527-E

JMSServiceReply is missing boolean property - aa....aa.

aa....aa：JMSServiceReply プロパティ値

説明

JMSServiceReply からブール型のプロパティを取得する際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20528-E

JMSServiceReply is missing int property - aa....aa.

aa....aa：プロパティ

説明

JMSServiceReply から int 型のプロパティを取得する際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20529-E

JMSServiceReply is missing long property - aa....aa.

aa....aa：プロパティ

説明

JMSServiceReply から long 型のプロパティを取得する際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20530-E

JMSServiceReply is missing string property - aa....aa.

aa....aa：プロパティ

説明

JMSServiceReply から string 型のプロパティを取得する際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20531-E

Cannot make a NumericValue from a aa....aa.

aa....aa：オブジェクトクラス名

説明

Number のサブクラスに属しないオブジェクトを数値にキャストしようとした場合に発生します。

対処

指定されたオブジェクトが null でない場合，Number のサブクラスに属することを確認してください。

KDAN20532-E

PropertyValueComparator: Invalid types for comparison between aa....aa and bb....bb.

aa....aa：SQL 構文 compare オブジェクト

bb....bb：SQL 構文 comparable オブジェクト

説明

無効な型比較をした場合に発生します。

対処

Compare オブジェクトおよび comparable オブジェクトは同一のタイプ（型）でなければなりません。

KDAN20533-E

Selector must evaluate to a java.lang.Boolean. Instead evaluated to a aa....aa.

aa....aa：SQL-92 式

説明

セレクター式の評価結果がブール値でない場合に発生します。

対処

セレクター式の評価結果がブール値である必要があります。

KDAN20535-E

Cannot use a static CharStream class with a non-static lexical analyzer.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部例外のため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20536-E

Ignoring invalid lexical state : aa....aa. State unchanged.

aa....aa：字句状態

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部例外のため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20537-E

The LValue for BETWEEN must be a java.lang.Number. Found aa....aa

aa....aa：SQL 文

説明

セレクター式内の BETWEEN の左辺値が数値でない場合に発生します。

対処

左辺値が数値でなければなりません。

KDAN20538-E

The START target for BETWEEN must be a numeric value. Found aa....aa

aa....aa：SQL 文

説明

セレクター式内の BETWEEN の下限値（START target）が数値でない場合に発生します。

対処

BETWEEN の下限値（START target）が数値でなければなりません。

KDAN20539-E

The LIKE target must be a string.Found aa....aa.

aa....aa：SQL パターン

説明

セレクター式内の LIKE の対象が文字列ではありません。

対処

セレクター式内の LIKE の対象が文字列でなければなりません。

KDAN20540-E

All TARGETS of a IN clause must be a String. Found a aa....aa.

aa....aa：SQL 値のリスト

説明

IN 節の対象のすべてが string（文字列）でない場合に，発生します。

対処

セレクター式内の IN 節のすべての対象が String（文字列）でなければなりません。

KDAN20541-E

Source of IN clause must be a String. Found a aa....aa.

aa....aa：SQL 式

説明

IN 節のソースが文字列でない場合に発生します。

対処

IN 節のソースが文字列でなければなりません。

KDAN20542-E

Bad packet magic number: aa....aa. Expecting: bb....bb.

aa....aa：不正パケットマジックナンバー

bb....bb：予想パケットマジックナンバー

説明

パケットのマジックナンバーが不正であるか，予想マジックナンバーに一致しない場合に発生します。

対処

保守員にお問い合わせください。

KDAN20543-E

Bad packet version number: aa....aa. Expecting: bb....bb.

aa....aa：不正パケットバージョン番号

bb....bb：予想パケットバージョン番号

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20544-E

Can't unmarshall pkt

説明

パケットのプロパティのアンマーシャリングに失敗した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20545-E

no data available

説明

パケットの読み込み中に InterruptedIOException のどれかが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20546-E

Trying to read aa....aa bytes. Already read bb....bb bytes.

aa....aa：長さ

bb....bb：数（カウント）

説明

読み込み中に EOF 例外が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20547-E

Can't marshall pkt

説明

パケットのヘッダーのマーシャリングに失敗した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20548-E

Illegal address. Hostname missing : aa....aa.

aa....aa：アドレス

説明

不正アドレスまたはホスト名が抜けている場合に発生します。

対処

有効なホスト名を指定してください。

KDAN20549-E

Illegal address. Port missing : aa....aa.

aa....aa：アドレス

説明

mqtcp または mqssl のスキーム名に対してブローカー URL の不正なポート番号を指定した場合に発生します。

対処

有効なポート番号を指定してください。

KDAN20550-E

Illegal address. Unknown address scheme : aa....aa.

aa....aa：ブローカー URL

説明

ブローカー URL に対して無効なスキーム名を指定した場合に発生します。

対処

有効なスキーム名（名称の先頭に mq）を指定してください。

KDAN20551-E

Illegal address. Bad query string : aa....aa.

aa....aa：アドレス

説明

ブローカー URL に対して無効なスキーム形式を指定した場合に発生します。

対処

有効なスキーム形式を指定してください。スキームは次のようになります。

- mq://localhost:7676/jms

KDAN20552-E

Can't read packet. Write in progress.

説明

パケットへの書き込み中に，読み込みをしようとした場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20553-E

Packet has been destroyed

説明

すでに破棄済みのパケットを読み込もうとした場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20554-E

Packet size (aa....aa) is greater than the maximum allowed packet size (bb....bb). Disgarding packet.

aa....aa：パケットサイズ

bb....bb：最大パケットサイズ

説明

許可されている最大パケットサイズより大きいサイズのパケットを読み込もうとした場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20556-E

Can't write packet. Read in progress.

説明

パケットへの読み込み中に，書き込みをしようとした場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20557-E

Unsupported version of properties serialization [aa....aa].

aa....aa：バージョン

説明

現在のバージョンが予想バージョンに一致しません。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20558-E

No buffer to write

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20559-E

Internal Error: Invalid Acknowledge Packet processing cannot notify the client aa....aa

aa....aa：パケット情報

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20560-E

Bad Sysmessage ID

説明

メッセージ ID が ID:prefix から始まらない場合に発生します。

対処

メッセージ ID が ID:prefix から始まるように注意してください。

KDAN20561-E

aa....aa: try to write integer at position bb....bb.

aa....aa：VRecordRAF 情報
bb....bb：レコードヘッダーサイズ

説明

特定の位置に整数を書き込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20562-E

aa....aa: try to read an integer from position bb....bb.

aa....aa：VRecordRAF 情報
bb....bb：レコードヘッダーサイズ

説明

特定の位置から整数（int 型）を読み込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20563-E

aa....aa: try to read a long from position bb....bb.

aa....aa：VRecordRAF 情報
bb....bb：レコードヘッダーサイズ

説明

特定の位置から long 型値を書き込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20564-E

aa....aa: try to write bb....bb bytes at position cc....cc.

aa....aa：VRecordRAF 情報
bb....bb：レコードヘッダーサイズ
cc....cc：インデックス

説明

特定の位置に複数バイトを書き込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20565-E

aa....aa: try to read bb....bb bytes from position cc....cc.

aa....aa：VRecordRAF 情報
bb....bb：レコードヘッダーサイズ
cc....cc：インデックス

説明

特定の位置から複数バイトを読み込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20566-E

aa....aa: try to position at position bb....bb.

aa....aa：VRecordRAF 情報

bb....bb：レコードヘッダーサイズ

説明

操作位置の検索時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20567-E

aa....aa: try to write a long at position bb....bb.

aa....aa：VRecordRAF 情報

bb....bb：レコードヘッダーサイズ

説明

特定の位置に long 型値を書き込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20568-E

aa....aa: try to read bb....bb bytes at position cc....cc.

aa....aa：VRecordRAF 情報

bb....bb：レコードヘッダーサイズ

cc....cc：インデックス

説明

特定の位置から複数バイトを読み込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20569-E

aa....aa: try to write a short at position bb....bb.

aa....aa：VRecordRAF 情報

bb....bb：レコードヘッダーサイズ

説明

特定の位置に short 型値を書き込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20570-E

Block size must be postive. Illegal block size: aa....aa.

aa....aa：vrfile ブロックサイズ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20571-E

Growth factor must be postive. Illegal growth factor: aa....aa.

aa....aa：成長ファクター

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20572-E

Failed to free vrecord:aa....aa:bb....bb:cc....cc.

aa....aa：バッキングファイルパス

bb....bb：Vrecord（V レコード）

cc....cc：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20573-E

aa....aaCannot compact a file of version bb....bb.

aa....aa：バッキングファイル名

bb....bb：バッキングファイルバージョン

説明

ファイルを圧縮する際，バッキングファイルバージョンが現在のバージョンとの互換性がない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20574-E

aa....aaCannot write to a file of version bb....bb.

aa....aa：バッキングファイル名

bb....bb：バッキングファイルバージョン

説明

ファイルに書き込む際，バッキングファイルバージョンが現在のバージョンとの互換性がない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20586-E

Failed to synchronize file: aa....aa.

aa....aa：バッキングファイル

説明

ディスクにデータを強引に書き込む際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20587-E

Got exception while synchronizing data to disk.

説明

データをディスク上のデータと同期させる際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20588-E

Failed to compact file: aa....aa.

aa....aa：バッキングファイル

説明

vrfile の圧縮時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20589-E

Failed to free the corrupted vrecord: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

- VRFile が破損しています。
- 不正な Vrecord の解放時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20590-E

Failed to synchronize data to disk for file: aa....aa.

aa....aa：vrfile

説明

データをディスクと同期させるときに I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20591-E

Got IOException while closing transaction log file.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20592-E

Failed to synchronize message stores.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20593-E

Failed to synchronize persistence store for transaction log checkpoint.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20597-E

Cannot access more than one stored property location.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20598-E

Cannot load property from null location.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20599-E

setProperty is not implemented, use updateProperty.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20600-E

Illegal Internal Name aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部送信名の接頭辞が mq ではありません。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20601-E

Missing type for monitoring aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20602-E

Illegal type aa....aa for monitoring. Only Metrics is valid [bb....bb].

aa....aa：種別

bb....bb：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20603-E

Missing area for monitoring aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20604-E

Bad name for broker monitoring aa....aa should be bb....bb broker.

aa....aa：送信先名

bb....bb：内部送信先名の接頭辞

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20605-E

Bad name for broker monitoring aa....aa should be bb....bb jvm.

aa....aa：送信先名

bb....bb：内部送信先名の接頭辞

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20606-E

Missing destination type or list for broker destination monitoring aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20607-E

Missing name for broker queue monitoring aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20608-E

Missing name for broker topic monitoring aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20609-E

Illegal area aa....aa for monitoring bb....bb.

aa....aa：領域（area）

bb....bb：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20610-E

Error sending metrics data.

説明

メトリックデータを出力ストリームへ書き込めない場合に発生します。原因としては，出力ストリームが正しく初期化されていないことやメトリックデータの書き込み時に何らかの IOException（IO 例外）が発生したことなどが考えられます。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20611-E

Internal Error: removing consumer aa....aa from bb....bb.

aa....aa：コンシューマー UID

bb....bb：送信先

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20612-E

Internal Error: bad stored selector[aa....aa], ignoring

aa....aa：セレクター

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20613-E

Internal Exception processing packet

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20614-E

Only Busy State Changed notifications supported on this class

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20615-E

shared clientID's not supported w/o cluster

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20616-E

Broker Internal Error: unexpected call acknowledgeMessage

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20617-E

Not Supported.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20618-E

Internal error: moving message to null targets not supported.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20619-E

Internal Error: No AckInfo for message aa....aa.

aa....aa：システムメッセージ ID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20620-E

Unable to replace already delivered message.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20621-E

Unable to replace partially acknowledged message.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20622-E

Internal Error updating properties.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20623-E

Internal Error checking ack on aa....aa for bb....bb.

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：コンシューマー UID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20624-E

Internal Error: Received Unknown ack aa....aa for message bb....bb.

aa....aa：コンシューマー UID

bb....bb：メッセージ ID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20626-E

Internal Error: received ack twice on aa....aa for bb....bb state is = cc....cc.

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：コンシューマー UID

cc....cc：コンシューマーメッセージペア

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20627-E

Error in processing ack on aa....aa for bb....bb.

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：コンシューマー UID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20628-E

Internal Error: unknown interest for getConsumed on aa....aabb....bb.

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：コンシューマー UID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20629-E

reference has been destroyed.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20630-E

Internal Error: unknown interest for consumed on aa....aabb....bb.

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：コンシューマー UID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20631-E

Internal Error: unknown interest for remove consumed on aa....aabb....bb.

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：コンシューマー UID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20632-E

Unable to process ack

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20633-E

bad value aa....aa expected integer.

aa....aa：プロパティ値

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20634-E

Max Active Consumer count cannot be 0.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20635-E

Internal Error aa....aa trying to add remote consumer to local dest.

aa....aa：送信先情報

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20636-E

Internal Error: Invalid Ack Type :aa....aa.

aa....aa：確認応答種別

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20637-E

Unable to process acknowledgement, Ignoring.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20638-E

Message Gone, unable to update state of the message aa....aa.

aa....aa：パケットレファレンス

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20639-E

Detatching consumer aa....aa not currently attached to bb....bb.

aa....aa：コンシューマー

bb....bb：セッション

説明

コンシューマーの切り離し時指定されたコンシューマーが存在しない場合に発生します。

対処

コネクションが切断されていないことを確認してください。

KDAN20640-E

Unable to clean up remote message aa....aa .

aa....aa：メッセージ情報

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20641-E

Error handling undeliverable

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20642-E

Internal error, unable to deliver aa....aa:bb....bb.

aa....aa：コンシューマー UID

bb....bb：パケットレファレンス

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20643-E

Only Busy and Not Busy types supported on this class

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20644-E

nolocal must match on all consumers.

説明

コンシューマーの追加時に例外が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20645-E

Error loading consumer exception.

説明

コンシューマーのロード時に例外が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20646-E

Error removing corrupt consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマー UID

説明

- コンシューマーの削除時に I/O 例外が発生しました。
- ストア内にコンシューマーが存在しません。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20647-E

Internal Error: both key and value are corrupted.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20648-E

could not get props.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20649-E

timer canceled.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20650-E

Internal Exception: Only topics are supported for monitoring.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20652-E

Start message index needs to be in between 0 and aa....aa.

aa....aa：最大メッセージインデックス

説明

開始メッセージインデックス値が負の値である場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20653-E

Max number of messages retrieved value needs to be greater than 0.

説明

取得した最大メッセージインデックス値が負の値である場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20654-E

setting max active consumers not supported on this destination type.

説明

当送信先に対して最大アクティブコンシューマー数を設定する際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20655-E

setting max failover consumers not supported on this destination type.

説明

当送信先に対して最大フェイルオーバーコンシューマー数を設定する際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20656-E

Destination aa....aa destroyed.

aa....aa：送信先

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20657-E

Removing message to invalid dst.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20658-E

Internal Error, Unknown destination aa....aa isValid= bb....bb.

aa....aa：送信先

bb....bb：フラグ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20659-E

Processing aa....aa while loading destination bb....bb

aa....aa：パケットレファレンス

bb....bb：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20660-E

Unloading destination aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20661-E

Destination aa....aa is also being created by another broker.

aa....aa：送信先

説明

送信先リストから送信先を取得する際に発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20662-E

Unable to remove dest

説明

- 送信先の削除時に I/O 例外が発生しました。
- ストア内に送信先が存在しません。

対処

指定された送信先がストア内に存在することを確認してください。

KDAN20663-E

Destination already destroyed.

説明

指定された送信先がすでに削除されている場合に発生します。

対処

指定された送信先がストア内に存在することを確認してください。

KDAN20664-E

Destination already exists

説明

新送信先の作成時に指定された送信先が既存である場合に発生します。

対処

指定された送信先がストア内に存在しないことを確認してください。

KDAN20666-E

expired messages

説明

期限切れたメッセージを削除する際，送信先が null である場合に発生します。

対処

指定された送信先がストア内に存在することを確認してください。

KDAN20667-E

unable to load destinations

説明

送信先のロード時に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20668-E

aa....aa : Got exception reading body of administration message:bb....bb cc....cc

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外

cc....cc：パケット

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20669-E

aa....aa : Got exception writing Vector to admin reply message:bb....bb, cc....cc

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外

cc....cc：パケット

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20670-E

No administration handler found for message type aa....aa. Ignoring.

aa....aa：メッセージ種別

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20671-E

Administration message has no ReplyTo destination. Not replying.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20672-E

Could not reply to administrative message.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20673-E

Error aa....aaing bb....bb because cc....cc.

aa....aa：コマンド

bb....bb：コマンド引数

cc....cc：例外メッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20674-E

No consumers on the broker.

説明

コネクションのリスティング時にコンシューマーが見つからない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20675-E

Please supply targetType if you are supplying a target

説明

ターゲット種別が指定されていない場合に発生します。

対処

ターゲット種別を指定してください。

KDAN20676-E

Error listing consumers on destination aa....aa unknown destination.

aa....aa：送信先

説明

未知送信先でコンシューマーをリスティングする際に発生します。指定された送信先がストア内に存在しない場合などに発生することがあります。

対処

指定された送信先がストア内に存在することを確認してください。

KDAN20677-E

No consumers on destination aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

未知送信先でコンシューマーを取得する際に発生します。指定された送信先がストア内に存在しない場合に発生することがあります。

対処

指定された送信先がストア内に存在することを確認してください。

KDAN20678-E

Error listing consumers on connection aa....aa because bb....bb.

aa....aa：jmq ターゲット

bb....bb：例外メッセージ

説明

未知コネクションでコンシューマーを取得する際に発生します。指定された送信先がすでに終了している場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによって送信先が終了されていないことを確認してください。

KDAN20679-E

Error listing consumers on session aa....aa unknown sessionUID.

aa....aa：jmq ターゲット

説明

未知セッションでコンシューマーをリスティングする際に発生します。指定されたセッションがすでに終了している場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってセッションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20680-E

No consumers on session aa....aa.

aa....aa：jmq ターゲット

説明

未知セッションでコンシューマーを取得する際に発生します。指定されたセッションがすでに終了している場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってセッションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20681-E

Error listing consumers on connection aa....aa unknown connectionUID.

aa....aa：jmq ターゲット

説明

未知コネクション ID でコンシューマーを取得する際に発生します。指定されたコネクションがすでに終了している場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってコネクションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20682-E

Unknown targetType (-t) aa....aa. Valid formats are of the form: [q|t|ses|cxn]

aa....aa：不正ターゲット種別

説明

指定されたターゲット種別が無効である場合に発生します。

対処

不正でない特定のターゲット種別を指定してください。

KDAN20683-E

Error listing producers on destination aa....aa unknown destination.

aa....aa：送信先

説明

未知送信先でプロデューサをリスティングする際に発生します。指定された送信先がストア内に存在しない場合などに発生することがあります。

対処

指定された送信先がストア内に存在することを確認してください。

KDAN20684-E

Error listing producers on connection aa....aa because bb....bb.

aa....aa：送信先

bb....bb：例外メッセージ

説明

未知コネクションでプロデューサをリスティングする際に発生します。指定されたコネクションがすでに終了している場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってコネクションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20685-E

Error listing producers on connection aa....aa unknown connectionUID.

aa....aa：送信先

説明

未知コネクション ID でプロデューサを読み込む際に発生します。指定されたコネクションがすでに終了している場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってコネクションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20686-E

Unknown targetType (-t) aa....aa. Valid formats are of the form: [t|q|cxn]

aa....aa：不正ターゲット種別

説明

指定されたターゲット種別が無効である場合に発生します。

対処

指定されたターゲット種別が有効であることを確認してください。

KDAN20688-E

Unknown argument aa....aa.

aa....aa：引数

説明

指定された引数が無効である場合に発生します。

対処

有効な引数を指定してください。

KDAN20689-E

Bad Selector aa....aa.

aa....aa：セレクター

説明

指定されたセレクターが無効である場合に発生します。

対処

指定されたセレクターが SQL92 書式に準することを確認してください。

KDAN20692-E

Error resuming flow from producer aa....aa because bb....bb.

aa....aa：jmq ターゲット

bb....bb：例外メッセージ

説明

プロデューサの再開時に発生します。指定されたプロデューサがブローカー内に存在しない場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってプロデューサが終了されていないことを確認してください。

KDAN20693-E

Error resuming flow on connection aa....aa because bb....bb.

aa....aa：jmq ターゲット

bb....bb：例外メッセージ

説明

コネクションの再開時に発生します。指定されたコネクションがブローカー内に存在しない場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってコネクションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20694-E

Error resuming flow to consumer aa....aa because bb....bb.

aa....aa：jmq ターゲット

bb....bb：例外メッセージ

説明

コンシューマーの再開時に発生します。指定されたコンシューマーがブローカー内に存在しない場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってコンシューマーが終了されていないことを確認してください。

KDAN20695-E

Error resuming flow to session aa....aa because bb....bb.

aa....aa：jmq ターゲット

bb....bb：例外メッセージ

説明

セッションの再開時に発生します。指定されたセッションがブローカー内に存在しない場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってセッションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20696-E

Unknown resume argument aa....aa.

aa....aa：引数

説明

指定された引数が無効である場合に発生します。

対処

有効な引数を指定してください。

KDAN20697-E

Missing connectionUID.

説明

指定されたターゲットが無効である場合に発生します。

対処

有効なターゲットを指定してください。

KDAN20698-E

Unknown connectionUID aa....aa.

aa....aa：コネクション UID

説明

コネクションが存在しない場合に発生します。コネクションが終了している場合に発生することがあります。

対処

アプリケーションまたはクライアントによってコネクションが終了されていないことを確認してください。

KDAN20699-E

Error notifying consumer aa....aa because bb....bb.

aa....aa：コンシューマー

bb....bb：例外メッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員にお問い合わせください。

KDAN20700-E

Unknown service aa....aa.

aa....aa：サービス名

説明

指定されたサービス名が null の場合に発生します。

対処

有効なサービス名（jms，admin など）を指定してください。

KDAN20702-E

Error killing connection aa....aa because bb....bb.

aa....aa：コネクション UID

bb....bb：例外メッセージ

説明

コネクションを削除する際に予想以外の内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20703-E

Unknown kill argument aa....aa .

aa....aa：引数

説明

無効な引数が指定された場合に発生します。

対処

有効な引数（cxn）を指定してください。

KDAN20704-E

topic or queue not specified with -t [t|q].

説明

送信先に対する操作の際，送信先種別が指定されていない場合に発生します。

対処

適切な送信先種別（q または t）を指定してください。

KDAN20705-E

Unknown -t argument aa....aa expected t or q.

aa....aa：引数

説明

送信先種別に無効な引数が指定された場合に発生します。

対処

-t[t または q]を使用し，有効な送信先種別を指定してください。

KDAN20706-E

Unknown destination aa....aa.

aa....aa：送信先 UID

説明

無効な送信先を取得しようとした場合に発生します。

対処

送信先が存在することを最初に確認してください。

KDAN20707-E

Unknown consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマー UID

説明

存在しないコンシューマーを取得しようとした場合に発生します。

対処

ストア内に指定されたコンシューマーが存在することを確認してください。

KDAN20708-E

Please specify consumerUID.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20709-E

Please specify connectionUID.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20710-E

Cannot find connection aa....aa.

aa....aa：コネクション uid

説明

- クローズされているコネクションを取得しようとしたときに発生します。
- 無効なコネクションを使用しようとしたときに発生します。

対処

コネクションがオープンであることを確認してください。また，コネクションが共有されている場合は，このスレッドがそれを使用中に，別のスレッドからクローズされないようにしてください。

KDAN20711-E

Please specify SessionUID.

説明

パケット情報取得時にセッション uid のタイプとして"ses"を設定しない場合に発生します。

対処

セッション uid のタイプとして"ses"を設定するようにしてください。

KDAN20712-E

Cannot find session aa....aa.

aa....aa：セッション uid

説明

クローズされているセッションを使用しようとしたときに発生します。

対処

セッションがオープンであることを確認してください。

KDAN20713-E

Cannot find uid aa....aa.

aa....aa：コネクション uid

説明

クローズされているコネクションを使用しようとしたときに発生します。

対処

コネクションがオープンであることを確認してください。

KDAN20714-E

Cannot find consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマ uid

説明

メッセージを処理する前に，アプリケーションやクライアントによってコンシューマがクローズされた場合に発生します。

対処

コンシューマがアプリケーションやクライアントによってクローズされないようにしてください。

KDAN20715-E

Cannot find producer aa....aa.

aa....aa：プロデューサ uid

説明

メッセージを処理する前に，アプリケーションやクライアントによってプロデューサがクローズされた場合に発生します。

対処

プロデューサがアプリケーションやクライアントによってクローズされないようにしてください。

KDAN20716-E

Cannot find Destination aa....aa.

aa....aa：送信先 uid

説明

送信先が存在しません。

対処

送信先が存在することを確認してください。

KDAN20717-E

Destination name and type not specified.

説明

送信先からのメッセージの削除時に，送信先名とタイプが指定されていない場合に発生します。

対処

有効な送信先名とタイプを指定してください。

KDAN20718-E

Message ID not specified.

説明

指定されたメッセージ id が null になっています。

対処

メッセージ id が妥当であることを確認してください。

KDAN20719-E

Could not locate message aa....aa in destination bb....bb.

aa....aa：メッセージ

bb....bb：送信先

説明

送信先で，指定されたメッセージが存在しません。

対処

指定されたメッセージが送信先で存在することを確認してください。

KDAN20720-E

aa....aa:could not set message body: bb....bb.

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外メッセージ

説明

メッセージボディーの設定時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20721-E

Caught exception while creating text message body.

説明

テキストメッセージの作成時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20722-E

Caught exception while creating map message body.

説明

map メッセージの作成時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20723-E

Caught exception while creating object message body.

説明

オブジェクトメッセージの作成時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20724-E

Unsupported message type for GET_MESSAGES handler: aa....aa.

aa....aa：パケットタイプ

説明

サポートされていないタイプのメッセージを取得しようとしたときに発生します。

対処

指定されたメッセージが TextMessage/ObjectMessage/BytesMessage/StreamMessage/MapMessage タイプであることを確認してください。

KDAN20725-E

aa....aa:failed to get destination (bb....bb:cc....cc).

aa....aa：クラス名

bb....bb：送信先タイプ

cc....cc：送信先

説明

- 指定された送信先が存在しません。
- 無効な送信先タイプが指定されました。

対処

- 指定された送信先が存在することを確認してください。
- 有効な送信先タイプを指定してください。

KDAN20726-E

unknown durable subscription aa....aa:bb....bb.

aa....aa：デュアラブルサブスクライバ名

bb....bb：クライアント id

説明

無効なデュアラブルサブスクライバをアクセスしようとしたときに発生します。

対処

デュアラブルサブスクライバが存在することを確認してください。

KDAN20727-E

REPLACE_MESSAGE: Destination name and type not specified.

説明

送信先名と送信先タイプが指定されていない場合に発生します。

対処

送信先名と送信先タイプが指定されていることを確認してください。

KDAN20728-E

REPLACE_MESSAGE: Message ID not specified.

説明

メッセージ id が指定されていない場合に発生します。

対処

メッセージ id が指定されていることを確認してください。

KDAN20729-E

REPLACE_MESSAGE: New message body specified or is of incorrect type.

説明

メッセージボディーが指定されていない場合に発生します。

対処

メッセージボディーが指定されていることを確認してください。

KDAN20730-E

REPLACE_MESSAGE: Existing message and new message types do not match.

説明

新規メッセージタイプが旧メッセージタイプと一致しない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20731-E

REPLACE_MESSAGE: New message ID not returned as expected.

説明

メッセージ id が指定されていない場合に発生します。

対処

メッセージ id が指定されていることを確認してください。

KDAN20732-E

REPLACE_MESSAGE: Could not locate message aa....aa in destination bb....bb

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：送信先

説明

送信先でメッセージが存在しない場合に発生します。

対処

送信先でメッセージが存在することを確認してください。

KDAN20733-E

Unsupported message type for REPLACE_MESSAGE handler: aa....aa

aa....aa：メッセージタイプ

説明

指定されたメッセージタイプが無効な場合に発生します。

対処

指定されたメッセージが TextMessage/ObjectMessage/BytesMessage/StreamMessage/MapMessage タイプであることを確認してください。

KDAN20734-E

Internal Error: can updated non-standard Service.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20735-E

Unable to create/destroy destination - no properties.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20736-E

Cannot handle create/destroy destination.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20737-E

protocol error, destination is null.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20738-E

protocol error, bad rbuf size.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20739-E

Elements are not in subset

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20740-E

Object added is past end of subset

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20741-E

Event aa....aa not supported.

aa....aa：イベントの種別

説明

指定されたイベントの種別と予想されているイベントの種別が一致しない場合に発生します。

対処

予想されているイベント種別に一致するものを指定してください。

KDAN20742-E

remove is not supported on this iterator

説明

Remove メソッドはサポートされていません。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20744-E

Cannot order unordered items.

説明

オブジェクトが Ordered のインスタンスでない場合に発生します。

対処

オブジェクトが Ordered のインスタンスであることを確認してください。

KDAN20745-E

Unable to support null values.

説明

指定されたオブジェクトが null の場合に発生します。

対処

オブジェクトが null でないことを確認してください。

KDAN20746-E

Unable to add object not of type Sized when byteCapacity has been set.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20747-E

Unable to add object not of type Sized when maxByteSize has been set.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20748-E

Object added is past end of subset.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20749-E

Object added is past begining of subset.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20750-E

Implementation not complete.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20751-E

Unable to support null keys or values.

説明

キーおよび値が null の場合に発生します。

対処

キーおよび値が null でないことを確認してください。

KDAN20753-E

Internal Error: timer canceled .

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20754-E

This file mode is not supported: aa....aa.

aa....aa：モード

説明

指定されたファイルのモードが無効な場合に発生します。

対処

ファイルに読み込み権限および書き込み権限があること，またはオーナとして読み込み権限，書き込み権限，および実行権限があることを確認してください。

KDAN20755-E

File Header size mismatch. Expected: aa....aa, read: bb....bb.

aa....aa：ファイルヘッダーサイズ

bb....bb：サイズ

説明

ファイルが破損している場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20756-E

File Header checksum mismatch. Expected: aa....aa, calculated: bb....bb.

aa....aa：予想値

bb....bb：算出値

説明

ファイルが破損している場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20757-E

File Magic number/version mismatch: aa....aa : bb....bb.

aa....aa：マジック番号

bb....bb：バージョン番号

説明

ファイルが破損している場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20762-E

failed to delete aa....aa.

aa....aa：ファイル

説明

該当ファイルが「削除」の権限がない場合に発生します。

対処

削除対象ファイルが「削除」権限を持つことを確認してください。

KDAN20764-E

Invalid operator ==, use =

説明

セレクター文字列が「==」トークンを含む場合に発生します。

対処

「==」の代わりに「=」を使用してください。

KDAN20765-E

Invalid character aa....aa

aa....aa：文字

説明

セレクター文字列が無効な文字を含む場合に発生します。

対処

セレクター文字列が無効な文字を含まないようにしてください。

KDAN20766-E

Invalid numeric constant: aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

セレクターが無効な定数を持つ場合に発生します。

対処

セレクター文字列が無効な定数を含まないようにしてください。

KDAN20767-E

Unknown token: aa....aa tokenBuf=bb....bb.

aa....aa：無効なトークン

bb....bb：トークンバッファー

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20768-E

Missing closing quote

説明

セレクター文字列がクォーテーションでクローズされていない場合に発生します。

対処

セレクター文字列がクォーテーションでクローズされていることを確認してください。

KDAN20769-E

Invalid Expression

説明

セレクターが無効な式を含む場合に発生します。

対処

セレクター文字列で SQL 92 形式のシンタックスが使用されていることを確認してください。

KDAN20770-E

Selector tokenizer in bad state:aa....aatokenBuf=bb....bbchar=cc....cc

aa....aa：状態

bb....bb：トークンバッファー

cc....cc：文字

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20771-E

Missing (in IN statement

説明

セレクター文字列の IN ステートメントに"("がない場合に発生します。

対処

セレクター文字列の IN ステートメントに"("が指定されていることを確認してください。

KDAN20772-E

IN requires string literal:aa....aa.

aa....aa：文字列リテラル

説明

セレクター文字列の IN ステートメントが文字列リテラルを含まない場合に発生します。

対処

セレクター文字列の IN ステートメントが文字列リテラルを有することを確認してください。

KDAN20773-E

LIKE requires string literal:aa....aa.

aa....aa：文字列リテラル

説明

セレクター文字列の LIKE ステートメントが文字列リテラルを含まない場合に発生します。

対処

セレクター文字列の LIKE ステートメントが文字列リテラルを有することを確認してください。

KDAN20774-E

ESCAPE requires string literal:aa....aa.

aa....aa：文字列リテラル

説明

セレクター文字列の ESCAPE ステートメントが文字列リテラルを含まない場合に発生します。

対処

セレクター文字列の ESCAPE ステートメントが文字列リテラルを有することを確認してください。

KDAN20775-E

Missing operator

説明

セレクター文字列のオペレータが指定されていない場合に発生します。

対処

セレクター文字列がオペレータを有することを確認してください。

KDAN20776-E

Missing (

説明

セレクター文字列が右括弧を有し，左括弧を有さない場合に発生します。

対処

セレクター文字列が左括弧および右括弧を有することを確認してください。

KDAN20777-E

IN requires string operand: aa....aa.

aa....aa：オペランド

説明

セレクター文字列の IN ステートメントが文字列オペランドを有さない場合に発生します。

対処

セレクター文字列の IN ステートメントが文字列オペランドを有することを確認してください。

KDAN20778-E

LIKE requires string operand: aa....aa.

aa....aa：オペランド

説明

セレクター文字列の LIKE ステートメントが文字列オペランドを有さない場合に発生します。

対処

セレクター文字列の LIKE ステートメントが文字列オペランドを有することを確認してください。

KDAN20779-E

Unknown operator: aa....aa.

aa....aa：オペランド

説明

セレクター文字列が無効なオペレータを含む場合に発生します。

対処

セレクター文字列が有効なオペレータを含むようにしてください（NOT，AND，OR，LIKE，IN など）。

KDAN20780-E

Missing operand

説明

セレクター文字列がオペランドを有さない場合に発生します。

対処

セレクター文字列がオペランドを有することを確認してください。

KDAN20781-E

Non-boolean expression aa....aa

aa....aa：セレクター文字列

説明

セレクター文字列に無効なブール値を指定した場合に発生します。

対処

ブール値として True または False が指定されていることを確認してください。

KDAN20782-E

Cannot convert string to number 'aa....aa'

aa....aa：セレクターの最初のオペランド

説明

セレクタートークンを文字列から数字に変換する際に発生します。

対処

文字列が特殊文字を含まないことを確認してください。

KDAN20783-E

Non-numeric argument 'aa....aa'

aa....aa：引数

説明

指定された引数は数値でない場合に発生します。

対処

該当引数に数値を指定してください。

KDAN20784-E

Unknown numeric operation: aa....aa

aa....aa：セレクタートークン

説明

セレクター文字列が非数値演算を有する場合に発生します。

対処

セレクター文字列が数値演算（DIVIDE，MULTIPLY，MINUS，PLUS，GT，LT，EQUALS など）を有することを確認してください。

KDAN20785-E

Invalid client data size.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部例外のため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20786-E

Client data size has not been initialized.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部例外のため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20787-E

Record not found [key=aa....aa , cData=bb....bb].

aa....aa：キー

bb....bb：cData

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部例外のため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20788-E

Failed to load data in [aa....aa].

aa....aa：VRecordRAF

説明

VRecordRAF が破損した場合に発生します。

対処

ファイルが破損していないかを確認してください。

KDAN20789-E

Unable to update client data [key= aa....aa, cData= bb....bb].

aa....aa：キー

bb....bb：cData

説明

VRFile が破損した場合に発生します。

対処

ファイルが破損していないかを確認してください。

KDAN20790-E

Failed to set client data marker.

説明

VRFile が破損した場合に発生します。

対処

ファイルが破損していないかを確認してください。

KDAN20792-E

Could not decode xid from packet aa....aa : bb....bb.

aa....aa：パケットタイプ

bb....bb：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20796-E

Unable to verify destination - no properties.

説明

メッセージのプロパティと送信先の取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- I/O デバイス/ドライバーが動作しているか確認してください。
- 保守員にお問い合わせください。

KDAN20797-E

Unable to verify destination -bad class.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20798-E

Unable to verify destination.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20803-E

Could not write Xid aa....aa to message body: bb....bb.

aa....aa：JMQXid

bb....bb：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20813-E

Internal Error: unknown destination for reference: aa....aa.

aa....aa：パケット参照

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部例外のため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20814-E

Internal Error: Unable to re-queue message to queue aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部例外のため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20818-E

Internal Error: received bad session id aa....aa when starting session.

aa....aa：セッション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20819-E

Internal Error: received bad session id aa....aa when stopping session.

aa....aa：セッション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20820-E

aa....aa:Got exception writing metrics to browse reply message:bb....bb

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外メッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20821-E

Internal Error: client sent invalid sessionUID w/ ADD_PRODUCER aa....aa session does not exist.

aa....aa：セッション uid

説明

指定されたセッションがクローズされた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20822-E

error destroying connection aa....aa.

aa....aa：コネクション uid

説明

コネクションのクローズ時に例外が起こった場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20829-E

Internal error: Bad change record. Upgrade failed.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20831-E

adding packet handlers to admin packet router.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20833-E

Received Out Of Memory Error [aa....aa].

aa....aa：例外理由

説明

CJMSP ブローカーの JVM ヒープサイズが足りなくなった時に発生します。

対処

CJMSP ブローカーの JVM ヒープサイズを増加してください。

KDAN20835-E

received unexpected exception

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20837-E

Internal Error: Unable to load broker, configuration properties are not available. Exiting.

説明

不正な環境で発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN20838-E

aa....aa :failed to parse message from byte array.

aa....aa：送信先 uid

説明

メッセージのロード時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20839-E

aa....aa :failed to parse message from vrecord(bb....bb).

aa....aa：送信先 uid

bb....bb：vrecord

説明

バッキングバッファーからメッセージのロード時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20840-E

Fault Injection: triggered aa....aa.

aa....aa：フォルト

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20841-E

Unable to apply fault.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20848-E

failed to parse interest list(size=aa....aa) for msg(size=bb....bb) from vrecord(cc....cc), dd....dd.

aa....aa：サイズ

bb....bb：パケットサイズ

cc....cc：VRecordRAF

dd....dd：例外

説明

バッキングバッファーよりコンシューマーのリストをロード時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20849-E

aa....aa:failed to parse message(size=bb....bb) from vrecord(cc....cc), dd....dd.

aa....aa：送信先 uid

bb....bb：パケットサイズ

cc....cc：VRecordRAF

dd....dd：例外

説明

バッキングバッファーからメッセージのロード時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20850-E

size of interest list is corrupted.

説明

バッキングバッファーが破損している場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20862-E

missing broker instancename

説明

「-name」に引数が指定されていない場合に発生します。

対処

「-name」に適切な引数が指定されていることを確認してください。

KDAN20872-E

missing remove argument

説明

「-remove」に引数が指定されていない場合に発生します。

対処

「-remove」に適切な引数が指定されていることを確認してください。

KDAN20873-E

unknown remove argument

説明

「-remove」に無効な引数が指定された場合に発生します。

対処

「-remove」に適切な引数が指定されていることを確認してください。

KDAN20874-E

missing reset argument

説明

「-reset」に引数が指定されていない場合に発生します。

対処

「-reset」に適切な引数が指定されていることを確認してください。

KDAN20875-E

bad reset argument

説明

「-reset」に無効な引数が指定された場合に発生します。

対処

有効な引数を指定してください。（store，messages，durables）

KDAN20880-E

requested invalid packet router aa....aa

aa....aa：タイプ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20881-E

Fault Insertion: aa....aa.

aa....aa：値

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20882-E

Got IOException while resetting transaction log file.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20883-E

Already Quiescing.

説明

ブローカーがすでに静止中の場合に発生します。

対処

ブローカーを静止解除してください。

KDAN20884-E

Null destination type specified.

説明

指定された送信先タイプが null の場合に発生します。

対処

送信先は，キューの場合に「q」，トピックの場合に「t」と指定してください。

KDAN20888-E

Cannot pause admin service: aa....aa.

aa....aa：サービス

説明

アドミンサービスを一時停止しようとしたときに発生します。

対処

アドミンサービスは一時停止できません。

KDAN20889-E

Cannot resume admin service: aa....aa.

aa....aa：サービス

説明

アドミンサービスを再開しようとしたときに発生します。

対処

アドミンサービスを再開できません。

KDAN20890-E

Internal Error: can updated non-standard Service.

説明

指定されたサービスが IMQService のインスタンスでない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20891-E

Destination name and type not specified.

説明

送信先名および送信先タイプが指定されていない場合に発生します。

対処

送信先タイプは，キューの場合に「q」，トピックの場合に「t」と指定してください。また，送信先名を指定してください。

KDAN20892-E

Could not locate message aa....aa in destination bb....bb.

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：送信先名

説明

メッセージの削除時に該当メッセージが送信先に存在しない場合に発生します。

対処

該当メッセージが送信先に存在することを確認してください。

KDAN20893-E

Message ID not specified.

説明

メッセージ削除時に，メッセージ id が null の場合に発生します。

対処

該当メッセージが送信先に存在することを確認してください。

KDAN20894-E

New message body not specified.

説明

メッセージの置き換え時に，メッセージボディーが null の場合に発生します。

対処

該当メッセージが送信先に存在することを確認してください。

KDAN20895-E

Existing message and new message types do not match.

説明

新規メッセージタイプが旧メッセージタイプと一致しない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20896-E

New message ID not returned as expected.

説明

メッセージの置き換え時に，新規メッセージ id が null の場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20897-E

Internal Error: transaction broker list size of aa....aa is larger than the reserved client data byte limit of bb....bb for transaction cc....cc.

aa....aa：ブローカー数

bb....bb：リミット

cc....cc：トランザクション uid

説明

トランザクションブローカーリストのサイズが予約リストサイズを超えた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20898-E

Internal Error: unknown ackType aa....aa.

aa....aa：応答確認タイプ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20899-E

Internal Error: Empty Ack Message aa....aa.

aa....aa：システムメッセージ id

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20900-E

Internal Error: Invalid Ack Message Size aa....aa for message bb....bb.

aa....aa：メッセージサイズ

bb....bb：システムメッセージ id

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20901-E

Internal Error: cannot create transactionID for aa....aa.

aa....aa：メッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20903-E

Internal Error: Unable to complete processing acks: Unknown consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマー uid

説明

ブローカーがシャットダウン中で，応答確認処理がまだ完了していない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20905-E

Internal Error: Unable to complete processing transaction: Unknown consumer/session aa....aa.

aa....aa：コンシューマー uid

説明

ブローカーがシャットダウン中で，トランザクションの処理が完了していない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20906-E

Internal Error: Unable to complete processing acknowledgements in a tranaction: aa....aa.

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20907-E

Internal Error unknown consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマー uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20909-E

Internal Error: unable to retrieve properties from clientID message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

パケットからプロパティの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20910-E

unexpected error processing clientid.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20911-E

Internal Error: unable to retrieve properties from consumer message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

パケットからプロパティの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20912-E

Internal Error: client set invalid sessionUID aa....aa session does not exist

aa....aa：セッション uid

説明

セッションがクローズされている場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20913-E

no properties in addConsumer packet - client does not match protocol.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20914-E

Client is not sending DestType, unable to add interest.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20915-E

NoLocal is not supported on Queue Receivers.

説明

キューレシーバに NoLocal が使用された場合に発生します。

対処

キューレシーバに NoLocal を使用しないようにしてください。

KDAN20916-E

Unsupported property on queues JMQNoLocal is set to aa....aa.

aa....aa：nolocal

説明

キューレシーバに NoLocal プロパティが使用された場合に発生します。

対処

キューレシーバに NoLocal プロパティを使用しないようにしてください。

KDAN20917-E

JMQReconnect not implemented.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20918-E

client did not send setCLIENTID method before adding/removing a consumer, retrieved clientid aa....aa from packet properties.

aa....aa：クライアント id

説明

コンシューマーに対してクライアント id がセットされていません。

対処

取得する前にクライアント id をセットしてください。

KDAN20919-E

Unknown Destination: aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

メッセージの処理中，送信先が null の場合に発生します。

対処

送信先が null でないことを確認してください。

KDAN20920-E

Internal Error: unable to retrieve properties from deliver message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

デリバリメッセージよりプロパティの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20921-E

Empty Deliver Message.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20922-E

Reprocessing Indempotent message for aa....aa on destination cc....cc from bb....bb.

aa....aa：コンシューマー uid

bb....bb：リモートコネクション uid

cc....cc：送信先 uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20923-E

Could not start the Broker''s aa....aa service on port bb....bb. This port is already in use by another application.

aa....aa：サービス名

bb....bb：ポート番号

説明

指定されたポートがすでに使用中の場合に発生します。

対処

異なるポート番号を使用してください。

KDAN20924-E

aa....aa Location:- bb....bb.cc....cc

aa....aa：エラーメッセージ

bb....bb：ファイルパス名

cc....cc：実行できなかった内部処理の情報

説明

次の場合に発生します。

- 予約語を使用してブローカーを生成しようとした場合
- ログファイルにメッセージを記録するために HNTR ライブラリを取得時にエラーが発生した場合
- プロパティの値に指定したディレクトリのディスク容量が不足した場合

対処

- ブローカーインスタンス名に予約語を使用してブローカーを起動していないことを確認してください。
- 指定したディレクトリのメモリ量が十分にあることを確認してください。

KDAN20925-E

Failed to get transaction aa....aa information from store after takeover.

aa....aa：トランザクション id

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20929-E

received message with Unknown Transaction ID aa....aa : ignoring message

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20930-E

Transaction aa....aa : is has timed out

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20931-E

Transaction aa....aa : is not started, ignoring.

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20932-E

received acknowledgement with Unknown Transaction ID aa....aa : ignoring message

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20935-E

Internal Error:both key and value for a Transaction Ack entry are corrupted.

説明

永続ストアからデータをロード時にデータ破損が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20940-E

XXXI18N-Unable to update transaction state for TUID=aa....aa:bb....bb.

aa....aa：トランザクション uid

bb....bb：トランザクション状態

説明

CJMSP が永続ストアのトランザクション情報を取得, 削除または更新しようとしたときに, I/O エラーが発生しました。考えられる原因は, CJMSP によって生成されたトランザクション ID が永続ストアに存在しない，または，トランザクション ID が null になっていることです。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20946-E

XXXI18N - Consumed message [aa....aa:bb....bb]not found in transaction cc....cc.

aa....aa：システムメッセージ id

bb....bb：コンシューマ uid

cc....cc：トランザクション uid

説明

コンシューム済みのメッセージの削除時にコンシュームメッセージが null の場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20949-E

Failed to cleanup committed transaction aa....aa.

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN20952-E

received acknowledgement with Unknown Transaction ID aa....aa

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20953-E

Internal Error:Error updating transaction aa....aa.

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20955-E

Caught exception when reading passwd: aa....aa.

aa....aa：IO 例外

説明

コマンドラインからのパスワードの読み込み時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20956-E

Unexpected failure in getIndexForType objClass=aa....aa.

aa....aa：クラス名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20957-E

Unable to remove the transaction id aa....aa.

aa....aa：トランザクション uid

説明

ストアからのトランザクション ID の削除時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20958-E

Unknown Transaction ID aa....aa for transaction ack [bb....bb:cc....cc]dd....dd

aa....aa：トランザクション uid

bb....bb：システムメッセージ id

cc....cc：コンシューマ uid

dd....dd：ブローカーアドレス

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20959-E

updateState(): Unknown transaction: aa....aa.

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20960-E

updateState(): No state for transaction: aa....aa.

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20961-E

Internal Error:Error updating transaction acks aa....aa.

aa....aa：トランザクション uid

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20970-E

Unable to start transaction reaper thread .

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20971-E

Failed to schedule detached-transaction reaper aa....aa.

aa....aa：トランザクションリスト

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20972-E

set empty

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20973-E

not part of set

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20979-E

flow paused is not supported by the client.

説明

サポートされていない動作をしようとしたときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20980-E

Cannot use JMQValidate with an ackType of aa....aa.

aa....aa：応答確認タイプ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20981-E

Cannot use JMQValidate with no tid.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20982-E

Acknowledgement could not be found.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20985-E

Internal Error: bad protocol

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20986-E

Invalid Deliver Message Size: aa....aa. Not multiple of bb....bb.

aa....aa：メッセージボディーサイズ

bb....bb：メッセージサイズ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20987-E

Internal Error: setting timeout .

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20988-E

received unexpected error in handler.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20989-E

Invalid Redeliver Message Size: aa....aa. Not multiple of bb....bb.

aa....aa：メッセージボディーサイズ

bb....bb：redeliver ブロックサイズ

説明

Redeliver メッセージのサイズが無効です。

対処

Redeliver メッセージのサイズが有効であることを確認してください。

KDAN20990-E

Unknown XID aa....aa

aa....aa：JMQXid

説明

トランザクション UID が null の場合に発生します。

対処

トランザクション UID が null でないことを確認してください。

KDAN20991-E

No transaction ID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20992-E

Unknown service restriction aa....aa on service bb....bb.

aa....aa：サービス制限

bb....bb：サービス

説明

内部エラーが発生しました。サービスで未知の制限が与えられています。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20995-E

Cannot load props

説明

パケットからのプロパティの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN20996-E

Low memory

説明

JVM ヒープサイズが超えた場合に発生します。

対処

JVM ヒープサイズを増加してください。

KDAN20997-E

cannot create destination

説明

送信先が null の場合に発生します。

対処

適切な送信先名および送信先タイプが指定されていることを確認してください。

KDAN20998-E

no destination passed [dest,type] = [aa....aa,bb....bb].

aa....aa：送信先

bb....bb：送信先タイプ

説明

送信先名や送信先タイプが null の場合に発生します。

対処

適切な送信先名および送信先タイプが指定されていることを確認してください。

KDAN20999-E

unknown producer

説明

プロデューサの削除時にプロデューサが null になっている場合に発生します。これは，プロデューサがすでにクローズされている場合に発生します。

対処

アプリケーションやクライアントでプロデューサがクローズされていないことを確認してください。

KDAN21000-E

Trying to add handler which has no corresponding packet type [aa....aa].

aa....aa：パケットタイプ

説明

メッセージ id に対して新規ハンドラの登録時にエラーが発生しました。メッセージ id の長さは非常に大きいです。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21001-E

Unexpected Error processing message

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21011-E

non-XA transactions only supported on non-sessionless connections.

説明

非 XA トランザクションがセッションレスコネクションで使用されたときに発生します。これはサポートされていません。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21013-E

Message requeued:aa....aa.

aa....aa：パケットレファレンス

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21014-E

aa....aa is closed.

aa....aa：セッション uid

説明

クローズされたセッションにコンシューマーを付けようとしたときに発生します。

対処

セッションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN21015-E

Already dead

説明

デッドメッセージキューから削除済みのデッドメッセージを削除しようとしたときに発生します。

対処

デッドメッセージキューに存在する場合だけデッドメッセージを削除してください。

KDAN21016-E

No Reaper

説明

メッセージ・エクスパイレーション・リーパーが null の場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21017-E

Null destination passed to GetDurablesHandler

説明

送信先が null として渡されたときに発生します。

対処

送信先が null でないことを確認してください。

KDAN21018-E

Admin: GetTransactions: Could not extract properties from pkt

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21019-E

invalid packet type aa....aa

aa....aa：パケットタイプ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21021-E

Null/Missing values for aa....aa and/or bb....bb properties.

aa....aa：メッセージタイプ

bb....bb：メッセージタイプ

説明

JMQCommand や JMQCommandArg に null が渡されたときに発生します。

対処

JMQCommand および JMQCommandArg が null でないことを確認してください。

KDAN21023-E

Rollback of non-XA transaction aa....aa in non-PREPARED state is not supported.

aa....aa：トランザクション uid

説明

非 PREPARED 状態で非 XA トランザクションをロールバックしようとしたときに発生します。これはサポートされていません。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21024-E

Could not locate TransactionHandler

説明

内部エラーが発生しました。ロールバック／コミットトランザクション時に TransactionHandler クラスが見つかりませんでした。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21025-E

conflict w/ clientID

説明

すでにあるクライアント id を作成しようとしたときに発生します。

対処

クライアント id がユニークであることを確認してください。

KDAN21026-E

transaction failed: aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21027-E

No session for aa....aa

aa....aa：セッション uid

説明

セッションが null の場合，それを停止／開始しようとしたときに発生します。

対処

セッションが null でないことを確認してください。

KDAN21028-E

AckInfo aa....aa

aa....aa：応答確認情報

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21029-E

access to destination aa....aa is forbidden.

aa....aa：送信先

説明

ブラウズ不可となっている送信先をブラウズしようとしたときに発生します。

対処

送信先がブラウズ可能になっていることを確認してください。

KDAN21030-E

double ack

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21031-E

getBrokerInfo:

説明

ブローカー情報の取得時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21032-E

XXX not implemented

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21033-E

aa....aa : Got exception when reading bb....bb bytes from buffer cc....cc.

aa....aa：クラス名

bb....bb：バッファー長

cc....cc：バッファー名

説明

この入力ストリームからバイト列にデータを読み込むときに発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21034-E

Class MetricCounters could not be cloned.

説明

- ログハンドラクラスが存在しない場合に発生します。
- クラスに対して適切なパッケージ名が指定されていない場合に発生します。

対処

- クラスが存在することを確認してください。
- 適切なブローカーパッケージを指定してください。

KDAN21035-E

Exception when reading packet body: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

パケットボディーの読み込み時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21036-E

Unknown authentication type

説明

デフォルトコンフィグレーションファイルで無効な認証タイプが指定された場合に発生します。

対処

デフォルトコンフィグレーションファイルで有効な認証タイプを指定してください。

KDAN21037-E

Exception when deserializing packet body: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21038-E

Could not decode XIDs: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

入力ストリームから Xid を読み込むときに I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21039-E

Could not decode INFO packet: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21040-E

Could not decode XID: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

入力ストリームから Xid を読み込むときに I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21041-E

Could not decode verify body: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21042-E

Exception when deserializing packet body: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21043-E

unable to load fallback properties.

説明

Fallback プロパティ（プロパティファイルを使用できない場合に使用するプロパティ）を読み込むときに I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21044-E

no threads available from pool aa....aa.

aa....aa：リスト

説明

フリースレッドがない状態でスレッドプールからスレッドオブジェクトを取得しようとしたときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21045-E

connection gone

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21046-E

aa....aa has been destroyed.

aa....aa：スレッド

説明

新規コネクションを追加する際に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21047-E

Could not get charset: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

指定された文字セット名が無効な場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21048-E

Could not decode string aa....aa.

aa....aa：例外

説明

デコード操作がすでに進行中に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21049-E

Exception on pending con aa....aa : cannot process.

aa....aa：IMQIP コネクション

説明

スレッドの処理中に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21050-E

Connection aa....aa no longer has a valid channel.

aa....aa：IMQIP コネクション

説明

ペンディングコネクションを処理中に I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21052-E

unable to create class for handling READ selectors.

説明

- ReadThread クラスが存在しません。
- クラスに対して適切なパッケージ名が指定されていません。

対処

- ReadThread クラスが存在することを確認してください。
- 適切なパッケージ名を指定してください。

KDAN21053-E

unable to create class for handling WRITE selectors.

説明

- WriteThread クラスが存在しません。
- クラスに対して適切なパッケージ名が指定されていません。

対処

- WriteThread クラスが存在することを確認してください。
- 適切なパッケージ名を指定してください。

KDAN21054-E

service does not have thread pool.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21055-E

Internal Error: TakingoverTracker.setMessageMap() not runner thread.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21056-E

Internal Error: TakingoverTracker.setMessageMap() unexpected stage aa....aa (bb....bb).

aa....aa：ステージ

bb....bb：予想ステージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21057-E

addShutdownHook: can't find java.lang.Thread: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

- java.lang.Threadclass クラスが存在しません。
- クラスに対して適切なパッケージ名が指定されていません。

対処

- クラスが存在することを確認してください。
- 適切なパッケージ名を指定してください。

KDAN21058-E

addShutdownHook: could not call addShutdownHook: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

シャットダウンフックの追加時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21059-E

removeShutdownHook: can't find java.lang.Thread: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

- java.lang.Threadclass クラスが存在しません。
- クラスに対して適切なパッケージ名が指定されていません。

対処

- クラスが存在することを確認してください。
- 適切なパッケージ名を指定してください。

KDAN21060-E

removeShutdownHook: could not call removeShutdownHook: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

シャットダウンフックの削除時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21061-E

Exception running broker.

説明

ブローカーを起動時に内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21062-E

aa....aa:allocate()

aa....aa：例外メッセージ

説明

I/O 例外が発生しました。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- I/O デバイス/ドライバーが動作しているか確認してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

KDAN21063-E

Too many threads aa....aa,bb....bb

aa....aa：現在カウント

bb....bb：最大カウント

説明

最大スレッドカウントを超えた状態で新規スレッドを作成しようとしたときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21064-E

got an unexpected error aa....aa freeing thread bb....bb.

aa....aa：例外

bb....bb：スレッド

説明

スレッドを処理中に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21066-E

generateUID: quantity is less than 0: aa....aa

aa....aa：数量

説明

0 より小さいユニーク ID を生成しようとしたときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21067-E

setClientId: set client ID failed. Connection ID: aa....aa , Client ID: bb....bb, Shareable: cc....cc, nameSpace: dd....dd.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：クライアント id

cc....cc：共有可

dd....dd：ネームスペース

説明

コネクションにクライアント id をセットしようとしたときに内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21068-E

unsetClientId: unset client ID failed. Connection ID: aa....aa.

aa....aa：コネクション uid

説明

コネクションに null のクライアント id をセットしようとしたときに内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21069-E

createSession: create session failed. Connection ID: aa....aa, acknowledge mode: bb....bb.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：応答確認モード

説明

内部エラーの理由でコネクションオブジェクトによるセッションの作成に失敗したとき，または，該当トランザクションおよび応答確認モードがサポートされていないときに発生します。

対処

指定されたトランザクションおよび応答確認モードがサポートされていることを確認してください。

KDAN21070-E

destroySession: destroy session failed. Connection ID: aa....aa, Session ID: bb....bb.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

説明

セッションのクローズ時，または，リソース解放やソケットコネクションのクローズに失敗したときに内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21071-E

startSession: Start of session failed. Session ID: aa....aa.

aa....aa：セッション uid

説明

セッション uid が null の状態でセッションを再開しようとしたときに発生します。

対処

セッション uid が null でないことを確認してください。

KDAN21072-E

stopSession: Stop of session failed. Session ID: aa....aa.

aa....aa：セッション uid

説明

セッション uid が null の状態でセッションを一時停止しようとしたときに発生します。

対処

セッション uid が null でないことを確認してください。

KDAN21073-E

verifyDestination: verify of destination failed. Destination name: aa....aa, type: bb....bb.

aa....aa：送信先名

bb....bb：送信先タイプ

説明

送信先リストに該当送信先が存在しない場合に発生します。

対処

指定された送信先がストアに存在することを確認してください。

KDAN21074-E

createDestination: Destination creation failed. Destination name: aa....aa, type:bb....bb, lifespan: cc....cc.

aa....aa：送信先名

bb....bb：送信先タイプ

cc....cc：生存期間

説明

- 送信先作成の権限がない場合に発生します。
- 送信先の作成時にブローカーエラーが発生した場合に発生します。

対処

- 送信先作成の権限があることを確認してください。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21075-E

destroyDestination: Destination destroy failed. Destination name: aa....aa, type: bb....bb, lifespan: cc....cc.

aa....aa：送信先名

bb....bb：送信先タイプ

cc....cc：生存期間

説明

- 送信先がストアに存在しない場合に発生します。
- 送信先の削除時にエラーが発生した場合に発生します。

対処

- 指定された送信先がストアに存在することを確認してください。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21076-E

addProducer: Add producer failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

説明

1. 権限がないため，または，最大プロデューサリミットを超えた状態でプロデューサを作成しようとしたときに発生します。
2. プロデューサの作成時に内部エラーが発生しました。

対処

1. プロデューサ作成用の権限があることを確認してください。
2. 内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21077-E

deleteProducer: Delete producer failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb, producer ID: cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：プロデューサ uid

説明

指定されたプロデューサが作成されていない場合に発生します。

対処

指定されたプロデューサがすでに作成されていることを確認してください。

KDAN21078-E

addConsumer: Add consumer failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

説明

コンシューマーの作成時にエラーが発生しました。

対処

コネクションとセッションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN21079-E

deleteConsumer: Delete consumer failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb, consumer ID: cc....cc, durable name: dd....dd, client ID: ee....ee.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマー uid

dd....dd：デュアラブルサブスクライバー名

ee....ee：クライアント id

説明

- コンシューマーの削除時にエラーが発生しました。
- 送信先が破棄されたときに削除されたコンシューマーをアンサブスクライブしようとしたときに発生します。

対処

コネクションとセッションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN21080-E

setConsumerAsync: Set Async consumer failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb, consumer ID: cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマー uid

説明

非同期リスナーをコンシューマーに登録する際に発生します。

対処

コネクションとセッションがクローズされていないことを確認してください。

KDAN21088-E

sendMessage: Sending message failed. Connection ID: aa....aa.

aa....aa：コネクション uid

説明

- メッセージ送信時に問題が発生しました。考えられる原因は，最大メッセージ数や最大合計メッセージバイト数や最大バイト数／メッセージを超えたことです。
- 内部エラーが発生しました。

対処

- 該当送信先に対してメッセージカウントの最大リミット／合計メッセージバイト数／バイト数／メッセージを増加してください。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21089-E

fetchMessage: Fetch Message failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb, consumer ID: cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマー uid

説明

ブローカーからのメッセージの取得時に問題が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21090-E

acknowledgeMessage: Sending Acknowledgement failed. Connection ID: aa....aa.

aa....aa：コネクション uid

説明

ブローカーにメッセージ応答確認をする際に問題が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21091-E

sendAcknowledgement: Sending Acknowledgement failed. Connection ID: aa....aa.

aa....aa：コネクション uid

説明

ブローカーに応答確認を送信する際に問題が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21092-E

addBrowser: Add browser failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb, destination: cc....cc, selector: dd....dd.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：送信先

dd....dd：セレクター

説明

ブラウザを追加する際に指定されたセレクター文字列が無効である場合に発生します。

対処

指定されたセレクター文字列が有効であることを確認してください。

KDAN21093-E

deleteBrowser: consumer ID not found. Connection ID:aa....aa, Session ID: bb....bb, Consumer ID: cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマー uid

説明

ブラウザを削除する際に指定されたコンシューマーがキューブラウザリストに存在しない場合に発生します。

対処

コンシューマーがすでにクローズされていないことを確認してください。

KDAN21094-E

browseMessages: destination not found. Connection ID:aa....aa, Session ID: bb....bb, Consumer ID: cc....cc destination: dd....dd.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマー uid

dd....dd：送信先

説明

メッセージをブラウズする際に送信先が見つからない場合に発生します。

対処

指定された送信先がストアに存在することを確認してください。

KDAN21095-E

browseMessages: Browse queue failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb, consumer ID: cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマー uid

説明

ブラウザを追加する際に指定されたセレクター文字列が無効である場合に発生します。

対処

指定されたセレクター文字列が有効であることを確認してください。

KDAN21096-E

browseMessages: consumer ID not found. Connection ID:aa....aa, Session ID: bb....bb, Consumer ID: cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマー uid

説明

メッセージをブラウズする際に送信先が見つからない場合に発生します。

対処

コンシューマーがすでにクローズされていないことを確認してください。

KDAN21097-E

redeliverMessages: Redeliver failed. Connection ID: aa....aa, session ID: bb....bb, transaction ID: cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：トランザクション uid

説明

メッセージの再配送時に I/O エラーが発生しました。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN21098-E

aa....aa:connection ID not found: bb....bb.

aa....aa：メソッド名

bb....bb：コネクション uid

説明

無効なコネクション id が渡された状態でコネクションに対して何らかの動作（ブラウザ，コンシューマー，プロデューサの追加/削除，メッセージのフェッチなど）をしようとしたときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21099-E

aa....aa:session ID not found: bb....bb.

aa....aa：メソッド名

bb....bb：セッション uid

説明

無効なセッション id が渡された状態でセッションに対して何らかの動作（ブラウザ，コンシューマー，プロデューサの追加/削除，メッセージのフェッチなど）をしようとしたときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21100-E

Cannot invoke SessionListener.getNextConsumerPacket() when in asynchronous receiving mode.

説明

非同期受信モードでブローカーからメッセージをフェッチする際に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21101-E

Connection has been closed aa....aa.

aa....aa：IMQIP コネクション

説明

パケットからデータを読み込み時に IMQIP コネクションがクローズされている場合に発生します。

対処

コネクションがオープンであることを確認してください。

KDAN21102-E

Failed to copy old persistent data under aa....aa to bb....bb.

aa....aa：カレントディレクトリ

bb....bb：ルートディレクトリ

説明

- 該当ファイルは読み込み権限がありません。
- 該当ファイルが破損しているか，または，構成されたファイルが存在しません。
- I/O エラーが発生しました。

対処

1. 該当ファイルに読み込み権限を与えてください。
2. 操作をリピートしてください。問題が解決されない場合，ブローカーを再起動してください。この場合は，古いデータが失われます。
3. 保守員に問い合わせてください。

KDAN21103-E

This should never happen!

説明

指定されたトランザクションに対してトランザクション情報オブジェクトをクローンしようとしたときに発生します。

対処

オブジェクトのクラスが Cloneable インターフェースをサポートすることを確認してください。

KDAN21104-E

Could not parse properties aa....aa.

aa....aa：例外

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21105-E

Could not marshal properties aa....aa.

aa....aa：例外

説明

プロパティバイトの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN21106-E

Exception getting properties: aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

プロパティの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN21107-E

Could not get message body: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

- null になっているメッセージボディーの読み込み時にエラーが発生しました。
- メッセージボディーの取得時に I/O エラーが発生しました。

対処

- メッセージボディーが null でないことを確認してください。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21108-E

aa....aa:setCookie()

aa....aa：VRecordRAF 情報

説明

VRFile にメッセージとそのコンシューマステートを書き込むときに実行時例外が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21109-E

aa....aa:free()

aa....aa：VRecordRAF 情報

説明

VRFile からレコードを解放する際に実行時例外が発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21110-E

Fault Injection: triggered aa....aa selector [bb....bb]

aa....aa：フォルト

bb....bb：セレクター

説明

I/O エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21111-E

Internal Error: Invalid Acknowledge Packet processing notifying client aa....aa

aa....aa：パケット情報

説明

応答確認メッセージの取り扱い時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21115-E

The END target for BETWEEN must be a numeric value. Found aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

BETWEEN ステートメントの END が数値になっていない場合に発生します。

対処

BETWEEN ステートメントの END が数値であることを確認してください。

KDAN21116-E

Pass <vmarguments> to the Java VM.

説明

「-vmargs」でコマンド引数を指定しない場合に発生します。

対処

「-vmargs」で有効なコマンド引数を指定してください。

KDAN21118-E

Acknowledgement could not be processed because the broker is shutting down.

説明

応答確認の取り扱い中にブローカーがシャットダウンされた場合に発生します。

対処

ブローカーが起動されていることを確認してください。

KDAN21119-E

Transaction acknowledgement could not be added because message aa....aa has already been removed.

aa....aa：メッセージ id

説明

送信先に該当メッセージが存在しない場合に発生します。

対処

送信先に該当メッセージが存在することを確認してください。

KDAN21120-E

Transaction acknowledgement could not be added because message aa....aa was locked.

aa....aa：メッセージ id

説明

応答確認を追加時に内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21121-E

Specify a valid absolute path for var home to use.

説明

-varhome オプションにディレクトリパスの指定がないときに発生します。

対処

-varhome オプションには正しいディレクトリパスの指定をしてください。

KDAN21122-E

Exception caught while login. Reason: aa....aa.

aa....aa：エラーの理由

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21123-E

Exception caught while updating portmapper property. Reason: aa....aa.

aa....aa：エラーの理由

説明

- 更新する属性値に不正なプロパティ名を指定した。
- 更新する属性値に不正なプロパティ値を指定した。

対処

- 更新する属性値に正しいプロパティ名を指定してください。
- 更新する属性値に正しいプロパティ値を指定してください。

KDAN21124-E

Exception cancling key.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21125-E

Exception processing aa....aa.

aa....aa：エラー情報

説明

コネクション処理でエラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21126-E

Exception while removing persistent store. Reason: aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

永続化ストアーを削除しようとしてエラーが発生しました。

対処

永続化ストアーの権限が適切であることを確認してください。

KDAN21127-E

Internal Error : aa....aa.

aa....aa：エラーの理由

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21128-E

Exception occur while upgrading the store. Reason: aa....aa.

aa....aa：エラーの理由

説明

- 古い永続ストアーが不正です。
- 古い永続ストアーが存在しません。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。
- 再起動後にメッセージや送信先のデータは失われます。

KDAN21129-E

Unsupported Operation.

説明

非サポートのメソッドを呼び出しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21130-E

Already waiting for aa....aa

aa....aa：オブジェクト

説明

リクエスト通知をする間に，システムがすでにその特定のオブジェクトを待っている時に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21131-E

Unknown size aa....aa

aa....aa：プロパティ値かバイト値

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21132-E

Unable to paused unknown destination aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

送信先を一時停止して永続ストアーに送信先が存在しないときに発生します。

対処

永続ストアーに送信先が存在していることを確認してください。

KDAN21133-E

Unable to paused admin or internal destination aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

送信先の作成を一時停止したときに発生します。

対処

送信先の作成を一時停止したときに送信先が作成されていないかを確認してください。

KDAN21134-E

Unable to resume unknown destination aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

指定した送信先が永続ストアー存在しないときに発生します。

対処

永続ストアーに送信先が存在していることを確認してください。

KDAN21135-E

Internal error processing delete consumer aa....aa

aa....aa：コンシューマー

説明

指定したコンシューマーを削除するときに内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21136-E

Failed to delete file: aa....aa.

aa....aa：ファイル名

説明

- パスで指定したファイルが存在しません。
- ファイルに削除権限がありません。

対処

- ファイルが存在することを確認してください。
- ファイルに削除権限があることを確認してください。

KDAN21137-E

Internal Error loading/routing transacted message, throwing out message aa....aa.

aa....aa：エラーメッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21138-E

Internal Exception:

説明

内部エラーの表示で発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21139-E

Exception caught while updating the broker configuration. Reason: aa....aa.

aa....aa：エラーの理由

説明

- プロパティが何らかの理由で設定できません。
- プロパティが保存できません。

対処

- プロパティに値が設定できることを確認してください。
- プロパティが保存できることを確認してください。

KDAN21140-E

Client Failover

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21141-E

Failed to truncate file: aa....aa.

aa....aa：ファイル名

説明

ファイル操作で I/O エラーが発生しました。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- I/O デバイス/ドライバーが動作しているか確認してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

KDAN21142-E

Bad sysmessageid is specified.

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21143-E

Propertis is not specified.

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21144-E

BEFORE SLEEP aa....aa(seconds) BECAUSE OF FAULT bb....bb

aa....aa：秒数

bb....bb：不正値

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。再起動したら，古いデータは失われます。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21145-E

Internal Error: unable to process consumer request aa....aa.

aa....aa：パケット

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21146-E

Error setting overrides

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21147-E

Shutting down metrics, timer has been canceled.

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21148-E

Sending detach notification for aa....aa from bb....bb.

aa....aa：コンシューマー ID

bb....bb：永続サブスクライバー

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21149-E

XXX - internal error handling delivery policy change

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21150-E

Internal Error Unable to consume aa....aa:bb....bb.

aa....aa：コンシューマー ID

bb....bb：パケット参照

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21151-E

Internal Exception: unable to load destination aa....aa.

aa....aa：Topic 送信先

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21152-E

Monitor destination Error aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21153-E

Internal Error: unable to retrieve properties from resume message aa....aa.

aa....aa：パケット

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21154-E

Internal Error: unable to retrieve properties from generateUID message aa....aa.

aa....aa：パケット

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21155-E

Internal Error: error retrieving properties from INFO_REQUEST message.

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21156-E

Internal Error: error retrieving properties from hello message.

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21157-E

Internal Error: unable to retrieve properties from goodbye message aa....aa.

aa....aa：パケット

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21158-E

SLEEP aa....aa(seconds) FAULT (bb....bb) interrupted: cc....cc

aa....aa：秒数

bb....bb：不正値

cc....cc：エラーメッセージ

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。再起動したら，古いデータは失われます。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21159-E

error connection removing producer it doesnt own PID=aa....aa, connectionUID of request bb....bb, connectionUID of creator cc....cc, checking producer state: dd....dd.

aa....aa：プロデューサ ID

bb....bb：コネクション ID

cc....cc：コネクション ID

dd....dd：プロデューサ ID

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21160-E

SHUTING DOWN BROKER BECAUSE OF FAULT aa....aa

aa....aa：不正値

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。再起動したら，古いデータは失われます。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21161-E

HALTING BROKER BECAUSE OF FAULT aa....aa

aa....aa：不正値

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。再起動したら，古いデータは失われます。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21162-E

Broker down Unable to acknowlege aa....aa:bb....bb

aa....aa：SysMessageID

bb....bb：コンシューマー ID

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。
- ブローカーを再起動しても問題が持続する場合は，ブローカーインスタンスを削除して再作成してください。この場合，メッセージや送信先のデータは失われます。
- 保守員に問い合わせてください。

KDAN21163-E

Invalid value for -reset

説明

-reset の引数が不正な時に発生します。

対処

-reset に正しい引数を指定してください。

KDAN21164-E

Running low on memory while writing a message to a client, the current message may be lost

説明

指定した Java ヒープを超えたときに発生します。

対処

Java ヒープサイズを増やしてください。保守員に問い合わせてください。

KDAN21165-E

The broker ran out of memory during startup and was unable to recover, please adjust the amount of memory allocated to the java process in the cjmsbroker script or bat file and restart the broker

説明

指定した Java ヒープを超えたときに発生します。

対処

Java ヒープサイズを増やしてください。保守員に問い合わせてください。

KDAN21166-E

Running low on memory while allocating space for a message header, system will attempt to recover

説明

指定した Java ヒープを超えたときに発生します。

対処

Java ヒープサイズを増やしてください。保守員に問い合わせてください。

KDAN21167-E

Invalid value for -remove

説明

-remove の引数が不正な時に発生します。

対処

-remove に正しい引数を指定してください。

KDAN21168-E

Running low on memory while portmapper service listening client connection, system will attempt to recover.

説明

指定した heap メモリーを超えたときに発生します。

対処

heap サイズを増やしてください。保守員に問い合わせてください。

KDAN21169-E

Running low on memory while portmapper service processing client connection, system will attempt to recover.

説明

指定した heap メモリーを超えたときに発生します。

対処

heap サイズを増やしてください。保守員に問い合わせてください。

KDAN21170-E

Running low on memory in portmapper service, broker will attempt to restart.

説明

指定した heap メモリーを超えたときに発生します。

対処

heap サイズを増やしてください。保守員に問い合わせてください。

KDAN21171-E

Unable to process admin request: Broker has not completed startup.

説明

ブローカーが完全にスタートされていない場合に発生します。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。
- ブローカーを再起動しても問題が持続する場合は，ブローカーインスタンスを削除して再作成してください。この場合，古いデータは失われます。

KDAN21172-E

Unable to process admin request: Broker is shutting down.

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

対処

- 再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。
- ブローカーを再起動しても問題が持続する場合は，ブローカーインスタンスを削除して再作成してください。この場合，古いデータは失われます。

KDAN21173-E

Unable to store message to destination aa....aa: Broker is shutting down or destination is being destroyed.

aa....aa：送信先名

説明

- 送信先へのメッセージの保存中，ブローカーがシャットダウンした場合に発生します。
- 送信先へのメッセージの保存中，該当送信先がストアに存在しない場合に発生します。

対処

再度オペレーションを実行してください。問題が持続する場合は，ブローカーを再起動してください。この場合，古いデータは失われます。

KDAN21174-E

Transaction aa....aa has state bb....bb during connection cc....cc cleanup

aa....aa：トランザクション ID

bb....bb：トランザクション状態

cc....cc：コネクション ID

説明

セッションがクローズしたときにトランザクションがクローズしていないときに発生します。

対処

使用したあとで，リソースが正しくクローズされていることを確認してください。

KDAN21175-E

Internal Error: message aa....aa queued on destroyed connection bb....bb.

aa....aa：パケット

bb....bb：IMQIPConnection オブジェクト

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21176-E

Wait for reference : aa....aa.

aa....aa：パケット参照

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21177-E

Weird reference behavior aa....aa.

aa....aa：パケット参照

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21178-E

loaded durable consumer [cid=aa....aa, dn=bb....bb] already exists cc....cc

aa....aa：クライアント ID

bb....bb：永続サブスクライバー名

cc....cc：永続サブスクライバーリスト

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21179-E

Canceling message expiration on aa....aa

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21180-E

Unknown Monitor destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21181-E

Data logged at file aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21182-E

Unknown dump arg aa....aa.

aa....aa：引数

説明

不正な引数を指定したときに発生します。

対処

正しい引数を指定してください。

KDAN21183-E

Ignore duplicated redeliver request [aa....aa:bb....bb]

aa....aa：パケット

bb....bb：エラーメッセージ

説明

メッセージパケットから属性を取得したときにブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21184-E

Session aa....aa is bad because it is from a different connection [owning,current]=[bb....bb,cc....cc].

aa....aa：セッション ID

bb....bb：コネクション ID

cc....cc：コネクション ID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21185-E

local consumer does not have associated session aa....aa.

aa....aa：コンシューマー ID

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21186-E

Bad body in destroy consumer

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21187-E

Bad selector format, cannot match against aa....aa

aa....aa：セレクター文字列

説明

セレクターの指定でシンタックスエラーが発生しました。

対処

セレクターを正しく修正してください。

KDAN21188-E

Unable to retrieve transaction information aa....aa for bb....bb we may be clearing the transaction

aa....aa：トランザクション情報

bb....bb：トランザクション id

説明

トランザクションが存在しないとき，トランザクションリストからトランザクションを取得したときのエラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21189-E

Could not get variable headeraa....aa.

aa....aa：エラーメッセージ

説明

パケット処理で I/O エラーが発生しました。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- I/O デバイス/ドライバーが動作しているか確認してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

KDAN21190-E

Max file descriptors: aa....aa (bb....bb).

aa....aa：現在値

bb....bb：最大数

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21191-E

Unable to clean up message aa....aa after ack processing

aa....aa：パケット参照

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21192-E

Received bad address aa....aa ignoring

aa....aa：mqAddress

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21193-E

Cannot reschedule task, timer has been canceled, the broker is probably shutting down.

説明

ブローカーの内部エラーが発生しました。

対処

エラーログをチェックして措置するか，保守員に問い合わせてください。

KDAN21701-E

Could not use log file aa....aa.bb....bb

aa....aa：ログファイル

bb....bb：ファイルが使用できなかった理由

説明

- ログロケーション用にディレクトリを作成できませんでした。
- ログファイルは書き込み権限がありません。

対処

- ログロケーションを作成するために適切な権限を指定してください。
- ログファイルに書き込み権限を与えてください。または，読み込み属性を外してください。

KDAN21702-E

Could not open logging device aa....aa.bb....bb

aa....aa：ロギングデバイス

bb....bb：デバイスがオープンされなかった理由

説明

ファイルロギングデバイスのオープン時に I/O エラーが発生しました。

対処

ファイルに適切な権限が与えられていることを確認してください。

KDAN21703-E

Could not log message to aa....aa.bb....bb

aa....aa：ロギングデバイス

bb....bb：ログインできなかった理由

説明

- ログファイルへの書き込み時に I/O エラーが発生しました。
- OUT や ERR ストリームに書き込むときに I/O エラーが発生しました。

対処

- ファイルに適切な権限が与えられていることを確認してください。

KDAN21704-E

No log handlers specified by aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティファイルにログハンドラが指定されていません。

対処

次のどれかのログハンドラを指定してください。

File，console，destination，jmx

KDAN21705-E

No log handler specified by aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

ログハンドラにインプリメンテーションクラスが指定されていません。

対処

ログハンドラがインプリメンテーションクラスを有することを確認してください。

KDAN21706-E

Could not load LogHandler class: aa....aa

aa....aa：LogHandler クラス名

説明

- ログハンドラクラスが存在しません。
- クラスに適切なパッケージ名が指定されていません。

対処

- クラスが存在することを確認してください。
- 適切なパッケージ名を指定してください。

KDAN21707-E

Unable to find version properties for this resource, jar file may be corrupted.

説明

version.properties ファイルが存在しません。

対処

version.properties ファイルを適切なロケーションに指定してください。

KDAN21708-E

Exception loading version properties for this resource, jar file may be corrupted.

説明

バージョンプロパティを読み込むときにエラーが発生しました。

プロパティファイルが破損しているまたは，適切な権限がありません。

対処

ファイルに適切な権限を指定してください。

KDAN21709-E

Error retrieving version information from aa....aa

aa....aa：クラスパス名

説明

バージョンプロパティオブジェクトが null になっています。

対処

version.properties ファイルを適切なロケーションに指定してください。

KDAN21710-E

Compact cannot be done on opened file.

説明

開かれた VRFile（ファイルストア情報を格納しているファイル）を圧縮しようとしたときに発生します。

対処

圧縮する前に該当ファイルがクローズされていることを確認してください。

KDAN21711-E

File is not yet opened and loaded.

説明

開かれていない VRFile（Variable Record file－ファイルストア情報を格納している）に対して何らかの操作をしようとしたときに発生します。

対処

VRFile に対して何らかの操作をする前にオープンメソッドをコールしてファイルを開いてください。

KDAN21712-E

Failed to rename backing file aa....aa to backup file bb....bb

aa....aa：バッキングファイル名

bb....bb：バックアップファイル名

説明

VRFile の圧縮時に，バックアップファイルへのリネームが失敗したときに発生します。

対処

ファイルストアに適切な権限を指定してください。

KDAN21713-E

Failed to rename temp file aa....aa to backing file bb....bb

aa....aa：バッキングファイル名

bb....bb：バックアップファイル名

説明

VRFile の圧縮時に，一時ファイルから VRFile へのリネームが失敗したときに発生します。

対処

ファイルストアに適切な権限を指定してください。

KDAN21714-E

Failed to delete the backup file aa....aa

aa....aa：バックアップファイルパス

説明

VRFile 圧縮時に，バックアップファイルを削除できませんでした。

対処

ファイルストアに適切な権限を指定してください。

KDAN21715-E

aa....aa:Bad file magic number: bb....bb; Expecting: cc....cc

aa....aa：バッキングファイルパス

bb....bb：バッキングファイルから読まれた番号

cc....cc：予想マジック番号

説明

VRFile のマジック番号が予想されたマジック番号と異なります。

対処

ファイルストアのファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN21716-E

aa....aa:Unsupported VRFile version: bb....bb; Expecting: cc....cc

aa....aa：バッキングファイルパス

bb....bb：見つかったバージョン番号

cc....cc：予想バージョン番号

説明

VRFile のバージョンが予想されたバージョンと異なります。

対処

ファイルストアのファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN21717-E

aa....aa:Unrecognized VRecord specified

aa....aa：バッキングファイルパス

説明

VRFile のレコードが不正です。

対処

ファイルストアのファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN21718-E

aa....aa:Unrecognized VRFile format, no valid file header

found, can only read bb....bb bytes

aa....aa：バッキングファイルパス

bb....bb：ヘッダーから読み込んだバイト数

説明

レコードベースファイルのファイルフォーマットが不正です。

対処

ファイルストアのファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN21719-E

Uncaught exception aa....aa occurred in thread bb....bb

aa....aa：バッキングファイルパス

bb....bb：バッキングファイルから読み込んだクッキー

説明

キャッチされていない例外によってスレッドが終了されたときに発生します。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21720-E

Could not create directory aa....aa.

aa....aa：ファイルパス／ディレクトリパス

説明

ログロケーション用のディレクトリを作成できませんでした。

対処

ログロケーションに適切な権限を与えてください。

KDAN21721-E

Could not write to file aa....aa.

aa....aa：ファイルパス／ディレクトリパス

説明

ログファイルに書き込めませんでした。

対処

ログファイルに書き込み権限を与えてください。

KDAN21722-E

Could not write to file aa....aa. It is a directory.

aa....aa：ファイルパス／ディレクトリパス

説明

ログファイルのロールオーバーに使用されたのは，ファイルではなくディレクトリです。

対処

対処は不要です。

KDAN21723-E

Could not write creation timestamp to file aa....aa.

aa....aa：ファイルパス／ディレクトリパス

説明

ロールオーバーファイルに作成日時情報を書き込むときに，I/O エラーが発生した，または，ストリームがクローズされたときに発生します。

対処

ログファイルのロケーションが適切な権限を持つことを確認してください。

KDAN21724-E

Could not read creation timestamp from file aa....aa. It may be corrupted.

aa....aa：ファイルパス／ディレクトリパス

説明

ロールオーバーファイルから作成日時を読み込むときに，I/O エラーが発生しました。

対処

ログファイルのロケーションが適切な権限を持つことを確認してください。

KDAN21726-E

Portmapper version mismatch. Version=aa....aa. Expecting bb....bb

aa....aa：カレントバージョン

bb....bb：予想バージョン

説明

portmapper バージョンが予想されたバージョンと一致しません。

対処

内部エラーのため，保守員に問い合わせてください。

KDAN21727-E

Could not skip bytes

説明

ファイルから作成日時情報を読み込むときに I/O エラーが発生しました。

対処

ファイルの権限を適切に指定してください。

KDAN21728-E

Internal Error: timer canceled.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN21729-E

Could not set handlers: aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

使用するログハンドラ群を指定するときにロガーがクローズされていない状態にあります。

対処

ハンドラを設定する前にロガーがクローズしていないことを確認してください。

KDAN21730-E

Logger must be closed before setting handlers.

説明

使用するログハンドラ群を指定するときにロガーがクローズされていない状態にあります。

対処

ハンドラを設定する前にロガーがクローズしていないことを確認してください。

KDAN22001-W

Authentication of aa....aa for bb....bb service failed.

aa....aa：ユーザ名

bb....bb：サービス名

説明

指定されたユーザがユーザリポジトリに存在しない場合に発生します。

対処

有効なユーザ名およびパスワードを指定してください。

KDAN22002-W

Unable to load aa....aa property file bb....bb.

aa....aa：オープンできなかったプロパティファイルの種別

bb....bb：プロパティファイルのパス

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22003-W

Unable to save properties without a valid configStore class

説明

指定された CJMSP インスタンスのプロパティファイルが存在しない場合に発生します。

対処

各 CJMSP インスタンスが有効なプロパティファイルを有することを確認してください。

KDAN22004-W

Creation of destination aa....aa failed.

aa....aa：送信先名

説明

コネクションが存在しない場合または新しい送信先を作成するためのメモリがない場合に発生します。

対処

送信先を作成するのに十分なメモリがあることを確認してください。

KDAN22005-W

Destruction of destination aa....aa failed.

aa....aa：送信先名

説明

- 指定された送信先が null の場合に発生します。
- 指定された送信先がデッドメッセージキューである場合に発生します。
- 指定された送信先が存在しない場合に発生します。

対処

- CJMSP に存在する有効な送信先を指定してください。
- デッドメッセージキューは削除できません。

KDAN22006-W

Creation of consumer aa....aa from connection bb....bb on destination cc....cc failed.

aa....aa：コンシューマー id

bb....bb：コネクション名

cc....cc：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため,保守員に問い合わせてください。

KDAN22007-W

Destruction of consumer aa....aa from connection bb....bb on destination cc....cc failed.

aa....aa：コンシューマー id

bb....bb：コネクション名

cc....cc：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため,保守員に問い合わせてください。

KDAN22008-W

Storing of JMS message from aa....aa failed.

aa....aa：メッセージ ID

説明

- CJMSP 内の送信先情報を有する送信先ファイルに指定された送信先が存在しない場合に発生します。
- システム内のメッセージ数が最大数を超過し，メッセージが拒否された場合に発生します。

対処

- 送信先ファイルに存在する有効な送信先を指定してください。
- 指定された名称の新しい送信先を作成してください。
- CJMSP ブローカーのメッセージ数の最大値を増加してください。

KDAN22009-W

Could not control debug setting of a class

説明

プロパティファイル内にデバッグプロパティが指定されていない場合に発生します。

対処

プロパティファイル内にデバッグプロパティを指定してください。

KDAN22010-W

Browsing of Queue aa....aa failed.

aa....aa：キュー名

説明

CJMSP 内の送信先情報を有する送信先ファイルに指定された送信先が存在しない場合に発生します。

対処

- 送信先ファイルに存在する有効な送信先を指定してください。
- 指定された名称の新しい送信先を作成してください。

KDAN22011-W

Unable to parse selector aa....aa

aa....aa：セレクター文字列

説明

指定されたメッセージセレクター式が無効である場合に発生します。

対処

SQL92 構文を基にした有効なセレクター式を指定してください。

KDAN22012-W

Unable to stop service aa....aa.

aa....aa：サービス名

説明

指定されたサービスがすでに停止している場合に発生します。

対処

指定したサービスが事前に停止していないことを確認してください。

KDAN22013-W

Unable to destroy service aa....aa.

aa....aa：サービス名

説明

指定されたサービスが存在しない場合に発生します。

対処

サービスが存在し，かつ停止されていることを確認してください。

KDAN22014-W

Deleted file with non-numeric file name: aa....aa.

説明

ユーザが存在しないファイルを削除しようとしたときに発生します。

対処

存在しないファイルは削除しないでください。

KDAN22015-W

Unable to read data file: aa....aa.

aa....aa：ファイル名

説明

指定されたファイルがディレクトリ内に存在しない場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN22018-W

A client attempted to add an invalid client id aa....aa on connection bb....bb.

aa....aa：クライアント ID

bb....bb：コネクション

説明

指定されたクライアント ID が次の場合に発生します。

- CJMS の予約名，null，空文字列のどれかの場合
- クライアント ID の先頭が${u:}という文字列の場合
- クライアント ID の先頭が${%%}という文字列の場合

対処

クライアント ID に CJMS の予約名，null，空文字，および${u:}または${%%}という文字で始まる名前を指定していないか確認してください。

KDAN22019-W

Admin Operation Failed:

説明

- 送信先をパージ用に指定された送信先名が無効な場合に発生します。
- 送信先のパージ中にエラーが発生した場合に発生します。

対処

CJMSP に存在する有効な送信先名を指定してください。

KDAN22020-W

Service aa....aa[bb....bb] access denied.

aa....aa：サービス名

bb....bb：サービス種別

説明

指定されたアクセス管理情報が無効な場合に発生します。

対処

有効なアクセス管理情報を指定してください。

KDAN22021-W

aa....aa on bb....bb destination cc....cc denied - dd....dd.

aa....aa：操作

bb....bb：送信先の種別（キュー，トピックなど）

cc....cc：送信先名

dd....dd：例外メッセージ

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22022-W

aa....aa bb....bb destination cc....cc denied - dd....dd.

aa....aa：操作

bb....bb：送信先の種別（キュー，トピックなど）

cc....cc：送信先名

dd....dd：例外メッセージ

説明

CJMSP が実行中でない場合に発生します。

対処

CJMSP を開始してください。

KDAN22023-W

Unable to cleanup all data in thread pool aa....aa within the destroy time of bb....bb, data may be corrupted.

aa....aa：スレッドインスタンス

bb....bb：タイムアウト値

説明

指定されたサービスが実行中であり，内部エラーのためクリーンアップができない場合に発生します。

対処

保守員にお問い合わせください。

KDAN22024-W

Unable to update service aa....aa

aa....aa：サービス名

説明

指定されたサービスが存在しない場合に発生します。

対処

指定したサービスが存在していることを確認してください。

KDAN22025-W

Administration service received a forbidden operation on a restricted connection. Operation=aa....aa.

aa....aa：操作

説明

指定されたユーザが管理者でない場合に発生します。

対処

CJMSP への接続は管理者しかできません。

KDAN22026-W

Removing aa....aa:state[bb....bb]. Timeout in reaching state cc....cc within dd....dd seconds.

aa....aa：コネクション

bb....bb：現在の状態

cc....cc：要求状態

dd....dd：待機間隔（秒単位）

説明

CJMSP へのコネクションが終了している場合に発生します。

対処

CJMSP への新しいコネクションを確立してください。

KDAN22027-W

Client protocol level aa....aa was not at the supported level of bb....bb.

Broker is closing the connection to allow the client to reconnect at a supported level.

aa....aa：互換性のないプロトコルレベル

bb....bb：ブローカーが要求するプロトコルレベル

説明

- 要求されたクライアントプロトコルが CJMSP で対応されていない場合に発生します。
- 指定されたプロトコルが実行中でない場合に発生します。

対処

指定されたプロトコルを開始してください。

詳細は，保守員にお問い合わせください。

KDAN22028-W

Could not configure MetricManager because a property was set to an invalid value

説明

- メトリックスのメトリックス interval（間隔）プロパティが設定されていない場合に発生します。
- メトリックスのメトリックス interval（間隔）プロパティに無効な値が設定されている場合に発生します。

対処

メトリックスの interval プロパティに有効な値を設定してください。

KDAN22032-W

Data on connection aa....aa is corrupted, closing connection.

aa....aa：コネクション

説明

指定されたコネクションのデータが破損している場合に発生します。コネクションが終了されます。

対処

ネットワークコネクションが安定していることおよびセキュアであることを確認してください。

KDAN22033-W

Could not register diagnostic class

説明

クラスの診断情報を取得する際，無効なクラスが指定されている場合に発生します。

対処

config.properties ファイル内に完全なパッケージ名を有するクラスを指定してください。

KDAN22034-W

Property [aa....aa] has whitespace at the end of the property [bb....bb], removing extra whitespace and re-storing.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

properties ファイル内で余分なホワイトスペースが指定されています。この余分なホワイトスペースが削除されます。

対処

特に何もする必要がありません。

KDAN22035-W

Got exception while loading configuration change records, aa....aa records loaded, file truncated at bb....bb.

aa....aa：レコードサイズ

bb....bb：位置

説明

config record ファイルが破損しているときに発生します。Config record ファイルはコンフィギュレーションに関するすべての変更履歴を管理します。

対処

CJMSP を再起動（新しい config record ファイルが作成される）してください。しかし，過去のデータが失われます。

KDAN22036-W

Found incomplete record at the end of the file [aa....aa], file truncated at bb....bb.

aa....aa：レコードサイズ

bb....bb：位置

説明

config record ファイルが破損しているときに発生します。Config record ファイルはコンフィギュレーションに関するすべての変更履歴を管理します。

対処

CJMSP を再起動（新しい config record ファイルが作成される）してください。しかし，過去のデータが失われます。

KDAN22037-W

Broker ran out of memory before the passed in VM maximum (-Xmx) bb....bb b, lowering max to currently allocated memory (aa....aa b) and trying to recover

aa....aa：メモリサイズ

bb....bb：メモリサイズ

説明

CJMSP の開始または実行で JVM メモリが不足する場合に発生します。CJMSP の開始時にエラーが発生した場合，CJMSP が停止されます。

対処

この警告メッセージが何度も発生した場合，JVM メモリサイズを増加してください。

KDAN22038-W

Broker is rejecting new producers, because it is extremely low on memory

説明

CJMSP が一般ユーザ用にプロデューサを作成する際，メモリが少なくなった場合に発生します。

対処

この警告メッセージが何度も発生した場合，CJMSP を再起動するか JVM メモリサイズを増加してください。

KDAN22039-W

Broker is rejecting the creations of destinations, because it is extremely low on memory

説明

CJMSP が送信先を作成する際，メモリが少なくなった場合に発生します。

対処

この警告メッセージが何度も発生した場合，CJMSP を再起動するか JVM メモリサイズを増加してください。

KDAN22040-W

Browsing of Queue aa....aa failed, destination unknown

aa....aa：キュー名

説明

ブラウジング用に指定された送信先が CJMSP 内に存在しない場合に発生します（ブラウジング用にダイナミック送信先を使用した場合）。

対処

CJMSP 内に存在する送信先を指定してください。

KDAN22041-W

Destroying destination aa....aa with bb....bb active producers. Reason: cc....cc.

aa....aa：送信先名

bb....bb：アクティブプロデューサ数

cc....cc：詳細情報を有する文字列

説明

プロデューサがアクティブな送信先が管理者によって削除された場合に発生します。送信先が破壊されます。

対処

送信先を削除するとき，プロデューサが終了していることを確認してください。

KDAN22042-W

Destroying destination aa....aa with bb....bb active consumers. Consumers will no longer receive messages. Reason: cc....cc.

aa....aa：送信先名

bb....bb：アクティブなコンシューマー数

cc....cc：詳細情報を有する文字列

説明

コンシューマーがアクティブな送信先が管理者によって削除された場合に発生します。送信先が破壊されます。

対処

送信先を削除するとき，コンシューマーが終了していることを確認してください。

KDAN22043-W

Unable to create destination aa....aa, autocreation is forbidden.

aa....aa：送信先名

説明

自動作成機能が無効になっている場合に発生します。

対処

非サポートなので，自動作成機能は使用しないでください。

KDAN22045-W

Loading Destination aa....aa failed. Messages stored on that destination will not be available.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22048-W

Unable to load message aa....aa from destination bb....bb because cc....cc

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：送信先 UID

cc....cc：例外情報

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22049-W

Unable to move message aa....aa to the Dead Message Queue.

aa....aa：メッセージ

説明

ブローカーが実行されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN22050-W

Attempt to repair corrupted destination for aa....aa failed, throwing out.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22051-W

Destination aa....aa cannot be loaded, it has been recreated using default configuration values

aa....aa：送信先名

説明

CJMSP の開始時に送信先に関連するファイルが破損され，ロードできない場合に発生します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22052-W

Destination aa....aa could not be loaded or regenerated

aa....aa：送信先文字列の値

説明

CJMSP の開始時に送信先に関連するファイルが破損し，送信先が再作成できない場合に発生します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22053-W

Attempt to repair corrupted consumer for aa....aa failed, throwing out.

aa....aa：ConsumerUID の値

説明

コンシューマに関連するファイルが破損し，そのコンシューマが復旧できない場合に発生します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22054-W

Consumer aa....aa is corrupted and cannot be repaired, discarding.

aa....aa：ConsumerUID 文字列の値

説明

コンシューマに関連するファイルが破損し，復旧できない場合に発生します。コンシューマを除外します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22055-W

Unable to load transaction information.

説明

トランザクションに関連するファイルが破損し，CJMSP の開始時に再作成できない場合に発生します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22056-W

Transaction State Information for aa....aa corrupted, setting to PREPARED.

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクションに関連するファイルが破損し，CJMSP の開始時に再作成できない場合に発生します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22057-W

Transaction ID for Transaction State aa....aa is corrupted, discarding

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクションに関連するファイルが破損し，CJMSP の開始時に再作成できない場合に発生します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22058-W

Transaction Acknowledge Information for aa....aa corrupted, discarding

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクションに関連するファイルが破損し，CJMSP の開始時に再作成できない場合に発生します。

対処

ファイルストア内のファイルが破損していないことを確認してください。

KDAN22059-W

Warning clock synchronization problem detected, the system time of the client on connection aa....aa is at least bb....bb seconds faster than the system time of the broker. A message may live longer than its ttl.

aa....aa：コネクション ID

bb....bb：imq.clock.skew.interval の値

説明

クライアントのシステム時刻および CJMSP のシステム時刻間の同期に問題がある場合に発生します。

対処

クライアントのシステム時刻および CJMSP のシステム時刻を同期させてください。

KDAN22060-W

Warning possible clock synchronization problem detected. The broker received a message more than bb....bb after it was sent from the client on connection aa....aa. Check system clocks on both systems to ensure that a message expires only after its ttl elapses.

aa....aa：コネクション ID

bb....bb：メッセージ数

説明

クライアントのシステム時刻および CJMSP のシステム時刻間の同期に問題がある場合に発生します。

対処

クライアントのシステム時刻および CJMSP のシステム時刻を同期させてください。

KDAN22061-W

Warning possible clock synchronization problem detected. Messages from connection aa....aa are arriving close to their expiration times. Check system clocks on both systems to

ensure that clock skew does not affect message expiration.

aa....aa：コネクション ID

説明

クライアントのシステム時刻および CJMSP のシステム時刻間の同期に問題がある場合に発生します。

対処

クライアントのシステム時刻および CJMSP のシステム時刻を同期させてください。

KDAN22062-W

Creation of consumer aa....aa from connection bb....bb on the auto-created destination cc....cc failed.

aa....aa：コンシューマ ID

bb....bb：コネクションオブジェクト

cc....cc：送信先

説明

送信先が CJMSP 内に存在しないためコンシューマの作成時に自動的に作成しようとした場合に発生します。

対処

特に何もする必要がありません。

KDAN22098-W

Destroying unresponsive connection aa....aa, connection has not responded for bb....bb seconds.

aa....aa：コネクション ID

bb....bb：時間間隔

説明

ping の時間間隔以上にコネクションに応答がない場合に発生します。

対処

ネットワーク接続が適切であることを確認してください。

KDAN22104-W

Removing aa....aa messages associated with destination bb....bb.

aa....aa：送信先でのメッセージサイズ

bb....bb：送信先名

説明

メッセージを有する送信先を削除しようとしたときに発生します。メッセージおよび送信先が破壊されます。

対処

送信先を削除する前に，メッセージを必ず受信してください。

KDAN22166-W

HALTING BROKER BECAUSE OF aa....aa

aa....aa：ブローカー終了の原因

説明

インスタンスの削除時に，該当インスタンスが存在していない場合に発生します。

対処

該当インスタンスが存在することを確認してください。

KDAN22173-W

Received acknowledgement to a message aa....aa that has been removed.

aa....aa：セッションオブジェクト

説明

メッセージの期限が切れたあとに，ブローカーに対して ACK メッセージが送信された場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22175-W

possible loss of destination data.

説明

バッキングファイルのロード時にデータ破損が起きた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22176-W

possible loss of destination data in old store.

説明

バッキングファイルのロード時にデータ破損が起きた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22177-W

possible data loss for aa....aa.

aa....aa：DestinationUID

説明

バッキングファイルのロード時にデータ破損が起きた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22178-W

possible loss of consumer data.

説明

バッキングファイルのロード時にデータ破損が起きた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22179-W

possible loss of consumer data in old store.

説明

バッキングファイルのロード時にデータ破損が起きた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22180-W

Internal Error: Problem cleaning consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマーオブジェクト

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22181-W

Internal Error: Problem purging consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマーオブジェクト

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22182-W

Update consumer aa....aa state failed for message bb....bb:cc....cc.

aa....aa：ConsumerUID

bb....bb：システムメッセージ ID

cc....cc：例外メッセージ

説明

- ストアにメッセージが存在しない場合に発生します。
- コンシューマーがメッセージに連携していない場合に発生します。

対処

ストア内にメッセージが存在することを確認してください。

KDAN22185-W

Unknown type for verbose aa....aa

aa....aa：オブジェクトのクラス

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22186-W

Unknown type for preserve undelivered aa....aa.

aa....aa：オブジェクトのクラス

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22187-W

Unable to update destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22188-W

Admin: Could not extract properties from pkt.

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22189-W

Message received on administration destination aa....aa has no bb....bb property ignoring it

aa....aa：JMQ メッセージ種別

bb....bb：JMQ メッセージ種別

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22190-W

Cannot determine type of ReplyTo destination. There is a topic and queue with the name: aa....aa

aa....aa：ReplyTo 用の送信先名

説明

ReplyTo 送信先が存在しない場合に発生します。

対処

ReplyTo 送信先が存在することを確認してください。

KDAN22191-W

Caught exception while determining ReplyTo destination type.

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22192-W

sending back broker data.

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22194-W

Internal Error: received HELLO on already authenticated connection aa....aa bb....bb.

aa....aa：リモートコネクション

bb....bb：ConnectionUID

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22195-W

Internal Error: received HELLO on already started connection aa....aa bb....bb.

aa....aa：リモートコネクション

bb....bb：ConnectionUID

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22196-W

Internal Error: Received session on non-clustered broker.

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22197-W

Internal error: received goodbye on unauthenticated connection aa....aa bb....bb.

aa....aa：ConnectionUID

bb....bb：リモートコネクション

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22202-W

possible loss of persisted properties.

説明

VRFile が破損しているおそれがあります。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22203-W

possible loss of persisted properties in old store.

説明

バッキングファイルのロード時にデータ破損が起きた場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22216-W

Timeout in waiting for runnable threads release in aa....aa.

aa....aa：IMQIPConnection

説明

指定されたタイムアウト間隔の値が負の値である場合に発生します。

対処

タイムアウト間隔の値が正の値になっていることを確認してください。

KDAN22217-W

Property aa....aa is defaulted to : bb....bb. Since the value "cc....cc" is invalid.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

cc....cc：指定値

説明

指定されたプロパティ値が無効なため，デフォルト値を使用した場合に発生します。

対処

プロパティ値が有効であることを確認してください。

無効なプロパティ値を指定した場合は有効なプロパティ値を指定してください。

KDAN22219-W

aa....aa: found a corrupted message at vrecord(bb....bb), a message might be lost.

aa....aa：送信先名

bb....bb：VRecordRAF

説明

Vrecord が破損している可能性があります。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22220-W

Could not update buffers: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN22231-W

Invalid value for property aa....aa: bb....bb.

aa....aa：カウントプロパティ名

bb....bb：カウント文字列

説明

指定されたプロパティ値が無効な場合に発生します。

対処

プロパティ値が有効であることを確認してください。

無効なプロパティ値を指定した場合は有効なプロパティ値を指定してください。

KDAN22233-W

Unknown properties aa....aa is configured in bb....bb

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：config.properties または commomconfig.properties または admin.properties または properties に-D オプションで設定した値

説明

プライベートまたは不正なプロパティ名をプロパティファイルに記述したときに発生します。

対処

ブローカーやコマンドは正常に実行できますが,このメッセージが不要なときは bb....bb のファイルから aa....aa のプロパティを削除してください。

KDAN23501-W

Invalid number format: Property: aa....aa, Value=bb....bb.

aa....aa：無効な値を持つプロパティ名

bb....bb：無効な値

説明

config.properties ファイル内に整数の代わりに無効な値が指定されている場合に発生します。

対処

config.properties ファイル内に有効な整数値を指定してください。

KDAN23504-W

An error occured configuring the logging system: aa....aa.

aa....aa：ロギングシステムのコンフィギュレーション時に発生したエラーの詳細情報

説明

- properties ファイル内に無効なロガーコンフィギュレーションがある場合に発生します。次の警告 ID のどれかによってこの警告が発生します。

  KDAN22056-W，KDAN22057-W，または KDAN22058-W
- ファイルログのコンフィギュレーション時に IO エラーが発生した場合に発生します。
- properties ファイル内に無効なログレベルが指定されている場合に発生します。

対処

- properties ファイル内に適正なコンフィギュレーション情報を指定してください。次の ID に関する対処を参照，確認してください。

  KDAN22195-W，KDAN22196-W，および KDAN22197-W
- ログファイルが適切なアクセス権限を有することを確認してください。
- 有効なログレベルを指定してください。

KDAN23505-W

Log output channel aa....aa is disabled: bb....bb.

aa....aa：ログハンドラのコンフィギュレーション

bb....bb：UnsatisfiedLinkError のメッセージ

説明

ログハンドラの出力チャンネルが無効にされている場合に発生します。

対処

ログハンドラの出力チャンネルが無効になっていないことを確認してください。

KDAN23506-W

Unable to set UncaughtExceptionHandler for aa....aa.

aa....aa：クラス名

説明

捕捉されなかった例外によってスレッドが急に終了され，捕捉されなかった例外のハンドラが呼び出されます。しかし，現在のスレッドが急に終了したスレッドの変更はできません。この警告は，オブジェクトの UncaughtExceptionHandler を設定している場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN23507-W

Unable to schedule UncaughtExceptionHandler TimerTask: aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

次の場合で，特定の時間に実行できるように UncaughtExceptionHandler TimerTask タスクをスケジューリングしたときに発生します。

- タスクがすでにスケジューリングされていた場合
- タスクがすでに中止されていた場合
- タイマが中止されていた場合
- タイマスレッドが終了されていた場合

対処

- 指定したタスクが事前にスケジューリングされていないことを確認してください。
- 指定したタスクが中止されていないことを確認してください。
- タイマが中止されていないことを確認してください。

KDAN24001-I

"Usage: cjmsbroker
[-force]
[-h | -help]
[-name <name>]
[-remove instance]
[-reset <data>]
[-vmargs <vmarguments>]
[-varhome <location>]
-force Perform action without user confirmation.
-h displays usage information.
-name Set the instance name of this Broker to <name> and use the
corresponding property configuration.
-remove instance
Cause the broker instance to be removed.
Delete the persistent store and 'etc' directory.
The configuration and log files are not removed.
-reset Reset or clear dynamically created broker data.
Currently the following arguments are supported by the
reset option.
'store' - causes the broker to clear all persistent
data including all messages and related data
as well as durable subscribers and transaction
information.
'messages' - causes the broker to clear all persistent

messages.
'durables' - causes the broker to clear all durable
subscribers.
-vmargs Pass <vmarguments> to the Java VM. If <vmarguments> contains
spaces or more than one argument, it should be enclosed in double quotes.
-varhome Specify an alternate var home to use."

説明

cjmsbroker ヘルプの使用方法を表示するときに発生します。

KDAN24009-I

Broker exiting.

説明

ブローカーがシャットダウン中に発生します。

KDAN24011-I

unlimited

説明

プロパティに無制限値を設定したときに発生します。

KDAN24024-Q

All data for the broker instance ""aa....aa"" will be removed.
Do you wish to proceed? [y/n]

aa....aa：コンフィグ名

説明

ブローカーインスタンスを削除しようとしたときに発生します。

KDAN24044-I

aa....aa [bb....bb]

aa....aa：送信先名
bb....bb：送信先タイプ

説明

送信先の破棄時，送信先名および送信先タイプの表示時に発生します。

KDAN24051-I

Message Placed on the Dead Message Queue because aa....aa

aa....aa：デッドメッセージキューにメッセージを入れた理由

説明

メッセージが失効したときに発生します。

KDAN24052-I

Message on destination aa....aa Expired: expiration time bb....bb, arrival time cc....cc, JMSTimestamp dd....dd

aa....aa：送信先名

bb....bb：失効時間

cc....cc：到着時間

dd....dd：JMS タイムスタンプ

説明

メッセージが失効したときに発生します。

KDAN24053-I

Limit exceeded on Destination aa....aa: message limit (maxNumMsgs)=bb....bb; bytes limit (maxTotalMsgBytes)=cc....cc.

aa....aa：送信先名

bb....bb：最大メッセージ数

cc....cc：最大総メッセージバイト数

説明

指定された最大メッセージ数に達したときに発生します。

指定された最大総メッセージバイト数に達したときに発生します。

KDAN24054-I

Message on destination aa....aa was Undeliverable.

aa....aa：送信先名

説明

デッドメッセージキューにメッセージを入れるときに発生します。

KDAN24055-I

Error was received processing the message on destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

デッドメッセージキューにメッセージを入れるときに発生します。

KDAN24058-I

Client closed the connection.

説明

クライアントがコネクションをクローズしたときに発生します。

KDAN24059-I

Service shutting down

説明

サービス終了時に発生します。

KDAN24060-I

Client exited without closing connections.

説明

コネクションを終了しないでクライアントが終了した場合に発生します。

KDAN24061-I

Admin requested close

説明

クライアントがコネクションをクローズしたときに発生します。

KDAN24062-I

Initialization Failure

説明

クライアントがコネクションをクローズしたときに発生します。

KDAN24063-I

Authorization Failure

説明

クライアントがコネクションをクローズしたときに発生します。

KDAN24064-I

Message on destination aa....aa expired before arrival: expiration time bb....bb, arrival time cc....cc, JMSTimestamp dd....dd.

aa....aa：送信先名

bb....bb：失効時間

cc....cc：到着時間

dd....dd：JMS タイムスタンプ

説明

メッセージが失効したときに発生します。

KDAN24065-I

at Admin Request

説明

送信先の削除時に発生します。

KDAN24066-I

at Request of Connection aa....aa

aa....aa：コネクション

説明

送信先の削除時に発生します。

KDAN24067-I

at Close of Connection aa....aa

aa....aa：コネクション

説明

一時的な送信先のクリーンアップ時に発生します。

KDAN24068-I

Autocreated destination reaped

説明

指定されたリープタイムを超えた場合に発生します。

KDAN24069-I

Reconnect interval expired for destination

説明

一時的な送信先の削除時に発生します。

KDAN24070-I

at request of remote administrator

説明

リモートブローカーの管理者によって送信先が削除されたときに発生します。

KDAN24075-I

Admin requested shutdown by aa....aa.

aa....aa：シャットダウンの要求者

説明

ブローカーがシャットダウン中に発生します。

KDAN24081-I

Portmapper exiting.

説明

portmapper から終了するときに発生します。

KDAN24082-I

Accepted connection from aa....aa. Connection count=bb....bb.

aa....aa：コネクションの情報

bb....bb：コネクションの数

説明

新規コネクションの作成時に発生します。

KDAN24083-I

Using aa....aa as the location for CJMSP_HOME.

aa....aa：コネクションの情報

説明

指定された CJMSP_HOME ロケーションでブローカーを構成時に発生します。

KDAN24086-I

Starting the aa....aa service using bb....bb with min threads cc....cc and max threads of dd....dd.

aa....aa：サービス名

bb....bb：サービスのプロトコル（例：tcp， http）

cc....cc：数値

dd....dd：数値

説明

サービスの開始時に発生します。

KDAN24087-I

Pausing Service aa....aa with protocol bb....bb.

aa....aa：サービス名

bb....bb：サービスのプロトコル（例：tcp，http）

説明

サービスの一時停止時に発生します。

KDAN24088-I

Resuming Service aa....aa with protocol bb....bb.

aa....aa：サービス名

bb....bb：サービスのプロトコル（例：tcp，http）

説明

サービスの再開時に発生します。

KDAN24089-I

Stopping Service aa....aa with protocol bb....bb.

aa....aa：サービス名

bb....bb：サービスのプロトコル（例：tcp，http）

説明

サービスの停止時に発生します。

KDAN24090-I

Removing Connection aa....aa, connection count = bb....bb.

aa....aa：コネクション id

bb....bb：サービスのプロトコル（例：tcp，http）

説明

コネクションの破棄時に発生します。

KDAN24096-I

Auto Creation of Topics is disabled.

説明

トピックの自動作成が無効の場合に発生します。

KDAN24116-I

Destination aa....aa is being purged using a criteria of bb....bb.

aa....aa：数値

bb....bb：送信先からメッセージパージ用の使用する条件

説明

指定された条件で送信先をパージするときに発生します。

KDAN24117-I

Delete all messages in the destination.

説明

指定された条件で送信先をパージするときに発生します。

KDAN24121-I

Broker "aa....aa" ready.

aa....aa：ブローカー名およびホスト名とポート番号

説明

ブローカーがスタートされたときに発生します。

KDAN24129-I

Shutting down broker…

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

KDAN24130-I

Shutdown of broker complete.

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

KDAN24131-I

Shutdown hook added.

説明

バーチャルマシンからのエグジット時に発生します。

KDAN24132-I

Shutdown hook NOT added. Running JDK1.2?

説明

ブローカーが JDK1.2 に対して実行している場合に発生します。

KDAN24135-I

Shutting down Service aa....aa with protocol bb....bb.

aa....aa：シャットダウンされたデータベース url

bb....bb：プロトコル

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

KDAN24141-I

Resetting persistent store…

説明

永続化ストアのリセット時に発生します。

KDAN24142-I

Loading persistent data…

説明

永続化ストアのロード時に発生します。

KDAN24147-I

Accepting: aa....aa->bb....bb. Count: service=cc....cc broker=dd....dd.

aa....aa：コネクションタイプとホスト名

bb....bb：接続するサービスの情報

cc....cc：サービスの数

dd....dd：ブローカーのコネクションカウント

説明

コネクション接続時に発生します。

KDAN24148-I

Closing: aa....aa->bb....bb because "cc....cc". Count: service=dd....dd broker=ee....ee

aa....aa：コネクションの情報

bb....bb：接続するサービスの情報

cc....cc：理由

dd....dd：サービスの数

ee....ee：コネクションカウント

説明

コネクションのクローズ時に発生します。

KDAN24159-I

Broadcast good-bye to all connections …

説明

ブローカーがシャットダウン中に発生します。

KDAN24160-I

Flushing good-bye messages …

説明

ブローカーがシャットダウン中に発生します。

KDAN24161-I

Found aa....aa transactions. bb....bb will be rolled back.

aa....aa：トランザクション数

bb....bb：トランザクション番号

説明

ブローカー開始時に発生します。

KDAN24162-I

Of aa....aa transactions, bb....bb are in PREPARED state, cc....cc are in COMMITTED state.

aa....aa：トランザクション数

bb....bb：トランザクション番号

cc....cc：コミット状態のトランザクション

説明

ブローカー開始時にトランザクションに関する情報をファイルに書き込む時に発生します。

KDAN24165-I

Resetting all messages...

説明

ブローカーから永続化メッセージをすべてクリアした場合に発生します。

KDAN24166-I

Resetting all durable subscribers...

説明

ブローカーから永続化サブスクライバーをすべてクリアした場合に発生します。

KDAN24167-I

Loading other persistent data...

説明

ブローカーが永続化メッセージ，永続化サブスクライバー，トランザクション情報に関連する永続化データをロードした場合に発生します。

KDAN24171-I

In low memory condition, Broker is attempting to free up resources.

説明

低メモリ状態で永続化メッセージのクリーンアップ時に発生します。

KDAN24177-I

Removing persistent store...

説明

ブローカーがメッセージと永続化サブスクライバー，トランザクション情報に関連する永続化データをすべてクリアした場合に発生します。

KDAN24178-I

Removing all instance data…

説明

ブローカーインスタンスの削除時に発生します。

KDAN24179-I

Instance data not removed.

説明

ブローカーインスタンスが削除されていない場合に発生します。

KDAN24204-I

Reconnecting client aa....aa.

aa....aa：コネクション id

説明

旧コネクションに再接続するときに発生します。

KDAN24205-I

Compacting aa....aa

aa....aa：送信先

説明

送信先の圧縮時に発生します。

KDAN24206-I

Pausing Service aa....aa

aa....aa：サービス

説明

サービスの一時停止時に発生します。

KDAN24207-I

Pausing Destination aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

送信先の一時停止時に発生します。

KDAN24210-I

Resuming Service aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

サービスの再開時に発生します。

KDAN24211-I

Resuming Destination aa....aa.

aa....aa：送信先

説明

送信先の再開時に発生します。

KDAN24213-I

Removed all Durable Consumers associated with Destination aa....aa. Reason: bb....bb.

aa....aa：送信先

bb....bb：送信先に関連するデュアラブルコンシューマを削除する理由

説明

内部エラー時に発生します。

KDAN24216-I

In-conflict clientID aa....aa is owned by local connection bb....bb.

aa....aa：クライアント id

bb....bb：コネクション id

説明

ローカルコネクションによってクライアント id が作成され，所要された場合に発生します。

KDAN24222-I

Expired aa....aa messages from destination bb....bb

aa....aa：メッセージ数

bb....bb：送信先名

説明

メッセージが失効されたときに発生します。

KDAN24223-I

Using built-in file-based persistent store: aa....aa

aa....aa：永続化ストアのルートディレクトリ

説明

ブローカーのスタート時，ファイルベースの永続化ストアを表示時に発生します。

KDAN24225-I

No valid license files found. The default license (platform edition) will be used. To use the platform edition in the absence of valid license start the broker with pe option along with the license subcommand while starting the broker.

説明

ブローカー開始時にデッドメッセージキューを生成するときに発生します。

KDAN24226-I

Creating Dead Message Queue

説明

デッドメッセージキューの作成時に発生します。

KDAN24227-I

Message aa....aa has been removed from the Dead Message Queue (original destination was bb....bb).

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：送信先名

説明

内部ブローカーエラーが発生しました。

KDAN24228-I

Message aa....aa has been removed from destination bb....bb because cc....cc

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：送信先名

cc....cc：送信先からメッセージを削除する理由

説明

メッセージが失効されたときに発生します。

KDAN24229-I

Message aa....aa from destination bb....bb has been placed on the DMQ because cc....cc

aa....aa：メッセージ id

bb....bb：送信先名

cc....cc：DMQ にメッセージを入れる理由

説明

メッセージが失効されたときに発生します。

KDAN24233-I

Loading destination aa....aa with bb....bb messages

aa....aa：送信先名

bb....bb：メッセージ id

説明

送信先のロード時に発生します。

KDAN24234-I

Loading of destination aa....aa complete.

aa....aa：送信先名

説明

送信先のロードが完了したときに発生します。

KDAN24235-I

Loading of destination aa....aa in process, bb....bb of cc....cc messages loaded, dd....dd% complete.

aa....aa：送信先名

bb....bb：現在ロードされているメッセージ

cc....cc：ロードする総メッセージ数

dd....dd：ロードされた総メッセージ数（%）

説明

送信先のロード時に発生します。

KDAN24240-I

Administrator has created destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

送信先タイプが Admin の場合に発生します。

KDAN24241-I

Destination aa....aa has been destroyed.

aa....aa：送信先名

説明

指定された送信先が破棄された場合に発生します。

KDAN24242-I

Connection aa....aa has created destination bb....bb.

aa....aa：コネクション id

bb....bb：送信先名

説明

一時的な送信先の作成時に発生します。

KDAN24243-I

Initialization of instance has completed, exiting

説明

初期化フラグが True の場合に発生します。

KDAN24277-I

Unable to load monitor for destination aa....aa

aa....aa：送信先名

説明

送信先監視機能がサポートされていない場合に発生します。

KDAN24278-I

Processing bb....bb messages on destination aa....aa.

aa....aa：送信先名

bb....bb：メッセージ数

説明

テークオーバーメッセージのロード時に発生します。

KDAN24281-I

Shutdown Requested by aa....aa

aa....aa：ユーザ

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

KDAN24282-I

Shutting down the broker in aa....aa seconds (bb....bb milliseconds)

aa....aa：残り時間（秒単位）

bb....bb：残り時間（ミリ秒単位）

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

KDAN24283-I

Waiting to complete shutdown, broker will shutdown at aa....aa.

aa....aa：残り時間（秒単位）

説明

ブローカーのシャットダウン中に発生します。

KDAN24334-I

Pausing all services

説明

ブローカーの一時停止時に発生します。

KDAN24335-I

Resuming all services

説明

ブローカーの再開時に発生します。

KDAN24342-I

Transaction acknowledgement could not be processed because consumer aa....aa not exist.

aa....aa：コンシューマ uid

説明

コンシューマがストアに存在しない場合に発生します。

KDAN24354-I

Found transaction ID aa....aa [transaction log record type bb....bb].

aa....aa：トランザクション id

bb....bb：ログレコードタイプ

説明

トランザクションクラスの初期化時にトランザクション id が存在する場合に発生します。

KDAN24355-I

Committing transaction ID aa....aa.

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクションに対してコミットが必要な場合に発生します。

KDAN24356-I

Load aa....aa records from message transaction log file

aa....aa：レコード数

説明

メッセージトランザクションログファイルからのレコードのロード時に発生します。

KDAN24357-I

Load aa....aa records from acknowledgement transaction log file

aa....aa：レコード数

説明

アドミニストレーショントランザクションログファイルからのレコードのロード時に発生します。

KDAN24358-I

Replace existing message aa....aa.

aa....aa：メッセージ id

説明

ストアに該当メッセージがすでに存在する場合に発生します。

KDAN24359-I

Reconstruct message aa....aa

aa....aa：メッセージ id

説明

ストアにメッセージが存在しない場合に発生します。

KDAN24360-I

Update state of consumer aa....aa for message bb....bb.

aa....aa：コンシューマステート

bb....bb：メッセージ id

説明

該当メッセージに対するステートの更新時に発生します。

KDAN24361-I

Disregard state of consumer aa....aa for already purged message bb....bb.

aa....aa：コンシューマステート

bb....bb：メッセージ id

説明

ストアにメッセージが存在しない場合に発生します。

KDAN24362-I

Reconstructing persistence store from transaction log files done.

説明

ストアの更新後，トランザクションログをリセットするときに発生します。

KDAN24367-I

Committed transaction reaper thread has started (limit aa....aa, interval bb....bbsec).

aa....aa：トランザクションリープリミット

bb....bb：リピート間隔

説明

J2EE サーバ上で実行しているアプリケーションがトランザクションを使用する場合に発生します。

KDAN24368-I

Committed transaction reaper thread is exiting.

説明

J2EE サーバ上で実行しているアプリケーションがトランザクションを使用する場合に発生します。

KDAN24372-I

Transaction acknowledgement could not be processed because message aa....aa reference is gone .

aa....aa：メッセージ id

説明

トランザクションの応答確認時，パケット参照がない場合に発生します。

KDAN24381-I

Embedded Broker

説明

inprocess フラグが True の場合に発生します。

KDAN24384-I

Unable to load destination aa....aa because of not found in store: bb....bb.

aa....aa：送信先名

bb....bb：ストア

説明

送信先のロード時，指定された送信先が存在しない場合に発生します。

KDAN24385-I

Unable to remove all messages in destination aa....aa because the destination is not found in store: bb....bb.

aa....aa：送信先名

bb....bb：ストア

説明

メッセージの削除時，指定された送信先が存在しない場合に発生します。

KDAN24386-I

Unable to remove destination aa....aa from store because of not found in store: bb....bb.

aa....aa：送信先名

bb....bb：ストア

説明

送信先の削除時，指定された送信先が存在しない場合に発生します。

KDAN24394-I

PortMapper: accepted client connection (aa....aa) that is no longer connected. Ignoring.

aa....aa：ソケット

説明

コネクションの切断時に発生します。

KDAN24396-I

Throwing out packet, could not find old consumer id for new id aa....aa.

aa....aa：新コンシューマ id

説明

ストアにコンシューマが存在しない場合に発生します。

KDAN24398-I

Sessions (size) : aa....aa

aa....aa：番号

説明

コネクション情報のダンプ時，セッション情報を表示するときに発生します。

KDAN24399-I

Sessions (list) : aa....aa

aa....aa：セッションリスト

説明

コネクション情報のダンプ時，セッション情報を表示するときに発生します。

KDAN24400-I

Busy (size) : aa....aa

aa....aa：ビジーセッションサイズ

説明

コネクション情報のダンプ時，セッション情報を表示するときに発生します。

KDAN24401-I

Busy (list) : aa....aa

aa....aa：ビジーセッション

説明

コネクション情報のダンプ時，セッション情報を表示するときに発生します。

KDAN24402-I

Cleanup connection aa....aa: cleaning up transaction bb....bb cc....cc.

aa....aa：コネクション uid

bb....bb：トランザクション uid

cc....cc：トランザクションステート

説明

該当コネクションでトランザクションのクリーンアップ時に発生します。

KDAN24403-I

Unable to destroy temp destination aa....aa.

aa....aa：送信先 uid

説明

コネクションの一時的な送信先の破棄時に発生します。

KDAN24404-I

Could not retrieve local address.

説明

ホストの IP アドレスが見つからない場合に発生します。

KDAN24409-I

Waiting for runnable threads release in aa....aa.

aa....aa：IMQIP コネクションオブジェクト

説明

コネクション解除の待機中に発生します。

KDAN24411-I

Connection Information [aa....aa]bb....bb.

aa....aa：IMQIP コネクションオブジェクト

bb....bb：ストリング

説明

コネクション情報のダンプ時に発生します。

KDAN24417-I

Session: Pausing aa....aa[bb....bb]cc....cc.

aa....aa：セッションオブジェクト

bb....bb：ナンバー

cc....cc：ストリング

説明

セッションに該当する送信先の一時停止時に発生します。

KDAN24418-I

Session: Resuming aa....aa[bb....bb]cc....cc

aa....aa：セッションオブジェクト

bb....bb：ナンバー

cc....cc：ストリング

説明

セッションに該当する送信先の再開時に発生します。

KDAN24421-I

Dumping active sessions

説明

アクティブセッションのダンプ時に発生します。

KDAN24423-I

Loading stored durable aa....aa:bb....bb.

aa....aa：クライアント ID

bb....bb：デュアラブルサブスクライバー名

説明

ストアからのデュアラブルサブスクライバのロード時に発生します。

KDAN24426-I

Received unknown message for transaction aa....aa on session bb....bb ack info is cc....cc,dd....dd:

aa....aa：トランザクション uid

bb....bb：セッション uid

cc....cc：コンシューマ uid

dd....dd：sysMessageID

説明

デリバリ済みのメッセージに対してペンディングなし応答確認を受け取った場合に発生します。

KDAN24427-I

Broker does not know about the message

説明

ストアにメッセージが存在しない場合に発生します。

KDAN24428-I

Broker knows about the message, not associated with the session.

説明

ストアにメッセージが存在しており，そのメッセージがカレントセッションに該当する場合に発生します。

KDAN24432-I

Syncing message store: aa....aa

aa....aa：ブール値

説明

メッセージストアの同期時に発生します。

KDAN24433-I

Producer flow control is turned off

説明

imq.noProducerFlow プロパティ値が True の場合に発生します。

KDAN24438-I

Ref null for aa....aa

aa....aa：sysMessageID

説明

参照パケットが null の場合に発生します。

KDAN24445-I

Loaded Message aa....aa into destination bb....bb

aa....aa：パケット

bb....bb：送信先オブジェクト

説明

送信先へのメッセージのロード時に発生します。

KDAN24446-I

Message aa....aa[bb....bb] has been acked, destory..

aa....aa：sysMessageID

bb....bb：送信先オブジェクト

説明

メッセージが応答確認されたときに発生します。

KDAN24447-I

Message aa....aa [TUID=bb....bb, cc....cc] no interest, destroy...

aa....aa：sysMessageID

bb....bb：トランザクション uid

cc....cc：送信先オブジェクト

説明

ストアにコンシューマーが存在しない場合に発生します。

KDAN24448-I

Message aa....aa [TUID=bb....bb, cc....cc] to be rolled back, destroy…

aa....aa：sysMessageID

bb....bb：トランザクション uid

cc....cc：送信先オブジェクト

説明

破棄されたメッセージをロールバックしたときに発生します。

KDAN24449-I

Redeliver message aa....aa [TUID=bb....bb, cc....cc] to consumer dd....dd.

aa....aa：sysMessageID

bb....bb：トランザクション uid

cc....cc：送信先オブジェクト

dd....dd：コンシューマ uid

説明

コンシューマへのメッセージの再デリバリ時に発生します。

KDAN24450-I

Dumping order

説明

保存されたセット情報のダンプ時に発生します。

KDAN24454-I

Deleting message ID: aa....aa.

aa....aa：メッセージ ID

説明

メッセージの削除時に発生します。

KDAN24457-I

Internal Error: unable to retrieve properties from redeliver message aa....aa.

aa....aa：sysMessageID

説明

内部ブローカーエラーが発生しました。

KDAN24459-I

Unable to find producer aa....aa checking if producer was removed recently bb....bb.

aa....aa：プロデューサ uid

bb....bb：ストリング

説明

内部ブローカーエラーが発生しました。

KDAN24464-I

Unknown consumer aa....aa.

aa....aa：コンシューマ uid

bb....bb：パケット参照

説明

ストアにコンシューマが存在しない場合に発生します。

KDAN24470-I

Consumer with id of aa....aa is unavailable on session bb....bb [conuid,sess conuid] =[cc....cc,dd....dd] consumer session is : ee....ee.

aa....aa：コンシューマ uid

bb....bb：セッション

cc....cc：コネクション uid

dd....dd：コネクション uid

ee....ee：セッション uid

説明

ストアにコンシューマが存在しない場合に発生します。

KDAN24472-I

Setting Fault aa....aa [selector= bb....bb]

aa....aa：誤りに対する情報

bb....bb：セレクター式

説明

セレクタフォーマットが無効な場合に発生します。

KDAN24473-I

Removing Fault aa....aa

aa....aa：誤りに対する情報

説明

フォールトインジェクションからのフォールトの削除時に発生します。

KDAN24474-I

Turning on Fault Injection

説明

フォールトインジェクションが on になった場合に発生します。

KDAN24475-I

Turning off Fault Injection

説明

フォールトインジェクションが off になった場合に発生します。

KDAN24480-I

AFTER SLEEP aa....aa(seconds) BECAUSE OF FAULT bb....bb

aa....aa：60

bb....bb：ストリング

説明

スレッドの sleep メソッドの呼び出し時，フォールトが発生したときに発生します。

KDAN24491-I

Unknown ProducerUID aa....aa.

aa....aa：プロデューサ uid

説明

内部ブローカーエラーが発生しました。

KDAN24492-I

Producer aa....aa not on this connection bb....bb

aa....aa：プロデューサ uid

bb....bb：コネクション uid

説明

内部ブローカーエラーが発生しました。

KDAN24496-I

Timer shutting down

説明

タイムのシャットダウン時に発生します。

KDAN24497-I

calculateState:didnt meet delta requirement

説明

内部ブローカーエラーが発生しました。

KDAN24498-I

Connection count aa....aa

aa....aa：ナンバー

説明

該当サービスのコネクション数の出力時に発生します。

KDAN24499-I

Connection aa....aa

aa....aa：コネクション id

説明

該当サービスのコネクション名の出力時に発生します。

KDAN24501-I

Starting...

説明

ブローカーのスタート時に発生します。

KDAN24502-I

XXX - target of null not implemented for aa....aa

aa....aa：引数

説明

ターゲットに引数として'svc'が指定されていない場合に発生します。

KDAN24506-I

Getting destination metrics on aa....aa

aa....aa：送信先

説明

指定された送信先でメトリクスの取得時に発生します。

KDAN24508-I

aa....aa Consumer: bb....bb [paused, active,flowPaused, parentBusy, hasMessages, parentSize] = [cc....cc,dd....dd,ee....ee,ff....ff,gg....gg,hh....hh].

aa....aa：プレフィックス

bb....bb：コンシューマ uid

cc....cc：一時停止フラグ

dd....dd：アクティブフラグ

ee....ee：フロー一時停止フラグ

ff....ff：親リスト

gg....gg：メッセージ

hh....hh：親リストサイズ

説明

セッション情報のダンプ時，コンシューマ情報を表示するときに発生します。

KDAN24509-I

aa....aaBusy state [bb....bb] is cc....cc

aa....aa：プレフィックス

bb....bb：コンシューマー uid

cc....cc：ビジーステート

説明

セッション情報のダンプ時，コンシューマーステートを表示するときに発生します。

KDAN24510-I

msgs is null

説明

詳細のダンプ時，メッセージが null の場合に発生します。

KDAN24511-I

parentList is null

説明

コンシューマー詳細のダンプ時，コンシューマーが存在しない場合に発生します。

KDAN24512-I

GC'ing the system

説明

指定されたコマンド引数が'gc'の場合に発生します。

KDAN24513-I

Dumping threads: aa....aa

aa....aa：スタックトレース

説明

指定されたコマンド引数が'threads'の場合に発生します。

KDAN24514-I

Resuming aa....aa

aa....aa：プロデューサ

説明

指定されたコマンドが'resume'でコマンド引数が'prd'の場合に発生します。

KDAN24515-I

Resuming all destinations

説明

全送信先の再開時に発生します。

KDAN24516-I

Unable to tag some file free

説明

vr ファイルからのデータの削除時，該当ファイルの権限がない場合に発生します。

KDAN24517-I

number of opened files: aa....aa

aa....aa：ファイルカウント

説明

ファイル情報の出力時に発生します。

KDAN24518-I

number of available opened files: aa....aa

aa....aa：プール内のフリーファイル

説明

ファイル情報の出力時に発生します。

KDAN24519-I

number of transaction ids: aa....aa

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクション id 情報の出力時に発生します。

KDAN24520-I

Transaction acknowledgements

説明

トランザクション応答確認情報の出力時に発生します。

KDAN24521-I

Number of transactions containing acknowledgements: aa....aa.

aa....aa：トランザクション id

説明

トランザクション応答確認数の出力時に発生します。

KDAN24523-I

SysMessageID: Could not clone: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

SysMessageID オブジェクトのクローン時に発生します。

KDAN24524-I

ReadOnlyPacket: Could not clone: aa....aa.

aa....aa：例外

説明

ReadOnlyPacket オブジェクトのクローン時に発生します。

KDAN24525-I

Message Body: aa....aa bytes

aa....aa：ボディーサイズ

説明

パケットボディーのダンプ時に発生します。

KDAN24532-I

... ... Dumping MapEntry aa....aa

aa....aa：ハッシュコード

説明

マップメモリのダンプ時に発生します。

KDAN24533-I

... ... thread info aa....aa

aa....aa：スレッド

説明

スレッド情報のダンプ時に発生します。

KDAN24535-I

Invalid growth_factor value. Using default value of 50%.

説明

「imq.persist.file.message.vrfile.growth_factor」プロパティに無効な値を指定したときに発生します。

KDAN24536-I

Invalid threshold value. Using default value of 0.

説明

「imq.persist.file.message.vrfile.threshold」プロパティに無効な値を指定したときに発生します。

KDAN24537-I

Invalid threshold_factor value. Using default value of 0%.

説明

「imq.persist.file.message.vrfile.threshold_factor」プロパティに無効な値を指定したときに発生します。

KDAN24538-I

bufs[aa....aa]=bb....bb

aa....aa：プレフィックス

bb....bb：バイトバッファー

説明

バッファー情報のダンプ時に発生します。

KDAN24539-I

Dumping state of aa....aa

aa....aa：スレッド

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24540-I

sessions = aa....aa

aa....aa：セッション数

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24541-I

busySessions = aa....aa

aa....aa：ビジーセッション数

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24542-I

runningMsgs = aa....aa

aa....aa：running メッセージ数

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24543-I

paused = aa....aa

aa....aa：一時停止タイプ

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24544-I

waitingForResumeFlow = aa....aa

aa....aa：wait for resume flow フラグ

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24545-I

---------- busy sessions ----------

説明

コネクション情報のダンプ時に発生します。

KDAN24546-I

---------- sessions ----------

説明

コネクション情報のダンプ時に発生します。

KDAN24547-I

DUMPING CONNECTION aa....aa

aa....aa：imq コネクション

説明

コネクション情報のダンプ時に発生します。

KDAN24548-I

control = aa....aa

aa....aa：NFLPriorityFifoSet サイズ

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24549-I

read_assigned = aa....aa

aa....aa：runnable 操作

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24550-I

write_assigned = aa....aa

aa....aa：runnable 操作

説明

一般コネクション情報およびメトリクスのダンプ時に発生します。

KDAN24551-I

Finished writing packet [aa....aa]

aa....aa：パケット

説明

パケットデータの書き込み時に発生します。

KDAN24552-I

Configuration Change Record

説明

コンフィグレーション変更レコードの出力時に発生します。

KDAN24553-I

backing file: aa....aa

aa....aa：バッキングファイル

説明

バッキングファイル名の出力時に発生します。

KDAN24554-I

number of records: aa....aa

aa....aa：タイムスタンプのリスト

説明

永続化済みレコード数の出力時に発生します。

KDAN24555-I

number of interests: aa....aa

aa....aa：コンシューマ数

説明

永続化済みコンシューマ数の出力時に発生します。

KDAN24556-I

Consumer [aa....aa] get message null reference

aa....aa：コンシューマ uid

説明

次パケットの取得・埋め込み時，パケット参照が null の場合に発生します。

KDAN24557-I

Consumer [aa....aa] message requened: bb....bb

aa....aa：コンシューマー uid

bb....bb：パケット参照

説明

次パケットの取得・埋め込み時，パケット参照がある場合に発生します。

KDAN24558-I

Displaying broker metrics : aa....aa

aa....aa：メトリクス情報

説明

ブローカーメトリクスの表示時に発生します。

KDAN24559-I

Exception caught when setting output to file: aa....aa: : bb....bb:

aa....aa：ファイル名

bb....bb：エラーメッセージ

説明

指定されたファイルが存在しないときに発生します。

KDAN24560-I

Exception caught when closing print streams to: aa....aa: : bb....bb:

aa....aa：ファイル名

bb....bb：エラーメッセージ

説明

内部ブローカーエラーが発生しました。

KDAN24561-I

Reverting to stdout

説明

指定されたファイルが存在しないときに発生します。

KDAN30001-E

Error detected while parsing command line options.

説明

ユーザが無効なコマンドライン引数を指定した場合に発生します。

対処

有効なコマンドラインオプションを指定してください。

KDAN30002-E

Invalid option: aa....aa.

aa....aa：サブコマンド

説明

コマンドに無効なサブコマンドが指定された場合に発生します。

対処

-h オプションを使用してコマンドを実行し，有効なサブコマンドを確認してください。

KDAN30003-E

Invalid base property name specified for option: aa....aa

aa....aa：コマンドラインオプション

説明

ユーザがコマンドラインオプションとして無効なプロパティ名を指定した場合に発生します。

対処

コマンドラインオプションとして有効なプロパティ名を指定してください。

KDAN30004-E

Invalid hard coded value specified for option: aa....aa

aa....aa：コマンドラインオプション

説明

ユーザがコマンドラインオプションとして数値を直接指定した場合に発生します。

対処

コマンドラインオプションとして有効なプロパティ名を指定してください。

KDAN30005-E

An argument was expected for option: aa....aa. Please type "bb....bb -h" for help.

aa....aa：コマンドラインオプション

bb....bb：コマンド

説明

引数が指定されていない場合に発生します。

対処

オプションの次に引数を必ず指定してください。ヘルプを表示するには，-h オプションでコマンドを実行してください。

KDAN30006-E

Bad name value pair specified (aa....aa) for option: bb....bb. Please use the format: name=value

aa....aa：引数

bb....bb：コマンドラインオプション

説明

cjmsobjmgr の実行の際，-o オプションに name/value ペアに対して誤った書式のデータを指定した場合に発生します。

対処

name=value の書式で引数を指定してください。

KDAN30008-E

aa....aaError detected while validating command line options.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

無効なコマンドラインオプションが指定された場合に発生します。

対処

有効なコマンドラインオプションを指定してください。

KDAN30009-E

aa....aaBad command specified: bb....bb

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：コマンド

説明

無効なサブコマンドが指定された場合に発生します。

対処

有効なサブコマンドを指定してください。ヘルプを表示するには，aa....aa -h を入力してください。

KDAN30014-E

The destination name must be specified with the aa....aa option.

aa....aa：コマンドラインオプション

説明

コマンドラインオプションなしで送信先名が指定された場合に発生します。

対処

-n オプションを使用して送信先名を指定してください。

KDAN30015-E

Invalid read-only value specified: aa....aa.

aa....aa：リードオンリー値

説明

ユーザがリードオンリーオブジェクトの状態を変更しようとしたときに発生します。

対処

状態を更新する際，オブジェクトの状態がリードオンリーでないことを確認してください。

KDAN30028-E

Invalid property name: aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

無効なプロパティ名が指定されている場合に発生します。

対処

有効なプロパティ名を指定してください。

KDAN30031-E

Caught exception while loading command file.

説明

プロパティファイルが存在しない場合に発生します。

対処

必要なプロパティファイルが存在することを確認してください。

KDAN30032-E

Caught exception while getting user input.

説明

コマンド実行時に，ユーザによる入力がない場合に発生します。

対処

コマンド実行時に必要な入力データを提示してください。

KDAN30033-E

aa....aaThe target name must be specified with the bb....bb option.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：コマンドオプション

説明

cjmsicmd コマンド（-n オプション付き）を実行する際，送信先名が指定されない場合に発生します。

対処

-n オプションを使用して送信先名を指定してください。

KDAN30034-E

aa....aaBad argument specified for the bb....bb command: cc....cc

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：サブコマンド

cc....cc：引数

説明

無効な引数が指定されている場合に発生します。

対処

有効な引数を指定してください。

KDAN30035-E

aa....aaThe valid command arguments for the bb....bb command are:

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：Pause

説明

PAUSE コマンドに対して引数が指定されていない場合に発生します。

対処

指定した引数が正しいか確認してください。

KDAN30036-E

aa....aaThe destination name needs to be specified with the bb....bb option.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：コマンドラインオプション

説明

コマンドラインオプションを指定しないで送信先名を指定した場合に発生します。

対処

-n オプションを使用して送信先名を指定してください。

KDAN30037-E

aa....aaThe target attributes need to be specified with the bb....bb option.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：コマンドラインオプション

説明

引数を渡す際，コマンドラインオプションを指定していない場合に発生します。

対処

-o または-n などのコマンドラインオプションを指定してください。

KDAN30038-E

aa....aaThe destination type needs to be specified with the bb....bb option.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：コマンドラインオプション

説明

cjmsicmd コマンドを実行する際，-t オプションを使用して送信先名を指定していない場合に発生します。

対処

-t オプションを使用して送信先名を指定してください。

KDAN30039-E

aa....aaThe queue delivery policy value "bb....bb" is not valid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：配信方針の値

説明

ユーザが無効な値を指定した場合に発生します。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN30040-E

aa....aaThe value "bb....bb" for the attribute "cc....cc" is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）
bb....bb：アクティブなコンシューマ数
cc....cc：最大アクティブなコンシューマ数

説明

ユーザが最大アクティブなコンシューマ数に対して非整数値を指定した場合に発生します。

対処

必ず整数値を指定してください。

KDAN30041-E

aa....aaThe destination type ''bb....bb'' is not valid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）
bb....bb：送信先種別

説明

無効な送信先種別が指定された場合に発生します。

対処

有効な送信先種別（"q"[queue] または "t"[トピック]）を指定してください。

KDAN30042-E

The ''aa....aa'' service cannot be paused.

aa....aa：サービス名

説明

ADMIN サービスを一時停止しようとしたときに発生します。

対処

ADMIN サービスを一時停止できません。

KDAN30043-E

The ''aa....aa'' service cannot be resumed.

bb....bb：サービス名

説明

ADMIN サービスを再開しようとしたときに発生します。

対処

ADMIN サービスを再開できません。

KDAN30044-E

The destination ''aa....aa'' does not exist or its type is not topic.

aa....aa：送信先名

説明

指定された送信先が CJMSP に存在しないか，トピック種別ではない場合に発生します。

対処

存在するトピック送信先名または送信先種別 t（トピック）を指定してください。

KDAN30045-E

aa....aaThe client ID must be specified with the bb....bb option.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：コマンドラインオプション

説明

-c オプションを指定しないでクライアント ID を指定した場合に発生します。

対処

-c オプションとともにクライアント ID を指定してください。

KDAN30047-E

aa....aaThe value "bb....bb" for the attribute"cc....cc" is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：オプションの値

cc....cc：ブローカーコマンドオプション

説明

ユーザが無効なブール値を指定した場合に発生します。

対処

True/False の有効なブール値を指定してください。

KDAN30048-E

aa....aaThe value "bb....bb" for the attribute "cc....cc" is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：ログレベル

cc....cc：imq.log.level

説明

ログレベルが指定されていない場合に発生します。

対処

メッセージログレベルを指定してください。有効な値は INFO, ERROR, DEBUG および WARNING です。

KDAN30049-E

aa....aa bb....bb seconds has elapsed and the broker failed to restart.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：時間間隔(秒単位)

説明

ブローカーへの接続が切れた場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30050-E

aa....aaThe byte value "bb....bb" for the attribute "cc....cc" is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：バイト値

cc....cc：送信先のサイズ

説明

ユーザが無効な値を指定した場合に発生します。

対処

有効なバイト値を指定してください。有効な値は,

10000= 10000 バイト

2500b= 2500 バイト

4k= 4 キロバイト

12m= 12 メガバイト です。

KDAN30051-E

aa....aaThe value "bb....bb" specified for the receive timeout is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：ADMIN 受信タイムアウト値(秒単位)

説明

"cjmsicmd"コマンドを実行する際，ADMIN 受信タイムアウト（-rtm）に対して負の値を指定した場合に発生します。

対処

-rtm オプションを使用する際，必ず正の値を指定してください。

KDAN30052-E

aa....aaThe value "bb....bb" for the pause type is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：Pause 種別引数

説明

"cjmsicmd"コマンドを実行する際，無効な PAUSE 種別を指定した場合に発生します。

対処

有効な PAUSE 種別（"PRODUCERS"，"CONSUMERS"および"ALL"）を指定してください。

KDAN30053-E

Error while connecting to the broker on host "aa....aa" and port "bb....bb".

aa....aa：ホスト名

bb....bb：ポート

説明

次の場合に発生します。

- 不正なホスト名もしくは不正なポート番号を指定した場合

- cjmsicmd の-b オプションでブローカーが動作していない誤ったポート番号を指定した場合

対処

- 正しいホスト名とポート番号を指定してください。
- 指定したポート番号でブローカーが実行しているか確認してください。

KDAN30054-E

aa....aaError while sending the request to the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーへの接続が切れた場合に発生します。

対処

ブローカーを再起動してください。

KDAN30055-E

aa....aaError while performing this operation on the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

次の場合に発生します。

- 既存の送信先を作成しようとした場合
- ブローカーへの接続が切れた場合

対処

- 送信先名がユニークであることを確認してください。
- ブローカーを再起動してください。

KDAN30056-E

aa....aaError while closing connection to the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーがすでに停止モードになっている場合に発生します。

対処

開始されているブローカーを必ず停止してください。

KDAN30057-E

aa....aaError when getting type of the admin message.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーへの接続が切れた場合に発生します。

対処

ブローカーを再起動してください。

KDAN30058-E

aa....aaError when getting the admin reply message status.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーを開始してください。

KDAN30059-E

aa....aaReply to admin message was not received.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーを開始してください。

KDAN30060-E

aa....aaInvalid operation is detected.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ユーザが無効な操作をしようとした場合に発生します。

対処

有効な操作をしてください。

KDAN30061-E

aa....aaInvalid port number value is specified.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

プロパティファイル内に無効なポート番号が設定されているかポート番号がまったく指定されていない場合に発生します。

対処

プロパティファイル内に imq.portmapper.port に対して有効な値を指定してください。

KDAN30062-E

aa....aaInvalid attribute specified: bb....bb

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：属性

説明

"cjmsicmd list dst"コマンドを実行する際，無効な属性を指定した場合に発生します。

対処

有効な属性を指定してください。

KDAN30070-E

The value "aa....aa" for the metric interval is invalid. Please use an integer value.

aa....aa：メトリック（測定）間隔

説明

"cjmsicmd"コマンドを実行する際，メトリック（測定）間隔に対して非整数の値を指定した場合に発生します。

対処

-int オプションを使用してメトリック（測定）間隔に対して整数の値を指定してください。

KDAN30071-E

The value "aa....aa" for the broker/service metric type is invalid.

The valid values for broker/service metric type are:

aa....aa：ブローカー・サービスメトリック種別

説明

"cjmsicmd"コマンドを実行する際，無効なブローカー・サービスメトリック種別を指定した場合に発生します。

対処

-m オプションを使用して有効なブローカー・サービス種別（"cxn"，"rts"および"tt1"）を指定してください。

KDAN30072-E

Please verify that there is a Broker running on the specified host and port or use the "aa....aa" option to specify the correct broker host and port.

aa....aa：コマンドラインオプション

説明

CJMSP が指定されたポート上に動作していない場合に発生します。

対処

CJMSP を開始し，コマンドを再度実行してみてください。

KDAN30075-E

Property file:aa....aa is not readable.

aa....aa：ファイル名

説明

指定された場所にプロパティファイルが存在しない場合に発生します。

対処

プロパティファイルが存在することを確認してください。

KDAN30076-E

Failed to open property file: aa....aa, bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：例外メッセージ

説明

指定された場所にプロパティファイルが存在しない場合に発生します。

対処

プロパティファイルが存在することを確認してください。

KDAN30077-E

Property file: aa....aa is not writeable.

aa....aa：ファイル名

説明

ユーザが書き込み禁止のプロパティファイルに書き込もうとした場合に発生します。

対処

プロパティファイルに書き込み権限を持っているかを確認してください。

KDAN30078-E

Cannot create property file:aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

ディレクトリが書き込み禁止である場合に発生します。

対処

ディレクトリに書き込む権限があることを確認してください。

KDAN30079-E

Failed to write to property file: aa....aa, bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：例外メッセージ

説明

ディレクトリが書き込み禁止である場合に発生します。

対処

ディレクトリに書き込む権限があることを確認してください。

KDAN30081-E

aa....aaThe target attribute name needs to be specified with the bb....bb option.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：オプション

説明

オプションを指定しないでターゲット名（送信先名，送信先種別など）を指定した場合に発生します。

対処

オプションを明記してターゲット名を指定してください。

例：

-n オプションとともに送信先名

-t オプションとともに送信先種別

KDAN30082-E

aa....aaCannot update "Port Number" for "bb....bb" service.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：サービス名

説明

ユーザがブローカーサービスポート番号を変更しようとした場合に発生します。

対処

ポート番号を変更しないでください。

KDAN30087-E

Problem encountered when using SSL/TLS as the admin transport.

説明

ユーザが無効なプロトコルサービスを設定しようとした場合に発生します。

対処

SSL および TLS プロトコルサービスは設定しないでください。

KDAN30091-E

aa....aaThe value "bb....bb" specified for the number of retries is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：リトライ回数

説明

リトライ回数が指定されていない場合に発生します。

対処

有効な値を指定してください。

KDAN30092-E

aa....aaThe connection identifier specified (bb....bb) is not valid, it is not a long integer.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：コネクション ID

説明

指定されたコネクション ID が long 型でない場合に発生します。

対処

有効なコネクション ID を指定してください。"list cxn"コマンドを実行し，有効なコネクション ID を確認してください。

KDAN30093-E

aa....aaThe value "bb....bb" for the attribute "cc....cc" is invalid.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：無効な値

cc....cc：属性・プロパティ名

説明

属性・プロパティ名に対して無効な値を指定した場合に発生します。

対処

属性・プロパティ名に対して有効な値を指定してください。

KDAN30095-E

Property aa....aa not found in passfile bb....bb.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：パスワードファイル名

説明

property 内に cjmsicmd passwd に該当する項目がない場合に発生します。

対処

ブローカーを停止し，再起動してください。

KDAN30096-E

Creation of destination bb....bb of type aa....aa failed.

aa....aa：送信先種別

bb....bb：送信先名

説明

送信先の作成に失敗した場合に発生します。

対処

ブローカー内に送信先を作成するためのメモリが十分にあることを確認してください。

KDAN30097-E

The type of the value specified for the attribute aa....aa is incorrect. Please specify the value using a java.lang.String object.

aa....aa：送信先属性

説明

ユーザが送信先の属性に対して非 java.lang.String 型の値を指定しようとした場合に発生します。

対処

java.lang.String 型の属性を指定してください。

KDAN30098-E

aa....aaThe value "bb....bb" specified for the number of seconds is invalid. Please specify an integer value that is larger than zero.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：シャットダウン間隔

説明

シャットダウン間隔として負の値が指定された場合に発生します。

対処

必ず正の値を指定してください。

KDAN30100-E

Bad broker address specified: aa....aa.

aa....aa：ブローカーアドレス

説明

無効なブローカーアドレスが指定された場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中のアドレスを指定してください。

KDAN30101-E

aa....aaAttribute specified is for use at creation time only: bb....bb.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：属性名

説明

ユーザがリードオンリー属性を更新しようとした場合に発生します。

対処

リードオンリー属性を更新しないでください。

KDAN30107-E

Name is already bound.

説明

ユーザがすでにバウンドされている JNDI を指定した場合に発生します。

対処

ユニークな JNDI ルックアップ名を指定してください。

KDAN30108-E

Authentication error while accessing the naming or directory service.

説明

ユーザプログラムで提供される情報が無効であるか，ネーミング・ディレクトリサービスに対してユーザ認証が失敗した場合に発生します。

対処

有効なユーザ情報を指定してください。

KDAN30111-E

The client is unable to communicate with the directory or naming service.

説明

ネットワーク分割，ハードウェアまたはインタフェース問題，クライアントやサーバ側での障害などによってクライアントがディレクトリまたはネーミングサービスに通信できない場合に発生します。

対処

ネットワーク通信が正常であることを確認してください。

KDAN30112-E

No initial context implementation could be created.

説明

イニシャルコンテキストが作成できない場合に発生します。

対処

必ず操作の前にイニシャルコンテキストを作成してください。

KDAN30113-E

The service provider schema was violated in some way.

説明

何らかの方法でメソッドがオブジェクトの属性を変更することによってスキーマの違反を起こした場合に発生します。

対処

オブジェクトの属性を変更しないで，スキーマを違反しているネームスペースにオブジェクトを移動してください。

KDAN30114-E

The name does not exist.

説明

バインドされていないため，指定された名称のコンポーネントが解決されず，この警告が発生します。

対処

コンポーネントを必ずバインドしてください。

KDAN30115-E

The name of the object already exists in the store.

説明

ほかのオブジェクトにすでにバインドされている名称をクライアントが使用しようとした場合に発生します。

対処

唯一のバインディングネームを使用してください。

KDAN30116-E

This context does not take binding attributes.

説明

完全に指定されていないまたは間違って指定されている属性セットへの追加や変更をしようとした場合に発生します。

対処

更新の前に属性が設定されていることを確認してください。

KDAN30118-E

A general naming exception is caught.

説明

指定された JNDI 名が名前解決されていない場合に発生します。

対処

有効な JNDI 名を指定してください。

KDAN30119-E

Invalid port number is specified in aa....aa

aa....aa：ポート番号

説明

無効なポート番号が指定された場合に発生します。

対処

有効なポート番号を指定してください。

KDAN30120-E

Neither Queue nor Topic type

説明

ユーザが Queue および Topic 以外の ConnectionFactory 種別を指定した場合に発生します。

対処

有効な種別（Queue および Topic）を指定してください。

KDAN30121-E

Invalid object type

説明

ユーザが Queue および Topic 以外の ConnectionFactory 種別を指定した場合に発生します。

対処

有効な種別（QueueConnectionFactory, TopicConnectionFactory, XAQueueConnectionFactory および XATopicConnectionFactory）を指定してください。

KDAN30122-E

Destination name is not specified.

説明

プロパティファイル内に送信先が指定されていない場合に発生します。

対処

有効な送信先名を指定してください。

KDAN30123-E

Deletion of Message Queue broker instance aa....aa failed. The deletion was interrupted prematurely.

aa....aa：ブローカーインスタンス

説明

メッセージキューの削除時にブローカーが停止された場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30124-E

Deletion of Message Queue broker instance aa....aa failed. The broker instance does not exist.

aa....aa：ブローカーインスタンス

説明

メッセージキューの削除時にブローカーが実行中でない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30125-E

Deletion of Message Queue broker instance aa....aa failed. A broker with this instance name is still active.

aa....aa：ブローカーインスタンス

説明

ブローカーが要求を処理中にユーザブローカーを停止しようとした場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30126-E

Deletion of Message Queue broker instance aa....aa failed. The instance directory does not have the correct permissions.

aa....aa：ブローカーインスタンス

説明

ブローカーインスタンスのインスタンスディレクトリが書き込み権限を有しない場合に発生します。

対処

インスタンスディレクトリが適切な権限を有することを確認してください。

KDAN30127-E

Deletion of Message Queue broker instance aa....aa failed. Problem encountered while removing the persistent store.

aa....aa：ブローカーインスタンス

説明

ブローカーインスタンスの永続ストアがすでに削除されている場合に発生します。

対処

ブローカーインスタンスを削除する前に該当する永続ストアが存在することを確認してください。

KDAN30128-E

Deletion of Message Queue broker instance aa....aa failed. Caught an IOException.

aa....aa：ブローカーインスタンス

説明

ネットワーク上の問題によって発生します。

対処

ネットワーク通信が正常であることを確認してください。

KDAN30129-E

Deletion of Message Queue broker instance aa....aa failed: store. Unknown reason.

aa....aa：ブローカーインスタンス

説明

ブローカーインスタンスがすでに削除されている場合に発生します。

対処

削除する前にブローカーインスタンスが存在することを確認してください。

KDAN30131-E

JMSException caught: aa....aa.

aa....aa：例外メッセージ

説明

内部エラーが発生した場合に発生します。

対処

保守員にお問い合わせください。

KDAN30132-E

Invalid broker address aa....aa specified.

aa....aa：ブローカーアドレス

説明

無効なブローカーアドレスが指定された場合に発生します。

対処

正確なブローカーアドレスを指定してください。

KDAN30133-E

Invalid host name aa....aa specified

aa....aa：ホスト・ポート値

説明

無効なブローカーホスト名が指定された場合に発生します。

対処

正確なブローカーホスト名を指定してください。

KDAN30134-E

Invalid port aa....aa specified

説明

プロパティファイル内に無効なポート番号が設定されているかポート番号がまったく指定されていない場合に発生します。

対処

正しいポート番号が設定されていることを確認してください。

KDAN30135-E

Failed to set system property: aa....aa=bb....bb.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

システムプロパティを設定する際，次の場合に発生します。

- キーまたは値が null である場合
- キーが空である場合

対処

キーおよび値が null でないことを確認してください。

KDAN30136-E

Listing messages failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30137-E

Destroying message failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30138-E

Purging all the destinations failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30139-E

Purging failed for queue aa....aa.

aa....aa：キュー名

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30140-E

Purging failed for topic aa....aa

aa....aa：トピック名

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30141-E

Destroying all the destinations failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30142-E

Destroy failed for queue aa....aa.

aa....aa：キュー名

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30143-E

Destroy failed for topic aa....aa.

aa....aa：トピック名

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30144-E

Querying message failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30145-E

Problems retrieving the destination info.

説明

指定された送信先が存在しない場合に発生します。

対処

指定された送信先がブローカー内に存在することを確認してください。

KDAN30146-E

Problems retrieving the broker info.

説明

返信メッセージよりブローカーのプロパティを取得する際，内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN30147-E

Problems retrieving the service info.

説明

返信メッセージよりサービスを取得する際，内部エラーが発生しました。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN30148-E

Unknown exception caught: aa....aa.

aa....aa：例外種別

説明

捕捉した例外が予想された例外でない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN30149-E

Error occurred while checking the reply.

説明

受信メッセージ種別が予想されたメッセージ種別でない場合に発生します。

対処

内部エラーのため，保守員にお問い合わせください。

KDAN30152-E

Property Name and Value :aa....aa=bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

プロパティ値に 0 を設定した場合に発生します。

対処

0 を除いた有効範囲の値をプロパティ値に設定してください。

KDAN30153-E

aa....aaListing destinations failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30154-E

aa....aaListing services failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30155-E

aa....aaPausing the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30156-E

aa....aaPausing the service failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30157-E

aa....aaResuming the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30158-E

aa....aaResuming the service failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30159-E

aa....aaShutting down the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30160-E

aa....aaRestarting the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30161-E

aa....aaCreating the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30162-E

aa....aaDestroying the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30163-E

aa....aaPurging the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30164-E

aa....aaQuerying the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30165-E

aa....aaQuerying the service failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30166-E

aa....aaListing transactions failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30167-E

Querying the transaction failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30168-E

Commiting the transaction failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30169-E

Rolling back the transaction failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30170-E

aa....aaPausing the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30171-E

aa....aaResuming the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30172-E

aa....aaDisplaying destination metrics failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30173-E

aa....aaCompacting the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30174-E

aa....aaCompacting the destinations failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30175-E

aa....aaPausing all destinations failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30176-E

aa....aaResuming all destinations failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30177-E

aa....aaListing connections failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30178-E

aa....aaQuerying the connection failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30179-E

aa....aaQuerying the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30180-E

aa....aaUpdating the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30181-E

aa....aaUpdating the service failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30182-E

aa....aaUpdating the destination failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30183-E

aa....aaListing durable subscriptions failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30184-E

aa....aaDestroying the durable subscription failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30185-E

aa....aa Displaying service metrics failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30186-E

aa....aaDisplaying broker metrics failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30187-E

Reloading broker cluster configuration failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30188-E

aa....aaPurging the durable subscription failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30189-E

aa....aaQuiescing the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30190-E

Taking over another broker failed.

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30191-E

aa....aaListing the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30192-E

aa....aaListing JMX Connectors failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30193-E

aa....aaDestroying the connection failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30194-E

aa....aaUnquiescing the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30195-E

aa....aaResetting the broker failed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

対処

ブローカーが実行中であることを確認してください。

KDAN30196-E

Internal Error

説明

センダー，レシーバーまたはセッションの終了時に内部エラーが発生しました。

対処

保守員にお問い合わせください。

KDAN30197-E

aa....aaBrokerException thrown. Reason: bb....bb

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：エラーの理由

説明

- cjmsicmd コマンドで新たな送信先を作成する時に, 指定した送信先名が重複していた場合に発生します。
- ブローカーを通して管理コマンドを処理している間に例外が発生しました。

対処

指定した送信先がブローカーに存在していないことを確認してください。

KDAN30198-E

Exception caught: aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

- -b オプションで不正なホスト名を指定した場合に発生します。
- 入力データを読み込んだ時に内部エラーが発生しました。

対処

-b オプションに有効なホスト名が指定されていることを確認してください。

KDAN30199-E

aa....aaThere are no JMX Connectors on the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

JMX コネクタでない JMX コネクタをリストしている時に発生します。

対処

このオペレーションをする前に，ブローカーに JMX コネクタが存在するかを確認してください。

KDAN30200-E

There are no messages.

説明

ブローカーの中のメッセージをリストしたときに，メッセージがないときに発生します。

対処

このオペレーションをする前に，ブローカーにメッセージが存在するかを確認してください。

KDAN30201-E

aa....aaIncorrect data returned from broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN30202-E

aa....aa is not recognized.

aa....aa：属性名

説明

不正な引数を指定したときに発生します。

対処

正しい引数を指定してください。

KDAN30203-E

Property Name :aa....aa=-1

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティの無制限-1 のチェックで発生します。

対処

無制限値-1 を設定してください。

KDAN30204-E

aa....aaUnrecognized response: bb....bb.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：ユーザ入力 [Y/N]

説明

不正な引数を指定したときに発生します。

対処

正しい引数を指定してください。

KDAN30208-E

aa....aaBroker not responding, retrying [bb....bb of cc....cc attempts, timeout=dd....dd seconds]

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

bb....bb：リトライした回数

cc....cc：最大リトライ回数

dd....dd：リトライ間隔

説明

ネットワーク接続が不正なときに発生します。

対処

- ネットワーク接続が適切であることを確認してください。
- システム管理者に問い合わせてください。

KDAN30209-E

aa....aaThe broker was not updated.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーの更新時に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

ブローカーの更新時は正しい引数を指定してください。

KDAN30210-E

aa....aaThe service was not updated.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

サービスの更新時に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

サービスの更新時は正しい引数を指定してください。

KDAN30211-E

aa....aaThe destination was not updated.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先の更新時に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

送信先の更新時は正しい引数を指定してください。

KDAN30213-E

aa....aaThe broker was not quiesced.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーの静止状態時に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

ブローカーの静止状態時は正しい引数を指定してください。

KDAN30214-E

aa....aaThe connection was not destroyed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

接続を破壊したときに指定したブローカーの接続がないときに発生します。

対処

ブローカーとの接続があることを確認してください。

KDAN30215-E

aa....aaThe broker was not unquiesced.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーの静止状態の解除時に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

ブローカーの静止状態の解除時は正しい引数を指定してください。

KDAN30216-E

aa....aaThe broker was not reset.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーのリセット時に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

ブローカーのリセット時は正しい引数を指定してください。

KDAN30217-E

The message was not destroyed.

説明

メッセージを破棄するときに不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

メッセージを破棄するときは正しい引数を指定してください。

KDAN30219-E

The destinations were not destroyed.

説明

複数送信先を破棄するときに不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

複数送信先を破棄するときは正しい引数を指定してください。

KDAN30220-E

Ungracefully shutdown the broker.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守員に問い合わせてください。

KDAN30221-E

No destinations purged.

説明

送信先のメッセージ削除する場合に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

送信先のメッセージ削除するときは正しい引数を指定してください。

KDAN30222-E

No destinations destroyed.

説明

送信先を破棄する場合に不正な引数が指定されたときに発生します。

対処

送信先を破棄するときは正しい引数を指定してください。

KDAN32012-W

The value aa....aa (unlimited) was specified for the following attributes:

aa....aa：値

説明

無制限を示す不正な値を指定した場合に発生します。ユーザがプロパティで無制限を示す 0 を指定した場合に発生します。

対処

無制限の値を指定する場合は,プロパティに-1 を指定してください。

KDAN32013-W

The new value that should be used for specifying "unlimited" is: aa....aa

aa....aa：値

説明

無制限を示す不正な値を指定した場合に発生します。ユーザがプロパティで無制限を示す 0 を指定した場合に発生します。

対処

無制限の値を指定する場合は,プロパティに-1 を指定してください。

KDAN32014-W

The values for the attributes above have been converted to the following:

説明

無制限を示す不正な値を指定した場合に発生します。ユーザがプロパティで無制限を示す 0 を指定した場合に発生します。

対処

無制限の値を指定する場合は，プロパティに-1 を指定してください。

KDAN34081-I

Usage: cjmsicmd <subcommand> <argument> [<options>]

説明

cjmsicmd ヘルプの使用方法を表示するときに発生します。

KDAN34082-I

Valid cjmsicmd subcommands and arguments:

compact dst : Compact one or all destinations.

create dst : Create a destination.

destroy dst : Destroy a destination.

destroy dur : Destroy a durable subscription.

list bkr : List the broker.

list dst : List destinations on the broker.

list dur : List durable subscriptions on the topic.

list svc : List services on the broker.

pause bkr : Pause jms service on the broker.

pause dst : Pause one or all destinations.

purge dst : Purge all messages on a destination without

destroying the destination.

purge dur : Purge all messages on a durable subscription

without destroying the durable subscription.

query bkr : Query and display information on a broker.

query dst : Query and display information on a destination.

resume bkr : Resume jms service on the broker.

resume dst : Resume one or all destinations.

shutdown bkr : Shutdown broker.

説明

cjmsicmd ヘルプの使用方法を表示するときに発生します。

KDAN34083-I

cjmsicmd options:

-b : Specify the broker host and port (host:port).

-c : Specify the client ID.

-d : Specify the topic name.

Used only when listing durable subscriptions.

-f : Perform action without user confirmation.

-h, -help : Display usage help.

-n : Specify the name of the argument (e.g. destination name,

durable subscription name).

-o : Specify argument properties (e.g. destination

properties).

-rtm : Specify the admin receive timeout in seconds. Default is 10.

-t : Specify the type of destination

Valid values = {q, t} where

q = Queue

t = Topic

-time : Specify the number of seconds prior to shutdown.

Used only when shutting down the broker.

-tmp : Also display temporary destinations.

説明

cjmsicmd ヘルプの使用方法を表示するときに発生します。

KDAN34084-I

Attributes:

説明

cjmsicmd ヘルプの使用方法を表示するときに発生します。

KDAN34085-I

Queue:

説明

cjmsicmd ヘルプの使用方法を表示するときに発生します。

KDAN34086-I

Topic:

説明

cjmsicmd ヘルプの使用方法を表示するときに発生します。

KDAN34101-I

aa....aaThe valid values for "bb....bb" are:

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）
bb....bb：プロパティ名

説明

- 有効なログレベル値の表示時に発生します。
- 有効なリミット行動値の表示時に発生します。

KDAN34106-I

The value '-1' can be used to specify 'unlimited' for the following Queue/Topic attributes:

説明

無制限値として-1 を設定可能なキュー／トピック属性を表示時に発生します。

KDAN34107-I

The value '-1' can be used to specify 'unlimited' for the following Broker attributes:

説明

無制限値として-1 を設定可能なブローカー属性を表示時に発生します。

KDAN34108-I

On the broker specified by:

説明

ブローカー情報の表示時に発生します。

KDAN34110-I

aa....aaSuccessfully listed destinations.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常にリストアップした際に発生します。

KDAN34113-I

aa....aaSuccessfully listed services.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

サービスを正常にリストアップした際に発生します。

KDAN34115-I

Pausing the broker specified by:

説明

ブローカーの一時停止時に発生します。

KDAN34116-I

aa....aaSuccessfully paused the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常に一時停止した際に発生します。

KDAN34118-I

aa....aaThe broker was not paused.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34120-I

aa....aaSuccessfully paused the service.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

サービスを正常に一時停止した際に発生します。

KDAN34122-I

aa....aaThe service was not paused.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34123-I

Resuming the broker specified by:

説明

ブローカーの再開時に発生します。

KDAN34124-I

aa....aaSuccessfully resumed the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常に再開した際に発生します。

KDAN34126-I

aa....aaThe broker was not resumed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34128-I

aa....aaSuccessfully resumed the service.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

サービスを正常に再開した際に発生します。

KDAN34130-I

aa....aaThe service was not resumed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34131-I

Shutting down the broker specified by:

説明

ブローカーのシャットダウン時に発生します。

KDAN34132-I

aa....aaSuccessfully shutdown the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常にシャットダウンした際に発生します。

KDAN34134-I

aa....aaThe broker was not shutdown.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34136-I

aa....aaSuccessfully restarted the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常に再開始した場合に発生します。

KDAN34138-I

aa....aa The broker was not restarted.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34140-I

aa....aaSuccessfully created the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に作成したときに発生します。

KDAN34143-I

aa....aaSuccessfully destroyed the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に破棄したときに発生します。

KDAN34145-I

aa....aaThe destination was not destroyed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34147-I

aa....aaSuccessfully purged the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常にパージしたときに発生します。

KDAN34149-I

aa....aaThe destination was not purged.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34151-I

aa....aaSuccessfully queried the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に問い合わせたときに発生します。

KDAN34154-I

aa....aa Successfully queried the service.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

サービスを正常に問い合わせたときに発生します。

KDAN34180-I

aa....aaSuccessfully paused the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に一時停止したときに発生します。

KDAN34182-I

aa....aaThe destination was not paused.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34186-I

CREATED

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34187-I

STARTED

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34188-I

FAILED

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34189-I

INCOMPLETE

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34190-I

COMPLETE

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34191-I

PREPARED

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34192-I

COMMITTED

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34193-I

ROLLEDBACK

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34194-I

UNKNOWN

説明

トランザクション属性の表示時に発生します。

KDAN34198-I

aa....aaSuccessfully resumed the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に再開したときに発生します。

KDAN34203-I

aa....aaSuccessfully displayed service metrics.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

サービスメトリクスを正常に表示したときに発生します。

KDAN34204-I

aa....aaSuccessfully displayed broker metrics.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーメトリクスを正常に表示したときに発生します。

KDAN34205-I

aa....aaSuccessfully displayed destination metrics.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先メトリクスを正常に表示したときに発生します。

KDAN34208-I

aa....aaSuccessfully compacted the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に圧縮したときに発生します。

KDAN34209-I

aa....aaSuccessfully compacted the destinations.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に圧縮したときに発生します。

KDAN34215-I

aa....aaSuccessfully paused all destinations.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

すべての送信先を正常に一時停止したときに発生します。

KDAN34219-I

aa....aaSuccessfully resumed all destinations.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

すべての送信先を正常に再開したときに発生します。

KDAN34222-I

Using the following attribute:

説明

ブローカーのリセット時，一時停止のタイプを指定したときに発生します。

KDAN34225-I

aa....aaSuccessfully listed connections.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

コネクションを正常にリストアップしたときに発生します。

KDAN34227-I

aa....aaThere are no connections to list.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

コネクションのリストアップ時，ブローカーにコネクションが存在しない場合に発生します。

KDAN34238-I

aa....aaSuccessfully queried the connection.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

コネクションを正常に問い合わせたときに発生します。

KDAN34242-I

Destination Name

説明

送信先情報の表示時に発生します。

KDAN34243-I

Destination Type

説明

送信先情報の表示時に発生します。

KDAN34246-I

Current Number of Messages

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34247-I

Current Message Bytes

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34248-I

Max Total Message Bytes

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34249-I

Max Number of Messages

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34250-I

Max Bytes per Message

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34252-I

Max Number of Active Consumers

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34254-I

Limit Behavior

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34256-I

Consumer Flow Limit

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34257-I

Max Number of Producers

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34258-I

Current Number of Active Consumers

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34262-I

Service Name

説明

"cjmsicmd query svc"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34263-I

Port Number

説明

"cjmsicmd query svc"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34264-I

Service State

説明

"cjmsicmd query svc"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34265-I

Min Number of Threads

説明

"cjmsicmd query svc"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34266-I

Max Number of Threads

説明

"cjmsicmd query svc"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34267-I

Current Number of Allocated Threads

説明

"cjmsicmd query svc"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34268-I

Current Number of Connections

説明

"cjmsicmd query svc"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34270-I

Current Number of Producers

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34271-I

Destination State

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34277-I

Primary Port

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34282-I

Use Dead Message Queue

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34295-I

aa....aaSuccessfully queried the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常に問い合わせたときに発生します。

KDAN34296-I

Instance Name

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34297-I

Auto Create Topics

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34298-I

Auto Create Queues

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34305-I

Max Number of Messages in System

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34306-I

Max Total Message Bytes in System

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34307-I

Max Message Size

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34312-I

aa....aaSuccessfully updated the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常に更新したときに発生します。

KDAN34316-I

aa....aaSuccessfully updated the service.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

サービスを正常に更新したときに発生します。

KDAN34321-I

aa....aaSuccessfully updated the destination.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を正常に更新したときに発生します。

KDAN34322-I

Listing all durable subscriptions on the topic "aa....aa" on the broker specified by:

aa....aa：トピック名

説明

指定されたトピックの全デュアラブルサブスクライバーを正常にリストアップしたときに発生します。

KDAN34323-I

aa....aaSuccessfully listed durable subscriptions.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

デュアラブルサブスクライバーを正常にリストアップしたときに発生します。

KDAN34326-I

aa....aaSuccessfully destroyed the durable subscription.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

デュアラブルサブスクライバーを正常に破棄したときに発生します。

KDAN34393-I

Current Number of Messages in System

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34394-I

Current Total Message Bytes in System

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34401-I

aa....aaSuccessfully purged the durable subscription.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

デュアラブルサブスクライバーを正常にパージしたときに発生します。

KDAN34402-I

aa....aaThe durable subscription was not purged.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーが開始されていない場合に発生します。

KDAN34416-I

Auto Created Queue Max Number of Active Consumers

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34445-I

Log Dead Messages

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34446-I

Current Number of Messages in Dead Message Queue

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34447-I

Current Total Message Bytes in Dead Message Queue

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34448-I

Truncate Message Body in Dead Message Queue

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34454-I

aa....aaSuccessfully quiesced the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常に静止したときに発生します。

KDAN34466-I

aa....aaSuccessfully listed broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常にリストアップしたときに発生します。

KDAN34476-I

aa....aaSuccessfully listed JMX Connectors.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

JMX コネクタを正常にリストアップしたときに発生します。

KDAN34483-I

aa....aaSuccessfully destroyed the connection.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

コネクションを正常に破棄したときに発生します。

KDAN34485-I

Broker is Embedded

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34486-I

Held in Transaction

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34487-I

Actual

説明

"cjmsicmd query dst"コマンドを使用して送信先を問い合わせたときに発生します。

KDAN34492-I

aa....aaSuccessfully unquiesced the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常に静止解除したときに発生します。

KDAN34494-I

aa....aaSuccessfully sent command to shutdown the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーシャットダウン用のコマンドを正常に送信したときに発生します。

KDAN34495-I

Waiting for broker at aa....aa to shutdown...

aa....aa：ホスト名：ポート値

説明

ブローカーのシャットダウンを待ち中に発生します。

KDAN34497-I

Instance Configuration/Data Root Directory

説明

"cjmsicmd query bkr"コマンドを使用してブローカーを問い合わせたときに発生します。

KDAN34499-I

aa....aaSuccessfully reset the broker.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ブローカーを正常にリセットしたときに発生します。

KDAN34504-I

Setting System Property: aa....aa=bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

-D オプションを使用してプロパティを指定したときに発生します。

KDAN34508-I

Listing messages for the destination

説明

送信先向けメッセージのリストアップ時に発生します。

KDAN34509-I

Successfully listed messages.

説明

メッセージを正常にリストアップしたときに発生します。

KDAN34511-I

Successfully destroyed message.

説明

メッセージを正常に破棄したときに発生します。

KDAN34513-I

Purging all the destinations

説明

すべての送信先をパージ時に発生します。

KDAN34514-I

Skipping destination:aa....aa.

aa....aa：送信先名

説明

送信先の破棄またはパージ時，送信先タイプが Admin の場合に発生します。

KDAN34515-I

Successfully purged queue aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューを正常にパージしたときに発生します。

KDAN34516-I

Successfully purged topic aa....aa.

aa....aa：トピック名

説明

トピックを正常にパージしたときに発生します。

KDAN34518-I

Destroying all the destinations

説明

すべての送信先を破棄したときに発生します。

KDAN34519-I

Successfully destroyed queue aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューを正常に破棄したときに発生します。

KDAN34520-I

Successfully destroyed topic aa....aa.

aa....aa：トピック名

説明

トピックを正常に破棄したときに発生します。

KDAN34522-I

Successfully queried message.

説明

メッセージを正常に問い合わせたときに発生します。

KDAN34523-I

Problems connecting to the broker.

説明

ブローカーが停止されているときに発生します。

KDAN34526-I

Data received back from broker:

説明

-debug オプションを使用時，ブローカーからデータを受信中に発生します。

KDAN34527-I

No additional data received back from broker.

説明

-debug オプションを使用時，ブローカーからデータを受信中に発生します。

KDAN34528-I

BrokerAdmin defaultTimeout set to: aa....aa.

aa....aa：デフォルトタイムアウト値

説明

ブローカーアドミンデフォルトタイムアウト値を設定時に発生します。

KDAN34529-I

BrokerAdmin defaultNumRetries set to: aa....aa

aa....aa：デフォルトリトライ回数

説明

ブローカーアドミンデフォルトリトライ回数を設定時に発生します。

KDAN34530-I

BrokerAdmin num retries set to: aa....aa

aa....aa：リトライ回数

説明

ブローカーアドミンリトライ回数を設定時に発生します。

KDAN34531-I

Destroying message:

説明

メッセージの破棄時に発生します。

KDAN34532-I

In the destination

説明

送信先情報を表示する前に発生します。

KDAN34535-I

Querying message:

説明

メッセージの問い合わせ時に発生します。

KDAN34536-I

DEBUG message sent successfully.

説明

-debug オプションを使用時，デバッグメッセージを正常に送信したときに発生します。

KDAN34537-I

Sending the following DEBUG message:

説明

-debug オプションを使用時，デバッグメッセージを正常に送信したときに発生します。

KDAN34538-I

Optional properties:

説明

任意プロパティを表示するときに発生します。

KDAN34539-I

The values '-1 or 0' can be used to specify 'unlimited' for the following Queue/Topic attributes:

説明

無制限値として-1 や 0 を設定可能なキュー／トピック属性を表示するときに発生します。

KDAN34540-I

The values '-1 or 0' can be used to specify 'unlimited' for the following Broker attributes:

説明

無制限値として-1 や 0 を設定可能なブローカー属性を表示するときに発生します。

KDAN34541-I

cjmsicmd command was executed specified by:aa....aa

aa....aa：ユーザ指定の引数

説明

"cjmsicmd"コマンドに何らかの引数を指定したときに発生します。

KDAN34542-I

aa....aa The durable subscription was not destroyed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

永続化サブスクライバーを削除している時に，ユーザが操作の実行を無視したり，指定した引数が不正な値だった場合に発生します。

KDAN34543-I

aa....aa The destination was not compacted.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

送信先を圧縮する時に不正な引数を指定した場合に発生します。

ユーザが操作を無視した場合に発生します。

KDAN34544-I

aa....aa The destinations were not compacted.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

複数送信先を圧縮する時に不正な引数を指定した場合に発生します。

ユーザが操作を無視した場合に発生します。

KDAN34545-I

aa....aa The destinations were not purged.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

メッセージを破棄する時に不正な引数が指定された時に発生します。

ユーザが操作を無視した場合に発生します。

KDAN34546-I

aa....aa The destination was not resumed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ユーザが操作を無視した場合，または送信先へのメッセージ配信を再開した時に不正な引数が指定された時に発生します。

KDAN34547-I

aa....aa The destinations were not paused.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ユーザが操作を無視した場合，または複数送信先へのメッセージ配信を一時停止した時に不正な引数が指定された時に発生します。

KDAN34548-I

aa....aa The destinations were not resumed.

aa....aa：ブローカーのホスト名とポート番号（この引数の情報は管理コマンドのログにだけ出力されます）

説明

ユーザが操作を無視した場合，または複数送信先へのメッセージ配信を再開した時に不正な引数が指定された時に発生します。

KDAN38004-Q

Are you sure you want to destroy this destination? (y/n)[n]

説明

送信先を破棄しようとしたときに発生します。

KDAN38005-Q

Are you sure you want to purge this destination? (y/n)[n]

説明

送信先をパージしようとしたときに発生します。

KDAN38006-Q

Are you sure you want to pause this broker? (y/n)[n]

説明

送信先を一時停止しようとしたときに発生します。

KDAN38007-Q

Are you sure you want to pause this service? (y/n)[n]

説明

サービスを一時停止しようとしたときに発生します。

KDAN38008-Q

Are you sure you want to resume this broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーを再開しようとしたときに発生します。

KDAN38009-Q

Are you sure you want to resume this service? (y/n)[n]

説明

サービスを再開しようとしたときに発生します。

KDAN38010-Q

Are you sure you want to shutdown this broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーをシャットダウンしようとしたときに発生します。

KDAN38011-Q

Are you sure you want to restart this broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーを再開しようとしたときに発生します。

KDAN38012-Q

Are you sure you want to update this broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーを更新しようとしたときに発生します。

KDAN38013-Q

Are you sure you want to update this service? (y/n)[n]

説明

サービスを更新しようとしたときに発生します。

KDAN38014-Q

Are you sure you want to update this destination? (y/n)[n]

説明

送信先を更新しようとしたときに発生します。

KDAN38015-Q

Are you sure you want to destroy this durable subscription? (y/n)[n]

説明

デュアラブルサブスクライバを破棄しようとしたときに発生します。

KDAN38021-Q

Are you sure you want to purge this durable subscription? (y/n)[n]

説明

デュアラブルサブスクライバをパージしようとしたときに発生します。

KDAN38022-Q

Are you sure you want to pause this destination? (y/n)[n]

説明

デュアラブルサブスクライバを一時停止しようとしたときに発生します。

KDAN38023-Q

Are you sure you want to resume this destination? (y/n)[n]

説明

デュアラブルサブスクライバを再開しようとしたときに発生します。

KDAN38024-Q

Are you sure you want to compact this destination? (y/n)[n]

説明

送信先を圧縮しようとしたときに発生します。

KDAN38025-Q

Are you sure you want to compact all the destinations? (y/n)

説明

全送信先を圧縮しようとしたときに発生します。

KDAN38026-Q

Are you sure you want to pause all the destinations? (y/n)[n]

説明

全送信先を一時停止しようとしたときに発生します。

KDAN38027-Q

Are you sure you want to resume all the destinations? (y/n)[n]

説明

全送信先を再開しようとしたときに発生します。

KDAN38028-Q

Are you sure you want to quiesce this broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーを静止しようとしたときに発生します。

KDAN38029-Q

Are you sure you want to takeover the broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーをテークオーバーしようとしたときに発生します。

KDAN38030-Q

Are you sure you want to destroy this connection? (y/n)[n]

説明

コネクションを破棄しようとしたときに発生します。

KDAN38031-Q

Are you sure you want to unquiesce this broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーを静止解除しようとしたときに発生します。

KDAN38032-Q

Are you sure you want to reset this broker? (y/n)[n]

説明

ブローカーをリセットしようとしたときに発生します。

KDAN38033-Q

The state of this transaction is aa....aa.

Are you sure you want to rollback this transaction? (y/n)[n]

aa....aa：トランザクションの状態

説明

トランザクションをロールバックしようとしたときに発生します。

KDAN38034-Q

Are you sure you want to commit this transaction? (y/n)[n]

説明

トランザクションをコミットしようとしたときに発生します。

KDAN38035-Q

Are you sure you want to destroy this message? (y/n)[n]

説明

メッセージを破棄しようとしたときに発生します。

KDAN38036-Q

Are you sure you want to purge all the destinations? (y/n)[n]

説明

全送信先をパージしようとしたときに発生します。

KDAN38037-Q

Are you sure you want to destroy all the destinations? (y/n)[n]

説明

全送信先を破棄しようとしたときに発生します。

5 KDCC (SOAP アプリケーション開発支援機能で出力されるメッセージ)

この章では，SOAP アプリケーション開発支援機能および SOAP 通信基盤の利用時に出力されるメッセージについて説明します。

5.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式について説明します。

XXXXXnnnn-Y

メッセージテキスト

内容

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

次に，各項目について説明します。

XXXXXnnnn

メッセージ ID を表します。

Y

メッセージの種別を表します。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

なお，メッセージの＜＞に囲まれた部分は，メッセージ出力時の状況やエラーの対象によって出力内容が異なることを表します。

内容

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した構成ソフトウェアの動作など補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を示します。

メッセージ ID，メッセージ種別およびメッセージテキストは，出力されるメッセージの種類ごとに形式が異なります。出力されるメッセージの種類ごとの形式を 5.1.1 以降の項で説明します。また，メッセージの詳細については，5.2 以降の節でメッセージ ID 順に説明します。

5.1.1　C4Fault クラスによって出力されるメッセージ（KDCCP）の形式

C4Fault クラスによって出力されるメッセージの形式を次に示します。なお，KDCCP で始まるメッセージのうち，KDCCP30 で始まるメッセージは DII 使用時に出力されます。DII 使用時に出力されるメッセージの形式については，「5.1.10　DII 使用時に出力されるメッセージ（KDCCP30）の形式」を参照してください。

FaultCode：Fault コード

FaultString：メッセージ本文

FaultActor：Fault 生成者

FaultDetail：Fault 詳細

次に，各項目について説明します。

FaultCode：Fault コード

Fault コードは接頭辞とローカル部で構成されます。Fault コードの形式を次に示します。

{接頭辞}ローカル部

- 接頭辞
  「{http://c4web.cosminexus.com}」が出力されます。
- ローカル部
  「Server.」または「Client.」で始まる文字列が出力されます。

Fault コードの値は，C4Fault クラスの getFaultCode メソッドで取得できます。

FaultString：メッセージ本文

メッセージ本文を表します。メッセージ本文は，メッセージ ID，メッセージの種別およびメッセージテキストで構成されます。

メッセージ本文の形式を次に示します。

KDCCPnnnn-Y メッセージテキスト

次に各項目について説明します。

KDCCPnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCP
  C4Fault クラスで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- nnnn
  C4Fault クラスで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには 4 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。C4Fault クラスのメッセージ種別を次に示します。

E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

なお，メッセージ本文の値は C4Fault クラスの getFaultString メソッドで取得できます。

FaultActor：Fault 生成者

C4Fault クラスの getFaultActor メソッドで Fault 生成者を取得できます。

FaultDetail：Fault 詳細

C4Fault クラスの getFaultDetails メソッドで Fault 詳細を取得できます。

5.1.2　C4Exception クラスによって出力されるメッセージ（KDCCE05）の形式

C4Exception クラスによって出力されるメッセージの形式を次に示します。

Message：メッセージ本文

メッセージ本文は，メッセージ ID，メッセージの種別およびメッセージテキストで構成されます。メッセージ本文の形式を次に示します。

KDCCE05nn-Y メッセージテキスト

次に各項目について説明します。

KDCCE05nn
メッセージ ID を表します。
メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCE
  C4Exception クラスで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- 05nn
  C4Exception クラスで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには上位 2 けたが「05」である 4 けたの固有の番号が付いています。

Y
メッセージの種別を表します。C4Exception クラスの種別を次に示します。
E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。

メッセージテキスト
メッセージの内容を表します。

なお，メッセージ本文の値は，C4Exception クラスの getMessage メソッドで取得できます。

5.1.3　SOAP エンジンによって出力されるメッセージ（KDCCE06，KDCCE9，KDCCS30）の形式

SOAP エンジンで出力されるメッセージの形式を次に示します。

XXXXXnnnn-Y メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

XXXXXnnnn
メッセージ ID を表します。
メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- XXXXX
  SOAP エンジンで出力されるメッセージのプリフィックスを表します。プリフィックスは英字 5 文字で示します。
- nnnn
  SOAP エンジンで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには 4 けたの固有の番号が付いています。

SOAP エンジンによって出力されるメッセージは，次の 3 種類のメッセージ ID が示されます。

- KDCCE06nn
- KDCCE9nnn
- KDCCS30nn

Y

メッセージの種別を表します。SOAP エンジンで出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。

- E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。
- I（INFORMATION）：情報を通知するメッセージです。
- W（WARN）：警告を通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

5.1.4　UDDI クライアントライブラリによって出力されるメッセージ（KDCCR）の形式

UDDI クライアントライブラリで出力されるメッセージの形式を次に示します。

KDCCRnnnn-Y メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

KDCCRnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCR

  UDDI クライアントライブラリで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。

- nnnn

  UDDI クライアントライブラリで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには次の 4 けたの番号が付いています。

  1001～1999：Connection 関係のメッセージ

  2001～2999：Querymanager／LifeCycleManager 関係のメッセージ

  3000～：そのほかのメッセージ

Y

メッセージの種別を表します。

UDDI クライアントライブラリで出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。

- E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。
- W（WARN）：警告を通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

5.1.5　開発支援コマンドによって出力されるメッセージ（KDCCC）の形式

開発支援コマンドで出力されるメッセージの形式を次に示します。

KDCCCnnnn-Y メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

KDCCCnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCC
  開発支援コマンドで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- nnnn
  開発支援コマンドで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには 4 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。

開発支援コマンドで出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。

- E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。
- I（INFORMATION）：情報を通知するメッセージです。
- W（WARN）：警告を通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

5.1.6　送受信データのサイズチェックによって出力されるメッセージ（KDCCS1151 から KDCCS1199 まで）の形式

送受信データのサイズチェックで出力されるメッセージの形式を次に示します。

KDCCSnnnn-Y メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

KDCCSnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCS
  送受信データのサイズチェックで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- nnnn
  送受信データのサイズチェックで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには 4 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。送受信データのサイズチェックで出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。

- E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

5.1.7　SAAJ によって出力されるメッセージ（KDCCS1001 から KDCCS1150）の形式

SAAJ で出力されるメッセージの形式を次に示します。

Message：メッセージ本文

メッセージ本文はメッセージ ID，メッセージの種別およびメッセージテキストで構成されます。メッセージ本文の形式を次に示します。

KDCCSnnnn-Y メッセージテキスト

次に各項目について説明します。

KDCCSnnnn
メッセージ ID を表します。
メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCS
  SAAJ で出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- nnnn
  SAAJ で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには 4 けたの固有の番号が付いています。

Y
メッセージの種別を表します。SAAJ で出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。
E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。

メッセージテキスト
メッセージの内容を表します。

5.1.8　PRF トレースの取得によって出力されるメッセージ（KDCCT0）の形式

PRF トレースの取得で出力されるメッセージの形式を次に示します。

KDCCT0nnn-Y メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

KDCCT0nnn
メッセージ ID を表します。
メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCT
  PRF トレースの取得で出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- 0nnn
  PRF トレースの取得で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには先頭が「0」で示される 4 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。PRF トレースの取得で出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。

- E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。
- W（WARN）：警告を通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

5.1.9　トレース機能によって出力されるメッセージ（KDCCT1）の形式

トレース機能で出力されるメッセージの形式を次に示します。

KDCCT1nnn-Y メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

KDCCT1nnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCT
  トレース機能で出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- 1nnn
  トレース機能で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには先頭が「1」で示される 4 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。トレース機能で出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。

- I（INFORMATION）：情報を通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

5.1.10　DII 使用時に出力されるメッセージ（KDCCP30）の形式

DII 使用時に出力されるメッセージの形式を次に示します。

KDCCP30nn-Y メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

KDCCP30nn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

- KDCCP
  DII 使用時に出力されるメッセージのプリフィックスを示します。
- 30nn

DII 使用時に出力されるメッセージのメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには上位 2 けたが「30」で示される 4 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。

トレース機能で出力されるメッセージのメッセージ種別を次に示します。

- E（ERROR）：障害が発生したことを通知するメッセージです。
- W（WARN）：警告を通知するメッセージです。

メッセージテキスト

メッセージの内容を表します。

5.1.11　注意事項

SOAP エンジンで出力されるメッセージの注意事項を次に示します。

- KDCCE0601-W，KDCCE0602-W，KDCCE0605-W，KDCCE0611-W，KDCCE0614-E，KDCCE0615-E，KDCCE0620-I，KDCCE0621-W，および KDCCE9000-E のメッセージはデフォルトトレースに出力されることがあります。
- KDCCE0608-W のメッセージは，コマンドラインによる SOAP アプリケーションの実行時に画面に出力されます。
- KDCCE0610-E のメッセージは，アプリケーションサーバのメッセージログおよびコンソール画面に出力されます。

5.2　KDCCC0001 から KDCCC9999 までのメッセージ

開発支援コマンドによって出力される KDCCC0001 から KDCCC9999 までのメッセージについて説明します。

KDCCC0001-I

The command finished normally.

内容

コマンドが正常終了しました。

対処

不要です。

KDCCC0011-E

A library required for command execution was not found. (details = ＜詳細情報＞)

内容

コマンド実行に必要なライブラリが見つからないか互換性がありません。

対処

マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」の「9.　開発支援コマンド」を参照してください。

KDCCC0012-E

A command could not be executed. (details = ＜詳細情報＞)

内容

コマンドが＜詳細情報＞の理由によって実行できませんでした。

対処

要因を排除し，再度実行してください。

WSDL2Java コマンドを実行している場合は，-C オプションを指定して再度実行してください。

KDCCC0013-E

An attempt to analyze the WSDL definition has failed. (details = ＜詳細情報＞)

内容

WSDL の解析が＜詳細情報＞の理由によって実行できませんでした。

対処

要因を排除し，再度実行してください。

WSDL2Java コマンドを実行している場合は，-C オプションを指定して再度実行してください。

KDCCC0014-E

An attempt to copy files failed.

内容

ファイルのコピーに失敗しました。

対処

ディレクトリの権限を見直して，再度実行してください。

KDCCC0101-E

The specified class ＜クラス名＞ cannot be converted to an xml schema data type. The type anyType will be used. (details = bean)

内容

＜クラス名＞は bean クラスでなく，XML schema のデータ型にも変換できません。

WSDL 定義上，XML schema の anyType 型として定義します。

対処

対象クラスの引数として＜クラス名＞を使用しないように変更するか，＜クラス名＞を持つメソッドを WSDL 生成の対象から外してください。

KDCCC0102-E

The specified class ＜クラス名＞ cannot be converted to an xml schema data type. The type anyType will be used. (details = package)

内容

＜クラス名＞は java または javax パッケージとして定義され，XML schema のデータ型に変換できません。

対処

対象クラスの引数として＜クラス名＞を使用しないように変更するか，＜クラス名＞を持つメソッドを WSDL 生成の対象から外してください。

KDCCC0103-E

The specified class ＜クラス名＞ cannot be converted to an xml schema data type. The type anyType will be used. (details = holders)

内容

＜クラス名＞は org.apache.axis.holders パッケージとして定義され，XML schema のデータ型に変換できません。

対処

対象クラスの引数として＜クラス名＞を使用しないように変更するか，＜クラス名＞を持つメソッドを WSDL 生成の対象から外してください。

KDCCC0111-E

A WSDL2Java command timed out.

内容

WSDL 生成処理がタイムアウトになりました。

対処

-O オプションでタイムアウト値を大きめに設定してください。

KDCCC0121-E

The wsdl file has already been specified as, < WSDL ファイル名 1 >. It cannot be specified again as < WSDL ファイル名 2 >.

内容

WSDL ファイルとして< WSDL ファイル名 1 >が指定されています。< WSDL ファイル名 2 >は指定できません。

対処

指定を見直し，再度実行してください。

KDCCC0122-E

The wsdl file was not specified.

内容

WSDL ファイルの指定がありません。

対処

WSDL ファイルを指定してください。

KDCCC0123-E

An option specification is incorrect. (details = <詳細>)

内容

オプションの指定方法に<詳細>に示す誤りがあります。

対処

誤りを修正して再度実行してください。

KDCCC0131-E

A binding element was not found. (binding = < binding 名>)

内容

WSDL 定義に binding（< binding 名>）がありません。WSDL 定義の<port binding="..">の指定値を見直してください。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0132-E

A binding element was not found in the WSDL document < WSDL ファイル名>. (binding = < binding 名>)

内容

WSDL 定義< WSDL ファイル名>に binding（< binding 名>）がありません。WSDL 定義の<port binding="..">の指定値を見直してください。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0133-E

A portType element was not found. (portType = < portType 名>)

内容

WSDL 定義に portType（< portType 名>）がありません。WSDL 定義の<binding type="..">の指定値を見直してください。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0134-E

A portType element was not found in the WSDL document < WSDL ファイル名>. (portType = < portType 名>)

内容

WSDL 定義< WSDL ファイル名>に portType（< portType 名>）がありません。WSDL 定義の<binding type="..">の指定値を見直してください。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0135-E

The specified XML schema type ＜データ型＞ is not valid in XML schema version schema-version.

内容

指定した XML Schema type "＜データ型＞"は，Schema version "< Schema version >"では有効ではありません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0136-E

A specified XML schema type is not currently supported. (XML schema type = ＜データ型＞)

内容

指定した XML Schema type "＜データ型＞"は，現在サポートされていません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0137-E

A specified type is referenced but not defined. (type = ＜データ型＞)

内容

指定した Type ＜データ型＞は，定義されていません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0138-E

The specification of a type or ref attribute is incorrect. (element = <要素名>)

内容

"<要素名>"の type 属性または ref 属性の指定に誤りがあります。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0139-E

The specification of a parameterOrder attribute is incorrect. (element = <要素名>)

内容

送信用の part 要素が<要素名>の parameterOrder 属性にすべて定義されていません。

対処

parameterOrder 指定時は送信用の part 要素名をすべて記述してください。

KDCCC0140-E

The specification of the part element used for input or output is incorrect. (element = <要素名>)

内容

<要素名>は送信または受信用の part 属性に定義されていません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0141-E

The part element lacks the element attribute or type attribute. (operation or fault element = <要素名>, part element = < part 要素名>)

内容

operation または fault 要素<要素名>での Message part 要素< part 要素名>に element または type 属性がありません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0142-E

The binding operation element has no corresponding portType operation element. (binding operation name = <要素名>, input name = < input 要素名>, output name = < output 要素名>)

内容

binding operation 要素と portType operation 要素が対応していません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0143-E

The name attribute of the fault element is incorrect. (binding = < binding 要素名>, operation = < operation 要素名>)

内容

Fault 要素の name 属性に誤りがあります。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0144-E

The soap:fault element is incorrect. (binding = < binding 要素名>, operation = < operation 要素名>, fault = < fault 要素名>)

内容

binding "< binding 要素名>"，operation "< operation 要素名>"，Fault "< Fault 要素名>"の <soap:fault>要素に誤りがあります。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0145-E

The binding fault element does not match the portType fault element. (binding = < binding 要素名>, operation = < operation 要素名>, fault = < fault 要素名>)

内容

binding "< binding 要素名>"，operation "< operation 要素名>"の binding fault "< fault 要素名>"と portType fault との記述が一致していません。

対処

binding fault と portType fault との関係を見直し，WSDL 定義を修正後，再度実行してください。

KDCCC0146-E

The operation element requires the use attribute. (binding operation = < operation 要素名>)

内容

binding operation < operation 要素名>に use 属性の指定がありません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0147-E

The specification of the service element's name attribute is incorrect.

内容

service 要素の name 属性の指定がないか指定が誤っています。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0148-E

The name attribute is not specified in the port element.

内容

port 要素に name 属性の指定がありません。

対処

port 要素に name 属性を定義し，再度実行してください。

KDCCC0149-E

The binding attribute is not specified in the port element.

内容

port 要素に binding 属性の指定がありません。

対処

port 要素に binding 属性を定義し，再度実行してください。

KDCCC0150-E

The message attribute is not specified in a child element of the portType element.

内容

portType 要素の<input>，<output> ，<fault>のどれかの message 属性の指定値がありません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0151-E

The message attribute specified in a child element of the portType element is incorrect. (message = < message 属性の指定値>)

内容

portType 要素の<input>，<output> ，<fault>のどれかの message 要素の指定値< message 要素の指定値>に誤りがあります。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0161-E

The file cannot be opened. (file = <ファイル名>)

内容

名前空間とパッケージ名のマッピングファイル<ファイル名>がオープンできません。

対処

ファイルが存在するか確認してください。

また，ファイルが存在する場合，アクセス権限を確認してください。

KDCCC0171-W

A file already exists. WSDL2Java cannot overwrite it. (file = <ファイル名>)

内容

＜ファイル名＞がすでに存在します。上書きしませんでした。

対処

出力先を見直して必要に応じて再度実行してください。

KDCCC0172-E

A file already exists. (file = ＜ファイル名＞)

内容

＜ファイル名＞の存在チェック時にエラーが発生しました。ファイルは生成されませんでした。

対処

ファイルが存在する場合，ファイルのアクセス権限などを見直して再度実行してください。

KDCCC0181-E

The location attribute is not specified in the address element. (service = ＜ service 要素名＞, port = ＜ port 要素名＞)

内容

WSDL 定義の service 要素＜ service 要素名＞，port 要素＜ port 要素名＞内の address 要素に location 属性がありません。

対処

指定値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0182-E

The address element's location attribute is invalid. (service = ＜ service 要素名＞, port = ＜ port 要素名＞, location attribute value = ＜ location 属性値＞)

内容

WSDL 定義の service 要素＜ service 要素名＞，port 要素＜ port 要素名＞内の address 要素の location 属性値＜ location 属性値＞に誤りがあります。

対処

指定値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0191-E

A file name is duplicated. (file = ＜ファイル名＞)

内容

生成する＜ファイル名＞が重複しました。名前空間が同一パッケージ名になる element を持つ要素があります。

対処

WSDL 定義を見直し，再度実行してください。

パッケージ名を変更している場合，その指定内容も見直してください。

KDCCC0201-E

The class has already been specified as ＜クラス名 1 ＞. It cannot be specified again as ＜クラス名 2 ＞.

内容

クラス名として＜クラス名 1 ＞が指定されています。＜クラス名 2 ＞は指定できません。

対処

指定を見直し，再度実行してください。

KDCCC0202-W

An option specification is incorrect. (option = -w,　value = ＜オプション値＞)

内容

-w オプションに All，Interface，Implementation 以外が指定されました。

All を仮定します。

対処

All 以外にしたい場合は，オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0203-E

An option specification is incorrect. (option = -T)

内容

-T オプションに 1.1，1.2 以外が指定されました。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0204-E

An option specification is incorrect. (option = -A)

内容

-A オプションに DEFAULT，NONE，OPERATION 以外が指定されました。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0205-E

An option specification is incorrect. (option = -u)

内容

-u オプションに LITERAL，ENCODED 以外が指定されました。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0206-E

The class name is not specified.

内容

クラス名の指定がありません。

対処

クラス名を指定し，再度実行してください。

KDCCC0207-E

An option is not specified. (option = -l)

内容

-w オプションで All，Implementation を指定した場合，-l オプションの指定が必要です。

対処

-l オプションを指定し，再度実行してください。

KDCCC0208-E

A specified class was not found. (class = <クラス名>)

内容

指定したクラスがありません。

対処

クラス名を見直し，再度実行してください。

KDCCC0211-W

An option specification is incorrect. The specified value will be ignored. (option = -d,　value = <オプション値>)

内容

-d オプションの指定に誤りがあります。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

なお，"Request"を仮定し，ソースを生成しています。

KDCCC0221-W

An option specification is incorrect. The system assumes an RPC was specified. (option = -p, value = <オプション値>)

内容

-p オプションに RPC，EJB，C4MSG 以外が指定されました。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0222-I

An option is not specified. The system assumes an RPC was specified. (option = -p)

内容

-p オプションの指定がありません。

RPC を仮定します。

対処

RPC 以外で作成したい場合は，オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0223-E

The option ＜オプション名 1 ＞ cannot be specified when the specified value of ＜オプション名 2 ＞ is ＜オプション値＞.

内容

＜オプション名 2 ＞オプション値が＜オプション値＞の場合，＜オプション名 1 ＞オプションは指定できません。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0224-E

A required option is not specified. (option = ＜オプション名＞)

内容

必須オプション＜オプション名＞の指定がありません。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0225-E

The onMessage method is not defined in the specified class.

内容

指定のクラスには"onMessage"メソッドがないため，-p オプションが"C4MSG"の場合は使用できません。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0226-E

The specified class is not an EJB remote interface or EJB local interface.

内容

-p オプションで EJB を指定した場合, EJB のリモートまたはローカルインタフェースクラスを指定してください。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0227-E

The value of the specified option is incorrect. (option = -z)

内容

-z オプションに RPC，DOCUMENT 以外が指定されました。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0228-W

＜メソッド名＞ method defined in the specified class was assumed to throw java.rmi.RemoteException. An implementation class of java.rmi.Remote including javax.ejb.EJBObject must throw it.

内容

指定されたクラスの＜メソッド名＞の throws 節に java.rmi.RemoteException がありません。java.rmi.Remote （javax.ejb.EJBObject を含みます）の実装クラスまたは継承インタフェースのメソッドは，java.rmi.RemoteException をスローしなければなりません。

対処

＜メソッド名＞の throws 節に java.rmi.RemoteException を追加してください。

KDCCC0229-W

＜例外クラス名＞ exception of ＜メソッド名＞ method defined in the specified class was ignored.

内容

指定されたクラスの＜メソッド名＞の throws 節に含まれる＜例外クラス名＞は処理されませんでした。このコマンドが正常終了した場合，生成された WSDL またはサービスデプロイ定義には，＜例外クラス名＞に関連する情報が含まれません。

対処

＜メソッド名＞の throws 節から＜例外クラス名＞を削除してください。

KDCCC0230-W

java.rmi.RemoteException of ＜メソッド名＞ method defined in the specified class was ignored. An implementation class of javax.ejb.EJBLocalObject must not throw it.

内容

指定されたクラスの＜メソッド名＞の throws 節に，java.rmi.RemoteException があります。javax.ejb.EJBLocalObject の実装クラスまたは継承インタフェースのメソッドは，java.rmi.RemoteException をスローしてはいけません。

対処

＜メソッド名＞の throws 節から java.rmi.RemoteException を削除してください。

KDCCC0231-E

Cannot generate exception class from complexType or element ＜タグ名＞. Name "＜例外クラス名＞" is reserved.

内容

複合型または要素＜タグ名＞から例外クラスを生成することはできません。＜例外クラス名＞は予約されている名称です。

対処

＜タグ名＞の名前空間 URI を見直すか，-N オプション，-f オプション，または-p オプションで指定しているパッケージ名を変更し，再度実行してください。

KDCCC0232-E

The value ＜オプション値 1 ＞ of the option ＜オプション名 1 ＞ and the value ＜オプション値 2 ＞ of the option ＜オプション名 2 ＞ are exclusive.

内容

＜オプション名 1 ＞ の値として＜オプション値 1 ＞を指定した場合は，＜オプション名 2 ＞ の値として＜オプション値 2 ＞ は指定できません。

対処

オプション値を見直し，再度実行してください。

KDCCC0233-I

The validation of the WSDL document was started. (WSDL document = ＜オプション値 1 ＞)

内容

WSDL の検証を開始しました。

対処

必要ありません。

KDCCC0234-E

The WSDL document is invalid. The document has unsupported WSDL elements or attributes.

内容

WSDL 定義で，サポートしていない WSDL 要素または属性が使用されています。

対処

WSDL 定義から，サポートしていない WSDL 要素または属性を削除してください。

KDCCC0235-E

The WSDL document is invalid. The document has unsupported MIME binding elements or attributes.

内容

WSDL 定義で，サポートしていない MIME バインディング要素または属性が使用されています。

対処

WSDL 定義から，サポートしていない MIME バインディング要素または属性を削除してください。

KDCCC0236-E

The WSDL document is invalid. The document has unsupported XML Schema elements or attributes.

内容

WSDL 定義で，サポートしていない WSDL 要素または属性が使用されています。

対処

WSDL 定義から，サポートされていない XML Schema 要素または属性を削除してください。

KDCCC0237-I

The validation of the WSDL document was finished successfully.

内容

WSDL 定義の妥当性検証処理は，正常に終了しました。

対処

必要ありません。

KDCCC0238-E

The type referenced by ＜part 要素名＞ of ＜message 要素名＞ is simple type or array.

内容

＜message 要素名＞の＜part 要素名＞で参照される型が単純型，または配列です。

対処

複合型を参照するように変更し，再度実行してください。

KDCCC0239-E

Multiple part elements or no part elements were found in ＜message 要素名＞.

内容

＜message 要素名＞に 0，または複数の part 要素が指定されています。＜message 要素名＞に含めることのできる part 要素は一つです。

対処

WSDL を修正し，再度実行してください。

KDCCC0240-E

The type attribute of the part element is specified when the style is document. (message = ＜message 要素名＞, part = ＜part 要素名＞)

内容

document/literal の WSDL で part 要素に type 属性が指定されています。

対処

document/literal の WSDL では part 要素に element 属性を指定してください。

KDCCC0245-E

An option specification is incorrect. (option = -C, --check).

内容

WSDL2Java コマンドの WSDL 検証オプションの引数に，不正な文字列が渡されました。

対処

WSDL 検証オプションの引数を見直して，再度コマンドを実行してください。

KDCCC0247-E

Cannot specify multiple “＜要素 1 ＞” elements in a single “＜要素 2 ＞” element.

内容

＜要素 2 ＞の子要素として，＜要素 1 ＞が複数定義されています。＜要素 2 ＞では，＜要素 1 ＞を複数定義できません。

対処

WSDL 定義を見直し，修正後，再度実行してください。

KDCCC0263-E

Multiple part elements are defined in the message element when the style is document. (message = < message 要素名>)

内容

document/literal の WSDL で，一つの message 要素に対して複数の part 要素が定義されています。

対処

一つの message 要素に対して一つ以下の part 要素を定義してください。

KDCCC0265-E

The specified URL is invalid. (option = -l/--location, specified url = <指定された URL >)

内容

-l／--location オプションに不正な URL が指定されました。

対処

URL を見直し，正しい URL を指定してください。

KDCCC0266-E

The style of all the operations in the wsdl:binding element is not the same. (binding = < binding 要素名 >)

内容

binding 要素中にスタイルが異なるオペレーションを定義することはできません。

対処

binding 要素中のすべてのオペレーションのスタイルを同一にしてください。

KDCCC0269-E

The overloaded method is not supported when the document style is specified. (method = <メソッド名 >)

内容

-z オプションで DOCUMENT を指定した場合は，オーバーロードしたメソッドを持つインタフェースは指定できません。

対処

メソッド名を変更してください。

KDCCC0271-E

The specified URL contains invalid character(s). (option = -l/--location, specified url = <指定された URL >)

内容

-l オプションに不正な URL が指定されました。

対処

URL にサポート範囲外の文字が使用されています。URL を見直し，正しい URL を指定してください。

128 バイト以上の URL の場合，＜指定された URL ＞には 128 バイト分の URL が表示されます。128 バイト目が文字の区切りにならないとき，128 バイト目の文字は指定した文字と異なる文字が表示されます。

KDCCC0272-E

The specified URL is too long. (option = -l/--location, specified url = ＜指定された URL ＞)

内容

-l オプションに不正な URL が指定されました。

対処

URL 長が 8,190 バイトを超えています。URL を見直し，正しい URL を指定してください。

＜指定された URL ＞には 128 バイト分の URL が表示されます。128 バイト目が文字の区切りにならないとき，128 バイト目の文字は指定した文字とは異なる文字が表示されます。

KDCCC0273-E

The value of the address element's location attribute contains invalid character(s). (service = ＜ service 要素名＞, port = ＜ port 要素名＞, location attribute value = ＜ location 属性値＞)

内容

WSDL 定義の service 要素＜ service 要素名＞，port 要素＜ port 要素名＞内の address 要素の location 属性値＜ location 属性値＞に誤りがあります。

対処

location 属性の値にサポートされていない文字が使用されています。location 属性値を見直し, 再度実行してください。

location 属性の値が 128 バイト以上の場合，＜ location 属性値＞には 128 バイト分の値が表示されます。128 バイト目が文字の区切りにならないとき，128 バイト目の文字は指定した文字とは異なる文字が表示されます。

KDCCC0274-E

The value of the address element's location attribute is too long. (service = ＜ service 要素名＞, port = ＜ port 要素名＞, location attribute value = ＜ location 属性値＞)

内容

WSDL 定義の service 要素＜ service 要素名＞，port 要素＜ port 要素名＞内の address 要素の location 属性値＜ location 属性値＞に誤りがあります。

対処

location 属性の値の文字列長が 8,190 バイトを超えています。location 属性の値を見直し，再度実行してください。

<location 属性値>には 128 バイト分の値が表示されます。128 バイト目が文字の区切りにならないとき，128 バイト目の文字は指定した文字とは異なる文字が表示されます。

KDCCC0275-E

An unsupported XML Schema version is specified. (value = ＜値＞, file = ＜ファイル名＞)

内容

サポートされていない XML Schema のバージョンが使用されています（value = ＜値＞, file = ＜ファイル名＞）。

対処

WSDL 定義を見直し，「http://www.w3.org/2001/XMLSchema」を使用してください。

KDCCC0276-W

The filename specified in the ＜属性名＞ attribute of ＜要素名＞ element is not a relative URI. The specified file is skipped. (＜属性名＞ = ＜値＞, file = ＜ファイル名＞)

内容

＜要素名＞要素の＜属性名＞属性で指定されたファイルは，相対的な URI ではありません。指定したファイルはスキップされます（＜属性名＞=＜値＞，file=＜ファイル名＞）。

file，http，ftp などの各種プロトコルを使用したファイル指定は，サポートされていません。

対処

WSDL 定義を見直し，相対 URI でファイルパスを記述してください。

KDCCC0277-E

The file path specified by ＜属性名＞ attribute of ＜要素名＞ element is too long. Please specify it within 256 characters. (＜属性名＞ = ＜値＞, file = ＜ファイル名＞)

内容

＜要素名＞要素の＜属性名＞属性で指定されたファイルパスは長過ぎます。256 文字以内で指定してください（＜属性名＞ = ＜値＞, file = ＜ファイル名＞）。

対処

WSDL 定義を見直し，絶対パスに換算した文字数が 256 文字以内なるように指定してください。

KDCCC0278-E

The XML Schema file specified in the schemaLocation attribute of import element is already imported. (namespace = ＜名前空間＞,schemaLocation= ＜値＞, file = ＜ファイル名＞)

内容

import 要素の schemaLocation 属性で指定された XML Schema ファイルは，すでにインポートされています（namespace = ＜名前空間＞,schemaLocation = ＜値＞, file = ＜ファイル名＞）。

同じ XML Schema ファイルは重複してインポートできません。

対処

XML Schema 定義を見直してください。

KDCCC0279-E

The namespace of "＜対象ファイル名＞" file specified in the ＜要素名＞ element does not match to that specified in the ＜属性名＞ attribute. (＜属性名＞ = ＜名前空間＞, file = ＜ファイル名＞)

内容

＜要素名＞要素で指定された＜対象ファイル名＞の名前空間は，「＜属性名＞」属性で指定された名前空間と一致しません（＜属性名＞=＜名前空間＞，file = ＜ファイル名＞）。

対処

WSDL 定義を見直し，同じ名前空間を指定してください。

KDCCC0280-E

A XML Schema definition has to be imported to refer the element or attribute of other namespaces. (namespace = <値>, file = <ファイル名>)

内容

ほかの名前空間の要素や属性を参照するには，XML Schema 定義をインポートしなければなりません（namespace 名前空間 = <値>, file = <ファイル名>）。

対処

xsd:import 要素で，XML Schema 定義をインポートしてください。

KDCCC0281-E

The namespace “http://www.w3.org/2001/XMLSchema” cannot be imported. (file = <ファイル名>)

内容

名前空間「http://www.w3.org/2001/XMLSchema」は，インポートできません（file = <ファイル名>）。

対処

「http://www.w3.org/2001/XMLSchema」と記述されている import 要素を削除してください。

KDCCC0282-W

A schemaLocation attribute of import element cannot be specified. (namespace = <値>, file = <ファイル名>)

内容

import 要素の schemaLocation 属性は不要です（namespace = <値>, file = <ファイル名>）。

対処

import 要素の schemaLocation 属性を削除してください。

KDCCC0283-E

A types element must be specified before all other elements (except documentation and import element) in a WSDL definition. (file = <ファイル名>)

内容

WSDL 定義に types 要素を記述する場合は，documentation 要素および import 要素を除くほかのすべての要素よりも前に記述しなければなりません（file = <ファイル名>）。

対処

WSDL 定義を見直し，正しい位置に記述してください。

KDCCC0284-E

A WSDL file structure specified in the import element of WSDL definition is invalid or the WSDL definition specified import element is invalid. (location = <値>, file = <ファイル名>, details = <詳細情報>)

内容

WSDL 定義の import 要素で指定した WSDL ファイル構造，または import 要素を記述した WSDL 定義に誤りがあります（location = <値>, file = <ファイル名>, details = <詳細情報>）。

対処

WSDL ファイルの構造を見直してください。WSDL 定義の各要素の組み合わせについては，マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」の「3.3.8　WSDL のインポート」を参照してください。

KDCCC0285-E

An import element must be specified before all other elements (except documentation element) in a WSDL definition. (file = <ファイル名>)

内容

WSDL 定義に import 要素を記述する場合は，documentation 要素を除くほかのすべての要素よりも前に記述しなければなりません（file = <ファイル名>）。

対処

WSDL 定義を見直し，正しい位置に記述してください。

KDCCC0286-E

A namespace attribute of import element does not exist in the XML Schema definition. (file = <ファイル名>)

内容

XML Schema 定義で import 要素の namespace 属性がありません（file = <ファイル名>）。

対処

XML Schema 定義を見直してください。

KDCCC0287-E

The XML shema file specified in the schemaLocation attribute of include element is already included. (targetNamespace = <名前空間>,schemaLocation = <値>, file = <ファイル名>)

内容

include 要素の schemaLocation 属性で指定された XML Schema ファイルは，すでにインクルードされています（targetNamespace = <名前空間>，schemaLocation = <値>，file = <ファイル名>）。

同じ XML Schema ファイルは重複してインクルードできません。

対処

XML Schema 定義を見直してください。

KDCCC0288-E

The WSDL file specified in the location attribute of import element is already imported. (namespace = <名前空間>,location = <値>, file = <ファイル名>)

内容

import 要素の location 属性で指定された WSDL ファイルは，すでにインポートされています（namespace = <名前空間>，location = <値>，file = <ファイル名>）。

同じ WSDL ファイルは重複してインポートできません。

対処

WSDL 定義を見直してください。

KDCCC0289-W

The namespace "＜名前空間＞" has to be imported. (file ＝ ＜ファイル名＞)

内容

名前空間「＜名前空間＞」は，インポートしなければなりません（file ＝ ＜ファイル名＞）。

対処

「＜名前空間＞」をインポートしてください。

KDCCC0290-E

The target namespace is not specified for targetNamespace attribute. (file ＝ ＜ファイル名＞)

内容

targetNamespace 属性に名前空間が指定されていません（file ＝ ＜ファイル名＞）。このメッセージは次の場合に出力されます。

- インポート元の targetNamespace 属性，またはインポート対象の targetNamespace 属性の値が省略されている場合
- インポート元の targetNamespace 属性，およびインポート対象の targetNamespace 属性の値が空文字の組み合わせの場合

対処

対象の名前空間を指定してください。

KDCCC0291-E

The percent-encoded valuefile has to be specified instead of the "＜値＞" which used in ＜属性名＞ attribute of ＜要素名＞ element. (percent-encoded value ＝ ＜パーセントエンコードした値＞, file ＝ ＜ファイル名＞)

内容

＜要素名＞要素の＜属性名＞属性に指定する「＜値＞」は，パーセントエンコードした値を指定してください（percent-encoded value ＝ ＜パーセントエンコードした値＞, file ＝ ＜ファイル名＞）。

対処

ファイルパスに RFC3986 で規定された予約文字，および非予約文字以外の文字列を使用する場合は，UTF-8 でパーセントエンコードする必要があります。

メッセージに出力されたパーセントエンコードしたファイル名を使用してください。

KDCCC0292-E

The percent-encoded value of the port element's name attribute is not equal the value of the end part of the URL path component. (service ＝ ＜ service 要素名＞, port ＝ ＜ port 要素名＞, name attribute value (percent-encoded) ＝ ＜パーセントエンコードされた name 属性値＞, the end part of the URL path component ＝ ＜ URL パス部の末尾部分＞)

内容

WSDL 定義の service 要素＜ service 要素名＞の port 要素＜ port 要素名＞内で，name 属性に指定された値をパーセントエンコードした結果，＜パーセントエンコードされた name 属性値＞と address 要素の location 属性に指定された URL パス部の末尾部分＜URL パス部の末尾部分＞が一致しません。

対処

＜パーセントエンコードされた name 属性値＞に表示されている値を，URLaddress 要素の location 属性の末尾部分に指定してください。ただし，文字列の長さが 128 バイトを超える場合は，先頭の 128 バイトだけ表示されます。このとき，port 要素の name 属性の値を符号化方式の UTF-8 でパーセントエンコードし，その結果を address 要素の location 属性の末尾部分に指定してください。

＜ service 要素名＞，＜ port 要素名＞，＜パーセントエンコードされた name 属性値＞，および＜URL パス部の末尾部分＞については，文字列の長さが 128 バイトを超えると末尾部分を切り捨てられて，先頭の 128 バイト分だけが表示されます。なお，128 バイト目が文字の区切りにならないとき，128 バイト目の文字は指定した文字とは異なる文字が表示されます。

KDCCC0293-E

The value of the port element's name attribute is not equal the value of the end part of the URL path component. (service ＝ ＜ service 要素名＞, port ＝ ＜ port 要素名＞, the end part of the URL path component ＝ ＜ URL パス部の末尾部分＞)

内容

WSDL 定義の service 要素＜ service 要素名＞の port 要素＜ port 要素名＞内で，name 属性に指定された値と address 要素の location 属性に指定された URL パス部の末尾部分＜ URL パス部の末尾部分＞が一致しません。

対処

port 要素の name 属性および address 要素の location 属性の値を確認し，正しい値を指定してください。

＜ service 要素名＞，＜ port 要素名＞，および＜ URL パス部の末尾部分＞については，文字列の長さが 128 バイトを超えると末尾部分を切り捨てられて，先頭の 128 バイト分だけが表示されます。なお，128 バイト目が文字の区切りにならないとき，128 バイト目の文字は指定した文字とは異なる文字が表示されます。

KDCCC0295-I

The validation of the XML Schema document was started. (XML Schema document ＝ ＜ファイル名＞)

内容

WSDL 検証機能の処理を開始しました（XML Schema document ＝ ＜ファイル名＞）。

対処

必要ありません。

KDCCC0296-I

The validation of the XML Schema document was finished successfully.

内容

WSDL 検証機能の処理は，正常に終了しました。

対処

必要ありません。

KDCCC0297-E

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

内容

管理者特権がないため，コマンドを実行できません。

対処

管理者として実行したコマンドプロンプト上で，再度コマンドを実行してください。

KDCCC0298-E

An error occurred while the permissions were being checked.

内容

権限の判定中にエラーが発生しました。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。空きメモリを増やしたあと，再度コマンドを実行してください。それでも問題が解決しない場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCC0299-E

The XML Schema document is invalid. The document has unsupported XML Schema elements or attributes.

内容

XML Schema 定義で，サポートされていない XML Schema 要素または属性が使用されています。

対処

XML Schema 定義から，サポートされていない XML Schema 要素または属性を削除してください。

KDCCC0300-E

The targetNamespace attribute of the importing schema must be different from the targetNamespace attribute of the schema which contains import. (targetNamespace = <値>, file = <ファイル名>)

内容

インポート対象の targetNamespace 属性の値は，インポート元の targetNamespace 属性の値と異なっていなければなりません（targetNamespace = <値>, file = <ファイル名>）。

対処

targetNamespace 属性を見直してください。

KDCCC0301-W

The definition of the type <型定義の QName > is duplicate.

内容

WSDL に<型定義の QName >が重複して定義されています。

対処

WSDL を見直して必要に応じて再度実行してください。

KDCCC0302-E

Element <要素名> is referenced but not defined.

内容

<要素名>要素は参照されていますが，定義されていません。

対処

WSDL 定義または XML Schema 定義を見直してください。

KDCCC0303-E

There is a wrong description in the WSDL definition. (file = <ファイル名>)

内容

WSDL 定義に誤った記述があります（file = <ファイル名>）。

対処

WSDL 定義から，誤った記述を削除してください。

KDCCC0304-E

The file path of specified WSDL is invalid. (file = <ファイル名>)

内容

指定した WSDL のファイルパスは不正です（file = <ファイル名>）。

対処

指定した WSDL のファイルパスに不正な文字を使用していないか見直してください。

KDCCC0305-E

The value of -z/--style option for Java2WSDL or Java2WSDD command is incorrect when using attachments. (-z = <-z オプションの指定値>)

内容

添付ファイルを使用する場合，Java2WSDL コマンドまたは Java2WSDD コマンドの-z オプションの指定が不正です（-z = <-z オプションの指定値>）。

対処

Java2WSDL コマンドまたは Java2WSDD コマンド実行時のオプションを見直してください。

KDCCC0306-E

Attachments cannot be used when the style is rpc.

内容

WSDL 定義中で soap:binding 要素の style 属性が rpc である場合，添付ファイルは使用できません。

対処

WSDL2Java コマンドの入力となる WSDL 定義を見直してください。

KDCCC0308-E

Attachments cannot be used in the xsd:attribute element in the WSDL definition. (attribute name = <指定した属性名>)

内容

WSDL 定義内の xsd:attribute 要素で添付ファイルは使用できません（attribute name = <指定した属性名>）。

対処

WSDL2Java コマンドの入力となる WSDL 定義を見直してください。

KDCCC0309-E

Attachments cannot be used in the user definition exception.

内容

ユーザ定義例外で添付ファイルは使用できません。

対処

ユーザ定義例外およびユーザ定義例外から参照している Java クラスの内容を見直してください。

KDCCC0310-E

Attachments cannot be specified as the type referenced by wsdl:fault element. (fault name = <指定したフォルト名>)

内容

wsdl:fault 要素から参照される要素の型に添付ファイルは使用できません（fault name = <指定したフォルト名>）。

対処

WSDL2Java コマンドの入力となる WSDL 定義を見直してください。

5.3　KDCCE0501 から KDCCE0599 までのメッセージ

C4Exception クラスによって出力される KDCCE0501 から KDCCE0599 までのメッセージについて説明します。

KDCCE0501-E

Message：KDCCE0501-E caught unexpected exception.

内容

SOAP クライアントライブラリ処理中に予測しない例外をキャッチしました。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCE0550-E

Message：KDCCE0550-E Specified argument is invalid. argument = <引数名：値>

内容

引数に誤りがあります。

対処

指定した引数が正しいかどうか確認してください。

KDCCE0551-E

Message：KDCCE0551-E Specified file does not exist. file = <引数>, detail=<詳細>

内容

指定されたファイルが不正です。不正の内容は<詳細>示されます。

対処

<詳細>によって，次の内容を確認してください。

- does_not_exist
  引数で指定されたファイルがあるか確認してください。
- Directory
  引数でディレクトリを指定していないか確認してください。
- FileNotFoundException
  引数で指定されたファイルにアクセス権があるか確認してください。

KDCCE0553-E

Message：KDCCE0553-E java.lang.SecurityException occurred. file =<引数>, detail =<セキュリティ例外の getMessage()値>

内容

指定されたファイルに対してセキュリティマネージャが働いているため，読み込めません。

対処

指定されたファイルに対するセキュリティ，またはアプリケーションに対するセキュリティの設定を確認してください。

KDCCE0558-E

Message：KDCCE0558-E The IO error occurred. details =＜詳細＞

内容

添付ファイルの入力ストリームを取得するときに，入出力エラーが発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

5.4　KDCCE0601 から KDCCE0699 までと KDCCE9000 のメッセージ

SOAP エンジンによって出力される KDCCE0601 から KDCCE0699 までと KDCCE9000 のメッセージについて説明します。

KDCCE0601-W

A trace-output error occurred. The default value was assumed.

内容

トレースファイル出力の初期化処理でエラーが発生したため，デフォルト値を仮定してトレースファイルを出力しました。

対処

トレース出力先の指定を正しい値にしてください。

KDCCE0602-W

The property contains an invalid value. The default value will be used. key=＜キー名＞ specified value=＜指定値＞ value to be used=＜仮定する値＞

内容

動作定義ファイルまたは C4Property クラスの setProperty メソッドで指定したプロパティ値が正しくないため，デフォルト値を仮定して処理を続行します。

対処

プロパティ値を正しい値にしてください。

KDCCE0603-W

The client ID does not match the current thread client ID. current=＜現在のクライアント ID 値＞ specified value=＜指定したクライアント ID 値＞

内容

Management クラスの disconnectClientIDtoCurrentThread メソッドで，指定したクライアント識別子（クライアント ID）の値が現在のスレッドに関連づけられているクライアント識別子の値と異なっています。現在のクライアント識別子の関連づけを解除して処理を続行します。

対処

Management クラスの connectClientIDtoCurrentThread メソッドで指定したクライアント識別子と同じ識別子を指定してください。

KDCCE0604-W

The local trace file which is not closed exists.

内容

クローズされていないローカルトレースファイルがあります。強制的にクローズします。

対処

Management クラスの initializeClient メソッドの呼び出し回数分，Management クラスの finalizeClient メソッドを呼び出しているかどうか確認してください。

KDCCE0605-W

Summons frequency of finalizeClient method is unjust.

内容

Management クラスの finalizeClient メソッドが必要以上に呼び出されています。無視して処理を続行します。

対処

Management クラスの initializeClient メソッドを呼び出した回数分，Management クラスの finalizeClient メソッドを呼び出しているかどうか確認してください。

KDCCE0606-W

The client ID is not erased. client ID=＜クライアント ID 値＞

内容

クライアント ID 値がスレッドに関連づけられたままの状態になっています。無視して処理を続行します。

対処

Management クラスの disconnectClientIDtoCurrentThread メソッドが呼び出されているかどうか確認してください。

KDCCE0607-W

The specified argument is invalid. Class name=＜クラス名＞ Method name=＜メソッド名＞ argument=＜引数名＞

内容

引数に null が指定されています。無視して処理を続行します。

対処

引数の内容を見直してください。

KDCCE0608-W

System property "cosminexus.home" is not specified.

内容

システムプロパティ cosminexus.home が指定されていません。

対処

コマンドライン引数にシステムプロパティ cosminexus.home を指定して再実行してください。

KDCCE0610-E

Failed to initialize the log file. File=＜ファイルパス＞, Method=＜メソッド名＞, Detail=＜詳細＞

内容

ログファイルの初期化に失敗しました。

対処

＜詳細＞を基に原因を取り除いてください。

KDCCE0611-W

The "c4webcom.cfg" contains an invalid property value. The default value will be used. key=＜プロパティ名＞ specified value=＜指定された値＞ value to be used=＜使用する値＞

内容

共通定義ファイルで指定したプロパティ値が正しくないため，デフォルト値を仮定して処理を続行します。

対処

プロパティ値を正しい値にしてください。

KDCCE0612-E

UnsupportedOperationException was occurred. Detail = ＜詳細＞

内容

java.lang.UnsupportedOperationException が発生しました。要求された操作はサポートされていません。

対処

サポートされていない操作を呼び出していないか確認してください。

KDCCE0613-E

IllegalStateException was occurred. Detail = ＜詳細＞

内容

java.lang. IllegalStateException が発生しました。不正または不適切な操作をしました。SOAP エンジンは，要求された操作に適した状態ではありません。

対処

不正または不適切な操作をしていないか確認してください。

KDCCE0614-E

Method not found. Method name = ＜メソッド名＞, Service name = ＜サービス名＞

内容

＜サービス名＞の＜メソッド名＞がないため，サービスを呼び出せません。

対処

＜サービス名＞の＜メソッド名＞が実装されているかどうか確認してください。＜サービス名＞の＜メソッド名＞で実装しているメソッドの引数が正しいか確認してください。

KDCCE0615-E

Exception occurred while invoking a method on a service. Method name = ＜メソッド名＞, Service name = ＜サービス名＞, Detail = ＜詳細＞

内容

＜サービス名＞の＜メソッド名＞から，＜詳細＞に示す例外がスローされました。

対処

例外の内容に応じた対処をしてください。

KDCCE0616-W

The "server-config.xml" contains an invalid value. The default value will be used. tag=<タグ名> specified value=<指定値> value to be used=<仮定する値>

内容

サービスデプロイ定義ファイルの要素の値が正しくないため，デフォルト値を仮定して処理を続行します。

対処

要素の値を正しい値に設定してください。

KDCCE0617-E

The call to the SOAP service has failed. (Target endpoint address = <リクエストメッセージのあて先 URL >, Service name = <サービス名>, Operation name = <オペレーション名>, Service provider = <サービス形態>, Style = < style 属性>, Use = < use 属性>)

内容

クライアントから SOAP サービスを呼び出すときに，障害が発生しました。

対処

このメッセージで出力されている情報と直前に出力されたメッセージから，プログラムに問題がないか確認してください。

KDCCE0618-E

The execution of the SOAP service has failed. (Service implementation class = <サービス実装クラス>, Remote address = <送信元 IP アドレス>, Protocol = <プロトコル>, Reqeust URL = <リクエストメッセージのあて先 URL >, Service name = <サービス名>, Operation name = <オペレーション名>, Service provider = <サービス形態>, Style = < style 属性>, Use = < use 属性>)

内容

サーバで SOAP サービスの実行中に，障害が発生しました。

対処

このメッセージで出力されている情報と直前に出力されたメッセージから，プログラムに問題がないか確認してください。

KDCCE0620-I

A session has timed out in <サービス名> service. session ID = <セッション ID 値>

内容

セッションタイムアウトが発生しました。

対処

不要です。

KDCCE0621-W

An active session exists in <サービス名> service. A session is about to be invalidated. session ID = <セッション ID 値>

内容

有効なセッションが存在します。セッションを無効化します。

対処

セッションの終了処理を実装してください。

KDCCE0622-W

A child node of the detail element is ignored because it is not an element node. (Ignored node name = <無視されるノード名>, Ignored node value = <無視されるノードの値>)

内容

detail 要素の子ノードで Element ノード以外は無視します。

対処

不要です。

KDCCE0631-I

The connection was closed because of the time out. (id = <コネクションオブジェクトのオブジェクト ID>, server_name = <接続先サーバ名>, server_port = <接続先サーバポート番号>, local_port = <ローカルポート番号>, use_time = <コネクションの使用時刻>)

内容

現在時刻からコネクションの使用時刻を引いた値が，c4web.common.connection_pool.timeout の設定値を上回り，タイムアウトが発生したため，コネクションをクローズしました。

対処

不要です。

KDCCE0632-I

The connection was closed because it had reached the upper limit value of the number of times of use. (id = <コネクションオブジェクトのオブジェクト ID>, server_name = <接続先サーバ名>, server_port = <接続先サーバポート番号>, local_port = <ローカルポート番号>, number_of_times = <コネクションの使用回数>)

内容

コネクションの使用回数が c4web.common.connection_pool.max_use の設定値に到達したため，コネクションをクローズしました。

対処

不要です。

KDCCE0633-I

The connection in the connection pool had been closed. (id = <コネクションオブジェクトのオブジェクト ID>, server_name = <接続先サーバ名>, server_port = <接続先サーバポート番号>, local_port = <ローカルポート番号>)

内容

コネクションプール内のコネクションがすでに切断されていました。

対処

不要です。

KDCCE0634-I

The number of connections with the server reached the upper limit value.

内容

サーバとのコネクション数が c4web.common.connection_pool.max_connection の設定値に到達しました。

対処

不要です。

KDCCE9000-E

A problem occurred in the SOAP engine. Detail=＜詳細＞

内容

SOAP エンジンで問題が発生しました。

対処

＜詳細＞の内容に従って対処してください。＜詳細＞の内容による対処がわからない場合は，システム管理者に連絡してください。

5.5　KDCCP0001 から KDCCP2999 までと KDCCP9000 のメッセージ

C4Fault クラスによって出力される KDCCP0001 から KDCCP2999 までと KDCCP9000 のメッセージについて説明します。

KDCCP0001-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.ConnectionRefused

FaultString：KDCCP0001-E Connection to SOAP server was refused. details = ＜詳細＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

SOAP サービスへの接続要求が拒否されました。次の要因が考えられます。

- 接続先 SOAP サービスまたは J2EE サーバが起動していない。
- 接続先 SOAP サービスの URL が間違っている。
- ネットワーク環境に問題がある。

なお，＜詳細＞には拒否された要因が示されます。

対処

＜詳細＞で示した要因に問題がないか見直してください。

KDCCP0002-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.NoService

FaultString：KDCCP0002-E The SOAP engine could not find a target service to invoke. targetService is ＜サービス名＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

＜サービス名＞が未登録です。

対処

＜サービス名＞がデプロイされているか確認してください。

＜サービス名＞の URL が正しいか確認してください。

KDCCP0003-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.ClassNotFound

FaultString：KDCCP0003-E Class file not found. Class name = ＜クラス名＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

＜クラス名＞で示される SOAP サービスのクラスファイルがありません。

次の要因が考えられます。

- J2EE アプリケーションとしてデプロイされていない。

対処

Management Server の操作に従って，サービスをデプロイしてください。

KDCCP0004-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.MethodNotFound

FaultString：KDCCP0004-E Method not found. Method name = ＜メソッド名＞ ,Service name = ＜サービス名＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

＜サービス名＞の＜メソッド名＞がないため，サービスを呼び出せません。

対処

＜サービス名＞の＜メソッド名＞が実装されているかどうか確認してください。＜サービス名＞の＜メソッド名＞で実装しているメソッドの引数が正しいか確認してください。

KDCCP0005-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.HTTPMessageNotPredicted

FaultString：KDCCP0005-E The HTTP message which is not predicted was received. Status Code = ＜状態コード＞ ,Reason Phrase = ＜詳細＞ ,Content-Type = ＜コンテントタイプ＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

SOAP クライアントライブラリが，予測しない HTTP メッセージを受信しました。＜状態コード＞は HTTP のリターンコードを示します。＜詳細＞は HTTP のリターンメッセージを示します。＜コンテントタイプ＞は受信した HTTP メッセージのコンテントタイプを示します。コネクションプーリング機能が有効であり，接続先 SOAP サービスが稼働する HTTP サーバを適切に設定していないと，<状態コード>が 0，<詳細>が null，および<コンテントタイプ>が null となる場合があります。

対処

- SOAP サービスの URL が正しいか確認してください。
- SOAP サービスにユーザ認証が必要かどうか確認してください。
- SOAP サービスにユーザ認証が必要な場合，SOAP サービスの URL に指定したユーザ ID やパスワードに誤りがないか確認してください。
- コネクションプーリング機能が有効な場合，接続先 SOAP サービスが稼働する HTTP サーバを適切に設定しているか確認してください。

以上の内容に問題がない場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCP0006-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.SOAPMessageNotPredicted，または{http://c4web.cosminexus.com}Server.SOAPMessageNotPredicted

FaultString：KDCCP0006-E The SOAP message which is not predicted was received. Detail = ＜保守情報＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

FaultCode のローカル部が Client で始まる場合

SOAP クライアントライブラリが，予測しない SOAP メッセージを受信しました。

FaultCode のローカル部が Server で始まる場合

SOAP エンジンが，予測しない SOAP メッセージを受信しました。

対処

SOAP サービスの URL が正しいか確認してください。

サービスの WSDL 定義内で使用している名称の先頭に「a～z」，「A～Z」，および「_」以外を使用していないか確認してください。

SOAP サービスの URL や，使用している文字に誤りがない場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCP0007-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.UserServiceException

FaultString：KDCCP0007-E caught the exception that was not predicted from user implementation service. Detail = ＜詳細＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

ユーザが実装した SOAP サービスから，＜詳細＞に示す例外がスローされました。

対処

SOAP サービスの実装を見直してください。

KDCCP0009-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.SOAPHeaderNotModifiedNamespace，または{http://c4web.cosminexus.com}Server.SOAPHeaderNotModifiedNamespace

FaultString：KDCCP0009-E SOAP header is not modified namespace.

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

FaultCode のローカル部が Client で始まる場合

クライアントから送信しようとしている SOAP メッセージ，またはクライアントが受信した SOAP メッセージに含まれる SOAP ヘッダの子要素が名前修飾されていません。

FaultCode のローカル部が Server で始まる場合

SOAP エンジンが受信した SOAP メッセージ，または送信しようとした SOAP メッセージに含まれる SOAP ヘッダの子要素が名前修飾されていません。

対処

SOAP ヘッダの子要素が名前修飾されているか確認してください。

KDCCP0012-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.IOError，または{http://c4web.cosminexus.com}Server.IOError

FaultString：KDCCP0012-E The IO error occurred. details = ＜詳細＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

IO エラーが発生しました。

対処

＜詳細＞の内容によって次の対処をしてください。それぞれの＜詳細＞の内容に対応した対処方法を次に示します。

java.io.IOException: No serializer found for クラス名 1 in registry クラス名 2

クラス名 1 に対応するシリアライザがクラス名 2 にありません。サービスの設定に誤りがないか確認してください。

java.io.IOException: Cannot serialize a raw object

java.lang.Object 型を直接引数または戻り値の型として使用することはできません。
java.lang.Object 型を継承した型を使用してください。

上記以外

＜詳細＞で示した要因に問題がないか見直してください。

KDCCP0013-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.ServiceException

FaultString：KDCCP0013-E Could not connect the JNDI service. details=＜詳細＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

JNDI サービスとの接続に失敗しました。

対処

EJB インタフェースの「JNDI 名前空間」および「CORBA NamingService URL」に指定した内容に誤りがないかどうか確認してください。

KDCCP0014-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.NoSOAPAction

FaultString：KDCCP0014-E No SOAPAction Header.

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

クライアントから送信された SOAP メッセージの HTTP ヘッダ内に，SOAPAction がありません。

対処

HTTP ヘッダに SOAPAction を指定するか，またはサーバ定義ファイルの「fault_omit_soapaction」の値を false にしてください。

KDCCP0015-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.userException

FaultString：KDCCP0015-E The user definition exception occurred.exceptionName = ＜例外クラス名＞

FaultActor：なし

FaultDetail：例外クラスの情報

内容

ユーザが実装した SOAP サービスから，＜例外クラス名＞で示されたユーザ定義例外がスローされました。

対処

例外の内容に応じた対処をしてください。

KDCCP0016-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.ServiceException

FaultString：KDCCP0016-E Could not narrow ＜ beanJNDIName ＞ to ＜ homeInterfaceName ＞. details=＜詳細＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

＜ beanJNDIName ＞から＜ homeInterfaceName ＞へのオブジェクトのナロイングに失敗しました。＜ beanJNDIName ＞は，Java2WSDD コマンドの-J オプションに指定した名称が出力されます。また，＜ homeInterfaceName ＞は，Java2WSDD コマンドの-H オプションに指定した名称が出力されます。

対処

Java2WSDD コマンドの-J オプションおよび-H オプションに指定した内容に誤りがないか確認してください。また，＜詳細＞の内容に従って対処してください。＜詳細＞の内容による対処ができない場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCP0020-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.InvalidContentType

FaultString：KDCCP0020-E Invalid content type. ContentType = ＜コンテントタイプ＞

FaultActor：なし

FaultDetail：なし

内容

SOAP エンジンが予測しない＜コンテントタイプ＞のリクエストメッセージを受信しました。

対処

SOAP クライアントが正しいメッセージを送信しているか確認してください。

KDCCP0025-E

FaultCode：{http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/}VersionMismatch

FaultString：KDCCP0025-E Invalid namespace associated with the SOAP envelope. Invalid namespace =＜名前空間＞

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

SOAP エンジンは，受信した SOAP メッセージに含まれる SOAP エンベロープに関連づけられた＜名前空間＞を認識できません。

対処

SOAP エンベロープに関連づけられた名前空間に「http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/」を指定してください。

KDCCP0053-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.ConnectionNotAvailable

FaultString：KDCCP0053-E There is no connection that can be used. (connections_under_use = ＜使用中のコネクション数＞, connections_in_connection_pool=＜コネクションプール内のコネクション数＞)

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

利用できるコネクションが存在しません。

対処

次に示す原因が考えられます。該当する原因に応じて対処してください。

- c4web.common.connection_pool.max_connection の値が不適切である。
- OS で使用できるファイルディスクリプタの上限値が小さい。
- ほかのプロセスによってファイルディスクリプタが不正に多く使用されている。
- J2EE サーバの処理能力を超えるリクエスト数が存在している。
- 処理時間が不正に長いリクエストが存在する。

KDCCP0054-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Client.MIMEMessageNotPredicted，または{http://c4web.cosminexus.com}Server.MIMEMessageNotPredicted

FaultString：KDCCP0054-E An instance of the javax.activation.DataHandler class is invalid. (detail = ＜詳細＞)

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

javax.activation.DataHandler クラスのインスタンスが不正です。

対処

javax.activation.DataHandler クラスのインスタンス生成時，コンストラクタに指定した値について，次の点が正しいか確認してください。

コンストラクタ DataHandler(DataSource)で生成した場合

- 引数として用いる javax.activation.FileDataSource オブジェクト生成時に指定したファイルが存在するか。
- ファイルのパスが正しいか。
- ファイルのアクセス権があるか。

コンストラクタ DataHandler(Object, String)で生成した場合

- 第 2 引数には正しい MIME タイプを指定しているか。
- 第 1 引数には MIME タイプに対応するオブジェクトを指定しているか。

そのほかの場合は，＜詳細＞の内容に従って対処してください。

KDCCP1106-E

FaultCode：{http://c4web.cosminexus.com}Server.NoService

FaultString：KDCCP1106-E=The CosminexusSOAP engine could not find a target service to invoke! targetService is ＜サービス名＞.

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

＜サービス名＞が未登録です。

対処

＜サービス名＞がデプロイされているか確認してください。

＜サービス名＞の URL が正しいか確認してください。

KDCCP1403-E

FaultCode: {http://c4web.cosminexus.com}Server.IllegalState

FaultString: KDCCP1403-E The SOAP engine is not in an appropriate state for the requested operation. Detail = ＜詳細 1 ＞

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

不正または不適切な操作が行われました。SOAP エンジンは，要求された操作に適した状態ではありません。

対処

＜詳細 1 ＞の内容によって次の対処をしてください。

- An EJB object no longer exists.（＜詳細 2 ＞）

＜詳細 2 ＞に示すエラーが原因で，EJB コンテナに EJB オブジェクトが存在しません。＜詳細 2 ＞に示す要因を取り除いてください。

- java.rmi.ServerException: java.rmi.RemoteException: javax.ejb.ConcurrentAccessException: Concurrent method call is forbidden.;
  EJB 動作中に remove メソッドが呼び出されました。EJB の状態を確認してください。
- An attempt to get a domain name has failed.（＜詳細 2 ＞）
  ＜詳細 2 ＞に示すエラーが原因で，ドメイン名を取得できません。＜詳細 2 ＞に示す要因を取り除いてください。

KDCCP1404-E

FaultCode: {http://c4web.cosminexus.com}Server. UnsupportedOperation

FaultString: KDCCP1404-E The requested operation is not supported. Detail = ＜詳細＞

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

要求された操作はサポートされていません。

対処

＜詳細＞の内容によって次の対処をしてください。

- Application scope does not permit a remove() invocation on EJBObject.
  DeployScope が「Application」である EJB 形態のサービスでは，remove メソッドを呼び出すことはできません。remove メソッドを呼び出さないでください。

KDCCP1405-E

FaultCode: {http://c4web.cosminexus.com}Server.IllegalState

FaultString: KDCCP1405-E The requested message has an invalid session Id.

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

RPC または EJB を利用した SOAP アプリケーションで，サービスメソッド呼び出しの際にサーバが受信したリクエストメッセージに無効なセッション ID が含まれています。

次の要因が考えられます。

- スコープが「Session」の場合に，サービス側で C4Session.invalidate メソッドを呼び出しセッションが無効化されたあとで，サービスメソッドを呼び出している。
- スコープが「Session」の場合に，セッションタイムアウトによってセッションが無効化されたあとで，サービスメソッドを呼び出している。

対処

セッションを継続したい場合は，セッションがタイムアウトによって無効化されないように実装する必要があります。サービスメソッドの呼び出し間隔が，タイムアウト値を超えないようにクライアント側の処理を変更してください。

また，C4Session.invalidate メソッドを呼び出したあとで，同じサービスクラスを使用してサービスメソッドを呼び出さないようにしてください。セッションを継続しなくてもよい場合は，クライアント側

で新たにサービスクラスのオブジェクトを生成してからサービスクラスのメソッドを呼び出すようにしてください。

KDCCP1406-E

FaultCode: {http://c4web.cosminexus.com}Server.IllegalState

FaultString: KDCCP1406-E Cannot get a HTTP Session in ＜サービス名＞ service. Detail = ＜詳細＞

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

HTTP セッションを取得できません。

対処

＜詳細＞の内容によって，J2EE サーバの設定を見直してください。

KDCCP1407-E

FaultCode: {http://c4web.cosminexus.com}Server. IndexOutOfBounds

FaultString: KDCCP1407-E Cannot create a new session as the limit on maximum number of sessions has already been reached ＜使用可能なセッション数＞ in ＜サービス名＞ service.

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

内容

利用できるセッション数の最大値を超えたため，新規セッションを作成できませんでした。

対処

必要に応じて，利用できるセッション数の最大値を大きくしてください。

KDCCP9000-E

FaultString：KDCCP9000-E C4Fault exception occurred. Detail = ＜詳細＞

内容

C4Fault 例外がスローされました。

ユーザ実装の SOAP アプリケーションから C4Fault 例外をスローした場合もこのメッセージが出力されます。この場合は，FaultCode，FaultActor，および FaultDetail には C4Fault クラス生成時に指定した値が設定されます。

対処

＜詳細＞の内容に従って対処してください。＜詳細＞の内容による対処がわからない場合は，システム管理者に連絡してください。

5.6　KDCCP3000 から KDCCP3999 までのメッセージ

DII 使用時に出力される KDCCP3000 から KDCCP3999 までのメッセージについて説明します。

KDCCP3000-E

Illegal argument has been set. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, argument = <引数名>, value = <引数値>)

内容

不正な引数が指定されました。

対処

有効な引数を指定してください。

KDCCP3001-E

The class corresponding to the specified parameter name does not exist. (parameter name = <パラメタ名>)

内容

指定されたパラメタ名に対応するクラスが存在しません。

対処

指定されたパラメタ名に対応するクラスの型が，サポート対象かどうか確認してください。

KDCCP3002-E

The URL does not include a local file path. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, argument = <引数名>, value = <引数値>)

内容

URL は，ローカルファイルパスではありません。

対処

file スキームから始まるローカルファイルパスの URL を指定してください。

KDCCP3003-E

The requested operation is not supported. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, argument = <引数名>, value = <引数値>)

内容

サポート対象外のメソッドが呼び出されました。

対処

サポート対象のメソッドを呼び出してください。

KDCCP3004-E

Unsupported property name is specified. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, argument = <引数名>, value = <引数値>)

内容

サポート対象外のプロパティが指定されました。

対処

サポート対象のプロパティを指定してください。

KDCCP3005-E

The specified property does not exist. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, argument = <引数名>, value = <引数値>)

内容

指定したプロパティは存在しません。

対処

指定したプロパティが，設定されているかどうか確認してください。

KDCCP3006-E

An attempt to create a Call object has failed. (Detail = <詳細>)

内容

Call オブジェクトの作成に失敗しました。

対処

詳細の内容を基に，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

KDCCP3007-E

Illegal property value is specified. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, property name = <プロパティ名>, property value = <プロパティ値>, reason = <理由>)

内容

不正なプロパティ値が指定されました。

対処

理由を基に，指定したプロパティが有効かどうか確認してください。

KDCCP3008-E

An attempt to execute the invoke method has failed.(Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, reason = <理由>)

内容

invoke メソッドの実行に失敗しました。

対処

理由を基に，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

KDCCP3010-E

An attempt to create a Service object has failed. (Detail = <詳細 1 >)

内容

Service オブジェクトの作成に失敗しました。

対処

詳細 1 の内容を基に，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

＜詳細 1 ＞

- Failed to make the output directory. (WSDL file = < WSDL ファイル名>, Detail = <詳細 2 >)

  出力ディレクトリの作成に失敗しました。<詳細 2 >の内容を基に, 出力ディレクトリの環境を確認してください。

- Error processing WSDL document: <詳細 2 >.

  WSDL 解析処理でエラーが発生しました。<詳細 2 >の内容を基に，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

- Failed to compile the Java source file. (WSDL file = < WSDL ファイル名>, Detail = <詳細 2 >)

  Java ソースファイルのコンパイルに失敗しました。<詳細 2 >の内容を基に，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

- Failed to load the Java class file. (WSDL file = < WSDL ファイル名>, Detail = <詳細 2 >)

  Java クラスファイルのロードに失敗しました。<詳細 2 >の内容を基に，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

- Failed in the deletion of the Java source file or the Java class file. (WSDL file = < WSDL ファイル名>, Detail = <詳細 2 >)

  Java クラスファイルの削除に失敗しました。<詳細 2 >の内容を基に，出力ディレクトリの環境を確認してください。

- そのほかのメッセージ

  原因例外の内容を基に，プログラムに問題がないかどうか確認するか，システム管理者に連絡してください。

KDCCP3011-E

Output parameters are only available after invoke method has been called. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>)

内容

OUTPUT パラメタは，invoke メソッドを呼び出したあとに利用できます。

対処

invoke メソッドを呼び出す前に，OUTPUT パラメタを取得していないかどうかを確認してください。

KDCCP3012-E

The specified value type for <引数> should be <正しい値の型>. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, specified value type= <指定された値の型>)

内容

<引数>に指定された値の型<指定された値の型>は，<正しい値の型>が適切です。

対処

<引数>に指定された値の型<指定された値の型>を，<正しい値の型>に変更してください。

KDCCP3013-W

The length of the specified path is invalid. The default directory is assumed and the processing is continued. specified value=<指定された値>, length=<指定された値の文字列長>, default directory=<デフォルトディレクトリ>

内容

指定されたパスの文字列長が無効です。デフォルトディレクトリを仮定して処理を続けます。

対処

文字列長が，1 文字以上，128 文字以下のディレクトリを指定してください。

KDCCP3014-W

The specified value is not an absolute path. The default directory is assumed and the processing is continued. specified value=<指定された値>, default directory=<デフォルトディレクトリ>

内容

指定された値が絶対パスではありません。デフォルトディレクトリを仮定して処理を続けます。

対処

絶対パスでディレクトリを指定してください。

KDCCP3015-W

The specified path is not a directory. The default directory is assumed and the processing is continued. specified path=<指定されたパス>, default directory=<デフォルトディレクトリ>

内容

指定されたパスがディレクトリではありません。デフォルトディレクトリを仮定して処理を続けます。

対処

ディレクトリを指定してください。

KDCCP3016-W

Failed in making the directory. The default directory is assumed and the processing is continued. specified directory=<ディレクトリ名>, default directory=<デフォルトディレクトリ>

内容

ディレクトリの作成に失敗しました。デフォルトディレクトリを仮定して処理を続けます。

対処

容量が不足している場合は，不要なファイルを削除して空きを作るか，容量に空きのあるディレクトリを指定してください。指定したディレクトリが不正な場合は，次のことを確認し，作成できるディレクトリパスに変更してください。

- OS で定められている，ディレクトリ名に使用できない文字が含まれていないか。
- パスの途中がディレクトリ名ではなく，ファイル名になっていないか。
- アクセス権があるか。

KDCCP3017-W

Cannot access the directory. The default directory is assumed and the processing is continued. specified directory=<ディレクトリ名>, default directory=<デフォルトディレクトリ>

内容

　ディレクトリにアクセスできません。デフォルトディレクトリを仮定して処理を続けます。

対処

　ディレクトリのアクセス権を確認してください。

5.7　KDCCR1001 から KDCCR9999 までのメッセージ

UDDI クライアントライブラリによって出力される KDCCR1001 から KDCCR9999 までのメッセージについて説明します。

KDCCR1001-E

Connection property "javax.xml.registry.queryManagerURL" is missing.

内容

ConnectionFactory オブジェクト，またはシステムプロパティに設定する queryManagerURL プロパティが設定されていないか，または空文字列を設定しています。

対処

プロパティ「javax.xml.registry.queryManagerURL」に，次の方法のどちらかを使用して有効な値を設定する必要があります。

- Java のシステムプロパティに「javax.xml.registry.queryManagerURL」を設定する。
- Properties オブジェクトに「javax.xml.registry.queryManagerURL」を設定して ConnectionFactory#setProperties を呼び出す。

KDCCR1003-E

Authentication failed for the given Credentials.

内容

Connection#setCredential メソッドで指定されたユーザ名またはパスワードが正しくありません。

対処

適切なユーザ名，パスワードを setCredential メソッドで指定してください。

KDCCR1004-E

Bulk response is not found.Incorrect/Invalid connection mode.Check the connection mode.

内容

不正な接続モードが設定された可能性があります。このエラーは次の場合に発生します。

- RegistryService に対する getBulkResponse(requestID)メソッドが同期接続モードで実行された場合
- getBulkResponse に不正なまたは存在しない requestID が指定された場合
- すでに指定した requestID で BulkResponse が取得されている場合

対処

適切な接続モード（同期／非同期）を指定してください。getBulkResponse メソッドは非同期接続モードの Connection から生成された RegistryService で使用できます。また，getBulkResponse メソッドに指定する requestID を確認してください。なお，getBulkResponse メソッドは同じ requestID に対して 2 度呼び出すことができません。

KDCCR1005-E

An Internal Error occurred while creating the Connection.

内容

このメッセージは，クライアントプログラムが次に示すどれかに該当する場合に発生します。

- 問い合わせ/発行の URL をプロパティに設定していない場合
- ユーザ名/パスワードが正しくない場合
- 認証情報が必要な場合に，その認証情報が取得できない場合

対処

適切な接続プロパティの設定を行ってください。

KDCCR1006-E

JAXRProvider supports UDDI_GET_AUTHTOKEN authentication method only.

内容

このプログラムでは認証情報にアクセス手段として UDDI の get_authToken だけサポートしています。JAXR で規定されているそのほかのユーザ認証手段に関してはサポートしていません。

対処

"javax.xml.registry.security.authenticationMethod"プロパティに適切な値を指定してください。値としては"UDDI_GET_AUTHTOKEN"だけ有効です。

KDCCR1007-E

An Internal Error occurred while closing the Connection.

内容

次の理由で接続を閉じることができません。

- Connection オブジェクトが正しく作られていない。
- すでに接続が閉じている。

対処

isClosed メソッドを呼び出して，接続がすでに閉じているかどうか確認してください。
getRegistryService メソッドで null ではない RegistryService インスタンスが返されることを確認してください。

KDCCR1008-E

Cannot perform this operation ,Connection is closed.

内容

すでに接続は閉じているため，これ以上の処理は実行できません。

対処

接続を閉じる Connection#close メソッドが実行されているかどうか確認してください。

KDCCR1009-E

Invalid value set for Connection property
"javax.xml.registry.queryManagerURL"/"javax.xml.registry.lifeCycleManagerURL".

内容

QueryManager，LifeCycleManager またはその両方を指定する URL の形式が正しくありません。

対処

指定した queryManagerURL，lifeCycleManagerURL の形式が URL 形式として正しいことを確認してください。

KDCCR1104-W

Invalid value set for Connection property "javax.xml.registry.uddi.maxRows".

内容

"javax.xml.registry.uddi.maxRows"プロパティに不正な値が指定されました。値を設定しないで処理を続行します。

対処

プロパティに指定できる値を確認してください。

KDCCR2001-E

Unexpected object type found in the Collection.

内容

パラメタに指定した Collection オブジェクトに含まれるオブジェクトの型が正しくありません。

対処

API 名を確認して正しいオブジェクトが含まれる Collection を作成してください。

例えば，saveService の場合，Service クラスのオブジェクトが含まれる必要があります。

KDCCR2002-E

IdentificationScheme is expected for ExternalIdentifier.

内容

ExternalIdentifier クラスのオブジェクトが必須である ClassificationScheme クラスのオブジェクトを保持していません。

対処

正しく ExternalIdentifier オブジェクトを作成してください。

KDCCR2003-E

Name is not present in ExternalIdentifier.

内容

ExternalIdentifier クラスのオブジェクトが必須である Name 属性を持っていません。

対処

正しく ExternalIdentifier オブジェクトを作成してください。

KDCCR2004-E

Value is not present in ExternalIdentifier.

内容

ExternalIdentifier クラスのオブジェクトが必須である Value 属性を持っていません。

対処

正しく ExternalIdentifier オブジェクトを作成してください。

KDCCR2005-E

Mutually Exclusive FindQualifiers present in the Collection.

内容

FindQualifier の集合に相互に排他な検索条件が指定されました。

対処

相互に排他な検索条件は FindQualifier の集合として Collection オブジェクトに含めることができません。例えば，SORT_BY_NAME_ASC（名前の昇順）と SORT_BY_NAME_DESC（名前の降順）は相互排他な検索条件です。どちらかを削除してください。

KDCCR2006-E

Invalid/Empty/Null Key found in the Collection.

内容

Collection オブジェクトに含まれる Key オブジェクトの値が正しくありません。

対処

Collection オブジェクトに含まれる Key オブジェクトの値は空文字列，null，または不正な値を持つことができません。適正な Key オブジェクトだけを含む Collection オブジェクトを作成してください。

KDCCR2007-E

Collection is Empty or Null.

内容

Collection オブジェクトが空集合であるか，null です。

対処

JAXR API の中には空集合または null の Collection オブジェクトを指定できないものがあります。少なくとも null ではないオブジェクトを一つ含む Collection オブジェクトを作成してください。

KDCCR2008-E

Method is not supported by JAXRProvider.

内容

サポートレベルが Level 1 のメソッドは，このプログラムでサポートされていません。

対処

サポートレベル（Capability level）を確認して，Level 1 のメソッドを使用しないようにしてください。

KDCCR2009-E

ClassificationScheme is expected for Concept Object.

内容

このエラーはクライアントプログラムが，どの ClassificationScheme にも関連づけられていない Concept をパラメタに持つ内部的な Classification オブジェクトを作成しようとすると発生します。

対処

createClassification(concept)メソッドを発行する場合は，パラメタで指定する concept が親の ClassificationScheme オブジェクトを保持することを確認してください。

KDCCR2010-E

Concept has a parent Concept or is under a ClassificationScheme.

内容

このエラーはクライアントプログラムが親の Concept や ClassificationScheme に関連づけられた Concept をパラメタに持つ ClassificationScheme オブジェクトを作成しようとすると発生します。

対処

createClassificationScheme(concept)メソッドを発行する場合は，パラメタで指定する concept が親の Concept オブジェクトや ClassificationScheme オブジェクトを保持しないことを確認してください。

KDCCR2012-E

Objects in the collection should be of type javax.xml.registry.infomodel.SpecificationLink.

内容

ServiceBinding の addSpecificationLinks メソッドを使用する場合，パラメタで指定する Collection オブジェクトは SpecificationLink オブジェクトを持つ必要があります。

対処

正しく Collection オブジェクトを作成してください。

KDCCR2013-E

Error in Setting AccessURI,cannot set both(TargetBinding and AccessURI) for javax.xml.registry.infomodel.ServiceBinding object.

内容

TargetBinding と AccessURI の属性が両方とも指定されています。

対処

ServiceBinding オブジェクトの targetBinding 属性が null の場合に，setAccessURI メソッドで null ではない正しい値が指定されていることを確認してください。

KDCCR2014-E

Error in Setting TargetBinding,cannot set both(TargetBinding and AccessURI) for javax.xml.registry.infomodel.ServiceBinding object.

内容

TargetBinding と AccessURI の属性が両方とも指定されています。

対処

ServiceBinding オブジェクトの accessURI 属性が null の場合に，setTargetBinding メソッドで null ではない正しい値が指定されていることを確認してください。

KDCCR2016-E

NamePattern is not specified in findClassificationSchemeByName.

内容

渡された NamePattern パラメタの文字列が null または空文字列です。

対処

NamePattern 文字列をパラメタとして渡すには，ワイルドカード文字を使った部分一致文字列，または完全一致文字列を指定してください。

KDCCR2017-E

Both the Classification value and the Concept value within the Classification are null.

内容

Classification オブジェクトに Value 属性，Concept 属性のどちらも指定されていません。

対処

Classification オブジェクトに setValue メソッドで値を設定するか, setConcept メソッドで値が null ではない Concept オブジェクトを設定してください。

KDCCR2018-E

LocalizedString cannot be null.

内容

LocalizedString の Collection オブジェクトに null 値を指定しようとしました。

対処

null 値を持たない Collection オブジェクトを作成してください。

KDCCR2019-E

Objects of type javax.xml.registry.infomodel.LocalizedString expected in the Collection.

内容

InternationalString に設定する Collection オブジェクトが LocalizedString の Collection ではありません。

対処

正しい Collection オブジェクトを作成してください。

KDCCR2020-E

Both SourceKeyId and TargetKeyId passed are Null.

内容

SourceKeyId と TargetKeyId に null 値が渡されました。

対処

関係元と関係先のオブジェクトの適切な Id 文字列をパラメタに指定してください。

KDCCR2021-E

The name/value of AssociationType is Null.

内容

Concept オブジェクトの Name 属性または Value 属性が null です。

対処

Concept オブジェクトに Name 属性と Value 属性を設定してください。

KDCCR2022-E

Value of AssociationType is not valid.

内容

Association オブジェクトに種別（AssociationType）として設定する Concept の値が，定義済みの Concept の値ではありません。

対処

AssociationType として設定できる定義済みの Concept の値を使用してください。

KDCCR2023-E

Authentication from Registry is needed.

内容

認証情報が null です。

対処

認証情報を正しく提供してください。

KDCCR2024-E

Key for Source Organization cannot be Null.

内容

SourceObject のキーは null です。

対処

Association を作成するとき，ソースオブジェクトにキーを提供してください。

KDCCR2025-E

KeyId for Source Organization cannot be Null.

内容

SourceObject のキー内容が null です。

対処

Association を作成するとき，ソースオブジェクトにキー内容を提供してください。

KDCCR2026-E

Key for Target Organization cannot be Null.

内容

TargetObject のキーが null です。

対処

Association を作成するとき，対象オブジェクトのキーを提供してください。

KDCCR2027-E

KeyId for Target Organization cannot be Null.

内容

TargetObject のキー内容は null です。

対処

Association を作成するとき，対象オブジェクトにキー内容を提供してください。

KDCCR2028-E

User Name/Password is not set.

内容

Connection オブジェクトにユーザ名およびパスワードが設定されていません。

対処

ユーザ名とパスワードの認証情報を提供してください。

KDCCR2029-E

Requested interface name does not belongs to javax.xml.registry.infomodel package.

内容

パラメタで要求されたインタフェース名は Infomodel クラスに所属していません。

対処

要求するインタフェース名は LifeCycleManager クラスの定数で指定してください。

（例）LifeCycleManager.SERVICE_BINDING

KDCCR2030-E

SourceObject is not of type javax.xml.registry.infomodel.Organization.

内容

SourceObject の種類は Organization 以外です。

対処

作成する Association でのソースオブジェクトの種類は，Organization であることが必要です。

KDCCR2031-E

TargetObject is not of type javax.xml.registry.infomodel.Organization.

内容

TargetObject の種類は Organization 以外です。

対処

作成する Association での対象オブジェクトの種類は，Organization であることが必要です。

KDCCR2032-E

Slot cannot be Null.

内容

パラメタとして指定するスロットが null です。

対処

スロットに null ではないオブジェクトを提供してください。

KDCCR2033-E

Collection of LocalizedString objects cannot be Null.

内容

LocalizedString のコレクションに null が指定されました。

対処

addLocalizedString メソッドに Localized String の有効なコレクションを提供してください。

KDCCR2035-E

URI is invalid or inaccessible.

内容

不正な URI が指定されました。

対処

正しい URI を指定してください。

KDCCR2036-E

Cannot change data that is controlled by another party.

内容

他者が所有するオブジェクトのデータを変更しようとしました。

対処

オブジェクトの所有者だけがオブジェクトを修正できます。

KDCCR2037-E

Association object is Null.

内容

パラメタに指定する Association オブジェクトが null または不正です。

対処

パラメタに null ではない，正しい Association オブジェクトを指定してください。

KDCCR2038-E

Objects in the collection should be of type javax.xml.registry.infomodel.ExternalIdentifier.

内容

Collection に ExternalIdentifier クラスのオブジェクトが指定されていません。

対処

Collection に設定するオブジェクトが ExternalIdentifier クラスのオブジェクトか確認してください。

KDCCR2039-E

Association Key is not formed properly.

内容

Association キーが適正に作成されていません。

対処

作成された Association に適正なキーを設定してください。

KDCCR2040-E

Association Key passed cannot be Null.

内容

渡された Association キーが null です。

対処

null ではない，有効な Association キーを渡してください。

KDCCR2041-E

Source Organization in Association cannot Null.

内容

Association の Source Organization に null が指定されています。

対処

ソースオブジェクトに null 以外の Organization オブジェクトを指定してください。

KDCCR2042-E

Target Organization in Association cannot Null.

内容

Association の Target Organization に null が指定されています。

対処

ターゲットオブジェクトに null 以外の Organization オブジェクトを指定してください。

KDCCR2043-E

Type of Object requested is empty or Null.

内容

パラメタで渡す ObjectType が null または空です。

対処

メソッドの一つの有効なパラメタとしてオブジェクトタイプパラメタを指定してください。オブジェクトタイプは LifeCycleManager クラスの定数として定義されています。

（例）LifeCycleManager.ORGANIZATION

KDCCR2045-E

Unable to create an instance of ConnectionFactory.

内容

ConnectionFactory オブジェクトが作成できませんでした。Java のセキュリティ設定が正しく行われていないおそれがあります。

対処

Java のセキュリティ設定を見直す必要があります。システム管理者に連絡してください。

KDCCR2046-E

URL is malformed.

内容

レジストリサーバに保存するオブジェクトに付加された URL に関して，プロトコルの指定が不正，または URL の形式が不正であるおそれがあります。

対処

URL 文字列に付加されているプロトコル（例えば，http://）が正しいかどうかを確認してください。また，URL の形式が正しいかどうかを確認してください。

KDCCR2047-E

Association Type is Null.

内容

Association に指定する Association の種類に null が指定されています。

対処

Association の種類を表しているコンセプトオブジェクトが null である場合，このメッセージを表示します。Association の種類（コンセプト）が有効であるかどうか確認してください。

KDCCR2048-E

Error occurred while performing Input/Output.

内容

SOAP メッセージをバイト列に出力できません。

対処

メモリが不足していないかどうか確認してください。そのほかの場合，システム管理者に連絡してください。

KDCCR2049-E

Host cannot be resolved.

内容

ホスト用の IP アドレスが見つけられません。

対処

ホスト名とその IP アドレスが正しく解決できるかどうか確認してください。

KDCCR2050-E

Missing ResourceBundle/Property.

内容

内部で使用しているリソースファイルが不正です。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR2051-E

DocumentBuilder instance could not be created as per the configuration requested.

内容

XML パーサで重大な構成エラーが発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR2052-E

I/O Exception occurred in opening connection at the URI.

内容

ExternalLink または ServiceBinding に指定した URI に対して接続できませんでした。

対処

指定した URI が正しく接続できるかどうか確認してください。

また，URI の検証が不要の場合は，setValidateURI メソッドに false を指定してください。

KDCCR2053-E

Classification or Concept name can not be Null.

内容

Concept または ClasificationScheme オブジェクトの名称が null です。

対処

saveConcepts メソッドを呼び出す場合に指定する Concept オブジェクトまたは saveClassificationSchemes メソッドを呼び出す場合に指定する ClassificationScheme オブジェクトに名称（name）を指定してください。

KDCCR2054-E

Neither AccessURI nor TargetBinding is set to javax.xml.registry.infomodel.ServiceBinding object.

内容

ServiceBinding オブジェクトに AccessURI または TargetBinding のどちらかが指定されていません。

対処

ServiceBinding オブジェクトには AccessURI または TargetBinding のどちらかを指定してください。

KDCCR2055-E

BindingKey of TargetBinding cannot be Null/Empty.

内容

ServiceBinding オブジェクトに設定する TargetBinding の binding キーが null または空です。

対処

TargetBinding には null でなく，かつ空でない binding キーを設定してください。

KDCCR2056-E

ServiceKey cannot be Null.

内容

ServiceBinding を検索する場合に ServiceKey に null が渡されました。

対処

ServiceBinding を検索する場合は，ServiceKey を設定してください。

KDCCR2057-E

Name of the Organization must be specified.

内容

Organization を保存するときに，Organization の名称（name）が指定されませんでした。

対処

保存する Organization オブジェクトの名称（name）を設定してください。

KDCCR2059-E

SpecifiedObject or its Key in SpecificationLink is Null/Empty/Invalid.

内容

SpecificationLink オブジェクトに指定する SpecifiedObject が不正です。または，指定した SpecifiedObject のキーが null または空です。

対処

SpecificationLink オブジェクトに指定する SpecifiedObject が不正ではないか，また，その SpecifiedObject のキーが null でなく，かつ空でないか確認してください。

KDCCR2060-E

Only one or none usageParameters can be set to the SpecificationLink object.

内容

SpecificationLink オブジェクトに二つ以上の usageParameter が指定されました。

対処

SpecificationLink オブジェクトに usageParameter を指定する場合は，一つのパラメタだけ指定してください。

KDCCR2061-E

Specifications Collection is Null or Empty.

内容

ServiceBinding を検索する場合に指定する Specifications パラメタが，null または空です。

対処

ServiceBinding を検索する場合は，Specifications パラメタに値を設定してください。

KDCCR2062-E

UserName or Password is not set for Source Organization or Target Organization or Association Object.

内容

ソースオブジェクト，ターゲットオブジェクト，または Association オブジェクトに認証情報が指定されていません。

対処

ソースオブジェクト，ターゲットオブジェクト，Association オブジェクトを新規に作成する場合は，setCredentials メソッドで認証情報を設定した Connection オブジェクトから LifeCycleManager オブジェクトを取得したあとに，各 create メソッドを使用して作成してください。

KDCCR2063-E

Multiple ClassificationSchemes are found.

内容

複数の ClassificationScheme が見つかりました。

対処

ClassificationScheme を検索する場合の検索条件を見直してください。複数の ClassificationScheme を検索する場合には BusinessQueryManager#findClassificationSchemes メソッドを使用してください。

KDCCR3005-E

Exception occurred.

内容

内部処理で例外が発生しました。

対処

トレースファイルにこのメッセージが出力されている場合は，詳細メッセージに主原因となる別のメッセージ ID がないかどうか確認してください。

このメッセージ ID が単独で出力される場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCR3009-E

SOAP request is invalid.

内容

SOAP ライブラリの処理でエラーが発生しました。

対処

SOAP ライブラリ側のトレースを参照し，エラーメッセージの対処をしてください。また，次を確認してください。

- UDDI レジストリサーバの URL
- プロキシサーバの設定（プロキシを使用する場合）

KDCCR3010-E

SAX Parsing exception has occurred.

内容

XML パーサの初期化処理で SAX 関係の処理で例外が発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR3011-E

Input/Output exception has occurred.

内容

XML ドキュメントの初期化で内部的な I/O エラーが発生しました。

対処

メモリが不足していないことを確認してください。そのほかの場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCR3012-E

Exception occurred while instantiating the class.

内容

内部的にクラスのインスタンスが生成できませんでした。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR3013-E

Specified class is not found.

内容

内部的に必要なクラスが見つかりません。

対処

レジストリサーバから送信される XML 要素が不正であるおそれがあります。レジストリサーバが UDDI Version 2.0 に準拠しているか，XML メッセージが正しいかを確認してください。

KDCCR3014-E

Specified method/class is not accessible.

内容

内部的に必要なクラスにアクセスできません。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR3015-E

An error occurred during invocation of target method.

内容

リクエスト／レスポンスメッセージを処理する内部的なメソッドの呼び出しに失敗しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR3017-E

SecurityException has occurred.

内容

セキュリティ例外が発生しました。

対処

Java セキュリティマネージャを使用している場合は, セキュリティポリシの設定が正しいかどうか確認してください。

KDCCR3018-E

Argument passed are Invalid/Illegal.

内容

内部的なメソッドを呼び出すときの引数が不正です。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR3019-E

An error occurred during DOM operation.

内容

XML から DOM を作成またはパーシングするときに内部的なエラーが発生しています。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR3020-E

SOAP Fault occurred.

内容

レジストリサーバで，SOAP レベルのエラー（SOAP Fault）が発生しました。

対処

レジストリサーバからの詳細メッセージの内容に応じて対処してください。

KDCCR3021-W

File could not be found.

内容

タクソノミサーバ機能で必要なファイルがありません。処理は続行します。

対処

UDDI クライアントライブラリの JAR ファイル（hitjaxr.jar）が壊れていないことを確認してください。そのほかの場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCR3022-W

Unable to load Document Object.

内容

タクソノミサーバ機能で内部的な XML のパース処理が失敗しました。処理は続行します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCCR3023-W

Trace is initialized with default parameters.

内容

トレースのプロパティが指定されていないため，デフォルトのパラメタでトレースを初期化し，処理を続行します。

対処

必要に応じてトレースのプロパティを指定してください。

KDCCR3024-W

UDDI disposition report :

内容

レジストリサーバで，UDDI レベルのエラー（dispositionReport）が発生しました。

対処

レジストリサーバからの詳細メッセージの内容に応じて対処してください。

KDCCR3028-W

Null is removed from the collection.

内容

メソッドのパラメタとして指定した Collection オブジェクトに null オブジェクトが含まれます。null オブジェクトを取り除いて処理は続行します。

対処

Collection オブジェクトに null オブジェクトが含まれていないかどうか確認してください。

5.8　KDCCS1001 から KDCCS1150 までのメッセージ

SAAJ によって出力される KDCCS1001 から KDCCS1150 までのメッセージについて説明します。

KDCCS1045-E

Message：KDCCS1045-E Header is already present.

内容

SOAP ヘッダがすでに存在します。SOAP ヘッダは SOAP メッセージ中に一つしか持てません。

対処

新しい SOAP ヘッダを追加する場合は，あらかじめ古い SOAP ヘッダを削除してください。

KDCCS1051-E

Message：KDCCS1051-E No custom elements allowed at top level until after the < body > tag.

内容

SOAP メッセージに，SOAP ヘッダ，SOAP ボディ以外の要素を追加しようとしました。SOAP エンベロープの直下には，SOAP ヘッダ，SOAP ボディ以外追加できません。

対処

SOAP メッセージには SOAP ヘッダ，SOAP ボディ以外の要素は追加しないでください。

KDCCS1056-E

Message：KDCCS1056-E Only one Body element is allowed.

内容

SOAP ボディを複数持つメッセージを受信しました。

対処

SOAP ボディは SOAP メッセージ中に一つしか持てません。メッセージの送信者に正しいメッセージを送信しているか確認してください。

KDCCS1057-E

Message：KDCCS1057-E Only one Header element is allowed.

内容

SOAP ヘッダを複数持つメッセージを受信しました。

対処

SOAP ヘッダは SOAP メッセージ中に一つしか持てません。メッセージの送信者に正しいメッセージを送信しているか確認してください。

KDCCS1149-E

Message：KDCCS1149-E Invocation of Call failed.

内容

サービスの呼び出しに失敗しました。

対処

このメッセージの前に表示されているメッセージに従って対処してください。

5.9　KDCCS1151 から KDCCS1199 までのメッセージ

送受信データのサイズチェックによって出力される KDCCS1151 から KDCCS1199 までのメッセージについて説明します。

KDCCS1151-E

Size of the attachment is exceeding the maximum size (<動作定義ファイルで設定する最大値>). Process=(<送信（SEND）または受信（RECEIVE）>※1), Content-ID=(<Content-ID の値>※2), Content-Location=(<Content-Location の値>※2)

注※1　API の場合は「<クラス名>::<メソッド名>」が表示されます。

注※2　存在しない場合は NONE が表示されます。

内容

添付データのサイズが最大サイズより大きくなっています。

対処

添付データのサイズを小さくしてください。または，動作定義ファイルのパラメタを見直してください。

KDCCS1152-E

Total number of attachments is exceeding the maximum attachment count (<動作定義ファイルで設定する最大値>). Process=(<送信（SEND）または受信（RECEIVE）>)

内容

添付データの合計数が最大添付個数より多くなっています。

対処

添付データの個数を少なくしてください。または，動作定義ファイルのパラメタを見直してください。

KDCCS1160-E

Size of the SOAPEnvelope is exceeding the maximum size (<動作定義ファイルで設定する最大値>). Process=(<送信（SEND）または受信（RECEIVE）>)

内容

SOAPEnvelope のサイズが最大サイズより大きくなっています。

対処

SOAPEnvelope のサイズを小さくしてください。または，動作定義ファイルのパラメタを見直してください。

5.10　KDCCS3000 から KDCCS3999 までのメッセージ

SOAP エンジンによって出力される KDCCS3000 から KDCCS3999 までのメッセージについて説明します。

KDCCS3000-E

An attempt to create a SOAPMessge object has failed. (Class name = <クラス名>, Method　signature = <メソッドシグネチャ>, reason = <理由>)

内容

SOAPMessage オブジェクトの作成に失敗しました。

対処

<理由>の内容に従ってプログラムに問題がないかどうか確認してください。<理由>の内容による対処方法がわからない場合は，システム管理者に連絡してください。

KDCCS3001-E

Illegal argument has been set. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, argument = <引数名>, value = <引数値>)

内容

不正な引数が指定されました。

対処

有効な引数を指定してください。

KDCCS3002-E

An attempt to execute the method has failed. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, reason = <理由>)

内容

メソッドの実行に失敗しました。

対処

<理由>の内容に従って，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

KDCCS3003-E

The detail element of the SOAP Fault does not exist. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>)

内容

SOAP フォルト要素に detail 要素がありません。

対処

SOAP フォルト要素に detail 要素がある場合だけ，このメソッドを呼び出してください。

KDCCS3005-E

The specified element is illegal. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, reason = <理由>)

内容

不正な要素が指定されました。

対処

<理由>の内容に従って，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

KDCCS3006-E

The type of the specified argument <引数名> is illegal. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, specified type = <指定された型>, expected type = <期待される型>)

内容

<引数名>の<指定された型>が不正です。

対処

<期待される型>を指定してください。

KDCCS3007-E

The specified URL is illegal. (Class name = <クラス名>, Method signature = <メソッドシグネチャ>, reason = <理由>)

内容

指定された URL が不正です。

対処

<理由>の内容に従って，正しい URL が指定されているかどうか確認してください。

KDCCS3008-E

An attempt to serialize a Document object has failed. (detail = <詳細>)

内容

Document オブジェクトのシリアライズに失敗しました。

対処

<詳細>の内容に従って，プログラムに問題がないかどうか確認してください。

5.11　KDCCT0001 から KDCCT0999 までのメッセージ

PRF トレースの取得によって出力される KDCCT0001 から KDCCT0999 までのメッセージについて説明します。

KDCCT0001-E

The error occurred while initializing PRF trace. (details= 詳細情報)

内容

PRF トレースの初期化処理時にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，原因を取り除いてください。

詳細情報

- The environment variable PRFSPOOL is not setted.
  環境変数 PRFSPOOL が設定されていません。または，環境変数 PRFSPOOL で設定したディレクトリが存在しません。環境変数 PRFSPOOL が設定されている，またはディレクトリが存在するかどうかを確認してください。
- PRF daemon does not start. PRFID = <PRF 識別子>
  PRF デーモンが起動していない可能性があります。PRF デーモンが起動されているかどうか（cprfstart コマンドを実行しているか）を確認してください。または，cprfstart コマンドで指定した PRF 識別子を確認してください。
- System call error occurred.
  Windows の場合：
  <環境変数 PRFSPOOL の設定ディレクトリ>¥log¥<PRF 識別子>の下にあるログファイルを参照してください。PRF のメッセージで要因を確認して対処してください。
  UNIX の場合：
  $PRFSPOOL/log/<PRF 識別子>の下にあるログファイルを参照してください。PRF のメッセージで要因を確認して対処してください。
- Loading JNI library of PRF trace service was failed.
  次の要因が考えられます。
  ・Performance Tracer がインストールされていない。
  ・クラスパスに PRF トレース出力ライブラリが指定されていない。
  ・環境変数に誤りがある。
  エラーの要因を修正したあと，再度実行してください。
- 実際に発生した例外，およびエラーの詳細メッセージ
  システム管理者に連絡してください。

KDCCT0002-E

The error occurred while terminating PRF trace. (details= 詳細情報)

内容

PRF トレースの終了処理時にエラーが発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

詳細情報

実際に発生した例外，およびエラーの詳細メッセージ

KDCCT0003-E

The error occurred while outputting PRF trace. (place = 場所情報, details= 詳細情報)

内容

PRF トレース取得時にエラーが発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

場所情報

- ENTER：メソッドの入口
- EXIT：メソッドの出口

詳細情報

実際に発生した例外，およびエラーの詳細メッセージ

KDCCT0004-W

The processing of the SOAP client is continued though the error occurred.

内容

PRF トレース初期化時, または終了時にエラーが発生しました。SOAP クライアントの処理は続行します。

対処

直前に出力されているエラーメッセージを参照して，原因を取り除いてください。

5.12　KDCCT1001 から KDCCT1999 までのメッセージ

トレース機能によって出力される KDCCT1001 から KDCCT1999 までのメッセージについて説明します。

KDCCT1001-I

invoke User RPC Service. Method = ＜メソッド名＞

内容

RPC サービスを呼び出しました。呼び出したサービスメソッドは＜メソッド名＞です。

対処

必要ありません。

KDCCT1002-I

return User RPC Service. Method = ＜メソッド名＞

内容

RPC サービスを実行しました。実行したサービスメソッドは＜メソッド名＞です。

対処

必要ありません。

KDCCT1003-I

invoke User Messaging Service.

内容

メッセージングサービスを呼び出しました。

対処

必要ありません。

KDCCT1004-I

return User Messaging Service.

内容

メッセージングサービスを実行しました。

対処

必要ありません。

6 KDCG（Web サービスセキュリティ機能で出力されるメッセージ）

この章では，Web サービスセキュリティ機能で出力されるメッセージについて説明します。

6.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

XXXXXnnnn-Y

メッセージテキスト

意味

英文のメッセージの意味

要因

メッセージが出力された要因

対処

ユーザが実施する対処

次に，各項目について説明します。

XXXXXnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「19.1　メッセージの記述形式」を参照してください。

nnnn

メッセージを出力したプログラムで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには 4 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。メッセージの種別は英字 1 文字で示します。

メッセージ種別には次の種類があります。

- E

  エラーが発生した場合に出力されるメッセージであることを示します。このメッセージ種別を持つメッセージが出力された場合の対処方法については，6.2 以降のメッセージの**対処**を参照してください。

- I

  処理が終了したことを通知するメッセージであることを示します。このメッセージ種別を持つメッセージが出力された場合，処理は正常に終了しているので，対処は必要ありません。

- W

  警告を通知するメッセージであることを示します。このメッセージ種別を持つメッセージが出力された場合の対処方法については，6.2 以降のメッセージの**対処**を参照してください。

メッセージテキスト

Web サービスセキュリティ機能で出力されるメッセージのメッセージテキストを示します。なお，Web サービスセキュリティ機能のメッセージは，英文で出力されます。

意味

英文のメッセージの意味を説明します。

要因

メッセージが出力された要因を示します。

対処

ユーザが実施する対処方法を示します。

6.2　KDCGA で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGA0001 から KDCGA9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGA0001-E

A user name is required.

意味

ユーザ名が必要です。

要因

WSSUsernameToken クラスのユーザ名が指定されていません。

対処

SOAP アプリケーションまたは Web サービスの設計を見直して，WSSUsernameToken クラスの setUsername メソッドでユーザ名を指定するようにしてください。

KDCGA9000-E

An unexpected error occurred during processing. (details = <詳細>)

意味

処理中に予期しないエラーが発生しました。<詳細>には，エラー内容の詳細が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能が提供する API を実行中に原因不明のエラーが発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

6.3　KDCGC で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGC0001 から KDCGC9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGC0001-E

A file was not found. (file = <ファイル名>)

意味

<ファイル名>のファイルが見つかりません。

要因

指定されたファイルが見つからないか，指定されたファイルに対するアクセス権限がありません。

対処

指定したファイルが存在するかどうか確認してください。指定したファイルが存在するにもかかわらず，このメッセージが出力される場合は，指定したファイルに対してアクセス権限があるかどうか確認してください。ファイルに対するアクセス権限がない場合は，アクセス権限を設定してください。

KDCGC0002-E

A configuration file contains an error. (file = <ファイル名>, line = <行番号>, details = <詳細>)

意味

定義ファイルの内容が不正です。

<ファイル名>，<行番号>，および<詳細>には，それぞれ次の内容が出力されます。

<ファイル名>

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルのフルパスが出力されます。

<行番号>

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの中で，定義ファイル構文チェックコマンドによってエラーと判定された行の行番号が出力されます。

<詳細>

エラーの詳細が出力されます。<詳細>に出力される内容については，マニュアル「XML Processor ユーザーズガイド」を参照してください。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルに対して，定義ファイル構文チェックコマンドを実行した結果，エラーが発生しました。

対処

<詳細>に出力された内容に従って，Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを修正してから，定義ファイル構文チェックコマンドを実行してください。

注意事項

SOAP アプリケーションまたは Web サービスの実行時に，このメッセージが出力された場合は，<ファイル名>，<行番号>，および<詳細>は出力されません。ただし，トレースファイルには<ファイル名>，<行番号>，および<詳細>が出力されます。トレースファイルについては，マニュアル「アプリ

ケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「6.1　トレースを収集する」を参照してください。

KDCGC0003-W

The specified attribute contains an invalid value. The default value was assumed. tag name = <要素名>, attribute name = <属性名> , specified value = <指定値> , value to be used = <仮定する値>

意味

属性値の内容が正しくないため，デフォルト値を仮定して処理を続行します。<要素名>，<属性名>，<指定値>，<仮定する値>にはそれぞれ次の内容が出力されます。

- <要素名>
  正しくない値を指定した属性を持つ要素の名称が出力されます。
- <属性名>
  正しくない値を指定した属性名が出力されます。
- <指定値>
  <属性名>に指定した属性値が出力されます。
- <仮定する値>
  <属性名>で指定した属性のデフォルト値が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルで指定した属性値が正しくないため，デフォルト値を仮定して処理を続行します。

対処

<属性値>に出力される値を正しい値にしてください。

KDCGC0004-W

The property contains an invalid value. The default value was assumed. key = <キー名称>, specified value = <指定値> , value to be used = <仮定する値>

意味

指定値の内容が正しくないため，デフォルト値を仮定して処理を続行します。

<キー名称>，<指定値>，<仮定する値>にはそれぞれ次の内容が出力されます。

- <キー名称>
  正しくない値を指定したキー名称が出力されます。
- <指定値>
  <キー名称>に指定した値が出力されます。
- <仮定する値>
  <キー名称>で指定したキーのデフォルト値が出力されます。

要因

環境設定ファイルで指定した指定値が正しくないため，デフォルト値を仮定して処理を続行します。

対処

<キー名称>に出力されるキーの指定値を正しい値にしてください。

注意事項

このメッセージはトレースファイルだけに出力されます。

6.4　KDCGD で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGD で始まるメッセージについて説明します。

KDCGD9999-I

<情報>

意味

実行時の環境やメソッドトレースなどが出力されます。

対処

＜情報＞に出力された内容を参照して，障害の要因を調査してください。

6.5　KDCGF で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGF0001 から KDCGF9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGF で始まるメッセージは，SOAPFault 形式で出力されます。SOAPFault 形式のメッセージには，次に示す四つの項目があります。

FaultCode

FaultCode が出力されます。FaultCode は，名前空間 URI とローカル部で構成されます。KDCGF で始まるメッセージの FaultCode の名前空間 URI には，「{http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-secext-1.0.xsd}」が出力されます。ローカル部には，エラーの要因を示す文字列が出力されます。

FaultCode の値は，次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの faultcode 要素から FaultCode を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Subcode 要素（soapenv12:Code 要素の子要素）に含まれる soapenv12:Value 要素から FaultCode を取得できます。なお，soapenv12:Code 要素の soapenv12:Vaule 要素の値は，soapenv12:Sender です。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultCode を取得できます。

SOAP 通信基盤が提供する API の仕様については，マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」の「13.　SOAP 通信基盤が提供する API」を参照してください。

JAX-WS 機能でフォルトをバインディングする方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービス開発ガイド」の「10.2　JAX-WS エンジンの動作」を参照してください。

FaultString

メッセージ ID およびメッセージの本文が出力されます。メッセージ ID の見方については，「6.1　メッセージの記述形式」を参照してください。

FaultString は次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの faultstring 要素から FaultString を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Reason 要素の soapenv12:Text 要素から FaultString を取得できます。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultString を取得できます。

FaultActor

Fault の生成者が出力されます。

FaultActor は次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの faultactor 要素から FaultActor を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Role 要素から FaultActor を取得できます。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultActor を取得できます。

FaultDetails

Fault の詳細が出力されます。

FaultDetails は次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの detail 要素から FaultDetails を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Detail 要素から FaultDetails を取得できます。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultDetails を取得できます。

KDCGF0001-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGF0001-E」を参照してください。

KDCGF0002-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGF0002-E」を参照してください。

KDCGF0003-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGF0003-E」を参照してください。

KDCGF0004-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGF0004-E」を参照してください。

KDCGF0005-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGF0005-E」を参照してください。

KDCGF0006-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGF0006-E」を参照してください。

KDCGF0007-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGF0007-E」を参照してください。

KDCGF0008-E

FaultCode：{http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-secext-1.0.xsd}MessageExpired

FaultString：KDCGF0008-E An old message or message with an expired date was received. (location = ＜発生場所＞)

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

意味

＜発生場所＞で受信した SOAP メッセージが古いか，メッセージの有効期限が切れています。<発生場所>には次の内容が出力されます。

- Server：サーバ側で受信したメッセージでエラーが発生した場合
- Client：クライアント側で受信したメッセージでエラーが発生した場合

要因

次のうちのどちらかがエラーの要因と考えられます。

- 受信した SOAP メッセージの Created 要素の値が古い。
- 受信した SOAP メッセージの Expires 要素で指定されている有効期限が過ぎている。

対処

「要因」に示した内容に該当する SOAP メッセージを送信していないかどうか，メッセージの送信者に確認してください。または，Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの設定を見直してください。

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの設定については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.2　Web サービスセキュリティ方針定義ファイル」を参照してください。

KDCGF0009-E

FaultCode : {http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/}MustUnderstand

FaultString : KDCGF0009-E Can not understand "MustUnderstand" header.(Header name = <ヘッダ名>, reason= <理由>)

FaultActor : なし

FaultDetail : なし

意味

mustUnderstand 属性が付加されたヘッダ要素を解釈できません。

＜ヘッダ名＞および＜理由＞には，それぞれ次の内容が出力されます。

- ＜ヘッダ名＞
  mustUnderstand 属性が付加されたヘッダの名称が出力されます。
- ＜理由＞
  解釈できない理由が出力されます。

要因

次の要因が考えられます。

- アプリケーションが Web Services - Security - バージョン 0760 を実装している場合
  次の Security 要素を受信しました。
  ・mustUnderstand 属性が「true」である。
  ・名前空間の値が Web Services Security: SOAP Message Security Working Draft 17 である。
- アプリケーションが Web Services - Security - 旧バージョンを実装している場合
  次の Security 要素を受信しました。
  ・mustUnderstand 属性が「true」である。
  ・名前空間の値が Web Services Security: SOAP Message Security1.1 である。

対処

- アプリケーションが Web Services - Security - バージョン 0760 を実装している場合
  受信する Security 要素の名前空間が Web Services Security: SOAP Message Security1.1 の名前空間になるように，メッセージ送信者に変更を依頼してください。
- アプリケーションが Web Services - Security - 旧バージョンを実装している場合
  受信する Security 要素の名前空間が Web Services Security: SOAP Message Security Working Draft17 の名前空間になるように，メッセージ送信者に変更を依頼してください。

KDCGF0010-E

FaultCode:{http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-secext-1.0.xsd} InvalidSecurity

FaultString : KDCGF0010-E The namespace <名前空間> of the Security header is illegal.

FaultActor : なし

FaultDetail : なし

意味

セキュリティヘッダの名前空間が不正です。＜名前空間＞には，次の内容が出力されます。

- ＜名前空間＞
  不正な名前空間の名称が出力されます。

要因

次の要因が考えられます。

- アプリケーションが Web Services - Security - バージョン 0760 を実装している場合
  次の Security 要素を受信しました。
  ・mustUnderstand 属性が「false」である。
  ・名前空間の値が Web Services Security: SOAP Message Security Working Draft 17 である。
- アプリケーションが Web Services - Security - 旧バージョンを実装している場合
  次の Security 要素を受信しました。
  ・mustUnderstand 属性が「false」である。
  ・名前空間の値が Web Services Security: SOAP Message Security1.1 である。

対処

- アプリケーションが Web Services - Security - バージョン 0760 を実装している場合
  受信する Security 要素の名前空間が Web Services Security: SOAP Message Security1.1 の名前空間になるように，メッセージ送信者に変更を依頼してください。
- アプリケーションが Web Services - Security - 旧バージョンを実装している場合

受信する Security 要素の名前空間が Web Services Security: SOAP Message Security Working Draft17 の名前空間になるように，メッセージ送信者に変更を依頼してください。

6.6　KDCGJ で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGJ0001 から KDCGJ9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGJ0001-E

An error occurred during JAAS authentication. (details = <詳細>)

意味

JAAS 認証でエラーが発生しました。

要因

次のうちのどれかがエラーの要因と考えられます。

- Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの Username 要素および Password 要素の指定内容が間違っている。
- Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの Password 要素の Type 属性の指定値が間違っている。
- LoginModule.login()メソッドの中の実装が間違っている。
- LoginModule.login()メソッドで LoginException をスローしている。
- LoginModule.login()メソッドの戻り値を「false」にしている。※
- JAAS ログインモジュールに必要なログイン構成ファイルがない。
- Component Container のユーザ定義ファイル（usrconf.properties）で指定した場所に JAAS ログインモジュールに必要なログイン構成ファイルがない。
- Component Container のユーザ定義ファイル（usrconf.properties）に JAAS ログインモジュールに必要なログイン構成ファイルが指定されていない。
- ログイン構成ファイルの構文が間違っている。
- ログイン構成ファイルのインデックス値と Web サービスセキュリティ機能定義ファイルで指定したインデックス値が異なる。
- WSSUsernameToken クラスのコンストラクタや setUsername メソッドなどで指定したユーザ名が間違っている。
- WSSUsernameToken クラスの setPassword メソッドで指定したパスワード値が間違っている。
- WSSUsernameToken クラスの setPasswordType メソッドで指定したパスワード形式が間違っている。

注※

LoginModule.login()メソッドで LoginException をスローしている場合, LoginException 生成時に詳細メッセージを指定しているときは，<詳細>に詳細なエラー要因が出力されます。

対処

- Web サービスセキュリティ機能定義ファイルを見直して，「要因」に示した間違いがないかどうかを確認してください。
- JAAS ログインモジュールの処理が正しいかどうか，JAAS ログインモジュールの設計を見直してください。
- JAAS ログインモジュールに必要なログイン構成ファイルの設定や格納場所などを見直してください。

- WSSUsernameToken クラスのメソッドの使用方法が正しいかどうか，SOAP アプリケーションまたは Web サービスの設計を見直してください。

次の項目については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」を参照してください。

- Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの要素や属性
- WSSUsernameToken クラスのメソッドの使用方法
- JAAS ログインモジュール
- ログイン構成ファイル

なお，SOAP アプリケーションまたは Web サービスの設計の詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」を参照してください。

6.7　KDCGK で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGK0001 から KDCGK9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGK0001-I

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK0001-I」を参照してください。

KDCGK0010-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK0010-E」を参照してください。

KDCGK0011-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK0011-E」を参照してください。

KDCGK0012-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK0012-E」を参照してください。

KDCGK0013-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK0013-E」を参照してください。

KDCGK0100-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK0100-E」を参照してください。

KDCGK0101-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK0101-E」を参照してください。

KDCGK9000-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGK9000-E」を参照してください。

6.8　KDCGO で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGO0001 から KDCGO9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGO0001-I

Validation has finished.

意味

定義ファイルの構文チェックが正常に終了しました。

KDCGO0002-E

Validation has failed.

意味

定義ファイルの構文に誤りがあります。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの内容に誤りがあります。

対処

このメッセージの直前に出力されるメッセージの内容に従って，Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを修正してから，再度，定義ファイル構文チェックコマンドを実行してください。

KDCGO0010-E

An argument is not specified. (argument = <引数>)

意味

引数が指定されていません。

<引数>には，指定する必要がある引数の名称が出力されます。

要因

定義ファイル構文チェックコマンドで指定する必要がある引数が指定されていません。

対処

引数を指定してから，再度，定義ファイル構文チェックコマンドを実行してください。

定義ファイル構文チェックコマンドで指定する引数については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「4.2　定義ファイル構文チェックコマンド（CWSSConfCheck）」を参照してください。

KDCGO0011-E

An invalid argument was specified. (argument = <引数>)

意味

不正な引数が指定されています。

<引数>には，不正と判定された引数の名称が出力されます。

要因

定義ファイル構文チェックコマンドで使用できない，不正な引数が指定されています。

対処

不正と判定された引数を削除してから，再度，定義ファイル構文チェックコマンドを実行してください。

定義ファイル構文チェックコマンドで指定できる引数については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「4.2　定義ファイル構文チェックコマンド（CWSSConfCheck）」を参照してください。

KDCGO0012-E

An invalid argument value was specified. (argument = <引数>, value = <引数値>)

意味

引数に不正な値が指定されています。

<引数>と<引数値>には，それぞれ次の内容が出力されます。

<引数>

引数の名称が出力されます。

<引数値>

引数に指定されている値が出力されます。

要因

定義ファイル構文チェックコマンドの引数に不正な値が指定されています。

対処

定義ファイル構文チェックコマンドの引数，および引数に指定されている値が正しいかどうかを確認してから，再度，定義ファイル構文チェックコマンドを実行してください。

定義ファイル構文チェックコマンドの引数に指定できる値については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「4.2　定義ファイル構文チェックコマンド（CWSSConfCheck）」を参照してください。

KDCGO9000-E

An unexpected error occurred during processing. (details = <詳細>)

意味

処理中に予期しないエラーが発生しました。

<詳細>には，エラー内容の詳細が出力されます。

要因

定義ファイル構文チェックコマンドを実行中に原因不明のエラーが発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

6.9　KDCGP で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGP0001 から KDCGP9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGP0001-E

A definition is duplicated. (Name = < Name 属性値>, My_role = < My_role 属性値>)

意味

Name 属性および My_role 属性の値が重複して定義されています。

要因

Web サービスセキュリティ方針定義ファイル内で，Name 属性および My_role 属性に同じ値を指定した ReceiverPortConfig 要素が複数定義されています。

対処

複数ある ReceiverPortConfig 要素の Name 属性値および My_role 属性値が重複しないように，Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを修正してください。

KDCGP0002-E

An error occurred during reading of an X509 certificate. (details = <詳細>)

意味

X.509 証明書を読み込むときにエラーが発生しました。

<詳細>には，エラー内容の詳細が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの AuthorityCertificateFile 要素の Name 属性値に指定した X.509 証明書ファイルの読み込むときに，エラーが発生しました。次のうちのどれかがエラーの要因と考えられます。

- AuthorityCertificateFile 要素の Name 属性で指定した X.509 証明書ファイルが見つからない。
- AuthorityCertificateFile 要素の Name 属性で指定した X.509 証明書ファイルに対するアクセス権限がない。
- AuthorityCertificateFile 要素の Name 属性で指定した X.509 証明書ファイルの形式が間違っている。

対処

「要因」に示した問題点がないかどうか，Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの設定を見直してください。

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの設定については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.2　Web サービスセキュリティ方針定義ファイル」を参照してください。

KDCGP1001-E

The root tag name is invalid. (tag name = <要素名>)

意味

不正なルート要素名が指定されています。

<要素名>には，ルート要素の名称が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルに不正なルート要素名が指定されています。

対処

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルのルート要素の名称を「PolicyConfig」に修正してください。

KDCGP1002-E

A tag name is invalid. (parent tag name = <親要素名>, tag name = <要素名>)

意味

不正な名称の要素が指定されています。

<親要素名>と<要素名>には，それぞれ次の内容が出力されます。

<親要素名>

不正な名称が指定されている要素の親要素の名称が出力されます。

<要素名>

不正な名称が指定されている要素の名称が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの要素のうち，名称が不正な要素があります。

対処

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを修正してください。

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルで指定できる要素の名称については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.2　Web サービスセキュリティ方針定義ファイル」を参照してください。

KDCGP1003-E

An attribute value is invalid. (tag name = <要素名>, attribute name = <属性名>, attribute value = <属性値>)

意味

不正な属性が指定されています。

<要素名>，<属性名>，および<属性値>には，それぞれ次の内容が出力されます。

<要素名>

不正な属性が指定されている要素の名称が出力されます。

<属性名>

不正な値が指定されている属性の名称が出力されます。

<属性値>

<属性名>で示された属性に指定されている値が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの要素のうち，属性値の値が不正な要素があります。

対処

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを修正してください。

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの属性に指定できる値については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.2　Web サービスセキュリティ方針定義ファイル」を参照してください。

KDCGP1004-E

＜要素名＞ is undefined.

意味

定義されていない要素があります。

＜要素名＞には，定義されていない要素の名称が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの必須要素のうち，定義されていない要素があります。

対処

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを修正してください。

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルの属性に指定できる値については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.2　Web サービスセキュリティ方針定義ファイル」を参照してください。

KDCGP9000-E

An unexpected exception occurred. (details = ＜詳細＞)

意味

予期しない例外が発生しました。

＜詳細＞には，例外の内容の詳細が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを解析するときにエラーが発生しました。

対処

＜詳細＞に表示される例外の要因を解決してから，再度，処理を実行してください。＜詳細＞に表示された例外の要因がわからない場合は，システム管理者に連絡してください。

6.10　KDCGS で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGS0001 から KDCGS9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGS0001-E

For ＜要素名＞, specify either ＜子要素名 1 または属性名 1 ＞ or ＜子要素名 2 または属性名 2 ＞.

意味

＜要素名＞には，＜子要素名 1 または属性名 1 ＞または＜子要素名 2 または属性名 2 ＞を指定してください。

＜要素名＞，＜子要素名＞，および＜属性名＞には，それぞれ次の内容が出力されます。

＜要素名＞

どちらか一方だけを指定する必要がある子要素または属性が，両方指定されている要素の名称が出力されます。

＜子要素名＞

子要素の名称が出力されます。

＜属性名＞

属性の名称が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの要素のうち，子要素または属性の指定が間違っているものがあります。次のうちのどちらかがエラーの要因と考えられます。

- ＜子要素名 1＞または＜子要素名 2＞のどちらか一方だけを指定する必要があるにもかかわらず，両方の子要素が指定されている。
- ＜属性名 1＞または＜属性名 2＞のどちらか一方だけを指定する必要があるにもかかわらず，両方の属性が指定されている。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルを修正して，＜要素名＞の＜子要素名 1＞または＜子要素 2＞のどちらか一方を指定するか，＜属性名 1＞または＜属性名 2＞のどちらか一方を指定するようにしてください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの要素や属性の指定回数については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS0004-E

An attribute value reference is invalid. (tag name = ＜要素名＞, attribute name = ＜属性名＞)

意味

属性で指定された参照先が不正です。

＜要素名＞および＜属性名＞には，それぞれ次の内容が出力されます。

＜要素名＞

参照先が不正な属性を持つ要素の名称が出力されます。

＜属性名＞

参照先が不正な属性の名称が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの属性のうち，参照先が間違っているものがあります。次のうちのどちらかがエラーの要因と考えられます。

- IdRef 属性の値が対応する Id 属性の値と一致していない。
- IdRef 属性に異なる要素の Id 属性の値が指定されている。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルを修正して，<要素名>の IdRef 属性に正しい値を指定してください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの IdRef 属性に指定する値については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS0005-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGS0005-E」を参照してください。

KDCGS0007-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGS0007-E」を参照してください。

KDCGS0008-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGS0008-E」を参照してください。

KDCGS0009-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGS0009-E」を参照してください。

KDCGS0010-E

<要素名> does not exist.

意味

要素が存在しません。

<要素名>には，見つからなかった要素の名称が出力されます。

要因

SOAP サービスまたは Web サービスの URL と Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの ReceiverPortConfig 要素の Name 属性に指定した値が一致していません。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの ReceiverPortConfig 要素の Name 属性に指定した値が SOAP サービスの URL と一致しているかどうか確認してください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの ReceiverPortConfig 要素の Name 属性に指定する値については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS0011-E

Content for ＜要素名＞ is required.

意味

＜要素名＞の内容を指定する必要があります。

＜要素名＞には，内容が指定されていない要素の名称が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルのうち，要素の内容を指定する必要があるにもかかわらず，内容が指定されていない要素があります。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルを修正して，＜要素名＞の内容を指定してください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルで指定する要素については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS0012-E

A definition is duplicated. (Name ＝ ＜ Name 属性値＞)

意味

Name 属性の指定が重複しています。

＜Name 属性値＞には，Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの SenderPortConfig 要素の Name 属性に指定されている内容が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの SenderPortConfig 要素のうち，Name 属性に同じ値を指定したものが複数あります。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルを修正して，SenderPortConfig 要素の Name 属性の値が重複しないようにしてください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルで指定する要素および属性については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS0013-E

A definition is duplicated. (Name ＝ ＜ Name 属性値＞, My_role ＝ ＜ My_role 属性値＞)

意味

Name 属性と My_role 属性の値が重複しています。＜ Name 属性値＞および＜ My_role 属性値＞には，Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの ReceiverPortConfig 要素の各属性に指定されている内容が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの ReceiverPortConfig 要素のうち，Name 属性と My_role 属性に同じ値を指定したものが複数あります。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルを修正して，ReceiverPortConfig 要素の Name 属性と My_role 属性の値が重複しないようにしてください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルで指定する要素および属性については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS0014-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGS0014-E」を参照してください。

KDCGS0015-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGS0015-E」を参照してください。

KDCGS1002-E

A tag name is invalid. (parent tag name = <親要素名>, tag name = <要素名>)

意味

不正な名称の要素があります。

<親要素名>および<要素名>には，それぞれ次の内容が出力されます。

<親要素名>

名称が不正な要素の親要素の名称が出力されます。

<要素名>

名称が不正な要素の名称が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの要素のうち，名称が不正なものがあります。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの<要素名>を修正してください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルで指定する要素については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS1003-E

An attribute value is invalid. (tag name = <要素名>, attribute name = <属性名>, attribute value = <属性値>)

意味

属性に指定されている値が不正です。

<要素名>，<属性名>，および<属性値>には，それぞれ次の内容が出力されます。

<要素名>

不正な値が指定されている属性を持つ要素の名称が出力されます。

<属性名>

不正な値が指定されている属性の名称が出力されます。

<属性値>

<属性名>に指定されている値が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの属性のうち，指定された値が不正なものがあります。

対処

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの<属性値>に指定する値を修正してください。

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルの属性に指定する値については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1.1　Web サービスセキュリティ機能定義ファイル」を参照してください。

KDCGS9000-E

An unexpected exception occurred. (details = <詳細>)

意味

予期しない例外が発生しました。

<詳細>には，例外の内容の詳細が出力されます。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルを解析するときにエラーが発生しました。

対処

<詳細>に表示される例外の要因を解決してから，再度，処理を実行してください。<詳細>に表示された例外の要因がわからない場合は，システム管理者に連絡してください。

6.11　KDCGW で始まるメッセージ

Web サービスセキュリティ機能で出力される KDCGW0001 から KDCGW9999 までのメッセージについて説明します。

KDCGW で始まるメッセージは，SOAPFault 形式で出力されます。SOAPFault 形式のメッセージには，次に示す四つの項目があります。

FaultCode

FaultCode が出力されます。FaultCode は，名前空間 URI とローカル部で構成されます。KDCGW で始まるメッセージの FaultCode の名前空間 URI には，「{http://www.hitachi.co.jp/soft/xml/cosminexus/ws/security/0760/faultcode}」が出力されます。ローカル部には，エラーの要因を示す文字列が出力されます。

FaultCode の値は，次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの faultcode 要素から FaultCode を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Subcode 要素（soapenv12:Code 要素の子要素）に含まれる soapenv12:Value 要素から FaultCode を取得できます。なお，soapenv12:Code 要素の soapenv12:Vaule 要素の値は，soapenv12:Sender です。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultCode を取得できます。

SOAP 通信基盤が提供する API の仕様については，マニュアル「アプリケーションサーバ SOAP アプリケーション開発の手引」の「13.　SOAP 通信基盤が提供する API」を参照してください。

JAX-WS 機能でフォルトをバインディングする方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービス開発ガイド」の「10.2　JAX-WS エンジンの動作」を参照してください。

FaultString

メッセージ ID およびメッセージの本文が出力されます。メッセージ ID の見方については，「6.1　メッセージの記述形式」を参照してください。

FaultString は次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの faultstring 要素から FaultString を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Reason 要素の soapenv12:Text 要素から FaultString を取得できます。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultString を取得できます。

FaultActor

Fault の生成者が出力されます。

FaultActor は次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの faultactor 要素から FaultActor を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Role 要素から FaultActor を取得できます。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultActor を取得できます。

FaultDetails

Fault の詳細が出力されます。

FaultDetails は次の方法で取得できます。

- サーバ側の場合

  SOAP 1.1 の場合は，SOAP Fault メッセージの detail 要素から FaultDetails を取得できます。

  SOAP 1.2 の場合は，SOAP Fault メッセージの soapenv12:Detail 要素から FaultDetails を取得できます。

- クライアント側の場合

  SOAP 通信基盤が提供する C4Fault クラス，または JAX-WS 機能が提供する javax.xml.ws.soap.SOAPFaultException クラスを使用して FaultDetails を取得できます。

KDCGW0001-E

FaultCode：{http://www.hitachi.co.jp/soft/xml/cosminexus/ws/security/0760/faultcode} <Server.ConfigError または Client.ConfigError>

FaultString：KDCGW0001-E An error occurred during configuration file initialization. (file = <ファイル名>, details = <詳細>)

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

意味

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを初期化するときにエラーが発生しました。

<Server.ConfigError または Client.ConfigError>，<ファイル名>，および<詳細>には，それぞれ次の内容が出力されます。

<Server.ConfigError または Client.ConfigError>

エラーがサーバ側で発生したのか，クライアント側で発生したのかを示す文字列が出力されます。サーバ側でエラーが発生している場合は「Server.ConfigError」が，クライアント側でエラーが発生している場合は「Client.ConfigError」が出力されます。

<ファイル名>

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルのファイル名が出力されます。ファイル名については，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービスセキュリティ構築ガイド」の「3.1　定義ファイルの設定」を参照してください。

<詳細>

KDCGC，KDCGP，または KDCGS で始まるメッセージの本文が出力されます。KDCGC で始まるメッセージについては，「6.3　KDCGC で始まるメッセージ」を参照してください。KDCGP で始まるメッセージについては，「6.9　KDCGP で始まるメッセージ」を参照してください。KDCGS で始まるメッセージについては，「6.10　KDCGS で始まるメッセージ」を参照してください。

要因

Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルが初期化できませんでした。

対処

＜詳細＞の内容に従って，Web サービスセキュリティ機能定義ファイルまたは Web サービスセキュリティ方針定義ファイルを修正し，再度，処理を実行してください。処理を再度実行する場合は，SOAP アプリケーションまたは Web サービスも再度デプロイする必要があります。

KDCGW0002-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGW0002-E」を参照してください。

KDCGW0003-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KDCGW0003-E」を参照してください。

KDCGW9000-E

FaultCode：{http://www.hitachi.co.jp/soft/xml/cosminexus/ws/security/0760/faultcode}＜Server.ConfigError または Client.ConfigError ＞

FaultString：KDCGW9000-E An unexpected error occurred during message transmission processing. (details = ＜詳細＞)

FaultActor：なし

FaultDetails：なし

意味

メッセージ送信中に予期しないエラーが発生しました。

＜ Server.ConfigError または Client.ConfigError ＞および<詳細>には，それぞれ次の内容が出力されます。

＜ Server.ConfigError または Client.ConfigError ＞

エラーがサーバ側で発生したのか，クライアント側で発生したのかを示す文字列が出力されます。サーバ側でエラーが発生している場合は「Server.ConfigError」が，クライアント側でエラーが発生している場合は「Client.ConfigError」が出力されます。

<詳細>

エラーの詳細が出力されます。

要因

メッセージ送信中に原因不明のエラーが発生しました。

対処

＜詳細＞の内容に従って，エラーの要因を解決してから，再度メッセージを送信してください。<詳細>に表示されたエラーの要因がわからない場合は，システム管理者に連絡してください。再度メッセージを送信する場合は，SOAP アプリケーションまたは Web サービスも再度デプロイする必要があります。

7 KDJE（Component Container が出力するメッセージ）

この章では，Component Container および TPBroker が出力するメッセージのうち KDJE で始まるメッセージについて説明します。

7.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

XXXXnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

XXXXnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

XXXX

Component Container が出力するメッセージのプリフィックスを KDJE で示します。

nnnnn

Component Container で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

Component Container が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した Component Container の動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

7.2　KDJE30000 から KDJE39999 までのメッセージ

KDJE30000 から KDJE39999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJE30000-E

The context-root (aa....aa) has already been used by other application (bb....bb).

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：アプリケーション名

説明

このコンテキストルート（aa....aa）は，すでにほかのアプリケーション（bb....bb）に使用されています。

デプロイを中止して，RemoteException をスローします。

対処

別のコンテキストルートを指定して，再度デプロイしてください。

KDJE30003-W

Could not delete directories(aa....aa), so you must remove it manually before deploying other web-application.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリが削除できません。ディレクトリを使用中か，またはディレクトリを削除する権限がない可能性があります。

また，次に示す条件をすべて満たす場合にも，このメッセージが出力されることがあります。

- OS が Windows である。
- J2EE アプリケーション内のサーブレットで java.net.URL クラスの openStream メソッドを実行した。

Struts を使用すると openStream メソッドが実行されるため，条件に合致してメッセージが出力されることがあります。

対処

ディレクトリ内のファイル削除に失敗した場合は，J2EE サーバに出力されるメッセージ「KDJE30070-E」でファイル名が出力されています。J2EE サーバを再起動後アプリケーションを開始するか，手動でファイルおよびディレクトリを削除するかしてください。なお，手動で削除する場合は，ほかの Web アプリケーションを作成する前に実施してください。

KDJE30004-E

The WAR file(aa....aa) has more than one servlet/JSP with the same name "bb....bb".

aa....aa：WAR ファイル名

bb....bb：サーブレットまたは JSP 名

説明

WAR ファイル（aa....aa）は，同じサーブレットまたは JSP 名（bb....bb）を複数持っています。

インポートを中断します。

対処

WAR ファイルを調査して，<servlet-name>タグの内容を変更してください。cjimportapp コマンドを実行した場合，WAR ファイルは EAR に含まれています。

KDJE30005-E

The archive files(aa....aa, bb....bb) have more than one display name with the same name "cc....cc".

aa....aa：アーカイブファイル名

bb....bb：アーカイブファイル名

cc....cc：表示名

説明

アーカイブファイル（aa....aa，bb....bb）は，同じ表示名（cc....cc）を持っています。

インポートを中断します。

対処

EAR が含むアーカイブファイルを調査して，<display-name>タグの内容を変更してください。

KDJE30006-E

The EJB JAR files (aa....aa) have more than one bean with the same name "bb....bb".

aa....aa：EJB-JAR ファイル名

bb....bb：Enterprise Bean 名

説明

EJB-JAR ファイル（aa....aa）は，同じ Bean 名（bb....bb）を複数持っています。

インポートを中断します。

対処

EAR が含む EJB-JAR ファイルを調査して，<ejb-name>タグの内容を変更してください。

KDJE30007-E

An EJB DD (aa....aa) has more than one bean with the same name "bb....bb".

aa....aa：EJB-JAR DD の名称

bb....bb：Enterprise Bean 名

説明

EJB-JAR DD（aa....aa）は，同じ Bean 名（bb....bb）を複数持っています。

インポートを中断します。

対処

EJB-JAR ファイルを調査して，<ejb-name>タグの内容を変更してください。

KDJE30008-E

A WAR DD(aa....aa) has more than one servlet/JSP with the same name "bb....bb".

aa....aa：WAR DD の名称

bb....bb：サーブレットまたは JSP 名

説明

WAR DD（aa....aa）は，同じサーブレットまたは JSP 名（bb....bb）を複数持っています。
インポートを中断します。

対処

WAR ファイルを調査して，<servlet-name>タグの内容を変更してください。

KDJE30010-E

An error has occurred while initializing of the extended container. Class name = aa....aa, Detailed message = bb....bb

aa....aa：クラス名

bb....bb：詳細情報

説明

サーバ起動フック処理中にエラーが発生しました。
サーバ停止フック処理を実行したあと，J2EE サーバまたは Web コンテナサーバを終了します。

対処

詳細情報を基に，サーバ起動フック処理のクラスを見直してください。

KDJE30011-E

An error has occurred during terminating of the extended container. Class name = aa....aa, Detailed message = bb....bb

aa....aa：クラス名

bb....bb：詳細情報

説明

サーバ停止フック処理中にエラーが発生しました。
J2EE サーバまたは Web コンテナサーバを終了します。

対処

詳細情報を基に，サーバ停止フック処理のクラスを見直してください。

KDJE30012-E

The class file specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses was not found. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定されているクラス（aa....aa）が見つかりません。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーのクラス名を設定し直してください。

KDJE30013-E

The class specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses must not belong to a package starting with com.hitachi.software.ejb. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定されているクラス（aa....aa）は com.hitachi.software.ejb.で始まるパッケージに属してはいけません。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定したクラスを見直してください。

KDJE30014-E

The class specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses does not implement com.hitachi.software.ejb.application.InitTermProcess. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

com.hitachi.software.ejb.application.InitTermProcess を実装していないクラス（aa....aa）が ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定されています。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定したクラスを見直してください。

KDJE30015-E

The interface must not be specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

インタフェースを ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定できません。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定したクラスを見直してください。

KDJE30016-E

An abstract class must not be specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

abstract class を ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定できません。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定したクラスを見直してください。

KDJE30017-E

The class specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses must be public. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定しているクラス（aa....aa）は public でなければなりません。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定したクラスを見直してください。

KDJE30018-E

The primitive type must not be specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses. Primitive type name = aa....aa

aa....aa：primitive 型名

説明

primitive 型（aa....aa）を ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定できません。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定したクラスを見直してください。

KDJE30019-E

The default constructor of the class specified in the property key ejbserver.application.InitTermProcessClasses cannot be accessed. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定されているクラス（aa....aa）のデフォルトコンストラクタにアクセスできません。

対処

ejbserver.application.InitTermProcessClasses キーに指定したクラスを見直してください。

KDJE30020-I

The initialization of the extended container finished successfully. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

サーバ起動フック処理が正常に行われたことを示すメッセージです。

KDJE30021-I

The termination of the extended container finished successfully. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

サーバ停止フック処理が正常に行われたことを示すメッセージです。

KDJE30022-I

aa....aa

aa....aa：JavaVM のバージョン

説明

JavaVM のバージョン（aa....aa）を示すメッセージです。

J2EE サーバの cjstdout.log に出力します。ただし，J2EE サーバ起動時に障害が発生した場合，出力しないことがあります。

KDJE30024-W

Invalid property value. Property = aa....aa

aa....aa：プロパティ名

説明

無効なプロパティ値です。

対処

プロパティ値を設定し直してください。

KDJE30025-W

The specified class does not implement the interface com.cosminexus.mngsvr.hmx.agent.InstrumentationAgent. Class name = aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

指定されたクラス（aa....aa）は，com.cosminexus.mngsvr.hmx.agent.InstrumentationAgent インタフェースを実装していません。

対処

設定した Agent クラスに InstrumentationAgent を implements させてください。

KDJE30026-W

The defined Agent class cannot be instantiated. Class name = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：クラス名

bb....bb：要因

説明

定義された Agent クラス（aa....aa）をインスタンス化できません。

対処

Component Container が正しくインストールされているかどうかを確認してください。

KDJE30027-W

The Agent cannot be started. Class name = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：クラス名

bb....bb：要因

説明

Agent をスタートできません。

対処

定義した Agent クラスの start メソッドを確認してください。

KDJE30028-I

The J2EE server has started. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバ（aa....aa）を開始しました。

KDJE30030-E

The server shutdown is in progress.

説明

サーバはシャットダウン中です。

対処

すでに cjstopsv コマンドが実行され，終了処理中です。J2EE サーバが停止するまでお待ちください。

KDJE30031-I

The J2EE server shutdown is in progress. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバ（aa....aa）はシャットダウン中です。

KDJE30033-W

Statement closes instead. Info=aa....aa

aa....aa：Statement オブジェクト

説明

Connection のクローズ時に，クローズされていない Statement オブジェクトがあります。

Connection のクローズ時に，Statement オブジェクト（aa....aa）をクローズします。

対処

Statement オブジェクトを明示的にクローズするよう見直してください。

KDJE30034-I

The J2EE server shut down. Server name = aa....aa

aa....aa：J2EE サーバ名

説明

J2EE サーバ（aa....aa）はシャットダウンしました。

KDJE30040-I

The J2EE server will now start. Server name = aa....aa, Version = bb....bb, J2EE server mode = cc....cc, PID = dd....dd

aa....aa：サーバ名

bb....bb：Component Container のバージョン

cc....cc：J2EE サーバのユーザプロパティファイルの ejbserver.server.j2ee.feature キーに指定された値（デフォルトは「1.4」）

dd....dd：プロセス ID

説明

J2EE サーバ（aa....aa）は開始中です。

KDJE30041-E

The property file aa....aa cannot be accessed.

aa....aa：アクセスできなかったプロパティファイル名

説明

プロパティファイル（aa....aa）の読み込みに失敗しました。

次の可能性があります。

- プロパティファイルにアクセスできません。
- プロパティファイルの形式が Java の仕様に従っていません。

例えば，不正な Unicode エスケープシーケンス（"¥u"に続く文字列が適切な Unicode 16 進値ではない）を含む場合が該当します。

対処

該当プロパティファイルの有無，およびアクセス権を確認してください。

プロパティファイルにアクセスできる場合は，プロパティファイルの形式が Java の仕様に従っているかを確認してください。

KDJE30042-E

Invalid property value. Property = aa....aa

aa....aa：プロパティ名

説明

無効なプロパティ値が指定されているか，またはプロパティが設定されていません。J2EE サーバを終了します。

対処

プロパティを設定し直してください。

KDJE30043-E

An unexpected exception has occurred. Detail = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE30044-E

Access from aa....aa is not permitted. Server name = bb....bb

aa....aa：IP アドレス

bb....bb：サーバ名

説明

aa....aa からのアクセスは許可されていません。

対処

接続先 J2EE サーバのユーザプロパティファイル（usrconf.properties）の webserver.connector.http.permitted.hosts キーに指定されている IP アドレスまたはホスト名を見直してください。

KDJE30045-E

The version of the command does not match the version of the J2EE server. Server name = aa....aa, Reason code = (bb....bb, cc....cc)

aa....aa：サーバ名

bb....bb：保守情報 1

cc....cc：保守情報 2

説明

コマンドのバージョンが J2EE サーバのバージョンと一致していません。

対処

コマンドを実行している環境と，J2EE サーバが動作している環境の Component Container のバージョンが一致しているかどうかを確認してください。問題が解決できない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE30046-E

An unexpected exception occurred. Details = aa....aa, Server name = bb....bb

aa....aa：詳細情報

bb....bb：サーバ名

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE30047-E

Startup processing for the J2EE server has not yet completed. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバの起動処理が完了していません。

対処

J2EE サーバの起動が完了してから，再度コマンドを実行してください。

KDJE30048-E

The J2EE server shutdown is in progress. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバはシャットダウン中です。

対処

J2EE サーバが停止処理を実行中です。J2EE サーバが停止してから，再度 J2EE サーバを起動して実行してください。

KDJE30050-E

The J2EE server aborted. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名称

説明

J2EE サーバが異常終了しました。

対処

J2EE サーバのログを参照して，サーバが異常終了した直前に出ているメッセージの内容に応じて，対処してください。

なお，資料の採取方法および原因の調査方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「6.5　稼働（運用）時のトラブルシュート」を参照してください。

KDJE30051-W

The specified value is invalid. The default value aa....aa will be used. Property key = bb....bb

aa....aa：デフォルト値

bb....bb：プロパティキー名称

説明

指定されている値が無効なため，デフォルト値 aa....aa を使用します。

対処

プロパティキー bb....bb に指定している値を見直してください。

KDJE30052-E

The public directory is invalid (version=aa....aa, productId=bb....bb, edition=cc....cc)

aa....aa：バージョン

bb....bb：型名

cc....cc：エディション

説明

- 作業ディレクトリが不正です。埋め字に「unknown」が出力されている場合は，07-50 より古いバージョンで作成された作業ディレクトリが指定されている可能性があります。指定された作業ディレクトリは，このバージョン，このプラットフォーム，およびこのエディションでは使用できません。
- J2EE サーバの初回起動時に，J2EE サーバ用オプション定義ファイルの指定が不正であるなどの理由で JavaVM の起動に失敗すると，その後の J2EE サーバの起動が失敗します。

対処

J2EE サーバを削除してから，再度セットアップしてください。J2EE サーバの削除については，マニュアル「アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド」の「3.2.9　不要になった J2EE サーバを削除する」を参照してください。

KDJE30060-I

The RMI registry has started. (host name = aa....aa, port = bb....bb)

aa....aa：ejbserver.rmi.naming.host プロパティの設定値。ejbserver.rmi.naming.host プロパティ未指定の場合はローカルホスト名。

bb....bb：RMI ポート番号

説明

ホスト名(aa....aa)，ポート番号(bb....bb)で RMI レジストリを開始しました。

KDJE30061-E

An attempt to start the RMI registry has failed. (property name = aa....aa, host name = bb....bb, port = cc....cc, details = dd....dd)

aa....aa：プロパティ名称

bb....bb：ホスト名(ejbserver.rmi.naming.host が未指定の場合はローカルホスト名)

cc....cc：RMI ポート番号

dd....dd：詳細情報

説明

RMI レジストリ生成に失敗しました。

対処

詳細情報(dd....dd)がホスト名不正を示す場合，プロパティ(aa....aa)の設定値を見直してください。

詳細情報(dd....dd)が他でポート使用中を示す場合，プロパティ(aa....aa)の設定値を見直してください。

上記以外の詳細情報の場合は保守員に連絡してください。

KDJE30065-E

aa....aa failed to be bb....bb. (MBean server name = cc....cc, details = dd....dd)

aa....aa：対象名("MBeanserver"または"JMXConnector")

bb....bb：操作名("created","removed","started","stopped")

cc....cc：MBean サーバ名

dd....dd：詳細情報

説明

aa....aa の bb....bb の処理に失敗しました。(MBean サーバ名=cc....cc, 詳細情報=dd....dd)

対処

ホスト名の文字列形式に誤りがある可能性があります。ホスト名の文字列形式が RFC2609 で規定されている形式と異なる場合，ホスト名を変更してください。ホスト名に問題がない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE30066-E

Information needed for XA transaction recovery cannot be acquired.

説明

XA トランザクションの回復処理に必要な情報が取得できません。

J2EE サーバの起動を中断します。

対処

トランザクションの対処

システムに関連づけられているリソースに残留トランザクションがあるかを調べてください。システムに関連づけられているリソースの情報を確認し，残留しているトランザクションがある場合は，連携している各リソースとトランザクションの整合性が取れるように手動でコミット，またはロールバックを実施してください。

J2EE サーバの対処

J2EE サーバを再セットアップしてください。

KDJE30070-E

Could not delete a file(aa....aa).

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルが削除できません。ファイルを使用中か，またはファイルを削除する権限がない可能性があります。

対処

このメッセージの直後に出力されているメッセージ「KDJE30003-W」の対処を実施してください。

KDJE30200-I

The server migration is in progress. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

サーバ（aa....aa）の環境移行中です。

KDJE30201-I

No server needs to be migrated.

説明

cjenvupdate コマンドで移行が必要なサーバはありません。

KDJE30202-E

The Deployment Descriptor cannot be converted. File = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：DD 名

bb....bb：障害理由

説明

DD（aa....aa）の形式に誤りがあり，新環境形式の DD に変換できません。

対処

cjenvupdate コマンドの実行形態に合わせて，対処してください。

通常移行の場合

障害理由を基に DD を修正して，再度 cjenvupdate コマンドを実行してください。障害理由が nnnn（n は数字）で始まるメッセージについては，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。

修正できない場合は，保守員に連絡してください。

強制移行の場合

この DD を含むアプリケーションまたはリソースは，新環境へ移行されません。

これらのアプリケーションまたはリソースを新環境で使用したい場合は，リソースの再インポート，アプリケーションの再作成などをする必要があります。

KDJE30203-I

Usage: cjenvupdate [-f]

説明

cjenvupdate コマンドの使用方法です。

KDJE30204-I

The server checking is in progress. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

サーバ（aa....aa）内にある DD が，新バージョンで使用される形式のものに変換できるかどうかをチェックしています。

KDJE30205-E

The server will not be migrated because a problem occurred in the Deployment Descriptor. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

新環境形式へ変換できない DD があるため，サーバ（aa....aa）を移行しません。

対処

「KDJE30202-E」の対処方法に従って DD を修正したあと，再度 cjenvupdate コマンドを実行してください。

KDJE30206-I

No problem exists in the Deployment Descriptors in the server. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

サーバ（aa....aa）のすべての DD が新環境形式へ変換できるため，引き続きサーバを移行します。

KDJE30207-W

The Resource Descriptor cannot be converted. File = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：DD 名

bb....bb：障害理由

説明

リソースの DD（aa....aa）が変換できません。

サーバ内の全 DD をチェック終了後，このメッセージ以外に「KDJE30202-E」または「KDJE37022-E」が出力されていない場合，サーバを強制移行します。

対処

同一サーバ内の DD チェック中に，「KDJE30202-E」または「KDJE37022-E」が出力されている場合，各メッセージでの対処をしたあと，再度 cjenvupdate コマンドを実行してください。対処方法については，各メッセージの対処の説明に従ってください。

KDJE30208-W

The server will be migrated because a problem occurred only in the Resource Descriptor and the reference resolution of the application definition. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

リソースの DD とアプリケーション定義のリファレンス解決以外に問題はなかったため，引き続き環境を強制移行します。

変換できない DD を含むリソースは移行されません。また，問題があるリソースをリファレンス解決に指定しているアプリケーションのデプロイは失敗します。環境移行後に使用する場合は，リソースとアプリケーションを再設定してください。

対処

移行されなかったリソースを使用したい場合，移行後に再度リソースのインポートを実行してください。リファレンス解決に問題があったアプリケーションは，デプロイできません。適切なリソースを使用してリファレンス解決を行ってください。

KDJE30209-E

An unexpected exception has occurred. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

予期しない例外が発生しました。

サーバ（aa....aa）は移行しません。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE30220-I

Migration of the definition files of the old version is in progress.

説明

旧バージョンの定義ファイルの移行中です。

KDJE30221-I

The definition files of the old version have been migrated successfully.

説明

旧バージョンの定義ファイルの移行が正常に終了しました。

KDJE30222-W

The definition files of the old version have been migrated with errors. Some definition files could not be migrated.

説明

一部の定義ファイルの移行に失敗しました。

移行できなかった定義ファイルが J2EE サーバの usrconf.cfg の場合は，旧バージョンの定義ファイルのままで，移行されていません。それ以外の定義ファイルは，このバージョンのデフォルトの定義ファイルに置き換えられています。

対処

移行できなかった定義ファイルの情報が，このメッセージが出力される前に「KDJE30225-W」または「KDJE30226-W」で出力されています。それぞれのメッセージに従って対処してください。

KDJE30223-E

An unexpected exception has occurred.

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE30224-E

The attempt to migrate the definition files of the old version has failed. File = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：移行できなかったファイル

bb....bb：移行失敗理由

説明

旧バージョンの定義ファイルの移行に失敗しました。

定義の移行処理は中断されます。

対処

移行失敗理由（bb....bb）を基に対処してください。理由から要因が特定できない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE30225-W

The default definition files will be used because the attempt to migrate the definition files of the old version failed. File = aa....aa, Backup = bb....bb

aa....aa：移行できなかったファイル

bb....bb：このファイルのバックアップファイル

説明

旧バージョンの定義ファイルの移行ができませんでした。

移行できなかった定義ファイルは，このバージョンのデフォルトの定義ファイルに置き換えられています。

対処

旧バージョンの定義ファイルを使用する場合，bb....bb が示す旧バージョンの定義ファイルのバックアップを基に，手動で定義を移行してください。

KDJE30226-W

A problem occurred during migration of the definition file. The definition file will not be migrated. File = aa....aa

aa....aa：移行できなかったファイル

説明

旧バージョンの定義ファイルの移行に失敗しました。

移行に失敗した定義ファイルは移行されず，旧バージョンの定義ファイルがそのまま使用されます。

対処

新環境用の定義を使用する場合は，手動で定義ファイルを設定してください。

KDJE30230-W

The deletion of the file has failed. File = aa....aa

aa....aa：削除できなかったファイル

説明

ファイルの削除に失敗しました。

要因として次のことが考えられます。

- ファイルの削除権限がない。
- ディスク装置が壊れるなど，ディスク装置に障害が発生している。

対処

要因に応じて対処してください。

ファイルの削除権限がない場合

正しい権限を持ったユーザが削除を実行してください。

ディスク装置が壊れている場合

システムの管理者に連絡して，装置を交換してください。

上記の要因に当てはまらないときは，保守員に連絡してください。

KDJE30231-W

The deletion of the directory has failed. Directory = aa....aa

aa....aa：削除できなかったディレクトリ

説明

ディレクトリの削除に失敗しました。

要因として次のことが考えられます。

- ディレクトリの削除権限がない。
- ディスク装置が壊れるなど，ディスク装置に障害が発生している。

対処

要因に応じて対処してください。

ディレクトリの削除権限がない場合

正しい権限を持ったユーザが削除を実行してください。

ディスク装置が壊れている場合

システムの管理者に連絡して，装置を交換してください。

上記の要因に当てはまらないときは，保守員に連絡してください。

KDJE30232-W

The file could not be copied from aa....aa to bb....bb because of the reason cc....cc. Check the file status.

aa....aa：コピー元ファイル名称

bb....bb：コピー先ファイル名称

cc....cc：詳細情報

説明

ファイルのコピーに失敗しました。

要因として次のことが考えられます。

- ディスクの空き容量が不足している。
- ディスク装置が壊れるなど，ディスク装置に障害が発生している。

対処

要因に応じて対処してください。

ディスクの空き容量が不足している場合

不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先に変更してください。

ディスク装置が壊れている場合

システムの管理者に連絡して，装置を交換してください。

上記の要因に当てはまらないときは，保守員に連絡してください。

KDJE30233-E

The creation of the file has failed. File name = aa....aa

aa....aa：ファイル名称

説明

ファイルの作成に失敗しました。

要因として次のことが考えられます。

- ディスクの空き容量が不足している。
- ディスク装置が壊れるなど，ディスク装置に障害が発生している。
- CC 下のファイルにアクセスしている。

対処

要因に応じて対処してください。

ディスクの空き容量が不足している場合

不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先に変更してください。

ディスク装置が壊れている場合

システムの管理者に連絡して，装置を交換してください。

CC 下のファイルにアクセスしている場合

出力されたファイル名を確認し，対処してください。

- ファイル名称が「cjupdate.properties」の場合

  cjupdate.properties.tmp にアクセスしていないことを確認後，cjupdate.properties.tmp のファイル名称を「cjupdate.properties」に変更し，cjenvupdate コマンドを再実行してください。

- ファイル名称が「cjupdate.migratefiles.properties」の場合

  cjupdate.migratefiles.properties.tmp にアクセスしていないことを確認後，cjupdate.migratefiles.properties.tmp のファイル名称を「cjupdate.migratefiles.properties」に変更し，cjenvupdate コマンドを再実行してください。

- ファイル名称が「usrconf.properties.envupdate_bak」の場合

  usrconf.properties にアクセスしていないことを確認後, cjenvupdate コマンドを再実行してください。

- ファイル名称が「server.policy.envupdate_bak」の場合

  server.policy にアクセスしていないことを確認後，cjenvupdate コマンドを再実行してください。

- ファイル名称が「web.policy.envupdate_bak」の場合

  web.policy にアクセスしていないことを確認後，cjenvupdate コマンドを再実行してください。

- ファイル名称が「usrconf.properties」の場合

  usrconf.properties.envupdate_bak にアクセスしていないことを確認後，usrconf.properties.envupdate_bak のファイル名称を「usrconf.properties」に変更し，cjenvupdate コマンドを再実行してください。

- ファイル名称が「server.policy」の場合

  server.policy.envupdate_bak にアクセスしていないことを確認後，server.policy.envupdate_bak のファイル名称を「server.policy」に変更し，cjenvupdate コマンドを再実行してください。

- ファイル名称が「web.policy」の場合

  web.policy.envupdate_bak にアクセスしていないことを確認後, web.policy.envupdate_bak のファイル名称を「web.policy.envupdate」に変更し cjenvupdate コマンドを再実行してください。

上記の要因に当てはまらないときは，保守員に連絡してください。

KDJE30234-E

The directory was not found. Directory name = aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名称

説明

ディレクトリが見つかりません。

対処

アプリケーションが実行に必要なディレクトリが作成されているかを確認してください。

KDJE30250-I

Usage: cjstartrecover [cjstartsv'sOption] [[-p key=value] ...] [-t watchTime]

説明

cjstartrecover の使用方法です。

KDJE30251-E

An invalid option was specified. Option name = aa....aa

aa....aa：無効なオプション名

説明

無効なオプションが指定されています。

対処

指定オプションを確認し，再度実行してください。

KDJE30252-E

A timeout occurred on the J2EE server in recovery mode. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名称

説明

リカバリモードで起動中の J2EE サーバに，タイムアウトが発生しました。

リソースに未解決のトランザクションが残っている可能性があります。

対処

再度，リカバリモードで J2EE サーバを開始させて，トランザクションの回復処理を行ってください。

KDJE30253-E

Only the Cosminexus Component Container administrator can execute this command.

説明

Component Container 管理者以外のユーザは，このコマンドを実行できません。

対処

Component Container 管理者で，このコマンドを実行してください。インストールディレクトリ（/opt/Cosminexus/CC をシンボリックリンクしている場合は，リンク先ディレクトリ）の属性（オーナー，グループ）が，Component Container 管理者および Component Container 管理者のプライマリグループと一致していることを確認してください。一致していない場合は，一致させてください。

KDJE30254-I

Usage:

Format1: cjrarupdate -type { dbconnector | rar } [-force] [-f rarfile ...] [-backupto directory]

Format2: cjrarupdate -recoverfrom directory

説明

cjrarupdate コマンドの使用方法です。

KDJE30255-E

An attempt to acquire the location of the public directory of the J2EE server has failed. Reason = aa....aa

aa....aa：理由

説明

J2EE サーバの作業ディレクトリの場所が取得できませんでした。

対処

障害理由の内容に応じて，対処してください。

KDJE30256-E

An attempt to read the property file has failed. File = aa....aa

aa....aa：読み込みに失敗したファイル（フルパス）

説明

プロパティファイルの読み込みができませんでした。

対処

読み込み対象プロパティファイルが存在するか，ファイルに読み込み権限があるかを確認してください。

KDJE30257-E

The installation directory of Cosminexus Component Container could not be acquired.

説明

Component Container のインストール先がわかりません。

対処

Component Container が正しくインストールされているかどうかを確認してください。

KDJE30258-E

An unexpected exception occurred. Detail = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE30259-W

The value aa....aa of the option bb....bb is invalid. The cc....cc value will be used.

aa....aa：不正な値

bb....bb：オプション名

cc....cc：採用する値

説明

オプション bb....bb の値 aa....aa は不正です。

値 cc....cc を採用します。

対処

オプションの指定値を見直してください。

KDJE30260-I

The environment of the public directory will now be migrated. (Stage aa....aa of bb....bb)

aa....aa：現在のステージ数

bb....bb：全ステージ数

説明

J2EE サーバ用作業ディレクトリの環境を移行します。

KDJE30261-I

The environment of the public directory has been migrated. (Stage aa....aa of bb....bb)

aa....aa：現在のステージ数

bb....bb：全ステージ数

説明

J2EE サーバ用作業ディレクトリの環境を移行しました。

KDJE30262-I

The data source will now be migrated to the J2EE resource adapter. Data source display name = aa....aa

aa....aa：データソース表示名

説明

データソースを J2EE リソースアダプタに移行します。

KDJE30263-I

The data source has been migrated to the J2EE resource adapter. J2EE resource adapter display name = aa....aa

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

データソースを J2EE リソースアダプタに移行しました。

KDJE30264-E

The J2EE server has been started. Server name = aa....aa

aa....aa： J2EE サーバ名

説明

起動済みの J2EE サーバがあるため，コマンドが実行できません。

コマンドの実行を中断します。

対処

起動している J2EE サーバを停止したあと，再度コマンドを実行してください。

KDJE30265-E

An attempt to create a backup for the public directory has failed. (Directory = aa....aa, Backup directory = bb....bb)

aa....aa：ディレクトリ名称

bb....bb：バックアップディレクトリ名称

説明

作業ディレクトリのバックアップの作成に失敗しました。

要因として次のことが考えられます。

- 作業ディレクトリ下のファイルにアクセスしている。

対処

作業ディレクトリ下のファイルにアクセスしていないことを確認後，cjenvupdate コマンドを再実行してください。

KDJE30300-W

The performance trace is unavailable due to failure of initialization. (reason = aa....aa)

aa....aa：障害理由コード

説明

初期化に失敗したため，PRF トレースを取得できません。

対処

障害理由コード（aa....aa）の内容を基に，対処してください。

障害理由コード（aa....aa）に示される内容を次の表に示します。

表 7-1　KDJE30300-W に示される障害理由コード一覧

障害理由コード	エラーの要因	対処
-1	環境変数「PRFSPOOL」が設定されていません。または，環境変数「PRFSPOOL」で設定したディレクトリが存在しません。	環境変数「PRFSPOOL」が設定されているかどうか，またはディレクトリが存在するかどうかを確認してください。
-2	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理でエラーが発生しました。	PRF デーモンが起動していない可能性があります。 PRF デーモンが起動されているかどうかを確認してください。また，定義ファイルの PRFID の指定を確認してください。
-3	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理でエラーが発生しました（システムコールのエラーなど）。	<環境変数 PRFSPOOL の設定ディレクトリ>¥log¥<PRF 識別子>（Windows の場合）または$PRFSPOOL/log/<PRF 識別子>（UNIX の場合）の下にあるログファイルを参照してください。PRF のメッ

障害理由コード	エラーの要因	対処
-3	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理でエラーが発生しました（システムコールのエラーなど）。	セージを調べ，要因を確認して，対処してください。
-4	PRF デーモンのサービスで必要となるライブラリのロードに失敗しました。	次の要因が考えられます。 • Performance Tracer がインストールされていない。 • クラスパスに PRF トレース出力ライブラリが指定されていない。 • 環境変数に誤りがある。 エラーの要因を修正したあと，再度実行してください。

KDJE30310-W

The J2EE server has stopped monitoring the resources because the number of used aa....aa(s) could not be retrieved.

aa....aa：監視対象

file descriptor：ファイルディスクリプタ監視

thread：スレッド監視

説明

このプラットフォームでは aa....aa の使用値が取得できないため，リソースの監視を停止します。

対処

ファイルディスクリプタ（ejbserver.watch.fileDescriptor.enabled）またはスレッド（ejbserver.watch.thread.enabled）の監視のプロパティを無効（false）にしてください。

KDJE30311-W

The threshold set for aa....aa exceeds the system maximum. The system maximum will be used. User-specified value = bb....bb, System value = cc....cc

aa....aa：監視対象

file descriptor：ファイルディスクリプタ監視

thread：スレッド監視

bb....bb：ユーザ指定値

cc....cc：システム上限値

説明

ユーザ指定の aa....aa のしきい値が，システムの上限値を超えて設定されています。

しきい値をシステムの上限値にして監視します。

対処

ユーザ指定値（ファイルディスクリプタ=ejbserver.watch.fileDescriptor.threshold，スレッド=ejbserver.watch.thread.threshold）またはシステム上限値を見直してください。なお，Management Server の起動時にこのメッセージが出力されても，動作上問題ありません。

KDJE30380-E

An attempt to acquire the Cosminexus configuration information has failed. Reason = aa....aa

aa....aa：障害理由

説明

アプリケーションサーバの共通情報の取得に失敗しました。

対処

障害理由（aa....aa）の内容を基に，対処してください。

障害理由（aa....aa）には次の内容が示されます。

Environment is invalid.

アプリケーションサーバが正しくインストールされていないおそれがあります。

正しくインストールされているかどうかを確認してください。

Load library failed.

ライブラリのロードに失敗しました。usrconf.cfg のプロパティ cpp.library.version の指定値を見直してください。

cpp.library.version の指定値に問題がない場合は，アプリケーションサーバが正しくインストールされていないおそれがあります。正しくインストールされているかどうかを確認してください。

Unexpected error has occurred.

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE30400-I

The user log environment setup will now start.

説明

プロパティファイルに設定されている値を基に，ユーザログ環境の構築を開始します。

KDJE30401-I

The user log environment setup has been terminated.

説明

ユーザログ環境の構築を終了しました。

KDJE30402-I

The creation of the Handler object has been completed with the following attribute. Attribute: ClassName = aa....aa[; HandlerName = bb....bb[, path = cc....cc] [, count = dd....dd] [, limit = ee....ee] [, level = ff....ff] [, filter = gg....gg] [, formatter =hh....hh] [, encoding = ii....ii] [, appname = jj....jj] [, msgid = kk....kk] [, separator = ll....ll]]

aa....aa：Reflection で作成したクラス名

次からは，値が null ではない場合に表示されます。

bb....bb：指定されているハンドラ名

cc....cc：ログファイル名のプリフィックス

dd....dd：ログファイルの最大面数

ee....ee：ログファイルの最大容量

ff....ff：ログの出力レベルの上限

gg....gg：接続するフィルタクラス
hh....hh：接続するフォーマッタクラス
ii....ii：出力エンコード
jj....jj：ログ出力時に指定がなかった場合に AppName フィールドへ出力するデフォルト値
kk....kk：ログ出力時に指定がなかった場合に MsgID フィールドへ出力するデフォルト値
ll....ll：CJSimpleFormatter などで使用する情報要素間のセパレータ文字列

説明

ハンドラオブジェクトの作成が終了しました。
ハンドラは「ClassName」から始まる構成で作成されています。

KDJE30403-I

A Logger object has been created with the following attribute. Attribute: LoggerName = aa....aa[; ResourceBundleName = bb....bb] [, useParentHandlers = cc....cc] [, level = dd....dd] [, filter = ee....ee] [, ClassName = ff....ff] [; HandlerName = gg....gg]

aa....aa：ロガー名
bb....bb：リソースバンドル名
cc....cc：親ロガーへの伝播設定（true：伝播する，false：伝播しない）
dd....dd：ロガーのメッセージフィルタレベル
ee....ee：ロガーに接続指定されたフィルタクラス
ff....ff：ロガーに接続されているハンドラのクラス名
gg....gg：ハンドラを初期化する際に使用した設定の識別名

説明

Logger オブジェクトの作成が終了しました。
ロガーは「LoggerName」から始まる構成で作成されています。

KDJE30404-I

The log file aa....aa was closed successfully.

aa....aa：ファイル名

説明

ログファイル（aa....aa）のクローズが正常に完了しました。

KDJE30405-I

All the Logger objects and Handler objects managed by LogManager will be closed and the deletion of Loggers and Handlers from LogManager will now be started.

説明

LogManager の管理しているロガーおよびハンドラをすべて閉じて，LogManager から削除する処理を開始しました。

KDJE30406-I

The deletion of Logger objects and Handler objects from LogManager has finished.

説明

LogManager からロガーおよびハンドラを削除する処理を終了しました。

KDJE30410-W

The value aa....aa of the property key bb....bb is invalid. The cc....cc value will be used.

aa....aa：実際に設定されていた値

bb....bb：プロパティキー

cc....cc：その時点で有効となっている値

説明

プロパティキー（bb....bb）に不正な値が指定されています。値が不正なため，現時点で有効な設定値（cc....cc）を使用します。

cc....cc は通常，デフォルト値，またはユーザプロパティファイルの ejbserver.application.userlog.CJLogHandler.<handler-name>.*キーおよび ejbserver.application.userlog.Logger.<logger-name>.*キーの<handler-name>="default", <logger-name>="default"の値です。

対処

プロパティキーの値，およびセキュリティ権限が正しいかどうかを確認してください。

KDJE30411-W

The specified class is invalid. This class was not created. ClassName = aa....aa[, HandlerName = bb....bb]

aa....aa：クラス名

次の値は存在する場合に表示されます。

bb....bb：コンストラクタ引数

説明

指定されたクラス（aa....aa）は不正，またはリフレクションを用いてこのクラスを作成するセキュリティ権限がないなどの理由で，作成できませんでした。

対処

プロパティキーの値，およびセキュリティ権限などを見直してください。

KDJE30413-W

The specified parameter aa....aa is too long. This value was truncated at the maximum length.

aa....aa：パラメタ名

説明

指定されたパラメタ（aa....aa）の値は長過ぎます。

このパラメタの値は，最大長の範囲で設定されました。

対処

パラメタ（aa....aa）の値の最大長を確認して，正しい値を指定してください。

KDJE30420-E

An attempt to read the property file name aa....aa has failed. Make sure that the property file exists.

aa....aa：ファイル名

説明

プロパティファイル名（aa....aa）の読み込みに失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。

- **プロパティファイルがディスク上に存在しない**
  ユーザプロパティファイルがない場合，templates フォルダからデフォルトのユーザプロパティファイルをコピーしてください。
- **プロパティファイルの読み込み権限がない**
  読み込み権限を付与してください。
- **実行するプログラム上からプロパティファイルを読み込むセキュリティ権限がない**
  プロパティの読み込みセキュリティ権限を付与してください。

上記の要因に当てはまらない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE30421-E

The setup has failed. If there is not enough space on the disk, then either change the output destination or delete unnecessary files to acquire enough space on the disk. ClassName = aa....aa[; HandlerName = bb....bb], path = cc....cc

aa....aa：クラス名

bb....bb：ハンドラ名

cc....cc：ファイルパス

説明

クラス（aa....aa）のセットアップに失敗しました。

対処

ディスク上の空き容量が不足している場合は，出力先を変更するか，不要なファイルを削除して十分な空き容量を確保してください。ファイルの書き込み権限や，セキュリティのファイル出力権限がない場合は，これらの権限を付与してください。

ハンドラのセットアップに失敗した場合に考えられる要因を，次に示します。

- **ディスクの空き容量が不足している**
  不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先へ変更してください。
- **すでに同じ名称で読み取り専用，または実行中・オープン中のファイルが存在する，または更新権限のないファイルが存在する**
  適切な権限を持つファイルへ出力するように指定してください。
- **ファイル名と同じ名称のディレクトリがすでに存在する，またはディレクトリに書き込み権限がない**
  適切な権限を持つディレクトリ，ファイルへ出力するように指定してください。
- **ディスク装置に障害がある**
  システム管理者へ連絡してください。
  システム管理者は，装置を交換してください。

上記の要因に当てはまらない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE30423-E

An error has occurred during writing the message aa....aa into the file bb....bb.

aa....aa：出力しようとしたメッセージの内容

bb....bb：ログファイル名

説明

ファイル名（bb....bb）へメッセージ（aa....aa）を出力中にファイルの入出力エラーが発生しました。

対処

データ出力時にファイルの入出力エラーが発生した場合，次の要因が考えられます。

- **ディスクの空き容量が不足している**

  不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先へ変更してください。

- **ディスク装置に障害がある**

  システム管理者へ連絡してください。

  システム管理者は，装置を交換してください。

上記の要因に当てはまらない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE30424-E

The full path name of the file aa....aa is too long. The maximum length is bb....bb bytes.

aa....aa：ログファイル名（フルパス名）

bb....bb：ログファイル名の最大長

説明

ファイルのフルパス名（aa....aa）が制限を超えています。

ログファイル名の最大長（bb....bb）の範囲で指定してください。

対処

ログファイルの出力先，およびファイル名を見直してください。

KDJE30429-E

The FileHandler aa....aa specified with the same path bb....bb exists. The value of the path must be unique between each FileHandler.

aa....aa：ハンドラ名

bb....bb：ファイル名

説明

同じパスを指定した設定で，ハンドラを初期化しようとしました。

ハンドラのパスの値は，利用するハンドラ間で一つだけになるように指定してください。また，パスの値は大文字・小文字の区別がされないため，大文字・小文字だけが異なる文字列は指定できません。

対処

生成対象となっている各ハンドラを異なるパス値で初期化できるように，プロパティの定義を見直してください。

KDJE30430-E

The setup for the user log manager's properties performed during initializing the user log manager has failed.

説明

サーバ起動時にする，ユーザログマネジャのプロパティのセットアップ中にエラーが発生し，プロパティのセットアップに失敗しました。

「KDJE30420-E」のメッセージが同時に出力されている場合は，プロパティファイルの読み込みに失敗しています。

対処

「KDJE30420-E」のメッセージが同時に出力されている場合は，「KDJE30420-E」のメッセージの対処を行ってください。そのほかの場合は，保守員に連絡してください。

KDJE30431-E

An attempt to setup the handler has failed because an error was detected. ClassName = aa....aa[; HandlerName = bb....bb]

aa....aa：クラス名

bb....bb：ハンドラ名

説明

エラーがあったため，ハンドラ（bb....bb）のセットアップに失敗しました。

対処

クラス名とハンドラ名を基に，このメッセージより前に出力されているエラーの内容を確認してください。

KDJE30432-E

The specified logger is invalid. This logger was not created. LoggerName = aa....aa[; ResourceBundleName = bb....bb]

aa....aa：ロガー名

bb....bb：リソースバンドル名

説明

指定されたロガー（aa....aa）は不正です。

このロガーは作成されませんでした。

対処

リソースバンドル名に指定できる値の規則を確認して，正しい値を指定してください。

KDJE30433-E

An attempt to read the system properties has failed, in the user log function of the EJB client application.

説明

EJB クライアントアプリケーションのユーザログ機能で，システムプロパティの読み込みに失敗しました。

実行するプログラム上から，システムプロパティを読み込むセキュリティ権限がありません。

対処

システムプロパティの読み込みセキュリティ権限を付与してください。

KDJE31000-I

OTS mode is enabled.

説明

OTS モードで J2EE サーバを起動します。

OTS を使用して XA トランザクションの決着ができます。

KDJE31001-I

Non-OTS mode is enabled.

説明

非 OTS モードで J2EE サーバを起動します。

OTS を使用した XA トランザクションの決着はできません。

KDJE31002-W

A transaction timeout occurred. (application = aa....aa, component = bb....bb, txid = cc....cc, PRF = dd....dd/ee....ee/ff....ff)

aa....aa：トランザクションを開始した J2EE アプリケーション名（別のサーバでトランザクションを開始した場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

bb....bb：トランザクションを開始した J2EE コンポーネント（EJB/Servlet/JSP）のクラス名+'@'+インスタンスのハッシュコード（別のサーバでトランザクションを開始した場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：タイムアウトしたトランザクションの内部 ID

dd....dd：タイムアウトしたトランザクションの IP アドレス

ee....ee：タイムアウトしたトランザクションのプロセス ID

ff....ff：タイムアウトしたトランザクションのルートアプリケーション情報

説明

トランザクションタイムアウトが発生したため，トランザクションはロールバックされます。

対処

トランザクション内で行う処理に時間が掛かっていないかどうかを確認し，時間が掛かっている場合は，その要因を取り除いてください。トランザクション内で行う処理に掛かる時間が妥当である場合は，タイムアウトが発生するまでの時間を長くすることを検討してください。

KDJE31004-I

Light transaction is enabled.

説明

ローカルトランザクションに最適化されています。

OTS を使用した XA トランザクションは決着できません。

KDJE31005-E

The value of ejbserver.jta.TransactionManager.defaultTimeOut property is invalid. The default value will be used. (180sec)

説明

ejbserver.jta.TransactionManager.defaultTimeOut キーの値が無効な値です。デフォルト値（180秒）を使用します。

有効な値は，1～2147483647 の整数値です。

対処

ejbserver.jta.TransactionManager.defaultTimeOut キーに無効な値が指定されていないことを確認してください。

KDJE31006-E

Specified transaction timeout value is invalid.

説明

指定されたトランザクションタイムアウト値が不正です。

有効な値は，0～2147483647 の整数です。

対処

タイムアウト値に無効な値（0～2147483647 の整数値以外）が指定されていないことを確認してください。

KDJE31007-E

Any non-XA Resource cannot be enlisted to global transactions.

説明

グローバルトランザクションに，非 XA リソースは参加できません。

グローバルトランザクションには，XA リソースだけが参加できます。

対処

グローバルトランザクションに，非 XA リソースを参加させていないことを確認してください。

KDJE31008-E

The local transaction already has a non-XA Resource and cannot have more than two resources.

説明

ローカルトランザクションには，すでに一つの非 XA リソースが参加しています。このため，リソースを参加させることはできません。

対処

ローカルトランザクションに，複数のリソースを参加させていないことを確認してください。複数のリソースを参加させる場合は，グローバルトランザクションを使用して，XA リソースを参加させてください。

KDJE31009-E

No nested transaction is supported.

説明

ネストしたトランザクションはサポートされていません。

対処

ネストしたトランザクションは使用しないでください。

KDJE31010-W

Unclosed connection was forced to close. (componentInstance=aa....aa, resourceHandle=bb....bb, resource=cc....cc)

aa....aa：コンポーネント情報

bb....bb：リソースハンドル情報

cc....cc：リソース情報

説明

J2EE アプリケーションで，コネクションのクローズが未完了で終了しています。

クローズされていないコネクションを強制的にクローズしました。

対処

コネクションのクローズ漏れがないように，J2EE アプリケーションを修正してください。

KDJE31011-E

The transaction has been rolled back, not committed. (cause=aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

トランザクションはロールバックしているため，コミットできません。

対処

次の内容を確認してください。

1. J2EE アプリケーションで，コミット前の状態でロールバックにマークしていないことを確認してください。
2. 1.を確認して，マークされていない場合は，トランザクション内の処理に時間が掛かっていないかどうかを確認してください。時間が掛かっている場合は，その要因を取り除いてください。
3. 2.を確認して，トランザクション内の処理に掛かる時間が妥当な場合は，タイムアウトが発生するまでの時間を長くすることを検討してください。

上記の内容を確認しても要因を取り除けない場合は，例外情報やほかのメッセージを参照して，ロールバックした要因を取り除いてください。

KDJE31012-E

A heuristic exception occurred. (cause=aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

ヒューリスティック例外が発生しました。

ヒューリスティック例外は，グローバルトランザクションに参加している一部のリソースマネジャが一方的に決着した場合に発生します。ヒューリスティック例外の要因は，ネットワーク障害などで正常な処理ができなかったことが考えられます。

グローバルトランザクションに参加している一部のリソースマネジャが一方的に決着した場合，リソースマネジャ間で，トランザクションの一貫性が保てないことがあります。

対処

リソースマネジャでトランザクションの状態を確認してください。詳細については，マニュアル「TPBroker ユーザーズガイド」を参照ください。

KDJE31013-E

The transaction having non-XA resource cannot be exported; the 2-phase commit has not done.

説明

非 XA リソースが参加するトランザクションをエクスポートできません（2 フェーズコミットできません）。

対処

ローカルトランザクション内で，リモートを呼び出さないでください。

KDJE31014-E

The global transaction could not be started. (cause=aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

グローバルトランザクションを開始できません。

対処

トランザクションサービスに関する設定を確認してください。確認する際は，次の内容を確認してください。

- スマートエージェントが稼働しているかどうか。
- スマートエージェントのポート指定で，システム環境変数「OSAGENT_PORT」と vbroker.agent.port キーが一致しているかどうか。
- TCS が稼働しているかどうか。
- TPBroker のブランチ数が適切であるかどうか。
  設定方法については，マニュアル「TPBroker ユーザーズガイド」を参照してください。

KDJE31015-I

OTS in-process mode is enabled.

説明

OTS を使用して XA トランザクションの決着ができます。

KDJE31016-W

A transaction has been forced to timeout. (application = aa....aa, component = bb....bb, txid = cc....cc, PRF = dd....dd/ee....ee/ff....ff)

aa....aa：トランザクションを開始した J2EE アプリケーション名（別のサーバでトランザクションを開始した場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

bb....bb：トランザクションを開始した J2EE コンポーネント（EJB/Servlet/JSP）のクラス名+'@'+インスタンスのハッシュコード（別のサーバでトランザクションを開始した場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：ロールバックしたトランザクションの内部 ID

dd....dd：ロールバックしたトランザクションの IP アドレス

ee....ee：ロールバックしたトランザクションのプロセス ID

ff....ff：ロールバックしたトランザクションのルートアプリケーション情報

説明

アプリケーションが強制停止されたため，実行中のトランザクションを強制的にタイムアウトしました。

対処

トランザクション内で行う処理に予測以上に時間が掛かっていないかどうかを確認し，時間が掛かっている場合は，その要因を取り除いてください。

KDJE31017-I

A client transaction was marked for rollback.

説明

EJB 呼び出しでシステム例外が発生した場合，現在の usrconf.properties の設定では，クライアントトランザクションをロールバックにマークします。

対処

EJB 呼び出しでシステム例外が発生した場合，クライアントトランザクションをロールバックにマークさせないようにするには，usrconf.properties に次のプロパティを設定してください。

ejbserver.distributedtx.rollbackClientTxOnSystemexception=false

KDJE31018-E

The cjlisttrn command cannot be supported because light transaction is enabled.

説明

cjlisttrn コマンドは，インプロセストランザクションサービスの有効時に，グローバルトランザクションの情報表示をサポートします。そのため，ライトトランザクションの有効時には，cjlisttrn コマンドは使用できません。

対処

次の点を確認して，再度コマンドを実行してください。

- J2EE サーバの起動モードが，1.4 モードである。
- ライトトランザクション機能が無効である。
- インプロセストランザクションサービスが有効である。

KDJE31019-E

The cjlisttrn command cannot be supported because out-process transaction service is enabled.

説明

cjlisttrn コマンドは，インプロセストランザクションサービスの有効時にサポートします。そのため，アウトプロセストランザクションサービスの有効時には，cjlisttrn コマンドは使用できません。

対処

アウトプロセストランザクションサービス用のトランザクション情報表示コマンドを使用してください。

KDJE31020-E

The cjlisttrn command cannot be supported because basic mode is enabled.

説明

cjlisttrn コマンドは，インプロセストランザクションサービスの有効時に，グローバルトランザクションの情報表示をサポートします。そのため，ベーシックモードでは cjlisttrn コマンドは使用できません。

対処

次の点を確認して，再度コマンドを実行してください。

- J2EE サーバの起動モードが，1.4 モードである。
- ライトトランザクション機能が無効である。
- インプロセストランザクションサービスが有効である。

KDJE31021-W

A transaction timeout occurred. (threadName = aa....aa, threadHashCode=bb....bb)

aa....aa：トランザクションを開始したスレッド名

bb....bb：トランザクションを開始したスレッドのハッシュコード

説明

EJB クライアントで開始されたトランザクションでタイムアウトが発生したため，トランザクションはロールバックされます。

対処

トランザクション内で行う処理に時間が掛かっていないかどうかを確認し，時間が掛かっている場合は，その要因を取り除いてください。トランザクション内で行う処理に掛かる時間が妥当である場合は，タイムアウトが発生するまでの時間を長くすることを検討してください。

KDJE31022-E

Using the UserTransactionFactory is not permitted in the J2EE server side.

説明

J2EE サーバ側で UserTransactionFactory を使用できません。UserTransactionFactory は EJB クライアント側でだけ使用できます。

対処

J2EE サーバ上で動作する EJB や Servlet から UserTransaction を取得するには，JNDI を使用してルックアップしてください。EJB の場合には，javax.ejb.EJBContext からも取得できます。

KDJE31023-E

The transaction is disabled in the client side.

説明

クライアント側でトランザクションが無効に設定されています。

対処

EJB クライアントでトランザクションを使用するには，ejbserver.client.transaction.enabled プロパティに「true」を指定してください。

KDJE31024-E

Failed to create UserTransaction. cause=aa....aa

aa....aa：UserTransaction の作成に失敗した原因

説明

UserTransaction の作成に失敗しました。

対処

原因（aa....aa）を確認して，対処してください。

KDJE31025-E

Failed to initialize transaction manager. cause=aa....aa

aa....aa：トランザクションマネージャの初期化に失敗した原因

説明

トランザクションマネージャの初期化に失敗しました。

対処

原因（aa....aa）を確認して，対処してください。

KDJE31026-E

Failed to load the ORBInitializer class. cause=aa....aa

aa....aa：ORBInitializer クラスのロードに失敗した原因

説明

ORBInitializer クラスのロードに失敗しました。

対処

原因（aa....aa）を確認して，対処してください。

KDJE31027-E

The OTS status directory path is not specified.

説明

EJB クライアントで，インプロセストランザクションサービスのステータスファイルを格納するディレクトリが指定されていません。

対処

EJB クライアントの起動バッチファイルで，ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1 プロパティでステータスファイルを格納するディレクトリを指定してください。

KDJE31028-E

This method is not supported. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

サポートされていないメソッドが呼ばれました。

対処

サポートされていないメソッドを呼ばないでください。

KDJE31030-E

The cjcommittrn, cjrollbacktrn and cjforgettrn command cannot be supported because light transaction is enabled.

説明

ライトトランザクション機能が有効なため，cjcommittrn コマンド，cjrollbacktrn コマンド，および cjforgettrn コマンドは使用できません。

対処

ライトトランザクション機能を無効にしてください。

KDJE31031-E

The cjcommittrn, cjrollbacktrn and cjforgettrn command cannot be supported because out-process transaction service is enabled.

説明

アウトプロセストランザクションサービスが有効なため，cjcommittrn コマンド，cjrollbacktrn コマンド，および cjforgettrn コマンドは使用できません。

対処

インプロセストランザクションサービスを有効にしてください。

KDJE31032-E

The cjcommittrn, cjrollbacktrn and cjforgettrn command cannot be supported because basic mode is enabled.

説明

ベーシックモードでは，cjcommittrn コマンド，cjrollbacktrn コマンド，および cjforgettrn コマンドは使用できません。

対処

J2EE サーバの起動モードを 1.4 モードにしてください。

KDJE31800-E

An attempt to obtain property aa....aa has failed.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティ（aa....aa）の取得に失敗しました。

処理を中止します。

対処

ユーザプロパティファイルに，プロパティが設定されているかどうかを確認してください。

KDJE31801-W

An attempt to obtain property aa....aa has failed. The default value bb....bb will be used.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティ（aa....aa）の取得に失敗しました。デフォルト値（bb....bb）を使用します。

処理を継続します。

対処

ユーザプロパティファイルに，プロパティが設定されているかどうかを確認してください。

KDJE31802-E

The property value is invalid.(aa....aa=bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

プロパティ値（bb....bb）が不正です。

処理を中止します。

対処

ユーザプロパティファイルに設定されたプロパティ値が正しいかどうかを確認してください。

KDJE31803-W

The specified property value is invalid.(aa....aa=bb....bb) The default value cc....cc will be used.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：設定されたプロパティ値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ値（bb....bb）が不正です。デフォルト値（cc....cc）を使用します。

処理を継続します。

対処

ユーザプロパティファイルに設定されたプロパティ値が正しいかどうかを確認してください。

KDJE31804-E

A fatal error occurred.(error information=aa....aa)

aa....aa：エラー情報

説明

致命的なエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE31805-I

A transaction recovery scan is executed. resource name=aa....aa

aa....aa：リソース名

説明

リソース（aa....aa）を走査して，未決着トランザクションが存在した場合，回復処理を実行します。

KDJE31806-E

An attempt to assign a transaction recovery port has failed.(port number=aa....aa)

aa....aa：割り当てに失敗したポート番号

説明

トランザクションの回復処理で使用するポート番号（aa....aa）の割り当てに失敗しました。

処理を中止します。

対処

システムプロパティファイル（sysconf.properties）またはユーザプロパティファイル（usrconf.properties）に設定された ejbserver.distributedtx.recovery.port キーに指定されているポート番号が，ほかのプロセスで使用されていないかどうかを確認してください。

KDJE31808-W

A resource for which a transaction was running has been deleted.(resource name=aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

トランザクション実行中のリソース（aa....aa）が削除されました。

対処

削除したリソースに未決着トランザクションが残っている可能性があります。

トランザクションの状態を確認してください。

対象リソースに未決着トランザクションが残っていた場合，リソースを再登録して，J2EE サーバを再度開始して回復処理を行ってください。

KDJE31809-W

The resource cannot be deleted because an incomplete transaction exists.(resource name=aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

未決着トランザクションが存在するため，リソース（aa....aa）を削除できませんでした。

対処

リソースに未決着のトランザクションが残っていないかどうか，OTS のコマンドなどで確認してください。

リソースが停止している場合は，リソースを起動してください。

未決着のトランザクションが存在する場合は，トランザクションが決着したあと，再度実行してください。

未決着のトランザクションが存在しない場合は，スマートエージェントのポート指定が正しいかどうか（システム環境変数「OSAGENT_PORT」とユーザプロパティファイルに設定した vbroker.agent.port キーが一致しているかどうか）を確認してください。

KDJE31810-I

The system is waiting for incomplete transactions.

説明

J2EE サーバ終了時に登録されているリソースのトランザクションがすべて決着するまで待ち合わせます。

J2EE サーバを強制的に停止させた場合，リソースに未決着のトランザクションが残っている可能性があります。

対処

リソースに未決着のトランザクションが残ってないかどうか，OTS のコマンドなどで確認してください。未決着のトランザクションが残っているときは，J2EE サーバを再度開始させて，トランザクションの回復処理をしてください。

また，トランザクションタイムアウト※で設定されている時間を過ぎても，J2EE サーバが停止しない場合は，次の内容を確認して，対処してください。

- リソースの設定が正しいかどうか。
- リソースが停止している場合は，リソースを起動する。
- J2EE サーバでメモリ不足などのエラーが発生していないかどうか。
- スマートエージェントのポート指定が正しいかどうか（システム環境変数「OSAGENT_PORT」とユーザプロパティファイルに設定した vbroker.agent.port キーが一致しているかどうか）。

注※

トランザクションタイムアウトとは，ユーザプロパティファイルの ejbserver.jta.TransactionManager.defaultTimeOut キーに設定されている値，および UserTransaction インタフェースの setTransactionTimeout メソッドで設定した値です。

KDJE31812-W

An attempt to establish a connection to the recovery resource has failed.(resource type=aa....aa, name=bb....bb, reason=cc....cc)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

cc....cc：例外情報

説明

トランザクションの回復対象リソース（bb....bb）への接続に失敗しました。

処理を継続します。

対処

対象リソースに接続できない要因を調査して，対処してください。

KDJE31813-I

The transaction recovery processing recovered a connection to the target resource.(resource type=aa....aa, resource name=bb....bb)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

説明

トランザクション回復処理で，対象リソース（bb....bb）への接続が復元されました。

KDJE31814-W

The XA resource cannot be acquired.(resource type=aa....aa, resource name=bb....bb)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

説明

トランザクションの回復に必要な XA リソース（bb....bb）を取得できませんでした。

この状態で J2EE サーバを終了またはリソースを削除した場合，対象リソースに未決着トランザクションが残る可能性があります。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- リソースの設定内容
- 対象リソースが起動しているかどうか
- ネットワーク障害が発生していないかどうか

対象リソースに未決着トランザクションが残っていた場合，J2EE サーバを再度開始して回復処理をしてください。

KDJE31815-E

You do not have permission to perform the recovery scan.(resource type=aa....aa, resource name=bb....bb)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

説明

対象リソースへ（bb....bb）の未決着トランザクションの走査に失敗したか，または適切な権限がありません。

この状態でトランザクションを開始できません。

対象となるリソースに接続できていない可能性があります。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- リソースの設定内容
- 対象リソースが起動しているかどうか
- ネットワーク障害が発生していないかどうか

対象リソースへ接続できている場合は，未決着トランザクションの走査ができるように，適切な権限を設定してください。設定に問題がない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE31816-I

Transaction completion check ended successfully. (resource type=aa....aa, resource name=bb....bb)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

説明

トランザクション決着確認処理が正常に終了しました。

KDJE31817-W

Pending transactions exist or recovery process is now in progress. (resource type=aa....aa, resource name=bb....bb)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

説明

未決着トランザクションが存在するか，リカバリ処理が進行中です。

対処

未決着トランザクションの決着，またはリカバリ処理の完了を待ってください。

KDJE31818-W

Establishing a recovery connection to the resource failed. (resource type=aa....aa, resource name=bb....bb)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

説明

リソースへのリカバリ用コネクションの確立に失敗しました。

リソースに接続できない要因として，次のことが考えられます。

- リソースが停止している。
- ネットワーク障害が発生している。
- リソースの設定が正しく行われていない。

対処

リソースに接続可能な状態であることを確認してください。

KDJE31819-W

Fetching pending transactions of the resource failed. (resource type=aa....aa, resource name=bb....bb)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース名

説明

リソースからの未決着トランザクションの取得に失敗しました。

未決着トランザクションの取得ができない要因として，次のことが考えられます。

- リソースへの接続ユーザに，未決着トランザクションを取得するための権限が設定されていない。

- リソースの設定が正しく行われていない。

対処

リソースから未決着トランザクションの取得が可能な状態であることを確認してください。

KDJE31820-W

Transaction completion check timed out. To recover pending transactions, restart the system.

説明

トランザクション決着確認処理がタイムアウトしました。

対処

未決着トランザクションの回復処理を行うには，システムを再起動してください。

KDJE32000-W

Cannot enlist two or more XAResources. Info=aa....aa

aa....aa：メソッド名

説明

JTA のトランザクションに二つ以上の別データソースを参加させようとしました。

JTA のトランザクションに参加させることができるのは，一つのデータソースだけです。

対処

複数のデータソースを一つのトランザクションに参加させていないか見直してください。また，同じデータソースでも，コネクションプーリングが無効のときは，別データソースとして扱われます。コネクションプーリングを有効にしてください。

KDJE34000-I

The SFO server application will now start.

説明

SFO サーバアプリケーションを起動します。

KDJE34001-E

An attempt to start the SFO server application failed because the -nosecurity option was not specified in the cjstartsv command.

説明

SFO サーバアプリケーションの起動に失敗しました。

cjstartsv コマンドに-nosecurity オプションが指定されていません。

対処

SFO サーバを停止後，cjstartsv コマンドに-nosecurity オプションを指定して起動してください。

KDJE34002-I

The SFO server application will now stop.

説明

SFO サーバアプリケーションを終了します。

KDJE34003-I

Replication of the global session information will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max sessions = cc....cc, max session info size = dd....dd, max inactive interval = ee....ee, lock timeout = ff....ff, GS control = gg....gg, GID cookie name = hh....hh, GID URL param name = ii....ii, jj....jj, kk....kk, replicatable type = ll....ll)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション数の最大値

dd....dd：グローバルセッション情報サイズの最大値（バイト）

ee....ee：グローバルセッションの有効期限（秒）

ff....ff：グローバルセッションへのロック待ちのタイムアウト値

gg....gg：グローバルセッションの制御方法

cookie：HTTP Cookie を使用して制御します。

url-rewriting：URL 書き換えを使用して制御します。

both：HTTP Cookie および URL 書き換えの両方を使用して制御します。

hh....hh：gg....gg が cookie，または both の場合はグローバルセッション ID の送信に使用する HTTP Cookie の名称。gg....gg が url-rewriting の場合は空文字列

ii....ii：gg....gg が url-rewriting，または both の場合はグローバルセッション ID の送信に使用する URL のパスパラメタ名。gg....gg が cookie の場合は空文字列

jj....jj：書き換え可能グローバルセッション情報のキーの設定値

キーの設定情報は次のどちらかの形式で出力します。

- RW key = <書き換え可能グローバルセッション情報のキーの設定値>
  グローバルセッション情報のキーの設定値は，セミコロン（;）を区切り文字とし，連結して出力されます。
  GSInfoKey-RW パラメタを省略した場合，キーの設定値には空文字列を出力します。
- RW key(*)
  HTTP セッションに登録されたセッション情報のうち，GSInfoKey-R パラメタで指定したキーで登録されたものを除く，すべてのセッション情報を書き換え可能グローバルセッション情報に設定した場合，"RW key(*)"を出力します。

kk....kk：読み込み専用グローバルセッション情報のキーの設定値

キーの設定情報は次のどちらかの形式で出力します。

- R key = <読み込み専用グローバルセッション情報のキーの設定値>
  グローバルセッション情報のキーの設定値は，セミコロン（;）を区切り文字とし，連結して出力されます。
  GSInfoKey-R パラメタを省略した場合，キーの設定値には空文字列を出力します。
- R key(*)
  HTTP セッションに登録されたセッション情報のうち，GSInfoKey-RW パラメタで指定したキーで登録されたものを除く，すべてのセッション情報を読み込み専用グローバルセッション情報に設定した場合，"R key(*)"を出力します。

ll....ll：引き継ぎ可能なセッション情報の型

String：java.lang.String クラスのオブジェクトだけ

String or byte[]：java.lang.String クラスのオブジェクト，または byte 配列

Serializable：直列化可能クラスのオブジェクト

説明

グローバルセッション情報の冗長化を開始します。

KDJE34004-E

There is not enough memory to start replicating the global session information. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max sessions = cc....cc, max session info size = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション数の最大値

dd....dd：グローバルセッション情報サイズの最大値（バイト）

説明

グローバルセッション情報の冗長化を開始するために必要なメモリが不足しています。

要因として，次のことが考えられます。

- SFO サーバに設定されたメモリ使用量の見積もりが誤っている
- J2EE サーバ上の Web アプリケーションに設定されたグローバルセッション情報の最大サイズが大きい
- J2EE サーバに設定された HttpSession 数の上限値が不当に大きい

対処

要因に応じて，次の対処を行ってください。

SFO サーバに設定されたメモリ使用量が誤っている場合

SFO サーバで必要なメモリ量の見積もりを見直してください。

SFO サーバで必要なメモリは，グローバルセッション数の最大値，およびグローバルセッション情報の最大サイズに比例します。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 互換編」の「6. 拡張機能の互換機能（メモリセッションフェイルオーバ機能)」を参照してください。

必要なメモリ量の設定に問題がある場合，適切な値を JavaVM 定義ファイル（usrconf.cfg）に設定し，SFO サーバを再起動してください。

グローバルセッション情報の最大サイズが大きな場合

Web アプリケーションに設定したグローバルセッション情報の最大サイズを見直してください。

グローバルセッション情報の最大サイズに問題がある場合，適切な値を Web アプリケーションの Deployment Descriptor（web.xml）に設定してください。

設定の変更は次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

HttpSession 数の上限値が大きな場合

Web アプリケーションに設定した HttpSession 数の上限値を見直してください。

HttpSession 数の上限値が必要以上に大きい場合，適切な値に変更して，J2EE アプリケーションを再起動してください。

KDJE34005-I

The global sessions in the SFO server will be discarded because the SFO server application will stop. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, discarded global sessions = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：破棄されたグローバルセッション数

説明

SFO サーバアプリケーションが終了されるため，SFO サーバのグローバルセッションは破棄されます。

KDJE34006-I

The global sessions in the SFO server will be discarded. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, discarded global session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：破棄されたグローバルセッション ID

説明

SFO サーバアプリケーションが終了されるため，破棄された SFO サーバのグローバルセッション ID を出力します。

グローバルセッションが複数ある場合，コンマ（,）区切りで出力します。また，グローバルセッション ID が 20 個を超える場合は，複数行で出力します。

KDJE34007-I

The SFO server will now connect with the J2EE server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, connecting J2EE servers = cc....cc, connection timeout = dd....dd, J2EE server = ee....ee：ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：接続している J2EE サーバの数

dd....dd：J2EE サーバとの接続タイムアウトの設定時間

ee....ee：接続を開始した J2EE サーバの IP アドレス

ff....ff：接続を開始した J2EE サーバのサーバ名

説明

SFO サーバは，J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションについて，IP アドレスが ee....ee，サーバ名が ff....ff の J2EE サーバと接続を開始します。

この Web アプリケーションに接続している J2EE サーバ数は cc....cc になりました。

KDJE34008-E

An attempt to negotiate with the J2EE server has failed. (J2EE server= aa....aa：bb....bb, invalid parameter = (cc....cc))

aa....aa：J2EE サーバの IP アドレス

bb....bb：J2EE サーバのサーバ名

cc....cc：エラーの要因となった Web アプリケーションの情報

説明

J2EE サーバとのネゴシエーションに失敗しました。

SFO サーバに登録されている Web アプリケーションの設定情報と，接続しようとした J2EE サーバの Web アプリケーションの設定情報が一致しません。

cc....cc には，エラーの要因となったパラメタと，接続しようとした J2EE サーバの設定値が次の形式で出力されます。

パラメタ名 ＝ 設定値

パラメタ名の内容は次のとおりです。

- max sessions：グローバルセッション数の最大値
- max session info size：グローバルセッション情報サイズの最大値（バイト）
- max inactive interval：グローバルセッションの有効期限（秒）
- lock timeout：グローバルセッションへのロック待ちのタイムアウト値
- GS control：グローバルセッションの制御方法
- GID cookie name：グローバルセッション ID の送信に使用する HTTP Cookie の名称
- GID URL param name：グローバルセッション ID の送信に使用する URL のパスパラメタ名
- RW key：書き換え可能グローバルセッション情報のキーの設定値
- R key：読み込み専用グローバルセッション情報のキーの設定値
- byte array enable：byte 型配列であるセッション情報が引き継ぎ可能であるかどうか
- serializable enable：直列化可能クラスのオブジェクトであるセッション情報が引き継ぎ可能であるかどうか

HTTP セッションに登録したすべてのセッション情報を，書き換え可能グローバルセッション情報，または読み込み専用グローバルセッション情報に設定した場合，"パラメタ名 ＝ 設定値"の形式ではなく，それぞれ"RW key(*)"，または"R key(*)"を出力します。

複数のエラーがある場合，コンマ（,）で区切って出力されます。

なお，グローバルセッション情報のキーの設定値は，セミコロン（;）を区切り文字とし，連結して出力されます。

対処

エラーとなった Web アプリケーションの設定情報を訂正してください。

設定の変更は次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

SFO サーバに登録されている Web アプリケーションの設定情報は，SFO サーバのメッセージログに出力されている「KDJE34003-I」を確認してください。

KDJE34009-I

The SFO server will now disconnect from the J2EE server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, connected J2EE server = cc....cc, J2EE server = dd....dd：ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：接続している J2EE サーバの数

dd....dd：接続を終了した J2EE サーバの IP アドレス

ee....ee：接続を終了した J2EE サーバのサーバ名

説明

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションについて，IP アドレスが dd....dd，サーバ名が ee....ee の J2EE サーバとの接続を終了します。

この Web アプリケーションに接続している J2EE サーバ数は cc....cc になりました。

KDJE34010-E

The connection with the J2EE server will now end because the SFO server did not receive a reply from the J2EE server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, connected J2EE server = cc....cc, J2EE server = dd....dd：ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：接続している J2EE サーバの数

dd....dd：接続を中断した J2EE サーバの IP アドレス

ee....ee：接続を中断した J2EE サーバのサーバ名

説明

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションについて，IP アドレスが ee....ee，サーバ名が ff....ff の J2EE サーバから応答がありません。接続を中断します。

この Web アプリケーションに接続している J2EE サーバ数は cc....cc になりました。

対処

エラーとなった J2EE サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

J2EE サーバプロセス，または J2EE サーバが稼働しているホストに問題がある場合，問題を解決して，J2EE サーバを再起動してください。

SFO サーバと J2EE サーバとの通信路に問題がある場合，通信路の問題を解決してください。通信路が正常になると，SFO サーバと J2EE サーバは自動的に再接続します。

KDJE34011-I

Expired global sessions in the SFO server have been discarded. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global sessions = cc....cc, discarded global sessions = dd....dd, processing time = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：有効期限チェックを開始した時点で SFO サーバに登録されていたグローバルセッション数

dd....dd：破棄されたグローバルセッション数

ee....ee：有効期限チェックの処理時間（ミリ秒）

説明

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションについて，有効期限切れのグローバルセッションを破棄しました。

KDJE34012-I

Expired global sessions in the SFO server have been discarded. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, discarded global session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：破棄されたグローバルセッション ID

説明

有効期限切れのため，破棄されたグローバルセッション ID を出力します。

グローバルセッションが複数ある場合，コンマ（,）区切りで出力します。また，グローバルセッション ID が 20 個を超える場合は，複数行で出力します。

KDJE34013-I

Expired global sessions have been discarded. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc, last accessed time = dd....dd, max inactive interval = ee....ee, J2EE server = ff....ff：gg....gg)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID

dd....dd：グローバルセッションの最終更新時刻

ee....ee：グローバルセッションの有効期限

ff....ff：破棄されたグローバルセッションの最後に更新した J2EE サーバの IP アドレス

gg....gg：破棄されたグローバルセッションの最後に更新した J2EE サーバのサーバ名

説明

グローバルセッションが有効期限切れによって破棄されました。破棄されたグローバルセッションの情報を出力します。

KDJE34014-W

An unlocked global session was discarded because it had expired. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc, last accessed time = dd....dd, max inactive interval = ee....ee, lock request count = ff....ff, J2EE server = gg....gg：hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID

dd....dd：グローバルセッションの最終更新時刻

ee....ee：グローバルセッションの有効期限

ff....ff：ロック解除待ちのロック要求数

gg....gg：破棄されたグローバルセッションをロックしていた J2EE サーバの IP アドレス

hh....hh：破棄されたグローバルセッションをロックしていた J2EE サーバのサーバ名

説明

ロックが解除されていないグローバルセッションが有効期限切れによって破棄されました。破棄されたグローバルセッションの情報を出力します。

ロックが解除されないまま有効期限切れとなる要因として次のことが考えられます。

- HTTP セッションの有効期限の設定値が不正に短い。
- ロックした J2EE サーバが何らかの原因によってスローダウンしており，有効期限内に処理が完了していない。
- ロックした J2EE サーバが停止した。

対処

ロックした J2EE サーバの稼働状況を確認してください。または HTTP セッションの有効期限を見直してください。

HTTP セッションの有効期限の変更は次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成，開始する。

KDJE34015-W

A new global session cannot be created because the number of global sessions has reached the maximum. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max sessions = cc....cc, J2EE server = dd....dd：ee....ee, request = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション数の最大値

dd....dd：グローバルセッションの作成を要求した J2EE サーバの IP アドレス

ee....ee：グローバルセッションの作成を要求した J2EE サーバのサーバ名

ff....ff：J2EE サーバからのリクエストの内容

説明

J2EE サーバからグローバルセッション作成要求がありましたが，グローバルセッション数が最大値に達しているため，新たに作成できません。

ff....ff には，J2EE サーバからの要求内容が出力されます。出力されるメッセージと，その意味を次に示します。

create from the initial HTTP session

J2EE サーバ上で新規に作成された HTTP セッションから，グローバルセッションを作成します。

create from the existing HTTP session

J2EE サーバ上にすでに存在する HTTP セッションから，グローバルセッションを生成します。この場合，J2EE サーバは SFO サーバとの接続をいったん切断後，再接続しています。

対処

グローバルセッションを作成したい場合は，HttpSession 数の上限値設定，および HTTP セッションの有効期限を見直してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。

3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34016-W

A timeout occurred during a lock request. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc, last accessed time = dd....dd, max inactive interval = ee....ee, session info size = ff....ff, lock timeout J2EE server = gg....gg：hh....hh, locked J2EE server = ii....ii：jj....jj, request = kk....kk)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID

dd....dd：グローバルセッションの最終更新時刻

ee....ee：グローバルセッションの有効期限

ff....ff：グローバルセッション情報のサイズ（バイト）

gg....gg：ロック要求でタイムアウトが発生した J2EE サーバの IP アドレス

hh....hh：ロック要求でタイムアウトが発生した J2EE サーバのサーバ名

ii....ii：ロックしている J2EE サーバの IP アドレス

jj....jj：ロックしている J2EE サーバのサーバ名

kk....kk：J2EE サーバからのリクエストの内容

説明

グローバルセッションのロック要求で，タイムアウトが発生しました。

ロックしている J2EE サーバがスローダウンしているか，停止した可能性があります。

kk....kk には，J2EE サーバからの要求内容が出力されます。出力されるメッセージと，その意味を次に示します。

get

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在しないため，SFO サーバからグローバルセッション情報を取得します。

lock

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在します。リクエストを処理するために，SFO サーバ上のグローバルセッションをロックします。

対処

ロックしている J2EE サーバの稼働状況を確認してください。

ロックしている J2EE サーバの稼働状況に問題がない場合，ロックタイムアウトの設定値が適切な値であるかを確認してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34017-W

The requested global session does not exist. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc, J2EE server = dd....dd：ee....ee, request = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID

dd....dd：SFO サーバにリクエストを送信した J2EE サーバの IP アドレス

ee....ee：SFO サーバにリクエストを送信した J2EE サーバのサーバ名

ff....ff：J2EE サーバからのリクエストの内容

説明

J2EE サーバから要求されたグローバルセッションは，存在しません。

次のどれかの理由によって，グローバルセッションが破棄されています。

- J2EE サーバ上で HTTP セッションが無効化された
- SFO サーバ上で有効期限切れとなった
- SFO サーバが再起動された

ff....ff に出力される J2EE サーバからのリクエスト内容と，その意味を次に示します。

get

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在しないため，SFO サーバからグローバルセッション情報を取得します。

lock

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在します。リクエストを処理するために SFO サーバ上のグローバルセッションをロックします。

unlock

J2EE サーバ上のリクエスト処理が完了し，SFO サーバ上のグローバルセッション情報の更新，およびロックの解除をします。

invalidate

J2EE サーバ上で，HTTP セッションが破棄されたため SFO サーバ上のグローバルセッション情報を破棄します。

update the last accessed time

J2EE サーバ上で，グローバルセッションをロック後，リクエスト処理中に，同じセッション ID のリクエストを受信したため SFO サーバ上のグローバルセッションの更新時刻だけ更新します。

対処

ff....ff に出力される J2EE サーバからのリクエスト内容が"get"，または"lock"の場合，J2EE サーバは，有効期限が切れたグローバルセッションのリクエストを受信しています。

"unlock"，"invalidate"，"update the last accessed time"の場合，J2EE サーバがスローダウンしている，または有効期限が短い可能性があります。

J2EE サーバの稼働状況を確認してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34018-W

The requested global session has been discarded. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc, J2EE server = dd....dd：ee....ee, request = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID

dd....dd：J2EE サーバの IP アドレス

ee....ee：J2EE サーバのサーバ名

ff....ff：J2EE サーバからのリクエストの内容

説明

J2EE サーバから要求されたグローバルセッションが，J2EE サーバ上で HTTP セッションが無効化されたか，SFO サーバ上で有効期限切れのため破棄されました。

ff....ff に出力される J2EE サーバからのリクエスト内容と，その意味を次に示します。

get

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在しないため，SFO サーバからグローバルセッション情報を取得します。

lock

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在します。リクエストを処理するために SFO サーバ上のグローバルセッションをロックします。

unlock

J2EE サーバ上のリクエスト処理が完了し，SFO サーバ上のグローバルセッション情報の更新，およびロックの解除をします。

update the last accessed time

J2EE サーバ上で，グローバルセッションをロック後，リクエスト処理中に，同じセッション ID のリクエストを受信したため SFO サーバ上のグローバルセッションの更新時刻だけ更新します。

対処

ff....ff に出力される J2EE サーバからのリクエスト内容が"get"，または"lock"の場合，J2EE サーバは，有効期限が切れたグローバルセッションのリクエストを受信しています。

"unlock"，"update the last accessed time"の場合，J2EE サーバがスローダウンしている，または有効期限が短い可能性があります。

J2EE サーバの稼働状況を確認してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34019-E

An unexpected error occurred in the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc, last accessed time = dd....dd, max inactive interval = ee....ee, session info size = ff....ff, requested J2EE server = gg....gg：hh....hh, last updated J2EE server = ii....ii：jj....jj, request = kk....kk, error reason = ll....ll)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID

dd....dd：グローバルセッションの最終アクセス時刻
ee....ee：グローバルセッションの有効期限
ff....ff：グローバルセッション情報のサイズ（バイト）
gg....gg：SFO サーバへのリクエストがエラーとなった J2EE サーバの IP アドレス
hh....hh：SFO サーバへのリクエストがエラーとなった J2EE サーバのサーバ名
ii....ii：グローバルセッションを最後に更新した J2EE サーバの IP アドレス
jj....jj：グローバルセッションを最後に更新した J2EE サーバのサーバ名
kk....kk：J2EE サーバからのリクエストの内容
ll....ll：保守情報

説明

J2EE サーバからのリクエストの処理中に，SFO サーバで予期しないエラーが発生しました。

ff....ff には，J2EE サーバからの要求内容が出力されます。出力されるメッセージと，その意味を次に示します。

create from the initial HTTP session

J2EE サーバ上で新規に作成された HTTP セッションから，グローバルセッションを生成します。

create from the existing HTTP session

J2EE サーバ上にすでに存在する HTTP セッションから，グローバルセッションを生成します。この場合，J2EE サーバは SFO サーバとの接続をいったん切断後，再接続しています。

get

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在しないため，SFO サーバからグローバルセッション情報を取得します。

lock

J2EE サーバ上に HTTP セッションが存在します。リクエストを処理するために SFO サーバ上のグローバルセッションをロックします。

unlock

J2EE サーバ上のリクエスト処理が完了し，SFO サーバ上のグローバルセッション情報の更新，およびロックの解除をします。

invalidate

J2EE サーバ上で，HTTP セッションが破棄されたため SFO サーバ上のグローバルセッション情報を破棄します。

update the last accessed time

J2EE サーバ上で，グローバルセッションをロック後，リクエスト処理中に同じセッション ID のリクエストを受信したため，SFO サーバ上のグローバルセッションの更新時刻だけを更新します。

対処

SFO サーバのログにほかのエラーメッセージが出力されていないかを確認してください。エラーメッセージが出力されていた場合，エラーメッセージの内容に従って対処してください。エラーメッセージが出力されていない場合，次の原因が考えられます。対応する対処を実施してください。

- J2EE サーバが稼働しているホストに問題が発生している。
  ホストに発生した問題の原因を取り除いてください。
- J2EE サーバと SFO サーバの通信路に問題が発生している。
  通信路に発生した問題の原因を取り除いてください。
- SFO サーバが稼働しているホストに問題が発生している。

ホストに発生した問題の原因を取り除いてください。

問題がない場合，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34020-E

An unexpected error occurred in the SFO server. (aa....aa)

aa....aa：予期しない例外のエラーメッセージ

説明

SFO サーバで予期しない例外が発生しました。

対処

SFO サーバのログにほかのエラーメッセージが出力されていないか，または SFO サーバが稼働しているホストに問題が発生していないかを確認してください。

エラーメッセージが出力されていた場合，エラーメッセージの内容に従って対処してください。SFO サーバが稼働しているホストに問題がある場合，問題を解決して，SFO サーバを再起動してください。

上記に問題がない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE34021-W

The specified parameter is invalid. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定された値

cc....cc：デフォルト値

説明

SFO サーバのプロパティの設定が不正です。

デフォルト値を使用します。

対処

メッセージに出力されたプロパティの設定値を修正し，SFO サーバを再起動してください。

KDJE34022-I

The number of global sessions is zero. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max sessions = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション数の最大値

説明

グローバルセッション数は 0 個になりました。

KDJE34023-I

The number of global sessions is aa....aa% (bb....bb) of the maximum allowable sessions. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd, max sessions = ee....ee)

aa....aa：グローバルセッションの最大数に対する現在のグローバルセッション数の割合

bb....bb：現在のグローバルセッション数

cc....cc：J2EE アプリケーション名

dd....dd：コンテキストルート名

ee....ee：グローバルセッション数の最大値

説明

グローバルセッション数が，最大セッション数の 20%，40%，または 60%になりました。

KDJE34024-W

The number of global sessions is 80% (aa....aa) of the maximum allowable sessions. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, max sessions = dd....dd)

aa....aa：現在のグローバルセッション数

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：グローバルセッション数の最大値

説明

グローバルセッション数が最大セッション数の 80%になりました。

グローバルセッション数が見積もりよりも多く作成されている場合，HTTP セッションの有効期限が長いおそれがあります。

対処

HTTP セッションの有効期限の変更は次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34025-W

The number of global sessions has reached the maximum. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max sessions = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション数の最大値

説明

グローバルセッション数が最大セッション数に達しました。

HTTP セッションが破棄されるか，または SFO サーバの有効期限チェックによってグローバルセッションが破棄されるまで，新たなグローバルセッションの生成はできません。

グローバルセッション数が見積もりよりも多く作成されている場合，HTTP セッションの有効期限が長いおそれがあります。

対処

HTTP セッションの有効期限の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34026-E

An attempt to negotiate with the J2EE server failed because the server ID for the HTTP session is being used on a different J2EE server. (requested J2EE server = aa....aa：bb....bb, connecting J2EE server = cc....cc：dd....dd, server ID = ee....ee)

aa....aa：接続を要求した J2EE サーバの IP アドレス

bb....bb：接続を要求した J2EE サーバのサーバ名

cc....cc：エラーとなった HTTP セッションのサーバ ID を使用している J2EE サーバの IP アドレス

dd....dd：エラーとなった HTTP セッションのサーバ ID を使用している J2EE サーバのサーバ名

ee....ee：エラーとなった HTTP セッションのサーバ ID

説明

J2EE サーバとのネゴシエーションに失敗しました。接続を要求した J2EE サーバの HTTP セッションのサーバ ID は，別の J2EE サーバで使用されています。

J2EE サーバの HTTP セッションのサーバ ID には，SFO サーバに接続する J2EE サーバで一意となる値を設定する必要があります。

対処

J2EE サーバの HTTP セッションのサーバ ID を設定し直したあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34027-I

Replication of the global session information will now end. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

グローバルセッション情報の冗長化を終了します。

KDJE34029-W

The server ID for the HTTP session is being used on a different J2EE server. (requested J2EE server = aa....aa：bb....bb, connecting J2EE server = cc....cc：dd....dd, server ID = ee....ee)

aa....aa：接続を要求した J2EE サーバの IP アドレス

bb....bb：接続を要求した J2EE サーバのサーバ名

cc....cc：同一の HTTP セッションのサーバ ID を使用している J2EE サーバの IP アドレス

dd....dd：同一の HTTP セッションのサーバ ID を使用している J2EE サーバのサーバ名

ee....ee：同一の HTTP セッションのサーバ ID

説明

接続を要求した J2EE サーバの HTTP セッションのサーバ ID は，別の J2EE サーバで使用されていますが，webserver.sfo.negotiation.ignore_serverId プロパティが有効になっているため接続します。また，すでに接続している J2EE サーバとの接続も保持します。

対処

webserver.sfo.negotiation.ignore_serverId プロパティは，クラスタ環境でだけ使用してください。クラスタ環境で使用する場合は問題ありません。

そのほかの環境で使用している場合は，webserver.sfo.negotiation.ignore_serverId プロパティが誤って使用されています。SFO サーバの設定を変更し，再起動してください。

また，接続を要求した J2EE サーバはすでにほかの J2EE サーバで使用中のサーバ ID を使用して接続しています。サーバ ID を SFO サーバに接続する J2EE サーバで一意となる値に変更し，再起動してください。

KDJE34030-E

The SFO server does not support the functionality requested by the J2EE server. (J2EE server= aa....aa：bb....bb, J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバの IP アドレス

bb....bb：J2EE サーバのサーバ名

cc....cc：J2EE アプリケーション名

dd....dd：コンテキストルート名

説明

J2EE サーバとのネゴシエーションに失敗しました。SFO サーバは J2EE サーバから要求された機能をサポートしていません。

対処

SFO サーバのバージョンを J2EE サーバの要求する機能をサポートしたバージョンにバージョンアップしてください。

KDJE34200-I

The session failover function will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションのメモリセッションフェイルオーバ機能を開始します。

KDJE34201-E

The web application cannot start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

メモリセッションフェイルオーバ機能が開始できませんでした。Web アプリケーションを開始できません。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージの対処を行ってください。対処後，J2EE サーバを再起動するか，J2EE アプリケーションの再起動を行ってください。

KDJE34202-E

The initialization parameter of the filter used for the session failover function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, init param = cc....cc, value = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化パラメタ名

dd....dd：指定された値

説明

セッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタに設定された値に誤りがあります。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）に設定された，cc....cc のパラメタの値を修正して，再起動してください。

KDJE34203-E

An invalid property has been specified. (property name = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：不正な値が設定されたプロパティ名

bb....bb：設定された値

説明

ユーザプロパティファイルに設定されたプロパティが不正です。

対処

ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）に設定された，aa....aa のパラメタの値を修正し，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34204-I

The session failover function will now stop. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：使用した SFO サーバ名

説明

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションのメモリセッションフェイルオーバ機能を終了します。

KDJE34205-I

Connection with the SFO server has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとの接続を完了しました。

KDJE34206-W

An attempt to connect with the SFO server has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとの接続ができません。

接続できない要因として，次のことが考えられます。

- SFO サーバが稼働していない。
- SFO サーバとの通信路に障害が発生している。
- ユーザプロパティファイルに設定した，SFO サーバで起動する CORBA ネーミングサービスの IP アドレスまたはポート番号の指定に誤りがある。
- SFO サーバ起動時の cjstartsv コマンドに，"-nosecurity"オプションが指定されていない。
- SFO サーバのメモリが不足している。
- ネゴシエーション処理が時間内に完了できなかった。

対処

J2EE サーバまたは SFO サーバが出力したエラーメッセージと，SFO サーバの稼働状況を確認して，接続に失敗した要因を突き止めてください。

要因に応じた対処を次に示します。

SFO サーバが稼働していない場合

SFO サーバを起動してから，J2EE アプリケーションを開始してください。

SFO サーバとの通信路に問題が生じている場合

問題を取り除いたあと，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。

SFO サーバで起動する CORBA ネーミングサービスの IP アドレスまたはポート番号の指定に誤りがあった場合

J2EE サーバをいったん停止し，ユーザプロパティファイルに正しい情報を設定したあと，J2EE サーバを起動してください。

SFO サーバとのネゴシエーションに失敗した場合

J2EE サーバがメッセージログに出力した「KDJE34207-E」または「KDJE34246-E」のメッセージと，SFO サーバがメッセージログに出力した「KDJE34008-E」，「KDJE34026-E」または「KDJE34003-I」のメッセージの情報を基に正しい設定を行ってください。Web アプリケーションの設定を変更した場合は J2EE アプリケーションの再起動，サーバ ID を変更した場合は J2EE サーバの再起動が必要となります。

SFO サーバ起動時の cjstartsv コマンドに"-nosecurity"オプションが指定されていなかった場合

"-nosecurity"オプションを指定して SFO サーバを再起動し，J2EE アプリケーションを開始してください。

SFO サーバで必要なメモリが不足している場合

SFO サーバで必要なメモリの見積もりを見直してください。

ネゴシエーションがタイムアウトになった場合

SFO サーバの稼働状況および SFO サーバが稼働するマシンのメモリ使用量，CPU 使用状況を確認してください。問題が発生している場合，要因を取り除いてから J2EE アプリケーションを再起動してください。

KDJE34207-E

An attempt to negotiate with the SFO server has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, valid parameter = (ee....ee))

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：SFO サーバに登録されている Web アプリケーションの設定情報

説明

SFO サーバとのネゴシエーションに失敗しました。

SFO サーバに登録されている Web アプリケーションの設定情報と，接続しようとした J2EE サーバの Web アプリケーションの設定情報が一致しません。

エラーの原因となったパラメタの SFO サーバに登録されている Web アプリケーションの設定情報が ee....ee に，次の形式で出力されます。

パラメタ名 = 設定値

パラメタ名の内容は次のとおりです。

- max sessions：グローバルセッション数の最大値
- max session info size：グローバルセッション情報サイズの最大値（バイト）
- max inactive interval：グローバルセッションの有効期限（秒）
- lock timeout：グローバルセッションへのロック待ちのタイムアウト値
- GS control：グローバルセッションの制御方法
- GID cookie name：グローバルセッション ID の送信に使用する HTTP Cookie の名称
- GID URL param name：グローバルセッション ID の送信に使用する URL のパスパラメタ名
- RW key：書き換え可能グローバルセッション情報のキーの設定値
- R key：読み込み専用グローバルセッション情報のキーの設定値
- byte array enable：byte 型配列であるセッション情報が引き継ぎ可能であるかどうか
- serializable enable：直列化可能クラスのオブジェクトであるセッション情報が引き継ぎ可能であるかどうか

HTTP セッションに登録したすべてのセッション情報を，書き換え可能グローバルセッション情報，または読み込み専用グローバルセッション情報に設定した場合，"パラメタ名 = 設定値"の形式ではなく，それぞれ"RW key(*)"，または"R key(*)"を出力します。

複数のエラーがある場合，コンマ（,）で区切って出力されます。

なお，グローバルセッション情報のキーの設定値は，セミコロン（;）を区切り文字とし，連結して出力されます。

対処

ee....ee に表示された SFO サーバに登録されている Web アプリケーションの設定情報に合わせて設定を修正してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34208-I

The connection with the SFO server will now end. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとの接続を切断しました。

KDJE34209-E

The filter mapping of the filter used for the session failover function is not first in the filter mapping defined for that application. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, first mapping filter name = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：先頭のフィルタクラス名

説明

セッションフェイルオーバ用フィルタのフィルタマッピングが，そのアプリケーションで定義するフィルタマッピングの中で最初に記載されていません。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）の設定が不正です。

セッションフェイルオーバ用フィルタのマッピング定義（<filter-mapping>タグ）は，アプリケーションで定義するフィルタマッピングの中で最初に記述してください。

フィルタマッピング定義を修正し，再度デプロイしてください。

KDJE34210-E

The URL pattern for the filter mapping of the filter used for the session failover function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, invalid URL pattern = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：不正な URL パターン

説明

セッションフェイルオーバ用フィルタの，フィルタマッピングの URL パターンが不正です。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）の設定が不正です。

フィルタマッピング定義の URL パターン（<url-pattern>タグ）には，「/*」を指定してください。

フィルタマッピング定義を修正し，再度デプロイしてください。

KDJE34211-E

Mapping of the filter used for the session failover function has been specified more than once. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッションフェイルオーバ用フィルタのマッピングが複数指定されています。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）の設定が不正です。

セッションフェイルオーバ用フィルタのマッピング定義（<filter-mapping>タグ）で定義できるのは，アプリケーションで定義するフィルタマッピングで一つだけです。

フィルタマッピング定義を修正し，再度デプロイしてください。

KDJE34212-E

No global session information keys have been set for the initialization parameter of the filter used for the session failover function. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションの Deployment Descriptor（web.xml）に設定されたセッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタに，グローバルセッション情報のキーが一つも設定されていません。

メモリセッションフェイルオーバ機能を使用する場合，書き換え可能グローバルセッション情報，または読み込み専用グローバルセッション情報のどちらかに少なくとも一つのキーを設定しなければなりません。

対処

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションの Deployment Descriptor（web.xml）にグローバルセッション情報のキーを設定し，再デプロイしてください。

KDJE34213-E

The global session information from the SFO server is corrupted. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

説明

SFO サーバから取得したグローバルセッション情報が壊れているため，引き継ぎできませんでした。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

問題がない場合，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34214-E

The global session information from the SFO server is corrupted. An attempt to transfer the global session has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

説明

SFO サーバから取得したグローバルセッション情報が壊れていたため，引き継ぎできませんでした。

要因として，次のことが考えられます。

- 引き継いだセッション情報のデシリアライズに失敗した。

対処

J2EE サーバからメッセージログに出力されている「KDJE34258-E」のメッセージの対処を基に，J2EE アプリケーションに問題がないか確認し，対処してください。

なお，J2EE アプリケーションに問題がない場合は，次の対処をしてください。

1. SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。
2. SFO サーバに問題がない場合は，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34215-E

A health check of the SFO server has detected that it is down. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバのヘルスチェックで SFO サーバのダウンを検知しました。

SFO サーバに障害が発生しました。

対処

SFO サーバが出力したログメッセージを基に発生した障害を確認し，要因を取り除いたあと，SFO サーバを再起動してください。

KDJE34216-I

A connection with the SFO server is now starting. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとの接続を開始します。

KDJE34217-I

The SFO server was successfully reconnected. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとの再接続に成功しました。

KDJE34218-W

The global session has already been invalidated. The rewritable global session information was removed from the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, HTTP session ID = ee....ee, global session ID = ff....ff, GS control = gg....gg)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：HTTP セッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID

gg....gg：グローバルセッション ID の取得方法

cookie の場合，リクエストの HTTP Cookie から取得

url-rewriting の場合，リクエスト URL のパスパラメタから取得

説明

ロック要求を行ったグローバルセッションは SFO サーバ上ですでに無効化されています。このグローバルセッションは使用できません。

HTTP セッションに登録された書き換え可能グローバルセッション情報を削除しました。

要因として，クライアントから，有効期限の切れたグローバルセッションの使用をリクエストされたことが考えられます。

対処

HTTP セッションに設定した有効期限の値が適切であるかを確認してください。

HTTP セッションの有効期限の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34219-W

The global session information in the HTTP session is invalid. The rewritable global session information was removed from the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, HTTP session ID = ee....ee, global session ID = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：HTTP セッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID

説明

HTTP セッションから作成したグローバルセッション情報が不正です。このグローバルセッションを使用できません。

HTTP セッションに登録された書き換え可能グローバルセッション情報を削除しました。

要因として，次のことが考えられます。

- グローバルセッション情報のサイズが最大サイズを超えている。
- 引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトがグローバルセッション情報として登録されている。
- 引き継ぎ対象のオブジェクトのシリアライズに失敗している。

対処

要因に応じて，次の対処をしてください。

グローバルセッション情報のサイズが最大サイズを超えている場合

メモリセッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタのうち，GSInfosLengthMax パラメタに設定された値が適切であるか確認し，問題がある場合は正しい設定に修正してください。

引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトがグローバルセッション情報として登録されている場合

アプリケーションを変更するか，またはグローバルセッション情報のキーの設定を変更しこの属性をグローバルセッション情報から除外してください。

引き継ぎ対象のオブジェクトのシリアライズに失敗している場合

J2EE サーバからメッセージログに出力されている「KDJE34256-E」のメッセージの情報を基に対処してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34220-E

An unexpected error occurred in the initialization processing of the filter used for the session failover function. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッションフェイルオーバ用フィルタの初期化処理で，予期しないエラーが発生しました。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

問題がない場合またはグローバルセッション情報のサイズ見積もり機能を使用している場合は，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34221-E

An unexpected error occurred in the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee, error details = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

ff....ff：エラー情報

説明

SFO サーバで予期しないエラーが発生しました。

対処

次のどれかの原因が考えられます。対応する対処を実施してください。

- J2EE サーバで設定した SFO サーバとの通信タイムアウトまでの時間が短く設定されている。
  設定したタイムアウト時間を見直して，適切な値に変更してください。

- SFO サーバが正常に稼働していない。
  SFO サーバの稼働状態を確認して，問題を取り除いてください。
- SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している。
  通信路に発生した問題の原因を取り除いてください。

上記のどれにも該当しない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE34222-E

An error occurred during an attempt to connect with the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバの呼び出しに失敗しました。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

SFO サーバに問題が発生している場合，SFO サーバの出力したログメッセージから発生した障害を確認し，要因を取り除いたあとで，SFO サーバを再起動してください。

SFO サーバと J2EE サーバとの通信路に問題がある場合，通信路の問題を解決してください。通信路が正常になると，SFO サーバと J2EE サーバは自動的に再接続します。

なお，Web アプリケーション開始時にこのメッセージが出力された場合は，SFO サーバとのネゴシエーションが時間切れによって，失敗したことが考えられます。SFO サーバの稼働状況，および SFO サーバが稼働するマシンの状態を確認してください。

KDJE34223-W

The number of replicable sessions in the SFO server has reached the maximum. The HTTP session will now be invalidated. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

SFO サーバに冗長化可能な最大セッション数に達したため，HTTP セッションを破棄します。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

HTTP セッションの最大数，または HTTP セッションの有効期限が適切であるか見直してください。

HTTP セッションの有効期限の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。

3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34224-W

The number of replicable sessions in the SFO server has reached the maximum. The HTTP session will now be invalidated. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

SFO サーバに冗長化可能な最大セッション数に達したため，HTTP セッションを破棄します。

冗長化可能な最大セッション数に達していない場合は，HTTP セッションの有効期限が短いことが考えられます。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

HTTP セッションの最大数，または HTTP セッションの有効期限が適切であるか見直してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。または，HTTP セッション数の上限値を変更し，再起動する。

KDJE34225-E

The size of the global session information exceeds the max size. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, global session ID = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：グローバルセッション ID

説明

グローバルセッション情報のサイズが最大値を超えています。

この HTTP セッションに登録されているグローバルセッション情報は，SFO サーバへの冗長化を行いません。

対処

セッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタのうち，GSInfosLengthMax パラメタに設定された値が適切であるかを確認し，問題がある場合は正しい設定に修正してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。

2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34226-E

The global session information contains an object that is not permitted. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, global session ID = dd....dd, attribute name = ee....ee, invalid class = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：グローバルセッション ID

ee....ee：引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトを HTTP セッションに登録した名前

ff....ff：引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトのクラス名

説明

引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトが HTTP セッションに登録されています。

この HTTP セッションに登録されているグローバルセッション情報は，SFO サーバへの冗長化を行いません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

アプリケーションを変更するか，またはグローバルセッション情報のキー設定を変更してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバに接続している場合，SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34228-W

A timeout occurred during a lock request. The rewritable global session information was removed from the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, HTTP session ID = ee....ee, global session ID = ff....ff, locked J2EE server name = gg....gg, locked J2EE server IP = hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：HTTP セッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID

gg....gg：グローバルセッションをロック中の J2EE サーバの J2EE サーバ名

hh....hh：グローバルセッションをロック中の J2EE サーバの IP アドレス

説明

SFO サーバへのグローバルセッションのロック要求でタイムアウトが発生したため，このグローバルセッションを使用できません。

HTTP セッションに登録された書き換え可能グローバルセッション情報を削除しました。

次の要因が考えられます。

- グローバルセッションをロック中の J2EE サーバがスローダウンしているか，または停止している。
- リクエストを送信してから応答が返される前に次のリクエストを送信した場合に，それぞれのリクエストが負荷分散機のスケジュール機能によって異なる J2EE サーバに転送された。これは，ページにフレームを使用しているときなどに同じセッションを使用するリクエストを同時に送信した場合や，ユーザの操作によってリクエストが二重に送信された場合などに発生することがある。

対処

グローバルセッションをロックしている J2EE サーバの稼働状況を確認してください。ロックしている J2EE サーバの稼働状況に問題がない場合，ロックタイムアウトの設定値が適切な値であるかを確認してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34229-W

The global session ID was not found in the SFO server. The rewritable global session information was removed from the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, HTTP session ID = ee....ee, global session ID = ff....ff, GS control = gg....gg)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：HTTP セッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID

gg....gg：グローバルセッション ID の取得方法

cookie の場合，リクエストの HTTP Cookie から取得

url-rewriting の場合，リクエスト URL のパスパラメタから取得

説明

SFO サーバでグローバルセッションが見つからないため，このグローバルセッションを使用することができません。

HTTP セッションに登録された書き換え可能グローバルセッション情報を削除しました。

グローバルセッションが見つからない要因として，次のことが考えられます。

- 有効期限が切れている。
- J2EE サーバ上のアプリケーション内の処理によって，すでに削除された。
- SFO サーバの再起動によって消失した。

対処

セッションに設定した有効期限の値が適切であるかを確認してください。

HTTP セッションの有効期限の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34230-W

The number of replicable sessions in the SFO server has reached the maximum. The HTTP session will now be invalidated. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

SFO サーバに冗長化可能な最大セッション数に達したため，HTTP セッションを破棄します。

対処

HTTP セッションの最大数，または HTTP セッションの有効期限が適切であるか見直してください。

HTTP セッションの有効期限の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34231-I

The global session information was transferred. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee, HTTP session ID = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

ff....ff：HTTP セッション ID

説明

J2EE サーバのメモリ上のグローバルセッション情報が，SFO サーバ上の情報よりも古かったため，セッション情報の引継ぎを行います。

KDJE34232-W

The rewritable global session information was removed from the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, HTTP session ID =ee....ee, global session ID = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：HTTP セッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID

説明

SFO サーバで障害が発生したため，このグローバルセッションを使用できません。

HTTP セッションに登録された書き換え可能グローバルセッション情報を削除しました。

KDJE34233-W

A timeout occurred during a get request. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee, locked J2EE server name = ff....ff, locked J2EE server IP = gg....gg)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

ff....ff：グローバルセッションをロック中の J2EE サーバの J2EE サーバ名

gg....gg：グローバルセッションをロック中の J2EE サーバの IP アドレス

説明

SFO サーバへのグローバルセッションのロック要求でタイムアウトが発生したため，このグローバルセッションを使用できません。HTTP セッションに登録された書き換え可能グローバルセッション情報を削除しました。

次の要因が考えられます。

- グローバルセッションをロック中の J2EE サーバがスローダウンしているか，または停止している。
- リクエストを送信してから応答が返される前に次のリクエストを送信した場合に，それぞれのリクエストが負荷分散機のスケジュール機能によって異なる J2EE サーバに転送された。これは，ページにフレームを使用しているときなどに同じセッションを使用するリクエストを同時に送信した場合や，ユーザの操作によってリクエストが二重に送信された場合などに発生することがある。

対処

グローバルセッションをロックしている J2EE サーバの稼働状況を確認してください。ロックしている J2EE サーバの稼働状況に問題がない場合，ロックタイム設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34234-W

The global session ID was not found in the SFO server. An attempt to transfer the global session has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee, GS control = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID の取得方法

cookie の場合，リクエストの HTTP Cookie から取得

url-rewriting の場合，リクエスト URL のパスパラメタから取得

説明

SFO サーバでグローバルセッションが見つからないため，グローバルセッションの引継ぎができませんでした。

グローバルセッションが見つからない要因として，次のことが考えられます。

- 有効期限が切れている。
- J2EE サーバ上のアプリケーション内の処理によって，すでに削除された。
- SFO サーバの再起動によって消失した。

対処

HTTP セッションに設定した有効期限の値が適切であるかを確認してください。

HTTP セッションの有効期限の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34235-E

When the session failover functionality is used, the maximum number of HTTP sessions must be specified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

HTTP セッション数の上限値設定機能による上限値が設定されていない，またはデフォルト値（無制限）が使用されています。

メモリセッションフェイルオーバ機能を使用する場合は，HttpSession 数の上限値を設定する必要があります。

対処

HTTP セッション数の上限値の設定を確認してください。

設定を変更した場合，設定値を有効にするためには J2EE サーバ上の J2EE アプリケーションを停止し，設定を変更します。SFO サーバを再起動したあと，J2EE アプリケーションを開始します。

KDJE34236-I

The global session information was successfully transferred. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee, new HTTP session ID = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

ff....ff：新たに作成された HTTP セッション ID

説明

グローバルセッションを引き継ぎました。

KDJE34237-W

An attempt to transfer a global session has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

説明

SFO サーバとの通信で障害が発生したため，グローバルセッションを引き継ぐことができませんでした。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

SFO サーバに問題が発生している場合，SFO サーバの出力したログメッセージから発生した障害を確認し，要因を取り除いたあとで，SFO サーバを再起動してください。

SFO サーバと J2EE サーバとの通信路に問題がある場合，通信路の問題を解決してください。通信路が正常になると，SFO サーバと J2EE サーバは自動的に再接続します。

KDJE34238-W

The number of HTTP sessions has reached the maximum for the J2EE server. An attempt to transfer the global session has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

説明

J2EE サーバ上の HTTP セッション数が最大に達しているため，引き継ぎ処理のための HttpSession オブジェクトが作成できません。

グローバルセッションの引き継ぎができませんでした。

対処

HTTP セッションの最大数，または HTTP セッションの有効期限が適切であるか見直してください。

設定の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバに登録されている該当 Web アプリケーションの設定情報を削除する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。または，HTTP セッション数の上限値を変更し，再起動する。

SFO サーバ上の Web アプリケーションの設定情報を削除するには，次の二つの方法があります。

- SFO サーバを再起動する。
- 該当 Web アプリケーションをすべて停止し，そのアプリケーションで作成したグローバルセッションがグローバルセッション情報の有効期限監視によって SFO サーバ上からすべて削除されるまで待つ。

  なお，この方法で削除された際，「KDJE34027-I」のメッセージが出力されます。

KDJE34239-E

The SFO server was not found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

ネーミングサービス（dd....dd）での SFO サーバのルックアップに失敗しました。

要因として，次のことが考えられます。

- SFO サーバが正常に稼働していない。
- SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している。
- ユーザプロパティファイルに指定したネーミングサービスのアドレスまたはポート番号が誤っている。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

SFO サーバおよび通信路に問題がない場合，ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）に指定したネーミングサービスのアドレスおよびポート番号の設定を確認してください。設定が誤っているときは，J2EE サーバを停止して正しい値に修正したあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34240-I

The HTTP cookie of the global session ID was not able to be discarded because the response had already committed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP Cookie を破棄できなかったグローバルセッション ID

説明

クライアントへのレスポンスがすでにコミットされていたため，cc....cc に示すグローバルセッション ID の HTTP Cookie を破棄できませんでした。

要因として，次のことが考えられます。

- Web アプリケーション内で HTTP セッションが無効化された
- HTTP セッションの有効期限が切れた

HTTP Cookie が破棄できなかったことによって，このクライアントから次に送られるリクエストに，無効なグローバルセッション ID が付加される場合があります。無効なグローバルセッション ID が J2EE サーバに送られたときに，Warning レベルで出力されるメッセージを次に示します。

- **J2EE サーバが出力するログ**
  KDJE34234-W または KDJE34243-W
- **SFO サーバと接続中の場合に，SFO サーバが出力するログ**
  KDJE34017-W

KDJE34241-E

The function that adds the server ID to the HTTP cookie is disabled.

説明

HTTP Cookie へのサーバ ID の付加機能が有効ではありません。

メモリセッションフェイルオーバ機能を使用する場合は，HTTP Cookie へのサーバ ID 付加機能を有効にする必要があります。

対処

ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）の"webserver.session.server_id.enabled"パラメタに"true"を設定し，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34242-W

The rewritable global session information was deleted from the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, HTTP session ID =ee....ee, global session ID = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：HTTP セッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID

説明

SFO サーバとの通信で障害が発生したため，このグローバルセッションを使用することはできません。

HTTP セッションに登録された書き換え可能グローバルセッション情報を削除しました。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

SFO サーバに問題が発生している場合，SFO サーバの出力したログメッセージから発生した障害を確認し，要因を取り除いたあとで，SFO サーバを再起動してください。

SFO サーバと J2EE サーバとの通信路に問題がある場合，通信路の問題を解決してください。通信路が正常になると，SFO サーバと J2EE サーバは自動的に再接続します。

KDJE34243-W

The global session has already been invalidated. An attempt to transfer the global session has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, global session ID = ee....ee, GS control = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：グローバルセッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID の取得方法

cookie の場合，リクエストの HTTP Cookie から取得

url-rewriting の場合，リクエスト URL のパスパラメタから取得

説明

情報の取得要求を行ったグローバルセッションは，SFO サーバ上ですでに無効化されています。

グローバルセッションの引継ぎができませんでした。

要因として，クライアントから，有効期限の切れたグローバルセッションを使用するリクエストが送信されたことが考えられます。

対処

HTTP セッションに設定した有効期限の値が適切であるかを確認してください。

HTTP セッションの有効期限の変更は，次の手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバを再起動する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または J2EE アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34244-E

The same name exists in the GSInfoKey-RW or GSInfoKey-R parameter. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, invalid session info key = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：複数存在するグローバルセッション情報のキー名称

説明

同じグローバルセッションのキー名称が複数存在します。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）の設定が不正です。

セッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタ（<init-param>タグ）の GSInfoKey-RW と GSInfoKey-R に重複するキーを指定することはできません。

cc....cc に示されたキー名称を GSInfoKey-RW，GSInfoKey-R に指定したすべてのキー名称の中で一意となるように設定を修正して，J2EE サーバ上の J2EE アプリケーションを再開始してください。

KDJE34245-E

An unexpected error occurred during connection processing to the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとの接続処理で，予期しないエラーが発生しました。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

問題がない場合，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34246-E

An attempt to negotiate with the SFO server failed because the server ID for the HTTP session is being used on another server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, server ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

ee....ee：エラーとなった HTTP セッションのサーバ ID

説明

SFO サーバとのネゴシエーションに失敗しました。

J2EE サーバに設定された HTTP セッションのセッション ID に付加するサーバ ID は，別の J2EE サーバで使用されています。

対処

J2EE サーバの HTTP セッションのセッション ID に付加するサーバ ID に，SFO サーバに接続する J2EE サーバ内で一意となる値を設定し，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34247-E

The SFO server was not found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

ネーミングサービス（dd....dd）での SFO サーバのルックアップに失敗しました。

要因として，次のことが考えられます。

- SFO サーバが正常に稼働していない。
- SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している。
- ユーザプロパティファイルに指定したネーミングサービスのアドレスまたはポート番号が誤っている。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

SFO サーバおよび通信路に問題がない場合，ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）に指定したネーミングサービスのアドレスおよびポート番号の設定を確認してください。設定が誤っているときは，J2EE サーバを停止して正しい値に修正したあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34248-E

An error occurred during an attempt to connect with the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバの呼び出しに失敗しました。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

SFO サーバに問題が発生している場合，SFO サーバの出力したログメッセージから発生した障害を確認し，要因を取り除いたあとで，SFO サーバを再起動してください。

SFO サーバと J2EE サーバとの通信路に問題がある場合，通信路の問題を解決してください。通信路が正常になると，SFO サーバと J2EE サーバは自動的に再接続します。

KDJE34249-E

An unexpected error occurred during the processing to connect to the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：ネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとの接続処理で，予期しないエラーが発生しました。

対処

SFO サーバが正常に稼働しているか，および SFO サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

SFO サーバに問題が発生している場合，SFO サーバの出力したログメッセージから発生した障害を確認し，要因を取り除いたあとで，SFO サーバを再起動してください。

SFO サーバと J2EE サーバとの通信路に問題がある場合，通信路の問題を解決してください。通信路が正常になると，SFO サーバと J2EE サーバは自動的に再接続します。

KDJE34250-E

The specified SFO server was not found in the user property file. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：Deployment Descriptor（web.xml）に指定した SFO サーバ名

説明

Deployment Descriptor（web.xml）のセッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタに設定された SFO サーバ名が，ユーザプロパティに定義された SFO サーバ名から見つかりません。

対処

Deployment Descriptor（web.xml），およびユーザプロパティファイルの設定を確認し，正しい値に修正してください。

Deployment Descriptor（web.xml）の設定を変更するには，J2EE サーバ上の J2EE アプリケーションを停止して削除し，J2EE アプリケーションを再作成して開始する必要があります。ユーザプロパティの設定を変更するには，J2EE サーバを再起動する必要があります。

KDJE34251-E

The required property for the session failover function has not been specified. (property name = aa....aa)

aa....aa：必要なプロパティ名

説明

メモリセッションフェイルオーバ機能を使用するために必要なプロパティ（aa....aa）が設定されていません。

対処

ユーザプロパティに必要な設定を追加し，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34252-E

A memory shortage occurred in the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとのネゴシエーションで SFO サーバのメモリ不足が発生しました。要因として，次のことが考えられます。

- SFO サーバのメモリが不足している。
- J2EE サーバ上の Web アプリケーションに設定されたグローバルセッション情報の最大サイズが大きい。
- J2EE サーバに設定された HttpSession 数の上限値が不当に大きい。

対処

要因に応じて，次の対処をしてください。

SFO サーバのメモリが不足している場合

SFO サーバで必要なメモリ量の見積もりを見直してください。SFO サーバで必要なメモリは，グローバルセッション数の最大値，およびグローバルセッション情報の最大サイズに比例します。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 互換編」の「6. 拡張機能の互換機能（メモリセッションフェイルオーバ機能）」を参照してください。

必要なメモリ量の設定に問題がある場合，適切な値を J2EE サーバ用オプション定義ファイル（usrconf.cfg）に設定し，SFO サーバを再起動してください。

グローバルセッション情報の最大サイズが大きい場合

Web アプリケーションに設定したグローバルセッション情報の最大サイズを見直してください。グローバルセッション情報の最大サイズに問題がある場合，適切な値を Web アプリケーションの Deployment Descriptor（web.xml）に設定し，J2EE アプリケーションを再デプロイしてください。

HttpSession 数の上限値が大きい場合

Web アプリケーションに設定した HttpSession 数の上限値を見直してください。HttpSession 数の上限値が必要以上に大きい場合，適切な値に変更して，J2EE アプリケーションを再起動してください。

KDJE34253-E

A timeout occurred during communication with the SFO server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとのネゴシエーションでタイムアウトが発生しました。要因として，次のことが考えられます。

- SFO サーバが高負荷状態になっている。
- SFO サーバのメモリが不足している。

対処

要因に応じて，次の対処をしてください。

SFO サーバが高負荷状態になっている場合

SFO サーバおよび J2EE サーバの状態，出力したログの内容を確認し，要因を取り除いてください。

SFO サーバのメモリが不足している場合

SFO サーバで必要なメモリ量の見積もりを見直してください。SFO サーバで必要なメモリは，グローバルセッション数の最大値，およびグローバルセッション情報サイズの最大値に比例します。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 互換編」の「6. 拡張機能の互換機能（メモリセッションフェイルオーバ機能）」を参照してください。

また，SFO サーバが稼働するホストの物理メモリの量が少ない場合，メモリ確保で時間が掛かる場合があります。初期化時に確保するメモリ量を J2EE サーバ用オプション定義ファイル(usrconf.cfg)に指定することで，メモリを確保する時間を短縮することができます。

KDJE34254-E

The SFO server does not support necessary functionality. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号

説明

SFO サーバとのネゴシエーションに失敗しました。SFO サーバは必要な機能をサポートしていません。

対処

SFO サーバのバージョンを必要な機能をサポートしたバージョンにバージョンアップしてください。

KDJE34255-W

The global session information contains an object that is not permitted. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, global session ID = dd....dd, attribute name = ee....ee, invalid class = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：グローバルセッション ID

ee....ee：引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトを HTTP セッションに登録した名前

ff....ff：引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトのクラス名

説明

引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトが HTTP セッションに登録されています。このオブジェクトは無視され，SFO サーバへ冗長化されません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

引き継ぎ可能なセッション情報以外の型のオブジェクトが HTTP セッションに登録され引き継ぎの対象となっています。

アプリケーションの内容，およびグローバルセッション情報のキー設定を確認してください。

KDJE34256-E

An attempt to serialize the global session information has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, global session ID = dd....dd, attribute name = ee....ee, invalid class = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：グローバルセッション ID

ee....ee：シリアライズに失敗したオブジェクトを HTTP セッションに登録した名前

ff....ff：シリアライズに失敗したオブジェクトのクラス名

説明

グローバルセッション情報のシリアライズに失敗しました。この HTTP セッションの情報は SFO サーバに冗長化されません。

シリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- HTTP セッションに登録されたオブジェクト（直列化可能クラスのオブジェクト）から参照されたオブジェクトが直列化可能クラスでなかった。
- writeObject(java.io.ObjectOutputStream out)メソッドが実装されており，シリアライズ時に例外が発生した。

対処

Web サーブレットログに「KDJE34257-E」のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定し，次のどちらかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを冗長化の対象から除く。
- アプリケーションを変更し，エラーとなった原因を取り除く。

KDJE34257-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

グローバルセッション情報のシリアライズ処理でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

シリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- HTTP セッションに登録されたオブジェクト（直列化可能クラスのオブジェクト）から参照されたオブジェクトが直列化可能クラスでなかった。
- writeObject(java.io.ObjectOutputStream out)メソッドが実装されており，シリアライズ時に例外が発生した。

対処

スタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定し，次のどちらかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを冗長化の対象から除く。
- アプリケーションを変更し，エラーとなった原因を取り除く。

KDJE34258-E

An attempt to deserialize the global session information has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, global session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID

dd....dd：デシリアライズに失敗したオブジェクトを HTTP セッションへ登録した名前

説明

SFO サーバから取得したグローバルセッション情報のデシリアライズに失敗したため, 引き継ぎできませんでした。

デシリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズ時とデシリアライズ時でアプリケーションが異なっており，デシリアライズに失敗する原因となる変更がアプリケーションに加えられている。
- readObject()メソッドが実装されており，内部でエラーが発生した。

対処

Web サーブレットログに「KDJE34259-E」のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基にデシリアライズに失敗した原因を特定し対処してください。

KDJE34259-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

グローバルセッション情報のデシリアライズ処理でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

デシリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズ時とデシリアライズ時でアプリケーションが異なっており，デシリアライズに失敗する原因となる変更がアプリケーションに加えられている。
- readObject()メソッドが実装されており，内部でエラーが発生した。

対処

スタックトレースの内容を基にデシリアライズに失敗した原因を特定し対処してください。

KDJE34260-I

The global session information was created. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, size(byte) = dd....dd, HTTP session ID = ee....ee, global session ID = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：グローバルセッション情報のサイズ（バイト）

ee....ee：HTTP セッション ID

ff....ff：グローバルセッション ID

説明

SFO サーバに冗長化するグローバルセッション情報のサイズ（バイト）を示します。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（ee....ee）に「null」が出力されることがあります。

KDJE34261-I

The session information was serialized. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, attribute name = dd....dd, class name = ee....ee, size(byte) = ff....ff, HTTP session ID = gg....gg, global session ID = hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：オブジェクトを HTTP セッションへ登録した名前

ee....ee：HTTP セッションに登録されたオブジェクトのクラス名

ff....ff：HTTP セッションに登録されたオブジェクトから作成したグローバルセッション情報のサイズ（バイト）

gg....gg：HTTP セッション ID

hh....hh：グローバルセッション ID

説明

メモリセッションフェイルオーバ機能によって冗長化するオブジェクト一つ分のグローバルセッション情報のサイズ（バイト）を示します。

出力するサイズにはキー名称，区切り文字などのサイズを含みます。

KDJE34262-E

The size of global session information exceeded 1,048,576 bytes during its creation. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, attribute name = dd....dd, class name = ee....ee, size(byte) = ff....ff, HTTP session ID = gg....gg, global session ID = hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：サイズを超える原因となったオブジェクトを HTTP セッションへ登録した名前

ee....ee：サイズを超える原因となったオブジェクトのクラス名

ff....ff：サイズを超える原因となったオブジェクトのグローバルセッション情報一つ分のサイズ（バイト）

gg....gg：HTTP セッション ID
hh....hh：グローバルセッション ID

説明

作成中のグローバルセッション情報のサイズが 1,048,576 バイトを超えました。メモリセッションフェイルオーバ機能では，1,048,576 バイトを超えるグローバルセッション情報をサポートしていません。

グローバルセッション情報の作成を中止します。

対処

グローバルセッション情報のサイズが大きくなっている原因を調べて，次のどちらかの対処をしてください。

不要な情報が引き継ぎの対象となっている場合

Deployment Descriptor（web.xml）に定義したセッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタ（<init-param>タグ）の GSInfoKey-RW，または GSInfoKey-R を設定し，必要なセッション情報だけを引き継ぎの対象に指定してください。

引き継ぎの対象であるセッション情報のサイズが大きい場合

直列化可能クラスのオブジェクトの引き継ぎが有効な場合，セッション情報として登録したオブジェクトが不要な情報を含んでいることがあります。この場合，アプリケーションを変更し，HTTP セッションに登録するオブジェクトを変更して不要な情報を取り除きサイズを小さくしてください。

KDJE34263-I

The function for outputting the size of the global session information will now be enabled. The redundant global session information is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名
bb....bb：コンテキストルート名

説明

グローバルセッション情報のサイズ出力機能を有効にします。

グローバルセッション情報の冗長化は行いません。

KDJE34264-E

The settings for GSInfoKey-RW or GSInfoKey-R are inconsistent. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名
bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタ（<init-param>タグ）の GSInfoKey-RW と GSInfoKey-R に設定した内容が矛盾しています。

書き換え可能グローバルセッションのキーと読み込み専用グローバルセッションのキーの設定で，どちらも HTTP セッションに登録したすべてのセッション情報が対象に設定されています。

対処

HTTP セッションに登録されたすべてのセッション情報を引き継ぎの対象とする場合，書き換え可能グローバルセッション情報，または読み込み専用グローバルセッション情報のどちらか一方に設定してください。

設定の変更は次に示す手順で行います。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

KDJE34265-I

The parameter set to the session failover function is shown as follows. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, SFO server = cc....cc, naming service = dd....dd, max sessions = ee....ee, max session info size = ff....ff, max inactive interval = gg....gg, lock timeout = hh....hh, GS control = ii....ii, GID cookie name = jj....jj, GID URL param name = kk....kk, ll....ll, mm....mm, replicatable type = nn....nn)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：SFO サーバ名※

dd....dd：SFO サーバ上のネーミングサービスのアドレスおよびポート番号※

ee....ee：グローバルセッション数の最大値※

ff....ff：グローバルセッション情報サイズの最大値（バイト）※

gg....gg：グローバルセッションの有効期限（秒）

hh....hh：グローバルセッションへのロック待ちのタイムアウト値※

ii....ii：グローバルセッションの制御方法

cookie：HTTP Cookie を使用して制御します。

url-rewriting：URL 書き換えを使用して制御します。

both：HTTP Cookie および URL 書き換えの両方を使用して制御します。

jj....jj：ii....ii が cookie，または both の場合はグローバルセッション ID の送信に使用する HTTP Cookie の名称。ii....ii が url-rewriting の場合は空文字列

kk....kk：ii....ii が url-rewriting，または both の場合はグローバルセッション ID の送信に使用する URL のパスパラメタ名。ii....ii が cookie の場合は空文字列

ll....ll：書き換え可能グローバルセッション情報のキーの設定値

キーの設定情報は次のどちらかの形式で出力します。

- RW key = <書き換え可能グローバルセッション情報のキーの設定値>
  グローバルセッション情報のキーの設定値は，セミコロン（;）を区切り文字とし，連結して出力されます。
  GSInfoKey-RW パラメタを省略した場合，キーの設定値には空文字列を出力します。
- RW key(*)
  HTTP セッションに登録されたセッション情報のうち，GSInfoKey-R パラメタで指定したキーで登録されたものを除く，すべてのセッション情報を書き換え可能グローバルセッション情報に設定した場合，"RW key(*)"を出力します。

mm....mm：読み込み専用グローバルセッション情報のキーの設定値

キーの設定情報は次のどちらかの形式で出力します。

- R key = <読み込み専用グローバルセッション情報のキーの設定値>
  グローバルセッション情報のキーの設定値は，セミコロン（;）を区切り文字とし，連結して出力されます。

GSInfoKey-R パラメタを省略した場合，キーの設定値には空文字列を出力します。

- R key(*)

  HTTP セッションに登録されたセッション情報のうち，GSInfoKey-RW パラメタで指定したキーで登録されたものを除く，すべてのセッション情報を読み込み専用グローバルセッション情報に設定した場合，"R key(*)"を出力します。

nn....nn：引き継ぎ可能なセッション情報の型

String：java.lang.String クラスのオブジェクトだけ

String or byte[]：java.lang.String クラスのオブジェクト，または byte 配列

Serializable：直列化可能クラスのオブジェクト

注※

グローバルセッション情報のサイズ見積もり機能が有効な場合，空文字列が出力されます。

説明

メモリセッションフェイルオーバ機能の設定内容を示します。

KDJE34266-I

Received global session ID is being used by different HTTP session.(J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb,using HTTP session ID = cc....cc, received HTTP session ID = dd....dd, global session ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション ID を使用中の HTTP セッションのセッション ID

dd....dd：リクエストで送信された HTTP セッションのセッション ID

ee....ee：グローバルセッション ID

説明

別の HTTP セッションで使用中のグローバルセッション ID を持つリクエストを受信しました。このリクエストに対して，新たにグローバルセッション ID を発行します。

KDJE34300-I

The session fail over (DB) function will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

J2EE アプリケーション名 aa....aa，コンテキストルート名 bb....bb の Web アプリケーションのデータベースセッションフェイルオーバ機能を開始します。

KDJE34301-E

The session fail over (DB) function cannot start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能が開始できませんでした。Web アプリケーションを開始できません。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージの対処をしてください。対処後，J2EE サーバの再起動，または J2EE アプリケーションを再起動してください。

KDJE34302-I

The default value is applied to the application ID. (default value = aa....aa)

aa....aa：デフォルト値

説明

アプリケーション識別子にデフォルトの値 aa....aa を適用します。

KDJE34303-E

When the session fail over (DB) function is used, the maximum number of HTTP sessions must be specified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

HttpSession オブジェクト数の上限値設定機能による上限値が設定されていない，またはデフォルトの値（無制限）が使用されています。

データベースセッションフェイルオーバ機能を使用する場合，HttpSession オブジェクト数の上限値に有効な値を設定しなければなりません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

Web アプリケーションに HttpSeession オブジェクト数の上限値を設定したあと，J2EE アプリケーションを起動してください。

KDJE34304-E

The resource registered is not the DB Connector. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

説明

cc....cc で示す別名で登録されたリソースは DB Connector ではありません。

データベースセッションフェイルオーバ機能を開始できないため，Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

cc....cc の別名で登録されたリソースを確認してください。登録されたリソースが DB Connector でない場合，登録されたリソースを解放し，DB Connector を登録してください。

DB Connector の準備ができたあと，J2EE アプリケーションを開始してください。

KDJE34305-E

The DB Connector is not found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能で使用する DB Connector が指定された名前で登録されていません。

データベースセッションフェイルオーバ機能を開始できないため，Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

cc....cc の名称で DB Connector が登録されているか確認してください。DB Connector が登録されていない場合，使用する DB Connector を J2EE サーバに登録し，別名を設定してください。

DB Connector に設定した別名が誤っていた場合は，正しい別名を設定してください。

問題を取り除いたあと，Web アプリケーションを開始してください。

KDJE34306-I

An attempt to negotiate has succeeded. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, parameter = (dd....dd))

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：Web アプリケーションの設定情報

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能開始時のネゴシエーション処理に成功しました。

Web アプリケーションに設定したデータベースセッションフェイルオーバ機能の設定情報 dd....dd が次の形式で出力されます。

パラメタ名 = 設定値

パラメタ名の内容は次のとおりです。

max sessions：HttpSession オブジェクト数の最大値

max attribute data size：HTTP セッションの属性情報の最大サイズ（バイト）

max inactive interval：web.xml で定義した HTTP セッションの有効期間

exclude extensions：データベースセッションフェイルオーバ機能を抑止する拡張子※

integrity mode：完全性保障モードの設定値

session read only uris：HTTP セッションの参照専用リクエスト定義機能の設定値※

thread control queue enabled：Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御の実行待ちキューの空きが不足した場合に 503 エラーを返すかどうかの設定値

exception type backcompat：DBSFO 機能抑止対象リクエストのエラーページ内で HttpServletRequest#getSession メソッドを実行をした場合に発生する例外の互換オプションの設定値

session persistence version：DBSFO 機能のバージョン

注※

設定値が複数存在する場合は，コンマ（,）を区切り文字として連結されて出力されます。

KDJE34307-E

An attempt to negotiate has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, invalid parameter = (dd....dd), valid parameter = (ee....ee))

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：ネゴシエーション失敗の原因となった設定情報

ee....ee：正しい設定情報

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能開始時のネゴシエーション処理に失敗しました。データベースに格納されている Web アプリケーションの設定情報と，開始しようとした Web アプリケーションの設定情報が一致しません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

エラーとなったパラメタについて，現在設定されている情報が dd....dd に，データベースに格納されている情報が ee....ee に，次の形式で出力されます。

パラメタ名 = 設定値

パラメタ名の内容は次のとおりです。

- max sessions：HttpSession オブジェクト数の最大値
- max attribute data size：HTTP セッションの属性情報の最大サイズ（バイト）
- max inactive interval：web.xml で定義した HTTP セッションの有効期間
- exclude extensions：データベースセッションフェイルオーバ機能を抑止する拡張子※
- integrity mode：完全性保障モードの設定値
- session read only uris：HTTP セッションの参照専用リクエスト定義機能の設定値※
- thread control queue enabled：Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御の実行待ちキューの空きが不足した場合に 503 エラーを返すかどうかの設定値
- exception type backcompat：DBSFO 機能抑止対象リクエストのエラーページ内で HttpServletRequest#getSession メソッドを実行をした場合に発生する例外の互換オプションの設定値
- session persistence version:DBSFO 機能のバージョン

複数のエラーがある場合，コンマ（,）区切りで複数出力されます。

注※

設定値が複数存在する場合は，コンマ（,）を区切り文字として連結されて出力されます。

対処

ee....ee に表示されたデータベースに格納されている Web アプリケーションの設定情報に合わせ設定を修正してください。

詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6. データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

KDJE34308-W

The table used by the session fail over (DB) function is not found in the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, table = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：見つからなかったテーブルの名称

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能で使用するテーブルがデータベース上に見つかりません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

DB Connector で接続されたデータベースに，dd....dd で出力された名称のテーブルが存在するか確認してください。

DB Connector の接続先データベースが誤っていた場合は DB Connector の設定を正しい内容に変更してください。

データベースにテーブルが作成されていない場合は，データベースセッションフェイルオーバ機能で使用するテーブルを作成してください。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6. データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

KDJE34309-E

The table used by the session fail over (DB) function is illegal. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, table = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：内容が不正なテーブルの名称

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能で使用するテーブルの内容が不正です。データベースセッションフェイルオーバ機能を開始できません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

稼働中の冗長化された Web アプリケーションが存在する場合，すべて停止してください。

内容が不正なテーブルの名称にセッション情報格納テーブルの名称が出力された場合，Web アプリケーションに設定した HttpSession オブジェクト数の最大値と，テーブル作成時に使用したテーブル作成用 SQL ファイルに指定した値が一致しているかを確認してください。

この Web アプリケーションが使用していたデータベースセッションフェイルオーバ機能用の 3 種類のテーブルを，すべて削除し再作成してください。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6. データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

テーブルの再作成後 Web アプリケーションを開始してください。

KDJE34310-I

The watch of the expiration date of the global session information begins. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

データベース上のグローバルセッション情報の有効期限の監視を開始します。

KDJE34311-I

Because the expiration date had been passed, the global session information was deleted. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, deleted global session information no = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：削除したグローバルセッション情報の個数

説明

有効期限の監視の結果，有効期限切れとなったグローバルセッション情報を削除しました。

KDJE34312-W

An error occurred during communication with the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, exception = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：発生した例外の情報

説明

データベースとの通信で障害が発生しました。

対処

データベースが正常に稼働しているか，データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか，またはテーブル作成用 SQL ファイルの変更内容に誤りがないか確認してください。

データベースに障害が発生している場合，データベースの回復手順に従い原因を対策してください。

データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。通信路に問題が発生した場合，データベース上の排他が未解放となっている場合があります。業務を再開する前に無効な接続を確認して未解放となっている排他を解放してください。

テーブル作成用 SQL ファイルの変更内容がアプリケーションの設定と異なる場合，一致するようにテーブルを再作成するか，アプリケーションの設定を変更してください。設定を変更する手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6. データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

データベース，通信路，およびテーブル作成用 SQL ファイルの変更内容に問題がない場合，DB Connector のコネクションのタイムアウト時間の設定が適切かどうか確認してください。

コネクションのタイムアウト時間の設定が短いとデータベースでの障害発生時，回復処理が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。

データベースの回復時間を考慮して DB Connector のパラメタをチューニングしてください。

KDJE34314-W

An attempt to connect with the database has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, exception = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：発生した例外の情報

説明

データベースとの接続に失敗しました。

対処

データベースが正常に稼働しているか，およびデータベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないかを確認してください。

データベースに障害が発生している場合，データベースの回復手順に従い原因を対策してください。

データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。通信路に問題が発生した場合，データベース上の排他が未解放となっている場合があります。業務を再開する前に，無効な接続を確認して，未解放となっている排他を解放してください。

データベースおよび通信路に問題がない場合, DB Connector のコネクションのタイムアウト時間の設定が適切かどうか確認してください。

コネクションのタイムアウト時間の設定が短いとデータベースでの障害発生時，回復処理が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。

データベースの回復時間を考慮して DB Connector のパラメタをチューニングしてください。

KDJE34315-W

The global session information was not found in the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, HTTP session ID = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：HTTP セッション ID

説明

データベース上にグローバルセッション情報が見つかりませんでした。

受信したセッション ID に対応した HTTP セッションはすでに無効化されています。

対処

クライアントから，有効期限の切れた HTTP セッションを使用するリクエストを受け付けています。HTTP セッションに設定した有効期限の値が適切であるか確認してください。

HTTP セッションの有効期限の変更手順を次に示します。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. データベース上のデータベースセッションフェイルオーバ機能で使用する三つのテーブルを再作成する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または業務アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。
4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し開始する。

KDJE34316-W

The number of replicable sessions in the database has reached the maximum. The HTTP session will now be invalidated. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

データベースに冗長化可能な最大セッション数に達したため，新しいセッションを作成できません。作成した HTTP セッションは無効化します。

対処

Web アプリケーションに設定した HttpSeession オブジェクト数の上限値，または HTTP セッションの有効期限が適切であるか見直してください。

詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6. データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

KDJE34317-W

The attribute that cannot be serialized is contained in the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：シリアライズできない属性の名前

ee....ee：シリアライズできないオブジェクトのクラス名

説明

シリアライズできない属性が HTTP セッションに登録されています。この属性は無視されデータベースへ冗長化されません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

直列化可能なクラスではないオブジェクトが属性として HTTP セッションに登録されています。Web アプリケーションの内容を確認してください。

KDJE34318-E

An attempt to serialize the attribute information has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：シリアライズに失敗した属性の名前

ee....ee：シリアライズに失敗したオブジェクトのクラス名

説明

HTTP セッションの属性情報のシリアライズに失敗しました。この HTTP セッションの情報はデータベースに冗長化されません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

Web サーブレットログに「KDJE34319-E」のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定して，次のどれかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを HTTP セッションの属性から除外する。
- Web アプリケーションを変更し，シリアライズに失敗したオブジェクトからエラーとなった原因を取り除く。

なお，シリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズに失敗した属性のオブジェクトから参照されたオブジェクトが直列化可能なクラスでなかった。
- writeObject(java.io.ObjectOutputStream out)メソッドが実装されており，シリアライズ時に例外を発生した。

KDJE34319-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

HTTP セッションの属性情報のシリアライズ処理でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

スタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定して，次のどれかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを HTTP セッションの属性から除外する。
- Web アプリケーションを変更し，シリアライズに失敗したオブジェクトからエラーとなった原因を取り除く。

なお，シリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズに失敗した属性のオブジェクトから参照されたオブジェクトが直列化可能なクラスでなかった。

- writeObject（java.io.ObjectOutputStream out）メソッドが実装されており，シリアライズ時に例外を発生した。

KDJE34320-E

The size of the attribute information exceeds the max size. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

HTTP セッションの属性情報のサイズが最大値を超えています。この HTTP セッションの情報はデータベースに冗長化されません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

HTTP セッションの属性情報の最大サイズに設定した値が適切であるか確認し，問題がある場合は適切な値に変更してください。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6.　データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

KDJE34321-I

The global session information was successfully transferred. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

グローバルセッション情報の引き継ぎに成功しました。

KDJE34322-I

The global session information was transferred. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

J2EE サーバのメモリ上の HTTP セッションの情報が，データベース上の情報よりも古いため，グローバルセッション情報を引き継ぎます。

KDJE34324-W

An attempt to transfer the global session information has failed, because an error occurred during communication with the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, exception = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：発生した例外の情報

説明

データベースとの通信で障害が発生したため，グローバルセッション情報を引き継ぐことができませんでした。

対処

データベースが正常に稼働しているか，およびデータベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないかを確認してください。

データベースに障害が発生している場合，データベースの回復手順に従い原因を対策してください。

データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。通信路に問題が発生した場合，データベース上の排他が未解放となっている場合があります。業務を再開する前に，無効な接続を確認して，未解放となっている排他を解放してください。

データベースおよび通信路に問題がない場合，DB Connector のコネクションのタイムアウト時間の設定が適切かどうか確認してください。

コネクションのタイムアウト時間の設定が短いとデータベースでの障害発生時，回復処理が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。

データベースの回復時間を考慮して DB Connector のパラメタをチューニングしてください。

KDJE34325-W

An attempt to transfer the global session information has failed, because the global session information was not found in the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, HTTP session ID = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：HTTP セッション ID

説明

クライアントから受信した HTTP セッション ID に対応する HTTP セッションは，有効期限切れ，または J2EE サーバ上の Web アプリケーション内の処理ですでに無効化されています。データベースでグローバルセッション情報が見つかりません。

グローバルセッションの引き継ぎができませんでした。

対処

クライアントから，有効期限の切れた HTTP セッションを使用するリクエストを受け付けています。

HTTP セッションに設定した有効期限の値が適切であるか確認してください。

HTTP セッションの有効期限の変更手順を次に示します。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. データベース上のデータベースセッションフェイルオーバ機能で使用する三つのテーブルを再作成する。
3. Deployment Descriptor（web.xml）の設定，または業務アプリケーション内での HTTP セッションの有効期限設定を変更する。

4. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し開始する。

KDJE34326-E

An attempt to deserialize the global session information has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：デシリアライズに失敗した属性の名前

説明

データベースから取得したグローバルセッション情報のデシリアライズに失敗したため，セッションの引き継ぎができませんでした。

対処

Web サーブレットログに「KDJE34327-E」のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基に，デシリアライズに失敗した原因を特定して対処してください。

デシリアライズに失敗した原因として，次の要因が考えられます。

- シリアライズ時とデシリアライズ時で Web アプリケーションが異なっていて，デシリアライズに失敗する原因となる変更が Web アプリケーションに加えられている。
- readObject()メソッドが実装されていて，内部でエラーが発生した。

KDJE34327-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

グローバルセッション情報のデシリアライズ処理でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

スタックトレースの内容を基にデシリアライズに失敗した原因を特定して，対処してください。

デシリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズ時とデシリアライズ時でアプリケーションが異なっていて，デシリアライズに失敗する原因となる変更がアプリケーションに加えられている。
- readObject()メソッドが実装されていて，内部でエラーが発生した。

KDJE34328-E

The global session information from the database is illegal. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

説明

データベースから取得したグローバルセッション情報の内容が不正です。

対処

データベースが正常に稼働しているか，およびデータベースと J2EE サーバの通信路に問題がないかを確認してください。

また，外部からデータベースへの不正な操作が行なわれていないかを確認してください。

問題がない場合，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34329-I

The function for outputting the size of the attribute information will now be enabled. The redundant global session information is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

HTTP セッションの属性情報のサイズ見積もり機能を有効にします。

グローバルセッション情報は冗長化されません。

KDJE34330-I

The attribute information was created. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, size(byte) = dd....dd, HTTP session ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：HTTP セッションの属性情報のサイズ（バイト）

ee....ee：HTTP セッション ID

説明

データベースに冗長化する HTTP セッションの属性情報のサイズ（バイト）を示します。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（ee....ee）に「null」が出力されることがあります。

KDJE34331-I

An attribute was serialized. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, attribute name = dd....dd, class name = ee....ee, size(byte) = ff....ff, HTTP session ID = gg....gg)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：HTTP セッションに登録された属性の名前

ee....ee：HTTP セッションに登録された属性のクラス名

ff....ff：HTTP セッションに登録された属性をシリアライズして作成したバイト配列のサイズ（バイト）

gg....gg：HTTP セッション ID

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能によって冗長化する HTTP セッションに登録された属性一つ分のシリアライズ後のサイズ（バイト）を示します。

出力するサイズには属性の名前の情報を含みます。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（gg....gg）に「null」が出力されることがあります。

KDJE34332-E

The size of global session information exceeded 10,485,760 bytes during its creation. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, attribute name = dd....dd, class name = ee....ee, size(byte) = ff....ff, HTTP session ID = gg....gg)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：サイズを超える原因となった属性の名前

ee....ee：サイズを超える原因となった属性のクラス名

ff....ff：サイズを超える原因となった属性一つ分のサイズ（バイト）

gg....gg：HTTP セッション ID

説明

作成中の属性情報のサイズが 10,485,760 バイトを超えました。データベースセッションフェイルオーバ機能では，10,485,760 バイトを超える HTTP セッションの属性情報をサポートしていません。

グローバルセッション情報の作成を中止します。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（gg....gg）に「null」が出力されることがあります。

対処

HTTP セッションに不要な情報を属性として登録している場合があります。この場合，アプリケーションを変更し，HTTP セッションに登録する属性から不要なものを取り除き，サイズを小さくしてください。

KDJE34335-E

The memory session failover function and the database session failover function cannot be enabled at the same time.

説明

メモリセッションフェイルオーバ機能とデータベースセッションフェイルオーバ機能は同時に使用できません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

システムの構成，要件に合わせ，メモリセッションフェイルオーバ機能，またはデータベースセッションフェイルオーバ機能のどちらか一方を適用してください。

KDJE34336-W

An error occurred during communication with the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

説明

有効期限の監視処理でデータベースに障害が発生しました。

対処

データベースが正常に稼働しているか，データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか，またはテーブル作成用 SQL ファイルの変更内容に誤りがないか確認してください。

データベースに障害が発生している場合，データベースの回復手順に従い原因を対策してください。

データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。通信路に問題が発生しているとき，データベース上の排他が未解放となっていることがあります。業務を再開する前に無効な接続を確認して，未解放となっている排他を解放してください。

テーブル作成用 SQL ファイルの設定がアプリケーションの設定に誤りがある場合，設定を修正してください。設定を変更する手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6. データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

データベース，通信路，およびテーブル作成用 SQL ファイルの変更内容に問題がない場合，DB Connector のコネクションのタイムアウト時間の設定が適切かどうか確認してください。コネクションのタイムアウト時間の設定が短いとデータベースでの障害発生時，回復処理が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。データベースの回復時間を考慮して DB Connector のパラメタをチューニングしてください。

KDJE34337-W

The attribute that cannot be serialized is contained in the HTTP session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：シリアライズできない属性の名前

ee....ee：シリアライズできないオブジェクトのクラス名

説明

シリアライズできない属性が HTTP セッションに登録されています。この属性は無視されデータベースへの冗長化対象となりません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

直列化可能なクラスではないオブジェクトが属性として HTTP セッションに登録されています。Web アプリケーションの内容を確認してください。

KDJE34338-E

An attempt to serialize the global session information has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：シリアライズに失敗した属性の名前

ee....ee：シリアライズに失敗したオブジェクトのクラス名

説明

HTTP セッションの属性情報のシリアライズに失敗しました。この HTTP セッションの情報はデータベースへの冗長化対象となりません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（ee....ee）に「null」が出力されることがあります。

対処

Web サーブレットログに「KDJE34319-E」のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定して，次のどれかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを HTTP セッションの属性から除外する。
- Web アプリケーションを変更し，シリアライズに失敗したオブジェクトからエラーとなった原因を取り除く。

なお，シリアライズに失敗した原因として，次のことが考えられます。

- シリアライズに失敗した属性のオブジェクトから参照されたオブジェクトが直列化可能なクラスでなかった。
- writeObject（java.io.ObjectOutputStream out）メソッドが実装されており，シリアライズ時に例外を発生した。

KDJE34339-E

When the session fail over (DB) function is used, the session cookie delete function must be enabled. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

HTTP セッションの HTTP Cookie 削除が無効です。

データベースセッションフェイルオーバ機能を使用する場合，HTTP セッションの HTTP Cookie 削除を有効に設定しなければなりません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

HTTP セッションの HTTP Cookie 削除を有効に設定したあと，J2EE アプリケーションを起動してください。

HTTP セッションの HTTP Cookie 削除を有効にするには，J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）の webserver.session.delete_cookie.backcompat キーに false を設定して，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34340-E

The specified application ID is already being used by another application. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc, table = dd....dd, J2EE application in table = ee....ee, context root in table = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

dd....dd：アプリケーション情報テーブルの名称

ee....ee：アプリケーション情報テーブルに登録されている J2EE アプリケーション名

ff....ff：アプリケーション情報テーブルに登録されているコンテキストルート名

説明

指定したアプリケーション識別子は異なるアプリケーションで使用されています。

対処

次のどちらかで対処してください。

- 既存のアプリケーションと同じアプリケーションを開始したい場合

  J2EE アプリケーション名またはコンテキストルート名がすでに開始済みの同じアプリケーションの情報と異なっていないか確認してください。情報が異なっている場合，設定を修正し，アプリケーションを起動してください。

- 既存のアプリケーションと異なるアプリケーションを開始したい場合

  Web アプリケーションにほかのアプリケーションで使用されていないアプリケーション識別子を設定し，テーブルを再作成して，アプリケーションを開始してください。テーブルの作成は，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「6. データベースセッションフェイルオーバ機能」を参照してください。

KDJE34341-W

A property of the session fail over (DB) function controlled by the URI is invalid. The URI will be ignored. (URI = aa....aa)

aa....aa：不正な URI

説明

URI によるデータベースセッションフェイルオーバ機能抑止のプロパティに不正な URI が指定されています。指定されている URI を無視します。

対処

URI によるデータベースセッションフェイルオーバ機能抑止のプロパティに不正な URI が指定されていないか確認し，正しい URI を指定してください。次に示す URI は不正です。

- 正規化していない。
- 先頭文字がスラッシュ（/）で始まっていない。

KDJE34342-I

The database integrity mode of the session failover (database) function has been enabled. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能の完全性保障モードが有効になりました。

KDJE34343-I

The database integrity mode of the session failover (database) function has been disabled. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能の完全性保障モードが無効になりました。

KDJE34344-I

Transfer of global sessions at Web application startup will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション開始時のグローバルセッション情報の引き継ぎ処理を開始します。

KDJE34345-W

Transfer of global sessions at Web application startup could not start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, exception = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：発生した例外の情報

説明

データベースとの通信で障害が発生したため，Web アプリケーション開始時のグローバルセッション情報の引き継ぎ処理を開始できませんでした。

対処

データベースが正常に稼働しているか，データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

データベースに障害が発生している場合，データベースの回復手順に従い原因を対策してください。

データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。通信路に問題が発生した場合，データベース上の排他が未解放となっていることがあります。業務を再開する前に無効な接続を確認して未解放となっている排他を解放してください。

データベースおよび通信路に問題がない場合，DB Connector のコネクションのタイムアウト時間の設定が適切かどうか確認してください。コネクションのタイムアウト時間の設定が短いとデータベースでの障害発生時，回復処理が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。データベースの回復時間を考慮して DB Connector のパラメタをチューニングしてください。

なお，このメッセージが出力された場合，グローバルセッション情報は，再度 Web アプリケーションを開始するか，リクエストを受信して引き継がれるまでデータベースに残り続けます。残り続けたグローバルセッション情報をグローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）で削除してください。

KDJE34346-W

Transfer of global sessions at Web application startup failed because an error occurred during communication with the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, DB Connector = dd....dd, exception = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：引き継ぎできなかった HTTP セッション ID

dd....dd：DB Connector の別名

ee....ee：発生した例外の情報

説明

データベースとの通信で障害が発生したため，Web アプリケーション開始時にグローバルセッション情報を引き継ぎできませんでした。

対処

データベースが正常に稼働しているか，データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

データベースに障害が発生している場合，データベースの回復手順に従い原因を対策してください。

データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。通信路に問題が発生した場合，データベース上の排他が未解放となっていることがあります。業務を再開する前に無効な接続を確認して，未解放となっている排他を解放してください。

データベースおよび通信路に問題がない場合，DB Connector のコネクションのタイムアウト時間の設定が適切かどうか確認してください。

コネクションのタイムアウト時間の設定が短いとデータベースでの障害発生時，回復処理が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。データベースの回復時間を考慮して DB Connector のパラメタをチューニングしてください。

なお，このメッセージが出力された場合，グローバルセッション情報は，再度 Web アプリケーションを開始するか，リクエストを受信して引き継がれるまでデータベースに残り続けます。残り続けたグローバルセッション情報をグローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）で削除してください。

KDJE34347-I

The global session has already been transferred. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

Web アプリケーション開始時に引き継ごうとしたグローバルセッション情報は，すでに J2EE サーバに引き継がれています。

KDJE34348-I

The global session has already been transferred to another J2EE server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

Web アプリケーション開始時に引き継ごうとしたグローバルセッション情報は，別の J2EE サーバに引き継がれています。

KDJE34349-I

Transfer of global sessions at Web application startup finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション開始時のグローバルセッション情報の引き継ぎ処理を終了しました。

KDJE34357-W

A property of the requests that only read HTTP session is invalid. The URI will be ignored. (URI = aa....aa)

aa....aa：不正な URI

説明

HTTP セッションの参照専用リクエスト定義機能の参照専用リクエストの定義に不正な URI が指定されています。

対処

参照専用リクエストとして不正な URI が指定されていないか確認し，正しい URI を指定してください。次に示す URI は不正です。

- 正規化していない。
- スラッシュ（/）で始まらない。
- URI の長さが 512 文字を超えている。

KDJE34358-I

A difference of parameters was detected by negotiation. Processing will continue. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, parameter defined by Web application = (dd....dd), parameter stored in database = (ee....ee))

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：Web アプリケーションに現在設定されている情報

ee....ee：データベースに格納されている情報

説明

データベースセッションフェイルオーバ機能開始時のネゴシエーション処理で，データベースに格納されている Web アプリケーションの設定情報と，開始しようとした Web アプリケーションの設定情報が一致しませんでしたが，開始処理を続行します。

設定情報が一致しなかったパラメタについて，現在設定されている情報が dd....dd に，データベースに格納されている情報が ee....ee に，次の形式で出力されます。

パラメタ名 = 設定値

パラメタ名の内容はのとおりです。

- max sessions：HttpSession オブジェクト数の最大値
- max inactive interval：web.xml で定義した HTTP セッションの有効期間

複数の設定情報が一致しなかった場合，コンマ（,）区切りで複数出力されます。

KDJE34359-E

Usage: cjclearsession [-count] [-dbtype {hirdb|oracle}] <URL> <user> <password> <application ID> <server ID>

説明

グローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）の引数に誤りがあります。使用方法を出力します。

対処

グローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）の引数を正しく指定してください。

KDJE34360-I

The number of global sessions was successfully acquired. (application ID = aa....aa, server ID = bb....bb, number of global sessions = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション識別子

bb....bb：サーバ ID

cc....cc：グローバルセッション情報数

説明

グローバルセッション情報数の取得が完了しました。

KDJE34361-I

The global sessions has been cleared successfully. (application ID = aa....aa, server ID = bb....bb, count of cleared global sessions = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション識別子

bb....bb：サーバ ID

cc....cc：削除したグローバルセッション情報数

説明

グローバルセッション情報の削除が完了しました。

KDJE34362-E

An attempt to clear the global sessions failed because an error occurred during communication with the database. (application ID = aa....aa, server ID = bb....bb, number of cleared global sessions = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション識別子

bb....bb：サーバ ID

cc....cc：削除したグローバルセッション情報数

説明

データベースアクセスでエラーが発生したため，グローバルセッション情報の削除に失敗しました。処理を中止します。

対処

データベースが正常に稼働しているか，データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

通信路に問題が発生した場合，データベース上の排他が未解放となっている場合があります。無効な接続を確認して，未解放となっている排他を解放してください。

問題を解決後，グローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）を実行してください。

KDJE34363-E

An attempt to load the JDBC driver class failed. (JDBC driver = aa....aa)

aa....aa：JDBC ドライバのクラス名

説明

JDBC ドライバのクラスのロードに失敗しました。

対処

JDBC ドライバのパスを正しく指定してください。

KDJE34364-E

An attempt to connect to the database failed. (URL = aa....aa, user = bb....bb)

aa....aa：接続先の URL

bb....bb：データベースに接続するユーザ

説明

データベースへの接続に失敗しました。

要因として次のことが考えられます。

- 接続先の URL，接続ユーザ，またはパスワードに誤りがある。
- データベースが正常に稼働していない。
- データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している。

対処

要因に応じて対処してください。

KDJE34365-E

The table specified by the application ID was not found in the database. (application ID = aa....aa, URL = bb....bb, user = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション識別子

bb....bb：接続先の URL

cc....cc：データベースに接続するユーザ

説明

指定されたアプリケーション識別子に対応するテーブルがデータベースに存在しませんでした。

要因として次のことが考えられます。

- アプリケーション識別子に誤りがある。
- 接続先のデータベース，ユーザに誤りがある。

対処

要因に応じて対処してください。

KDJE34366-E

An error occurred during a database access. (exception = aa....aa)

aa....aa：発生した例外の情報

説明

データベースのアクセスでエラーが発生しました。

要因として次のことが考えられます。

- データベースが正常に稼働していない。
- データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している。

対処

要因に応じて対処してください。

KDJE34367-W

An HTTP session was not stored in the database because the number of global sessions has reached the maximum. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

グローバルセッション情報の作成時にグローバルセッション数が最大に達したため，縮退した HTTP セッションがあります。

対処

縮退している HTTP セッションはセッションフェイルオーバの対象になりません。

なお，縮退している HTTP セッションは，以降の HTTP セッションの操作でデータベースが空いた時点でデータベースに更新されます。

KDJE34368-W

An HTTP session was not stored in the database because an error occurred during communication with the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, exception = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：最近発生した例外の情報

説明

グローバルセッション情報の操作時にデータベース障害が発生したため，縮退した HTTP セッションがあります。

対処

縮退している HTTP セッションはセッションフェイルオーバの対象になりません。

縮退している HTTP セッションは，以降の HTTP セッションの操作でデータベースアクセスに成功した時点でデータベースに更新されます。

KDJE34369-I

HTTP sessions that were not stored in the database were lost. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

縮退していた HTTP セッションはなくなりました。

KDJE34370-W

An attempt to transfer global sessions at Web application startup failed because the number of HTTP sessions has reached the maximum for the J2EE server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：引き継ぎできなかった HTTP セッション ID

説明

J2EE サーバ上の HTTP セッション数が最大に達しているため，Web アプリケーション開始時にグローバルセッション情報を引き継ぎできませんでした。

対処

HttpSession 数の上限値設定が適切であるか見直してください。

なお，このメッセージが出力された場合，グローバルセッション情報は，再度 Web アプリケーションを開始するか，リクエストを受信して引き継がれるまでデータベースに残り続けます。残り続けたグローバルセッション情報をグローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）で削除してください。

KDJE34371-E

The function that adds the server ID to the HTTP cookie is disabled.

説明

HTTP Cookie へのサーバ ID の付加機能が無効です。

対処

完全性保障モードが無効である場合，HTTP Cookie へのサーバ ID 付加機能を有効にする必要があります。

ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）の webserver.session.server_id.enabled キーに「true」，webserver.session.server_id.value キーには「冗長化された J2EE サーバごとに異なる値」を設定してください。

KDJE34376-W

Error 503 cannot be returned by the queue because thread control by Web application is disabled.

説明

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御が無効のため，実行待ちキューによって 503 エラーを返すことはできません。

対処

ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）の webserver.dbsfo.thread_control_queue.enabled キーに「true」を指定する場合は，webserver.container.thread_control.enabled キーに「true」を指定してください。

KDJE34377-E

An attempt to clear the global sessions failed because an error occurred during communication with the database. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, DB Connector = cc....cc, exception = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：DB Connector の別名

dd....dd：発生した例外の情報

説明

データベースとの通信で障害が発生したため，グローバルセッション情報の削除，または有効期限の切れたグローバルセッション情報の削除に失敗しました。

対処

データベースが正常に稼働しているか，データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

データベースに障害が発生している場合，データベースの回復手順に従い原因を対策してください。

データベースと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，データベースの排他が未解放となっていることがあります。無効な接続を確認し，未解放の排他を解放してください。

データベースおよび通信路に問題がない場合，DB Connector のコネクションのタイムアウト時間の設定が適切かどうか確認してください。コネクションのタイムアウト時間の設定が短いとデータベースでの障害発生時，回復処理が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。データベースの回復時間を考慮して DB Connector のパラメタをチューニングしてください。

なお，このメッセージが出力された場合，グローバルセッション情報は，再度 Web アプリケーションを開始するか，リクエストを受信して引き継がれるまでデータベースに残り続けます。残り続けたグローバルセッション情報をグローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）で削除してください。

KDJE34378-E

The output directory could not be created. (directory = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：ディレクトリパス

bb....bb：要因メッセージ

説明

ログの出力先ディレクトリを作成できません。グローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）の実行を中止します。

対処

要因メッセージの内容に従って問題を解決して，再度グローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）を実行してください。

KDJE34379-E

An unexpected error occurred. (aa....aa)

aa....aa：予期しない例外のエラーメッセージ

説明

グローバルセッション情報削除コマンド（cjclearsession）で予期しない例外が発生しました。

対処

ログにほかのエラーメッセージが出力していないか確認してください。

問題がない場合，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE34380-E

The HttpSession object could not be instantiated because the number of global sessions has reached the maximum. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max global sessions = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：グローバルセッション数の上限値

説明

グローバルセッション数が上限値に達しているため，HttpSession オブジェクトを生成できませんでした。

対処

データベースのグローバルセッション数が小さ過ぎるおそれがあります。必要に応じてデータベースのグローバルセッション数の上限値を大きくしてください。

KDJE34400-I

The session failover (EADs) functionality will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

J2EE アプリケーション名が aa....aa，コンテキストルート名が bb....bb の Web アプリケーションの EADs セッションフェイルオーバ機能を開始します。

KDJE34401-E

The session failover (EADs) functionality could not start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能が開始できませんでした。Web アプリケーションを開始できません。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージの対処をしてください。対処後，J2EE サーバを再起動，または J2EE アプリケーションを再起動してください。

KDJE34402-I

The default value will be applied to the application ID. (default value = aa....aa)

aa....aa：デフォルト値

説明

アプリケーション識別子にデフォルトの値 aa....aa を適用します。

KDJE34403-E

The session failover (EADs) functionality cannot be used at the same time as the memory session failover functionality or the database session failover functionality.

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能は，メモリセッションフェイルオーバ機能またはデータベースセッションフェイルオーバ機能と同時に使用できません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

システムの構成，要件に合わせ，EADs セッションフェイルオーバ機能，メモリセッションフェイルオーバ機能またはデータベースセッションフェイルオーバ機能のどれか一つを適用してください。

KDJE34404-E

The functionality that adds the server ID to HTTP cookies is disabled.

説明

HTTP Cookie へのサーバ ID の付加機能が無効です。

対処

EADs セッションフェイルオーバ機能では，HTTP Cookie へのサーバ ID 付加機能を有効にする必要があります。

簡易構築定義ファイルの webserver.session.server_id.enabled プロパティには「true」，webserver.session.server_id.value プロパティには冗長化された J2EE サーバごとに異なる値を設定してください。

KDJE34405-I

Negotiation was successful. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, parameter = (cc....cc))

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：Web アプリケーションの設定情報

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能開始時のネゴシエーション処理に成功しました。

Web アプリケーションに設定した EADs セッションフェイルオーバ機能の設定情報が cc....cc に，次の形式で出力されます。

パラメタ名 ＝ 設定値

パラメタ名の内容は次のとおりです。

- max sessions：HttpSession オブジェクト数の最大値
- max inactive interval：web.xml で定義した HTTP セッションの有効期間
- exclude url patterns：EADs セッションフェイルオーバ抑止機能の設定※
- session read only url patterns※：HTTP セッションの参照専用リクエスト定義機能の設定※
- session persistence version：EADs セッションフェイルオーバ機能のバージョン

注※

設定値が複数ある場合は，","（コンマ）を区切り文字として連結されて出力されます。

KDJE34406-E

Negotiation failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, invalid parameter = (cc....cc), valid parameter = (dd....dd))

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：ネゴシエーション失敗の原因となった設定情報

dd....dd：正しい設定情報

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能開始時のネゴシエーション処理に失敗しました。EADs サーバに格納されている Web アプリケーションの設定情報と，開始しようとした Web アプリケーションの設定情報が一致しません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

エラーとなったパラメタについて，現在設定されている情報が cc....cc に，EADs サーバに格納されている情報が dd....dd に，次の形式で出力されます。

パラメタ名 ＝ 設定値

パラメタ名の内容は次のとおりです。

- exclude url patterns：EADs セッションフェイルオーバ抑止機能の設定※
- session read only url patterns：HTTP セッションの参照専用リクエスト定義機能の設定※
- session persistence version：EADs セッションフェイルオーバ機能のバージョン

注※

設定値が複数ある場合は，","（コンマ）を区切り文字として連結されて出力されます。

対処

dd....dd に表示された EADs サーバに格納されている Web アプリケーションの設定情報に合わせて，設定を修正してください。

設定を変更する場合は，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.7　EADs セッションフェイルオーバ機能に関する設定の変更」を参照して，実施してください。

KDJE34407-E

The cache used by the session failover (EADs) functionality was not found in the EADs server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, cache = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：見つからなかったキャッシュの名称

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能で使用するキャッシュが EADs サーバ上に見つかりません。

Web アプリケーションの開始を中止します。

対処

EADs サーバ上に，cc....cc で出力された名称のキャッシュが存在するか確認してください。

接続先 EADs サーバが誤っていた場合は J2EE サーバの設定を正しい内容に変更してください。

EADs サーバ上にキャッシュが作成されていない場合は，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.6.3　キャッシュの作成」を参照して，EADs セッションフェイルオーバ機能で使用するキャッシュを作成してください。

KDJE34409-I

A difference in the parameter settings was detected during negotiation. Processing will continue. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, parameter defined by Web application = (cc....cc), parameter stored in EADs server = (dd....dd))

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：Web アプリケーションに現在設定されている情報

dd....dd：EADs サーバに格納されている情報

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能開始時のネゴシエーション処理で EADs サーバに格納されている Web アプリケーションの設定情報と，開始しようとした Web アプリケーションの設定情報が一致しませんでしたが，開始処理を続行します。

設定情報が一致しなかったパラメタについて，現在設定されている情報が cc....cc に，EADs サーバに格納されている情報が dd....dd に，次の形式で出力されます。

パラメタ名 = 設定値

パラメタ名の内容は次のとおりです。

- max sessions：HttpSession オブジェクト数の最大値
- max inactive interval：web.xml で定義した HTTP セッションの有効期間

複数の設定情報が一致しなかった場合，","コンマで区切り複数出力されます。

KDJE34410-W

The HTTP session contains an attribute that cannot be serialized. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID

dd....dd：シリアライズできない属性の名前

ee....ee：シリアライズできないオブジェクトのクラス名

説明

シリアライズできない属性が HTTP セッションに登録されています。この属性は無視され EADs サーバへ冗長化されません。

対処

直列化可能なクラスではないオブジェクトが属性として HTTP セッションに登録されています。Web アプリケーションの内容を確認してください。

KDJE34411-E

An attempt to serialize the attribute information failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID

dd....dd：シリアライズに失敗した属性の名前

ee....ee：シリアライズに失敗したオブジェクトのクラス名

説明

HTTP セッションの属性情報のシリアライズに失敗しました。この HTTP セッションの情報は EADs サーバに冗長化されません。

シリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズに失敗した属性のオブジェクトから参照されたオブジェクトが直列化可能なクラスでなかった。
- writeObject(java.io.ObjectOutputStream out)メソッドが実装されていて，シリアライズ時に例外を発生した。

対処

Web サーブレットログに KDJE34412-E のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定し，次のどれかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを HTTP セッションの属性から除外する。
- Web アプリケーションを変更し，シリアライズに失敗したオブジェクトからエラーとなった原因を取り除く。

KDJE34412-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

HTTP セッションの属性情報のシリアライズ処理でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

シリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズに失敗した属性のオブジェクトから参照されたオブジェクトが直列化可能なクラスでなかった。

- writeObject(java.io.ObjectOutputStream out)メソッドが実装されていて，シリアライズ時に例外を発生した。

対処

スタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定し，次のどれかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを HTTP セッションの属性から除外する。
- Web アプリケーションを変更し，シリアライズに失敗したオブジェクトからエラーとなった原因を取り除く。

KDJE34413-E

An attempt to deserialize the global session information failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID

dd....dd：デシリアライズに失敗した属性の名前

説明

EADs サーバから取得したグローバルセッション情報のデシリアライズに失敗したため，セッションが引き継げませんでした。

デシリアライズに失敗した原因として，次の要因が考えられます。

- シリアライズ時とデシリアライズ時で Web アプリケーションが異なっていて，デシリアライズに失敗する原因となる変更が Web アプリケーションに加えられている。
- readObject()メソッドが実装されていて，内部でエラーが発生した。

対処

Web サーブレットログに KDJE34414-E のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基にデシリアライズに失敗した原因を特定し，対処してください。

KDJE34414-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

グローバルセッション情報のデシリアライズ処理でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

デシリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズ時とデシリアライズ時でアプリケーションが異なっていて，デシリアライズに失敗する原因となる変更がアプリケーションに加えられている。
- readObject()メソッドが実装されていて，内部でエラーが発生した。

対処

スタックトレースの内容を基にデシリアライズに失敗した原因を特定し対処してください。

KDJE34415-I

The functionality for outputting the size of the attribute information will now be enabled. The global session information will not be duplicated. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

HTTP セッションの属性情報のサイズ見積もり機能を有効にします。

グローバルセッション情報の冗長化はしません。

KDJE34416-I

HTTP session attribute information was created. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, size (bytes) = dd....dd, HTTP session ID = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：HTTP セッションの属性情報のサイズ（バイト）

ee....ee：HTTP セッションのセッション ID

説明

EADs サーバに冗長化する HTTP セッションの属性情報のサイズ（単位：バイト）を示します。

KDJE34417-I

An attribute registered in the HTTP session was serialized. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URL = cc....cc, attribute name = dd....dd, class name = ee....ee, size (bytes) = ff....ff, HTTP session ID = gg....gg)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URL

dd....dd：HTTP セッションに登録された属性の名前

ee....ee：HTTP セッションに登録された属性のクラス名

ff....ff：HTTP セッションに登録された属性をシリアライズして作成したバイト配列のサイズ（バイト）

gg....gg：HTTP セッションのセッション ID

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能で冗長化する，HTTP セッションに登録された属性一つ分の，シリアライズ後のサイズ（単位：バイト）を示します。

出力するサイズには属性の名前の情報を含みます。

KDJE34418-W

The HTTP session contains an attribute that cannot be serialized. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID

dd....dd：シリアライズできない属性の名前

ee....ee：シリアライズできないオブジェクトのクラス名

説明

シリアライズできない属性が HTTP セッションに登録されています。この属性は無視され，EADs サーバへの冗長化対象となりません。

対処

直列化可能なクラスではないオブジェクトが属性として HTTP セッションに登録されています。Web アプリケーションの内容を確認してください。

KDJE34419-E

An attempt to serialize the global session information failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, attribute name = dd....dd, invalid class = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID

dd....dd：シリアライズに失敗した属性の名前

ee....ee：シリアライズに失敗したオブジェクトのクラス名

説明

HTTP セッションの属性情報のシリアライズに失敗しました。この HTTP セッションの情報は EADs サーバへの冗長化対象となりません。

シリアライズに失敗した原因として，次の原因が考えられます。

- シリアライズに失敗した属性のオブジェクトから参照されたオブジェクトが直列化可能なクラスでなかった。
- writeObject(java.io.ObjectOutputStream out)メソッドが実装されていて，シリアライズ時に例外を発生した。

対処

Web サーブレットログに KDJE34412-E のメッセージ ID で出力されたスタックトレースの内容を基にシリアライズに失敗した原因を特定し，次のどれかの対処をしてください。

- エラーの発生したオブジェクトを HTTP セッションの属性から除外する。
- Web アプリケーションを変更し，シリアライズに失敗したオブジェクトからエラーとなった原因を取り除く。

KDJE34420-W

An HTTP session was not stored in the EADs slave server because an error occurred during communication with that server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：最近発生した例外の情報

説明

グローバルセッション情報の操作時に EADs サーバ障害が発生し，セッション情報のコピー先サーバの更新に失敗したため，縮退した HTTP セッションがあります。

対処

セッション情報のコピー先サーバの更新失敗で縮退している HTTP セッションは，セッションフェイルオーバの対象にならない場合があります。

縮退している HTTP セッションは，以降の HTTP セッションの操作で EADs サーバアクセスに成功した時点で，EADs サーバに更新されます。

KDJE34421-E

An attempt to connect with the EADs server has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：発生した例外の情報

説明

EADs サーバとの接続に失敗しました。

対処

このメッセージが出力された場合は，EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

EADs サーバに障害が発生している場合，EADs サーバの復旧手順に従って対策してください。EADs サーバで障害が発生した場合の復旧手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「2.5.4　EADs セッションフェイルオーバ機能でトラブルが発生した場合」を参照してください。

EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。

KDJE34422-E

An attempt to clear the global session information failed because an error occurred during communication with the EADs slave server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc, application ID = dd....dd, HTTP session ID =ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：発生した例外の情報

dd....dd：アプリケーション識別子

ee....ee：HTTP セッションのセッション ID

説明

セッション情報のコピー先サーバとの通信で障害が発生したため，コピー先サーバ上のグローバルセッション情報の削除，または有効期限の切れたグローバルセッション情報の削除に失敗しました。

対処

このメッセージが出力された場合，一つ以上のグローバルセッション情報がコピー先サーバに残り続けています。

対処については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.8.2　EADs サーバ上に残ったグローバルセッション情報の削除（セッション情報のコピー先サーバ）」を参照してください。

このメッセージが出力された場合は，EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

EADs サーバに障害が発生している場合，EADs サーバの復旧手順に従って対策してください。EADs サーバで障害が発生した場合の復旧手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「2.5.4　EADs セッションフェイルオーバ機能でトラブルが発生した場合」を参照してください。

EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。

KDJE34423-E

An attempt to clear the global session information failed because an error occurred in the operation of the EADs server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：発生した例外の情報

説明

EADs サーバとの通信で障害が発生した，または EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションでエラーが発生したため，グローバルセッション情報の削除，または有効期限の切れたグローバルセッション情報の削除に失敗しました。

対処

このメッセージが出力された場合，一つ以上のグローバルセッション情報が EADs サーバに残り続けています。

EADs サーバに残り続けているグローバルセッション情報は，Web アプリケーションを再度開始するか，同じセッション ID を持つリクエストを受信すると再び利用可能なセッションとして J2EE サーバに引き継がれます。

EADs サーバに残り続けたグローバルセッション情報を削除するには，グローバルセッション情報削除コマンド（cjezclearsession コマンド）を使用してください。グローバルセッション情報の削除手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.8.1　EADs サーバ上のグローバルセッション情報の削除（セッション情報の格納先サーバ)」を参照してください。

このメッセージが出力された場合は，EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

EADs サーバに障害が発生している場合，EADs サーバの復旧手順に従って対策してください。EADs サーバで障害が発生した場合の復旧手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「2.5.4　EADs セッションフェイルオーバ機能でトラブルが発生した場合」を参照してください。

EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。

また，EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションの JAR ファイルが EADs サーバに配置されているか，および外部から EADs サーバへの不正な操作が行われていないか確認してください。

KDJE34424-I

The global session information was inherited successfully. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID

説明

グローバルセッションの引き継ぎに成功しました。

KDJE34425-W

An attempt to inherit the global session information failed because an error occurred in the operation of the EADs server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：発生した例外の情報

説明

EADs サーバとの通信で障害が発生した，または EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションでエラーが発生したため，グローバルセッションを引き継げませんでした。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

EADs サーバに障害が発生している場合，EADs サーバの復旧手順に従って対策してください。EADs サーバで障害が発生した場合の復旧手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「2.5.4　EADs セッションフェイルオーバ機能でトラブルが発生した場合」を参照してください。

EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。

また，EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションの JAR ファイルが EADs サーバに配置されているか，および外部から EADs サーバへの不正な操作が行なわれていないか確認してください。

KDJE34426-W

An attempt to inherit the global session information failed because that information was not found in the EADs server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID

説明

クライアントから受信した HTTP セッションのセッション ID に対応する HTTP セッションは，有効期限切れ，または J2EE サーバ上の Web アプリケーション内の処理ですでに無効化されています。

EADs サーバにグローバルセッション情報が見つからないため，グローバルセッションの引き継ぎができませんでした。

対処

クライアントから，有効期限の切れた HTTP セッションを使用するリクエストを受け付けています。

HTTP セッションに設定した有効期限の値が適切かどうか確認してください。

KDJE34427-W

An HTTP session was not stored in the EADs server because an error occurred during communication with the EADs server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：最近発生した例外の情報

説明

グローバルセッション情報の操作時に EADs サーバ障害が発生したため，縮退した HTTP セッションがあります。

対処

縮退している HTTP セッションは，セッションフェイルオーバの対象になりません。

縮退している HTTP セッションは，以降の HTTP セッションの操作で EADs サーバにアクセスできた時点で，EADs サーバに更新されます。

KDJE34428-I

HTTP sessions that were not stored in the EADs server have been deleted. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

縮退していた HTTP セッションは削除されました。

KDJE34429-I

Processing to inherit global session information at Web application startup will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション開始時のグローバルセッション情報の引き継ぎ処理を開始します。

KDJE34430-I

Processing to inherit global session information at Web application startup finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション開始時のグローバルセッション情報の引き継ぎ処理を終了しました。

KDJE34431-W

Processing to inherit global session information at Web application startup could not start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：発生した例外の情報

説明

EADs サーバとの通信で障害が発生した，または EADs セッションフェイルオーバ機能が提供する Web アプリケーション開始時のグローバルセッション情報の引き継ぎ処理を開始できませんでした。

対処

このメッセージが出力された場合，次に示す対処に従って障害の原因を取り除いて再度 Web アプリケーションを開始するか，リクエストを受信して引き継がれるまで，EADs サーバにグローバルセッション情報が残り続けます。

残り続けたグローバルセッション情報を削除するには，グローバルセッション情報削除コマンド（cjezclearsession コマンド）を使用してください。グローバルセッション情報の削除手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.8.1　EADs サーバ上のグローバルセッション情報の削除（セッション情報の格納先サーバ)」を参照してください。

このメッセージが出力された場合は，EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

EADs サーバに障害が発生している場合，EADs サーバの復旧手順に従って対策してください。EADs サーバで障害が発生した場合の復旧手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「2.5.4　EADs セッションフェイルオーバ機能でトラブルが発生した場合」を参照してください。

EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。

また，EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションの JAR ファイルが EADs サーバに配置されているか，および外部からの EADs サーバへの不正な操作が行われていないか確認してください。

KDJE34432-I

The global session information to be inherited has already been inherited. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

説明

Web アプリケーション開始時に引き継ごうとしたグローバルセッション情報は，すでに J2EE サーバに引き継がれています。

KDJE34434-W

Processing to inherit global session information at Web application startup failed because an error occurred during communication with the EADs server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, exception = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：引き継ぎできなかった HTTP セッション ID

dd....dd：発生した例外の情報

説明

EADs サーバとの通信で障害が発生したため，Web アプリケーション開始時にグローバルセッション情報を引き継げませんでした。

対処

このメッセージが出力された場合，次に示す対処に従って障害の原因を取り除いて再度 Web アプリケーションを開始するか，リクエストを受信して引き継がれるまで，EADs サーバにグローバルセッション情報が残り続けます。

残り続けたグローバルセッション情報を削除するには，グローバルセッション情報削除コマンド（cjezclearsession コマンド）を使用してください。グローバルセッション情報の削除手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.8.1　EADs サーバ上のグローバルセッション情報の削除（セッション情報の格納先サーバ）」を参照してください。

このメッセージが出力された場合は，EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

EADs サーバで障害が発生した場合の復旧手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「2.5.4　EADs セッションフェイルオーバ機能でトラブルが発生した場合」を参照してください。

EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。

KDJE34435-W

Processing to inherit global session information at Web application startup failed because the number of HTTP sessions reached the maximum for the J2EE server. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：引き継ぎできなかった HTTP セッション ID

説明

J2EE サーバ上の HTTP セッション数が最大に達しているため，Web アプリケーション開始時にグローバルセッション情報を引き継ぎできませんでした。

対処

このメッセージが出力された場合，そのグローバルセッション情報は，下記に示す対処に従い障害の原因を取り除き再度 Web アプリケーションを開始するか，リクエストを受信して引き継がれるまで EADs サーバに残り続けます。

残り続けたグローバルセッション情報を削除するには，グローバルセッション情報削除コマンド（cjezclearsession コマンド）を使用してください。

このメッセージが出力された場合は，HttpSession 数の上限値設定が適切であるか見直してください。

KDJE34436-E

The global session information obtained from the EADs server is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

EADs サーバから取得したグローバルセッション情報の内容が不正です。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないか確認してください。

また，外部から EADs サーバへの不正な操作が行なわれていないか確認してください。

KDJE34437-W

A definition of the session failover (EADs) functionality is invalid. The URL pattern will be ignored. (URL pattern = aa....aa)

aa....aa：不正な URL パターン

説明

EADs セッションフェイルオーバ抑止機能の定義に不正な URL パターンが指定されています。

対処

EADs セッションフェイルオーバ抑止機能の定義に不正な URL パターンが指定されていないか確認し，正しい URL パターンを指定してください。次に示す URL パターンは不正です。

- 正規化していない。
- "/"（スラッシュ）で始まらない，かつ，"*."で始まらない。

KDJE34438-W

A definition of a request that only reads HTTP sessions is invalid. The URL pattern will be ignored. (URL pattern = aa....aa)

aa....aa：不正な URL パターン

説明

HTTP セッションの参照専用リクエスト定義機能の参照専用リクエストの定義に不正な URL パターンが指定されています。

対処

HTTP セッションの参照専用リクエストとして不正な URL パターンが指定されていないか確認し，正しい URL パターンを指定してください。次に示す URL パターンは不正です。

- 正規化していない。
- "/"（スラッシュ）で始まらない，かつ，"*."で始まらない。

KDJE34439-E

Usage: cjezclearsession [-count] <J2EE server name> <application ID> {-all | <server ID>}

説明

cjezclearsession コマンドの引数に誤りがあります。使用方法を出力します。

対処

cjezclearsession コマンドの引数を正しく指定してください。

KDJE34440-I

The number of items of global session information was acquired successfully. (application ID = aa....aa, server ID = bb....bb, number of items of global session information = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション識別子

bb....bb：サーバ ID（cjezclearsession コマンドに-all を指定した場合は空文字列）

cc....cc：グローバルセッション情報数

説明

グローバルセッション情報数の取得が完了しました。

KDJE34441-I

The global session information was cleared successfully. (application ID = aa....aa, server ID = bb....bb, number of items of cleared global session information = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション識別子

bb....bb：サーバ ID（cjezclearsession コマンドに-all を指定した場合は空文字列）

cc....cc：削除したグローバルセッション情報数

説明

グローバルセッション情報の削除が完了しました。

KDJE34442-E

An attempt to clear the global session information failed because an error occurred during communication with the EADs server. (application ID = aa....aa, server ID = bb....bb, number of items of cleared global session information = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション識別子

bb....bb：サーバ ID（cjezclearsession コマンドに-all を指定した場合は空文字列）

cc....cc：削除したグローバルセッション情報数

説明

EADs サーバアクセスでエラーが発生した，または EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションでエラーが発生したため，グローバルセッション情報の削除に失敗しました。処理を中止します。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

また，外部から EADs サーバへの不正な操作が行われていないか確認してください。

問題を解決後，再度 cjezclearsession コマンドを実行してください。

KDJE34443-E

Initialization of the EADs client failed. (exception = aa....aa)

aa....aa：例外とメッセージ

説明

EADs クライアントの初期化に失敗しました。

対処

EADs クライアントがインストールされているか, EADs クライアントが提供する JAR ファイルのパスが CLASSPATH 環境変数に設定されているか，および cjezclearsession コマンドの引数に指定した J2EE サーバが存在するか確認してください。

EADs サーバが正常に稼働しているか，EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか，および簡易構築定義ファイルに指定した EADs クライアントの設定に問題がないか確認してください。

問題を解決後，再度 cjezclearsession コマンドを実行してください。

KDJE34444-E

An attempt to connect the session information cache in the EADs server failed. (cache name = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：キャッシュ名

bb....bb：例外とメッセージ

説明

EADs サーバ上のセッション情報キャッシュへの接続に失敗しました。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

セッション情報キャッシュの名前が正しいか確認してください。

問題を解決後，再度 cjezclearsession コマンドを実行してください。

KDJE34445-E

An attempt to acquire the session ID list failed.

説明

セッション ID の一覧取得に失敗しました。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションの JAR ファイルが EADs サーバに配置されているか確認してください。

問題を解決後，再度 cjezclearsession コマンドを実行してください。

KDJE34446-E

An error occurred during access to EADs. (exception = aa....aa)

aa....aa：例外とメッセージ

説明

EADs のアクセスでエラーが発生しました。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか確認してください。

KDJE34447-E

The output directory could not be created. (directory = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：ディレクトリパス

bb....bb：要因メッセージ

説明

ログの出力先ディレクトリを作成できません。

cjezclearsession コマンドの実行を中止します。

対処

要因メッセージを基に問題を解決後，再度 cjezclearsession コマンドを実行してください。

KDJE34448-E

An unexpected error occurred. (aa....aa)

aa....aa：予期しない例外のエラーメッセージ

説明

cjezclearsession コマンドで予期しない例外が発生しました。

対処

ログにほかのエラーメッセージが出力していないか確認してください。

KDJE34449-E

aa....aa

aa....aa：スタックトレース

説明

例外が発生しました。スタックトレースを出力します。

対処

例外のスタックトレースの情報と，ほかに出力されているログも合わせて，原因を調査してください。

KDJE34450-W

A property value is invalid. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ値が不正です。デフォルト値を使用します。

対処

aa....aa のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，aa....aa のプロパティ値を修正して再度コマンドを実行してください。

KDJE34451-W

A property value is not specified. The default value will be used. (property = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティ値が指定されていません。デフォルト値を使用します。

対処

aa....aa のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，aa....aa のプロパティ値を修正して再度コマンドを実行してください。

KDJE34452-E

The application information obtained from the EADs server is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

EADs サーバから取得したアプリケーション情報の内部が不正です。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないか確認してください。

また，外部から EADs サーバへの不正な操作が行われていないか確認してください。問題がない場合，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34453-E

Another application is already using the specified application ID. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc, J2EE application in cache = dd....dd, context root in cache = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

dd....dd：アプリケーション情報キャッシュに登録されている J2EE アプリケーション名

ee....ee：アプリケーション情報キャッシュに登録されているコンテキストルート名

説明

指定したアプリケーション識別子は異なるアプリケーションで使用されています。

対処

既存のアプリケーションと同じアプリケーションを開始したい場合，J2EE アプリケーション名，またはコンテキストルート名が開始済みの同じアプリケーションの情報と異なってないか確認してください。情報が異なっている場合，設定を修正してアプリケーションを開始してください。

既存のアプリケーションと異なるアプリケーションを開始したい場合，Web アプリケーションにほかのアプリケーションで使用されていないアプリケーション識別子を設定し，アプリケーションを開始してください。

KDJE34454-E

Initialization of the EADs client failed. (exception = aa....aa)

aa....aa：発生した例外の情報

説明

EADs クライアントの初期化に失敗しました。

対処

次の対処をしてください。

- EADs クライアントがインストールされているか，および EADs クライアントが提供している JAR ファイルがコンテナ拡張ライブラリとして J2EE サーバ用オプション定義ファイルに指定されているか確認してください。

- EADs サーバが正常に稼働しているか，EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生していないか，および簡易構築定義ファイルに指定した EADs クライアントの設定に問題がないか確認してください。

  EADs クライアントの設定については，マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス 定義編(サーバ定義)」の「4.14.1　J2EE サーバ用ユーザプロパティを設定するパラメタ」を参照してください。
- EADs クライアントがインストールされていない場合，EADs クライアントをインストールしてから，EADs セッションフェイルオーバ機能の設定をしてください。EADs セッションフェイルオーバ機能の設定については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.2.1　適用手順」を参照してください。
- EADs クライアントが提供している JAR ファイルがコンテナ拡張ライブラリとして J2EE サーバ用オプション定義ファイルに指定されていない場合は，指定してください。JAR ファイルの指定については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編」の「7.5　J2EE サーバの設定」を参照してください。
- EADs サーバに障害が発生している場合，EADs サーバの復旧手順に従って対策してください。EADs サーバの復旧手順については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「2.5.4　EADs セッションフェイルオーバ機能でトラブルが発生した場合」を参照してください。
- EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題が発生している場合，通信路の問題を解決してください。
- 簡易構築定義ファイルに指定した EADs クライアントの設定が誤っていた場合は，正しい内容に変更してください。

KDJE34455-E

An error occurred in a user function supplied by the session failover (EADs) functionality. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, application ID = cc....cc, function name = dd....dd, exception = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：アプリケーション識別子

dd....dd：例外が発生したファンクションの名前

ee....ee：発生した例外の情報

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションでエラーが発生しました。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないか確認してください。

また，外部から EADs サーバへの不正な操作が行なわれていないか確認してください。

問題がない場合，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34456-E

An error occurred in a user function supplied by the session failover (EADs) functionality. (function name = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：例外が発生したファンクションの名前

bb....bb：発生した例外の情報

説明

EADs セッションフェイルオーバ機能が提供するユーザファンクションでエラーが発生しました。

対処

EADs サーバが正常に稼働しているか，および EADs サーバと J2EE サーバの通信路に問題がないか確認してください。

また，外部から EADs サーバへの不正な操作が行なわれていないか確認してください。

問題がない場合，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE34500-W

Occupied memory exceeded the threshold. A Full GC might be executed. (Rate1 = aa....aa , Rate2 = bb....bb , Rate3 = cc....cc , Free [New] = dd....dd , Total [New] = ee....ee , Max [New] = ff....ff , Free [Old] = gg....gg , Total [Old] = hh....hh , Max [Old] = ii....ii , Free [Permanent] = jj....jj , Total [Permanent] = kk....kk , Max [Permanent] = ll....ll , Threshold = mm....mm)

aa....aa：

SerialGC が有効な場合：

Old 領域メモリ使用率（%）

Old 領域合計サイズに対する Old 領域消費サイズの割合

G1GC が有効な場合：

Java ヒープ領域使用率（%）

Java ヒープ領域合計サイズに対する Java ヒープ領域消費サイズの割合

bb....bb：

SerialGC が有効な場合：

Old 領域最大空きメモリに対する New 領域合計メモリ率（%）

Old 領域最大空きサイズに対する New 領域合計サイズの割合

G1GC が有効な場合：-1

cc....cc：Metaspace 領域メモリ使用率（%）

Metaspace 領域最大メモリサイズに対する Metaspace 領域消費サイズの割合

dd....dd：New 領域空きメモリサイズ（バイト）

ee....ee：New 領域合計メモリサイズ（バイト）

ff....ff：

SerialGC が有効な場合：

New 領域最大メモリサイズ（バイト）

G1GC が有効な場合：-1

gg....gg：Old 領域空きメモリサイズ（バイト）

hh....hh：Old 領域合計メモリサイズ（バイト）

ii....ii：

SerialGC が有効な場合：

Old 領域最大メモリサイズ（バイト）

G1GC が有効な場合：Java ヒープ領域最大メモリサイズ（バイト）

jj....jj：Metaspace 領域空きメモリサイズ（バイト）

kk....kk：Metaspace 領域合計メモリサイズ（バイト）

ll....ll：Metaspace 領域最大メモリサイズ（バイト）

mm....mm：しきい値

説明

ヒープ・メモリの使用量がしきい値を超えました。

FullGC が実行される可能性があります。

対処

ヒープ・メモリを一定量使用すると出力されるメッセージです。このメッセージが定期的に出力されても問題ありません。ただし，想定よりも頻繁に FullGC が発生する場合は，ヒープ・メモリサイズの設定が妥当であるかを確認し，見直してください。適正なヒープ・メモリサイズに変更しても改善されないときは，アプリケーションでメモリリークが発生していないかどうかを確認し，見直してください。

KDJE34510-W

An invalid property value is specified (aa....aa = bb....bb).The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：設定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティファイルから不正な値を取得したため，デフォルト値を使用します。

要因としては，次のことが考えられます。

- プロパティに不正な値が設定されている。
- 有効範囲外の値が設定されている。

対処

J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）のプロパティキー（aa....aa）の設定値を見直してください。

KDJE34511-I

Full GC monitoring will now start.

説明

FullGC 監視を開始します。

KDJE34512-I

Full GC monitoring will now stop.

説明

FullGC 監視を終了します。

KDJE34513-I

Full GC monitoring is not supported.

説明

ご利用の JDK は FullGC 監視をサポートしていません。

対処

FullGC 監視を行うには，前提条件に記載されている JDK を使用してください。

KDJE34520-W

The number of used file descriptors has reached the threshold value. (Current = aa....aa, Max = bb....bb, Threshold = cc....cc)

aa....aa：現在のファイルディスクリプタ数

bb....bb：最大使用可能ファイルディスクリプタ数

cc....cc：ファイルディスクリプタ数のしきい値

説明

ファイルディスクリプタの使用数がしきい値に達しました。

対処

プロパティまたはシステムの設定値※を見直して，正しい値を設定したあと，J2EE サーバを再起動してください。

注※

システムの設定が変更できないプラットフォームについては，設定見直しの必要はありません。

KDJE34521-I

File descriptor monitoring will now start.

説明

ファイルディスクリプタ監視を開始します。

KDJE34522-I

File descriptor monitoring will now stop.

説明

ファイルディスクリプタ監視を終了します。

KDJE34523-I

The monitoring of a file descriptor is not performed. (reason = aa....aa)

aa....aa：理由

Not supported：未サポートのため

説明

理由（aa....aa）によって，ファイルディスクリプタの監視は行いません。

KDJE34524-W

The control method of the HTTP session in the received request does not match the control method of the global session. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, HTTP session ID = cc....cc, GS control = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッション ID

dd....dd：Web アプリケーションに設定されたグローバルセッションの制御方法

HTTP Cookie の場合「cookie」，URL 書き換えの場合「url-rewriting」を出力する。

説明

受信したリクエストの HTTP セッションの制御方法が Web アプリケーションに設定したグローバルセッションの制御方法と異なります。

原因として，次のことが考えられます。

- グローバルセッションの制御方法の設定が誤っている。
- 負荷分散の設定が誤っている。
- Web クライアントの HTTP Cookie の設定がシステムの要求と異なる。

このリクエストについて，HTTP セッションは継続しますが，メモリセッションフェイルオーバ機能は有効になりません。

なお，このメッセージの出力時に HTTP セッションが無効化されていた場合，HTTP セッション ID（cc....cc）に「null」が出力されることがあります。

対処

次のように対処してください。

グローバルセッションの制御方法の設定が誤っている場合

セッションフェイルオーバ用フィルタの初期化パラメタ，GSessionControl パラメタに設定された値が適切であるかを確認し，問題がある場合は正しい設定に修正してください。

設定の変更は次の手順で実施します。

1. 設定を変更する Web アプリケーションを含むシステム内の J2EE アプリケーションを停止し，削除する。
2. SFO サーバに接続している場合，SFO サーバを再起動する。
3. 設定を反映した Web アプリケーションから J2EE アプリケーションを作成し，開始する。

負荷分散の設定が誤っている場合

負荷分散の設定を確認し，グローバルセッションの制御方法によって適切な J2EE サーバに振り分けられるよう設定を変更してください。

Web クライアントの HTTP Cookie の設定がシステムの要求と異なる場合

システムの構成，設定が正しい場合でも，要求と異なる方法で Web クライアントが HTTP セッションを送信しているおそれがあります。Web アプリケーションでは，Web クライアントが誤ったリクエストを送信した場合を考慮してアプリケーションを作成してください。

KDJE34530-W

An invalid property value is specified (aa....aa = bb....bb). The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：設定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティファイルから不正な値を取得したため，デフォルト値を使用します。

要因としては，次のことが考えられます。

- プロパティに不正な値が設定されている。
- 有効範囲外の値が設定されている。

対処

J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）のプロパティキー（aa....aa）の設定値を見直してください。

KDJE34540-W

The number of generated threads has reached the threshold value. (Current = aa....aa, Max = bb....bb, Threshold = cc....cc)

aa....aa：現在のスレッド数

bb....bb：最大生成スレッド数

cc....cc：スレッド数のしきい値

説明

生成スレッド数がしきい値に達しました。

対処

プロパティまたはシステムの設定値※を見直して，正しい値を設定したあと，J2EE サーバを再起動してください。

注※

システムの設定が変更できないプラットフォームについては，設定見直しの必要はありません。

KDJE34541-I

Thread monitoring will now start.

説明

スレッド監視を開始します。

KDJE34542-I

Thread monitoring will now stop.

説明

スレッド監視を終了します。

KDJE34543-I

The monitoring of a thread is not performed. (reason = aa....aa)

aa....aa：理由

Not supported：未サポートのため

説明

理由（aa....aa）によって，スレッドの監視は行いません。

KDJE34550-W

An invalid property value is specified (aa....aa = bb....bb). The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：設定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティファイルから不正な値を取得したため，デフォルト値を使用します。

要因としては，次のことが考えられます。

- プロパティに不正な値が設定されている。
- 有効範囲外の値が設定されている。

対処

J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）のプロパティキー（aa....aa）の設定値を見直してください。

KDJE34580-W

The number of thread dump files has exceeded the threshold. Move the existing thread dump files to another directory. (Rate = aa....aa, Current = bb....bb, Max = cc....cc, Threshold = dd....dd)

aa....aa：スレッドダンプのファイル数の最大値に対する現在値の割合（%）

bb....bb：スレッドダンプのファイル数の現在値

cc....cc：スレッドダンプのファイル数の最大値（設定値）

dd....dd：スレッドダンプ監視のしきい値（%）（設定値）

説明

スレッドダンプのファイル数がしきい値に達しました。

対処

直ちにスレッドダンプをほかのディレクトリなどに退避してください。

KDJE34581-E

The number of thread dump files has exceeded the maximum. New thread dump files cannot be created until the existing thread dump files are moved to another directory. (Rate = aa....aa, Current = bb....bb, Max = cc....cc, Threshold = dd....dd)

aa....aa：スレッドダンプのファイル数の最大値に対する現在値の割合（%）

bb....bb：スレッドダンプのファイル数の現在値

cc....cc：スレッドダンプのファイル数の最大値（設定値）

dd....dd：スレッドダンプ監視のしきい値（%）（設定値）

説明

スレッドダンプのファイル数が最大値に達しました。

スレッドダンプをほかのディレクトリに退避するまで，新しいスレッドダンプは出力できません。

対処

直ちにスレッドダンプをほかのディレクトリなどに退避してください。

KDJE34582-W

An invalid property value is specified (aa....aa = bb....bb). The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：プロパティの指定値（不正値）

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

プロパティ値が不正です。デフォルト値を利用します。

対処

プロパティを見直して，正しい値を指定したあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE34583-I

Thread dump monitoring will now start.

説明

スレッドダンプ監視を開始します。

KDJE34584-I

Thread dump monitoring will now stop.

説明

スレッドダンプ監視を終了します。

KDJE34621-W

The number of queued requests awaiting execution has exceeded the threshold. (J2eeApplicationName = aa....aa, ContextRootName = bb....bb, Rate = cc....cc, Current = dd....dd, Max = ee....ee, Threshold = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：Web アプリケーション単位またはデフォルトの実行待ちキュー格納数の最大値に対する現在値の割合（%）

dd....dd：Web アプリケーション単位またはデフォルトの実行待ちキュー格納数の現在値

ee....ee：Web アプリケーション単位またはデフォルトの実行待ちキュー格納数の最大値（設定値）

ff....ff：Web アプリケーション単位またはデフォルトの HTTP リクエスト実行待ちキュー監視のしきい値（%）（設定値）

説明

Web アプリケーション単位またはデフォルトのリクエスト実行待ちキューの格納数がしきい値に達しました。

J2EE アプリケーション名（aa....aa）とコンテキストルート名（bb....bb）は，デフォルトのリクエスト実行待ちキューの場合，"-"を出力します。Web アプリケーション単位またはデフォルトの実行待ちキュー格納数の最大値に対する現在値の割合（cc....cc）と Web アプリケーション単位またはデフォルトの実行待ちキュー格納数の最大値（ee....ee）は，Web アプリケーション単位またはデフォルトの実行待ちキュー格納数の最大値が設定されていない場合，"-"を出力します。

対処

リソースの空きが少なくなっているため，枯渇する前に設定を見直してください。

KDJE34622-I

HTTP request queue monitoring will now start.

説明

デフォルトの HTTP リクエスト実行待ちキュー監視を開始します。

KDJE34623-I

HTTP request queue monitoring will now stop.

説明

デフォルトの HTTP リクエスト実行待ちキュー監視を終了します。

KDJE34624-I

HTTP request queue monitoring will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション単位の HTTP リクエスト実行待ちキュー監視を開始します。

KDJE34625-I

HTTP request queue monitoring will now stop. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション単位の HTTP リクエスト実行待ちキュー監視を終了します。

KDJE34626-W

An invalid application attribute value was specified. The default value will be used. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, monitoring target resource = cc....cc, dd....dd = ee....ee, default value = ff....ff).

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：監視対象リソース（request queue または session）

dd....dd：タグ名

ee....ee：値

ff....ff：デフォルト値

説明

アプリケーションの属性に不正な値が指定されました。デフォルト値を利用します。

対処

アプリケーションの属性をデフォルト値以外に変更する場合は，アプリケーションを終了して，アプリケーションの属性を変更してください。その後，再度アプリケーションを起動してください。

KDJE34627-I

The monitoring of a HTTP request queue is not performed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, reason = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：理由

説明

Web アプリケーション単位またはデフォルトの HTTP リクエスト実行待ちキュー監視は行いません。

J2EE アプリケーション名（aa....aa）とコンテキストルート名（bb....bb）は，デフォルトのリクエスト実行待ちキューの場合，"-"を出力します。

cc....cc には，Web アプリケーション単位またはデフォルトの HTTP リクエスト実行待ちキュー監視が行われない理由が表示されます。

cc....cc に示される内容と意味を次に示します。

No target

Web アプリケーション単位またはデフォルトのリクエスト実行待ちキューの最大値に 0 が設定されているため，監視対象が存在しません。

No upper limit

Web アプリケーション単位またはデフォルトのリクエスト実行待ちキューの上限が設定されていないため，アラートを出力するためのしきい値が無効になっています。

ただし，アラート出力が無効になっても，監視結果のファイル出力が有効である場合は，このメッセージは出力されずに Web アプリケーション単位またはデフォルトの HTTP リクエスト実行待ちキュー監視を行います。

KDJE34630-W

An invalid property value is specified (aa....aa = bb....bb). The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：設定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティファイルから不正な値を取得したため，デフォルト値を使用します。

要因としては，次のことが考えられます。

- プロパティに不正な値が設定されている。
- 有効範囲外の値が設定されている。

対処

J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）のプロパティキー（aa....aa）の設定値を見直してください。

KDJE34640-W

The number of sessions has exceeded the threshold. (J2eeApplicationName = aa....aa, ContextRootName = bb....bb, Rate = cc....cc, Current = dd....dd, Max = ee....ee, Threshold = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：作成可能なセッション数に対する現在値の割合（%）

dd....dd：作成されたセッション数の現在値

ee....ee：作成可能なセッション数（設定値）

ff....ff：セッション監視のしきい値（%）（設定値）

説明

セッション数がしきい値に達しました。

比率と最大値は，最大値が設定されていない場合は"-"を出力します。

対処

リソースの空きが少なくなっているため，枯渇する前に設定を見直してください。

KDJE34641-I

Monitoring of the number of sessions will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッション数監視を開始します。

KDJE34642-I

Monitoring of the number of sessions will now stop. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッション数監視を終了します。

KDJE34643-I

The monitoring of a number of sessions is not performed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, reason = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：理由

説明

セッション数監視は行いません。

cc....cc には，セッション数監視が行われない理由が表示されます。

cc....cc に示される内容と意味を次に示します。

No target

作成可能なセッションの上限が 0 に設定されていため，監視対象が存在しません。

No upper limit

作成可能なセッションの上限が設定されていないため，アラートを出力するためのしきい値が無効になっています。

ただし，アラート出力が無効になっても，監視結果のファイル出力が有効である場合は，このメッセージは出力されずにセッション数監視を行います。

KDJE34660-W

The number of connections in use exceeded the threshold. (ResourceName = aa....aa, Rate = bb....bb, Active = cc....cc, Free = dd....dd, Current = ee....ee, Min = ff....ff, Max = gg....gg, Threshold = hh....hh, All = ii....ii)

aa....aa：リソースアダプタ名

bb....bb：コネクションプール使用率

cc....cc：使用中のコネクション数

dd....dd：未使用のコネクション数

ee....ee：コネクション数の現在値

ff....ff：コネクション数の最小値

gg....gg：コネクション数の最大値

hh....hh：しきい値

ii....ii：コネクション総数

説明

使用中のコネクション数がしきい値を超えました。

対処

コネクションの空きが少なくなっているため，設定を見直してください。

KDJE34661-W

The number of connections in use reached the maximum number. (ResourceName = aa....aa, Rate = bb....bb, Active = cc....cc, Free = dd....dd, Current = ee....ee, Min = ff....ff, Max = gg....gg, Threshold = hh....hh, All = ii....ii)

aa....aa：リソースアダプタ名

bb....bb：コネクションプール使用率

cc....cc：使用中のコネクション数

dd....dd：未使用のコネクション数

ee....ee：コネクション数の現在値

ff....ff：コネクション数の最小値

gg....gg：コネクション数の最大値

hh....hh：しきい値

ii....ii：コネクション総数

メッセージに含まれる情報の詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 運用／監視／連携編」の「4.3.5 (7)　表 4-12 コネクションプール枯渇監視情報の出力内容」を参照してください。

説明

使用中のコネクション数が最大数に達しました。

対処

コネクションプールに関係する設定値を見直してください。

KDJE34662-W

No value was specified for property aa....aa of pool monitoring. The default value will be used. (bb....bb)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：プロパティのデフォルト値

説明

プロパティ値が指定されていません。デフォルト値を使用します。

対処

プロパティを見直し，正しい値を設定してください。

KDJE34663-W

An invalid value was specified for property aa....aa of pool monitoring. The default value will be used. (bb....bb)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：プロパティのデフォルト値

説明

プロパティの指定された値が不正です。デフォルト値を使用します。

対処

プロパティを見直し，正しい値を設定してください。

KDJE34670-I

Pool monitoring will now start. (resource display name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

プール監視を開始します。

KDJE34671-I

Pool monitoring will now stop. (resource display name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

プール監視を終了します。

KDJE34672-I

The pool monitoring was not executed. (resource display name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

プールの監視は行いません。

KDJE34990-W

The management event issuing function is unavailable. (reason = aa...aa)

aa...aa：理由コード

説明

Management イベント発行機能は利用できません。

対処

理由コードを基に対処してください。

表 7–2　KDJE34990-W に示される理由一覧

理由コード	対処
-1	Management Server がインストールされていない，または Management Server のバージョンが 06-50 よりも古いバージョンです。Management イベント発行機能を利用する場合は，Management Server 06-50 以降をインストール後， Management イベント発行機能に必要な設定をして J2EE サーバを再起動してください。
-2	Management イベント発行機能が利用できません。Management イベント発行機能を利用する場合は，必要な設定がされているかを確認をして J2EE サーバを再起動してください。

Management イベント発行機能を利用しないで，リソース枯渇監視機能を使用する場合は，次のプロパティを false に設定してください。

表 7–3　各リソース枯渇監視のアラート出力を無効にするプロパティ

機能名	プロパティ名	ファイル
メモリ監視	ejbserver.watch.memory.enabled	usrconf.properties
ファイルディスクリプタ監視	ejbserver.watch.fileDescriptor.enabled	
スレッド監視	ejbserver.watch.thread.enabled	
スレッドダンプ監視	ejbserver.watch.threaddump.enabled	
HTTP リクエスト実行待ちキュー監視	ejbserver.watch.defaultRequestQueue.enabled	
	<thread-control>配下の<watcher-enabled>	WAR 属性ファイル
セッション数監視	<http-session>配下の<watcher-enabled>	
コネクションプール監視	WatchEnabled	Connector 属性ファイル

KDJE34991-W

An invalid property value is specified (aa....aa = bb....bb). The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：プロパティの指定値（不正値）

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

プロパティ値が不正です。デフォルト値を使用します。

対処

プロパティを見直して，正しい値を指定したあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE37000-E

Usage:

Format1: cjimportapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] [-nodelete] -f applicationfilename [-f applicationfilename ...]

Format2: cjimportapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -a applicationdirectorypath

Format3: cjimportapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] [-nodelete] -f applicationfilename -d extractdirectorypath

説明

cjimportapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37001-E

Usage : cjexportapp [servername] [-nameserver providerURL] -f applicationfilename -name applicationname [-raw | -normal]

説明

cjexportapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37004-E

Usage : cjstartapp [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname

説明

cjstartapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37005-E

Usage:

Format1: cjstopapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname

Format2: cjstopapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -t timeoutseconds

Format3: cjstopapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -cancel

Format4: cjstopapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -t timeoutseconds -force

説明

cjstopapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37006-E

Usage:

Format1: cjdeleteapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname [-name applicationname ...]

Format2: cjdeleteapp [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb -name applicationname -resname ejb-jardisplayname [-resname ejb-jardisplayname ...]

Format3: cjdeleteapp [servername] [-nameserver providerURL] -type war -name applicationname -resname wardisplayname [-resname wardisplayname ...]

Format4: cjdeleteapp [servername] [-nameserver providerURL] -type filter -name applicationname -resname wardisplayname/filterdisplayname [-resname wardisplayname/filterdisplayname ...]

Format5: cjdeleteapp [servername] [-nameserver providerURL] -type rar -name applicationname -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjdeleteapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37007-E

The cjimportapp command failed. Contact the system administrator.

説明

予期しない例外が発生して，cjimportapp コマンドが失敗しました。

このメッセージの前に nnnn（n は数字）で始まる例外メッセージが出力されている場合は，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37008-E

The cjexportapp command failed. Contact the system administrator.

説明

予期しない例外が発生して，cjexportapp コマンドが失敗しました。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37011-E

The cjstartapp command failed. Contact the system administrator.

説明

予期しない例外が発生して，cjstartapp コマンドが失敗しました。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37012-E

The cjstopapp command failed. Contact the system administrator.

説明

予期しない例外が発生して，cjstopapp コマンドが失敗しました。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37013-E

The cjdeleteapp command failed. Contact the system administrator.

説明

予期しない例外が発生して，cjdeleteapp コマンドが失敗しました。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37016-E

No option is specified.

説明

オプションを指定しないで，J2EE サーバ名以外の引数を指定しています。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37020-E

The same options have been specified repeatedly. (option = [aa....aa])

aa....aa：オプション

説明

同じオプションが複数回指定されています。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37021-I

The server has been migrated successfully. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

サーバ（aa....aa）の環境移行が正常に終了しました。

KDJE37022-E

The server failed to be migrated. Reason = aa....aa

aa....aa：障害理由

説明

サーバの環境移行中に障害が発生したため，サーバの移行を中止します。

対処

障害理由（aa....aa）を基にして，対処してください。aa....aa には，次の障害理由が示されます。

Internal error

保守員に連絡してください。

nnnn（n は数字）で始まるメッセージ

「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。

上記以外の障害理由

障害理由を基に障害の要因を取り除いたあと，再度 cjenvupdate コマンドを実行してください。

KDJE37023-E

Invalid option. Option=[aa....aa]

aa....aa：オプション

説明

規定されていないオプションが指定されています。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37024-E

Different export types have been specified simultaneously.

説明

異なるエクスポートタイプのオプションが同時に指定されています。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37027-E

The server was not found. (name = [aa....aa])

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバが見つかりません。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37028-E

Application is running. Name=[aa....aa]

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションは実行中です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37029-E

aa....aa was not found.

aa....aa：アプリケーション名またはリソース名

説明

J2EE アプリケーションまたはリソース（aa....aa）が見つかりません。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37033-E

The application is not running. (name = [aa....aa])

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションは停止中です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37035-E

Deploying failed.

説明

デプロイに失敗しました。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37037-E

The file does not exist. (path = [aa....aa])

aa....aa：ファイルパス

説明

ファイルが存在しません。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37039-E

The specified file type is a directory. (path = [aa....aa])

aa....aa：ファイルパス

説明

指定されたファイルパス（aa....aa）はディレクトリです。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37041-I

Application has been imported successfully. Name=[aa....aa]

aa....aa：EAR ファイル名

説明

EAR ファイルのインポートに成功しました。

KDJE37042-I

Application has been exported successfully. Name=[aa....aa]

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションのエクスポートに成功しました。

KDJE37045-I

Application has been started successfully. Name=[aa....aa]

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの起動に成功しました。

KDJE37046-I

Application has been stopped successfully. Name=[aa....aa]

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの停止に成功しました。

KDJE37047-I

Application has been deleted successfully. Name=[aa....aa]

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの削除に成功しました。

KDJE37048-I

Connecting to aa....aa...

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバに接続中です。

KDJE37049-I

Searching aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）を検索中です。

KDJE37050-I

Importing aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）をインポート中です。

KDJE37051-I

Exporting aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）をエクスポート中です。

KDJE37054-I

Starting aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）を起動中です。

KDJE37055-I

Stopping aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

アプリケーション（aa....aa）を停止中です。

KDJE37056-I

Deleting aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名またはリソース名

説明

J2EE アプリケーションまたはリソース（aa....aa）を削除中です。

KDJE37057-E

Another command is already running.

説明

すでにほかのコマンドが実行されています。

対処

ほかのコマンドを終了させて，再度コマンドを実行してください。

KDJE37058-E

Usage: cjresetsv [servername] [-nameserver providerURL]

説明

cjresetsv コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37059-E

The Naming Service was not found.

説明

ネーミングサービスが見つかりません。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37060-W

The server has been migrated with errors. Some applications or resources could not be migrated. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

変換できない DD があったため，その DD を含むアプリケーションまたはリソースは移行されません。

対処

移行されなかったアプリケーションまたはリソースを使用したい場合は，リソースとアプリケーションを再設定してください。

KDJE37061-W

The application definition cannot be converted because the resource specified for the reference resolution has a problem. display-name = aa....aa, res-name(in resource-ref) = bb....bb

aa....aa：アプリケーションの表示名

bb....bb：保守情報

説明

リファレンス解決に指定しているリソースに問題があり，アプリケーション定義を変換できませんでした。

問題があるリソースをリファレンス解決に指定しているアプリケーションのデプロイは失敗します。

対処

環境の移行完了後，このリソースを再設定してください。

KDJE37062-W

The application definition cannot be converted because the resource specified for the reference resolution has a problem. display-name = aa....aa, res-name(in cmp-map) = bb....bb

aa....aa：アプリケーションの表示名

bb....bb：保守情報

説明

リファレンス解決に指定しているリソースに問題があり，アプリケーション定義を変換できませんでした。

問題があるリソースをリファレンス解決に指定しているアプリケーションのデプロイは失敗します。

対処

環境の移行完了後，このリソースを再設定してください。

KDJE37063-W

The resource definition cannot be converted. display-name = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：保守情報

説明

リソース定義を変換できませんでした。

この DD を含むリソースは移行されません。また，このリソースをリファレンス解決に指定しているアプリケーションはデプロイできません。

対処

環境の移行完了後，このリソースを再設定してください。

KDJE37064-W

An attempt to output the audit log has failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

監査ログの出力に失敗しました。

対処

詳細情報，またはこのメッセージより前に出力されているメッセージを参照して，原因を取り除いてください。

また，監査ログを参照して，原因を取り除いてください。

KDJE37103-E

Usage:

Format1: cjimportres [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb -f ejb-jarfilename [-f ejb-jarfilename ...]

Format2: cjimportres [servername] [-nameserver providerURL] -type war -f warfilename [-f warfilename ...]

Format3: cjimportres [servername] [-nameserver providerURL] -type datasource -resname datasourcedisplayname -c datasourcefilename -f JDBCdriverfilename [-f JDBCdriverfilename ...]

説明

cjimportres コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37105-E

Usage:

Format1: cjaddapp [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb -name applicationname -resname ejb-jardisplayname [-resname ejb-jardisplayname ...]

Format2: cjaddapp [servername] [-nameserver providerURL] -type war -name applicationname -resname wardisplayname [-resname wardisplayname ...]

Format3: cjaddapp [servername] [-nameserver providerURL] -type filter -name applicationname -warname wardisplayname -c filterpropertyfilename [-c filterpropertyfilename ...]

Format4: cjaddapp [servername] [-nameserver providerURL] -type rar -name applicationname -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjaddapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37107-E

Usage:

Format1: cjdeleteres [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb -resname ejb-jardisplayname [-resname ejb-jardisplayname ...]

Format2: cjdeleteres [servername] [-nameserver providerURL] -type war -resname wardisplayname [-resname wardisplayname ...]

Format3: cjdeleteres [servername] [-nameserver providerURL] -type datasource -resname datasourcedisplayname [-resname datasourcedisplayname ...]

Format4: cjdeleteres [servername] [-nameserver providerURL] -type mail -resname maildisplayname [-resname maildisplayname ...]

Format5: cjdeleteres [servername] [-nameserver providerURL] -type rar -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjdeleteres コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37108-E

Usage:

Format1: cjgetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname [-encoding encoding-name] -c applicationpropertyfilename

Format2: cjgetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -type ejb -resname higherresourcename[/lowerresourcename] [-encoding encoding-name] -c applicationpropertyfilename

Format3: cjgetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -type war -resname higherresourcename[/lowerresourcename] [-encoding encoding-name] -c applicationpropertyfilename

Format4: cjgetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -type rar -resname rardisplayname [-encoding encoding-name] -c applicationpropertyfilename

説明

cjgetappprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37109-E

Usage:

Format1: cjgetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb -resname higherresourcename[/lowerresourcename] [-encoding encoding-name] -c ejb-jarpropertyfilename

Format2: cjgetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type war -resname higherresourcename[/lowerresourcename] [-encoding encoding-name] -c warpropertyfilename

Format3: cjgetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type datasource -resname datasourcedisplayname [-encoding encoding-name] -c datasourcepropertyfilename

Format4: cjgetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type mail -resname maildisplayname [-encoding encoding-name] -c mailpropertyfilename

Format5: cjgetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type rar -resname rardisplayname [-encoding encoding-name] -c rarpropertyfilename

説明

cjgetresprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37110-E

Usage:

Format1: cjsetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -c applicationpropertyfilename

Format2: cjsetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -type ejb -resname higherresourcename[/lowerresourcename] -c applicationpropertyfilename

Format3: cjsetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -type war -resname higherresourcename[/lowerresourcename] -c applicationpropertyfilename

Format4: cjsetappprop [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -type rar -resname rardisplayname -c applicationpropertyfilename

説明

cjsetappprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37111-E

Usage:

Format1: cjsetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb -resname higherresourcename[/lowerresourcename] -c ejb-jarpropertyfilename

Format2: cjsetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type war -resname higherresourcename[/lowerresourcename] -c warpropertyfilename

Format3: cjsetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type datasource -resname datasourcedisplayname -c datasourcepropertyfilename

Format4: cjsetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type mail -resname maildisplayname -c mailpropertyfilename

Format5: cjsetresprop [servername] [-nameserver providerURL] -type rar -resname rardisplayname -c rarpropertyfilename

説明

cjsetresprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37112-E

Usage:

Format1: cjcopyres [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb -src ejb-jardisplayname -dst ejb-jardisplayname

Format2: cjcopyres [servername] [-nameserver providerURL] -type war -src wardisplayname -dst wardisplayname

Format3: cjcopyres [servername] [-nameserver providerURL] -type datasource -src datasourcedisplayname -dst datasourcedisplayname

Format4: cjcopyres [servername] [-nameserver providerURL] -type mail -src maildisplayname -dst maildisplayname

Format5: cjcopyres [servername] [-nameserver providerURL] -type rar -src rardisplayname -dst rardisplayname

説明

cjcopyres コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37113-E

Usage:

Format1: cjlistapp [servername] [-nameserver providerURL]

Format2: cjlistapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -type ejb [-resname higherresourcename]

Format3: cjlistapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -type war [-resname higherresourcename]

Format4: cjlistapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -type rar [-spec | -resname rardisplayname -outbound | -resname rardisplayname -inbound | -resname rardisplayname -listenertype messagelistenertypename]

説明

cjlistapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37114-E

Usage:

Format1: cjlistres [servername] [-nameserver providerURL] -type ejb [-resname higherresourcename]

Format2: cjlistres [servername] [-nameserver providerURL] -type war [-resname higherresourcename]

Format3: cjlistres [servername] [-nameserver providerURL] -type datasource

Format4: cjlistres [servername] [-nameserver providerURL] -type mail

Format5: cjlistres [servername] [-nameserver providerURL] -type rar [-spec | -resname rardisplayname -outbound | -resname rardisplayname -inbound | -resname rardisplayname -listenertype messagelistenertypename]

説明

cjlistres コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37119-E

Usage:

Format1: cjaddsec [servername] [-nameserver providerURL] -type user -name username -password password

Format2: cjaddsec [servername] [-nameserver providerURL] -type role -name rolename

説明

cjaddsec コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37120-E

Usage:

Format1: cjdeletesec [servername] [-nameserver providerURL] -type user -name username

Format2: cjdeletesec [servername] [-nameserver providerURL] -type role -name rolename

説明

cjdeletesec コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37121-E

Usage:

Format1: cjlistsec [servername] [-nameserver providerURL] -type user

Format2: cjlistsec [servername] [-nameserver providerURL] -type user -name username

Format3: cjlistsec [servername] [-nameserver providerURL] -type role

Format4: cjlistsec [servername] [-nameserver providerURL] -type role -name rolename

説明

cjlistsec コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37122-E

Usage: cjmapsec [servername] [-nameserver providerURL] -role rolename -user username [-user username ...]

説明

cjmapsec コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37123-E

Usage: cjunmapsec [servername] [-nameserver providerURL] -role rolename -user username [-user username ...]

説明

cjunmapsec コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37125-E

Usage:

Format1: cjclearpool [servername] [-nameserver providerURL] [-type jdbc] [-mode {normal|plan}] -resname datasourcedisplayname [-resname datasourcedisplayname ...]

Format2: cjclearpool [servername] [-nameserver providerURL] -type connector [-mode {normal|plan}] -resname datasourcedisplayname [-resname datasourcedisplayname ...]

Format3: cjclearpool [servername] [-nameserver providerURL] -type connector [-mode {normal|plan}] [-test] -name applicationdisplayname -resname datasourcedisplayname [-resname datasourcedisplayname ...]

Format4: cjclearpool [servername] [-nameserver providerURL] [-mode {normal|plan}] -resall

説明

cjclearpool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37126-E

Usage: cjgetrarprop [servername] [-nameserver providerURL] -resname displayname [-encoding encoding-name] -c propertyfilename

説明

cjgetrarprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37127-E

Usage: cjsetrarprop [servername] [-nameserver providerURL] -resname displayname -c propertyfilename

説明

cjsetrarprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37128-E

Usage:

Format1: cjclosecn [servername] [-nameserver providerURL] -l [-verbose] -resname datasourcedisplayname [-resname datasourcedisplayname ...]

Format2: cjclosecn [servername] [-nameserver providerURL] -l [-verbose] -resall

Format3: cjclosecn [servername] [-nameserver providerURL] -t seconds -resname datasourcedisplayname [-resname datasourcedisplayname ...]

Format4: cjclosecn [servername] [-nameserver providerURL] -t seconds -resall

Format5: cjclosecn [servername] [-nameserver providerURL] -resname datasourcedisplayname -cid connectionID [-cid connectionID ...]

説明

cjclosecn コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37129-E

Usage: cjdeployrar [servername] [-nameserver providerURL] -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjdeployrar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37130-E

Usage: cjundeployrar [servername] [-nameserver providerURL] -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjundeployrar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37131-E

Usage: cjstartrar [servername] [-nameserver providerURL] -resname rardisplayname

説明

cjstartrar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37132-E

Usage: cjstoprar [servername] [-nameserver providerURL] -resname rardisplayname

説明

cjstoprar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37133-E

Usage:

Format1: cjlistrar [servername] [-nameserver providerURL] [-clusterpool] [-spec]

Format2: cjlistrar [servername] [-nameserver providerURL] -resname displayname -outbound

Format3: cjlistrar [servername] [-nameserver providerURL] -resname displayname -inbound

Format4: cjlistrar [servername] [-nameserver providerURL] -resname displayname -listenertype messagelistenertypename

説明

cjlistrar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37134-E

Usage: cjwebeditpool [-host hostname] [-port portnumber] -c poolsettingfilename

説明

cjwebeditpool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37135-E

Usage: cjwebchangedbid [-host hostname] [-port portnumber] -olddbid DatabaseID -newdbid DatabaseID

説明

cjwebchangedbid コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37136-E

Usage: cjwebdeletepool [-host hostname] [-port portnumber] -dbid DatabaseID

説明

cjwebdeletepool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37137-E

Usage:

Format1: cjweblistpool [-host hostname] [-port portnumber] -listtype dblist [-f outputfilename]

Format2: cjweblistpool [-host hostname] [-port portnumber] -dbid DatabaseID -listtype poollist [-f outputfilename]

Format3: cjweblistpool [-host hostname] [-port portnumber] -dbid DatabaseID -userid UserID -listtype connectionlist [-f outputfilename]

Format4: cjweblistpool [-host hostname] [-port portnumber] -listtype all [-f outputfilename]

説明

cjweblistpool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37138-E

Usage: cjwebclearpool [-host hostname] [-port portnumber] [-mode {normal |plan}] [-dbid DatabaseID]

説明

cjwebclearpool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37139-E

Usage:

Format1: cjwebclosepool [-host hostname] [-port portnumber] -dbid DatabaseID -type connectionid -cid connectionID

Format2: cjwebclosepool [-host hostname] [-port portnumber] -dbid DatabaseID -type timeout -time timeout

説明

cjwebclosepool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37140-E

Usage: cjimportlibjar [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -f libraryjarfilename [-f libraryjarfilename ...]

説明

cjimportlibjar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37141-E

Usage: cjdeletelibjar [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -f libraryjarfilename [-f libraryjarfilename ...]

説明

cjdeletelibjar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37142-E

Usage: cjlistlibjar [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname

説明

cjlistlibjar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37143-E

Usage: cjreplaceapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -f {earfilename | warfilename} [-t timeoutseconds] [-replaceDD]

説明

cjreplaceapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37144-E

Usage: cjupdateapp [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -c updatelistfilename [-t timeoutseconds]

説明

cjupdateapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37145-E

Usage:

Format1: cjchmodapp [servername] [-nameserver providerURL] -test -name applicationname -mode normal

Format2: cjchmodapp [servername] [-nameserver providerURL] -name applicationname -mode test

説明

cjchmodapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37146-E

Usage: cjgetstubsjar [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -d stubsjardirectory

説明

cjgetstubsjar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37147-E

Usage:

Format1: cjtestres [servername] [-nameserver providerURL] -type datasource -resname datasourcedisplayname [-resname datasourcedisplayname ...]

Format2: cjtestres [servername] [-nameserver providerURL] -type mail -resname maildisplayname [-resname maildisplayname ...]

Format3: cjtestres [servername] [-nameserver providerURL] -type rar -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

Format4: cjtestres [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -type rar -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjtestres コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37148-E

Usage:

Format1: cjlistthread [servername] [-nameserver providerURL]

Format2: cjlistthread [servername] [-nameserver providerURL] -detail

説明

cjlistthread コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37149-E

Usage: Format1: cjstopthread [servername] [-nameserver providerURL] -tid threadID [-tid threadID]

説明

cjstopthread コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37150-E

Usage: cjrenameapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -newname newapplicationname

説明

cjrenameapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37151-E

Usage: cjexportrar [servername] [-nameserver providerURL] -f resourcefilename -resname displayname [-raw | -normal]

説明

cjexportrar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37152-E

Usage: cjlisttrn [servername] [-nameserver providerURL] [-gid globalTransactionId] [-pending] [-time elapsedTime] [-bqual] [-tpl]

説明

cjlisttrn コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37153-E

Usage: cjlisttrnfile [servername] [-gid globalTransactionId] [-bqual]

説明

cjlisttrnfile コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37154-E

Usage:

Format1: cjlistpool [servername] [-nameserver providerURL] -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

Format2: cjlistpool [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

Format3: cjlistpool [servername] [-nameserver providerURL] -resall

説明

cjlistpool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37155-E

Usage: cjdeletejb [servername] [-nameserver providerURL] -resname javabeansresourcedisplayname [-resname javabeansresourcedisplayname ...]

説明

cjdeletejb コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37156-E

Usage:cjgetjbprop [servername] [-nameserver providerURL] -resname javabeansresourcedisplayname [encoding encoding-name] -c javabeansresourcepropertyfilename

説明

cjgetjbprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37157-E

Usage:cjsetjbprop [servername] [-nameserver providerURL] -resname javabeansresourcedisplayname -c javabeansresourcepropertyfilename

説明

cjsetjbprop コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37158-E

Usage: cjlistjb [servername] [-nameserver providerURL]

説明

cjlistjb コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37159-E

Usage: cjstartjb [servername] [-nameserver providerURL] -resname javabeansresourcedisplayname

説明

cjstartjb コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37160-E

Usage: cjstopjb [servername] [-nameserver providerURL] -resname javabeansresourcedisplayname

説明

cjstopjb コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37161-E

Usage:cjreloadapp [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname [-t timeoutseconds]

説明

cjreloadapp コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37162-E

Usage:

Format1: cjimportjb [servername] [-nameserver providerURL] -f javabeansresourcejarfilename -c propertyfilename

Format2: cjimportjb [servername] [-nameserver providerURL] -d javabeansresourcedirectoryname -c propertyfilename

説明

cjimportjb コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37163-E

Usage: cjsuspendpool [servername] [-nameserver providerURL] -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjsuspendpool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37164-E

Usage: cjresumepool [servername] [-nameserver providerURL] -resname rardisplayname [-resname rardisplayname ...]

説明

cjresumepool コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37165-E

Usage: cjgencmpsql [servername] [-nameserver providerURL] [-test] -name applicationname [-resname ejbjardisplayname/ejbdisplayname]

説明

cjgencmpsql コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37166-E

Usage: cjcommittrn [servername] [-nameserver providerURL] -gid globalTransactionId

説明

cjcommittrn コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37167-E

Usage: cjrollbacktrn [servername] [-nameserver providerURL] -gid globalTransactionId

説明

cjrollbacktrn コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37168-E

Usage: cjforgettrn [servername] [-nameserver providerURL] -gid globalTransactionId

説明

cjforgettrn コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37170-E

Usage:

Format1: cjimportwar [servername] [-nameserver providerURL] -f warfilename [-name applicationname] [-contextroot contextroot] [-c cosminexus.xml]

Format2: cjimportwar [servername] [-nameserver providerURL] -a wardirectorypath [-name applicationname] [-contextroot contextroot] [-c cosminexus.xml]

説明

cjimportwar コマンドの使用方法です。

対処

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37200-E

The required option aa....aa has not been specified.

aa....aa：オプション名

説明

必須のオプションが指定されていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37201-E

No value is specified. (option = [aa....aa])

aa....aa：オプション名

説明

オプション名に対応する値が指定されていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37202-E

No option is specified.

説明

サーバ名以外のパラメタにオプションが指定されていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37203-E

The same options have been specified repeatedly. (option = [aa....aa])

aa....aa：オプション名

説明

同じオプションが複数回指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37204-E

The specified option is invalid. (option = [aa....aa])

aa....aa：オプション名

説明

誤ったオプションが指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37205-E

Different export types have been specified simultaneously.

説明

異なるエクスポートタイプのオプションが同時に指定されました。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37206-E

The specified value is invalid. (option = [aa....aa], value = [bb....bb])

aa....aa：オプション名

bb....bb：オプション値

説明

不正なオプション値が指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37207-E

aa....aa cannot be specified simultaneously with bb....bb.

aa....aa：オプション名

bb....bb：オプション名

説明

同時に指定できないオプションが，同時に指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37208-E

The necessary -type connector for -name has not been specified.

説明

-name に必要な-type connector を指定していません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37209-E

The specified directory does not exist. [aa....aa]

aa....aa：ファイルパス

説明

指定したパスが存在しません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37210-E

The specified path is not a directory. [aa....aa]

aa....aa：ファイルパス

説明

指定したパスがディレクトリではありません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37211-E

Cannot access directory. [aa....aa]

aa....aa：ファイルパス

説明

指定したパスに対してアクセスできません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37212-E

An invalid provider URL is specified. (error details = aa....aa)

aa....aa：エラー詳細情報

説明

不正なプロバイダ URL が指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

プロバイダ URL の値を見直して，再度実行してください。

KDJE37213-E

The same tag is specified more than once. (name = [aa....aa])

aa....aa：タグ名

説明

同じタグが複数回指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

属性ファイル中のタグの指定を確認してください。

KDJE37300-E

The aa....aa command failed. Contact the system administrator.

aa....aa：コマンド名

説明

予期しない例外が発生して，コマンドが失敗しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

このメッセージの前に nnnn（n は数字）で始まる例外メッセージが出力されている場合は，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得し，システム管理者に連絡してください。

KDJE37301-E

Another command is already running.

説明

別のコマンドが実行中です。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドの終了を待ってから，再実行してください。

KDJE37302-E

The server was not found. (name = [aa....aa])

aa....aa：サーバ名

説明

サーバが見つかりません。

コマンドの実行を中断します。

対処

J2EE サーバが起動していない場合は，J2EE サーバを起動します。またはコマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37303-E

The Naming Service was not found.

説明

ネーミングサービスが見つかりません。

コマンドの実行を中断します。

対処

ネーミングサービスが起動していない場合は，ネーミングサービスを起動します。またはコマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37304-E

aa....aa was not found.

aa....aa：アプリケーション名，上位リソース表示名，上位リソース表示名/下位リソース表示名，リソースアダプタ名，JavaBeans リソース表示名，ユーザ名，またはロール名

説明

aa....aa が見つかりません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37305-E

aa....aa already exists. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application，Lookup name，EJB-JAR，Ejb-name，WAR，Datasource，Mail，User，Role，RAR，Library JAR，Filter，Filter-name，または JavaBeans resource）

bb....bb：アプリケーション名，ルックアップ名，EJB-JAR の表示名，Ejb-name，WAR の表示名，データソースの表示名，メールの表示名，ユーザ名，ロール名，RAR の表示名，ライブラリ JAR 名，Filter の表示名，Filter-name または JavaBeans リソースの表示名

説明

bb....bb はすでに存在しています。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタ，または aa....aa に対応した cjlist 系コマンドで確認して，再度実行してください。

KDJE37307-E

aa....aa is running. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application）

bb....bb：アプリケーション名

説明

アプリケーション（bb....bb）が実行中です。

コマンドの実行を中断します。

対処

アプリケーションを停止させてから，再度実行してください。

KDJE37309-E

aa....aa is being used in one or more applications. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Datasource または Mail）

bb....bb：データソースの表示名またはメールの表示名

説明

bb....bb は，一つ以上のアプリケーションで使用中です。

コマンドの実行を中断します。

対処

使用しているアプリケーションを削除してから，再度実行してください。

KDJE37310-E

aa....aa is being used by one or more running applications. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Datasource または Mail）

bb....bb：データソースの表示名またはメールの表示名

説明

bb....bb は，一つ以上の開始状態のアプリケーションで使用中です。

コマンドの実行を中断します。

対処

使用しているアプリケーションを停止させてから，再度実行してください。

KDJE37311-E

The file type is set to directory. (path = [aa....aa])

aa....aa：ファイルパス

説明

ディレクトリを指定しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

正しいファイルパスを指定してから，再度実行してください。

KDJE37312-E

The file does not exist. (path = [aa....aa])

aa....aa：ファイルパス

説明

ファイルが存在しません。

コマンドの実行を中断します。

対処

正しいファイルパスを指定してから，再度実行してください。

KDJE37313-E

aa....aa has already been mapped. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（User）

bb....bb：ユーザ名

説明

ユーザ（bb....bb）は，すでにマップされています。

コマンドの実行を中断します。

対処

アンマップしてから，再度実行してください。

KDJE37314-E

aa....aa has not been mapped yet. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（User）

bb....bb：ユーザ名

説明

ユーザ（bb....bb）は，まだマップされていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

マップしてから，再度実行してください。

KDJE37316-E

Deployment Descriptor was not found. (path = [aa....aa])

aa....aa：ファイルパス

説明

DD が見つかりません。

コマンドの実行を中断します。

対処

ファイルの内容を見直してから，再度実行してください。

KDJE37317-E

An attempt to read the aa....aa file has failed. (path = [bb....bb], detail = [cc....cc])

aa....aa：種別（Application All property，Application property，EJB-JAR property，Session Bean property，Entity Bean property，WAR property，Servlet property，Datasource property，Mail property，Datasource configuration，RAR property，Filter property または JavaBeans resource property）

bb....bb：ファイルパス

cc....cc：XML パーサからの例外情報

説明

ファイル（aa....aa）の読み込みに失敗しました。コマンドの実行を中断します。

対処

ファイルの内容を見直してから，再度実行してください。

KDJE37318-E

No DataSource or Driver interface is specified.

説明

データソースまたはドライバインタフェースが，一つも指定されていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

データソース設定ファイルの内容を見直してから，再度実行してください。

KDJE37319-E

No DataSource or Driver interface was found. (name = [aa....aa])

aa....aa：インタフェースクラス名

説明

データソースまたはドライバインタフェースが見つかりません。

コマンドの実行を中断します。

対処

正しい JDBC ドライバのファイルパスを指定してから，再度実行してください。

KDJE37321-E

No property value is specified. (name = [aa....aa])

aa....aa：タグ名

説明

aa....aa が指定されていないか，または aa....aa の値が空文字です。

コマンドの実行を中断します。

対処

必須タグの指定があるかどうか，または aa....aa の指定が妥当かどうかを確認して再度実行してください。

KDJE37322-E

The property value is invalid. (name = [aa....aa], value = [bb....bb])

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグの値

説明

aa....aa の値が不正です。

コマンドの実行を中断します。

対処

aa....aa の値を確認して再度実行してください。

KDJE37323-E

The resource does not exist.

説明

プール内に登録されたリソースが存在しません。

コマンドの実行を中断します。

対処

-resname オプションの値を確認して再度実行してください。

KDJE37324-E

aa....aa produced an error. The command has failed.

aa....aa：種別（J2EE Server，I/O，Naming Service，および OTS）

説明

aa....aa でエラーが発生しています。

コマンドの実行を中断します。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，コマンド実行時の動作環境（J2EE サーバ，ネーミングサービス，および OTS）を確認し，要因を取り除いてください。なお，このメッセージの前に nnnn（n は数字）で始まる例外メッセージが出力されている場合は，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。

要因の例および対処方法を，次に示します。

- 系切り替えシステムで，このメッセージが発生した場合

  接続先 J2EE サーバのユーザプロパティファイル（usrconf.properties）の webserver.connector.http.permitted.hosts キーに指定されている IP アドレスまたはホスト名が誤っています。IP アドレスまたはホスト名を見直してください。

- データソース属性の設定で，このエラーが発生した場合

  データソース属性の設定内容に不正があります。設定内容に不正がないか確認し，見直してください。

KDJE37325-E

No aa....aa tag is specified.

aa....aa：タグ名

説明

aa....aa の設定がされていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

エラーメッセージに示されたタグの値を設定してください。

KDJE37326-E

aa....aa command failed.

bb....bb.

aa....aa：種別（Import，Replace または Reload）

bb....bb：詳細メッセージ

説明

アプリケーションのインポート，リプレース，またはリロードに失敗しました。コマンドの実行を中断します。

対処

エラーメッセージに従って対処してください。

KDJE37328-E

File format is invalid.

説明

ファイル形式が不正なため，コマンドの実行を中断します。

対処

ファイル形式を見直してください。

KDJE37329-E

aa....aa's connection was not found or is not being used.

aa....aa：コネクション ID

説明

コネクション（aa....aa）が見つかりません。または指定したコネクションは使用されていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

指定したコネクション ID が正しいかどうかを確認してください。

KDJE37330-E

The command could not be started in the current J2EE status. This command runs in basic mode.

説明

J2EE サーバモードがベーシックモードではありません。

コマンドの実行を中断します。

対処

J2EE サーバの起動モードがベーシックに設定されているかどうかを確認してください。

KDJE37331-E

aa....aa is already deployed. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（RAR）

bb....bb：RAR の表示名

説明

bb....bb はすでにデプロイされています。

コマンドの実行を中断します。

対処

アンデプロイしたあと，再度実行してください。

KDJE37332-E

The same display name as for aa....aa exists in the J2EE Application. (name = [bb....bb], J2EE Application name = [cc....cc])

aa....aa：種別（RAR）

bb....bb：RAR の表示名

cc....cc：J2EE アプリケーション名

説明

bb....bb と同じ表示名の RAR が J2EE アプリケーション（cc....cc）の中に存在しています。

コマンドの実行を中断します。

対処

重複しないように表示名を変更してから，再度実行してください。

KDJE37334-E

aa....aa cannot be undeployed. Retry after rebooting the J2EE Server. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（RAR）

bb....bb：RAR の表示名

説明

bb....bb をアンデプロイできません。

コマンドの実行を中断します。

対処

J2EE サーバを再起動してから，再度実行してください。

KDJE37335-E

aa....aa is running. (name=[bb....bb])

aa....aa：種別（RAR または JavaBeans resource）

bb....bb：RAR の表示名または JavaBeans リソースの表示名

説明

bb....bb は実行中です。

コマンドの実行を中断します。

対処

bb....bb を停止したあと，再度実行してください。

KDJE37336-E

aa....aa is not running. (name=[bb....bb])

aa....aa：種別(RAR または JavaBeans resource)

bb....bb：RAR の表示名または JavaBeans リソースの表示名

説明

bb....bb は停止中です。

コマンドの実行を中断します。

対処

bb....bb を開始したあと，再度実行してください。

KDJE37337-E

Deploying failed. (name = [aa....aa])

aa....aa：RAR の表示名

説明

デプロイに失敗しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDJE37341-E

DatabaseID = [aa....aa] was not found.

aa....aa：データベース ID

説明

データベース（aa....aa）のプール管理情報が存在しません。

コマンドの実行を中断します。

対処

cjweblistpool コマンドでプール管理情報を確認して，再度実行してください。

KDJE37342-E

DatabaseID already exists. (DatabaseID = [aa....aa])

aa....aa：データベース ID

説明

データベース（aa....aa）のプール管理情報はすでに存在します。

コマンドの実行を中断します。

対処

cjweblistpool コマンドでプール管理情報を確認して，再度実行してください。

KDJE37343-E

The list does not exist. (listtype = [aa....aa], DatabaseID = [bb....bb])

aa....aa：リスト種別

bb....bb：データベース ID

説明

データベース（bb....bb）が使用されていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

-listtype dblist オプションでデータベースリストを表示して，bb....bb の値を確認したあと，再度実行してください。

KDJE37344-E

The list does not exist. (listtype = [aa....aa], DatabaseID = [bb....bb], UserID = [cc....cc])

aa....aa：リスト種別

bb....bb：データベース ID

cc....cc：ユーザ ID

説明

データベース ID（bb....bb），またはユーザ ID（cc....cc）が使用されていません。コマンドの実行を中断します。

対処

-listtype dblist オプション，および-listtype poollist オプションで，データベースリストおよびプールリストを表示して値を確認したあと，再度実行してください。

KDJE37345-E

No DatabaseID, ClassName, or URL is specified.

説明

データベース ID，クラス名，または URL が指定されていません。

コマンドの実行を中断します。

対処

プール管理情報設定ファイルの内容を確認したあと，再度実行してください。

KDJE37346-E

There is no scheduled bean.

説明

CTM 経由で呼び出される Bean に指定されたものがありません。

コマンドの実行を中断します。

対処

Bean の設定が正しいかどうかを確認してください。

KDJE37347-E

The Parallel count of the Scheduling tag cannot be greater than the pooled instances maximum.

説明

CTM 経由で呼び出される Bean で，「Maximum」の値が「Parallel count」の値より小さい値が設定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

「Maximum」の値と「Parallel count」の値が正しいかどうかを確認してください。

KDJE37348-E

The aa....aa command failed. (detail = [bb....bb])

aa....aa：コマンド名（cjwebeditpool，cjwebchangedbid，cjwebdeletepool，cjweblistpool，cjwebclearpool，または cjwebclosepool）

bb....bb：コネクションプール API からの例外情報

説明

コマンド（aa....aa）が失敗しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDJE37349-E

The aa....aa command failed due to a [bb....bb] error.

aa....aa：コマンド名（cjwebeditpool，cjwebchangedbid，cjwebdeletepool，cjweblistpool，cjwebclearpool，または cjwebclosepool）

bb....bb：種別（Connection，I/O，Permission，または Version）

説明

コマンド（aa....aa）で，エラー（bb....bb）が発生し失敗しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

bb....bb が Connection または I/O の場合

ホスト名とポート番号を見直し，また Web コンテナサーバが起動されていることを確認して，再度実行してください。

bb....bb が Permission の場合

接続先 Web コンテナサーバの設定（webserver.connector.http.permitted.hosts）を確認して再度実行してください。

bb....bb が Version の場合

サーバとコマンドを実行しているホストの Component Container のバージョンを合わせてください。

KDJE37350-E

aa....aa cannot be used with this Edition.

aa....aa：タグ名

説明

タグ（aa....aa）はこの Application Server のエディションでは使用できません。

コマンドの実行を中断します。

対処

Application Server のエディションの設定を確認してください。

KDJE37351-E

The property value is invalid.

Name = [thread-control-max-threads], Value = [aa....aa]

Name = [thread-control-exclusive-threads], Value = [bb....bb]

thread-control-max-threads must specify a value beyond that of thread-control-exclusive-threads.

aa....aa：Web アプリケーション単位の最大同時実行スレッド数

bb....bb：占有スレッド数

説明

Web アプリケーション単位の最大同時実行スレッド数（aa....aa）に，占有スレッド数（bb....bb）より小さい値が設定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

指定した Web アプリケーション単位の最大同時実行スレッド数，または占有スレッド数が正しいかどうかを確認してください。

KDJE37352-E

aa....aa cannot be used with this configuration.

webserver.container.thread_control.enabled = false

aa....aa：タグ名

説明

タグ（aa....aa）は，この設定では使用できません。

コマンドの実行を中断します。

対処

webserver.container.thread_control.enabled の設定を確認してください。

KDJE37353-E

An access from aa....aa is not permitted. Host name = bb....bb

aa....aa：IP アドレス

bb....bb：ホスト名

説明

aa....aa からのアクセスは許可されていません。ホスト名 = bb....bb

対処

コマンドの実行を中断します。接続先 Web コンテナサーバの設定（webserver.connector.http.permitted.hosts）を確認して再度実行してください。

KDJE37354-E

The version of Cosminexus Component Container is incompatible.

Host name = aa....aa, Reason code = (bb....bb, cc....cc).

aa....aa：ホスト名

bb....bb：保守情報 1

cc....cc：保守情報 2

説明

Component Container のバージョンが一致しません。ホスト名 = aa....aa, 保守情報 =（bb....bb, cc....cc）

対処

コマンドの実行を中断します。サーバとコマンドを実行しているホストの Component Container のバージョンを合わせてください。

要因が解決しない場合は保守情報を取得し保守員に連絡してください。

KDJE37356-E

The communication timeout occurred.

説明

サーバ管理コマンドの実行でタイムアウトが発生しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

ネットワークの環境に問題がないかを確認してください。ネットワークの環境に問題がない場合は，次の対処をしてください。

- 引数でタイムアウト時間を指定できるコマンドの場合は，引数で指定するタイムアウト時間の指定値を大きくして，再実行してください。
- 引数でタイムアウト時間を指定できないコマンドの場合は，ユーザプロパティファイルの ejbserver.rmi.request.timeout キーの値を見直して，再度実行してください。

KDJE37357-E

The same aa....aa have been specified repeatedly. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（library jar names）

bb....bb：ライブラリ JAR ファイル名

説明

同じオプションが複数回指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37358-E

The specified aa....aa does not exist. Path=[bb....bb]

aa....aa：種別（directory）

bb....bb：パス

説明

指定したパスが存在しません。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37359-E

File type is not directory. Path=[aa....aa]

aa....aa：パス

説明

指定したパスはディレクトリではありません。

コマンドの実行を中断します。

対処

正しいディレクトリパスを指定して，再度実行してください。

KDJE37360-E

The connected test of aa....aa failed.

aa....aa：データソースの表示名，メールの表示名，またはリソースアダプタの表示名

説明

テスト接続に失敗しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

接続情報を見直して，再度実行してください。

KDJE37361-E

The file including runtime information has been specified. Path=[aa....aa]

aa....aa：パス

説明

実行時情報を含むファイルを指定しました。

コマンドの実行を中断します。

対処

実行時情報を含まないファイル（拡張子.ear）を指定してください。

KDJE37362-E

The application name specified to be -name option differs from the value of the display-name tag of the application.xml in an EAR file. Value=[aa....aa]

aa....aa：<display-name>タグの指定値，または EAR ファイル名から生成されたアプリケーション名

説明

-name オプションに指定されたアプリケーション名と EAR ファイル内の application.xml の <display-name>タグに指定されたアプリケーション名が異なっています。

application.xml を含まない EAR ファイルの場合は，-name オプションに指定されたアプリケーション名と EAR ファイル名より生成されたアプリケーション名が異なっています。

対処

コマンドの実行を中断します。

application.xml の<display-name>タグの値を見直して，再度実行してください。

application.xml を含まない EAR ファイルの場合は，EAR ファイル名よりアプリケーション名が生成されますので，EAR ファイル名を見直して再度実行してください。

KDJE37363-E

The specified path is invalid. Path=[aa....aa]

aa....aa：パス

説明

不正なパスを指定しています。

コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE37364-E

A command cannot be executed in the state of this application. (name = [aa....aa], status = [bb....bb])

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：アプリケーションの状態

説明

このアプリケーションの状態では，コマンドを実行できません。

コマンドの実行を中断します。

対処

アプリケーションの状態を見直して，再度実行してください。

KDJE37365-E

The following error occurred, but an application has been imported successfully.

説明

インポートに成功しましたが，エラーが発生しました。エラーの内容については，このメッセージに続いて出力されるメッセージを参照してください。

対処

このメッセージに続いて出力されるメッセージの情報を基に，アプリケーションの設定情報を見直してください。

KDJE37366-E

The following error occurred, but a resource adapter has been deployed successfully.

説明

デプロイに成功しましたが，エラーが発生しました。エラーの内容については，このメッセージに続いて出力されるメッセージを参照してください。

対処

このメッセージに続いて出力されるメッセージの情報を基に，リソースアダプタの設定情報を見直してください。

KDJE37367-W

A property value is invalid. ([aa....aa] = [bb....bb]) The default value [cc....cc] will be used.

aa....aa：プロパティ名称

bb....bb：設定されたプロパティ値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ値（bb....bb）が不正です。デフォルト値（cc....cc）を使用して処理を継続します。

対処

ユーザプロパティファイルに設定されたプロパティ値が正しいかどうかを確認してください。

KDJE37368-E

This command cannot execute in the current J2EE server mode.

説明

このコマンドは，現在の J2EE サーバモードでは実行できません。

コマンドの実行を中断します。

対処

J2EE サーバの起動モードを確認してください。

KDJE37369-E

aa....aa is not a member resource adapter of the cluster connection pool.

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

aa....aa はクラスタコネクションプールのメンバリソースアダプタではありません。

コマンドの実行を中断します。

対処

aa....aa がクラスタコネクションプールのメンバリソースアダプタかどうかを確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37370-E

The connection pool is not running. (name = [aa....aa], connection pool status = [bb....bb])

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：コネクションプールの状態

説明

aa....aa のコネクションプールが開始状態または開始予約状態ではありません。コネクションプールは，bb....bb 状態です。

コマンドの実行を中断します。

対処

cjresumepool コマンドで aa....aa を再開したあと，再度コマンドを実行してください。

KDJE37371-E

The connection pool is not suspended. (name = [aa....aa], connection pool status = [bb....bb])

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：コネクションプールの状態

説明

aa....aa が自動一時停止状態，手動一時停止状態，自動一時停止予約状態または手動一時停止予約状態ではありません。コネクションプールは，bb....bb 状態です。

コマンドの実行を中断します。

対処

コネクションプールが開始状態または開始予約状態の場合：

コネクションプールはすでに開始状態ですので，対処の必要はありません。

コネクションプールが自動閉塞状態または手動閉塞状態の場合：

コネクションプールが自動一時停止状態または手動一時停止状態になるまで待ってから，再度実行してください。

コネクションプールが自動再開中または手動再開中状態の場合：

コネクションプールの再開処理を実行中ですので，しばらくお待ちください。

KDJE37372-E

The root resource adapter is not supported. (name = [aa....aa])

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

aa....aa はルートリソースアダプタです。ルートリソースアダプタに対しては，コマンドは実行できません。

コマンドの実行を中断します。

対処

-resname にルートリソースアダプタ以外のリソースアダプタの表示名を指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37373-E

SQL cannot be generated because the CMP2.x entity bean field is not mapped to a table in the database. (name = [aa....aa])

aa....aa：Ejb-name

説明

CMP2.x Entity Bean のフィールドがデータベース上の表にマッピングされていないので SQL の生成ができません。

対処

CMP2.x Entity Bean のフィールドをデータベース上の表にマッピングしてから，再度コマンドを実行してください。

KDJE37375-E

A command cannot be executed in an application with the deployment directory format. (name = [aa....aa])

aa....aa：アプリケーション名

説明

展開ディレクトリ形式のアプリケーションでは，コマンドを実行できません。

対処

アーカイブ形式のアプリケーションを指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37376-E

A command cannot be executed in an application with the archive format. (name = [aa....aa])

aa....aa：アプリケーション名

説明

アーカイブ形式のアプリケーションでは，コマンドを実行できません。

対処

展開ディレクトリ形式のアプリケーションを指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37377-E

aa....aa is not a CMP2.X Entity Bean.

aa....aa：Ejb-name

説明

aa....aa は CMP2.X Entity Bean ではありません。

対処

-resname に CMP2.X Entity Bean の名称を指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37378-E

The same attribute value tag has been specified more than once. (name = [aa....aa], attribute = [bb....bb], value = [cc....cc])

aa....aa：タグ名

bb....bb：属性名

cc....cc：属性の値

説明

同じ属性値のタグが複数指定されています。

対処

xml:lang 属性の値を確認して再度実行してください。

KDJE37379-E

A tag having "en" as the value of the "xml:lang" attribute is not specified. (name = [aa....aa])

aa....aa：タグ名

説明

xml:lang 属性の値に"en"を持つタグが指定されていません。

対処

xml:lang 属性の値に"en"を持つタグを指定して再度実行してください。

KDJE37380-E

A Java Beans resource with the same implementation class name exists. (name = [aa....aa], class name = [bb....bb])

aa....aa：JavaBeans リソースの表示名

bb....bb：実装クラス名

説明

同じ実装クラス名の JavaBeans リソースがすでに存在しています。

コマンドの実行を中断します。

対処

重複しないように実装クラス名を変更してから，再度実行してください。

KDJE37381-W

The resource adaptor has been deleted or there is a problem with the work directory.

説明

リソースアダプタが削除されたか作業ディレクトリに障害が発生した可能性があります。J2EE サーバ側のメッセージを確認してください。

対処

J2EE サーバ側のメッセージを確認してください。

KDJE37382-E

The tag which cannot be specified to [aa....aa] was specified.(name = [bb....bb])

aa....aa：EJB1.1，EJB2.0，EJB2.1，Servlet2.2，Servlet2.3，Servlet2.4，Connector1.0，Connector1.5

bb....bb：タグ名

説明

設定できないタグが指定されました。

対処

マニュアルで属性ファイルの仕様を確認し，属性ファイル中のタグの指定を見直してください。

KDJE37383-E

Two or more tags were specified to [aa....aa]. (name = [bb....bb])

aa....aa：EJB1.1，EJB2.0，Servlet2.2，Servlet2.3，Servlet2.4，Connector1.0

bb....bb：タグ名

説明

複数設定できないタグが複数指定されました。

対処

マニュアルで属性ファイルの仕様を確認し，属性ファイル中のタグの指定を見直してください。

KDJE37384-E

A member resource adapter cannot be set in this tag. (tag = [aa....aa], tag value = [bb....bb])

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグの値

説明

次の個所には，メンバリソースアダプタの表示名は指定できません。

- J2EE アプリケーションのリソースリファレンス
- CMP Entity Bean のマッピング定義

対処

エラーとなったタグにルートリソースアダプタの表示名を指定してください。

KDJE37385-E

aa....aa cannot be deleted. Reboot the J2EE server, and then retry. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別(JavaBeans resource)

bb....bb：JavaBeans リソースの表示名

説明

bb....bb を削除できません。

コマンドの実行を中断します。

対処

J2EE サーバを再起動してから再度コマンドを実行してください。

KDJE37386-E

A command cannot be executed from a remote host in an application with the deployment directory format. (name = [aa....aa]).

aa....aa：アプリケーション名

cjimportwar コマンドで-name オプションが省略された場合は，WAR ディレクトリ名

説明

展開ディレクトリ形式では，リモートホストからコマンドを実行できません。

対処

ローカルホストからコマンドを実行してください。

KDJE37387-E

An empty directory have been specified. (path = [aa....aa])

aa....aa：パス

説明

空のディレクトリが指定されました。コマンドの実行を中断します。

対処

コマンドのパラメタ，およびディレクトリの内容を見直して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37388-E

The total of the property value is invalid. (name = [aa....aa], total = [bb....bb])

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグの値の総和

説明

タグ名の値の総和が不正です。コマンドの実行を中断します。

対処

タグ名の値を確認して再度コマンドを実行してください。

KDJE37389-E

The type of the property file is illegal.

説明

属性ファイルの種別が不正です。

対処

次の内容を見直して，再度コマンドを実行してください。

- 実行したコマンドの種類
- -type 引数の指定
- -c 引数の指定

KDJE37391-E

The connection pool status is illegal. An available status is "running", "runningReserved", "suspendedAutomatically" or "suspendedAutomaticallyReserved". (name = [aa....aa], connection pool status = [bb....bb])

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：コネクションプールの状態

説明

aa....aa のコネクションプールの状態が不正です。有効な状態は「開始状態」，「開始予約状態」，「自動一時停止状態」，または「自動一時停止予約状態」です。コマンドの実行を中断します。

対処

次の対処を実行してください。

コネクションプールが自動閉塞状態または手動閉塞状態の場合：

コネクションプールの一時停止処理を実行中です。しばらくお待ちください。

コネクションプールが手動一時停止状態または手動一時停止予約状態の場合：

コネクションプールはすでに一時停止状態です。対処の必要はありません。

コネクションプールが自動再開中状態または手動再開中状態の場合：

コネクションプールが開始状態になるまで待ってから，再度コマンドを実行してください。

KDJE37392-E

The length of display name of aa....aa is too long.

aa....aa：an application，a RAR，a data source，a mail，または a JavaBeans resource

説明

aa....aa に表示されているアプリケーションまたはリソースの表示名が長過ぎます。

対処

表示名の長さを確認して再度実行してください。

KDJE37393-E

The J2EE application "aa....aa" cannot be created.

aa....aa：アプリケーション名

説明

アプリケーションを作成できませんでした（名称 ＝ [aa....aa]）。

コマンドの実行を中断します。

対処

指定したアプリケーションは使用できません。

アプリケーション名を確認して再度実行してください。

KDJE37394-E

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

説明

管理者特権がないため，コマンドを実行できません。

対処

管理者として実行したコマンドプロンプト上で，再度コマンドを実行してください。

KDJE37395-E

An error occurred while the permissions were being checked.

説明

権限の判定中にエラーが発生しました。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。空きメモリを増やしたあと，再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE37396-E

A command cannot be executed in the resource adapter of Connector1.0

説明

Connector1.0 のリソースアダプタでは，コマンドを実行できません。

対処

Connector1.5 のリソースアダプタを指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE37397-W

An attempt to initialize the audit log has failed. (details = [aa....aa])

aa....aa：詳細情報

説明

監査ログの初期化に失敗しました。監査ログは出力できませんが，処理は続行します。

対処

監査ログのメッセージログを参照して，原因を取り除いてください。

KDJE37398-W

An attempt to output the audit log has failed. (details = [aa....aa])

aa....aa：詳細情報

説明

監査ログの出力に失敗しました。処理は続行します。

対処

監査ログのメッセージログを参照して，原因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE37399-E

The tag [aa....aa] and the tag [bb....bb] cannot be specified simultaneously.

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグ名

説明

同時に指定できないタグが，同時に指定されています。

コマンドの実行を中断します。

対処

マニュアルで属性ファイルの仕様を確認し，属性ファイル中のタグの指定を見直してください。

KDJE37400-I

Connecting to aa....aa...

aa....aa：サーバ名

説明

サーバに接続中です。

KDJE37401-I

Searching aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名，EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，RAR の表示名，データソースの表示名，メールの表示名，ユーザ名，ロール名，または JavaBeans リソース表示名

説明

aa....aa を検索中です。

KDJE37402-I

Creating aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

aa....aa を作成中です。

KDJE37404-I

Importing aa....aa...

aa....aa：WAR アプリケーション名，EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，RAR の表示名，データソースの表示名，または JavaBeans リソースの表示名

cjimportwar コマンドで-name オプションが省略された場合は，WAR ファイル名または WAR ディレクトリ名

説明

aa....aa を作成中です。

KDJE37405-I

Exporting [aa....aa] ...

aa....aa：アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）をエクスポート中です。

KDJE37406-I

Adding aa....aa...

aa....aa：EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，RAR の表示名，ユーザ名，ロール名，または Filter の表示名

説明

aa....aa を追加中です。

KDJE37407-I

Deleting aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名，EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，RAR の表示名，データソースの表示名，メールの表示名，ユーザ名，ロール名，または JavaBeans リソース表示名

説明

aa....aa を削除中です。

KDJE37408-I

Acquiring aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名，EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，RAR の表示名，データソースの表示名，メールの表示名，または JavaBeans リソース表示名

説明

aa....aa のプロパティを取得中です。

KDJE37409-I

Setting aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名，EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，RAR の表示名，データソースの表示名，メールの表示名，または JavaBeans リソース表示名

説明

aa....aa のプロパティを設定中です。

KDJE37410-I

Copying aa....aa...

aa....aa：EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，RAR の表示名，データソースの表示名，またはメールの表示名

説明

aa....aa をコピー中です。

KDJE37411-I

Testing aa....aa of bb....bb...

aa....aa：DataSource，Mail，または RAR

bb....bb：データソースの表示名，メールの表示名，またはリソースアダプタの表示名

説明

aa....aa をテスト中です。

KDJE37413-I

Starting aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

aa....aa を実行中です。

KDJE37414-I

Stopping aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

aa....aa を停止中です。

KDJE37415-I

Mapping aa....aa...

aa....aa：ユーザ名

説明

aa....aa をマッピング中です。

KDJE37416-I

Unmapping aa....aa...

aa....aa：ユーザ名

説明

aa....aa をアンマッピング中です。

KDJE37417-I

Resetting exclusive information...

説明

コマンド排他情報をリセット中です。

KDJE37418-I

Clearing out aa....aa...

aa....aa：上位リソース表示名または all resources

説明

aa....aa またはすべてのリソースを削除中です。

KDJE37419-I

Closing all aa....aa connections...

aa....aa：上位リソース表示名，または resources

説明

aa....aa のコネクションを解放中です。

KDJE37420-I

Closing the aa....aa connection...

aa....aa：コネクション ID

説明

コネクション（aa....aa）を解放中です。

KDJE37421-I

Deploying aa....aa...

aa....aa：RAR の表示名

説明

aa....aa をデプロイ中です。

KDJE37422-I

Undeploying aa....aa...

aa....aa：RAR の表示名

説明

aa....aa をアンデプロイ中です。

KDJE37423-I

Starting aa....aa...

aa....aa：RAR の表示名または JavaBeans リソース表示名

説明

aa....aa を開始中です。

KDJE37424-I

Stopping aa....aa...

aa....aa：RAR の表示名または JavaBeans リソースの表示名

説明

aa....aa を停止中です。

KDJE37425-I

Connecting to aa....aa...

aa....aa：ホスト名

説明

実行させるサーブレットのホスト（aa....aa）に接続中です。

KDJE37426-I

Replacing aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

aa....aa を入れ替え中です。

KDJE37427-I

Updating aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

aa....aa を更新中です。

KDJE37428-I

Changing aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

aa....aa を変更中です。

KDJE37429-I

Suspending aa....aa...

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

aa....aa を停止中です。

KDJE37430-I

Resuming aa....aa...

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

aa....aa を再開中です。

KDJE37431-I

Generating SQL of aa....aa...

aa....aa：EJB-JAR 表示名/EJB 表示名

説明

aa....aa の SQL を生成中です。

KDJE37501-I

aa....aa has been imported successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（War application，EJB-JAR，WAR，Datasource，RAR，または JavaBeans resource）

bb....bb：WAR アプリケーション名，EJB-JAR の表示名，WAR の表示名，データソースの表示名，RAR の表示名，または JavaBeans リソースの表示名

説明

bb....bb は，正常にインポートされました。

KDJE37502-I

aa....aa has been exported successfully. Name=[bb....bb]

aa....aa：種別（Application または RAR）

bb....bb：アプリケーションの表示名，または RAR の表示名

説明

bb....bb は，正常にエクスポートされました。

KDJE37503-I

aa....aa has been added successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application，EJB-JAR，WAR，User，Role，RAR，Filter，または JavaBeans resource）

bb....bb：アプリケーション名，上位リソース表示名，または JavaBeans リソース表示名

説明

bb....bb は，正常に追加されました。

KDJE37504-I

aa....aa has been deleted successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application，EJB-JAR，WAR，Datasource，Mail，User，Role，または RAR）

bb....bb：アプリケーション名または上位リソース表示名

説明

bb....bb は，正常に削除されました。

KDJE37505-I

aa....aa has been obtained successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application，EJB-JAR，WAR，Datasource，Mail，RAR，または JavaBeans resource）

bb....bb：アプリケーション名，上位リソース表示名，上位リソース表示名/下位リソース表示名，または JavaBeans リソース表示名

説明

bb....bb のプロパティは，正常に取得されました。

KDJE37506-I

aa....aa has been set successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application，EJB-JAR，WAR，Datasource，Mail，RAR，または JavaBeans resource）

bb....bb：アプリケーション名，上位リソース表示名，上位リソース表示名／下位リソース表示名，または JavaBeans リソース表示名

説明

bb....bb のプロパティは，正常に設定されました。

KDJE37507-I

aa....aa has been copied successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（EJB-JAR，WAR，Datasource，Mail，または RAR）

bb....bb：上位リソース表示名または上位リソース表示名／下位リソース表示名

説明

bb....bb は，正常にコピーされました。

KDJE37508-I

All aa....aa have been listed successfully. (number = [bb....bb])

aa....aa：Applications，EJB-JARs，WARs，Datasources，Mails，Users，Roles，RARs，ejbs，javabeans resource，library jars，lower resources，または threads

bb....bb：個数

説明

すべての aa....aa の一覧は，正常に出力されました。

KDJE37509-I

aa....aa has been listed successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Connection，User，または Role）

bb....bb：データソースの表示名，all resources，ユーザ名，またはロール名

説明

bb....bb の一覧は，正常に出力されました。

KDJE37510-I

aa....aa of bb....bb has been tested successfully. Name=[bb....bb]

aa....aa：DataSource，Mail，または RAR

bb....bb：データソースの表示名，メールの表示名，またはリソースアダプタの表示名

説明

bb....bb の aa....aa は，正常にテストされました。

KDJE37512-I

aa....aa has started successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application）

bb....bb：アプリケーション名

説明

アプリケーション（bb....bb）は，正常に起動されました。

KDJE37513-I

aa....aa has stopped successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application）

bb....bb：アプリケーション名

説明

アプリケーション（bb....bb）は，正常に停止されました。

KDJE37514-I

aa....aa has been mapped successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（User）

bb....bb：ユーザ名

説明

ユーザ（bb....bb）は，正常にマッピングされました。

KDJE37515-I

aa....aa has been unmapped successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（User）

bb....bb：ユーザ名

説明

ユーザ（bb....bb）は，正常にアンマッピングされました。

KDJE37516-I

The exclusive information for command execution has been reset successfully.

説明

コマンド排他情報は，正常にリセットされました。

KDJE37517-I

aa....aa has been cleared successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（JDBC または JCA）

bb....bb：データソースの表示名またはリソースアダプタの表示名

説明

データソースまたはリソースアダプタは，正常に削除されました。

KDJE37518-I

All resources have been cleared successfully.

説明

すべてのリソースは，正常に削除されました。

KDJE37519-I

aa....aa

Connections have been closed successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：サーバからの詳細情報

bb....bb：データソース表示名，または all resources

説明

コネクションは，正常に解放されました。

KDJE37520-I

The connection has been closed successfully. (CID = [aa....aa])

aa....aa：コネクション ID

説明

コネクションは，正常に解放されました。

KDJE37521-I

aa....aa has been deployed successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（RAR）

bb....bb：RAR の表示名

説明

bb....bb は正常にデプロイされました。

KDJE37522-I

aa....aa has been undeployed successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（RAR）

bb....bb：RAR の表示名

説明

bb....bb は正常にアンデプロイされました。

KDJE37523-I

aa....aa has started successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（RAR または JavaBeans resource）

bb....bb：RAR の表示名または JavaBeans リソース表示名

説明

bb....bb は正常に開始されました。

KDJE37524-I

aa....aa has stopped successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（RAR または JavaBeans resource）

bb....bb：RAR の表示名または JavaBeans リソースの表示名

説明

bb....bb は正常に停止されました。

KDJE37525-I

Pool management information has been set successfully. (DatabaseID = [aa....aa])

aa....aa：データベース ID

説明

プール管理情報は，正常に登録または変更されました。

KDJE37526-I

DatabaseID has been changed successfully. (DatabaseID = [aa....aa])

aa....aa：データベース ID

説明

データベース ID は，正常に変更されました。

KDJE37527-I

Pool management information has been deleted successfully. (DatabaseID = [aa....aa])

aa....aa：データベース ID

説明

データベース ID は，正常に削除されました。

KDJE37528-I

Pool information has been listed successfully. (listtype = [aa....aa], number = [bb....bb])

aa....aa：リスト動作種別

bb....bb：データベースリストの数，プールリストの数，またはコネクションリストの数

説明

リスト情報は，正常に出力されました。

KDJE37529-I

Connection information has been cleared successfully. (mode = [aa....aa], DatabaseID = [bb....bb])

aa....aa：クリア動作種別（normal または plan）

bb....bb：データベース ID

説明

bb....bb に関連するコネクションは，正常に削除されました。

KDJE37530-I

Connection information has been cleared successfully. (mode = [aa....aa])

aa....aa：クリア動作種別（normal または plan）

説明

コネクションは，正常に削除されました。

KDJE37531-I

The connection has been closed successfully. (DatabaseID = [aa....aa], CID = [bb....bb])

aa....aa：データベース ID

bb....bb：コネクション ID

説明

コネクションは，正常に解放されました。

KDJE37532-I

The connection has been closed successfully. (DatabaseID = [aa....aa], TIME = [bb....bb])

aa....aa：データベース ID

bb....bb：タイムアウト時間

説明

コネクションは，正常に解放されました。

KDJE37533-I

If you changed class name or URL, you must restart the web container to finish setting it up.

説明

クラス名または URL を変更した場合，Web コンテナを再起動してください。

KDJE37534-I

To finish setting up your changes, you must restart the web container.

説明

設定を反映するために，Web コンテナを再起動してください。

KDJE37535-I

aa....aa has been replaced successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application）

bb....bb：アプリケーション名

説明

aa....aa は正常に入れ替えられました。

KDJE37536-I

aa....aa has been updated successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application）

bb....bb：アプリケーション名

説明

aa....aa は正常に更新されました。

KDJE37537-I

aa....aa has been changed successfully. (name = [bb....bb])

aa....aa：種別（Application）

bb....bb：アプリケーション名

説明

aa....aa は正常に変更されました。

KDJE37538-I

The thread has been stopped successfully.

説明

スレッドは正常に停止されました。

KDJE37539-I

All transaction have been listed successfully.

説明

すべてのトランザクションの一覧は正常に出力されました。

KDJE37540-I

Connections have been listed successfully. name=[aa....aa]

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

リソースアダプタのコネクションの一覧は正常に出力されました。

KDJE37541-I

All of connections have been listed successfully.

説明

すべてのコネクションの一覧は正常に出力されました。

KDJE37542-I

Reloading aa....aa...

aa....aa：アプリケーション名

説明

aa...aa を入れ替え中です。

KDJE37543-I

aa....aa has been reloaded successfully. (name=[aa....aa])

aa....aa：種別(Application)

説明

aa....aa は正常に入れ替えられました。

KDJE37544-I

The connection pool status was changed successfully. The connection pool which was blocked will now be suspended. (name = [aa....aa])

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

aa....aa は正常に状態遷移しました。閉塞したコネクションプールについては，このあと一時停止されます。コネクションプールが一時停止されたかどうかは，cjlistrar コマンドで確認できます。

KDJE37545-I

Connection pool has been resumed successfully. (name = [aa....aa])

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

コネクションプールは，正常に再開されました。

KDJE37546-I

SQL has been generated successfully. (name = [aa....aa])

aa....aa：アプリケーション名

説明

SQL は正常に生成されました。

KDJE37547-I

Application has not been reloaded because a file has not been modified.

説明

ファイルが更新されていないので，アプリケーションはリロードされませんでした。

KDJE37548-I

The transaction has been committed successfully.

説明

トランザクションは正常にコミットされました。

KDJE37549-I

The transaction has been rolled back successfully.

説明

トランザクションは正常にロールバックされました。

KDJE37550-I

The transaction has been terminated successfully.

説明

トランザクションは正常に強制終了しました。

KDJE37600-W

The parent tag [aa....aa], which contains the tag [bb....bb] with the same set value, has been specified more than once. (name = [bb....bb], value = [cc....cc])

The last specified parent tag will be used.

aa....aa：親タグ名（<resource-external-property>または<property>）

bb....bb：タグ名

cc....cc：タグの値

説明

同じ設定値の bb....bb タグを含む aa....aa タグが複数指定されています。

最後に指定された aa....aa を使用します。

対処

aa....aa の指定を見直し問題がないかを確認してください。

KDJE37601-W

The parent tag [aa....aa] has been specified more than once as a value for the <method> tag. (value = [bb....bb])

The first specified parent tag will be used.

aa....aa：親タグ名（<ejb-method-observation-timeout>または<ejb-transaction-timeout>）

bb....bb：<method>タグの設定値

説明

<method>タグ以下の設定値に，同じ aa....aa が複数指定されています。

最初に指定された aa....aa を使用します。

対処

aa....aa の指定を見直し問題がないかを確認してください。

KDJE37602-W

A specification that places one optional name at a higher or lower level than another optional name is not recommended. (name = [aa....aa,bb....bb])

aa....aa：オプショナル名

bb....bb：オプショナル名

説明

ほかのオプショナル名の下位レベルまたは上位レベルになるような指定は推奨されていません。

対処

ほかのオプショナル名の下位レベルまたは上位レベルになるような指定以外が可能な場合，オプショナル名の指定を見直してください。

KDJE37603-W

The default interceptors cannot be specified before EJB2.1.

説明

EJB2.1 以前に対してデフォルトインターセプタは指定できません。

対処

EJB2.1 以前に対してデフォルトインターセプタを指定しないでください。

KDJE37604-W

The parent tag [aa....aa], which contains the tag [bb....bb] with the same set value, has been specified more than once. (name = [bb....bb], value = [cc....cc])

The first specified parent tag will be used.

aa....aa：親タグ名(<interceptor-binding>または<application-exception>)

bb....bb：タグ名

cc....cc：重複するタグの値

説明

同じ設定値の bb....bb タグを含む aa....aa タグが複数指定されています。

最初に指定された aa....aa を使用します。

対処

bb....bb タグに設定されている cc....cc の値が重複していないか確認してください。

KDJE37605-W

<message-selector>,<acknowledge-mode>,<message-driven-destination> cannot be specified after EJB2.1 Message-driven Bean.

説明

EJB2.1 以降の Message-driven Bean に対して，<message-selector>，<acknowledge-mode>，<message-driven-destination>は指定できません。

対処

EJB2.1 以降の MessageDrivenBean 属性ファイルから，<message-selector>，<acknowledge-mode>，<message-driven-destination>タグを削除し，再度コマンドを実行してください。

KDJE37606-E

The Filter property file cannot be added to WAR that does not contain web.xml.

説明

web.xml を含まない WAR に Filter 属性ファイルを追加することはできません。

対処

web.xml を含まない WAR に Filter 属性ファイルを追加しないでください。

KDJE37607-E

A memory shortage has occurred. Check, and if necessary, revise aa....aa. (error details = [bb....bb])

aa....aa：オプション定義ファイル名

bb....bb：エラー詳細情報

説明

サーバ管理コマンドでメモリ不足が発生したため，使用できるメモリを確保できません。エラー詳細情報を基に Java ヒープサイズや Metaspace 領域の最大サイズなどの設定を変更して，再度コマンドを実行してください。

対処

オプション定義ファイル名が usrconf.bat または usrconf の場合

- Java ヒープ不足のとき

  サーバ管理コマンド用のオプション定義ファイル中の USRCONF_JVM_ARGS キーに JavaVM のオプション-Xmx<size>を指定して，Java ヒープメモリ割り当てプールの最大サイズを拡張してください。

- Metaspace 領域不足のとき

  サーバ管理コマンド用のオプション定義ファイル中の USRCONF_JVM_ARGS キーに JavaVM のオプション-XX:MaxMetaspaceSize=<size>を指定して，Metaspace 領域の最大サイズを拡張してください。

- C ヒープ不足のとき

  サーバ管理コマンドを実行している OS 上で，実行している不要なアプリケーションを終了してください。

オプション定義ファイル名が adminagentuser.cfg の場合

- Java ヒープ不足のとき
  運用管理エージェント用オプション定義ファイル中の add.jvm.arg キーに JavaVM のオプション-Xmx<size>を指定して，Java ヒープメモリ割り当てプールの最大サイズを拡張してください。
- Metaspace 領域不足のとき
  運用管理エージェント用オプション定義ファイル中の add.jvm.arg キーに JavaVM のオプション-XX:MaxMetaspaceSize=<size>を指定して，Metaspace 領域の最大サイズを拡張してください。
- C ヒープ不足のとき
  サーバ管理コマンドの API を実行している OS 上で，実行している不要なアプリケーションを終了してください。

KDJE37608-E

An attempt to get the path has failed.(path name = aa...aa)

aa...aa：引数

説明

パスの取得に失敗しました。

対処

アプリケーションサーバが正しくインストールされているか確認してください。

KDJE37609-E

The command lock was released on the J2EE server because the request from the command did not come for a long time.

説明

コマンドからのリクエストが長時間届かないため，J2EE サーバ側でコマンドの排他を解除しました。

対処

再度コマンドを実行してください。

KDJE37610-E

aa....aa has been deleted, or an error occurred in a work directory.

aa....aa：アプリケーション名，EJB-JAR 名，WAR 名，JavaBeans 名，ライブラリ JAR 名，リソースアダプタ名

説明

aa....aa が削除されたか，OS の一時ディレクトリへの書き込み権限が不足しているなど，一時ディレクトリに異常が発生している可能性があります。

対処

一時ディレクトリの権限を見直して，再度コマンドを実行してください。

一時ディレクトリは環境によって異なりますが，一般的には次のディレクトリになります。

- Windows の場合
  環境変数 TMP に指定したディレクトリ，環境変数 TEMP に指定したディレクトリなど

- UNIX の場合
  /tmp，/var/tmp など

KDJE37612-W

The specified property value will be ignored, because it is invalid.(name = [aa....aa], value = [bb....bb])

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグの値

説明

指定されたプロパティの値は無効のため無視します。

対処

bb....bb の値に問題がないかを確認してください。

KDJE37613-W

The tag which cannot be specified to [aa....aa] was specified.(name = [bb....bb])

aa....aa：EJB1.1，EJB2.0，または EJB2.1

bb....bb：タグ名

説明

設定できないタグが指定されました。設定を無視して処理を続行します。

対処

属性ファイル中のタグの指定を見直してください。

KDJE37614-E

The tag [aa....aa] or the tag [bb....bb] must be specified.

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグ名

説明

どちらか一方の指定が必要なタグが指定されていません。コマンドの実行を中断します。

対処

マニュアルで属性ファイルの仕様を確認し，属性ファイル中のタグの指定を見直してください。

KDJE37615-E

File format is invalid. [aa....aa]

aa....aa：ファイルパス

説明

ファイル形式が不正なため，コマンドの実行を中断します。

対処

ファイル形式を見直してください。

KDJE39001-I

The web container is now starting. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

Web コンテナを起動します。

KDJE39002-I

The web container is now stopping. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

Web コンテナを終了します。

KDJE39003-I

The web container started. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

Web コンテナを起動しました。

KDJE39004-I

The web container stopped. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

Web コンテナを終了しました。

KDJE39005-E

The web container aa....aa cannot be started. bb....bb

aa....aa：サーバ名

bb....bb：エラー内容

説明

Web コンテナを起動できません。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージの対処をしてください。

このメッセージの前に要因が特定できるメッセージが出力されていない場合，保守員に連絡してください。

KDJE39006-E

The web container aa....aa cannot be stopped. bb....bb

aa....aa：サーバ名

bb....bb：エラー内容

説明

Web コンテナを終了できません。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージの対処をしてください。

このメッセージの前に要因が特定できるメッセージが出力されていない場合，保守員に連絡してください。

KDJE39007-E

The property file could not be accessed. (property file = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

システムプロパティファイル（sysconf.properties）またはユーザプロパティファイル（usrconf.properties）にアクセスできません。

対処

aa....aa のファイルにアクセスできるかどうかを確認して，cjstartweb コマンドまたは cjstopweb コマンドを再度実行してください。

KDJE39008-W

An invalid property is specified. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ値が不正です。

デフォルト値を使用します。

対処

aa....aa のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，aa....aa のプロパティ値を修正して，Web コンテナサーバまたは J2EE サーバを，停止または再起動してください。

KDJE39009-W

The property value is not specified. The default value will be used. (property = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティ値が指定されていません。

デフォルト値を使用します。

対処

aa....aa のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，aa....aa のプロパティ値を修正して，Web コンテナサーバまたは J2EE サーバを，停止または再起動してください。

KDJE39010-W

Adjusted property aa....aa : bb....bb to cc....cc.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：調節前の値

cc....cc：調節後の値

説明

プロパティ値を調節します。

対処

webserver.connector.inprocess_http.*で指定されている値を調節します。調節後の値が適切でないときは，プロパティ値間の関係を見直して，正しい値を再設定してください。

KDJE39011-E

An attempt to read aa....aa file has failed. bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：エラー内容

説明

web-users.xml または hitachi_web.properties の読み込みに失敗しました。

対処

aa....aa が web-users.xml の場合

- bb....bb の内容が Not found のとき

  web-users.xml が見つかりません。cjwebsetup コマンドによってセットアップされたサーバを起動してください。セットアップが正しく完了している場合は，該当ファイルが存在するかどうかを確認したあと，再度起動してください。

- bb....bb の内容が Invalid file のとき

  ファイルにアクセスできない，またはファイルの内容が不正です。ファイルのアクセス権限，およびファイルの内容を確認して，再度起動してください。

aa....aa が hitachi_web.properties の場合

- bb....bb の内容が Invalid file のとき

  ファイルにアクセスできない，またはファイルの内容が不正です。ファイルのアクセス権限，およびファイルの内容を確認してください。J2EE サーバモードの場合，再度デプロイしてください。アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。サーブレットエンジンモードの場合，再度起動してください。

KDJE39012-W

An invalid property is specified. The default value will be used. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, cc....cc = dd....dd, default value = ee....ee)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：プロパティ名

dd....dd：値

ee....ee：デフォルト値

説明

hitachi_web.properties に指定されたプロパティ値が不正です。

デフォルト値を使用します。ユーザプロパティファイルにプロパティを設定している場合，その値がコンテキストのデフォルト値になります。

対処

bb....bb のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，bb....bb のプロパティ値を変更してください。

J2EE サーバモードの場合

修正したあと，再度デプロイしてください。アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

修正したあと，再度起動してください。

KDJE39013-W

The property value is not specified. The default value will be used. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, property = cc....cc, default value = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：プロパティ名

dd....dd：デフォルト値

説明

hitachi_web.properties にプロパティ値が指定されていません。

デフォルト値を使用します。ユーザプロパティファイルにプロパティを設定している場合，その値がコンテキストのデフォルト値になります。

対処

bb....bb のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，bb....bb のプロパティ値を変更してください。

J2EE サーバモードの場合

修正したあと，再度デプロイしてください。アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

修正したあと，再度起動してください。

KDJE39015-W

Exception occurred in stopping Web container aa....aa : bb....bb.

aa....aa：サーバ名

bb....bb：例外情報

説明

Web コンテナの停止処理で例外が発生しました。

停止処理は継続します。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE39016-E

The WAR file could not be expanded. (WAR file = aa....aa, expanded file = bb....bb)

aa....aa：WAR ファイル名

bb....bb：展開されるファイル名

説明

WAR ファイル（aa....aa）からファイル（bb....bb）の展開に失敗しました。

ファイルへのアクセス権がないか，または WAR ファイルの内容が不正である可能性があります。

対処

ファイルのアクセス権および WAR ファイルの内容を確認したあと，再度デプロイを実行してください。

KDJE39017-E

The http server on port aa....aa could not be started.

aa....aa：ポート番号

説明

簡易 Web サーバを，指定されたポート番号（aa....aa）で起動できませんでした。

指定された簡易 Web サーバのポート番号が，ほかのプロセスで使用されている可能性があります。

簡易 Web サーバのポート番号は，ユーザプロパティファイルの web.server.connector.http.port キーまたは ejbserver.http.port キーで指定できます。

なお，ユーザプロパティファイルで指定していない場合，ポート番号「8080」をデフォルト値として使用します。

対処

ほかのプロセスで使用されていないポート番号を指定したあと，再起動してください。

KDJE39018-I

The web application reload processing has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションのリロードが完了しました。

KDJE39019-E

An error occurred during a web application reload processing. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションのリロード中にエラーが発生しました。

対処

リロード処理中に次のどれかの問題が発生しています。このメッセージの直前に問題が発生した原因となるエラーメッセージがメッセージログに出力されます。確認して対処してください。

- フィルタの初期化処理でエラーが発生
- リスナの初期化処理でエラーが発生
- web.xml の<servlet><load-on-startup>要素に 0 以上の値を指定したサーブレットの初期化処理でエラーが発生
- web.xml の<servlet><load-on-startup>要素に 0 以上の値を指定した JSP のコンパイルまたは初期化処理でエラーが発生
- 永続化ユニットの再読み込みでエラーが発生
- HTTP セッションのセッション ID を示す HTTP Cookie の名称と Cookie へのサーバ ID 付加機能で指定した Cookie の名称の重複エラーが発生

KDJE39020-E

An error occurred in analyzing web.xml at line aa....aa. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：行番号

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名

説明

web.xml 解析中にエラーが発生しました。

Web アプリケーションの初期化を中止します。

対処

web.xml の行番号で示された個所を修正し，再度デプロイを実行してください。

XML の書式，または内容が不正な場合，Web サーブレットログに「KDJE39308-E」のメッセージが出力されます。「KDJE39308-E」のメッセージが出力された場合，詳細情報を基に web.xml を修正してください。

また，タグの指定順序が XML のスキーマ定義に合っていない場合は，そのタグを含む終了タグの行番号が表示されることがあります。このため，行番号で示されるタグに含まれるタグの指定順序が XML のスキーマ定義に合っているかどうかを確認してください。

なお，J2EE サーバモードでは，J2EE サーバがアプリケーションのインポート時，およびデプロイ時に J2EE サーバ内部で web.xml を書き換えます。行番号は，web.xml を書き換えたあとの行番号となりますので，エラーの個所については，展開ディレクトリ形式を使用している場合アプリケーションディ

レクトリ以下の該当する Web アプリケーションの web.xml を確認してください。アーカイブ形式のデプロイを使用している場合，エクスポートした EAR ファイルに含まれる web.xml を確認してください。

KDJE39021-W

web.xml could not be found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

web.xml が見つかりませんでした。

WEB-INF/web.xml が含まれていない Web アプリケーションをデプロイしたか，Web アプリケーションのデプロイ先ディレクトリに該当する web.xml が存在しないか，またはアクセス権がない可能性があります。

対処

WEB-INF/web.xml を読み込み可能にしたあと，再度デプロイを実行してください。

KDJE39022-E

A servlet class aa....aa or a class it depends on could not be found.

aa....aa：サーブレットクラス名

説明

サーブレットクラス，またはそれが依存するクラスが見つかりませんでした。

要因として，次のことが考えられます。

- サーブレットの実行に必要なクラスが含まれていない WAR ファイルをデプロイしたか，WAR ファイルのデプロイ先ディレクトリからサーブレットの実行に必要なクラスが削除された。
- サーブレットの実行に必要なクラスへのアクセス権限が与えられていない。

対処

サーブレットの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39023-I

The web application resource was modified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, resource = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：更新されたリソースの絶対パス

説明

Web アプリケーションのリソース（aa....aa）が更新されました。

KDJE39024-I

The web application resource was removed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, resource = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：削除されたリソースの絶対パス

説明

Web アプリケーションのリソース（aa....aa）が削除されました。

KDJE39025-E

The web container server could not be connected. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

Web コンテナサーバ（aa....aa）に接続できませんでした。

Web コンテナサーバが起動していないか，または Web コンテナサーバの起動中にユーザプロパティファイルに設定した webserver.shutdown.port 値が変更されている可能性があります。

対処

aa....aa の Web コンテナサーバが起動しているかどうかを確認してください。

Web コンテナサーバが起動している場合は，状況に応じて次の対処をしてください。

- webserver.shutdown.port 値を変更しているときは，Web コンテナサーバ起動時の設定に戻して，再度 cjstopweb コマンドを実行してください。
- webserver.shutdown.port 値を変更していないときは，Web コンテナサーバのプロセスをタスクマネージャ（Windows の場合）などで強制的に停止してください。

なお，webserver.shutdown.port 値を指定していない場合は，デフォルト値として「8005」が設定されています。

KDJE39027-E

The port aa....aa for the shutdown request could not be opened.

aa....aa：ポート番号

説明

Web コンテナサーバ終了要求受信用ポート（aa....aa）を開けませんでした。

指定された Web コンテナサーバ終了要求受信用ポート番号が，ほかのプロセスで使用されている可能性があります。

Web コンテナサーバ終了要求受信用ポート番号は，ユーザプロパティファイルの webserver.shutdown.port キーで指定できます。ユーザプロパティファイルで指定していない場合は，ポート番号を「8005」のデフォルト値として使用します。

対処

ほかのプロセスで使用されていないポート番号を指定したあと，再起動してください。

KDJE39028-W

Security manager denied the access to the resource. (resource = aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

セキュリティポリシーで許可されていないシステムリソースに対してアクセスしたため，セキュリティマネージャによってリソース（aa....aa）へのアクセスが拒否されました。

対処

要求したリソースへのアクセスが妥当かどうかを確認してください。

KDJE39030-W

The web container server aa....aa received the shutdown request to the web container server bb....bb.

aa....aa：サーバ名

bb....bb：サーバ名

説明

Web コンテナサーバ（aa....aa）は，Web コンテナサーバ（bb....bb）への終了要求を受信しました。

KDJE39031-E

The port aa....aa for the communication with the web server could not be opened.

aa....aa：ポート番号

説明

Web サーバ（リダイレクタ）との通信用のポートを，指定されたポート番号（aa....aa）で起動できませんでした。

ユーザプロパティファイルに設定された Web サーバ（リダイレクタ）との通信用のポート番号（aa....aa）が，ほかのプロセスで使用されている可能性があります。

Web サーバ（リダイレクタ）との通信用のポート番号は，ユーザプロパティファイルの webserver.connector.ajp13.port キーで指定できます。ユーザプロパティファイルで指定していない場合は，ポート番号を「8007」のデフォルト値として使用します。

対処

ほかのプロセスで使用されていないポート番号を指定したあと，再起動してください。

KDJE39032-I

The specified value of aa....aa property was applied to bb....bb property. (value = cc....cc)

aa....aa：旧バージョンのプロパティ名

bb....bb：現在のバージョンのプロパティ名

cc....cc：プロパティの値

説明

旧バージョンのプロパティ（aa....aa）が指定されています。

現在サポートしているプロパティ（bb....bb）に，旧バージョンのプロパティに指定された値（cc....cc）を適用しました。

KDJE39033-E

Cosminexus Component Container is not installed correctly. (cause = aa....aa)

aa....aa：保守情報

説明

Component Container が正しくインストールされていません。

対処

Web コンテナサーバまたは J2EE サーバを正しくインストールしてください。

KDJE39035-E

The user property file is invalid. (property file = aa....aa)

aa....aa：プロパティファイル名

説明

ユーザプロパティファイル（aa....aa）の内容が不正です。

対処

ユーザプロパティファイルの内容を見直して，cjstartweb コマンドまたは cjstopweb コマンドを再度実行してください。

KDJE39036-E

The web container server was terminated because it is out of memory. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

メモリ不足のため Web コンテナサーバ（aa....aa）を終了します。

対処

システムが利用できるメモリ使用量を確保して，Web コンテナサーバを再起動してください。

KDJE39037-I

aa....aa

aa....aa：引数に指定した文字列または引数に指定した例外オブジェクトのスタックトレース

説明

javax.servlet.ServletContext クラスの log メソッド，または javax.servlet.GenericServlet クラスの log メソッドの引数に指定した文字列が出力されます。第 2 引数に例外オブジェクトを指定した場合，指定した例外オブジェクトのスタックトレースが行単位に出力されます。

KDJE39038-E

The user property file could not be found. (property file = aa....aa)

aa....aa：プロパティファイル名

説明

ユーザプロパティファイル（aa....aa）が見つかりませんでした。

対処

プロパティファイルが存在するかどうかを確認して，cjstartweb コマンドまたは cjstopweb コマンドを再度実行してください。

KDJE39039-E

The request data from the web server is invalid.

説明

Web サーバ（リダイレクタ）から転送されたリクエスト情報が不正です。

Web サーバに登録しているリダイレクタが，このバージョンではサポートされていないバージョンのリダイレクタか，またはリダイレクタから送信されたリクエスト以外のデータを受信した可能性があります。

対処

リダイレクタのバージョンがサポートされているバージョンであるかどうかを確認してください。また，Web コンテナが Web サーバとの通信に使用するポートに，直接 HTTP リクエストを送信するなど，不正なデータを送信していないかどうかも確認してください。

KDJE39040-E

The web container server abnormally terminated. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

予期しないエラーが発生したため，Web コンテナサーバ（aa....aa）は異常終了しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE39041-E

An error occurred in reading web.xml. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

web.xml の読み込み時にエラーが発生しました。

Web アプリケーションの初期化を中止します。web.xml へのアクセス権限が与えられていない可能性があります。

対処

適切なアクセス権限を設定したあと，再度デプロイを実行してください。

KDJE39042-W

An invalid property is specified. This property is ignored. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：値

説明

プロパティ値（bb....bb）が不正です。

プロパティ（aa....aa）の値を無視します。

対処

aa....aa のプロパティの値を設定する場合は，aa....aa のプロパティ値を正しく記述して，再起動してください。

KDJE39045-E

The temporary directory of the web application could not be created. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

JSP 用テンポラリディレクトリ以下に作成される，Web アプリケーションのテンポラリディレクトリを作成できませんでした。

Web アプリケーションの初期化を中止します。Web アプリケーションのテンポラリディレクトリを作成，またはアクセス権限が与えられていない可能性があります。

対処

適切なアクセス権限を設定したあと，再度デプロイを実行してください。

KDJE39046-W

The temporary files of the web application could not be deleted. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションのテンポラリファイルを削除できませんでした。

Web アプリケーションのテンポラリディレクトリ以下のファイルへのアクセス権限が与えられていない可能性があります。

対処

テンポラリディレクトリ以下のファイルを削除して，適切なアクセス権限を設定してください。

KDJE39047-E

An invalid context root name is specified. Initialization of the web application will be stopped. (context root = aa....aa)

aa....aa：コンテキストルート名

説明

コンテキストルート名（aa....aa）が不正です。

Web アプリケーションの初期化を中止します。

コンテキストルート名は，英数字または次に示す記号から作成された URL として正当な形式の文字列である必要があります。

/ @ & ＋ $, - _ . ! ' ( ) %

ただし，'%'は，エスケープとして（"%20"など）だけ利用できます。

対処

コンテキストルート名を修正したあと，再度デプロイを実行してください。

URL として正当な文字列形式については，RFC2396 を参照してください。

KDJE39048-E

The webapps directory could not be accessed.

説明

webapps ディレクトリにアクセスできません。

webapps ディレクトリが存在しない，またはアクセス権限がない可能性があります。

対処

webapps ディレクトリを作成，または適切なアクセス権限を設定して，Web アプリケーションを配置したあと，Web コンテナサーバを再起動してください。

KDJE39049-E

There is no web application to deploy.

説明

デプロイする Web アプリケーションが存在しません。

対処

webapps ディレクトリに Web アプリケーションを配置したあと，Web コンテナサーバを再起動してください。

KDJE39050-I

The web application resource was added. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, resource = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：追加したリソースの絶対パス

説明

Web アプリケーションのリソースが追加されました。

KDJE39051-E

The JSP file could not be found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, JSP file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：JSP ファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

JSP ファイルが見つかりませんでした。

対処

JSP ファイルを追加し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合，JSP ファイルを追加するか再度デプロイを実行してください。

展開ディレクトリ形式のアプリケーションで J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合，アプリケーションを停止させ JSP ファイルを追加しアプリケーションを再度開始するか，再度デプロイを実行してください。

アーカイブ形式のアプリケーションの場合，再度デプロイを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，JSP ファイルを追加するか再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，Web コンテナサーバを停止させ JSP ファイルを追加し Web コンテナサーバを再起動するか，再度デプロイを実行してください。

KDJE39052-I

The JSP file or the file used by the JSP file was modified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：ファイルの絶対パス

説明

J2EE サーバモードの場合

JSP ファイルまたは JSP ファイルによって使用されるファイル（cc....cc）が更新されました。

JSP ファイルによって使用されるファイルとは次を示します。

- タグファイル（JAR ファイル内のタグファイルは除く）
- include ディレクティブでインクルードされるファイル
- web.xml の include-prelude および include-coda でインクルードされるファイル
- タグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイル（JAR ファイル内の TLD ファイルは除く）

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイル（cc....cc）が更新されました。

KDJE39053-I

The JSP file or the file used by the JSP file was removed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート

cc....cc：ファイルの絶対パス

説明

J2EE サーバモードの場合

JSP ファイルまたは JSP ファイルによって使用されるファイル（cc....cc）が削除されました。

JSP ファイルによって使用されるファイルとは次を示します。

- タグファイル（JAR ファイル内のタグファイルは除く）
- include ディレクティブでインクルードされるファイル
- web.xml の include-prelude および include-coda でインクルードされるファイル
- タグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイル（JAR ファイル内の TLD ファイルは除く）

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイル（cc....cc）が削除されました。

KDJE39054-I

The JSP reload processing per JSP file has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート

cc....cc：JSP 事前コンパイル機能を使用している場合は JSP ファイルから生成されたクラスファイルの絶対パス。JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合は JSP ファイルの絶対パス。

説明

JSP 事前コンパイル機能を使用している場合

JSP ファイル（cc....cc）から生成されたクラスのリロードを完了しました。

JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合

JSP ファイル（cc....cc）を再コンパイルし，生成されたクラスのリロードを完了しました。

KDJE39055-E

An error occurred in analyzing the tag library descriptor file at line aa....aa. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, TLD = dd....dd)

aa....aa：行番号

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：TLD ファイルのパス

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイルの解析中にエラーが発生しました。

TLD ファイルのパス dd....dd が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内の TLD ファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイル内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

TLD ファイルの行番号で示された個所を修正してください。Web アプリケーションの開始時で，XML の書式，または内容が不正な場合，Web サーブレットログまたはコンソールに「KDJE39308-E」のメッセージが出力されます。「KDJE39308-E」のメッセージが出力された場合，詳細情報を基に TLD ファイルを修正してください。

また，タグの指定順序が XML のスキーマ定義に合っていない場合は，そのタグを含む終了タグの行番号が表示されることがあります。そのため，行番号で示されるタグに含まれるタグの指定順序が XML のスキーマ定義に合っているかどうかを確認してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39056-E

An exception was raised in executing the request. (request URL = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：リソース名

bb....bb：例外名

説明

リクエストの実行で例外が発生しました。

対処

例外がスローされた要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39057-E

The status code aa....aa was returned in executing the request. (request URL = bb....bb)

aa....aa：ステータスコード

bb....bb：リソース名（Web サーバ連携機能または簡易 Web サーバ使用時，URL が正規化できない場合は空文字列）

説明

リクエストの実行がステータスコード（aa....aa）で終了しました。

対処

サーブレットまたは JSP がメッセージに表示されているステータスコードを返した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

意図しないステータスコードが発生している場合は，原因を調査してください。

発生するステータスコードと要因の例を，次に示します。

- ステータスコード：404

  意味：要求された URL が見つかりません。

  要因例 1：ブラウザの URL の指定を誤っています。

  要因例 2：アプリケーションの停止中に，リクエストを受け付けました。

- ステータスコード：503

意味：一時的に処理できません。

要因例：一時的に大量のリクエストを受け付けました。

KDJE39058-I

Could not output the error page because the response was already committed. (error page = aa....aa)

aa....aa：エラーページのリソース名

説明

レスポンスがコミット済みのため，エラーページを表示できませんでした。

KDJE39059-E

An exception was raised in outputting the error page. (error page = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：エラーページのリソース名

bb....bb：例外名

説明

エラーページの表示で例外が発生しました。

対処

エラーページのサーブレットまたは JSP から例外がスローされた要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39060-E

The status code aa....aa was returned in outputting the error page. (error page = bb....bb)

aa....aa：ステータスコード

bb....bb：エラーページのリソース名

説明

エラーページの表示がステータスコード（aa....aa）で終了しました。

対処

エラーページのサーブレットまたは JSP がメッセージに表示されているステータスコードを返した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39061-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

サーブレットまたは JSP の処理で例外が発生したため，スタックトレースを行単位で出力します。

出力する例外が root cause を指定している javax.servlet.ServletException 例外，javax.servlet.jsp.JspException 例外，または javax.servlet.jsp.el.ELException 例外の場合は，root cause のスタックトレースも行単位で出力します。

対処

サーブレットまたは JSP の処理を調査し，例外の要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39062-W

An invalid value was specified in the cookie. This cookie was ignored. (aa....aa = bb....bb, request URL = cc....cc)

aa....aa：不正と判断された文字を含む Cookie の名前

bb....bb：不正と判断された文字を含む Cookie の値

cc....cc：リクエストされた URL

説明

Cookie に 2 バイト文字などを含む名前または値を使用しています。

この Cookie を無視して，レスポンスには含みません。

対処

2 バイトコードなどを Cookie に含めたい場合は，あらかじめ URL エンコードなどを行ってから，Cookie に設定してください。

KDJE39096-E

The filter class aa....aa or a class it depends on could not be found. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：フィルタクラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名

説明

フィルタクラス（aa....aa）またはそれが依存するクラスが見つかりませんでした。

Web アプリケーションの開始時の場合，処理を中断します。

リロード時の場合，このフィルタを無視してリロード処理を続行します。

対処

フィルタの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39097-E

An invalid filter class aa....aa is specified. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：フィルタクラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名

説明

不正なフィルタクラス（aa....aa）が指定されました。

Web アプリケーションの初期化を中止します。

フィルタクラスは，javax.servlet.Filter インタフェースを実装した，引数を取らないコンストラクタを持つクラスでなければなりません。

Web アプリケーションの開始時の場合，処理を中断します。

リロード時の場合，このフィルタを無視してリロード処理を続行します。

対処

適切なフィルタクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39098-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the filter class bb....bb. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：フィルタクラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

dd....dd：コンテキストルート名

説明

フィルタクラス（bb....bb）の初期化で例外が発生しました。

Web アプリケーションの開始時の場合，処理を中断します。

リロード時の場合，このフィルタを無視してリロード処理を続行します。

対処

フィルタクラスの初期化で例外が発生した要因を取り除いてください。

Dependency Injection 処理でエラーが発生した場合，このメッセージの直前にエラーメッセージがメッセージログに出力されます。確認して対処してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39099-E

An exception aa....aa was raised in the destroy method of the filter class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：フィルタクラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

dd....dd：コンテキストルート名

説明

フィルタクラス（bb....bb）の解放で例外が発生しました。

例外を無視して処理を続行します。

対処

フィルタクラスの解放で例外が発生した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39100-E

The listener class aa....aa or a class it depends on could not be found. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：リスナクラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名

説明

リスナクラス（aa....aa）またはそれが依存するクラスが見つかりませんでした。

Web アプリケーションの開始時の場合，処理を中断します。

リロード時の場合，このリスナを無視してリロード処理を続行します。

対処

リスナの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39101-E

An invalid listener class aa....aa is specified. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：リスナクラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名

説明

不正なリスナクラス（aa....aa）が指定されました。 リスナクラスは，次に示すインタフェースを一つ以上実装し，かつ引数のないコンストラクタを持つクラスである必要があります。

また Web アプリケーションのバージョンが Servlet 2.3 の場合，リスナは Servlet 2.4 から追加されたインタフェースを実装してはいけません。

Web アプリケーションの開始時の場合，処理を中断します。

リロード時の場合，このリスナを無視してリロード処理を続行します。

Web アプリケーションのバージョンが Servlet 2.4 以降の場合

javax.servlet.ServletContextListener

javax.servlet.ServletContextAttributeListener

javax.servlet.http.HttpSessionListener

javax.servlet.http.HttpSessionAttributeListener

javax.servlet.ServletRequestListener

javax.servlet.ServletRequestAttributeListener

Web アプリケーションのバージョンが Servlet 2.3 の場合

javax.servlet.ServletContextListener

javax.servlet.ServletContextAttributeListener

javax.servlet.http.HttpSessionListener

javax.servlet.http.HttpSessionAttributeListener

対処

適切なリスナクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39102-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the listener class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：リスナクラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

dd....dd：コンテキストルート名

説明

リスナクラス（bb....bb）の初期化で例外が発生しました。

Web アプリケーションの開始時の場合，処理を中断します。

リロード時の場合，このリスナを無視してリロード処理を続行します。

対処

リスナクラスの初期化で例外が発生した要因を取り除いてください。

Dependency Injection 処理でエラーが発生した場合，このメッセージの直前にエラーメッセージがメッセージログに出力されます。確認して対処してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39103-E

An exception aa....aa was raised in notification of the listener class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：リスナクラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

dd....dd：コンテキストルート名

説明

リスナクラス（bb....bb）の初期化で例外が発生しました。

Web アプリケーションの開始時の場合，開始処理を続行します。

リロード時の場合，リロード処理を続行します。

対処

リスナクラスの実行で例外が発生した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39104-E

The tag library validator class aa....aa or a class it depends on could not be found. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：タグライブラリバリデータクラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバモード，またはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

説明

タグライブラリバリデータクラス（aa....aa）またはそれが依存するクラスが見つかりませんでした。

要因として，次のことが考えられます。

- タグライブラリバリデータ実行に必要なクラスが含まれていないか，WAR ファイルデプロイ先ディレクトリからタグライブラリバリデータ実行に必要なクラスを削除したあと，タグライブラリバリデータを利用する JSP ファイルをコンパイルした。
- タグライブラリバリデータの実行に必要なクラスへのアクセス権限が与えられていない。

対処

タグライブラリバリデータの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39105-E

An invalid tag library validator class aa....aa is specified. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：タグライブラリバリデータクラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバモード，またはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

説明

不正なタグライブラリバリデータクラス（aa....aa）が指定されました。

タグライブラリバリデータクラスは，javax.servlet.jsp.tagext.TagLibraryValidator クラスを継承した，引数を取らないコンストラクタを持つクラスでなければなりません。

対処

適切なタグライブラリバリデータクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39106-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the tag library validator class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：タグライブラリバリデータクラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

説明

タグライブラリバリデータクラス（bb....bb）の初期化で例外が発生しました。

対処

タグライブラリバリデータクラスの初期化で例外が発生した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39107-E

An exception aa....aa was raised in validation of the JSP file or the tag file by the tag library validator class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：タグライブラリバリデータクラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

タグライブラリバリデータクラス（bb....bb）の JSP ファイルまたはタグファイルの検証で，例外が発生しました。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

タグライブラリバリデータクラス（bb....bb）の JSP ファイルの検証で，例外が発生しました。

対処

タグライブラリバリデータクラスの JSP ファイルまたはタグファイルの検証で例外が発生した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39108-E

An exception aa....aa was raised in the release method of the tag library validator class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：タグライブラリバリデータクラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

説明

タグライブラリバリデータクラス（bb....bb）の解放で例外が発生しました。

対処

タグライブラリバリデータクラスの解放で例外が発生した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39111-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

フィルタクラスの初期化でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

フィルタクラスがメッセージに表示されている例外をスローした要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39112-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

フィルタクラスの解放でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

フィルタクラスの解放で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39113-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

リスナクラスの初期化でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

リスナクラスがメッセージに表示されている例外をスローした要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39114-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

リスナクラスの実行でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

リスナクラスの実行で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39115-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

タグライブラリバリデータクラスの初期化でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

タグライブラリバリデータクラスの初期化で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39116-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

タグライブラリバリデータクラスによる JSP ファイルまたはタグファイルの検証でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

タグライブラリバリデータクラスによる JSP ファイルの検証でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

タグライブラリバリデータクラスによる JSP ファイルまはたタグファイルの検証で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39117-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

タグライブラリバリデータクラスの解放でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

タグライブラリバリデータクラスの解放で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39130-W

An error occurred during the data acquisition. (request URL = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URL

説明

POST データ取得中にエラーが発生しました。

次の理由が考えられます。

- クライアントが POST データの送信を中断した可能性があります。
- クライアントと Web サーバ間の通信が切断された可能性があります。
- リダイレクタからのパケットが壊れている可能性があります。
- Web サーバと Web コンテナ間に通信障害が発生した可能性があります。

対処

次の内容を確認してください。

- Web サーバが正常に稼働しているかどうか。
- Web コンテナに対して不正なデータを送信しているアプリケーションはないかどうか。
- Web サーバと Web コンテナ間の通信路に問題はないかどうか。
- Web サーバと外部ネットワークの通信に問題はないかどうか。

KDJE39131-E

The TagExtraInfo class aa....aa or a class it depends on could not be found. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, JSP file = dd....dd, tag library = ee....ee)

aa....aa：TagExtraInfo クラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」

ee....ee：この JSP ファイル，またはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

TagExtraInfo クラスまたはそれが依存するクラスが見つかりませんでした。

対処

TagExtraInfo クラスの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39132-E

An invalid TagExtraInfo class aa....aa is specified. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, file = dd....dd, tag library = ee....ee)

aa....aa：TagExtraInfo クラス名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：この JSP ファイル，またはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」

ee....ee：この JSP ファイル，またはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

不正な TagExtraInfo クラスが指定されました。

TagExtraInfo クラスは，次の条件を満たしていなければなりません。

- TagExtraInfo クラスを継承している。
- インタフェース，abstract クラスではない。
- Public なコンストラクタを持っている。

対処

適切な TagExtraInfo クラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39133-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the TagExtraInfo class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd, file = ee....ee, tag library = ff....ff)

aa....aa：例外名

bb....bb：TagExtraInfo クラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

ee....ee：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」

ff....ff：この JSP ファイル，またはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

TagExtraInfo クラスの初期化で例外が発生しました。

対処

TagExtraInfo クラスの初期化で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39134-E

The JSP translation failed because a JSP validation error message was reported from the tag library validator. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc, tag library = dd....dd, number of message = ee....ee)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」

dd....dd：この JSP ファイル，またはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

ee....ee：検証エラーメッセージの個数

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

タグライブラリバリデータクラスが JSP ファイルまたはタグファイルの検証で発見したエラーを報告しました。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

タグライブラリバリデータクラスが JSP ファイルページの検証で発見したエラーを報告しました。

検証エラーメッセージは「KDJE39135-E」に出力されています。

対処

検証エラーメッセージを参照して，タグライブラリの使用方法を確認してください。検証エラーメッセージはメッセージログまたはコンソールに「KDJE39135-E」のメッセージ ID で出力されています。

KDJE39135-E

A validation message. (id = aa....aa, message = bb....bb)

aa....aa：ValidationMessage クラスの getId メソッドの戻り値

bb....bb：ValidationMessage クラスの getMessage メソッドの戻り値

説明

「KDJE39134-E」で発生した検証エラーのメッセージ内容（javax.servlet.jsp.tagext.ValidationMessage クラス）を示します。

ValidationMessage が null の場合は，aa....aa，bb....bb は null となります。

対処

出力されているメッセージを参照して，タグライブラリの使用方法を確認してください。

KDJE39136-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

TagExtraInfo クラスのインスタンスの生成，または初期化に失敗した時にスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

TagExtraInfo クラスの初期化で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39139-E

The host name specified in the property webserver.connector.http.permitted.hosts could not be resolved. (host name = aa....aa)

aa....aa：名前解決できなかったホスト名

説明

webserver.connector.http.permitted.hosts に指定されたホスト名は，名前解決できませんでした。

ローカルホストからのアクセスだけを許可して起動します。

対処

指定されたホスト名が名前解決できるかどうかを確認して，再起動してください。

KDJE39140-W

Access to the internal http server from a forbidden host was rejected. (IP address = aa....aa)

aa....aa：アクセスを拒否されたホストの IP アドレス

説明

簡易 Web サーバへのアクセスを許可されていないホストからのアクセスが拒否されました。

対処

拒否されたホストからのアクセスを許可する場合は，webserver.connector.http.permitted.hosts にアクセスを許可するホストの IP アドレスまたはホスト名を指定して，再起動してください。

KDJE39141-W

The J2EE server denies access to the URI starting with /ejb/ or /web/ through the web server. (request URI = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URI

説明

アクセスされたリクエストを拒否しました。

Web サーバ経由で J2EE サーバモードの場合，"/ejb/"または"/web/"で始まるリクエストは使えません。

KDJE39142-E

An exception aa....aa was raised in the JSP page. The request bb....bb will be forwarded to the errorPage URL cc....cc specified by the JSP page.

aa....aa：例外名

bb....bb：リクエスト URI

cc....cc：エラーページ URL

説明

JSP で例外が発生しました。

page ディレクティブに指定されたエラーページにリクエストを転送します。

対処

JSP から例外がスローされた要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39143-E

aa....aa

aa....aa：エラーメッセージ

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたサーブレットのソースコードのコンパイルで，エラーが発生しました。

コンパイルエラーメッセージを行単位で出力します。

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイルから生成されたサーブレットのソースコードのコンパイルで，エラーが発生しました。

コンパイルエラーメッセージを行単位で出力します。

対処

コンパイルエラーが発生した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39144-E

An exception aa....aa was raised in invocation of the filter class bb....bb. (filter name = cc....cc)

aa....aa：例外名

bb....bb：フィルタクラス名

cc....cc：フィルタ名

説明

フィルタクラス（bb....bb）の doFilter メソッド実行中に例外が発生しました。

対処

フィルタクラスの doFilter メソッドで例外が発生した要因を取り除いてください。

KDJE39145-E

The JSP translation failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc) detail = dd....dd

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」

dd....dd：JSP ファイルまたはタグファイルの解析でエラーが発生した原因

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルの解析で，エラーが発生しました。

エラーメッセージを行単位で出力します。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

JSP ファイルの解析で，エラーが発生しました。

エラーメッセージを行単位で出力します。

対処

JSP ファイルまたはタグファイルの解析でエラーが発生した原因を取り除いてください。

XML 形式の JSP ファイルまたはタグファイルの解析でエラーが発生した，または JSP で指定したタグライブラリ・ディスクリプタの解析でエラーが発生した場合は，KECX で始まるメッセージ ID のメッセージが出力されることがあります。KECX で始まるメッセージ ID のメッセージについては，「11. KECX（XML Processor が出力するメッセージ）」を参照してください。

Servlet2.5 仕様以降の Web アプリケーションで JSTL，または JSF を使用している場合，JSTL または JSF が適切に設定されていない可能性があります。適切なバージョンの JSTL または JSF がクラスパスに追加されているか確認してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

JSTL または JSF が適切に設定されていなかった場合，J2EE サーバを再起動してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39146-E

An exception aa....aa was raised in invocation of the servlet or JSP. (request URL = bb....bb)

aa....aa：例外名

bb....bb：request URL

説明

サーブレットまたは JSP の実行時に例外が発生しました。

対処

サーブレットまたは JSP から例外がスローされた原因を取り除いてください。

Dependency Injection 処理でエラーが発生した場合，このメッセージの直前にエラーメッセージがメッセージログに出力されます。確認して対処してください。

JSP が次のどれかの例外をスローしている場合，JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルでエラーとなっている可能性があります。JSP ファイルまたはタグファイルに問題がないかを確認してください。

- org.apache.jasper.JasperException
- org.apache.jasper.compiler.ParseException
- org.apache.jasper.compiler.CompileException

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39147-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

フィルタクラスの doFilter メソッド実行中に発生した例外のスタックトレースを，行単位で出力します。

発生した例外が root cause を指定している ServletException 例外，または JspException 例外の場合，続けて root cause のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

フィルタクラスの doFilter メソッドがメッセージに表示されている例外をスローした要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39148-I

aa....aa

aa....aa：JavaVM のバージョン

説明

JavaVM のバージョンを示すメッセージです。

Web コンテナサーバの cjstdout.log に出力されます。

KDJE39149-E

The auth-method tag is not specified in web.xml. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

web.xml に<auth-constraint>タグを記述した場合，<auth-method>タグで認証メソッドを指定する必要があります。<auth-method>タグが指定されていないため，Web アプリケーションの初期化を中止します。

対処

web.xml に<auth-method>タグを正しく指定して，再度デプロイを実行してください。

KDJE39150-W

The login-config tag is not specified in web.xml. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

web.xml に<auth-constraint>タグを記述した場合，<login-config>タグ内の<auth-method>タグで認証メソッドを指定しないと，特定のリソースにアクセスできなくなる可能性があります。

対処

web.xml に<login-config>タグを記述して，<auth-method>タグを用いて認証メソッドを指定したあと，再度デプロイを実行してください。

KDJE39151-E

The form-login-config tag is not specified in web.xml. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

FORM 認証を使用する場合，web.xml に<form-login-config>タグを指定する必要があります。
<form-login-config>タグが指定されていないため，Web アプリケーションの初期化を中止します。

対処

web.xml に<form-login-config>タグを指定して，再度デプロイを実行してください。

KDJE39152-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the servlet class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：クラス名

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

dd....dd：コンテキストルート名

説明

サーブレットの初期化で例外が発生しました。

例外が発生した処理は，次のものが考えられます。

- クラスのロード処理
- インスタンス化処理
- サーブレットの init 処理
- Dependency Injection 処理

対処

サーブレットの初期化で例外が発生した要因を取り除いてください。スタックトレースは，Web サーブレットログに出力されています。Web サーブレットログについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「4.3.1　Component Container のログの取得」を参照してください。

Dependency Injection 処理でエラーが発生した場合，このメッセージの直前にエラーメッセージが出力されます。出力先はメッセージログです。確認して対処してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39153-E

aa....aa

aa....aa：スタックトレース

説明

サーブレットの初期化で発生した例外のスタックトレースを，行単位で出力します。

対処

サーブレットの初期化で，メッセージに表示されている例外が発生した要因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39154-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the JSP. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, file = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名
dd....dd：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス
（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。
「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry ＝ <JAR ファイル内のパス>)」）

説明

JSP の初期化で例外が発生しました。
例外が発生した処理としては，次の処理が考えられます。

- クラスのロード処理
- インスタンス化処理
- JSP の init 処理

対処

JSP の初期化で例外が発生した原因を取り除いてください。スタックトレースは，Web サーブレットログに出力されています。
例外名が ClassNotFoundException の場合は，次に示す原因で，JSP から生成されたクラスのロード処理に失敗したことが考えられます。

- ファイルの読み取り権限がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。
- メモリが不足していた。

原因に応じてエラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。
J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。
アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードを実行するか，または再度デプロイを実行してください。
アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39155-E

aa....aa

aa....aa：スタックトレース

説明

JSP の初期化で発生した例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

JSP の初期化で，メッセージに表示されている例外が発生した要因を取り除いてください。
エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39156-I

A new request is kept waiting until the web application reload processing has finished. The web application reload processing is waiting until all processing requests are finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, number of processing requests = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：処理中リクエストの数

説明

リソースの更新を検知しました。

新規リクエストは Web アプリケーションのリロード処理が完了するまで待ち状態になります。

Web アプリケーションのリロード処理はすべての処理中リクエストが完了するまで待ちます。

KDJE39157-I

The web application reload processing is waiting until all processing requests have finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, number of processing requests = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：処理中リクエストの数

説明

リソースの更新を検知しました。

Web アプリケーションのリロード処理は，すべての処理中リクエストが完了するまで待ちます。

KDJE39158-I

The web application reload processing is waiting until all processing requests have finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, number of processing requests = cc....cc, timeout(sec) = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：処理中リクエストの数

dd....dd：タイムアウトまでの時間

説明

リソースの更新を検知しました。

Web アプリケーションのリロード処理は，すべての処理中リクエストが完了するまで待ちます。リソースの更新を検知したあとの新規リクエストは，処理中リクエストがあり，また最大遅延期間内であればそのまま処理を開始します。

KDJE39159-I

A new request is kept waiting until the web application reload processing has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションのリロード処理を開始するため，新規リクエストは Web アプリケーションのリロード処理が完了するまで待ち状態になります。

KDJE39160-I

A timeout occurred. A new request is kept waiting until the web application reload processing has finished. The web application reload processing is waiting until all processing requests have finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, number of processing requests = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：処理中リクエストの数

説明

タイムアウトが発生しました。

新規リクエストを実行待ちにするまでの最大遅延期間が経過しました。新規リクエストは，Web アプリケーションのリロード処理が完了するまで待ち状態になります。Web アプリケーションのリロード処理は，すべての処理中リクエストが完了するまで待ちます。

KDJE39161-I

The web application reload processing will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションのリロード処理を開始します。

KDJE39162-I

The serialization of session objects will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッションオブジェクトのシリアライズ処理を開始します。

KDJE39163-E

The session information file could not be written. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa, file path = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：ファイルパス

説明

セッション情報ファイルに書き込めませんでした。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

次の要因が考えられます。

- セッション情報ファイルの書き込み権限が与えられていない。
- セッション情報ファイルと同じ名前のディレクトリが存在する。
- Web コンテナサーバが起動時に作成した，セッション情報ファイルを出力するディレクトリが削除されている。

対処

要因に応じて，対処してください。

KDJE39164-W

The session attribute that is not serializable was found. It will be deleted. (context root = aa....aa, attribute name = bb....bb, class = cc....cc)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：属性名

cc....cc：シリアライズできないオブジェクトのクラス名

説明

セッション属性（bb....bb）に，シリアライズできないオブジェクト（cc....cc）があります。

該当する属性を削除します。

対処

セッション属性に登録するオブジェクトは，シリアライズできるオブジェクトにしてください。リロード後も継続してセッション属性を使用する場合は，該当するオブジェクトをシリアライズできるオブジェクトに修正してください。

KDJE39165-E

An attempt to write the session information file has failed. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa, file path = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：ファイルパス

説明

セッション情報ファイルへの書き込みに失敗しました。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

対処

ディスクの容量が不足していないかどうか，または異常がないかどうかを確認してください。

KDJE39166-E

An attempt to serialize a session object has failed. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa, attribute name = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：属性名

説明

セッションオブジェクトのシリアライズに失敗しました。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

対処

Web サーブレットログに出力される「KDJE39167-E」のスタックトレースの内容を確認して，例外発生の要因となるクラスを対処してください。

KDJE39167-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

セッションオブジェクトのシリアライズで発生した，例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

例外発生の要因となるクラスとして出力されたメッセージを確認して，そのクラスに次のどれかの対処をしてください。

- 例外の要因となるクラスをシリアライズできるように修正する。
- 例外の要因となるクラスをセッションオブジェクトに含めないように修正する。
- 例外の要因となるクラスをシリアライズ対象に含めないように修正する。

KDJE39168-I

The serialization of session objects has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, number of sessions = cc....cc, session information file size(byte) = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：シリアライズしたセッション数

dd....dd：セッション情報ファイルのサイズ

説明

セッションオブジェクトのシリアライズ処理が完了しました。

KDJE39169-I

The deserialization of session objects will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッションオブジェクトのデシリアライズ処理を開始します。

KDJE39170-E

The session information file could not be read. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa, file path = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：ファイルパス

説明

セッション情報ファイルの読み込みができませんでした。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

次の要因が考えられます。

- セッション情報ファイルが存在しない。
- セッション情報ファイルの読み込み権限が与えられていない。
- セッション情報ファイルと同じ名前のディレクトリが存在する。

対処

要因に応じて，対処してください。

KDJE39171-E

The session information file is invalid. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa, file path = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：ファイルパス

説明

セッション情報ファイルが不正に更新されています。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

対処

セッション情報ファイルにはアクセスしないでください。

KDJE39172-E

An attempt to read the session information file has failed. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa, file path = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：ファイルパス

説明

セッション情報ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

対処

ディスクに異常がないかどうかを確認してください。

KDJE39173-E

An attempt to deserialize a session object has failed. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa, attribute name = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：属性名

説明

セッションオブジェクトのデシリアライズに失敗しました。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

対処

Web サーブレットログに出力される「KDJE39174-E」のスタックトレースの内容を確認して，例外発生の要因となるクラスを対処してください。

KDJE39174-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

セッションオブジェクトのデシリアライズで発生した，例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

例外発生の要因となるクラスとして出力されたメッセージを確認して，次の内容を確認してください。

- セッション属性のクラス，またはそこから参照されるクラスが削除されているかどうか。
- セッション属性のクラス，またはそこから参照されるクラスがシリアライズ時のデータ形式と互換性のない構成に変更されているかどうか。

KDJE39175-E

An attempt to delete the session information file has failed. (context root = aa....aa, file path = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：ファイルパス

説明

セッション情報ファイルの削除に失敗しました。

セッション情報ファイルを削除する権限がありません。

対処

セッション情報ファイルが削除できるように設定してください。

KDJE39176-I

The deserialization of session objects has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

セッションオブジェクトのデシリアライズ処理が完了しました。

KDJE39177-I

The web application reload processing has finished. The waiting requests are resumed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, number of waiting requests = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：実行待ちリクエスト数

説明

Web アプリケーションのリロード処理が完了しました。

実行待ちリクエストの処理を再開します。

KDJE39178-E

The directory for the session information file could not be created. The session persistence of the web application is invalidated. (context root = aa....aa, directory path = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：セッション情報ファイルの出力先ディレクトリパス

説明

セッション情報ファイルの出力先ディレクトリ（bb....bb）を作成できませんでした。

セッションは継続されません。

次の要因が考えられます。

- セッション情報ファイルの出力先ディレクトリを作成する権限がない。
- 作成するディレクトリ名に不正な文字が使用されている。
- 同じディレクトリに同じ名前のファイルが存在する。

対処

要因に応じて，対処してください。

KDJE39179-E

An error occurred in the serialization of session objects. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa)

aa....aa：コンテキストルート名

説明

セッションオブジェクトのシリアライズ処理中にエラーが発生しました。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

対処

Web サーブレットログに出力される「KDJE39180-E」のスタックトレースの内容から要因を特定して，対処してください。

KDJE39180-E

aa....aa

aa....aa：セッションオブジェクトのシリアライズ処理で発生した，例外のスタックトレース

説明

セッションオブジェクトのシリアライズ処理で発生した，例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

スタックトレースの内容を確認して，対処してください。

java.lang.OutOfMemoryError の場合

メモリが不足しています。

システムが利用できるメモリ使用量を増やして，Web コンテナサーバを再起動してください。

java.lang.OutOfMemoryError 以外の場合

セッション属性が，スタックトレースに表示されている例外をスローした要因について対処してください。

KDJE39181-E

An error occurred in the deserialization of session objects. All sessions in the web application are lost. (context root = aa....aa)

aa....aa：コンテキストルート名

説明

セッションオブジェクトのデシリアライズ処理中にエラーが発生しました。

Web アプリケーション内のすべてのセッションを破棄します。

対処

Web サーブレットログに出力される「KDJE39182-E」のスタックトレースの内容から要因を特定して，対処してください。

KDJE39182-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

セッションオブジェクトのデシリアライズ処理で発生した，例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

スタックトレースの内容を確認して，対処してください。

java.lang.OutOfMemoryError の場合

メモリが不足しています。

システムが利用できるメモリ使用量を増やして，Web コンテナサーバを再起動してください。

java.lang.OutOfMemoryError 以外の場合

セッション属性が，スタックトレースに表示されている例外をスローした要因について対処してください。

KDJE39183-I

The update of the file used by the JSP has been detected. The JSP reload processing will start after aa....aa second(s). (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：JSP ファイル更新用インターバルの設定値

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名

説明

JSP 事前コンパイル機能を使用している場合

JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルの更新を検知しました。

JSP ファイル更新用インターバルに指定した時間（aa....aa）秒後に，JSP のリロード処理を開始します。

JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合

JSP ファイルまたは JSP ファイルによって使用されるファイルの更新を検知しました。

JSP ファイル更新用インターバルに指定した時間（aa....aa）秒後に，JSP のリロード処理を開始します。

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイルの更新を検知しました。

JSP ファイル更新用インターバルに指定した時間（aa....aa）秒後に，JSP のリロード処理を開始します。

KDJE39184-E

The temporary files of the web application could not be delete. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションの JSP 用テンポラリファイルを削除できませんでした。

Web アプリケーションの初期化を中止します。

Web アプリケーションの JSP 用テンポラリディレクトリ以下の JSP 用ファイルへのアクセス権限が与えられていない可能性があります。

対処

JSP 用テンポラリディレクトリ以下の JSP 用ファイルを削除し，適切なアクセス権限を設定したあと，再度デプロイを実行してください。

KDJE39185-E

An error occurred in compiling the source code of the servlet that generate from the JSP file or the tag file. (file = aa....aa)

aa....aa：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」）

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルから生成された java のソースコードのコンパイルで，エラーが発生しました。

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイルから生成された java のソースコードのコンパイルで，エラーが発生しました。

対処

コンパイルエラーが発生した原因を取り除いてください。コンパイルエラーの詳細は Web サーブレットログまたはコンソールに「KDJE39143-E」のメッセージ ID で出力されています。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39186-E

An error occurred in parsing the JSP file or the tag file. (file = aa....aa)

aa....aa：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」）

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルの解析で，エラーが発生しました。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

JSP ファイルの解析で，エラーが発生しました。

対処

JSP ファイルまたはタグファイルの解析でエラーが発生した原因を取り除いてください。JSP の解析でのエラーの詳細は Web サーブレットログまたはコンソールに「KDJE39145-E」の ID で出力されています。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39187-W

The web container failed to read the request data from the redirector. (redirector = aa....aa:bb....bb, container = cc....cc:dd....dd)

aa....aa：接続先であるリダイレクタの IP アドレス

bb....bb：接続先であるリダイレクタのポート番号

cc....cc：コンテナの IP アドレス

dd....dd：コンテナのポート番号

説明

リダイレクタからのリクエストデータの読み込みでエラーが発生しました。

次の要因によって，エラーが発生します。

- クライアントと Web サーバ間の通信が切断された場合（ブラウザでリクエスト処理を中断し，更新を要求したなど）
- Web サーバが停止した場合
- リダイレクタ以外のアプリケーションから，Web コンテナに対し，データを送信している場合

対処

次の内容を確認してください。

- Web サーバは正常に稼働しているかどうか。
- Web コンテナに対して不正なデータを送信しているアプリケーションはないかどうか。
- Web サーバと Web コンテナ間の通信路に問題はないかどうか。

KDJE39188-E

The timeout occurred in reading the request data from the redirector. (redirector = aa....aa:bb....bb, container = cc....cc:dd....dd)

aa....aa：接続先であるリダイレクタの IP アドレス

bb....bb：接続先であるリダイレクタのポート番号

cc....cc：コンテナの IP アドレス

dd....dd：コンテナのポート番号

説明

リダイレクタからのデータ読み込み処理でタイムアウトが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

- Web サーバは正常に稼働しているかどうか。
- Web コンテナに対して不正なデータを送信しているアプリケーションはないかどうか。
- Web サーバまたは Web コンテナ間の通信路に問題はないかどうか。

KDJE39189-E

The web application failed to start because the web application has illegal state. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションが不正な状態のため，Web アプリケーションの初期化に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE39190-E

The web container failed to initialize because the web container is illegal state.

説明

Web コンテナが不正な状態のため，Web コンテナの初期化に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE39191-E

A number of requests exceeds the waiting queue limit. The request fails. (request URL = aa....aa)

aa....aa：リクエストされた URL

説明

リクエスト数は実行待ちキューサイズを超えています。このため，リクエストは Web アプリケーションの実行待ちにならないでエラーとなります。

対処

次に示す実行待ちキューサイズの設定値が適切であるかを確認してください。設定値が不適切な場合，実行待ちキューサイズの値を調節してください。

- デフォルトの実行待ちキューサイズ
- Web アプリケーション単位の実行待ちキューサイズ
- URL グループ単位の実行待ちキューサイズ

KDJE39192-W

Parameters of the thread control per web application are ignored because they are disabled. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御が無効なため，Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御の設定を無視します。

対処

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御が利用できることを確認したあと，ユーザプロパティファイルの webserver.container.thread_control.enabled キーを「true」に変更し，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE39193-E

The tag library descriptor is invalid because the tei-class element cannot be used with the variable element in the tag element. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc, taglib directive uri = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」

dd....dd：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルの解析に失敗しました。この JSP から使用されるタグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイルは，タグ要素内に<tei-class>要素と<variable>要素の両方が設定されているため不正です。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

JSP ファイルの解析に失敗しました。この JSP から使用される TLD ファイルはタグ要素内に tei-class 要素と variable 要素の両方が設定されているため不正です。

対処

同一タグ要素内に<tei-class>要素と<variable>要素の両方を指定することはできません。TLD ファイルを修正してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39194-I

The max threads limit of the web application is set to aa....aa. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, the configuration of max threads = dd....dd, a number of processing requests = ee....ee)

aa....aa：Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：最大同時実行スレッド数の設定値

ee....ee：現在実行中のリクエスト数

説明

コンテキストルートが aa....aa の Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数は（bb....bb）になりました。

Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数は，設定値の上限から，ほかの Web アプリケーションの設定に依存し減少する場合があります。現在実行中のリクエスト数が，最大同時実行スレッド数を超えている場合，実行中のリクエストの処理完了後に，現在の上限値に制御します。

KDJE39195-I

The max threads limit of the web application is set to aa....aa. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

説明

コンテキストルートが cc....cc の Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数は aa....aa になりました。

KDJE39196-E

The contexts failed to deploy. (assignable threads = aa....aa)

aa....aa：割り当て可能なスレッド数

説明

Web アプリケーションのデプロイに失敗しました。

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数の設定が不正です。

割り当て可能なスレッド数とは，占有スレッド数として新たに割り当てることのできるスレッド数です。占有スレッド数を設定していない Web アプリケーションだけをデプロイした場合，Web コンテナ単位の最大同時実行スレッド数は，すべて占有スレッド数として使用されているため，デプロイに失敗します。この場合，割り当て可能なスレッド数は 1 以上必要です。

対処

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数の設定を見直して，再度デプロイしてください。

デプロイする Web アプリケーションの占有スレッド数の合計は，割り当て可能なスレッド数以下である必要があります。割り当て可能なスレッド数が 0 の場合，新たにデプロイすることはできません。すでにデプロイ済みの Web アプリケーションの同時実行スレッド数に設定している値を見直してください。

KDJE39197-I

The max threads limit of the web applications for which parameters of the thread control per web application have not been set are set to aa....aa. (a number of processing requests = bb....bb)

aa....aa：Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数

bb....bb：現在実行中のリクエスト数

説明

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御の設定を行っていない Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数は，aa....aa となりました。

現在実行中のリクエスト数が，最大同時実行スレッド数を超えている場合，実行中のリクエストの処理完了後に，現在の上限値に制御されます。

KDJE39198-I

The max threads limit of the max threads of the web applications for which parameters of the thread control per web application have not been set are set to aa....aa.

aa....aa：Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数

説明

Web アプリケーション単位の最大同時実行スレッド数制御の設定を行っていない Web アプリケーションの同時実行スレッド数は，aa....aa となりました。

KDJE39199-I

The unexpected information is contained in the HTTP request header. (started with aa....aa)

aa....aa：1 バイト目の値

説明

HTTP リクエストヘッダに予期しない情報が含まれています。

対処

リダイレクタとコンテナのバージョンが一致しているかどうかを確かめてください。

KDJE39200-E

The value specified to jsp_precompile of a query is invalid. (value = aa....aa)

aa....aa：jsp_precompile に指定された値

説明

クエリ文字列 jsp_precompile に指定された値が不正です。

対処

クエリ文字列 jsp_precompile に正しい値を指定してください。

KDJE39201-E

The temporary directory aa....aa could not be accessed.

- JSP 事前コンパイル機能を使用している場合
  aa....aa：JSP ワークディレクトリ名
- JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合
  aa....aa：JSP 用テンポラリディレクトリ名

説明

JSP 事前コンパイル機能を使用している場合

Web アプリケーションの JSP ワークディレクトリ（aa....aa）にアクセスできませんでした。

JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合

Web アプリケーションの JSP 用テンポラリディレクトリ（aa....aa）にアクセスできませんでした。

対処

JSP 事前コンパイル機能を使用している場合

Web アプリケーションの JSP ワークディレクトリ下のサブディレクトリに，アクセス権限が与えられていない可能性があります。

適切なアクセス権限を設定してください。

JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合

Web アプリケーションの JSP 用テンポラリディレクトリ下のサブディレクトリに，アクセス権限が与えられていない可能性があります。

適切なアクセス権限を設定してください。

KDJE39202-E

An error occurred in reading the class file generated from the JSP file or the tag file. (class file = aa....aa)

aa....aa：JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイル名

説明

J2EE サーバモードの場合

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成された class ファイルの読み込み時に，エラーが発生しました。

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイルのコンパイルで生成された class ファイルの読み込み時に，エラーが発生しました。

対処

JSP のコンパイルで生成された class ファイルの読み込み時に発生した例外の原因を取り除いてください。

エラーの原因として，次のことが考えられます。

- ファイルの読み取り権限がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。
- メモリが不足した。

KDJE39203-W

An attempt to delete a java file generated from the JSP file or the tag file has failed. (file = aa....aa)

aa....aa：JSP ファイルまたはタグファイルから生成された Java ソースファイルの絶対パス

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成された Java ソースファイル（aa....aa）の削除時に，エラーが発生しました。

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイルのコンパイルで生成された Java ソースファイル（aa....aa）の削除時に，エラーが発生しました。

対処

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成された Java ソースファイルの削除時に発生したエラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因として，次の原因が考えられます。

- ファイルを削除する権限がない。
- ファイルをオープンしている。

KDJE39204-E

The temporary directory aa....aa could not be created.

aa....aa：JSP 用テンポラリディレクトリ名

説明

Web アプリケーションの JSP 用テンポラリディレクトリ（aa....aa）を作成できませんでした。

Web アプリケーションの JSP 用テンポラリディレクトリ下に，サブディレクトリを作成する権限が与えられていない可能性があります。

対処

適切なアクセス権限を設定してください。

KDJE39205-E

An attempt to read the tag library descriptor has failed. (TLD = aa....aa)

aa....aa：TLD ファイルのパス

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイルの読み込みで失敗しました。

TLD ファイルのパス aa....aa が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内の TLD ファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイル内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

TLD ファイルの読み込み時に失敗した原因を取り除いてください。

エラーの原因として，次の原因が考えられます。

- ファイルが存在しない。
- ファイルの読み取り権限がない。
- TLD ファイルを含んでいる JAR ファイルに対する読み取り権限がない。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39206-E

An I/O error occurred in reading the tag library descriptor. (TLD = aa....aa)

aa....aa：TLD ファイルのパス

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイルの読み込みで入出力エラーが発生しました。

TLD ファイルのパス aa....aa が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内の TLD ファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）

- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイル内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

TLD ファイルの読み込み時に発生したエラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因として，次の原因が考えられます。

- メモリ不足が発生した。
- ファイルの読み取り権限がない。
- ディスク障害によるファイル読み取りエラーが発生した。
- TLD ファイルを含む JAR ファイルが指定されていたとき, JAR ファイルが JAR 形式ではなかった。
- 別ホストにある TLD ファイルが指定されていたとき，ネットワークエラーが発生した。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39207-E

The tag library descriptor was not found inside the JAR file. (JAR file = aa....aa, TLD file entry = bb....bb)

aa....aa：JAR ファイルのパス

bb....bb：TLD ファイルのエントリ名

説明

JAR ファイル内にタグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイルが見つかりませんでした。

JAR ファイルのパス aa....aa が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内の JAR ファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- ライブラリ JAR の場合
  LIB（J2EE アプリケーションのルートからのパス）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイルの場合
  LIB（JAR ファイルの絶対パス）

対処

TLD ファイルが含まれる適切な JAR ファイルを使用してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39208-E

Unexpected error occurred in reading the tag library descriptor.

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイルの読み込みで，予期しないエラーが発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE39209-W

The host name specified in property webserver.connector.ajp13.bind_host could not be resolved. (host name = aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名

説明

webserver.connector.ajp13.bind_host に指定されたホスト（aa....aa）は解決できませんでした。

ワイルドカードアドレスを使用します。

対処

ワイルドカードアドレス以外のアドレスを使用する場合は，解決可能なローカルホスト名，またはローカルホストの IP アドレスを指定して，再起動してください。

KDJE39210-W

The host name specified in property webserver.connector.http.bind_host could not be resolved. (host name = aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名

説明

webserver.connector.http.bind_host に指定されたホスト（aa....aa）は解決できませんでした。

ワイルドカードアドレスを使用します。

対処

ワイルドカードアドレス以外のアドレスを使用する場合は，解決可能なローカルホスト名，またはローカルホストの IP アドレスを指定して，再起動してください。

KDJE39211-E

An error occurred in initializing the pageContext object. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, JSP file = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート

cc....cc：JSP ファイル名

説明

pageContext オブジェクトの初期化でエラーが発生しました。

Web サーブレットログにスタックトレースを出力します。

ログが出力されていない場合は，メモリが不足している可能性があります。メモリが不足している要因としては，JSP の page ディレクティブの buffer 属性に指定した値が，大き過ぎる可能性があります。

対処

Web サーブレットログに出力されたスタックトレースを確認してください。

メモリが不足している場合は，システムが利用できるメモリ使用量を確保して再起動してください。

KDJE39212-W

The host specified in property webserver.connector.ajp13.bind_host could not be bound. (host = aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名

説明

webserver.connector.ajp13.bind_host に指定されたホスト（aa....aa）をバインドできませんでした。

ローカルホストではないホストが，指定されている可能性があります。

ワイルドカードアドレスを使用します。

対処

ワイルドカードアドレス以外のアドレスを使用する場合は，適切なホストを指定して，再起動してください。

KDJE39213-W

The host specified in property webserver.connector.http.bind_host could not be bound. (host = aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名

説明

webserver.connector.http.bind_host に指定されたホスト（aa....aa）は解決できませんでした。

ローカルホストではないホストが，指定されている可能性があります。

ワイルドカードアドレスを使用します。

対処

ワイルドカードアドレス以外のアドレスを使用する場合は，適切なホストを指定して，再起動してください。

KDJE39214-E

An attempt to generate a java file from the JSP file or the tag file has failed. (file = aa....aa, java file = bb....bb)

aa....aa：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス（ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。

「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）」）

bb....bb：生成できなかった Java ソースファイル名

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイル（aa....aa）から Java ソースファイル（bb....bb）を生成できませんでした。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

JSP ファイル（aa....aa）から Java ソースファイル（bb....bb）を生成できませんでした。

対処

Java ソースファイルを生成できなかった要因を対処してください。

エラーの要因として，次のことが考えられます。

- Java ファイル生成のためのディスク容量が足りなかった。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE39215-W

The host name specified in property webserver.connector.http.bind_host was a loopback address. (host name = aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名

説明

webserver.connector.http.bind_host にループバックアドレスが指定されました。

ワイルドカードアドレスを使用します。

対処

ワイルドカードアドレス以外のアドレスを使用する場合は，ループバックアドレスではない適切なホストを指定して，再起動してください。

KDJE39216-E

The URI in the taglib directive is invalid because a URI in a taglib directive is mapped absolute and the taglib element is not in web.xml. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc, taglib directive uri = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス(ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry = <JAR ファイル内のパス>)」)

dd....dd：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイル（cc....cc）の解析でエラーが発生しました。

JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値（cc....cc）が不正です。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

JSP ファイル（cc....cc）の解析でエラーが発生しました。

JSP ファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値（cc....cc）が不正です。

対処

web.xml の<taglib>タグ，またはタグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<uri>タグで，taglib をマッピングしていない場合，JSP の taglib ディレクティブの uri 属性に絶対 URI を指定できません。

web.xml の<taglib>タグ，または TLD ファイルの<uri>タグで，taglib をマッピングするか，または JSP の taglib ディレクティブの uri 属性を Web アプリケーション内の相対パスで指定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39217-I

The web application which parameters of the thread control per web application have not been set is deployed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max threads = cc....cc, default queue size = dd....dd, max threads limit of the web container = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート

cc....cc：Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御の設定をしていない Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数

dd....dd：デフォルトの実行待ちキューサイズ

ee....ee：Web コンテナ単位の最大同時実行スレッド数

説明

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御の設定をしていない Web アプリケーションをデプロイします。

すでにデプロイされている Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数に，変更はありません。

KDJE39218-I

The web application which parameters of the thread control per web application have been set is deployed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max threads = cc....cc, exclusive threads = dd....dd, queue size = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート

cc....cc：Web アプリケーション単位の最大同時実行スレッド数

dd....dd：占有スレッド数

ee....ee：Web アプリケーション単位の実行待ちキューサイズ

説明

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数制御の設定をしている Web アプリケーションをデプロイします。

KDJE39219-I

The ClassLoader for the web application was initialized. (context root = aa....aa, initialized time= bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート

bb....bb：初期化した時刻

説明

Web アプリケーションのクラスローダが初期化されました。

KDJE39220-I

The ClassLoader for the web application was finalized. (context root = aa....aa, initialized time = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート

bb....bb：初期化した時刻

説明

Web アプリケーションクラスローダが破棄されたことを表すメッセージです。

J2EE アプリケーションの停止後，Web アプリケーションクラスローダのファイナライズ処理（finalize メソッドの処理）が実行されたタイミングで，このメッセージが出力されます。

Web アプリケーションの開始または停止を繰り返しても，このメッセージが出力されない場合は，メモリリークが発生しているおそれがあります。

KDJE39219-I メッセージに出力されているコンテキストルート，時刻情報と突き合わせることで，どの Web アプリケーションクラスローダが破棄されたのかを特定することができます。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編(コンテナ共通機能)」の「付録 B　クラスローダの構成」を参照してください。

KDJE39221-W

The performance trace is unavailable due to failure of initialization. (reason = aa....aa)

aa....aa：理由コード

説明

初期化に失敗したため，PRF トレースは使用できません。

対処

aa....aa に示される理由コードの内容によって対処してください。

aa....aa には次の理由コードが表示されます。

表 7-4　KDJE39221-W に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
-1	環境変数「PRFSPOOL」が設定されていません。または，環境変数「PRFSPOOL」に設定したディレクトリが存在しません。	環境変数「PRFSPOOL」が設定されているかどうかを確認してください。
-2	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理でエラーが発生しました。	PRF デーモンが起動していない可能性があります。 PRF デーモンが起動されているかどうかを確認してください。また，定義ファイルの PRFID の指定を確認してください。
-3	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理でエラーが発生しました（システムコールのエラーなど）。	<環境変数 PRFSPOOL の設定ディレクトリ>¥log¥<PRF 識別子>（Windows の場合）または$PRFSPOOL/log/<PRF 識別子>（UNIX の場合）の下にあるログファイルを参照して，Performance Tracer のメッセージを調べてください。調べた要因を基に，対処してください。
-4	PRF デーモンのサービスで必要となるライブラリのロードに失敗しました。	次の要因が考えられます。 • Performance Tracer がインストールされていない。 • クラスパスに PRF トレース出力ライブラリが指定されていない。 • 環境変数に誤りがある。 エラーの要因を修正したあと，再度実行してください。

KDJE39222-I

The parameters of the thread control per web application is modified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max threads = cc....cc, exclusive threads = dd....dd, queue size = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：設定変更後の最大同時実行スレッド数

dd....dd：設定変更後の占有スレッド数

ee....ee：設定変更後の Web アプリケーション単位の実行待ちキューサイズ

説明

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数に関する設定を変更しました。

KDJE39223-E

The specified number of exclusive threads was not able to be assigned. (assignable threads = aa....aa)

aa....aa：割り当て可能なスレッド数

説明

設定された占有スレッド数を割り当てることができませんでした。

設定変更後の Web アプリケーションの占有スレッド数は，割り当て可能なスレッド数以下である必要があります。割り当て可能なスレッド数が 0 の場合，占有スレッド数を増やすことはできません。

対処

設定した Web アプリケーションの占有スレッド数を見直してください。

KDJE39224-W

The specified property is invalid.(context root=aa....aa, resource=bb....bb, cc....cc=dd....dd)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：リソース名

cc....cc：プロパティ名

dd....dd：プロパティの値

説明

設定されたプロパティの値が不正です。

デフォルト値を適用します。

対処

デフォルト値以外の値を適用したい場合は，プロパティの値を見直してください。

KDJE39225-E

The HttpSession object could not be instantiated because the number of HttpSession had reached the maximum. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max sessions = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HttpSession 数の上限値

説明

HttpSession 数が上限値に達しているため，HttpSession オブジェクトを生成できませんでした。

このメッセージが頻繁に出力される場合，HttpSession 数の上限値が小さ過ぎる可能性があります。

対処

必要に応じて HttpSession 数の上限値を大きくしてください。

KDJE39226-I

The maximum number of the HttpSession is not specified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

HttpSession 数の上限値が指定されていません。

デフォルト値を使用します。

KDJE39227-I

The maximum number of the HttpSession was applied. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, max sessions = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HttpSession 数の上限値

説明

HttpSession 数の上限値が設定されました。

KDJE39228-E

The HTTP request body is too large. The internal http server refuses the request. (request URL = aa....aa, content length = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URL

bb....bb：Content-Length ヘッダに指定された値

説明

HTTP リクエストのボディ情報が大き過ぎるため，簡易 Web サーバはアクセスされたリクエストを拒否しました。

対処

HTTP リクエストのボディ情報のサイズが不正に大きくなる要因を取り除いて，再度アクセスしてください。

KDJE39229-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

Servlet API の実行中に例外が発生しました。

対処

例外が発生した要因を取り除いて，再度実行してください。

KDJE39230-I

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

Servlet API の実行中に例外が発生しました。ただし，このメッセージで出力された例外は，通常無視してかまいません。

KDJE39231-W

The number of lines in the generated _jspService method or doTag method has exceeded 1000. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc, number of lines = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス(ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry = <JAR ファイル内のパス>)」)

dd....dd：生成された_jspService メソッドまたは doTag メソッドの空行やコメント行を含めた行数

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルから生成された_jspService メソッドまたは doTag メソッドの行数がコメントおよび空行を含めて 1000 行を超えました。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

JSP ファイルから生成された_jspService メソッドの行数が，コメントおよび空行を含めて 1000 行を超えました。

対処

Java 仮想マシン仕様から，1 メソッドのバイトコードは 64 キロバイト以内にする必要があります。64 キロバイトを超える場合は，クラスファイル生成時にエラーとなるか，クラスのロード時に java.lang.LinkageError 例外が発生します。

また，1 メソッドの大きさが 64 キロバイト以内であっても，非常に大きい場合は，次の弊害が発生する可能性があります。

- GC 処理の実行に非常に時間が掛かる。
- JIT コンパイルに非常に時間が掛かる。
- JIT コンパイルに非常に多くのメモリを消費する。

そのため，Java ソース上の 1 メソッドの大きさは，コメントや空行を除き，およそ 500 行以内を推奨します。

JSP から生成される Java コードの行数の縮小は，次のように JSP を変更することで可能です。

JSP ファイルの場合

動的インクルード（インクルードアクション）によって JSP ファイルを分割する。

タグファイルの場合

JSP ファイルから使用するタグファイルを複数のタグファイルに分割するか, タグファイルから別のタグファイルを呼び出すように分割する。

KDJE39232-E

An attempt to delete a class file generated from the JSP file or the tag file has failed. (class file = aa....aa)

aa....aa：JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルの絶対パス

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成されたクラスファイル（aa....aa）の削除時に，エラーが発生しました。

サーブレットエンジンモードの場合

JSP ファイルのコンパイルで生成されたクラスファイル（aa....aa）の削除時に，エラーが発生しました。

対処

JSP のコンパイルで生成されたクラスファイルの削除時に発生したエラーの原因を対処してください。

エラーの原因として，次の原因が考えられます。

- ファイルを削除する権限がない。
- ファイルをオープンしている。

KDJE39233-I

A cache function will be applied. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, cache size = cc....cc, file size threshold = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：Web アプリケーション単位でキャッシュ可能なメモリサイズの値（バイト）

dd....dd：キャッシュ可能なファイルサイズの最大値（バイト）

説明

キャッシュ機能を有効にします。

KDJE39234-I

The total size and the number of a cache. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, total size = cc....cc, number of a cache = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：キャッシュの合計サイズ（バイト）

dd....dd：キャッシュの個数

説明

キャッシュの合計サイズと個数を出力します。

KDJE39235-W

The value of the cache function specified by web.xml is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, tag name = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：誤りのあるタグ名

説明

web.xml に指定されたキャッシュ機能の設定に誤りがあります。web.xml の設定を無視して Web アプリケーションを開始します。

対処

Web アプリケーションを停止し，web.xml 内の該当するタグを修正したあと，Web アプリケーションを開始してください。

KDJE39236-I

The communication with the web server started. (port = aa....aa)

aa....aa：ポート番号

説明

Web サーバ連携を開始します。

KDJE39237-I

The inprocess http server started. (port = aa....aa)

aa....aa：ポート番号

説明

インプロセス HTTP サーバを開始します。Web サーバ連携機能は無効となります。

KDJE39238-W

The host name specified in the property webserver.connector.inprocess_http.permitted.hosts could not be resolved. (host name = aa....aa)

aa....aa：名前解決できなかったホスト名

説明

webserver.connector.inprocess_http.permitted.hosts に指定されたホスト名は，名前解決できませんでした。

ローカルホストからのアクセスだけを許可して起動します。

対処

指定されたホスト名が名前解決できるかどうかを確認して，再起動してください。

KDJE39239-W

Access to the inprocess http server from a forbidden host was rejected. (IP address = aa....aa)

aa....aa：アクセスを拒否されたホストの IP アドレス

説明

インプロセス HTTP サーバへのアクセスを許可されていないホストからのアクセスが拒否されました。

対処

拒否されたホストからのアクセスを許可する場合は，
webserver.connector.inprocess_http.permitted.hosts にアクセスを許可するホストの IP アドレス，またはホスト名を指定して，再起動してください。

KDJE39240-W

The host name specified in property webserver.connector.inprocess_http.bind_host could not be resolved. (host name = aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名

説明

webserver.connector.inprocess_http.bind_host に指定されたホスト（aa....aa）は解決できませんでした。

ワイルドカードアドレスを使用します。

対処

ワイルドカードアドレス以外のアドレスを使用する場合は，解決可能なローカルホスト名，またはローカルホストの IP アドレスを指定して，再起動してください。

KDJE39241-E

The inprocess http server on port aa....aa could not be started.

aa....aa：ポート番号

説明

インプロセス HTTP サーバを指定されたポート番号（aa....aa）で起動できませんでした。

対処

指定されたインプロセス HTTP サーバのポート番号が，ほかのプロセスで使用されている可能性があります。

ほかのプロセスで使用されていないポート番号を指定したあと，再起動してください。インプロセス HTTP サーバのポート番号は，ユーザプロパティファイルの webserver.connector.inprocess_http.port キーで指定できます。

なお，ユーザプロパティファイルで指定していない場合，ポート番号「80」をデフォルト値として使用します。

KDJE39242-W

The host specified in property webserver.connector.inprocess_http.bind_host could not be bound. (host = aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名

説明

webserver.connector.inprocess_http.bind_host に指定されたホスト（aa....aa）は解決できませんでした。

ワイルドカードアドレスを使用します。

対処

ローカルホストではないホストが，指定されている可能性があります。

ワイルドカードアドレス以外のアドレスを使用する場合は，適切なホストを指定して，再起動してください。

KDJE39243-E

The request is not valid because contained http header is not allowed. (http method = aa....aa, request uri = bb....bb)

aa....aa：リクエストの HTTP メソッド

bb....bb：リクエスト URI

説明

送信されたリクエストの HTTP メソッドは許可されていません。クライアントにはステータス 405 のエラーが返されます。

対処

受信したリクエストの HTTP メソッドは許可されていません。使用可能な HTTP メソッドの指定はユーザプロパティファイルの webserver.connector.inprocess_http.enabled_methods プロパティで指定できます。

KDJE39244-E

The request line is exceeds the max size. (request uri = aa....aa, max size of the request line = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：リクエストラインの最大サイズ

説明

送信されたリクエストのリクエストラインが最大サイズを超えています。クライアントにはステータス 414 のエラーが返されます。

対処

ユーザプロパティファイルの webserver.connector.inprocess_http.limit.max_request_line キーの設定値が適切かどうか見直してください。設定値が不適切な場合，リクエストラインの最大サイズを適切な値に変更してください。リクエストラインの最大サイズを変更した場合は，J2EE サーバの再起動が必要となります。

KDJE39245-E

The request header is exceeds the max size. (request uri = aa....aa, max size of the request header = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：リクエストヘッダの最大サイズ

説明

送信されたリクエストのリクエストヘッダが最大サイズを超えています。クライアントにはステータス 400 のエラーが返されます。

対処

ユーザプロパティファイルの webserver.connector.inprocess_http.limit.max_request_header キーの設定値が適切かどうか見直してください。設定値が不適切な場合，リクエストヘッダの最大サイズを適切な値に変更してください。リクエストヘッダの最大サイズを変更した場合は，J2EE サーバの再起動が必要となります。

KDJE39246-E

The request body is exceeds the max size. (request uri = aa....aa, max size of the request body = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：リクエストボディの最大サイズ

説明

送信されたリクエストのリクエストボディが最大サイズを超えています。クライアントにはステータス 413 のエラーが返されます。

対処

ユーザプロパティファイルの webserver.connector.inprocess_http.limit.max_request_body キーの設定値が適切かどうか見直してください。設定値が不適切な場合，リクエストボディの最大サイズを適切な値に変更してください。リクエストボディの最大サイズを変更した場合は，J2EE サーバの再起動が必要となります。

KDJE39247-E

The http header is exceeds the max number. (request uri = aa....aa, max number of the http header = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：HTTP ヘッダの最大数

説明

送信されたリクエストに含まれる HTTP ヘッダの数が最大数を超えています。クライアントにはステータス 400 のエラーが返されます。

対処

ユーザプロパティファイルの webserver.connector.inprocess_http.limit.max_headers キーの設定値が適切かどうか見直してください。設定値が不適切な場合，HTTP ヘッダの最大数を適切な値に変更してください。HTTP ヘッダの最大数を変更した場合は，J2EE サーバの再起動が必要となります。

KDJE39248-W

The redirection definition is ignored because there are invalid settings. (definition name = aa....aa)

aa....aa：無視されるリダイレクト定義名

説明

設定に誤りがあるため，リダイレクト定義は無視されます。

対処

リダイレクト機能のプロパティを適切に指定して，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE39249-W

The required property of the redirection definition is not specified. (property = aa....aa)

aa....aa：プロパティ名

説明

リダイレクト定義の必須プロパティが指定されていません。

対処

必須プロパティを指定して J2EE サーバを再起動してください。必須プロパティを次に示します。

- webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.request_url
- webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.redirect_url
  （webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.status に 200 以外を指定した場合）
- webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.file
  （webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.status に 200 を指定した場合）

KDJE39250-W

The forbidden property of the redirection definition is specified. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

リダイレクト定義に指定できないプロパティが指定されています。

対処

指定できないプロパティを削除して J2EE サーバを再起動してください。次のプロパティが特定の条件で指定できません。

- webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.request_url（webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.status に 200 を指定した場合）

KDJE39251-W

The response body file for the redirection definition cannot be read. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：ファイルを指定したプロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

リダイレクト機能のレスポンスボディとして送信するファイルの読み込みができません。

対処

ファイルが存在しないか，ファイルへのアクセス権がないおそれがあります。存在するファイルを指定し，アクセス権を適切に設定して J2EE サーバを再起動してください。

KDJE39252-W

The error contents customization definition is ignored because there are invalid settings. (definition name = aa....aa)

aa....aa：無視されるエラーコンテンツカスタマイズ定義名

説明

設定に誤りがあるため，エラーコンテンツカスタマイズ定義は無視されます。

対処

エラーコンテンツカスタマイズ機能のプロパティを適切に指定して，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE39253-W

The required property of the error contents customization definition is not specified. (property = aa....aa)

aa....aa：プロパティ名

説明

エラーコンテンツカスタマイズ定義の必須プロパティが指定されていません。

対処

必須プロパティを指定して J2EE サーバを再起動してください。次のプロパティが必須です。

- webserver.connector.inprocess_http.error_custom.<エラーコンテンツカスタマイズ定義名>.status
- webserver.connector.inprocess_http.error_custom.<エラーコンテンツカスタマイズ定義名>.file
  （webserver.connector.inprocess_http.error_custom.<エラーコンテンツカスタマイズ定義名>.redirect_url を指定しない場合）

KDJE39254-W

The forbidden property of the error contents customization definition is specified. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

エラーコンテンツカスタマイズ定義に指定できないプロパティが指定されています。

対処

指定できないプロパティを削除して J2EE サーバを再起動してください。次のプロパティが特定の条件で指定できません。

- webserver.connector.inprocess_http.error_custom.<エラーコンテンツカスタマイズ定義名>.file
  （webserver.connector.inprocess_http.error_custom.<エラーコンテンツカスタマイズ定義名>.redirect_url を指定した場合）

KDJE39255-W

The response body file for the error contents customization definition cannot be read. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：ファイルを指定したプロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

エラーコンテンツカスタマイズ機能のレスポンスボディとして送信するファイルの読み込みができません。

対処

ファイルが存在しないか，ファイルへのアクセス権がないおそれがあります。存在するファイルを指定し，アクセス権を適切に設定して J2EE サーバを再起動してください。

KDJE39256-W

The response body file for the redirection could not be read. (request uri = aa....aa, file = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：ファイル名

説明

リダイレクト機能のレスポンスボディとして送信するファイルの読み込みができませんでした。レスポンスボディを自動生成してリダイレクトします。

対処

ファイルが存在しないか，ファイルへのアクセス権がないおそれがあります。ファイルを webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.file で指定した場所に置き，アクセス権を正しく設定してください。

KDJE39257-E

The error occurred while the response body file for the redirection was reading. (request uri = aa....aa, file = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：ファイル名

説明

リダイレクト機能のレスポンスボディとして送信するファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

対処

ハードディスクが故障していないかどうかを確認してください。

KDJE39258-W

The error occurred while the response body for the redirection was sending. (request uri = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URI

説明

リダイレクト機能のレスポンスボディを送信中にエラーが発生しました。

対処

クライアントとのコネクションが切断されたおそれがあります。クライアントと Web コンテナの間の通信路に問題はないかどうかを確認してください。クライアントがコネクションを切断した場合は対処の必要はありません。

KDJE39259-W

The response body file for the error contents customization was not sent to the client because the file could not be read. (request uri = aa....aa, file = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：ファイル名

説明

ファイルの読み込みができないため，エラーコンテンツカスタマイズ機能のレスポンスボディとして送信するファイルはクライアントに送信されませんでした。

対処

ファイルが存在しないか，ファイルへのアクセス権がないおそれがあります。ファイルを webserver.connector.inprocess_http.error_custom.<エラーコンテンツカスタマイズ定義名>.file で指定した場所に置き，アクセス権を正しく設定してください。

KDJE39260-E

The error occurred while the response body file for the error contents customization was reading. (request uri = aa....aa, file = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：ファイル名

説明

エラーコンテンツカスタマイズ機能のレスポンスボディとして送信するファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

対処

ハードディスクが故障していないかどうかを確認してください。

KDJE39261-W

The error occurred while the response body for the error contents customization was sending. (request uri = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URI

説明

エラーコンテンツカスタマイズ機能のレスポンスボディを送信中にエラーが発生しました。

対処

クライアントとのコネクションが切断されたおそれがあります。クライアントと Web コンテナの間の通信路に問題がないかどうかを確認してください。

クライアントがコネクションを切断した場合は対処の必要はありません。

KDJE39262-E

A number of requests exceeds the connection limit. The request fails. (request uri = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URI

説明

Web クライアントとの接続数が上限を超えたため，リクエスト処理を拒否します。クライアントにはステータス 503 のエラーが返されます。

対処

ユーザプロパティファイルの webserver.connector.inprocess_http.rejection_threads キーの設定値が適切かどうか見直してください。設定値が不適切な場合，リクエストの実行を拒否するスレッド数を調節してください。リクエストの実行を拒否するスレッド数を変更した場合は，J2EE サーバの再起動が必要となります。

KDJE39263-W

The request processing thread is insufficient. (a number of the request processing thread = aa....aa, max connections = bb....bb, a number of the spare thread = cc....cc, min spare threads = dd....dd)

aa....aa：現在の全リクエスト処理スレッド数

bb....bb：最大コネクション数

cc....cc：現在の予備スレッド数

dd....dd：最小予備スレッド数

説明

リクエスト処理スレッドが不足しています。

対処

次に示す状況に応じて，対処してください。

サーバ起動時にこのメッセージが出力される場合

サーバ起動時に作成するリクエスト処理スレッド数の設定を確認してください。

業務開始後にこのメッセージが出力される場合

最大予備スレッド数，および最小予備スレッド数の設定を確認してください。

KDJE39264-W

An error occurred during the data acquisition. (request URL = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URL

説明

POST データ取得中にエラーが発生しました。

Content-Length ヘッダの値と実際に読み込めたパラメタサイズが一致しません。

対処

Content-Length ヘッダ値とリクエストボディのサイズを確認してください。

KDJE39265-E

The timeout occurred in reading the request data from the client. (client = aa....aa：bb....bb)

aa....aa：接続先であるクライアントの IP アドレス

（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシの IP アドレス）

bb....bb：接続先であるクライアントのポート番号

（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシのポート番号）

説明

クライアントからのリクエストヘッダ読み込み中にタイムアウトが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

プロキシサーバを使用していない場合

- J2EE サーバに対して不正なデータを送信している Web クライアントはないか。
- 通信路に障害が発生していないか。

プロキシサーバを使用している場合

- リバースプロキシは正常に稼働しているか。
- リバースプロキシと J2EE サーバ間の通信路に障害が発生していないか。

確認した内容に対して次の対策をしてください。

- 不正なメッセージを送信する Web クライアントが存在した場合，メッセージに出力されたアドレス，ポート番号からクライアントを限定し，対策してください。
- 通信路に問題が発生している場合，問題を取り除いてください。
- リバースプロキシが正常に稼働していない場合は，リバースプロキシの問題を解決してください。

KDJE39266-E

The timeout occurred in writing the response data to the client. (client = aa....aa：bb....bb)

aa....aa：接続先であるクライアントの IP アドレス

（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシの IP アドレス）

bb....bb：接続先であるクライアントのポート番号

（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシのポート番号）

説明

クライアントへのレスポンス書き込み中にタイムアウトが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

プロキシサーバを使用していない場合

- J2EE サーバに対して不正な接続をしている Web クライアントはないか。
- 通信路に障害が発生していないか。

プロキシサーバを使用している場合

- リバースプロキシは正常に稼働しているか。
- リバースプロキシと J2EE サーバ間の通信路に障害が発生していないか。

確認した内容に対して次の対策をしてください。

- 不正な接続をしている Web クライアントが存在した場合，メッセージに出力されたアドレス，ポート番号からクライアントを限定し，対策してください。
- 通信路に問題が発生している場合，問題を取り除いてください。
- リバースプロキシが正常に稼働していない場合は，リバースプロキシの問題を解決してください。

KDJE39267-W

The inprocess http server denies access to the URI starting with /ejb/ or /web/. (request URI = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URI

説明

アクセスされたリクエストを拒否しました。

インプロセス HTTP サーバでは，"/ejb/"または"/web/"で始まるリクエストは使えません。

KDJE39268-E

The response body file for the redirection could not be read. (request uri = aa....aa, file = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：ファイル名

説明

リダイレクト機能のレスポンスボディとして送信するファイルの読み込みができませんでした。クライアントにステータス 500 のエラーを返します。

対処

ファイルが存在しないか，ファイルへのアクセス権がないおそれがあります。ファイルを webserver.connector.inprocess_http.redirect.<リダイレクト定義名>.file で指定した場所に置き，アクセス権を正しく設定してください。

KDJE39269-E

The HTTP request body is too large. The inprocess http server refuses the request. (request URL = aa....aa, content length = bb....bb, client = cc....cc：dd....dd)

aa....aa：リクエスト URL

bb....bb：Content-Length ヘッダに指定された値

cc....cc：接続先であるクライアントの IP アドレス

（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシの IP アドレス）

dd....dd：接続先であるクライアントのポート番号

（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシのポート番号）

説明

HTTP リクエストのボディ情報が大き過ぎるため，インプロセス HTTP サーバはアクセスされたリクエストを拒否しました。

対処

HTTP リクエストのボディ情報のサイズが不正に大きくなる要因を取り除いて，再度アクセスしてください。

KDJE39270-W

The inprocess http server could not customize the error page because the response was already committed. (request uri = aa....aa, status code = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：ステータスコード

説明

レスポンスがコミット済みのため，エラーページがカスタマイズできませんでした。

対処

Web アプリケーションで javax.servlet.http.HttpServletResponse の setStatus メソッドを使用してエラーのステータスコードを設定していないかを確認してください。エラーページのカスタマイズを行うには，setStatus メソッドではなく sendError メソッドを使用してください。

不正な処理がある場合は修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

Web アプリケーションのリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

Web アプリケーションのリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39271-E

The thread ended abnormally.(name=aa....aa,hash=bb....bb,priority=cc....cc)

aa....aa：スレッド名

bb....bb：ハッシュ値

cc....cc：プライオリティ

説明

リダイレクタからのリクエストを受け付けるスレッドが異常終了しました。

対処

システムのリソース（メモリ，ファイルディスクリプタ）が不足していることが考えられます。

直前に出力されている「KDJE39273-E」のメッセージの対処をして，Web コンテナを再起動してください。

KDJE39272-E

The illegal processing in the servlet or JSP was detected during executing the request.

説明

リクエストの実行で，サーブレットまたは JSP に不正な処理があることを検出しました。リクエストまたはレスポンスに対する操作が複数スレッドから実行された可能性があります。

対処

このメッセージが出力される直前に実行されたサーブレットまたは JSP をログから特定し，次のオブジェクトをインスタンス変数などに格納して複数のスレッドから実行していないか見直してください。

- javax.servlet.ServletOutputStream オブジェクト
- javax.servlet.http.HttpServletResponse オブジェクト
- javax.servlet.ServletResponse クラスの getWriter メソッドで取得した java.io.PrintWriter オブジェクト

KDJE39273-E

An exception was raised during connecting with the redirector. (exception = aa....aa)

aa....aa：リダイレクタとのコネクション確立処理での障害発生時に JavaVM から通知された例外情報

説明

リダイレクタからの通信コネクション確立時に障害が発生しました。Web コンテナが稼働しているシステムのリソース不足など，運用を続行できない問題が発生している可能性があります。

このメッセージの後に，「KDJE39275-W」のメッセージが出力されている場合，このメッセージで通知された障害発生後，リダイレクタからの接続に成功しており，システムが復旧している可能性があります。

また，Web サーバのログ，リダイレクタのログでエラーが出力されていない場合でも，「KDJE39275-W」のメッセージが出力されていない場合は障害から復旧していない可能性があります。

対処

Web サーバのアクセスログ，リダイレクタのログからリクエストが正常に実行されているかを確認してください。Web コンテナとの通信でエラーが発生している場合，メモリ，ファイルディスクリプタ，または TCP ポートなどのシステムリソースが不足している可能性があります。システムリソースの使用状況を確認し，システムリソースの見積もりが適切かどうかを確認してください。

リソースが不足している場合，システムの設定を変更してください。

KDJE39274-E

An exception was raised during connecting with the client. (exception = aa....aa)

aa....aa：クライアントとのコネクション確立処理での障害発生時に JavaVM から通知された例外情報

説明

クライアントとのコネクション確立時に障害が発生しました。Web コンテナが稼働しているシステムのリソース不足など，運用を続行できない問題が発生している可能性があります。

このメッセージの後に，「KDJE39276-W」のメッセージが出力されている場合，このメッセージで通知された障害発生後，クライアントからの接続に成功しており，システムが復旧している可能性があります。

また，ほかにエラーのログが出力されていない場合でも，「KDJE39276-W」のメッセージが出力されていない場合は障害から復旧していない可能性があります。

対処

インプロセス HTTP サーバのアクセスログなど J2EE サーバのログから，リクエストが正常に実行されているかを確認してください。Web コンテナがリクエストを受信していない，または Web コンテナとの通信でエラーが発生している場合，メモリ，ファイルディスクリプタ，または TCP ポートなどのシステムリソースが不足している可能性があります。システムリソースの使用状況を確認し，システムリソースの見積もりが適切かを確認してください。

リソースが不足している場合，システムの設定を変更してください。

KDJE39275-W

The connecting with the redirector has succeeded.

説明

リダイレクタとのコネクション確立に障害が発生していましたが，リダイレクタとのコネクション確立に成功しました。このメッセージは「KDJE39273-E」のメッセージが出力された後，リダイレクタとのコネクション確立に成功した際に出力されます。「KDJE39273-E」のメッセージは，メモリ，ファイルディスクリプタ，または TCP ポートなどのシステムリソースの不足で，リダイレクタとのコネクション確立に失敗した場合に出力されます。

対処

Web サーバのログ，および Web コンテナのログからリクエストが正常に実行されているかどうかを確認してください。

リクエストが正常に実行されていない場合，「KDJE39273-E」のメッセージの対処に従い，障害の要因を特定して対策してください。

KDJE39276-W

The connecting with the client has succeeded.

説明

クライアントとのコネクション確立時に障害が発生しましたが，クライアントとのコネクション確立に成功しました。このメッセージは「KDJE39274-E」のメッセージが出力された後，クライアントとのコネクション確立に成功した際に出力されます。「KDJE39274-E」のメッセージは，メモリ，ファイルディスクリプタ，または TCP ポートなどのシステムリソースの不足で，クライアントとのコネクション確立に失敗した場合に出力されます。

対処

インプロセス HTTP サーバのアクセスログなど J2EE サーバのログからリクエストが正常に実行されているかどうかを確認してください。

リクエストが正常に実行されていない場合，「KDJE39274-E」のメッセージの対処に従い，障害の要因を特定して対策してください。

KDJE39277-E

The request header is invalid. The inprocess http server refused the request. (request uri = aa....aa, bb....bb = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：不正なリクエストヘッダの名称

cc....cc：不正なリクエストヘッダの値

dd....dd：接続先であるクライアントの IP アドレス（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシの IP アドレス）

ee....ee：接続先であるクライアントのポート番号（リバースプロキシを使用している場合は，リバースプロキシのポート番号）

説明

不正なリクエストヘッダを受信したため，インプロセス HTTP サーバはアクセスされたリクエストを拒否しました。

対処

不正なリクエストを送信した Web クライアントに問題ないかどうかを確認して，不正なリクエストヘッダを送信しないようにしてください。

KDJE39280-E

The request header is invalid. The web container refused the request. (request uri = aa....aa, bb....bb = cc....cc)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：不正なリクエストヘッダの名称

cc....cc：不正なリクエストヘッダの値

説明

不正なリクエストヘッダを受信したため，Web コンテナサーバはアクセスされたリクエストを拒否しました。

対処

不正なリクエストを送信した Web クライアントに問題ないかを確認して，不正なリクエストヘッダを送信しないようにしてください。

KDJE39281-E

An exception was raised during handling the exception. (exception = aa....aa, method = bb....bb , exception = cc....cc)

aa....aa：メソッドを呼び出したユーザ作成例外

bb....bb：呼び出したメソッド

cc....cc：ユーザ作成例外に対するメソッド呼び出しで発生した例外

説明

ユーザが作成した例外クラスのメソッド呼び出しで例外が発生しました。

「KDJE39059-E」のメッセージ ID が直後に出力されている場合，エラーページの表示処理中にユーザが作成した例外クラスのメソッド呼び出しで例外が発生しました。

このとき，エラーページは表示されません。

対処

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39282-E

The JSP translation failed because a JSP validation error message was reported from the extra Tag info. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc, tag library = dd....dd, tag name = ee....ee, number of message = ff....ff)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス(ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力される。「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry = <JAR ファイル内のパス>)」)

dd....dd：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

ee....ee：タグライブラリ・ディスクリプタの<taglib><tag><name>に指定されたタグ名称

ff....ff：検証エラーメッセージの個数

説明

TagExtraInfo クラスが属性の検証で発見したエラーを報告しました。

対処

検証エラーメッセージを参照して，タグライブラリの使用方法を確認してください。検証エラーメッセージはメッセージログまたはコンソールに「KDJE39283-E」のメッセージ ID で出力されています。

KDJE39283-E

A validation message. (id = aa....aa, message = bb....bb)

aa....aa：ValidationMessage クラスの getId メソッドの戻り値

bb....bb：ValidationMessage クラスの getMessage メソッドの戻り値

説明

「KDJE39282-E」で発生した検証エラーのメッセージ内容（javax.servlet.jsp.tagext.ValidationMessage クラス）を示します。

ValidationMessage が null の場合は，aa....aa，bb....bb は null となります。

対処

出力されているメッセージを参照して，タグライブラリの使用方法を確認してください。

KDJE39284-W

The unknown element is described. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, element = cc....cc, file = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：定義された要素名

dd....dd：該当ファイルのパス

説明

J2EE サーバモードの場合

該当するタグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルに，XML のスキーマで定義されていない要素が記述されています。この要素の内容は無視されます。

該当ファイルのパス dd....dd が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内のファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

サーブレットエンジンモードの場合

該当する web.xml，または TLD ファイルに，XML のスキーマで定義されていない要素が記述されています。この要素の内容は無視されます。

該当ファイルのパス dd....dd が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内のファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

J2EE サーバモードの場合

「KDJE39286-W」のメッセージがメッセージログに出力されています。内容を確認してください。

サーブレットエンジンモードの場合

対象のファイルが web.xml の場合は「KDJE39285-W」のメッセージ，対象のファイルが TLD ファイルの場合は「KDJE39286-W」のメッセージがメッセージログに出力されています。内容を確認してください。

KDJE39285-W

The web.xml contains the unknown element. (context root = aa....aa)

aa....aa：コンテキストルート名

説明

XML のスキーマに定義されていない要素が web.xml に記述されています。

無効な要素は無視し，処理を続行します。

対処

該当する無効な要素は Web サーブレットログに「KDJE39284-W」の ID で出力されています。無効となった要素の内容を確認してください。

KDJE39286-W

The tag library descriptor contains the unknown element. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, TLD = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：該当ファイルのパス

説明

XML のスキーマに定義されていない要素がタグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルに記述されています。無効な要素は無視し，処理を続行します。

該当ファイルのパス cc....cc が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内のファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

該当する無効な要素は Web サーブレットログに「KDJE39284-W」の ID で出力されています。無効となった要素の内容を確認してください。

KDJE39287-W

The specified location of the JAR containing the tag library descriptor file defining the tag-file element is deprecated. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, JAR location = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

web.xml，JSP ファイル，またはタグファイルで指定した<taglib><tag-file>要素を定義した TLD ファイルを含む JAR ファイルの配置は推奨されません。

Web コンテナは，この JAR ファイル内の/META-INF/taglib.tld を読み込みますが<taglib><tag-file>タグは無視します。

対処

JAR ファイルは/WEB-INF/lib/ディレクトリに配置することを推奨します。

JAR ファイルを/WEB-INF/lib ディレクトリに配置するように変更する場合は，この JAR ファイルを指定しているファイルも修正してください。

KDJE39288-I

The webserver.jsp.compile.options property is specified. (value = aa....aa)

aa....aa：webserver.jsp.compile.options の設定値

説明

webserver.jsp.compile.options のプロパティが指定されました。

KDJE39289-W

The specified location of the tag library descriptor file is deprecated. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, TLD location = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：TLD ファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

web.xml，JSP ファイル，またはタグファイルで指定したタグライブラリ・ディスクリプタ（TLD）ファイルの配置は推奨されません。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

web.xml，JSP ファイルで指定した TLD ファイルの配置は推奨されません。

対処

Web アプリケーションのバージョンが Servlet 2.3 の場合

/WEB-INF ディレクトリ以下に配置することを推奨します。

Web アプリケーションのバージョンが Servlet 2.4 以降の場合

/WEB-INF/classes ディレクトリ，/WEB-INF/lib ディレクトリ以下を除く/WEB-INF ディレクトリ以下に配置することを推奨します。

KDJE39290-W

The tag library descriptor is invalid. The mustUnderstand attribute is specified in aa....aa element. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, file = dd....dd)

aa....aa：mustUnderstand 属性の値に true が設定された要素名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

dd....dd：該当ファイルのパス

説明

aa....aa 要素の mustUnderstand 属性の値に true が設定されています。このタグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルは無効となり使用できません。

該当ファイルのパス dd....dd が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内のファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイル内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

TLD ファイルの mustUnderstand 属性が設定された要素の内容を確認してください。

KDJE39291-E

An exception aa....aa was raised in validation of the attribute by the TagExtraInfo class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd)

aa....aa：例外名

bb....bb：TagExtraInfo クラス名

cc....cc:J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名, サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

dd....dd：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

説明

TagExtraInfo クラス（bb....bb）による属性の検証で，例外が発生しました。

対処

TagExtraInfo クラスによる JSP ファイルまたはタグファイルの検証で例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39292-W

The class file generated from the JSP by the earlier version of the web container exists. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, class file = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：クラスファイルの絶対パス

説明

過去のバージョンの Web コンテナによって JSP から生成されたクラスファイルが存在します。Web コンテナは JSP をコンパイルします。

対処

過去のバージョンの Web コンテナによって JSP から生成されたクラスファイルは使用できません。JSP 用テンポラリディレクトリから削除してください。

KDJE39293-W

The version of the tag library descriptor is aa....aa although the version of the web application is bb....bb. The tag library descriptor is invalid. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd, file = ee....ee)

aa....aa：TLD ファイルのバージョン

bb....bb：Web アプリケーションのバージョン

cc....cc：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

dd....dd：コンテキストルート名

ee....ee：該当ファイルのパス

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルのバージョンが不正です。現在の Web アプリケーションのバージョンでは，指定した TLD ファイルは使用できません。

該当ファイルのパス dd....dd が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内のファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）

- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合

  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

問題の発生した Web アプリケーションに次のどれかの対策を実施してください。

- TLD ファイルのバージョンを Web アプリケーションのバージョンに対応したバージョンに変更する。
- Web アプリケーションのバージョンを TLD ファイルのバージョンに対応するバージョンに変更する。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用しており, かつ TLD ファイルを修正した場合, リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない，または Web アプリケーションのバージョンを変更した場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

KDJE39294-E

aa....aa

aa....aa：例外のスタックトレース

説明

TagExtraInfo クラスによる属性の検証でスローされた例外のスタックトレースを行単位で出力します。

対処

TagExtraInfo クラスが例外をスローした原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39295-E

An attempt to start a web application has failed because the aa....aa version of the web application is not supported by the servlet engine mode. (context root = bb....bb)

aa....aa：Web アプリケーションのバージョン

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーションのバージョンが aa....aa です。サーブレットエンジンモードではサポートされていません。

この Web アプリケーションは開始できません。

対処

Servlet2.4 以降の Web アプリケーションを使用するには，J2EE サーバモードを使用してください。

KDJE39296-E

The function class aa....aa specified in the tag library descriptor could not be found. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, function name = dd....dd, tag library = ee....ee)

aa....aa：TLD ファイルの<function-class>要素で指定した function クラスの名称

bb....bb：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

dd....dd：TLD ファイルの<function><name>要素に指定した function の名称

ee....ee：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<function-class>要素で指定した function クラスが見つかりませんでした。

対処

TLD ファイルの<function-class>要素に定義したクラスの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39297-W

The specified listener class implementing the aa....aa interface was not registered because this interface is not supported in this web application version. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, listener class = dd....dd)

aa....aa：インプリメントされたリスナインタフェース名

bb....bb：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：web.xml で指定したクラス名

説明

指定されたクラスは Servlet 2.4 の仕様からサポートされたリスナインタフェースをインプリメントしています。

Servlet 2.4 仕様でサポートされたリスナインタフェースを次に示します。

- javax.servlet.ServletRequestListener
- javax.servlet.ServletRequestAttributeListener

指定したクラスはリスナとして登録されないで無視されます。

対処

Servlet 2.4 の仕様からサポートされたリスナを使用するには，Web アプリケーションのバージョンが Servlet 2.4 以降のアプリケーションで使用してください。

KDJE39298-E

An attempt to initialize the JSP has failed because a class file generated from the JSP file or a class file depended on it is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, JSP file = cc....cc, class file = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化に失敗した JSP ファイルの Web アプリケーション内のパス

dd....dd：不正なクラスファイルの絶対パス

説明

JSP から生成されたクラスファイル，またはそのクラスが依存するクラスファイルが不正なため JSP の初期化に失敗しました。

対処

JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルが不正です。

Servlet2.5 仕様以降の Web アプリケーションで JSTL，または JSF を使用している場合

JSTL，または JSF が適切に設定されていない可能性があります。適切なバージョンの JSTL または JSF がクラスパスに追加されているか確認し，J2EE サーバを再起動してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを使用する場合

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを使用してアプリケーションに含まれるすべての JSP をコンパイルしてください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを使用しない場合

Web アプリケーションに含まれるすべての JSP をコンパイルしてください。JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルはすべて含めるように Web アプリケーションを更新してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

KDJE39299-I

The class file generated from the JSP file or the tag file was modified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, class file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：クラスファイルの絶対パス

説明

JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルが更新されました。

KDJE39300-I

The class file generated from the JSP file or the tag file was removed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, class file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：クラスファイルの絶対パス

説明

JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルが削除されました。

KDJE39301-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the function class bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd, function name = ee....ee, tag library = ff....ff)

aa....aa：発生した例外名

bb....bb：TLD ファイルの<function-class>要素で指定した function クラスの名称

cc....cc：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

dd....dd：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

ee....ee：TLD ファイルの<function><name>要素に指定した function の名称

ff....ff：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<function-class>要素で指定した function クラスのロードで例外が発生しました。

対処

TLD ファイルの<function-class>要素で定義したクラスのロードで例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39302-E

The method parameter class aa....aa specified in the tag library descriptor could not be found. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, function name = dd....dd, tag library = ee....ee)

aa....aa：TLD ファイルの<function-signature>要素で指定した parameter クラスの名称

bb....bb：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

dd....dd：TLD ファイルの<function><name>要素に指定した function の名称

ee....ee：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<function-signature>要素で指定した function の parameter クラスが見つかりませんでした。

対処

TLD ファイルの<function-signature>要素に定義した parameter クラスの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39303-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the function. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, function name = dd....dd, tag library = ee....ee)

aa....aa：発生した例外名

bb....bb：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

dd....dd：TLD ファイルの<function><name>要素に指定した function の名称

ee....ee：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<function-signature>要素で指定した function の parameter クラスのロード，または<function-class>要素で指定した function クラスへのアクセス時に例外が発生しました。

対処

TLD ファイルの<function-signature>要素で指定した function の parameter クラスのロード，または<function-class>要素で指定した function クラスへのアクセス時に例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39304-W

The url-pattern element in web.xml contains the carriage return or line feed character. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, element body = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：<url-pattern>要素に指定された内容

説明

web.xml に定義された<url-pattern>要素の内容に改行コード(CR(#xD)，または LF(#xA))が含まれています。

<url-pattern>要素に指定する内容に改行コードを含めることはできません。

この要素が示す定義は無効となります。

cc....cc の内容では改行コードを除外して表示します。

対処

該当する要素の内容を修正し，アプリケーションを再デプロイしてください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

KDJE39305-E

The attribute type aa....aa specified for the attribute bb....bb could not be found. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd, tag name = ee....ee, tag library = ff....ff)

aa....aa：この属性の型

bb....bb：この属性の名称

cc....cc：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

dd....dd：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドは空文字列

ee....ee：この属性を定義したカスタムタグの名称

ff....ff：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値または tagdir 属性の値(tagdir 属性の場合は次の書式で出力される。「tag library = urn:jsptagdir:<tagdir 属性の値>」)

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<tag><attribute><type>要素で指定したクラスまたはタグファイルの attribute ディレクティブの type 属性で指定したクラスが見つかりませんでした。

対処

TLD ファイルの<type>要素または attribute ディレクティブの type 属性に定義したクラスの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39306-E

An exception aa....aa was raised in initialization of the attribute type bb....bb specified for the attribute cc....cc. (J2EE application = dd....dd, context root = ee....ee, tag name = ff....ff, tag library = gg....gg)

aa....aa：発生した例外名

bb....bb：この属性の型

cc....cc：この属性の名称

dd....dd：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

ee....ee：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

ff....ff：この属性を定義したカスタムタグの名称

gg....gg：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値または tagdir 属性の値(tagdir 属性の場合は次の書式で出力される。「tag library = urn:jsptagdir:<tagdir 属性の値>」)

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<tag><attribute><type>要素で指定したクラスまたはタグファイルの attribute ディレクティブの type 属性で指定したクラスのロードで例外が発生しました。

対処

TLD ファイルの<type>要素または attribute ディレクティブの type 属性で定義したクラスのロードで例外が発生した原因を取り除いてください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39307-E

The method aa....aa specified in the tag library descriptor could not be found. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, function name = dd....dd, function class = ee....ee, tag library = ff....ff)

aa....aa：TLD ファイルの<function-signature>要素で指定した関数

bb....bb：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

dd....dd：TLD ファイルの<function><name>要素に指定した function の名称

ee....ee：TLD ファイルの<function><function-class>要素で指定した function クラスの名称

ff....ff：この JSP ファイルまたはタグファイルの taglib ディレクティブの uri 属性値

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの<function-signature>要素で指定したメソッドが見つかりませんでした。

対処

TLD ファイルの<function-signature>要素に定義したクラスの実行に必要なクラスを Web アプリケーションに含めるようにしてください。また，クラスファイル，JAR ファイルが適切なアクセス権限となっているかを確認してください。与えられていない場合は適切なアクセス権限を設定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39308-E

An error occurred in analyzing the xml. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc, detail = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：該当ファイルのパス

dd....dd：発生したエラーの詳細情報

説明

該当する web.xml，またはタグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルの解析に失敗しました。

該当ファイルのパス cc....cc が次の形式で出力されます。

- Web アプリケーション内のファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイル内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

web.xml，または TLD ファイルの解析でエラーが発生した原因を取り除いてください。

発生したエラーの詳細には, KECX で始まるメッセージ ID のメッセージが出力されることがあります。KECX で始まるメッセージ ID のメッセージについては，「11. KECX（XML Processor が出力するメッセージ）」を参照してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用しており, かつ TLD ファイルを修正した場合, リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない，または Web アプリケーションのバージョンを変更した場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39309-E

The class file generated from the JSP file could not be found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, JSP file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：JSP ファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

JSP ファイルから生成されたクラスファイルが見つかりませんでした。

対処

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを使用した場合

JSP ファイルが存在しない場合は，JSP ファイルを追加し，Web アプリケーションを更新してください。

JSP ファイルが存在する場合は, JSP コンパイル時にエラーが発生しています。エラーの原因を取り除いたあと，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，追加または修正した JSP をコンパイルするか，または再度デプロイしてアプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイしてアプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを使用しない場合

JSP ワークディレクトリに JSP ファイルおよび JSP ファイルが参照するタグファイルから生成されたクラスファイルを追加し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合，JSP ファイルおよび JSP ファイルが参照するタグファイルから生成されたクラスファイルを追加するか再度デプロイを実行してください。

展開ディレクトリ形式のアプリケーションで J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合，アプリケーションを停止させ JSP ファイルおよび JSP ファイルが参照するタグファイルから生成されたクラスファイルを追加しアプリケーションを再度開始するか，再度デプロイを実行してください。

アーカイブ形式のアプリケーションの場合，再度デプロイを実行してください。

KDJE39310-I

The JSP reload processing will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, number of JSP files = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リロードを実行する JSP ファイルの数

説明

JSP のリロードを開始します。

複数の JSP ファイルを更新した場合，更新した JSP ファイルについて順次リロードを実行します。

KDJE39311-I

The JSP reload processing has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

説明

JSP のリロードを完了しました。

複数の JSP ファイルを更新した場合，複数の JSP ファイルについてリロードを実行しました。

KDJE39312-I

The JSP reload processing per JSP file will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：JSP 事前コンパイル機能を使用している場合は JSP ファイルから生成されたクラスファイルの絶対パス。JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合は JSP ファイルの絶対パス。

説明

JSP 事前コンパイル機能を使用している場合

JSP ファイルから生成されたクラスのリロードを開始します。

JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合

JSP ファイルの再コンパイルを開始します。

KDJE39313-I

The JSP instance was destroyed because the JSP file or the class file generated from the JSP file was removed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：JSP 事前コンパイル機能を使用している場合は JSP ファイルから生成されたクラスファイルの絶対パス。JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合は JSP ファイルの絶対パス。

説明

JSP 事前コンパイル機能を使用している場合

JSP ファイルから生成されたクラスファイルが削除されたため，JSP のインスタンスを解放しました。

JSP 事前コンパイル機能を使用していない場合

JSP ファイルが削除されたため，JSP のインスタンスを解放しました。

KDJE39314-W

The uri to the tag library descriptor mapping is invalid because an uri element is a duplicate of the other file. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, uri = cc....cc, valid TLD = dd....dd, invalid TLD = ee....ee)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：重複した uri

dd....dd：uri からのマッピングが有効な TLD ファイルの Web アプリケーション内のパス (ただし，JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合，次の書式で出力される。「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry = <JAR ファイル内のパス>)」)

ee....ee：uri からのマッピングが無効な TLD ファイルの Web アプリケーション内のパス (ただし，JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合，次の書式で出力される。「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry = <JAR ファイル内のパス>)」)

説明

J2EE サーバモード，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンドの場合

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルで記述した<uri>要素の内容が，web.xml の <taglib-uri>要素の内容，またはほかの TLD ファイルで記述した<uri>要素の内容と重複しているため，<uri>要素の内容と TLD ファイルのマッピングは無効となります。

cjjsp2java コマンドの場合

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルで記述した<uri>要素の内容が，コマンド引数-taglib に指定した uri の内容，またはほかの TLD ファイルで記述した<uri>要素の内容と重複しているため，<uri>要素の内容と TLD ファイルのマッピングは無効となります。

対処

J2EE サーバモード，サーブレットエンジンモード，または cjjspc コマンドの場合

TLD ファイルの<uri>要素は，web.xml に定義した内容およびほかの TLD ファイルと重複しない値を指定してください。

cjjsp2java コマンドの場合

TLD ファイルの<uri>要素は，コマンド引数-taglib に指定した uri の内容，およびほかの TLD ファイルと重複しない値を指定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39315-W

The uri to the tag library descriptor mapping is invalid because an uri element is a duplicate of the other file. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, uri = cc....cc, invalid TLD = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，cjjspc コマンド，または cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：重複した uri

dd....dd：uri からのマッピングが無効な TLD ファイルの Web アプリケーション内のパス (ただし，JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合，次の書式で出力される。「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry = <JAR ファイル内のパス>)」)

説明

タグライブラリ・ディスクリプタ(TLD)ファイルで記述した<uri>要素の内容が，ほかの TLD ファイルで記述した<uri>要素の内容と重複しているため，<uri>要素の内容と TLD ファイルのマッピングは無効となります。

対処

TLD ファイルの<uri>要素は，ほかの TLD ファイルと重複しない値を指定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39316-W

The taglib element in web.xml is invalid because a taglib-uri element is a duplicate of the other taglib element. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, taglib-uri element in the invalid taglib element = cc....cc, taglib-location element in the invalid taglib element = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードまたは cjjspc コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：無効となった<taglib>要素に含まれる<taglib-uri>要素の内容

dd....dd：無効となった<taglib>要素に含まれる<taglib-location>要素の内容

説明

web.xml に指定した<taglib>要素の内容は，重複する<taglib-uri>要素を持つほかの<taglib>要素が指定されているため無効となります。

対処

web.xml に定義する<taglib-uri>要素では，ほかの<taglib>要素で指定した<taglib-uri>要素と重複しない値を指定してください。

エラー個所を修正し，Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

再度デプロイを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39317-E

The JSP reload processing per JSP file has failed because a class file is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, class file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルの絶対パス

説明

JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイル，またはそのクラスが依存するクラスファイルが不正なためリロードに失敗しました。

対処

JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルが不正です。

Web アプリケーションに含まれるすべての JSP をコンパイルしてください。JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルはすべて含めるように Web アプリケーションを更新しリロードまたは再度デプロイを実行してください。

KDJE39318-I

The file used by the JSP file or the tag file was excluded from the update detection list. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：ファイルの絶対パス

説明

JSP ファイルまたはタグファイルによって使用されるファイルは，次の要因によって更新検知対象から除外されました。

- このファイルを使用していた JSP ファイルまたはタグファイルが更新され，このファイルは使用されなくなりました。さらに，このファイルに依存する JSP ファイルまたはタグファイルが，ほかにはありません。
- このファイル，またはこのファイルを使用していた JSP ファイルまたはタグファイルが更新されましたが，JSP ファイルまたはタグファイルがトランスレーションエラーになりました。さらに，このファイルに依存する JSP ファイルまたはタグファイルが，ほかにはありません。

KDJE39319-I

The class file generated from the tag file was excluded from the update detection list. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, class file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：クラスファイルの絶対パス

説明

タグファイルから生成されたクラスファイルは，次の要因によって更新検知対象から除外されました。

- このファイルを使用していた JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルが更新され，このファイルは使用されなくなりました。さらに，このファイルに依存する JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルが，ほかにはありません。
- このファイルを使用していた JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスのロードで，エラーが発生しました。さらに，このファイルに依存する JSP ファイルまたはタグファイルから生成されたクラスファイルが，ほかにはありません。

KDJE39320-I

The default encoding of web application is specified. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request = cc....cc, response = dd....dd, JSP file = ee....ee, extension = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエストボディおよびクエリのデコードに使用される文字エンコーディング（ユーザプロパティファイル，アプリケーション統合属性ファイルまたは WAR 属性ファイルに設定されていない場合は，空文字列）

dd....dd：レスポンスボディのエンコードに使用される文字エンコーディング（ユーザプロパティファイル，アプリケーション統合属性ファイルまたは WAR 属性ファイルに設定されていない場合は，空文字列）

ee....ee：JSP の文字エンコーディング（ユーザプロパティファイル，アプリケーション統合属性ファイルまたは WAR 属性ファイルに設定されていない場合は，空文字列）

ff....ff：デフォルトのレスポンス文字エンコーディングを適用する静的コンテンツの拡張子（静的コンテンツの拡張子が設定されていない場合，またはデフォルトのレスポンス文字エンコーディングが設定されていない場合は，空文字列）

説明

デフォルトエンコーディング設定機能が使用されました。

KDJE39321-W

The specified default encoding to J2EE server is not supported. (type = aa....aa, encoding = bb....bb)

aa....aa：デフォルトの文字エンコーディングの設定対象

request：リクエストボディおよびクエリ

response：レスポンスボディ

jsp：JSP ファイル

bb....bb：指定された文字エンコーディング

説明

指定された文字エンコーディングは，リクエストボディおよびクエリのデコード，レスポンスボディのエンコード，および JSP ファイルの文字エンコーディングとして使用できません。

指定された内容を無視して，J2EE サーバを開始します。

対処

指定された文字エンコーディングは，リクエストボディおよびクエリのデコード，レスポンスボディのエンコード，および JSP ファイルの文字エンコーディングとして使用できません。文字エンコーディングを見直してください。

指定可能な文字エンコーディングは，JavaVM がサポートしている文字エンコーディングです。
JavaVM がサポートしている文字エンコーディングについては，JDK ドキュメント内の「サポートされているエンコーディング」に従います。また，指定可能な文字列は「サポートされているエンコーディング」内の，「java.nio API 用の正準名」とその別名，および「java.io および java.lang API 用の正準名」とその別名です。

KDJE39322-W

The JSP debugging function is enabled.

説明

JSP デバッグ機能が有効です。

対処

JSP デバッグ機能は，次に示す性能に影響するので，実行環境では使用しないことを推奨します。

- Metaspace 領域の使用量が増加
- クラスロード時のパース処理が増加

KDJE39324-E

An attempt to output JSP debugging information has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

JSP デバッグ情報の作成に失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。

- class ファイルへ SMAP 情報を埋め込むためのディスク容量が足りなかった。
- ファイルシステムに障害が発生した。

要因を確認して対処してください。

KDJE39325-W

The uri in tag libraries specified Java EE specification cannot override the taglib element in web.xml or uri in tag library descriptor. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, uri = cc....cc, invalid TLD = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：重複した定義があった URI

dd....dd：URI からのマッピングが無効な TLD ファイルのパス

説明

Java EE 仕様で規定されたタグライブラリの URI は web.xml の<taglib>タグ, またはタグライブラリディスクリプタの<uri>タグの値で上書きできません。

Java EE 仕様で規定されているタグライブラリ（JSTL，JSF）は自動的に URI をマッピングします。

JSTL1.2 以降および JSF1.2 以降を使用する場合，TLD を別に配置する必要はありません。

URI からのマッピングが無効な TLD ファイルのパス dd....dd は次の形式で出力されます。

- web.xml に無効な定義がある場合
  無効となった<taglib>タグに含まれる<taglib-location>タグの値
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納されていない TLD ファイルに無効な定義がある場合
  Web アプリケーションのルートからのパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルに無効な定義がある場合
  Web アプリケーションのルートからのパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR に格納された TLD ファイルに無効な定義がある場合
  LIB（J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイル格納された TLD ファイルに無効な定義がある場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

JSTL1.2 以降および JSF1.2 以降を使用する場合，Web アプリケーション内，またはライブラリ JAR に配置した TLD を削除してください。

上記のバージョンと異なる JSTL および JSF を使用する場合，プロパティの設定，または cjjspc コマンドのオプションで Java EE 仕様で規定されたタグライブラリの自動的なマッピングを無効にしてください。

設定を変えたあと，次の操作で Web アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE サーバを再起動してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39326-W

The mapping for the URI that identifies the tag library descriptor in the library JAR file is invalid because the <uri> element is duplicated in other files. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, URI = cc....cc, valid TLD = dd....dd, invalid TLD = ee....ee)

aa....aa：J2EE サーバの場合は J2EE アプリケーション名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドの場合は空文字列

cc....cc：重複した URI

dd....dd：URI からのマッピングが有効な TLD ファイルのパス

ee....ee：URI からのマッピングが無効な TLD ファイルのパス

説明

ライブラリ JAR（cjjspc コマンドの場合はクラスパスに指定した JAR ファイル）内の TLD ファイルで記述した<uri>タグの内容が，web.xml の<taglib-uri>タグの内容，またはほかの TLD ファイルで記述した<uri>タグの内容と重複しているため，<uri>タグの内容と TLD ファイルのマッピングは無効となります。

URI からのマッピングが有効な TLD ファイルのパス dd....dd の書式

- Web アプリケーション内の TLD ファイルの場合
  Web アプリケーション内のパス
- Web アプリケーション内の JAR ファイルに格納された TLD ファイルの場合
  JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- ライブラリ JAR 内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドでクラスパスに指定した JAR ファイル内の TLD ファイルの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

URI からのマッピングが無効な TLD ファイルのパス ee....ee の書式

- J2EE サーバの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの J2EE アプリケーションのルートからのパス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）
- cjjspc コマンドの場合
  LIB（TLD ファイルが格納された JAR ファイルの絶対パス）（entry = <JAR ファイル内のパス>）

対処

TLD ファイルの<uri>タグは, web.xml に定義した内容およびほかの TLD ファイルと重複しない値を指定してください。

エラーを修正し，J2EE アプリケーションを更新してください。

J2EE サーバの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行して，このメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドの場合

再度コマンドを実行してください。

KDJE39327-E

A given class must not have more than one method annotated with aa....aa. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa："PostConstruct"または"PreDestroy"

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスは，PostConstruct または PreDestroy で注釈されたメソッドを複数持てません。

対処

J2EE アプリケーションを Java EE 仕様に従って修正してください。

KDJE39328-E

A method annotated with aa....aa must not have any parameters. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, class = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa："PostConstruct"または"PreDestroy"

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：クラス名

ee....ee：メソッド名

説明

PostConstruct または PreDestroy で注釈されたメソッドは，引数を取りません。

対処

J2EE アプリケーションを Java EE 仕様に従って修正してください。

KDJE39329-W

A method annotated with aa....aa must not throw checked exceptions. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, class = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa："PostConstruct"または"PreDestroy"

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：クラス名

ee....ee：メソッド名

説明

PostConstruct または PreDestroy で注釈されたメソッドは，検査例外をスローできません。

メソッドは動作しますが，Java EE 仕様に準拠していません。

警告が通知されたメソッドは，web.xml で定義されている場合があります。その場合，aa....aa が PostConstruct であれば<post-construct>タグ，aa....aa が PreDestroy であれば<pre-destroy>タグで定義されています。

対処

J2EE アプリケーションを Java EE 仕様に従って修正してください。

KDJE39330-W

A method annotated with aa....aa must not be declared as static. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, class = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa："PostConstruct"または"PreDestroy"

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：クラス名

ee....ee：メソッド名

説明

PostConstruct または PreDestroy で注釈されたメソッドは，static として宣言できません。

メソッドは動作しますが，Java EE 仕様に準拠していません。

警告が通知されたメソッドは，web.xml で定義されている場合があります。その場合，aa....aa が PostConstruct であれば<post-construct>タグ, aa....aa が PreDestroy であれば<pre-destroy>タグで定義されています。

対処

J2EE アプリケーションを Java EE 仕様に従って修正してください。

KDJE39331-W

The return type of a method annotated with aa....aa must be void. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, class = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa："PostConstruct"または"PreDestroy"

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：クラス名

ee....ee：メソッド名

説明

PostConstruct または PreDestroy で注釈されたメソッドの戻り値の型は，void でなければなりません。

メソッドは動作しますが，Java EE 仕様に準拠していません。

警告が通知されたメソッドは，web.xml で定義されている場合があります。その場合，aa....aa が PostConstruct であれば<post-construct>タグ, aa....aa が PreDestroy であれば<pre-destroy>タグで定義されています。

対処

J2EE アプリケーションを Java EE 仕様に従って修正してください。

KDJE39332-E

The specified value for the aa....aa tag in the web.xml is invalid. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, class = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa："post-construct"または"pre-destroy"

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：web.xml に指定したクラス名

ee....ee：web.xml に指定したメソッド名

説明

Deployment Descriptor の<post-construct>タグ, または<pre-destroy>タグに指定された値が不正です。

次の要因が考えられます。

- <lifecycle-callback-class>タグに指定したクラスが存在しない。
- <lifecycle-callback-method>タグに指定したメソッドが存在しない。または，メソッドは存在するが引数を取るメソッドである。

対処

web.xml の定義，または J2EE アプリケーションを修正してください。

KDJE39333-W

The number of lines in the method used to process a custom tag exceeded 1000. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc, tag = dd....dd, number of lines = ee....ee)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモード，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

bb....bb：J2EE サーバモードまたはサーブレットエンジンモードの場合はコンテキストルート名，cjjspc コマンドまたは cjjsp2java コマンドの場合は空文字列

cc....cc：この JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス，cjjsp2java コマンドでは JSP ファイルの絶対パス(ただし，JAR ファイルに格納されたタグファイルの場合，次の書式で出力されます。「JAR ファイルの Web アプリケーション内のパス(entry = <JAR ファイル内のパス>)」)

dd....dd：カスタムタグ名

ee....ee：生成されたタグファイルの処理用メソッドの空行やコメント行を含めた行数

説明

J2EE サーバモードまたは cjjspc コマンドの場合

JSP ファイルまたはタグファイル中のカスタムタグの処理用メソッドの行数がコメントおよび空行を含めて 1000 行を超えました。

サーブレットエンジンモードまたは cjjsp2java コマンドの場合

JSP ファイル中のカスタムタグの処理用メソッドの行数がコメントおよび空行を含めて 1000 行を超えました。

対処

Java 仮想マシン仕様から，1 メソッドのバイトコードは 64 キロバイト以内にする必要があります。64 キロバイトを超える場合は，クラスファイル生成時にエラーとなるか，クラスのロード時に java.lang.LinkageError 例外が発生します。

また，1 メソッドの大きさが 64 キロバイト以内であっても，非常に大きい場合は，次のような弊害が発生する可能性があります。

- GC 処理の実行に非常に時間が掛かる。
- JIT コンパイルに非常に時間が掛かる。
- JIT コンパイルに非常に多くのメモリを消費する。

そのため，Java ソース上の 1 メソッドの大きさは，コメントや空行を除き，およそ 500 行以内を推奨します。

カスタムタグから生成される Java コードの行数の縮小は，動的インクルード(インクルードアクション)によってカスタムタグを分割することで可能です。

KDJE39334-I

The version of the class file that was compiled from a JSP file or a tag file is different from the current version of the web application. As a result, the JSP file or tag file will be recompiled. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, web application version = cc....cc, file = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：実行する Web アプリケーションバージョン

dd....dd：JSP ファイルまたはタグファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成されたクラスファイルのバージョンが現在のバージョンと異なります。

JSP ファイルまたはタグファイルを再コンパイルします。

KDJE39335-I

The web application version was changed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, web.xml version = cc....cc, web application version = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：web.xml のバージョン

dd....dd：実行する Web アプリケーションバージョン

説明

Web アプリケーションバージョンを変更しました。

KDJE39336-E

The POST form data has exceeded the maximum size. (request URI = aa....aa, size of the post form data = bb....bb, max size of the post form data = cc....cc)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：POST フォームデータサイズ

cc....cc：POST フォームデータ最大サイズ

説明

クライアントから送信された POST リクエストのフォームデータが最大サイズを超えています。

Content-Type ヘッダの値が application/x-www-form-urlencoded の場合

- Content-Length ヘッダがあるとき
  クライアントにはステータスコード 413 のエラーが返されます。
- Content-Length ヘッダがなく，Transfer-Encoding ヘッダの値が chunked のとき
  Servlet API 呼び出しの延長で，java.lang.IllegalStateException がスローされます。bb....bb には，パラメタとして読み込んだ POST フォームデータサイズが出力されます。

Content-Type ヘッダの値が multipart/form-data の場合

Servlet API 呼び出しの延長で，java.lang.IllegalStateException がスローされます。bb....bb には，パラメタとして読み込んだ POST フォームデータサイズが出力されます。

対処

クライアントから送信された POST リクエストのフォームデータサイズが，Web アプリケーションの想定するサイズであるか確認してください。想定するサイズである場合，ユーザプロパティファイルの webserver.connector.limit.max_post_form_data キーの設定値（POST リクエストのフォームデータの最大サイズ）を適切な値に変更してください。POST リクエストのフォームデータ最大サイズを変更した場合は，J2EE サーバまたは Web コンテナサーバの再起動が必要となります。

KDJE39338-E

The name of the HTTP cookie showing the HTTP session ID is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, session tracking cookie name = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：HTTP セッションのセッション ID を示す HTTP Cookie の名称

説明

HTTP セッションのセッション ID を示す HTTP Cookie の名称が不正です。web.xml，または Servlet API で指定した HTTP セッションのセッション ID を示す HTTP Cookie の名称が，Cookie へのサーバ ID 付加機能で指定した Cookie の名称と重複しています。

対処

HTTP セッションのセッション ID を示す HTTP Cookie の名称と，Cookie へのサーバ ID 付加機能の Cookie の名称が重複しないように，どちらかの名称を変更してください。

KDJE39339-E

No servlet class has been specified. (J2EE application = aa....aa, context root name = bb....bb, servlet name = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：サーブレット名

説明

サーブレットクラスが指定されていないため，サーブレットを実行できません。

対処

web.xml の<servlet-class>要素にサーブレットクラスを指定してください。

KDJE39340-E

No filter class has been specified. (J2EE application = aa....aa, context root name = bb....bb, filter name = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：フィルタ名

説明

フィルタクラスが指定されていないため，フィルタを実行できません。

対処

web.xml の<filter-class>要素にフィルタクラスを指定してください。

KDJE39341-W

The request parameter count exceeded the maximum number. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URI = cc....cc, max parameter count = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URI

dd....dd：リクエストパラメタ数の上限値

説明

クライアントから送信されたリクエストのパラメタ数が上限値を超えました。

対処

クライアントから送信されたリクエストのパラメタ数が，ユーザプロパティファイルの webserver.connector.limit.max_parameter_count キーの設定値（リクエストパラメタ数の上限値）を超えていないか確認してください。使用するパラメタ数がリクエストパラメタ数の上限値を超えている場合，リクエストパラメタ数の上限値を適切な値に変更してください。リクエストパラメタ数の上限値を変更した場合は，J2EE サーバまたは Web コンテナサーバの再起動が必要となります。

KDJE39342-E

The request parameter count exceeded the maximum number. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, request URI = cc....cc, max parameter count = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：リクエスト URI

dd....dd：リクエストパラメタ数の上限値

説明

クライアントから送信された multipart/form-data リクエストの POST データに含まれるパラメタ数が上限値を超えたため，Part オブジェクトの取得処理を中断しました。

対処

クライアントから送信された multipart/form-data リクエストの POST データに含まれるパラメタ数が，ユーザプロパティファイルの webserver.connector.limit.max_parameter_count キーの設定値（リクエストパラメタ数の上限値）を超えていないか確認してください。使用するパラメタ数が，リクエストパラメタ数の上限値を超えている場合，リクエストパラメタ数の上限値を適切な値に変更してください。リクエストパラメタ数の上限値を変更した場合は，J2EE サーバまたは Web コンテナサーバの再起動が必要となります。

KDJE39500-E

An attempt to deploy the web application failed because the number of shared threads set for deployed web applications is less than one.

説明

Web アプリケーションのデプロイに失敗しました。

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数の設定が不正です。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数が 1 未満となるためデプロイに失敗しました。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数は 1 以上必要です。

対処

Web アプリケーション単位の共有スレッド数が 1 以上になるように設定してください。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数を増やすには，デプロイを行った Web アプリケーションの Web アプリケーション単位の占有スレッド数を減らしてください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

KDJE39501-E

An attempt to deploy the web application failed because the number of shared threads set for web applications to be deployed is less than one. (J2EE application = aa....aa, context root list = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Web アプリケーション単位の共有スレッド数が 1 未満となる Web アプリケーションのコンテキストルートのリスト

説明

Web アプリケーションのデプロイに失敗しました。

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数の設定または URL グループ単位の同時実行スレッド数の設定が不正です。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数が 1 未満となるためデプロイに失敗しました。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数は 1 以上必要です。

対処

Web アプリケーション単位の共有スレッド数が 1 以上になるように設定してください。アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数を増やすには，次の操作のどちらかを行ってください。

- メッセージに表示されていないコンテキストルート名の Web アプリケーションの Web アプリケーション単位の占有スレッド数を増やす。
- メッセージに表示されているコンテキストルート名の Web アプリケーションの URL グループ単位の占有スレッド数を減らす。

KDJE39502-E

An attempt to dynamically change the web application failed because the number of shared threads set for deployed web applications is less than one.

説明

Web アプリケーションの同時実行スレッド数制御の動的変更に失敗しました。

Web アプリケーション単位の同時実行スレッド数の設定が不正です。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数はが 1 未満となるためデプロイに失敗しました。

Web アプリケーション単位の共有スレッド数は 1 以上必要です。

対処

指定した Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数と占有スレッド数を見直してください。

設定変更後の Web アプリケーションの占有スレッド数を増加させる場合，Web アプリケーション単位の共有スレッド数が 1 以上必要です。

KDJE39503-W

The max threads limit of the URL group thread control set to the max threads limit of the web application thread control, because the web application was dynamically changed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, URL group thread control name = cc....cc, max threads = dd....dd, exclusive threads = ee....ee, a number of processing requests = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：URL グループ単位の定義名

dd....dd：URL グループ単位の最大同時実行スレッド数

ee....ee：URL グループ単位の占有スレッド数

ff....ff：URL グループ単位の現在実行中のリクエスト数

説明

Web アプリケーション単位の動的変更によって，URL グループ単位の最大同時実行スレッド数が Web アプリケーション単位の最大同時実行スレッド数で動作します。

対処

URL グループ単位の最大同時実行スレッド数を設定値で動作させる場合は，Web アプリケーションの動的変更で，Web アプリケーションの最大同時実行スレッド数を URL グループ単位の最大同時実行スレッド数以上にしてください。

KDJE39504-I

The max threads limit of the URL group thread control set to the set value, because the web application was dynamically changed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, URL group thread control name = cc....cc, max threads = dd....dd, exclusive threads = ee....ee, a number of processing requests = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：URL グループ単位の定義名

dd....dd：URL グループ単位の最大同時実行スレッド数

ee....ee：URL グループ単位の占有スレッド数

ff....ff：URL グループ単位の現在実行中のリクエスト数

説明

Web アプリケーション単位の動的変更によって，URL グループ単位の最大同時実行スレッド数が設定値で動作します。

KDJE39505-W

The exclusive threads for a URL group set for this web application cannot be used because the Web application was dynamically changed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション単位の動的変更によって，この Web アプリケーションに設定してある URL グループ単位の占有スレッド数が利用できません。

対処

URL グループ単位の占有スレッド数を利用する場合は，Web アプリケーションの動的変更で，Web アプリケーションの占有スレッド数を URL グループ単位の占有スレッド数の総和以上にしてください。また，Web アプリケーションの動的変更で占有スレッド数を増やす場合は，Web アプリケーション単位の共有スレッド数が 1 未満にならないようにしてください。

KDJE39506-I

The exclusive threads for a URL group set for this web application can be used because the Web application was dynamically changed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Web アプリケーション単位の動的変更によって，この Web アプリケーションに設定してある URL グループ単位の占有スレッド数が利用できます。

KDJE39507-E

The timeout occurred in sending the response data to the redirector. (redirector = aa....aa：bb....bb, container = cc....cc：dd....dd)

aa....aa：接続先であるリダイレクタの IP アドレス

bb....bb：接続先であるリダイレクタのポート番号

cc....cc：コンテナの IP アドレス

dd....dd：コンテナのポート番号

説明

リダイレクタへのレスポンス送信処理でタイムアウトが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

- Web サーバは正常に稼働しているかどうか。
- Web サーバまたは Web コンテナ間の通信路に問題はないかどうか。

KDJE39508-I

JSP precompilation has finished. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

JSP 事前コンパイルが完了しました。

KDJE39510-E

The JSP work directory can not be accessed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, directory = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：JSP ワークディレクトリの絶対パス

説明

JSP ワークディレクトリにアクセスできません。

対処

次のどちらかの問題が発生しています。発生している問題に応じて対処してください。

- ディレクトリへのアクセス権がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE39511-W

A reserved property value is specified. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：デフォルト値

説明

予約されたプロパティ値が設定されています。デフォルト値を使用します。

対処

JSP ワークディレクトリに指定する値は，大文字・小文字の区別なく，"lib"， "tags"， "classes"は使用できません。ユーザプロパティファイルの webserver.jsp.precompile.jsp_work_dir キーの設定値を確認して J2EE サーバを再起動してください。

KDJE39512-I

The JSP precompilation function is enabled. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

JSP 事前コンパイル機能が有効です。

KDJE39513-I

The max threads limit of the URL group thread control is set to aa....aa. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc, URL group thread control name = dd....dd, the configuration of max threads = ee....ee, a number of processing requests = ff....ff)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：URL グループ単位の最大同時実行スレッド数

cc....cc：J2EE アプリケーション名

dd....dd：コンテキストルート名

ee....ee：URL グループ単位の定義名

ff....ff：URL グループ単位の最大同時実行スレッド数の設定値

説明

コンテキストルートが aa....aa の URL グループ単位の最大同時実行スレッド数は（bb....bb）になりました。

URL グループ単位の最大同時実行スレッド数は，設定値の上限から，この Web アプリケーションの設定，または，ほかの Web アプリケーションの設定に依存し減少する場合があります。

現在実行中のリクエスト数が，最大同時実行スレッド数を超えている場合，実行中のリクエストの処理完了後に，現在の上限値に制御されます。

KDJE39514-W

Some threads have not finished. The web container is now waiting. (type = aa....aa, thread no = bb....bb)

aa....aa：機能の種類

bb....bb：処理中のスレッド数

説明

幾つかのスレッドがレスポンス送信を完了していません。

Web コンテナはスレッドが終了するまで待機します。

機能の種類には，使用する機能によって出力される文字が変わります。

inprocess：インプロセス HTTP サーバ使用時

ajp13： Web サーバ連携使用時

KDJE39515-I

The setting used to URL group thread control will now be applied to the web application to be deployed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, URL group thread control name = cc....cc, max threads = dd....dd, exclusive threads = ee....ee, queue size = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：URL グループ単位の定義名

dd....dd：URL グループ単位の最大同時実行スレッド数

ee....ee：URL グループ単位の占有スレッド数

ff....ff：URL グループ単位の実行待ちキューサイズ

説明

デプロイする Web アプリケーションに URL グループ単位の同時実行スレッド数制御の設定を適用します。

KDJE39516-W

The URL pattern bb....bb does not match the definition name aa....aa of a URL group. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd, URL group thread control name = ee....ee)

aa....aa：URL グループ単位の定義名

bb....bb：URL パターン

cc....cc：J2EE アプリケーション名

dd....dd：コンテキストルート名

ee....ee：URL グループ単位の定義名

説明

URL パターン bb....bb は URL グループ単位の定義名 aa....aa とマッピングされませんでした。

対処

指定された URL パターンは，URL マッピングの対象になりません。

URL グループ単位の同時実行スレッド数制御の設定を見直してください。

KDJE39517-E

An attempt to create the JSP work directory has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, directory = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：JSP ワークディレクトリの絶対パス

説明

JSP ワークディレクトリの作成に失敗しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。発生している問題に応じて対処してください。

- ディレクトリへのアクセス権がない。
- ディスクの空き容量が不足している。
- ファイルシステムに障害が発生した。
- JSP ワークディレクトリと同名のファイルが存在している。

KDJE39518-E

The java source file to be compiled was not found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：Java ソースファイルの絶対パス

説明

コンパイル対象となる JSP からトランスレーションされた Java ソースファイルが見つかりません。

対処

ファイルにアクセス権限が与えられていない可能性があります。

適切なアクセス権限を設定してください。

KDJE39519-E

The web.xml was not be found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

web.xml ファイルが見つかりません。

対処

WEB-INF/web.xml が含まれていない Web アプリケーションをデプロイしたか，Web アプリケーションのデプロイ先ディレクトリに該当する web.xml が存在しないか，またはアクセス権がない可能性があります。

WEB-INF/web.xml を読み込み可能な状態にしてください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合，再度コマンドを実行してください。

KDJE39520-E

An error occurred in while reading web.xml. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

web.xml の読み込み時にエラーが発生しました。

対処

次のどちらかの問題が発生しています。発生している問題に応じて対処してください。

- ファイルの読み取り権限がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度 cjjspc コマンドを実行してください。

KDJE39521-E

An error occurred while analyzing web.xml at line aa....aa. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：行番号

bb....bb：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

web.xml の解析中にエラーが発生しました。

対処

web.xml の行番号で示された個所を修正してください。

XML の書式，または内容が不正な場合，Web サーブレットログに「KDJE39308-E」のメッセージが出力されます。「KDJE39308-E」のメッセージが出力された場合，詳細情報を基に web.xml を修正してください。

また，タグの指定順序が XML のスキーマ定義に合っていない場合は，そのタグを含む終了タグの行番号が表示されることがあります。このため，行番号で示されるタグの指定順序が XML のスキーマ定義に合っているかどうかを確認してください。

J2EE サーバはアプリケーションのインポート時およびデプロイ時に web.xml を書き換えます。行番号は，web.xml を書き換えたあとの行番号となりますので，エラーの個所については，展開ディレクトリ形式を使用している場合アプリケーションディレクトリ以下のこの Web アプリケーションの web.xml を確認してください。アーカイブ形式のデプロイを使用している場合，エクスポートした EAR ファイルに含まれる web.xml を確認してください。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合は，再度コマンドを実行してください。

KDJE39522-E

The class file generated from the JSP file or the tag file can not be used because its version is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成されたクラスファイルのバージョンに矛盾があるため使用できません。

対処

Web アプリケーションバージョン変更機能を使用した場合は，cjjspc コマンドの-lowerversion オプションと J2EE サーバの webserver.application.lower_version キーの設定が同一かどうかを確認してください。設定が異なる場合は，cjjspc コマンドの-lowerversion オプションを J2EE サーバの設定に合わせて再度コンパイルするか，J2EE サーバの webserver.application.lower_version キーを cjjspc コマンドの-lowerversion オプションの設定に合わせて J2EE サーバを再起動してください。

Web アプリケーションバージョン変更機能を使用していない場合は，アプリケーションに含まれる JSP から生成されたクラスファイルをすべて再コンパイルする必要があります。

アプリケーション開始時にこのメッセージが出力された場合は，アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合は，-excludefile オプション，-excludelist オプション，および JSP 単体ファイルを指定しないで Web アプリケーション全体を再コンパイルしてください。

KDJE39523-E

JSP precompilation at application startup can not be executed because the JSP precompilation function is disable. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

JSP 事前コンパイル機能が無効のため，アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルは使用できません。

対処

J2EE サーバの起動モードがベーシックモードの場合, JSP 事前コンパイル機能は使用できません。ユーザプロパティファイルの ejbserver.server.j2ee.feature キーの設定値を確認してください。

KDJE39524-W

The JSP precompilation function is disable. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

JSP 事前コンパイル機能は無効です。

対処

J2EE サーバの起動モードがベーシックモードの場合, JSP 事前コンパイル機能は使用できません。ユーザプロパティファイルの ejbserver.server.j2ee.feature キーの設定値を確認してください。

KDJE39525-E

JSP precompilation has failed. Application startup will now stop. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

JSP 事前コンパイルに失敗しました。アプリケーションの起動を停止します。

対処

直前に出力されたエラーメッセージを確認して対処してください。

KDJE39526-E

An attempt to read the version information file has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：バージョン情報ファイルの絶対パス

説明

バージョン情報ファイルの読み込みに失敗しました。

対処

次のどちらかの問題が発生しています。発生している問題に応じて対処してください。

- ファイルへのアクセス権がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。

アプリケーション開始時にこのメッセージが出力された場合，アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合，-excludefile, -excludelist オプション，JSP 単体ファイルを指定しないで，Web アプリケーション全体を再コンパイルしてください。

KDJE39527-E

An attempt to create the version information file has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：バージョン情報ファイルの絶対パス

説明

バージョン情報ファイルの作成に失敗しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。発生している問題に応じて対処してください。

- ファイルへのアクセス権がない。
- ディスクの空き容量が不足している。
- ファイルシステムに障害が発生した。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行した場合，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合，-excludefile, -excludelist オプション，JSP 単体ファイルを指定しないで，Web アプリケーション全体を再コンパイルしてください。

KDJE39528-I

JSP precompilation will now start. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

JSP 事前コンパイルを開始しました。

KDJE39529-W

A directory could not be accessed during a search for a JSP file. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, directory = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：アクセスできなかったディレクトリの絶対パス

説明

JSP ファイルの検索中にディレクトリにアクセスできませんでした。このディレクトリに含まれる JSP ファイルはコンパイルの対象外とし，処理を続行します。

対処

次のどちらかの問題が発生しています。対処が必要であるかどうかを確認し，必要であれば発生している問題に応じて対処してください。コンパイルに必要なファイルが存在する場合は，JSP 事前コンパイルを再度実行してください。

- ファイルへのアクセス権がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE39530-E

An unexpected error occurred. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, message = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：例外メッセージ

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

例外メッセージから問題がないかを確認してください。

問題がない場合，保守員に連絡してください。

KDJE39531-E

The contents of the version information file are invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：バージョン情報ファイルの絶対パス

説明

バージョン情報ファイルの内容が不正です。バージョン情報ファイルが壊れているか，不正な文字列が含まれている可能性があります。

対処

アプリケーション開始時にこのメッセージが出力された場合，アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合，-excludefile，-excludelist オプション，JSP 単体ファイルを指定しないで，Web アプリケーション全体を再コンパイルしてください。

KDJE39532-W

The url-pattern element in web.xml contains the carriage return or line feed character. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, element body = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：<url-pattern>要素に指定された内容

説明

web.xml に定義された<url-pattern>要素の内容に改行コード(CR(#xD)，または LF(#xA))が含まれています。<url-pattern>要素に指定する内容に改行コードを含めることはできません。この要素が示す定義は無効となります。cc....cc の内容では改行コードを除外して表示します。

対処

該当する要素の内容を修正し，アプリケーションを再デプロイしてください。アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合は，再度コマンドを実行してください。

KDJE39533-E

The version information file does not exist. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

JSP ワークディレクトリが存在していますが，JSP ワークディレクトリ下にバージョン情報ファイルが存在しません。

対処

アプリケーション開始時にこのメッセージが出力された場合は，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合は，-excludefile, -excludelist オプション，JSP 単体ファイルを指定しないで，Web アプリケーション全体を再コンパイルしてください。

なお，Windows の場合，アクセス権がないときにも，このメッセージが出力されます。

KDJE39534-E

An error occurred during Dependency Injection. Initialization of the web application will be stopped. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

Dependency Injection 処理でエラーが発生しました。

Web アプリケーションの初期化を中止します。

対処

このメッセージの直前に Dependency Injection 処理のエラーメッセージがメッセージログに出力されます。確認して対処してください。

エラー個所を修正し，再度デプロイを実行してください。

KDJE39535-E

An attempt to create the lock file has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：ロックファイルの絶対パス

説明

ロックファイルの作成中にエラーが発生しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。発生している問題に応じて対処してください。

- JSP ワークディレクトリへのアクセス権がない。
- ロックファイルへのアクセス権がない。
- ディスクの空き容量が不足している。
- ファイルシステムに障害が発生した。

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してこのメッセージが出力された場合，再度アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイルを実行してください。

cjjspc コマンドを実行した場合，-excludefile, -excludelist オプション，JSP 単体ファイルを指定しないで，Web アプリケーション全体を再コンパイルしてください。

KDJE39536-E

JSP precompilation is being executed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

アプリケーション開始時の JSP 事前コンパイル，または cjjspc コマンドが実行中です。

対処

実行中の JSP 事前コンパイルが完了したあとに，JSP 事前コンパイルを再実行してください。

KDJE39537-W

An attempt to delete the lock file has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：ロックファイルの絶対パス

説明

ロックファイルの削除に失敗しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。

- すでに別プロセスで JSP 事前コンパイルが実行されている。
- ファイルを削除する権限がない。
- ファイルがオープンされている。
- ファイルシステムに障害が発生した。

すでに別プロセスで JSP 事前コンパイルが実行されている場合は問題ありません。ほかに JSP 事前コンパイルを実行していないにもかかわらず，このメッセージが出力されている場合は，発生している問題に応じて対処してください。

KDJE39538-E

An attempt to delete a java source file generated from the JSP file or the tag file has failed. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：JSP ファイルまたはタグファイルから生成された Java ソースファイルの絶対パス

説明

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成された Java ソースファイル（aa....aa）の削除時に，エラーが発生しました。

対処

JSP ファイルまたはタグファイルのコンパイルで生成された Java ソースファイルの削除時に発生したエラーの原因を対処し，JSP 事前コンパイルを再実行してください。

エラーの原因として，次の原因が考えられます。

- ファイルを削除する権限がない。
- ファイルをオープンしている。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE39539-W

An invalid property is specified. The default property will be used. (invalid property = aa....aa, value = bb....bb, default property = cc....cc, value = dd....dd)

aa....aa：不正な値が設定されているプロパティ名

bb....bb ：不正な値

cc....cc：デフォルトプロパティ名

dd....dd：設定する値

説明

プロパティ(aa....aa)に設定されている値 bb....bb が不正です。

デフォルトプロパティ(cc....cc)に設定されている値(dd....dd)を使用します。デフォルトプロパティに値が設定されていない場合はデフォルトプロパティのデフォルト値を使用します。

対処

aa....aa のプロパティをデフォルトプロパティに設定されている値から変更する場合は, aa....aa のプロパティ値を修正して，Web コンテナサーバまたは J2EE サーバを，停止または再起動してください。

KDJE39540-I

aa....aa JSP files will be compiled. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：コンパイル対象の JSP ファイル数

bb....bb：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

cc....cc：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

コンパイル対象とする JSP ファイル数を表示します。

KDJE39541-I

JSP file does not exists. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

bb....bb：コンテキストルート名(cjjspc コマンドの場合は空文字列)

説明

コンパイル対象の JSP ファイルはありません。

KDJE39542-E

An exception was raised in executing the request to the static content. (request URL = aa....aa, exception = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：リクエスト URL

bb....bb：例外名

cc....cc：例外の詳細メッセージ

説明

静的コンテンツへのリクエストでエラーが発生しました。

エラーの要因には次の要因が考えられます。

- 静的コンテンツが削除されている。

- OS のリソースを消費し，静的コンテンツを開けない。
- ファイルに対するアクセス権がないためコンテンツにアクセスできない。
- ファイルシステムに障害が発生した。

対処

次のどれかの問題が発生しています。発生している問題に応じて対処してください。

- 静的コンテンツが削除されています。

J2EE サーバモードの場合

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用している場合は，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

J2EE アプリケーションのリロード機能を使用していない場合は，再度デプロイを実行してください。

サーブレットエンジンモードの場合

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用している場合，リロードまたは再度デプロイを実行してください。

アプリケーションの更新検知とリロード機能を使用していない場合，再度デプロイを実行してください。

- 静的コンテンツに対するアクセス権がありません。
  適切なアクセス権を設定してください。
- システムのリソースが不足しているかファイルシステムに障害が発生しています。
  OS のシステムリソースの使用状況およびファイルシステムの問題を特定し対処してください。

KDJE39543-E

An unexpected exception was raised in the web application reload processing. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, exception = cc....cc, detail = dd....dd)

aa....aa：J2EE サーバモードの場合は J2EE アプリケーション名，サーブレットエンジンモードの場合は空文字列

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：例外名

dd....dd：例外の詳細メッセージ

説明

Web アプリケーションのリロード処理で予期しない例外が発生しました。

対処

java.lang.OutOfMemoryError が発生している場合はメモリが不足しています。システムが利用できるメモリ使用量を増やして，J2EE サーバまたは Web コンテナサーバを再起動してください。

java.lang.OutOfMemoryError 以外が発生している場合は保守情報を取得し保守員に連絡してください。

KDJE39544-I

The id attribute of a useBean action has been specified more than once. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, file = cc....cc(dd....dd,ee....ee), id = ff....ff)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（cjjspc コマンドの場合は空文字列）

bb....bb：コンテキストルート名（cjjspc コマンドの場合は空文字列）

cc....cc：JSP ファイルの Web アプリケーション内のパス

dd....dd：JSP ファイル中の useBean アクションの行数

ee....ee：JSP ファイル中の useBean アクションのカラム

ff....ff：useBean アクションの id 属性名

説明

useBean アクションの id 属性が重複しています。

KDJE39546-W

Invalid locale was detected in the Accept-Language header. This locale was ignored. (request uri = aa....aa, locale = bb....bb)

aa....aa：リクエスト URI

bb....bb：不正なロケール

説明

Accept-Language ヘッダに不正なロケールを検出しました。不正なロケールは無視します。

KDJE39547-E

There is a problem in the JAX-WS settings. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

説明

JAX-WS の設定に問題があります。

対処

Web アプリケーションの初期化を中止します。

JAX-WS のドキュメントを見て，次の設定を見直したあと，再度デプロイを実行してください。

- webserver.container.jaxws.webservice.no_webxml.enabled プロパティ
- webserver.container.jaxws.webservice.wsee.no_webxml.enabled プロパティ
- usrconf.cfg の JAX-WS のライブラリの設定

KDJE39548-E

Processing of a JAR file failed during the scanning of a aa....aa. (JAR file = bb....bb, context root = cc....cc, message = dd....dd)

aa....aa：静的リソース（Static Resource）または ServletContainerInitializer

bb....bb：JAR ファイルのパス

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：例外メッセージ

説明

静的リソースまたは ServletContainerInitializer の実装クラスを検索する際に，JAR ファイルの処理に失敗しました。

対処

指定した JAR ファイルが壊れていないか，静的リソースや ServletContainerInitializer の実装クラスが読めるかどうかを確認してください。

KDJE39549-W

While searching for a class that extends or implements a class specified in the HandlesTypes annotation, or a class that has the annotation specified in the HandlesTypes annotation, the class or another class failed to load. (class name = aa....aa, message = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外メッセージ

説明

ServletContainerInitializer インタフェースの HandlesTypes アノテーションで指定したクラスを継承（extends）もしくは実装（implements）したクラス，または HandlesTypes アノテーションで指定したアノテーションを付けているクラスを検索しようとして，クラスのロードに失敗しました。このクラスは無視されます。

対処

該当するクラスやそのクラスのロードに必要なクラスが Web アプリケーションに含まれているかどうかを確認してください。

KDJE39550-E

Static content cannot be scanned because the syntax of the specified JAR file is invalid. (JAR file = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：JAR ファイルのパス

bb....bb：コンテキストルート名

説明

指定された JAR ファイルは構成が正しくないため，静的コンテンツを検索できません。

対処

JAR ファイルが正しく作成されているかどうかを確認してください。

KDJE39551-W

Processing of a JAR file that includes static content failed. (JAR file = aa....aa, message = bb....bb)

aa....aa：JAR ファイルのパス

bb....bb：例外メッセージ

説明

静的コンテンツを含む JAR ファイルの処理に失敗しました。

対処

JAR ファイルが正しく作成されているかどうかを確認してください。

KDJE39552-W

A aa....aa cannot be added because it is already registered. The aa....aa will be ignored. (aa....aa name = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：サーブレットまたはフィルタ

bb....bb：サーブレット名またはフィルタ名

cc....cc：コンテキストルート名

説明

サーブレットまたはフィルタはすでに登録されているため，追加できません。このサーブレットまたはフィルタは無視されます。

対処

すでに同じ名前でサーブレットまたはフィルタが登録されていないかどうかを確認してください。

KDJE39553-W

The specified JAR file, which contains a ServletContainerInitializer interface class, was not found in the list of include files. (file = aa....aa)

aa....aa：JAR ファイル名の絶対パス

説明

インクルードファイルリストで指定した ServletContainerInitializer の JAR ファイルが見つかりません。

対処

指定したパスに JAR ファイルがあるかどうかを確認してください。ない場合は JAR ファイルを格納してください。

KDJE39554-W

The specified JAR file, which contains a ServletContainerInitializer interface class, was not found at the class path. (file = aa....aa)

aa....aa：JAR ファイル名の絶対パス

説明

インクルードファイルリストで指定した ServletContainerInitializer の JAR ファイルがクラスパスの中に見つかりません。

対処

クラスパスに JAR ファイルがあるかどうかを確認してください。

KDJE39555-W

The url pattern contains the carriage return or line feed character. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, urlPattern = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション

bb....bb：コンテキストルート

cc....cc：URL パターンの指定値

説明

動的サーブレット定義における URL パターンの指定値に改行コード(CR(#xD)，または LF(#xA))が含まれています。URL パターンに指定する内容に改行コードを含めることはできません。

この定義は無効となります。

cc....cc の内容では改行コードを除外して表示します。

対処

該当する URL パターンの内容を修正し，アプリケーションを再デプロイしてください。

KDJE39556-W

This application contains a JAR file with static content in the META-INF/resources directory. The static content was not reloaded. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション

bb....bb：コンテキストルート

説明

アプリケーションが META-INF/resources に静的コンテンツ（JSP も含む）を持つ JAR ファイルを含んでいる場合，JAR ファイルを更新してリロードしても，JAR ファイルの META-INF/resources に含まれる静的コンテンツは更新前のものにしかアクセスできません。

対処

JAR ファイルの META-INF/resources の静的コンテンツを更新したい場合，アプリケーションを停止後，再度デプロイを実施してください。

KDJE39557-W

This application includes a class that implements the ServletContainerInitializer interface. The reload function is not supported for this application. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション

bb....bb：コンテキストルート

説明

ServletContainerInitializer インタフェースの実装クラスを含むアプリケーションに対するリロード機能はサポートされません。リロードした場合の J2EE サーバの動作は保証されません。リロードしないでください。

対処

J2EE サーバを停止後，再起動してください。

注意事項

09-00-02 以降のバージョンでは，このメッセージは出力されません。

KDJE39558-W

This application includes servlet, filter, or listener classes added by the program. The reload function is not supported for this application. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション

bb....bb：コンテキストルート

説明

動的サーブレット定義によって追加された Servlet/Filter/Listener クラスを含むアプリケーションに対するリロード機能はサポートされません。リロードした場合の J2EE サーバの動作は保証されません。リロードしないでください。

対処

J2EE サーバを停止後，再起動してください。

注意事項

09-00-02 以降のバージョンでは，このメッセージは出力されません。

KDJE39559-W

An invalid character is used for configuring SessionCookieConfig. This configuration may cause improper behavior for session. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：設定項目

bb....bb：設定値

説明

SessionCookieConfig の設定に不正な文字を使用しています。この設定はセッションの不正な動作の原因になることがあります。

対処

該当する項目について，正しい文字を使用してください。

KDJE39560-I

The property is not specified. The default value will be used. (property = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティが指定されていません。デフォルト値を使用します。

対処

aa....aa のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，aa....aa のプロパティを追加し，プロパティ値を設定して，Web コンテナサーバまたは J2EE サーバを停止もしくは再起動してください。

KDJE39900-I

The response compression function will be applied. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

説明

レスポンス圧縮機能を有効にします。

KDJE39901-I

The response compression rule aa....aa will be applied to the response of a request which matches the URL pattern bb....bb. (J2EE application = cc....cc, context root = dd....dd, compression rule name = ee....ee)

aa....aa：レスポンス圧縮規則

bb....bb：URL パターン

cc....cc：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

dd....dd：コンテキストルート名

ee....ee：レスポンス圧縮規則名

説明

URL パターン bb....bb と一致するリクエストに，レスポンス圧縮規則 aa....aa が適用されます。

KDJE39902-E

The URL pattern of the initialization parameter of the filter used for the response compression function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, init param = cc....cc, url pattern = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化パラメタ名

dd....dd：指定された URL パターン

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定された URL パターンに誤りがあります。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）のレスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定された URL パターンを修正して，再度デプロイしてください。

KDJE39903-E

The compression rule name of the initialization parameter of the filter used for the response compression function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, init param = cc....cc, compression rule name = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化パラメタ名

dd....dd：指定されたレスポンス圧縮規則名

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定されたレスポンス圧縮規則名に誤りがあります。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）のレスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定されたレスポンス圧縮規則名を修正して，再度デプロイしてください。

KDJE39904-E

The compression rule name of the initialization parameter of the filter used for the response compression function is not found. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, init param = cc....cc, compression rule name = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化パラメタ名

dd....dd：指定されたレスポンス圧縮規則名

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定されたレスポンス圧縮規則名が見つかりません。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）のレスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定されたレスポンス圧縮規則名を設定して，再度デプロイしてください。

KDJE39905-E

The compression rule of the initialization parameter of the filter used for the response compression function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, init param = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化パラメタ名

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定されたレスポンス圧縮規則に誤りがあります。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）のレスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定されたレスポンス圧縮規則を修正して，再度デプロイしてください。

KDJE39906-E

The compression threshold of the initialization parameter of the filter used for the response compression function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, init param = cc....cc, compression threshold = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化パラメタ名

dd....dd：指定された圧縮しきい値

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定されたレスポンス圧縮しきい値に誤りがあります。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）のレスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定された圧縮しきい値を修正して，再度デプロイしてください。

KDJE39907-W

The same media type has been specified more than once in the initialization parameters of the filter used for the response compression function. The compression threshold specified last will be applied. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, init param = cc....cc, media type = dd....dd, compression threshold = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：初期化パラメタ名

dd....dd：指定されたメディアタイプ

ee....ee：有効となる圧縮しきい値

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに，同じメディアタイプが複数指定されています。最後に指定された圧縮しきい値が有効になります。

KDJE39908-E

The url-mapping of the initialization parameter of the filter used for the response compression function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定された url-mapping パラメタの値に誤りがあります。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）のレスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定された url-mapping の値を修正して，再度デプロイしてください。

KDJE39909-E

An error occurred in acquisition of the buffer area for compression. (request URL = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URL

説明

レスポンス圧縮機能用のバッファ領域の確保でエラーが発生しました。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。システムが利用できるメモリ使用量を確保して再起動してください。要因として，レスポンス圧縮機能用フィルタの初期化パラメタに指定された圧縮しきい値が大き過ぎることが考えられます。

KDJE39910-I

The response will be compressed. (request URL = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URL

説明

レスポンスが圧縮されます。

KDJE39911-W

The response will not be compressed. (request URL = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URL

説明

javax.servlet.ServletResponse の getOutputStream メソッドによって取得した ServletOutputStream，または getWriter メソッドによって取得した PrintWriter を使用して HTTP レスポンスのバッファにデータを書き出している状態で，レスポンス圧縮規則に指定された Media-Type がレスポンスに設定されました。レスポンスは圧縮されません。

対処

レスポンスを圧縮する場合は，HTTP レスポンスのバッファにデータを書き出していない状態で setContentType メソッドを呼び出し，レスポンス圧縮規則に指定された Media-Type をレスポンスに設定してください。

KDJE39912-I

The default response compression rule aa....aa will be applied to all responses. (J2EE application = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：デフォルト値

bb....bb：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

cc....cc：コンテキストルート名

説明

デフォルトのレスポンス圧縮規則 aa....aa がすべてのレスポンスに適用されます。

KDJE39913-E

The filter name of the filter for the response compression function is invalid. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, filter name = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名（J2EE サーバモードの場合）または空文字（サーブレットエンジンモードの場合）

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：指定されたフィルタ名称

説明

レスポンス圧縮機能用フィルタのフィルタ名称に誤りがあります。

対処

Deployment Descriptor（web.xml）のレスポンス圧縮機能用フィルタのフィルタ名称に指定されたフィルタ名称を修正して，再度デプロイしてください。

7.3　KDJE40000 から KDJE49999 までのメッセージ

KDJE40000 から KDJE49999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJE40000-E

An old version's server having the same name has been set up. The migration should be performed using the cjenvupdate command.

説明

旧バージョンで，同じ名称のサーバがセットアップ済みです。cjenvupdate コマンドで環境を移行してください。

対処

cjenvupdate コマンドで，環境を移行してください。

KDJE40001-I

The setup for the J2EE server has finished successfully. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバ（aa....aa）のセットアップが正常に終了しました。

KDJE40002-E

The J2EE server has not been set up. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバ（aa....aa）がセットアップされていません。

対処

cjsetup コマンドを実行して，サーバをセットアップしてください。

KDJE40003-E

The setup for the J2EE server has failed. Server name = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：サーバ名

bb....bb：エラー内容

説明

J2EE サーバ（aa....aa）のセットアップに失敗しました。

対処

エラーの内容によって対処してください。

Already been set up

すでに指定されたサーバ名でセットアップされています。J2EE サーバを再セットアップする場合は，「cjsetup -d サーバ名」でサーバをいったん削除してから，再度セットアップコマンドを実行してください。

Invalid server name

不正なサーバ名が指定されています。サーバ名には，マニュアル「アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド」を参照して見積もった範囲内で，半角英数字，アンダースコア（_），ハイフン（-）が使用できます。サーバ名の先頭の文字は英数字でなければなりません。

Not supported edition

バッチサーバをサポートする Application Server，Developer のエディションで実行してください。

*******の場合**

直前に出力されたメッセージに従って，対処してください。

KDJE40004-E

aa....aa is too long: bb....bb

aa....aa：対象種別

bb....bb：対象名

説明

対象種別が「path name」の場合，対象名までのパス，または対象名の定義に指定されているパスが長過ぎます。

対処

対象種別が「path name」，対象名が「ejb.server.log.directory」，または「web.server.log.directory」の場合，パスの長さが 200 バイト以下になるようにしてください。

対象種別が「path name」，対象名が上記以外の場合は，パスの長さが OS の MAX_PATH 長以下になるようにしてください。

KDJE40005-W

The specified value is invalid. The sleep processing will be performed with the default value(10 seconds).

説明

指定された値は不正な値です。スリープ処理は，デフォルトの値（10 秒）で実行されます。

対処

デフォルトの値（10 秒）で問題がある場合は，正しい値を指定してください。

KDJE40006-I

Usage: cjsleep sleepTime

説明

cjsleep コマンドの使用方法です。

KDJE40007-E

The system setting files aa....aa were not found. There is a possibility that the files are not installed properly, were removed or have permission problems. Reason = bb....bb

aa....aa：パス名

bb....bb：理由

説明

システム設定ファイルが見つからない，または読み込みに失敗しました。

対処

再インストールするか，またはファイルの権限を見直してください。

KDJE40008-E

The file could not be copied from "aa....aa" to "bb....bb" because of the reason cc....cc. Check the file status.

aa....aa：コピー元ファイル名

bb....bb：コピー先ファイル名

cc....cc：詳細情報

説明

ファイルのコピーに失敗しました。

対処

詳細情報を基に，コピーに失敗した要因を取り除いたあと，再度コマンド実行してください。

KDJE40010-I

Processing will wait for aa....aa seconds.

aa....aa：数値

説明

cjsleep コマンドのスリープ時間です。

KDJE40011-I

Usage: cjstartsv [serverName] [-nosecurity] [-nostartapp]

説明

cjstartsv コマンドの使用方法です。

KDJE40012-I

Usage: cjstopsv [serverName] [-f | -fd [ThreadDumpInterval ThreadDumpCount]] [-wait [waitTime]]

説明

cjstopsv コマンドの使用方法です。

KDJE40013-I

Start Time: aa....aa

Server Name: bb....bb

Server Version: cc....cc(dd....dd)

Process ID:ee....ee

aa....aa：開始時刻

bb....bb：サーバ名

cc....cc：バージョン

dd....dd：ビルド日付

ee....ee：プロセス ID

説明

サーバの起動開始時刻（aa....aa），サーバ名（bb....bb），バージョン（cc....cc），ビルド日付（dd....dd），およびプロセス ID（ee....ee）を表示します。

KDJE40014-E

The specified value for the aa....aa option is invalid.

aa....aa：オプション名

説明

オプションの指定値に誤りがあります。

対処

マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編」を参照してください。

KDJE40016-E

An error has occurred in the internal function. (aa....aa)(errno = bb....bb)

aa....aa：関数名

bb....bb：詳細情報

説明

関数（aa....aa）でエラーが発生しました。

対処

J2EE サーバの起動時にこのメッセージが出力されてサーバが停止する場合，ログの出力先ディレクトリに書き込み権限がない可能性があります。ログの出力先ディレクトリの権限を見直してください。

権限を見直しても解決できない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE40017-E

A memory shortage occurred. (aa....aa)(errno = bb....bb)

aa....aa：関数名

bb....bb：詳細情報

説明

関数（aa....aa）でメモリ確保に失敗しました。

対処

空きメモリを増やしたあと，再度コマンドを実行してください。

KDJE40018-E

aa....aa was not found. (errno = bb....bb)

aa....aa：共用ライブラリ名

bb....bb：詳細情報

説明

共用ライブラリ（aa....aa）が見つかりませんでした。

対処

共用ライブラリがインストールされているかどうかを確認してください。

KDJE40019-E

The library of Java(TM) VM cannot be loaded. (errno = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

JavaVM のライブラリが読み込めませんでした。

対処

共用ライブラリのアクセス権限を見直してください。

KDJE40020-W

An invalid value was specified for the jvm.type key of the usrconf.cfg. aa....aa will be used.

aa....aa：サーバ起動時に使用される JavaVM（Java HotSpot Server VM または Java HotSpot Client VM）

説明

ユーザ指定された JavaVM のタイプに誤りがあるため, 検索して見つかった aa....aa を使用してサーバを起動します。

対処

usrconf.cfg の jvm.type に正しい値を指定してください。

KDJE40021-E

Invalid Java(TM) VM.

説明

Component Container が前提とする Java ではありません。

対処

Java のバージョンを確認してください。

KDJE40022-E

Initialization error of Java(TM) VM.

説明

JavaVM の初期化に失敗しました。

対処

このメッセージの直前に"Unrecognized VM option '<オプション名>'"メッセージが出力されている場合は，このサーバの usrconf.cfg に定義している add.jvm.arg の指定値を見直してください。

なお，"Unrecognized VM option"メッセージは標準エラー出力だけに出力されます。

直前に"Unrecognized VM option"メッセージが出力されていない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE40023-E

An attempt to open aa....aa has failed. (errno = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイル（aa....aa）のオープンに失敗しました。

対処

該当するファイルの有無，アクセス権を確認してください。

KDJE40024-E

The directory cannot be accessed. (aa....aa)

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（aa....aa）が存在しないか，または書き込み権限がありません。

対処

ディレクトリの有無，およびアクセス権を確認してください。

KDJE40025-E

The current working directory of the process cannot be changed. (aa....aa)

aa....aa：ディレクトリ名

説明

カレントワーキングディレクトリを，aa....aa に変更できませんでした。

対処

ディレクトリの有無，およびアクセス権を確認してください。

KDJE40026-I

The deletion of the J2EE server has completed successfully. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバ（aa....aa）のアンセットアップが正常に終了しました。

KDJE40027-I

Usage: cjsetup [-d serverName | serverName | -batch serverName]

説明

cjsetup コマンドの使用方法です。

KDJE40028-E

The deletion of the J2EE server has failed. Server name = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：サーバ名

bb....bb：エラー内容

説明

J2EE サーバ（aa....aa）のアンセットアップに失敗しました。

対処

エラーの内容によって対処してください。

Server is not found

存在していないサーバ名を指定しています。

Deletion of file failed

ファイルが削除できません。削除対象のファイルにアクセスしていないか，または削除するファイルが読み取り専用でないかどうかを確認してください。

Invalid server name

不正なサーバ名が指定されています。サーバ名には，マニュアル「アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド」を参照して見積もった範囲内で，半角英数字，アンダースコア（_），ハイフン（-）が使用できます。サーバ名の先頭の文字は英数字でなければなりません。

*****

直前に出力されたメッセージの ID に従い，次の対処をしてください。

- KDJE40016-E の場合
  保守員に連絡してください。
- KDJE40035-E の場合
  J2EE サーバは起動中です。
  J2EE サーバを停止してから，再度アンセットアップを実行してください。

KDJE40029-E

The directory aa....aa was not found.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（aa....aa）が見つかりません。

対処

Component Container が正常にインストールされているかどうかを確認してください。

KDJE40030-I

Usage: cjdumpsv [serverName]

説明

cjdumpsv コマンドの使用方法です。

KDJE40031-E

The aa....aa server was not found.

aa....aa：サーバ種別（J2EE：J2EE サーバ，または Web container：WEB コンテナサーバ）

説明

J2EE サーバ，または Web コンテナサーバが見つかりませんでした。

対処

サーバが起動されているかどうかを確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE40032-E

The policy file cannot be accessed: aa....aa

aa....aa：アクセスできなかったポリシーファイル名

説明

ポリシーファイル（aa....aa）にアクセスできません。

対処

該当ポリシーファイルの有無，アクセス権を確認してください。

KDJE40033-E

A timeout has occurred during waiting for the response of the shutdown request from the J2EE server.

説明

J2EE サーバから終了要求に対する応答がありません。

対処

J2EE サーバのログを見て，要因を解決してください。

KDJE40034-E

An error has occurred in the J2EE server.

説明

終了を受け付けた J2EE サーバでエラーが発生しました。

対処

J2EE サーバのログを見て，要因を解決してください。

KDJE40035-E

The J2EE server has already been started.

説明

J2EE サーバはすでに開始されているため，開始要求を破棄しました。

対処

J2EE サーバが起動中かどうかを確認してください。

起動している J2EE サーバが正しい運用方法で起動されている場合，そのままご利用ください。

誤って起動されている場合は，必要に応じて再起動してください。

KDJE40036-E

The J2EE server could not be shutdown. Reason = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

詳細情報（aa....aa）に示す理由によって，J2EE サーバを停止できませんでした。

対処

詳細情報に応じて，次の対処をしてください。

The server shutdown is in progress.

J2EE サーバはすでに停止処理中です。終了を待ってください。

Permission denied.

J2EE サーバを Management Server によって起動している場合は, Management Server から停止してください。Management Server によって起動していない場合は保守員に連絡してください。

上記以外の場合

保守員に連絡してください。

KDJE40037-E

The definition file cannot be accessed: aa....aa

aa....aa：アクセスできなかった定義ファイル名

説明

定義ファイル（aa....aa）にアクセスできません。

対処

該当定義ファイルの有無，アクセス権限を確認してください。

バッチ実行コマンド，バッチ強制停止コマンドの場合は，次の内容も確認してください。

ユーザ定義ファイル格納ディレクトリ環境変数「CJBATCHUSRCONFDIR」が設定されている場合，設定したパスの長さと，ユーザオプション定義ファイル名（usrconf.cfg）またはユーザプロパティファイル名（usrconf.properties）の長さの合計値が，OS が定めるパス最大長以下になっているか確認してください。

ユーザ定義ファイル格納ディレクトリ環境変数「CJBATCHUSRCONFDIR」が設定されていない場合，カレントディレクトリに存在するユーザオプション定義ファイル（usrconf.cfg）またはユーザプロパティファイル（usrconf.properties）の絶対パスの長さが，OS が定めるパス最大長以下になっているか確認してください。

KDJE40038-W

An invalid value was specified for aa....aa. The default value bb....bb will be used. (cc....cc = dd....dd)

aa....aa：指定項目（property または option）

bb....bb：プロパティ，またはコマンドオプションのデフォルト値

cc....cc：指定先

Property key：プロパティキー名

Option name：コマンドオプション名

dd....dd：プロパティキー名またはコマンドオプション名

説明

プロパティ，またはコマンドのオプションに指定した値が無効なため，デフォルト値を使用して処理を続行します。

対処

指定項目が property の場合，usrconf.cfg ファイルのプロパティ（dd....dd）の指定値を見直してください。

指定項目が option の場合，コマンドのオプション（dd....dd）の指定値を見直してください。

KDJE40039-I

Usage: cjenvsetup

説明

cjenvsetup コマンドの使用方法です。

KDJE40040-I

The setup for the Cosminexus Component Container administrator has finished successfully.

説明

Component Container 管理者のセットアップが正常に終了しました。

KDJE40041-E

The setup for the Cosminexus Component Container administrator has failed. Error = aa....aa (detail = bb....bb)

aa....aa：エラー内容

bb....bb：詳細情報（ファイル名，またはディレクトリ名）

説明

Component Container 管理者のセットアップに失敗しました。

対処

エラーの内容によって対処してください。

Invalid installation directory

Component Container が正常にインストールされていない可能性があります。Component Container をインストール後，再度セットアップを行ってください。

Renaming or deleting the output files failed

cjenvsetup コマンドの出力ファイルが使用中のため，正常に実行情報が保存できません。詳細情報に表示されているファイルを使用していないか確認してください。

上記以外

しばらく時間をおいたあと，再度 cjenvsetup コマンドを実行してください。それでもエラーとなる場合は，保守員に連絡してください。

KDJE40042-E

Only the Cosminexus Component Container administrator is permitted to execute this command.

説明

Component Container 管理者以外のユーザは，このコマンドを実行できません。

対処

Component Container 管理者でこのコマンドを実行してください。インストールディレクトリ（/opt/Cosminexus/CC をシンボリックリンクしている場合は，リンク先ディレクトリ）の属性（オーナー，グループ）が，Component Container 管理者および Component Container 管理者のプライマリグループと一致していることを確認してください。一致していない場合は，一致させてください。

KDJE40043-W

The library of HNTRLib2 cannot be loaded. (errno = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

トレース共通ライブラリが読み込めませんでした。

トレースを取得しないでコマンドの処理を続行します。

対処

トレース共通ライブラリがインストールされているかどうかを確認してください。

KDJE40044-E

The value specified for the environment variable is invalid. Environment variable name = aa....aa, Value = bb....bb

aa....aa：環境変数名

bb....bb：環境変数の設定値

説明

環境変数の設定値が正しくありません。

対処

環境変数名が"CSCCFJ_SERVER_HOME"の場合, Component Container のインストールディレクトリが正しいか見直してください。

環境変数名が上記以外の場合，保守員に連絡してください。

KDJE40045-I

Usage: cjgetsysinfo [-f SystemInformationOutputFile]

説明

cjgetsysinfo の使用方法です。

KDJE40046-E

The specified file aa....aa already exists. Specify another file.

aa....aa：稼働状況出力ファイルパス

説明

指定されたファイルはすでに存在します。

対処

別のファイルを指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE40047-E

An attempt to aa....aa a core file has failed. Core file name = bb....bb

aa....aa：処理内容

rename：リネームに失敗しました。

delete：削除に失敗しました。

bb....bb：リネームまたは削除に失敗した core ファイル名

説明

core ファイルのリネームまたは削除に失敗しました。

対処

処理内容（aa....aa）に応じて対処してください。

rename

core ファイルは，次回のサーバ停止時に上書き削除されます。リネームなどによって，core ファイルを退避してください。

delete

core ファイルを削除してください。

KDJE40048-I

Specified option(s) = aa....aa

aa....aa：指定されたオプション一覧

説明

aa....aa に，cjstartsv に指定されたオプションを表示します。

オプション未指定時は"none"を出力します。

KDJE40049-E

A timeout occurred in cjstopsv during normal stop monitor. Server name = aa....aa

aa....aa：J2EE サーバ名

説明

正常停止監視で，タイムアウトが発生しました。

対処

強制停止オプションを指定して，再度 cjstopsv コマンドを実行してください。

KDJE40050-E

A timeout occurred in cjstopsv during normal stop monitor. The J2EE server will now be forcibly stopped. Server name = aa....aa

aa....aa：J2EE サーバ名

説明

正常停止監視で，タイムアウトが発生しました。J2EE サーバを強制停止します。

対処

対処は不要です。

KDJE40051-W

An invalid value was specified for the property. The default value aa....aa will be used. (property name = bb....bb)

aa....aa：デフォルト値

bb....bb：プロパティ名

説明

無効な値がプロパティに指定されました。デフォルト値を使用します。

対処

必要に応じてプロパティ値を設定し直してください。

KDJE40052-E

The directory aa....aa cannot be accessed. Processing will now stop.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリにアクセス権がないか，またはファイル名が指定されています。

対処

ディレクトリ aa....aa の状態を確認してください。

KDJE40053-I

The cjclstartap command will now start. (directory for the user definition file = aa....aa, PID = bb....bb)

aa....aa：ユーザ定義ファイル格納先環境変数設定値

bb....bb：プロセス ID

説明

aa....aa ディレクトリのユーザ定義を使用して，cjclstartap コマンドを開始します。

KDJE40054-I

The cjclstartap command stopped. (PID = aa....aa, exit status = bb....bb)

aa....aa：プロセス ID

bb....bb：Java アプリケーションの終了ステータス

説明

cjclstartap コマンドを停止しました。

KDJE40055-I

Usage: cjclstartap [Java option ...] class [args ...]

説明

cjclstartap コマンドの使用方法です。

KDJE40056-E

An invalid value was specified for aa....aa. (bb....bb = cc....cc)

aa....aa：指定項目（property または option のどちらか）

bb....bb：無効な値の指定先（Property key（プロパティキー名称）または Option name（コマンドオプション名称）のどちらか）

cc....cc：無効な値を指定したプロパティキー名称，またはコマンドオプション名称

説明

プロパティ，またはコマンドのオプションに指定した値が無効なため，このプロセスを終了します。

対処

指定項目が property の場合, usrconf.cfg ファイルのプロパティ cc....cc の指定値を見直してください。

指定項目が option の場合，コマンドのオプション cc....cc の指定値を見直してください。

KDJE40057-E

The cjclstartap process cannot be found. (PID = aa....aa)

aa....aa：プロセス ID

説明

引数に指定したプロセス ID の cjclstartap コマンドが見つかりません。

対処

cjclstartap コマンドのプロセス ID を確認してください。確認したプロセス ID を使用して，cjcldumpap コマンドを再度実行してください。

KDJE40058-I

Usage: cjcldumpap [PID]

説明

cjcldumpap コマンドの使用方法です。

KDJE40059-W

The length of the directory name specified for the ejb.client.log.directory exceeds 180 bytes. The default value aa....aa will be used.

aa....aa：デフォルトディレクトリ名

説明

ejb.client.log.directory に指定されたディレクトリ名の長さが 180 バイトを超えています。デフォルト値 aa....aa を使用します。

対処

ejb.client.log.directory の値を見直してください。

KDJE40060-E

Another process is now running in the same current directory. (directory = aa....aa)

aa....aa：cjclstartap コマンドのカレントディレクトリ

説明

別の cjclstartap コマンドが同じカレントディレクトリで実行中のため，起動できません。

対処

すでに起動している cjclstartap コマンドが終了してから，再度実行してください。

KDJE40061-E

The log directory is being used by another process. (directory = aa....aa)

aa....aa：ログ出力先ディレクトリ

説明

別の cjclstartap コマンドがログ出力先のディレクトリを使用しているため，起動できません。

対処

アプリケーションごとに異なるログ出力先のディレクトリを指定してください。

KDJE40062-E

An error has occurred in the system call(name = aa....aa,errno = bb....bb,line = cc....cc,at = dd....dd).

aa....aa：システムコール名

bb....bb：エラーコード

cc....cc：行数

dd....dd：エラーが発生した関数

説明

dd....dd で aa....aa が bb....bb のエラーを検出しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE40063-E

The cjclstartap command has not started, or has not been executed in the same current directory.

説明

同じカレントディレクトリで cjclstartap コマンドが実行されていないため，コマンドの実行を終了します。

対処

cjclstartap コマンドが実行中であることを確認して，cjclstartap コマンドと同じカレントディレクトリで再度実行してください。

KDJE40064-E

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

説明

管理者特権がないためコマンドを実行できません。

対処

管理者として実行したコマンドプロンプト上で，再度コマンドを実行してください。

KDJE40065-E

An error occurred while the permissions were being checked.

説明

権限の判定中にエラーが発生しました。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。空きメモリを増やしたあと，再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE40066-W

An attempt to initialize the audit log has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

監査ログの初期化に失敗しました。監査ログは出力できませんが，処理は続行します。

対処

監査ログのメッセージログを参照して，原因を取り除いてください。

KDJE40067-W

An attempt to output the audit log has failed. (aa....aa)(details = bb....bb, errno = cc....cc)

aa....aa：監査ログの種類

bb....bb：詳細情報

cc....cc：エラーコード

説明

監査ログの出力に失敗しました。処理は続行します。

対処

監査ログのメッセージログを参照して，原因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE40068-W

A memory shortage occurred. (details = aa....aa, errno = bb....bb)

aa....aa：詳細情報

bb....bb：エラーコード

説明

メモリ確保に失敗しました。監査ログは出力できませんが，処理は続行します。

対処

空きメモリを増やしてください。

KDJE40069-W

The library cannot be loaded. (path = aa....aa).

aa....aa：パス名（絶対パス）

説明

ライブラリが読み込めませんでした。処理は続行します。

対処

パスにライブラリが存在するかを確認してください。

KDJE40070-W

An error has occurred in the system call. (name = aa....aa, details = bb....bb, errno = cc....cc).

aa....aa：システムコール名

bb....bb：詳細情報

cc....cc：エラーコード

説明

aa....aa が cc....cc のエラーを検出しました。処理は続行します。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE40074-I

Setup of the Cosminexus Component Container administrator started. (installation directory = aa....aa, UID = bb....bb, GID = cc....cc)

aa....aa：インストールディレクトリ

bb....bb：ユーザ ID

cc....cc：グループ ID

説明

Cosminexus Component Container 管理者のセットアップを開始しました。

KDJE41000-E

An attempt to connect to the web container has failed. (errno = aa....aa, addr = bb....bb, port = cc....cc, fds = dd....dd)

aa....aa：システム固有のエラー番号

bb....bb：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナが動作するホストの IP アドレス

cc....cc：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのポート番号

dd....dd：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのファイルディスクリプタ

説明

Web コンテナとの接続に失敗しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。

- ワーカのポート番号が不正です。
- ワーカのホスト名または IP アドレスが不正です。
- Web コンテナの Listen キューの最大値を超えています。
- Web コンテナが稼働するホストがダウンしています。
- リダイレクタ-Web コンテナ間の通信経路で障害が発生しています。
- Web サーバが停止しています。

システム固有のエラー番号によって要因を取り除いてください。

このメッセージの出力後に，「KDJE41033-I」のメッセージが出力されている場合は，リトライを行います。

KDJE41001-E

Redirection to the worker failed. (worker name = aa....aa)

aa....aa：ワーカ名

説明

ワーカ（aa....aa）との通信で障害が発生しました。

対処

Web サーバが停止しているおそれがあります。直前に出力されているメッセージ（KDJE41000-E など）によって対処してください。

KDJE41002-E

The request could not be redirected to a worker. Because the redirector could not access the definition file. (definition file = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

定義ファイル（aa....aa）にアクセスできないため，リダイレクタはリクエストをワーカに転送できませんでした。

対処

該当ファイルの有無，アクセス権を確認したあと，Web サーバを再起動してください。

KDJE41003-W

An invalid parameter value is specified in aa....aa file. The default parameter value will be used. (bb....bb = cc....cc, default value = dd....dd)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：値

dd....dd：デフォルト値

説明

パラメタ（bb....bb）に指定された値が不正です。デフォルト値（dd....dd）を使用します。

対処

aa....aa のファイルの bb....bb のパラメタをデフォルト値から変更する場合は，bb....bb のパラメタに適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41004-E

The request could not be redirected to a worker because request header was too long.

説明

HTTP リクエストのヘッダ情報のサイズが大き過ぎるため，リダイレクタはリクエストをワーカに転送できませんでした。

要因として，HTTP の POST メソッドを使用する必要がある個所で GET メソッドを使用していることが考えられます。

対処

HTTP リクエストのヘッダ情報のサイズが不正に大きくなる要因を取り除いて，再度アクセスしてください。

KDJE41005-E

The request could not be redirected to a worker because worker name which is specified in the mapping definition file was not defined to worker.list parameter in the workers definition file. (worker name = aa....aa)

aa....aa：ワーカ名

説明

マッピング定義ファイルに指定されたワーカがワーカ定義ファイルの worker.list パラメタに定義されていないため，リダイレクタはリクエストをワーカに転送できませんでした。

対処

マッピング定義ファイル（デフォルト名：uriworkermap.properties），または HTTP Server 用リダイレクタ動作定義ファイル（デフォルト名：mod_jk.conf）に指定したワーカ名（aa....aa）の定義を，ワーカ定義ファイル（デフォルト名：workers.properties）の worker.list パラメタに定義して，Web サーバを再起動してください。なお，worker.list パラメタに不正な値が指定された場合にもこのメッセージが出力されます。worker.list パラメタの指定値を確認してください。

KDJE41006-E

The request could not be redirected to a worker because a required parameter was not specified in the workers definition file. (parameter = worker.aa....aa.bb....bb)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：パラメタ名

説明

ワーカ定義ファイルに必須のパラメタ（worker.aa....aa.bb....bb）が指定されていないため，リダイレクタはリクエストをワーカに転送できませんでした。

対処

ワーカ定義ファイル（デフォルト名：workers.properties）に worker.aa....aa.bb....bb パラメタを指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41007-E

The request could not be redirected to a worker because invalid value was specified in the workers definition file. (worker.aa....aa.bb....bb = cc....cc)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：値

説明

ワーカ定義ファイルに指定されたパラメタ（worker.aa....aa.bb....bb）の値が不正なため，リダイレクタはリクエストをワーカに転送できませんでした。

対処

ワーカ定義ファイル（デフォルト名：workers.properties）のパラメタ（worker.aa....aa.bb....bb）に適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41008-W

An invalid parameter value is specified in the workers definition file. The default parameter value will be used. (worker.aa....aa.bb....bb = cc....cc, default value = dd....dd)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：値

dd....dd：デフォルト値

説明

ワーカ定義ファイルに指定されたパラメタ（worker.aa....aa.bb....bb）の値が不正です。デフォルト値（cc....cc）を使用します。

対処

ワーカ定義ファイル（デフォルト名：workers.properties）のパラメタ（worker.aa....aa.bb....bb）をデフォルト値から変更する場合は，worker.aa....aa.bb....bb パラメタに適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41009-E

Could not create worker because it is out of memory.

説明

メモリ不足のため，ワーカを作成できませんでした。

要因として，ワーカ定義ファイルのパラメタ（worker.<ワーカ名>.cachesize）に指定した値が大き過ぎる可能性があります。

worker.<ワーカ名>.cachesize の値は，次に示す式に従ってメモリを消費します。

メモリ消費量=（worker.<ワーカ名>.cachesize の値）×10 キロバイト

対処

システムが利用できるメモリ使用量を確保して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41010-E

An attempt to connect to a web client has failed. (errno = aa....aa)

aa....aa：システム固有のエラー番号

説明

リクエストを要求したクライアントとの接続に失敗しました。

ブラウザでリクエスト処理を中断したり，更新を要求したりして，リクエストを要求したクライアントが通信途中に停止した可能性があります。または，クライアントからのリクエスト受信中にデータを受信しなくなり，タイムアウトが発生した可能性があります。

対処

システム固有のエラー番号（UNIX では errno.h の定義値，Windows では GetLastError メソッドの戻り値）を参考にし，調査してください。

また，ブラウザの操作（中断，更新）によって，このメッセージが出力された場合，対処は不要です。

タイムアウトでこのメッセージが出力されている場合，タイムアウトの原因を確認して，必要に応じてタイムアウトの設定値を見直してください。

KDJE41012-E

A URI pattern that does not start with '/' was specified in the aa....aa file. This parameter is ignored. (URI pattern = bb....bb, worker name = cc....cc)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：uri パターン

cc....cc：ワーカ名

説明

定義ファイル（aa....aa）に指定する uri パターンの先頭が，'/'でなければなりません。パラメタ定義の内容を無視します。

対処

指定した uri パターンとワーカ名を有効にする場合，ファイル（aa....aa）で指定するワーカ名（cc....cc）の uri パターン（bb....bb）の先頭に'/'を付けて，Web サーバを再起動してください。

KDJE41015-I

The redirector redirected the request to the worker. (worker name = aa....aa, request URI = bb....bb, addr = cc....cc, port = dd....dd, fds = ee....ee)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：リクエスト URI

cc....cc：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナが動作するホストの IP アドレス

dd....dd：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのポート番号

ee....ee：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのファイルディスクリプタ

説明

リダイレクタは，ワーカ（aa....aa）にリクエストを転送します。

KDJE41016-E

The request could not be redirected because it is out of memory.

説明

メモリ不足のため，リダイレクタはリクエストを転送できませんでした。

対処

システムが利用できるメモリ使用量を確保して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41017-E

The accessed request was refused. The request URI which starts with "/hitachi_ccfj/" cannot be used. (request URI = aa....aa)

aa....aa：リクエスト URI

説明

アクセスされたリクエストを拒否しました。"/hitachi_ccfj/"で始まるリクエスト URI は使用できません。

不正なリクエスト URI を受信したか，Web サーバにリダイレクタが重複登録されていることが考えられます。

対処

クライアントからのリクエスト URI が aa....aa に示すリクエスト URI と異なる場合,「インターネットサービスマネージャ」を起動して，ツリーに表示されている［インターネット インフォメーション サービス］の［* <ホスト名>］の［既定の Web サイト］を右クリックして,「プロパティ」を選択します。

［ISAPI フィルタ］タグを選択して，"hitachi_ccfj"が登録されていないことを確認してください。

KDJE41018-E

The request could not be redirected because the web server was not configured correctly.

説明

Web サーバが正しく設定されていないため，リダイレクタはリクエストを転送できませんでした。

要因として，リダイレクタの内部情報がほかに登録されている ISAPI フィルタと競合していることが考えられます。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE41019-E

The response timeout happen to worker aa....aa. (uri = bb....bb, addr =cc....cc, port = dd....dd, fds = ee....ee, RootAp = ff....ff)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：リクエスト URI

cc....cc：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナが動作するホストの IP アドレス

dd....dd：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのポート番号

ee....ee：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのファイルディスクリプタ

ff....ff：PRF のルート AP 情報

説明

ワーカからの受信でタイムアウトが発生しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。該当する問題の原因を対策してください。なお，対策方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「6.7.2　応答遅延のトラブルシュート」を参照してください。

- サーブレットまたは JSP 処理内の無限ループによって，レスポンスが返っていません。
- Web アプリケーション内でデッドロックが発生しています。
- アクセスピーク時にサーバの処理が追いつかなくて滞っています。
- Web コンテナが稼働するホストがダウンしています。
- リダイレクタと Web コンテナ間の通信経路で障害が発生しています。

KDJE41020-E

An error occurred in the aa....aa function. (bb....bb)

aa....aa：関数名

bb....bb：エラー情報

説明

予期しないエラーが発生しました。

対処

保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE41021-I

The creating of error page is delegated to web server. (error status code = aa....aa, uri = bb....bb)

aa....aa：エラーステータスコード

bb....bb：リクエスト URI

説明

エラーページの生成を Web サーバに委任します。

KDJE41022-W

The performance trace is unavailable due to failure of initialization. (reason = aa....aa)

aa....aa：理由コード

説明

初期化に失敗したため，PRF トレースは使用できません。

対処

aa....aa に示される理由の内容によって対処してください。aa....aa には次のコードが表示されます。

表 7-5　KDJE41022-W に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
-1	環境変数「PRFSPOOL」が設定されていません。または，環境変数「PRFSPOOL」に設定したディレクトリが存在しません。	環境変数「PRFSPOOL」が設定されているかどうかを確認してください。
-2	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理でエラーが発生しました。	PRF デーモンが起動していない可能性があります。 PRF デーモンが起動されているかどうかを確認してください。また，定義ファイルの PRFID の指定を確認してください。
-3	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理でエラーが発生しました（システムコールのエラーなど）。	<環境変数 PRFSPOOL の設定ディレクトリ>¥log¥<PRF 識別子>（Windows の場合）または$PRFSPOOL/log/<PRF 識別子>（UNIX の場合）の下にあるログファイルを参照し，Performance Tracer のメッセージを調べてください。調べた要因を基に，対処してください。
-4	PRF デーモンのサービスで必要となるライブラリのロードに失敗しました。	Performance Tracer がインストールされていません。インストールしたあと，再度実行してください。

KDJE41023-E

The request header is invalid. An attempt to redirect a request has failed. (header name = aa....aa, header value = bb....bb)

aa....aa：ヘッダ名

bb....bb：内容

説明

HTTP リクエストのヘッダ情報が不正です。リクエストの転送に失敗しました。

対処

リクエストを要求したクライアントから，HTTP リクエストのヘッダ情報が不正となる要因を取り除いてください。要因を取り除いたあと，再度アクセスしてください。

KDJE41024-E

The redirector is unavailable because the invalid value is specified in aa....aa file. (parameter = bb....bb, value = cc....cc)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：値

説明

ファイル（aa....aa）に指定されたパラメタ（bb....bb）の値（cc....cc）が不正なため，リダイレクタは使用できません。

対処

ファイルのパラメタに適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41025-E

The redirector is unavailable because the required parameter is not specified in aa....aa file. (parameter = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：パラメタ名

説明

ファイル（aa....aa）に必須のパラメタが指定されていないため，リダイレクタは使用できません。

対処

ファイルのパラメタに適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41026-W

The trace log is not outputted because the specified trace log file cannot be accessed. (trace log file = aa....aa, api = bb....bb, reason = cc....cc, code = dd....dd)

aa....aa：出力先

bb....bb：保守情報

cc....cc：保守情報

dd....dd：保守情報

説明

保守用トレースログの出力先（aa....aa）にアクセスできないため，保守用トレースログは出力されません。

対処

出力先のディレクトリ，ファイルのアクセス権，およびディスクの空き容量を確認して，ログが出力できない要因を取り除いてから，Web サーバを再起動してください。

KDJE41027-E

The redirector is unavailable because the specified trace log file is being used as a message log file. (trace log file = aa....aa)

aa....aa：出力先

説明

保守用トレースログの出力先（aa....aa）は，メッセージログの出力先としてすでに使用されているため，リダイレクタは使用できません。

対処

出力先の内容を変更して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41028-W

The specified parameter is invalid. Delete the entry or make it comment. (parameter = aa....aa)

aa....aa：パラメタ名

説明

指定されたパラメタは無効なため，記述内容は無視されます。

対処

パラメタの記述を削除するか，コメント記述にして，Web サーバを再起動してください。

KDJE41029-I

The initialization of the trace log will now start. (trace log file = aa....aa)

aa....aa：保守用トレースログの出力先

説明

保守用トレースログの初期化を開始します。

KDJE41030-I

The initialization of the trace log has finished.

説明

保守用トレースログの初期化が完了しました。

KDJE41031-W

The timeout occurred in connecting to the worker. (worker name = aa....aa, URI = bb....bb, addr = cc....cc, port = dd....dd, fds = ee....ee, RootAP = ff....ff)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：リクエスト URI

cc....cc：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナが動作するホストの IP アドレス

dd....dd：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのポート番号

ee....ee：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのファイルディスクリプタ

ff....ff：PRF のルート AP 情報

説明

ワーカへのコネクションの確立でタイムアウトが発生しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。

- Web コンテナが稼働するホストがダウンしています。
- リダイレクタ-Web コンテナ間の通信経路で障害が発生しています。

このメッセージの出力後に，「KDJE41033-I」のメッセージが出力されている場合は，リトライを行います。

KDJE41032-W

The timeout occurred in sending the request data to the worker. (worker name = aa....aa, URI = bb....bb, addr = cc....cc, port = dd....dd, fds = ee....ee, RootAP = ff....ff)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：リクエスト URI

cc....cc：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナが動作するホストの IP アドレス

dd....dd：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのポート番号

ee....ee：Web サーバとの通信に使用する Web コンテナのファイルディスクリプタ

ff....ff：PRF のルート AP 情報

説明

ワーカへのリクエスト送信でタイムアウトが発生しました。

対処

次のどれかの問題が発生しています。

- Web コンテナが稼働するホストがダウンしています。
- リダイレクタ-Web コンテナ間の通信経路で障害が発生しています。

このメッセージの出力後に，「KDJE41033-I」のメッセージが出力されている場合は，リトライを行います。

KDJE41033-I

The request sending will retry.

説明

このメッセージの前に出力されているメッセージが示す要因によって，ワーカへのリクエスト送信に失敗したため，リトライを行います。

KDJE41034-I

An attempt to send the request was successful while retrying. (retry count = aa....aa, maximum retry count = bb....bb)

aa....aa：リクエスト送信に成功したときのリトライの回数

bb....bb：リトライを行う最大の回数

説明

リトライ中にリクエスト送信に成功しました。

KDJE41035-E

Retry could not continue because an error occurred. (retry count = aa....aa, maximum retry count = bb....bb)

aa....aa：リクエストを続行できないエラーが発生したときのリトライの回数

bb....bb：リトライを行う最大の回数

説明

Web コンテナへのリクエスト送信処理のリトライ中にリトライを続行できないエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されている，リクエスト送信が失敗する要因となったメッセージによって対処してください。

KDJE41036-E

It did retry for the maximum retry count, but the request could not be sent. (maximum retry count = aa....aa)

aa....aa：リトライを行う最大の回数

説明

リトライ回数分のリトライを行いましたが，リクエスト送信できませんでした。

対処

このメッセージの前に出力されている，リクエスト送信が失敗する要因となったメッセージによって対処してください。

KDJE41037-I

The redirector will redirect the POST requests that have the Content-Length header, to the worker defined in the worker.<post_size_lb worker name>.post_size_workers parameter in the worker definition file. (post_size_lb worker name = aa....aa, destination worker name = bb....bb, length = cc....cc-dd....dd)

aa....aa：POST リクエスト振り分けワーカのワーカ名

bb....bb：POST リクエスト転送先ワーカのワーカ名

cc....cc：Content-Length ヘッダの値の最小値

dd....dd：Content-Length ヘッダの値の最大値

説明

POST データサイズによる振り分け機能によって，Content-Length ヘッダの値が cc....cc 以上 dd....dd 以下の POST リクエストを，ワーカ定義ファイルのパラメタ worker.<POST リクエスト振り分けワーカのワーカ名>.post_size_workers に指定されたワーカ bb....bb に転送します。

KDJE41038-I

The redirector will redirect, to the default worker, the requests that do not satisfy the conditions for redirecting to the worker defined in the worker.<post_size_lb worker name>.post_size_workers parameter in the worker definition file. (post_size_lb worker name = aa....aa, default worker name = bb....bb)

aa....aa：POST リクエスト振り分けワーカのワーカ名

bb....bb：デフォルトワーカのワーカ名

説明

POST データサイズによる振り分け機能によって，ワーカ定義ファイルのパラメタ worker.<POST リクエスト振り分けワーカのワーカ名>.post_size_workers に指定されたワーカへの振り分け条件を満たさないリクエストをデフォルトワーカ bb....bb に転送します。

KDJE41039-E

The redirector cannot be used because an invalid worker type is specified in the worker definition file. (worker.aa....aa.type = bb....bb)

aa....aa：ワーカ名

bb....bb：値

説明

ワーカ定義ファイルに指定されたワーカの種別が不正なため，リダイレクタは使用できません。POST リクエスト振り分けワーカにリクエスト転送先として指定するワーカの種別は ajp13 または ajp12 です。

対処

ワーカ定義ファイルのパラメタ worker.<ワーカ名>.type に適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41040-E

The redirector cannot be used because the value specified for the worker.<worker-name>.post_data parameter in the worker definition file has already been defined for another worker. (worker.aa....aa.post_data = bb....bb, other worker = cc....cc)

aa....aa：値の重複したワーカのワーカ名

bb....bb：値

cc....cc：ワーカ名

説明

ワーカ定義ファイルに指定されたワーカ aa....aa の Content-Length ヘッダの値の上限値に 1 を加えた値が，ほかのワーカ cc....cc に指定された値 bb....bb と同じため，リダイレクタは使用できません。

対処

ワーカ定義ファイルのパラメタ worker.<ワーカ名>.post_data（ワーカ名は aa....aa）に適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41041-W

The specified parameter is invalid. (parameter name = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：値

説明

指定されたパラメタの値が不正です。

URL パターンによるリクエストの振り分けで設定した URL パターンが不正な場合，aa....aa に「url pattern」と出力し，bb....bb に指定された URL パターンを出力します。

対処

パラメタに適切な値を指定して，Web サーバを再起動してください。

KDJE41800-I

The setup for the Web container server has finished successfully. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

Web コンテナサーバ（aa....aa）のセットアップが正常に終了しました。

KDJE41801-E

The Web container directory aa....aa corresponding to the server name does not exist.

aa....aa：サーバ名

説明

cjstartweb コマンド，cjstopweb コマンドで指定されたサーバ名に対応するディレクトリが存在しません。

対処

cjstartweb コマンド，cjstopweb コマンドでサーバ名を正しく入力しているかどうかを確認してください。指定したサーバ名で cjwebsetup コマンドを実行していない場合には，cjwebsetup コマンドでサーバをセットアップしてください。

KDJE41802-E

The setup for the Web container server has failed. Server name = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：サーバ名

bb....bb：エラー内容

説明

Web コンテナサーバ（aa....aa）のセットアップに失敗しました。

対処

エラーの内容によって対処してください。

Already been set up

指定されているサーバ名でセットアップ済みです。Web コンテナサーバを再セットアップする場合は「cjwebsetup -d サーバ名」でサーバをいったん削除してから，再度セットアップコマンドを実行してください。

Invalid server name

不正なサーバ名が指定されています。サーバ名には，マニュアル「アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド」を参照して見積もった範囲内で，半角英数字，アンダースコア（_），ハイフン（-）が使用できます。サーバ名の先頭の文字は英数字でなければなりません。

*****の場合

直前に出力されたメッセージに従って，対処してください。

KDJE41803-E

The definition file aa....aa cannot be accessed.

aa....aa：ファイル名

説明

定義ファイル（aa....aa）にアクセスできません。

対処

該当ファイルの有無，アクセス権を確認したあと，cjstartweb コマンドまたは cjstopweb コマンドを再度実行してください。

KDJE41804-E

The specified aa....aa is too long: bb....bb

aa....aa：エラーになった項目（パス名またはサーバ名）

bb....bb：定義ファイルのキー名またはコマンド名

説明

指定されたパス名またはサーバ名（aa....aa）は長過ぎます。

パス名の場合，256 バイト以内で指定します。

サーバ名の場合，動作する OS でのホスト名の最大長の範囲で指定します。半角英数字，アンダースコア（_），またはハイフン（-）が使用できます。なお，先頭の文字は英数字でなければなりません。

対処

制限に従って指定してください。

KDJE41805-I

Usage: cjstartweb [serverName] [-security]

説明

cjstartweb コマンドの使用方法です。

KDJE41806-I

Usage: cjstopweb [serverName] [-f | -fd [ThreadDumpInterval ThreadDumpCount]]

説明

cjstopweb コマンドの使用方法です。

KDJE41807-I

The deletion of the Web container server has completed successfully. Server name = aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

Web コンテナサーバ（aa....aa）のアンセットアップが正常に終了しました。

KDJE41808-I

Usage: cjwebsetup [-d serverName | serverName]

説明

cjwebsetup コマンドの使用方法です。

KDJE41809-E

The deletion of the Web container server has failed. Server name = aa....aa, Reason = bb....bb

aa....aa：サーバ名

bb....bb：エラー内容

説明

Web コンテナサーバ（aa....aa）のアンセットアップに失敗しました。

対処

エラーの内容によって対処してください。

Server is not found

存在していないサーバ名を指定しています。

Deletion of file failed

ファイルが削除できません。削除対象のファイルにアクセスしていないか，または削除するファイルが読み取り専用でないかどうかを確認してください。

Invalid server name

不正なサーバ名が指定されています。サーバ名には，マニュアル「アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド」を参照して見積もった範囲内で，半角英数字，アンダースコア（_），ハイフン（-）が使用できます。サーバ名の先頭の文字は英数字でなければなりません。

*****

直前に出力されたメッセージの ID に従い，次の対処をしてください。

- KDJE40016-E の場合
  保守員に連絡してください。
- KDJE41813-E の場合
  Web コンテナサーバは起動中です。
  Web コンテナサーバを停止してから，再度アンセットアップを実行してください。

KDJE41810-E

The directory aa....aa was not found.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（aa....aa）が見つかりません。

対処

Component Container が正常にインストールされているかどうかを確認してください。

KDJE41811-I

Usage: cjdumpweb [serverName]

説明

cjdumpweb コマンドの使用方法です。

KDJE41813-E

The Web container server has already been started.

説明

Web コンテナサーバはすでに開始されているため，開始要求を破棄しました。

対処

Web コンテナサーバが起動中かどうかを確認してください。

起動している Web コンテナサーバが正しい運用方法で起動されている場合，そのままご利用ください。

誤って起動されている場合は，必要に応じて再起動してください。

KDJE41814-E

The Web container server is not found.

説明

Web コンテナサーバが見つかりません。

対処

Web コンテナサーバが起動されているかどうかを確認して，再度コマンドを実行してください。

KDJE42000-E

Deployment has abended. An invalid environment entry was found. Values could not converted to the specified types (aa....aa).

aa....aa：対象

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

不正な環境エントリ（aa....aa）を見つけました。指定された値は指定された型に変換できません。

対処

<env-entry>タグを見直して，適切な内容を設定してください。

KDJE42001-E

Deployment has abended. Resources (aa....aa) are unresolved.

aa....aa：対象

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

リソース参照（aa....aa）のリンク解決に失敗し，デプロイは失敗しました。

対処

サーバ管理コマンドを使用して，該当アプリケーションのリソースのリンク解決をしてください。

KDJE42002-E

Deployment has abended. EJBs (aa....aa) are unresolved.

aa....aa：対象

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

EJB 参照（aa....aa）のリンク解決に失敗して，デプロイは失敗しました。

対処

該当アプリケーションの EJB のリンク解決をしてください。

属性ファイルの設定が不正な場合

属性ファイルの<ejb-ref>タグ，または<ejb-local-ref>タグに適切な内容を設定してください。

Deployment Descriptor の設定が不正な場合

Deployment Descriptor の<ejb-ref>タグ，または<ejb-local-ref>タグを見直して，適切な内容を設定してください。

KDJE42004-E

Deployment has abended. Roles in the security constraint (aa....aa) are unresolved.

aa....aa：対象

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

ロールのリファレンス定義が未解決です。

対処

サーバ管理コマンドを使用して，該当アプリケーションのロールのリンク解決をしてください。

KDJE42005-E

This EAR has an invalid context root (aa....aa). It may contain an invalid character such as "*".

aa....aa：コンテキストルート名

説明

これは不正なコンテキストルート（aa....aa）を持った EAR です。

許されていない文字（"*"など）が含まれている可能性があります。

Context Root に指定できる文字種

- 英数字と次に示す記号
  / @ & ＋ $, - _ . ! ' ( ) % ~

ただし，次に示す規則に従って指定する必要があります。

- '/'は，パスの区切り文字としてだけ有効で，"//"などは指定できません。
- '.'は，相対パスを表現するための利用（"./"など）はできません。
- '%'は，エスケープとして（"%20"など）だけ利用できます。

対処

適切な文字に修正してください。

KDJE42006-E

Exception while generating remote interface implementation for bean aa....aa. Detail=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Bean（aa....aa）のリモートインタフェース実装クラスを生成中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42007-E

Exception while generating home interface implementation for bean aa....aa. Detail=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Bean（aa....aa）のホームインタフェース実装クラスを生成中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42008-E

Error generating aa....aa stubs for bean interface bb....bb. Reason=cc....cc

aa....aa：スタブタイプ

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：エラーの要因

説明

Bean インタフェース（bb....bb）の aa....aa スタブ生成中にエラーが発生しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42009-E

Error compiling container generated java source files Detail=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

生成された Java ソースファイルのコンパイル中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。

ただし，次に示す場合は対処が異なります。

ほかにエラーメッセージが出力されている場合

出力されているメッセージを参照して，対処してください。

Home/Component インタフェースの定義に Generics を使用している場合

Home/Component インタフェースの定義に Generics を使用しないでください。

ビジネスインタフェースの定義に Generics を使用している場合

ビジネスインタフェースで型変数をパラメタ化してください。

ビジネスインタフェースでパラメタ化したメソッドを再定義している場合

再定義したメソッドを削除してください。

なお，要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42010-E

The native library file (aa....aa) and a native library file with the same name as the resource adapter "bb....bb" are already deployed, so importing or adding is not possible.

aa....aa：ネイティブライブラリファイル名

bb....bb：リソースアダプタの表示名

説明

リソースアダプタ（bb....bb）が持つネイティブライブラリファイル（aa....aa）と同じ名称のネイティブライブラリファイルがすでにデプロイされているため，インポートまたは追加できません。

対処

既存のネイティブライブラリファイルを使用するリソースアダプタを削除してから，再度インポートまたは追加してください。

KDJE42011-E

This file (aa....aa) and a file with the same name exist in the J2EE application, so importing is not possible.

aa....aa：ファイル名

説明

このファイル（aa....aa）と同じ名称のファイルが J2EE アプリケーション中に存在するため，インポートできません。

対処

インポートするライブラリ JAR ファイルの名称を変更するか，または既存の同じ名称のファイルを削除してから，再度インポートしてください。

KDJE42012-E

Deployment has abended. An attempt to read the runtime deployment descriptor in the J2EE application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）の実行用 DD の読み込みに失敗しました。

対処

例外情報が nnnn（n は数字）で始まるメッセージについては，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42014-E

Deployment has abended. An attempt to create the configuration for the J2EE application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）の構成情報作成に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42018-E

Deployment has abended. An attempt to check unresolved security roles in the J2EE application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中のリンク設定が未解決なロールのチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42019-E

Deployment has abended. An attempt to check unresolved resource references in the J2EE application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中のリンク設定が未解決なリソース参照情報のチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42020-E

Deployment has abended. An attempt to check unresolved EJB references in the J2EE application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中のリンク設定が未解決な EJB 参照情報のチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42021-E

Deployment has abended. An attempt to check invalid environment entries in the J2EE application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中の不正な環境変数情報のチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42022-E

Deployment has abended. An attempt to deploy WARs in the J2EE application "aa....aa" has failed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中の WAR のデプロイ処理に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42023-E

Deployment has abended. An attempt to deploy application clients in the J2EE application "aa....aa" has failed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中のアプリケーション・クライアントのデプロイ処理に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42024-E

Deployment has abended. An attempt to generate IIOP stub/classes for the J2EE application "aa....aa" has failed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）の IIOP スタブ，クラスの生成に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42025-E

Deployment has abended. An attempt to deploy EJBs in the J2EE application "aa....aa" has failed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中の EJB のデプロイ処理に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42026-E

Deployment has abended. The deploy component in the J2EE application "aa....aa" could not be found.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）中のデプロイ用コンポーネントが見つかりませんでした。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42028-E

Deployment has abended. An attempt to clean up the J2EE application "aa....aa" has failed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション（aa....aa）のクリーンアップ処理に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42031-E

Deployment has abended. An invalid EJB exists.

説明

デプロイ処理が異常終了しました。不正な EJB が存在します。

対処

不正な EJB が存在しないかどうかを確認してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42034-E

Deployment has abended. An attempt to copy the interface for the EJB "aa....aa" has failed.

aa....aa：EJB 名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

EJB（aa....aa）のインタフェースのコピーに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42035-E

Deployment has abended. An attempt to deploy the EJB "aa....aa" has failed.

aa....aa：EJB 名

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

EJB（aa....aa）のデプロイ処理に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42039-E

EJB error: aa....aa

aa....aa：エラー内容の詳細情報

説明

EJB のエラー内容を表示します。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。詳細情報については「7.7　KDJE42039-E および KDJE42270-W の詳細情報一覧」を参照してください。

ただし，次に示す場合は対処が異なります。

ほかにエラーメッセージが出力されている場合

出力されているメッセージを参照して，対処してください。

Home/Component インタフェースの定義に Generics を使用している場合

Home/Component インタフェースの定義に Generics を使用しないでください。

なお，要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42040-I

The deploying environment setup has finished.

説明

デプロイ用の環境設定が完了しました。

KDJE42041-I

Creation of the configuration for the J2EE application "aa....aa" is in progress.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）の構成情報を作成中です。

KDJE42042-I

Loading of the EJB-JAR deployment descriptors in the J2EE application "aa....aa" is in progress.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の EJB-JAR 用 DD をロード中です。

KDJE42043-I

Deployment of all the application clients for the J2EE application "aa....aa" is in progress.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）中のアプリケーション・クライアントのデプロイ処理中です。

KDJE42044-I

Generation of the IIOP stubs/classes for the J2EE application "aa....aa" is in progress.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）の IIOP スタブ，クラスを生成中です。

KDJE42046-I

Verification of the EJBs is in progress.

説明

EJB の内容を確認中です。

KDJE42047-I

Verification of the EJB "aa....aa" is in progress.

aa....aa：EJB 名

説明

EJB（aa....aa）の内容を確認中です。

KDJE42048-I

The deployment environment will now be set.

説明

デプロイ用の環境を設定します。

KDJE42050-I

Deployment of the EJB "aa....aa" is in progress.

aa....aa：EJB 名

説明

EJB（aa....aa）のデプロイ処理中です。

KDJE42051-I

Exporting of the client files is in progress.

説明

クライアント用ファイルを出力中です。

KDJE42052-I

Deployment of all the web components for the J2EE Application "aa....aa" is in progress.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の Web コンポーネントをデプロイ処理中です。

KDJE42053-I

Redeployment of the J2EE application "aa....aa" is in progress.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

再デプロイする J2EE アプリケーション（aa....aa）を表示します。

KDJE42055-E

The native library file (aa....aa) that the resource adapter "bb....bb" has cannot be deleted. Reboot the J2EE server, and then redelete.

aa....aa：ネイティブライブラリファイル名

bb....bb：リソースアダプタの表示名

説明

リソースアダプタ（bb....bb）が持つネイティブライブラリファイル（aa....aa）を削除できません。

対処

J2EE サーバを再起動してから，削除し直してください。

KDJE42056-E

The file (hitachi-runtime.jar) with the reserved name cannot be imported.

説明

予約された名称のファイル（hitachi-runtime.jar）はインポートできません。

対処

ファイル名を変更してから，再度インポートしてください。

KDJE42057-E

The connection factory class could not be found from the resource adapter "aa....aa", so importing or adding is not possible.

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

リソースアダプタ（aa....aa）中からコネクションファクトリクラスが見つからなかったため，インポートまたは追加できません。

対処

リソースアダプタの DD の内容に誤りがないか，またはリソースアダプタのコネクションファクトリクラスが存在するかどうかを確認してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42058-E

Exception while generating local component interface implementation for bean aa....aa. Detail=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Bean（aa....aa）のローカルインタフェース実装クラスを生成中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42059-E

Exception while generating local home interface implementation for bean aa....aa. Detail=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Bean（aa....aa）のローカルホームインタフェース実装クラスを作成中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42060-E

Exception while generating cmp entity bean:aa....aa implementation. Detail=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

CMP Entity Bean の実装クラスを作成中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42061-E

Exception while generating cmp state object implementation for bean aa....aa. Detail=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Bean（aa....aa）の CMP state オブジェクトクラスを作成中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42062-E

Exception while generating cmp join object:aa....aa implementation. Detail=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

aa....aa を作成中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42063-E

The JAR file (aa....aa) which the resource adapter "bb....bb" has cannot be deleted. Reboot the J2EE server, and then redelete.

aa....aa：JAR ファイル名

bb....bb：リソースアダプタの表示名

説明

リソースアダプタ（bb....bb）が持つ JAR ファイル（aa....aa）を削除できません。

対処

J2EE サーバを再起動してから，削除し直してください。

KDJE42064-E

The WAR DD (aa....aa) has more than one filter with the same name "bb....bb".

aa....aa：WAR DD の名称

bb....bb：フィルタ名

説明

WAR DD（aa....aa）は，同じ名称の（bb....bb）のフィルタを複数持っています。
インポートを中断します。

対処

WAR ファイルを調査して，<filter-name>タグの内容を変更してください。

KDJE42065-E

The WAR file (aa....aa) has more than one filter with the same name "bb....bb".

aa....aa：WAR ファイル名
bb....bb：フィルタ名

説明

WAR ファイル（aa....aa）は，同じ名称の（bb....bb）のフィルタを複数持っています。
インポートを中断します。

対処

WAR ファイルを調査して，<filter-name>タグの内容を変更してください。cjimportapp コマンドを実行した場合，WAR ファイルは EAR に含まれています。

KDJE42066-E

The J2EE resource aa....aa could not start in the current J2EE server mode.

aa....aa：J2EE リソース名

説明

J2EE リソース（aa....aa）は，現在の J2EE 機能モードでは開始できませんでした。

対処

J2EE 機能モードが正しいかどうかを確認してください。J2EE 機能モードが正しい場合は，J2EE リソースを削除して，再作成してください。

KDJE42067-E

The J2EE resource adapter aa....aa could not start in the current J2EE server mode.

aa....aa：J2EE リソースアダプタ名

説明

J2EE リソースアダプタ（aa....aa）は，現在の J2EE 機能モードでは開始できません。

対処

J2EE 機能モードが正しいかどうかを確認してください。J2EE 機能モードをダウングレードして使用する場合は，J2EE サーバの環境を再セットアップしてください。

KDJE42068-E

The extension of the library JAR file (aa....aa) is not ".jar", so importing is not possible.

aa....aa：ライブラリ JAR ファイル名

説明

ライブラリ JAR ファイル（aa....aa）の拡張子が".jar"でないため，インポートできません。

対処

拡張子を".jar"に変更するか，または追加してから，再度インポートしてください。

KDJE42069-E

Deployment has abended. An attempt to deploy the J2EE application "aa....aa" has failed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）のデプロイに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42070-E

The resource adapter "aa....aa" has the native library file, so it cannot be added to the J2EE application.

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

リソースアダプタ（aa....aa）はネイティブライブラリファイルを持つため，J2EE アプリケーションへ追加できません。

対処

ネイティブライブラリファイルを持つリソースアダプタは，単体デプロイで使用してください。

KDJE42071-E

Deployment has abended. An attempt to check the resource reference in the J2EE application "aa....aa" has failed. Details = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中のリソース参照の確認で失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42072-E

The stand-alone resource adapter "aa....aa" has been started once. Reboot the J2EE server, and then redelete.

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

この単体リソースアダプタ（aa....aa）は一度スタートされています。

対処

J2EE サーバを再起動してから，削除し直してください。

KDJE42073-E

Deployment has abended. The assembly descriptor (aa....aa) is invalid.

aa....aa：対象

説明

不正なアセンブリ・ディスクリプタ（aa....aa）なためデプロイが異常終了しました。

対処

container-transaction の ejb-name, method-intf, method-name, method-params, trans-attribute の値を確認してください。または，method-permission の role-name，ejb-name，method-intf, method-name，method-params の値を確認してください。

KDJE42074-E

Deployment has abended. An attempt to check the assembly descriptor in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Exception=bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中のアセンブリ・ディスクリプタのチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42075-E

Deployment has abended. An attempt to verify the EJB components in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の EJB コンポーネントの検証に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42076-E

Deployment has abended. A J2EE component unsupported by the current J2EE function mode is included: aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

現在の J2EE 機能モードでは，未サポートの J2EE コンポーネントが含まれています。

対処

J2EE 機能モードが正しいかどうかを確認してください。J2EE 機能モードをダウングレードして使用する場合は，J2EE サーバの環境を再セットアップしてください。

KDJE42077-E

Deployment has abended. An attempt to verify the J2EE components in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の J2EE コンポーネントの検証に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42078-E

Deployment has abended. The same abstract schema name is specified in Jar (aa....aa).

aa....aa：対象

説明

abstract-schema-name（aa....aa）と同名のものが同じ JAR に定義されているので，デプロイ処理が異常終了しました。

対処

EJB-JAR ファイル内で，abstract-schema-name の値が重複しないようにしてください。

KDJE42079-E

Deployment has abended. An attempt to check the abstract schema name in the J2EE application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の abstract-schema-name のチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42080-E

Deployment has abended. The JMS resource used in the application does not support XA (aa....aa).

aa....aa：対象

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

アプリケーション内で使用されている JMS リソース（aa....aa）は，XA トランザクションをサポートしていません。

対処

リソースアダプタの transaction-support の値を変更してください。

KDJE42081-E

Deployment has abended. An attempt to check the transaction type of the JMS resource in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中で使用されている JMS リソースとの transaction-support のチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42082-E

Deployment has abended. SQL statements have not been generated yet (aa....aa).

aa....aa：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

CMP2.x 用の SQL が生成されていません。

対処

サーバ管理コマンド（cjgencmpsql）で，CMP の Entity Bean それぞれについて SQL を生成し直してください。

KDJE42083-E

Deployment has abended. An attempt to check the SQL statements in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の CMP2.x の Entity Bean で使用する SQL のチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42084-E

Deployment has abended. EJB lookup names are duplicated. Details = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

EJB のルックアップ名が重複しています。

対処

EJB のルックアップ名が重複しないように変更してから，再デプロイしてください。

KDJE42085-E

Deployment has abended. An attempt to check duplicated EJB lookup names in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Exception = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の EJB のルックアップ名が重複しているかどうかを確認する処理に失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42086-E

Deployment has abended. The CMP EntityBean is not mapped correctly. (aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

CMP の Entity Bean が正しくマッピングされていません。

対処

CMP のマッピングを行ってから，再デプロイしてください。

KDJE42087-E

Deployment has abended. An attempt to check the CMP Entity Beans in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Details = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中の CMP の Entity Bean が正しくマッピングされているかどうかのチェックに失敗しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42088-E

Deployment has abended. An attempt to check the connection factory reference in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Details = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中のコネクションファクトリ参照の確認で失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42089-E

Deployment has abended. An attempt to check the resource environment reference in the J2EE Application "aa....aa" has failed. Details = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中のリソース環境参照の確認で失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42090-E

Deployment has abended. An attempt to check the destination reference in the J2EE application "aa....aa" has failed. Details = bb....bb

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。

J2EE アプリケーション（aa....aa）中のデスティネーション参照の確認で失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42091-E

An attempt to deploy the J2EE resource adapter aa....aa has failed. (details = bb....bb)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソースアダプタ（aa....aa）のデプロイに失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42092-E

An attempt to start the J2EE resource adapter aa....aa has failed. (detail=bb....bb)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソースアダプタ（aa....aa）の開始に失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42093-E

An attempt to stop J2EE resource adapter aa....aa has failed. (detail=bb....bb)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソースアダプタ（aa....aa）の停止に失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42094-E

An attempt to un-deploy the J2EE resource adapter aa....aa has failed. (detail=bb....bb)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソースアダプタ（aa....aa）のアンデプロイに失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42095-E

An attempt to deploy the J2EE resource aa....aa has failed. (detail = bb....bb)

aa....aa：J2EE リソース名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソース（aa....aa）のデプロイに失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42096-E

An attempt to start the J2EE resource aa....aa has failed. (detail=bb....bb)

aa....aa：J2EE リソース名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソース（aa....aa）の開始に失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42097-E

An attempt to stop J2EE resource aa....aa has failed. (detail=bb....bb)

aa....aa：J2EE リソース名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソース（aa....aa）の停止に失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42098-E

An attempt to un-deploy the J2EE resource aa....aa has failed. (detail=bb....bb)

aa....aa：J2EE リソース名

bb....bb：例外の詳細メッセージ

説明

J2EE リソース（aa....aa）のアンデプロイに失敗しました。

対処

例外の詳細メッセージを参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42099-E

An attempt to create the directory (aa....aa) has failed.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（aa....aa）の作成に失敗しました。

対処

次の内容に当てはまらないかどうかを確認してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

- **ディスク容量が不足している場合は，ディスク容量を確保してください。**
- **ディレクトリのパスまたは名称が OS で制限されている長さより長い場合は，短くなるように次の設定をしてください。**

  ・作業ディレクトリのルートのパスが長い場合は，J2EE サーバ用ユーザ定義ファイル（usrconf.cfg）で定義する ejb.public.directory キーに，絶対パスで浅いディレクトリ階層を指定してください。

  ・J2EE サーバ名が長い場合は，J2EE サーバ名が短い環境で動作させてください。

  ・J2EE モジュール（J2EE アプリケーション，EJB-JAR，WAR，リソースアダプタ，データソース，メールコンフィグレーションなど）の名称が長い場合は，短い名称に変更してください。

  ・インポートするファイル名またはファイル中の DD で定義された<display-name>タグの値が長い場合は，短くしてください。
- **アクセス権限がない場合は，アクセス権限を付与してください。**

KDJE42100-E

An attempt to create the file (aa....aa) has failed.

aa....aa：ファイル名

説明

ファイル（aa....aa）の作成に失敗しました。

対処

次の内容に当てはまらないかどうかを確認してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

- **ディスク容量が不足している場合は，ディスク容量を確保してください。**
- **ディレクトリのパスまたは名称が OS で制限されている長さより長い場合は，短くなるように次の設定をしてください。**

  ・作業ディレクトリのルートのパスが長い場合は，J2EE サーバ用ユーザ定義ファイル（usrconf.cfg）で定義する ejb.public.directory キーに，絶対パスで浅いディレクトリ階層を指定してください。

  ・J2EE サーバ名が長い場合は，J2EE サーバ名が短い環境で動作させてください。

  ・J2EE モジュール（J2EE アプリケーション，EJB-JAR，WAR，リソースアダプタ，データソース，メールコンフィグレーションなど）の名称が長い場合は，短い名称に変更してください。

・インポートするファイル名またはファイル中の DD で定義された<display-name>タグの値が長い場合は，短くしてください。

- **アクセス権限がない場合は，アクセス権限を付与してください。**

KDJE42101-I

aa....aa / bb....bb stubs are generated.

aa....aa：生成済みスタブ数

bb....bb：生成するスタブ数

説明

aa....aa 個のインタフェースのスタブを生成しました。

このメッセージは，スタブを一括生成できない場合に，複数回に分けて生成するときに出力されます。一括生成できない要因として，スタブ生成コマンドの引数が長過ぎる可能性があります。

KDJE42102-W

aa....aa command failed. Length of arguments may be too long.(length= bb....bb) The command is executed again with reduced number of interfaces.

aa....aa：コマンド名

bb....bb：コマンド実行時の引数の長さ

説明

コマンドの実行に失敗しました。スタブ生成コマンドの引数が長過ぎる可能性があります。

対処

引数に指定するインタフェースを減らして，再度実行してください。

KDJE42103-E

The specified JDBC driver is not supported by the current J2EE feature. JDBC driver = aa....aa Details = bb....bb

aa....aa：ファイル名[，ファイル名]

bb....bb：詳細情報

説明

指定された JDBC ドライバは，現在の J2EE サーバモードの動作モードではサポートされていません。

対処

詳細情報に応じて，次の対処をしてください。

- To the basic mode, need to import only JdbcDbpsv.jar.

  ベーシックモードの場合は，Driver for Java Technology の JdbcDbpsv.jar だけをインポートしてください。

- To the basic mode, need to import JDBC driver that implements the java.sql.Driver interface.

  ベーシックモードの場合は，java.sql.Driver インタフェースを実装したクラスを含む JDBC ドライバをインポートしてください。

KDJE42105-E

The runtime deployment descriptor was not found. File path = aa....aa

aa....aa：ファイルの絶対パス

説明

ランタイムの DD が見つかりません。

対処

J2EE アプリケーションを作成し直してください。要因がわからない場合は保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42106-E

The directories and files in the allstubs directory could not be deleted. allstubs directory path = aa....aa

aa....aa：allstubs ディレクトリの絶対パス

説明

allstubs ディレクトリ下のディレクトリおよびファイルが削除できませんでした。

対処

次の内容を確認して，対処してください。要因がわからない場合は保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

- allstubs ディレクトリ以下に削除権限が付加されていない場合は，権限を付加してから再度 J2EE サーバを起動してください。
- allstubs ディレクトリ以下を別プロセスから参照している場合は，そのプロセスを終了してから再度 J2EE サーバを起動してください。

KDJE42107-I

The J2EE application aa....aa will now be deployed and started.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの開始処理を表すメッセージです。

KDJE42108-I

The J2EE application aa....aa started successfully.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

アプリケーション開始処理が成功したことを表すメッセージです。

KDJE42109-I

The home interface for aa....aa will now be published.

aa....aa：ホームインタフェース名

説明

ホームインタフェースの公開を表すメッセージです。

KDJE42110-I

The Web component aa....aa will now be started.

aa....aa：WEB コンポーネント名

説明

WEB コンポーネントの開始を表すメッセージです。

KDJE42111-I

Importing "aa....aa" is in progress.

aa....aa：対象

説明

インポート処理の実行を表すメッセージです。

KDJE42112-I

Importing "aa....aa" was successful.

aa....aa：対象

説明

インポート処理の成功を表すメッセージです。

KDJE42113-I

Exporting "aa....aa" is in progress.

aa....aa：対象

説明

エクスポート処理の実行を表すメッセージです。

KDJE42114-I

Sending export information of "aa....aa" was successful.

aa....aa：対象

説明

エクスポート処理の成功を表すメッセージです。

KDJE42115-E

An unexpected exception occurred. Details = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。詳細情報が nnnn（n は数字）で始まるメッセージについては，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42116-E

The composition of the file (aa....aa) is invalid. Re-create the J2EE application. If you cannot re-create the J2EE application, contact the system administrator.

aa....aa：ファイル名

説明

ファイル（aa....aa）中の構成が不正です。

対処

J2EE アプリケーションを再度作成してください。作成できない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE42117-E

The value of the sequential number exceeded the limit. Contact the system administrator.

説明

通し番号の値が最大値を超えました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE42118-E

An attempt to convert the deployment descriptor file (hitachi-ejb-app.xml) in the file (aa....aa) has failed. Re-create the J2EE application. If you cannot re-create the J2EE application, contact the system administrator. Details = bb....bb

aa....aa：実行時情報付きファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイル（aa....aa）中の DD のコンバートに失敗しました。

対処

J2EE アプリケーションを再度作成してください。再作成できない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE42119-E

A J2EE resource adapter with the same name already exists. Display name = aa....aa

aa....aa：表示名

説明

同名の J2EE リソースアダプタがすでに存在します。

対処

J2EE リソースアダプタの表示名を変更してから，再度操作を実行してください。

KDJE42120-E

The context root "aa....aa" of the WAR file (bb....bb) in the file (cc....cc) is invalid. Re-create the J2EE application. If you cannot re-create the J2EE application, contact the system administrator.

aa....aa：コンテキストルート

bb....bb：WAR ファイル名

cc....cc：ファイル名

説明

ファイル（cc....cc）中の WAR ファイル（bb....bb）のコンテキストルート（aa....aa）が不正です。

対処

J2EE アプリケーションを再度作成してください。作成できない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE42121-E

An attempt to import the file (aa....aa) has failed. Take action based on the detail message. If the cause is unknown, contact the system administrator. Details = bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイル（aa....aa）のインポートに失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。詳細情報が nnnn（n は数字）で始まるメッセージについては，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。要因がわからない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE42122-E

The value of the sequential number specified in the lookup name of the EJB exceeded the limit. EJB name = aa....aa, Lookup name = bb....bb

aa....aa：EJB 名

bb....bb：ルックアップ名

説明

EJB（aa....aa）のルックアップ名（bb....bb）に指定する通し番号の値が，最大値を超えました。

対処

既存の EJB のルックアップ名を変更してから，再度操作を実行してください。

KDJE42123-E

A resource adapter that has the native library file in the file (aa....aa) exists. Delete the native library file, and then re-import.

aa....aa：ファイル名

説明

ファイル（aa....aa）中にネイティブライブラリファイルを持つリソースアダプタが存在します。

対処

ネイティブライブラリファイルを削除してから，再度インポートしてください。

KDJE42124-E

The application aa....aa already exists. Check the application name. (Application names are not case-sensitive.)

aa....aa：ルックアップ名

説明

ルックアップ名（aa....aa）を持つ J2EE アプリケーションがすでに存在します。

対処

次に示す状況に応じて，対処してください。

- **J2EE アプリケーションを新規に作成する場合**
  J2EE アプリケーションの display-name を変更して再度作成してください。
- **J2EE 仕様に従った EAR ファイルをインポートする場合**
  インポートする EAR ファイルの display-name を変更して再度インポートしてください。または，名称が重複しているアプリケーションを削除してから再度インポートしてください。
- **実行時情報付きファイルをインポートする場合**
  ルックアップ名が重複しているアプリケーションを削除してから，再度インポートしてください。

KDJE42125-W

The value of the tag in the deployment descriptors in the file is duplicated (aa....aa). Only the value found first or last is used. Details = bb....bb

aa....aa：実行時情報付きファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイル（aa....aa）中の DD でタグの値が重複しています。最初または最後に見つかった値だけを使用します。

対処

詳細情報を参照して，重複しているタグの値を修正してください。

KDJE42126-E

An attempt to execute an external program has failed. Details = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

外部プログラムの実行に失敗しました。

環境設定が不正な可能性があります。

対処

詳細情報を参照して，環境設定を見直してください。要因がわからない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE42127-E

The file could not be deleted. Path = aa....aa

aa....aa：ファイルのパス

説明

ファイルを削除できません。

対処

削除対象のファイルを確認して，対処してください。要因がわからない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE42128-E

An attempt to parse the XML has failed. Details = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

XML の解析に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，処理対象になった XML ファイルを確認してください。確認したあと，対処してください。

KDJE42129-E

The directory could not be deleted. Path = aa....aa

aa....aa：ディレクトリパス

説明

ディレクトリが削除できません。

対処

処理対象のディレクトリを確認して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42130-E

This stand-alone resource adapter "aa....aa" is tested once. Reboot the J2EE server, and then delete.

aa....aa：リソースアダプタ名

説明

この単体リソースアダプタ（aa....aa）は一度テストされています。

対処

J2EE サーバを再起動してから，対象リソースアダプタの削除処理をしてください。

KDJE42131-E

Another server management command is already running. Details = [aa....aa]

aa....aa：詳細情報

説明

サーバ管理コマンドで別の操作がすでに実行されているか，サーバ管理コマンドが失敗したときに行われる作業ディレクトリの回復処理が失敗しています。

対処

次の方法で対処してください。

- 別のサーバ管理コマンドが実行されている場合は，実行中の操作が終了したあと，再度操作を実行してください。
- このメッセージより前に「KDJE42134-E」のメッセージが出力されている場合は，作業ディレクトリの回復処理に失敗しています。「KDJE42134-E」のメッセージの対処法を参照してください。

KDJE42132-I

The status of the public directory is invalid because a server management command operation was interrupted. Recovery will now start. Details = [aa....aa]

aa....aa：詳細情報

説明

作業ディレクトリの回復処理の開始を表すメッセージです。

サーバ管理コマンドの操作が中断されたことで，作業ディレクトリが不正な状態です。作業ディレクトリの回復処理を開始します。

KDJE42133-I

Recovery of the public directory has finished.

説明

作業ディレクトリの回復処理の終了を表すメッセージです。

KDJE42134-E

An attempt to recover the public directory has failed. Details = [aa....aa]

aa....aa：詳細情報

説明

作業ディレクトリの回復処理に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。詳細情報が nnnn（n は数字）で始まるメッセージについては，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。問題が解決しない場合は，J2EE サーバを再起動してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42135-E

The directory cannot be accessed. Path = aa....aa

aa....aa：ディレクトリのパス

説明

ディレクトリにアクセスできません。

対処

ディレクトリに，アクセス権が設定されているかどうかを確認してください。設定されていない場合は，適切な権限を設定したあと，再度操作を実行してください。

KDJE42136-E

The status of the public directory is invalid.

説明

作業ディレクトリが不正な状態です。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42137-E

An internal error occurred. Contact the system administrator.

説明

内部エラーが発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42138-E

This application had failed in stopping. Please operate it by rebooting the J2EE server.

説明

過去に J2EE アプリケーションの停止に失敗しているため，開始および削除などの操作ができないことを表すメッセージです。

対処

J2EE サーバを再起動してから，操作してください。

KDJE42139-I

The J2EE application (aa....aa) will now be stopped.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

アプリケーション（aa....aa）停止処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42140-I

The J2EE application (aa....aa) stopped.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

アプリケーション（aa....aa）停止処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42141-I

The J2EE application (aa....aa) will now be undeployed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

アプリケーション（aa....aa）のアンデプロイ処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42142-I

The J2EE application (aa....aa) undeployed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

アプリケーション（aa....aa）のアンデプロイ処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42143-I

The ClassLoader for the J2EE application was initialized. (display-name = aa....aa, initialized time = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：初期化した時刻

説明

クラスローダが初期化されたことを表すメッセージです。

KDJE42144-I

The ClassLoader for the J2EE application was finalized. (display-name = aa....aa, initialized time = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：初期化した時刻

説明

アプリケーションクラスローダが破棄されたことを表すメッセージです。

J2EE アプリケーションの停止後，アプリケーションクラスローダのファイナライズ処理（finalize メソッドの処理）が実行されたタイミングで，このメッセージが出力されます。

アプリケーションの開始または停止を繰り返しても，このメッセージが出力されない場合は，メモリリークが発生しているおそれがあります。

KDJE42143-I メッセージに出力されている J2EE アプリケーション名，時刻情報と突き合わせることで，どのアプリケーションクラスローダが破棄されたのかを特定することができます。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編(コンテナ共通機能)」の「付録 B　クラスローダの構成」を参照してください。

KDJE42145-E

Usage:

Format 1: cjsweepout [servername] -inspect

Format 2: cjsweepout [servername] -allsweep

Format 3: cjsweepout [servername] -sweep id(key)

説明

cjsweepout コマンドの使用方法です。

対処

正しい使用方法で，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42146-E

The configuration file for Cosminexus Component Container was not found. (path = aa....aa)

aa....aa：構成ファイルのパス

説明

Component Container の構成ファイルが見つかりません。

対処

cjsweepout コマンド実行時に指定した J2EE サーバの名称に誤りがないかを確認してください。J2EE サーバの名称に誤りがある場合は，正しい名称を指定し，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。もし，構成ファイルを削除してしまった場合は，Component Container の再インストールまたは J2EE サーバの再セットアップを行い，構成ファイルを再作成してください。そのあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42147-E

The configuration file for Cosminexus Component Container could not be accessed. (path = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：構成ファイルのパス

bb....bb：詳細情報

説明

Component Container の構成ファイルにアクセスできません。

対処

構成ファイルにアクセス権が付与されていない場合は，アクセス権を付与したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。アクセス権が付与されている場合は，詳細情報を参照して対処したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42148-E

The value of the ejbserver.http.port property, defined in the J2EE server configuration file, is invalid. (path = aa....aa, value = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：構成ファイルのパス

bb....bb：ejbserver.http.port プロパティの値

cc....cc：詳細情報

説明

J2EE サーバの構成ファイルに定義された ejbserver.http.port プロパティの値が不正です。

対処

ejbserver.http.port プロパティの値を正しい値に修正したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42149-E

The J2EE server specified when the cjsweepout command was executed is already running. (server name = aa....aa, http server port number = bb....bb)

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：J2EE サーバが内部的に起動している HTTP サーバ（簡易 Web サーバ）のポート番号

説明

cjsweepout コマンド実行時に指定した J2EE サーバが起動しています。

起動している J2EE サーバに対し，cjsweepout コマンドを実行しないでください。

対処

cjsweepout コマンド実行時に，指定した J2EE サーバが起動している場合は，停止したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。J2EE サーバが停止している場合は，同一ポート番号を使用

するアプリケーション（別 J2EE サーバ）が起動していないかを確認してください。起動している場合は，アプリケーション（別 J2EE サーバ）を停止したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42150-E

The cjsweepout command was executed for an unsupported version of Cosminexus Component Container. (version = aa....aa)

aa....aa：Component Container のバージョン情報

説明

適用外の Component Container のバージョンに対し，cjsweepout コマンドが実行されています。

対処

cjsweepout コマンドが適用されているバージョンであるかを確認してください。

KDJE42151-E

A file exists where the public directory for the J2EE server should be. (path = aa....aa)

aa....aa：ファイルのパス

説明

J2EE サーバ用作業ディレクトリがあるべきところにファイルがあります。

対処

ファイルを削除して，作業ディレクトリを作成したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42152-E

The public directory for the J2EE server was not found. (path = aa....aa)

aa....aa：作業ディレクトリのパス

説明

J2EE サーバ用作業ディレクトリが見つかりません。

対処

作業ディレクトリを作成したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42153-E

The public directory for the J2EE server could not be accessed. (path = aa....aa)

aa....aa：作業ディレクトリのパス

説明

J2EE サーバ用作業ディレクトリにアクセスできません。

対処

作業ディレクトリにアクセス権が付与されているかを確認してください。付与されていない場合は，アクセス権を付与したあと，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42154-I

Inspection result:

aa....aa

aa....aa：調査結果

説明

J2EE サーバ用作業ディレクトリ以下のディレクトリ構成の状態を調査した結果です。

調査結果（aa....aa）に表示される内容は，次のとおりです。

ID(Key)

J2EE サーバ用作業ディレクトリ以下のディレクトリ，ファイル名です。cjsweepout コマンドが認識できる文字列として表示されます。

Display name

J2EE アプリケーションまたは J2EE リソースアダプタ，J2EE リソース（EJB-JAR，リソースアダプタ，WAR，データソース，メールコンフィグレーション）の表示名が表示されます。表示名が取得できない場合は，ハイフン（-）が表示されます。

Condition

J2EE サーバ用作業ディレクトリ以下のディレクトリ，ファイル（ID(Key)）が正常な状態の場合は，valid が表示され，異常な状態の場合は，invalid が表示されます。

KDJE42155-I

The ID(Key) will now be deleted. (ID = aa....aa)

aa....aa：ID(Key)

説明

ID(Key)を削除します。

KDJE42156-I

The ID(Key) has been deleted. (ID = aa....aa)

aa....aa：ID(Key)

説明

ID(Key)を削除しました。

KDJE42157-W

The internal configuration of the J2EE server is in a normal state. (server name = aa....aa)

aa....aa：J2EE サーバ名

説明

J2EE サーバ内部構成は正常な状態です。

対処

cjsweepout コマンド実行時に指定した J2EE サーバの名称に誤りがないかを確認してください。誤りがある場合は，正しい名称を指定し，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42158-W

The ID(Key) is in a normal state. (ID = aa....aa)

aa....aa：ID(Key)

説明

ID(Key)は正常な状態です。

対処

cjsweepout コマンド実行時に指定した ID(Key)に誤りがないかを確認してください。誤りがある場合は，正しい ID(Key)を指定し，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42159-E

The ID(Key) was not found. (ID = aa....aa)

aa....aa：ID(Key)

説明

ID(Key)が見つかりません。

対処

cjsweepout コマンド実行時に指定した ID(Key)に誤りがないかを確認してください。誤りがある場合は，正しい ID(Key)を指定し，再度 cjsweepout コマンドを実行してください。

KDJE42160-I

The cjsweepout command finished successfully.

説明

cjsweepout コマンドが正常終了しました。

KDJE42161-E

The attribute of the J2EE application "aa....aa" could not be set. The specification of a library class path is invalid. (invalid path = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：ファイルまたはディレクトリパス

説明

クラスパスの指定が不正なため，J2EE アプリケーションの属性設定に失敗したことを表すメッセージです。

対処

クラスの参照パスに誤りがないかを確認してください。誤りがある場合は，正しい参照パスを指定してください。誤りがない場合は，参照パスに指定したファイルが J2EE サーバと同一マシン上に存在するかを確認してください。存在しない場合は，指定した場所にファイルを置いてください。

KDJE42162-E

Deployment processing ended abnormally. The specification of a library class path in the J2EE application "aa....aa" is invalid. (invalid path = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：ファイルまたはディレクトリパス

説明

クラスパスの指定が不正なため，J2EE アプリケーションのデプロイに失敗したことを表すメッセージです。

対処

クラスの参照パスに誤りがないかを確認してください。誤りがある場合は，正しい参照パスを指定してください。誤りがない場合は，参照パスに指定したファイルが J2EE サーバと同一マシン上に存在するかを確認してください。存在しない場合は，指定した場所にファイルを置いてください。

KDJE42163-E

The J2EE application "aa....aa" will not create an RMI-IIOP stub.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

指定した J2EE アプリケーションは RMI-IIOP スタブを作成しません。

対処

J2EE アプリケーションの構成を修正後，コマンドを実行してください。

KDJE42164-E

This J2EE application has not once been executed. (display-name = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

対象の J2EE アプリケーションは一度も実行されていません。

対処

該当のアプリケーションを一度実行後，コマンドを実行してください。

KDJE42165-E

A J2EE application having the same lookup name already exists. (J2EE application display name = aa....aa, J2EE application lookup name = bb....bb, J2EE application mode = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーションの表示名

bb....bb：J2EE アプリケーションの lookup 名

cc....cc：J2EE アプリケーションのモード

説明

同一 lookup 名の J2EE アプリケーションがすでに存在します。J2EE アプリケーションの lookup 名は J2EE アプリケーションのモード（ノーマルモード，テストモード）で一意でなければいけません。

J2EE アプリケーションの lookup 名は，J2EE アプリケーションの表示名から自動生成されます。

対処

lookup 名が重複しないよう表示名を変更後，再度操作を実行してください。

KDJE42166-I

The J2EE application will now be created. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーションの作成処理開始を表すメッセージです。

KDJE42167-I

The J2EE application was created successfully. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーションの作成処理が成功したことを表すメッセージです。

KDJE42168-I

The resource will now be added to the J2EE application. (resource = aa....aa, type =bb....bb, J2EE application = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名（種別が LibJar の場合はファイル名）

bb....bb：リソース種別

cc....cc：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーションへのリソース追加処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42169-I

The resource was successfully added to the J2EE application. (resource = aa....aa, type =bb....bb, J2EE application = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名（種別が LibJar の場合はファイル名）

bb....bb：リソース種別

cc....cc：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーションへのリソース追加処理が成功したことを表すメッセージです。

KDJE42170-I

The resource will now be deleted from the J2EE application. (resource = aa....aa, type =bb....bb, J2EE application = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名（種別が LibJar の場合はファイル名）

bb....bb：リソース種別

cc....cc：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内のリソース削除処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42171-I

The resource was successfully deleted from the J2EE application. (resource = aa....aa, type =bb....bb, J2EE application = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名（種別が LibJar の場合はファイル名）

bb....bb：リソース種別

cc....cc：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内のリソース削除処理が成功したことを表すメッセージです。

KDJE42174-I

The resource's properties will now be set. (display name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソースへのプロパティ設定処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42175-I

The resource's properties were set successfully. (display name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソースへのプロパティ設定処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42176-I

The properties for the internal resource of the J2EE application will now be set. (resource = aa....aa, type = bb....bb, J2EE application = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

cc....cc：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内リソースへのプロパティ設定処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42177-I

The properties for the internal resource of the J2EE application were set successfully. (resource = aa....aa, type = bb....bb, J2EE application = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

cc....cc：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内リソースへのプロパティ設定処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42178-I

The resource will now be deleted. (display name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソース削除処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42179-I

The resource was deleted successfully. (display name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソース削除処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42180-I

The resource will now be copied. (display name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソースコピー処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42181-I

The resource was copied successfully. (display name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソースコピー処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42182-I

The J2EE resource adapter will now be deployed. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタのデプロイ処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42183-I

The J2EE resource adapter was deployed successfully. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタのデプロイ処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42184-I

The J2EE resource adapter will now be undeployed. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタのアンデプロイ処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42185-I

The J2EE resource adapter was undeployed successfully. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタのアンデプロイ処理の終了を表すメッセージです。

KDJE42186-I

The J2EE resource adapter will now start. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタの開始処理が始まったことを表すメッセージです。

KDJE42187-I

The J2EE resource adapter started successfully. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタの開始処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42188-I

The J2EE resource adapter will now stop. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタの停止処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42189-I

The J2EE resource adapter stopped successfully. (display name =aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタの停止処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42190-I

The mail configuration will now be created. (display name = aa....aa)

aa....aa：メールコンフィグレーション表示名

説明

新規メールコンフィグレーション作成処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42191-I

The mail configuration was created successfully. (display name = aa....aa)

aa....aa：メールコンフィグレーション表示名

説明

新規メールコンフィグレーション作成処理の完了を表すメッセージです。

KDJE42192-I

The connection test for the J2EE resource adapter will now be performed. (display name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

説明

J2EE リソースアダプタの接続テスト開始を表すメッセージです。

KDJE42193-I

The connection test for the J2EE resource adapter has finished. (display name = aa....aa, test result = bb....bb)

aa....aa：J2EE リソースアダプタ表示名

bb....bb：テスト結果

説明

J2EE リソースアダプタの接続テスト完了を表すメッセージです。

KDJE42194-I

The connection test for the data source will now be performed. (display name = aa....aa)

aa....aa：データソース表示名

説明

データソースの接続テスト開始を表すメッセージです。

KDJE42195-I

The connection test for the data source has finished. (display name = aa....aa, test result = bb....bb)

aa....aa：データソース表示名

bb....bb：テスト結果

説明

データソースの接続テスト完了を表すメッセージです。

KDJE42196-I

The mail configuration will now be tested. (display name = aa....aa)

aa....aa：メールコンフィグレーション表示名

説明

メールコンフィグレーションによる接続テスト開始を表すメッセージです。

KDJE42197-I

The mail configuration test has finished. (display name = aa....aa, test result = bb....bb)

aa....aa：メールコンフィグレーション表示名

bb....bb：テスト結果

説明

メールコンフィグレーションによる接続テスト完了を表すメッセージです。

KDJE42200-E

An attempt to move the J2EE application that is to be replaced has failed. (directory or file path to be moved = aa....aa)

aa....aa：移動対象のディレクトリまたはファイルのパス

説明

入れ替え先 J2EE アプリケーションの移動処理に失敗しました。

要因として，移動対象のディレクトリ以下のファイルまたは移動対象のファイルが使用中か，アクセス権限が付与されていないため移動できないことが考えられます。

対処

エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KDJE42201-E

An attempt to import the replacement-source J2EE application has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

入れ替え元 J2EE アプリケーションのインポート処理に失敗しました。空きディスク容量が不足しているため，インポートできないことが考えられます。

対処

詳細情報またはこのメッセージの前に出力されているメッセージを参照して，インポートに失敗した要因を取り除いたあと，再度実行してください。

詳細情報が nnnn（n は数字）で始まるメッセージについては，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して対処してください。

KDJE42202-E

The configurations of the J2EE application before and after the replacement do not match. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

入れ替え前と入れ替え後で J2EE アプリケーションの構成が一致しません。

対処

詳細情報を参照して，構成が一致するよう J2EE アプリケーションを修正後，再度実行してください。

修正できない場合は，入れ替え先 J2EE アプリケーションを削除してからインポートしてください。

KDJE42203-E

An attempt to start the J2EE application after completion of replacement processing has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

入れ替え処理完了後の J2EE アプリケーションの開始処理に失敗しました。

対処

詳細情報またはこのメッセージの前に出力されているメッセージを参照して，開始処理に失敗した要因を取り除いたあと，再開始してください。

KDJE42204-E

The development environment and the J2EE server are not running on the same machine. (IP address of the machine running the development environment = aa....aa, IP address of the machine running the J2EE server = bb....bb)

aa....aa：開発環境が動作するマシンの IP アドレス

bb....bb：J2EE サーバが動作するマシンの IP アドレス

説明

開発環境と J2EE サーバが同一マシンで動作していません。

対処

開発環境と J2EE サーバを同一マシンで起動してから，再度実行してください。

KDJE42205-E

The update list file does not exist. (update list file path = aa....aa)

aa....aa：更新リストファイルのパス

説明

更新リストファイルが存在しません。

対処

正しい更新リストファイルのパスを指定後，再度実行してください。

KDJE42206-E

An attempt to analyze the update list file has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

更新リストファイルの解析処理に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，解析処理に失敗した要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KDJE42207-E

The J2EE application is not in a stopped state. (J2EE application display name = aa....aa, J2EE application mode = bb....bb, J2EE application state = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーションの表示名

bb....bb：J2EE アプリケーションのモード

cc....cc：J2EE アプリケーションの状態

説明

J2EE アプリケーションが停止状態ではありません。J2EE アプリケーションが停止状態のときだけ操作できます。

対処

J2EE アプリケーションを停止状態に遷移後，再度操作を実行してください。

KDJE42208-E

An attempt to update the target archive file has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

更新対象アーカイブファイルの更新処理に失敗しました。

要因として，空きディスク容量が不足しているため更新できないことが考えられます。

対処

詳細情報またはこのメッセージの前に出力されているメッセージを参照して，作成に失敗した要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KDJE42209-I

The command lock was released because there was no request from the command for a long period. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time = dd....dd)

aa....aa：ディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

コマンドからのリクエストが長時間届かないため，コマンド排他が解除されたことを表すメッセージです。

KDJE42210-I

The command lock was released because the cjresetsv command was executed. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time = dd....dd)

aa....aa：ディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

cjresetsv コマンドが実行されたため，コマンド排他が解除されたことを表すメッセージです。

KDJE42211-I

The command status has changed to awaiting execution. (command name = aa....aa, host name = bb....bb, number of commands awaiting execution = cc....cc)

aa....aa：実行待ちになったコマンドのディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：実行待ちになったコマンドを要求したホストの IP アドレス

cc....cc：実行待ちになっているコマンド数

説明

コマンドが実行待ち状態になったことを表すメッセージです。

KDJE42212-E

Execution of a command was refused, either because the user did not have execution permission for the command, or the command was canceled. Re-execute the command. (command name = aa....aa)

aa....aa：実行失敗したコマンドのディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

説明

コマンドの実行許可がないため，処理が継続できませんでした。

要因として次のことが考えられます。

- 高負荷な処理のため J2EE サーバのレスポンス待ち時間内にコマンド処理が完了しなかった
- ネットワークで著しい通信遅延が発生している
- コマンドの実行処理が著しく遅延している
- コマンドの処理中に，cjresetsv コマンドで J2EE サーバの排他制御が解除された

対処

中断されたコマンドを再度実行してください。

繰り返し，処理が中断される場合は，J2EE サーバコンソールに排他解除メッセージ（KDJE42209-I, KDJE42210-I）が出力されていないかを確認してください。

排他解除メッセージが出力されている場合は，次のことを確認し，対処してください。

- コマンド実行端末およびネットワークの状態を確認してください。問題が発生している場合は，問題を取り除いて，コマンドを再度実行してください。
- コマンド実行端末およびネットワークの状態に問題がない場合は，J2EE サーバ用ユーザプロパティファイルで定義している，コマンドからのレスポンス待ち時間（ejbserver.deploy.exclusive.lockAliveInterval）の設定値を，大きな値に変更してください。設定値の変更後，サーバを再起動してコマンドを再度実行してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42213-E

Execution of a command was refused because the server is awaiting shutdown. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time= dd....dd)

aa....aa：ディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

シャットダウンコマンドが実行待ち状態になっているため，コマンドの新規受付を拒否しました。

対処

サーバを再起動したあと，コマンドを再度実行してください。

KDJE42214-E

Execution of a command was refused because the server is waiting for a GUI command to end. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time = dd....dd)

aa....aa：ディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

GUI コマンドが実行待ち状態になっているため，コマンドの新規受付を拒否しました。

GUI コマンドの実行中または実行待ち状態のときは，サーバは新規コマンドの受付を停止します。

対処

サーバ上で GUI コマンドを終了したあと，実行が拒否されたコマンドを再度実行してください。

KDJE42215-I

The J2EE application aa....aa will now be blocked.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの閉塞処理を開始します。

KDJE42216-I

The J2EE application aa....aa was blocked successfully.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの閉塞処理が完了しました。これによって，新規のリクエストは受け付けなくなります。処理中のリクエストについては，処理を続行します。

KDJE42217-I

The Web application will now be blocked.

説明

Web アプリケーションの閉塞処理を開始します。

KDJE42218-I

The Web application was blocked successfully.

説明

Web アプリケーションの閉塞処理が完了しました。

KDJE42219-I

The CTM queue will now be blocked.

説明

CTM キューの閉塞処理を開始します。

KDJE42220-I

The CTM queue was blocked successfully.

説明

CTM キューの閉塞処理が完了しました。

KDJE42221-I

The front EJB will now be blocked.

説明

フロント EJB の閉塞処理を開始します。

KDJE42222-I

The front EJB was blocked successfully.

説明

フロント EJB の閉塞処理が完了しました。

KDJE42223-I

The J2EE application aa....aa will now be forcibly stopped.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションを強制停止します。

KDJE42224-I

The J2EE application aa....aa was forcibly stopped.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションを強制停止しました。

KDJE42225-E

An attempt to forcibly stop the J2EE application aa....aa has failed.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの強制停止に失敗しました。

対処

サーバ管理コマンド（cjlistapp）を使用して J2EE アプリケーションの状態を確認してください。

状態に応じて次の方法で対処してください。

J2EE アプリケーションの状態が stopped（停止状態）の場合

正常終了できているので問題ありません。

J2EE アプリケーションの状態が forceStopFailure（強制停止失敗状態）の場合

J2EE サーバを再起動してください。

それ以外の状態の場合

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42226-E

The property value of the UAP forcible stop function is invalid.

説明

J2EE アプリケーションの強制停止機能のプロパティの設定値に誤りがあります。

対処

プロパティの設定値を見直してください。

KDJE42227-E

The forcible stop cannot be executed because the property ejbserver.deploy.app.stopforcibly.disabled is true.

説明

プロパティキー ejbserver.deploy.app.stopforcibly.disabled の値が true のため，J2EE アプリケーションの強制停止が実行できません。

対処

プロパティの値を false に設定し，J2EE サーバを再起動後，強制停止を実行してください。

KDJE42228-E

The display name contains invalid characters. (display name = aa....aa)

aa....aa：表示名

説明

表示名に不正な文字が含まれています。表示名に指定できる文字は，半角英数字文字（a～z，A～Z，0～9）とアンダースコア（_）だけです。

対処

表示名を変更後，再度，操作を実行してください。

KDJE42229-E

The server refused to execute the command because the command cannot wait for other commands to end. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time = dd....dd)

aa....aa：ディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

実行したコマンドは，ほかのコマンドの終了を待つことができないコマンドです。ほかのコマンドが実行中である J2EE サーバから，コマンドの受付が拒否されました。

対処

操作対象となる J2EE サーバで，ほかのコマンドが実行されていないことを確認してから，拒否されたコマンドを再度実行してください。

KDJE42230-E

Execution of a command was refused because an another privilege command is already running. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time= dd....dd)

aa....aa：ディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

ほかの特権コマンドがすでに実行中であるため，特権コマンドの実行が拒否されました。

対処

操作対象となる J2EE サーバで，ほかの特権コマンドが実行されていないことを確認してから，拒否されたコマンドを再度実行してください。

KDJE42231-E

aa....aa processing cannot continue because monitoring of the UAP execution time is disabled.

aa....aa：処理内容

説明

UAP 実行時間監視が無効のため，処理を続行できません。

対処

次のどちらかの方法で UAP 実行時間監視機能を有効にしてください。

- プロパティ ejbserver.deploy.app.stopforcibly.disabled に false を設定
- プロパティ ejbserver.ext.method_observation.interval に 0 より大きい数値を指定

KDJE42232-E

aa....aa processing cannot continue because of a discrepancy between the JDK vendor bb....bb and the version cc....cc.

aa....aa：処理内容

bb....bb：JDK ベンダ名

cc....cc：JDK バージョン

説明

JDK のベンダまたはバージョンが異なるため，処理を続行できません。

対処

J2EE アプリケーションの運用機能の一部は使用できません。

J2EE アプリケーション実行時間の監視機能を使用している場合は，機能を無効にしてください。

KDJE42233-E

A valid RAR file was not found.

説明

リソースアダプタの移行に使用できる RAR ファイルが一つも存在しません。

対処

正常な RAR ファイルを用意してください。

KDJE42234-E

The server aa....aa has not been updated.

aa....aa：サーバ名

説明

J2EE サーバの移行が完了していないため，リソースアダプタの移行処理を実行できません。

対処

J2EE サーバの移行処理を完了したあと，再度リソースアダプタの移行処理を行ってください。

KDJE42235-E

Migration of the resource adapters of the old version has finished, but some resource adapters could not be migrated.

説明

リソースアダプタの移行中に問題が発生しました。

対処

「KDJE42271-E」が出力されているかどうかを確認してください。

出力されていた場合は，「KDJE42271-E」の対処を参照してください。

ほかのエラーメッセージが出力されていた場合は，必要に応じてバックアップからの復旧を行ってください。

KDJE42236-I

Processing to migrate the server will now start. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

サーバの移行処理開始を表すメッセージです。

KDJE42237-I

Processing to migrate the server has finished. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

サーバの移行処理終了を表すメッセージです。

KDJE42238-I

Processing to migrate the resource adapter will now start. (resource name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソースアダプタの移行処理開始を表すメッセージです。

KDJE42239-I

Processing to migrate the resource adapter of the J2EE application will now start. (resource name = aa....aa, J2EE application = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション内のリソースアダプタの移行処理開始を表すメッセージです。

KDJE42240-E

An attempt to migrate the resource adapter has failed (resource name = aa....aa, type = bb....bb, detail = cc....cc).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

cc....cc：詳細情報

説明

リソースアダプタの移行処理失敗を表すメッセージです。

対処

次の方法で対処してください。

直前にエラーレベルのメッセージが出力されている場合

直前のメッセージの対処法を参照してください。

それ以外の場合

詳細情報を参照して，対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42241-E

An attempt to migrate the internal resource adapter of the J2EE application has failed (resource name = aa....aa, J2EE application = bb....bb, detail = cc....cc).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：詳細情報

説明

J2EE アプリケーション内の，リソースアダプタの移行処理失敗を表すメッセージです。

対処

次の方法で対処してください。

直前にエラーレベルのメッセージが出力されている場合

直前のメッセージの対処法を参照してください。

それ以外の場合

詳細情報を参照して対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42242-I

Migration of the resource adapter has finished. (resource name = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

説明

リソースアダプタの移行処理完了を表すメッセージです。

KDJE42243-I

Migration of the resource adapter of the J2EE application has finished. (resource name = aa....aa, J2EE application = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：j2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション内の，リソースアダプタの移行処理完了を表すメッセージです。

KDJE42244-E

The file format is invalid. (file = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルの形式に問題があります。

対処

正しいファイルを用意して，再度リソースアダプタの移行処理を行ってください。

KDJE42245-E

The file aa....aa was not found.

aa....aa：ファイル名

説明

ファイル aa....aa が見つかりません。

対処

パスにファイルが存在しているかを確認してください。

KDJE42246-E

Resource "aa....aa" cannot start because the data source is not supported.

aa....aa：リソース表示名

説明

データソースをサポートしていないため，リソースを開始できません。

対処

リソースアダプタを使用してください。

KDJE42247-I

Migrating version (file = aa....aa, old version = bb....bb, new version = cc....cc).

aa....aa：ファイル名

bb....bb：旧バージョン

cc....cc：新バージョン

説明

移行前後のファイルのバージョンを表すメッセージです。

KDJE42248-E

The file version is invalid (file = aa....aa, old version = bb....bb, new version = cc....cc).

aa....aa：ファイル名

bb....bb：旧バージョン

cc....cc：新バージョン

説明

移行処理ができない場合に，移行前後のファイルのバージョンを表すメッセージです。

対処

ファイルのバージョンを確認してください。

KDJE42249-W

Migration of the resource adapter will now stop. (resource name = aa....aa, type = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：リソース種別

cc....cc：詳細情報

説明

リソースアダプタの移行処理中止を表すメッセージです。

対処

強制的に移行処理を実行する場合は，-force オプションを指定して再度 cjrarupdate コマンドを実行してください。

KDJE42250-W

Migration of the resource adapter of the J2EE application will now stop. (resource name = aa....aa, J2EE application = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション名

cc....cc：詳細情報

説明

J2EE アプリケーション内の，リソースアダプタの移行処理中止を表すメッセージです。

対処

強制的に移行処理を実行する場合は，-force オプションを指定して再度 cjrarupdate コマンドを実行してください。

KDJE42251-E

The status of the public directory is invalid. (type = aa....aa)

aa....aa：リソース種別

説明

作業ディレクトリが不正な状態です。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE42252-I

Processing to migrate the resource adapter will now start.

説明

リソースアダプタの移行処理開始を表すメッセージです。

KDJE42253-I

Migration of the resource adapter has finished.

説明

リソースアダプタの移行処理終了を表すメッセージです。

KDJE42254-I

Processing to back up the server will now start. (server name = aa....aa, the number of file = bb....bb)

aa....aa：サーバ名

bb....bb：バックアップするファイル数

説明

バックアップ作成処理の開始を表すメッセージです。

KDJE42255-I

Processing to back up the server has finished. (server name = aa....aa)

aa....aa：サーバ名

説明

バックアップ作成処理の終了を表すメッセージです。

KDJE42257-W

An invalid property value is specified. Default value is used. (key = aa....aa, value = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：設定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティファイルから不正な値を取得したため，デフォルト値を使用します。

要因としては，次のことが考えられます。

- プロパティに不正な値が設定されている。
- 有効範囲外の値が設定されている。

対処

J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）のプロパティ（aa....aa）の設定値を見直してください。

KDJE42258-I

Exporting the RMI-IIOP stub for J2EE application is in progress. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの RMI-IIOP スタブの取得処理開始を表すメッセージです。

KDJE42259-I

Sending the export information of the RMI-IIOP stub for the J2EE application was successful. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの RMI-IIOP スタブの取得処理情報送信の完了を表すメッセージです。

KDJE42260-I

The J2EE application name will now be renamed. (old name = aa....aa, new name = bb....bb)

aa....aa：旧 J2EE アプリケーション名

bb....bb：新 J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション名の変更処理開始を表すメッセージです。

KDJE42261-I

The J2EE application name was renamed successfully. (old name = aa....aa, new name = bb....bb)

aa....aa：旧 J2EE アプリケーション名

bb....bb：新 J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーション名の変更処理完了を表すメッセージです。

KDJE42262-I

The J2EE application mode will now be changed. (J2EE application = aa....aa, old mode = bb....bb, new mode = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：J2EE アプリケーションの旧動作モード

cc....cc：J2EE アプリケーションの新動作モード

説明

J2EE アプリケーションの動作モードの変更処理開始を表すメッセージです。

KDJE42263-I

The J2EE application mode was changed successfully. (J2EE application = aa....aa, old mode = bb....bb, new mode = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：J2EE アプリケーションの旧動作モード

cc....cc：J2EE アプリケーションの新動作モード

説明

J2EE アプリケーションの動作モードの変更処理完了を表すメッセージです。

KDJE42264-I

The command lock will now be released because the cjresetsv command was executed. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time = dd....dd)

aa....aa：ディレクトリパスおよび拡張子を除いたコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

cjresetsv コマンドが実行されたため，コマンドの排他を解除することを表すメッセージです。

KDJE42268-I

The J2EE application will now be replaced. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションのリデプロイ処理開始を表すメッセージです。

KDJE42269-I

The J2EE application was replaced successfully. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションのリデプロイ処理完了を表すメッセージです。

KDJE42270-W

The EJB violates the EJB specification. : aa....aa

aa....aa：エラー内容の詳細情報

説明

EJB が EJB 仕様に違反していることを表すメッセージです。

対処

エラー内容の詳細情報を参照して対処してください。詳細情報については「7.7　KDJE42039-E および KDJE42270-W の詳細情報一覧」を参照してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE42271-E

An attempt to create a backup for the server has failed. (server name = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：サーバ名称

bb....bb：詳細情報

説明

バックアップの作成に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE42272-E

An attempt to export the J2EE application has failed. (J2EE application = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

説明

J2EE アプリケーションのエクスポートに失敗しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE42274-E

The setting of the reload function is invalid.

説明

リロード機能の設定に関するプロパティの組み合わせが不正です。

ejbserver.deploy.context.reload_scope=app の場合，ejbserver.rmi.localinvocation.scope=all を選択できません。

対処

リロード機能に関するプロパティの設定を確認してください。

KDJE42277-I

The J2EE application reload processing will now start.(J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションのリロード処理を開始します。

KDJE42278-I

The J2EE application reload processing has finished.(J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションのリロード処理が完了しました。

KDJE42280-E

The update check for reloading failed. (J2EE application = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：例外

説明

リロードの更新チェックで例外が発生しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE42284-E

The reload function cannot be used. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

リロード機能が無効になっている状態で，リロードコマンドを実行しました。

対処

リロード機能の適用範囲を設定するプロパティ（ejbserver.deploy.context.reload_scope）を確認してください。

KDJE42285-I

A file subject to reloading was not modified. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

リロード対象のファイルが更新されていない状態で，リロードコマンドを実行しました。

KDJE42286-E

The command cannot be executed. (J2EE application = aa....aa, reason=bb.....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：理由

説明

bb....bb のため，コマンドを実行できません。

対処

理由：stopped

アプリケーションが停止しているため，実行できません。アプリケーションを開始してください。

理由：reload failure

リロードが失敗しているため，実行できません。リロードを成功させるか，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE42288-I

A file subject to reloading was modified. (J2EE application = aa....aa, filename = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：更新されたファイル名

説明

リロード対象のファイルが更新されました。

KDJE42290-E

The J2EE application reload processing failed. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションのリロード処理に失敗しました。

対処

このメッセージより前に出力されているエラーメッセージの対策をしてください。

KDJE42291-I

The application directory "aa....aa" will now be imported.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス

説明

アプリケーションディレクトリ aa....aa のインポートを行います。

KDJE42292-I

The application directory "aa....aa" was imported successfully.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス

説明

アプリケーションディレクトリ aa....aa のインポートに成功しました。

KDJE42293-E

The J2EE application "aa....aa" contains the resource adapter.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス，EAR ファイル名，または ZIP ファイル名

説明

J2EE アプリケーションはリソースアダプタを含んでいます。

対処

アプリケーションからリソースアダプタを削除して，再度インポートしてください。

KDJE42294-E

The J2EE application "aa....aa" contains the application client.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス，EAR ファイル名，または ZIP ファイル名

説明

J2EE アプリケーションはアプリケーションクライアントを含んでいます。

対処

アプリケーションからアプリケーションクライアントを削除して，再度インポートしてください。

KDJE42295-E

The module name of the component "bb....bb" in J2EE application "aa....aa" is incorrect.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス

bb....bb：コンポーネントのモジュール名

説明

J2EE アプリケーションに含まれるコンポーネントのモジュール名が正しくありません。

対処

アプリケーションディレクトリの生成規則に則って application.xml に記述するモジュール名を変更して，再度インポートしてください。

KDJE42296-E

The directory of the module "aa....aa" does not exist. The directory name must be "bb....bb".

aa....aa：モジュール名

bb....bb：ディレクトリ名

説明

モジュール名 aa....aa のディレクトリが存在しません。ディレクトリ名は bb....bb でなければなりません。

対処

アプリケーションディレクトリの生成規則に従って正しい名称のディレクトリを作成して，再度インポートしてください。

KDJE42297-E

The WAR module "aa....aa" does not have a deployment descriptor.

aa....aa：モジュール名

説明

WAR モジュールは DeploymentDescriptor を持っていません。

対処

アプリケーションディレクトリの構成を確認してください。WAR ディレクトリ，Deployment Descriptor を正しく配置して，再度インポートしてください。

KDJE42298-E

The EJB-JAR module "aa....aa" does not have an annotation or a deployment descriptor.

aa....aa：モジュール名

説明

EJB-JAR モジュールは Annotation または Deployment Descriptor を持っていません。

対処

アプリケーションディレクトリの構成を確認してください。EJB-JAR ディレクトリ，Deployment Descriptor を正しく配置して，再度インポートしてください。

KDJE42299-I

An update of the configuration file of the J2EE application "aa....aa" was detected. (file name = bb....bb) The definition information is now being reread.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：ファイル名

説明

J2EE アプリケーションの構成ファイルの更新を検知しました。定義情報の再読み込みを行います。

KDJE42300-I

The definition information of the J2EE application "aa....aa" has been reread successfully.

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

J2EE アプリケーションの定義情報の再読み込みが完了しました。

KDJE42301-E

An attempt to reread the definition information of J2EE application "aa....aa" has failed. (detailed message = "bb....bb")

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細メッセージ

説明

J2EE アプリケーションの定義情報の再読み込みでエラーを検知しました。

対処

詳細メッセージに従ってアプリケーションディレクトリ下を修正し，再度コマンドを実行してください。

KDJE42302-I

"aa....aa" will now be imported in an archive format.

aa....aa：EAR ファイル名，ZIP ファイル名，または WAR ファイル名

説明

aa....aa をアーカイブ形式でインポートします。

KDJE42303-I

"aa....aa" will now be imported in an deployment directory format.

aa....aa：EAR ファイル名または ZIP ファイル名

説明

aa....aa を展開ディレクトリ形式でインポートします。

KDJE42304-I

The application will now be expanded into the directory "aa....aa".

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ aa....aa にアプリケーションを展開します。

KDJE42305-E

The specified directory "aa....aa" does not exist.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

指定されたディレクトリが存在しません。

対処

展開用のディレクトリを作成した後に，再度インポートしてください。

KDJE42306-E

The files cannot be written to the specified directory "aa....aa".

aa....aa：ディレクトリ名

説明

指定されたディレクトリにファイルを書き出せません。

対処

書き込み権限を付与した後に，再度インポートしてください。

KDJE42307-E

The state of a J2EE resource adapter is invalid. (display name =aa....aa)

aa....aa：J2EE リソースアダプタの表示名

説明

J2EE リソースアダプタの状態が不正です。

対処

J2EE リソースアダプタをアンデプロイし，デプロイしてから再度操作を実行してください。対処できない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE42308-E

The deployment processing has abended. An element defined by a J2EE resource is invalid. (type = aa....aa, resname = bb....bb, parent element = cc....cc, element = dd....dd, detail = ee....ee)

aa....aa：J2EE リソースのタイプ

bb....bb：J2EE リソースの表示名

cc....cc：不正な要素の親要素名

dd....dd：不正な要素名

ee....ee：詳細

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE リソースに定義された要素が不正です。

詳細情報に出力されるメッセージとその説明を次に示します。

- The element is not supported.
  未サポートの要素です。

対処

詳細情報に従って，対処してください。対処できない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

- The element is not supported.
  未サポートの要素を取り除いてから，再度操作を実行してください。

KDJE42309-I

Loading annotation is in progress.

説明

アノテーションのロードをしています。

KDJE42310-I

Loading annotation was successful.

説明

アノテーションのロードは成功しました。

KDJE42311-E

An unsupported Java type is set. (Java type = aa....aa)

aa....aa：@Resource の Java Type

説明

@Resource の要素 type()に設定されている Java Type は未サポートです。

対処

サポートしている Java Type を使用してください。

KDJE42312-E

The occurrence count from which the declaration of the "aa....aa"annotation is defined in the EJB specification is exceeded.

aa....aa：EJB 仕様の出現回数を超えたアノテーション名

説明

アノテーションの宣言が Deployment Descriptor で定義された出現回数を超えています。

対処

アノテーションの設定を修正し，EJB 仕様に定義されている出現回数に合わせてください。

KDJE42313-I

The JavaBeans resource will now start. (display name = aa....aa)

aa....aa：JavaBeans リソース表示名

説明

JavaBeans リソースの開始処理開始を表すメッセージです。

KDJE42314-I

The JavaBeans resource started successfully. (display name = aa....aa)

aa....aa：EJB 仕様の出現回数を超えたアノテーション名

説明

JavaBeans リソースの開始処理完了を表すメッセージです。

KDJE42315-I

The JavaBeans resource will now stop. (display name = aa....aa)

aa....aa：JavaBeans リソース表示名

説明

JavaBeans リソースの停止処理開始を表すメッセージです。

KDJE42316-I

The JavaBeans resource stopped successfully. (display name =aa....aa)

aa....aa：JavaBeans リソース表示名

説明

JavaBeans リソースの停止処理完了を表すメッセージです。

KDJE42317-E

This JavaBeans resource "aa....aa" has been started once. Restart the J2EE server, and then try to delete the resource again.

aa....aa：JavaBeans リソース表示名

説明

JavaBeans リソースは一度スタートされています。

対処

J2EE サーバを再起動してから削除し直してください。

KDJE42318-W

Cannot get edition information. aa....aa is used as a protocol.

aa....aa：プロトコル

説明

エディション情報の取得に失敗しました。共通ライブラリがインストールされていない可能性があります。処理を続行します。

対処

共通ライブラリがインストールされているかを確認してください。

KDJE42319-E

The required file or directory does not exists. (Path= aa....aa)

aa....aa：ファイルパス

説明

インポート時に存在したアプリケーションディレクトリ下のファイル aa....aa が存在しません。

対処

インポート時に，エラーとなったパス上に存在したファイルまたはディレクトリを復元して再度コマンドを実行してください。

KDJE42320-E

Deployment has abended. The JMS resource used in the application does not support transaction. (aa....aa)

aa....aa：リソース情報

説明

デプロイ処理が異常終了しました。アプリケーション内で使用されている JMS リソースはトランザクションをサポートしていません。

対処

リソースアダプタのトランザクションレベルを確認してください。このリソースアダプタで，Message-driven Bean に関連づけできるトランザクションサポートレベルは LocalTransaction と XATransaction になります。

KDJE42321-E

Deployment has abended. The transaction support level of the JMS resource is invalid.

説明

デプロイ処理が異常終了しました。JMS リソースのトランザクションサポートレベルは不正です。

対処

リソースアダプタのトランザクションレベルを確認してください。

KDJE42322-E

The application directory "aa....aa" does not have a deployment descriptor.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス

説明

アプリケーションディレクトリが META-INF/application.xml を持っていません。

対処

META-INF/application.xml を作成して再度インポートしてください。

KDJE42323-E

The specified directory "aa....aa" is not empty.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス

説明

cjimportapp -d 指定で展開しようとしたディレクトリが空でありません。

対処

ディレクトリに存在するファイルを削除して再度インポートしてください。

KDJE42324-E

The deployment directory format does not support in basic mode.

説明

ベーシックモードで展開ディレクトリ形式デプロイ機能を使用しようとしました。

対処

1.4 モードの J2EE サーバに対して，インポートしてください。

KDJE42325-E

The J2EE application having the same application directory "aa....aa" is already exists.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス，または WAR ディレクトリのパス

説明

次のディレクトリと同一のディレクトリをアプリケーションディレクトリまたは WAR ディレクトリとして持つ J2EE アプリケーションが，すでに J2EE サーバ内に存在する場合，コマンドの実行エラーになります。

- cjimportapp コマンドの-a オプションまたは-d オプションに指定したディレクトリ
- cjimportwar コマンドの-a オプションに指定したディレクトリ

対処

同一でないディレクトリを指定してください。

KDJE42326-E

The J2EE application "aa....aa" using an alt-dd element cannot be imported in a deployment directory format.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパス，EAR ファイル名または ZIP ファイル名

説明

application.xml に alt-dd 要素が指定されたアプリケーションディレクトリ/EAR ファイル/実行時情報付き ZIP ファイルをインポートしようとしました。

対処

application.xml を編集して alt-dd 要素を削除してから再度インポートしてください。

KDJE42327-E

The EJB-JAR having same display-name "aa....aa" exists in the J2EE application "bb....bb".

aa....aa：EJB-JAR 表示名

bb....bb：アプリケーションディレクトリのパス

説明

ユーザが作成したアプリケーションディレクトリに含まれる EJB-JAR の表示名が重複しています。

対処

EJB-JAR の表示名を変更して，再度インポートしてください。

KDJE42328-E

The WAR having same display-name "aa....aa" exists in the J2EE application "bb....bb".

aa....aa：WAR 表示名

bb....bb：アプリケーションディレクトリのパス

説明

ユーザが作成したアプリケーションディレクトリに含まれる WAR の表示名が重複しています。

対処

重複している WAR の表示名を変更して，再度インポートしてください。

KDJE42329-E

The application directory cannot specified in UNC path. (path = aa....aa)

aa....aa：ユーザが指定したパス

説明

cjimportapp -a/-d オプション引数に UNC パスを指定しました。

対処

UNC パスで指定しないでください。

KDJE42330-I

The JavaBeans resource "aa....aa" will now be imported.

aa....aa：JavaBeans リソース表示名

説明

JavaBeans リソースのインポート処理が実行中です。

KDJE42331-I

The JavaBeans resource "aa....aa" was imported successfully.

aa....aa：JavaBeans リソース表示名

説明

JavaBeans リソースのインポート処理に成功しました。

KDJE42332-W

The J2EE application contains the application client. The application client is not supported.

説明

J2EE アプリケーションはアプリケーションクライアントを含んでいます。アプリケーションクライアントはサポートしていません。

対処

J2EE アプリケーション中の application.xml の<module><java>の記述を削除して，再度パッケージングしてインポートしてください。

なお，この対処によって，<module><java>で指定していた JAR ファイルは，ライブラリ JAR として扱われます。この JAR ファイル以外にもライブラリ JAR が存在し，同じクラスが含まれている場合は，<module><java>で指定していた JAR ファイルを削除してください。

KDJE42333-I

The ignore J2EE annotations is specified.

説明

対象となる J2EE アプリケーションでのアノテーション参照抑止機能が有効になります。

KDJE42334-W

The specified ignore J2EE annotations value is not supported. (value=aa....aa)

aa....aa：指定された値

説明

アノテーション参照抑止機能は無効になります。

対処

指定できる値は true または false です。指定した値が指定できる値かどうか見直してください。

KDJE42335-W

An element defined by a J2EE resource is not supported. (filename = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：未サポートの要素を定義している Deployment Descriptor

アーカイブ形式の場合：アーカイブファイル名/エントリ名

展開ディレクトリ形式の場合：アプリケーションディレクトリからの相対パス

bb....bb：未サポートの要素名

説明

aa....aa に指定した要素（bb....bb）は未サポート要素です。要素（bb....bb）の内容は無視されます。

対処

aa....aa に指定された要素（bb....bb）を取り除いてください。

KDJE42336-E

The file of the module does not exist. (file = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

モジュールのファイル（aa....aa）が存在しません。

対処

アプリケーションディレクトリの生成規則に従ってファイルを配置して，再度インポートしてください。

KDJE42337-E

The "aa....aa" resource adapter cannot be included in the "bb....bb" J2EE application. (details = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

cc....cc：詳細情報

説明

リソースアダプタ（aa....aa）を J2EE アプリケーション（bb....bb）に含めることはできません。

詳細情報に出力されるメッセージと，その説明を次に示します。

- The native library file.
  リソースアダプタはネイティブライブラリを含んでいます。
- Tag name = transaction-support. Tag value = XATransaction.
  transaction-support タグが XATransaction です。
- The resource adapter is not supported.
  リソースアダプタは未サポートです。

対処

詳細情報に従って，対処してください。

- The native library file.
  サポートされているリソースアダプタに変更してください。または J2EE リソースアダプタとしてデプロイして使用してください。
- Tag name = transaction-support. Tag value = XATransaction.
  値を NoTransaction または LocalTransaction に変更してください。または J2EE リソースアダプタとしてデプロイして使用してください。
- The resource adapter is not supported.
  サポートされているリソースアダプタに変更してください。または J2EE リソースアダプタとしてデプロイして使用してください。

KDJE42338-E

"aa....aa" was not found in the "bb....bb" J2EE application.

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

説明

リソースアダプタ（aa....aa）が J2EE アプリケーション（bb....bb）に見つかりません。

対処

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KDJE42339-I

Recovery processing for the resource adapter will now start.

説明

リソースアダプタの回復処理を開始します。

KDJE42340-I

Recovery processing for the resource adapter has finished.

説明

リソースアダプタの回復処理を終了しました。

KDJE42341-E

The specified backup RAR directory is invalid. (backup RAR directory = aa....aa)

aa....aa：バックアップ RAR ディレクトリ

説明

不正なバックアップ RAR ディレクトリ（aa....aa）が指定されています。

対処

バックアップ RAR ディレクトリとして指定したパスを見直して，再度コマンド実行してください。

KDJE42342-E

An attempt to copy the file from "aa....aa" to "bb....bb" has failed. (details = cc....cc)

aa....aa：コピー元ファイル名

bb....bb：コピー先ファイル名

cc....cc：詳細情報

説明

ファイル aa....aa からファイル bb....bb へのコピーに失敗しました。

対処

詳細情報を基に，コピーに失敗した要因を取り除いたあと，再度コマンド実行してください。

KDJE42343-W

The resource adapter in the J2EE server "aa....aa" is not recovered, because the resource adapter configuration has been changed.

aa....aa：J2EE サーバ名

説明

リソースアダプタの構成が変更されているため，J2EE サーバ（aa....aa）内のリソースアダプタを回復しません。

KDJE42344-E

This application could not be imported in test mode.

説明

このアプリケーションはテストモードでインポートできません。

対処

テストモードを指定しないでインポートしてください。

KDJE42345-E

An invalid value is specified for the tag in the deployment descriptors in the resource adapter. (resource adapter = aa....aa, tag name = bb....bb, tag value = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：タグ名

cc....cc：タグの値

説明

不正な値がリソースアダプタの Deployment Descriptor のタグに指定されています（リソースアダプタ = aa....aa，タグ名 = bb....bb，タグの値 = cc....cc）。

対処

タグの値を確認して再度実行してください。

KDJE42346-E

The aa....aa with the same display name already exists in the J2EE application. (display name = bb....bb, J2EE application = cc....cc)

aa....aa：リソース種別

bb....bb：リソース表示名

cc....cc：J2EE アプリケーションディレクトリのパス

説明

同一表示名の aa....aa がすでに J2EE アプリケーションの中に存在します（表示名 = bb....bb，J2EE アプリケーション = cc....cc）。

対処

bb....bb の表示名を変更して，再度インポートしてください。

KDJE42347-I

The resource adapter in the J2EE application will now start. (resource adapter = aa....aa, J2EE application = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内のリソースアダプタを開始します（リソースアダプタ = aa....aa，J2EE アプリケーション = bb....bb）。

KDJE42348-I

The resource adapter in the J2EE application started successfully. (resource adapter = aa....aa, J2EE application = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内のリソースアダプタの開始に成功しました（リソースアダプタ = aa....aa，J2EE アプリケーション = bb....bb）。

KDJE42349-I

The resource adapter in the J2EE application will now stop. (resource adapter = aa....aa, J2EE application = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内のリソースアダプタを停止します（リソースアダプタ = aa....aa，J2EE アプリケーション = bb....bb）。

KDJE42350-I

The resource adapter in the J2EE application stopped successfully. (resource adapter = aa....aa, J2EE application = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーション内のリソースアダプタの停止に成功しました（リソースアダプタ = aa....aa，J2EE アプリケーション = bb....bb）。

KDJE42351-E

An attempt to delete the file has failed. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

ファイル（aa....aa）の削除に失敗しました。

対処

再度コマンドを実行してください。

KDJE42352-E

An attempt to set the execution authority of the file has failed. (file name = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの実行権限設定に失敗しました（ファイル名 = aa....aa，詳細情報 = bb....bb）。

対処

詳細情報を基に，実行権限設定に失敗した要因を取り除いたあと，再度コマンド実行してください。

KDJE42353-I

The connection test for the resource adapter in the J2EE application will now be performed. (resource adapter = aa....aa, J2EE application = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

説明

J2EE アプリケーションのリソースアダプタを接続テストします（リソースアダプタ = aa....aa，J2EE アプリケーション = bb....bb）。

KDJE42354-I

The connection test for the resource adapter in the J2EE application has finished. (resource adapter = aa....aa, J2EE application = bb....bb, test result = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタ表示名

bb....bb：J2EE アプリケーション表示名

cc....cc：テスト結果

説明

J2EE アプリケーションのリソースアダプタの接続テストが完了しました（リソースアダプタ = aa....aa，J2EE アプリケーション = bb....bb，テスト結果 = cc....cc）。

KDJE42355-W

The command lock cannot be released, because the command operation has been executed in J2EE server. (command name = aa....aa, user name = bb....bb, host name = cc....cc, execution time = dd....dd)

aa....aa：実行中のコマンド名

bb....bb：コマンド実行側の OS ユーザ名

cc....cc：コマンド実行側の IP アドレス

dd....dd：コマンド実行側のコマンド実行時刻（dow mon dd hh:mm:ss zzz yyyy の形式）

説明

コマンドの処理が J2EE サーバ側で実行されているため，コマンドの排他を解除できません。

対処

コマンドの処理が J2EE サーバ側で実行されているかどうかを確認してください。

J2EE サーバ側でコマンドの処理が実行されている場合は，処理が終了するまで待ってください。処理が終了してもコマンドの排他が解除されない場合は，再度 cjresetsv コマンドを実行してください。

なお，コマンドの処理が J2EE サーバ側で実行されていない場合，または時間を置いて cjresetsv コマンドを実行してもコマンドの排他を解除できない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE42356-E

The resource adaptor based on the Connector 1.5 specification was specified. (RAR file = aa....aa)

aa....aa：RAR ファイル名

説明

Connector 1.5 仕様に準拠したリソースアダプタが指定されました（RAR ファイル = aa....aa）。

対処

Connector 1.0 仕様に準拠したリソースアダプタを指定してください。Connector 1.5 仕様に準拠したリソースアダプタをバージョンアップする場合，再インポートおよび定義の再設定をしてください。

KDJE42357-W

The value of mappedName is invalid. (EJB-JAR = aa....aa, Enterprise Bean = bb....bb, annotation = cc....cc, value = dd....dd)

aa....aa：EJB-JAR 表示名

bb....bb：Enterprise Bean 表示名

cc....cc：アノテーション種別

dd....dd：値

説明

mappedName の値は不正です（EJB-JAR = aa....aa，Enterprise Bean = bb....bb，アノテーション = cc....cc，値 = dd....dd）。

対処

@Stateless, または@Stateful の mappedName 属性に指定した別名が指定可能な文字列か見直してください。

KDJE42358-W

The value of mappedName is invalid. (J2EE application = aa....aa, EJB-JAR = bb....bb, Enterprise Bean = cc....cc, annotation = dd....dd, value = ee....ee)

aa....aa：J2EE アプリケーション表示名

bb....bb：EJB-JAR 表示名

cc....cc：Enterprise Bean 表示名

dd....dd：アノテーション種別

ee....ee：値

説明

mappedName の値は不正です（J2EE アプリケーション = aa....aa，EJB-JAR = bb....bb，Enterprise Bean = cc....cc，アノテーション = dd....dd，値 = ee....ee）。

対処

@Stateless, または@Stateful の mappedName 属性に指定した別名が指定可能な文字列か見直してください。または，属性ファイルの<optional-name>タグや<local-optional-name>タグに別名を指定してください。

KDJE42359-E

Deployment has ended. An attempt to check the reference to the resource adapter in the J2EE Application "aa....aa" failed. (details = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：詳細

説明

デプロイ処理が異常終了しました。J2EE アプリケーション aa....aa 中のリソースアダプタへの参照の確認で失敗しました。詳細 = bb....bb

対処

詳細メッセージの内容によって対処してください。原因がわからない場合は，保守情報を取得し保守員に連絡してください。

Not resolve resource adapter.

リソースアダプタの表示名が指定されていません。MessageDrivenBean 属性ファイルを見直してください。

Not exist resource adapter.

リソースアダプタが見つかりません。MessageDrivenBean 属性ファイルに記述したリソースアダプタがデプロイ済みであるか確認してください。

Not start resource adapter.

リソースアダプタが開始されていません。MessageDrivenBean 属性ファイルに記述したリソースアダプタが開始済みであるか確認してください。

KDJE42360-E

The path specified for the library directory is invalid. (library directory = aa....aa)

aa....aa：ライブラリディレクトリ

説明

ライブラリディレクトリのパスにファイルを指定しています。

対処

ライブラリディレクトリはファイルではなくディレクトリを指定してください。

application.xml の<library-directory>タグや application.xml を省略した場合，ライブラリディレクトリは"lib"となります。

KDJE42361-E

aa....aa cannot be included in the J2EE application. (J2EE application (name = bb....bb, version = cc....cc), aa....aa (name = dd....dd, version = ee....ee))

aa....aa：リソース種別

bb....bb：J2EE アプリケーションの表示名

cc....cc：J2EE アプリケーションのバージョン

dd....dd：リソース表示名

ee....ee：リソースのバージョン

なお，リソースに Deployment Descriptor がない場合は，リソース表示名 ee....ee にハイフン（-）が表示されます。

説明

リソース種別 aa....aa（name = dd....dd，version = ee....ee）を J2EE アプリケーション（name = bb....bb，version = cc....cc）に含めることはできません。

対処

J2EE アプリケーションのバージョンとリソースのバージョンの組み合わせを見直してください。

KDJE42362-E

The value of <module> is invalid. (module = aa....aa)

aa....aa：<module>タグに指定した値

説明

ライブラリディレクトリ以下にあるファイルが<module>タグに指定されました。

対処

application.xml ファイルの<module>タグには，ライブラリディレクトリ内の JAR ファイルを指定できません。J2EE アプリケーションの構成を見直してください。

KDJE42363-E

The value of <module> is invalid. (module = aa....aa)

aa....aa：<module>タグに指定した値

説明

<module>タグから決定された EJB-JAR ディレクトリ，WAR ディレクトリ，またはそのディレクトリ以下がライブラリディレクトリとなっています。

対処

EJB-JAR ディレクトリ，WAR ディレクトリ，またはそのディレクトリ以下がライブラリディレクトリとならないように，J2EE アプリケーションの構成を見直してください。

KDJE42364-E

The value of the aa....aa tag is invalid. (value = bb....bb)

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグに指定した値

説明

展開ディレクトリ形式でインポートする場合に不正な値を application.xml のタグに指定しています。

対処

application.xml のタグに許可している値を指定してください。

KDJE42365-E

The existence of the file aa....aa differs before and after the replacement. (archive file = bb....bb)

aa....aa：Deployment Descriptor ファイル名

bb....bb：アーカイブファイル名

説明

入れ替え前と入れ替え後で aa....aa ファイルの有無が一致しません。

対処

アーカイブファイルを比較して，Deployment Descriptor の有無が一致するよう J2EE アプリケーションを修正後，再度実行してください。もし修正できない場合は，入れ替え先 J2EE アプリケーションを削除してからインポートしてください。

KDJE42366-E

A resource cannot be added to a J2EE application where the application.xml is not present. (J2EE application = aa....aa, resource = bb....bb, type = cc....cc, resource file = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション表示名

bb....bb：リソース表示名

cc....cc：リソース種別

dd....dd：リソースファイル名

説明

application.xml が存在していない J2EE アプリケーションにリソースを追加できません。

対処

application.xml が存在していない J2EE アプリケーションへはリソース種別に対応した拡張子のファイルを追加してください。

- EJB-JAR ファイルの場合，拡張子は.jar
- WAR ファイルの場合，拡張子は.war
- RAR ファイルの場合，拡張子は.rar

KDJE42367-W

The context root determined from the WAR file or directory is duplicated. (path1 = aa....aa, path2 = bb....bb, context root = cc....cc)

aa....aa：WAR ファイルまたは WAR ディレクトリへのパス

bb....bb：WAR ファイルまたは WAR ディレクトリへのパス

cc....cc：コンテキストルート

説明

WAR ファイルまたは WAR ディレクトリへのパスから決定されるコンテキストルートが重複しています。

対処

コンテキストルートを変更してください。コンテキストルートが重複しないように WAR ファイルまたは WAR ディレクトリへのパスを変更してください。

KDJE42368-I

The file cosminexus.xml will now be loaded.

説明

cosminexus.xml の読み込みを開始します。

KDJE42369-E

The format of the file cosminexus.xml is invalid. (Detail = aa....aa)

aa....aa：読み込み失敗時の例外情報

説明

cosminexus.xml の形式が不正で，読み込みに失敗しました。

対処

cosminexus.xml ファイルの形式が不正です。cosminexus.xml ファイルのタグ構成が正しいか見直してください。

KDJE42370-W

An element specified in the file cosminexus.xml was not found. This element has been ignored. (element = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：要素名

bb....bb：要素の値

説明

アプリケーション内には cosminexus.xml に指定した要素に対応する情報が見つかりません。この要素の設定値を無視します。

対処

アプリケーションに含まれない要素を cosminexus.xml に指定しています。cosminexus.xml ファイルの内容を見直してください。

KDJE42371-E

The specified value is invalid. (element = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：要素名

bb....bb：要素の値（値が空文字の場合は何も出力しません。要素を省略した場合は null を出力します）。

説明

cosminexus.xml に指定した要素に誤りがあります。

対処

アプリケーションに含まれる cosminexus.xml ファイルに不正な要素が設定されています。
cosminexus.xml ファイルの要素 aa....aa の設定値を見直してください。

KDJE42372-I

The file cosminexus.xml has been loaded.

説明

cosminexus.xml の読み込みを完了しました。

KDJE42373-E

The metadata-complete attribute in the deployment descriptor in the EJB-JAR file cannot be set to "true". (J2EE application = aa....aa, EJB-JAR = bb....bb)

aa....aa：J2EE アプリケーション名，cjimportres コマンドの場合は空文字

bb....bb：EJB-JAR 表示名

説明

EJB-JAR の Deployment Descriptor の metadata-complete 属性は"true"を設定できません。

対処

EJB-JAR の Deployment Descriptor の metadata-complete 属性に"false"を設定するか，metadata-complete 属性を削除してください。

KDJE42374-W

The specified display name includes non-recommended characters. (display name = aa....aa, resource type = bb....bb)

aa....aa：表示名

bb....bb：種別（J2EE Application，EJB-JAR，WAR，RAR，Enterprise Bean，Servlet/JSP または Filter）

説明

J2EE サーバでは，J2EE アプリケーションやリソースなどに設定された表示名（Deployment Descriptor の<display-name>タグの値）を識別子として使用します。<servlet><display-name>が存在しない WAR をインポートする場合は，<servlet><servlet-name>の値から表示名を設定します。

ただし，<servlet><display-name>にはピリオドを設定できるため，このメッセージを出力しますが，アンダースコア（_）への変換はしません。

このメッセージが出力された場合，ほかの処理でエラーとなることがあります。

対処

J2EE アプリケーション，EJB-JAR，Web アプリケーション，リソースアダプタの表示名またはそれに含まれる Enterprise Bean，Servlet/JSP またはフィルタの表示名を，半角英数字とアンダースコア(_)だけで構成される文字列に変更してください。

KDJE42375-W

An interceptor-class specified in the file deployment descriptor was not found. This interceptor-class has been ignored. (ejb-jar name = aa....aa, interceptor-class = bb....bb)

aa....aa：EJB-JAR 名

bb....bb：インターセプタクラス名

説明

Deployment Descriptor で指定したインターセプタクラスが見つかりません。

対処

存在するインターセプタクラスを指定してください。

KDJE42376-E

The specified interceptor-class was not found. (ejb-jar name = aa....aa, interceptor-class = bb....bb)

aa....aa：EJB-JAR 名

bb....bb：インターセプタクラス名

説明

指定したインターセプタクラスが見つかりません。実在するインターセプタクラスを設定する必要があります。

対処

インターセプタクラスが EJB-JAR またはライブラリ JAR に含まれるようにアプリケーションの構成を見直してください。

KDJE42377-W

An element was specified more than once. This element has been ignored. (element = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：要素名

bb....bb：要素の値

説明

同じ要素に対して複数の定義情報が存在しています。Deployment Descriptor 内で最初に見つかった要素の定義が使用されます。要素 aa....aa の値 bb....bb は使用されません。

対処

不要な定義情報を削除してください。

KDJE42378-E

A module was not found in a J2EE application. (J2EE application = aa....aa)

aa....aa：EAR ファイルまたはアプリケーションディレクトリへのパス

説明

J2EE アプリケーション内でモジュールが見つかりませんでした。

対処

J2EE アプリケーションにモジュールが含まれているか確認してください。

KDJE42379-W

The file cosminexus.xml has not been reloaded (application name = aa....aa).

aa....aa：アプリケーション名

説明

cosminexus.xml ファイルが変更されていても，定義情報はリロードしません。

対処

cosminexus.xml ファイルの定義情報をアプリケーションに反映する必要がある場合は，アプリケーションを停止後に再開始してください。

KDJE42380-W

There exist one or more classes from which annotation information could not be collected. (name = aa....aa, failure count = bb....bb)

aa....aa：ファイル名または J2EE アプリケーション表示名

bb....bb：取得できなかった回数

説明

アノテーション情報を取得できなかったクラスが一つ以上存在しています（name = aa....aa，failure count = bb....bb）。

対処

KDJE90001-E のメッセージに java.lang.NoClassDefFoundError が出力されていて，かつ J2EE アプリケーションの実行に問題がある場合は，java.lang.NoClassDefFoundError の詳細メッセージに出力されたクラスを J2EE アプリケーションから参照できるように，J2EE アプリケーションを修正または J2EE サーバの設定を変更してください。

KDJE42385-W

The specified method was not found. (ejb name = aa....aa, method name = bb....bb, method parameters = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：パラメタ形式※

注※　パラメタを次の書式で出力します。

- <method-param>が存在しない場合
  空文字列("")
- <method-param>が存在する場合
  すべての<method-param>タグの値を","で連結した文字列

説明

メソッドの定義がありません。

対処

<method>タグの定義情報を見直してください。

KDJE42386-E

A file operation on a resource adapter management file of the J2EE server has failed. (operation = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：失敗した操作（write，read，delete，rename のどれか）

bb....bb：例外情報（例外情報がない場合は none）

説明

J2EE サーバ用作業ディレクトリ下のリソースアダプタの状態を管理するファイルの操作に失敗しました。

対処

エラー発生時の操作によって，次のように対処が異なります。

- コネクションプールのクラスタ構成でデータベースノードに障害が発生したとき
  詳細情報を参照してファイル操作に失敗する要因を取り除いてください。問題の要因を取り除いたあと，J2EE サーバを再起動してください。
- リソースアダプタをデプロイしたとき
  詳細情報を参照してファイル操作に失敗する要因を取り除いてください。問題の要因を取り除いたあと，J2EE サーバを再起動してください。J2EE サーバ再起動後，リソースアダプタが存在するか確認してください。存在しない場合はリソースアダプタを再デプロイしてください。存在する場合は実行した操作が成功したか確認してください。
- J2EE サーバの移行コマンド（cjenvupdate）を実行したとき
  詳細情報を参照してファイル操作に失敗する要因を取り除いてください。問題の要因を取り除いたあと，再度操作を実行してください。
- 上記以外
  詳細情報を参照してファイル操作に失敗する要因を取り除いてください。問題の要因を取り除いたあと，J2EE サーバを再起動してください。J2EE サーバ再起動後，実行した操作が成功したか確認してください。

KDJE42387-E

The entry name in the EAR file is invalid. (entry name = aa....aa, EAR file = bb....bb)

aa....aa：エントリ名

bb....bb：EAR ファイル名

説明

EAR ファイル内のエントリ名が不正です。

対処

EAR ファイル内のエントリ名がアプリケーションパッケージのルートより上位を示しています。アプリケーションパッケージのルートより下位を示すエントリ名に変更してください。

KDJE42388-E

The resource adapter not supported in the edition. (resource adapter = aa....aa, edition = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：エディション

説明

このエディションでは，指定されたリソースアダプタを使用できません。

対処

リソースアダプタのドキュメントを確認し，サポートしているエディション上で使用してください。

KDJE42389-E

The entry name in component is invalid. (entry name = aa....aa, file = bb....bb, component type = cc....cc)

aa....aa：エントリ名

bb....bb：ファイル名

cc....cc：コンポーネント種別

説明

コンポーネント内のエントリ名が不正です。

対処

コンポーネント内のエントリ名がルートディレクトリより上位を示しています。ルートディレクトリより下位を示すエントリ名に変更してください。

KDJE42390-E

The start of the application containing a Web Service EJB failed. Root context-root is already used. (application name = aa....aa)

aa....aa：アプリケーションの表示名

説明

ルートのコンテキストルートに Web サービスの EJB をデプロイできません。別の J2EE アプリケーションがルートのコンテキストルートを利用しているおそれがあります。

対処

ルートのコンテキストルートを利用するアプリケーションがすでに存在していないか確認してください。存在している場合は，コンテキストルートを重複しないように変更してください。

KDJE42391-I

Working directory for Web Service EJB is created.

説明

Web サービスの EJB を実行するために必要な作業ディレクトリの作成に成功しました。

KDJE42392-E

An attempt to create the directory (aa....aa) has failed.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（aa....aa）の作成に失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

ディスク装置の障害

ディスク装置が壊れるなど，ディスク装置に障害が発生している場合，システム管理者へ連絡し，装置を交換してください。

ディスクの空き容量不足

ディスク容量を確保してください。

アクセス権限がない

アクセス権限を付与してください。

パス名として使用できない文字を使用している

パス名として使用できない文字を使用しないでください。

ファイルパスの長さが不当

展開ディレクトリ形式のアプリケーションを配置している絶対パス長，パス区切り文字（1 文字），ユーザ用プロパティファイル（usrconf.properties）の webservice.container.jaxws.webservice.wsee.warname キーに指定した相対パス長の合計を 255 文字以下にしてください。

KDJE42393-W

The J2EE application contains a aa....aa. Automatic reloading and partial reloading cannot be performed. (J2EE application name = bb....bb)

aa....aa：コンポーネント種別

bb....bb：J2EE アプリケーション名

説明

この J2EE アプリケーションでは自動リロードと部分的なリロードは使用できません。

対処

リロード機能を使用する際には，cjreloadapp コマンドを使用してください。

KDJE42394-E

The J2EE application contains a aa....aa. Partial reloading cannot be performed. (J2EE application name = bb....bb)

aa....aa：コンポーネント種別

bb....bb：J2EE アプリケーション名

説明

この J2EE アプリケーションでは部分的なリロードは使用できません。

対処

J2EE アプリケーションを入れ替える場合は，いったんアプリケーションを削除してください。リロード機能を使用したい場合はプロパティ ejbserver.deploy.context.reload.scope に app を指定してください。

KDJE42395-I

The J2EE application contains a aa....aa. All of the application components were reloaded. (J2EE application name = bb....bb)

aa....aa：コンポーネント種別

bb....bb：J2EE アプリケーション名

説明

アプリケーションに含まれるすべてのコンポーネントがリロードされました。

KDJE42396-E

Test mode cannot be used in CDI applications. (J2EE application name = aa....aa)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

説明

CDI アプリケーションではテストモードは使用できません。

対処

J2EE アプリケーションの動作モードを通常モードに変更してください。

KDJE42397-W

The WebServlet annotation will be ignored because the value set for the name attribute is already set for another WebServlet annotation. (WAR file = aa....aa, class name = bb....bb)

aa....aa：WAR ファイル名

bb....bb：@WebServlet アノテーションを記述したクラス名

説明

@WebServlet アノテーションの name 属性の値がほかの@WebServlet アノテーションと重複しているため，@WebServlet アノテーションを無視します。

対処

@WebServlet アノテーションの name 属性の値を，ほかの@WebServlet アノテーションと重複しないように変更してください。

KDJE42398-W

The WebFilter annotation will be ignored because the value set for the filterName attribute is already set for another WebFilter annotation. (WAR file = aa....aa, class name = bb....bb)

aa....aa：WAR ファイル名

bb....bb：@WebServlet アノテーションを記述したクラス名

説明

@WebFilter アノテーションの filterName 属性の値がほかの@WebFilter アノテーションと重複しているため，@WebFilter アノテーションを無視します。

対処

@WebFilter アノテーションの filterName 属性の値を，ほかの@WebFilter アノテーションと重複しないように変更してください。

KDJE42400-E

The WAR application does not support the command. (command name = aa....aa)

aa....aa：コマンド名

説明

このコマンドは WAR アプリケーションではサポートしていません。

対処

WAR アプリケーションを削除したあと，EAR 形式の J2EE アプリケーションをインポートして実行してください。

KDJE42401-E

The WAR application does not support a command option. (command name = aa....aa)

aa....aa：コマンド名

説明

このコマンドのオプションは WAR アプリケーションではサポートしていません。

対処

WAR アプリケーションを削除したあと，EAR 形式の J2EE アプリケーションをインポートして実行してください。

KDJE42402-W

The application name was sanitized. (application name = aa....aa)

aa....aa：アプリケーション名

説明

cjimportwar コマンド実行時に-name オプションが省略された場合，WAR ファイル／WAR ディレクトリ名がアプリケーション名になります。そのため，アプリケーション名に対して，WAR ファイル／WAR ディレクトリに使用できない文字をアンダースコア(_)に置き換えました。

対処

インポートした WAR アプリケーションに対してサーバ管理コマンドを実行するときは，cjlistapp コマンドを実行して出力されるアプリケーション名を-name に指定して実行してください。

KDJE42403-W

The context root was sanitized. (context root = aa....aa)

aa....aa：アプリケーション名

説明

cjimportwar コマンド実行時に-contextroot オプションが省略された場合，WAR ファイル／WAR ディレクトリ名がコンテキストルートになります。そのため，J2EE サーバはコンテキストルートに対して，WAR ファイル／WAR ディレクトリに使用できない文字をアンダースコア(_)に置き換えました。

対処

インポートした WAR アプリケーションにアクセスするときは，cjlistapp コマンドを実行して出力されるコンテキストルートを確認してください。

KDJE42404-I

The war directory aa....aa will now be imported.

aa....aa：WAR ディレクトリのパス

説明

WAR ディレクトリ aa....aa をインポートします。

KDJE42405-I

The war directory aa....aa was imported successfully.

aa....aa：WAR ディレクトリのパス

説明

WAR ディレクトリ aa....aa のインポートに成功しました。

KDJE42406-E

The J2EE application that has the upper directory of the directory aa....aa already exists.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパスまたは WAR ディレクトリのパス

説明

次のディレクトリの上位にあるディレクトリをアプリケーションディレクトリまたは WAR ディレクトリとして持つ J2EE アプリケーションが，すでに J2EE サーバ内に存在する場合，コマンドの実行エラーになります。

- cjimportapp コマンドの-a オプションまたは-d オプションに指定したディレクトリ
- cjimportwar コマンドの-a オプションに指定したディレクトリ

対処

アプリケーションディレクトリのパスまたは WAR ディレクトリのパスが，すでに J2EE サーバ内に存在する J2EE アプリケーションが持つディレクトリ（アプリケーションディレクトリまたは WAR ディレクトリ）と包含関係にないか確認して，適切なディレクトリを指定してください。

KDJE42407-E

The war directory cannot specified in UNC path. (path = aa....aa)

aa....aa：ユーザが指定したパス

説明

cjimportwar コマンドの-a オプションに UNC パスを指定した場合，インポートに失敗します。

対処

cjimportwar コマンドの-a オプションに UNC パスを指定しないでください。

KDJE42408-E

The specified directory aa....aa is invalid.

aa....aa：ユーザが指定したディレクトリのパス

説明

cjimportwar コマンドの-a オプションに Windows のドライブ直下（C:¥など）のディレクトリ，または UNIX のルートディレクトリ（/）を指定した場合，インポートに失敗します。

対処

Windows のドライブ直下のディレクトリ，または UNIX のルートディレクトリではないディレクトリを指定してください。

KDJE42410-E

The J2EE application that has the lower directory of the directory aa....aa already exists.

aa....aa：アプリケーションディレクトリのパスまたは WAR ディレクトリのパス

説明

次のディレクトリの下位にあるディレクトリをアプリケーションディレクトリまたは WAR ディレクトリとして持つ J2EE アプリケーションが，すでに J2EE サーバ内に存在する場合，コマンドの実行エラーになります。

- cjimportapp コマンドの-a オプションまたは-d オプションに指定したディレクトリ
- cjimportwar コマンドの-a オプションに指定したディレクトリ

対処

アプリケーションディレクトリのパスまたは WAR ディレクトリのパスが，すでに J2EE サーバ内に存在する J2EE アプリケーションが持つディレクトリ（アプリケーションディレクトリまたは WAR ディレクトリ）と包含関係にないか確認して，適切なディレクトリを指定してください。

KDJE43001-E

Error occurred during generating SQL for aa....aa.

aa....aa：EJB クラス名

説明

aa....aa の SQL 生成中にエラーが発生しました。テーブルのマッピングが誤っています。

対処

データベースへのアクセスを確認して，テーブルのマッピングを正しくしてください。

KDJE43002-E

JMS Provider(TP1 Message Queue) notified an error to Message-driven Bean container. bean=aa....aa error message=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：JMS プロバイダのエラー情報

説明

Message-driven Bean コンテナは，JMS プロバイダからのエラーを検知しました。

対処

エラー情報を参照し，TP1/Message Queue のエラーの要因を取り除いてください。

KDJE43003-E

Failed to create CMR DB Table : aa....aa.

aa....aa：DB の表名

説明

CMR 用の表（aa....aa）の生成に失敗しました。

対処

あわせて示されるデータベースが出力するエラー情報を参照し，表の生成に失敗した要因を取り除いてください。データベースが出力するエラー情報の詳細は，データベース製品付属のマニュアルなどを参照してください。

KDJE43004-E

Failed to generate SQL for CMR table creation. CMR table name is already used. : aa....aa

aa....aa：DB の表名

説明

データベースの表名がすでに使われているため，CMR 用の表を作る SQL の生成に失敗しました。

対処

SQL 生成を再度実行してください。

KDJE43005-E

Failed to generate SQL for CMR table creation. Two Entity Beans participating in a particular relationship must be on the same DB product.

説明

CMR の関係を持つ Entity Bean が異なるデータベース製品のデータベース上にあるため，CMR 用の表を作る SQL の生成に失敗しました。

対処

Entity Bean に対応づける表を，同じデータベース製品のデータベース上に作成してください。

KDJE43006-I

CMR DB Table: aa....aa is verified.

aa....aa：DB の表名

説明

CMR 用のテーブル aa....aa が確認されました。

KDJE43007-I

CMR DB Table: aa....aa is created successfully.

aa....aa：DB の表名

説明

CMR 用の表 aa....aa の生成に成功しました。

KDJE43008-E

Failed to verify CMR DB Table: aa....aa.

aa....aa：DB の表名

説明

CMR 用の表 aa....aa の確認に失敗しました。

対処

再度デプロイしてください。ただし，再度デプロイすると新しいテーブルが生成されますが，それまで使用していた CMR 情報は失われます。

KDJE43009-I

CMR DB Table: aa....aa is deleted successfully.

aa....aa：DB の表名

説明

CMR 用のテーブル aa....aa の削除に成功しました。

KDJE43010-W

CMR DB Table: aa....aa is not deleted. Table has already been deleted or format has been changed.

aa....aa：DB の表名

説明

CMR 用の表 aa....aa を削除できませんでした。

表がすでに削除されているか，表の形式が変更されている可能性があります。

対処

アプリケーションが開始状態の間に，ほかから表が共用されたり，削除されたりしていないかどうかを確認してください。

KDJE43011-E

Failed to delete CMR DB Table: aa....aa.

aa....aa：DB の表名

説明

CMR 用の表 aa....aa の削除に失敗しました。

対処

不要な表がデータベース上に残ってしまった場合，手動で削除してください。

KDJE43012-E

An error occurred when creating ORB/POA. (error details = aa....aa)

aa....aa：例外メッセージ（主に TPBroker の例外情報が出力されます）

説明

ORB/POA の生成時にエラーが発生しました。

通信ポートおよび IP アドレス固定による運用時の環境設定が正しく行われていない可能性があります。

対処

aa....aa に出力されるメッセージに従って，ユーザプロパティファイルの vbroker.se.iiop_tp.host キー，vbroker.se.iiop_tp.scm.iiop_tp.listener.port キーの値を見直して，J2EE サーバを再起動してください。

見直すときは，次のような観点で見直してください。

- 指定したポート番号がほかで使用中のものと重複していないかどうか。
- 指定したポート番号が負数や範囲外の値などの不正な数値になっていないかどうか。
- IP アドレス固定の指定値が IP アドレスの形式として正しいかどうか。
- 指定値の前後に空白が入っていないかどうか。

KDJE43050-E

Unexpected error occurred during deploying Stateful Session Bean.

説明

Stateful Session Bean のデプロイ中にエラーが発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43051-E

Unexpected error occurred during deploying CMP Entity Bean. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

CMP Entity Bean のデプロイ中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43052-E

An error occurred during deploying Message Driven Bean. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Message Driven Bean のデプロイ中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43053-E

An error occurred during loading home interface or component interface. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

ホームインタフェースまたはコンポーネントインタフェースのロード中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43054-E

Failed to create object which is necessary for EJB. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

EJB の内部処理に必要なオブジェクトの生成に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43055-E

Failed to instantiate EJBHome object. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

EJB ホームのインスタンス化に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43056-E

Unexpected error occurred during instantiating EJBObject.

説明

EJB オブジェクトのインスタンス化で予期しないエラーが発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43057-E

Failed to create object which is necessary for Stateful Session Bean. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

Stateful Session Bean の内部処理に必要なオブジェクトの生成に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43058-E

Failed to create EJB-specific namespace. Bean = aa....aa.

aa....aa：Bean 名

説明

EJB 固有の名前空間の生成に失敗しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE43059-E

Failed to register EJB to namespace. Bean = aa....aa, Type = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：名前空間の種類

説明

EJB の名前空間への登録に失敗しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE43060-E

Failed to instantiate Stateless Session Bean. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Stateless Session Bean のインスタンスの生成に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43061-E

An exception occurred in callback method aa....aa.bb....bb. Detail = cc....cc.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：コールバックメソッド名

cc....cc：詳細情報

説明

Stateless Session Bean，または Singleton Session Bean のインスタンス生成の延長でコールバックされたユーザコードの中で例外が発生しました。

対処

メッセージに示されたメソッド情報，および詳細情報を参照して，例外の要因を取り除いてください。

KDJE43062-E

Failed to instantiate Entity Bean. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

Entity Bean のインスタンスの生成に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43063-E

An exception occurred in callback method aa....aa.bb....bb Detail = cc....cc.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：コールバックメソッド名

cc....cc：詳細情報

説明

Entity Bean インスタンスの生成の延長でコールバックされたユーザコードの中で例外が発生しました。

対処

メッセージに示されたメソッド情報，および詳細情報を参照して，例外の要因を取り除いてください。

KDJE43064-E

Failed to create MDB container. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

MDB コンテナの生成に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43065-E

An exception occurred in callback method aa....aa.bb....bb. Detail = cc....cc.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：コールバックメソッド名

cc....cc：詳細情報

説明

Message Driven Bean インスタンスの生成の延長でコールバックされたユーザコードの中で例外が発生しました。

対処

メッセージに示されたメソッド情報，および詳細情報を参照して，例外の要因を取り除いてください。

KDJE43066-E

Failed to connect to JMS service. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

JMS サービスへの接続に失敗しました。

リソースアダプタの状態が不正な可能性があります。

対処

リソースアダプタを再度開始して，J2EE アプリケーションを再度デプロイしてください。

KDJE43067-E

Unexpected error occurred during generating stubs for bean interface. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

Bean インタフェースのスタブ生成中に予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43068-E

Unexpected error occurred during creating implementation for bean. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

Bean の実装クラスを生成中に予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43069-E

Unexpected error occurred during compiling container generated java source files. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

生成された Java ソースファイルのコンパイル中に予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43070-E

Unexpected error occurred during deploying EJB. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

EJB のデプロイ処理中に予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43071-E

Unexpected error occurred during starting EJB. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

EJB のスタート処理中に予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43072-I

J2EE Server connecting to CTM...

説明

J2EE サーバが CTM に接続しています。

Enterprise Edition で CTM 機能がインストールされている場合で ejbserver.ctm.enabled=true のとき，J2EE サーバは，起動時に CTM との接続の確立および初期化をします。これに失敗した場合，J2EE サーバは起動に失敗します。

対処

CTM 機能が不要で，J2EE サーバを起動させたい場合は，ejbserver.ctm.enabled=false として J2EE サーバを起動させてください。

KDJE43073-I

No CTM mode: CTM initialization skipped. To deploy CTM application, start J2EE Server with CTM mode.

説明

CTM の初期化がスキップされました。

ejbserver.ctm.enabled=false の場合，J2EE サーバは，起動時の CTM との接続および初期化をしません。この状態で起動した J2EE サーバでは，CTM を使用するアプリケーションのデプロイはできません。

対処

CTM を使用するアプリケーションをデプロイするためには，ejbserver.ctm.enabled=true（CTM 連携が有効）に設定して，J2EE サーバを起動してください。

KDJE43074-E

Failed to start CTM mode. If CTM function is not necessary, start J2EE Server with No CTM mode.

説明

CTM mode での起動に失敗しました。

CTM との接続および初期化に失敗すると，J2EE サーバの起動に失敗します。

対処

CTM 機能を使用したい場合は，CTM が起動しているかどうか，CTM との接続で必要なプロパティが設定されているかどうかを確認して，J2EE サーバを再起動してください。

CTM 機能が不要で J2EE サーバを起動したい場合は，ejbserver.ctm.enabled=false に設定して J2EE サーバを起動してください。

KDJE43075-E

Failed to create object necessary for finder/select method of Entity Bean. Bean = aa....aa, Method = bb....bb, Detail = cc....cc.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：詳細情報

説明

Entity Bean の finder メソッド，または select メソッドの実行に必要なオブジェクトの生成に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43076-E

Failed to get object necessary to generate SQLs. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

SQL 生成に必要な J2EE サーバのオブジェクトの取得に失敗しました。

J2EE サーバが正常に起動していない可能性があります。

対処

J2EE サーバが起動しているかどうかを確認してください。また，ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43077-E

Failed to connect to J2EE Server. Detail = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

J2EE サーバとの通信でエラーが発生しました。

J2EE サーバが正常に起動していない可能性があります。

対処

J2EE サーバが起動しているかどうかを確認してください。また，ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43078-E

Failed to parse EJB QL. Detail = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

EJB QL からの SQL の生成に失敗しました。

EJB QL の構文に誤りがあります。

対処

詳細情報を参照して，EJB QL を修正してください。

KDJE43079-E

Unexpected error occurred during generating SQLs for CMP Entity Bean. Detail = aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

CMP Entity Bean 用の SQL を生成中に予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43080-I

Pass-by-reference is defined. Bean: aa....aa.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean に Pass-by-reference が定義されました。

KDJE43081-E

Can not set Entity Bean as CTM Bean.

説明

CTM 機能は Entity Bean をサポートしていないため，Entity Bean は CTM Bean として設定できません。

対処

Entity Bean では CTM を使用しないでください。

KDJE43082-E

Can not set Message Driven Bean as CTM Bean.

説明

CTM 機能は Message Driven Bean をサポートしていないため，Message Driven Bean は CTM Bean として設定できません。

対処

Message Driven Bean では CTM を使用しないでください。

KDJE43083-E

Can not set Stateful Session Bean as CTM Bean.

説明

CTM 機能は Stateful Session Bean をサポートしていないため，Stateful Session Bean は CTM Bean として設定できません。

対処

Stateful Session Bean では CTM を使用しないでください。

KDJE43084-E

aa....aa: Pooled instances max value should be more than Parallel Count.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean のインスタンスが不足してしまうため，Parallel Count に Pooled instance の max 値より大きい値は，設定できません。

対処

Pooled instances の max 値は，Parallel Count の値以上を設定してください。

KDJE43085-E

Exception occurred in registering aa....aa with queue:bb....bb. cc....cc not found in NameSpace.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：キュー名

cc....cc：Bean 名

説明

aa....aa をキュー（bb....bb）に登録中エラーが発生しました。

cc....cc が Name Space に見つかりません。

対処

ローカル CORBA ネーミングサービスが立ち上がっていることを確認し，再度デプロイを実行してください。

KDJE43086-E

Exception occurred in registering aa....aa with queue:bb....bb. cc....cc HomeObject not found.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：キュー名

cc....cc：Bean 名

説明

CTM の scheduling を指定した Bean のデプロイ時，EJBHomeObject の reference の取得に失敗しました。

通常は発生しないエラーです。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE43087-E

J2EE Server: No CTM mode. Restart J2EE Server after starting CTM.

説明

J2EE サーバが No CTM mode です。

CTM が起動されていません。CTM のスケジューリング機能を使用するためには，CTM を起動する必要があります。

対処

CTM の起動を確認したあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE43088-E

No CTM bean in aa....aa. More than one bean should be scheduling-enabled.

aa....aa：アプリケーション名

説明

アプリケーション（aa....aa）の中に CTM Bean がありません。

一つ以上の CTM Bean を設定する必要があります。

対処

一つ以上の Stateless Session Bean に対して，Enable scheduling を設定してください。

KDJE43089-E

Exception occurred in creating queue:aa....aa. CTM API MSG=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：詳細情報

説明

キュー（aa....aa）の生成に失敗しました。

対処

詳細情報の内容を基に対処してください。

KDJE43090-E

Number Format Exception: Parallel Count=aa....aa.

aa....aa：Parallel Count

説明

Parallel Count の入力が数値でないため，数値フォーマットエラーが発生しました。

対処

規定された範囲内の数値を入力してください。

KDJE43091-E

Exception occurred in activating queue:aa....aa. CTM API MSG=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：詳細情報

説明

キュー（aa....aa）の実行時にエラーが発生しました。

対処

詳細情報の内容を基に対処してください。

KDJE43092-I

CTM mode: CTM connection established.

説明

CTM コネクションが確立され，J2EE サーバが CTM mode で起動しました。

CTM 使用を指定したアプリケーションをデプロイするためには，CTM mode で J2EE サーバを起動する必要があります。

KDJE43093-E

Failed to start CTM mode: Internal Error.

説明

CTM mode の開始に失敗しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE43094-E

Failed to start CTM mode: CTM not installed properly.

説明

CTM 機能がインストールされていないか，または正しくインストールされてない可能性があります。

対処

CTM が正しくインストールされているかどうかを確認し，正しくインストールされていなければ，再インストールしてください。

KDJE43095-I

CTM mode stopped. J2EE Server disconnected CTM.

説明

CTM mode が停止されました。

J2EE サーバが CTM との接続を切断しました。

CTM mode で起動した J2EE サーバが停止されるときに CTM との接続を切断するため，サーバの停止が正常に動作している場合，このメッセージが出力されます。

KDJE43096-E

aa....aa does not have remote interface. Remote interface is required to enable scheduling.

aa....aa：Bean 名

説明

aa....aa はリモートインタフェースを持っていません。

リモートインタフェースを持たない Bean は CTM によるスケジューリングの対象となりません。

対処

CTM のスケジューリング対象として Bean を設定するためには，リモートインタフェースが必要です。

KDJE43097-E

Unexpected error occurred after starting EJB. Bean = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

EJB のスタート後の処理で予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43098-I

aa....aa is registered with queue:bb....bb successfully.

aa....aa：Bean 名

bb....bb：キュー名

説明

aa....aa はキュー（bb....bb）に登録されました。

enable-scheduling の指定のある Bean のデプロイが正常に行われた場合，このメッセージが出力されます。

KDJE43099-I

Queue:aa....aa is activated successfully.

aa....aa：キュー名

説明

CTM を使用するアプリケーションが正常にデプロイされた場合，または CTM を使用するバッチサーバが正常に登録された場合に，このメッセージが出力されます。

KDJE43100-I

Queue:aa....aa is deactivated successfully.

aa....aa：キュー名

説明

CTM を使用するアプリケーションが正常にアンデプロイされた場合，または CTM を使用するバッチサーバが正常に削除された場合に，このメッセージが出力されます。

KDJE43101-E

Unexpected exception occurred while starting CTM application:aa....aa Detail=bb....bb.

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

説明

CTM アプリケーション（aa....aa）を開始している間に，予期しない例外が発生しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE43102-E

An error occurred when accessing a database. (error details = aa....aa)

aa....aa：例外メッセージ（主にデータベースに関する例外情報が出力されます）

説明

データベースにアクセスしているときに例外が発生しました。

データベースにアクセスできない状態である可能性があります。

対処

詳細情報を基に，データベースにアクセスするための環境設定を見直してエラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KDJE43103-E

An error occurred when getting information for connect database. (error details = aa....aa)

aa....aa：要因と思われる事項と例外メッセージ

説明

データベースに接続するための情報を取得しようとして，例外が発生しました。

データソースまたはデータベースコネクタの設定が正しく行われていない可能性があります。

対処

詳細情報を基に，データソースまたはデータベースコネクタの設定を見直してエラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KDJE43104-E

Unexpected error occurred when getting information for database. (error details = aa....aa)

aa....aa：例外メッセージ

説明

データベースの情報を取得する処理で，予期しないエラーが発生しました。

データベースにアクセスするための環境が正しく行われていない可能性があります。または，内部処理が予期しない動作をした可能性があります。

対処

詳細情報を基に，対処を決定してください。エラーの要因がわからない場合は，保守員へ連絡してください。

KDJE43105-E

Exception occurred in setting Parallel Count to queue:aa....aa. CTM API MSG=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：詳細情報

説明

キュー（aa....aa）に Parallel Count を設定するときに例外が起こりました。

対処

詳細情報を基に対処してください。

KDJE43106-E

Unexpected exception occurred while stopping CTM application:aa....aa. Detail=bb....bb.

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：例外詳細情報

説明

CTM アプリケーション（aa....aa）を停止している間に，予期しない例外が発生しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE43107-E

Unexpected exception occurred while finalizing CTM.

説明

CTM の finalize を実行中に，予期しない例外が発生しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE43108-E

Failed to start CTM Application:aa....aa. CTM not installed properly.

aa....aa：アプリケーション名

説明

CTM アプリケーション（aa....aa）の起動に失敗しました。

CTM 機能がインストールされていないか，または正しくインストールされてない可能性があります。

対処

CTM が正しくインストールされているかどうかを確認し，正しくインストールされていなければインストールを行ってください。

KDJE43109-E

Unexpected error occurred during deploying EJB-JAR. EJB-JAR = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：EJB-JAR の display-name

bb....bb：詳細情報

説明

EJB-JAR のデプロイ処理中に，予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43110-E

Unexpected error occurred during starting EJB-JAR. EJB-JAR = aa....aa, Detail = bb....bb.

aa....aa：EJB-JAR の display-name

bb....bb：詳細情報

説明

EJB-JAR のスタート処理中に，予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43111-E

Exception occurred in registering aa....aa. CTM API MSG=bb....bb

aa....aa：Bean 名

bb....bb：詳細情報

説明

aa....aa を CTM に登録中でエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。

KDJE43112-E

An exception occurred during deactivation of the CTM queue: aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）を非活性化するときに，エラーが発生しました。

対処

エラーが発生した CTM キューに接続する J2EE アプリケーションを再度開始する場合は，J2EE サーバを再起動して，そのあと再度開始してください。

KDJE43113-E

Timeout occurred during awaiting the method completion of the bean: aa....aa.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）のメソッドの完了待ちでタイムアウトが発生しました。

対処

エラーが発生した Bean を含む J2EE アプリケーションを再度開始する場合は，J2EE サーバを再起動して，そのあと再度開始してください。

KDJE43114-E

An exception occurred during terminating JMS connection or session of the bean: aa....aa.

aa....aa：Bean 名

説明

Message-driven Bean（aa....aa）の JMS コネクションや JMS セッションの終了処理で例外が発生しました。

対処

エラーが発生した Bean を含む J2EE アプリケーションを再度開始する場合は，J2EE サーバを再起動して，そのあと再度開始してください。

KDJE43115-W

No CTM mode: CTM not installed properly.

説明

J2EE サーバは No CTM mode で起動しています。CTM を使用する場合は，CTM が正しくインストールされているかどうかを確認してください。

対処

CTM を使用する場合は，CTM が正しくインストールされているかどうかを確認してください。CTM がインストールされていない場合は，インストールを実行してください。

KDJE43116-I

The Remove timer of Stateful Session Bean has been started. (application = aa....aa, bean = bb....bb, removal timeout [min] = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Enterprise Bean 名

cc....cc：タイムアウト属性値（Removal timeout に設定した値（単位：分））

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）内の Enterprise Bean（bb....bb）に対して，設定されたタイムアウト値（cc....cc）で，Stateful Session Bean のタイムアウト監視を開始しました。

KDJE43117-I

The instance of Stateful Session Bean was removed by the Remove timer. (application = aa....aa, bean = bb....bb, removed instances = cc....cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Enterprise Bean 名

cc....cc：破棄されたインスタンス数

説明

Stateful Session Bean のタイムアウト監視によって，J2EE アプリケーション（aa....aa）内の Enterprise Bean（bb....bb）のインスタンス（cc....cc 個）は削除されました。

KDJE43118-E

The value of aa....aa is invalid. The ejb invoking cannot be performed. (value = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定値

説明

システムプロパティ aa....aa に設定された指定値が不正なため，EJB を呼び出すことができません。

対処

J2EE サーバの場合

正しい値を設定して，サーバを再起動してください。

Web コンテナ（サーブレットエンジンモード）の場合

サーバを停止後，正しい値を設定して，サーバを再起動してください。

EJB クライアントアプリケーションの場合

プロセスを停止後，正しい値を設定して，再度実行してください。

バッチアプリケーションの場合

バッチ実行コマンド停止後，バッチアプリケーション用ユーザプロパティファイルに正しい値を設定して，再度実行してください。

KDJE43119-I

The thread for Remove timer has been started.(remove scan interval [min] = aa....aa)

aa....aa：タイムアウト監視のインターバル時間

説明

タイムアウト監視スレッドを開始しました。

KDJE43120-I

The thread for Remove timer has not been started.(remove scan interval [min] = 0)

説明

タイムアウト監視スレッドを開始しませんでした。

KDJE43121-W

The specified remove scan interval exceeds upper limit. The maximum value(153722867280912min) of scan interval will be used.

説明

指定したタイムアウト監視インターバル時間が最大値を超えています。

タイムアウト監視インターバル時間の最大値（153722867280912 分）を使用します。

KDJE43122-W

Invalid remove scan interval : aa....aa. The default value(5min) of remove scan interval will be used.

aa....aa：プロパティで指定した値

説明

タイムアウト監視インターバル時間（aa....aa）が不正です。

タイムアウト監視インターバル時間のデフォルト値（5 分）を使用します。

KDJE43123-W

The specified remove scan interval is less than lower limit. The thread for Remove timer has not been started.

説明

指定したタイムアウト監視インターバル時間が最小値より小さいため，タイムアウト監視スレッドを開始しませんでした。

KDJE43124-I

The Remove timer of Stateful Session Bean has not been started.(application = aa....aa, bean = bb....bb, removed timeout = cc...cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Enterprise Bean 名

cc....cc：タイムアウト属性値（Removal timeout に設定した値。単位：分）

説明

J2EE アプリケーション（aa....aa）内の Enterprise Bean（bb....bb）に対して，Stateful Session Bean のタイムアウト監視を開始しません。

KDJE43125-W

The Remove timer of Stateful Session Bean has not been started. Since remove scan intarval is zero or less value.(application = aa....aa, bean = bb....bb, removed timeout = cc...cc)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Enterprise Bean 名

cc....cc：タイムアウト属性値（Removal timeout に設定した値。単位：分）

説明

タイムアウト監視インターバル時間に 0 以下の値が設定されています。

J2EE アプリケーション（aa....aa）内の Enterprise Bean（bb....bb）に対して，Stateful Session Bean のタイムアウト監視を開始しません。

KDJE43126-E

Unexpected error occurred while generating interface implementation for bean aa....aa. Detail=bb....bb

aa....aa：Enterprise Bean 名

bb....bb：詳細メッセージ

説明

Enterprise Bean（aa....aa）のインタフェース実装クラスの生成中に，予期しない例外が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照して，対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかを確認し，出力されている場合はメッセージを参照して対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43127-E

Unexpected error occurred during awaiting the method completion of the bean aa....aa. Detail=bb....bb

aa....aa：Enterprise Bean 名

bb....bb：詳細メッセージ

説明

Enterprise Bean（aa....aa）のメソッドの完了待ちでタイムアウトが発生しました。

対処

エラーが発生した Enterprise Bean を含む J2EE アプリケーションを再度開始する場合は，いったん J2EE サーバを再起動し，その後再開始してください。

KDJE43128-I

Maximum instances for bean aa....aa set to bb....bb .

aa....aa：Bean 名

bb....bb：同時に生成できる EJB オブジェクトの最大数または"unlimited"

説明

同時に生成できる EJB オブジェクトの最大数を指定しました。無制限（unlimited）の場合，実際には 2147483647 個になります。

KDJE43129-I

Instantiating home for bean aa....aa.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）の home インスタンスを生成します。

KDJE43130-E

The request has refused because of the bean was blockaded. (application = aa....aa, bean = bb....bb)

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：Bean 名

説明

Bean が閉塞されたため，リクエストを拒絶しました。

対処

エラーが発生した Bean を含む J2EE アプリケーションを開始したあと，クライアントを実行してください。

KDJE43131-I

Registering bean aa....aa to namespace.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）を名前空間に登録します。

KDJE43132-I

Deploying bean aa....aa.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）をデプロイします。

KDJE43133-I

Bean aa....aa deployed.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）をデプロイしました。

KDJE43134-I

Starting bean aa....aa.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）を開始します。

KDJE43135-I

Bean aa....aa started.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）を開始しました。

KDJE43136-I

Bean aa....aa stopped.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）を停止しました。

KDJE43137-I

Bean aa....aa undeployed.

aa....aa：Bean 名

説明

Bean（aa....aa）をアンデプロイしました。

KDJE43138-E

Unexpected error occurred during instantiating EJBLocalObject.

説明

EJB ローカルオブジェクトのインスタンス化で予期しないエラーが発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE43139-E

Failed to start CTM Application:aa....aa. CTM definition is not found.

aa....aa：アプリケーション名

説明

アプリケーションに関する CTM 連携の定義が見つかりませんでした。

対処

アプリケーション単位に CTM 連携のための定義がされているか見直し，アプリケーションを再開始してください。

KDJE43140-E

Failed to start CTM Application:aa....aa, Bean:bb....bb. CTM definition is not found.

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：Bean 名

説明

Bean に関する CTM 連携の定義が見つかりませんでした。

対処

Bean 単位に CTM 連携のための定義がされているか見直し，アプリケーションを再開始してください。

KDJE43141-E

Exception occurred in getting CTMQueueManager to start CTM Application:aa....aa. CTM API MSG=bb....bb

aa....aa：アプリケーション名，またはバッチサーバ名

bb....bb：例外詳細情報

説明

CTM アプリケーションの起動時に CTMQueueManager の取得に例外が発生しました。

対処

詳細情報の内容を基に対処してください。

KDJE43142-E

Exception occurred in setting Queue Length to queue:aa....aa. CTM API MSG=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：例外詳細情報

説明

スケジュールキューの長さの設定に例外が発生しました。

対処

詳細情報の内容を基に対処してください。

KDJE43143-E

An attempt to blockade the CTM queue aa....aa has failed.

aa....aa：キュー名

説明

CTM キューの閉塞に失敗しました。

対処

J2EE サーバを再起動し，エラーが発生した CTM キューに接続する J2EE アプリケーションを再度開始してください。

KDJE43144-E

Failed to get a bean instance. Application: aa....aa, Bean: bb....bb, Instance Timeout: cc....cc

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：Bean 名

cc....cc：インスタンス取得タイムアウトの設定値

説明

設定した時間内に，リクエストを処理するための Bean インスタンスを取得できませんでした。

このメッセージが頻繁に出力される場合，インスタンスプールの上限値がリクエストの多重度に見合わない設定になっている可能性があります。

対処

インスタンスプールの上限値の設定を見直して，属性ファイルを再設定してください。

- bb....bb が Stateless Session Bean のときは，Session Bean 属性ファイルの，次に示すタグの値を見直してください。

  ```
  <stateless>
  +<pooled-instance>
  +<maximum>
  ```

- bb....bb が Entity Bean のときは，Entity Bean 属性ファイルの，次に示すタグの値を見直してください。

  ```
  <pooled-instance>
  +<maximum>
  ```

KDJE43145-E

Exception occurred in getting queue:aa....aa. CTM API MSG=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：詳細情報

説明

キュー（aa....aa）の取得に失敗しました。

対処

詳細情報の内容を基に対処してください。

KDJE43146-E

Exception occurred while generating source files. (Bean=aa....aa, Class=bb....bb, Detail=cc....cc)

aa....aa：Bean 名

bb....bb：クラス名

cc....cc：詳細メッセージ

説明

ソースファイルを生成中に例外が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかを確認し，出力されている場合は対処してください。原因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE43147-E

The AroundInvoke method threw an invalid exception that is not permitted by the business method. (AroundInvoke: class = aa....aa, method = bb....bb. BusinessMethod: bean = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：AroundInvoke メソッド定義クラス名

bb....bb：AroundInvoke メソッド名

cc....cc：Bean 名

dd....dd：ビジネスメソッド名

説明

AroundInvoke メソッドがビジネスメソッドで許可されていない不正な例外をスローしました。

対処

ビジネスメソッドで許可されていないアプリケーション例外が，AroundInvoke メソッドによってスローされていないかを確認してください。

KDJE43148-I

The EJB timer was created. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

説明

EJB タイマーは生成されました。

KDJE43149-I

The EJB timer was cancelled. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

説明

EJB タイマーはキャンセルされました。

KDJE43150-I

The EJB timer was deleted. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

説明

EJB タイマーは削除されました。

KDJE43151-I

The timeout method was invoked. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

説明

タイムアウトメソッドが呼び出されました。

KDJE43152-E

A method of the timer service was invoked from an unpermitted EJB method. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, called timer service method = cc....cc)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：呼び出し元のメソッド

cc....cc：呼び出された Timer Service のメソッド

説明

Timer Service のメソッドは，許可されていない EJB メソッドで呼び出されています。

対処

Timer Service のメソッドは，呼び出し元からの実行が許可されていないことがあります。そのメソッドを呼び出した EJB メソッドが，実行を許可しているかどうかを確認して対処してください。

KDJE43153-E

The EJB timer does not exist yet. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, called timer service method = cc....cc)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：呼び出し元のメソッド

cc....cc：呼び出された Timer Service のメソッド

説明

EJB タイマーはキャンセルまたは削除されたため，すでに存在しません。存在していない EJB タイマーを操作することはできません。

対処

すでにキャンセルまたは削除された EJB タイマーを操作しようとしている可能性があります。問題を確認して対処してください。

KDJE43154-E

There is an invalid value in an argument of the createTimer method of the TimerService class. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, invalid argument = cc....cc, invalid argument value = dd....dd)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：呼び出し元のメソッド

cc....cc：不正な引数(initial duration，initial expiration，または interval duration)

dd....dd：不正な引数の値

説明

TimerService クラスの createTimer メソッドの引数に，相対日時の値が負，絶対日時の参照が null または絶対日時として 1970 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒より前の日時が指定されています。これらの値は指定できません。

対処

TimerService クラスの createTimer メソッドに渡される引数が次の値を満たしているかを確認し，問題を解決してください。

- 相対日時は 0 または正の値
- 絶対日時の参照が null ではない
- 絶対日時の日付が 1970 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒以降

KDJE43155-W

Invocation of the timeout method failed and will be retried. (EJB name = aa....aa, retry count = bb....bb)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：タイムアウトメソッドの次のリトライ回数

説明

タイムアウトメソッドの処理は次のどちらかの要因のために失敗しました。

- タイムアウトメソッドの処理が例外をスローした。
- タイムアウトメソッドの処理でのコンテナ管理のトランザクションがロールバックした。

リトライ間隔を経た後，再度タイムアウトメソッドの呼び出しが行われます。

対処

次のどちらかについて確認し，対処してください。

- タイムアウトメソッドの処理が例外をスローした場合，その例外が発生する原因を取り除く。
- タイムアウトメソッドの処理でのコンテナ管理のトランザクションがロールバックした場合，そのロールバックの原因を取り除く。

KDJE43156-E

The retry count for the timeout method reached the limit. Retries have stopped. (EJB name = aa....aa, retried count = bb....bb)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：タイムアウトメソッドをリトライした回数

説明

タイムアウトメソッドの処理は次のどちらかの要因のために失敗しました。

- タイムアウトメソッドの処理が例外をスローした。
- タイムアウトメソッドの処理でのコンテナ管理のトランザクションがロールバックした。

リトライ処理が上限回数を超えたため，これ以上リトライ処理を行いません。

対処

次のどちらかについて確認し，対処してください。

- タイムアウトメソッドの処理が例外をスローした場合，その例外が発生する原因を取り除く。
- タイムアウトメソッドの処理でのコンテナ管理のトランザクションがロールバックした場合，そのロールバックの原因を取り除く。

KDJE43157-W

The value of a timer service property is invalid. The default value will be used. (property name = aa....aa, specified value = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティに設定されている値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

Timer Service が利用するプロパティの値が不正です。そのため，Timer Service はプロパティの値としてデフォルト値を利用します。

対処

プロパティの設定を確認し，適切な値を設定し直してください。

KDJE43158-E

An unsupported transaction attribute was specified for the timeout method. (EJB name = aa....aa, transaction attribute = bb....bb)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：トランザクション属性

説明

タイムアウトメソッドに対して，サポートされていないトランザクション属性が設定されています。

対処

タイムアウトメソッドのトランザクション属性を適切に設定してください。

KDJE43159-E

The timer service cannot be used from the unsupported bean type. (EJB name = aa....aa, bean type = bb....bb)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：Bean 種別

説明

Timer Service は，サポートされていない種別の Bean から利用されました。

対処

Timer Service は，利用が許可されている種別の Bean から利用してください。

KDJE43160-W

The EJB timer was cancelled during execution of the timeout method. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

説明

タイムアウトメソッドの処理は終了しましたが，実行中に EJB タイマーはキャンセルされました。

KDJE43161-W

The container-managed transaction was rolled back because the EJB timer was cancelled during execution of the timeout method. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

説明

タイムアウトメソッドの処理は終了しましたが，実行中に EJB タイマーがキャンセルされたため，タイムアウトメソッドのトランザクションはロールバックしました。

KDJE43162-E

A method of the timer service cannot be executed because the EJB timer has not been created. (method = aa....aa)

aa....aa：メソッド名

説明

生成されていない EJB タイマーに対して，Timer クラスのメソッドを実行しようとしています。EJB タイマーが生成されていない場合，その EJB タイマーに対して Timer クラスのメソッドを実行することはできません。

対処

EJB タイマー生成のトランザクションを決着させてから，EJB タイマーのメソッドを実行してください。または，EJB タイマー生成を行ったトランザクションの管理下で EJB タイマーのメソッドを実行してください。

KDJE43163-E

A method cannot be executed because the transaction is inactive. (method = aa....aa)

aa....aa：メソッド名

説明

トランザクションがアクティブではない状態で，メソッドを実行しようとしています。トランザクションがアクティブでない要因は，トランザクションタイムアウトが発生したためです。

対処

トランザクションタイムアウトが発生する前に，メソッドの実行を完了するように見直してください。または，トランザクションタイムアウト時間をメソッド実行時間より長くしてください。

KDJE43164-E

The EJB timer cannot be created because the timeout method for the EJB is not defined. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb)

aa....aa：EJB 名(ejb-name タグの指定値)

bb....bb：呼び出し元のメソッド

説明

TimerService クラスの createTimer メソッドは，タイムアウトメソッドの定義された Bean からしか呼び出すことができません。

対処

EJB から Timer Service を利用する場合，その EJB にタイムアウトメソッドを定義してください。

KDJE43165-W

An invalid property value is specified (aa....aa = bb....bb). The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ値が不正です。デフォルト値を使用します。

対処

プロパティに正しい値を指定してください。

KDJE43166-E

An invalid property has been specified. (property name = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定値

説明

プロパティに指定した値に誤りがありました。

対処

プロパティに正しい値を指定して，J2EE サーバを起動してください。

KDJE43167-E

An attempt was made to use an interface that is not provided by the resource adapter by using an MDB. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, interface name = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：インタフェース名

説明

リソースアダプタが提供していないインタフェースを Message-driven Bean で使用しようとしました。

対処

ejb-jar.xml の<message-driven>-<messaging-type>タグで指定されたインタフェースが，リソースアダプタでサポートされているか確認してください。

KDJE43168-E

An error occurred during creation of an ActivationSpec instance. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外文字列

説明

ActivationSpec のインスタンス生成時に例外が発生しました。

対処

ra.xml の<activationspec-class>タグで指定したクラス名が正しいか，該当するクラスのデフォルトコンストラクタの処理を確認してください。

KDJE43169-E

An attempt to set a configuration property for ActivationSpec has failed. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, property name = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：プロパティ名

説明

ActivationSpec へのプロパティの設定に失敗しました。

対処

ejb-jar.xml の<message-driven>-<activation-config>タグでのプロパティの設定が適切であるか，リソースアダプタのドキュメントを確認してください。

KDJE43170-E

An error occurred in the method ActivationSpec#validate. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外文字列

説明

ActivationSpec#validate メソッドで例外が発生しました。

対処

ejb-jar.xml の<message-driven>-<activation-config>タグでのプロパティの設定が適切であるか，リソースアダプタのドキュメントを確認してください。

KDJE43171-E

A required configuration property has not been set for ActivationSpec. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, property name = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：プロパティ名

説明

ActivationSpec へのプロパティの設定で，必須プロパティが指定されていません。

対処

ejb-jar.xml の<message-driven>-<activation-config>タグでのプロパティの設定が適切であるか，リソースアダプタのドキュメントを確認してください。

KDJE43172-E

An attempt to cast an ActivationSpec class to javax.resource.spi.ActivationSpec has failed. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外文字列

説明

ActivationSpec として指定されたクラスから javax.resource.spi.ActivationSpec へのキャストに失敗しました。

対処

リソースアダプタの提供元に確認してください。

KDJE43173-E

An attempt to associate ActivationSpec and javax.resource.spi.ResourceAdapter has failed. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外文字列

説明

ActivationSpec と javax.resource.spi.ResourceAdapter との関連づけに失敗しました。

対処

リソースアダプタの提供元に確認してください。

KDJE43174-E

An error occurred in the method ResourceAdapter#endpointActivation. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外の詳細情報

説明

リソースアダプタの endpointActivation の実行で例外が発生しました。

対処

Message-driven Bean，またはリソースアダプタの設定に問題がないか確認してください。

設定を修正し，再度，Message-driven Bean，またはリソースアダプタを開始してください。

KDJE43175-W

An error occurred in the method ResourceAdapter#endpointDeactivation. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外の詳細情報

説明

リソースアダプタの endpointDeactivation の実行で例外が発生しました。

対処

Message-driven Bean，またはリソースアダプタの設定を見直してください。

KDJE43176-E

An XAResource object is specified as the argument of the method MessageEndpointFactory#createEndpoint. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外の詳細情報

説明

MessageEndpointFactory の createEndpoint メソッドの引数に XAResource が指定されています。XA トランザクションをサポートしていないため，createEndpoint の引数に XAResource を指定できません。

対処

MessageEndpointFactory の createEndpoint メソッドの引数に null を指定するように，リソースアダプタの設定を変えて，再度リソースアダプタを開始してください。

KDJE43177-E

The resource adapter used the message endpoint after execution of the method endpointDeactivation. (EJB name = aa....aa, resource name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外の詳細情報

説明

リソースアダプタが endpointDeactivation メソッドの実行後にエンドポイントを使用しました。

対処

リソースアダプタの提供元に確認してください。

KDJE43178-E

An exception occurred during loading interceptor class. aa....aa is not found.

aa....aa：クラス名（<interceptor-class>タグの指定値）

説明

インターセプタクラスのロード中に例外が発生しました。

対処

<interceptor-class>タグで指定したクラス名が正しいか確認してください。

KDJE43179-W

A transaction was automatically rolled back. (Transaction=aa....aa)

aa....aa：トランザクションの情報

説明

自動的にトランザクションのロールバックを実行しました。

対処

プログラム中で，トランザクションを決着しているか確認してください。

KDJE43186-W

A null object was specified as the argument of the method MessageEndpointFactory#createEndpoint. (EJB name = aa....aa, method = bb....bb, method_params = cc....cc, resource name = dd....dd)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：メソッドの引数

dd....dd：リソースの表示名

説明

MessageEndpointFactory の createEndpoint メソッドの引数に null が指定されました。EJB コンテナは Message-driven Bean のメソッドを実行する際に，トランザクションを開始しません。

対処

Message-driven Bean のメソッド実行時にトランザクションを開始させたい場合は，リソースアダプタの設定を見直してください。

メッセージの出力を抑止したい場合には，Message-driven Bean のメソッドに設定するトランザクション属性を「NotSupported」にしてください。

KDJE43200-I

Cleaning up aa....aa async tasks for EJB bb....bb.

aa....aa：削除された非同期メソッドの処理結果の数

bb....bb：EJB 名

説明

EJB bb....bb の非同期メソッドの処理結果を aa....aa 個削除します。このメッセージは，アプリケーションの停止時のクリーンアップ処理中に，リモート呼び出しで実行した EJB の非同期メソッドの処理結果が削除された場合に出力されます。

KDJE43201-W

The value of an asynchronous property is invalid. The default value will be used. (property name = aa....aa, specified value = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定された値

cc....cc：デフォルト値

説明

次に示す非同期呼び出し処理のプロパティが cosminexus.xml ファイルに正しく指定されていないため，デフォルト値を使用します。

- max-thread-pool-size
- min-thread-pool-size
- thread-pool-keep-alive
- result-timeout-value

対処

非同期呼び出し処理のプロパティを正しく指定してください。

KDJE43202-I

EJB asynchronous call result can not be referenced. Timeout for the result of asynchronous call might be occurred.

説明

EJB の非同期メソッドの処理結果のオブジェクトがタイムアウトによって削除されたため，結果を参照できません。

KDJE43203-I

Cleaning up async task (Task ID: aa....aa).

aa....aa：EJB の非同期メソッドの処理結果のオブジェクト

説明

リモート呼び出しで実行した非同期メソッドの処理結果をクリーンアップします。

KDJE43204-E

Cyclical dependency: aa....aa. The cyclical dependency graph is as follows bb....bb

aa....aa：循環的な依存関係を持つ Singleton Session Bean

bb....bb：循環的な依存関係

説明

Singleton Session Bean の@DependsOn アノテーションに循環的な依存関係が存在します。

対処

@DependsOn アノテーションから循環的な依存関係を取り除いてください。

循環的な依存関係の例を次に示します。

例

```
@Singleton
@DependsOn(”B”)
class A {..}

@Singleton
@DependsOn(”A”)
class B{..}
```

KDJE43205-E

Singleton is unavailable because its original initialization failed. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名

説明

適切に初期化されていない Singleton Session Bean にアクセスしようとしました。

対処

Singleton Session Bean の初期化に失敗した原因を取り除いてください。

次に示す原因が考えられます。

- DI の失敗
- ライフサイクルコールバックメソッドの処理の失敗

KDJE43206-W

The schedule associated with the calendar based timer already expired. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, schedule = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：呼び出し元のメソッド名

cc....cc：期限切れのスケジュール

説明

createCalendarTimer メソッドに指定されたスケジュールの表現はすでに期限が切れています。そのため，このタイマはタイムアウトしません。

対処

期限が切れていないスケジュールの表現を指定してください。

KDJE43207-E

There is an invalid value in an argument of the createSingleActionTimer method of the TimerService class. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, invalid argument = cc....cc, invalid argument value = dd....dd)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の種類

dd....dd：値

説明

createSingleActionTimer メソッドの引数の値が不正です。

対処

createSingleActionTimer メソッドの引数が適切かどうかを確認してください。

KDJE43208-E

There is an invalid value in an argument of the createIntervalTimer method of the TimerService class. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, invalid argument = cc....cc, invalid argument value = dd....dd)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：呼び出し元のメソッド名

cc....cc：引数の種類

dd....dd：値

説明

createIntervalTimer メソッドの引数が不正です。

対処

createIntervalTimer メソッドの引数が正しいかどうかを確認してください。

KDJE43209-E

The ScheduleExpression used in the createCalendarTimer method of the TimerService class is incorrect. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, invalid argument = cc....cc, cause = dd....dd)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：呼び出し元のメソッド名

cc....cc：引数の種類

dd....dd：不正な属性とその値

説明

TimerService クラスの createCalendarTimer メソッドで指定したスケジュールの表現が正しくありません。

対処

スケジュールとして指定した時間や分などの属性が正しいかどうかを確認してください。

KDJE43210-E

Carendar based timers or automatic timers can invoke this method. (EJB name = aa....aa, calling EJB method = bb....bb, called javax.ejb.Timer method = cc....cc)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：呼び出し元のメソッド名

cc....cc：呼び出された Timer Service のメソッド

説明

calendar-based タイマでも@Schedule アノテーションで自動生成されたタイマでもないタイマが getSchedule()メソッドを呼び出しました。

対処

呼び出したタイマが calendar-based タイマまたは@Schedule アノテーションで自動生成されたタイマかどうかを確認してください。

KDJE43211-W

No more timeout is there for this Timer. (EJB name = aa....aa, timer schedule = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：タイマのスケジュール

説明

このタイマはタイムアウトしません。

対処

タイマの設定が正しいかどうかを確認してください。

例えば，@Schedule(year ="2012", month="1", dayOfMonth="1", hour="17")を，2011 年に動作させた場合，デプロイは成功して 2012/1/1 17:00:00 にタイムアウトするタイマが生成されます。このタイマは 2012/1/1 17:00:00 のタイムアウト後に削除されますが，タイマが削除される直前に getNextTimeout メソッドを実行すると，このメッセージが表示されます。

KDJE43216-E

Illegal Reentrant Access : Attempt to make a loopback call on a Write Lock method while a Read lock is already held. (Write Lock method = aa....aa, EJB name = bb....bb)

aa....aa：WRITE ロックが指定されたメソッド名

bb....bb：EJB 名

説明

@Lock アノテーションの READ を定義したメソッドから，@Lock アノテーションの WRITE が定義されたメソッドを実行しようとしました。

対処

メソッドのロックの定義が適切かどうかを確認してください。

KDJE43217-E

The Lock is not acquired within the time limit. (Time=aa....aa, TimeUnit=bb....bb, EJB name = cc....cc)

aa....aa：タイムアウト値

bb....bb：タイムアウト値の単位

cc....cc：EJB 名

説明

指定された期限内にロックを取得できませんでした。

対処

指定されたタイムアウト値が適切かどうかを確認してください。必要に応じてタイムアウト値を増やしてください。

KDJE43218-E

Illegal synchronous loopback call during Singleton initialization would have resulted in deadlock. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：EJB 名

説明

Singleton Session Bean の初期化中に，デッドロックを引き起こすおそれのある不正なループバック呼び出しがあったため，初期化処理に失敗しました。

Singleton Session Bean の初期化中に，同じ Singleton Session Bean に対する初期化処理が再度実行されました。

対処

@PostConstruct アノテーションのメソッドから，同じ Singleton Session Bean に対する初期化処理が実行されていないかどうかを確認してください。

@PostConstruct アノテーションのメソッドから別の Singleton Session Bean を呼び出している場合，@DependsOn アノテーションによる依存関係が不正になり，このメッセージが表示されます。不正な例を次に示します。

例

```
@DependsOn("SingletonA")
@Singleton
@Startup
public class SingletonB  implements BIntf {
}

@Singleton
public class SingletonA implements AIntf {
    @EJB
    BIntf b;
    @PostConstruct
    void init() {
        b.doB();
    }
}
```

KDJE43219-E

Client is not authorized for this invocation. Illegal non-business method access on no-interface view. (class name = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：メソッド名

説明

クライアントからビジネスメソッドではないメソッドを呼び出しました。

対処

クライアントからビジネスメソッドではないメソッドを呼び出さないでください。

KDJE43220-W

The schedule associated with the automatic timer is either already expired or invalid. (EJB name = aa....aa, schedule = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：スケジュール

説明

@Schedule アノテーションで自動生成されたタイマに，すでに期限が切れているスケジュールか，または不正なスケジュールが指定されています。そのためタイムアウトされません。

それぞれの例を次に示します。

すでに期限が切れているスケジュール

```
@Schedule(year="1983")
```

不正なスケジュール

```
@Schedule(year="2011", month="2", dayOfMonth="31")※
```

注※　2 月には 31 日が存在しないため不正になります。

対処

スケジュールの書式が正しいかどうかを確認してください。

KDJE43223-I

Cleaning up async task (Task ID: aa....aa), as timeout for Asynchronous call result is occured.

aa....aa：タスク ID

説明

非同期呼び出し結果のタイムアウトが発生したため，非同期メソッドの処理結果（タスク ID：aa....aa）をクリーンアップします。

KDJE43224-W

The values of asynchronous properties are invalid. The property value for max-thread-pool-size should be greater than or equal to the property value for min-thread-pool-size. Default values will be used for both properties. (property name = aa....aa, specified value = bb....bb, default value = cc....cc and property name = dd....dd, specified value = ee....ee, default value = ff....ff)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：aa....aa に指定された値

cc....cc：aa....aa のデフォルト値

dd....dd：プロパティ名

ee....ee：dd....dd に指定された値

ff....ff：dd....dd のデフォルト値

説明

非同期呼び出し処理のプロパティ min-thread-pool-size と max-thread-pool-size に指定された値が，min-thread-pool-size ＞ max-thread-pool-size の関係になっています。このため，両方のプロパティにそれぞれのデフォルト値を使用します。

次のような場合も該当します。

1. どちらかのプロパティを省略してデフォルト値が使用された場合に，もう一方の値の指定によってプロパティの値が min-thread-pool-size ＞ max-thread-pool-size となったとき

   このとき，省略したプロパティに指定された値として，そのプロパティのデフォルト値が表示されます。

2. どちらかのプロパティに不正な値を指定してデフォルト値が使用された場合に，もう一方の値の指定によってプロパティの値が min-thread-pool-size ＞ max-thread-pool-size となったとき

   このとき，不正な値を指定したプロパティに指定された値として，そのプロパティのデフォルト値が表示されます。

対処

指定された値が min-thread-pool-size ≦ max-thread-pool-size の関係になるよう，正しく値を指定してください。

KDJE45000-E

Unexpected error occurred during updating user or role information.

説明

ユーザ情報またはロール情報の更新中に，予期しないエラーが発生しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE45001-E

Failed to update user information.

説明

ユーザ情報の更新に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE45002-E

Failed to update role information.

説明

ロール情報の更新に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE47000-I

Specified url schema aa....aa is converted into default url schema bb....bb

aa....aa：互換用の URL スキーマ名

bb....bb：デフォルトの URL スキーマ名

説明

指定された URL スキーマが，デフォルトのスキーマに変換されました。

KDJE47001-E

Could not initialize namespace. Reason = aa....aa

aa....aa：発生要因

説明

ネームスペースの初期化に失敗しました。

発生要因（aa....aa）に出力されるメッセージと，その要因を次に示します。

Naming Service is not found. Start Naming Service and J2EE Server again.

ネーミングサービスが起動していないことが考えられます。

Could not initialize ORB. Check the ORB version and setting.

ORB の設定が正しくないか, 使用している ORB のバージョンが異なっていることが考えられます。

Unexpected exception occurred. Please contact system administrator.

J2EE サーバの起動途中でネーミングサービスが停止したなど，予測できない問題が発生したことが考えられます。

対処

発生要因に従って，対処してください。

Naming Service is not found. Start Naming Service and J2EE Server again.

ejbserver.naming.startupWaitTime および ejbserver.naming.startupRetryCount の値を調整して，ネーミングサービスと J2EE サーバを再起動してください。

Could not initialize ORB. Check the ORB version and setting.

ORB の設定が正しいか，また，使用している ORB のバージョンが正しいかどうかを確認してください。

Unexpected exception occurred. Please contact system administrator.

ネーミングサービスと J2EE サーバを再起動してください。

問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE47100-E

Could not find the naming service list.

説明

ネーミングサービスリストが見つかりません。

ejbserver.jndi.namingservice.group.list の値が設定されていません。

対処

値を正しく設定してください。

KDJE47101-E

The group name aa....aa has already existed in the naming service group list.

aa....aa：検索グループ名

説明

検索グループ（aa....aa）の名前はすでに存在します。

ejbserver.jndi.namingservice.group.list に同一名称のグループ名は指定できません。

対処

同一名称のグループ名を ejbserver.jndi.namingservice.group.list から削除してください。

同一名称が指定された場合，一つのグループとして扱われます。

KDJE47102-E

Invalid group name is specified.name=aa....aa.

aa....aa：検索グループ名

説明

検索グループ名（aa....aa）が不正です。

グループ名に英数字（A～Z，a～z，0～9），アンダースコア（_）以外の文字を使用している可能性があります。

対処

正しいグループ名を指定してください。

KDJE47103-E

Could not find the provider urls in the group name aa....aa.

aa....aa：検索グループ名

説明

検索グループ（aa....aa）にプロバイダ URL が見つかりません。

ejbserver.jndi.namingservice.group.<GROUP_NAME >.providerurls に，プロバイダ URL が設定されていません。

対処

ejbserver.jndi.namingservice.group.<Specify group name>.providerurls に，プロバイダ URL を正しく設定してください。

KDJE47104-E

Invalid provider url is specified.name=aa....aa.

aa....aa：プロバイダ URL

説明

指定されたプロバイダ URL（aa....aa）が不正です。

プロバイダ URL の文法に誤りがあります。

対処

正しいプロバイダ URL を指定してください。

KDJE47105-E

Could not find the group name aa....aa defined in the naming service list.

aa....aa：検索グループ名

説明

ネーミングサービスリストで定義された検索グループ名（aa....aa）が見つかりません。

ejbserver.jndi.namingservice.group.list に定義されている検索グループ名に対して，プロバイダ URL が定義されていません。

対処

ejbserver.jndi.namingservice.group.list に定義されている検索グループ名に対して，プロバイダ URL を定義してください。

KDJE47106-W

Since the group name is not specified, search all naming services in the naming service list.

説明

検索グループ名が指定されていないので, ネーミングサービスリストに存在するすべての CORBA ネーミングサービスを検索します。

ejbserver.jndi.namingservice.groupname に正しい値が指定されていません。

対処

ejbserver.jndi.namingservice.groupname に正しい値を指定してください。

KDJE47107-I

Naming cache is off.

説明

ネーミングキャッシュは OFF です。

KDJE47108-W

Invalid property value is specified aa....aa=bb....bb. Default value is used. (default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ（aa....aa）の指定値が不正です。デフォルト値（cc....cc）を使用します。

対処

正しい値を指定してください。

KDJE47109-I

Naming cache is cleared regularly.

説明

定期的にネーミングキャッシュをクリアします。

KDJE47110-I

Start to use the naming service : providerurl = aa....aa.

aa....aa：プロバイダ URL

説明

プロバイダ URL（aa....aa）のネーミングサービスの使用を開始します。

KDJE47111-I

Stop to use the naming service : providerurl = aa....aa.

aa....aa：プロバイダ URL

説明

プロバイダ URL（aa....aa） のネーミングサービスの使用を終了します。

KDJE47112-E

A fatal error occurred during a JNDI method call. Restart the J2EE server and the naming service.

説明

JNDI のメソッド呼び出し中に致命的なエラーが発生しました。

メモリ不足などの予期しない事態が発生したことが考えられます。

対処

J2EE サーバと CORBA ネーミングサービスを再起動してください。

KDJE47113-I

The specified properties were loaded. (ejbserver.ext.jndi.providerURL.list = aa....aa, ejbserver.ext.jndi.serverName.list = bb....bb, ejbserver.ext.jndi.list.initializeInterval = cc....cc)

aa....aa：ejbserver.ext.jndi.providerURL.list の指定値

bb....bb：ejbserver.ext.jndi.serverName.list の指定値

cc....cc：ejbserver.ext.jndi.list.initializeInterval の指定値

説明

指定されたプロパティが読み込まれました（ejbserver.ext.jndi.providerURL.list = aa....aa, ejbserver.ext.jndi.serverName.list = bb....bb，ejbserver.ext.jndi.list.initializeInterval = cc....cc）。

KDJE47114-E

The property aa....aa does not exist. The looking up cannot be performed.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティ aa....aa が存在しません。検索が実行できません。

対処

該当プロパティを正しく設定してください。

KDJE47115-E

The value of aa....aa is empty. The looking up cannot be performed.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティ aa....aa の値が空（""）です。検索が実行できません。

対処

該当プロパティを正しく設定してください。

KDJE47116-E

The value of aa....aa is invalid. The looking up cannot be performed. (value = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：aa....aa の指定値

説明

プロパティ aa....aa の値が不正です。検索が実行できません（値 = bb....bb）。

対処

該当プロパティを正しく設定してください。

KDJE47117-E

The number of the specified server names and provider URLs must be equal. The looking up cannot be performed.

説明

指定されたサーバ名とプロバイダ URL の数が異なります。検索が実行できません。

対処

該当プロパティを正しく設定してください。

KDJE47118-W

The looking up to aa....aa failed. The next candidate server is bb....bb.

aa....aa：サーバ名

bb....bb：サーバ名

説明

aa....aa に対する検索に失敗しました。次の検索候補は bb....bb です。

KDJE47119-E

The looking up to aa....aa failed.

aa....aa：サーバ名

説明

aa....aa に対する検索に失敗しました。

対処

すべてのサーバが異常になっている可能性があります。環境を見直してください。

KDJE47120-E

The object named aa....aa was not found.

aa....aa：名前

説明

aa....aa という名前のオブジェクトは見つかりませんでした。

対処

サーバが異常になっている可能性があります。環境を見直してください。

KDJE47121-E

The specified lookup name is invalid. The looking up cannot be performed. (name = aa....aa)

aa....aa：名前

説明

指定された名前は不正です。検索が実行できません（名前=aa....aa）。

対処

正しい名前を指定してください。

KDJE47500-E

Startup of the J2EE server will be cancelled because the specified naming service aa....aa has already started. Stop the running naming service aa....aa, and then restart the J2EE server.

aa....aa：プロバイダ URL

説明

指定されたネーミングサービス（aa....aa）がすでに起動されているため，J2EE サーバの起動を中止します。

対処

すでに実行されているネーミングサービスを終了させたあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE47501-I

The naming service aa....aa will now start in bb....bb mode.

aa....aa：プロバイダ URL

bb....bb：ネーミングサービス起動モード（manual，automatic または inprocess）

説明

bb....bb モードでネーミングサービス（aa....aa）の起動処理を開始します。

KDJE47502-I

The naming service has started.

説明

ネーミングサービスの起動が完了しました。

KDJE47503-E

Startup of the J2EE server will now stop because an error occurred during startup processing of the naming service. Check the J2EE server's running environment, and then restart the J2EE server. (error details = aa....aa)

aa....aa：エラー詳細情報

説明

ネーミングサービスの起動処理中にエラーが発生したため，J2EE サーバの起動を中止します。

対処

エラー詳細情報を参照して，エラーの要因を取り除いたあと，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE47504-I

Processing will wait aa....aa seconds for the naming service to bb....bb.

aa....aa：ejbserver.naming.startupWaitTime キーに設定されている待ち時間

bb....bb：ネーミングサービス待ち種別（検索処理または起動処理）

説明

ネーミングサービスが検索処理または起動処理（bb....bb）中のため，aa....aa 秒間処理を待機します。

KDJE47505-I

Retry count is aa....aa times.

aa....aa：ejbserver.naming.startupRetryCount キーに設定されている，ネーミングサービスの起動確認のリトライ回数

説明

ネーミングサービスの起動状態を確認するリトライ数は，aa....aa 回です。

KDJE47600-E

Could not bind the object with the name aa....aa, because another object with the same name has already existed in the naming service.

aa....aa：ユーザ指定名

説明

同一の名前のオブジェクトがすでにネーミングサービスに存在するため，ユーザ指定名（aa....aa）のオブジェクトを登録できませんでした。

分散オブジェクトまたは名前付きコンテキストを登録する場合，すでにネーミングサービスに登録されている名称は使用できません。

ただし，名称が完全に一致していない場合でも，登録できる場合と登録できない場合があります。それぞれの場合について，次に示します。

登録できる場合

あるオブジェクトに対して，別名"A/B/C"を付与してデプロイしたあと，ほかのオブジェクトに対して，別名"A/B/D"を付与してデプロイすると，このメッセージは表示されず，オブジェクトは問題なく登録できます。これは，同一の名前付きコンテキスト"A/B"を使用しているだけのため，新しく別のオブジェクトが登録されたと認識しないからです。

登録できない場合

あるオブジェクトに対して，別名"A/B/C"を付与してデプロイしたあと，ほかのオブジェクトに対して，別名"A/B/C/D"を付与してデプロイすると，このメッセージが表示され，オブジェクトは登録できません。これは，"A/B/C"に分散オブジェクトがすでに登録されているのに名前付きコンテキストを登録しようとしたため，新しく別のオブジェクトが登録されたと認識するからです。

対処

エラーになったユーザ指定名（aa....aa）を確認したあと，別の名称に変更して再度実行してください。

KDJE47601-E

The mail configuration cannot be changed because a J2EE application status is "running". (resource name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソース表示名

説明

J2EE アプリケーションが開始状態であるため，メール属性の変更はできません。

対処

開始状態であるすべての J2EE アプリケーションを停止状態にしてから，リソースの属性設定を行ってください。

KDJE47602-I

The optional name was registered. (resource name = aa....aa, optional name = [bb....bb])

aa....aa：J2EE リソース表示名

bb....bb：オプショナル名

説明

J2EE リソースに付与されたオプショナル名を名前空間に登録しました。

オプショナル名が複数登録された場合は，bb....bb に"optA, optB, optC"のように表示されます。

KDJE47603-I

The optional name was deleted. (resource name = aa....aa, optional name = [bb....bb])

aa....aa：J2EE リソース表示名

bb....bb：オプショナル名

説明

J2EE リソースに付与されたオプショナル名を名前空間から削除しました。

オプショナル名が複数削除された場合は，bb....bb に"optA, optB, optC"のように表示されます。

KDJE47604-E

A J2EE resource cannot be stopped or deleted because a J2EE application status is "running". (resource name = aa....aa)

aa....aa：J2EE リソース表示名

説明

J2EE アプリケーションが開始状態であるため，J2EE リソースの停止，または削除できません。

対処

開始状態であるすべての J2EE アプリケーションを停止状態にしてからリソースを停止，または削除してください。

KDJE47605-I

The optional name was registered. (Enterprise Bean display name = aa....aa, type = bb....bb, optional name = cc....cc)

aa....aa：Enterprise Bean 表示名

bb....bb：

remote：リモート呼び出し EJB

local：ローカル呼び出し EJB

cc....cc：別名

説明

Enterprise Bean に付与された別名を名前空間に登録しました。

KDJE47606-I

The optional name was deleted. (Enterprise Bean display name = aa....aa, type = bb....bb, optional name = cc....cc)

aa....aa：Enterprise Bean 表示名

bb....bb：

remote：リモート呼び出し EJB

local：ローカル呼び出し EJB

cc....cc：別名

説明

Enterprise Bean に付与された別名を名前空間から削除しました。

KDJE47607-W

The element value is invalid. (EJB-JAR = aa....aa, Enterprise Bean = bb....bb, annotation = cc....cc, element = dd....dd, value = ee....ee)

aa....aa：EJB-JAR 表示名

bb....bb：Enterprise Bean 表示名

cc....cc：アノテーション

dd....dd：属性

ee....ee：値

説明

属性の値は不正です（EJB-JAR = aa....aa，Enterprise Bean = bb....bb，アノテーション = cc....cc，属性 = dd....dd，値 = ee....ee）。

対処

属性の値を見直してください。

KDJE47608-E

The value of the mapped-name tag is invalid. (J2EE application = aa....aa, EJB-JAR = bb....bb, Enterprise Bean = cc....cc, value = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション表示名

bb....bb：EJB-JAR 表示名

cc....cc：Enterprise Bean 表示名

dd....dd：値

説明

<mapped-name>タグの値は不正です（J2EE アプリケーション = aa....aa，EJB-JAR = bb....bb，Enterprise Bean = cc....cc，値 = dd....dd）。

対処

@Stateless, または@Stateful の mappedName 属性に指定した別名が指定可能な文字列か見直してください。または，属性ファイルの<optional-name>タグや<local-optional-name>タグに別名を指定してください。

KDJE47701-I

A reference to an EJB object was registered in the Portable Global JNDI namespace. (ejbname = aa....aa, jndi name = [bb....bb])

aa....aa：Bean 名(<ejb-name>)

bb....bb：JNDI 名

説明

EJB オブジェクトへのリファレンスを，Portable Global JNDI 名で名前空間に登録しました。Portable Global JNDI 名が複数登録された場合は，bb....bb に"java:global/xxx, java:global/yyy"のように表示されます。

KDJE47709-W

The namespace for the Portable Global JNDI name was re-created because a namespace with the same name remains in the naming service. (name = aa....aa, jndi name = bb....bb)

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：JNDI 名

説明

異なるプロセスで動作する CORBA ネーミングサービスに Portable Global JNDI 名の名前空間が残留していたため，Portable Global JNDI 名の名前空間を再構築しました。

次に示す原因が考えられます。

- J2EE サーバが強制停止された。
- J2EE アプリケーションの停止時にネーミングサービスとの通信に障害が発生した。

対処

自動的に再構築されるため問題はありません。ただし，この現象が頻発する場合は保守員に連絡してください。

KDJE47710-W

The specified application name is invalid. All objects in this application will not be bound as Portable Global JNDI names. (name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：標準アプリケーション名

説明

標準アプリケーション名に指定できない文字が含まれています。

このままでもアプリケーションを開始できますので，Portable Global JNDI 名を使用していないアプリケーションの場合は問題ありません。

ただし，次のどちらかに該当する場合は，対処が必要です。

- このアプリケーション内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名でルックアップしているクライアントがある場合。
- このアプリケーション内で「java:app」または「java:module」から始まる名称でリソース参照を定義している場合。

対処

このアプリケーションで Portable Global JNDI 名での登録が必要な場合は，次の対処をして標準アプリケーション名を変更してください。

application.xml の<application-name>を指定している場合

<application-name>の指定値を修正してから，再度インポートしてください。

application.xml の<application-name>を指定していない場合（application.xml を省略している場合）

EAR ファイル名（展開ディレクトリ形式の場合はアプリケーションディレクトリ名）を修正してから再度インポートしてください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47711-W

The specified module name is invalid. All objects in this module will not be bound as Portable Global JNDI names. (uri = aa....aa, module name = bb....bb)

aa....aa：モジュール URI

bb....bb：標準モジュール名

説明

モジュール名に指定できない文字が含まれています。

このままでもアプリケーションを開始できますので，Portable Global JNDI 名を使用していないアプリケーションの場合は問題ありません。

ただし，次のどちらかに該当する場合は，対処が必要です。

- このモジュール内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名でルックアップしているクライアントがある場合。
- このモジュール内で「java:module」から始まる名称でリソース参照を定義している場合。

対処

このモジュールで Portable Global JNDI 名での登録が必要な場合は，次の対処をして標準モジュール名を変更してください。

EJB-JAR モジュールの場合

- ejb-jar.xml の<module-name>を指定しているとき
  <module-name>の指定値を修正して再度インポートから実行してください。
- ejb-jar.xml の<module-name>を指定していないとき（ejb-jar.xml を省略しているとき）
  EJB-JAR ファイル名（展開ディレクトリ形式の場合は EJB ディレクトリ名）を修正してから再度インポートしてください。

Web モジュール（Web アプリケーション）の場合

- web.xml の<module-name>を指定しているとき

<module-name>の指定値を修正してから再度インポートしてください。

- web.xml の<module-name>を指定していないとき（web.xml を省略しているとき）
  WAR ファイル名（展開ディレクトリ形式の場合は WAR ディレクトリ名）を修正してから再度インポートしてください。

リソースアダプタモジュールの場合

RAR ファイル名を修正してから再度インポートしてください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47712-W

The specified ejb-name is invalid as a Portable Global JNDI name. (ejbname = aa....aa)

aa....aa：Bean 名(<ejb-name>)

説明

EJB の Bean 名(<ejb-name>)に Portable Global JNDI 名として指定できない文字が含まれています。

このままでもアプリケーションの開始はできますので，Portable Global JNDI 名を使用していないアプリケーションの場合は問題ありません。

ただし，この EJB オブジェクトを Portable Global JNDI 名でルックアップしているクライアントがある場合は，対処が必要です。

対処

この EJB オブジェクトを Portable Global JNDI 名で登録する必要がある場合は，次の対処をして EJB の Bean 名を変更してください。

ejb-jar.xml の<ejb-name>を指定している場合

<ejb-name>の指定値を見直してください。

アノテーションの name 属性で Bean 名を指定している場合

name 属性の指定値を見直してください。

Bean 名を変更した場合は，その Bean の呼び出し元のルックアップ名称も修正してください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47713-W

The Portable Global JNDI name of the bean is too long. (ejbname = aa....aa, jndi name = bb....bb)

aa....aa：Bean 名(<ejb-name>)

bb....bb：JNDI 名

説明

Bean 名，またはインタフェースの完全修飾クラス名(fully-qualified-interface-name)が長過ぎます。そのため，「java:global/<app-name>/<module-name>/<ejb-name>!<fully-qualified-interface-name>」の形式の Portable Global JNDI 名を登録できません。

「<ejb-name>!<fully-qualified-interface-name>」の長さを 255 文字以内にする必要があります。

このままでもアプリケーションの開始はできますので，Portable Global JNDI 名を使用していないアプリケーションの場合は問題ありません。

また，インタフェースの完全修飾クラス名を省略した Portable Global JNDI 名だけを使用している場合も問題ありません。

ただし，この EJB オブジェクトを完全修飾クラス名付きの Portable Global JNDI 名でルックアップしているクライアントがある場合は，対処が必要です。

対処

この EJB オブジェクトを完全修飾クラス名付きの Portable Global JNDI 名で登録する必要がある場合は，次の対処をして EJB の Bean 名またはインタフェースの完全修飾クラス名を変更してください。

ejb-jar.xml の<ejb-name>を指定している場合

<ejb-name>の指定値の長さ+インタフェースの完全修飾クラス名の長さ+1 を 255 文字以下にしてください。

アノテーションの name 属性で Bean 名を指定している場合

name 属性の指定値の長さ+インタフェースの完全修飾クラス名の長さ+1 を 255 文字以下にしてください。

インタフェースを省略している場合は，インタフェースの完全修飾クラス名の代わりに，Bean クラスの完全修飾クラス名が適用されます。

Bean 名やビジネスインタフェースの完全修飾クラス名を変更した場合は，その Bean の呼び出し元のルックアップ名称も修正してください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47720-W

The objects in the J2EE application could not be bound as Portable Global JNDI names because there is already an application in the naming service with the same application name. (name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：標準アプリケーション名

説明

同一の標準アプリケーション名を持つアプリケーションがすでにネーミングサービスに存在しています。そのため J2EE アプリケーション内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名で登録できませんでした。

このままでもアプリケーションの開始はできますので，Portable Global JNDI 名を使用していないアプリケーションの場合は問題ありません。

ただし，次のどちらかに該当する場合は，対処が必要です。

- このアプリケーション内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名でルックアップしているクライアントがある場合。
- このアプリケーション内で「java:app」または「java:module」から始まる名称でリソース参照を定義している場合。

対処

このアプリケーションで Portable Global JNDI 名での登録が必要な場合は，次の対処をして標準アプリケーション名を変更してください。

application.xml の<application-name>を指定している場合

<application-name>の指定値を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

application.xml の<application-name>を指定していない場合（application.xml を省略した場合）

EAR ファイル名（展開ディレクトリ形式の場合はアプリケーションディレクトリ名）を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47721-W

The objects in the EJB module could not be bound as Portable Global JNDI names because there are already modules with the same names under the same application in the naming service. (uri = aa....aa, module name = bb....bb)

aa....aa：モジュール URI

bb....bb：標準モジュール名

説明

同一の標準モジュール名を持つ同一アプリケーション内のモジュールがすでにネーミングサービスに存在しています。そのため EJB モジュール内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名で登録できませんでした。

このままでもアプリケーションの開始はできますので，Portable Global JNDI 名を使用していないアプリケーションの場合は問題ありません。

ただし，次のどちらかに該当する場合は，対処が必要です。

- この EJB-JAR モジュール内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名でルックアップしているクライアントがある場合。
- この EJB-JAR モジュール内で「java:module」から始まる名称でリソース参照を定義している場合。

対処

この EJB-JAR モジュールで Portable Global JNDI 名での登録が必要な場合は，次の対処をして標準モジュール名を変更してください。

ejb-jar.xml の<module-name>を指定している場合

<module-name>の指定値を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

ejb-jar.xml の<module-name>を指定していない場合（ejb-jar.xml を省略した場合）

EJB-JAR ファイル名（展開ディレクトリ形式の場合は EJB ディレクトリ名）を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47722-W

The objects in the Web module could not be bound as Portable Global JNDI names because there are already modules with the same names under the same application in the naming service. (uri = aa....aa, module name = bb....bb)

aa....aa：モジュール URI

bb....bb：標準モジュール名

説明

同一の標準モジュール名を持つ同一アプリケーション内のモジュールがすでにネーミングサービスに存在しています。そのため Web モジュール内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名で登録できませんでした。

このままでもアプリケーションの開始はできますので，Portable Global JNDI 名を使用していないアプリケーションの場合は問題ありません。

ただし，次のどちらかに該当する場合は，対処が必要です。

- この Web モジュール（Web アプリケーション）内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名でルックアップしているクライアントがある場合。
- この Web モジュール（Web アプリケーション）内で「java:module」から始まる名称でリソース参照を定義している場合。

対処

この Web モジュール（Web アプリケーション）で Portable Global JNDI 名での登録が必要な場合は，次の対処をして標準モジュール名を変更してください。

WAR ファイル名（展開ディレクトリ形式の場合は WAR ディレクトリ名）を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

web.xml の<module-name>を指定している場合

<module-name>の指定値を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

web.xml の<module-name>を指定していない場合（web.xml を省略した場合）

WAR ファイル名（展開ディレクトリ形式の場合は WAR ディレクトリ名）を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47723-W

The objects in the RAR module could not be bound as Portable Global JNDI names because there are already modules with the same names under the same application in the naming service. (uri = aa....aa, module name = bb....bb)

aa....aa：モジュール URI

bb....bb：標準モジュール名

説明

同一の標準モジュール名を持つ同一アプリケーション内のモジュールがすでにネーミングサービスに存在しています。そのためリソースアダプタモジュール内のオブジェクトを Portable Global JNDI 名で登録できませんでした。

このままでもアプリケーションの開始はできますので，Portable Global JNDI 名を使用しないアプリケーションの場合は，問題ありません。

対処

このリソースアダプタモジュールで Portable Global JNDI 名での登録が必要な場合は，次の対処をして標準モジュール名を変更してください。

- リソースアダプタモジュールの RAR ファイル名を別の名称に変更してから再度インポートしてください。

なお，アプリケーションサーバ内のすべてのアプリケーションで，Portable Global JNDI 名での登録が不要な場合は，ユーザプロパティ「ejbserver.jndi.global.enabled」に「false」を指定することで，このメッセージを抑止できます。

KDJE47730-E

The JNDI name specified in aa....aa is invalid. (name = bb....bb, JNDI name = cc....cc)

aa....aa：タグ名

bb....bb：アプリケーション表示名

cc....cc：JNDI 名

説明

リソース参照の名称に指定された JNDI 名のプリフィックスが誤っています。リソース参照の名称を JNDI 完全修飾名（「java:」から始まる JNDI 名）で指定する場合に，使用できるプリフィックスを次に示します。

- java:app
- java:comp
- java:global
- java:module

ただし，次に示す条件のどれかに該当する場合，それぞれのプリフィックスは使用できません。

java:app

- Portable Global JNDI 名の登録が無効になっている。
- 標準アプリケーション名が不正である（KDJE47710-W が出力されている）。
- 標準アプリケーション名が重複している（KDJE47720-W が出力されている）。

java:global

Portable Global JNDI 名の登録が無効になっている。

java:module

- Portable Global JNDI 名の登録が無効になっている。
- 標準アプリケーション名が不正である（KDJE47710-W が出力されている）。
- 標準アプリケーション名が重複している（KDJE47720-W が出力されている）。
- 標準モジュール名が不正である（KDJE47711-W が出力されている）。
- 標準モジュール名が重複している（KDJE47721-W～KDJE47723-W のどれかが出力されている）。

対処

- 表示されたタグ名と JNDI 名を基に，プリフィックスが誤っているリソース参照定義を特定し，名称に指定された JNDI 名のプリフィックスを見直してください。
- 標準アプリケーション名や標準モジュール名を見直してください。
- Portable Global JNDI 名の登録が無効になっている場合は有効にしてください。08-70 以前のバージョンからアップグレードした場合は，無効になっている場合があります。

KDJE47731-E

There is already an object with the same JNDI name specified in aa....aa. (name = bb....bb, JNDI name = cc....cc)

aa....aa：タグ名

bb....bb：アプリケーション表示名

cc....cc：JNDI 名

説明

リソース参照の名称に指定された JNDI 名が，別のオブジェクトまたはコンテキストとしてすでに登録されています。

ほかのリソース参照，自動的にバインドされるオブジェクト，または標準仕様で定められた予約語と重複する JNDI 名は指定できません。

対処

表示されたタグ名と JNDI 名を基に，名称が重複しているリソース参照定義を特定し，名称に指定された JNDI 名を見直してください。

なお，JNDI 名のプリフィックスによって，次のように重複と判断される範囲が異なります。

java:global の場合

同一のネーミングサービスを共有しているすべての J2EE サーバ内で，Global JNDI 名は重複できません。

java:app の場合

同一のアプリケーション内で，Global JNDI 名は重複できません。

java:module の場合

同一のモジュール内で，Global JNDI 名は重複できません。

java:comp の場合

同一のコンポーネント内で，Global JNDI 名は重複できません。

KDJE48200-E

A format error occurred in a queue configuration file. (cause = aa....aa, file = bb....bb)

aa....aa：理由

bb....bb：ファイル名

説明

キューコンフィグファイルのフォーマットエラーを検出しました。

対処

定義ファイルの内容を再度確認してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48201-W

No queue is registered in the namespace. (JNDI name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：JNDI 名

bb....bb：アプリケーション名

説明

指定されたキューを JNDI の名前空間に登録するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48202-W

No queue has been deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

指定されたキューを JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48203-W

No queue has been deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：JNDI 名

bb....bb：アプリケーション名

説明

指定されたキューを JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48204-W

JMSConnectionFactoryDummy is not registered in the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間に登録するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48205-W

JMSConnectionFactoryDummy is registered in the namespace. (JNDI name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：JNDI 名

bb....bb：アプリケーション名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間に登録するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48206-W

JMSXAQueueConnectionFactory is not registered in the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間に登録するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48207-W

JMSXAQueueConnectionFactory is not registered in the namespace. (JNDI name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：JNDI 名

bb....bb：アプリケーション名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間に登録するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48208-W

JMSConnectionFactoryDummy has not been deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48209-W

JMSConnectionFactoryDummy has not been deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：JNDI 名

bb....bb：アプリケーション名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48210-W

JMSXAQueueConnectionFactory has not been deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。
ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48211-W

JMSXAQueueConnectionFactory has not been deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：JNDI 名
bb....bb：アプリケーション名

説明

MDB の実行に必要なオブジェクトを JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。
ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48212-W

No queue is registered in the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

指定されたキューを JNDI の名前空間に登録するときに，例外が発生しました。
ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48213-W

An error was detected in the queue configuration file. (error property = aa....aa)

aa....aa：プロパティ名

説明

キューコンフィグファイルに，不正なキュー定義を検出しました。

対処

定義ファイルの内容を再度確認してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48214-I

The NonQueueConfigFile mode does not require a queue configuration file.

説明

キュー定義ファイルを使用しないで環境構築ができます。

KDJE48215-I

The QueueConfigFile mode requires a queue configuration file.

説明

キュー定義ファイルにキュー定義情報を記載する必要があります。

KDJE48216-E

The queue configuration information is not registered. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

キュー定義情報が登録されていないため，キュー情報を取得できませんでした。

対処

キューが正しく作成できているかを再度確認してください。原因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48500-W

No resource reference is defined for the display name aa....aa.

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

リソースアダプタのリファレンスが正しく設定されていません。

対処

リソースアダプタのリファレンスを正しく設定してください。

KDJE48501-W

Logwriter is not set for the ManagedConnectionFactory instance. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

ManagedConnectionFactory インスタンスに LogWriter がセットされませんでした。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48502-W

Logwriter is not set for the ManagedConnection instance. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

ManagedConnection インスタンスに LogWriter がセットされませんでした。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48503-W

A Logwriter instance has not been created. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

LogWriter の生成中に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48504-W

An Mbean instance has not been created. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

MBean の生成中に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48505-W

An Mbean instance has not been deleted. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

MBean の削除中に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48506-W

Recovery information cannot be deleted from the RecoveryManager. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

説明

リカバリ情報の削除中に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48507-W

Connection factory cannot be deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

ConnectionFactory を JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48508-W

Connection factory cannot be deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa, application name = bb....bb)

aa....aa：JNDI 名

bb....bb：アプリケーション名

説明

ConnectionFactory を JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48509-W

Configuration property has not been set for the ManagedConnectionFactory instance. (display name = aa....aa, method name = bb....bb, cause = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

ManagedConnectionFactory の初期化メソッド呼び出し中に例外が発生しました。

対処

例外名と例外の詳細メッセージ，およびリソースアダプタのログファイルを参照して，問題を解決してください。

KDJE48510-W

The value of aa....aa is outside the valid range. The default value (bb....bb) will be used.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティ値が不正です。

デフォルト値を使用します。

対処

プロパティをデフォルト値から変更する場合は，プロパティ値を修正して，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE48511-E

Connection factory cannot be loaded. (class name = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

connection factory をロードできませんでした。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48512-E

An instance of the connection factory class could not be created. (class name = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

connection factory のインスタンスを生成できませんでした。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48513-E

An exception occurred during acquisition of a method. (cause = aa....aa)

aa....aa：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

メソッドの取得時に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48514-E

An exception occurred during setting of a property value. (object = aa....aa, setter method name = bb....bb, property value = cc....cc, cause = dd....dd)

aa....aa：クラス名

bb....bb：セッターメソッド名

cc....cc：プロパティ値

dd....dd：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

プロパティ値の設定時に例外が発生しました。

対処

プロパティが正しいかどうかを確認してください。

KDJE48515-E

An unexpected exception occurred during a connection test of a resource adapter. (cause = aa....aa)

aa....aa：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

リソースアダプタの接続テスト時に予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48516-E

An attempt to create ManagedConnection has failed. (cause = aa....aa)

aa....aa：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

ManagedConnection の生成に失敗しました。

対処

メッセージの例外名と例外の詳細メッセージに従って調査し，要因を取り除いてください。

KDJE48517-E

The transaction support level is invalid. (transaction support = aa....aa)

aa....aa：トランザクションサポート

説明

トランザクションサポートレベルが不正です。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48518-E

An unexpected exception occurred during invocation of a validate method. (class name = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

validate メソッドの実行時に予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48519-E

A connection test has failed. (cause = aa....aa)

aa....aa：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

接続テストに失敗しました。

対処

リソースアダプタの設定と接続先サーバを確認してください。

KDJE48520-E

A resource adapter cannot be used in basic mode.

説明

ベーシックモードではリソースアダプタを使用できません。

対処

1.4 モードを使用してください。

KDJE48521-E

An XA transaction cannot be used when light transaction is enabled.

説明

ライトトランザクション機能有効時，XA トランザクションは使用できません。

対処

ユーザプロパティファイルの ejbserver.distributedtx.XATransaction.enabled キーを「true」にして，サーバを再起動してください。

KDJE48522-E

Logwriter creation has failed. (log channel name = aa....aa)

aa....aa：ログチャネル名

説明

Logwriter の生成に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48523-E

Logwriter creation has failed. (log component name = aa....aa)

aa....aa：ログコンポーネント名

説明

Logwriter の生成に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48524-E

An attempt to set Logwriter to ManagedConnectionFactory has failed. (class name = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

ManagedConnectionFactory への Logwriter のセットに失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48530-E

A data-source connection test cannot be performed except basic mode.

説明

データソース接続テストは，ベーシックモード以外で実施できません。

対処

J2EE サーバモードをベーシックモードに切り替えてください。

KDJE48531-E

An XA data-source connection test cannot be performed in basic mode.

説明

XA データソース接続テストはベーシックモードでは実施できません。

対処

J2EE サーバモードを 1.4 モードに切り替えてください。

KDJE48532-E

An XA data-source connection test cannot be performed when light transaction is enabled.

説明

ライトトランザクション機能では，XA データソース接続テストを実施できません。

対処

XA データソース接続テストをする場合は，ユーザプロパティファイル の
ejbserver.distributedtx.XATransaction.enabled キーを「true」にしてください。

KDJE48533-E

A resource descriptor is invalid. <java-impl> does not exist. (resource = aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

ResourceDescriptor に誤りがあります。<java-impl>タグがありません。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE48534-E

A resource descriptor is invalid. <class-name> does not exist. (resource = aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

ResourceDescriptor に誤りがあります。<class-name>タグがありません。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE48535-E

The resource descriptor aa....aa does not have an XA resource.

aa....aa：表示名

説明

指定された ResourceDescriptor には XA リソースがありません。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE48536-E

The mandatory property aa....aa does not exist.

aa....aa：プロパティ名

説明

指定された ResourceDescriptor に必須プロパティがありません。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE48537-E

An attempt was make to connect the incorrect driver aa....aa to bb....bb.

aa....aa：JDBC ドライバ名

bb....bb：URL

説明

指定された JDBC ドライバ（aa....aa）では bb....bb の URL に接続できません。

対処

誤った URL を指定している可能性があります。

確認してください。

KDJE48538-E

A data-source connection test has failed. (cause = aa....aa)

aa....aa：要因

説明

データソース接続テストに失敗しました。

対処

接続先データベースまたはデータソースの設定を確認してください。

KDJE48539-E

An XA data-source connection test has failed. (cause = aa....aa)

aa....aa：要因

説明

XA データソース接続テストに失敗しました。

対処

接続先データベースまたは XA データソースの設定を確認してください。

KDJE48540-E

An unexpected exception occurred. (cause = aa....aa)

aa....aa：要因

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE48541-E

ConnectorDescriptor was not found. (module name = aa....aa)

aa....aa：ConnectorDescriptor

説明

ConnectorDescriptor（aa....aa）が見つかりません。
リソースアダプタの状態が不正な可能性があります。

対処

リソースアダプタを再度開始して，J2EE アプリケーションを再度デプロイしてください。

KDJE48542-E

ResourceDescriptor was not found. Module name =aa....aa

aa....aa：ResourceDescriptor

説明

ResourceDescriptor（aa....aa）が見つかりません。
リソースアダプタの状態が不正な可能性があります。

対処

リソースアダプタを再度開始して，J2EE アプリケーションを再度デプロイしてください。

KDJE48543-E

The same name connector descriptor already exists. (display name = aa....aa)

aa....aa：表示名

説明

同名の ConnectorDescriptor がすでに存在します。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48544-E

A resource name that corresponds to the resource descriptor was not found. (display name = aa....aa)

aa....aa：表示名

説明

リソース名に該当する ResourceDescriptor が見つかりません。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48545-E

An error occurred during creation of a ManagedConnectionFactory instance.

説明

ManagedConnectionFactory インスタンス生成中にエラーが発生しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48546-E

The display name of connectorDescriptor was not found. (display name=aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタ名

説明

リソースアダプタ名（aa....aa）に対応する ConnectorDescriptor が見つかりません。

リソースアダプタの状態が不正な可能性があります。

対処

リソースアダプタを再度開始して，J2EE アプリケーションを再度デプロイしてください。

KDJE48547-E

A resource adapter cannot be stopped while it is being used. (display name = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタ名

説明

使用中のリソースアダプタ（aa....aa）は停止できません。

対処

リソースアダプタを使用している J2EE アプリケーションを停止したあと，再度操作を実行してください。

KDJE48548-E

No queue was registered in the namespace. (display name = aa....aa)

aa....aa：表示名

説明

ネームスペースにキューを登録しませんでした。

ネーミングサービスが正常に動作していない可能性があります。

対処

ネーミングサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KDJE48549-E

The QueueConfigFileName property was not found in the ra.xml file.

説明

ra.xml に，キューコンフィグファイル名のプロパティが見つかりませんでした。

対処

キューコンフィグファイルを見直してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48550-E

A queue configuration file was not found. (URL of key configuration file = aa....aa)

aa....aa：キューコンフィグファイル URL

説明

キューコンフィグファイル（aa....aa）が見つかりませんでした。

対処

- リソースアダプタのプロパティに設定したキューコンフィグファイル名を見直してください。
- キューコンフィグファイルとキューコンフィグファイル格納ディレクトリのアクセス権限を見直してください。

KDJE48551-E

QueueImplClass was not found because a key configuration file was invalid.

説明

キューコンフィグファイルが不正なため QueueImpl クラスが見つかりませんでした。

対処

キューコンフィグファイルに定義された QueueImpl クラスを見直してください。

KDJE48552-E

Format error queue configuration file reason: found no queue information.

説明

キューコンフィグファイルが不正なため，キュー情報が見つかりませんでした。

対処

キューコンフィグファイルを見直してください。

KDJE48553-E

Queue placement information could not be acquired. (display name = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：表示名

bb....bb：例外名と例外の詳細情報

説明

キュー配置情報を取得できませんでした。

対処

aa....aa のキューコンフィグファイルを見直してください。

KDJE48554-E

An error occurred during creation of an XADataSource instance.

説明

XADataSource インスタンス生成中にエラーが発生しました。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48555-E

A J2EE resource does not exist. (URI = aa....aa)

aa....aa：URI

説明

J2EE リソースが存在しません。

対処

aa....aa の J2EE リソースがあるかどうかを確認してください。

KDJE48556-E

The service cannot start. (module name = aa....aa)

aa....aa：J2EE モジュール名

説明

サービスを開始できません。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48557-E

The service cannot be stopped. (module name = aa....aa)

aa....aa：J2EE モジュール名

説明

サービスを停止できません。

対処

ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認して，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48558-E

A J2EE connector does not exist. (URI = aa....aa)

aa....aa：URI

説明

J2EE コネクタが存在しません。

対処

aa....aa の J2EE コネクタがあるかどうかを確認してください。

KDJE48570-E

An exception occurred during setting logger object to Cosminexus Reliable Messaging. (cause = aa....aa, resource adapter name = bb....bb)

aa....aa：例外の詳細メッセージ

bb....bb：リソースアダプタ名

説明

Reliable Messaging の logger の設定に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48571-E

An exception occurred during Cosminexus Reliable Messaging starting. (cause = aa....aa, resource adapter name = bb....bb)

aa....aa：例外の詳細メッセージ

bb....bb：リソースアダプタ名

説明

Reliable Messaging の開始に失敗しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE48580-E

Starting the J2EE resource adapter "aa....aa" failed. Detail=XA Transaction is not available when light transaction is enabled.

aa....aa：リソースアダプタ名

説明

ライトトランザクション機能有効時，XA トランザクションは利用できません。

このため，リソースアダプタ（aa....aa）は開始できません。

対処

分散トランザクションを使用する場合は，ユーザ定義ファイルの ejbserver.distributedtx.XATransaction.enabled キーに「true」を指定してください。

分散トランザクションを使用しない場合は，XA トランザクションを使用しないリソースアダプタを利用してください。

KDJE48581-E

Starting the J2EE resource "aa....aa" failed. Detail=DataSource is not available when light transaction is enabled.

aa....aa：データソース名

説明

ライトトランザクション機能有効時，データソースは利用できません。

このため，リソース（aa....aa）は開始できません。

対処

分散トランザクションを使用する場合は，ユーザ定義ファイルの ejbserver.distributedtx.XATransaction.enabled キーに「true」を指定してください。

分散トランザクションを使用しない場合は，XA トランザクションを使用しない DB Connector を利用してください。

KDJE48582-E

The linked resource adapter has not started. (linked resource adapter = aa....aa)

aa....aa：連携先リソースアダプタ名

説明

連携先リソースアダプタが開始していません。

対処

連携先リソースアダプタを開始してください。

KDJE48583-E

The linked resource adapter has not stopped. (linked resource adapter = aa....aa)

aa....aa：連携先リソースアダプタ名

説明

連携先リソースアダプタが停止していません。

対処

連携先リソースアダプタを停止してください。

KDJE48584-E

The linked resource adapter is not Cosminexus Reliable Messaging. (linked resource adapter = aa....aa)

aa....aa：連携先リソースアダプタ名

説明

連携先リソースアダプタが Reliable Messaging ではありません。

対処

DB Connector for Reliable Messaging の連携先リソースアダプタは，Reliable Messaging を指定してください。

KDJE48585-E

The linked resource adapter is not DB Connector for Cosminexus Reliable Messaging. (linked resource adapter = aa....aa)

aa....aa：連携先リソースアダプタ名

説明

連携先リソースアダプタが DB Connector for Reliable Messaging ではありません。

対処

Reliable Messaging の連携先リソースアダプタは，DB Connector for Reliable Messaging を指定してください。

KDJE48586-E

The property that indicates the linked resource adapter is not defined. (resource adapter = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタ名

説明

連携先リソースアダプタを示すプロパティが定義されていません。

対処

DB Connector for Reliable Messaging または Reliable Messaging では，連携先をプロパティに設定する必要があります。プロパティの設定を見直してください。

KDJE48587-E

The linked resource adapter has already started. (linked resource adapter = aa....aa)

aa....aa：連携先リソースアダプタ名

説明

連携するリソースアダプタがすでに開始しています。

対処

次のことに留意して設定を見直してください。

- DB Connector for Reliable Messaging は，連携する Reliable Messaging より先に開始する必要があります。
- DB Connector for Reliable Messaging と Reliable Messaging は，一対一でだけ連携できます。

KDJE48588-E

This resource adapter is linked to multiple resource adapters. (resource adapter = aa....aa)

aa....aa：リソースアダプタ名

説明

このリソースアダプタは複数のリソースアダプタと連携しています。

対処

DB Connector for Reliable Messaging と Reliable Messaging は，一対一でだけ連携できます。このリソースアダプタを連携先に設定して開始しているリソースアダプタを一つにしてください。

KDJE48589-E

An error occurred during creation of a javax.resource.spi.ResourceAdapter instance.(resname=aa....aa Detail = bb....bb)

aa....aa：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

bb....bb：例外文字列

説明

javax.resource.spi.ResourceAdapter のインスタンス生成時に例外が発生しました。

対処

ra.xml の<resourceadapter-class>タグで指定したクラス名が正しいかを確認してください。また，該当するクラスのデフォルトコンストラクタの処理を確認してください。

KDJE48590-E

An exception occurred in javax.resource.spi.ResourceAdapter.aa....aa(). (resname=bb....bb Detail = cc....cc)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外文字列

説明

javax.resource.spi.ResourceAdapter のメソッドで例外が発生しました。

対処

例外が発生した javax.resource.spi.ResourceAdapter のメソッドの処理を確認してください。

KDJE48591-E

Cannot associate javax.resource.spi.ManagedConnectionFactory and javax.resource.spi.ResourceAdapter (resname=aa....aa,Detail=bb....bb).

aa....aa：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

bb....bb：例外文字列

説明

javax.resource.spi.ManagedConnectionFactory と javax.resource.spi.ResourceAdapter を関連づけることができません。

対処

ra.xml の<managedconnectionfactory-class>タグで指定したクラスがインタフェース javax.resource.spi.ResourceAdapterAssociation を実装しているかを確認してください。

実装している場合，setResourceAdapter メソッドの処理を確認してください。

KDJE48592-E

An exception occurred in javax.resource.spi.work.Work#run(). (resname=aa....aa Detail = bb....bb)

aa....aa：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

bb....bb：例外文字列

説明

javax.resource.spi.work.Work の run()メソッドで例外が発生しました。

対処

例外が発生した javax.resource.spi.work.Work のメソッドの処理を確認してください。

KDJE48593-E

An exception occurred in javax.resource.spi.work.WorkListener#aa....aa(). (resname=bb....bb Detail = cc....cc)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

cc....cc：例外文字列

説明

javax.resource.spi.work.WorkListener のメソッドで例外が発生しました。

対処

例外が発生した javax.resource.spi.work.WorkListener のメソッドの処理を確認してください。

KDJE48594-W

Configuration property has not been set for the javax.resource.spi.ResourceAdapter instance. (display name = aa....aa, method name = bb....bb, cause = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：例外名と例外の詳細メッセージ

説明

ResourceAdapter の初期化メソッド呼び出し中に例外が発生しました。

対処

例外名と例外の詳細メッセージ，およびリソースアダプタのログファイルを参照して，問題を解決してください。

KDJE48595-E

The connection factory class does not implement the connection factory interface. (resname = aa....aa, connection factory class = bb....bb, connection factory interface = cc....cc).

aa....aa：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

bb....bb：<connectionfactory-impl-class>タグの指定値

cc....cc：<connectionfactory-interface>タグの指定値

説明

ra.xml の<connectionfactory-impl-class>タグで指定されたクラスが<connectionfactory-interface>タグで指定されたインタフェースを実装していません。

対処

<connectionfactory-impl-class>タグまたは<connectionfactory-interface>タグの指定が正しいかを見直してください。

KDJE48596-E

The connection factory interface could not be found. (resname = aa....aa,connection factory interface = bb....bb)

aa....aa：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

bb....bb：<connectionfactory-interface>タグの指定値

説明

ra.xml の<connectionfactory-interface>タグで指定されたインタフェースがクラスパスから見つかりません。

対処

<connectionfactory-interface>タグの指定が正しいかを見直してください。

KDJE48597-E

An error occurred during creation of an administered object instance. (resource name = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

bb....bb：例外文字列

説明

管理対象オブジェクトのインスタンス生成時に例外が発生しました。

対処

ra.xml の<adminobject-class>タグで指定したクラス名が正しいか，該当するクラスのデフォルトコンストラクタの処理を確認してください。

KDJE48598-W

An attempt to set a configuration property for the administered object failed. (resource name = aa....aa, property name = bb....bb)

aa....aa：[アプリケーションの表示名:] リソースの表示名

bb....bb：プロパティ名

説明

管理対象オブジェクトへのプロパティ設定に失敗しました。

対処

管理対象オブジェクトに指定できるプロパティ設定について，リソースアダプタのドキュメントを確認してください。

KDJE48600-W

The timeout for connection-error detection is disabled because the connection pool is disabled. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

コネクションプールが無効なため，コネクション障害検知のタイムアウトを無効にします。

対処

コネクション障害検知のタイムアウトを使用する場合は，コネクションプーリング機能を有効にしてください。

KDJE48601-W

The timeout for connection-error detection is disabled because the maximum size of the connection pool is unlimited. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

コネクションプールの最大値が無制限なため，コネクション障害検知のタイムアウトを無効にします。

対処

コネクション障害検知のタイムアウトを使用する場合は，コネクションプールの最大値に有限値を設定してください。

KDJE48602-W

A timeout for connection-error detection occurred.

(resource name = aa....aa, connection ID = bb....bb, thread = cc....cc, rootAP = dd....dd)

aa....aa：リソース名

bb....bb：コネクション ID

cc....cc：実行スレッド

dd....dd：ルート AP 情報

説明

コネクションプール内のコネクションから応答がなかったため，コネクション障害検知がタイムアウトしました。

対処

接続先サーバや接続回線を確認してください。

KDJE48603-W

Connection-error detection was not executed. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

コネクション管理スレッドが枯渇しているため，コネクション障害検知が実行できませんでした。

対処

接続先サーバや接続回線を確認してください。

KDJE48604-W

The value of connection-sweeper is under an hour(3600 seconds). (resource name = aa....aa, SweeperInterval = bb....bb, ConnectionTimeout = cc....cc)

aa....aa：リソース名

bb....bb：コネクションスイーパ動作時間間隔

cc....cc：コネクション解放までのタイムアウト値

説明

コネクションスイーパが 1 時間(3600 秒)未満に設定されています。コネクションスイーパ動作時間間隔とコネクション解放までのタイムアウト値はどちらとも 1 時間(3600 秒)以上の設定を推奨しています。

対処

コネクションスイーパ動作時間間隔とコネクション解放までのタイムアウト値の設定値を見直してください。詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編(コンテナ共通機能)」の「3.15.7　コネクションスイーパ」を参照してください。

KDJE48605-E

An error was detected during the processing to start J2EE connectors.

説明

J2EE サーバ起動時のリソースアダプタの開始処理で失敗しました。

トランザクションの回復処理を行わないで J2EE サーバを強制停止します。

対処

直前に出力されているメッセージから開始に失敗するリソースアダプタを特定して，リソースアダプタが開始に失敗する原因を取り除いてください。

KDJE48606-E

A resource adapter does not have a required connection definition for outbound communication.

説明

リソースアダプタに Outbound の通信に使用するコネクション定義がありません。

リソース接続テストの対象がないためテストを中止しました。

対処

指定したリソースアダプタが間違っているか，リソースアダプタの定義が違います。設定を見直して再度実行してください。

KDJE48901-E

The XA data-source connection test cannot be performed because the data source is not supported.

説明

データソースをサポートしていないため，XA データソースの接続テストができません。

対処

DB connector を使用してデータベースと接続してください。

KDJE49000-W

No recovery information has been deleted from the RecoveryManager. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソース名

説明

リカバリ情報の削除中に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE49001-W

No data source has been deleted from the namespace. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

DataSource を JNDI の名前空間から削除するときに，例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE49002-W

An Mbean instance has not been created. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

MBean の生成中に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE49003-W

An Mbean instance has not been removed. (JNDI name = aa....aa)

aa....aa：JNDI 名

説明

MBean の削除中に例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE49510-I

The connection pool warmup was not executed. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, minimum size = cc....cc, maximum size = dd....dd)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：リソースの種別（jdbc：データソース，または connector：リソースアダプタ）

cc....cc：コネクションプールの最小値

dd....dd：コネクションプールの最大値

説明

コネクションプールのウォーミングアップを実行しませんでした。

KDJE49511-I

The connection pool warmup started. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, minimum size = cc....cc, maximum size = dd....dd)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：リソースの種別（jdbc：データソース，または connector：リソースアダプタ）

cc....cc：コネクションプールの最小値

dd....dd：コネクションプールの最大値

説明

コネクションプールのウォーミングアップを開始しました。

KDJE49512-I

The connection pool warmup finished normally. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, minimum size = cc....cc, maximum size = dd....dd, size = ee....ee)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：リソースの種別（jdbc：データソース，または connector：リソースアダプタ）

cc....cc：コネクションプールの最小値

dd....dd：コネクションプールの最大値

ee....ee：コネクションプールのサイズ

説明

コネクションプールのウォーミングアップが正常に終了しました。

KDJE49513-W

The connection pool warmup failed. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, minimum size = cc....cc, maximum size = dd....dd, size = ee....ee, cause = ff....ff)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：リソースの種別（jdbc：データソース，または connector：リソースアダプタ）

cc....cc：コネクションプールの最小値

dd....dd：コネクションプールの最大値

ee....ee：コネクションプールのサイズ

ff....ff：エラー情報

説明

コネクションプールのウォーミングアップに失敗しました。

対処

エラー情報を参照して，対処してください。

KDJE49514-I

The connection pool will now be cleared. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, mode = cc....cc)

aa....aa：リソース名

bb....bb：リソース種別（jdbc：データソース，または jca：リソースアダプタ）

cc....cc：モード名（normal，または plan）

説明

コネクションプールのクリア処理を開始します。

KDJE49515-I

The connection pool was cleared successfully. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, mode = cc....cc)

aa....aa：リソース名
bb....bb：リソース種別（jdbc：データソース，または jca：リソースアダプタ）
cc....cc：モード名（normal，または plan）

説明

コネクションプールのクリア処理が正常終了しました。

KDJE49516-E

An attempt to clear the connection pool has failed. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, mode = cc....cc)

aa....aa：リソース名
bb....bb：リソース種別（jdbc：データソース，または jca：リソースアダプタ）
cc....cc：モード名（normal，または plan）

説明

コネクションプールのクリア処理が異常終了しました。

対処

コマンド実行側のエラー情報を参照して，対処してください。

KDJE49517-I

The connection pool will now be cleared. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, mode = cc....cc, application name = dd....dd)

aa....aa：リソース名
bb....bb：リソース種別（jdbc：データソース，または jca：リソースアダプタ）
cc....cc：モード名（normal，または plan）
dd....dd：アプリケーション名

説明

コネクションプールのクリア処理を開始します。

KDJE49518-I

The connection pool was cleared successfully. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, mode = cc....cc, application name = dd....dd)

aa....aa：リソース名
bb....bb：リソース種別（jdbc：データソース，または jca：リソースアダプタ）
cc....cc：モード名（normal，または plan）
dd....dd：アプリケーション名

説明

コネクションプールのクリア処理が正常終了しました。

KDJE49519-E

An attempt to clear the connection pool has failed. (resource name = aa....aa, resource type = bb....bb, mode = cc....cc, application name = dd....dd)

aa....aa：リソース名

bb....bb：リソース種別（jdbc：データソース，または jca：リソースアダプタ）

cc....cc：モード名（normal，または plan）

dd....dd：アプリケーション名

説明

コネクションプールのクリア処理が異常終了しました。

対処

コマンド実行側のエラー情報を参照して，対処してください。

KDJE49520-I

All connection pools will now be cleared.

説明

すべてのコネクションプールのクリア処理を開始します。

KDJE49521-I

All connection pools were cleared successfully.

説明

すべてのコネクションプールのクリア処理が正常終了しました。

KDJE49522-E

Some attempts to clear connection pools have failed.

説明

幾つかのコネクションプールのクリア処理が異常終了しました。

対処

コマンド実行側のエラー情報を参照して，対処してください。

KDJE49523-I

Connections that exceed the specified time will now be closed. (time = aa....aa seconds, resource name = bb....bb)

aa....aa：時間(秒数)

bb....bb：リソース名

説明

指定時間を超過したコネクションのクローズ処理を開始します。

KDJE49524-I

Connections that exceed the specified time were closed successfully. (time = aa....aa seconds, resource name = bb....bb)

aa....aa：時間(秒数)

bb....bb：リソース名

説明

指定時間を超過したコネクションのクローズ処理が正常終了しました。

KDJE49525-E

An attempt to close a connection that exceeds the specified time has failed. (time = aa....aa seconds, resource name = bb....bb)

aa....aa：時間(秒数)

bb....bb：リソース名

説明

指定時間を超過したコネクションのクローズ処理が異常終了しました。

対処

コマンド実行側のエラー情報を参照して，対処してください。

KDJE49526-I

Connections that exceed the specified time will now be closed. (time = aa....aa seconds)

aa....aa：時間(秒数)

説明

指定時間を超過したコネクションのクローズ処理を開始します。

KDJE49527-I

Connections that exceed the specified time were closed successfully. (time = aa....aa seconds)

aa....aa：時間(秒数)

説明

指定時間を超過したコネクションのクローズ処理が正常終了しました。

KDJE49528-E

Some attempts to close connections that exceed the specified time have failed. (time = aa....aa seconds)

aa....aa：時間(秒数)

説明

指定時間を超過したコネクションのクローズ処理が異常終了しました。

対処

コマンド実行側のエラー情報を参照して，対処してください。

KDJE49529-I

The connection will now be closed. (resource name = aa....aa, connection ID = bb....bb)

aa....aa：リソース名

bb....bb：コネクション ID

説明

コネクションのクローズ処理を開始します。

KDJE49530-I

The connection was closed successfully. (resource name = aa....aa, connection ID = bb....bb)

aa....aa：リソース名

bb....bb：コネクション ID

説明

コネクションのクローズ処理が正常終了しました。

KDJE49531-E

An attempt to close the connection has failed. (resource name = aa....aa, connection ID = bb....bb)

aa....aa：リソース名

bb....bb：コネクション ID

説明

コネクションのクローズ処理が異常終了しました。

対処

コマンド実行側のエラー情報を参照して，対処してください。

KDJE49532-I

The number of connections was adjusted. (resource name = aa....aa, before = bb....bb, after = cc....cc)

aa....aa：リソース名

bb....bb：調節前コネクション数

cc....cc：調節後コネクション数

説明

コネクションプールのコネクション数を調節しました。

KDJE49533-W

A timeout occurred while deleting a connection. (resource name = aa....aa, connection ID = bb....bb)

aa....aa：リソース名

bb....bb：コネクション ID

説明

コネクション数調節でコネクション削除要求がタイムアウトしました。

対処

接続先サーバや接続回線を確認してください。

KDJE49600-E

The memberResourceAdapterName[n] property is not defined. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティが一つも定義されていません。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティを一つ以上定義してください。

KDJE49601-E

The property value is empty. (property name = aa....aa, root resource adapter = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティの値が空です。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティにメンバリソースアダプタの表示名を設定してください。

KDJE49602-E

Values of the memberResourceAdapterName[n] property are duplicated. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティの値が重複しています。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティの値は重複しないように設定してください。

KDJE49603-E

The member resource adapter does not exist. (member resource adapter = aa....aa, root resource adapter = bb....bb)

aa....aa：memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタ名

bb....bb：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタが存在しません。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタが存在するかどうかを確認してください。

KDJE49604-E

The resource adapter cannot be used as a member resource adapter. (resource adapter = aa....aa, root resource adapter = bb....bb)

aa....aa：memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したリソースアダプタ名

bb....bb：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したリソースアダプタは，メンバリソースアダプタとしては使用できません。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したリソースアダプタがメンバリソースアダプタ用の DB Connector かどうかを確認してください。

KDJE49605-E

The member resource adapter has not started. (member resource adapter = aa....aa, root resource adapter = bb....bb)

aa....aa：memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタ名

bb....bb：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタが，開始していません。ルートリソースアダプタを開始するには，メンバリソースアダプタがすべて開始している必要があります。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタが開始状態かどうかを確認してください。

KDJE49606-E

The member resource adapter is being used as the member resource adapter of another root resource adapter. (member resource adapter = aa....aa, root resource adapter = bb....bb, duplicated root resource adapter = cc....cc)

aa....aa：memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタ名

bb....bb：ルートリソースアダプタ名

cc....cc：重複したルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタは，すでにほかのルートリソースアダプタのメンバリソースアダプタとして使用されています。メンバリソースアダプタは，複数のルートリソースアダプタのメンバリソースアダプタになることはできません。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティには，ほかのルートリソースアダプタのmemberResourceAdapterName[n]プロパティに指定されていないメンバリソースアダプタの表示名を指定してください。

KDJE49607-E

Not all member resource adapters have been imported from the same RAR file. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタは，異なる rar ファイルからインポートされたリソースアダプタです。メンバリソースアダプタはすべて同一の rar ファイルからインポートしたリソースアダプタである必要があります。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティには，すべて同一の rar ファイルからインポートしたメンバリソースアダプタの表示名を指定してください。

KDJE49608-E

A transaction support level of at least one member resource adapter is not supported by the root resource adapter. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタのトランザクションサポートレベルがルートリソースアダプタでサポートされていません。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタのトランザクションサポートレベルがルートリソースアダプタでサポートされているかどうかを確認してください。

KDJE49609-E

Transaction support levels of all member resource adapters are not the same. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタのトランザクションサポートレベルが異なっています。メンバリソースアダプタのトランザクションサポートレベルはすべて同一にする必要があります。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタのトランザクションサポートレベルがすべて同一かどうかを確認してください。

KDJE49610-E

User names of all member resource adapters are not the same. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタのデータベースユーザ名が異なっています。メンバリソースアダプタのデータベースユーザ名はすべて同一にする必要があります。

対処

memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタのデータベースユーザ名がすべて同一かどうかを確認してください。

KDJE49611-E

The dbCheckInterval property value is not longer than the loginTimeout property value of a member resource adapter. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

dbCheckInterval プロパティの値に，memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したメンバリソースアダプタの loginTimeout プロパティの値よりも長い時間が指定されていません。

dbCheckInterval プロパティの値は，すべてのメンバリソースアダプタの loginTimeout プロパティの値よりも長い時間を指定する必要があります。

対処

dbCheckInterval プロパティの値に，memberResourceAdapterName[n]プロパティに指定したすべてのメンバリソースアダプタの loginTimeout プロパティの値よりも長い時間が指定されているかどうかを確認してください。

KDJE49612-W

The algorithm property is not defined. The default value will be used. (root resource adapter = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトの algorithm プロパティの値

説明

algorithm プロパティが定義されていません。デフォルト値を使用します。

対処

algorithm プロパティを定義してください。

KDJE49613-W

An invalid value is set in the algorithm property. The default value will be used. (root resource adapter = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトの algorithm プロパティの値

説明

algorithm プロパティに不正な値が設定されています。デフォルト値を使用します。

対処

algorithm プロパティに有効な値を設定してください。

KDJE49614-W

The enableAutoPoolSuspend property is not defined. The default value will be used. (root resource adapter = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトの enableAutoPoolSuspend プロパティの値

説明

enableAutoPoolSuspend プロパティが定義されていません。デフォルト値を使用します。

対処

enableAutoPoolSuspend プロパティを定義してください。

KDJE49615-W

The enableAutoPoolResume property is not defined. The default value will be used. (root resource adapter = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトの enableAutoPoolResume プロパティの値

説明

enableAutoPoolResume プロパティが定義されていません。デフォルト値を使用します。

対処

enableAutoPoolResume プロパティを定義してください。

KDJE49616-W

The dbCheckInterval property is not defined. The default value will be used. (root resource adapter = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトの dbCheckInterval プロパティの値

説明

dbCheckInterval プロパティが定義されていません。デフォルト値を使用します。

対処

dbCheckInterval プロパティを定義してください。

KDJE49617-W

An invalid value is set in the dbCheckInterval property. The default value will be used. (root resource adapter = aa....aa, default value = bb....bb)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトの dbCheckInterval プロパティの値

説明

dbCheckInterval プロパティに不正な値が設定されています。デフォルト値を使用します。

対処

dbCheckInterval プロパティに有効な値を設定してください。

KDJE49620-E

The algorithm property is not defined. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

algorithm プロパティが定義されていません。

対処

algorithm プロパティを定義してください。

KDJE49621-E

An invalid value is set in the algorithm property. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

algorithm プロパティに不正な値が設定されています。

対処

algorithm プロパティに有効な値を設定してください。

KDJE49622-E

The enableAutoPoolSuspend property is not defined. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

enableAutoPoolSuspend プロパティが定義されていません。

対処

enableAutoPoolSuspend プロパティを定義してください。

KDJE49623-E

The enableAutoPoolResume property is not defined. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

enableAutoPoolResume プロパティが定義されていません。

対処

enableAutoPoolResume プロパティを定義してください。

KDJE49624-E

The dbCheckInterval property is not defined. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

dbCheckInterval プロパティが定義されていません。

対処

dbCheckInterval プロパティを定義してください。

KDJE49625-E

An invalid value is set in the dbCheckInterval property. (root resource adapter = aa....aa)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

説明

dbCheckInterval プロパティに不正な値が設定されています。

対処

dbCheckInterval プロパティに有効な値を設定してください。

KDJE49630-E

Connection pooling is disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクションプーリング機能が有効になっていません。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。

対処

コネクションプールのコネクション数の最大値を 1 以上の値に設定してください。

KDJE49631-E

The maximum size of the connection pool is set to be unlimited. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクションプールのコネクション数の最大値が無制限になっています。メンバリソースアダプタは，コネクション数の最大値を無制限にすることはできません。

対処

コネクションプールのコネクション数の最大値を 1 以上の値に設定してください。

KDJE49632-E

The function for detecting errors while getting a connection is disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクション取得時のコネクションの障害検知機能が有効になっていません。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。

対処

コネクション取得要求時のコネクションの障害検知機能を有効にしてください。

KDJE49633-E

The timeout function for detecting connection errors is disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

障害検知のタイムアウト機能が有効になっていません。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。

対処

障害検知のタイムアウト機能を有効にしてください。

KDJE49634-E

The function to queue requests for getting a connection is disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクション枯渇時のコネクション取得待ち機能が有効になっていません。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。

対処

コネクション枯渇時のコネクション取得待ち機能を有効にしてください。

KDJE49635-E

The retry function for getting a connection is not disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクションの取得リトライ機能が無効になっていません。メンバリソースアダプタでは，この機能は使用できません。

対処

コネクションの取得リトライ機能を無効にしてください。

KDJE49636-E

The optional name function for J2EE resources is not disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

J2EE リソースのオプショナル名機能が無効になっていません。メンバリソースアダプタでは，この機能は使用できません。

対処

J2EE リソースのオプショナル名機能を無効にしてください。

KDJE49637-E

The value of the loginTimeout property is not 1 or more. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

loginTimeout プロパティには，1 以上の値を指定してください。メンバリソースアダプタで，Oracle JDBC Thin Driver を使用する場合には，この設定が前提となります。

対処

メンバリソースアダプタの loginTimeout プロパティに，1 以上の値を指定してください。

KDJE49640-W

Connection pooling has been enabled. (member resource adapter = aa....aa, default minimum pool size = bb....bb, default maximum pool size = cc....cc)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトのコネクションプールのコネクション数の最小数

cc....cc：デフォルトのコネクションプールのコネクション数の最大数

説明

コネクションプーリング機能が有効になっていませんでしたので，有効にしました。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。コネクションプールのサイズはデフォルト値を使用します。

対処

コネクションプールのコネクション数の最大値を 1 以上の値に設定してください。

KDJE49641-W

The default value will be used for the connection pool size. (member resource adapter = aa....aa, default minimum pool size = bb....bb, default maximum pool size = cc....cc)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

bb....bb：デフォルトのコネクションプールのコネクション数の最小数

cc....cc：デフォルトのコネクションプールのコネクション数の最大数

説明

コネクションプールのコネクション数の最大値の設定が無制限になっていましたので，コネクションプールのサイズにデフォルト値を使用します。メンバリソースアダプタは，コネクション数の最大値を無制限にすることはできません。

対処

コネクションプールのコネクション数の最大値を 1 以上の値に設定してください。

KDJE49642-W

The function for detecting errors while getting a connection has been enabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクション取得時のコネクションの障害検知機能が有効になっていませんでしたので，有効にしました。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。

対処

コネクション取得要求時のコネクションの障害検知機能を有効にしてください。

KDJE49643-W

The timeout function for detecting connection errors has been enabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

障害検知のタイムアウト機能が有効になっていませんでしたので，有効にしました。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。

対処

障害検知のタイムアウト機能を有効にしてください。

KDJE49644-W

The function to queue requests for getting a connection has been enabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクション枯渇時のコネクション取得待ち機能が有効になっていませんでしたので，有効にしました。メンバリソースアダプタは，この機能が前提となります。

対処

コネクション枯渇時のコネクション取得待ち機能を有効にしてください。

KDJE49645-W

The retry function for getting a connection has been disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

コネクションの取得リトライ機能が無効になっていませんでしたので，無効にしました。メンバリソースアダプタでは，この機能は使用できません。

対処

コネクションの取得リトライ機能を無効にしてください。

KDJE49646-W

The optional name function for J2EE resources has been disabled. (member resource adapter = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

J2EE リソースのオプショナル名機能が無効になっていませんでしたので，無効にしました。メンバリソースアダプタでは，この機能は使用できません。

対処

J2EE リソースのオプショナル名機能を無効にしてください。

KDJE49647-E

The root resource adapter is not stopped. (root resource adapter = aa....aa, member resource adapter = bb....bb)

aa....aa：ルートリソースアダプタ名

bb....bb：メンバリソースアダプタ名

説明

ルートリソースアダプタが，停止していません。メンバリソースアダプタを停止するには，ルートリソースアダプタが停止している必要があります。

対処

ルートリソースアダプタが停止状態かどうかを確認してください。

KDJE49650-I

The connection pool status has changed to "running". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が開始状態になりました。

KDJE49651-I

The member resource adapter has started, and the connection pool status has changed to "running". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバリソースアダプタが開始されて，メンバコネクションプールの状態が開始状態になりました。

KDJE49652-I

The connection pool status has changed to "runningReserved". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が開始予約状態になりました。

KDJE49653-I

The connection pool status has changed to "resumingAutomatically". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が自動再開中状態になりました。

KDJE49654-I

The connection pool status has changed to "resumingManually". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が手動再開中開始状態になりました。

KDJE49655-E

The connection pool status has changed to "blockedAutomatically". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb, cause = cc....cc)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

cc....cc：閉塞の原因

説明

メンバコネクションプールの状態が自動閉塞状態になりました。

対処

データベースサーバで障害が発生しました。データベースサーバを復旧させてください。

KDJE49656-I

The connection pool status has changed to "blockedManually". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が手動閉塞状態になりました。

KDJE49657-E

The connection pool status has changed to "suspendedAutomatically". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が自動一時停止状態になりました。

対処

データベースサーバを復旧させてから，自動再開または cjresumepool コマンドでコネクションプールを開始状態にしてください。

KDJE49658-I

The member resource adapter started, and the connection pool status has changed to "suspendedAutomatically". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバリソースアダプタが開始されて，メンバコネクションプールの状態が自動一時停止状態になりました。

KDJE49659-I

The connection pool status has changed to "suspendedAutomaticallyReserved". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が自動一時停止予約状態になりました。

KDJE49660-I

The connection pool status has changed to "suspendedManually". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が手動一時停止状態になりました。

KDJE49661-I

The member resource adapter started, and the connection pool status has changed to "suspendedManually". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバリソースアダプタが開始されて，メンバコネクションプールの状態が手動一時停止状態になりました。

KDJE49662-I

The connection pool status has changed to "suspendedManuallyReserved". (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が手動一時停止予約状態になりました。

KDJE49663-E

The connection pool status has changed to "suspendedAutomatically" because the member connection pool failed to resume. (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が自動一時停止状態になりました。

対処

データベースサーバを復旧させてから，自動再開または cjresumepool コマンドでコネクションプールを開始状態にしてください。

KDJE49664-E

The connection pool status has changed to "suspendedManually" because the member connection pool failed to resume. (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態が手動一時停止状態になりました。

対処

データベースサーバを復旧させてから，cjresumepool コマンドでコネクションプールを開始状態にしてください。

KDJE49665-I

The member connection pool will be created now. (resource name = aa....aa, pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：コネクションプールの状態

説明

メンバリソースアダプタが開始されるので，メンバコネクションプールが生成されます。

KDJE49666-I

The member connection pool was registered in the cluster connection pool. (member resource name = aa....aa, root resource name = bb....bb)

aa....aa：メンバリソースアダプタの表示名

bb....bb：ルートリソースアダプタの表示名

説明

メンバコネクションプールがクラスタコネクションプールに登録されました。

KDJE49667-E

An exception occurred while getting the connection pool status. (resource name = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

メンバコネクションプールの状態の取得に失敗しました。処理を中止します。

対処

メンバリソースアダプタをアンデプロイし，デプロイしてから再開始してください。もし対処できない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE49668-E

The connection pool status is invalid. (resource name = aa....aa)

aa....aa：メンバリソースアダプタ名

説明

メンバコネクションプールの状態が不正です。処理を中止します。

対処

メンバコネクションプールの状態が不正になる要因を，このメッセージより前に出力されたメッセージを参照して，取り除いてください。要因を取り除いたあと J2EE サーバを再起動してください。J2EE サーバ再起動後，実行した操作が成功したか確認してください。

KDJE49669-E

An exception occurred during updating of the member connection pool status. (resource name = aa....aa, previous pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：更新前のコネクションプールの状態

説明

メンバコネクションプールの状態の更新に失敗しました。

対処

メンバコネクションプールの状態の更新に失敗する要因を，このメッセージより前に出力されたメッセージを参照して，取り除いてください。要因を取り除いたあと J2EE サーバを再起動してください。J2EE サーバ再起動後，実行した操作が成功したか確認してください。

KDJE49670-E

The connection pool cannot resume because the number of available connection control threads is fewer than the maximum size of the connection pool. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

コネクションプールの再開処理が実行できません。

対処

コネクション管理スレッドが解放されるまで，しばらくお待ちください。

KDJE49671-I

The number of available connection control threads has reached the maximum size of the connection pool. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

クラスタコネクションプールでメンバリソースアダプタが自動一時停止状態になったあとの後処理が完了して，自動再開処理が実行できるようになりました。

KDJE49672-E

The cjclearpool command cannot execute because the specified resource name is a root resource adapter name. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

cjclearpool コマンドは，ルートリソースアダプタの表示名を指定できません。

対処

ルートリソースアダプタ以外のリソースアダプタの表示名を指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE49673-E

The cjclearpool command cannot execute because the status of the connection pool of the specified resource is not "running". (resource name = aa....aa, pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：コネクションプールの状態

説明

cjclearpool コマンドは，コネクションプールが開始状態でないリソース名を指定できません。

対処

コネクションプールを開始状態にしてから，再度コマンドを実行してください。

- コネクションプールが自動閉塞状態または手動閉塞状態の場合：
  一時停止処理を実行中ですので，しばらくお待ちください。一時停止状態になったら cjresumepool コマンドを実行してください。
- コネクションプールが自動一時停止状態または手動一時停止状態の場合：
  cjresumepool コマンドを実行してください。
- コネクションプールが自動再開中または手動再開中の場合：
  開始状態になるまでしばらくお待ちください。

KDJE49674-E

The cjlistpool command cannot execute because the specified resource name is a root resource adapter name. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

cjlistpool コマンドは，ルートリソースアダプタの表示名を指定できません。

対処

ルートリソースアダプタ以外のリソースアダプタの表示名を指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE49675-E

The cjsuspendpool command cannot execute because the specified resource name is not a member resource adapter name. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

cjsuspendpool コマンドは，メンバリソースアダプタの表示名だけ指定できます。

対処

メンバリソースアダプタの表示名を指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE49676-E

The cjsuspendpool command cannot execute because the status of the specified connection pool is illegal. An available status is "running", "runningReserved", "suspendedAutomatically" or "suspendedAutomaticallyReserved". (resource name = aa....aa, pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：コネクションプールの状態

説明

cjsuspendpool コマンドは，コネクションプールの状態が開始状態，開始予約状態，自動一時停止状態，または自動一時停止予約状態でないリソース名を指定できません。

対処

- コネクションプールが自動閉塞状態または手動閉塞状態の場合：
  コネクションプールの一時停止処理を実行中ですので，しばらくお待ちください。
- コネクションプールが手動一時停止状態または手動一時停止予約状態の場合：
  コネクションプールはすでに一時停止状態ですので，対処の必要はありません。
- コネクションプールが自動再開中状態または手動再開中状態の場合：
  コネクションプールが開始状態になるまで待ってから，再度コマンドを実行してください。

KDJE49677-E

The cjresumepool command cannot execute because the specified resource name is not a member resource adapter name. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

cjresumepool コマンドは，メンバリソースアダプタの表示名だけ指定できます。

対処

メンバリソースアダプタの表示名を指定して，再度コマンドを実行してください。

KDJE49678-E

The cjresumepool command cannot execute because the specified connection pool is not suspended. (resource name = aa....aa, pool status = bb....bb)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：コネクションプールの状態

説明

cjresumepool コマンドは，コネクションプールの状態が自動一時停止，手動一時停止，自動一時停止予約または手動一時停止予約状態でないリソース名を指定できません。

対処

- コネクションプールが開始状態または開始予約状態の場合：
  コネクションプールはすでに開始状態ですので，対処の必要はありません。
- コネクションプールが自動閉塞状態または手動閉塞状態の場合：
  コネクションプールが自動一時停止状態または手動一時停止状態になるまで待ってから，再度コマンドを実行してください。
- コネクションプールが自動再開中または手動再開中状態の場合：
  コネクションプールの再開処理を実行中ですので，しばらくお待ちください。

KDJE49679-E

The command cannot be used in basic mode. (command name = aa....aa)

aa....aa：コマンド名

説明

このコマンドは，ベーシックモードでは使用できません。

対処

J2EE サーバの起動モードが 1.4 モードに設定されているかどうかを確認してください。

KDJE49680-I

The connection pool status has been modified. (resource name = aa....aa, previous status = bb....bb, modified status = cc....cc)

aa....aa：リソースの表示名

bb....bb：修正前のコネクションプールの状態

cc....cc：修正後のコネクションプールの状態

説明

コネクションプールの再開中または一時停止中に J2EE サーバが強制停止されましたので，コネクションプールの状態が自動一時停止状態または手動一時停止状態に修正されました。

KDJE49681-E

The cjresumepool command failed because the connection pool warm up failed. (resource name = aa....aa)

aa....aa：リソースの表示名

説明

コネクションプール手動再開処理に失敗しました。

対処

データベースサーバを復旧させてから，cjresumepool コマンドを実行してください。

KDJE49682-W

The value of aa....aa property is invalid. The default value will be used. (default = bb....bb)

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：デフォルト値

説明

キー（aa....aa）の値が不正なため，デフォルト値 bb....bb を適用します。

対処

キー（aa....aa）に有効範囲内の値を指定してください。

7.4　KDJE50000 から KDJE54099 までのメッセージ

KDJE50000 から KDJE54099 までのメッセージについて説明します。

KDJE50000-E

An internal error occurred.aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

内部エラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを確認して，保守員に連絡してください。

KDJE50001-E

Caught an exception.

説明

例外をキャッチしました。

対処

例外を確認してください。

KDJE50002-E

Throw an exception.

説明

例外をスローしました。

対処

例外を確認してください。

KDJE50003-I

A connection was returned to the user.

説明

DataSource.getConnection メソッドで，コネクションがユーザに返されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50004-I

A connection was closed.

説明

コネクションがクローズされました。コネクションがクローズされるタイミングには，ユーザが Connection.close メソッドを発行した場合と，トランザクションタイムアウトの発生などによって J2EE サーバによって自動的にクローズされる場合があります。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50005-I

A local transaction was begun.

説明

J2EE サーバによって，ローカルトランザクションが開始されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50006-I

A local transaction was committed.

説明

J2EE サーバによって，ローカルトランザクションがコミットされました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50007-I

A local transaction was rolled back.

説明

J2EE サーバによって，ローカルトランザクションがロールバックされました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50008-I

A managed connection was created.

説明

J2EE サーバによって，マネージドコネクションが生成されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50009-I

A managed connection was cleaned up.

説明

J2EE サーバによって，マネージドコネクションがクリーンアップされました。

クリーンアップによって，マネージドコネクションから生成されたコネクションはクローズされます。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50010-I

A managed connection was destroyed.

説明

J2EE サーバによって，マネージドコネクションが破棄されました。

マネージドコネクションの破棄は，マネージドコネクションのクリーンアップを伴います。また，リレーショナルデータベースシステムへの物理コネクションが切断されます。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50011-E

This user handle has been already closed.

説明

ユーザハンドル（コネクション）はすでにクローズされています。

すでにクローズされたコネクションのメソッドを呼び出した場合に，このメッセージが出力されます。

対処

次の内容を確認してください。

- すでにクローズしたコネクションのメソッドを呼んでいないかどうか。
- トランザクションタイムアウトが発生していないかどうか。
- J2EE サーバの自動クローズ機能によってコネクションがクローズされていないかどうか。

KDJE50012-E

The transaction status of this managed connection is invalid.

説明

マネージドコネクションでのトランザクションの状態が不正です。

対処

次の内容を確認してください。

- UserTransaction.begin メソッドで JTA トランザクションを開始しているとき，または，EJB のトランザクション属性でトランザクションが開始されているときに，Connection クラスの setAutoCommit メソッド，commit メソッド，rollback メソッドを呼び出していないかどうか。
- Connection クラスの setAutoCommit(false)メソッドを呼び, 自動コミットを無効にしているときに，UserTransaction.begin メソッドまたは EJB のトランザクション属性によってトランザクションを開始しようとしていないかどうか。

KDJE50013-E

Re-authentication is not supported.

説明

再認証はサポートされていません。

対処

Connector 属性ファイルの<reauthentication-support>タグに true が指定されていないことを確認してください。

KDJE50014-E

Cannot get an XAResource from a non XA connection.

説明

XA をサポートしていないコネクションから XAResource を得ることはできません。

対処

Connector 属性ファイルの<transaction-support>タグに XATransaction が指定されていないことを確認してください。

KDJE50015-E

Failed to get an XAResource from the XAConnection.

説明

JDBC ドライバの XAConnection.getXAResource メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50016-E

Failed to close the connection handle.

説明

JDBC ドライバの Connection.close メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50017-E

Failed to close the physical connection.

説明

物理コネクションのクローズに失敗しました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50018-E

Failed to get a connection.

説明

JDBC ドライバの PooledConnection.getConnection メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50019-E

The user name and the password wasn't specified.

説明

ユーザ名とパスワードが指定されていません。

EJB や Servlet の DD でのリソースの参照定義で，<res-auth>タグに「Application」を指定している場合，DataSource.getConnection メソッドを引数なしで呼ぶと，このメッセージが出力されます。

対処

<res-auth>タグに「Container」を指定するか，DataSource.getConnection メソッドの引数でユーザ名とパスワードを指定してください。

KDJE50020-E

Failed to get a physical connection.

説明

JDBC ドライバから物理コネクションを得られませんでした。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50021-E

Cannot find the driver class.

説明

JDBC ドライバのクラスが見つかりません。

対処

JDBC ドライバのクラスがクラスパスに含まれていることを確認してください。

KDJE50022-E

Failed to set a property to the driver. driverObject=aa....aa, setterMethodName=bb....bb, propertyValue=cc....cc, cause=dd....dd

aa....aa：JDBC ドライバのオブジェクト

bb....bb：プロパティの set メソッド

cc....cc：設定する値

dd....dd：発生した例外

説明

JDBC ドライバへプロパティを設定できませんでした。

対処

次の点を確認してください。

- 各プロパティ値のタイプが間違って設定されていないかどうか。
- JDBC ドライバ側で例外が発生していないかどうか，JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50023-E

Failed to begin a local transaction.

説明

JDBC ドライバの Connection.setAutoCommit(false)メソッドで SQLException をキャッチして，ローカルトランザクションの開始に失敗しました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50024-E

Failed to commit a local transaction.

説明

JDBC ドライバの Connection.commit メソッドまたは Connection.setAutoCommit(true)メソッドで SQLException をキャッチして，ローカルトランザクションのコミットに失敗しました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50025-E

Failed to rollback a local transaction.

説明

JDBC ドライバの Connection.rollback メソッドまたは Connection.setAutoCommit(true)メソッドで SQLException をキャッチして，ローカルトランザクションのロールバックに失敗しました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50026-E

Failed to get the EIS product name.

説明

JDBC ドライバの DatabaseMetaData.getDatabaseProductName メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50027-E

Failed to get the EIS product version.

説明

JDBC ドライバの DatabaseMetaData.getDatabaseProductVersion メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50028-E

Failed to get the maximum number of connections.

説明

JDBC ドライバの DatabaseMetaData.getMaxConnections メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50029-E

Failed to get the user name.

説明

JDBC ドライバの DatabaseMetaData.getUserName メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50030-E

Failed to get a DatabaseMetaData from the connection handle.

説明

JDBC ドライバの Connection.getMetaData メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50031-E

Failed to get the connection handle.

説明

マネージドコネクションからコネクションを得られませんでした。

対処

要因の例外を確認してください。

KDJE50032-E

This Statement has been already closed.

説明

この Statement はすでにクローズされています。

対処

すでにクローズされた Statement のメソッドを呼び出していないかどうかを確認してください。

KDJE50033-E

This PreparedStatement has been already closed.

説明

この PreparedStatement はすでにクローズされています。

対処

すでにクローズされた PreparedStatement のメソッドを呼び出していないかどうかを確認してください。

KDJE50034-E

This CallableStatement has been already closed.

説明

この CallableStatement はすでにクローズされています。

対処

すでにクローズされた CallableStatement のメソッドを呼び出していないかどうかを確認してください。

KDJE50035-E

This ResultSet has been already closed.

説明

この ResultSet はすでにクローズされています。

対処

すでにクローズされた ResultSet のメソッドを呼び出していないかどうかを確認してください。

KDJE50036-E

Physical connection-related error occurred.

説明

JDBC ドライバから物理コネクションに関連するエラー（物理コネクションの切断など）が発生しました。

対処

JDBC ドライバのログやリレーショナルデータベースシステムのログを確認し，物理コネクションに関連するエラーが発生した要因を特定して，対処してください。

KDJE50037-E

This managed connection has been already destroyed.

説明

マネージドコネクション（物理コネクション）がすでに破棄されています。

対処

物理コネクションに関連するエラーが発生していないかどうかを確認してください。物理コネクションに関連するエラーが発生している場合には，それに対処してください。

KDJE50038-E

Failed to change the auto commit mode.

説明

JDBC ドライバの Connection.setAutoCommit メソッドで例外をキャッチして，自動コミットモードの変更に失敗しました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50039-E

Specified log level is invalid.

説明

不正なログレベルが指定されました。

対処

正しいログレベルを指定してください。

KDJE50040-W

A Statement which is not closed is automatically closed when the Connection that generated it is closed.

説明

Connection のクローズ時，クローズされていない Statement オブジェクトをクローズします。

対処

Statement オブジェクトを明示的にクローズするように見直してください。

KDJE50041-E

Invalid PreparedStatementPoolSize is specified. Specify the value in the range of 0 - aa....aa. Default value is used:bb....bb.

aa....aa：PreparedStatement のプールサイズの最大値

bb....bb：PreparedStatement のプールサイズのデフォルト値

説明

不正な PreparedStatement のプールサイズが指定されました。

デフォルト値（bb....bb）を使用します。

対処

正しい PreparedStatement のプールサイズを指定してください。指定できる値は，0～aa....aa の値です。

KDJE50042-E

Invalid CallableStatementPoolSize is specified. Specify the value in the range of 0 - aa....aa. Default value is used : bb....bb.

aa....aa：CallableStatement のプールサイズの最大値

bb....bb：CallableStatement のプールサイズのデフォルト値

説明

不正な CallableStatement のプールサイズが指定されました。

デフォルト値（bb....bb）を使用します。

対処

正しい CallableStatement のプールサイズを指定してください。指定できる値は，0～aa....aa の値です。

KDJE50043-E

The sum of PreparedStatementPoolSize and CallableStatementPoolSize should be aa....aa or less. Default value is used: PreparedStatementPoolSize=bb....bb, CallableStatementPoolSize=cc....cc.

aa....aa：PreparedStatement と CallableStatement のプールサイズの合計の最大値

bb....bb：PreparedStatement のプールサイズのデフォルト値

cc....cc：CallableStatement のプールサイズのデフォルト値

説明

PreparedStatement と CallableStatement のプールサイズの合計値は aa....aa 以下になるようにしてください。

PreparedStatement のプールサイズは，デフォルト値 bb....bb を使用します。CallableStatement のプールサイズは，デフォルト値 cc....cc を使用します。

対処

PreparedStatementPoolSize と CallableStatementPoolSize の合計が最大値以下になるように指定してください。

KDJE50044-I

A statement was added to the statement pool.

説明

ステートメントがステートメントプールに追加されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50045-I

A statement was removed from the statement pool.

説明

ステートメントがステートメントプールから破棄されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50046-I

A statement was returned from the statement pool.

説明

ステートメントがステートメントプールから取得されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50047-I

A statement was returned to the statement pool.

説明

ステートメントがステートメントプールに戻されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50048-I

A work on behalf of the transaction branch was started.

説明

トランザクションブランチの処理が開始されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50049-I

A work on behalf of the transaction branch was ended.

説明

トランザクションブランチの処理が終了されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50050-I

A work on behalf of the transaction branch was prepared to commit.

説明

トランザクションブランチ処理のコミット準備が完了しました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50051-I

A work on behalf of the transaction branch was committed.

説明

トランザクションブランチの処理がコミットされました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50052-I

A work on behalf of the transaction branch was rolled back.

説明

トランザクションブランチの処理がロールバックされました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50053-I

A list of prepared transaction branch was obtained.

説明

コミット準備が完了したトランザクションブランチのリストが取得されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50054-I

A heuristically completed transaction branch was forgotten.

説明

ヒューリスティックに決着されたトランザクションブランチを無視するように通知されました。

対処

対処の必要はありません。

KDJE50055-E

Failed to validate a physical connection.

説明

物理コネクションの接続確認に失敗しました。

データベースへの接続に障害が発生しています。

対処

このメッセージの直前に同一スレッドで出力された例外ログ「KDJE50001-E」のメッセージを確認して，接続障害の要因を解消してください。

KDJE50056-E

Failed to clear warnings reported for the connection handle.

説明

JDBC ドライバの Connection.clearWarnings メソッドで SQLException をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50057-E

Failed to destroy the statement pool.

説明

ステートメントプールを破棄するときに例外をキャッチしました。

対処

JDBC ドライバのログを確認してください。

KDJE50058-E

Failed to validate a physical connection because an invalid transaction support level is specified.

説明

不正なトランザクションサポートレベルが指定されたため，接続確認に失敗しました。

対処

インポートした RAR で使用できるトランザクションサポートレベルを指定してください。

KDJE50059-W

Cannot find a setter method on the driver.driverObject=aa....aa, propertyKey=bb....bb, propertyValue=cc....cc

aa....aa：JDBC ドライバのオブジェクト

bb....bb：プロパティ名

cc....cc：設定する値

説明

JDBC ドライバに setter メソッドが見つかりませんでした。

対処

JDBC ドライバのバージョンを確認してください。

KDJE50060-W

The statement pooling is not supported in this database.

説明

このデータベースのバージョンでは，指定されたトランザクションサポートレベルでのステートメントプーリング機能はサポートされません。

PreparedStatementPoolSize と CallableStatementPoolSize は「0」を指定したものとして動作します。

対処

接続先のリレーショナルデータベースシステムのバージョンで，指定されたトランザクションサポートレベルのトランザクション間で，ステートメントがオープンされたままの状態がサポートされるかどうかを確認してください。また，ステートメントプーリング機能を使用しない場合には，PreparedStatementPoolSize と CallableStatementPoolSize に「0」を指定してください。

KDJE50061-W

An user name and a password specified on the getConnection() method is ignored.

説明

getConnection()メソッドに指定されたユーザ名とパスワードは無視され，コンテナ管理によるサインオンが行われます。EJB や Servlet の Deployment Descriptor でのリソースの参照定義で，<res-auth>タグに Container を指定している場合に，DataSource.getConnection(String user, String password)を呼ぶと，このメッセージを出力します。

対処

コンポーネント管理によるサインオンを行う場合は，EJB や Servlet の Deployment Descriptor でのリソースの参照定義で，<res-auth>タグに Application を指定してください。コンテナ管理によるサインオンを行う場合は，引数なしの DataSource.getConnection()を使用してください。

KDJE50063-I

A JDBC transaction was automatically committed.

説明

J2EE サーバによって，JDBC トランザクションがコミットされました。

対処

JDBC トランザクションを決着しないでコネクションをクローズしていないかを確認してください。

自動コミットモードを無効に設定して，ユーザプログラムが JDBC トランザクションを管理する場合には，トランザクションを決着してからコネクションをクローズしてください。

KDJE50064-I

The statement will now be canceled. (statement = aa....aa)

aa....aa：キャンセルするステートメント

説明

ステートメントをキャンセルします。

対処

しばらく待ってもキャンセルが終了しない場合は，JDBC ドライバのログやリレーショナルデータベースシステムのログを確認してください。

KDJE50065-I

The statement was canceled. (statement = aa....aa)

aa....aa：キャンセルするステートメント

説明

ステートメントをキャンセルしました。

KDJE50066-I

A JDBC transaction was automatically rolled back.

説明

J2EE サーバによって，JDBC トランザクションがロールバックされました。

対処

ユーザプログラムで，JDBC トランザクションをすべて決着していることを確認してください。自動コミットモードを無効に設定して，ユーザプログラムが JDBC トランザクションを管理する場合には，ユーザプログラムの責任でトランザクションを決着する必要があります。

KDJE50067-E

An attempt to cancel the statement has failed. (statement = aa....aa)

aa....aa：キャンセルするステートメント

説明

ステートメントのキャンセルに失敗しました。

対処

ステートメントがすでにクローズしてないかどうかを確認してください。

KDJE50068-E

Processing cannot continue because an application is being forced to stop.

説明

アプリケーションは強制停止中のため，処理を継続できません。

対処

アプリケーションが強制停止中でないかどうかを確認してください。

KDJE50069-E

Cannot find the constant field on JDBC driver class.

説明

JDBC ドライバ上の定数フィールドが見つかりませんでした。

対処

正しいバージョンの JDBC ドライバがクラスパスに追加されているかどうかを確認してください。

KDJE50070-I

Connection ID was renewed. (old Connection ID = aa....aa, new Connection ID = bb....bb)

aa....aa：更新前のコネクション ID

bb....bb：更新後のコネクション ID

説明

コネクション ID を更新しました。

KDJE50071-W

Failed to create ConnectionID.

説明

コネクション ID の生成に失敗しました。

対処

接続ユーザに動的パフォーマンスビューに対する参照権が与えられているかどうかを確認してください。なお，DABroker Library を使用している場合，このメッセージの前に，「KDJE50001-E」のメッセージが出力されます。

KDJE50072-E

The linked resource adapter has not started. (linked resource adapter = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：連携先リソースアダプタ名

bb....bb：原因

説明

連携先リソースアダプタが開始していません。

対処

連携先リソースアダプタを開始してください。開始しない場合には，原因（bb....bb）を確認してください。

KDJE50073-E

The linked resource adapter is not Cosminexus Reliable Messaging. (linked resource adapter = aa....aa)

aa....aa：連携先リソースアダプタ名

説明

連携先リソースアダプタが Reliable Messaging ではありません。

対処

DB Connector for Reliable Messaging での連携先リソースアダプタには Reliable Messaging を指定してください。

KDJE50074-E

A connection could not be obtained. (cause = aa....aa)

aa....aa：原因

説明

コネクションは取得できませんでした。

対処

原因（aa....aa）を確認してください。

KDJE50075-E

This method of the connection interface is not supported. (method name = aa....aa)

aa....aa：メソッド名

説明

コネクションインターフェイスのこのメソッドはサポートされていません。

対処

DB Connector for Reliable Messaging 利用時には，JDBC で直接トランザクションを操作するメソッドは使用しないでください。JDBC で直接トランザクションを操作する場合には，DB Connector を使用してください。

KDJE50076-E

An attempt to close the connection has failed. (cause = aa....aa)

aa....aa：原因

説明

コネクションのクローズに失敗しました。

対処

原因（aa....aa）を確認してください。

KDJE50077-E

Disabling the auto-commit mode is not supported.

説明

自動コミットモードを無効にすることはサポートされていません。

対処

DB Connector for Reliable Messaging 利用時には，JDBC で直接トランザクションを操作するメソッドは使用しないでください。JDBC で直接トランザクションを操作する場合には，DB Connector を使用してください。

KDJE50078-W

You can connect to HiRDB only. Set the property databaseName to HIRDB.

説明

HiRDB 以外には接続できません。プロパティ databaseName を HIRDB に設定します。

対処

接続するデータベースの種別の設定を確認してください。Oracle 接続を行いたい場合には，Oracle Thin ドライバ用の DB Connector for Reliable Messaging を使用してください。

KDJE50079-W

The default value will be used for the loginTimeout property. (default value for loginTimeout = aa....aa)

aa....aa：デフォルトの loginTimeout プロパティの値

説明

loginTimeout プロパティに 0 以下の値が指定されていたので，デフォルト値を使用します。

対処

メンバリソースアダプタで Oracle JDBC Thin Driver を使用する場合には，loginTimeout プロパティに 1 以上の値を指定してください。

KDJE50080-W

A transaction timeout, a forced termination of an application, or a method cancellation occurred. The last executed SQL will be displayed. (RootAP = aa....aa, connection ID = bb....bb, method name = cc....cc, now executing = dd....dd, SQL = ee....ee)

aa....aa：IP アドレス/プロセス ID/ルートアプリケーション情報

bb....bb：SQL を実行したコネクションのコネクション ID

cc....cc：SQL を実行したメソッド名

dd....dd：SQL を実行したメソッドが実行中かどうか（true または false）

ee....ee：最後に実行された SQL

説明

トランザクションタイムアウト，アプリケーション強制停止またはメソッドキャンセルが発生しました。最後に実行された SQL を表示します。

対処

出力された SQL の情報とアプリケーション情報を参考にして，問題を解決してください。

アプリケーション情報については，このメッセージのルートアプリケーション情報と同じ情報を持つトランザクションタイムアウトのメッセージ（「KDJE31002-W」，「KDJE31016-W」），またはメソッドキャンセルのメッセージ（「KDJE52703-W」，「KDJE52704-I」，「KDJE52705-W」）の内容を参照してください。

KDJE50083-W

An invalid property is specified. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ値が不正です。デフォルト値を使用します。

対処

aa....aa のプロパティをデフォルト値から変更する場合は，aa....aa のプロパティ値を修正して，J2EE サーバを停止および再起動してください。

KDJE50084-W

Acquisition of statement information failed. When a statement is stored in a pool, it can no longer be initialized. (statement = aa....aa, info = bb....bb, cause = cc....cc)

aa....aa：ステートメント

bb....bb：初期化できない情報

cc....cc：初期化するための値が取得できなかった原因

説明

ステートメントの情報の初期値を参照できません。ステートメントオブジェクトをステートメントプールに格納する際に，ステートメントの情報を初期値に戻すことができません。

なお，該当するステートメントオブジェクトをステートメントプールから取得した場合，変更されたステートメントの情報が残っています。

対処

初期化するための値が取得できなかった原因を解決して，J2EE サーバを停止および再起動してください。ステートメントの情報を初期化できなくても問題ない場合は，対処は不要です。

KDJE50085-I

A Statement object error occurred with the JDBC driver.

説明

JDBC ドライバで Statement に関連するエラーが発生しました。使用していたステートメントをクローズし，プールから破棄します。

KDJE50500-E

An error occurred in the web container connection pool function. (error details = aa....aa:bb....bb)

aa....aa：例外クラス

bb....bb：例外メッセージ

説明

コネクションプール機能でエラーが発生しました。

このメッセージは，何らかの例外が発生した場合に出力されます。

対処

エラー内容に合わせて対処してください。

KDJE50501-E

The number of users connected to a database exceeded the specified limit. The set number of users is aa....aa.

aa....aa：設定された最大ユーザ数

説明

接続可能ユーザ数を超えました。

対処

接続可能ユーザ数を増やしてください。

KDJE50502-E

An attempt to establish a connection has failed. (RetryInterval = aa....aa, RetryCount = bb....bb)

aa....aa：リトライ待ち時間

bb....bb：リトライ回数

説明

コネクションを取得できませんでした。

対処

待ち時間，リトライ回数を変更して再度実行してください。

KDJE50505-E

No database ID is specified in the pool management information.

説明

プール管理情報にデータベース ID が設定されていません。

対処

プール管理情報にデータベース ID を設定してください。

KDJE50506-E

The old database ID is not specified.

説明

変更元の旧データベース ID が設定されていません。

対処

変更元の旧データベース ID を設定してください。

KDJE50507-E

The new database ID is not specified.

説明

変更後の新データベース ID が設定されていません。

対処

変更後の新データベース ID を設定してください。

KDJE50508-E

You cannot specify the old database ID as the new database ID.

説明

変更元の旧データベース ID と，変更後の新データベース ID に同じ名称は指定できません。

対処

変更元の旧データベース ID，または変更後の新データベース ID のどちらかを変更してください。

KDJE50509-E

An attempt to get the pool management information corresponding to the database ID has failed. (database ID = aa....aa)

aa....aa：データベース ID

説明

データベース ID（aa....aa）に該当するプール管理情報を取得できませんでした。

対処

データベース ID を変更して再度実行してください。

KDJE50510-E

No pool management information is registered.

説明

プール管理情報が登録されていません。

対処

プール管理情報を登録してください。

KDJE50511-E

The same database ID already exists in the pool management information. (database ID = aa....aa)

aa....aa：データベース ID

説明

指定されたデータベース ID（aa....aa）はすでに存在します。

対処

データベース ID を変更してください。

KDJE50512-E

The database ID contains invalid characters.

説明

データベース ID に使用されている文字が不正です。

対処

データベース ID に使用している文字を変更してください。

KDJE50513-E

No database ID is specified.

説明

データベース ID が設定されていません。

対処

データベース ID を設定してください。

KDJE50514-E

No class name is specified. Specify the class name and URL as a pair.

説明

クラス名が設定されていません。URL を指定するときは，必ずクラス名を指定してください。

対処

クラス名を設定してください。

KDJE50515-E

No URL is specified. Specify the URL and class name as a pair.

説明

URL が設定されていません。

クラス名を指定するときは，必ず URL を指定してください。

対処

URL を設定してください。

KDJE50516-E

An invalid number is specified as the number of users in the pool management information. The value should be more than zero integers.

説明

ユーザ数の設定に誤りがあります。

対処

ユーザ数を 0 以上に設定してください。

KDJE50517-E

An invalid number is specified as the minimum connections value in the pool management information. The value should be more than zero integers.

説明

コネクション最小値の設定に誤りがあります。

対処

コネクション最小値を 0 以上に設定してください。

KDJE50518-E

An invalid number is specified as the maximum connections value in the pool management information. The value should be more than zero integers.

説明

コネクション最大値の設定に誤りがあります。

対処

コネクション最大値を 0 以上に設定してください。

KDJE50519-E

An invalid number is specified as the waiting time in the pool management information. The value should be more than zero integers.

説明

リトライ待ち時間の設定に誤りがあります。

対処

リトライ待ち時間を 0 以上に設定してください。

KDJE50520-E

An invalid number is specified as the number of retry times in the pool management information. The value should be more than zero integers.

説明

リトライ回数の設定に誤りがあります。

対処

リトライ回数を 0 以上に設定してください。

KDJE50521-E

The maximum connections value should be more than the minimum connections value.

説明

コネクション最大値とコネクション最小値の関係に誤りがあります。

対処

コネクション最大値に 1 以上を設定した場合は，コネクション最大値をコネクション最小値以上にしてください。

KDJE50522-E

No class name or URL is specified.

説明

クラス名，または URL が設定されていません。

対処

クラス名を設定する場合は，必ず URL を設定してください。

KDJE50523-E

An attempt to register pool management information has failed.

説明

プール管理情報の登録に失敗しました。

対処

プール管理情報を見直して，再度実行してください。

KDJE50524-E

The connection is closed.

説明

コネクションを閉じています。

対処

再度コネクションを取得してください。

KDJE51001-W

The directory name specified for the ejbserver.client.log.directory exceeds 200 bytes. The default value aa....aa will be used.

aa....aa：デフォルトディレクトリ名

説明

ejbserver.client.log.directory キーに指定されたディレクトリ名の長さが 200 バイトを超えています。
デフォルト値（aa....aa）を使用します。

対処

ejbserver.client.log.directory キーの値を見直してください。

KDJE51002-W

The specified value is invalid. The default value aa....aa will be used. property name = bb....bb

aa....aa：デフォルト値
bb....bb：プロパティ名

説明

無効な値がプロパティに指定されました。
デフォルト値（aa....aa）を使用します。

対処

プロパティ（bb....bb）の指定値を見直してください。

KDJE51003-E

The directory aa....aa cannot be accessed. Processing will now stop.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（aa....aa）にアクセスできません。
処理を中断します。

次の要因が考えられます。

- ディレクトリにアクセス権がない。
- ejbserver.client.log.directory キーにファイル名が指定されている。
- Java アプリケーションを初回起動時に複数同時に起動したため，ログディレクトリの生成に失敗した。

対処

- ディレクトリのアクセス権を確認してください。
- ejbserver.client.log.directory キーにファイル名が指定されていないかどうかを確認してください。
- Java アプリケーションの初回起動時には複数同時に起動しないようにするか，あらかじめログ出力先ディレクトリを作成してください。

KDJE51004-W

The default directory was not found. The EJB client application execution directory aa....aa will be used.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ejbserver.client.log.directory にデフォルトディレクトリを使用しようとしましたが，デフォルトディレクトリが見つかりませんでした。

EJB クライアントアプリケーション実行ディレクトリ（aa....aa）を使用します。

対処

Developer's Kit for Java を使用しているかどうかを確認してください。

KDJE51005-W

An attempt to delete the directory aa....aa has failed.

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（aa....aa）の削除に失敗しました。処理を続行します。

対処

削除対象のディレクトリやファイルに，アクセスしていないかどうかを確認してください。

また，このメッセージは，EJB クライアントアプリケーションを同時に起動した場合に，出力されることがあります。EJB クライアントアプリケーションの動作には問題ありませんが，サブディレクトリ数が ejbserver.client.log.directorynum キーに指定した値を超えている場合があります。このメッセージが頻繁に出力されるときは，ejbserver.client.log.directorynum キーの値を「0」にし，cjcldellog コマンドを使用してサブディレクトリを管理してください。

KDJE51006-I

Usage: cjcldellog -t <time>h | <days>d [-f] directoryname

説明

cjcldellog コマンドの使用方法です。

KDJE51007-E

The specified directory is incorrect.

説明

指定されたディレクトリが正しくありません。

対処

指定したディレクトリを見直してください。

KDJE51008-W

The performance trace is unavailable due to failure of initialization. (reason = aa....aa)

aa....aa：理由

説明

PRF トレースの初期化に失敗しました。PRF トレースは使用できません。

対処

aa....aa に示される理由に従って，対処してください。aa....aa に示される理由と対処を次の表に示します。

表 7-6　KDJE51008-W に示される理由一覧

理由	説明	対処
-1	環境変数「PRFSPOOL」が設定されていません。または，環境変数「PRFSPOOL」に設定したディレクトリが存在しません。	環境変数「PRFSPOOL」が設定されているか，またはディレクトリが存在するかどうかを確認してください。
-2	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理で，エラーが発生しました。	PRF デーモンが起動していない可能性があります。 PRF デーモンが起動しているかどうかを確認してください。また，定義ファイルの「PRFID」の指定を確認してください。
-3	プロセスでの PRF デーモンのサービス開始処理で，エラーが発生しました（システムコールのエラーなど）。	<環境変数 PRFSPOOL の設定ディレクトリ>¥log¥<PRF 識別子>（Windows の場合）または$PRFSPOOL/log/<PRF 識別子>（UNIX の場合）の下にあるファイルを参照して，Performance Tracer のメッセージを調査し，エラーの要因を確認してから対処してください。
-4	PRF デーモンのサービスで必要なライブラリのロードに失敗しました。	次のエラーの要因が考えられます。 • Performance Tracer がインストールされていない。 • クラスパスに PRF トレース出力ライブラリが指定されていない。 • 環境変数に誤りがある。 エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KDJE51009-E

The specified value for the aa....aa option is invalid.

aa....aa：オプション名

説明

オプションの指定値に誤りがあります。

対処

マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編」を参照してください。

KDJE51010-E

Failed to initialize ORB. Check the ORB version and setting.

説明

ORB の初期化に失敗しました。ORB のバージョンまたは設定に誤りがあります。

対処

ORB のバージョンとプログラム起動時に指定しているプロパティを確認してください。

KDJE51011-E

Failed to initialize client during aa....aa. Detail = bb....bb

aa....aa：実行中の処理

bb....bb：詳細情報

説明

クライアント機能の初期化処理に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかどうかを確認し，出力されている場合は対処してください。要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE51012-I

Usage: cjclstartap EJBClientMainClassName [[EJBClientArgs] ...]

説明

cjclstartap の使用方法です。

KDJE51013-E

The common definition file was not found.

説明

共通定義ファイルが見つかりませんでした。

対処

システムが正しくセットアップされているかどうかを確認してください。

UNIX の場合, Component Container のインストールディレクトリが正しいかどうかを確認してください。

KDJE51014-E

The user definition file was not found.

説明

ユーザ定義ファイル（usrconf.cfg，usrconf.properties）が見つかりませんでした。

対処

ユーザ定義ファイル格納ディレクトリの環境変数「CJCLUSRCONFDIR」が設定されているかどうかを確認してください。

上記環境変数が設定されている場合，設定パスにユーザオプション定義ファイル（usrconf.cfg）とユーザプロパティファイル（usrconf.properties）が存在するかどうかを確認してください。

KDJE51015-E

The main method was not found.

説明

EJB クライアント実行時にエラーが発生しました。

対処

指定メインクラスに main メソッドを実装してください。

KDJE51016-E

An exception occurred in the main method. (exception message = aa....aa)

aa....aa：例外種別

説明

メインメソッドで例外（aa....aa）が発生しました。

対処

例外メッセージ（aa....aa）を参照してメインメソッドの例外を取り除いてください。

KDJE51017-E

The command was not found. Command name = aa....aa

aa....aa：見つからなかったコマンド名

説明

コマンドが見つかりませんでした。

対処

java コマンドが見つからなかった場合は，Developer's Kit for Java がインストールされているかどうかを確認してください。

KDJE51018-I

The cjclstartap command will now start. (directory for the user definition file = aa....aa, cjclstartap PID = bb....bb, EJB client PID = cc....cc)

aa....aa：ユーザ定義ファイル格納先環境変数設定値

bb....bb：cjclstartap のプロセス ID

cc....cc：EJB クライアントのプロセス ID

説明

aa....aa ディレクトリのユーザ定義を用いて cjclstartap コマンドを開始します。

KDJE51019-I

The cjclstartap command was stopped. (cjclstartap PID = aa....aa, EJB client PID = bb....bb)

aa....aa：cjclstartap のプロセス ID

bb....bb：EJB クライアントのプロセス ID

説明

cjclstartap コマンドを停止しました。

KDJE51500-E

The SMTP connection test failure to aa....aa in bb....bb.

aa....aa：SMTP サーバのアドレス

bb....bb：メールの表示名

説明

aa....aa に設定されている SMTP サーバ bb....bb への接続テストに失敗しました。

メールの設定に問題がある可能性があります。

対処

メールの設定を見直してください。メールの設定に問題がない場合，ネットワークの環境設定を見直してください。

KDJE51600-W

An Invalid property value is specified. aa....aa=bb....bb Default value cc....cc is used.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティ値（bb....bb）が不正です。デフォルト値（cc....cc）を使用します。

対処

プロパティに正しい値を指定してください。

KDJE51700-W

A property value is invalid. The default value will be used. (key = aa....aa, value = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：設定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティファイルから不正な値を取得したため，デフォルト値を使います。

要因としては，次のことが考えられます。

- プロパティに不正な値が設定された
- 有効範囲外の値が設定された

対処

usrconf.properties ファイルの内容を確認し，エラーになったプロパティ値を修正してください。

KDJE51701-W

An attempt to set the timeout value has failed. (timeout = aa....aa)

aa....aa：設定されているタイムアウト値

説明

タイムアウト値の設定に失敗しました。

タイムアウト値（aa....aa）は，設定されている値を取得できなかった場合，"-" を出力します。

処理を続行します。

対処

保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE51702-E

An attempt to create the RMI server socket has failed. The specified port number might already be in use. (port = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：ポート番号

bb....bb：詳細情報

説明

RMI サーバソケットの生成に失敗しました。指定したポート番号はすでに使用されている可能性があります。

対処

プロパティ ejbserver.rmi.remote.listener.port の指定値を見直してください。

KDJE51703-E

An attempt to create the RMI client socket has failed. An incorrect host name or incorrect port number might be specified. (host = aa....aa, port = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：ホスト名

bb....bb：ポート番号

cc....cc：詳細情報

説明

RMI クライアントソケットの生成に失敗しました。不正なホスト名またはポート番号を指定していました。

対処

プロパティ ejbserver.rmi.naming.host, またはプロパティ ejbserver.rmi.remote.listener.port の指定値を見直してください。

KDJE52100-E

Unexpected error occurred during deploying web application. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

Web アプリケーションのデプロイ処理中に，予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE52101-E

Unexpected error occurred during starting web application. Detail = aa....aa.

aa....aa：詳細情報

説明

Web アプリケーションのスタート処理中に，予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE52102-E

Cannot find working file necessary to start web application.

説明

Web アプリケーションのスタート処理に必要な作業ファイルが見つかりません。

Web アプリケーションのスタート処理に必要なファイルが削除された可能性があります。

対処

J2EE アプリケーションの開始処理をし直してください。

KDJE52103-I

Created Context:aa....aa

aa....aa：生成したコンテキスト名

説明

コンテキスト aa....aa を生成しました。

KDJE52104-E

An attempt to blockade the Web application has failed.

説明

Web アプリケーションの閉塞に失敗しました。

対処

J2EE サーバを再起動し，J2EE アプリケーションを再度開始してください。

KDJE52700-W

Necessary user program monitoring information does not exist.

説明

必要なユーザプログラム監視情報がありません。

監視開始 API を呼び出さないで，監視終了 API を呼び出していることが考えられます。

対処

監視開始 API を呼び出さないで，監視終了 API を呼び出していないかを確認してください。

KDJE52701-W

Unnecessary user program monitoring information exists.

説明

不要なユーザプログラム監視情報があります。

監視開始 API を呼び出したが，監視終了 API を呼び出していないことが考えられます。

対処

監視終了 API を呼び出しているかどうかを確認してください。

KDJE52702-W

The thread state is invalid.Recover manually.(threadID = aa....aa, state = bb....bb)

aa....aa：スレッド ID

bb....bb：スレッドの状態

説明

スレッドの状態が不正です。

対処

スレッドの状態が failed の場合

必要に応じて，次のどれかを実行してください。

- コマンドによるメソッドキャンセル
- アプリケーションの強制停止
- サーバの強制停止

最も確実な対処は，サーバの強制停止です。コマンドによるメソッドキャンセルやアプリケーションの強制停止を実行した場合は，再度失敗する可能性があります。

スレッドの状態が stopped の場合

サーバを強制停止してください。

KDJE52703-W

A timeout occurred while the user program was executing. (threadID = aa....aa, rootAPInfo = bb....bb, application = cc....cc, dd....ddee....ee)

aa....aa：スレッド ID

bb....bb：ルート AP 情報

cc....cc：アプリケーション名

dd....dd：（contextRoot = <コンテキストルート名>, uri = <URI 名>）または（bean = <Bean 名>, method = <メソッド名>）

ee....ee： , optMsg = 付加情報

説明

メソッドタイムアウトが発生しました。

対処

必要に応じて，次のどれかを実行してください。

- コマンドによるメソッドキャンセル
- アプリケーションの強制停止
- サーバの強制停止

最も確実な対処は，サーバの強制停止です。コマンドによるメソッドキャンセルやアプリケーションの強制停止を実行した場合は，再度失敗する可能性があります。

KDJE52704-I

The current processing has been successfully canceled. (threadID = aa....aa, rootAPInfo = bb....bb, application = cc....cc, dd....ddee....ee)

aa....aa：スレッド ID

bb....bb：ルート AP 情報

cc....cc：アプリケーション名またはバッチアプリケーションのクラス名

dd....dd：(contextRoot = <コンテキストルート名>, uri = <URI 名>)，(bean = <Bean 名>, method = <メソッド名>）または（arguments = <バッチアプリケーションの引数>）

なお，<バッチアプリケーションの引数>は""で囲んで表示します。複数の場合は，間に半角スペースが入ります。

ee....ee：，optMsg = 付加情報

説明

メソッドキャンセルに成功しました。

KDJE52705-W

An attempt to cancel the current execution failed because a critical section is being executed. (threadID = aa....aa, rootAPInfo = bb....bb, application = cc....cc, dd....ddee....ee)

aa....aa：スレッド ID

bb....bb：ルート AP 情報

cc....cc：アプリケーション名またはバッチアプリケーションのクラス名

dd....dd：(contextRoot = <コンテキストルート名>, uri = <URI 名>)，(bean = <Bean 名>, method = <メソッド名>）または（arguments = <バッチアプリケーションの引数>）

なお，<バッチアプリケーションの引数>は""で囲んで表示します。複数の場合は，間に半角スペースが入ります。

ee....ee：，optMsg = 付加情報

説明

保護区を実行中だったため，メソッドキャンセルに失敗しました。

対処

必要に応じて，次のどれかを実行してください。

- コマンドによるメソッドキャンセル
- アプリケーションの強制停止
- サーバの強制停止

最も確実な対処は，サーバの強制停止です。コマンドによるメソッドキャンセルやアプリケーションの強制停止を実行した場合は，再度失敗する可能性があります。

バッチサーバの場合，自動でサーバの強制停止となるため対処は必要ありません。

KDJE52706-E

The critical section list file is invalid. (aa....aa)

aa....aa：不正なリスト

説明

保護区リストファイルの内容が不正です。

aa....aa に示すリストの内容が間違っています。

対処

リストの内容を訂正後，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE52707-I

The timer for monitoring user program execution times will now start. (interval = aa....aa)

aa....aa：監視インターバル

説明

ユーザプログラム実行時間監視タイマを開始します。

KDJE52708-E

An attempt to read the critical section list file has failed. (aa....aa)

aa....aa：要因

説明

保護区リストファイルが読み込めません。

要因として，次のことが考えられます。

- ファイルが存在しない。
- ファイルを読み込む権限がない。

対処

要因に応じて対処してください。

KDJE52709-W

The timer for monitoring user program execution times has not started.

説明

ユーザプログラム実行時間監視タイマは開始されていません。

対処

API を使用する場合は，監視インターバルに有効な値を設定し，再起動してください。

KDJE52710-W

The current thread is not a target of the function for monitoring user program execution times.

説明

カレントスレッドはユーザプログラム実行時間監視機能の対象ではありません。

監視対象は，J2EE アプリケーションを実行するスレッドだけです。

対処

J2EE アプリケーションを実行するスレッド以外に対して，API を呼び出さないでください。

KDJE52711-I

Execution of a user program cannot be forcibly stopped in a Java(TM) VM. (vendor = aa....aa, version = bb....bb)

aa....aa：使用している JavaVM のベンダ

bb....bb：使用している JavaVM のバージョン

説明

JavaVM（vendor = aa....aa, version = bb....bb）では，ユーザプログラムの実行を強制的に停止できません。

KDJE52712-W

An invalid property value was specified (aa....aa = bb....bb). The default value (cc....cc) will be used.

aa....aa：プロパティ名称

bb....bb：プロパティ値

cc....cc：デフォルト値

説明

不正なプロパティ値が指定されました。デフォルト値（cc....cc）を利用します。

対処

正しい値を指定してください。

KDJE52713-E

An attempt to cancel execution has failed.(threadIDs = aa....aa)

aa....aa：スレッド ID（複数のスレッド ID はコンマ（,）区切りで表示）

説明

実行をキャンセルできませんでした。

対処

再度実行をキャンセルするためには，次のどれかを実行してください。

- コマンドによるメソッドキャンセル
- アプリケーションの強制停止
- サーバの強制停止

最も確実な対処は，サーバの強制停止です。コマンドによるメソッドキャンセルやアプリケーションの強制停止を実行した場合は，再度失敗する可能性があります。

KDJE52714-W

The specified value is invalid. (value = aa....aa)

aa....aa：指定値

説明

不正な値が指定されました。

KDJE52715-E

The number of thread dump files has exceeded the maximum. New thread dump files cannot be created until the existing thread dump files are moved to another directory. (current number of files = aa....aa, maximum number of files = bb....bb)

aa....aa：スレッドダンプのファイル数の現在値

bb....bb：スレッドダンプのファイル数の上限値（設定値）

説明

スレッドダンプのファイル数が上限値に達しました。

スレッドダンプをほかの格納先に退避するまで，新しいスレッドダンプは出力できません。

対処

直ちにスレッドダンプをほかの格納先に退避してください。

KDJE52716-I

The timed-out execution has finished. (thread ID = aa....aa)

aa....aa：スレッド ID

説明

タイムアウトが発生した実行が終了しました。

KDJE52717-I

The forced termination of application aa....aa will now finish. (detail = bb....bb, thread IDs = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：詳細情報

cc....cc：スレッド ID（複数のスレッド ID はコンマ（,）区切りで表示）

説明

アプリケーション aa....aa の強制停止を終了します。

詳細情報（bb....bb）に表示される内容と意味を次に示します。

"1"の場合

アプリケーションの強制停止が，時間切れ（3秒経過）によって終了しました。

"2"の場合

アプリケーションの強制停止に失敗しました。

なお，アプリケーションの強制停止が時間切れになった場合に，スレッド ID（cc....cc）に""（空文字）が出力されることがあります。これは，アプリケーションの強制停止が時間切れになってからこのメッセージが出力されるまでの間に，スレッドでのリクエストの処理が終了したためです。特に問題はありません。

KDJE52718-W

It was judged that a critical section was being executed. (threadID = aa....aa, rootAPInfo = bb....bb, application = cc....cc, dd....ddee....ee, class = ff....ff)

aa....aa：スレッド ID

bb....bb：ルート AP 情報

cc....cc：アプリケーション名またはバッチアプリケーションのクラス名

dd....dd：次のどれかが表示されます。

(contextRoot = <コンテキストルート名>, uri = <URI 名称>)

(bean = <Bean 名称>, method = <メソッド名称>)

(arguments = <バッチアプリケーションの引数>※)

注※

<バッチアプリケーションの引数>は""で囲んで表示されます(複数の場合は, 半角スペース区切りで表示)。

ee....ee： , optMsg = 付加情報

ff....ff：保護区と判定されたクラス

説明

保護区を実行中と判定しました。保護区判定処理をリトライします。

対処

メソッドキャンセルは，非保護区の実行中に行ってください。

KDJE52900-I

Usage: cjtracesync [-h] | [-thr | -comm] [serverName]

説明

cjtracesync コマンドの使用方法です。

KDJE52901-E

The spool directory corresponding to the server name "aa....aa" does not exist.

aa....aa：サーバ名

説明

cjtracesync コマンドで指定されたサーバ名に対応する spool ディレクトリが存在しません。

対処

サーバ名が正しく入力されているかどうかを確認してください。

KDJE52902-E

The trace management file does not exist. (file name = aa....aa)

aa....aa：トレース管理ファイルの絶対パス名

説明

トレース管理ファイル（aa....aa）が存在しません。

対処

指定したサーバが稼働中かどうかを確認してください。

KDJE52903-E

The trace management file "aa....aa" cannot be opened. (file name = aa....aa)

aa....aa：トレース管理ファイルの絶対パス名

説明

トレース管理ファイル（aa....aa）が開けません。

対処

トレース管理ファイルに対するアクセス権があるかどうかを確認してください。

KDJE52904-E

The trace management file "aa....aa" information is incorrect. (file name = aa....aa)

aa....aa：トレース管理ファイルの絶対パス名

説明

トレース管理ファイル（aa....aa）の情報が不正です。

対処

指定したトレースをサーバが取得しているかどうかを確認してください。

KDJE52905-E

The trace file does not exist.

説明

トレースファイルが存在しません。

対処

指定したサーバが稼働中かどうかを確認してください。

KDJE52906-E

The trace file cannot be opened. (file name = aa....aa)

aa....aa：トレースファイルの絶対パス名

説明

トレースファイルが開けません。

対処

トレースファイルに対するアクセス権があるかどうかを確認してください。

KDJE52907-I

The data in memory was written to the trace file "aa....aa".

aa....aa：トレースファイルの絶対パス名

説明

メモリ中のデータをトレースファイル aa....aa に書き込みました。

KDJE52909-W

An invalid property has been specified. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

不正なプロパティ値が設定されています。デフォルト値を使用します。

対処

プロパティ aa....aa の指定値を見直してください。

KDJE52911-W

The format name is invalid. The default format name will be used.(aa....aa = bb....bb , default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

不正なフォーマット名です。デフォルトフォーマット名を使用します。

対処

不正なフォーマット名を使用しているおそれがあります。フォーマット名を見直してください。

KDJE52912-W

The string specified in the property exceeded "dd....dd" characters. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb , default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

dd....dd：指定された文字数

説明

プロパティで指定した文字列が dd....dd 文字を超えています。デフォルト値を使用します（aa....aa = bb....bb，デフォルト値 = cc....cc）。

対処

プロパティ値で指定した文字列がプロパティ値で指定できる最大文字数を超えています。

指定する文字数を減らしてください。

KDJE52913-W

The same format name is already specified in the property. The default value will be used.(aa....aa = bb....bb , default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

プロパティで同じフォーマット名を指定しています。デフォルト値を使用します。

対処

フォーマットリストでフォーマット名を重複して使用しているおそれがあります。重複していないフォーマット名を指定してください。

KDJE52914-W

One of the reserved words "common" or "combined" has been specified. The default value will be used.(aa....aa = bb....bb , default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

予約語である common と combined を指定しています。デフォルト値を使用します。

対処

common と combined は予約フォーマットであるため，フォーマット形式を変更できません。

KDJE52915-W

An invalid format name has been specified. The default value will be used.(aa....aa = bb....bb , default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

無効なフォーマット名を指定しています。デフォルト値を使用します。

対処

フォーマット名として指定できる文字を指定してください。

KDJE52916-W

The format form exceeded 1024 characters. The default value will be used.(aa....aa = bb....bb , default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

フォーマット形式が 1,024 文字を超えています。デフォルト値を使用します。

対処

プロパティの値で指定する文字数を減らしてください。

KDJE52917-W

An undefined format name has been specified. The default value will be used.(aa....aa = bb....bb , default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティの値

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

定義されていないフォーマット名を指定しています。デフォルト値を使用します。

対処

フォーマットリストに bb....bb が指定してあるかどうかを確認してください。

KDJE52918-W

The undefined format argument "aa....aa" has been specified. The default value will be used.

aa....aa：定義されていないフォーマット

説明

定義されていないフォーマット引数（aa....aa）を指定しています。デフォルトフォーマットを使用します。

対処

定義されているフォーマット引数を指定してください。

KDJE52920-E

An error occurred while writing the message aa....aa to the file bb....bb.

aa....aa：出力しようとしたメッセージの内容

bb....bb：path 名称

説明

ファイル bb....bb へメッセージ（aa....aa）を書き込み中にエラーが発生しました。

要因として次のことが考えられます。

- ディスクの空き容量不足
- ディスク装置の障害

対処

要因に応じて対処してください。

ディスクの空き容量不足

不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先に変更してください。

ディスク装置の障害

システムの管理者へ連絡して，装置を交換してください。

上記の要因に当てはまらないときは，保守員に連絡してください。

KDJE52921-E

The output stream for file "aa....aa" could not be opened.

aa....aa：path 名称

説明

ファイル aa....aa に対して書き込みストリームを開くことができませんでした。

対処

ファイル aa....aa に対して書き込み権限があるかどうかを確認してください。書き込み権限がない場合は書き込み権限を付与してください。

KDJE52922-E

The trace management file cannot be created.

説明

トレース管理ファイルを作成できません。

対処

次の要因が考えられます。

- **ディスクの空き容量不足**

  不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先へ変更してください。

- **ディスク装置の障害**

  ディスク装置が壊れている場合，システムの管理者へ連絡し，装置の交換を行ってください。この要因に当てはまらない場合は，保守員に連絡してください。

- **アクセス権限がない**

  "<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥spool¥<サーバ名>¥"ディレクトリへのアクセス権限を確認してください。

KDJE52923-E

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

説明

管理者特権がないため，コマンドを実行できません。

対処

管理者として実行したコマンドプロンプト上で，再度コマンドを実行してください。

KDJE52924-E

An error occurred while the permissions were being checked

説明

権限の判定中にエラーが発生しました。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。空きメモリを増やしたあと，再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KDJE53400-I

A JSP file was successfully translated. (date = aa....aa, JSP file = bb....bb, java file = cc....cc)

aa....aa：java ファイルの生成日時

（-d:non オプションによって java ファイルを生成しない場合は，jsp ファイルの解析完了時刻）

bb....bb：指定した JSP ファイルの絶対パス

cc....cc：生成した java ファイルの絶対パス

（-d:non オプションによって java ファイルを生成しない場合は，""（空文字））

説明

JSP ファイルの解析に成功しました。

KDJE53401-E

Usage: aa....aa

aa....aa：cjjsp2java コマンドの形式

説明

cjjsp2java コマンドの引数に誤りがあります。使用方法を出力します。

対処

cjjsp2java コマンドの引数を正しく指定して，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

KDJE53402-W

A taglib uri has been specified more than once. (taglib uri = aa....aa, taglib location = bb....bb)

aa....aa：-taglib オプションに指定した uri

bb....bb：-taglib オプションに指定した location

説明

-taglib オプションに指定した uri が重複しています。

対処

-taglib オプションの uri には重複しない値を指定してください。

KDJE53403-E

The specified directory could not be accessed. (directory = aa....aa)

aa....aa：アクセスできないディレクトリ

説明

-d オプション，-root オプションで指定したディレクトリ，またはそのサブディレクトリにアクセスできません。

対処

指定したディレクトリにアクセスできるように設定して，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

KDJE53404-E

The specified JSP file name is incorrect. (JSP file = aa....aa)

aa....aa：指定した JSP ファイル名

説明

JSP ファイル名が不正です。

要因として次のことが考えられます。

- JSP ファイルが存在しない。
- JSP ファイルへのアクセス権限がない。
- 拡張子が小文字の".jsp"ではない。

対処

拡張子が".jsp"のアクセス可能な JSP ファイルを指定して，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

KDJE53405-E

A JAR file could not be accessed. (JAR file = aa....aa)

aa....aa：WEB-INF/lib フォルダ下の JAR ファイル

説明

JAR ファイルにアクセスできません。

対処

JAR ファイルにアクセスできるように設定して，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

KDJE53406-E

The specified classpath is incorrect. (directory = aa....aa)

aa....aa：指定したクラスパス

説明

指定されたクラスパスが不正です。

対処

適切なクラスパスを設定して，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

KDJE53407-E

An unexpected error occurred during an attempt to translate a JSP file. (JSP file = aa....aa, message = bb....bb)

aa....aa：JSP ファイル名

bb....bb：例外のエラーメッセージ

説明

JSP ファイルの解析処理中に予期しない例外が発生しました。

対処

例外のエラーメッセージを参照して，問題がないかを確認してください。

問題がない場合，保守員に連絡してください。

KDJE53408-W

The specified JSP file path is invalid. (JSP file = aa....aa)

aa....aa：JSP ファイル名

説明

指定した JSP ファイルのパスが無効です。

指定した JSP ファイルは，-root オプションで指定したディレクトリ下ではないため，JSP の解析を実行しないで無視します。

対処

-root オプションで指定したディレクトリ下の JSP ファイルを指定してください。

KDJE53409-E

An attempt to create a java file has failed. (java file = aa....aa)

aa....aa：生成しようとした java ファイル名

説明

Java ファイルを生成できません。

対処

Java ファイルが生成できるように設定して，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

KDJE53410-E

The output directory could not be accessed. (directory = aa....aa)

aa....aa：java ファイルの出力先ディレクトリ

説明

Java ファイルの出力先ディレクトリにアクセスできません。

対処

Java ファイルの出力先ディレクトリにアクセスできるように設定して，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

KDJE53411-E

The output directory could not be created. (directory = aa....aa)

aa....aa：java ファイルの出力先ディレクトリ

説明

Java ファイルの出力先ディレクトリを作成できません。

対処

Java ファイルの出力先ディレクトリを作成できない要因を取り除いたあと，再度 cjjsp2java コマンドを実行してください。

出力先ディレクトリを作成できない要因として，次のことが考えられます。

- ディスク容量が不足している。
- 出力先ディレクトリを作成する権限がない。
- 出力先ディレクトリのパス長がシステムの上限を超えている。
- ファイルシステムに障害が発生している。

KDJE53412-E

An attempt to delete a java file generated from the JSP file has failed. (java file = aa....aa)

aa....aa：削除に失敗した java ファイル名

説明

JSP の解析時のエラーによって生成処理を中断した Java ファイルの削除に失敗しました。

対処

ファイルの削除時に発生したエラーの要因を取り除いてください。

要因として，次のことが考えられます。

- ファイルを削除する権限がない。
- ファイルをオープンしている。

KDJE53413-E

The web application directory specified in the -root option was not found. (directory = aa....aa)

aa....aa：指定されたディレクトリの絶対パス

説明

-root オプションで指定された Web アプリケーションのルートディレクトリが存在しない，またはアクセス権限がありません。

対処

指定したディレクトリにアクセスできない問題を取り除いたあと，再度 cjjspc コマンドを実行してください。エラーの要因として次の要因が考えられます。

- 存在しないディレクトリを指定した。
- ディレクトリの読み込み権限がない。
- ファイルを指定した。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE53414-E

An attempt to read the excluded files from compilation listed file has failed. (file = aa....aa)

aa....aa：指定されたコンパイル対象外リストファイルの絶対パス

説明

コンパイル対象外リストファイルの読み込みに失敗しました。

対処

コンパイル対象外リストファイルにアクセスできない問題を取り除いたあと，再度 cjjspc コマンドを実行してください。エラーの要因として次の要因が考えられます。

- 存在しないファイルを指定した。
- ファイルの読み込み権限がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE53417-E

The specified JSP file was not found. (file = aa....aa)

aa....aa：JSP ファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

指定された JSP ファイルが見つかりません。

対処

指定した JSP ファイルにアクセスできない問題を取り除いたあと，再度 cjjspc コマンドを実行してください。エラーの要因として次の要因が考えられます。

- 存在しないファイルを指定した。
- ファイルの読み込み権限がない。
- ディレクトリを指定した。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE53418-E

A value specified in a command option is invalid. (option = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：オプション名

bb....bb：指定された値

説明

コマンドオプションに指定した値が不正です。

対処

オプションに正しい値を指定して cjjspc コマンドを再度実行してください。

KDJE53419-E

The file path specified in -excludefile is invalid. (file = aa....aa)

aa....aa：指定されたファイルパス

説明

指定されたコンパイル対象外 JSP ファイルパスが不正です。

対処

コンパイルの対象外とする JSP ファイルパスは，'/'から始まる Web アプリケーションのルートディレクトリからの相対パスを指定してください。

KDJE53420-E

An attempt to create a execution results listed file has failed. (file = aa....aa)

aa....aa：実行結果リストファイルの絶対パス

説明

実行結果リストファイルの作成に失敗しました。

対処

実行結果リストファイルが作成できない問題を取り除いたあと，再度 cjjspc コマンドを実行してください。エラーの要因として次の要因が考えられます。

- 存在しないディレクトリを指定した。
- ファイルへのアクセス権がない。
- ディレクトリを指定した。
- ディスクの空き容量が不足している。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE53421-E

An error occurred while writing to the execution results listed file. (path of execution results listed file = aa....aa)

aa....aa：実行結果リストファイルの絶対パス

説明

実行結果リストファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

対処

実行結果リストファイルへの書き込みに失敗する問題を取り除いたあと，再度 cjjspc コマンドを実行してください。エラーの要因として次の要因が考えられます。

- ディスクの空き容量が不足している。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE53422-E

A reserved word cannot be specified for the JSP work directory. (specified string = aa....aa)

aa....aa：指定された文字列

説明

指定された文字列は，予約語に指定されています。JSP ワークディレクトリ名に予約語は指定できません。

対処

-jspworkdir オプションには，大文字・小文字の区別なく，"lib", "tags", "classes"は使用できません。指定したディレクトリ名を修正して，再度 cjjspc コマンドを実行してください。

KDJE53423-E

The specified excluded files from compilation listed file was not found. (file = aa....aa)

aa....aa：コンパイル対象外リストファイルの絶対パス

説明

指定されたコンパイル対象外リストファイルが見つかりません。

対処

コンパイル対象外リストファイルにアクセスできない問題を取り除いたあと，再度 cjjspc コマンドを実行してください。エラーの要因として次の要因が考えられます。

- 存在しないファイルを指定した。
- ファイルの読み込み権限がない。
- ディレクトリを指定した。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE53424-E

The line aa....aa of the excluded files from compilation listed file is invalid. (file = bb....bb)

aa....aa：行番号

bb....bb：コンパイル対象外リストファイルの絶対パス

説明

指定されたコンパイル対象外リストファイルのファイル形式が不正です。

対処

コンパイル対象外 JSP ファイルのパスが，'/'から始まる Web アプリケーションのルートディレクトリからの相対パスになっているかどうか，コンパイル対象外リストファイルの内容を確認してください。

KDJE53427-E

An option has been specified more than once. (option = aa....aa)

aa....aa：指定されたオプション名

説明

同じオプションが複数指定されています。

対処

正しいオプションを指定して，cjjspc コマンドを再度実行してください。

KDJE53429-E

Usage: cjjspc [-jspworkdir <JSP work dir>] [-classpath <path>] [-excludefile <JSP file path> | -excludelist <path>] [-keepgenerated] [-source {1.3 | 1.4 | 1.5 | 5 | 1.6 | 6 | 1.7 | 7 | 1.8 | 8}] [-pageencoding <encoding>] [-resultlist <path>] [-customactiondeclarevariable] [-usebeannocheckclass] [-tagnocheckrtexprvalue] [-tagrtexprvalueterminate] [-taglibnocheckprefix] [-debugging] [-customactionignorecaseattributename] [-usebeannocheckduplicateid] [-jsppagedisablebom] [-nojavaeetaglib] [-lowerversion {2.4 | 2.5}] [-addimport <class name>] -root <Web application root dir> [<JSP file path>...]

説明

cjjspc コマンドの引数に誤りがあります。使用方法を出力します。

対処

cjjspc コマンドの引数を正しく指定し，cjjspc コマンドを再度実行してください。コマンド引数の詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編」の「cjjspc（JSP の事前コンパイル）」を参照してください。

KDJE53430-E

The -excludelist and -excludefile options can not be specified together.

説明

-excludelist オプションと-excludefile オプションは併用できません。

対処

-excludefile，または-excludelist のどちらか一方のオプションだけを指定して，cjjspc コマンドを再度実行してください。

KDJE53431-E

The -root option is not specified.

説明

-root オプションが指定されていません。

対処

-root オプションを指定して，cjjspc コマンドを再度実行してください。

KDJE53434-E

The invalid option is specified. (option = aa....aa)

aa....aa：指定されたオプション名

説明

不正なオプションが指定されました。

対処

正しいオプションを指定して，cjjspc コマンドを再度実行してください。

KDJE53438-E

The invalid classpath is specified. (classpath = aa....aa)

aa....aa：指定されたクラスパス

説明

-classpath オプションに不正なクラスパスが指定されました。

対処

クラスパスにアクセスできない問題を取り除いたあと，再度 cjjspc コマンドを実行してください。エラーの要因として次の要因が考えられます。

- 存在しないファイル・ディレクトリを指定した。
- ファイル・ディレクトリの読み込み権限がない。
- ファイルシステムに障害が発生した。

KDJE53439-E

The invalid JSP file path is specified. (file = aa....aa)

aa....aa：指定されたファイルパス

説明

不正な JSP ファイルパスが指定されました。

対処

JSP ファイルパスは，'/'から始まる Web アプリケーションのルートディレクトリからの相対パスを指定してください。

KDJE53440-E

The specified file is not JSP file. (file = aa....aa)

aa....aa：指定されたファイルの Web アプリケーション内のパス

説明

JSP ファイル以外のファイルが指定されました。

対処

JSP ファイルを指定してください。

または，web.xml に指定された次のタグの値が誤っている可能性があります。

- <servlet><jsp-file>の値
- <jsp-config><jsp-property-group><url-pattern>の値 (JSP2.0 以降の場合)

これらの内容を確認し，cjjspc コマンドを再度実行してください。

KDJE53441-E

The specified default encoding of the JSP file is not supported. (encoding = aa....aa)

aa....aa：指定された文字エンコーディング

説明

指定された文字エンコーディングは，JSP の文字エンコーディングとして使用できません。

コマンドの処理を終了します。

対処

指定された文字エンコーディングは，JSP ファイルの文字エンコーディングとして使用できません。文字エンコーディングを見直してください。

指定可能な文字エンコーディングは，JavaVM がサポートしている文字エンコーディングです。
JavaVM がサポートしている文字エンコーディングについては，JDK ドキュメント内の「サポートされているエンコーディング」に従います。また，指定可能な文字列は「サポートされているエンコーディング」内の，「java.nio API 用の正準名」と「java.io および java.lang API 用の正準名」に記述された文字エンコーディング，およびそれらの別名です。

KDJE53442-W

The JSP debugging function is enabled.

説明

JSP デバッグ機能が有効です。

対処

JSP デバッグ機能は，次に示す性能に影響するので，実行環境では使用しないことを推奨します。

- Metaspace 領域の使用量が増加する。
- クラスロード時のパース処理が増加する。

KDJE53603-E

The JavaBeans resource cannot be stopped while it is being used. (resource name = aa....aa)

aa....aa：JavaBeans リソース名

説明

使用中の JavaBeans リソースの停止に失敗しました。

対処

JavaBeans リソースを使用している J2EE アプリケーションを停止したあと，再度操作を実行してください。

KDJE53604-E

An attempt to start the JavaBeans resource aa....aa has failed. (detail = bb....bb)

aa....aa：JavaBeans リソース名

bb....bb：詳細情報

説明

JavaBeans リソースの開始に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかを確認し，出力されている場合は対処してください。

KDJE53605-E

An attempt to stop the JavaBeans resource aa....aa has failed. (detail = bb....bb)

aa....aa：JavaBeans リソース名

bb....bb：詳細情報

説明

JavaBeans リソースの停止に失敗しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかを確認し，出力されている場合は対処してください。

KDJE53606-E

An unexpected exception occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかを確認し，出力されている場合は対処してください。原因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE53607-E

The JavaBeans resource class was not found. (class name = aa....aa)

aa....aa：JavaBeans クラス名

説明

JavaBeans リソースクラスが見つかりません。

対処

JavaBeans リソースクラスが正しく設定されているかを確認してください。

KDJE53608-E

There is a mismatch on the method name or the argument type of the JavaBeans method. (method name = aa....aa, type = bb....bb, value = cc....cc)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：引数型

cc....cc：引数値

説明

JavaBeans メソッドのメソッド名，または引数の型が合っていません。

対処

JavaBeans メソッドのメソッド名，または引数の型が合っているかを確認してください。

KDJE53609-E

The value of the JavaBeans method argument is invalid. (method name = aa....aa, type = bb....bb, value = cc....cc)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：引数型

cc....cc：引数値

説明

JavaBeans メソッドの引数の値が不正です。

対処

JavaBeans メソッドの引数の値が型と合っているかを確認してください。

KDJE53610-E

An error occurred during invocation of a JavaBeans method. (method name = aa....aa, type = bb....bb, value = cc....cc, error details = dd....dd)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：引数型

cc....cc：引数値

dd....dd：詳細情報

説明

JavaBeans メソッドの invoke 処理でエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。ほかにエラーメッセージが出力されていないかを確認し，出力されている場合は対処してください。原因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE53800-W

The usrconf.properties property specification is invalid. The default value will be used. (property = aa....aa, default = bb....bb)

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティキーに無効な文字が指定されました。デフォルト値を使用します。

対処

usrconf.properties に設定した aa....aa の指定値を確認してください。

KDJE53810-E

The directory for statistics files could not be created. (directory = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：稼働情報ファイル出力先ディレクトリ

bb....bb：詳細情報

説明

稼働情報ファイル出力先ディレクトリを作成できませんでした。

対処

詳細情報を確認し，J2EE サーバを再起動してください。

KDJE53811-W

A statistics file could not be updated. (file = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：稼働情報ファイル

bb....bb：詳細

説明

稼働情報ファイルを更新できませんでした。

対処

次に示す原因が考えられます。

- 稼働情報出力先ディレクトリに書き込み権限がない。
- 稼働情報出力先ディレクトリに，同名のディレクトリが存在する。
- 稼働情報ファイルが別のプロセスから開かれている。
- ヘッダファイルが別のプロセスから開かれている。
- ディスク容量が枯渇している。

詳細情報を確認し，原因を取り除いてください。

KDJE53812-E

An unexpected exception occurred. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

予期しないエラーが発生しました。

対処

詳細情報を確認し，対策してください。原因がわからない場合は保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE53850-W

The full garbage collection count became equal to or higher than the threshold. (threshold = aa....aa, count = bb....bb, sequence number = cc....cc, monitoring interval = dd....dd)

aa....aa：しきい値

bb....bb：FullGC の累積発生回数

cc....cc：しきい値イベントの累積発生回数

dd....dd：しきい値監視間隔

説明

FullGC の回数がしきい値以上になりました。

対処

FullGC が頻発しているため，ヒープ・メモリサイズの設定が妥当であるか見直してください。また，アプリケーションでメモリリークが発生していないかどうか見直してください。

KDJE53860-W

The % of requests of the URL group waiting for execution reached the warning range. (J2EE application = aa....aa, Web application = bb....bb, context root = cc....cc, URL group thread control name = dd....dd, rate = ee....ee, current value = ff....ff, max = gg....gg, upper threshold = hh....hh, lower threshold = ii....ii)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Web アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：URL グループ単位の同時実行スレッド数制御の定義名

ee....ee：実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

ff....ff：実行待ちリクエスト数の現在値

gg....gg：実行待ちリクエスト数の最大値[設定値]

hh....hh：実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)[設定値]

ii....ii：実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)[設定値]

説明

URL グループ単位の実行待ちリクエスト数の割合が警告域に達しました。

対処

次に示す原因が考えられます。

該当する原因に応じて対処してください。

- URL グループ単位の同時実行スレッド数の設定が不適切。
- 警告域の設定が不適切。
- J2EE サーバの処理能力を超えるリクエスト数が存在する。
- 処理時間が不正に長いリクエストが存在する。
- FullGC が多発しているため，J2EE サーバの処理能力が低下している。

KDJE53861-I

The % of requests of the URL group waiting for execution returned to the normal range. (J2EE application = aa....aa, Web application = bb....bb, context root = cc....cc, URL group thread control name = dd....dd, rate = ee....ee, current value = ff....ff, max = gg....gg, upper threshold = hh....hh, lower threshold = ii....ii)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Web アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート名

dd....dd：URL グループの同時実行スレッド数制御の定義名

ee....ee：実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

ff....ff：実行待ちリクエスト数の現在値

gg....gg：実行待ちリクエスト数の最大値[設定値]

hh....hh：実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)[設定値]

ii....ii：実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)[設定値]

説明

URL グループ単位の実行待ちリクエスト数の割合が正常域に戻りました。

KDJE53862-W

The percentage of all Web container requests awaiting execution exceeded the warning threshold. (J2EE server name = aa....aa, percentage = bb....bb, current value = cc....cc, maximum value = dd....dd, upper limit = ee....ee, lower limit = ff....ff)

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：全体実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

cc....cc：全体実行待ちリクエスト数の現在値

dd....dd：全体実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］

ee....ee：全体実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］

ff....ff：全体実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web コンテナ単位の全体実行待ちリクエスト数の割合が警告域に達しました。

対処

次に示す原因が考えられます。

該当する原因に応じて対処してください。

- 同時実行スレッド数の設定が不適切である。
- 警告域の設定が不適切である。
- J2EE サーバの処理能力を超えるリクエスト数が存在する。
- 処理時間が不正に長いリクエストが存在する。
- FullGC が多発しているため，J2EE サーバの処理能力が低下している。

KDJE53863-I

The percentage of all Web container requests awaiting execution returned to a normal level. (J2EE server name = aa....aa, percentage = bb....bb, current value = cc....cc, maximum value = dd....dd, upper limit = ee....ee, lower limit = ff....ff)

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：全体実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

cc....cc：全体実行待ちリクエスト数の現在値

dd....dd：全体実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］

ee....ee：全体実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］

ff....ff：全体実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web コンテナ単位の全体実行待ちリクエスト数の割合が正常域に戻りました。

KDJE53864-W

The percentage of Web container requests awaiting execution exceeded the warning threshold. (J2EE server name = aa....aa, percentage = bb....bb, current value = cc....cc, maximum value = dd....dd, upper limit = ee....ee, lower limit = ff....ff)

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

cc....cc：実行待ちリクエスト数の現在値

dd....dd：実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］

ee....ee：実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］

ff....ff：実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web コンテナ単位の実行待ちリクエスト数の割合が警告域に達しました。

対処

次に示す原因が考えられます。

該当する原因に応じて対処してください。

- 同時実行スレッド数の設定が不適切である。
- 警告域の設定が不適切である。
- J2EE サーバの処理能力を超えるリクエスト数が存在する。
- 処理時間が不正に長いリクエストが存在する。
- FullGC が多発しているため，J2EE サーバの処理能力が低下している。

KDJE53865-I

The percentage of all Web container requests awaiting execution returned to a normal level. (J2EE server name = aa....aa, percentage = bb....bb, current value = cc....cc, maximum value = dd....dd, upper limit = ee....ee, lower limit = ff....ff)

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

cc....cc：実行待ちリクエスト数の現在値

dd....dd：実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］

ee....ee：実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］

ff....ff：実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web コンテナ単位の実行待ちリクエスト数の割合が正常域に戻りました。

KDJE53866-W

The percentage of all Web application requests awaiting execution exceeded the warning threshold. (J2EE application name = aa....aa, Web application name = bb....bb, context root = cc....cc, percentage = dd....dd, current value = ee....ee, maximum value = ff....ff, upper limit = gg....gg, lower limit = hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Web アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート
dd....dd：全体実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)
ee....ee：全体実行待ちリクエスト数の現在値
ff....ff：全体実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］
gg....gg：全体実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］
hh....hh：全体実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web アプリケーションの全体実行待ちリクエスト数の割合が警告域に達しました。

対処

次に示す原因が考えられます。
該当する原因に応じて対処してください。

- 同時実行スレッド数の設定が不適切である。
- 警告域の設定が不適切である。
- J2EE サーバの処理能力を超えるリクエスト数が存在する。
- 処理時間が不正に長いリクエストが存在する。
- FullGC が多発しているため，J2EE サーバの処理能力が低下している。

KDJE53867-I

The percentage of all Web application requests awaiting execution returned to a normal level. (J2EE application name = aa....aa, Web application name = bb....bb, context root = cc....cc, percentage = dd....dd, current value = ee....ee, maximum value = ff....ff, upper limit = gg....gg, lower limit = hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名
bb....bb：Web アプリケーション名
cc....cc：コンテキストルート
dd....dd：全体実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)
ee....ee：全体実行待ちリクエスト数の現在値
ff....ff：全体実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］
gg....gg：全体実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］
hh....hh：全体実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web アプリケーションの全体実行待ちリクエスト数の割合が正常域に戻りました。

KDJE53868-W

The percentage of Web application requests awaiting execution exceeded the warning threshold. (J2EE application name = aa....aa, Web application name = bb....bb, context root = cc....cc, percentage = dd....dd, current value = ee....ee, maximum value = ff....ff, upper limit = gg....gg, lower limit = hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名
bb....bb：Web アプリケーション名
cc....cc：コンテキストルート
dd....dd：実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

ee....ee：実行待ちリクエスト数の現在値

ff....ff：実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］

gg....gg：実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］

hh....hh：実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web アプリケーションの実行待ちリクエスト数の割合が警告域に達しました。

対処

次に示す原因が考えられます。

該当する原因に応じて対処してください。

- 同時実行スレッド数の設定が不適切である。
- 警告域の設定が不適切である。
- J2EE サーバの処理能力を超えるリクエスト数が存在する。
- 処理時間が不正に長いリクエストが存在する。
- FullGC が多発しているため，J2EE サーバの処理能力が低下している。

KDJE53869-I

The percentage of Web application requests awaiting execution returned to a normal level. (J2EE application name = aa....aa, Web application name = bb....bb, context root = cc....cc, percentage = dd....dd, current value = ee....ee, maximum value = ff....ff, upper limit = gg....gg, lower limit = hh....hh)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：Web アプリケーション名

cc....cc：コンテキストルート

dd....dd：実行待ちリクエスト数の最大値に対する現在値の割合(%)

ee....ee：実行待ちリクエスト数の現在値

ff....ff：実行待ちリクエスト数の最大値［設定値］

gg....gg：実行待ちリクエスト数の監視の上限しきい値(%)［設定値］

hh....hh：実行待ちリクエスト数の監視の下限しきい値(%)［設定値］

説明

Web アプリケーションの実行待ちリクエスト数の割合が正常域に戻りました。

KDJE53900-E

An exception occurred during Dependency Injection. (target class = aa....aa, target name = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：DI ターゲットクラス名

bb....bb：DI ターゲット名

cc....cc：詳細情報

説明

Dependency Injection の実行中にエラーが発生しました。

対処

アプリケーション開始時に「KDJE53905-W」のメッセージが出力されていないか確認し，出力されている場合は，「KDJE53905-W」のメッセージの対処に従ってください。

詳細情報を参照して対処してください。原因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE53901-E

An exception occurred during creation of information required for Dependency Injection. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Dependency Injection に必要な情報を生成している間に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。原因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE53902-E

In the target class, there is no target field or method that corresponds to the reference type and the target name of Dependency Injection. (reference type = aa....aa, target class = bb....bb, target name = cc....cc)

aa....aa：リファレンスの型

bb....bb：DI ターゲットクラス名

cc....cc：DI ターゲット名

説明

定義されている Dependency Injection のターゲット名，リファレンスの型に対応するフィールドまたはメソッドが，ターゲットクラスにありません。

対処

該当するターゲット名，リファレンスの型に対して，該当クラスに DI 可能なフィールド，またはセッターメソッドが存在するかを確認し，なければ追加してください。

KDJE53903-E

The definition of Dependency Injection is invalid. (reference type = aa....aa, target class = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：リファレンスの型

bb....bb：DI ターゲットクラス名

cc....cc：詳細情報

説明

Dependency Injection の不正な定義があります。

対処

詳細情報を参照して対処してください。

KDJE53904-W

During reloading, information required for Dependency Injection could not be created. (target class = aa....aa, target name = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：DI ターゲットクラス名

bb....bb：DI ターゲット名

cc....cc：詳細情報

説明

リロードの実行中，Dependency Injection に必要な情報が生成できませんでした。

対処

詳細情報を参照してアプリケーションを修正し，再度リロードを行ってください。続行すると DI ターゲットクラスのインスタンス生成時に行われる Dependency Injection に失敗します。

KDJE53905-W

The specified value for the tag in the deployment descriptor is invalid. If you continue, dependency injection will fail. (reference type = aa....aa, target class = bb....bb, target name = cc....cc)

aa....aa：リファレンスの型

bb....bb：DI ターゲットクラス名

cc....cc：DI ターゲット名

説明

Deployment Descriptor のタグに指定された値が不正です。続行すると，Dependency Injection に失敗します。

次の要因が考えられます。

- <injection-target-class>タグに指定したクラスが存在しない。
- <injection-target-name>タグに指定した値に対応する set メソッドが存在しない。または，set メソッドは存在するが引数の型がターゲットとして妥当な型ではない。
- <injection-target-name>タグに指定した値と同じ名前のフィールドが存在しない。または，フィールドは存在するがフィールドの型がターゲットとして妥当な型ではない。

対処

Deployment Descriptor の定義，またはアプリケーションを修正してください。

KDJE53906-E

An exception occurred during execution of a method annotated with PostConstruct. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, class = cc....cc, detail = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：クラス名

dd....dd：発生した例外の詳細情報

説明

PostConstruct で注釈されたメソッドの実行中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照し対処してください。もし，原因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE53907-W

An exception occurred during execution of a method annotated with PreDestroy. (J2EE application = aa....aa, context root = bb....bb, class = cc....cc, detail = dd....dd)

aa....aa：J2EE アプリケーション名

bb....bb：コンテキストルート名

cc....cc：クラス名

dd....dd：発生した例外の詳細情報

説明

PreDestroy で注釈されたメソッドの実行中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照し対処してください。もし，原因がわからない場合は，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KDJE54000-I

The database audit trail linkage functionality has been enabled. (linkable database = aa....aa)

aa....aa：連携できるデータベース名

説明

データベース監査証跡連携機能が有効な状態となりました。

KDJE54001-W

The environment does not support the database audit trail linkage functionality.

説明

データベース監査証跡連携機能を使用する環境が整っていません。データベース監査証跡連携機能を使用できる環境かどうかを確認する必要があります。

対処

データベース監査証跡連携機能が使用できる環境かどうかを確認してください。

usrconf.cfg には，次の二つの条件を満たす JDBC ドライバの JAR ファイルを指定する必要があります。

1. データベース監査証跡連携機能を使用できるデータベースで提供している JDBC ドライバの JAR ファイルである。
2. データベース監査証跡連携機能を使用できるバージョンの JDBC ドライバの JAR ファイルである。

KDJE54002-W

An invalid property value was specified. The default value (cc....cc) will be used. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名称

bb....bb：プロパティ値

cc....cc：デフォルト値

説明

不正なプロパティ値が指定されました。デフォルト値（cc....cc）を利用します。

対処

正しい値を指定してください。

KDJE54003-E

An unexpected error occurred during initialization of the database audit trail linkage functionality. (details = aa....aa)

aa....aa：エラー詳細情報

説明

データベース監査証跡連携機能の初期化中に予期しない例外が発生しました。

J2EE サーバの起動を停止します。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE54051-E

An unexpected error occurred during setting of audit trail information for the database. (rootAP = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：ルートアプリケーション情報

bb....bb：エラー詳細情報

説明

データベースに監査証跡の情報を設定する処理中に，予期しない例外が発生しました。データベースの監査証跡の情報にルートアプリケーション情報は出力されません。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

データベースの保守情報も取得してください。

7.5　KDJE55000 から KDJE59999 までのメッセージ

KDJE55000 から KDJE59999 までのメッセージについて説明します。

KDJE55000-I

Batch application aa....aa will now start.

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

説明

バッチアプリケーションの開始処理が始まりました。

KDJE55001-I

The main method will now start.

説明

バッチアプリケーションの main メソッドの実行を開始しました。

KDJE55002-I

Batch application aa....aa will now end. (exit code = bb....bb)

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

bb....bb：終了コード

説明

バッチアプリケーションの終了処理が始まりました。

KDJE55003-I

Batch application aa....aa ended successfully. (exit code = bb....bb)

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

bb....bb：終了コード

説明

バッチアプリケーションの終了処理が完了しました。

KDJE55004-I

Batch application will now be forcibly terminated.

説明

バッチアプリケーションの強制終了処理が始まりました。

KDJE55005-I

Batch application aa....aa was forcibly terminated.

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

説明

バッチアプリケーションの強制終了処理が完了しました。

KDJE55006-E

The main method was not found.

説明

バッチアプリケーションに public static void main(String[])メソッドまたは public static int main(String[])メソッドが存在しません。

対処

public static void main(String[])または public static int main(String[])のシグネチャを持つメソッドを定義したクラスを実行してください。

KDJE55007-E

The batch application cannot be started. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細

説明

バッチアプリケーション開始時に問題が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，対策してください。

エラーの原因を取り除いてから，再度実行してください。

KDJE55008-E

An unexpected exception occurred. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，対策してください。原因がわからない場合は保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55009-E

An exception occurred in the main method. (exception = aa....aa)

aa....aa：例外

説明

バッチアプリケーション実行中に，main メソッドから例外がスローされました。

対処

例外を参照し，対策してください。

エラーの原因を取り除いてから，再度実行してください。

KDJE55010-E

Batch server aa....aa was not found.

aa....aa：バッチサーバ名

説明

バッチサーバが見つかりません。

対処

バッチサーバ名が誤っている場合は，正しい名称を指定してください。

バッチサーバが稼働中でない場合は，バッチサーバを起動してください。

KDJE55011-I

The batch service will now start.

説明

バッチサービスを開始します。

KDJE55012-E

The batch service is not running.

説明

バッチサービスが起動していません。

対処

バッチサーバに対してコマンドを実行した場合，バッチサービスが起動したことを確認してから，再度実行してください。また，J2EE サーバに対して cjexecjob コマンドまたは cjkilljob コマンドを実行しても無効となります。cjexecjob コマンドまたは cjkilljob コマンドは，バッチサーバに対して実行してください。

KDJE55013-I

The batch application ClassLoader was initialized. (class name = aa....aa, time of operation = bb....bb)

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

bb....bb：時刻

説明

クラスローダが初期化されました。

KDJE55014-I

The batch application ClassLoader was removed. (class name = aa....aa, time of operation = bb....bb)

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

bb....bb：時刻

説明

クラスローダが破棄されました。このメッセージが出力されるタイミングはガーベージコレクタに依存します。バッチアプリケーションの実行を繰り返しても，このメッセージが出力されない場合は，メモリリークが発生しているおそれがあります。

KDJE55015-E

Another batch application is already running.

説明

バッチアプリケーションが実行中です。

対処

バッチアプリケーションの実行が終了したあとで，再度実行してください。

KDJE55016-W

The batch application is not running.

説明

バッチアプリケーションが実行されていません。

対処

指定したサーバ名やジョブ ID を確認してください。

正しい場合は，バッチアプリケーションが終了しているので対処は不要です。

誤っている場合は，強制停止コマンドに正しいサーバ名やジョブ ID を指定してください。

KDJE55017-E

Forcible termination of the batch application aa....aa has failed.

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

説明

バッチアプリケーションの強制停止に失敗しました。

対処

バッチサーバ停止後に，バッチサーバを再起動してください。

KDJE55018-I

The cjexecjob command will now start. (aa....aa = bb....bb, directory string the user-definition file = cc....cc, process ID = dd....dd)

aa....aa："server name"または"schedule group"

bb....bb：バッチサーバ名またはスケジュールグループ名

cc....cc：ユーザ定義ファイル格納先ディレクトリ

dd....dd：プロセス ID

説明

cc....cc ディレクトリのユーザ定義を用いて cjexecjob コマンドを開始します。

KDJE55019-I

The cjexecjob command was stopped. (process ID = aa....aa, exit status = bb....bb)

aa....aa：プロセス ID

bb....bb：バッチアプリケーションの終了ステータス

説明

cjexecjob コマンドを停止しました。

KDJE55020-I

The batch server will now be forcibly stopped. (server name = aa....aa)

aa....aa：バッチサーバ名

説明

バッチサーバを強制停止します。

KDJE55021-E

The batch server stopped abnormally. (server name = aa....aa)

aa....aa：バッチサーバ名

説明

コマンドの処理中に，バッチサーバが異常終了しました。

対処

バッチサーバの状態を確認後，コマンドを再度実行してください。バッチサーバ名が出力されなかった場合は指定したスケジュールグループのバッチサーバが異常終了していないか確認し再度実行してください。

KDJE55024-I

The GC controller is waiting until resource access ends.

説明

GC 制御機能が GC 実行待機状態になりました。

KDJE55025-I

The GC controller will now start GC. (rate 1 = aa....aa, rate 2 = bb....bb, rate 3 = cc....cc, free (new) = dd....dd, total (new) = ee....ee, max (new) = ff....ff, free (old) = gg....gg, total (old) = hh....hh, max (old) = ii....ii, free (permanent) = jj....jj, total (permanent) = kk....kk, max (permanent) = ll....ll, threshold value = mm....mm)

aa....aa：

SerialGC が有効な場合：

Old 領域メモリ使用率（%）

Old 領域合計サイズに対する Old 領域消費サイズの割合

G1GC が有効な場合：

Java ヒープ領域使用率（%）

Java ヒープ領域合計サイズに対する Java ヒープ領域消費サイズの割合

bb....bb：

SerialGC が有効な場合：

Old 領域最大空きメモリに対する New 領域合計メモリ率（%）

Old 領域最大空きサイズに対する New 領域合計サイズの割合

G1GC が有効な場合：-1

cc....cc：Metaspace 領域メモリ占有率（%）

Metaspace 領域消費サイズの Metaspace 領域最大メモリサイズに対する割合

dd....dd：New 領域空きメモリサイズ（バイト）

ee....ee：New 領域合計メモリサイズ（バイト）

ff....ff：

SerialGC が有効な場合：

New 領域最大メモリサイズ（バイト）

G1GC が有効な場合：-1

gg....gg：Old 領域空きメモリサイズ（バイト）

hh....hh：Old 領域合計メモリサイズ （バイト）

ii....ii：

SerialGC が有効な場合：

Old 領域最大メモリサイズ（バイト）

G1GC が有効な場合：Java ヒープ領域最大メモリサイズ（バイト）

jj....jj：Metaspace 領域空きメモリサイズ（バイト）

kk....kk：Metaspace 領域合計メモリサイズ（バイト）

ll....ll：Metaspace 領域最大メモリサイズ（バイト）

mm....mm：しきい値

説明

GC 制御機能が GC を実行します。

KDJE55026-E

The specified command parameter is too long.

説明

コマンドの引数の指定が長過ぎます。

対処

バッチ実行コマンドの usrconf.cfg,usrconf.properties を使用して，引数の長さを減らしたあと，再度実行してください。

KDJE55027-I

The cjkilljob command will now start. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa："server name"または"schedule group"

bb....bb：バッチサーバ名またはスケジュールグループ名

説明

cjkilljob コマンドを開始します。

KDJE55028-I

The cjkilljob command was stopped. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa："server name"または"schedule group"

bb....bb：バッチサーバ名またはスケジュールグループ名

説明

cjkilljob コマンドを停止しました。

KDJE55029-I

Usage:

Format1:cjexecjob serverName [Java options ...] class-name [args ...]

Format2:cjexecjob [scheduleGroup] [-jobID job ID] [Java options ...] class-name [args ...]

説明

cjexecjob コマンドの使用法です。

KDJE55030-I

Usage:

Format1:cjkilljob serverName

Format2:cjkilljob [scheduleGroup] -jobID jobID

説明

cjkilljob コマンドの使用法です。

KDJE55031-E

The resource adapter cannot be started or stopped while the batch application is running.

説明

バッチアプリケーション実行中は，リソースアダプタの開始および停止はできません。

対処

バッチアプリケーションの実行が終了したあとで，再度リソースアダプタの開始または停止を実行してください。

KDJE55032-E

The specified command cannot be used with the batch server. (server name = aa....aa, command = bb....bb)

aa....aa：バッチサーバ名

bb....bb：コマンド名

説明

バッチサーバに対して使用できないコマンドが実行されました。

対処

サーバ名が誤っている場合は，正しい名称を指定してください。

KDJE55033-I

The batch server will suspend termination processing until the batch application has finished.

説明

バッチアプリケーションが実行中のため，バッチアプリケーションの終了を待ってからバッチサーバを停止します。

KDJE55034-I

The batch service ended.

説明

バッチサービスを終了しました。

KDJE55035-E

The batch server failed to read the user properties file for batch applications. (file = aa....aa)

aa....aa：ファイルの絶対パス

説明

バッチアプリケーション用ユーザプロパティファイルの読み込みに失敗しました。ファイルのパスが誤っているか，読み取り権限がありません。

対処

バッチアプリケーション用ユーザプロパティファイルのパスを正しく指定してください。

KDJE55036-E

The communication data is invalid. (name = aa....aa, details = bb....bb, errno = cc....cc)

aa....aa：名称

bb....bb：詳細情報

cc....cc：エラーコード

説明

不正な通信データです。

対処

コマンドを再度実行してください。

再度エラーが発生した場合は，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55037-E

A protocol error occurred. (name = aa....aa, details = bb....bb, errno = cc....cc)

aa....aa：名称

bb....bb：詳細情報

cc....cc：エラーコード

説明

プロトコルエラーが発生しました。

対処

コマンドを再度実行してください。

再度エラーが発生した場合は，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55038-E

The server name specified for the command parameter is too long. (maximum length = aa....aa)

aa....aa：最大長

説明

コマンドの引数に指定したサーバ名が長過ぎます。

対処

表示された最大長以下の文字数でサーバ名を指定してください。

KDJE55039-W

The length of the directory name specified for aa....aa exceeds bb....bb bytes. The default value cc....cc will be used.

aa....aa：オプション名

bb....bb：ディレクトリ長

cc....cc：デフォルトのディレクトリ名

説明

aa....aa に指定されたディレクトリ名の長さが bb....bb バイトを超えています。デフォルト値 cc....cc を使用します。

対処

aa....aa の値を見直してください。

KDJE55040-E

An attempt to perform a forced stop of the batch server has failed. (server name = aa....aa)

aa....aa：バッチサーバ名

説明

バッチサーバ aa....aa の強制停止に失敗しました。

対処

保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55042-E

An attempt to initialize the log has failed. (details = aa....aa, errno = bb....bb, path = cc....cc)

aa....aa：詳細情報

bb....bb：エラーコード

cc....cc：パス名

説明

ログの初期化に失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。

ログの出力ディレクトリを作成できない

ログの出力ディレクトリの値を確認してください。

複数のコマンドでログを同時に初期化した

次の定義値を増加してコマンドを再実行してください。

- batch.log.lockRetryCount
- batch.log.lockInterval

KDJE55043-E

An attempt to output the log has failed. (details = aa....aa, errno = bb....bb)

aa....aa：詳細情報

bb....bb：エラーコード

説明

ログの出力に失敗しました。

対処

次の要因が考えられます。

ディスクの空き容量不足

不要なファイルを削除して出力先の空き容量を増やすか，空き容量のある出力先へ変更してください。

ディスク装置の障害

ディスク装置が壊れている場合，システム管理者へ連絡し，装置の交換を行ってください。

アクセス権限がない

出力ディレクトリへのアクセス権限を確認してください。

これらの要因に当てはまらない場合は，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55044-E

The server cannot be accessed. (server name = aa....aa, reason = bb....bb, details = cc....cc, errno = dd....dd)

aa....aa：サーバ名

bb....bb：エラー内容

cc....cc：詳細情報

dd....dd：エラーコード

説明

サーバ aa....aa にアクセスできません。

対処

エラー内容によって対処してください。

Permission denied

Windows の場合は，Administrators グループに属するユーザでコマンドを再度実行してください。Windows Server 2012，Windows Server 2008，Window 8，Window 7，または Windows Vista の場合は，管理者特権を有効にしてください。

UNIX の場合は，Component Container 管理者でコマンドを再度実行してください。

上記で解決しない場合，または上記以外のエラー内容の場合は，保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55045-E

The path of the current directory is too long. (maximum length = aa....aa, details = bb....bb, errno = cc....cc)

aa....aa：最大長

bb....bb：詳細情報

cc....cc：エラーコード

説明

カレントディレクトリのパスが長過ぎます。

対処

コマンドを実行するカレントディレクトリの絶対パスの長さが，OS が定めるパス最大長以下になるように変更してください。

KDJE55046-E

The smart agent was not started or the schedule group aa....aa was not found.

aa....aa：スケジュールグループ名

説明

スマートエージェントが起動していないか，またはスケジュールグループが見つかりません。

対処

次のプロセスがすべて起動しているかを確認してください。

- スマートエージェント
- CTM レギュレータ
- CTM デーモン
- 指定されたスケジュールグループ名を持つバッチサーバ

KDJE55047-E

The schedule group aa....aa was not found.

aa....aa：スケジュールグループ名

説明

スケジュールグループが見つかりません。

対処

次の要因が考えられます。プロセスを再起動してください。

- CTM レギュレータが異常終了した。
- CTM デーモンが異常終了した。
- 指定されたスケジュールグループ名を持つバッチサーバが異常終了した。

KDJE55048-W

The job ID aa....aa was not found.

aa....aa：ジョブ ID

説明

ジョブ ID が見つかりません。

対処

指定したジョブ ID を確認してください。

正しい場合は，バッチアプリケーションが終了しているので対処は不要です。

誤っている場合は，強制停止コマンドに正しいジョブ ID を指定してください。

KDJE55049-I

The cjlistjob command will now start. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：'server name'または'job ID'

bb....bb：サーバ名またはスケジュールグループ名

説明

cjlistjob コマンドを開始します。

KDJE55050-I

All batch applications have been listed successfully. (number = aa....aa)

aa....aa：バッチアプリケーションの数

説明

すべてのバッチアプリケーション一覧は正常に出力されました。

KDJE55051-I

The cjlistjob command was finished. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：'server name'または'schedule group'

bb....bb：サーバ名，スケジュールグループ名，または'-all'

説明

cjlistjob コマンドを終了します。

KDJE55052-I

Usage:

Format1:cjlistjob serverName

Format2:cjlistjob [scheduleGroup[,scheduleGroup...]]|[-all]

説明

cjlistjob コマンドの使用方法を示します。

KDJE55053-E

The job ID value is invalid. (value = aa....aa)

aa....aa：ジョブ ID

説明

ジョブ ID の値が誤りです。

対処

ジョブ ID の値を見直してください。

KDJE55054-E

The job ID aa....aa already exists. (job ID = aa....aa)

aa....aa：ジョブ ID

説明

ジョブ IDaa....aa がすでに存在します。

対処

ジョブ ID に別の値を指定して，コマンドを再度実行してください。

KDJE55055-E

The command aa....aa timed out.

aa....aa：コマンド

説明

コマンド aa....aa でタイムアウトが発生しました。

対処

タイムアウト時間が適正であるか確認し，コマンドを再実行してください。

KDJE55056-I

The cjkilljob command has reserved the batch application for deletion. (job ID = aa....aa)

aa....aa：ジョブ ID

説明

cjkilljob コマンドがバッチアプリケーションの削除予約をしました。

KDJE55057-W

The batch application is already reserved for deletion. (job ID = aa....aa)

aa....aa：ジョブ ID

説明

バッチアプリケーションはすでに削除予約されています。

対処

指定したジョブ ID を確認してください。

正しい場合は，すでに削除予約されているので対処は不要です。

誤っている場合は，強制停止コマンドに正しいジョブ ID を指定してください。

KDJE55058-E

An exception occurred in the CTM. (CTM API MSG = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

CTM で例外が発生しました。

対処

詳細情報が出力されている場合は，CTM の内容コード一覧を参考に対策してください。

詳細情報が出力されていない場合は，CTM のメッセージログを参考に対策してください。

KDJE55059-I

The batch application aa....aa will now be registered in the schedule queue bb....bb. (job ID = cc....cc)

aa....aa：バッチアプリケーション名

bb....bb：スケジュールキュー名

cc....cc：ジョブ ID

説明

バッチアプリケーション aa....aa をスケジュールキュー bb....bb に登録します。

KDJE55060-E

This processing exceeded the maximum request registration. (queue = aa....aa)

aa....aa：キュー名

説明

キューの最大登録数を超えました。

対処

キューのアプリケーションが実行されてから，再度コマンドを実行してください。

KDJE55061-E

The CTM timed out.

説明

CTM でタイムアウトが発生しました。

対処

タイムアウト時間が適正であるか確認し，コマンドを再実行してください。

KDJE55062-E

An invalid value was specified for option. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa："server name"または"job ID"

bb....bb：サーバ名またはスケジュールグループ名

説明

コマンドのオプションに指定した値が無効です。

対処

スケジューリング機能の使用有無を確認し，正しい形式でコマンドを入力してください。

KDJE55063-E

Exception occurred in getting CTMQueueManager to start batch server:aa....aa. (CTM API MSG = bb....bb)

aa....aa：バッチサーバ名

bb....bb：例外の詳細情報

説明

バッチサーバの起動時に，CTMQueueManager の取得で例外が発生しました。

対処

詳細情報の内容を基に対処したあと，バッチサーバを起動してください。

KDJE55064-E

Unexpected exception occurred while starting batch server:aa....aa. (details = bb....bb)

aa....aa：バッチサーバ名

bb....bb：例外の詳細情報

説明

バッチサーバ aa....aa を開始している間に，予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55065-E

Unexpected exception occurred while stopping batch server:aa....aa. (details = bb....bb)

aa....aa：バッチサーバ名

bb....bb：例外の詳細情報

説明

バッチサーバ aa....aa を停止している間に，予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得し，保守員に連絡してください。

KDJE55066-I

The batch application aa....aa will now start. (server name = bb....bb, job ID = cc....cc)

aa....aa：バッチアプリケーションクラス名

bb....bb：バッチサーバ名

cc....cc：ジョブ ID

説明

バッチアプリケーション aa....aa の実行を開始します。

KDJE55067-E

The batch application to which the scheduling function is disabled cannot be accepted.

説明

cjexecjob コマンドでスケジューリング機能が有効になっていません。

対処

バッチサーバでスケジューリング機能を使用する設定にしている場合は，cjexecjob コマンドの usrconf.cfg ファイルに次の設定を行ってください。

- batch.ctm.enabled=true

KDJE55068-W

The cjexecjob command was not stopped successfully. (process ID = aa....aa, exit status = bb....bb)

aa....aa：プロセス ID

bb....bb：バッチアプリケーションの終了ステータス

説明

cjexecjob コマンドが正常に終了しませんでした。

対処

バッチ実行コマンドのメッセージログに，ほかにメッセージが出力されていないかを確認してください。

ほかにメッセージが出力されている場合は，出力されているメッセージを確認して対処してください。

ほかにメッセージが出力されていない場合は，バッチサーバのメッセージログに出力されているエラーメッセージを確認して対処してください。

KDJE55069-I

The system sets the ejbserver.batch.application.exit.enabled property to false. The method that terminates this Java VM also stops the batch server. Java VM(vendor = aa....aa, version = bb....bb)

aa....aa：使用している JavaVM のベンダ

bb....bb：使用している JavaVM のバージョン

説明

プロパティ ejbserver.batch.application.exit.enabled に false を設定します。 JavaVM を終了させるメソッドはバッチサーバを停止します。

KDJE55500-E

An exception occurred during initialization to output log data. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

ログ出力の初期化処理で例外が発生しました。

対処

例外情報を確認して，対処してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55501-E

An attempt to output a message has failed. (id = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：例外情報

説明

メッセージ出力に失敗しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55502-E

An exception occurred during entity loading. This class could not be loaded. (class = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：ロードに失敗したクラス名

bb....bb：例外情報

説明

エンティティのローディングで例外が発生しました。このクラスのローディングはできませんでした。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55503-E

An internal exception occurred during JPQL analysis. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

JPQL の解析中に内部エラーが発生しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55504-W

A Java field could not be converted to the column type of the database. The java.lang.String type will be applied to this field. (column = aa....aa, java type = bb....bb)

aa....aa：データベースのカラム名

bb....bb：マッピングに失敗した Java の型

説明

Java のフィールドとデータベースのカラムの型変換に失敗しました。このフィールドには java.lang.String 型が適用されます。

対処

Java のフィールドの型とデータベースのカラムの型の設定が正しいか確認してください。

KDJE55505-E

An invalid property value is specified. (property = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティに指定された値

説明

プロパティ値が不正です。

対処

persistence.xml に設定されたプロパティ値を確認して，正しい値を指定してください。

KDJE55506-W

The table was not created because it already exists in the database. (table = aa....aa)

aa....aa：テーブル名

説明

テーブルはデータベースにすでに存在するため，作成しませんでした。

対処

データベース上に同一の名前のテーブルが存在しないか確認してください。

KDJE55507-W

The value specified for jta-data-source will be ignored because the transaction type is RESOURCE_LOCAL. (persistence unit = aa....aa)

aa....aa：永続化ユニット名

説明

トランザクションタイプは RESOURCE_LOCAL です。persistence.xml の<jta-data-source>タグに指定されている値を無視します。

対処

persistence.xml の<persistence-unit>タグの transaction 属性，および<jta-data-source>タグの指定内容を確認してください。

KDJE55508-E

An exception occurred during processing to register a Synchronization object to the JTA. (status = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：トランザクションの状態

bb....bb：例外情報

説明

Synchronization オブジェクトを JTA へ登録する処理で，例外が発生しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55509-W

The hint specified for the query will be ignored because the hint is invalid. (query = aa....aa, hint = bb....bb)

aa....aa：クエリ名

bb....bb：クエリヒント名

説明

クエリに対して不正なヒントが指定されたため，無視します。

対処

クエリヒントが正しく設定されているか確認してください。

KDJE55510-E

An exception occurred during the loading of an O/R mapping file. (file = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：O/R マッピングに使用するファイル名

bb....bb：例外情報

説明

O/R マッピングファイルのロード中に，例外が発生しました。

対処

persistence.xml の<mapping-file>タグで指定したファイルを確認してください。

ファイルが存在しない，またはファイルへのアクセス権がないなどが要因として考えられます。

KDJE55511-W

An attempt to load an entity class during persistence unit initialization has failed. (class = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：エンティティに指定されたクラス名

bb....bb：例外情報

説明

永続化ユニットの初期化時に，エンティティクラスのロードに失敗しました。

対処

O/R マッピングファイルの<entity>タグの class 属性に正しくクラス名を指定しているか確認してください。

解決できない場合は例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55512-W

An optimistic lock was specified for an entity multiple times. The version specified for an element will be ignored. (entity = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：エンティティクラス

bb....bb：version の指定対象のフィールド，またはプロパティ

説明

エンティティに対して楽観的ロックの指定が複数回行われました。<version>タグの指定を無視します。

対処

楽観的ロックに関する設定を確認してください。

KDJE55513-W

The same mapping was specified for an entity element multiple times. This mapping specification will be ignored. (entity = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：エンティティクラス

bb....bb：マッピングの指定対象のフィールドまたはプロパティ

説明

エンティティの要素に対して同一のマッピングが複数回指定されました。マッピングの指定を無視します。

対処

O/R マッピングファイルのエンティティのフィールドまたはプロパティの設定を確認してください。

KDJE55514-W

The LAZY fetch element for an entity will be ignored. Basic mappings use EAGER fetching by default. (entity = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：エンティティクラス

bb....bb：フェッチタイプの Lazy が指定されたフィールドまたはプロパティ

説明

エンティティに対する LAZY フェッチの要素を無視します。Basic のマッピングはデフォルト値の EAGER フェッチを適用します。

対処

Basic の fetch 属性の設定を確認してください。

CJPA プロバイダでは@Basic に対する LazyLoading をサポートしていません。デフォルト値の FetchType.EAGER が常に適用されます。

KDJE55515-W

The id specified for an element will be ignored because a primary key was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：エンティティクラス

bb....bb：<id>タグの指定対象のフィールドまたはプロパティ

説明

エンティティに対してプライマリキーが複数回指定されたため，<id>タグの指定を無視します。

対処

プライマリキーの設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55516-W

The specified inheritance will be ignored because inheritance information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa)

aa....aa：エンティティクラス

説明

エンティティに対して継承戦略が複数回指定されたため，<inheritance>タグの指定を無視します。

対処

継承戦略の設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55517-W

The specified @SecondaryTable(s) information will be ignored because table information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa)

aa....aa：@SecondaryTable または@SecondaryTables の指定対象のエンティティクラス

説明

エンティティに対してテーブル情報が複数回指定されたため，@SecondaryTable(s)の指定を無視します。

対処

テーブル情報の設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55518-W

The specified @Table information will be ignored because table information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa)

aa....aa：@Table の指定対象のエンティティクラス

説明

エンティティに対してテーブル情報が複数回指定されたため，@Table の指定を無視します。

対処

テーブル情報の設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55519-W

The specified id-class will be ignored because primary key information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa, id-class = bb....bb)

aa....aa：エンティティクラス

bb....bb：<id-class>タグで指定されたエンティティクラス

説明

エンティティに対してプライマリキー情報が複数回指定されたため，<id-class>タグの指定を無視します。

対処

プライマリキーの設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55520-W

The specified @IdClass information will be ignored because primary key information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa, @IdClass = bb....bb)

aa....aa：エンティティクラス

bb....bb：@IdClass が指定されたエンティティクラス

説明

エンティティに対してプライマリキー情報が複数回指定されたため，@IdClass の指定を無視します。

対処

プライマリキーの設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55521-W

The named-native-query defined in the O/R mapping file will be ignored because a query with that name already exists. (file = aa....aa, query = bb....bb)

aa....aa：<named-native-query>タグが定義されたファイル名

bb....bb：<named-native-query>タグで指定されたクエリ名

説明

クエリ名がすでに使用されているため，O/R マッピングファイルに定義されている<named-native-query>タグの指定は無視します。

対処

O/R マッピングファイルの<named-native-query>タグの指定内容を確認してください。

KDJE55522-W

Ignoring the @NamedNativeQuery specified on class since a query with that name already exists. (class = aa....aa, query = bb....bb)

aa....aa：@NamedNativeQuery が定義されたクラス名

bb....bb：@NamedNativeQuery のクエリ名

説明

クエリ名がすでに使用されているため，@NamedNativeQuery の指定は無視します。

対処

O/R マッピングファイルの<named-native-query>タグおよび@NamedNativeQuery の指定内容を確認してください。

KDJE55523-W

The specified embedded-id will be ignored because primary key information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：エンティティクラス

bb....bb：<embedded-id>タグの指定対象のフィールドまたはプロパティ

説明

エンティティに対してプライマリキー情報が複数回指定されたため，<embedded-id>タグの指定を無視します。

対処

プライマリキーの設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55524-W

The specified table will be ignored because table information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa)

aa....aa：<table>タグの指定対象のエンティティクラス

説明

エンティティに対してテーブル情報が複数回指定されたため，<table>タグの指定を無視します。

対処

テーブル情報の設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55525-W

The specified secondary-table will be ignored because table information was specified for an entity multiple times. (entity = aa....aa)

aa....aa：<secondary-table>タグの指定対象のエンティティクラス

説明

エンティティに対してテーブル情報が複数回指定されたため，<secondary-table>タグの指定を無視します。

対処

テーブル情報の設定を確認してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55526-W

The platform of the connected database was not able to be specified. There is a possibility that peculiar processing to the database cannot be executed. (platform = aa....aa)

aa....aa：使用しているデータベースのプラットフォーム名

説明

接続したデータベースのプラットフォームが特定できませんでした。データベース固有の処理を実行できない可能性があります。

対処

接続先のデータベースが CJPA プロバイダのサポート対象のデータベースであるかを確認してください。

KDJE55527-E

Transformation processing for a class has failed. (class = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：変換処理に失敗したクラス（クラスパス）

bb....bb：例外情報

説明

クラスに対する変換処理が失敗しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55528-E

An attempt to output a message to the operation log file has failed. (detail = aa....aa, internal id = bb....bb, persistence unit = cc....cc)

aa....aa：例外情報

bb....bb：稼働ログの内部 ID

cc....cc：永続化ユニット名

説明

稼働ログへのメッセージ出力に失敗しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55529-E

A file system exception occurred during the transformation processing for a class. (class = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：変換処理に失敗したクラス(クラスパス)

bb....bb：例外情報

説明

クラスに対する変換処理の実行中にファイルシステムの例外が発生しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55530-E

An internal error occurred during the transformation processing for a class.

説明

クラスに対する変換処理の実行中に内部エラーが発生しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55531-W

Acquisition of entity information about a class to be transformed has failed. (class = aa....aa)

aa....aa：変換処理に失敗したクラス名

説明

クラス変換の対象となるクラスのエンティティ情報の取得に失敗しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55532-W

The annotation specified for an element will be ignored because the metadata-complete has been specified for the O/R mapping file. (annotation = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：アノテーション名

bb....bb：アノテーションの指定対象のエンティティクラス，フィールドまたはプロパティ

説明

O/R マッピングファイルに<metadata-complete>タグが指定されたため，タグに指定されたアノテーションを無視します。

対処

O/R マッピングファイルの<metadata-complete>タグの指定内容を確認してください。

KDJE55533-W

The value specified for non-jta-data-source will be ignored because the transaction type is JTA. (persistence unit = aa....aa)

aa....aa：永続化ユニット名

説明

トランザクションタイプは JTA です。<non-jta-data-source>タグに値が指定されていますが無視します。

対処

persistence.xml の<persistence-unit>タグの transaction 属性および<non-jta-data-source>タグの指定内容を確認してください。

KDJE55534-W

The named-query defined in the O/R mapping file will be ignored because a query with that name already exists. (file = aa....aa, query = bb....bb)

aa....aa：<named-query>タグが定義されたファイル名

bb....bb：<named-query>タグのクエリ名

説明

クエリ名がすでに使用されているため，O/R マッピングファイルに定義されている<named-query>タグの指定は無視します。

対処

O/R マッピングファイルの<named-query>タグの指定内容を確認してください。

KDJE55535-W

The specified @NamedQuery information will be ignored because a query with that name already exists. (class = aa....aa, query = bb....bb)

aa....aa：@NamedQuery が定義されたクラス名

bb....bb：@NamedQuery のクエリ名

説明

クエリ名がすでに使用されているため，@NamedQuery の指定は無視します。

対処

O/R マッピングファイルの<named-query>タグおよび@NamedQuery の指定内容を確認してください。

KDJE55536-W

An invalid property value is specified. The default value will be used. (property = aa....aa, value = bb....bb, default = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティに指定された値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティに不正な値が指定されたため，デフォルトの値を使用します。

対処

ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）のプロパティ値を確認して，正しい値を指定してください。

KDJE55537-E

An exception occurred during the construction of the SQL statement. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

SQL 文の構築中に例外が発生しました。

対処

例外情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE55538-E

As a result of executing the SQL statement, an exception was received from the database. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

SQL 文を実行した結果，データベースから例外を受け取りました。

対処

例外情報を確認して対処してください。解決できない場合は保守員に連絡してください。

KDJE55539-W

An exception occurred during mapping of data acquired from the database. (column = aa....aa, java type = bb....bb, detail = cc....cc)

aa....aa：データベースのカラム名

bb....bb：マッピングに失敗した Java の型

cc....cc：例外情報

説明

データベースから取得したデータのマッピング処理で例外が発生しました。

対処

データベース上のデータが Java の型にマッピングするのに適切か確認してください。

KDJE56500-W

Deployment of this persistence unit was skipped because a persistence unit that has same name has already been deployed. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

説明

同じ名前の永続化ユニットがすでにデプロイされているため，永続化ユニットのデプロイがスキップされました。

対処

一つの EJB-JAR や WAR，EAR 内では，同じ名前の永続化ユニットを複数定義しないように変更してください。

KDJE56501-E

No persistence unit with the specified name has been defined. (persistence unit name = aa....aa)

aa....aa：永続化ユニット名

説明

指定された名前の永続化ユニットは定義されていません。

対処

PersistenceContext，PersistenceUnit アノテーション，または Deployment Descriptor の <persistence-context-ref>，<persistence-unit-ref>タブで，アプリケーション内で定義されている永続化ユニット名を指定してください。

KDJE56502-E

No persistence unit that has the specified persistence unit root has been defined. (persistence unit name = aa....aa)

aa....aa：永続化ユニット名

説明

指定された永続化ユニットのルートを持つ永続化ユニットは定義されていません。

対処

PersistenceContext，PersistenceUnit アノテーション，または Deployment Descriptor の <persistence-context-ref>，<persistence-unit-ref>タグで，"#"シンタックスを使用する場合には，アプリケーション内で定義された永続化ユニットの正しいルートを指定してください。

KDJE56503-E

Instantiation of a persistence provider class has failed. (persistence provider class = aa....aa)

aa....aa：JPA プロバイダクラス名

説明

JPA プロバイダクラスのインスタンスを作成できませんでした。

対処

persistence.xml の provider エレメントまたは<ejbserver.jpa.defaultProviderClassName>タグに指定された JPA プロバイダクラス名が正しいこと，および指定されたクラスがクラスパスに含まれていることを確認してください。

KDJE56504-E

The persistence unit to use cannot be identified because multiple persistence units exist within the scope but no persistence unit name is specified for the reference. Explicitly specify the persistence unit name for the reference.

説明

永続化ユニットの参照スコープに二つ以上の永続化ユニットが定義されているにもかかわらず，リファレンスに永続化ユニット名が指定されていません。

対処

PersistenceContext，PersistenceUnit アノテーション，または Deployment Descriptor の <persistence-context-ref>，<persistence-unit-ref>タグで，永続化ユニット名を指定してください。

KDJE56505-E

The name of a persistence unit must not be an empty string. Specify at least one character for the name.

説明

persistence.xml で永続化ユニット名に空文字を指定することはできません。

対処

persistence.xml の永続化ユニット名に 1 文字以上の長さの文字列を指定してください。

KDJE56506-E

The jar file specified for the jar-file element cannot be found. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, jar file name = cc....cc)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：JAR ファイル名

説明

persistence.xml の jar-file エレメントに指定された JAR ファイルを見つけることができません。

対処

persistence.xml の jar-file エレメントに，参照できる JAR ファイルを指定してください。

KDJE56507-E

An entity manager in the transaction scope could not be acquired because the transaction is not in the active status.

説明

トランザクションの状態がアクティブでないため，トランザクションスコープのエンティティマネジャを取得できませんでした。

対処

トランザクションタイムアウトが発生していないかを確認してください。

KDJE56508-E

This operation cannot be invoked using a container-managed entity manager. (operation = aa....aa)

aa....aa：操作

説明

コンテナ管理のエンティティマネジャでこの操作を呼び出すことはできません。

対処

コンテナ管理のエンティティマネジャで呼び出すことのできないメソッドを呼び出していないか，アプリケーションのコードを確認してください。

KDJE56509-E

This operation must be invoked in a transaction context. (operation = aa....aa)

aa....aa：操作

説明

トランザクションコンテキストの外で呼び出すことのできない操作を呼び出しています。

対処

トランザクションコンテキストの外で呼び出すことのできない操作を呼び出していないか，アプリケーションのコードを確認してください。

KDJE56510-E

This operation is not supported for a query object created when no transactions existed. (operation = aa....aa)

aa....aa：操作

説明

トランザクションが存在しないときに作成されたクエリーオブジェクトでサポートされていない操作を呼び出しています。

対処

トランザクションが存在しないときに作成されたクエリーオブジェクトでサポートされていない操作を，アプリケーションのコードで呼び出していないかを確認してください。

KDJE56511-E

An extended persistence context cannot be used except with a stateful session bean. (component = aa....aa)

aa....aa：コンポーネント

説明

ステートフルセッションビーン以外で拡張された永続化コンテキストを使用することはできません。

対処

アプリケーションのコードで，ステートフルセッションビーン以外から拡張された永続化コンテキストを使用していないか確認してください。

KDJE56512-E

A stateful session bean that has a reference to an extended persistence context was invoked for a transaction already associated with another persistence context.

説明

拡張された永続化コンテキストのリファレンスを持つステートフルセッションビーンを，すでに別の永続化コンテキストと関連付いているトランザクションで呼び出すことはできません。

対処

拡張された永続化コンテキストのリファレンスを持つステートフルセッションビーンを，すでに別の永続化コンテキストと関連付いているトランザクションで呼び出していないか，アプリケーションのコードを確認してください。

KDJE56513-I

A persistence unit will now be deployed. (application name = aa....aa, persistence unit root = bb....bb, persistence unit name = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：永続化ユニットのルート

cc....cc：永続化ユニット名

説明

永続化ユニットのデプロイを開始します。

KDJE56514-I

A persistence unit was successfully deployed. (application name = aa....aa, persistence unit root = bb....bb, persistence unit name = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：永続化ユニットのルート

cc....cc：永続化ユニット名

説明

永続化ユニットがデプロイされました。

KDJE56515-E

Deployment of a persistence unit has failed. (application name = aa....aa, persistence unit root = bb....bb, persistence unit name = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：永続化ユニットのルート

cc....cc：永続化ユニット名

説明

永続化ユニットのデプロイに失敗しました。

対処

失敗の原因となったメッセージの対処方法に従ってください。

KDJE56516-I

All persistence units within the application will now be undeployed. (application name = aa....aa)

aa....aa：アプリケーション名

説明

アプリケーション内の永続化ユニットのアンデプロイを開始します。

KDJE56517-I

All persistence units within the application were successfully undeployed. (application name = aa....aa)

aa....aa：アプリケーション名

説明

アプリケーション内のすべての永続化ユニットがアンデプロイされました。

KDJE56518-I

All persistence units within the WAR file will now be undeployed. (application name = aa....aa, path of the WAR file = bb....bb)

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：WAR のパス

説明

WAR ファイル内の永続化ユニットのアンデプロイを開始します。

KDJE56519-I

All persistence units within the WAR file were successfully undeployed. (application name = aa....aa, path of the WAR file = bb....bb)

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：WAR のパス

説明

WAR ファイル内の永続化ユニットがアンデプロイされました。

KDJE56520-E

Acquisition of the JTA data source specified for the jta-data-source element in the persistence.xml file has failed. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, JTA data source = cc....cc)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：JTA データソース

説明

persistence.xml の jta-data-source エレメントで指定された JTA データソースの取得に失敗しました。

対処

原因となった例外を調査し，対処してください。

KDJE56521-E

Acquisition of the non-JTA data source specified for the non-jta-data-source element in the persistence.xml file has failed. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, non-JTA data source = cc....cc)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：非 JTA データソース

説明

persistence.xml の non-jta-data-source エレメントで指定された非 JTA データソースの取得に失敗しました。

対処

原因となった例外を調査し，対処してください。

KDJE56524-E

Creation of a URL or URI has failed. (path = aa....aa)

aa....aa：パス

説明

URL または URI の作成に失敗しました。

対処

原因となった例外を調査し，対処してください。

KDJE56525-E

An IOException occurred while deploying persistence units. (persistence unit root = aa....aa)

aa....aa：永続化ユニットのルート

説明

永続化ユニットのデプロイ処理で IOException が発生しました。

対処

原因となった例外を調査し，対処してください。

KDJE56526-E

An attempt to parse the persistence.xml file has failed. (persistence unit root = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：原因

説明

persistence.xml のパース処理に失敗しました。

対処

原因を調査し，persistence.xml の内容を確認してください。

KDJE56527-E

A JTA data source must be specified when the transaction type of the persistence unit is JTA. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

説明

永続化ユニットのトランザクションタイプが JTA の場合，JTA データソースを指定する必要があります。

対処

persistence.xml の jta-data-source エレメント，システムプロパティ ejbserver.jpa.defaultJtaDsName またはシステムプロパティ ejbserver.jpa.overrideJtaDsName に，スタンドアロンモジュールとしてデプロイされ，開始されているリソースアダプタの参照を正しく定義してください。Connector 1.0 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソースアダプタの表示名>」または「<リソースアダプタの別名>」を指定してください。Connector 1.5 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソースアダプタの表示名>!<コネクション定義識別子>」または「リソースアダプタの別名」を指定してください。

KDJE56528-E

A non-JTA data source must be specified when the transaction type of the persistence unit is RESOURCE_LOCAL. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

説明

永続化ユニットのトランザクションタイプが RESOURCE_LOCAL の場合，非 JTA データソースを指定する必要があります。

対処

persistence.xml の non-jta-data-source エレメント，システムプロパティ ejbserver.jpa.defaultNonJtaDsName またはシステムプロパティ ejbserver.jpa.overrideNonJtaDsName に，スタンドアロンモジュールとしてデプロイされ，開始されているリソースアダプタの参照を正しく定義してください。Connector 1.0 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソースアダプタの表示名>」または「<リソースアダプタの別名>」を指定してください。Connector 1.5 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソー

スアダプタの表示名>!<コネクション定義識別子>」または「リソースアダプタの別名」を指定してください。

KDJE56529-E

The JTA data source specified for the system property ejbserver.jpa.defaultJtaDsName or the system property ejbserver.jpa.overrideJtaDsName or the jta-data-source element in the persistence.xml file cannot be found. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, JTA data source = cc....cc)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：JTA データソース

説明

persistence.xml の jta-data-source エレメント，システムプロパティ ejbserver.jpa.defaultJtaDsName またはシステムプロパティ ejbserver.jpa.overrideJtaDsName に指定された JTA データソースを見つけることができません。

対処

persistence.xml の jta-data-source エレメント，システムプロパティ ejbserver.jpa.defaultJtaDsName またはシステムプロパティ ejbserver.jpa.overrideJtaDsName に，スタンドアロンモジュールとしてデプロイされ，開始されているリソースアダプタの参照を正しく定義してください。Connector 1.0 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソースアダプタの表示名>」または「<リソースアダプタの別名>」を指定してください。Connector 1.5 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソースアダプタの表示名>!<コネクション定義識別子>」または「リソースアダプタの別名」を指定してください。

KDJE56530-E

The non-JTA data source specified for the system property ejbserver.jpa.defaultNonJtaDsName or the system property ejbserver.jpa.overrideNonJtaDsName or the non-jta-data-source element in the persistence.xml file cannot be found. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, non-JTA data source = cc....cc)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：非 JTA データソース

説明

persistence.xml の non-jta-data-source エレメント，システムプロパティ ejbserver.jpa.defaultNonJtaDsName またはシステムプロパティ ejbserver.jpa.overrideNonJtaDsName に指定された非 JTA データソースを見つけることができません。

対処

persistence.xml の non-jta-data-source エレメント，システムプロパティ ejbserver.jpa.defaultNonJtaDsName またはシステムプロパティ ejbserver.jpa.overrideNonJtaDsName に，スタンドアロンモジュールとしてデプロイされ，開始されているリソースアダプタの参照を正しく定義してください。Connector 1.0 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソースアダプタの表示名>」または「<リソースアダプタの別名>」を指定してください。Connector 1.5 仕様に準拠したリソースアダプタを参照する場合は，「<リソー

スアダプタの表示名>!<コネクション定義識別子>」または「リソースアダプタの別名」を指定してください。

KDJE56531-E

The transaction support level of a resource adapter referenced as a JTA data source must be LocalTransaction or XATransaction. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, JTA data source = cc....cc, resource adapter name = dd....dd)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：JTA データソース

dd....dd：リソースアダプタ名

説明

JTA データソースとして参照されるリソースアダプタのトランザクションサポートレベルは，LocalTransaction または XATransaction である必要があります。

対処

JTA データソースとして参照されるリソースアダプタのトランザクションサポートレベルが，LocalTransaction または XATransaction になっていることを確認してください。

KDJE56532-E

The transaction support level of a resource adapter referenced as a non-JTA data source must be NoTransaction. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, non-JTA data source = cc....cc, resource adapter name = dd....dd)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：非 JTA データソース

dd....dd：リソースアダプタ名

説明

非 JTA データソースとして参照されるリソースアダプタのトランザクションサポートレベルは，NoTransaction である必要があります。

対処

非 JTA データソースとして参照されるリソースアダプタのトランザクションサポートレベルが，NoTransaction になっていることを確認してください。

KDJE56533-E

The connection factory interface of a resource adapter referenced by a persistence unit must be javax.sql.DataSource. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, data source = cc....cc, resource adapter name = dd....dd, connection factory interface = ee....ee)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：データソース

dd....dd：リソースアダプタ名

ee....ee：コネクションファクトリインタフェース

説明

永続化ユニットから参照されるリソースアダプタのコネクションファクトリインタフェースは，javax.sql.DataSource である必要があります。

対処

永続化ユニットから参照されるリソースアダプタのコネクションファクトリインタフェースが，javax.sql.DataSource であることを確認してください。

KDJE56534-E

The transaction type of a persistence unit used by a container-managed entity manager must be JTA. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, path of the WAR file or EJB-JAR file = cc....cc)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：WAR または EJB-JAR のパス

説明

コンテナ管理のエンティティマネジャで使用される永続化ユニットのトランザクションタイプは JTA でなければなりません。

対処

コンテナ管理のエンティティマネジャで使用される永続化ユニットのトランザクションタイプが JTA に設定されていることを確認してください。

KDJE56535-E

A reference to an extended persistence context can only be defined with a stateful session bean. (persistence unit root = aa....aa, persistence unit name = bb....bb, path of the WAR file or EJB-JAR file = cc....cc, EJB name = dd....dd)

aa....aa：永続化ユニットのルート

bb....bb：永続化ユニット名

cc....cc：WAR または EJB-JAR のパス

dd....dd：EJB 名（EJB の場合だけ）

説明

ステートフルセッションビーン以外で，拡張された永続化コンテキストのリファレンスを定義することはできません。

対処

ステートフルセッションビーン以外で，拡張された永続化コンテキストのリファレンスを定義していないかを確認してください。

KDJE56536-E

Deployment of persistence units included in a Web application has failed. (path of the Web application = aa....aa, cause = bb....bb)

aa....aa：Web アプリケーションのパス

bb....bb：原因

説明

Web アプリケーションに含まれる永続化ユニットのデプロイに失敗しました。

対処

原因に含まれるメッセージの対処に従ってください。

KDJE56538-E

An entity manager cannot be invoked from this method. (method = aa....aa)

aa....aa：メソッド

説明

このメソッドからエンティティマネジャを呼び出すことはできません。

対処

ユーザプログラムで，呼び出しが許可されていない場所からエンティティマネジャを呼び出していないか確認してください。

KDJE56539-E

PersistenceProvider#createContainerEntityManagerFactory method of the JPA provider threw an exception.(persistence unit name = aa....aa, persistence provider class name = bb....bb, exception = cc....cc)

aa....aa：永続化ユニット名

bb....bb：JPA プロバイダクラス名

cc....cc：例外

説明

JPA プロバイダの createContainerEntityManagerFactory メソッドに例外が発生しました。

対処

原因となった例外を調査し，対処してください。

KDJE58300-E

The specified property value is invalid. (resource adapter = aa....aa, property = bb....bb, value = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：プロパティ名

cc....cc：指定した値

説明

TP1 インバウンドアダプタのプロパティに不正な値が指定されました。

対処

プロパティに適切な値を設定してください。

KDJE58301-W

The specified property value is invalid. The default value will be used. (resource adapter = aa....aa, property = bb....bb, specified value = cc....cc, default value = dd....dd)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：プロパティ名

cc....cc：指定した値

dd....dd：デフォルト値

説明

TP1 インバウンドアダプタのプロパティに不正な値が指定されました。デフォルト値を使用します。

対処

デフォルト値での動作に問題がある場合は，リソースアダプタを停止してプロパティの値を設定し直し，再度リソースアダプタを開始してください。

KDJE58302-E

A required property value is not specified. (resource adapter = aa....aa, property = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：プロパティ名

説明

設定が必要なプロパティが指定されていません。

対処

設定が必要なプロパティを指定してください。

KDJE58303-E

On the J2EE server, there is already a TP1 Inbound Adapter that has the same service group name. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

説明

TP1 インバウンドアダプタに指定したサービスグループ名は，すでにほかの TP1 インバウンドアダプタが使用しています。

対処

開始に失敗した TP1 インバウンドアダプタに指定したサービスグループ名の設定を見直し，プロパティの値を訂正したあと，再度リソースアダプタを開始してください。

KDJE58304-E

On the TP1 Inbound Adapter, there is already a service that has the same service name. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

cc....cc：MDB（サービス）のサービス名

説明

MDB（サービス）の ActivationSpec に指定したサービス名は，同じサービスグループ内で，すでにほかの MDB（サービス）が使用しています。

対処

開始に失敗した MDB（サービス）のサービス名の設定を見直し，プロパティの値を訂正したあと，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。

KDJE58350-I

The TP1 Inbound Adapter started. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, scd_port = cc....cc, trn_port = dd....dd)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

cc....cc：RPC 要求を待ち受けるポートのポート番号

dd....dd：同期点電文を待ち受けるポートのポート番号

説明

TP1 インバウンド連携機能を開始しました。

KDJE58351-I

The TP1 Inbound Adapter ended. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, scd_port = cc....cc, trn_port = dd....dd)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

cc....cc：RPC 要求を待ち受けるポートのポート番号

dd....dd：同期点電文を待ち受けるポートのポート番号

説明

TP1 インバウンド連携機能を終了しました。

KDJE58352-E

The port aa....aa for the TP1 Inbound Adapter could not be opened. (resource adapter = bb....bb, service group = cc....cc)

aa....aa：TP1 インバウンドアダプタのプロパティ scd_port または trn_port に設定したポート番号

bb....bb：リソースアダプタの表示名

cc....cc：リソースアダプタのサービスグループ名

説明

TP1 インバウンド連携機能の開始時に OpenTP1 からの通信を待ち受けるポートを開けませんでした。すでにポートが使用されている可能性があります。リソースアダプタの開始を中断します。

対処

TP1 インバウンドアダプタのプロパティ scd_port または trn_port に設定したポート番号がすでに使用されていないかを確認してください。すでに使用されている場合は，そのポート番号のポートを使用しているアプリケーションを停止するか，scd_port または trn_port に別のポート番号を指定して，再度リソースアダプタを開始してください。

KDJE58354-E

An error occurred while the request was being received. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, exception = gg....gg, read count = hh....hh)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名（サービスグループ名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：サービス名（サービス名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号（listen ポート番号が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：発生したエラーの情報

hh....hh：コネクションごとの read メソッドの発行回数

説明

TP1 インバウンド連携機能で RPC 要求受信中にタイムアウトやコネクションの切断などの通信上の問題が発生したため，RPC 要求の受信を中断しました。

コネクションが確立済みの場合は，コネクションを切断します。

対処

通信路や OpenTP1 に問題がないかを確認し，問題を取り除いてください。

KDJE58355-E

The request data is invalid. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, detail = gg....gg)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名（サービスグループ名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：サービス名（サービス名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号（listen ポート番号が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：詳細情報

説明

TP1 インバウンド連携機能の RPC 要求受信中に，不正なデータを受信しました。OpenTP1 の設定に誤りがあるか，OpenTP1 ではないクライアントが接続されています。

受信したデータを破棄し，コネクションを切断します。

対処

詳細情報を確認して次の対処をしてください。

header:受信したヘッダの内容（16 進数 12 けた）

不正なクライアントが接続していないか確認してください。不正なクライアントが接続していた場合，クライアントを接続しないように修正してください。

Scheduler direct function is not used.

ユーザサービスネットワーク定義によるスケジューラダイレクト機能を使用していることを確認してください。

dc_rpc_call function is not used.

dc_rpc_call 関数を使用してサービスを呼び出していることを確認してください。

It is not the first request data.

TP1 インバウンドアダプタが受信した RPC 要求電文が，先頭の電文ではなく，途中の電文であった可能性があります。RPC 要求を再度実行してください。

An illegal client is connected.（保守情報）

不正なクライアントが接続していないか確認してください。不正なクライアントが接続していない場合は保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE58356-E

The request data is not supported. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, detail = gg....gg)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：詳細情報

説明

TP1 インバウンド連携機能で RPC 要求受信中にサポートしていないデータを受信しました。

受信した RPC 要求を破棄し，コネクションを切断します。

対処

詳細情報を確認して次の対処をしてください。

The value of the flags argument of the dc_rpc_call function is illegal.

dc_rpc_call 関数の引数 flags に DCNOFLAGS か DCNOFLAGS | DCRPC_TPNOTRAN を指定していることを確認してください。

Version of OpenTP1 is not supported.

OpenTP1 のバージョンがサポートバージョンであることを確認してください。

User data compression function is not supported.

ユーザデータ圧縮機能（システム共通定義の rpc_datacomp オペランドに Y）を使用していないことを確認してください。

TP1/Online Tester is not supported.

OpenTP1 がオンラインテスタを使用していないことを確認してください。

KDJE58357-E

The service group name specified in the request is invalid. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

TP1 インバウンド連携機能で受信した RPC 要求のサービスグループ名が不正です。

TP1 インバウンドアダプタのプロパティ service_group に指定したサービスグループ名か，RPC 要求のサービスグループ名のどちらかに誤りがあります。

受信した RPC 要求を破棄し，コネクションを切断します。

対処

dc_rpc_call 関数の引数 group に指定したサービスグループ名，および TP1 インバウンドアダプタのプロパティ service_group に設定したサービスグループ名が正しいかを確認してください。

dc_rpc_call 関数の引数 group に指定したサービスグループ名が誤っていた場合，問題を取り除いたあと，再度電文を送信し直してください。

リソースアダプタのプロパティに設定したサービスグループ名が誤っていた場合，一度リソースアダプタを停止し，プロパティの値を変更したあと，再度リソースアダプタを開始してください。

なお，サービスグループ名が不正の場合，OpenTP1 は RPC 要求を再送します。そのため，このエラーメッセージは，OpenTP1 から再送された回数分だけ出力されます。

KDJE58358-E

A timeout occurred while the request was being received. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

TP1 インバウンド連携機能で RPC 要求の受信中にタイムアウトが発生しました。

受信中の RPC 要求を破棄し，コネクションを切断します。

対処

通信路や OpenTP1 に問題がないかを確認し，問題を取り除いてください。

また，TP1 インバウンドアダプタのプロパティ rpc_receive_timeout に設定した RPC 要求受信のタイムアウトの値に問題がないかを確認してください。問題があった場合は，一度リソースアダプタを停止し，プロパティの値を変更したあと，再度リソースアダプタを開始してください。

KDJE58359-E

There is not enough space in the buffer to process the request. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

TP1 インバウンド連携機能での RPC 要求の受信に必要なバッファの領域が一時的に不足しています。受信中の RPC 要求を破棄し，コネクションを切断します。

対処

一時的に RPC 要求の処理用の電文組み立てリストが不足しています。再度 RPC 要求を送信し直してください。このメッセージが続けて出力される場合は，電文受信開始から終了までのタイムアウト時間（rpc_receive_timeout）を目安にしばらく時間を空けてから再度 RPC 要求を送信するか，一度リソースアダプタを停止して再度開始してください。

KDJE58360-E

The number of received requests exceeds the waiting schedule queue limit. The request failed. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

TP1 インバウンド連携機能で処理待ちの RPC 要求の数がスケジュールキューのサイズに達しています。新たに受信した RPC 要求を破棄します。

対処

TP1 インバウンドアダプタのプロパティ queue_max_length に設定したスケジュールキューのサイズの設定が適切かどうかを見直してください。

設定値が不適切な場合，一度 J2EE アプリケーションを停止し，プロパティの値を変更したあと，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。

KDJE58361-W

The number of queued requests has reached the warning level. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, rate = dd....dd, current value = ee....ee, max = ff....ff, next warn interval = gg....gg)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

cc....cc：MDB（サービス）のサービス名

dd....dd：現在の使用率

ee....ee：現在の値

ff....ff：最大値

gg....gg：次回警告までの間隔

説明

TP1 インバウンド連携機能のスケジュールキューに滞留中の RPC 要求の割合が警告域に達しています。

対処

TP1 インバウンドアダプタのプロパティ queue_max_length に設定したスケジュールキューのサイズの設定が適切かどうかを見直してください。

また，このメッセージが頻繁に出力される場合，TP1 インバウンドアダプタのプロパティに設定した stay_watch_queue_rate，および stay_watch_check_interval が適切かどうかを見直してください。

設定値が不適切な場合，一度 J2EE アプリケーションを停止し，プロパティの値を変更したあと，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。

KDJE58362-E

The service name specified in the request is invalid. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

TP1 インバウンド連携機能で受信した RPC 要求のサービス名が不正です。次の要因が考えられます。

- MDB（サービス）の ActivationSpec のプロパティ service に指定したサービス名または RPC 要求のサービス名のどちらかに誤りがある。
- J2EE アプリケーション（MDB）が存在しないか，または動作中ではない。

受信した RPC 要求を破棄し，コネクションを切断します。

対処

次の内容を確認してください。

- dc_rpc_call 関数の引数 service に指定したサービス名が正しいことを確認してください。サービス名が誤っていた場合は，問題を取り除いたあと，再度 RPC 要求を送信し直してください。サービス名が正しい場合は，MDB（サービス）が動作しているかを確認してください。
- MDB（サービス）の ActivationSpec のプロパティ service に指定したサービス名が正しいことを確認してください。サービス名が誤っていた場合，一度 J2EE アプリケーションを停止し，サービス名を訂正したあと，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。
- MDB（サービス）が動作していない場合は，J2EE アプリケーションを開始してください。

KDJE58363-E

Transaction linkage could not be started. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

OpenTP1 とのトランザクション連携ができません。

対処

OpenTP1 とのトランザクション連携をする場合は，usrconf.properties（J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル）の ejbserver.distributedtx.XATransaction.enabled キーに true を指定してください。

KDJE58400-E

An attempt to connect with OpenTP1 has failed. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, exception = gg....gg)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名（サービスグループ名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：サービス名（サービス名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：発生した例外の情報

説明

TP1 インバウンド連携機能で受信した RPC 要求の応答を試みましたが，OpenTP1 との接続に失敗しました。

応答を破棄します。

対処

OpenTP1 が正常に稼働しているか，および OpenTP1 と TP1 インバウンドアダプタとの通信路に問題が発生していないかを確認してください。

負荷の集中によるポートの枯渇など，一時的な通信路の問題の場合，応答送信時のリトライによって OpenTP1 との接続に成功する可能性があります。

応答送信時のリトライ間隔（send_retry_interval）およびリトライ回数（send_retry_count）の設定が適切かどうか見直してください。

OpenTP1 および通信路に問題がない場合，TP1 インバウンドアダプタの送信コネクションのタイムアウト時間（connection_timeout）の設定が適切かどうか確認してください。

KDJE58401-E

An error occurred while the RPC response data was being sent to OpenTP1. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, exception = gg....gg)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名（サービスグループ名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：サービス名（サービス名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：発生した例外の情報

説明

TP1 インバウンド連携機能で受信した RPC 要求の応答を試みましたが，電文を送信中にエラーが発生しました。

送信のコネクションを切断し，応答を破棄します。

対処

OpenTP1 とのコネクションが切断された可能性があります。OpenTP1 と TP1 インバウンドアダプタとの通信路に問題がないことを確認してください。問題がない場合，TP1 インバウンドアダプタの送信タイムアウト時間（tcp_send_timeout）の設定が適切かどうかを確認してください。

KDJE58402-W

An attempt to connect with OpenTP1 has failed. The connecting will retry. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, exception = gg....gg, retry count = hh....hh, retry interval = ii....ii)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名（サービスグループ名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：サービス名（サービス名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：発生した例外の情報

hh....hh：リトライする回数

ii....ii：リトライする間隔

説明

TP1 インバウンド連携機能で受信した RPC 要求の応答を試みましたが，OpenTP1 との接続に失敗しました。

リトライします。

対処

OpenTP1 が正常に稼働しているか，および OpenTP1 と TP1 インバウンドアダプタとの通信路に問題が発生していないかを確認してください。

KDJE58403-W

An error occurred while the RPC response data was being sent to OpenTP1. The sending will retry. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, exception = gg....gg, retry count = hh....hh, retry interval = ii....ii)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名（サービスグループ名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

cc....cc：サービス名（サービス名が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：発生した例外の情報

hh....hh：リトライする回数

ii....ii：リトライする間隔

説明

TP1 インバウンド連携機能で受信した RPC 要求の応答を試みましたが，電文を送信中にエラーが発生しました。

リトライします。

対処

OpenTP1 とのコネクションが切断された可能性があります。OpenTP1 と TP1 インバウンドアダプタとの通信路に問題がないかどうかを確認してください。

KDJE58450-I

The service started. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

cc....cc：MDB（サービス）のサービス名

説明

MDB（サービス）を開始しました。

KDJE58452-W

The maximum for the message endpoint instance pool exceeds the number of message processing threads that can be executed at the same time. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, poolsize = dd....dd, threads = ee....ee)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

cc....cc：MDB（サービス）のサービス名

dd....dd：MDB（サービス）のインスタンスプールの最大数

ee....ee：MDB（サービス）呼び出しスレッドの最大数

説明

MDB（サービス）のインスタンスプールの最大数の合計が MDB（サービス）呼び出しスレッドの最大数を超えています。

この状態で動作を続けると，RPC 要求の実行時に MDB（サービス）呼び出しスレッドが割り当てられなくなる場合があります。

対処

「MDB（サービス）呼び出しスレッドの最大数 ≧ MDB（サービス）のインスタンスプールの最大数の総和」となるように設定を変更してください。

KDJE58453-I

The service ended. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：リソースアダプタのサービスグループ名

cc....cc：MDB（サービス）のサービス名

説明

MDB（サービス）を終了しました。

KDJE58455-E

The service was forcibly stopped. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

実行中の MDB（サービス）を強制終了しました。

停止処理を続行します。

対処

実行中の MDB（サービス）を破棄する場合，対処は不要です。MDB（サービス）を実行完了させる場合は，強制終了後に MDB（サービス）を開始して，再度 MDB（サービス）を呼び出してください。

KDJE58456-E

An error occurred while the service was being called. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

終了中の MDB（サービス）が呼び出されました。

対処

MDB（サービス）を実行しない場合は対処不要です。MDB（サービス）を実行したい場合は，終了中の MDB（サービス）の終了後に再開始して再度 MDB（サービス）を呼び出してください。

KDJE58457-E

A timeout occurred during execution of the service. The service will now be forcibly stopped. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

説明

MDB（サービス）の実行中にタイムアウトが発生しました。

対処

タイムアウトの設定値が適切かを見直してください。適切である場合，対処は不要です。

KDJE58459-E

A system exception occurred during execution of the service. (resource adapter = aa....aa, service group = bb....bb, service = cc....cc, client = dd....dd:ee....ee, RootAP CommNo = ff....ff, exception = gg....gg)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：サービスグループ名

cc....cc：サービス名

dd....dd：OpenTP1 の IP アドレス

ee....ee：OpenTP1 の listen ポート番号

ff....ff：ルート AP 情報の CommNo

gg....gg：発生した例外の情報

説明

MDB（サービス）でシステム例外が発生しました。

対処

例外の原因を取り除き，例外が発生しないようにしてください。

KDJE58501-E

A timeout occurred while waiting for a response to a temporary close request. (resource adapter = aa....aa, listen port = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：listen ポート番号

説明

一時クローズ処理の応答待ち状態になってから，一時クローズ応答の最大待ち時間を経過しても一時クローズ応答を受信できませんでした。

該当するコネクションを強制的に切断します。

対処

通信路や OpenTP1 に問題がないか確認し，問題を取り除いてください。

このメッセージの前後に同じコネクションで KDJE58354-E が出力されている場合，OpenTP1 からの電文を受信中に，このタイムアウトを迎えた可能性があります。その場合，一時クローズ応答の最大待ち時間が適切かどうか確認し，問題があれば再設定してください。

KDJE58502-I

A connection to the OpenTP1 has been established. (resource adapter = aa....aa, listen port = bb....bb, client = cc....cc:dd....dd)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：listen ポート番号

cc....cc：OpenTP1 の IP アドレス

dd....dd：OpenTP1 の listen ポート番号（listen ポート番号が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

説明

OpenTP1 とのコネクションを接続しました。

KDJE58503-I

A connection to the OpenTP1 has been disconnected. (resource adapter = aa....aa, listen port = bb....bb, client = cc....cc:dd....dd)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：listen ポート番号

cc....cc：OpenTP1 の IP アドレス

dd....dd：OpenTP1 の listen ポート番号（listen ポート番号が判別できない場合は，半角ハイフン（-）が表示されます）

説明

OpenTP1 とのコネクションが切断しました。

KDJE58550-E

Transaction linkage could not be started. (resource adapter = aa....aa, client = bb....bb:cc....cc, TRNGID = dd....dd)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：OpenTP1 の IP アドレス

cc....cc：OpenTP1 の listen ポート番号

dd....dd：トランザクショングローバル識別子

説明

OpenTP1 とのトランザクション連携ができません。

対処

OpenTP1 とのトランザクション連携をする場合は，usrconf.properties（J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル）の ejbserver.distributedtx.XATransaction.enabled キーに true を指定してください。

KDJE58551-E

An unexpected exception occurred. (resource adapter = aa....aa, client = bb....bb:cc....cc, global transaction ID = dd....dd, method = ee....ee, detail = ff....ff)

aa....aa：リソースアダプタの表示名

bb....bb：OpenTP1 の IP アドレス

cc....cc：OpenTP1 の listen ポート番号

dd....dd：OpenTP1 のグローバルトランザクション ID

ee....ee：メソッド名

ff....ff：詳細情報

説明

予期しない例外が発生しました。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59100-W

An invalid value is specified in the property. (property name = aa....aa, value = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定された文字列

cc....cc：プロパティのデフォルト値

説明

JavaMail が利用するプロパティの値が不正です。プロパティの値としてデフォルト値を利用します。

プロパティ名が mail.smtp.connectiontimeout，mail.smtps.connectiontimeout, mail.pop3.connectiontimeout, mail.smtp.timeout, mail.smtps.timeout, または mail.pop3.timeout の場合，プロパティのデフォルト値には INFINITE を出力します。

対処

プロパティの設定を確認し，適切な値を指定してください。

KDJE59101-E

An attempt to connect to the SMTP server failed. (host = aa....aa, port = bb....bb, connection timeout = cc....cc, message = dd....dd)

aa....aa：指定されたホスト名

bb....bb：指定されたポート番号

cc....cc：コネクション接続までのタイムアウト値

dd....dd：発生した例外の getMessage()の結果

説明

JavaMail は SMTP サーバとの接続に失敗しました。

ユーザによってプロパティ mail.smtp.connectiontimeout または mail.smtps.connectiontimeout が指定されなかった場合，タイムアウト値には-1 を出力します。

対処

ホスト名，ポート番号，およびプロパティ mail.smtp.connectiontimeout または mail.smtps.connectiontimeout の指定値を見直してください。ホスト名，ポート番号，プロパティの指定値に問題がない場合，ネットワークの環境設定を見直してください。

KDJE59102-E

An attempt to disconnect from the SMTP server failed. (host = aa....aa, port = bb....bb, message = cc....cc)

aa....aa：ホスト名

bb....bb：ポート番号

cc....cc：発生した例外の getMessage()の結果

説明

JavaMail は SMTP サーバとのコネクションの切断に失敗しました。

対処

ネットワークの環境設定を見直してください。

KDJE59103-E

An attempt to connect to the POP3 server failed. (host = aa....aa, port = bb....bb, connection timeout = cc....cc, message = dd....dd)

aa....aa：指定されたホスト名

bb....bb：指定されたポート番号

cc....cc：コネクション接続までのタイムアウト値

dd....dd：発生した例外の getMessage()の結果

説明

JavaMail は POP3 サーバとの接続に失敗しました。

ユーザによってプロパティ mail.pop3.connectiontimeout が指定されなかった場合，タイムアウト値には-1 を出力します。

対処

ホスト名，ポート番号，およびプロパティ mail.pop3.connectiontimeout の指定値を見直してください。ホスト名，ポート番号，プロパティの指定値に問題がない場合，ネットワークの環境設定を見直してください。

KDJE59104-E

An attempt to disconnect from the POP3 server failed. (host = aa....aa, port = bb....bb, message = cc....cc)

aa....aa：ホスト名

bb....bb：ポート番号

cc....cc：発生した例外の getMessage()の結果

説明

JavaMail は POP3 サーバとのコネクションの切断に失敗しました。

対処

ネットワークの環境設定を見直してください。

KDJE59105-E

An exception occurred during communication with the SMTP server. (communication processing = aa....aa, timeout = bb....bb, message = cc....cc)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：通信のタイムアウト値

cc....cc：発生した例外の getMessage()の結果

説明

JavaMail と SMTP サーバとの通信中に例外が発生しました。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(1)　SMTP および SMTPS に関するメッセージの場合」を参照してください。

ユーザによってプロパティ mail.smtp.timeout または mail.smtps.timeout が指定されなかった場合，タイムアウト値には-1 を出力します。

対処

タイムアウトが発生した場合は，プロパティ mail.smtp.timeout または mail.smtps.timeout の指定値を見直してください。それ以外の場合は，ネットワークの環境設定を見直してください。

KDJE59106-E

An exception occurred during communication with the POP3 server. (communication processing = aa....aa, timeout = bb....bb, message = cc....cc)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：通信のタイムアウト値

cc....cc：発生した例外の getMessage()の結果

説明

JavaMail と POP3 サーバとの通信中に例外が発生しました。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(2)　POP3 に関するメッセージの場合」を参照してください。

ユーザによってプロパティ mail.pop3.timeout が指定されなかった場合，タイムアウト値には-1 を出力します。

対処

タイムアウトが発生した場合は，プロパティ mail.pop3.timeout の指定値を見直してください。それ以外の場合は，ネットワークの環境設定を見直してください。

KDJE59107-E

While trying to connect with the SMTP server, JavaMail received an abnormal response code. (response = aa....aa, response code = bb....bb)

aa....aa：サーバから渡されたレスポンス

bb....bb：正常終了となるレスポンスコード

説明

SMTP サーバと接続したことを確認する処理で，JavaMail が異常値のレスポンスコードを受け取りました。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスコードを出力します。

対処

SMTP サーバから渡されたレスポンスおよびログと，SMTP サーバのマニュアルを参照して原因を調査し，対策してください。

KDJE59108-E

While trying to communicate with the SMTP server, JavaMail received an abnormal response code. (communication processing = aa....aa, response = bb....bb, response code = cc....cc)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：サーバから渡されたレスポンス

cc....cc：正常終了となるレスポンスコード

説明

SMTP サーバとの通信時に，JavaMail が異常値のレスポンスコードを受け取りました。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスコードを出力します。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(1)　SMTP および SMTPS に関するメッセージの場合」を参照してください。

対処

SMTP サーバから渡されたレスポンスおよびログと，SMTP サーバのマニュアルを参照して原因を調査し，対策してください。

KDJE59109-E

While trying to connect with the POP3 server, JavaMail received an abnormal response code. (response = aa....aa)

aa....aa：サーバから渡されたレスポンス

説明

POP3 サーバと接続したことを確認する処理で，JavaMail が異常値のレスポンスコードを受け取りました。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスコードを出力します。

対処

POP3 サーバから渡されたレスポンスおよびログと，POP3 サーバのマニュアルを参照して原因を調査し，対策してください。

KDJE59110-E

While trying to communicate with the POP3 server, JavaMail received an abnormal response code. (communication processing = aa....aa, response = bb....bb)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：サーバから渡されたレスポンス

説明

POP3 サーバとの通信時に，JavaMail が異常値のレスポンスコードを受け取りました。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスコードを出力します。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(2)　POP3 に関するメッセージの場合」を参照してください。

対処

POP3 サーバから渡されたレスポンスおよびログと，POP3 サーバのマニュアルを参照して原因を調査し，対策してください。

KDJE59111-E

An invalid response was received from the SMTP server. (communication processing = aa....aa, response = bb....bb)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：サーバから渡されたレスポンス

説明

SMTP サーバから RFC 仕様外の不正なレスポンスを受け取りました。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスの先頭行だけを出力します。ただし，レスポンスが存在しない場合は空文字列を表示します。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(1)　SMTP および SMTPS に関するメッセージの場合」を参照してください。

対処

ログおよびトレースの情報を基に対処してください。

KDJE59112-E

An invalid response was received from the POP3 server. (communication processing = aa....aa, response = bb....bb)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：サーバから渡されたレスポンス

説明

POP3 サーバから RFC 仕様外の不正なレスポンスを受け取りました。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスの先頭行だけを出力します。ただし，レスポンスが存在しない場合は空文字列を表示します。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(2)　POP3 に関するメッセージの場合」を参照してください。

対処

ログおよびトレースの情報を基に対処してください。

KDJE59113-E

An argument of a response received from the POP3 server has an invalid format. (communication processing = aa....aa, response = bb....bb)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：サーバから渡されたレスポンス

説明

POP3 サーバから受け取ったレスポンスの引数が不正なフォーマットでした。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスの先頭行だけを出力します。ただし，メール本体受信のコマンド（TOP，RETR）のレスポンスについては，レスポンスコードだけを出力します。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(2)　POP3 に関するメッセージの場合」を参照してください。

対処

ログおよびトレースの情報を基に対処してください。

KDJE59114-E

An argument of a response received from the SMTP server has an invalid format. (communication processing = aa....aa, response = bb....bb)

aa....aa：通信処理を示す文字列

bb....bb：サーバから渡されたレスポンス

説明

SMTP サーバから受け取ったレスポンスの引数が不正なフォーマットでした。

サーバから渡されたレスポンスについては，レスポンスの先頭行だけを出力します。ただし，メール本体のデータ送信完了（¥r¥n.）のレスポンスについては，レスポンスコードだけを出力します。

aa....aa に出力される内容と対応する通信処理については，「7.8(1)　SMTP および SMTPS に関するメッセージの場合」を参照してください。

対処

ログおよびトレースの情報を基に対処してください。

KDJE59200-E

An error occurred in the aa....aa phase, during processing of the EL expression bb....bb for the attribute cc....cc. (detail = dd....dd)

aa....aa：フェーズ ID

bb....bb：EL 式（Expression Langage）

cc....cc：beforePhase，または afterPhase

dd....dd：例外情報

説明

JSP ファイルもしくは Facelets ファイルの<f:view>タグの beforePhase 属性，または afterPhase 属性が原因でエラーが発生しました。

対処

JSP ファイルもしくは Facelets ファイルの<f:view>タグの beforePhase 属性，または afterPhase 属性に設定した EL 式を見直してください。EL 式が参照しているメソッドの実装を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59201-E

An error occurred when actionListener aa....aa was invoked for the component bb....bb. (detail = cc....cc)

aa....aa：EL 式（Expression Langage）

bb....bb：コンポーネント ID

cc....cc：例外情報

説明

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの，<f:commandButton>タグまたは<f:commandLink>タグの actionListener 属性が原因でエラーが発生しました。

対処

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの，<f:commandButton>タグまたは<f:commandLink>タグの actionListener 属性に設定した EL 式を見直してください。EL 式が参照しているメソッドの実装を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59202-E

An error occurred during beforePhase() processing of the aa....aa phase for UIComponent-ClientId=bb....bb. (detail = cc....cc)

aa....aa：フェーズ ID

bb....bb：クライアント ID

cc....cc：例外情報

説明

Faces 設定ファイルに指定した PhaseListener クラスの beforePhase メソッドの処理中にエラーが発生しました。

対処

Faces 設定ファイルに指定した PhaseListener クラスの beforePhase メソッドの実装を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59203-E

An error occurred during afterPhase() processing of the aa....aa phase for UIComponent-ClientId=bb....bb. (detail = cc....cc)

aa....aa：フェーズ ID

bb....bb：クライアント ID

cc....cc：例外情報

説明

Faces 設定ファイルに指定したユーザ定義の PhaseListener クラスの afterPhase メソッドの処理中にエラーが発生しました。

対処

Faces 設定ファイルに指定した PhaseListener クラスの afterPhase メソッドの実装を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59204-E

An error occurred during processing of the aa....aa phase for UIComponent-ClientId=bb....bb. (detail = cc....cc)

aa....aa：フェーズ ID

bb....bb：クライアント ID

cc....cc：例外情報

説明

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの次のタグの属性が原因でエラーが発生しました。

- <f:commandButton>タグ，<f:commandLink>タグの actionListener 属性
- <h:inputHidden>タグ，<inputSecret>タグ，<h:inputText>タグ，<h:inputTextarea>タグ，<h:selectBooleanCheckbox>タグ，<h:selectManyCheckbox>タグ，<h:selectManyListbox>タグ，<h:selectManyMenu>タグ，<h:selectOneListbox>タグ，<h:selectOneMenu>タグ，<h:selectOneRadio>タグの valueChangeListener 属性
- <f:actionListener>タグ，<f:valueChangeListener>タグ，<f:phaseListener>の type 属性
- <f:setPropertyActionListener>タグの value 属性，または type 属性

対処

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの設定を次のように見直してください。

- actionListener 属性に設定した EL 式を見直してください。EL 式が参照しているメソッドの実装を見直してください。
- valueChangeListener 属性に設定した EL 式を見直してください。EL 式が参照しているメソッドの実装を見直してください。
- <f:actionListener>タグ，<f:valueChangeListener>タグ，または<f:phaseListener>タグの type 属性を見直してください。
- <f:setPropertyActionListener>タグの value 属性，または target 属性に設定した EL 式を見直してください。

例外情報を参照し対処してください。

KDJE59205-E

An error occurred when phaseListener was invoked. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの<f:phaseListener>タグに設定した PhaseListener クラスのメソッドでエラーが発生しました。

対処

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの<f:phaseListener>タグに設定した PhaseListener クラスのメソッドの実装を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59206-E

An error occurred during processing of the deployment descriptor for the context aa....aa. (detail = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：例外情報

説明

web.xml ファイルの解析中にエラーが発生しました。

対処

web.xml ファイルの設定を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59207-E

An error occurred during processing of the action expression aa....aa for the component bb....bb. (detail = cc....cc)

aa....aa：EL 式（Expression Langage）

bb....bb：クライアント ID

cc....cc：例外情報

説明

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの，<h:commandButton>タグ，<h:commandLink>タグの action 属性が原因でエラーが発生しました。

対処

JSP ファイルまたは Facelets ファイルの<h:commandButton>タグと<h:commandLink>タグの action 属性に設定した EL 式を見直してください。EL 式が参照しているメソッドの実装を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59208-I

Initialization of the JSF application finished successfully. (context name = aa....aa)

aa....aa：コンテキストルート名

説明

JSF アプリケーションの初期化に成功しました。

KDJE59209-E

An error occurred during initialization of the JSF application. (context name = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：例外情報

説明

JSF アプリケーションの初期化中にエラーが発生しました。

対処

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59210-E

An error occurred during termination of the JSF application. (context name = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：コンテキストルート名

bb....bb：例外情報

説明

JSF アプリケーションの終了処理中にエラーが発生しました。

対処

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59211-E

An error occurred during decoding of the flash data from an incoming cookie. Processing will continue, but the flash is unavailable for this request. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

Flash オブジェクトのデータの Cookie 読み込み処理でエラーが発生しました。

対処

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59212-E

An error occurred during rendering of the response for the component aa....aa. (detail = bb....bb)

aa....aa：クライアント ID

bb....bb：例外情報

説明

Ajax 通信の場合でクライアントへレスポンスを書き込む処理中にエラーが発生しました。

対処

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59213-E

An error occurred during updating of the model phase for the component aa....aa. (detail = bb....bb)

aa....aa：クライアント ID

bb....bb：例外情報

説明

ユーザの入力値を ManagedBean へ設定する処理中にエラーが発生しました。

対処

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59214-E

An error occurred during PreDestroy processing for the ManagedBean aa....aa. (detail = bb....bb)

aa....aa：ManagedBean 名

bb....bb：例外情報

説明

ManagedBean の PreDestroy メソッドの処理中にエラーが発生しました。

対処

ManagedBean の PreDestroy メソッドのシグネチャ，または実装を見直してください。

例外情報を参照して対処してください。

KDJE59215-I

Termination of the JSF application finished successfully. Context name = aa....aa

aa....aa：コンテキストルート名

説明

JSF アプリケーションの終了処理に成功しました。

KDJE59216-W

The specified parameter value is invalid. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：パラメタの値

cc....cc：デフォルト値

説明

コンテキストパラメタに設定した値が不正です。デフォルト値を設定します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59217-W

The specified parameter value is invalid. This parameter setting will be ignored because a default value does not exist. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：パラメタの値

説明

コンテキストパラメタに設定した値が不正です。このコンテキストパラメタの設定を無視します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59218-W

An empty string value is set for the parameter aa....aa. The default value will be used. (default value = bb....bb)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：デフォルト値

説明

コンテキストパラメタに設定した値が空文字です。デフォルト値を設定します

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59219-W

An empty string value is set for the parameter aa....aa. This parameter setting will be ignored because a default value does not exist.

aa....aa：パラメタ名

説明

コンテキストパラメタに設定した値が不正です。このコンテキストパラメタの設定を無視します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59220-W

The specified JNDI parameter value is invalid. The default value will be used. (aa....aa = bb....bb, default value = cc....cc)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：パラメタの値

cc....cc：デフォルト値

説明

JNDI を使用してコンテキストパラメタに設定した値が不正です。デフォルト値を設定します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59221-W

An empty string value is set for the JNDI parameter aa....aa. The default value will be used. (default value = bb....bb)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：デフォルト値

説明

JNDI を使用してコンテキストパラメタに設定した値が空文字です。デフォルト値を設定します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59222-W

The specified resource was not found. The resource will be ignored. (aa....aa = bb....bb)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：デフォルト値

説明

コンテキストパラメタの javax.faces.CONFIG_FILES，または javax.faces.FACELETS_LIBRARIES に存在していないコンフィグファイル名を設定しました。このコンテキストパラメタの設定を無視します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59223-W

An invalid aa....aa is set for the parameter. (bb....bb = cc....cc)

aa....aa：設定値の種類

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：パラメタの値

説明

コンテキストパラメタに設定した値が不正です。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59224-W

The specified parameter value is invalid. aa....aa will be used as the value. (bb....bb = cc....cc)

aa....aa：パラメタに設定される値

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：パラメタの値

説明

コンテキストパラメタに設定した値が不正です。aa....aa を値として設定します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59225-W

An empty string value is set for the parameter aa....aa. bb....bb will be used as the value.

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：パラメタに設定される値

説明

コンテキストパラメタに設定した値が空文字です。aa....aa を値として設定します。

対処

コンテキストパラメタタに正しい値を設定してください。

KDJE59226-W

The specified delimiter is invalid. The first character of the specified value aa....aa will be used as the delimiter. (bb....bb = cc....cc)

aa....aa：パラメタ値の最初の文字

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：パラメタの値

説明

コンテキストパラメタに設定した値が不正です。aa....aa を値として設定します。

対処

コンテキストパラメタに正しい値を設定してください。

KDJE59227-I

A Facelets file was modified. (file name = aa....aa)

aa....aa：変更された Facelets ファイル名

説明

JSF アプリケーションの Facelets ファイルが修正されました。

KDJE59300-I

Application verification started. The beans.xml file will now be searched for in the application aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

説明

アプリケーションの検証を開始しました。アプリケーション aa....aa の beans.xml を検索します。

KDJE59301-I

Verification completed. The beans.xml file was found in the module aa....aa of the application bb....bb.

aa....aa：モジュール名

bb....bb：アプリケーション名

説明

検証が完了しました。アプリケーション bb....bb のモジュール aa....aa の中に beans.xml が見つかりました。

KDJE59302-I

Verification completed. The beans.xml file was not found in the application aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

説明

検証が完了しました。アプリケーション aa....aa の中に beans.xml は見つかりませんでした。

KDJE59303-I

Pre-deployment processing started for the module bb....bb in the CDI application aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：モジュール名

説明

CDI アプリケーション aa....aa のモジュール bb....bb のための，デプロイ前処理を開始しました。

KDJE59304-I

Pre-deployment processing ended for the module bb....bb in the CDI application aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：モジュール名

説明

CDI アプリケーション aa....aa のモジュール bb....bb のための，デプロイ前処理が終了しました。

KDJE59305-I

The CDI application is now being deployed. The application name is aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

説明

CDI アプリケーションのデプロイ中です。アプリケーション名は aa....aa です。

KDJE59306-I

The CDI application aa....aa was successfully deployed.

aa....aa：アプリケーション名

説明

CDI アプリケーション aa....aa のデプロイに成功しました。

KDJE59307-I

The CDI application is now starting. The application name is aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

説明

CDI アプリケーションの開始中です。アプリケーション名は aa....aa です。

KDJE59308-I

The CDI application aa....aa was successfully started.

aa....aa：アプリケーション名

説明

CDI アプリケーション aa....aa の開始に成功しました。

KDJE59309-I

The CDI application is now stopping. The application name is aa....aa.

aa....aa：アプリケーション名

説明

CDI アプリケーションの停止中です。アプリケーション名は aa....aa です。

KDJE59310-I

The CDI application aa....aa was successfully stopped.

aa....aa：アプリケーション名

説明

CDI アプリケーション aa....aa の停止に成功しました。

KDJE59311-E

An exception occurred while verifying the CDI application. (details = aa....aa).

aa....aa：例外の詳細

説明

CDI アプリケーションの検証中に例外が発生しました。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59312-E

An exception occurred during pre-deployment processing of the CDI application. (details = aa....aa)

aa....aa：例外の詳細

説明

CDI アプリケーションのデプロイ前処理中に例外が発生しました。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59313-E

An exception occurred while deploying the CDI application. (details = aa....aa)

aa....aa：例外の詳細

説明

CDI アプリケーションのデプロイ中に例外が発生しました。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59314-E

An exception occurred while starting the CDI application. (details = aa....aa)

aa....aa：例外の詳細

説明

CDI アプリケーションの開始中に例外が発生しました。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59315-E

An exception occurred while stopping the CDI application. (details = aa....aa)

aa....aa：例外の詳細

説明

CDI アプリケーションの停止中に例外が発生しました。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59316-E

Acquisition of an EJB reference failed. (EJB name = aa....aa, JNDI name = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：クラス名

bb....bb：JNDI 名

cc....cc：例外の詳細

説明

EJB のリファレンスの取得に失敗しました。

対処

EJB は，CDI のアノテーションを用いてインジェクションすることはできません。アプリケーションを確認し，CDI のアノテーションで EJB をインジェクションしないように修正してください。

KDJE59317-E

The JNDI name required to acquire an EJB reference could not be acquired. (EJB name = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

EJB のリファレンスを取得するための JNDI 名が取得できませんでした。

対処

EJB は，CDI のアノテーションを用いてインジェクションすることはできません。アプリケーションを確認し，CDI のアノテーションで EJB をインジェクションしないように修正してください。

KDJE59319-E

The transaction status cannot be acquired. (details = aa....aa)

aa....aa：例外の詳細

説明

トランザクションステータスの取得ができません。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59320-E

An instance of the aa....aa class cannot be instantiated via the no-argument constructor. (details = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外の詳細

説明

引数なしのコンストラクタで aa....aa のインスタンス化はできません。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59321-E

The aa....aa class constructor contains an invalid argument. (details = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外の詳細

説明

aa....aa のコンストラクタの引数が不正です。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59322-E

An internal status is invalid.

説明

内部状態が不正です。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59323-E

The BeanManager interface cannot be resolved. (details = aa....aa)

aa....aa：例外の詳細

説明

BeanManager が解決できません。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59325-E

The aa....aa class cannot be loaded. (details = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外の詳細

説明

クラス aa....aa がロードできません。

対処

メッセージログ，および例外ログに出力されている詳細情報を基に，対処可能な場合は対処してください。

要因がわからない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KDJE59326-E

A class was not found while loading the local business interface aa....aa. (details = bb....bb)

aa....aa：名前

bb....bb：例外の詳細

説明

ローカルビジネスインタフェース aa....aa のロード中にクラスが見つかりませんでした。

対処

EJB は，CDI のアノテーションを用いてインジェクションすることはできません。アプリケーションを確認し，CDI のアノテーションで EJB をインジェクションしないように修正してください。

KDJE59328-E

The remove method in the EJB aa....aa class cannot be resolved.

aa....aa：クラス名

説明

EJBaa....aa の remove メソッドが解決できません。

対処

EJB は，CDI のアノテーションを用いてインジェクションすることはできません。アプリケーションを確認し，CDI のアノテーションで EJB をインジェクションしないように修正してください。

KDJE59329-E

A class was not found while loading the remote business interface aa....aa. (details = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：例外の詳細

説明

リモートビジネスインタフェース aa....aa のロード中にクラスが見つかりませんでした。

対処

EJB は，CDI のアノテーションを用いてインジェクションすることはできません。アプリケーションを確認し，CDI のアノテーションで EJB をインジェクションしないように修正してください。

7.6　KDJE90000 から KDJE99999 までのメッセージ

KDJE90000 から KDJE99999 までのメッセージについて説明します。

KDJE90001-E

(aa....aa:bb....bb)cc....cc dd....dd(ee....ee)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行番号

cc....cc：メソッド名

dd....dd：例外クラス名

ee....ee：例外の文字列表現

説明

例外が発生しました。

対処

メッセージの内容を基に，要因を取り除いてください。

KDJE90002-E

The log file aa....aa cannot be opened.

Method = bb....bb, Detailed message = cc....cc

aa....aa：対象ファイル名

bb....bb：トレース共通ライブラリのメソッド名

cc....cc：トレース共通ライブラリの持つ詳細メッセージ

説明

トレース共通ライブラリのログファイル（aa....aa）を開けません。

サブディレクトリ共有モードで動作する EJB クライアントの場合は，ログファイルの排他に失敗している可能性があります。

対処

メッセージの内容を基に要因を取り除いてください。

サブディレクトリ共有モードで動作する EJB クライアントで，ログファイルの排他に失敗している場合は，ejbserver.client.log.lockRetryCount, ejbserver.client.log.lockInterval プロパティを使用して，リトライ間隔およびリトライ回数を大きくしてください。

KDJE90003-E

The aa....aa method of HNTRLib returned an error.

aa....aa：トレース共通ライブラリのメソッド名

説明

トレース共通ライブラリのメソッドがエラーリターンしました。

リソースが不足している可能性があります。

サブディレクトリ共有モードで動作する EJB クライアントの場合は，ログファイルの排他に失敗している可能性があります。

対処

ログ出力先ディレクトリの空きディスク容量やメモリ使用量を確認して，不要なファイルの削除，および不要なプログラムを停止してください。

サブディレクトリ共有モードで動作する EJB クライアントで，ログファイルの排他に失敗している場合は，ejbserver.client.log.lockRetryCount，ejbserver.client.log.lockInterval プロパティを使用して，リトライ間隔およびリトライ回数を大きくしてください。

KDJE90005-W

The default value 2 will be used because the value of filenum property for aa....aa is invalid.

aa....aa：チャネル名

説明

aa....aa 用 filenum プロパティの値が不正なので，デフォルトの 2 を使用します。

対処

usrconf.properties ファイルの対応するチャネルの filenum プロパティの値を見直してください。

KDJE90006-W

The default value 1MB will be used because the value of filesize property for aa....aa is invalid.

aa....aa：チャネル名

説明

aa....aa 用 filesize プロパティの値が不正なので，デフォルトの 1 メガバイトを使用します。

対処

usrconf.properties ファイルの対応するチャネルの filesize プロパティの値を見直してください。

KDJE90009-W

An unknown log level is specified in the property key ejbserver.logger.enabled.*.

説明

usrconf.properties ファイルのプロパティキー ejbserver.logger.enabled.*に，Error，Warning，Information，Debug 以外の値が指定されています。

対処

正しい値を指定してください。

KDJE90010-E

The message was not found in the message resource file. ID = aa....aa

aa....aa：取得できなかったメッセージの ID

説明

リソースから ID で示されるメッセージ（aa....aa）の取得に失敗しました。

対処

保守員に連絡してください。

KDJE90011-E

An exception aa....aa has occurred while outputting an exception log. Detail=bb....bb

aa....aa：発生例外クラス名称

bb....bb：発行元例外クラス名称

説明

例外ログにログを出力する際に例外が発生しました。

対処

例外 aa....aa が発生する原因を取り除いてください。

KDJE90013-E

An attempt to get the path has failed. (path name = aa....aa)

aa....aa：パス名称

説明

パスの取得に失敗しました。

対処

アプリケーションサーバが正しくインストールされているか確認してください。

KDJE90015-E

The aa....aa method of HULALib returned an error.

aa....aa：トレース共通ライブラリのメソッド名称

説明

トレース共通ライブラリのメソッドがエラーリターンしました。

対処

リソースが不足している可能性があります。ログ出力先ディレクトリの空きディスク容量やメモリ使用量を確認し，不要なファイルの削除や不要なプログラムの停止を実行してください。

7.7　KDJE42039-E および KDJE42270-W の詳細情報一覧

ここでは，メッセージ「KDJE42039-E」およびメッセージ「KDJE42270-W」の詳細情報についてコードの順に説明します。

7.7.1　M00001 から M09999 までの詳細情報

M00001

The message-driven bean provider is responsible for providing the message-driven bean class. (ejb-name=aa....aa)

aa....aa：EJB 名

説明

EJB クラスがインタフェースです。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.1

EJB 2.1 #15.7.1

M00002

The message-driven bean class must implement, directly or indirectly, the javax.ejb.MessageDrivenBean interface. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスが javax.ejb.MessageDrivenBean を継承していません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.2

EJB 2.1 #15.7.2

M00003

The message-driven bean class must implement, directly or indirectly, the message listener interface required by the messaging type that it supports. In the case of JMS, this is the javax.jms.MessageListener interface. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスがメッセージ種別がサポートするメッセージリスナー（JMS の場合は javax.jms.MessageListener）を継承していません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

07-50 以前のバージョンで動作していた J2EE アプリケーションで，このエラーが出力された場合には，cjsetappprop コマンドで属性を設定し直してください。MessageDrivenBean 属性ファイルの <messaging-type>タグには javax.jms.MessageListener を指定してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.2

EJB 2.1 #15.7.2

M00004

The message-driven bean class must be defined as public, must not be final, and must not be abstract. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスが public ではありません。

EJB クラスが final です。

EJB クラスが abstract です。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.2

M00005

The message-driven bean class must be defined as public, must not be final, and must not be abstract. The class must be a top level class. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスが public ではありません。

EJB クラスが final です。

EJB クラスが abstract です。

EJB クラスがトップレベルクラスではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.1 #15.7.2

M00006

The message-driven bean class must have a public constructor that takes no arguments. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスが引数なしの public なコンストラクタを持っていません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.2

EJB 2.1 #15.7.2

M00007

The message-driven bean class must not define the finalize method. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスに finalize メソッドが定義されています。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.2

EJB 2.1 #15.7.2

M00008

The message-driven bean class must define one ejbCreate method which has no arguments. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスに引数なしの ejbCreate が定義されていません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.3

EJB 2.1 #15.7.3

M00009

The ejbCreate method of the message-driven bean class must be declared as public. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbCreate が public ではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.3

EJB 2.1 #15.7.3

M00010

The ejbCreate method of the message-driven bean class must not be declared as final or static. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbCreate が final です。

ejbCreate が static です。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.3

EJB 2.1 #15.7.3

M00011

The return type of the ejbCreate method of the message-driven bean class must be void. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbCreate の戻り値の型が void ではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.3

EJB 2.1 #15.7.3

M00012

The throws clause of the ejbCreate method of the message-driven bean class must not define any application exceptions. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbCreate の throws 節にアプリケーション例外が宣言されています。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.3

EJB 2.1 #15.7.3

M00013

The message-driven bean class must define one onMessage method which has a single argument of type javax.jms.Message. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスに javax.jms.Message を引数とする onMessage メソッドが定義されていません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.4

M00014

The onMessage method of the message-driven bean class must be declared as public. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

onMessage メソッドが public ではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.4

M00015

The onMessage method of the message-driven bean class must not be declared as final or static. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

onMessage メソッドが final です。

onMessage メソッドが static です。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.4

M00016

The message-driven bean class must define the message listener methods. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスにメッセージリスナーメソッドが定義されていません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.1 #15.7.4

M00017

The message listener methods of the message-driven bean class must be declared as public. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

メッセージリスナーメソッドが public ではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.1 #15.7.4

M00018

The message listener methods of the message-driven bean class must not be declared as final or static. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

メッセージリスナーメソッドが final です。

メッセージリスナーメソッドが static です。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.1 #15.7.4

M00019

The return type of the onMessage method of the message-driven bean class must be void. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

onMessage メソッドの戻り値の型が void ではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.4

M00020

The throws clause of the onMessage method of the message-driven bean class must not define any application exceptions. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

onMessage メソッドの throws 節にアプリケーション例外が宣言されています。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.4

M00021

The message-driven bean class must define one ejbRemove method which has no arguments. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

EJB クラスに引数なしの ejbRemove が定義されていません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.5

EJB 2.1 #15.7.5

M00022

The ejbRemove method of the message-driven bean class must be declared as public. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbRemove メソッドが public ではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.5

EJB 2.1 #15.7.5

M00023

The ejbRemove method of the message-driven bean class must not be declared as final or static. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbRemove メソッドが final です。

ejbRemove メソッドが static です。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.5

EJB 2.1 #15.7.5

M00024

The return type of the ejbRemove method of the message-driven bean class must be void. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbRemove の戻り値の型が void ではありません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.5

EJB 2.1 #15.7.5

M00025

The throws clause of the ejbRemove method of the message-driven bean class must not define any application exceptions. (ejb-name=aa....aa, ejb-class=bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：EJB クラス

説明

ejbRemove メソッドの throws 節にアプリケーション例外が宣言されています。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.0 #15.7.5

EJB 2.1 #15.7.5

7.7.2　S00001 から S09999 までの詳細情報

S00001

The session Bean Provider is responsible for providing the session bean class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

説明

Session Bean クラスが提供されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.1

S00002

The session Bean Provider is responsible for providing the session bean's client view interface(s). (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

説明

Session Bean の client view が提供されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.1

S00003

The session Bean Provider is responsible for providing the session bean's remote interface and remote home interface, if the session bean provides an EJB 2.x remote client view. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

説明

EJB 2.x remote client view が提供される場合，リモートインタフェースとリモートホームインタフェースが提供されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.1

S00004

The session Bean Provider is responsible for providing the session bean's local interface and local home interface, if the session bean provides an EJB 2.x local client view. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

説明

EJB 2.x local client view が提供される場合，ローカルインタフェースとローカルホームインタフェースが提供されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.1

S00005

The web service client view is not supported. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

説明

web service client view は未サポートです。

対処

アプリケーションサーバは本機能をサポートしていません。

S01000

The EJB 2.x session bean class must implement, directly or indirectly, the javax.ejb.SessionBean interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

EJB 2.x Session Bean クラスは，javax.ejb.SessionBean インタフェースを実装してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.1 #7.11.2

S01001

The session bean class must be defined as public, must not be final, and must not be abstract. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

Session Bean クラスは public として定義されなければなりません。final や abstract で定義しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.2

S01002

The session bean class must be a top level class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

Session Bean クラスは top level クラスでなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.2

S01003

The session bean class must have a public constructor that takes no parameters. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

Session Bean クラスには，パラメタをとらない public コンストラクタがなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.2

S01004

The session bean class must not define the finalize method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

Session Bean クラスには，finalize メソッドを定義しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.2

S01005

The stateless/singleton session bean class must not implement the javax.ejb.SessionSynchronization interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

Stateless Session Bean または Singleton Session Bean は，javax.ejb.SessionSynchronization インタフェースを実装しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.2，EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.3.7

S01006

The Remove annotation can only be specified on the business method of the bean class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Remove アノテーションは，Bean クラスのビジネスメソッドだけに指定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Simplified API #5.1.9

S01007

The stateless/singleton session bean class must not use any Session Synchronization Annotation. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

Stateless Session Bean クラスまたは，Singleton Session Bean クラスには，Session Synchronization のアノテーションを定義しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.3.7

S01008

The AfterBegin Session Synchronization annotation method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@AfterBegin アノテーションを定義するメソッドには，final または static を指定できません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.9.4

S01009

The BeforeCompletion Session Synchronization annotation method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@BeforeCompletion アノテーションを定義するメソッドには，final または static を指定できません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.9.4

S01010

The AfterCompletion Session Synchronization annotation method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@AfterCompletion アノテーションを定義するメソッドには，final または static を指定できません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.9.4

S01011

Any method annotated as a AfterBegin, method must have the signature below: void <METHOD>( ) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

afterBegin メソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>()

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.9.4

S01012

Any method annotated as a BeforeCompletion, method must have the signature below: void <METHOD>( ) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

beforeCompletion メソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>()

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.9.4

S01013

Any method annotated as a AfterCompletion, method must have the signature below: void <METHOD>(boolean committed) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

afterCompletion メソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>(boolean committed)

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.9.4

S01014

The business method annotated as @Asynchronous must have return type void or java.util.concurrent.Future. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@Asynchronous アノテーションを指定したクラスのすべてのビジネスメソッドの戻り値の型は，void か java.util.concurrent.Future でなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.5.2

S01015

The asynchronous method with return type void must not declare any application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@Asynchronous アノテーションを指定した戻り値の型が void のビジネスメソッドには，アプリケーション例外を指定できません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.5.2

S01017

Invalid DependsOn value specified. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, DependsOn = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：DependsOn の指定値

説明

@DependsOn アノテーションの値に不正な値が指定されています。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.8.1

S01018

The processing of @Asynchronous annotation is not supported for Stateful session bean. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

アプリケーションサーバでは，Stateful Session Bean での@Asynchronous アノテーションの使用をサポートしていません。

対処

Stateless Session Bean または Singleton Session Bean で@Asynchronous アノテーションを使用してください。

仕様書情報

なし。

S01019

Singleton session bean in an EJB 2.1 client view is not allowed. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

EJB 2.1 の client view では，Singleton Session Bean を使用できません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #3.6

S01020

Asynchronous annotation in an EJB 2.1 client view is not supported. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

説明

EJB 2.1 の client view では，@Asynchronous アノテーションをサポートしていません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #4.5.1

S03000

The same business interface cannot be both a local and a remote business interface of the bean. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interface = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インタフェース

説明

同じビジネスインタフェースを，ローカルとリモートの両方のビジネスインタフェースとして指定することはできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.6

S03001

The session bean's business interface must not extend the javax.ejb.EJBObject or javax.ejb.EJBLocalObject interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, business-local = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルビジネスインタフェース

説明

ビジネスインタフェースは，javax.ejb.EJBObject または javax.ejb.EJBLocalObject インタフェースを継承しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.6

S03101

The business method names of the session bean's class can be arbitrary, but they must not start with "ejb". (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッド名は「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S03102

The business method of the session bean's class must be declared as public. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは public として宣言しなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S03103

The business method of the session bean's class must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S03104

The enterprise bean should not throw the java.rmi.RemoteException from a business method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

java.rmi.RemoteException をビジネスメソッドからスローしないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S04001

The session bean's business interface must not extend the javax.ejb.EJBObject or javax.ejb.EJBLocalObject interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, business-remote = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートビジネスインタフェース

説明

ビジネスインタフェースは，javax.ejb.EJBObject または javax.ejb.EJBLocalObject インタフェースを継承しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.6

S04002

The throws clause of a method in the session bean's remote business interface that does not extend java.rmi.Remote should not include the java.rmi.RemoteException. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, business-remote = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートビジネスインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

java.rmi.Remote を継承しないリモートビジネスインタフェースのメソッドの throws 節は，java.rmi.RemoteException を含めません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.6

S04003

The session bean's remote business interface methods must not expose local interface types, timers or timer handles as arguments or results. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, business-remote = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートビジネスインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

リモートビジネスインタフェースのメソッドは，引数または結果として，ローカルインタフェースの型，タイマーまたはタイマーハンドルを公開しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.6

S04101

The business method names of the session bean's class can be arbitrary, but they must not start with "ejb". (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッド名は「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S04102

The business method of the session bean's class must be declared as public. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは public として宣言しなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S04103

The business method of the session bean's class must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S04104

The enterprise bean should not throw the java.rmi.RemoteException from a business method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

java.rmi.RemoteException をビジネスメソッドからスローしないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S05000

All the exceptions defined in the throws clause of the matching method of the session bean class must be defined in the throws clause of the method of the remote interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, remote = dd....dd, method =ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：リモートインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

リモートインタフェースに定義されたメソッドに対応する Session Bean クラスのメソッドの throws 節に定義された例外は，リモートインタフェースのメソッドの throws 節に定義されていなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.7

S05001

The session bean's remote interface must extend the javax.ejb.EJBObject interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, remote = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートインタフェース

説明

リモートインタフェースは javax.ejb.EJBObject インタフェースを継承してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.7

S05002

The throws clause of a method of the session bean's remote interface must include java.rmi.RemoteException. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, remote = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

リモートインタフェースで定義されたメソッドの throws 節は java.rmi.RemoteException を含まなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.7

S05003

For each method defined in the session bean's remote interface, there must be a matching method in the session bean's class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, remote = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：リモートインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

リモートインタフェースで定義された各メソッドについては Session Bean クラスに対応するメソッドがなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.7

S05004

The session bean's remote interface methods must not expose local interface types, local home interface types, timers or timer handles as arguments or results. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, remote = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

リモートインタフェースのメソッドは，引数または結果として，ローカルインタフェースの型，ローカルホームインタフェースの型，タイマーまたはタイマーハンドルを公開しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.7

S05101

The business method names of the session bean's class can be arbitrary, but they must not start with "ejb". (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッド名は「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S05102

The business method of the session bean's class must be declared as public. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは public として宣言されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S05103

The business method of the session bean's class must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S06000

Each create method must match one of the ejbCreate<METHOD> methods defined in the session bean class. The matching ejbCreate<METHOD> method must have the same number and types of arguments. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：リモートホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Session Bean の各 create メソッドは, Session Bean クラスで定義される ejbCreate<METHOD>メソッドのうちの一つに対応してください。対応する ejbCreate<METHOD>メソッドは，同じ数と型の引数を持たなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.1 #7.11.6

S06001

The session bean's remote home interface must extend the javax.ejb.EJBHome interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, home = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートホームインタフェース

説明

リモートホームインタフェースは javax.ejb.EJBHome インタフェースを継承してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06002

The throws clause of a method of the session bean's remote home interface must include java.rmi.RemoteException. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, home = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートホームインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

リモートインタフェースで定義されたメソッドの throws 節は java.rmi.RemoteException を含まなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06003

The stateless session bean's remote home interface must define exactly one create method with no arguments. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, home = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートホームインタフェース

説明

Stateless Session Bean のリモートホームインタフェースは，引数なしで一つの create メソッドを定義してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06004

The stateful session bean's remote home interface must define one or more create<METHOD> methods. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, home = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートホームインタフェース

説明

Stateful Session Bean のリモートホームインタフェースは，一つ以上の create<METHOD>メソッドを定義してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06005

Each create method of a stateful session bean must match one of the Init methods or ejbCreate<METHOD> methods defined in the session bean class. The matching Init method or ejbCreate<METHOD> method must have the same number and types of arguments. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：リモートホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Stateful Session Bean の各 create メソッドは，Session Bean クラスで定義される Init メソッドまたは ejbCreate<METHOD>メソッドのうちの一つに対応してください。対応する Init メソッドまたは ejbCreate<METHOD>メソッドは，同じ数と型の引数を持たなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06006

The return type for a create<METHOD> method defined in the session bean's remote home interface must be the session bean's remote interface type. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, home = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートホームインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

create<METHOD>メソッドの戻り値の型は，Session Bean のリモートインタフェースの型でなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06007

All the exceptions defined in the throws clause of an ejbCreate<METHOD> method of the session bean class must be defined in the throws clause of the matching create<METHOD> method of the remote home interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：リモートホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Session Bean クラスの ejbCreate<METHOD>メソッドの throws 節に定義された例外は，リモートホームインタフェースの対応する create<METHOD>メソッドの throws 節に定義されていなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06008

The throws clause of a create<METHOD> method of the session bean's remote home interface must include javax.ejb.CreateException. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, home = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：リモートホームインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

リモートホームインタフェースで定義されたメソッドの throws 節は javax.ejb.CreateException を含まなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.8

S06009

If the stateless session bean has an ejbCreate method, the PostConstruct annotation (or deployment descriptor metadata) can only be applied to the bean's ejbCreate method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：リモートホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Stateless Session Bean に ejbCreate メソッドがある場合，PostConstruct アノテーションは，ejbCreate メソッドだけに設定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.3.10.2

S06010

The value element of the Init annotation must be specified when the Init annotation is used in association with an adapted home interface of a stateful session bean that has more than one create<METHOD> method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：リモートホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Init アノテーションが複数の create<METHOD>メソッドを持つ Stateful Session Bean のホームインタフェースに関して使われる場合，Init アノテーションの value 要素は指定しなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Simplified API #10.1.2.1

S06101

The ejbCreate<METHOD> method of the session bean's class must be declared as public. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ejbCreate<METHOD>メソッドは public として宣言されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.4

S06102

The ejbCreate<METHOD> method of the session bean's class must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ejbCreate<METHOD>メソッドは final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.4

S06103

The return type for the ejbCreate<METHOD> method of the session bean's class must be void. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ejbCreate<METHOD>メソッドの戻り値の型は void でなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.4

S06201

The result type for the Init method must be void. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Init メソッドの戻り値の型は void でなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Simplified API #10.1.2.1

S07000

All the exceptions defined in the throws clause of the matching method of the session bean class must be defined in the throws clause of the method of the local interface.. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, local = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：ローカルインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

ローカルインタフェースに定義されたメソッドに対応する Session Bean クラスのメソッドの throws 節に定義された例外は，ローカルインタフェースのメソッドの throws 節に定義されていなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.9

S07001

The session bean's local interface must extend the javax.ejb.EJBLocalObject interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルインタフェース

説明

ローカルインタフェースは javax.ejb.EJBLocalObject インタフェースを継承してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.9

S07002

The throws clause of a method defined in the session bean's local interface must not include the java.rmi.RemoteException. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

ローカルインタフェースで定義されたメソッドの throws 節は，java.rmi.RemoteException を含めません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.9

S07003

For each method defined in the session bean's local interface, there must be a matching method in the session bean's class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, local = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：ローカルインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

ローカルインタフェースで定義された各メソッドについては，Session Bean クラスに対応するメソッドがなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.9

S07101

The business method names of the session bean's class can be arbitrary, but they must not start with "ejb". (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッド名は「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S07102

The business method of the session bean's class must be declared as public. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは public として宣言されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S07103

The business method of the session bean's class must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ビジネスメソッドは final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.5

S08000

Each create method must match one of the ejbCreate<METHOD> methods defined in the session bean class. The matching ejbCreate<METHOD> method must have the same number and types of arguments. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, local-home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：ローカルホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Session Bean の各 create メソッドは, Session Bean クラスで定義される ejbCreate<METHOD>メソッドのうちの一つに対応してください。対応する ejbCreate<METHOD>メソッドは，同じ数と型の引数を持たなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 2.1 #7.11.8

S08001

The session bean's local home interface must extend the javax.ejb.EJBLocalHome interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local-home = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルホームインタフェース

説明

ローカルホームインタフェースは javax.ejb.EJBLocalHome インタフェースを継承してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08002

The throws clause of a method in the session bean's local home interface must not include the java.rmi.RemoteException. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local-home = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルホームインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

ローカルホームインタフェースで定義されたメソッドの throws 節は，java.rmi.RemoteException を含めません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08003

The stateless session bean's local home interface must define exactly one create method with no arguments. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local-home = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルホームインタフェース

説明

Stateless Session Bean のローカルホームインタフェースは，引数なしで一つの create メソッドを定義してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08004

The stateful session bean's local home interface must define one or more create<METHOD> methods. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local-home = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルホームインタフェース

説明

Stateful Session Bean のローカルホームインタフェースは，一つ以上の create<METHOD>メソッドを定義してください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08005

Each create method of a stateful session bean must match one of the Init methods or ejbCreate<METHOD> methods defined in the session bean class. The matching Init method or

ejbCreate<METHOD> method must have the same number and types of arguments. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, local-home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：ローカルホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Stateful Session Bean の各 create メソッドは，Session Bean クラスで定義される Init メソッドまたは ejbCreate<METHOD>メソッドのうちの一つに対応してください。対応する Init メソッドまたは ejbCreate<METHOD>メソッドは，同じ数と型の引数を持たなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08006

The return type for a create<METHOD> method defined in the session bean's local home interface must be the session bean's local interface type. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local-home = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルホームインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

create<METHOD>メソッドの戻り値の型は，Session Bean のローカルインタフェースの型でなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08007

All the exceptions defined in the throws clause of an ejbCreate<METHOD> method of the session bean class must be defined in the throws clause of the matching create<METHOD> method of the local home interface. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, local-home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：ローカルホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Session Bean クラスの ejbCreate<METHOD>メソッドの throws 節に定義された例外は，ローカルホームインタフェースの対応する create<METHOD>メソッドの throws 節に定義されていなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08008

The throws clause of a create<METHOD> method of the session bean's local home interface must include javax.ejb.CreateException. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, local-home = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：ローカルホームインタフェース

dd....dd：メソッド

説明

ローカルホームインタフェースで定義されたメソッドの throws 節は javax.ejb.CreateException を含まなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.10

S08009

If the stateless session bean has an ejbCreate method, the PostConstruct annotation (or deployment descriptor metadata) can only be applied to the bean's ejbCreate method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, local-home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：ローカルホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Stateless Session Bean に ejbCreate メソッドがある場合，PostConstruct アノテーションは，ejbCreate メソッドだけに設定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.3.10.2

S08010

The value element of the Init annotation must be specified when the Init annotation is used in association with an adapted home interface of a stateful session bean that has more than one create<METHOD> method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, local-home = dd....dd, method = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：ローカルホームインタフェース

ee....ee：メソッド

説明

Init アノテーションが複数の create<METHOD>メソッドを持つ Stateful Session Bean のホームインタフェースに関して使われる場合，Init アノテーションの value 要素は指定しなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Simplified API #10.1.2.1

S08101

The ejbCreate<METHOD> method of the session bean's class must be declared as public. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ejbCreate<METHOD>メソッドは public として宣言されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.4

S08102

The ejbCreate<METHOD> method of the session bean's class must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ejbCreate<METHOD>メソッドは final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.4

S08103

The return type for the ejbCreate<METHOD> method of the session bean's class must be void. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

ejbCreate<METHOD>メソッドの戻り値の型は void でなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.4

S08201

The result type for the Init method must be void. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Init メソッドの戻り値の型は void でなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Simplified API #10.1.2.1

7.7.3　S70001 から S79999 までの詳細情報

S70111

An AroundInvoke method must have the following signature: Object <METHOD>(InvocationContext) throws Exception (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

AroundInvoke メソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

Object <METHOD>(InvocationContext) throws Exception

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.3

S70112

An AroundInvoke method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

AroundInvoke メソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.3

S70113

Only one AroundInvoke method may be present on a given class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：クラス名

説明

AroundInvoke メソッドは，提供されたクラスに一つだけ指定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.3

S70114

An AroundInvoke method cannot be a business method of the bean class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

AroundInvoke メソッドは，Bean クラスのビジネスメソッドとして指定できません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.3

S70120

The method names of PostConstruct lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbCreate. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbCreate を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70121

The PostConstruct lifecycle callback interceptor method defined on a bean class have the following signature: void <METHOD>() (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Bean クラス上で定義された PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>()

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70122

The PostConstruct lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70123

The PostConstruct lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70124

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PostConstruct lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PostConstruct ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70130

The method names of PreDestroy lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbRemove. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbRemove を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70131

The PreDestroy lifecycle callback interceptor method defined on a bean class have the following signature: void <METHOD>() (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Bean クラス上で定義された PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>()

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70132

The PreDestroy lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70133

The PreDestroy lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70134

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PreDestroy lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PreDestroy ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70135

If the session bean implements the SessionBean interface, the PreDestroy annotation can only be applied to the ejbRemove method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Session Bean が SessionBean インタフェースを実装する場合，PreDestroy アノテーションは，ejbRemove メソッドだけに指定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.3.5

S70140

The method names of PostActivate lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbActivate. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbActivate を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70141

The PostActivate lifecycle callback interceptor method defined on a bean class have the following signature: void <METHOD>() (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Bean クラス上で定義された PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは, 次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>()

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70142

The PostActivate lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70143

The PostActivate lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは, アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70144

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PostActivate lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PostActivate ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70145

If the session bean implements the SessionBean interface, the PostActivate annotation can only be applied to the ejbActivate method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Session Bean が SessionBean インタフェースを実装する場合，PostActivate アノテーションは，ejbActivate メソッドだけに指定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.3.5

S70150

The method names of PrePassivate lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbPassivate. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbPassivate を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70151

The PrePassivate lifecycle callback interceptor method defined on a bean class have the following signature: void <METHOD>() (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Bean クラス上で定義された PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>()

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70152

The PrePassivate lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70153

The PrePassivate lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70154

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PrePassivate lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PrePassivate ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70155

If the session bean implements the SessionBean interface, the PrePassivate annotation can only be applied to the ejbPassivate method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Session Bean が SessionBean インタフェースを実装する場合，PrePassivate アノテーションは，ejbPassivate メソッドだけに指定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.3.5

S70201

An interceptor class must be distinct from the bean class itself. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

説明

インターセプタクラスは Bean クラスとは別のクラスでなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.1

S70202

An interceptor class must have a public no-arg constructor. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

説明

インターセプタクラスは引数なしの public なコンストラクタを持たなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.1

S70211

An AroundInvoke method must have the following signature: Object <METHOD>(InvocationContext) throws Exception (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

AroundInvoke メソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

Object <METHOD>(InvocationContext) throws Exception

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.3

S70212

An AroundInvoke method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

AroundInvoke メソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.3

S70213

Only one AroundInvoke method may be present on a given class. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：クラス名

説明

AroundInvoke メソッドは，提供されたクラスに一つだけ指定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.3

S70220

The method names of PostConstruct lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbCreate. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbCreate を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70221

The PostConstruct lifecycle callback interceptor method defined on an interceptor class have the following signature: void <METHOD>(InvocationContext) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

インターセプタクラス上で定義された PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD> (InvocationContext)

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70222

The PostConstruct lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70223

The PostConstruct lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70224

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PostConstruct lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PostConstruct ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70225

If the PostConstruct lifecycle callback interceptor method is the ejbCreate method, that callback methods must be implemented on the bean class itself (or on its superclasses). (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostConstruct ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドが ejbCreate メソッドである場合，そのコールバックメソッドは Bean クラス上で（またはそのスーパークラス上で）実装されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70230

The method names of PreDestroy lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbRemove. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbRemove を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70231

The PreDestroy lifecycle callback interceptor method defined on an interceptor class have the following signature: void <METHOD>(InvocationContext) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

インターセプタクラス上で定義された PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD> (InvocationContext)

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70232

The PreDestroy lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70233

The PreDestroy lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70234

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PreDestroy lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PreDestroy ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70235

If the PreDestroy lifecycle callback interceptor method is the ejbRemove method, that callback methods must be implemented on the bean class itself (or on its superclasses). (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PreDestroy ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドが ejbRemove メソッドである場合，そのコールバックメソッドは Bean クラス上で（またはそのスーパークラス上で）実装されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70240

The method names of PostActivate lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbActivate. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbActivate を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70241

The PostActivate lifecycle callback interceptor method defined on an interceptor class have the following signature: void <METHOD>(InvocationContext) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

インターセプタクラス上で定義された PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD> (InvocationContext)

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70242

The PostActivate lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70243

The PostActivate lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは, アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70244

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PostActivate lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PostActivate ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70245

If the PostActivate lifecycle callback interceptor method is the ejbActivate method, that callback methods must be implemented on the bean class itself (or on its superclasses). (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PostActivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドが ejbActivate メソッドである場合，そのコールバックメソッドは Bean クラス上で（またはそのスーパークラス上で）実装されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70250

The method names of PrePassivate lifecycle callback interceptor method must not start with "ejb" except ejbPassivate. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドのメソッド名は，ejbPassivate を除いて「ejb」から始めないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

S70251

The PrePassivate lifecycle callback interceptor method defined on an interceptor class have the following signature: void <METHOD>(InvocationContext) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

インターセプタクラス上で定義された PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD> (InvocationContext)

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70252

The PrePassivate lifecycle callback interceptor method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70253

The PrePassivate lifecycle callback interceptor method may not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドは, アプリケーション例外をスローできません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4.2

S70254

A given class may not have more than one lifecycle callback interceptor method for the PrePassivate lifecycle event. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, class = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：クラス名

説明

提供されたクラスには，PrePassivate ライフサイクルイベントのために複数のライフサイクルコールバックインターセプタメソッドを持てません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #12.4

S70255

If the PrePassivate lifecycle callback interceptor method is the ejbPassivate method, that callback methods must be implemented on the bean class itself (or on its superclasses). (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, interceptor-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：インターセプタクラス

dd....dd：メソッド

説明

PrePassivate ライフサイクルコールバックインターセプタメソッドが ejbPassivate メソッドである場合，そのコールバックメソッドは Bean クラス上で（またはそのスーパークラス上で）実装されなければなりません。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #4.6.3

7.7.4　S80001 から S89999 までの詳細情報

S80001

If the bean implements the TimedObject interface, the Timeout annotation or timeout-method deployment descriptor element can only be used to specify the ejbTimeout method. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Bean が TimedObject interface を実装する場合，Timeout アノテーションまたは deployment descriptor の timeout-method 要素は，ejbTimeout メソッドだけに指定できます。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #18.2.2

S80002

Any method annotated as a Timeout method (or designated in the deployment descriptor as such) must have the signature below: void <METHOD>(Timer timer) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Timeout アノテーションを付加，もしくは deployment descriptor によって指定されたメソッドは，次に示すシグネチャを指定してください。

void <METHOD>(Timer timer)

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #18.2.2

S80003

Timeout callback methods must not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

タイムアウトコールバックメソッドは，アプリケーション例外をスローしないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #18.2.2

S80004

A Timeout method must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Timeout メソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.0 Core Contracts and Requirements #18.2.2

S80005

Automatic timer related @Schedule attributes must not be incorrect. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd, cause = ee....ee)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

ee....ee：原因

説明

EJB タイマを自動生成する@Schedule アノテーションの属性が不正です。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #18.2.1

S80006

Automatic timeout methods must have either of the following two signatures below: void <METHOD>() OR void <METHOD>(Timer timer) (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@Schedule アノテーションで自動生成された EJB タイマのタイムアウトメソッドは次に示すシグネチャのどちらかを指定してください。

- void <METHOD>()
- void <METHOD>(Timer timer)

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #18.2.5.3

S80007

Automatic timeout methods must not throw application exceptions. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@Schedule アノテーションで自動生成された EJB タイマのタイムアウトメソッドは，アプリケーション例外をスローしないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #18.2.5.3

S80008

Automatic timeout methods must not be declared as final or static. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

@Schedule アノテーションで自動生成された EJB タイマのタイムアウトメソッドは，final または static として宣言しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #18.2.5.3

S80009

A stateful session bean can not define automatic timeout methods. (test name = aa....aa, ejb-name = bb....bb, ejb-class = cc....cc, method = dd....dd)

aa....aa：テスト名

bb....bb：EJB 名

cc....cc：EJB クラス

dd....dd：メソッド

説明

Stateful Session Bean に，@Schedule アノテーションで自動生成された EJB タイマのタイムアウトメソッドを定義しないでください。

対処

アプリケーションを仕様書に従って修正してください。

仕様書情報

EJB 3.1 Core Contracts and Requirements #18.2

7.7.5　Z00001 から Z09999 までの詳細情報

Z00001

The enterprise bean must define specified interfaces and classes on the deployment descriptor. (ejb-name = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：例外情報

説明

EJB 仕様チェック処理で ClassNotFoundException が発生しました。

対処

EJB の deployment descriptor に記述されたクラス名を確認してください。

Z00002

Container must set the legal security policy for deploying enterprise beans. (ejb-name = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：例外情報

説明

セキュリティポリシーが不正です。

対処

セキュリティポリシーを修正してください。

Z00003

The enterprise bean provider must provide session beans, entity beans and/or message-driven beans. (ejb-name = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：例外情報

説明

deployment descriptor の状態が不正です。

対処

システム管理者に連絡してください。

Z00004

Container has caught unexpected exception. (ejb-name = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：例外情報

説明

EJB 仕様チェック処理中に予期しない例外が発生しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

Z00005

The enterprise bean must define specified methods on the deployment descriptor. (ejb-name = aa....aa, exception = bb....bb)

aa....aa：EJB 名

bb....bb：例外情報

説明

EJB 仕様チェック処理で NoSuchMethodException が発生しました。

対処

EJB の deployment descriptor に記述されたメソッド名を確認してください。

Z00006

The specified test name is invalid. (exception = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

テスト名が誤っています。

対処

テスト項目リストに記述されているテスト名を修正してください。

7.8　通信処理を示す文字列と通信処理の対応

メッセージ中に出力される通信処理を示す文字列と通信処理の対応について説明します。

(1)　SMTP および SMTPS に関するメッセージの場合

SMTP および SMTPS に関するメッセージの場合，メッセージ中に出力される通信処理を示す文字列と通信処理の対応は，次の表に示すとおりです。

項番	通信処理を示す文字列	通信処理
1	−	コネクション取得
2	connect-mail-server	接続時のサーバレスポンス取得
3	EHLO コマンド引数	EHLO コマンド発行
4	HELO コマンド引数	HELO コマンド発行
5	AUTH LOGIN	AUTH コマンド発行 (引数に LOGIN)
6	AUTH PLAIN	AUTH コマンド発行 (引数に PLAIN)
7	AUTH DIGEST-MD5	AUTH コマンド発行 (引数に DIGEST-MD5)
8	SEND USER	ユーザ名の送信
9	SEND PASS	パスワードの送信
10	SEND USER PASS	ユーザ名とパスワードの送信
11	AUTH END	認証の完了通知
12	QUIT	QUIT コマンド発行
13	MAIL コマンド引数	MAIL コマンド発行
14	RCPT コマンド引数	RCPT コマンド発行
15	RSET	RSET コマンド発行
16	NOOP	NOOP コマンド発行
17	DATA	DATA コマンド発行
18	SEND MAIL	メール本体のデータ送信
19	.	メール本文送信終了通知
20	STARTTLS	STARTTLS コマンド発行

(2)　POP3 に関するメッセージの場合

POP3 に関するメッセージの場合，メッセージ中に出力される通信処理を示す文字列と通信処理の対応は，次の表に示すとおりです。

項番	通信処理を示す文字列	通信処理
1	−	コネクション取得
2	connect-mail-server	接続時のサーバレスポンス取得
3	USER	USER コマンド発行
4	PASS	PASS コマンド発行
5	QUIT	QUIT コマンド発行
6	STAT	STAT コマンド発行
7	LIST コマンド引数	LIST コマンド発行
8	UIDL コマンド引数	UIDL コマンド発行
9	RETR コマンド引数	RETR コマンド発行
10	TOP コマンド引数	TOP コマンド発行
11	DELE コマンド引数	DELE コマンド発行
12	NOOP	NOOP コマンド発行
13	RSET	RSET コマンド発行
14	CAPA	CAPA コマンド発行

8 KDJJ（Component Container が出力するメッセージ）

この章では，Component Container が出力するメッセージのうち KDJJ で始まるメッセージについて説明します。

8.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

XXXXnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

XXXXnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

XXXX

Component Container が出力するメッセージのプリフィックスを KDJJ で示します。

nnnnn

Component Container で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

Component Container が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した Component Container の動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

8.2　KDJJ10000 から KDJJ19999 までのメッセージ

KDJJ00000 から KDJJ19999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJJ10002-E

The provider class, aa....aa, could not be instantiated. Processing will continue but the class will not be utilized

aa....aa：プロバイダのクラス名

説明

プロバイダをインスタンス化できませんでした。プロバイダは利用できません。

対処

表示されている情報を参照して対処してください。また，ほかのエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は，そのメッセージの内容に従って対処してください。

KDJJ10003-E

A message body reader for the type, class aa....aa, could not be found

aa....aa：受信したエンティティボディに対応する Java 型

説明

- **リソース側**

  受信したエンティティボディを読み込む MessageBodyReader が見つかりませんでした。Web リソースのメソッドの Consumes アノテーションにサポートされていない MIME メディアタイプを指定しているか，または受信した HTTP メッセージの Content-Type HTTP ヘッダにサポートされていない MIME メディアタイプが指定されています。

- **クライアント側**

  受信したエンティティボディを読み込む MessageBodyReader が見つかりませんでした。受信した HTTP メッセージの Content-Type HTTP ヘッダにサポートされていない MIME メディアタイプが指定されています。

対処

Web リソースのメソッドの Consumes アノテーションにはサポートされている MIME メディアタイプを指定してください。HTTP クライアントまたは Web リソースがサポートされていない MIME メディアタイプのメッセージを送信していないか確認してください。

KDJJ10005-E

The class aa....aa could not be found. This class is ignored.

aa....aa：指定されたクラス名

説明

web.xml のサーブレット初期化パラメタ com.sun.jersey.spi.container.ContainerResponseFilters と com.sun.jersey.spi.container.ContainerRequestFilters の両方，またはどちらかに指定されたクラスが見つかりませんでした。指定されたクラスは無視されました。

対処

サーブレット初期化パラメタ com.sun.jersey.spi.container.ContainerResponseFilters と com.sun.jersey.spi.container.ContainerRequestFilters には，com.cosminexus.jersey.api.container.filter.LoggingFilter を指定してください。

KDJJ10006-E

The following errors and warnings have been detected with resource and/or provider classes: aa....aa

aa....aa：サブメッセージのリスト

説明

リソースクラスとプロバイダの両方，またはそのどちらかを初期化するときに，エラーと警告の両方，またはそのどちらかが検出されました。

対処

表示されたサブメッセージを参照して問題を解決してください。サブメッセージの例については，「8.5　サブメッセージ」を参照してください。「8.5　サブメッセージ」にないサブメッセージが表示された場合は，その内容に従って原因を判定し，解決してください。

KDJJ10009-E

Error processing resource method, aa....aa, for ResourceMethodDispatchProvider, bb....bb.

aa....aa：メソッド名

bb....bb：JAX-RS 機能で使用される ResourceMethodDispatchProvider のクラス名

説明

リソースメソッドの処理でエラーが発生しました。リソースメソッドまたはサブリソースメソッドの DefaultValue でアノテートされたパラメタへのインジェクションで，例外がスローされました。

対処

詳細情報を参照して対処してください。また，ほかのエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は，そのメッセージの内容に従って対処してください。

KDJJ10010-E

The RuntimeException could not be mapped to a response, re-throwing to the HTTP container

説明

ランタイム例外が HTTP レスポンスにマッピングされることなく，Web コンテナにリスローされました。

対処

例外ログを参照して，ランタイム例外の要因を取り除いてください。

KDJJ10017-E

The exception contained within MappableContainerException could not be mapped to a response, re-throwing to the HTTP container

説明

チェック済み例外が HTTP レスポンスにマッピングされることなく，Web コンテナにリスローされました。

対処

例外ログを参照して，ランタイム例外の要因を取り除いてください。

KDJJ10018-E

Mapped exception to response: aa....aa bb....bb

aa....aa：HTTP ヘッダのステータスコード

bb....bb：ステータス文字列

説明

Web リソースの呼び出し中に WebApplicationException が発生しました。
WebApplicationException は，WebApplicationException が持つ応答情報に基づいて HTTP レスポンスにマッピングされました。

対処

表示されている情報を参照して対処してください。また，ほかのエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は，そのメッセージの内容に従って対処してください。

KDJJ10019-E

Mapped exception to response: aa....aa

aa....aa：HTTP ヘッダのステータスコード

説明

Web リソースの呼び出し中に WebApplicationException が発生しました。
WebApplicationException は，WebApplicationException が持つ応答情報に基づいて HTTP レスポンスにマッピングされました。

対処

表示されている情報を参照して対処してください。また，ほかのエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は，そのメッセージの内容に従って対処してください。

KDJJ10020-E

The ResourceConfig instance does not contain any root resource classes.

説明

Web アプリケーション（WAR ファイル）に有効なルートリソースクラスが見つかりませんでした。
WAR ファイルにルートリソースクラスが一つも含まれていないか，web.xml ファイルのサーブレット初期化パラメタ com.sun.jersey.config.property.packages の指定に誤りがあります。

対処

次の項目を確認してください。

- ルートリソースクラスが WAR ファイルに正しく含まれているか
  ルートリソースクラスは WAR ファイルの¥WEB-INF¥lib，¥WEB-INF¥classes の両方，またはそのどちらかに配置する必要があります。
- 適切なパッケージ名が web.xml のサーブレット初期化パラメタ com.sun.jersey.config.property.packages に記述されているか

KDJJ10024-E

A message body reader for Java class aa....aa, and Java type bb....bb, and MIME media type cc....cc was not found

aa....aa：インスタンスのクラス

bb....bb：ジェネリック型

cc....cc：MIME メディアタイプ

説明

受信したエンティティボディを読み込む MessageBodyReader が見つかりませんでした。Web リソースのメソッドの Consumes アノテーションにサポートされていない MIME メディアタイプを指定しているか，または受信した HTTP メッセージの Content-Type HTTP ヘッダに，サポートされていない MIME メディアタイプが指定されています。

対処

Web リソースのメソッドの Consumes アノテーションにはサポートされている MIME メディアタイプを指定してください。HTTP クライアントがサポートされていない MIME メディアタイプのメッセージを送信していないか確認してください。

KDJJ10026-E

A message body writer for Java class aa....aa：, and Java type bb....bb：, and MIME media type cc....cc：was not found

aa....aa：インスタンスのクラス

bb....bb：ジェネリック型

cc....cc：MIME メディアタイプ

説明

送信するエンティティボディを書き出す MessageBodyReader が見つかりませんでした。Web リソースのメソッドの Produces アノテーションにサポートされていない MIME メディアタイプを指定しているか，または受信した HTTP メッセージの Accept HTTP ヘッダに，サポートされていない MIME メディアタイプが指定されています。

対処

Web リソースのメソッドの Produces アノテーションにはサポートされている MIME メディアタイプを指定してください。HTTP クライアントがサポートされていない MIME メディアタイプのメッセージを要求していないか確認してください。

KDJJ10028-E

Exception mapper aa....aa for Throwable bb....bb threw a RuntimeException when attempting to obtain the response

aa....aa：例外マッピングプロバイダ名

bb....bb：例外名

説明

例外マッピングプロバイダで応答を作成する際に，ランタイム例外が発生しました。

対処

例外ログを参照して，ランタイム例外の要因を取り除いてください。

KDJJ10031-E

A message body reader for Java class aa....aa, and Java type bb....bb, and MIME media type cc....cc was not found

aa....aa：オブジェクトのクラス

bb....bb：ジェネリックの型

cc....cc：MIME メディアタイプ

説明

受信したエンティティボディを読み込む MessageBodyReader が見つかりませんでした。受信した HTTP メッセージの Content-Type HTTP ヘッダにサポートされていない MIME メディアタイプが指定されています。

対処

受信した HTTP メッセージの Content-Type HTTP ヘッダにサポートされている MIME メディアタイプを指定してください。

KDJJ10032-E

A message body writer for Java class aa....aa, and Java type bb....bb, and MIME media type cc....cc was not found

aa....aa：オブジェクトのクラス

bb....bb：ジェネリックの型

cc....cc：MIME メディアタイプ

説明

エンティティボディを書き出す MessageBodyWriter が見つかりませんでした。HTTP メッセージの Content-Type HTTP ヘッダにサポートされていない MIME メディアタイプが指定されています。

対処

HTTP メッセージの Content-Type HTTP ヘッダにサポートされている MIME メディアタイプを指定してください。

KDJJ10039-E

Failed to invoke the resource.

説明

HTTP リクエストを処理する際に例外が発生しました。

対処

例外ログを参照して，ランタイム例外の要因を取り除いてください。また，ほかのエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は，そのメッセージの内容に従って対処してください。

KDJJ10040-E

There are no matched resources that can consume aa....aa media type

aa....aa：MIME メディアタイプ

説明

受信した HTTP リクエストの Content-Type HTTP ヘッダに指定されている MIME メディアタイプを，処理できる Web リソースがありません。

対処

Content-Type HTTP ヘッダに指定されている MIME メディアタイプを，処理できる Web リソースを実装してください。また，HTTP クライアントがサポートされていない MIME メディアタイプのメッセージを送信していないか確認してください。

KDJJ10041-E

There are no matched resources that can produce aa....aa media type

aa....aa：MIME メディアタイプ

説明

受信した HTTP リクエストの Accept HTTP ヘッダに指定されている MIME メディアタイプを，処理できる Web リソースがありません。

対処

Accept HTTP ヘッダに指定されている MIME メディアタイプを，処理できる Web リソースを実装してください。また，HTTP クライアントがサポートされていない MIME メディアタイプのメッセージを要求していないか確認してください。

KDJJ10042-E

The request parameter count exceeded the maximum number (context root = aa....aa, request URI = bb....bb, max count = cc....cc)

aa....aa：コンテキストルート

bb....bb：リクエスト URI

cc....cc：フォームパラメタ数の上限値

説明

クライアントから送信されたフォームデータのパラメタ数が上限値を超えました。

対処

クライアントから送信されたフォームデータのパラメタ数が，J2EE サーバ用ユーザプロパティファイルの webserver.connector.limit.max_parameter_count キーの設定値（フォームパラメタ数の上限値）を超えていないか確認してください。使用するフォームパラメタ数が上限値を超えている場合，フォームパラメタ数の上限値を適切な値に変更してください。フォームパラメタ数の上限値を変更した場合は，J2EE サーバの再起動が必要となります。

KDJJ18888-E

Client API could not complete the requested operation. (detail=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

クライアント API で要求された処理を完了できませんでした。

対処

詳細情報に基づいて，エラーの要因を取り除いてください。また，ほかのエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は，そのメッセージの内容に従って対処してください。

KDJJ19999-E

Error Occured: (details= aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

エラーが発生しました。

対処

詳細情報に基づいて，エラーの要因を取り除いてください。また，ほかのエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は，そのメッセージの内容に従って対処してください。

8.3　KDJJ20000 から KDJJ29999 までのメッセージ

KDJJ20000 から KDJJ29999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJJ20003-W

The following warnings have been detected with resource and/or provider classes:aa....aa

aa....aa：サブメッセージのリスト

説明

リソースクラスとプロバイダの両方，またはそのどちらかを初期化するときに，警告が検出されました。

対処

表示されたサブメッセージごとに対処してください。サブメッセージの例については，「8.5　サブメッセージ」を参照してください。「8.5　サブメッセージ」にないサブメッセージが表示された場合は，その内容に従って原因を判定し，解決してください。

KDJJ20007-W

A servlet POST request, to the URI aa....aa, contains form parameters in the request body but the request body has been consumed by the servlet or a servlet filter accessing the request parameters. Only resource methods using @FormParam will work as expected. Resource methods consuming the request body by other means will not work as expected.

aa....aa：URI

説明

受信した HTTP リクエストのエンティティボディは, FormParam アノテーションでアノテートされたパラメタにインジェクトされる情報が含まれています。しかし，HTTP リクエストのエンティティボディは，すでに JAX-RS 機能以外のサーブレット，またはサーブレットフィルタからアクセスされている可能性があります。

対処

JAX-RS 機能以外のサーブレット, またはサーブレットフィルタでは HTTP リクエストのエンティティボディにアクセスしないでください。アクセスする必要がある場合は，Web リソースでエンティティパラメタを使用してエンティティボディを参照しないでください。

KDJJ20010-W

There are more than one constructor with same number of parameters. Hence the first constructor that has same number of parameters will be used to instantiate the Root Resource Class aa....aa

aa....aa：ルートリソースクラス名

説明

パラメタの数が同じコンストラクタがルートリソースクラスに複数見つかりました。ルートリソースクラスは，最初に定義されているコンストラクタを使用してインスタンス化されます。

対処

パラメタの数が同じコンストラクタは定義しないでください。

KDJJ20011-W

There are more than one constructor with same number of parameters. Hence the first constructor that has same number of parameters will be used to instantiate the Provider Class aa....aa

aa....aa：Custom Provider クラス名

説明

パラメタの数が同じコンストラクタがプロバイダクラスに複数見つかりました。プロバイダクラスは，最初に定義されているコンストラクタを使用してインスタンス化されます。

対処

パラメタの数が同じコンストラクタは定義しないでください。

KDJJ20012-W

There are multiple entity parameters for bb....bb#aa....aa() method. Hence the first entity parameter is considered and rest of them are ignored

aa....aa：メソッド名

bb....bb：リソースクラス名

説明

複数のエンティティパラメタを持つリソースメソッドまたはサブリソースメソッドが見つかりました。エンティティボディは最初に定義されているエンティティパラメタにインジェクトされ，ほかのエンティティパラメタは無視されます。

対処

リソースメソッドまたはサブリソースメソッドにエンティティパラメタを複数定義しないでください。

KDJJ20013-W

The Root and Client AP cannot be added to client request headers. Cause: aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

HTTP リクエストの HTTP ヘッダにルートアプリケーション情報およびクライアントアプリケーション情報を追加できません。

対処

詳細情報に基づいて，警告の要因を取り除いてください。

KDJJ29999-W

General Warning: (details= aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

警告メッセージです。詳細情報を参照してください。

対処

詳細情報に基づいて，警告の要因を取り除いてください。

8.4　KDJJ30000 から KDJJ39999 までのメッセージ

KDJJ30000 から KDJJ39999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJJ30005-I

Scanning for root resource and provider classes in the packages: aa....aa

aa....aa：サーブレット初期化パラメタ com.sun.jersey.config.property.packages で指定されたパッケージのリスト

説明

サーブレット初期化パラメタ com.sun.jersey.config.property.packages で指定されたパッケージに含まれる，ルートリソースクラスと例外マッピングプロバイダの読み込みを開始しました。

KDJJ30007-I

No provider classes found.

説明

例外マッピングプロバイダが見つかりませんでした。

KDJJ30008-I

Root resource classes found: aa....aa

aa....aa：ルートリソースクラスのリスト

説明

ルートリソースクラスが読み込まれました。

KDJJ30009-I

Scanning for root resource and provider classes in the Web app resource paths: aa....aa

aa....aa：読み込み対象のパスのリスト

説明

web.xml ファイルにサーブレット初期化パラメタ com.sun.jersey.config.property.packages が指定されていなかったため，Web アプリケーション（WAR ファイル）に含まれるすべてのルートリソースクラスと例外マッピングプロバイダの読み込みを開始しました。

KDJJ30012-I

aa....aa * Server in-bound request

bb....bb

aa....aa：Web アプリケーション（WAR ファイル）ごとに採番される HTTP リクエスト番号

bb....bb：HTTP リクエストの詳細

説明

受信した HTTP リクエストを通信ログに記録しました。エンティティボディは省略されました。

KDJJ30013-I

aa....aa * Server in-bound request

bb....bb

aa....aa：Web アプリケーション（WAR ファイル）ごとに採番される HTTP リクエスト番号

bb....bb：HTTP リクエストの詳細

説明

受信した HTTP リクエストを通信ログに記録しました。

KDJJ30014-I

aa....aa * Server out-bound response

bb....bb

aa....aa：Web アプリケーション（WAR ファイル）ごとに採番される HTTP レスポンス番号

bb....bb：HTTP レスポンスの詳細

説明

送信する HTTP レスポンスを通信ログに記録しました。エンティティボディは省略されました。

KDJJ30015-I

aa....aa * Server out-bound response

bb....bb

aa....aa：Web アプリケーション（WAR ファイル）ごとに採番される HTTP レスポンス番号

bb....bb：HTTP レスポンスの詳細

説明

送信する HTTP レスポンスを通信ログに記録しました。

KDJJ30019-I

Initiating Cosminexus JAX-RS application, version aa....aa

aa....aa：バージョン名

説明

JAX-RS 機能を利用する Web リソースの初期化を開始しました。

KDJJ30021-I

Mapped exception to response: aa....aa (bb....bb)

aa....aa：HTTP ステータスコード

bb....bb：ステータス文字列

説明

Web リソースの呼び出し中に WebApplicationException が発生しました。
WebApplicationException は，WebApplicationException が持つ応答情報に基づいて HTTP レスポンスにマッピングされました。

KDJJ30022-I

Mapped exception to response aa....aa

aa....aa：HTTP レスポンスステータスコード

説明

Web リソースの呼び出し中に WebApplicationException が発生しました。
WebApplicationException は，WebApplicationException が持つ応答情報に基づいて HTTP レスポンスにマッピングされました。

KDJJ30025-I

Provider classes found: aa....aa

aa....aa：例外マッピングプロバイダのリスト

説明

例外マッピングプロバイダが読み込まれました。

KDJJ30026-I

aa....aa * Client out-bound request

bb....bb

aa....aa：Client オブジェクトごとに採番される HTTP リクエスト番号

bb....bb：HTTP リクエストの詳細

説明

送信する HTTP リクエストを通信ログに記録しました。

KDJJ30027-I

aa....aa * Client in-bound response

bb....bb

aa....aa：Client オブジェクトごとに採番される HTTP レスポンス番号

bb....bb：HTTP レスポンスの詳細

説明

受信した HTTP レスポンスを通信ログに記録しました。

KDJJ39999-I

General Information: (details= aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

情報を示すメッセージです。表示された詳細情報を参照してください。

8.5　サブメッセージ

KDJJ10006-E エラーメッセージと KDJJ20003-W 警告メッセージに表示されるサブメッセージの例を次に示します。ここにないサブメッセージが表示された場合は，その内容に従って原因を判定し，解決してください。

表 8-1　サブメッセージの例

項番	サブメッセージ
1	Missing dependency for constructor aa....aa at parameter index bb....bb
2	Missing dependency for field: aa....aa
3	Illegal URI template for root resource class aa....aa: bb....bb
4	Illegal URI template for sub-resource method aa....aa: bb....bb
5	Illegal URI template for sub-resource locator aa....aa: bb....bb
6	Missing dependency for method aa....aa at parameter at index bb....bb
7	Method, aa....aa, annotated with bb....bb of resource, cc....cc, is not recognized as valid resource method.
8	The class aa....aa is an interface and cannot be instantiated.
9	A sub-resource locator, aa....aa, can not have an entity parameter. Try to move the parameter to the corresponding resource method.
10	The class aa....aa does not have a public constructor and cannot be instantiated.
11	A (sub-)resource method, aa....aa, should have only one HTTP method designator. It currently has the following designators defined: bb....bb
12	Conflicting URI templates. The URI template aa....aa for root resource class bb....bb and the URI template cc....cc transform to the same regular expression dd....dd
13	Conflicting URI templates. The URI template aa....aa for sub-resource locator bb....bb and the URI template cc....cc transform to the same regular expression dd....dd
14	Consuming media type conflict. The resource methods aa....aa and bb....bb can consume the same media type
15	Producing media type conflict. The resource methods aa....aa and bb....bb can produce the same media type
16	A sub-resource locator, aa....aa, MUST return a non-void type.
17	A HTTP GET method, aa....aa, should not consume any entity.
18	A resource method, aa....aa, MUST be public scoped otherwise the method is ignored
19	A sub-resource method, aa....aa, MUST be public scoped otherwise the method is ignored
20	A sub-resource locator, aa....aa, MUST be public scoped otherwise the method is ignored
21	A HTTP GET method, aa....aa, MUST return a non-void type.
22	The class aa....aa is an abstract class and cannot be instantiated.

項番	サブメッセージ
23	Return type aa....aa of method bb....bb is not resolvable to a concrete type
24	Parameter aa....aa of type bb....bb from cc....cc is not resolvable to a concrete type

それぞれのサブメッセージの例に対する説明と対処を次に示します。

(1)　Missing dependency for constructor aa....aa at parameter index bb....bb

aa....aa：コンストラクタ名

bb....bb：パラメタの位置

説明

コンストラクタのパラメタの依存性を解決できません。

対処

インジェクション用アノテーションには，サポートされているパラメタ型を使用してください。

(2)　Missing dependency for field: aa....aa

aa....aa：フィールド名

説明

フィールドの依存性を解決できません。

対処

インジェクション用アノテーションには，サポートされているパラメタ型を使用してください。

(3)　Illegal URI template for root resource class aa....aa: bb....bb

aa....aa：クラス名

bb....bb：詳細情報

説明

ルートリソースクラスの URI テンプレートが不正です。

対処

表示された詳細情報を基に原因を取り除いてください。詳細情報の例については，「8.6　サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）」を参照してください。「8.6　サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）」にない詳細情報が表示された場合は，その内容に従って原因を判定し，解決してください。

(4)　Illegal URI template for sub-resource method aa....aa: bb....bb

aa....aa：サブリソースメソッド名

bb....bb：詳細情報

説明

サブリソースメソッドの URI テンプレートが不正です。

対処

表示された詳細情報を基に原因を取り除いてください。詳細情報の例については，「8.6　サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）」を参照してください。「8.6　サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）」にない詳細情報が表示された場合は，その内容に従って原因を判定し，解決してください。

(5) Illegal URI template for sub-resource locator aa....aa: bb....bb

aa....aa：サブリソースロケータ名

bb....bb：詳細情報

説明

サブリソースロケータの URI テンプレートが不正です。

対処

表示された詳細情報を基に原因を取り除いてください。詳細情報の例については，「8.6　サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）」を参照してください。「8.6　サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）」にない詳細情報が表示された場合は，その内容に従って原因を判定し，解決してください。

(6) Missing dependency for method aa....aa at parameter at index bb....bb

aa....aa：メソッド名

bb....bb：パラメタの位置

説明

メソッドのパラメタの依存性を解決できません。

対処

インジェクション用アノテーションには，サポートされているパラメタ型を使用してください。

(7) Method, aa....aa, annotated with bb....bb of resource, cc....cc, is not recognized as valid resource method.

aa....aa：メソッド名

bb....bb：要求メソッド識別子

cc....cc：クラス名

説明

アノテートされたメソッドが有効なリソースメソッドとして認識されません。

対処

リソースメソッド，サブリソースメソッド，サブリソースロケータの条件を確認してください。条件と一致していない場合は，正しく修正してください。

(8) The class aa....aa is an interface and cannot be instantiated.

aa....aa：インタフェース名

説明

インタフェースはインスタンス化できません。

対処

インタフェースに，Path アノテーションや Provider アノテーションを使用しないでください。

(9) A sub-resource locator, aa....aa, can not have an entity parameter. Try to move the parameter to the corresponding resource method.

aa....aa：メソッド名

説明

エンティティパラメタを持つサブリソースロケータを検出しました。

対処

エンティティパラメタを適切なリソースメソッドかサブリソースメソッドに移動してください。

(10) The class aa....aa does not have a public constructor and cannot be instantiated.

aa....aa：クラス名

説明

クラスに public コンストラクタがないため，インスタンス化できません。

対処

public コンストラクタを定義してください。

(11) A (sub-)resource method, aa....aa, should have only one HTTP method designator. It currently has the following designators defined: bb....bb

aa....aa：メソッド名

bb....bb：要求メソッド識別子のリスト

説明

要求メソッド識別子を複数持つリソースメソッドまたはサブリソースメソッドを検出しました。

対処

リソースメソッドまたはサブリソースメソッドには，要求メソッド識別子を一つだけ使用してください。

(12) Conflicting URI templates. The URI template aa....aa for root resource class bb....bb and the URI template cc....cc transform to the same regular expression dd....dd

aa....aa：URI テンプレート

bb....bb：クラス名

cc....cc：URI テンプレート

dd....dd：解決後の表現

説明

ルートリソースクラスの URI テンプレートが競合しています。二つの URI テンプレートが同じであるか，同じ表現に解決される正規表現が使用されています。

対処

それぞれのルートリソースクラスの URI テンプレートは，異なるようにしてください。また，同じ表現に解決されないようにしてください。

(13) Conflicting URI templates. The URI template aa....aa for sub-resource locator bb....bb and the URI template cc....cc transform to the same regular expression dd....dd

aa....aa：URI テンプレート

bb....bb：クラス名

cc....cc：URI テンプレート

dd....dd：解決後の表現

説明

サブリソースロケータの URI テンプレートが競合しています。二つの URI テンプレートが同じであるか，同じ表現に解決される正規表現が使用されています。

対処

それぞれのサブリソースロケータの URI テンプレートは，異なるようにしてください。また，同じ表現に解決されないようにしてください。

(14) Consuming media type conflict. The resource methods aa....aa and bb....bb can consume the same media type

aa....aa：メソッド名

bb....bb：メソッド名

説明

Consumes アノテーションで指定している MIME メディアタイプが競合しています。

対処

Consumes アノテーションには，ほかと競合しない MIME メディアタイプを指定してください。

(15) Producing media type conflict. The resource methods aa....aa and bb....bb can produce the same media type

aa....aa：メソッド名

bb....bb：メソッド名

説明

Produces アノテーションで指定している MIME メディアタイプが競合しています。

対処

Produces アノテーションには，ほかと競合しない MIME メディアタイプを指定してください。

(16)　A sub-resource locator, aa....aa, MUST return a non-void type.

aa....aa：メソッド名

説明

サブリソースロケータの戻り値が void です。

対処

サブリソースロケータの戻り値を void 以外にしてください。

(17)　A HTTP GET method, aa....aa, should not consume any entity.

aa....aa：メソッド名

説明

GET 要求メソッド識別子でアノテートされたメソッドが，エンティティパラメタを持っています。

対処

GET 要求メソッド識別子でアノテートされたメソッドには，エンティティパラメタを含めないでください。

(18)　A resource method, aa....aa, MUST be public scoped otherwise the method is ignored

aa....aa：メソッド名

説明

public でないリソースメソッドを検出しました。検出されたリソースメソッドは無視されました。

対処

リソースメソッドは public スコープにしてください。

(19)　A sub-resource method, aa....aa, MUST be public scoped otherwise the method is ignored

aa....aa：メソッド名

説明

public でないサブリソースメソッドを検出しました。検出されたサブリソースメソッドは無視されました。

対処

サブリソースメソッドは public スコープにしてください。

(20)　A sub-resource locator, aa....aa, MUST be public scoped otherwise the method is ignored

aa....aa：メソッド名

説明

public でないサブリソースロケータを検出しました。検出されたサブリソースロケータは無視されました。

対処

サブリソースロケータは public スコープにしてください。

(21)　A HTTP GET method, aa....aa, MUST return a non-void type.

aa....aa：メソッド名

説明

GET 要求メソッド識別子でアノテートされたメソッドの戻り値が void です。

対処

GET 要求メソッド識別子でアノテートされたメソッドの戻り値は，void 以外にしてください。

(22)　The class aa....aa is an abstract class and cannot be instantiated.

aa....aa：クラス名

説明

抽象クラスはインスタンス化できません。

対処

抽象クラスには，Path アノテーションや Provider アノテーションを使用しないでください。

(23)　Return type aa....aa of method bb....bb is not resolvable to a concrete type

aa....aa：戻り値の型

bb....bb：メソッド名

説明

型パラメタの解決ができない戻り値を持つメソッドを検出しました。

対処

戻り値の型を見直してください。

(24)　Parameter aa....aa of type bb....bb from cc....cc is not resolvable to a concrete type

aa....aa：パラメタの位置

bb....bb：型

cc....cc：メソッドシグネチャ

説明

型パラメタの解決ができないエンティティパラメタを持つメソッドを検出しました。

対処

エンティティパラメタの型を見直してください。

8.6　サブメッセージに表示されるインナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）

URI テンプレートが不正であることを示すサブメッセージに表示される，インナーメッセージの例を次に示します。ここにないインナーメッセージが表示された場合は，その内容に従って原因を判定し，解決してください。

表 8-2　インナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）の例

項番	インナーメッセージ（URI テンプレートが不正である場合の詳細情報）
1	Invalid syntax for the template expression 'aa....aa'
2	Illegal character 'aa....aa' at position bb....bb is not as the start of a name
3	Illegal character 'aa....aa' at position bb....bb is not allowed as part of a name
4	Illegal character 'aa....aa' at position bb....bb is not allowed after a name
5	Invalid syntax for the template, "aa....aa". Check if a path parameter is terminated with a '}'.
6	Invalid syntax for the expression 'aa....aa' associated with the name 'bb....bb'
7	The name 'aa....aa' is declared more than once with different regular expressions

それぞれのインナーメッセージの例に対する説明と対処を次に示します。

(1)　Invalid syntax for the template expression 'aa....aa'

aa....aa：URI テンプレートの表現

説明

URI テンプレートに無効な構文があります。

対処

URI テンプレートの構文を，有効な表現になるように修正してください。

(2)　Illegal character 'aa....aa' at position bb....bb is not as the start of a name

aa....aa：不正な文字

bb....bb：文字の位置

説明

テンプレートパラメタの識別子の先頭文字として不正な文字があります。

対処

テンプレートパラメタの識別子の先頭にある不正な文字を取り除いてください。

(3)　Illegal character 'aa....aa' at position bb....bb is not allowed as part of a name

aa....aa：不正な文字

bb....bb：文字の位置

説明

テンプレートパラメタの識別子の一部として不正な文字があります。

対処

テンプレートパラメタの識別子にある不正な文字を取り除いてください。

(4) Illegal character 'aa....aa' at position bb....bb is not allowed after a name

aa....aa：不正な文字

bb....bb：文字の位置

説明

テンプレートパラメタの識別子の直後に不正な文字があります。

対処

テンプレートパラメタの識別子の直後にある不正な文字を取り除いてください。

(5) Invalid syntax for the template, "aa....aa". Check if a path parameter is terminated with a '}'.

aa....aa：URI テンプレートの表現

説明

URI テンプレートの表現に無効な構文があります。

対処

URI テンプレートの構文を，有効な表現になるように修正してください。また，テンプレートパラメタが'}'で終わっているか確認してください。もしそうでない場合は，'}'で終わるようにしてください。

(6) Invalid syntax for the expression 'aa....aa' associated with the name 'bb....bb'

aa....aa：正規表現

bb....bb：識別子

説明

テンプレートパラメタの正規表現に無効な構文があります。

対処

テンプレートパラメタの正規表現の構文を修正してください。

(7) The name 'aa....aa' is declared more than once with different regular expressions

aa....aa：識別子

説明

同じ URI テンプレートの複数のテンプレートパラメタで，二つ以上の同じ識別子が使用されています。

対処

同じ URI テンプレート内の異なるテンプレートパラメタには，固有の識別子を使用してください。

9 KDJR (Component Container が出力するメッセージ)

この章では，Component Container が出力するメッセージのうち KDJR で始まるメッセージについて説明します。

9.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

XXXXnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

XXXXnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

XXXX

Component Container が出力するメッセージのプリフィックスを KDJR で示します。

nnnnn

Component Container で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

Component Container が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した Component Container の動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

9.2　KDJR00000 から KDJR09999 までのメッセージ

KDJR00000 から KDJR09999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJR01112-I

Waiting for message acknowledgements on a sequence [aa....aa] timed out after bb....bb milliseconds.

aa....aa：シーケンス ID

bb....bb：待機時間

説明

クライアント側でシーケンスを終了しようとした場合，サービスからすべてのメッセージに対する Ack メッセージが送信されてくるまで，一定時間待機します。一定時間経過後も Ack メッセージが送信されない場合にこのメッセージが出力され，シーケンスを終了します。

対処

シーケンスは強制的に終了されます。クライアント側で追加の処理は必要ありません。Ack メッセージが送信されない原因については，サービス側に問い合わせてください。

KDJR09999-I

Information message. (detail=aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

WS-RM 機能の実行中に発生した通知事項です。

対処

必要に応じて，詳細メッセージを確認してください。

9.3　KDJR10000 から KDJR19999 までのメッセージ

KDJR10000 から KDJR19999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJR11001-W

A message will be resend. (SequenceID = aa....aa, MessageNumber = bb....bb, count = cc....cc, cause=dd....dd)

aa....aa：シーケンス ID

bb....bb：メッセージ番号

cc....cc：メッセージ再送回数

dd....dd：再送の原因

説明

WS-RM 機能でメッセージを再送しました。

対処

特にありません。メッセージの再送が必要となった理由については，再送の原因の表示内容を参照してください。

KDJR11103-W

Unable to terminate RM sequence normally due to an unexpected exception.

説明

クライアント側でシーケンスを終了するために close メソッドを呼び出しましたが，エラーが発生しました。シーケンスは強制的に終了されます。エラーは次の要因で発生したと考えられます。

- サービス側にシーケンスクローズメッセージのリクエストまたはシーケンス終了メッセージのリクエストを送信したときに，サービス側から不正なレスポンスが返ってきた。
- サービス側にシーケンスクローズメッセージのリクエストまたはシーケンス終了メッセージのリクエストを送信したときに，コネクションが切断された。
- シーケンスの有効期限が切れていた。

対処

クライアント側で追加の処理は必要ありません。クライアントの接続タイムアウト値や読み込みタイムアウト値，シーケンスの有効期限を見直して，サービス側から不正なレスポンスが返ってきていた場合はサービス側に問い合わせてください。

KDJR11108-W

Response for the acknowledgement request is null.

説明

クライアント側がバックグラウンドで Ack メッセージのリクエストを送信しましたが，サービス側から Ack メッセージが返ってきません。

初回のメッセージの処理に時間が掛かり，初回のメッセージの処理中にバックグラウンドで Ack メッセージの送受信が発生すると，サービス側から Ack メッセージが返ってこないことがあります。

対処

特にありません。原因については，サービス側に問い合わせてください。

KDJR11117-W

The sequence identifier in the terminate sequence response message [aa....aa] does not correspond to the terminating outbound sequence identifier [bb....bb].

aa....aa：受信したシーケンス ID

bb....bb：送信したシーケンス ID

説明

クライアント側でシーケンスを終了するために close メソッドを呼び出し，サービス側にシーケンス終了メッセージのリクエストを送信したときに，リクエストで送信したシーケンスの ID とサービス側から返されたレスポンスのシーケンス ID が異なっていました。シーケンスは強制的に終了されます。

対処

クライアント側で追加の処理は必要ありません。原因についてはサービス側に問い合わせてください。

KDJR11119-W

The sequence identifier in the close sequence response message [aa....aa] does not correspond to the closing outbound sequence identifier [bb....bb].

aa....aa：受信したシーケンス ID

bb....bb：送信したシーケンス ID

説明

クライアント側でシーケンスを終了するために close メソッドを呼び出し，サービス側にシーケンスクローズメッセージのリクエストを送信したときに，リクエストで送信したシーケンスの ID とサービス側から返されたレスポンスのシーケンス ID が異なっていました。シーケンスは強制的に終了されます。

対処

クライアント側で追加の処理は必要ありません。原因についてはサービス側に問い合わせてください。

KDJR11127-W

An unexpected exception occurred while sending acknowledgement request.

説明

不正な Ack メッセージを受信しました。

対処

特にありません。原因については，メッセージ送信元に問い合わせてください。

KDJR16017-W

The WS-RM property contains an invalid value. The default value will be used. (key = aa....aa, value = bb....bb, default = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：指定された値

cc....cc：適用されたデフォルト値

説明

WSDL の WS-RM 1.2 機能の設定として範囲外の値が設定されたため，デフォルト値で動作します。

対処

必要に応じて，設定を見直してください。

KDJR19999-W

An warning occurred during WS-RM execution. (detail=aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

WS-RM 機能の実行中に，軽微なエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを確認し，必要に応じて原因を取り除いてください。

9.4　KDJR20000 から KDJR29999 までのメッセージ

KDJR20000 から KDJR29999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJR21001-E

A message will not be resend as maximum number of message resend attempts has been reached. (SequenceID = aa....aa, MessageNumber = bb....bb, count = cc....cc, cause=dd....dd)

aa....aa：シーケンス ID

bb....bb：メッセージ番号

cc....cc：メッセージ再送回数

dd....dd：再送の原因

説明

WS-RM 機能を実行中に，メッセージ再送の最大回数（3 回）を超えたため，メッセージの再送を打ち切りました。

対処

再送の原因を確認し，原因を取り除いてください。また，シーケンス ID とメッセージ番号を確認し，同じシーケンス ID とメッセージ番号に対する KDJR11001-W メッセージの再送の原因も確認してください。

原因に java.net.SocketTimeoutException が含まれている場合は，クライアントソケットの読み込みタイムアウトが発生していることが考えられます。

サービス側の処理時間と，JAX-WS 機能の共通定義ファイルまたはプロセス別の定義ファイルのクライアントソケットの読み込みタイムアウト値を確認してください。

KDJR21120-E

Unable to process response packet - the packet was not identified as an RM protocol message.

説明

wsa:Action 要素値が不正である Ack メッセージを受信しました。

対処

原因については，メッセージ送信元に問い合わせてください。

KDJR21122-E

Unable to unmarshall RM header [aa....aa].

aa....aa：SOAP ヘッダ要素名

説明

WS-RM の SOAP ヘッダの要素値が不正であるメッセージを受信しました。

対処

原因については，メッセージ送信元に問い合わせてください。

KDJR21138-E

The maximum value for a message number on a sequence [aa....aa] has been exceeded: bb....bb

aa....aa：シーケンス ID

bb....bb：メッセージ番号

説明

1 件のシーケンスで送受信できる最大のメッセージ数を超えました。

対処

シーケンスを再生成してください。シーケンスを再生成する手順を次に示します。

1. 使用中のポートオブジェクトを com.sun.xml.ws.Closeable 型にキャストし，close()メソッドを呼び出します。
2. サービスクラスからポートオブジェクトを再取得します。
3. 再取得したポートオブジェクトの Web サービスメソッドを呼び出します。
   ポートオブジェクトの初回の Web サービスメソッド呼び出し時に，自動的にシーケンスが生成されます。

1 件のシーケンスで送受信できる最大メッセージ数を変更するときは，WSDL の最大メッセージ数（cwsrm:MaxMessageNumber）を設定します。

KDJR29999-E

An error occurred during WS-RM execution. (detail=aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

WS-RM 機能を実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを確認し，原因を取り除いてください。

10 KDJW（Component Container が出力するメッセージ）

この章では，Component Container が出力するメッセージのうち KDJW で始まるメッセージについて説明します。

10.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

XXXXnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

XXXXnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

XXXX

Component Container が出力するメッセージのプリフィックスを KDJW で示します。

nnnnn

Component Container で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

Component Container が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した Component Container の動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

10.2　KDJW00000 から KDJW09999 までのメッセージ

KDJW00000 から KDJW09999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW00001-E

There is no attachment for the content ID. (content ID = aa....aa)

aa....aa：content ID

説明

該当する content ID を持つ添付データがありません。

対処

送信メッセージを見直してください。

KDJW00002-W

Exception ignored from invoking handler method annotated @PreDestroy annotation. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

@PreDestroy アノテーションを使用しているメソッドの呼び出しで例外が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW00003-E

Unable to create JAXBContext due to the security restriction.

説明

セキュリティ制限のため，JAXBContext を生成できませんでした。

対処

例外ログに PrivilegedActionException が出力されているか確認し，出力されている場合は原因を取り除いてください。

KDJW00004-E

A @WebService annotation is not present on class. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

@WebService アノテーションが指定されていません。

対処

SEI に@WebService アノテーションを指定してください。

KDJW00005-E

Service endpoint interface is invalid. (service endpoint interface = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

不正な SEI を指定しています。

対処

正しい SEI を指定してください。

KDJW00006-E

Class could not be found. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

クラスが見つかりませんでした。

対処

クラスが存在するか確認してください。

KDJW00007-E

The serviceName cannot be retrieved from an interface. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

Web サービス実装クラスにインタフェースが指定されたため，serviceName の生成に失敗しました。

対処

Web サービス実装クラスを指定している設定を見直してください。

KDJW00008-E

A @WebService.targetNamespace must be specified on classes with no package. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

パッケージのないクラスでは@WebService アノテーションの targetNamespace が指定されていなければなりません。

対処

クラスをパッケージに含めるか，または@WebService アノテーションで targetNamespace を指定してください。

KDJW00009-E

Given handler does not implement LogicalHandler nor SOAPHandler. (class = aa....aa)

aa....aa：javaee:handler-class 要素に指定されたクラス名

説明

ハンドラチェイン設定ファイルの javaee:handler-class 要素で指定されたクラスが，LogicalHandler インタフェースおよび SOAPHandler インタフェースのどちらも実装していません。ハンドラに使用できるのは，論理ハンドラまたは SOAP ハンドラだけです。

対処

LogicalHandler インタフェース，または SOAPHandler インタフェースを実装したクラスを指定してください。

KDJW00010-E

Could not find the handler chain file for the class. (class = aa....aa, file = bb....bb)

aa....aa：クラス名

bb....bb：ハンドラチェイン設定ファイルのパス

説明

@HandlerChain アノテーションの file 属性で指定されたハンドラチェイン設定ファイルを開けません。

対処

正しいパスを指定しているか，確認してください。

KDJW00011-E

Could not find the class specified in the handler chain file. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

ハンドラチェイン設定ファイルで指定されたハンドラのクラスが見つかりません。

対処

正しいクラス名を指定しているか，ハンドラチェイン設定ファイルの記述を確認してください。

KDJW00016-W

Failed to remove the temporary file. (detail=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイルの削除に失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW00017-W

The method cannot be annotated with @SOAPBinding with Style "RPC".(class= aa....aa, method= bb....bb, annotation= cc....cc)

aa....aa：クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：SOAPBinding アノテーション

説明

スタイルが RPC の SOAPBinding アノテーションは，メソッドにアノテートできません。

対処

メソッドにアノテートしている SOAPBinding アノテーションを見直してください。

10.3　KDJW10000 から KDJW19999 までのメッセージ

KDJW10000 から KDJW19999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW10001-E

Failed to access the WSDL. (URL = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：不正な URL

bb....bb：詳細メッセージ

説明

指定した URL の WSDL にアクセスできませんでした。

対処

正しい URL かどうかを確認し，その URL にアクセスできることを確認してください。

KDJW10002-E

Failed to access the WSDL.

説明

WSDL にアクセスできません。

対処

このメッセージのあとに出力される失敗の原因を示すメッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW10003-E

WsdlDocumentLocation is not set to the service instance.

説明

サービスインスタンスに WSDL の URL が指定されていません。

対処

サービスインスタンスに WSDL の URL を指定してください。

KDJW10005-E

JAX-WS engine cannot get port. (ports=empty)

説明

ポート情報が取得できませんでした。

対処

サービスインスタンスに WSDL の URL が指定されていない可能性と，WSDL にポートが定義されていない可能性があります。設定を見直してください。

KDJW10006-E

JAX-WS engine cannot create proxy because there is no WSDL metadata for service. (service = aa....aa)

aa....aa：サービス名

説明

WSDL がないため，proxy を生成できませんでした。

対処

WSDL の URL を指定してください。

KDJW10007-E

Cannot set SOAP 1.2 role. (role=none)

説明

SOAP ロールに none が設定されています。

対処

正しい SOAP ロールを設定してください。

KDJW10008-E

Binding is undefined. (binding = aa....aa)

aa....aa：バインディング名

説明

バインディングが定義されていません。

対処

バインディングを定義してください。

KDJW10009-E

Port type is undefind. (port type = aa....aa)

aa....aa：ポートタイプ名

説明

WSDL にポートタイプ（wsdl:portType 要素）が定義されていません。

対処

WSDL にポートタイプ（wsdl:portType 要素）を定義してください。

KDJW10010-E

WSDL contains no service definition. (URL = aa....aa)

aa....aa：WSDL の URL

説明

WSDL にサービス（wsdl:service 要素）が定義されていません。

対処

WSDL にサービス（wsdl:service 要素）を定義してください。

KDJW10011-E

Cannot set the specified class on binding. Handler must be a LogicalHandler. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

バインディングに設定できるハンドラは論理ハンドラだけです。

対処

論理ハンドラを設定してください。

KDJW10012-E

Invalid WSDL. (URL = aa....aa, expected element = bb....bb, found element = cc....cc, line = dd....dd)

aa....aa：WSDL の URL

bb....bb：期待する XML 要素名

cc....cc：不正な XML 要素名

dd....dd：WSDL の不正な個所

説明

WSDL の記述が正しくありません。

対処

WSDL を見直してください。

KDJW10013-E

Service is invalid. (service = aa....aa)

aa....aa：不正なサービス名

説明

サービス名が正しくありません。

対処

正しいサービス名を指定してください。

KDJW10014-E

URL of WSDL is invalid. (URL = aa....aa)

aa....aa：不正な WSDL の URL

説明

WSDL の URL が正しくありません。

対処

URL を見直してください。

KDJW10015-E

Port is invalid. (invalid port = aa....aa, valid ports = bb....bb)

aa....aa：不正なポート名

bb....bb：正しいポート名

説明

ポートの指定が正しくありません。

対処

ポートの指定を見直してください。

KDJW10016-E

Service is invalid. (invalid service = aa....aa, valid services = bb....bb)

aa....aa：不正なサービス名

bb....bb：正しいサービス名

説明

サービス名が正しくありません。

対処

Service クラスのサービス名に未定義のサービス名を指定している可能性があります。サービス名を見直してください。

KDJW10019-E

The method returned an unexpected value. (method = aa....aa, return value = bb....bb)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：戻り値

説明

メソッドが予期しない戻り値を返しました。

対処

クライアントアプリケーションを見直してください。

KDJW10020-E

Failed to create service.

説明

API の実行時に例外が発生しました。

対処

このメッセージのあとに出力される失敗の原因を示すメッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW10021-E

Failed to request service. (RootAP = aa....aa)

aa....aa：ルートアプリケーション情報

説明

サービスの呼び出し時に例外が発生しました。

対処

このメッセージのあとに出力される失敗の原因を示すメッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW10022-E

Exception occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

API の実行時に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW10023-E

The method was called with an invalid argument. (method = aa....aa, argument = bb....bb, value = cc....cc)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：引数のクラスと名前

cc....cc：引数の値

説明

メソッドの呼び出しに使われた引数が正しくありません。

対処

メソッドの引数を見直してください。

KDJW10024-E

HTTP status code is invalid. (Status Code = aa....aa, Response Message = bb....bb)

aa....aa：ステータスコード

bb....bb：応答メッセージ

説明

サービスの呼び出しで，不正なステータスコードが返されました。

対処

ステータスコードを確認し，原因を取り除いてください。

KDJW10025-W

The authentication information could not be established because a security exception occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

セキュリティ例外のため，認証情報を確立できませんでした。

対処

詳細情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW10026-W

The directory specified by dir attribute of @StreamingAttachment annotation or StreamingAttachmentFeature class cannot be accessed. (directory = aa....aa)

aa....aa：dir オプションで指定した出力先ディレクトリ名

説明

@StreamingAttachment アノテーションまたは StreamingAttachmentFeature クラスの dir 属性で指定されたディレクトリにアクセスできません。

対処

@StreamingAttachment アノテーションまたは StreamingAttachmentFeature クラスの dir 属性値の指定を見直してください。

KDJW10027-E

Failed to move the specified file. (file=aa....aa)

aa....aa：添付ファイルまたはディレクトリのパス名

説明

指定された添付ファイルの移動に失敗しました。

対処

指定された添付ファイルが移動先に存在するかどうか確認してください。存在する場合は，別の添付ファイル名を指定してください。

または，指定した添付ファイルの親ディレクトリが存在するかどうか確認してください。存在しない場合は，親ディレクトリが存在するファイル名を指定してください。

KDJW10028-E

javax.xml.ws.WebServiceFeature type cannot be specified. (service=aa....aa)

aa....aa：サービス名

説明

javax.xml.ws.WebServiceFeature 型は指定できません。

対処

javax.xml.ws.WebServiceFeature は，ポートを取得するメソッドに指定してください。

KDJW10029-I

The value cannot be set as wsa:Action of Addressing header.

説明

アドレッシングヘッダの wsa:Action 要素に値を設定できません。

対処

wsdl:output 要素および wsa:fault 要素にある, wsam:Action または wsaw:Action に設定されている値を見直してください。

10.4　KDJW20000 から KDJW29999 までのメッセージ

KDJW20000 から KDJW29999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW20001-E

The class does not implement Provider. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

Provider インタフェースが実装されていません。

対処

Provider インタフェースを実装してください。

KDJW20002-E

Not a primary WSDL. (path = aa....aa)

aa....aa：WSDL のパス

説明

WSDL の記述が正しくありません。

対処

WSDL の記述を確認してください。

KDJW20004-E

Cannot find dispatch method. (dispatchKey = aa....aa)

aa....aa：サービスメソッド名

説明

SOAP メッセージで指定されているオペレーションに対応するメソッドが見つかりません。

対処

オペレーションとメソッドを見直してください。

KDJW20005-E

The class implements Provider<T> but its type parameter is incorrect. (class = aa....aa, type = bb....bb)

aa....aa：実装クラス名

bb....bb：型パラメタ

説明

Provider<T>インタフェースを実装しているクラスの型パラメタが正しくありません。

対処

Provider<T>インタフェースの型パラメタを見直してください。

KDJW20006-E

Incorrect number of arguments for method. The method annotated @Resource annotation has only one argument of WebServiceContext class. (method = aa....aa)

aa....aa：メソッド名

説明

@Resource アノテーションを指定するメソッドは，引数を一つだけにする必要があります。

対処

@Resource アノテーションを指定しているメソッドの引数の数を見直してください。

KDJW20007-E

Incorrect argument types for method. The method annotated @Resource annotation has only one argument of WebServiceContext class. (method = aa....aa)

aa....aa：メソッド名

説明

メソッドの引数の型が正しくありません。type 属性に WebServiceContext クラスを指定した @Resource アノテーションをメソッドに指定する場合は，メソッドの引数を WebServiceContext クラスにする必要があります。

対処

@Resource アノテーションを指定しているメソッドの引数の型を見直してください。

KDJW20008-E

Only one method should have the annotation. (annotation = aa....aa)

aa....aa：アノテーション名

説明

複数のメソッドに指定できないアノテーションが複数のメソッドに指定されています。

対処

アノテーションを見直してください。@PostConstruct アノテーション，または@PreDestroy アノテーションを複数のメソッドに指定している可能性があります。

KDJW20009-W

Non unique body parts. In a port, as per BP 1.1 R2710 operations must have unique operation signature on the wire for successful dispatch. (method = aa....aa, QName = bb....bb)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：QName

説明

オペレーションに対応するメソッドが複数存在するため，メソッドを特定できません。

対処

オペレーションとメソッドの対応関係を見直してください。

KDJW20010-W

Invalid annotation on service implementation class will be ignored. The class annotated with @WebService annotation MUST NOT be annotated with the following annotation. Put this annotation on the following service endpoint interface. (annotation = aa....aa, class = bb....bb, service endpoint interface = cc....cc)

aa....aa：アノテーション名

bb....bb：クラス名

cc....cc：インタフェース名

説明

SEI に@SOAPBinding アノテーションを指定していないため，Web サービス実装クラスに指定した @SOAPBinding アノテーションを無視しました。

対処

@SOAPBinding アノテーションの設定を見直してください。

KDJW20011-E

The class implements Provider<T> but does not specify the type parameter. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

Provider<T>インタフェースを実装しているクラスに，型パラメタが指定されていません。

対処

Provider<T>インタフェースの型パラメタを指定してください。

KDJW20012-W

Ignoring wrong wsdl. It should start with the following path. Going to generate and publish a new WSDL. (WSDL = aa....aa, path = bb....bb)

aa....aa：WSDL

bb....bb：WSDL 格納ディレクトリ

説明

WSDL のパスが「WEB-INF/wsdl」で始まっていません。

対処

WSDL のパスを見直してください。

KDJW20013-E

The WSDL is not found in the WAR file. Package it in the WAR file or correct file path. (file = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

WSDL が見つかりません。

対処

WSDL のパスを見直してください。

KDJW20014-E

The class is not found in cosminexus-jaxws.xml. (class = aa....aa)

aa....aa：存在しないクラス名

説明

cosminexus-jaxws.xml で指定されているクラスが存在しません。

対処

正しいクラス名を指定してください。

KDJW20015-E

Unsupported endpoint address. (URL = aa....aa)

aa....aa：不正な URL

説明

エンドポイントアドレスに不正な URL が指定されています。

対処

WSDL の soap:address 要素の location 属性またはメッセージコンテキストの javax.xml.ws.service.endpoint.address プロパティに，正しい URL を指定してください。

KDJW20016-E

Exception occurred during WSDL parsing. (WSDL = aa....aa)

aa....aa：WSDL のパス

説明

WSDL のパース中にエラーが発生しました。

対処

WSDL を正しく記述してください。

KDJW20017-E

Static resource cannot be injected to non-static field or method. (static resource = aa....aa, non-static field or method = bb....bb)

aa....aa：インタフェース名

bb....bb：フィールド名またはメソッド名

説明

static リソースは非 static フィールドまたはメソッドに注入できません。

対処

フィールドやメソッドの引数を見直してください。@Resource アノテーションを指定しているフィールドまたはメソッドで問題が発生している可能性があります。

KDJW20018-E

Method should not have any arguments. (method = aa....aa)

aa....aa：メソッド名

説明

メソッドに引数を持たせることはできません。

対処

メソッドを見直してください。@PostConstract アノテーション，または@PreDestroy アノテーションが指定されている可能性があります。これらのアノテーションが指定されたメソッドは，引数を持たせることができません。

KDJW20019-E

Received SOAP message contains duplicate header for a bound parameter. (header = aa....aa)

aa....aa：ヘッダ名

説明

受信した SOAP メッセージに重複したヘッダが含まれています。

対処

送信メッセージを見直してください。

KDJW20020-E

Unable to instantiate the class1 specified in the following annotation on the class2. (class1 = aa....aa, annotation = bb....bb, class2 = cc....cc)

aa....aa：クラス名

bb....bb：アノテーション名

cc....cc：クラス名

説明

アノテーションで指定されたクラスのインスタンスが生成できませんでした。

対処

アノテーションとクラスを見直してください。

KDJW20021-E

Error occurred during parsing cosminexus-jaxws.xml. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

cosminexus-jaxws.xml の読み込みでエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW20022-E

Port namespace does not match service namespace. (port namespace = aa....aa, service namespace = bb....bb)

aa....aa：ポートの名前空間

bb....bb：サービスの名前空間

説明

ポートの名前空間がサービスの名前空間と一致しません。

対処

ポートとサービスの名前空間を見直してください。

KDJW20023-E

Could not get binding from WSDL. service or port not found in the WSDL. (service = aa....aa, port = bb....bb, WSDL = cc....cc)

aa....aa：サービス名

bb....bb：ポート名

cc....cc：WSDL の URL

説明

WSDL からサービス名またはポートが見つからないため，バインディングを取得できません。

対処

WSDL に指定しているサービス名（wsdl:service 要素）とポート（wsdl:port 要素）の内容と，cosminexus-jaxws.xml や@WebService アノテーションから取得されるサービス名とポートの内容が一致しているか確認してください。

KDJW20025-E

XML stream error occurred during parsing WSDL. (detail = aa....aa, location = bb....bb)

aa....aa：詳細メッセージ

bb....bb：エラー個所

説明

WSDL のパース中に例外が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW20026-E

The class has neither @WebService annotation nor @WebServiceProvider annotation. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

WebService アノテーション，または WebServiceProvider アノテーションが指定されていません。

対処

WebService アノテーション，または WebServiceProvider アノテーションを指定してください。

KDJW20027-E

The class has both @WebService annotation and @WebServiceProvider annotation. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

WebService アノテーションと WebServiceProvider アノテーションの両方が指定されています。

対処

WebService アノテーションか WebServiceProvider アノテーションのどちらか一方だけを指定してください。

KDJW20028-E

The class does not implement Provider interface. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

Provider インタフェースが実装されていません。

対処

Provider インタフェースを実装してください。

KDJW20031-E

Invalid value for attribute of element in cosminexus-jaxws.xml. (line= aa....aa, element= bb....bb, attribute= cc....cc)

aa....aa：行番号

bb....bb：要素名

cc....cc：属性名

説明

cosminexus-jaxws.xml の要素内に含まれる属性の値が不正です。

対処

cosminexus-jaxws.xml を正しく記述してください。

KDJW20036-E

SOAPFault occurred. (RootAP = aa....aa)

aa....aa：ルートアプリケーション情報

説明

Web サービスの実行中に例外が発生しました。

対処

このメッセージのあとに出力される失敗の原因を示すメッセージを参照して，原因を取り除いてください。

KDJW20037-E

Exception occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Web サービスの実行中に例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW20039-E

The class is not found. (class=aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

クラスが見つかりませんでした。

対処

クラスが存在するかどうか確認してください。

KDJW20040-E

The WSDL is not found in the EJB JAR file. Package it in the EJB JAR file or correct file path. (file=aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

WSDL が見つかりません。

対処

WSDL のパスを見直してください。

KDJW20041-E

The method annotated with javax.jws.Oneway annotation cannot have parameters using javax.xml.ws.Holder classes. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名またはサービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドは, javax.xml.ws.Holder クラスを使用したパラメタを指定できません。

対処

javax.jws.Oneway アノテーションをアノテートしたメソッドには，in パラメタだけ指定してください。

KDJW20042-E

The method annotated with javax.jws.Oneway annotation cannot throw exceptions except java.lang.RuntimeException, java.rmi.RemoteException and their subclasses. (class = aa....aa, method = bb....bb, exception class = cc....cc)

aa....aa：SEI 名またはサービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：例外クラス名

説明

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドは，java.lang.RuntimeException と java.rmi.RemoteException およびそのサブクラス以外の例外をスローできません。

対処

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドの throws 節から，java.lang.RuntimeException と java.rmi.RemoteException およびそのサブクラス以外の例外を削除してください。

10.5　KDJW30000 から KDJW39999 までのメッセージ

KDJW30000 から KDJW39999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW30001-E

Fast Infoset decoding is not accepted.

説明

Fast Infoset での復号ができませんでした。

対処

FastInfoset を利用できません。アプリケーションを見直してください。

KDJW30003-E

XML reader error occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

XML のパース中にエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW30004-E

Unable to create StAX reader or writer.

説明

StAX リーダまたはライタの生成に失敗しました。

対処

例外ログに XMLReaderException が出力されているか確認し，出力されている場合は原因を取り除いてください。

KDJW30005-E

XML reader found unexpected character content. (unexpected content = aa....aa)

aa....aa：予期しない文字列

説明

XML に予期しない文字列が含まれています。

対処

XML を正しく記述してください。

KDJW30006-W

Import of specified WSDL is violation of BP 1.1 R2001. (WSDL = aa....aa)

aa....aa：WSDL の URL

説明

WSDL の記述が正しくありません。

対処

WSDL の内容を見直してください。DESCRIPTION は，ほかの WSDL 記述を取り込むために WSDL の import 記述だけを使用してください。

KDJW30011-I

http client message

説明

Web サービスクライアントでリクエストを送信しました。

KDJW30012-I

http client message

説明

Web サービスクライアントでレスポンスを受信しました。

KDJW30013-I

http server message

説明

Web サービス側でリクエストを受信しました。

KDJW30014-I

http server message

説明

Web サービス側でレスポンスを送信しました。

KDJW30017-E

The validation of the mapping information failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

URL と Web サービス実装クラス，または URL とプロバイダ実装クラスのマッピング情報の検証でエラーが発生しました。

対処

cosminexus-jaxws.xml を記述している場合，cosminexus-jaxws.xml を見直して，正しく記述してください。

KDJW30018-E

PRF trace failed to be initialized. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

PRF トレースの初期化処理でエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照して，原因を取り除いてください。

KDJW30019-E

The validation of the handler chain file failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

ハンドラチェイン設定ファイルの検証でエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照して，原因を取り除いてください。

KDJW30020-E

SOAPAction HTTP header must be present to conform R2745 of WS-I BasicProfile 1.1.

説明

受信したメッセージに SOAPAction HTTP ヘッダが含まれていません。WS-I BasicProfile 1.1 の R2745 に準拠するためには，SOAPAction HTTP ヘッダが含まれていなければなりません。

対処

送信するメッセージに SOAPAction HTTP ヘッダを含めてください。または com.cosminexus.jaxws.fault_omit_soapaction プロパティの設定を見直してください。

KDJW30021-E

The mapping from the service implementation class or the provider implementation class to URL failed.

説明

URL とサービス実装クラス，または URL とプロバイダ実装クラスのマッピングに失敗しました。

対処

サービス実装クラス，またはプロバイダ実装クラスに WebService アノテーション，または WebServiceProvider アノテーションがアノテートされているか見直して，正しく記述してください。

KDJW30022-W

The value of the SOAPAction HTTP header must be a quoted string to conform R1109 of WS-I BasicProfile 1.1.

説明

SOAPAction の値が引用符で囲まれていません。WS-I BasicProfile 1.1 の R1109 に準拠するためには，SOAPAction の値を引用符で囲まなければなりません。

対処

リクエストメッセージの SOAPAction 値を確認してください。

KDJW30023-W

The XML is invalid against the schema(s) for catalog file. (file = aa....aa, detail= bb....bb)

aa....aa：カタログファイルのパス

bb....bb：詳細メッセージ

説明

カタログファイルの構文の文法が不正です。

対処

詳細情報を参照して，カタログファイルの構文を見直し原因を取り除いてください。失敗の原因がカタログファイルの構文ではなく，カタログファイルの読み込みの場合は，カタログファイルのパスとアクセス権限が正しいかどうかを確認してください。

KDJW30024-W

Failed to access the WSDL or schema was mapped in the catalog file. (uri = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：カタログファイルで指定した URI

bb....bb：詳細メッセージ

説明

カタログファイルでマッピングした WSDL またはスキーマにアクセスできませんでした。

対処

カタログファイルの uri 属性に指定している URI について，次のことを確認してください。

- URI が正しいかどうか
- URI へアクセスできるかどうか

10.6　KDJW40000 から KDJW49999 までのメッセージ

KDJW40000 から KDJW49999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW40001-I

Web Service(s) is/are being initialized.

説明

Web サービスの初期化を開始します。

KDJW40002-E

Web Service(s) failed to be initialized.

説明

Web サービスの初期化でエラーが発生しました。

対処

このメッセージのあとに出力される初期化失敗の原因を示すメッセージを参照し，原因を取り除いてください。

なお，SEI を起点として開発した Web サービスで，不正なアノテーションなどが Web サービス実装クラスに含まれていると，ラッパ bean の動的生成でエラーが発生する場合があります。ラッパ bean を動的に生成する場合，cjwsgen コマンドを実行して Web サービス実装クラスをエラーチェックし，エラーの要因を取り除いてください。

KDJW40003-I

Web Service(s) was/were successfully initialized.

説明

Web サービスの初期化が正常に終了しました。

KDJW40004-I

Web Service(s) is/are being destroyed.

説明

Web サービスを終了します。

KDJW40006-I

Web Service(s) was/were successfully destroyed.

説明

Web サービスを終了しました。

KDJW40007-W

Duplicate endpoint name. (endpoint = aa....aa)

aa....aa：エンドポイント名

説明

cosminexus-jaxws.xml 内のエンドポイント名が重複しています。

対処

cosminexus-jaxws.xml のエンドポイントの設定を見直してください。

KDJW40009-W

Duplicate URL pattern in endpoint. (endpoint = aa....aa)

aa....aa：エンドポイント名

説明

cosminexus-jaxws.xml 内の URL が重複しています。

対処

cosminexus-jaxws.xml の url-pattern の設定を見直してください。

KDJW40010-W

Unsupported implicit URL pattern in endpoint. (endpoint = aa....aa)

aa....aa：エンドポイント名

説明

cosminexus-jaxws.xml 内の URL パターンの記述をサポートしていません。

対処

cosminexus-jaxws.xml 内の URL パターンに「*.」を含めないでください。

KDJW40011-E

Failed to instantiate service implementation class for port. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

Web サービス実装クラスのインスタンス化に失敗しました。

対処

インスタンス化に失敗したクラスを見直してください。

KDJW40012-I

The web.xml was successfully generated.

説明

web.xml の生成が正常に終了しました。

KDJW40013-E

Exception occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

Web サービスの開始時に例外が発生しました。

対処

例外情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40014-E

Exception occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

Web サービスの終了時に例外が発生しました。

対処

例外情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40015-E

Web Service(s) failed to be destroyed.

説明

Web サービスの終了時に問題が発生しました。

対処

このメッセージの前に出力される失敗の原因を示すメッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40016-E

Failed to request service. (RootAP = aa....aa)

aa....aa：ルートアプリケーション情報

説明

Web サービスの実行に失敗しました。

対処

このメッセージのあとに出力される失敗の原因を示すメッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40017-E

Exception occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：例外情報

説明

Web サービスの実行中に例外が発生しました。

対処

例外情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40018-E

System property cosminexus.home is not specified.

説明

システムプロパティ cosminexus.home が指定されていません。

対処

システムプロパティ cosminexus.home を指定して再実行してください。

KDJW40019-W

The property contains an invalid value. The default value will be used. (key = aa....aa, value = bb....bb, default = cc....cc)

aa....aa：キー名

bb....bb：指定された値

cc....cc：適用されたデフォルト値

説明

範囲外の値が定義されているので，デフォルトの値を使って動作します。

対処

動作定義ファイルを見直してください。

KDJW40020-E

Logging Utility failed to be initialized. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

ログの初期化に失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40021-W

Properties Utility failed to be initialized. (file = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

動作定義ファイルの初期化処理に失敗しました。デフォルトの値を使って動作します。デフォルトの値は，動作定義の優先度が高い順に採用します。動作定義の優先度は，マニュアル「アプリケーションサーバ Web サービス開発ガイド」を参照してください。

対処

詳細情報を参照し，原因を取り除いてください。ファイルの読み込みの失敗が原因の場合は，ファイル名に記載されている動作定義ファイルのパスとアクセス権限が正しいか確認してください。

KDJW40022-E

Logging Utility failed to be destroyed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

ログの終了処理に失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40023-E

The web.xml failed to be generated. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

web.xml の生成に失敗しました。

対処

@WebService アノテーションを見直して再実行してください。

KDJW40026-I

The required information for generating web.xml was retrieved. (implementation class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

web.xml の生成に必要な情報を取得しました。

KDJW40027-I

The property value was successfully retrieved. (key= aa....aa, value= bb....bb)

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：プロパティの設定内容

説明

プロパティを設定しました。

KDJW40033-E

A @WebServiceRef annotation does not allowed on this element. (element=aa....aa)

aa....aa：要素名

説明

WebServiceRef アノテーションは，指定された要素へ付与できません。

対処

WebServiceRef アノテーションが，クラス，フィールド，またはメソッドのどれかに付与されていることを確認してください。

KDJW40035-E

The method annotated @WebServiceRef annotation requires a void return type.

説明

WebServiceRef アノテーションが付与されたメソッドは，戻り値が void でなければなりません。

対処

WebServiceRef アノテーションを付与したメソッドが，void 型の戻り値を持つメソッドであることを確認してください。

KDJW40037-E

Illegal use of static field on class that only supports instance-based injection. (field=aa....aa)

aa....aa：フィールド名

説明

インスタンス化して使用するクラスの static フィールドに，オブジェクトを注入できません。

対処

WebServiceRef アノテーションを付与したフィールドが，static 宣言されていないことを確認してください。

KDJW40039-E

Illegal use of static method on class that only supports instance-based injection. (method=aa....aa)

aa....aa：メソッド名

説明

インスタンス化して使用するクラスの static メソッドを使用して，オブジェクトを注入できません。

対処

WebServiceRef アノテーションを付与したメソッドが，static 宣言されていないことを確認してください。

KDJW40041-I

Injecting dependency into the field on class. (field=aa....aa, class=bb....bb)

aa....aa：フィールド名

bb....bb：クラス名

説明

フィールドにオブジェクトを注入します。

KDJW40042-I

Injecting dependency into the method on class. (method=aa....aa, class=bb....bb)

aa....aa：メソッド名

bb....bb：クラス名

説明

メソッドにオブジェクトを注入します。

KDJW40043-E

Exception occurred during injecting dependency. (object=aa....aa, class=bb....bb, detail=cc....cc)

aa....aa：オブジェクト名

bb....bb：クラス名

cc....cc：詳細情報

説明

オブジェクトを注入する処理で例外が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW40044-E

Service class must be annotated with a @WebServiceClient annotation.

説明

サービスクラスには，WebServiceClient アノテーションを付与する必要があります。

対処

WebServiceRef アノテーションをサービスクラスまたはポートに指定してください。また，次に従って対処してください。

WebServiceRef アノテーションをサービスクラスに指定した場合

- WebServiceRef アノテーションに value 要素を指定しているときは，value 要素を削除してください。
- WebServiceRef アノテーションを指定したサービスクラスのクラス宣言に WebServiceClient アノテーションが指定されていないときは，WebServiceClient アノテーションが指定されているサービスクラスを指定してください。

WebServiceRef アノテーションをポートに指定した場合

- WebServiceRef アノテーションに value 要素を指定していないときは，value 要素にサービスクラスを指定してください。
- value 要素に指定したサービスクラスのクラス宣言に WebServiceClient アノテーションが指定されていないときは，WebServiceClient アノテーションが指定されているサービスクラスを指定してください。

KDJW49999-W

A warning occurred in processing Web Services. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

サービスの実行中に問題が発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。

10.7　KDJW50000 から KDJW59999 までのメッセージ

KDJW50000 から KDJW59999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW50001-I

cjwsimport started.

説明

cjwsimport コマンドを開始します。

KDJW50002-I

cjwsimport successfully ended.

説明

cjwsimport コマンドが正常終了しました。

KDJW50003-E

cjwsimport unsuccessfully ended.

説明

cjwsimport コマンドが異常終了しました。

対処

エラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KDJW50004-I

The generating of Java source started.

説明

Java ソースの生成を開始します。

KDJW50005-E

The generating of Java source has failed.

説明

Java ソースの生成に失敗しました。

対処

エラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KDJW50006-I

The compiling of generated Java source started.

説明

生成した Java ソースをコンパイルします。

KDJW50007-E

The compiling of generated Java source has failed.

説明

生成した Java ソースのコンパイルに失敗しました。

対処

エラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KDJW51001-E

The specified option is invalid. (option = aa....aa)

aa....aa：不正なオプション

説明

不正なオプションが指定されました。

対処

正しいオプションを指定してください。

KDJW51002-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the namespace of WSDL. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：targetNamespace 属性の値

説明

WSDL の名前空間に http://または urn:以外のプロトコルは指定できません。

対処

WSDL の名前空間には，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW51003-E

The relative path cannot be specified for the namespace of WSDL. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：targetNamespace 属性の値

説明

WSDL の名前空間に相対パスは指定できません。

対処

WSDL の名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW51004-E

The form of the targetNamespace of WSDL is invalid. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：targetNamespace 属性の値

説明

WSDL の名前空間の記述形式が不正です。

対処

WSDL の名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- 空文字
- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW51007-E

The keyword reserved for Java language cannot be used for the name attribute of wsdl:operation element in WSDL. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, operation name = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:operation 要素名

説明

WSDL の wsdl:operation 要素名に Java 予約語は使用できません。

対処

WSDL の wsdl:operation 要素名に Java 予約語を使用しないでください。

KDJW51008-E

The number of wsdl:portType elements is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

WSDL の wsdl:portType 要素の数が不正です。

対処

WSDL の wsdl:portType 要素は 1～255 個の範囲で指定してください。

KDJW51009-W

The namespace attribute cannot be specified in soap:header element in WSDL. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

説明

soap:header 要素に namespace 属性は指定できません。

対処

soap:header 要素に namespace 属性は指定しないでください。

KDJW51016-E

The number of arguments of Java method is invalid when the mapping is done from WSDL to Java source. (WSDL file = aa....aa, operation name = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：wsdl:operation 要素名

説明

WSDL から Java へマッピング後のメソッドの引数の数が不正です。

対処

WSDL から Java へマッピング後のメソッドの引数の数は，254 個以内になるようにしてください。

KDJW51017-E

The keyword reserved for Java language cannot be used for the name attribute of wsdl:part element in WSDL. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, part name = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:part 要素名

説明

WSDL の wsdl:part 要素名に Java 予約語は使用できません。

対処

WSDL の wsdl:part 要素名に Java 予約語を使用しないでください。

KDJW51018-E

The keyword reserved for Java language cannot be used for the wrapper child element in WSDL. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, wrapper child element name = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wrapper 子要素名

説明

WSDL の wrapper 子要素名に Java 予約語は使用できません。

対処

WSDL の wrapper 子要素名に Java 予約語を使用しないでください。

KDJW51019-E

The number of wsdl:part child elements of input wsdl:message element referred from soap:body element is invalid. (WSDL file = aa....aa, message name = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：インプットの wsdl:message 要素名

説明

WSDL の wsdl:operation 要素の soap:body 要素から参照する input メッセージの wsdl:part 子要素の数が不正です。

対処

WSDL の wsdl:operation 要素の soap:body 要素から参照する input メッセージには，wsdl:part 子要素を一つだけ指定してください。

KDJW51020-E

The number of wsdl:part child elements of output wsdl:message element referred from wsdl:operation element is invalid. (WSDL file = aa....aa, message name = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：アウトプットの wsdl:message 要素名

説明

WSDL の wsdl:operation 要素から参照する output メッセージの wsdl:part 子要素の数が不正です。

対処

WSDL の wsdl:operation 要素から参照する output メッセージには，wsdl:part 子要素を一つだけ指定してください。

KDJW51021-E

The wsdl:part element specified for the parts attribute is not found. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, parts = cc....cc, message name = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：parts 属性の値

dd....dd：wsdl:message 要素名

説明

parts 属性に指定した wsdl:part 要素が見つかりません。

対処

soap:header 要素の part 属性には，message 属性に指定した wsdl:message 要素以下に宣言されている wsdl:part 要素を指定してください。

KDJW51022-E

The wsdl:part element specified for the part attribute is not found in the child element of the wsdl:message element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, part = cc....cc, operation name = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：parts 属性の値

dd....dd：wsdl:operation 要素名

説明

part 属性に指定した wsdl:part 要素が，wsdl:message 要素の子要素に見つかりません。

対処

親要素である wsdl:input 要素，または wsdl:output 要素が参照する wsdl:message 要素の複数の wsdl:part 子要素のうち，どれを soap:body 要素にバインドするのかを指定してください。

KDJW51025-E

The number of wsdl:part child elements of fault wsdl:message element referred from wsdl:fault element is invalid. (WSDL file = aa....aa, message name = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：フォルトの wsdl:message 要素名

説明

wsdl:fault 要素が参照するメッセージの wsdl:part 子要素の数が不正です。

対処

wsdl:fault 要素が参照する wsdl:message 要素の wsdl:part 子要素は，一つだけ指定してください。

KDJW51026-E

wsdl:fault elements specified as child elements of one wsdl:operation element must refer to unique wsdl:message elements. (WSDL file = aa....aa, operation name = bb....bb, fault name = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：wsdl:operation 要素名

cc....cc：wsdl:fault 要素名

説明

一つの wsdl:operation 要素の子要素に複数の wsdl:fault 要素を指定していますが，それらの要素から参照する wsdl:message 要素がユニークではありません。

対処

一つの wsdl:operation 要素の子要素に複数の wsdl:fault 要素を指定している場合，それらの要素から参照する wsdl:message 要素はユニークにしてください。

KDJW51027-W

The name attribute of the soap:fault element does not correspond to the name attribute of the wsdl:fault element in the wsdl:operation element. (WSDL file = aa....aa, soap:fault name = bb....bb, wsdl:fault name = cc....cc, wsdl:operation name = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：soap:fault 要素名

cc....cc：wsdl:fault 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

説明

soap:fault 要素名が，wsdl:operation 要素の wsdl:fault 要素名と一致しません。

対処

soap:fault 要素名と wsdl:fault 要素名を一致させてください。

KDJW51029-E

The XML is invalid against the schema(s) for WSDL, XML schema, SOAP Binding and/or JAX-WS binding declarations. See detail message, check the elements and the attributes that belong in the namespaces of these and resolve the problem(s). (file = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：詳細メッセージ（JAXB のメッセージ）

説明

WSDL または XML Schema の構文が文法的に不正です。

対処

詳細メッセージを参照し，WSDL または XML Schema の構文を見直してください。

KDJW51030-E

The class or SEI name must be unique and must not collide with the others when the mapping is done from WSDL to Java source. (WSDL file = aa....aa, class = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：衝突した名称

説明

WSDL から Java へマッピングするときに，SEI またはクラスの名前が重複しています。

対処

SEI またはクラスの名前は，ユニークになるよう，WSDL の wsdl:portType 要素名や wsdl:service 要素名などを見直してください。

KDJW51034-E

The jaxws:bindings child element cannot be specified in the jaxws:bindings element, in the embedded binding declarations . (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

説明

埋め込みによるバインディング宣言内で，jaxws:bindings 要素の子要素として jaxws:bindings 要素を記述できません。

対処

埋め込みによるバインディング宣言内で，jaxws:bindings 要素の子要素として jaxws:bindings 要素を記述しないでください。

KDJW51038-E

The form of the node attribute of jaxws:bindings element is invalid in the external binding file. (external binding file = aa....aa, node = bb....bb)

aa....aa：外部バインディングファイル名

bb....bb：node 属性の値

説明

外部バインディング宣言で jaxws:bindings 要素の node 属性の記述形式が誤っています。

対処

外部バインディング宣言で jaxws:bindings 要素の node 属性の記述形式を見直してください。

KDJW51039-E

JAXWS version attribute must be "2.0". (external binding file = aa....aa, version = bb....bb)

aa....aa：外部バインディングファイル名

bb....bb：version 属性の値

説明

外部バインディング宣言でルートの jaxws:bindings 要素の version 属性の指定値が不正です。

対処

外部バインディング宣言でルートの jaxws:bindings 要素の version 属性には"2.0"を指定してください。

KDJW51040-E

The element cannot be specified as child element of jaxws:bindings element. (customized WSDL element = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：カスタマイズ対象の WSDL 要素

bb....bb：不正な要素名

説明

jaxws:bindings 要素の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

jaxws:bindings 要素の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51043-E

The form of the wsdlLocation attribute of jaxws:bindings element is invalid in the external binding file or specified WSDL file to be customized is not exist. (external binding file = aa....aa, pointed WSDL file = bb....bb)

aa....aa：外部バインディングファイル名

bb....bb：wsdlLocation 属性の値

説明

外部バインディング宣言で jaxws:bindings 要素の wsdlLocation 属性の記述形式が誤っているか，またはファイルがありません。

対処

外部バインディング宣言で jaxws:bindings 要素の wsdlLocation 属性の記述形式が誤っていないか確認してください。または指定したファイルがあるか確認してください。

KDJW51049-E

The number of wsdl:types child elements of wsdl:definitions element is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:definitions の子要素として wsdl:types 要素の数が不正です。

対処

wsdl:types 要素は wsdl:definitions の子要素として，1 個だけ指定してください。

KDJW51050-E

The number of wsdl:message child elements of wsdl:definitions element is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:definitions の子要素として wsdl:message 要素の数が不正です。

対処

wsdl:message 要素は wsdl:definitions の子要素として，1 個以上指定してください。

KDJW51051-E

The number of soap:fault child elements of wsdl:fault element is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:fault の子要素として soap:fault 要素の数が不正です。

対処

soap:fault 要素は wsdl:fault の子要素として，1 個だけ指定してください。

KDJW51052-E

The number of wsdl:import child elements of wsdl:definitions element is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:definitions の子要素として wsdl:import 要素の数が不正です。

対処

wsdl:import 要素は wsdl:definitions の子要素として，0～255 個の範囲で指定してください。

KDJW51053-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:definitions element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, element = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：不正な要素名

説明

wsdl:definitions の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:definitions の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51054-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:import element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, element = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：不正な要素名

説明

wsdl:import の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:import の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51055-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:message element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, message name = cc....cc, element = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:message 要素名

dd....dd：不正な要素名

説明

wsdl:message の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:message の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51056-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:part element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, message name = cc....cc, part name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:message 要素

dd....dd：wsdl:part 要素名

ee....ee：不正な要素

説明

wsdl:part の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:part の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51057-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:input grandchild element of wsdl:portType element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, portType name = cc....cc, operation name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:portType 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：不正な要素名

説明

wsdl:portType の孫要素である wsdl:input の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:portType の孫要素である wsdl:input の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51058-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:output grandchild element of wsdl:portType element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, portType name = cc....cc, operation name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:portType 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：不正な要素名

説明

wsdl:portType の孫要素である wsdl:output の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:portType の孫要素である wsdl:output の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51059-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:types element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, element = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：不正な要素名

説明

wsdl:types の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:types の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51074-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:portType element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, portType name = cc....cc, element = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:portType 要素名

dd....dd：不正な要素名

説明

wsdl:portType の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:portType の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51080-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:operation element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, portType name = cc....cc, operation name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:portType 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：不正な要素名

説明

wsdl:operation の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:operation の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51083-E

The name of wsdl:operation child element of wsdl:portType element must be unique and must not collide with the others. (WSDL file = aa....aa, operation name = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：wsdl:operation 要素名

説明

wsdl:portType 要素の wsdl:operation 子要素の名前が重複しています。

対処

wsdl:portType 要素の wsdl:operation 子要素の名前がユニークになるよう見直してください。

KDJW51096-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:fault element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, portType name = cc....cc, operation name = dd....dd, fault name = ee....ee, element = ff....ff)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:portType 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：wsdl:fault 要素名

ff....ff：不正な要素名

説明

wsdl:fault の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:fault の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51100-E

The number of wsdl:binding child elements of wsdl:definitions element is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:definitions の子要素として wsdl:binding 要素の数が不正です。

対処

wsdl:definitions の子要素として wsdl:binding 要素は，1～255 個の範囲で指定してください。

KDJW51102-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:binding element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, binding name = cc....cc, element = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:binding 要素名

dd....dd：不正な要素名

説明

wsdl:binding の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:binding の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51108-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:operation child element of wsdl:binding element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, binding name = cc....cc, operation name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:binding 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：不正な要素名

説明

wsdl:binding の子要素である wsdl:operation の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:binding の子要素である wsdl:operation の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51112-E

The wsdl:operation child element of wsdl:portType element corresponding to the wsdl:operation child element of wsdl:binding element cannot be found. (WSDL name = aa....aa, line = bb....bb, binding name = cc....cc, operation name = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:binding 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

説明

wsdl:binding 要素の wsdl:operation 子要素に一致する wsdl:portType 要素の wsdl:operation 子要素が見つかりません。

対処

wsdl:binding 要素の wsdl:operation 子要素に一致する wsdl:portType 要素の wsdl:operation 子要素を定義してください。

KDJW51114-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:input grandchild element of wsdl:binding element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, binding name = cc....cc, operation name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:binding 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：不正な要素名

説明

wsdl:binding の孫要素である wsdl:input の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:binding の孫要素である wsdl:input の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51119-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:output grandchild element of wsdl:binding element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, binding name = cc....cc, operation name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:binding 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：不正な要素名

説明

wsdl:binding の孫要素である wsdl:output の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:binding の孫要素である wsdl:output の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51123-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:fault grandchild element of wsdl:binding element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, binding name = cc....cc, operation name = dd....dd, fault name = ee....ee, element = ff....ff)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:binding 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

ee....ee：wsdl:fault 要素名

ff....ff：不正な要素名

説明

wsdl:binding の孫要素である wsdl:fault の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:binding の孫要素である wsdl:fault の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51127-E

The number of wsdl:service child elements of wsdl:definitions element is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:definitions の子要素としての wsdl:service 要素の数が不正です。

対処

wsdl:definitions の子要素としての wsdl:service 要素は，1～255 個の範囲で指定してください。

KDJW51129-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:service child element of wsdl:definitions element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, service name = cc....cc, element = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:service 要素名

dd....dd：不正な要素名

説明

wsdl:definitions の子要素としての wsdl:service 要素の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:definitions の子要素としての wsdl:service 要素の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51135-E

The element cannot be specified as child element of wsdl:port child element of wsdl:service element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, service name = cc....cc, port name = dd....dd, element = ee....ee)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:service 要素名

dd....dd：wsdl:port 要素名

ee....ee：不正な要素名

説明

wsdl:service の子要素としての wsdl:port 要素の子要素として指定できる要素ではありません。

対処

wsdl:service の子要素としての wsdl:port 要素の子要素として指定できる要素を指定してください。

KDJW51143-E

The number of soap:binding child element of wsdl:binding element is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:binding 要素の子要素としての soap:binding 要素の数が不正です。

対処

wsdl:binding 要素の子要素としての soap:binding 要素は，1 個だけ指定してください。

KDJW51147-E

The value of transport attribute of soap:binding element is invalid. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, transport = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：transport 属性の値

説明

wsdl:binding 要素の子要素としての soap:binding 要素に transport 属性に指定している値が不正です。

対処

wsdl:binding 要素の子要素としての soap:binding 要素に transport 属性には，"http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"を指定してください。

KDJW51150-E

The number of soap:operation child elements of wsdl:operation element is invalid. (WSDL file = aa....aa, binding name = bb....bb, operation name = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：wsdl:binding 要素名

cc....cc：wsdl:operation 要素名

説明

wsdl:operation 要素の子要素としての soap:operation 要素の数が不正です。

対処

wsdl:operation 要素の子要素としての soap:operation 要素は，1 個だけ指定してください。

KDJW51156-E

The number of soap:body child elements of wsdl:input or wsdl:output element is invalid. (WSDL file = aa....aa, binding name = bb....bb, operation name = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：wsdl:binding 要素名

cc....cc：wsdl:operation 要素名

説明

wsdl:input 要素または wsdl:output 要素の子要素として，soap:body 要素の数が不正です。

対処

wsdl:input 要素または wsdl:output 要素の子要素として，soap:body 要素は，1 個だけ指定してください。

KDJW51175-E

The number of soap:address elements is invalid. (WSDL file = aa....aa)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

説明

wsdl:port 要素の子要素として soap:address 要素の数が不正です。

対処

wsdl:port 要素の子要素として soap:address 要素は，1 個だけ指定してください。

KDJW51179-E

The parts attribute must be specified when soap:header element is specified. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

説明

soap:header 要素を記述しているが，soap:body 要素の parts 属性を指定していません。

対処

soap:header 要素を記述している場合，soap:body 要素の parts 属性を指定してください。

KDJW51180-E

WSDL is not found. (WSDL = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：詳細メッセージ

説明

cjwsimport コマンド実行時，指定した WSDL ファイルが見つかりません。

対処

次のどれかの対処をしてください。

- WSDL ファイルをファイルパスで指定する場合は，正しいパスを指定してください。WSDL ファイルのパスを誤っていないか確認してください。詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。
- Web サービスの初期化が正常に終了しているかどうかを確認してください。Web サービスのデプロイ時に，J2EE サーバのコンソールまたは JAX-WS 機能の稼働ログに KDJW40003-I が出力されていれば，初期化が正常に終了しています。
- EJB を Web サービスにしている場合は，WSEE（JSR-109）仕様のサポート範囲で使用しているかどうかを確認してください。サポートしていない Enterprise Bean を Web サービスにしたとき，javax.jws.WebService アノテーションはデプロイ時に無視されます。

KDJW51181-E

Output directory is not found. (directory = aa....aa)

aa....aa：-d，-s オプションで指定した出力先ディレクトリ名

説明

cjwsimport コマンドで指定された出力先ディレクトリが見つかりません。

対処

オプションで指定した出力先ディレクトリがあるか確認してください。

KDJW51182-E

The value specified by -d or -s option is not a directory. (value = aa....aa)

aa....aa：-d，-s オプションで指定した出力先ディレクトリ名

説明

cjwsimport コマンドで指定された出力先が，ディレクトリではありません。

対処

オプションで指定した出力先ディレクトリに，誤ってファイルを指定していないか確認してください。

KDJW51184-E

The external binding file specified by -b option is not found. (external binding file = aa....aa)

aa....aa：-b オプションで指定した外部バインディングファイル名

説明

cjwsimport コマンドで指定された外部バインディングファイルが見つかりません。

対処

オプションで指定した外部バインディングファイルがあるか確認してください。

KDJW51185-E

The value specified by -b option is not a file. (value = aa....aa)

aa....aa：-b オプションで指定した値

説明

cjwsimport コマンドで指定された外部バインディングファイルが，ディレクトリになっています。

対処

オプションで指定した外部バインディングファイルに，誤ってディレクトリを指定していないか確認してください。

KDJW51187-E

The element specified for the node attribute of jaxws:bindings element that should be customized is not found in case of using external binding file. (external binding file = aa....aa, node = bb....bb)

aa....aa：外部バインディングファイル名

bb....bb：node 属性の値

説明

外部バインディングファイルでカスタマイズする場合，jaxws:bindings 要素の node 属性で指定したカスタマイズ対象が見つかりません。

対処

node 属性に指定した XPath 表現を誤っていないか確認してください。または，wsdl:import 要素で読み込む WSDL 文書をカスタマイズしたい場合，誤って wsdl:import 元の WSDL 文書を指定していないか確認してください。

KDJW51188-E

Unsupported binding element is specified. (file = aa....aa, line = bb....bb, element = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイル名または外部バインディングファイル名

bb....bb：行番号

cc....cc：非サポートのバインディング要素名

説明

非サポートのバインディング要素です。

対処

非サポートのバインディング要素は使用しないでください。

KDJW51189-E

WSDL is not found. (WSDL = aa....aa)

aa....aa：WSDL のパス

説明

cjwsimport コマンドの実行時に，指定した WSDL が見つかりません。

対処

WSDL を指定する場合は，正しいパスを指定してください。WSDL ファイルのパスを誤っていないか確認してください。

KDJW51190-E

The WSDL file specified for argument does not correspond to the WSDL to be customized in the external binding file. (external binding file = aa....aa, pointed WSDL file = bb....bb)

aa....aa：外部バインディングファイル名

bb....bb：WSDL ファイルのパス

説明

cjwsimport コマンドの引数に指定した WSDL ファイルと，外部バインディングファイルの wsdlLocation 属性に指定された WSDL ファイルが同一ではありません。

対処

cjwsimport コマンドの引数に指定した WSDL ファイルと，外部バインディングファイルの wsdlLocation 属性に指定された WSDL ファイルは，同一の WSDL ファイルを指定してください。

KDJW51191-W

The value of namespace attribute of wsdl:import element in WSDL does not correspond to the value of targetNamespace attribute of wsdl:definitions element in WSDL. (WSDL file = aa....aa, namespace = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：インポート元の WSDL ファイルのパス

bb....bb：インポート元の名前空間名

cc....cc：インポート先の対象名前空間名

説明

インポート元の wsdl:import 要素の namespace 属性と，インポート先の wsdl:definitions 要素の targetNamespace 属性の名前空間が一致しません。

対処

インポート元の wsdl:import 要素の namespace 属性と，インポート先の wsdl:definitions 要素の targetNamespace 属性の名前空間は，同一の名前空間を指定してください。

KDJW51192-W

The value of targetNamespace attribute of wsdl:definitions element in WSDL and the value of targetNamespace attribute of wsdl:definitions element in imported WSDL are the same. (WSDL file = aa....aa, targetNamespace = bb....bb, imported targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：インポート元の WSDL ファイルのパス

bb....bb：インポート元の対象名前空間名

cc....cc：インポート先の対象名前空間名

説明

インポート元の wsdl:definitions 要素の targetNamespace 属性と，インポート先の wsdl:definitions 要素の targetNamespace 属性の名前空間が同じです。

対処

インポート元の wsdl:definitions 要素の targetNamespace 属性と，インポート先の wsdl:definitions 要素の targetNamespace 属性の名前空間は，異なる名前空間を指定してください。

KDJW51197-E

WSDL specified in location attribute of wsdl:import element cannot be found. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, location = cc....cc, detail = dd....dd)

aa....aa：インポート元の WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：location 属性の値

dd....dd：詳細メッセージ

説明

wsdl:import 要素の location 属性に指定した WSDL が見つかりません。

対処

wsdl:import 要素の location 属性に指定した値が正しいか確認してください。詳細メッセージを参照し，原因を取り除いてください。

KDJW51198-E

WSDL specified in location attribute of wsdl:import element cannot be found. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, location = cc....cc)

aa....aa：インポート元の WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：location 属性の値

説明

wsdl:import 要素の location 属性に指定した WSDL が見つかりません。

対処

wsdl:import 要素の location 属性に指定した値が正しいか確認してください。

KDJW51199-E

The URL specified in location attribute of wsdl:import element is invalid. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, location = cc....cc)

aa....aa：インポート元の WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：location 属性の値

説明

wsdl:import 要素の location 属性に指定している WSDL の URL が不正です。

対処

リモートの WSDL ファイルを URL で指定する場合は，正しい URL を指定してください。WSDL ファイルの URL を誤っていないか確認してください。

KDJW51200-E

The root element in the file specified as WSDL is not wsdl:definitions element. (file = aa....aa, line = bb....bb)

aa....aa：指定されたファイルのパス

bb....bb：行番号

説明

WSDL として指定されたファイルは，ルート要素が wsdl:definitions である WSDL ファイルではありません。

対処

ルート要素が wsdl:definitions 要素である WSDL を指定してください。

KDJW51203-W

The skeleton class already exists in output directory. (skeleton class = aa....aa)

aa....aa：スケルトンクラス名

説明

すでに同名のスケルトンクラスがあるため，スケルトンクラスは生成しないで処理を続行します。

対処

新たにスケルトンクラスを生成したい場合は，同名のスケルトンクラスを削除するか，またはスケルトンクラス名を別名にしてください。

KDJW51205-E

The local name of global elements referred from soap:header elements must be unique and must not collide with the others. (WSDL file = aa....aa, global element = bb....bb)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：重複したグローバル要素名

説明

複数の soap:header のメッセージから参照するグローバル要素のローカル名が重複しています。

対処

soap:header 要素を複数記述している場合，それぞれの soap:header 要素に対応するメッセージから参照するグローバル要素のローカル名は，すべてユニークにしてください。

KDJW51206-W

The SEI(s) is/are not generated for the wsdl:port element(s) in which the jaxws:provider element(s) is/are specified. (port name(s) = aa....aa)

aa....aa：ポート名リスト

説明

wsdl:port 要素に jaxws:provider 要素を指定した場合，SEI は生成されません。

対処

SEI を生成する場合は，次のどちらかの対処をしてください。

- jaxws:provider バインディング宣言を削除する
- boolean 値に false を指定する

KDJW51207-W

The skeleton class(s) is/are not generated for the wsdl:port element(s) in which the jaxws:provider element(s) is/are specified. (port name(s) = aa....aa)

aa....aa：ポート名リスト

説明

wsdl:port 要素に jaxws:provider 要素を指定した場合，スケルトンクラスは生成されません。

対処

javax.xml.ws.Provider インタフェースを実装したサービス実装クラスを作成してください。スケルトンクラスを生成する場合は，次のどちらかの対処をしてください。

- jaxws:provider バインディング宣言を削除する
- boolean 値に false を指定する

KDJW51208-E

R2716 of WS-I Basic Profile 1.1 does not allow namespace attribute in the element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, element = cc....cc, operation = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：namespace 属性が記述されている要素名

dd....dd：namespace 属性が記述されている要素を含む wsdl:operation 要素名

説明

WS-I Basic Profile 1.1 の R2716 で認められないため，soap:body 要素に namespace 属性は記述できません。

対処

soap:body 要素に namespace 属性を記述しないでください。

KDJW51219-W

The catalog file specified by -catalog option is not found. (catalog file = aa....aa)

aa....aa：-catalog オプションで指定したカタログファイルのパス

説明

cjwsimport コマンドに指定したカタログファイルが見つかりません。

対処

-catalog オプションで指定したカタログファイルのパスが，正しいかどうかを確認してください。

KDJW51220-W

The value specified by -catalog option is not a file. (value = aa....aa)

aa....aa：-catalog オプションで指定したカタログファイルのパス

説明

cjwsimport コマンドの-catalog オプションで指定した値がディレクトリです。

対処

-catalog オプションで指定した値に，誤ってディレクトリを指定していないかどうかを確認してください。

KDJW51221-W

The XML is invalid against the schema(s) for catalog file. (file = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：catalog オプションで指定したカタログファイルのパス

bb....bb：詳細メッセージ

説明

カタログファイルの構文の文法が不正です。

対処

詳細情報を参照して，カタログファイルの構文を見直して原因を取り除いてください。失敗の原因がカタログファイルの構文ではなく，カタログファイルの読み込みの場合は，カタログファイルのパスとアクセス権限が正しいかどうかを確認してください。

KDJW51222-E

The wsdl:output grandchild element of wsdl:binding element corresponding to the wsdl:output grandchild element of wsdl:portType element cannot be found. (WSDL name = aa....aa, line = bb....bb, binding name = cc....cc, operation name = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:binding 要素名

dd....dd：wsdl:operation 要素名

説明

wsdl:portType 要素の wsdl:output 孫要素に対応する wsdl:binding 要素の wsdl:output 孫要素が見つかりません。

対処

wsdl:portType 要素の wsdl:output 孫要素に対応する wsdl:binding 要素の wsdl:output 孫要素を定義してください。

KDJW51210-E

R2716 of WS-I Basic Profile 1.1 does not allow namespace attribute in the element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, element = cc....cc, fault name = dd....dd)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：namespace 属性が記述されている要素名

dd....dd：namespace 属性が記述されている wsdl:fault 要素名

説明

WS-I Basic Profile 1.1 の R2716 で認められていないため，soap:fault 要素に namespace 属性は記述できません。

対処

soap:fault 要素に namespace 属性を記述しないでください。

KDJW51212-E

Unknown required extensibility element was found at the element. (WSDL file = aa....aa, line = bb....bb, extensibility element = cc....cc)

aa....aa：WSDL ファイルのパス

bb....bb：行番号

cc....cc：wsdl:required 属性が記述されている拡張要素名

説明

WS-I Basic Profile 1.1 の R2026 で推奨されていないため，拡張要素に wsdl:required 属性は記述できません。

対処

拡張要素に wsdl:required 属性を記述しないでください。

KDJW51901-E

Please set environment variable COSMINEXUS_HOME explicitly to the directory at which Cosminexus is installed.

説明

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME が設定されていません。

対処

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME に，アプリケーションサーバのインストールディレクトリを設定してください。

KDJW51902-E

Fatal error occurred. HNTRLib2 path could not be retrieved.

説明

HNTRLib2 のインストールパスを取得できませんでした。

対処

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME に，Application Server がインストールされているディレクトリが設定されているか確認してください。

設定されている場合，HNTRLib2 がインストールされているか確認してください。

KDJW59998-W

A warning occurred while cjwsimport command was executed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

cjwsimport コマンド実行時に軽微なエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，必要に応じて原因を取り除いてください。

KDJW59999-E

An error occurred while cjwsimport command was executed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

cjwsimport コマンド実行時にエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，エラーの原因を取り除いてから，コマンドを再実行してください。

10.8　KDJW60000 から KDJW69999 までのメッセージ

KDJW60000 から KDJW69999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW61001-W

A web service endpoint could not be found.

説明

Web エンドポイントがありません。

対処

Web サービスまたは Web サービスクライアントを作成する場合は，javax.jws.WebService アノテーションを記述したサービス実装クラスを指定してください。

KDJW61002-E

The number of SEI and service implements class specified for argument in cjapt exceeds the maximum number of it.

説明

cjapt コマンドの引数に指定できる Web サービス実装クラスおよび SEI の合計が，最大数を超えています。

対処

cjapt コマンドの引数には Web サービス実装クラスを一つ，Web サービス実装クラスが SEI を参照していれば SEI を一つ指定してください。

KDJW61003-E

The directory specified by -d or -s option is invalid. (directory = aa....aa)

aa....aa：-d，-s オプションで指定した出力先ディレクトリ名

説明

-d または-s オプションで指定された出力先ディレクトリが不正です。

対処

-d または-s オプションで指定された出力ディレクトリとそのサブディレクトリが正しいか，または不正なディレクトリやファイルが残っていないか確認してください。もし不正なディレクトリやファイルが残っていた場合は，削除してからコマンドを再実行してください。

KDJW61004-E

The javax.jws.WebService annotated classes that do not belong to a package must have the targetNamespace element of javax.jws.WebService. (class = aa....aa)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

説明

SEI でパッケージの記述がなく，かつ WebService アノテーションの targetNamespace 要素の記述もありません。

対処

cjapt コマンドの入力となる SEI または Web サービス実装クラスがデフォルトパッケージの場合，javax.jws.WebService アノテーションの targetNamespace 要素で名前空間名を記述してください。

KDJW61005-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the targetNamespace element of javax.jws.WebService annotation. (class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebService アノテーションの targetNamespace 要素に http://または urn:以外のプロトコルは指定できません。

対処

javax.jws.WebService アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61006-E

The relative path cannot be specified for the targetNamespace element of javax.jws.WebService annotation. (class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebService アノテーションの targetNamespace 要素に相対パスは指定できません。

対処

javax.jws.WebService アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61007-E

The form of the targetNamespace element of javax.jws.WebService annotation is invalid. (class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebService アノテーションの targetNamespace 要素の記述形式が不正です。

対処

javax.jws.WebService アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW61009-E

Only SEI that has javax.jws.WebService annotation can be specified for the endpointInterface element of javax.jws.WebService annotation in the implementation class. (implementation class = aa....aa, endpointInterface = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：endpointInterface 要素の値

説明

javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素に javax.jws.WebService アノテーションを持つ SEI 以外を指定しています。

対処

endpointInterface 要素には，javax.jws.WebService アノテーションを持つ SEI を指定してください。

KDJW61010-E

The exclude element of javax.jws.WebMethod annotation cannot be specified with the other elements of it. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

javax.jws.WebMethod アノテーションの exclude 要素とほかの要素を同時に指定できません。

対処

javax.jws.WebMethod アノテーションの exclude 要素に true を設定する場合は，
javax.jws.WebMethod アノテーションのほかの要素は記述しないでください。

KDJW61011-E

All methods in a SEI must be implemented in the implementation class.(SEI = aa....aa, implementation class = bb....bb, method = cc....cc)

aa....aa：SEI 名

bb....bb：Web サービス実装クラス名

cc....cc：メソッド名

説明

Web サービス実装クラスは，参照している SEI のすべてのメソッドを実装していません。

対処

javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素を使用している場合，Web サービス実装クラスは，SEI のすべてのメソッドを実装してください。

KDJW61012-E

A finalize method cannot be implemented in the implementation class.(implementation class = aa....aa)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

説明

サービス実装クラスに finalize()メソッドは実装できません。

対処

サービス実装クラスで，finalize()メソッドをオーバーライドしないでください。

KDJW61013-E

An implementation class annotated with javax.jws.WebService must have a public default constructor. (implementation class = aa....aa)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

説明

Web サービス実装クラスに public なデフォルトコンストラクタを定義していません。

対処

Web サービス実装クラスにコンストラクタを定義する場合，public な引数なしのコンストラクタも定義してください。

KDJW61015-E

An inner class that is not static is defined in the implementation class. (implementation class = aa....aa)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

説明

Web サービス実装クラスに static でないインナークラスを定義しています。

対処

インナークラスにサービス実装クラスを定義する場合は，static にしてください。

KDJW61016-E

The access modifier of service implementation class is not public. (implementation class = aa....aa)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

説明

Web サービス実装クラスのアクセス修飾子が public ではありません。

対処

Web サービス実装クラスは public クラスにしてください。

KDJW61019-E

The endpointInterface element of javax.jws.WebService annotation cannot be specified with the name element of it. (implementation class = aa....aa)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

説明

javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素と name 要素は，同時に指定できません。

対処

javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素と name 要素は，同時に指定しないでください。

KDJW61020-E

SEI must have a javax.jws.WebService annotation. (SEI = aa....aa)

aa....aa：SEI 名

説明

SEI に javax.jws.WebService アノテーションを記述していません。

対処

SEI には，javax.jws.WebService アノテーションを記述してください。

KDJW61021-E

True cannot be specified for the exclude element of javax.jws.WebMethod annotation in SEI. (SEI = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名

bb....bb：メソッド名

説明

SEI の javax.jws.WebMethod アノテーションの exclude 要素には，true を指定できません。

対処

SEI のメソッドで javax.jws.WebMethod アノテーションの exclude 要素には，false を指定してください。

KDJW61022-E

The portName element of javax.jws.WebService annotation cannot be specified on a SEI. (SEI = aa....aa)

aa....aa：SEI 名

説明

SEI の javax.jws.WebService アノテーションに portName 要素は記述できません。

対処

SEI で javax.jws.WebService アノテーションの portName 要素は記述しないでください。

KDJW61023-E

The serviceName element of javax.jws.WebService annotation cannot be specified on a SEI. (SEI = aa....aa)

aa....aa：SEI 名

説明

SEI の javax.jws.WebService アノテーションに serviceName 要素は記述できません。

対処

SEI で javax.jws.WebService アノテーションの serviceName 要素は記述しないでください。

KDJW61024-E

The endpointInterface element of javax.jws.WebService annotation cannot be specified on a SEI. (SEI = aa....aa)

aa....aa：SEI 名

説明

SEI の javax.jws.WebService アノテーションに endpointInterface 要素は記述できません。

対処

SEI の javax.jws.WebService アノテーションに endpointInterface 要素は記述しないでください。

KDJW61026-W

The number of method that can be defined in SEI or public method that is not annotated by javax.jws.WebMethod annotation which has exclude element is true in a class references SEI is invalid. (class = aa....aa)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

説明

SEI に定義できるメソッドおよび SEI を参照するクラスで exclude 要素が true である javax.jws.WebMethod アノテーションで，アノテートされていない public メソッドの数が不正です。

対処

一つの Web サービスで公開するメソッドの数は，255 個以下にしてください。

KDJW61027-W

The number of exception that only one method throws is invalid. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

一つのメソッドがスローする例外の数が不正です。

対処

スローする例外の数は，255 個以下にしてください。

KDJW61028-E

The SEI specified in the endpointInterface element of javax.jws.WebService annotation could not be found. (implementation class = aa....aa, endpointInterface = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：endpointInterface 要素の値

説明

Web サービス実装クラスで javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素に指定した SEI が見つかりません。

対処

javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素に，指定した SEI があるか確認してください。

KDJW61031-E

javax.xml.ws.Holder parameters must not be annotated with the javax.jws.WebParam whose mode property is javax.jws.WebParam.Mode.IN. Node: Default value of javax.jws.WebParam.mode property

is javax.jws.WebParam.Mode.IN. (class = aa....aa, method = bb....bb, parameter position (numbered from 0) = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の位置

説明

javax.xml.ws.Holder クラスを in パラメタで指定しています。

対処

javax.xml.ws.Holder クラスは，out パラメタか inout パラメタに指定してください。

KDJW61035-E

A javax.jws.WebParam.Mode.OUT and a javax.jws.WebParam.Mode.INOUT cannot be specified for besides the type parameter of javax.xml.ws.Holder class. (class = aa....aa, method = bb....bb, parameter position (numbered from 0) = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の位置

説明

javax.xml.ws.Holder クラスの型パラメタ以外に javax.jws.WebParam.Mode.OUT または javax.jws.WebParam.Mode.INOUT を指定しています。

対処

Java 型を out および inout パラメタに指定する場合，javax.xml.ws.Holder クラスの型パラメタとして指定してください。

KDJW61037-E

The header element of javax.jws.WebParam annotation cannot be specified in wrapper style. (class = aa....aa, method = bb....bb, parameter position (numbered from 0) = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の位置

説明

wrapper スタイルで javax.jws.WebParam アノテーションの header 要素を指定しています。

対処

javax.jws.WebParam アノテーションの header 要素を使用する場合は，parameterStyle 要素に BARE を指定した javax.jws.soap.SOAPBinding アノテーションで, SEI または Web サービス実装クラスをアノテートしてください。

KDJW61038-E

The header element of javax.jws.WebResult annotation cannot be specified in wrapper style. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

wrapper スタイルで javax.jws.WebResult アノテーションの header 要素を指定しています。

対処

javax.jws.WebResult アノテーションの header 要素を使用する場合は，
javax.jws.soap.SOAPBinding アノテーションの parameterStyle 要素に BARE を指定してください。

KDJW61039-E

The value of faultBean element of javax.xml.ws.WebFault annotation is not followed the naming rules of Java language specifications. (exception class = aa....aa, faultBean = bb....bb)

aa....aa：例外クラス名

bb....bb：faultBean 要素の値

説明

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの faultBean 要素の値が Java 言語仕様が定める命名規則に従っていません。

対処

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの faultBean 要素に指定する値は，Java 言語仕様が定める命名規則に従ってください。

KDJW61040-E

The value of className element of javax.xml.ws.RequestWrapper annotation is not followed the naming rules of Java language specifications. (class = aa....aa, method = bb....bb, className = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：className 要素の値

説明

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの className 要素の値が Java 言語仕様が定める命名規則に従っていません。

対処

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの className 要素に指定する値は，Java 言語仕様が定める命名規則に従ってください。

KDJW61041-E

The value of className element of javax.xml.ws.ResponseWrapper annotation is not followed the naming rules of Java language specifications. (class = aa....aa, method = bb....bb, className = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：className 要素の値

説明

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの className 要素の値が Java 言語仕様が定める命名規則に従っていません。

対処

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの className 要素に指定する値は，Java 言語仕様が定める命名規則に従ってください。

KDJW61042-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.RequestWrapper annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に http://または urn:以外のプロトコルは指定できません。

対処

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61043-E

The relative path cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.RequestWrapper annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に相対パスは指定できません。

対処

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61044-E

The form of the targetNamespace element of javax.xml.ws.RequestWrapper annotation is invalid. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの targetNamespace 要素の記述形式が不正です。

対処

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW61047-E

The value of localName element of javax.xml.ws.RequestWrapper annotation and the one of operationName element of javax.jws.WebMethod annotation should be the same for wrapper style. (class = aa....aa, method = bb....bb, localName = cc....cc, operationName = dd....dd)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：localName 要素の値

dd....dd：operationName 要素の値

説明

wrapper スタイルの場合，javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの localName 要素と javax.jws.WebMethod アノテーションの operationName 要素の値が同一ではありません。

対処

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションの localName 要素と javax.jws.WebMethod アノテーションの operationName 要素を同じ値にしてください。

KDJW61049-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.ResponseWrapper annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に http://または urn:以外のプロトコルは指定できません。

対処

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61050-E

The relative path cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.ResponseWrapper annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に相対パスは指定できません。

対処

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61051-E

The form of the targetNamespace element of javax.xml.ws.ResponseWrapper annotation is invalid. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの targetNamespace 要素の記述形式が不正です。

対処

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW61056-E

When the style is non-wrapper style, the number of IN or INOUT parameter that is not soap header is invalid. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

non-wrapper スタイルの場合で，SOAP ヘッダではない in パラメタまたは inout パラメタの数が不正です。

対処

non-wrapper スタイルの場合，SOAP ヘッダではない in パラメタまたは inout パラメタを 1 個だけ指定してください。

KDJW61057-E

When the style is non-wrapper style and the method does not have return value or has return value that is soap header, the number of OUT or INOUT parameter that is not soap header is invalid. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

non-wrapper スタイルの場合で，戻り値を持たないか，または SOAP ヘッダである戻り値を持つメソッドの場合，SOAP ヘッダではない out パラメタまたは inout パラメタの数が不正です。

対処

non-wrapper スタイルの場合で，戻り値を持たないか，または SOAP ヘッダである戻り値を持つメソッドの場合，SOAP ヘッダではない out パラメタまたは inout パラメタは 1 個だけ指定してください。

KDJW61059-E

When the style is non-wrapper style and the method has return value, OUT or INOUT parameter that is not soap header cannot be specified. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

non-wrapper スタイルの場合で，かつ戻り値を持つメソッドの場合，SOAP ヘッダではない out パラメタまたは inout パラメタは指定できません。

対処

non-wrapper スタイルの場合で，かつ戻り値を持つメソッドの場合，SOAP ヘッダではない out パラメタまたは inout パラメタを指定しないでください。

KDJW61060-E

The name of wsdl:operation element must be unique and must not collide with others. (class = aa....aa, operation name = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：衝突した wsdl:operation 要素名

説明

Java ソースから WSDL へマッピングの際，WSDL 内で wsdl:operation 要素名が衝突しました。

対処

WSDL の wsdl:operation 要素名がユニークになるよう，アノテーションでカスタマイズしてください。

KDJW61061-W

javax.xml.ws.RequestWrapper annotation cannot be specified for non-wrapper style. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

non-wrapper スタイルでは javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションを指定できません。

対処

non-wrapper スタイルの場合，javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションは指定しないでください。

KDJW61062-W

javax.xml.ws.ResponseWrapper annotation cannot be specified for non-wrapper style. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

non-wrapper スタイルでは javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションを指定できません。

対処

non-wrapper スタイルの場合, javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションは指定しないでください。

KDJW61063-E

Unsupported style is specified. (class = aa....aa, method = bb....bb, style = cc....cc, use = dd....dd)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名※

cc....cc：SOAPBinding.Style 要素の値

dd....dd：SOAPBinding.Use 要素の値

注※

javax.jws.soap.SOAPBinding アノテーションを SEI または Web サービス実装クラスに指定している場合は，この埋め込み文字の値に"-"（ハイフン）を表示します。

説明

非サポートのスタイルを指定しています。

対処

SOAPBinding.Style 要素に DOCUMENT，SOAPBinding.Use 要素に LITERAL を指定してください。

KDJW61065-E

The name of fault bean must be unique and must not collide with other generated classes. (class = aa....aa, exception class = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：例外クラス名

説明

同一パッケージ内で fault bean クラスとそのほかのクラスの名前が衝突しました。

対処

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの faultBean 要素を使用して衝突を回避してください。

KDJW61067-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.WebFault annotation. (exception class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：例外クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの targetNamespace 要素に http://または urn:以外のプロトコルは指定できません。

対処

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61068-E

The relative path cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.WebFault annotation. (exception class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：例外クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの targetNamespace 要素に相対パスは指定できません。

対処

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61069-E

The form of the targetNamespace element of javax.xml.ws.WebFault annotation is invalid. (exception class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：例外クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの targetNamespace 要素の記述形式が不正です。

対処

javax.xml.ws.WebFault アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW61072-E

The value of value element of javax.xml.ws.BindingType annotation is invalid. (implementation class = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：サービス実装クラス名

bb....bb：value 要素の値

説明

javax.xml.ws.BindingType アノテーションの value 要素に，無効なバインディングを指定しています。

対処

value 要素には，javax.xml.ws.soap.SOAPBinding インタフェースのフィールド値である"SOAP11HTTP_BINDING"を指定してください。

KDJW61075-E

The annotation cannot be specified with the endpointInterface element of javax.jws.WebService annotation. (implementation class = aa....aa, annotation = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：アノテーション名

説明

javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素を指定している場合に同時に指定できないアノテーションを指定しています。

対処

javax.jws.WebService アノテーションの endpointInterface 要素を指定している場合，次に示すアノテーションは同時に指定しないでください。

- javax.jws.WebMethod
- javax.jws.WebParam
- javax.jws.WebResult
- javax.jws.soap.SOAPBinding

KDJW61076-W

When the javax.jws.HandlerChain annotation is used for SEI and service implementation class at the same time, it gives priority to the one of service implementation class and the one of SEI is ignored. (SEI = aa....aa, implementation class = bb....bb)

aa....aa：SEI 名

bb....bb：Web サービス実装クラス名

説明

SEI と Web サービス実装クラスで javax.jws.HandlerChain アノテーションを同時に指定しており，Web サービス実装クラスに指定したものを優先的に有効にしたため，SEI に指定した javax.jws.HandlerChain アノテーションは無視しました。

対処

javax.jws.HandlerChain アノテーションは，SEI またはサービス実装クラスのどちらかで使用してください。

KDJW61077-W

The javax.xml.ws.RequestWrapper annotation for service implementation class is ignored because it is invalid. (implementation class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

Web サービス実装クラスに指定した javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションは無視しました。

対処

javax.xml.ws.RequestWrapper アノテーションは，SEI で使用してください。

KDJW61078-W

The javax.xml.ws.ResponseWrapper annotation for service implementation class is ignored because it is invalid. (implementation class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

Web サービス実装クラスに指定した javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションは無視しました。

対処

javax.xml.ws.ResponseWrapper アノテーションは，SEI で使用してください。

KDJW61079-W

The javax.xml.ws.BindingType annotation for SEI is ignored because it is invalid. (SEI = aa....aa)

aa....aa：SEI 名

説明

SEI に指定した javax.xml.ws.BindingType アノテーションは無視しました。

対処

javax.xml.ws.BindingType アノテーションは，Web サービス実装クラスで使用してください。

KDJW61083-E

The name of wrapper bean must be unique and must not collide with other generated classes. (wrapper bean class = aa....aa)

aa....aa：wrapper bean クラス名

説明

wrapper bean クラス名がパッケージ内でほかのクラス名と衝突しました。

対処

パッケージ内で wrapper bean クラス名がユニークになるように，アノテーションでカスタマイズしてください。

KDJW61085-E

Though OUT or INOUT parameter is used for non-wrapper style, the name element of javax.jws.WebParam annotation is not specified. (class = aa....aa, method = bb....bb, parameter position (numbered from 0) = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の位置

説明

non-wrapper スタイルで out パラメタまたは inout パラメタを使用しているが，javax.jws.WebParam アノテーションの name 要素が指定されていません。

対処

javax.jws.WebParam アノテーションの name 要素を指定してください。

KDJW61087-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the targetNamespace element of javax.jws.WebParam annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, parameter position (numbered from 0) = cc....cc, targetNamespace = dd....dd)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の位置

dd....dd：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素に，http://または urn:以外のプロトコルは指定できません。

対処

javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61088-E

The relative path cannot be specified for the targetNamespace element of javax.jws.WebParam annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, parameter position (numbered from 0) = cc....cc, targetNamespace = dd....dd)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の位置

dd....dd：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素に相対パスは指定できません。

対処

javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61089-E

The form of the targetNamespace element of javax.jws.WebParam annotation is invalid. (class = aa....aa, method = bb....bb, parameter position (numbered from 0) = cc....cc, targetNamespace = dd....dd)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：引数の位置

dd....dd：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素の記述形式が不正です。

対処

javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW61090-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the targetNamespace element of javax.jws.WebResult annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素に http://または urn:以外のプロトコルは指定できません。

対処

javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61091-E

The relative path cannot be specified for the targetNamespace element of javax.jws.WebResult annotation. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素に相対パスは指定できません。

対処

javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW61092-E

The form of the targetNamespace element of javax.jws.WebResult annotation is invalid. (class = aa....aa, method = bb....bb, targetNamespace = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：targetNamespace 要素の値

説明

javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素の記述形式が不正です。

対処

javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW61093-E

There are no public methods in SEI or implementation class. (class = aa....aa)

aa....aa：SEI 名，または Web サービス実装クラス名

説明

SEI または Web サービス実装クラスに，public メソッドが一つもありません。

対処

public メソッドを一つ以上定義してください。

KDJW61094-W

The javax.xml.ws.soap.Addressing annotation is ignored on SEI. (SEI = aa....aa)

aa....aa：SEI 名

説明

SEI に設定した javax.xml.ws.soap.Addressing アノテーションは無視されました。

対処

javax.xml.ws.soap.Addressing アノテーションは，Web サービス実装クラスで使用してください。

KDJW61095-W

The javax.xml.ws.Action annotation is ignored on service implementation class. (implementation class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

Web サービス実装クラスに指定した javax.xml.ws.Action アノテーションは無視されました。

対処

javax.xml.ws.Action アノテーションは，SEI で使用してください。

KDJW61098-E

The class has both javax.jws.WebService annotation and javax.xml.ws.WebServiceProvider annotation. (class = aa....aa)

aa....aa：クラス名

説明

javax.jws.WebService アノテーションと javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションの両方が指定されています。

対処

javax.jws.WebService アノテーションか javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションのどちらか一方を指定してください。

KDJW61099-E

The protocol besides http,urn cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.WebServiceProvider annotation. (class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションの targetNamespace 要素に，"http://"，または"urn:"以外のプロトコルは指定できません。

対処

javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間には，"http://"，または"urn:"で始まる URL を指定してください。

KDJW61100-E

The relative path cannot be specified for the targetNamespace element of javax.xml.ws.WebServiceProvider annotation. (class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションの targetNamespace 要素に相対パスは指定できません。

対処

javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間には，"http://"，または"urn:"で始まる URL を指定してください。

KDJW61101-E

The form of the targetNamespace element of javax.xml.ws.WebServiceProvider annotation is invalid. (class = aa....aa, targetNamespace = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションの targetNamespace 要素の記述形式が正しくありません。

対処

javax.xml.ws.WebServiceProvider アノテーションの targetNamespace 要素に指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW61102-E

The method annotated with javax.jws.WebMethod annotation must not be static or final. (class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

javax.jws.WebMethod アノテーションでアノテートされたメソッドには，static または final の修飾子を指定できません。

対処

javax.jws.WebMethod アノテーションでアノテートされたメソッドには，static または final の修飾子を指定しないでください。

KDJW61103-E

The value of name element of javax.xml.bind.annotation.XmlElement annotation and the value of name element of javax.jws.WebParam annotation are different. (class = aa....aa, method = bb....bb, XmlElement name = cc....cc, WebParam name = dd....dd)

aa....aa：SEI 名またはサービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：javax.xml.bind.annotation.XmlElement の name 要素の値

dd....dd：javax.jws.WebParam の name 要素の値

説明

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの name 要素と javax.jws.WebParam アノテーションの name 要素の値が異なります。

対処

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの name 要素と javax.jws.WebParam アノテーションの name 要素を同じ値にしてください。

KDJW61104-E

The value of name element of javax.xml.bind.annotation.XmlElement annotation and the value of name element of javax.jws.WebResult annotation are different. (class = aa....aa, method = bb....bb, XmlElement name = cc....cc, WebResult name = dd....dd)

aa....aa：SEI 名またはサービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：javax.xml.bind.annotation.XmlElement の name 要素の値

dd....dd：javax.jws.WebResult の name 要素の値

説明

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの name 要素と javax.jws.WebResult アノテーションの name 要素の値が異なります。

対処

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの name 要素と javax.jws.WebResult アノテーションの name 要素を同じ値にしてください。

KDJW61105-E

The value of namespace element of javax.xml.bind.annotation.XmlElement annotation and the value of targetNamespace element of javax.jws.WebParam annotation are different. (class = aa....aa, method = bb....bb, XmlElement namespace = cc....cc, WebParam targetNamespace = dd....dd)

aa....aa：SEI 名またはサービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：javax.xml.bind.annotation.XmlElement の namespace 要素の値

dd....dd：javax.jws.WebParam の targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの namespace 要素と javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素の値が異なります。

対処

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの namespace 要素と javax.jws.WebParam アノテーションの targetNamespace 要素を同じ値にしてください。

KDJW61106-E

The value of namespace element of javax.xml.bind.annotation.XmlElement annotation and the value of targetNamespace element of javax.jws.WebResult annotation are different. (class = aa....aa, method = bb....bb, XmlElement namespace = cc....cc, WebResult targetNamespace = dd....dd)

aa....aa：SEI 名またはサービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：javax.xml.bind.annotation.XmlElement の namespace 要素の値

dd....dd：javax.jws.WebResult の targetNamespace 要素の値

説明

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの namespace 要素と javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素の値が異なります。

対処

javax.xml.bind.annotation.XmlElement アノテーションの namespace 要素と javax.jws.WebResult アノテーションの targetNamespace 要素を同じ値にしてください。

KDJW61107-E

The value of propOrder element of javax.xml.bind.annotation.XmlType contains unknown property. (exception class = aa....aa, property = bb....bb)

aa....aa：例外クラス名

bb....bb：プロパティ名

説明

javax.xml.bind.annotation.XmlType アノテーションの propOrder 要素の値に不正なプロパティが含まれています。

対処

javax.xml.bind.annotation.XmlType アノテーションの propOrder 要素には正しいプロパティ名を指定してください。

KDJW61108-E

The method annotated with javax.jws.Oneway annotation cannot have a return type.(class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドには，戻り値を指定できません。

対処

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドの戻り値に，void 型を指定してください。

KDJW61109-E

The method annotated with javax.jws.Oneway annotation cannot throw exceptions except java.lang.RuntimeException, java.rmi.RemoteException and their subclasses.(class = aa....aa, method = bb....bb, exception class = cc....cc)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

cc....cc：例外クラス名

説明

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドは，java.lang.RuntimeException と java.rmi.RemoteException およびそのサブクラス以外の例外をスローできません。

対処

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドの throws 節から，java.lang.RuntimeException，java.rmi.RemoteException およびそのサブクラス以外の例外を削除してください。

KDJW61110-E

The method annotated with javax.jws.Oneway annotation cannot have parameters annotated with the javax.jws.WebParam whose mode property is javax.jws.WebParam.Mode.OUT or javax.jws.WebParam.Mode.INOUT.(class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドのパラメタには，mode 要素が javax.jws.WebParam.Mode.OUT または javax.jws.WebParam.Mode.INOUT である javax.jws.WebParam アノテーションをアノテートできません。

対処

javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドのパラメタには，mode 要素が javax.jws.WebParam.Mode.IN である javax.jws.WebParam アノテーションをアノテートしてください。

KDJW61111-E

The method whose style is non-wrapper and that is annotated with javax.jws.Oneway annotation must have one IN parameter that is not soap header.(class = aa....aa, method = bb....bb)

aa....aa：SEI 名または Web サービス実装クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

non-wrapper スタイルの場合，javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドは，SOAP ヘッダではない in パラメタを 1 個だけ持たなければなりません

対処

non-wrapper スタイルの場合, javax.jws.Oneway アノテーションでアノテートされたメソッドには，SOAP ヘッダではない in パラメタを 1 個だけ指定してください。

KDJW61901-E

Please set environment variable COSMINEXUS_HOME explicitly to the directory at which Cosminexus is installed.

説明

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME が設定されていません。

対処

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME に，Application Server のインストールディレクトリを設定してください。

KDJW69999-E

An error occurred while cjapt command was executed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

cjapt コマンド実行時にエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照し，エラーの原因を取り除いてから，コマンドを再実行してください。

10.9　KDJW70000 から KDJW79999 までのメッセージ

KDJW70000 から KDJW79999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

KDJW70001-I

cjwsgen started.

説明

cjwsgen コマンドを開始します。

KDJW70002-I

cjwsgen successfully ended.

説明

cjwsgen コマンドが正常終了しました。

KDJW70003-E

cjwsgen unsuccessfully ended.

説明

cjwsgen コマンドが異常終了しました。

対処

エラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KDJW70004-I

The generating of JavaBeans started.

説明

JavaBeans の生成を開始します。

KDJW70005-E

The generating of JavaBeans has failed.

説明

JavaBeans の生成に失敗しました。

対処

エラーメッセージに従って Web サービス実装クラスの Java ソースを修正し，コマンドを再実行してください。

KDJW70006-I

The generating of WSDL started.

説明

WSDL を生成します。

KDJW70007-E

The generating of WSDL has failed.

説明

WSDL の生成に失敗しました。

対処

エラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KDJW71001-E

The specified option is invalid. (option = aa....aa)

aa....aa：不正なオプション

説明

不正なオプションが指定されました。

対処

正しいオプションを指定してください。

KDJW71002-E

Output directory is not found. (directory = aa....aa)

aa....aa：-d オプション，-s オプション，および-r オプションで指定した出力先ディレクトリ名

説明

cjwsgen コマンドで指定した出力先ディレクトリが見つかりません。

対処

オプションで指定した出力先ディレクトリが存在するか確認してください。

KDJW71003-E

The value specified by -d, -s or -r option is not a directory. (value = aa....aa)

aa....aa：-d オプション，-s オプション，および-r オプションで指定した出力先ディレクトリ名

説明

cjwsgen コマンドで指定した出力先ディレクトリが，ディレクトリではなくファイルです。

対処

オプションにファイルを指定していないか確認してください。

KDJW71004-E

The value specified by -soap option is not a supported SOAP binding. Supported SOAP bindings include: 1.1, 1.2.

aa....aa：-soap オプションに指定した値

説明

-soap オプションに指定した値は，非サポートの SOAP バインディングです。サポートしている SOAP バインディングは，SOAP1.1 および SOAP1.2 です。

対処

"soap1.1"または"soap1.2"を指定してください。

KDJW71005-E

The value specified in the javax.xml.ws.BindingType annotation is invalid. (value = aa....aa)

aa....aa：javax.xml.ws.BindingType アノテーションに指定した値

説明

BindingType アノテーションに指定した値が正しくありません。

対処

Web サービス実装クラスの BindingType アノテーションには，SOAP バインディングを指定してください。

KDJW71007-E

The service implementation class of SOAP1.2 over HTTP binding cannot be changed to SOAP1.1 over HTTP binding. (javax.xml.ws.BindingType annotation value = aa....aa)

aa....aa：javax.xml.ws.BindingType アノテーションに指定した値

説明

SOAP1.2 バインディングの Web サービス実装クラスを SOAP1.1 バインディングに変更できません。

対処

SOAP1.1 over HTTP バインディングの Web サービス実装クラスを作成し直すか，SOAP1.2 over HTTP バインディングで WSDL を生成してください。

KDJW71008-E

The QName specified by -servicename option is invalid. (servicename = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：-servicename オプションに指定した値

bb....bb：詳細メッセージ

説明

-servicename オプションに指定した QName が正しくありません。

対処

詳細メッセージを参照し, サービス名が正しい QName の形式で指定されているかどうか確認してください。

KDJW71009-E

The namespace of -servicename option is not specified. (servicename = aa....aa)

aa....aa：-servicename オプションに指定した値

説明

-servicename オプションの名前空間が指定されていません。

対処

サービス名を QName で指定してください。

KDJW71011-E

The value specified by -servicename option is not a supported protocol. Supported protocols include: http://, urn:. (value = aa....aa)

aa....aa：-servicename オプションに指定した値

説明

-servicename オプションに指定した値は非サポートのプロトコルです。サポートしているプロトコルは，"http://"および"urn:"です。

対処

-servicename オプションに指定する名前空間には，"http://"または"urn:"で始まる URL を指定してください。

KDJW71012-E

The relative path cannot be specified for the namespace of -servicename option. (servicename = aa....aa)

aa....aa：-servicename オプションに指定した値

説明

-servicename オプションの名前空間に相対パスは指定できません。

対処

-servicename オプションに指定する名前空間には，"http://"または"urn:"で始まる URL を指定してください。

KDJW71013-E

The namespace of -servicename option has invalid form. (servicename = aa....aa)

aa....aa：-servicename オプションに指定された値

説明

-servicename オプションの名前空間が不正な記述形式です。

対処

-servicename オプションに指定する名前空間は，正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW71014-E

The localname of -servicename option is not specified. (servicename = aa....aa)

aa....aa：-servicename オプションに指定された値

説明

-servicename オプションのサービス名が指定されていません。

対処

サービス名を QName で指定してください。

KDJW71015-E

The QName specified by -portname option is invalid. (portname = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：-portname オプションに指定された値

bb....bb：詳細メッセージ

説明

-portname オプションに指定された QName が不正です。

対処

詳細メッセージを参照し，ポート名が正しい QName の形式で指定されているかどうか確認してください。

KDJW71016-E

The namespace of -portname option is not specified. (portname = aa....aa)

aa....aa：-portname オプションに指定された値

説明

-portname オプションの名前空間が指定されていません。

対処

ポート名を QName で指定してください。

KDJW71018-E

The value specified by -portname option is a not supported protocol. Supported protocols include: http://, urn:. (value = aa....aa)

aa....aa：-portname オプションに指定された値

説明

-portname オプションに指定された値は非サポートのプロトコルです。サポートしているプロトコルは，"http://"と"urn:"です。

対処

-portname オプションに指定する名前空間には，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW71019-E

The relative path cannot be specified for the namespace of -portname option. (portname = aa....aa)

aa....aa：-portname オプションに指定された値

説明

-portname オプションの名前空間に相対パスは指定できません。

対処

-portname オプションに指定する名前空間には，http://または urn:で始まる URL を指定してください。

KDJW71020-E

The namespace of -portname option has invalid form. (portname = aa....aa)

aa....aa：-portname オプションに指定された値

説明

-portname オプションの名前空間が不正な記述形式です。

対処

-portname オプションに指定する名前空間は, 正しい形式で記述してください。次に示す文字列および形式は記述できません。

- クエリストリング
- アンカー
- ポート番号
- ユーザ名／パスワード

KDJW71021-E

The localname of -portname option is not specified. (portname = aa....aa)

aa....aa：-portname オプションに指定された値

説明

-portname オプションのポート名が指定されていません。

対処

ポート名を QName で指定してください。

KDJW71022-E

The namespace of -portname option does not correspond to the namespace of the wsdl:service. (service = aa....aa, port = bb....bb)

aa....aa：サービスの QName

bb....bb：-portname オプションに指定された値

説明

-portname オプションの名前空間と wsdl:service 要素の名前空間は同じでなければなりません。

対処

-portname オプションに指定する名前空間には，wsdl:service 要素の名前空間と同じ値を指定してください。

KDJW71023-E

The service implementation class is not specified.

説明

サービス実装クラスが指定されていません。

対処

サービス実装クラスを指定してください。

KDJW71025-E

The class is not a service implementation class. (class = aa....aa)

aa....aa：引数に指定したクラス

説明

サービス実装クラスではありません。

対処

サービス実装クラスを指定してください。

KDJW71026-E

The service implementation class is not found. (class = aa....aa)

aa....aa：引数に指定したサービス実装クラス

説明

サービス実装クラスが見つかりません。

対処

サービス実装クラスの完全修飾名が誤っていないか，またはサービス実装クラスにアクセス権があるか確認してください。

サービス実装クラスの依存するクラスやインタフェースがある場合，該当するクラスやインタフェースをクラスパス上に格納しているかどうか，完全修飾名が誤っていないかまたはアクセス権があるか確認してください。

KDJW71027-W

Multiple classes are specified including service implementation class(es). The first service class in them is used and the others are ignored. (used class = aa....aa)

aa....aa：有効にしたサービス実装クラス

説明

サービス実装クラスを含む複数のクラスが指定されました。先に指定されたサービス実装クラスを使用し，そのほかのものは無視しました。

対処

サービス実装クラスは一つだけ指定してください。

KDJW71029-E

javax.jws.WebService annotation is not specified on the service implementation class. (class = aa....aa)

aa....aa：サービス実装クラス

説明

サービス実装クラスに javax.jws.WebService アノテーションが指定されていません。

対処

サービス実装クラスに javax.jws.WebService アノテーションを指定してください。

KDJW71030-E

The value specified by -soap12binding option is not a supported parameter. Supported parameters include: DEFAULT, WSI_BP20_TRANSPORT.

説明

-soap12binding オプションに指定した値が間違っています。

対処

-soap12binding オプションには，DEFAULT または WSI_BP20_TRANSPORT を指定してください。

KDJW71901-E

Please set environment variable COSMINEXUS_HOME explicitly to the directory at which Cosminexus is installed.

説明

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME が設定されていません。

対処

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME に，Application Server のインストールディレクトリを設定してください。

KDJW71902-E

Fatal error occurred. HNTRLib2 path could not be retrieved.

説明

HNTRLib2 のインストールパスを取得できませんでした。

対処

システム環境変数 COSMINEXUS_HOME に，Application Server がインストールされているディレクトリが設定されているか確認してください。

設定されている場合，HNTRLib2 がインストールされているか確認してください。

KDJW79999-E

An error occurred while cjwsgen command was executed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細メッセージ

説明

cjwsgen コマンド実行時にエラーが発生しました。

対処

詳細メッセージを参照してエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

11 KECX (XML Processor が出力するメッセージ)

この章では，XML Processor が出力するメッセージについて説明します。KECX で始まるメッセージは XML Processor が出力します。また, メッセージ ID のないメッセージも XML Processor の JAXB 機能で出力されます。

11.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を示します。

KECXnnnnn-Y

メッセージテキスト

次に，各項目について説明します。

KECXnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KECX

XML Processor が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

XML Processor で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージの種別を表します。メッセージの種別は英字 1 文字で示します。

メッセージの種別を示す文字とその意味を次に示します。

E：エラー

W：警告

Ｉ：インフォメーション

メッセージテキスト

XML Processor が出力するメッセージを英文テキストで表します。

和文テキストは英文テキストの和訳として記載しています。

メッセージ中の{数字}の部分は，実際には該当する文字列が表示されます。該当する文字列に複数の語句が含まれる場合，コンマ（,）で区切って出力されます（例えば，メッセージ KECX06223-E では，該当する文字列が ' 対象名前空間，名前' のように出力されることがあります）。

XML Schema の検証では，型の名前が不明な場合，メッセージ中の型の名前が挿入される文字列の個所に "#AnonType_xxx" が出力されます（例えば，メッセージ KECX06063-E では，"#AnonType_xxx" のように出力されます）。

なお，XML Processor の JAXB 機能で出力されるメッセージには，メッセージ ID およびメッセージ種別はありません。

11.2　KECX01001 から KECX01999 までのメッセージ

XML Processor が出力する KECX01001 から KECX01999 までのメッセージについて説明します。

KECX01001-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージを，見つけることができません。

KECX01002-E

An internal error occurred while formatting the following message:

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

KECX01003-E

Premature end of file.

解析途中でファイルの終端に達しました。

KECX01004-E

The root element is required in a well-formed document.

整形式なドキュメントにはルート要素が必要です。

KECX01005-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the CDATA section.

CDATA セクションに無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

KECX01006-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the element content of the document.

ドキュメントの element content に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

KECX01010-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the XML declaration.

XML 宣言に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

KECX01011-E

The character sequence "]]>" must not appear in content unless used to mark the end of a CDATA section.

文字シーケンス]]>は，CDATA セクションの終了を示す以外の目的で使用してはいけません。

KECX01014-E

The ' = ' character must follow "{0}" in the XML declaration.

XML 宣言中では，{0}のあとには=がなければいけません。

KECX01015-E

The value following "{0}" in the XML declaration must be a quoted string.

XML 宣言中では，{0}の値は引用符で囲まなければいけません。

KECX01016-E

The XML declaration must end with "?>".

XML 宣言中は?>で終了する必要があります。

KECX01017-E

The version is required in the XML declaration.

XML 宣言には version が必要です。

KECX01018-E

White space is required before the version pseudo attribute in the XML declaration.

XML 宣言のバージョン擬似属性の前には，空白が必要です。

KECX01019-E

White space is required before the encoding pseudo attribute in the XML declaration.

XML 宣言のエンコーディング擬似属性の前には，空白が必要です。

KECX01020-E

White space is required before the encoding pseudo attribute in the XML declaration.

XML 宣言のエンコーディング擬似属性の前には，空白が必要です。

KECX01021-E

The markup in the document preceding the root element must be well-formed.

ルート要素より前のドキュメント中の markup は整形式でなくてはいけません。

KECX01022-E

The markup in the document following the root element must be well-formed.

ルート要素に続くドキュメント中の markup は整形式でなくてはいけません。

KECX01023-E

Already seen doctype.

Doctype はすでに宣言されています。

KECX01024-E

Content is not allowed in prolog.

prolog には，content を指定できません。または，parse メソッドの引数に空文字列が指定された可能性があります。

KECX01025-E

Reference is not allowed in prolog.

prolog には，reference を指定できません。

KECX01026-E

Content is not allowed in trailing section.

trailing section には，content を指定できません。

KECX01027-E

Reference is not allowed in trailing section.

trailing section には，reference を指定できません。

KECX01028-E

The standalone document declaration value must be "yes" or "no", not "{0}".

standalone ドキュメント宣言の指定は，yes か no にする必要があります。{0}であってはいけません。

KECX01030-E

The element type "{0}" must be terminated by the matching end-tag "</{0}>".

要素タイプ{0}は，終了タグ</{0}>で終わらなければいけません。

KECX01031-E

Element type "{0}" must be followed by either attribute specifications, ">" or "/>".

要素タイプ{0}のあとには，>または/>のどちらかがなければいけません。

KECX01032-E

Attribute name "{1}" associated with an element type "{0}" must be followed by the ' = ' character.

要素タイプ{0}に関連した属性名{1}のあとには，'='がなければいけません。

KECX01033-E

Open quote is expected for attribute "{1}" associated with an element type "{0}".

要素タイプ{0}に関連した属性指定{1}には，開始引用符がありません。

KECX01034-E

Close quote is expected for attribute "{1}" associated with an element type "{0}".

要素タイプ{0}に関連した属性指定{1}には，終了引用符がありません。

KECX01035-E

Attribute "{1}" was already specified for element "{0}".

属性{1}は，すでに要素{0}で指定されています。

KECX01036-E

Attribute "{1}" bound to namespace "{2}" was already specified for element "{0}".

名前空間{2}に境界を付ける属性{1}は，要素{0}にすでに結び付けられています。

KECX01037-E

The end-tag for element type "{0}" must end with a '>' delimiter.

要素タイプ{0}の終了タグは，'>'でなければいけません。

KECX01038-E

The content of elements must consist of well-formed character data or markup.

要素の中身は，整形式の文字または markup でなければいけません。

KECX01039-E

A DOCTYPE is not allowed in content.

要素内容には DOCTYPE を指定できません。

KECX01042-E

The element "{0}" must start and end within the same entity.

要素{0}は，同じエンティティ内で開始・終了しなければいけません。

KECX01043-E

XML document structures must start and end within the same entity.

XML 文書は，同じエンティティ内で開始・終了しなければいけません。

KECX01044-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{2}) was found in the value of attribute "{1}" and element is "{0}".

要素が{0}の属性{1}に無効な XML 文字(Unicode:0x{2})があります。

KECX01045-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the comment.

コメントに無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

KECX01046-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the processing instruction.

処理命令に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

KECX01048-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the text declaration.

テキスト宣言に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

KECX01050-E

The value of attribute "{1}" associated with an element type "{0}" must not contain the '<' character.

要素タイプ{0}に関連した属性値{1}は，'<'を含んではいけません。

KECX01052-E

Comment must start with "<!--".

コメントは<!--で始めなければいけません。

KECX01053-E

The string "--" is not permitted within comments.

コメント内では，--は使用できません。

KECX01056-E

The processing instruction must begin with the name of the target.

処理命令はターゲット名で始めなければいけません。

KECX01057-E

White space is required between the processing instruction target and data.

処理命令ターゲットとデータの間には空白が必要です。

KECX01059-E

The processing instruction target matching "[xX][mM][lL]" is not allowed.

処理命令ターゲットは[xX][mM][lL]の指定ができません。

KECX01062-E

XML version "{0}" is not supported, only XML 1.0 is supported.

XML バージョン{0}はサポートしていません。XML1.0 だけをサポートしています。

KECX01063-E

A decimal representation must immediately follow the "&#" in a character reference.

文字参照では，10 進コードは&#の直後に指定しなければいけません。

KECX01064-E

A hexadecimal representation must immediately follow the "&#x" in a character reference.

文字参照では 16 進コードは&#x の直後に指定しなければいけません。

KECX01065-E

The character reference must end with the ';' delimiter.

文字参照は'；'で終了する必要があります。

KECX01066-E

Character reference "&#{0};" is an invalid XML character.

文字参照&#{0};は無効な XML 文字指定です。

KECX01067-E

The entity name must immediately follow the '&' in the entity reference.

エンティティ名は，エンティティ参照の中で'&'の直後に続かなければいけません。

KECX01068-E

The reference to entity "{0}" must end with the ';' delimiter.

エンティティ{0}の参照は，'；'で終了する必要があります。

KECX01070-E

The ' = ' character must follow "{0}" in the text declaration.

テキスト宣言中では，{0}のあとには'='がなければいけません。

KECX01071-E

The value following "{0}" in the text declaration must be a quoted string.

テキスト宣言中では，{0}の値は引用符で囲まなければいけません。

KECX01072-E

closing quote in the value following "{0}" in the text declaration is missing.

テキスト宣言中の{0}を閉じる引用符がありません。

KECX01073-E

White space is required before the version pseudo attribute in the text declaration.

テキスト宣言中のバージョン擬似属性の前には空白が必要です。

KECX01074-E

White space is required before the encoding pseudo attribute in the text declaration.

テキスト宣言中のエンコーディング擬似属性の前には空白が必要です。

KECX01076-E

The encoding declaration is required in the text declaration.

テキスト宣言中で，エンコーディング宣言をする必要があります。

KECX01077-E

No more pseudo attributes are allowed.

これ以上の擬似属性指定はできません。

KECX01078-E

More pseudo attributes are expected.

擬似属性指定が足りません。

KECX01079-E

A pseudo attribute name is expected.

擬似属性指定名称が指定されていません。

KECX01082-E

Invalid encoding name "{0}".

{0}は無効なエンコーディング名です。

KECX01083-E

Given byte order for encoding "{0}" is not supported.

エンコーディング{0}で与えられたバイトオーダーはサポートしていません。

KECX01087-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the public identifier.

公開識別子に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

KECX01088-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the system identifier.

システム識別子で無効な XML 文字(Unicode:0x{0})が存在します。

KECX01089-E

White space is required after keyword SYSTEM in DOCTYPE decl.

DOCTYPE 宣言で，キーワード SYSTEM のあとに空白が必要です。

KECX01090-E

The system identifier must begin with either a single or double quote character.

システム識別子は単一引用符か二重引用符で開始する必要があります。

KECX01091-E

The system identifier must end with the matching quote character.

システム識別子は単一引用符か二重引用符で終了する必要があります。

KECX01092-E

White spaces are required after keyword PUBLIC in DOCTYPE decl.

DOCTYPE 宣言で，キーワード PUBLIC のあとに空白が必要です。

KECX01093-E

The public identifier must begin with either a single or double quote character.

公開識別子は単一引用符か二重引用符で開始する必要があります。

KECX01094-E

The public identifier must end with the matching quote character.

公開識別子は単一引用符か二重引用符で終了する必要があります。

KECX01096-E

White spaces are required between publicId and systemId.

公開識別子とシステム識別子の間には空白が必要です。

KECX01097-E

White space is required after "<!DOCTYPE" in the document type declaration.

DOCTYPE 宣言で，<!DOCTYPE 指定のあとには空白が必要です。

KECX01098-E

The root element type must appear after "<!DOCTYPE" in the document type declaration.

DOCTYPE 宣言で，<!DOCTYPE 指定のあとにはルート要素タイプが必要です。

KECX01099-E

The document type declaration for root element type "{0}" must end with '>'.

ルート要素タイプ{0}の DOCTYPE 宣言は，'>'で終わる必要があります。

KECX01100-E

The parameter entity reference "%{0};" cannot occur within markup in the internal subset of the DTD.

パラメタエンティティ参照{0}は，DTD 内部サブセット内の markup の内側には記述できません。

KECX01101-E

The markup declarations contained or pointed to by the document type declaration must be well-formed.

markup 宣言は，整形式なドキュメントタイプ宣言を含むか，またはポイントする必要があります。

KECX01103-E

White space is required after "<!ELEMENT" in the element type declaration.

要素タイプ宣言で，<!ELEMENT のあとに空白が必要です。

KECX01104-E

The element type is required in the element type declaration.

要素タイプの指定には，要素タイプ宣言が必要です。

KECX01105-E

White space is required after the element type "{0}" in the element type declaration.

要素タイプ宣言内で，要素タイプ{0}のあとに空白が必要です。

KECX01107-E

The declaration for element type "{0}" must end with '>'.

要素タイプ宣言{0}は，'>'で終了する必要があります。

KECX01108-E

A '(' character or an element type is required in the declaration of element type "{0}".

要素タイプ{0}の宣言では，'（'または要素タイプが必要です。

KECX01109-E

A ')' is required in the declaration of element type "{0}".

要素タイプ{0}の宣言では，'）'が必要です。

KECX01110-E

An element type is required in the declaration of element type "{0}".

要素タイプ{0}の宣言で，要素タイプの指定が必要です。

KECX01112-E

The mixed content model "{0}" must end with ")*" when the types of child elements are constrained.

混合内容モデル{0}は，子要素のタイプが必要な場合に）*で終わらなくてはいけません。

KECX01113-E

White space is required after "<!ATTLIST" in the attribute-list declaration.

属性リスト宣言では，<!ATTLIST のあとに空白が必要です。

KECX01114-E

The element type is required in the attribute-list declaration.

要素タイプは，属性リスト宣言が必要です。

KECX01115-E

White space is required before the attribute name in the attribute-list declaration for element "{0}".

要素{0}の属性リスト宣言では，属性名の前に空白が必要です。

KECX01116-E

The attribute name must be specified in the attribute-list declaration for element "{0}".

属性名は要素{0}の属性リストを指定する必要があります。

KECX01117-E

White space is required before the attribute type in the declaration of attribute "{1}" for element "{0}".

要素{0}の属性{1}の宣言で，属性タイプの前に空白が必要です。

KECX01118-E

The attribute type is required in the declaration of attribute "{1}" for element "{0}".

要素{0}の属性{1}の宣言で，属性タイプが必要です。

KECX01119-E

White space is required before the attribute default in the declaration of attribute "{1}" for element "{0}".

要素{0}の属性{1}の宣言で，デフォルト属性の前に空白が必要です。

KECX01120-W

More than one attribute definition is provided for the same attribute "{1}" of a given element "{0}".

指定された要素{0}の同じ属性{1}宣言のために，一つ以上の属性定義が与えられます。

KECX01121-E

White space must appear after "NOTATION" in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}で，NOTATION のあとに空白が必要です。

KECX01122-E

The '(' character must follow "NOTATION" in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}で NOTATION に続いて'('の指定が必要です。

KECX01123-E

The notation name is required in the notation type list for the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の記法タイプ指定で，記法名が必要です。

KECX01124-E

The notation type list must end with ')' in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の記法タイプ指定では，記法タイプは')'で終わらなければいけません。

KECX01125-E

The name token is required in the enumerated type list for the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の列挙されたタイプリストで名称トークンが必要です。

KECX01126-E

The enumerated type list must end with ')' in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の列挙されたタイプリストは')'で終わらなくてはいけません。

KECX01127-E

White space must appear after "FIXED" in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}で，FIXED のあとに空白が必要です。

KECX01128-E

The included conditional section must end with "]]>".

含まれる条件つきセクションは,]]>で終了する必要があります。

KECX01129-E

The excluded conditional section must end with "]]>".

除外される条件つきセクションは,]]>で終了する必要があります。

KECX01130-E

The entity name must immediately follow the '%' in the parameter entity reference.

パラメタエンティティ参照のエンティティ名は，'%'に続いて記述する必要があります。

KECX01131-E

The parameter entity reference "%{0};" must end with the ';' delimiter.

パラメタエンティティ参照{0}は，';'で終了する必要があります。

KECX01132-E

White space is required after "<!ENTITY" in the entity declaration.

エンティティ宣言で，<!ENTITY のあとに空白が必要です。

KECX01133-E

White space is required between "<!ENTITY" and the '%' character in the parameter entity declaration.

パラメタエンティティ宣言で，<!ENTITY と'%'の間に空白が必要です。

KECX01135-E

The name of the entity is required in the entity declaration.

エンティティの名前は，エンティティ宣言で必要です。

KECX01136-E

White space is required between the entity name "{0}" and the definition in the entity declaration.

エンティティ宣言で，エンティティ名{0}と定義の間に空白が必要です。

KECX01137-E

White space is required between "NDATA" and the notation name in the declaration for the entity "{0}".

エンティティ{0}の宣言で，NDATA と記法名の間に空白が必要です。

KECX01138-E

White space is required before "NDATA" in the declaration for the entity "{0}".

エンティティ{0}の宣言で，NDATA の前に空白が必要です。

KECX01139-E

The notation name is required after "NDATA" in the declaration for the entity "{0}".

エンティティ{0}宣言で，NDATA のあとに記法名が必要です。

KECX01140-E

The declaration for the entity "{0}" must end with '>'.

エンティティ{0}の宣言は，'>'で終わらなければいけません。

KECX01146-E

White space is required after "<!NOTATION" in the notation declaration.

記法宣言で，<!NOTATION のあとに空白が必要です。

KECX01147-E

The name of the notation is required in the notation declaration.

記法宣言では記法名が必要です。

KECX01148-E

White space is required after the notation name "{0}" in the notation declaration.

記法宣言で，記法名{0}のあとに空白が必要です。

KECX01149-E

The declaration for the notation "{0}" must include a system or public identifier.

記法{0}の宣言は，システム識別子または公開識別子を含まなければいけません。

KECX01150-E

The declaration for the notation "{0}" must end with '>'.

記法{0}の宣言は，'>'で終わらなければいけません。

KECX01151-E

The element type "{1}" was already specified in the content model of the element decl "{0}".

要素タイプ{1}は，要素宣言{0}の内容モデルですでに宣言されています。

KECX01154-E

The ID attribute "{0}" must have a declared default of "#IMPLIED" or "#REQUIRED".

ID 属性{0}は，宣言されている#IMPLIED または#REQUIRED のデフォルトでなければいけません。

KECX01155-E

Attribute value "{0}" of type ID must be a name.

ID 型の属性値{0}は Name 型でなければいけません。

KECX01156-E

Attribute value "{0}" of type ID must be unique within the document.

ID 型の属性値{0}は，文書中に同じ名称があってはいけません。

KECX01157-E

Attribute value "{0}" of type IDREF must be a name.

IDREF 型の属性値{0}は Name 型でなければいけません。

KECX01158-E

Attribute value "{0}" of type IDREFS must be one or more names.

IDREFS 型の属性値{0}は一つ以上の Name 型でなければいけません。

KECX01159-E

The replacement text of parameter entity "{0}" must include properly nested declarations.

パラメタエンティティ{0}の置換テキストは，適切にネストされた宣言を含まなくてはいけません。

KECX01161-E

Attribute "{1}" must be declared for element type "{0}".

属性{1}は要素タイプ{0}の宣言でなくてはいけません。

KECX01162-E

Attribute "{0}" with value "{1}" must have a value from the list "{2}".

{1}の値を持つ属性{0}は，{2}のリスト中の値でなければいけません。

KECX01163-E

The value "{1}" of attribute "{0}" must not be changed by normalization (to "{2}") in a standalone document.

属性{0}の値{1}は，スタンドアロン文書で正規化によって({2}に)変更されてはいけません。

KECX01164-E

The content of element type "{0}" is incomplete, it must match "{1}".

要素タイプ{0}のコンテンツが不完全です。{1}と一致しなくてはいけません。

KECX01165-E

The content of element type "{0}" must match "{1}".

要素タイプ{0}のコンテンツは，{1}と一致しなくてはいけません。

KECX01166-E

Attribute "{1}" for element type "{0}" has a default value and must be specified in a standalone document.

要素タイプ{0}の属性{1}はデフォルト値を持っていて，かつスタンドアロン文書で指定されていなければいけません。

KECX01168-E

Element type "{0}" must not be declared more than once.

要素タイプ{0}は 2 度以上宣言してはいけません。

KECX01169-E

Element type "{0}" must be declared.

要素タイプ{0}を宣言しなくてはいけません。

KECX01170-E

Document is invalid: no grammar found.

ドキュメントは無効です。文法がありません。

KECX01171-E

An element with the identifier "{0}" must appear in the document.

識別子{0}を持つ要素が，ドキュメント中になければいけません。

KECX01173-E

Attribute "{1}" with value "{2}" must have a value of "{3}".

値{2}の属性{1}は，{3}の値を持っていなくてはいけません。

KECX01174-E

Element type "{0}" already has attribute "{1}" of type ID, a second attribute "{2}" of type ID is not permitted.

要素タイプ{0}は ID 型の属性{1}をすでに持っています。ID 型の第二の属性{2}は許可されません。

KECX01175-E

Element type "{0}" already has attribute "{1}" of type NOTATION, a second attribute "{2}" of type NOTATION is not permitted.

要素タイプ{0}は NOTATION 型の属性{1}をすでに持っています。NOTATION 型の第二の属性{2}は許可されません。

KECX01176-E

The notation "{1}" must be declared when referenced in the notation type list for attribute "{0}".

属性{0}の記法タイプリストで参照される場合は，記法{1}を宣言する必要があります。

KECX01177-E

The notation "{1}" must be declared when referenced in the unparsed entity declaration for "{0}".

属性{0}の解析対象外エンティティで参照される場合は，記法{1}を宣言する必要があります。

KECX01178-E

The reference to entity "{0}" declared in an external parsed entity is not permitted in a standalone document.

外部解析対象エンティティで宣言された{0}の参照は，スタンドアロン文書では許可されません。

KECX01179-E

Attribute "{1}" is required and must be specified for element type "{0}".

要素タイプ{0}の指定のために属性{1}は必要です。

KECX01180-E

White space must not occur between elements declared in an external parsed entity with element content in a standalone document.

スタンドアロン文書の要素コンテンツを持つ，外部解析対象エンティティの，要素宣言に空白があってはいけません。

KECX01181-E

Attribute value "{0}" of type NMTOKEN must be a name token.

NMTOKEN 型の属性値{0}は name token でなければいけません。

KECX01182-E

Attribute value "{0}" of type NMTOKENS must be one or more name tokens.

NMTOKENS 型の属性値{0}は一つ以上の name token でなければいけません。

KECX01183-E

Document root element "{1}", must match DOCTYPE root "{0}".

ドキュメントルート要素{1}は，DOCTYPE root{0}と一致する必要があります。

KECX01184-W

The content model of element "{0}" refers to the undeclared element "{1}".

要素{0}のコンテントモデルは，宣言していない要素{1}を参照しています。

KECX01185-E

ENTITYDatatype Validator: Failed Need to call initialize method with a valid Grammar reference.

エンティティ・データタイプの有効性:有効な文法による初期化メソッドの呼び出しに失敗しました。

KECX01186-E

ENTITY "{0}" is not unparsed.

エンティティ{0}は解析対象外ではありません。

KECX01188-E

Value of type ENTITIES, IDREFS, and NMTOKENS cannot be empty list.

ENTITIES 型，IDREFS 型，NMTOKENS 型の値に，空のリスト指定はできません。

KECX01189-E

The external entity reference "&{0};" is not permitted in an attribute value.

外部エンティティ参照&{0};は許可されていない属性です。

KECX01190-E

The entity "{0}" was referenced, but not declared.

エンティティ{0}が参照されましたが，宣言されていません。

KECX01191-E

The unparsed entity reference "&{0};" is not permitted.

解析対象外エンティティ参照&{0};は許可されません。

KECX01192-E

Recursive entity reference "{0}". (Reference path: {1}),

再帰的なエンティティ参照{0}です（path{1}を参照してください）。

KECX01197-E

The prefix "{0}" for element "{1}" is not bound.

要素{1}の接頭辞{0}は結び付けられません。

KECX01198-E

The prefix "{2}" for attribute "{1}" associated with an element type "{0}" is not bound.

要素タイプ{0}に関連した属性{1}の接頭辞{2}は結び付けられません。

KECX01199-E

The value of the attribute "{0}" is invalid. Prefixed namespace bindings may not be empty.

属性{0}値が無効です。接頭辞を付けた名前空間バインディングは，空ではありません。

KECX01200-E

The namespace prefix "{0}" was not declared.

名前空間接頭辞{0}が宣言されませんでした。

KECX01201-E

The defaultValue "{1}" of attribute "{0}" is not legal as for the lexical constraints of this attribute type.

属性{0}のデフォルト値{1}は，この属性タイプで使えない用語です。

KECX01202-E

OpenQuoteMissingInDecl

宣言に開始引用符がありません。

KECX01203-E

InvalidCharInLiteral

リテラルで無効な文字があります。

KECX01204-E

!!! unknown attribute type {0}

未知の属性タイプ{0}が現れました。

KECX01206-W

Warning: validation was turned on but an org.xml.sax.ErrorHandler was not set, which is probably not what is desired. Parser will use a default ErrorHandler to print the first {0} errors. Please call the 'setErrorHandler' method to fix this.

警告:検証はされましたが，org.xml.sax.ErrorHandler はセットされていません。これは望ましい処理ではありません。パーサはデフォルトの ErrorHandler を使って最初の{0}のエラーを報告します。これをセットするために，setErrorHandler メソッドを呼び出してください。

KECX01207-E

Should never get here. : DeferredDocumentTypeImpl#synchronizeInfo: node.getNodeType() = {0}, class = {1}

この値を取得してはいけません。DeferredDocumentTypeImpl#synchronizeInfo: node.getNodeType()の値は{0}で，クラス名は{1}です。

KECX01208-E

Invalid byte {0} of {1}-byte UTF-8 sequence.

{1}-バイト UTF-8 シーケンスの{0}バイト目が不正です。

KECX01209-E

Expected byte {0} of {1}-byte UTF-8 sequence.

{1}-バイト UTF-8 シーケンスの{0}バイト目が必要です。

KECX01210-E

High surrogate bits in UTF-8 sequence must not exceed 0x10 but found 0x{0}.

UTF-8 シーケンスの高位サロゲートビットは 0x10 を超えてはいけませんが，0x{0}を見つけました。

KECX01211-E

Operation "{0}" not supported by {1} reader.

オペレーション{0}は{1}reader にサポートされていません。

KECX01212-E

Byte "{0}" is not a member of the (7-bit) ASCII character set.

バイト{0}は，7-bit ASCII 文字セットのメンバではありません。

KECX01213-W

Entity "{0}" is declared more than once.

エンティティ{0}は，2 度以上宣言されています。

KECX01214-E

Element "{0}" cannot have "xmlns" as its prefix.

要素{0}の接頭辞に xmlns は指定できません。

KECX01215-E

The prefix "xmlns" cannot be bound to any namespace explicitly; neither can the namespace for "xmlns" be bound to any prefix explicitly.

接頭辞 xmlns は任意の名前空間に明示的に結び付けることができません。また，xmlns のための名前空間は，任意の接頭辞に明示的に結び付けることができません。

KECX01216-E

The prefix "xml" cannot be bound to any namespace other than its usual namespace; neither can the namespace for "xml" be bound to any prefix other than "xml".

接頭辞 xml は，その通常の名前空間以外の任意の名前空間に結び付けられません。また，xml のための名前空間は，xml 以外に任意の接頭辞に結び付けることができません。

KECX01217-E

The replacement text of parameter entity "{0}" must include properly nested declarations when the entity reference is used as a complete declaration.

実体参照が完全な宣言として使用される場合，パラメタ実体{0}の置換テキストは，適切にネストされた宣言を含まなくてはいけません。

KECX01218-E

The replacement text of parameter entity "{0}" must include the entire conditional section or just INCLUDE or IGNORE.

パラメタ実体{0}の置換テキストは，条件つきのセクション全体，単なる INCLUDE，または IGNORE を含んでいなければいけません。

KECX01219-E

A colon is not allowed in the name '{0}' when namespaces are enabled.

名前空間が有効な場合，コロンは名前{0}の中で許可されません。

KECX01220-E

DOCTYPE is disallowed when the feature "http://apache.org/xml/features/disallow-doctype-decl" set to true.

フィーチャー"http://apache.org/xml/features/disallow-doctype-decl"に true がセットされている場合は，DOCTYPE は許可されません。

KECX01221-E

XML version "{0}" is not supported, only XML 1.0 and XML 1.1 are supported.

XML バージョン{0}はサポートしていません。XML1.0 と XML1.1 だけをサポートしています。

KECX01222-E

Attribute value "{0}" of type ID must be an NCName when namespaces are enabled.

名前空間が有効な場合，ID 型の属性値{0}は NCName でなければいけません。

KECX01223-E

Attribute value "{0}" of type IDREF must be an NCName when namespaces are enabled.

名前空間が有効な場合，IDREF 型の属性値{0}は NCName でなければいけません。

KECX01224-E

Element or attribute do not match QName production: QName::=(NCName':')?NCName.

要素または属性は Qname 生成と一致しません。QName::=(NCName':')?NCName

KECX01225-E

The parser has encountered more than "{0}" entity expansions in this document; this is the limit imposed by the application.

パーサは，このドキュメント中に{0}以上のエンティティ拡張を検出しました。これはアプリケーションによって課された限界です。

KECX01226-E

An entity determined to be in a certain encoding must not contain sequences illegal in that encoding.

ある特定のエンコーディングに含めると決定されたエンティティには，該当のエンコーディングで不正なシーケンスを含めることはできません。

KECX01227-E

The enumeration value "{1}" was specified more than once in the declaration of attribute "{2}" for element "{0}". The NMTOKENS in a single Enumeration attribute declaration must all be distinct.

列挙値{1}が要素{0}の属性{2}の宣言中で複数回指定されました。一つの列挙属性宣言内の NMTOKENS はすべて異なっている必要があります。

KECX01228-E

The enumeration value "{1}" was specified more than once in the declaration of attribute "{2}" for element "{0}". The NOTATION names in a single NotationType attribute declaration must all be distinct.

列挙値{1}が要素{0}の属性{2}の宣言中で複数回指定されました。一つの記法型属性宣言内の NOTATION 名はすべて異なっている必要があります。

KECX01229-E

The content of element type "{0}" must match "{1}". Children of type "{2}" are not allowed.

要素型{0}の内容は{1}に一致する必要があります。型{2}の子は許可されていません。

KECX01230-E

Element type "{0}" which was declared EMPTY cannot declare attribute "{1}" of type NOTATION.

EMPTY と宣言された要素型{0}は，NOTATION 型の属性{1}を宣言できません。

KECX01231-E

The declaration for the notation "{0}" is not unique. A given Name must not be declared in more than one notation declaration.

記法{0}の宣言は一意ではありません。同じ名前は複数の記法宣言内で宣言してはいけません。

KECX01232-E

The length of entity {0} is {1} that exceeds the {2} limit set by {3}.

エンティティ{0}の長さは{3}で設定された制限{2}を超えた{1}です。

KECX01233-E

The accumulated size {0} of entities exceeded the {1} limit set by {2}.

各エンティティ{0}の累積サイズは{2}で設定された制限{1}を超えています。

KECX01301-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージが見つかりません。

KECX01302-E

An internal error occurred while formatting the following message:¥n

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

KECX01303-E

The specified range of text does not fit into a DOMString.

テキストの指定された範囲は，DOMString に入りません。

KECX01304-E

An attempt was made to insert a node where it is not permitted.

許可されていない個所に対して，ノードを挿入しようとしています。

KECX01305-E

The index or size is negative, or greater than the allowed value.

インデックスまたはサイズが，負の値または許可された値より大きいです。

KECX01306-E

An attempt is made to add an attribute that is already in use elsewhere.

ほかの場所で使用されている属性を追加しようとしています。

KECX01308-E

An invalid or illegal XML character is specified.

不正な，または無効な XML 文字が指定されています。

KECX01310-E

An attempt is made to use an object that is not, or is no longer, usable.

存在しない，または使用できないオブジェクトを使用しようとしています。

KECX01311-E

An attempt is made to create or change an object in a way which is incorrect with regard to namespaces.

名前空間に関して，誤った方法でオブジェクトを作成または変更しようとしています。

KECX01312-E

An attempt is made to reference a node in a context where it does not exist.

存在しないコンテキスト中のノードを参照しようとしています。

KECX01313-E

The implementation does not support the requested type of object or operation.

そのインプリメンテーションは，要求された型のオブジェクトまたはオペレーションをサポートしません。

KECX01315-E

An attempt is made to modify an object where modifications are not allowed.

修正してはいけない個所に対して，オブジェクトを修正しようとしています。

KECX01318-E

A node is used in a different document than the one that created it.

ノードを作成した文書以外の文書中でノードが使用されています。

KECX01319-E

The parameter {0} is recognized but the requested value cannot be set.

パラメタ{0}は認識されますが，要求された値はセットされません。

KECX01320-E

The parameter {0} is not recognized.

パラメタ{0}は認識されません。

KECX01323-E

The Event's type was not specified by initializing the event before the method was called.

メソッド呼び出し前のイベントの初期化で，イベントの型が指定されませんでした。

KECX01324-E

The resulting string is too long to fit in a DOMString: '{0}'.

結果として生じている文字列は長過ぎるので，DOMString に入りません。{0}

KECX01325-E

The value type for this parameter name is incompatible with the expected value type.

このパラメタ名の値型は期待された値型と互換性がありません。

KECX01326-E

The text {0} of the {1} node contains invalid XML characters.

{1}ノードのテキスト{0}に，無効な XML 文字が含まれています。

KECX01327-E

The {0} node named {1} contains invalid XML characters.

{1}という名前の{0}ノードに，無効な XML 文字が含まれています。

KECX01328-E

CDATA sections containing the CDATA section termination marker ']]>'

CDATA セクションに CDATA セクション終了マーカー]]>が含まれています。

KECX01329-E

DOCTYPE declaration is not allowed.

DOCTYPE 宣言は許可されていません。

KECX01330-E

The encoding {0} is not supported.

エンコーディング{0}はサポートされていません。

KECX01331-E

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the DOM during normalization.

正規化中，DOM 内に無効な XML 文字（Unicode: 0x{0}）がありました。

KECX01332-E

The attribute "{0}" value "{1}" referenced an entity that was not declared.

属性{0}値{1}が宣言されていないエンティティを参照しました。

KECX01333-E

A null local name was encountered during namespace normalization of element {0}.

要素{0}の名前空間正規化中，null のローカル名がありました。

KECX01334-E

A null local name was encountered during namespace normalization of attribute {0}.

属性{0}の名前空間正規化中，null のローカル名がありました。

KECX01335-E

The class name of the document factory "{0}" used to construct the DOM tree is not of type org.w3c.dom.Document.

DOM ツリーの構築に使用されるドキュメントファクトリ{0}のクラス名は org.w3c.dom.Document 型ではありません。

KECX01336-E

The class name of the document factory "{0}" used to construct the DOM tree could not be found.

DOM ツリーの構築に使用されるドキュメントファクトリ{0}のクラス名はありませんでした。

KECX01337-E

The class named "{0}" could not be constructed as a org.w3c.dom.Document.

{0}という名前のクラスは org.w3c.dom.Document として構築できませんでした。

KECX01338-E

Property '{0}' must be set before setting property '{1}'.

プロパティ{1}を設定する前にプロパティ{0}を設定する必要があります。

KECX01339-E

The source specified cannot be null.

指定したソースは null にできません。

KECX01401-E

Argument '{0}' is null.

引数{0}が null です。

KECX01402-E

No writer supplied for serializer.

serializer に供給される writer がありません。

KECX01403-E

The method '{0}' is not supported by this factory.

メソッド{0}はこの factory でサポートされていません。

KECX01404-E

The serializer may not be reset in the middle of serialization.

serializer は，シリアライゼーションの最中にリセットされないこともあります。

KECX01405-E

Internal error: element state is zero.

内部エラーです。要素の状態がゼロです。

KECX01406-E

There is no rawName and localName is null.

rawName がありません。また，localName は null です。

KECX01407-E

The element name '{0}' is not a QName.

要素名{0}は Qname ではありません。

KECX01408-E

Element '{0}' does not belong to any namespace: prefix could be undeclared or bound to some namespace.

要素{0}は任意の名前空間に属しません。接頭辞は非宣言とされたか，またはある名前空間に結び付けられました。

KECX01409-E

The attribute name '{0}' is not a QName.

属性名{0}は Qname ではありません。

KECX01410-E

Attribute '{0}' does not belong to any namespace: prefix could be undeclared or bound to some namespace.

属性{0}は，任意の名前空間に属しません。接頭辞は非宣言とされたか，またはある名前空間に結び付けられました。

KECX01411-E

Namespace declaration syntax is incorrect: {0}.

名前空間宣言の構文に誤りがあります。{0}

KECX01412-E

The character sequence "]]>" must not appear in content unless used to mark the end of a CDATA section.

文字シーケンス]]>は，CDATA セクションの終了を示す以外の目的で使用してはいけません。

KECX01413-W

Splitting a CDATA section containing the CDATA section termination marker "]]>".

CDATA セクション終了マーカー]]>を含んでいる CDATA セクションを分割します。

KECX01414-E

The resource '{0}' could not be found.

リソース{0}はありませんでした。

KECX01415-E

The resource '{0}' could not be loaded. {1}

リソース{0}はロードできませんでした。{1}

KECX01416-E

Serialization stopped at user request.

シリアライゼーションはユーザ要求によって停止しました。

KECX01417-E

no-output-specified: The output destination for data to be written to was null.

出力指定なし：書き込みデータの出力先は null でした。

KECX01418-E

unsupported-encoding: An unsupported encoding is encountered:{0}.

エンコーディング未サポート：未サポートのエンコーディングがありました：{0}

KECX01419-E

unable-to-serialize-node: The node could not be serialized.

ノードシリアライゼーション不可：ノードはシリアライゼーションできませんでした。

KECX01451-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージを，見つけることができません。

KECX01452-E

An internal error occurred while formatting the following message:

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

KECX01453-E

no-input-specified

入力指定がありません。

KECX01600-E

parse may not be called while parsing.

DOM パース中に再び parse メソッドが呼ばれました。

KECX01601-E

Element stack underflow.

要素スタックでアンダーフローが発生しました。

KECX01701-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージが見つかりません。

KECX01702-E

An internal error occurred while formatting the following message:

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

KECX01703-E

An 'include' failed, and no 'fallback' element was found.

include に失敗しました。fallback 要素が見つかりませんでした。

KECX01704-E

The [children] of an 'include' element cannot contain more than one 'fallback' element.

include 要素の子に複数の fallback 要素を含むことはできません。

KECX01705-E

A 'fallback' element was found that did not have 'include' as the parent.

親が include でない fallback 要素がありました。

KECX01706-E

Elements from namespace 'http://www.w3.org/2001/XInclude', other than 'fallback', are not allowed to be children of 'include' elements. However, '{0}' was found.

名前空間 http://www.w3.org/2001/XInclude からの要素は，fallback 以外は include 要素の子にはできません。しかし{0}がありました。

KECX01707-E

The 'href' attribute of an 'include' element is missing.

include 要素に href 属性がありません。

KECX01708-E

Recursive include detected. Document '{0}' was already processed.

再帰的なインクルード派生になっています。ドキュメント{0}はすでに処理されました。

KECX01709-E

Invalid value for 'parse' attribute on 'include' element: '{0}'.

include 要素上の parse 属性の無効な値です。{0}

KECX01710-E

Error attempting to parse XML file (href='{0}').

XML ファイルを解析するエラーです（href='{0}'）。

KECX01711-W

Include operation failed, reverting to fallback. Resource error reading file as XML (href='{0}'). Reason: {1}

インクルード処理が失敗し，フォールバックに戻ります。ファイルを XML として読み込むリソースエラーです（href='{0}'）。理由は{1}です。

KECX01712-E

Include operation failed, reverting to fallback. Resource error reading file as text (href='{0}'). Reason: {1}

インクルード処理が失敗し，フォールバックに戻ります。ファイルをテキストとして読み込むリソースエラーです（href='{0}'）。理由は{1}です。

KECX01713-E

Multiple notations were used which had the name '{0}', but which were not determined to be duplicates.

名前"{0}"の複数の記法が使用されましたが，それが複写であるとはわかりませんでした。

KECX01714-E

Multiple unparsed entities were used which had the name '{0}', but which were not determined to be duplicates.

名前"{0}"の複数の解析されていない実体が使用されましたが，それが複写であるとはわかりませんでした。

KECX01715-E

The type of the NamespaceContext is incompatible with using XInclude; it must be an instance of XIncludeNamespaceSupport

NamespaceContext の型は XInclude の使用と互換性がありません。XIncludeNamespaceSupport のインスタンスでなければいけません。

KECX01716-E

Could not expand system id of included resource

インクルードリソースのシステム ID を拡張することができませんでした。

KECX01717-E

Elements from namespace 'http://www.w3.org/2001/XInclude', other than 'include', are not allowed to be children of 'fallback' elements. However, '{0}' was found.

名前空間 http://www.w3.org/2001/XInclude からの要素は，include 以外は fallback 要素の子にできません。しかし，{0}がありました。

KECX01718-E

xpointer attribute must be present when href attribute is absent.

href 属性がない場合は，xpointer 属性が必要です。

KECX01719-E

Characters outside the range #x20 through #x7E are not allowed in the value of the 'accept' attribute of an 'include' element.

#x20～#x7E の範囲外の文字は，include 要素の accept 属性の値に含めることができません。

KECX01720-E

Characters outside the range #x20 through #x7E are not allowed in the value of the 'accept-language' attribute of an 'include' element.

#x20～#x7E の範囲外の文字は，include 要素の accept-language 属性の値に含めることができません。

KECX01721-E

A well-formed document requires a root element.

整形式ドキュメントはルート要素が必要です。

KECX01722-E

A well-formed document must not contain multiple root elements.

整形式ドキュメントには複数のルート要素を含めることはできません。

KECX01723-E

The replacement of an 'include' element appearing as the document element in the top-level source infoset cannot contain characters.

最上位ソース infoset 内のドキュメント要素として表示される include 要素の代替物は文字を含むことができません。

KECX01724-E

The replacement of an 'include' element appearing as the document element in the top-level source infoset cannot contain unexpanded entity references.

最上位ソース infoset 内のドキュメント要素として表示される include 要素の代替物は未拡張のエンティティ参照を含むことができません。

KECX01725-E

Fragment identifiers must not be used. The 'href' attribute value '{0}' is not permitted.

フラグメント識別子は使用できません。href 属性値{0}は許可されていません。

KECX01726-E

href' attribute value '{0}' is syntactically invalid. After applying escaping rules the value is neither a syntactically correct URI or IRI.

href 属性値'{0}は構文的に不正です。エスケープ規則の適用後, 値は構文的に正しい URI でも IRI でもありません。

KECX01727-E

An xpointer was specified that points to a location in the source infoset. This location cannot be accessed due to the streaming nature of the processor.

ソース infoset 内の位置を示す xpointer が指定されました。該当位置はプロセッサのストリーミング性のため，アクセスできません。

KECX01728-E

XPointer resolution unsuccessful.

XPointer 解決が失敗しました。

KECX01801-E

Wrong character.

不正な文字です。

KECX01802-E

Invalid reference number.

存在しないグループ番号です。

KECX01803-E

A character is required after ¥.

¥のあとに 1 文字必要です。

KECX01804-E

'?' is not expected. '(?:' or '(?=' or '(?!' or '(?<' or '(?#' or '(?>'?

'?' をここに書くことはできません。もしかして '(?:' か '(?=' か '(?!' か '(?<' か '(?#' か '(?>' ですか?

KECX01805-E

'(?<=' or '(?<!' is expected.

'(?<=' か '(?<!' が必要です。

KECX01806-E

A comment is not terminated.

コメントが閉じていません。

KECX01807-E

')' is expected.

')' が必要です。

KECX01808-E

Unexpected end of the pattern in a modifier group.

オプションつきグループの中でパターンが終了しています。

KECX01809-E

':' is expected.

':' が必要です。

KECX01810-E

Unexpected end of the pattern in a conditional group.

条件つきグループの中でパターンが終了しています。

KECX01811-E

A back reference or an anchor or a lookahead or a lookbehind is expected in a conditional pattern.

条件パターンには，後方参照・アンカー・先読み・後読みだけを使用できます。

KECX01812-E

There are more than three choices in a conditional group.

条件つきグループの中に 3 個以上の選択を書くことはできません。

KECX01813-E

A character in U+0040-U+005f must follow ¥c.

¥c のあとにはコードポイントが U+0040～U+005f の範囲の文字が必要です。

KECX01814-E

A '{' is required before a character category.

1 文字のカテゴリ文字か '{' が必要です。

KECX01815-E

A property name is not closed by '}'.

プロパティ名が '}' で閉じていません。

KECX01816-E

Unexpected meta character.

メタ文字が不正なところにあります。

KECX01817-E

Unknown property.

未知のプロパティ名です。

KECX01818-E

A POSIX character class must be closed by ':]'.

POSIX 文字クラスは ':]' で閉じる必要があります。

KECX01819-E

Unexpected end of the pattern in a character class.

文字クラス内でパターンが終了しています。

KECX01820-E

Unknown name for a POSIX character class.

未知の POSIX 文字クラス名です。

KECX01821-E

'-' is invalid here.

ここに '-' を書くことはできません。

KECX01822-E

']' is expected.

']' が必要です。

KECX01823-E

'[' is invalid in a character class. Write '¥['.

文字クラス内では '[' を直接書くことはできません。'¥[' と書いてください。

KECX01824-E

']' is invalid in a character class. Write '¥]'.

文字クラス内では ']' を直接書くことはできません。'¥]' と書いてください。

KECX01825-E

'-' is an invalid character range. Write '¥-'.

文字範囲指定に'-'を直接書くことはできません。'¥-' と書いてください。

KECX01826-E

'[' is expected.

'[' が必要です。

KECX01827-E

')' or '-[' or '+[' or '&[' is expected.

')' か '-[' か '+[' か '&[' が必要です。

KECX01828-E

The range end code point is less than the start code point.

範囲終了コードポイントがスタートコードポイント未満です。

KECX01829-E

Invalid Unicode hex notation.

コードポイントの 16 進数表記中に間違った文字があります。

KECX01830-E

Overflow in a hex notation.

コードポイントの数値が大き過ぎます。

KECX01831-E

'¥x{' must be closed by '}'.

'¥x{' は '}' で閉じなければいけません。

KECX01832-E

Invalid Unicode code point.

Unicode のコードポイントとして不正です。

KECX01833-E

An anchor must not be here.

アンカーをここに書くことはできません。

KECX01834-E

This expression is not supported in the current option setting.

この表現は現在のオプション設定では使用できません。

KECX01835-E

Invalid quantifier. A digit is expected.

指定が不正です。数字を指定してください。

KECX01836-E

Invalid quantifier. Invalid quantity or a '}' is missing.

指定が不正です。不正な量数であるかまたは'}'がありません。

KECX01837-E

Invalid quantifier. A digit or '}' is expected.

指定が不正です。数字または'}'を指定してください。

KECX01838-E

Invalid quantifier. A min quantity must be <= a max quantity.

指定が不正です。min の量数は max の量数以下でなければいけません。

KECX01839-E

Invalid quantifier. A quantity value overflow.

指定が不正です。量数値がオーバフローしています。

KECX01853-E

Unknown option: {0}

{0}は未知のオプションです。

KECX01901-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージを，見つけることができません。

KECX01902-E

An internal error occurred while formatting the following message:

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

KECX01903-E

The specified schema language is not supported.

指定されたスキーマ言語はサポートされていません。

KECX01904-E

Property '{0}' must be set before setting property '{1}'.

プロパティ{1}を設定する前にプロパティ{0}を設定する必要があります。

KECX01905-E

Property '{0}' cannot be set when a non-null Schema object has already been specified.

非 null のスキーマオブジェクトがすでに指定されている場合は，プロパティ{0}は設定できません。

KECX01906-E

Feature '{0}' is not supported.

フィーチャー{0}はサポートされていません。

KECX01907-E

Feature '{0}' is not recognized.

フィーチャー{0}は認識されていません。

KECX01908-E

True state for feature '{0}' is not supported.

フィーチャー{0}の true 状態はサポートされていません。

KECX01909-E

False state for feature '{0}' is not supported.

フィーチャー{0}に false 状態はサポートされていません。

KECX01910-E

Feature '{0}' is read only.

フィーチャー{0}は読み込みだけ可能です。

KECX01911-E

Property '{0}' is not supported.

プロパティ{0}はサポートされていません。

KECX01912-E

Property '{0}' is not recognized.

プロパティ{0}は認識されていません。

KECX01913-E

Property '{0}' is read only.

プロパティ{0}は読み込みだけ可能です。

KECX01914-E

Property '{0}' is not supported while parsing.

構文解析中はプロパティ{0}はサポートされていません。

KECX01915-E

Cannot read DOM node property. No DOM tree exists.

DOM ノードプロパティは読めません。DOM ツリーがありません。

KECX01916-E

The value specified for property '{0}' cannot be casted to {1}.

プロパティ{0}に指定された値は{1}に変換できません。

11.3　KECX02001 から KECX02999 までのメッセージ

XML Processor が出力する KECX02001 から KECX02999 までのメッセージについて説明します。

KECX02001-E

Error: Can not have '{' within expression

エラーです。式の中で'{'を持つことはできません。

KECX02002-E

{0} has an illegal attribute: {1}

{0}に不正な属性が含まれています。{1}

KECX02003-E

sourceNode is null in xsl:apply-imports!

xsl:apply-imports で sourceNode が null です。

KECX02004-E

Can not add {0} to {1}

{0}を{1}に追加できません。

KECX02005-E

sourceNode is null in handleApplyTemplatesInstruction!

handleApplyTemplatesInstruction で sourceNode が null です。

KECX02006-E

{0} must have a name attribute.

{0}には name 属性が必要です。

KECX02007-E

Could not find template named: {0}

{0}という名前のテンプレートが見つかりませんでした。

KECX02008-E

Could not resolve name AVT in xsl:call-template.

xls:call-template で名前 AVT を解決できませんでした。

KECX02009-E

{0} requires attribute: {1}

{0}には属性{1}が必要です。

KECX02010-E

{0} must have a 'test' attribute.

{0}には test 属性が必要です。

KECX02011-E

Bad value on level attribute: {0}

level 属性に不正な値が指定されています。{0}

KECX02012-E

processing-instruction name can not be 'xml'

processing-instruction 名は xml にできません。

KECX02013-E

processing-instruction name must be a valid NCName: {0}

processing-instruction 名は有効な NCName でなければいけません。{0}

KECX02014-E

{0} must have a match attribute if it has a mode.

{0}にモードがある場合は，match 属性が必要です。

KECX02015-E

{0} requires either a name or a match attribute.

{0}は name 属性か，または match 属性を必要とします。

KECX02016-E

Can not resolve namespace prefix: {0}

名前空間の接頭辞{0}を解決できません。

KECX02017-E

xml:space has an illegal value: {0}

xml:space に不正な値があります。{0}

KECX02018-E

Child node does not have an owner document!

子ノードに所有者ドキュメントがありません。

KECX02019-E

ElemTemplateElement error: {0}

ElemTemplateElement エラーです。{0}

KECX02020-E

Trying to add a null child!

null である子を追加しようとしました。

KECX02021-E

{0} requires a select attribute.

{0}には select 属性が必要です。

KECX02022-E

xsl:when must have a 'test' attribute.

xsl:when には test 属性が必要です。

KECX02023-E

xsl:with-param must have a 'name' attribute.

xsl:with-param には name 属性が必要です。

KECX02024-E

context does not have an owner document!

コンテキストに所有者ドキュメントがありません。

KECX02025-E

Could not create XML TransformerFactory Liaison: {0}

XML TransformerFactory Liaison {0}を作成できませんでした。

KECX02026-E

XML Processor: Process was not successful.

XML Processor:処理は成功しませんでした。

KECX02027-E

XML Processor: was not successful.

XML Processor:は成功しませんでした。

KECX02028-E

Encoding not supported: {0}

エンコーディングはサポートされていません。{0}

KECX02029-E

Could not create TraceListener: {0}

TraceListener を作成できませんでした。{0}

KECX02030-E

xsl:key requires a 'name' attribute!

xsl:key には name 属性が必要です。

KECX02031-E

xsl:key requires a 'match' attribute!

xsl:key には match 属性が必要です。

KECX02032-E

xsl:key requires a 'use' attribute!

xsl:key には use 属性が必要です。

KECX02033-E

(StylesheetHandler) {0} requires an 'elements' attribute!

(StylesheetHandler) {0}には elements 属性が必要です。

KECX02034-E

(StylesheetHandler) {0} attribute 'prefix' is missing

(StylesheetHandler) {0} 属性の 'prefix' がありません。

KECX02035-E

Stylesheet URL is bad: {0}

スタイルシートの URL が不正です。{0}

KECX02036-E

Stylesheet file was not found: {0}

スタイルシートファイルが見つかりませんでした。{0}

KECX02037-E

Had IO Exception with stylesheet file: {0}

スタイルシートファイルで入出力例外が発生しました。{0}

KECX02038-E

(StylesheetHandler) Could not find href attribute for {0}

(StylesheetHandler) {0}の href 属性が見つかりませんでした。

KECX02039-E

(StylesheetHandler) {0} is directly or indirectly including itself!

(StylesheetHandler) {0}は直接的または間接的に自分自身をインクルードしています。

KECX02040-E

StylesheetHandler.processInclude error, {0}

StylesheetHandler.processInclude エラーです。{0}

KECX02041-E

(StylesheetHandler) {0} attribute 'lang' is missing

(StylesheetHandler) {0} 属性の 'lang' がありません。

KECX02042-E

(StylesheetHandler) misplaced {0} element?? Missing container element 'component'

(StylesheetHandler) {0} 要素の場所を間違えた可能性があります。コンテナ要素 'component' がありません。

KECX02043-E

Can only output to an Element, DocumentFragment, Document, or PrintWriter.

Element，DocumentFragment，Document，または PrintWriter にだけ出力できます。

KECX02044-E

StylesheetRoot.process error

StylesheetRoot.process エラーです。

KECX02045-E

UnImplNode error: {0}

UnImplNode エラーです。{0}

KECX02046-E

Error! Did not find xpath select expression (-select).

エラーです。xpath の選択式(-select)が見つかりませんでした。

KECX02047-E

Can not serialize an XSLProcessor!

XSLProcessor をシリアライズできません。

KECX02048-E

Stylesheet input was not specified!

スタイルシートの入力が指定されませんでした。

KECX02049-E

Failed to process stylesheet!

スタイルシートでの処理に失敗しました。

KECX02050-E

Could not parse {0} document!

{0}ドキュメントを構文解析できませんでした。

KECX02051-E

Could not find fragment: {0}

フラグメント{0}が見つかりませんでした。

KECX02052-E

Node pointed to by fragment identifier was not an element: {0}

フラグメント識別子が指すノードが要素ではありませんでした。{0}

KECX02053-E

for-each must have either a match or name attribute

for-each には match または name のどちらかの属性が必要です。

KECX02054-E

templates must have either a match or name attribute

テンプレートには match または name のどちらかの属性が必要です。

KECX02055-E

No clone of a document fragment!

ドキュメントのフラグメントにクローンがありません。

KECX02056-E

Can not create item in result tree: {0}

結果ツリーに項目を作成できません。{0}

KECX02057-E

xml:space in the source XML has an illegal value: {0}

ソース XML の xml:space に不正な値があります。{0}

KECX02058-E

There is no xsl:key declaration for {0}!

{0}に xsl:key 宣言がありません。

KECX02059-E

Error! Cannot create url for: {0}

エラーです。{0}の URL を作成できません。

KECX02060-E

xsl:functions is unsupported

xsl:functions はサポートされていません。

KECX02061-E

XSLT TransformerFactory Error

XSLT TransformerFactory エラーです。

KECX02062-E

(StylesheetHandler) {0} not allowed inside a stylesheet!

(StylesheetHandler) {0}はスタイルシート内で許可されません。

KECX02063-E

result-ns no longer supported! Use xsl:output instead.

result-ns はサポートされていません。代わりに xsl:output を使用してください。

KECX02064-E

default-space no longer supported! Use xsl:strip-space or xsl:preserve-space instead.

default-space はサポートされていません。代わりに xsl:strip-space または xsl:preserve-space を使用してください。

KECX02065-E

indent-result no longer supported! Use xsl:output instead.

indent-result はサポートされていません。代わりに xsl:output を使用してください。

KECX02066-E

(StylesheetHandler) {0} has an illegal attribute: {1}

(StylesheetHandler) {0}に不正な属性があります。{1}

KECX02067-E

Unknown XSL element: {0}

未知の XSL 要素です。{0}

KECX02068-E

(StylesheetHandler) xsl:sort can only be used with xsl:apply-templates or xsl:for-each.

(StylesheetHandler) xsl:sort を使用できるのは，xsl:apply-templates または xsl:for-each と併用する場合だけです。

KECX02069-E

(StylesheetHandler) misplaced xsl:when!

(StylesheetHandler) xsl:when の場所が誤っています。

KECX02070-E

(StylesheetHandler) xsl:when not parented by xsl:choose!

(StylesheetHandler) xsl:when の親は xsl:choose ではありません。

KECX02071-E

(StylesheetHandler) misplaced xsl:otherwise!

(StylesheetHandler) xsl:otherwise の場所が誤っています。

KECX02072-E

(StylesheetHandler) xsl:otherwise not parented by xsl:choose!

(StylesheetHandler) xsl:otherwise の親は xsl:choose ではありません。

KECX02073-E

(StylesheetHandler) {0} is not allowed inside a template!

(StylesheetHandler) {0}はテンプレートの中に置くことを許可されません。

KECX02074-E

(StylesheetHandler) {0} extension namespace prefix {1} unknown

(StylesheetHandler) {0}拡張名前空間の接頭辞{1}が未知です。

KECX02075-E

(StylesheetHandler) Imports can only occur as the first elements in the stylesheet!

(StylesheetHandler) スタイルシートの最初の要素でだけインポートが実行できます。

KECX02076-E

(StylesheetHandler) {0} is directly or indirectly importing itself!

(StylesheetHandler) {0}は直接的または間接的に自身をインポートしています。

KECX02077-E

(StylesheetHandler) xml:space has an illegal value: {0}

(StylesheetHandler) xml:space に不当な値があります。{0}

KECX02078-E

processStylesheet not successful!

processStylesheet は成功しません。

KECX02079-E

SAX Exception

SAX 例外です。

KECX02080-E

Function not supported!

未サポート機能です。

KECX02081-E

XSLT Error

XSLT エラーです。

KECX02082-E

currency sign is not allowed in format pattern string

通貨記号は書式パターン文字列で許可されません。

KECX02083-E

Document function not supported in Stylesheet DOM!

Document 関数は Stylesheet DOM でサポートされていません。

KECX02084-E

Can't resolve prefix of non-Prefix resolver!

non-Prefix リゾルバの接頭辞は解決できません。

KECX02085-E

Redirect extension: Could not get filename - file or select attribute must return valid string.

Redirect 拡張:ファイル名を取得できませんでした。- file 属性または select 属性が有効な文字列を戻す必要があります。

KECX02086-E

Can not build FormatterListener in Redirect extension!

Redirect 拡張で FormatterListener を構築できません。

KECX02087-E

Prefix in exclude-result-prefixes is not valid: {0}

exclude-result-prefixes の接頭辞が有効ではありません。{0}

KECX02088-E

Missing namespace URI for specified prefix

指定された接頭辞の名前空間 URI がありません。

KECX02089-E

Missing argument for option: {0}

オプションの引数がありません。{0}

KECX02090-E

Invalid option: {0}

無効なオプションです。{0}

KECX02091-E

Malformed format string: {0}

形式の誤った文字列です。{0}

KECX02092-E

xsl:stylesheet requires a 'version' attribute!

xsl:stylesheet にはバージョン属性が必要です。

KECX02093-E

Attribute: {0} has an illegal value: {1}

属性{0}に不正な値があります。{1}

KECX02094-E

xsl:choose requires an xsl:when

xsl:choose には xsl:when が必要です。

KECX02095-E

xsl:apply-imports not allowed in a xsl:for-each

xsl:apply-imports は xsl:for-each で許可されません。

KECX02096-E

Cannot use a DTMLiaison for an output DOM node... pass a com.cosminexus.jaxp.impl.xpath.DOM2Helper instead!

出力 DOM ノードに DTMLiaison を使用できません。代わりに com.cosminexus.jaxp.impl.xpath.DOM2Helper を渡します。

KECX02097-E

Cannot use a DTMLiaison for a input DOM node... pass a com.cosminexus.jaxp.impl.xpath.DOM2Helper instead!

入力 DOM ノードに DTMLiaison を使用できません。代わりに com.cosminexus.jaxp.impl.xpath.DOM2Helper を渡します。

KECX02098-E

Call to extension element failed: {0}

拡張要素の呼び出しに失敗しました。{0}

KECX02099-E

Prefix must resolve to a namespace: {0}

接頭辞は名前空間で解決されなければいけません。{0}

KECX02100-E

Invalid UTF-16 surrogate detected: {0} ?

無効な UTF-16 サロゲートが検出されました。{0}

KECX02101-E

xsl:attribute-set {0} used itself, which will cause an infinite loop.

xsl:attribute-set{0}を自分自身で使用しているので，無限ループの原因になります。

KECX02102-E

Can not mix non XML Processor-DOM input with XML Processor-DOM output!

非 XML Processor-DOM 入力と XML Processor-DOM 出力を混合できません。

KECX02103-E

addTraceListenersToStylesheet - TooManyListenersException

addTraceListenersToStylesheet ListenersException が多過ぎます。

KECX02104-E

In ElemTemplateElement.readObject: {0}

ElemTemplateElement.readObject に{0}があります。

KECX02105-E

Found more than one template named: {0}

次に示す名前のテンプレートが複数見つかりました。{0}

KECX02106-E

Invalid function call: recursive key() calls are not allowed

無効な関数呼び出しです。recursive key() 呼び出しは許可されません。

KECX02107-E

Variable {0} is directly or indirectly referencing itself!

変数{0}は直接的または間接的に自分自身を参照しています。

KECX02108-E

The input node can not be null for a DOMSource for newTemplates!

newTemplates の DOMSource に対する入力ノードは null にできません。

KECX02109-E

Class file not found for option {0}

オプション{0}に対するクラスファイルが見つかりません。

KECX02110-E

Required Element not found: {0}

必要な要素が見つかりません。{0}

KECX02111-E

InputStream cannot be null

InputStream は null にできません。

KECX02112-E

URI cannot be null

URI は null にできません。

KECX02113-E

File cannot be null

File は null にできません。

KECX02114-E

InputSource cannot be null

InputSource は null にできません。

KECX02116-E

Could not initialize BSF Manager

BSF Manager を初期化できませんでした。

KECX02117-E

Could not compile extension

拡張をコンパイルできませんでした。

KECX02118-E

Could not create extension: {0} because of: {1}

拡張{0}を作成できませんでした。原因：{1}

KECX02119-E

Instance method call to method {0} requires an Object instance as first argument

メソッド{0}のインスタンスメソッド呼び出しは，最初の引数に Object インスタンスを必要とします。

KECX02120-E

Invalid element name specified {0}

無効な要素名が指定されました。{0}

KECX02121-E

Element name method must be static {0}

要素名メソッドは static でなければいけません。{0}

KECX02122-E

Extension function {0}：{1} is unknown

拡張関数{0}: {1}は未知です。

KECX02123-E

More than one best match for constructor for {0}

{0}のコンストラクタに最適な一致が複数個あります。

KECX02124-E

More than one best match for method {0}

メソッド{0}に最適な一致が複数個あります。

KECX02125-E

More than one best match for element method {0}

要素メソッド{0}に最適な一致が複数個あります。

KECX02126-E

Invalid context passed to evaluate {0}

{0}を評価するのに無効なコンテキストが渡されました。

KECX02127-E

Pool already exists

プールがすでに存在します。

KECX02128-E

No driver Name specified

ドライバの Name が指定されていません。

KECX02129-E

No URL specified

URL が指定されていません。

KECX02130-E

Pool size is less than one!

プールサイズが 1 より小さいです。

KECX02131-E

Invalid driver name specified!

無効なドライバ名が指定されました。

KECX02132-E

Did not find the stylesheet root!

スタイルシートのルートが見つかりませんでした。

KECX02133-E

Illegal value for xml:space

xml:space に不正な値です。

KECX02134-E

processFromNode failed

processFromNode が失敗しました。

KECX02135-E

The resource [{0}] could not load: {1} {2} {3}

リソース{0}は次のものをロードできませんでした。{1} {2} {3}

KECX02136-E

Buffer size <=0

バッファサイズが 0 以下です。

KECX02137-E

Unknown error when calling extension

拡張を呼び出すときに未知のエラーが発生しました。

KECX02138-E

Prefix {0} does not have a corresponding namespace declaration

接頭辞{0}には対応する名前空間宣言がありません。

KECX02139-E

Element content not allowed for lang=javaclass {0}

要素の内容は lang=javaclass {0}に許可されません。

KECX02140-E

Stylesheet directed termination

スタイルシートによって終了が指示されました。

KECX02143-E

Could not load {0} (check CLASSPATH), now using just the defaults

{0}をロードできませんでした (CLASSPATH を確認してください)。デフォルトだけを使用します。

KECX02144-E

Cannot initialize default templates

デフォルトのテンプレートを初期化できません。

KECX02145-E

Result should not be null

Result は null にはできません。

KECX02146-E

Result could not be set

Result を設定できませんでした。

KECX02147-E

No output specified

出力が指定されていません。

KECX02148-E

Can't transform to a Result of type {0}

タイプ{0}の Result に変換できません。

KECX02149-E

Can't transform a Source of type {0}

タイプ{0}の Source に変換できません。

KECX02150-E

Null content handler

コンテンツハンドラが null です。

KECX02151-E

Null error handler

エラーハンドラが null です。

KECX02152-E

parse can not be called if the ContentHandler has not been set

ContentHandler が設定されていないと構文解析を呼び出すことができません。

KECX02153-E

No parent for filter

フィルタ処理をする親がありません。

KECX02154-E

No stylesheet found in: {0}, media= {1}

スタイルシートが{0}，メディア= {1}に見つかりません。

KECX02155-E

No xml-stylesheet PI found in: {0}

xml-stylesheet PI が{0}に見つかりませんでした。

KECX02171-E

Not supported: {0}

未サポートです。{0}

KECX02177-E

Value for property {0} should be a Boolean instance

プロパティ{0}の値は Boolean インスタンスでなくてはいけません。

KECX02195-E

Could not get to external script at {0}

{0}にある外部スクリプトを入手できませんでした。

KECX02196-E

The resource [{0}] could not be found. {1}

リソース{0}が見つかりませんでした。{1}

KECX02197-E

Output property not recognized: {0}

出力プロパティは認識されていません。{0}

KECX02203-E

Failed creating ElemLiteralResult instance

ElemLiteralResult インスタンスの作成に失敗しました。

KECX02204-E

Value for {0} should contain a parsable number

{0}の値には構文解析できる数字を指定してください。

KECX02205-E

Value for {0} should equal yes or no

{0}の値は yes または no と等しくなければいけません。

KECX02206-E

Failed calling {0} method

{0}メソッドの呼び出しに失敗しました。

KECX02207-E

Failed creating ElemTemplateElement instance

ElemTemplateElement インスタンスの作成に失敗しました。

KECX02208-E

Characters are not allowed at this point in the document

ドキュメントのこの部分で，文字列は許可されていません。

KECX02209-E

"{0}" attribute is not allowed on the {1} element!

"{0}" 属性は{1}要素で許可されていません。

KECX02211-E

{0} bad value {1}

{0}の間違った値{1}です。

KECX02212-E

{0} attribute value not found

{0}属性値が見つかりません。

KECX02213-E

{0} attribute value not recognized

{0}属性値は認識されていません。

KECX02216-E

Attempting to generate a namespace prefix with a null URI

名前空間の接頭辞を null の URI で生成しようとしています。

KECX02217-E

Attempting to format a number bigger than the largest Long integer

Long の最大値より大きい数をフォーマットしようとしています。

KECX02218-E

Cannot find SAX1 driver class {0}

SAX1 ドライバークラス{0}が見つかりません。

KECX02219-E

SAX1 driver class {0} found but cannot be loaded

SAX1 ドライバークラス{0}は見つかりましたがロードできません。

KECX02220-E

SAX1 driver class {0} loaded but cannot be instantiated

SAX1 ドライバークラス{0}はロードしましたが実証できません。

KECX02221-E

SAX1 driver class {0} does not implement org.xml.sax.Parser

SAX1 ドライバークラス{0}は org.xml.sax.Parser をインプリメントしません。

KECX02222-E

System property org.xml.sax.parser not specified

システムプロパティの org.xml.sax.parser は指定されませんでした。

KECX02223-E

Parser argument must not be null

パーサ引数は null であってはいけません。

KECX02224-E

Feature: {0}

フィーチャーが{0}です。

KECX02225-E

Property: {0}

プロパティが{0}です。

KECX02226-E

Null entity resolver

Null エンティティリゾルバです。

KECX02227-E

Null DTD handler

Null DTD ハンドラです。

KECX02228-E

No Driver Name Specified!

ドライバ名が指定されていません。

KECX02229-E

No URL Specified!

URL が指定されていません。

KECX02230-E

Pool size is less than 1!

プールサイズが 1 より小さいです。

KECX02231-E

Invalid Driver Name Specified!

無効なドライバ名が指定されました。

KECX02232-E

ErrorListener

ErrorListener が不正です。

KECX02233-E

Programmer's error! The expression has no ElemTemplateElement parent!

プログラマのエラーです。式は親に ElemTemplateElement を持っていません。

KECX02234-E

Programmer's assertion in RedundentExprEliminator: {0}

プログラマの RedundentExprEliminator の中の指定です。{0}

KECX02237-E

{0} is not allowed in this position in the stylesheet!

スタイルシート内のこの位置には，{0}を指定できません。

KECX02238-E

Non-whitespace text is not allowed in this position in the stylesheet!

スタイルシートのこの位置には空白以外のテキストを指定できません。

KECX02239-E

Illegal value: {1} used for CHAR attribute: {0}. An attribute of type CHAR must be only 1 character!

CHAR 属性{0}に不正な値{1}が使用されました。CHAR タイプの属性は 1 文字でなければいけません。

KECX02242-E

Illegal value: {1} used for QNAME attribute: {0}

QNAME 属性{0}に不正な値{1}が使用されました。

KECX02243-E

Illegal value: {1} used for ENUM attribute: {0}. Valid values are: {2}.

ENUM 属性{0}に不正な値{1}が使用されました。有効な値は{2}です。

KECX02244-E

Illegal value: {1} used for NMTOKEN attribute: {0}

NMTOKEN 属性{0}に不正な値{1}が使用されました。

KECX02245-E

Illegal value: {1} used for NCNAME attribute: {0}

NCNAME 属性{0}に不正な値{1}が使用されました。

KECX02246-E

Illegal value: {1} used for boolean attribute: {0}

boolean 属性{0}に不正な値{1}が使用されました。

KECX02247-E

Illegal value: {1} used for number attribute: {0}

number 属性{0}に不正な値{1}が使用されました。

KECX02248-E

Argument to {0} in match pattern must be a literal.

マッチング・パターンの{0}への引数はリテラルでなければいけません。

KECX02249-E

Duplicate global variable declaration.

グローバル変数宣言が重複しています。

KECX02250-E

Duplicate variable declaration.

変数宣言が重複しています。

KECX02251-E

xsl:template must have a name or match attribute (or both)

xsl:template には name または match 属性（あるいはその両方）が必要です。

KECX02252-E

Prefix in exclude-result-prefixes is not valid: {0}

exclude-result-prefixes 内の接頭辞が無効です。{0}

KECX02253-E

attribute-set named {0} does not exist

{0}という名前の attribute-set が存在しません。

KECX02254-E

The function named {0} does not exist

{0}という名前の関数が存在しません。

KECX02256-E

The value of param {0} must be a valid Java Object

param{0}の値は有効な Java オブジェクトでなければいけません。

KECX02257-E

The result-prefix attribute of an xsl:namespace-alias element has the value '#default', but there is no declaration of the default namespace in scope for the element

xsl:namespace-alias 要素の result-prefix 属性は値#default を持ちますが，該当要素の範囲にデフォルト名前空間の宣言はありません。

KECX02258-E

The result-prefix attribute of an xsl:namespace-alias element has the value '{0}', but there is no namespace declaration for the prefix '{0}' in scope for the element.

xsl:namespace-alias 要素の result-prefix 属性は値{0}を持ちますが，該当要素の範囲に接頭辞{0}の名前空間宣言はありません。

KECX02259-E

The feature name cannot be null in TransformerFactory.setFeature(String name, boolean value).

TransformerFactory.setFeature(String name, boolean value)では，フィーチャー名は null にできません。

KECX02260-E

The feature name cannot be null in TransformerFactory.getFeature(String name).

TransformerFactory.getFeature(String name)では，フィーチャー名は null にできません。

KECX02261-E

Cannot set the feature '{0}' on this TransformerFactory.

TransformerFactory ではフィーチャー{0}を設定できません。

KECX02262-E

Use of the extension element '{0}' is not allowed when the secure processing feature is set to true.

secure processing フィーチャーが true に設定されている場合は，拡張子要素{0}の使用は許可されません。

KECX02263-E

Cannot get the prefix for a null namespace uri.

無効な名前空間 URI に対応する接頭辞を取得できません。

KECX02264-E

Cannot get the namespace uri for null prefix.

無効な接頭辞に対応する名前空間 URI を取得できません。

KECX02265-E

The function name cannot be null.

フィーチャー名を null にできません。

KECX02266-E

The arity cannot be negative.

引数の数は負数にできません。

KECX02288-E

The {0} element must not have both content and a select attribute.

要素{0}はコンテンツと select 属性の両方を持つことはできません。

KECX02289-E

{0} attribute name="{1}" is already used with same import precedence

{0}の属性 name={1}はすでに同じ先行取り込みで使用されています。

KECX02304-E

getAssociatedStylesheets failed

getAssociatedStylesheets が失敗しました。

KECX02309-E

Invalid ConnectionPool name or JNDI Datasource path: {0}

無効な ConnectionPool 名または JNDI Datasource パスです：{0}

KECX02311-E

handler can not be null for a SAXResult

SAXResult の handler は null の指定ができません。

KECX02312-E

Could not load any resource bundles.{0}

resource bundles{0}のロードができません。

KECX02313-E

Could not load any resource bundles.

resource bundles のロードができません。

KECX02314-E

Can't clone node: {0}

ノード{0}のクローンができません。

KECX02320-E

For extension {0}, could not find {1} {2}

拡張仕様{0}では{1}{2}は見つかりません。

KECX02321-W

Warning: Could not get charToByteConverterClass!

警告: charToByteConverterClass を取得できません。

KECX02322-W

Warning: encoding "{0}" not supported, using {1}

警告: エンコーディング{0}はサポートされていません。{1}を使用します。

KECX02323-W

Warning: {0}

警告: {0}

KECX02324-W

Warning: InvocationTargetException in canConvert!

警告: canConvert メソッド内で InvocationTargetException が発生しました。

KECX02325-W

Warning: IllegalAccessException in canConvert!

警告: canConvert メソッド内で IllegalAccessException が発生しました。

KECX02326-E

Error! parent of xsl:fallback must be an extension or unknown element!

エラー：xsl:fallback の親は拡張要素または未知の要素でなければいけません。

KECX02327-E

Programmers error! countMatchPattern should never be null!

プログラマのエラーです。countMatchPattern は null であってはいけません。

KECX02328-W

TODO: Need to write the hooks for QNAME sort data type

QNAME のソートデータ種別のためのフックを記述する必要があります。

KECX02329-W

WARNING: -out {0} threw {1}

警告: -out {0}が{1}をスローしました。

KECX02330-W

WARNING: -out argument should have a filename, output sent to console

警告: -out の引数はファイル名でなければいけません。出力はコンソールに送出されました。

KECX02331-W

appendEnvironmentReport threw: {0}

appendEnvironmentReport メソッドが{0}をスローしました。

KECX02501-W

Found '}' but no attribute template open!

'}'を見つけましたが属性テンプレートがオープンしていません。

KECX02502-W

Warning: count attribute does not match an ancestor in xsl:number! Target = {0}

警告:count 属性は xsl:number の祖先と一致しません。Target={0}

KECX02503-W

Old syntax: The name of the 'expr' attribute has been changed to 'select'.

古い文法です。属性名 expr は select に変更されました。

KECX02504-W

XML Processor doesn't yet handle the locale name in the format-number function.

XML Processor は format-number 関数内でまだロケール名を処理しません。

KECX02505-W

Warning: Could not find locale for xml:lang={0}

警告: xml:lang={0}のロケールを見つけることができません。

KECX02506-W

Can not make URL from: {0}

{0}から URL を作成できません。

KECX02507-W

Can not load requested doc: {0}

要求された doc{0}をロードできません。

KECX02508-W

Could not find Collator for <sort xml:lang={0}

<sort xml:lang={0}の Collator を見つけられません。

KECX02509-W

Old syntax: the functions instruction should use a url of {0}

古い文法です。関数命令は{0}の URL を使わなければいけません。

KECX02510-W

encoding not supported: {0}, using UTF-8

エンコーディング{0}はサポートされていません。UTF-8 を使用します。

KECX02511-W

encoding not supported: {0}, using Java {1}

エンコーディング{0}はサポートされていません。Java{1}を使用します。

KECX02512-W

Specificity conflicts found: {0} Last found in stylesheet will be used.

限定性の矛盾を見つけました。スタイルシート内で最後に使われている{0}が使われています。

KECX02513-W

========== Parsing and preparing {0} ==========

パーサの実行と準備をしています。{0}

KECX02514-W

Attr Template, {0}

属性値テンプレート, {0}

KECX02515-W

Match conflict between xsl:strip-space and xsl:preserve-space

xsl:strip-space と xsl:preserve-space との衝突が起きています。

KECX02516-W

XML Processor does not yet handle the {0} attribute!

XML Processor は{0}属性を取り扱っていません。

KECX02517-W

No declaration found for decimal format: {0}

10 進数形式の宣言が見つかりません。{0}

KECX02518-W

Missing or incorrect XSLT Namespace.

XSLT の名前空間がないか，または不正です。

KECX02519-W

Only one default xsl:decimal-format declaration is allowed.

xsl:decimal-format 宣言で許されているデフォルト値は一つだけです。

KECX02520-W

xsl:decimal-format names must be unique. Name "{0}" has been duplicated.

xsl:decimal-format 名はユニークでなければいけません。名称{0}は多重定義されています。

KECX02521-W

{0} has an illegal attribute: {1}

{0}が不正な属性{1}を持っています。

KECX02522-W

Could not resolve namespace prefix: {0}. The node will be ignored.

名前空間接頭辞{0}を解決できませんでした。ノードは無視されます。

KECX02523-W

xsl:stylesheet requires a 'version' attribute!

xsl:stylesheet はバージョン属性が必要です。

KECX02524-W

Illegal attribute name: {0}

属性名が不正です。{0}

KECX02525-W

Illegal value used for attribute {0}: {1}

属性{0}で不正な値が使われています。{1}

KECX02526-W

Resulting nodeset from second argument of document function is empty. Return an empty node-set.

ドキュメント関数の 2 番目の引数から得られた nodeset が空です。空の node-set を戻します。

KECX02527-W

The value of the name attribute of xsl:processing-instruction name must not be xml

xsl:processing-instruction の name 属性の値は xml にできません。

KECX02528-W

The value of the name attribute of xsl:processing-instruction must be a valid NCName: {0}

xsl:processing-instruction の name 属性の値は，有効な NCName でなくてはいけません。{0}

KECX02529-W

Cannot add attribute {0} after child nodes or before an element is produced. Attribute will be ignored.

子ノードのあと，または要素が現れる前に，属性{0}を加えることはできません。属性は無視されます。

KECX02530-E

An attempt is made to modify an object where modifications are not allowed.

修正してはいけない個所に対して，オブジェクトを修正しようとしています。

KECX02701-E

Parameter to createMessage was out of bounds

createMessage へのパラメタが境界外でした。

KECX02702-E

Exception thrown during messageFormat call

messageFormat 呼び出し中に例外がスローされました。

KECX02703-E

Xalan-J command line Process class options:

Xalan-J コマンド行 Process クラス・オプション:

KECX02704-W

The option {0} is not supported in XSLTC mode.

オプション{0}は XSLTC モードではサポートされていません。

KECX02705-W

The option {0} can only be used with -XSLTC.

オプション{0}は-XSLTC と一緒にしか使用できません。

KECX02706-E

Error: No stylesheet or input xml is specified. Run this command without any option for usage instructions.

エラー：スタイルシートがないか入力 xml が指定されていません。使用法の説明については，オプションなしでこのコマンドを実行してください。

KECX02707-E

Template nesting too deep. nesting = {0}, template {1} {2}

テンプレートのネストが深過ぎます。ネスト = {0}，テンプレート {1} {2}

KECX02708-E

Could not prime the pump!

呼び出すことができませんでした。

KECX02709-E

ParseException {0}

{0}で ParseException が発生しました。

11.4　KECX03001 から KECX03999 までのメッセージ

XML Processor が出力する KECX03001 から KECX03999 までのメッセージについて説明します。

KECX03001-E

The current() function is not allowed in a match pattern!

current()関数はパターンのマッチングでは許可されていません。

KECX03002-E

The current() function does not accept arguments!

current()関数は引数を受け入れません。

KECX03003-E

document() function implementation has been replaced by com.cosminexus.jaxp.impl.transform.xslt.FuncDocument!

document()関数実装は com.cosminexus.jaxp.impl.transform.xslt.FuncDocument に置き換えられました。

KECX03004-E

context does not have an owner document!

コンテキストに所有者ドキュメントがありません。

KECX03005-E

local-name() has too many arguments.

local-name() の引数が多過ぎます。

KECX03006-E

namespace-uri() has too many arguments.

namespace-uri()の引数が多過ぎます。

KECX03007-E

normalize-space() has too many arguments.

normalize-space()の引数が多過ぎます。

KECX03008-E

number() has too many arguments.

number()の引数が多過ぎます。

KECX03009-E

name() has too many arguments.

name()の引数が多過ぎます。

KECX03010-E

string() has too many arguments.

string()の引数が多過ぎます。

KECX03011-E

string-length() has too many arguments.

string-length()の引数が多過ぎます。

KECX03012-E

The translate() function takes three arguments!

translate()関数に三つの引数が指定されています。

KECX03013-E

The unparsed-entity-uri function should take one argument!

unparsed-エンティティ-uri 関数の引数は一つです。

KECX03014-E

namespace axis not implemented yet!

名前空間軸はまだ実装されていません。

KECX03015-E

unknown axis: {0}

未知の軸です。{0}

KECX03016-E

unknown match operation!

未知の照合オペレーションです。

KECX03017-E

Arg length of processing-instruction() node test is incorrect!

processing-instruction()ノードテストの引数の長さが不正です。

KECX03018-E

Can not convert {0} to a number

{0}を数字に変換できません。

KECX03019-E

Can not convert {0} to a NodeList!

{0}を NodeList に変換できません。

KECX03020-E

Can not convert {0} to a NodeSetDTM!

{0}を NodeSetDTM に変換できません。

KECX03021-E

Can not convert {0} to a type#{1}

{0}を type#{1}に変換できません。

KECX03022-E

Expected match pattern in getMatchScore!

getMatchScore に予期される一致パターンです。

KECX03023-E

Could not get variable named {0}

{0}という名前の変数を取得できませんでした。

KECX03024-E

ERROR! Unknown op code: {0}

エラーです。未知のオプションコード{0}

KECX03025-E

Extra illegal tokens: {0}

余分な不正トークンです。{0}

KECX03026-E

misquoted literal... expected double quote!

リテラルの引用符が誤りです。二重引用符が必要です。

KECX03027-E

misquoted literal... expected single quote!

リテラルの引用符が誤りです。単一引用符が必要です。

KECX03028-E

Empty expression!

式が空です。

KECX03029-E

Expected {0}, but found: {1}

{0}が予期されていましたが，{1}が見つかりました。

KECX03030-E

Programmer assertion is incorrect! - {0}

プログラマの指定が不正です。- {0}

KECX03031-E

boolean(...) argument is no longer optional with 19990709 XPath draft.

19990709 XPath ドラフトについて，boolean(...)引数は任意ではありません。

KECX03032-E

Found ',' but no preceding argument!

',' が見つかりましたが，その前に引数がありません。

KECX03033-E

Found ',' but no following argument!

',' が見つかりましたが，それに続く引数がありません。

KECX03034-E

'..[predicate]' or '.[predicate]' is illegal syntax. Use 'self::node()[predicate]' instead.

..[predicate] または.[predicate] は不正な構文です。代わりに self::node()[predicate] を使用してください。

KECX03035-E

illegal axis name: {0}

不正な軸名です。{0}

KECX03036-E

Unknown nodetype: {0}

未知のノードタイプです。{0}

KECX03037-E

Pattern literal ({0}) needs to be quoted!

リテラル({0})パターンは，引用符で囲む必要があります。

KECX03038-E

{0} could not be formatted to a number!

{0}は数字に書式設定できませんでした。

KECX03039-E

Could not create XML TransformerFactory Liaison: {0}

XML TransformerFactory Liaison を作成できませんでした。{0}

KECX03040-E

Error! Did not find xpath select expression (-select).

エラーです。xpath 選択式(-select)が見つかりませんでした。

KECX03041-E

ERROR! Could not find ENDOP after OP_LOCATIONPATH

エラーです。OP_LOCATIONPATH のあとに ENDOP が見つかりませんでした。

KECX03042-E

Error occurred!

エラーが発生しました。

KECX03043-E

VariableReference given for variable out of context or without definition! Name = {0}

コンテキストの外で，または定義なしで VariableReference が変数に指定されました。Name = {0}

KECX03044-E

Only child:: and attribute:: axes are allowed in match patterns! Offending axes = {0}

マッチングパターンには，child::および attribute::軸だけが許可されます。許可されない軸 = {0}

KECX03045-E

key() has an incorrect number of arguments.

key()の引数の数が不正です。

KECX03046-E

The count function should take one argument!

count 関数に使用できる引数は一つです。

KECX03047-E

Could not find function: {0}

関数{0}が見つかりませんでした。

KECX03048-E

Unsupported encoding: {0}

サポートされていないエンコーディング{0}です。

KECX03049-E

Problem occurred in DTM in getNextSibling... trying to recover

getNextSibling の DTM に問題が発生しました。復元しようとしています。

KECX03050-E

Programmer error: EmptyNodeList can not be written to.

プログラマエラーです。EmptyNodeList に書き込みできません。

KECX03051-E

setDOMFactory is not supported by XPathContext!

setDOMFactory は XPathContext でサポートされていません。

KECX03052-E

Prefix must resolve to a namespace: {0}

接頭辞は名前空間で解決されなければいけません。{0}

KECX03053-E

parse (InputSource source) not supported in XPathContext! Can not open {0}

構文解析(InputSource ソース)は XPathContext でサポートされていません。{0}をオープンできません。

KECX03057-E

SAX API characters(char ch[]... not handled by the DTM!

SAX API characters(char ch[]...は DTM で処理されません。

KECX03058-E

ignorableWhitespace(char ch[]... not handled by the DTM!

ignorableWhitespace(char ch[]...は DTM で処理されません。

KECX03059-E

DTMLiaison can not handle nodes of type {0}

DTMLiaison はタイプ{0}のノードを処理できません。

KECX03060-E

DOM2Helper can not handle nodes of type {0}

DOM2Helper はタイプ{0}のノードを処理できません。

KECX03061-E

DOM2Helper.parse error: SystemID - {0} line - {1}

DOM2Helper.parse エラー: SystemID -{0}行番号 - {1}

KECX03062-E

DOM2Helper.parse error

DOM2Helper.parse エラーです。

KECX03065-E

Invalid UTF-16 surrogate detected: {0} ?

無効な UTF-16 サロゲートが検出されました：{0} ?

KECX03066-E

IO error

入出力エラーです。

KECX03067-E

Cannot create url for: {0}

{0}の URL を作成できません。

KECX03068-E

In XPath.readObject: {0}

XPath.readObject にあります。{0}

KECX03069-E

function token not found.

関数トークンが見つかりません。

KECX03071-E

Can not deal with XPath type: {0}

XPath タイプ{0}は処理できません。

KECX03072-E

This NodeSet is not mutable

この NodeSet は可変ではありません。

KECX03073-E

This NodeSetDTM is not mutable

この NodeSetDTM は可変ではありません。

KECX03074-E

Variable not resolvable: {0}

解決できない変数です。{0}

KECX03075-E

Null error handler

エラーハンドラが null です。

KECX03076-E

Programmer's assertion: unknown opcode: {0}

プログラマの指定は，未知のオプションコードです。{0}

KECX03078-E

rtf() not supported by XRTreeFragSelectWrapper

rtf()は XRTreeFragSelectWrapper ではサポートされていません。

KECX03079-E

asNodeIterator() not supported by XRTreeFragSelectWrapper

asNodeIterator()は XRTreeFragSelectWrapper ではサポートされていません。

KECX03080-E

fsb() not supported for XStringForChars

XStringForChars に fsb()はサポートされていません。

KECX03081-E

Could not find variable with the name of {0}

{0}という名前の変数が見つかりませんでした。

KECX03082-E

XStringForChars can not take a string for an argument

XStringForChars は引数に文字列を使用できません。

KECX03083-E

The FastStringBuffer argument can not be null

FastStringBuffer 引数は null にできません。

KECX03085-E

Variable accessed before it is bound!

確定する前に変数がアクセスされました。

KECX03086-E

XStringForFSB can not take a string for an argument!

XStringForFSB は引数の string を受け取ることができません。

KECX03087-E

!!!! Error! Setting the root of a walker to null!!!

エラーです。ウォーカのルートを null にします。

KECX03088-E

This NodeSetDTM can not iterate to a previous node!

この NodeSetDTM は，直前のノードを繰り返すことができません。

KECX03089-E

This NodeSet can not iterate to a previous node!

この NodeSet は，直前のノードを繰り返すことができません。

KECX03090-E

This NodeSetDTM can not do indexing or counting functions!

この NodeSetDTM は，索引づけまたはカウント機能を実行できません。

KECX03091-E

This NodeSet can not do indexing or counting functions!

この NodeSet は，索引づけまたはカウント機能を実行できません。

KECX03092-E

Can not call setShouldCacheNodes after nextNode has been called!

nextNode を呼び出したあとに，setShouldCacheNodes を呼び出すことはできません。

KECX03093-E

{0} only allows {1} arguments

{0}に許可される引数は{1}個だけです。

KECX03094-E

Programmer's assertion in getNextStepPos: unknown stepType: {0}

getNextStepPos でプログラマが表明した，未知の stepType{0}です。

KECX03095-E

A relative location path was expected following the '/' or '//' token.

相対ロケーションパスは '/' または '//' トークンの次に必要です。

KECX03096-E

A location path was expected, but the following token was encountered: {0}

ロケーションパスが必要でしたが，次のトークンが検出されました。{0}

KECX03097-E

A location step was expected following the '/' or '//' token.

ロケーションステップは '/' または '//' トークンの次に必要です。

KECX03098-E

A node test that matches either NCName:* or QName was expected.

NCName:*または QName のどちらかと一致するノードテストが必要です。

KECX03099-E

A step pattern was expected, but '/' was encountered.

ステップパターンが必要でしたが，'/' が検出されました。

KECX03100-E

A relative path pattern was expected.

相対的なパスパターンが必要です。

KECX03103-E

The XPathResult of XPath expression '{0}' has an XPathResultType of {1} which cannot be converted to a boolean.

XPath 式{0}の XPathResult に，ブールに変換できない{1}の XPathResultType があります。

KECX03104-E

The XPathResult of XPath expression '{0}' has an XPathResultType of {1} which cannot be converted to a single node. The method getSingleNodeValue applies only to types ANY_UNORDERED_NODE_TYPE and FIRST_ORDERED_NODE_TYPE.

XPath 式{0}の XPathResult に，単一ノードに変換できない{1}の XPathResultType があります。getSingleNodeValue メソッドは ANY_UNORDERED_NODE_TYPE 型および FIRST_ORDERED_NODE_TYPE 型だけに適用します。

KECX03105-E

The method getSnapshotLength cannot be called on the XPathResult of XPath expression '{0}' because its XPathResultType is {1}. This method applies only to types UNORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE and ORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE.

XPathResultType が{1}のため，getSnapshotLength メソッドは XPath 式{0}の XPathResult に呼び出すことができません。このメソッドは，UNORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE 型および ORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE 型だけに適用します。

KECX03106-E

The method iterateNext cannot be called on the XPathResult of XPath expression '{0}' because its XPathResultType is {1}. This method applies only to types UNORDERED_NODE_ITERATOR_TYPE and ORDERED_NODE_ITERATOR_TYPE.

XPathResultType が{1}のため, iterateNext メソッドは XPath 式{0}の XPathResult に呼び出すことができません。このメソッドは，UNORDERED_NODE_ITERATOR_TYPE 型および ORDERED_NODE_ITERATOR_TYPE 型だけに適用します。

KECX03107-E

Document mutated since result was returned. Iterator is invalid.

結果が返されたあとに，ドキュメントが変更されました。イテレータは無効です。

KECX03108-E

Invalid XPath type argument: {0}

無効の XPath タイプ引数です。{0}

KECX03109-E

Empty XPath result object

空の XPath 結果オブジェクトです。

KECX03110-E

The XPathResult of XPath expression '{0}' has an XPathResultType of {1} which cannot be coerced into the specified XPathResultType of {2}.

XPath 式{0}の XPathResult は，{2}の指定された XPathResultType に強制できない{1}の XPathResultType を持ちます。

KECX03111-E

Unable to resolve prefix with null prefix resolver.

接頭辞なしのリゾルバでは，接頭辞を解決できません。

KECX03112-E

The XPathResult of XPath expression '{0}' has an XPathResultType of {1} which cannot be converted to a string.

XPath 式{0}の XPathResult は，文字列に変換できない{1}の XPathResultType を持ちます。

KECX03113-E

The method snapshotItem cannot be called on the XPathResult of XPath expression '{0}' because its XPathResultType is {1}. This method applies only to types UNORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE and ORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE.

XPathResultType が{1}のため，snapshotItem メソッドは XPath 式{0}の XPathResult に呼び出すことができません。このメソッドは，UNORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE 型および ORDERED_NODE_SNAPSHOT_TYPE 型だけに適用します。

KECX03114-E

Context node does not belong to the document that is bound to this XPathEvaluator.

コンテキストノードは，この XPathEvaluator に結び付けられるドキュメントに属しません。

KECX03115-E

The context node type is not supported.

コンテキストノードタイプはサポートされていません。

KECX03116-E

Unknown error in XPath.

XPath に未知のエラーが発生しました。

KECX03117-E

detach() not supported by XRTreeFragSelectWrapper

detach()は XRTreeFragSelectWrapper ではサポートされていません。

KECX03118-E

num() not supported by XRTreeFragSelectWrapper

num()は XRTreeFragSelectWrapper ではサポートされていません。

KECX03119-E

xstr() not supported by XRTreeFragSelectWrapper

xstr()は XRTreeFragSelectWrapper ではサポートされていません。

KECX03120-E

str() not supported by XRTreeFragSelectWrapper

str()は XRTreeFragSelectWrapper ではサポートされていません。

KECX03121-E

A location path was expected, but the end of the XPath expression was found instead.

ロケーションパスが期待されていましたが，XPath 式の終わりが発見されました。

KECX03122-E

The XPathResult of XPath expression '{0}' has an XPathResultType of {1} which cannot be converted to a number

XPath 式{0}の XPathResult に，数字に変換できない{1}の XPathResultType があります。

KECX03123-E

Extension function: '{0}' can not be invoked when the XMLConstants.FEATURE_SECURE_PROCESSING feature is set to true.

拡張子関数：XMLConstants.FEATURE_SECURE_PROCESSING フィーチャーが true に設定されている場合，{0}を起動できません。

KECX03124-E

resolveVariable for variable {0} returning null

変数{0}の resolveVariable が null を返しました。

KECX03125-E

UnSupported Return Type : {0}

サポートされていないリターン型：{0}

KECX03126-E

Source and/or Return Type can not be null

ソース型またはリターン型，または両方は null にできません。

KECX03127-E

Source and/or Return Type can not be null

ソース型またはリターン型，または両方は null にできません。

KECX03128-E

{0} argument can not be null

{0}引数は null にできません。

KECX03129-E

{0}#isObjectModelSupported(String objectModel) cannot be called with objectModel == null

{0}#isObjectModelSupported（String objectModel）は objectModel == null と同時に呼び出せません。

KECX03130-E

{0}#isObjectModelSupported(String objectModel) cannot be called with objectModel == ¥"¥"

{0}#isObjectModelSupported（String objectModel）は objectModel == ¥"¥"と同時に呼び出せません。

KECX03131-E

Trying to set a feature with a null name: {0}#setFeature(null, {1})

null 名でフィーチャーを設定しようとしました：{0}#setFeature(null, {1})

KECX03132-E

Trying to set the unknown feature ¥"{0}¥":{1}#setFeature({0},{2})

未知のフィーチャー ¥"{0}¥"を設定しようとしました：{1}#setFeature({0},{2})

KECX03133-E

Trying to get a feature with a null name: {0}#getFeature(null)

null 名でフィーチャーを取得しようとしました：{0}#getFeature(null)

KECX03134-E

Trying to get the unknown feature ¥"{0}¥":{1}#getFeature({0})

未知のフィーチャー ¥"{0}¥"を取得しようとしました：{1}#getFeature({0})

KECX03135-E

Attempting to set a null XPathFunctionResolver:{0}#setXPathFunctionResolver(null)

null の XPathFunctionResolver を設定しようとしました：{0}#setXPathFunctionResolver(null)

KECX03136-E

Attempting to set a null XPathVariableResolver:{0}#setXPathVariableResolver(null)

null の XPathVariableResolver を設定しようとしました：{0}#setXPathVariableResolver(null)

KECX03306-E

This NodeSetDTM can not do indexing or counting functions!

この NodeSetDTM は索引づけまたはカウント機能を実行できません。

KECX03307-E

Programmer's Error! putDocumentInCache found reparse of doc: {0}

プログラマエラーです。putDocumentInCache によって，doc の再パージングが見つかりました。{0}

KECX03314-E

Could not load any resource bundles.

どんな resource bundles もロードできません。

KECX03315-E

Error! Function.execute should not be called!

エラーです。Function.execute は呼ばれてはいけません。

KECX03316-W

Warning: popContextNodeList when stack is empty!

警告：スタックが空の場合の popContextNodeList です。

KECX03501-W

locale name in the format-number function not yet handled!

format-number 関数でロケール名はまだ処理されていません。

KECX03502-W

XSL Property not supported: {0}

XSL プロパティ{0}は未サポートです。

KECX03503-W

Do not currently do anything with namespace {0} in property: {1}

現在，プロパティ{1}の名前空間{0}で何も実行されていません。

KECX03504-W

SecurityException when trying to access XSL system property: {0}

XSL システムプロパティ{0}にアクセスしたときに，SecurityException が発生しました。

KECX03505-W

Old syntax: quo(...) is no longer defined in XPath.

旧構文：quo(...)は XPath では定義されていません。

KECX03506-W

XPath needs a derived object to implement nodeTest!

nodeTest をインプリメントするには XPath に派生オブジェクトが必要です。

KECX03507-W

function token not found.

関数トークンが見つかりません。

KECX03508-W

Could not find function: {0}

関数{0}が見つかりませんでした。

KECX03509-W

Can not make URL from: {0}

URL を{0}から作成できません。

KECX03510-W

-E option not supported for DTM parser

DTM パーサで-E オプションはサポートされていません。

KECX03511-W

VariableReference given for variable out of context or without definition! Name = {0}

コンテキスト外，または定義なしで，変数に VariableReference が指定されました。名前 = {0}

KECX03512-W

Unsupported encoding: {0}

サポートされないエンコード：{0}

KECX03701-E

Parameter to createMessage was out of bounds

createMessage へのパラメタが境界外でした。

KECX03702-E

Exception thrown during messageFormat call

messageFormat 呼び出し中に例外がスローされました。

KECX03901-E

A predicate or a location step is applicable to only a NodeSet.

述語またはロケーションステップは NodeSet だけに適用できます。

KECX03902-E

A XPathVariableResolver is not set.

変数リゾルバが設定されていません。

KECX03903-E

A XPathFunctionResolver is not set.

関数リゾルバが設定されていません。

11.5　KECX04001 から KECX04999 までのメッセージ

XML Processor が出力する KECX04001 から KECX04999 までのメッセージについて説明します。

KECX04012-E

Configuration Error

Configuration エラーです。

KECX04014-E

Coding error; Don't try to mark/rewind an indexed DTM

コーディングエラーです。インデックスを記述した DTM は mark/rewind しないでください。

KECX04016-E

Cannot construct URI with null/empty scheme!

null/empty スキーマでは URI を構成できません。

KECX04017-E

Cannot construct URI with null/empty scheme-specific part!

null/empty の scheme-specific では URI を構成できません。

KECX04018-E

{0} is invalid. Port should only contain digits!

{0}が無効です。port は数字だけで指定してください。

KECX04019-E

Cannot initialize path from null string!

null 文字列では path の初期化はできません。

KECX04020-E

Query string contains invalid escape sequence!

Query string に無効なエスケープシーケンスが含まれています。

KECX04021-E

Query string contains invalid character:{0}

Query string に無効な文字が含まれています。{0}

KECX04022-E

Fragment contains invalid escape sequence!

Fragment に無効なエスケープシーケンスが含まれています。{0}

KECX04023-E

Fragment contains invalid character:{0}

Fragment に無効な文字が含まれています。{0}

KECX04024-E

Userinfo cannot be set when host is null!

host 指定がない場合，Userinfo は設定できません。

KECX04025-E

Userinfo contains invalid escape sequence!

Userinfo に無効なエスケープシーケンスが含まれています。{0}

KECX04026-E

Userinfo contains invalid character:{0}

Userinfo に無効な文字が含まれています。{0}

KECX04027-E

Query string can only be set for a generic URI!

Query string は一般的な URI のセットにだけ使えます。

KECX04028-E

Query string cannot be set when path is null!

Query string は path が null の場合には使えません。

KECX04029-E

Query string contains invalid character!

Query string に無効な文字を含みます。

KECX04030-E

Could not load any resource bundles.

どんな resource bundle もロードできません。

KECX04038-W

*****WARNING: ChunkedIntArray({0}) wasting {1} words per slot

警告: ChunkedIntArray({0})がスロット当たり{1}ワードを消費しています。

KECX04039-W

Can not absolutize URL: {0}

絶対化できない URL です。{0}

KECX04040-E

CODING ERROR in Source Location: {0} != {1}

ソース位置のコーディングエラーです。{0} != {1}

KECX04046-E

DOM ERROR! class: {0}

DOM エラーです。クラス{0}

KECX04047-E

Could not load any resource bundles.{0}

どんな resource bundle もロードできません。{0}

KECX04101-E

Function not supported!

機能はサポートされていません。

KECX04102-E

Cannot overwrite cause

cause を上書きできません。

KECX04103-E

No default implementation found

デフォルトインプリメンテーションが見つかりません。

KECX04104-E

ChunkedIntArray({0}) not currently supported

現在 ChunkedIntArray({0})はサポートされていません。

KECX04105-E

Offset bigger than slot

オフセットがスロットより大きいです。

KECX04106-E

Coroutine not available, id={0}

Coroutine を使用できません。id={0}

KECX04107-E

CoroutineManager received co_exit() request

CoroutineManager が co_exit()要求を受け取りました。

KECX04108-E

co_joinCoroutineSet() failed

co_joinCoroutineSet() が失敗しました。

KECX04109-E

Coroutine parameter error ({0})

Coroutine パラメタエラーです。({0})

KECX04110-E

UNEXPECTED: Parser doTerminate answers {0}

予想外:パーサ doTerminate が{0}を応答しています。

KECX04111-E

parse may not be called while parsing

parse は構文解析中に呼び出してはいけません。

KECX04112-E

Error: typed iterator for axis {0} not implemented

エラーです。軸{0}の型つきイテレータはインプリメントされていません。

KECX04113-E

Error: iterator for axis {0} not implemented

エラーです。軸{0}のイテレータはインプリメントされていません。

KECX04114-E

Iterator clone not supported

イテレータの複製はサポートされていません。

KECX04115-E

Unknown axis traversal type: {0}

未知の軸トラバースタイプです。{0}

KECX04116-E

Axis traverser not supported: {0}

軸トラバーサはサポートされていません。{0}

KECX04117-E

No more DTM IDs are available

使用できる DTM ID はこれ以上ありません。

KECX04118-E

Not supported: {0}

サポートされていません。{0}

KECX04119-E

Node must be non-null for getDTMHandleFromNode

getDTMHandleFromNode のノードは非 null でなければいけません。

KECX04120-E

Could not resolve the node to a handle

ノードをハンドルに解決できませんでした。

KECX04121-E

startParse may not be called while parsing

startParse は構文解析中に呼び出してはいけません。

KECX04122-E

startParse needs a non-null SAXParser

startParse には null 以外の SAXParser が必要です。

KECX04123-E

could not initialize parser with

パーサを次で初期化できませんでした。

KECX04124-E

exception creating new instance for pool

プールの新規インスタンスを作成中に例外が発生しました。

KECX04125-E

Path contains invalid escape sequence

パスに無効なエスケープシーケンスが含まれています。

KECX04126-E

Scheme is required!

スキームが必要です。

KECX04127-E

No scheme found in URI: {0}

スキームは URI{0}で見つかりません。

KECX04128-E

No scheme found in URI

スキームは URI で見つかりません。

KECX04129-E

Path contains invalid character: {0}

パスに無効文字{0}が含まれています。

KECX04130-E

Cannot set scheme from null string

null 文字列からはスキームを設定できません。

KECX04131-E

The scheme is not conformant.

スキームは一致していません。

KECX04132-E

Host is not a well formed address

ホストは整形式のアドレスでありません。

KECX04133-E

Port cannot be set when host is null

ホスト指定がない場合ポートを設定できません。

KECX04134-E

Invalid port number

無効なポート番号です。

KECX04135-E

Fragment can only be set for a generic URI

一般的な URI のフラグメントだけ設定できます。

KECX04136-E

Fragment cannot be set when path is null

パスが null であるとフラグメントを設定できません。

KECX04137-E

Fragment contains invalid character

フラグメントに無効文字が含まれています。

KECX04138-E

Parser is already in use

パーサはすでに使用中です。

KECX04139-E

Cannot change {0} {1} while parsing

構文解析中に{0}{1}を変更できません。

KECX04140-E

Self-causation not permitted

自己原因は許可されません。

KECX04141-E

Userinfo may not be specified if host is not specified

ホストが指定されていない場合は Userinfo を指定してはいけません。

KECX04142-E

Port may not be specified if host is not specified

ホストが指定されていない場合はポートを指定してはいけません。

KECX04143-E

Query string cannot be specified in path and query string

Query string はパスおよび Query string 内に指定できません。

KECX04144-E

Fragment cannot be specified in both the path and fragment

フラグメントはパスとフラグメントの両方に指定できません。

KECX04145-E

Cannot initialize URI with empty parameters

URI は空のパラメタを使用して初期化できません。

KECX04146-E

Method not yet supported

メソッドは未サポートです。

KECX04147-E

IncrementalSAXSource_Filter not currently restartable

現在 IncrementalSAXSource_Filter は再始動できません。

KECX04148-E

XMLReader not before startParse request

XMLReader が startParse 要求の前でありません。

KECX04149-E

Axis traverser not supported: {0}

軸トラバーサはサポートされていません。{0}

KECX04150-E

ListingErrorHandler created with null PrintWriter!

ListingErrorHandler が null PrintWriter で作成されました。

KECX04151-E

SystemId Unknown

SystemId は未知です。

KECX04152-E

Location of error unknown

エラーのロケーションは未知です。

KECX04153-E

Prefix must resolve to a namespace: {0}

接頭辞は名前空間で解決されなければいけません。{0}

KECX04154-E

createDocument() not supported in XPathContext!

createDocument()は XPathContext 内で未サポートです。

KECX04155-E

Attribute child does not have an owner document!

属性の子に所有者文書がありません。

KECX04156-E

Attribute child does not have an owner document element!

属性の子に所有者文書エレメントがありません。

KECX04157-E

Warning: can't output text before document element! Ignoring...

警告:文書エレメントの前にテキストを出力できません。無視しています...

KECX04158-E

Can't have more than one root on a DOM!

DOM では複数のルートを持てません。

KECX04159-E

Argument 'localName' is null

引数 localName が null です。

KECX04160-E

Localname in QNAME should be a valid NCName

QNAME 内のローカル名は有効な NCName でなければいけません。

KECX04161-E

Prefix in QNAME should be a valid NCName

QNAME 内の接頭辞は有効な NCName でなければいけません。

KECX04162-E

Parameter to createMessage was out of bounds

createMessage へのパラメタが境界外でした。

KECX04163-E

Exception thrown during messageFormat call

messageFormat 呼び出し中に例外がスローされました。

KECX04164-E

The serializer class '{0}' does not implement org.xml.sax.ContentHandler.

シリアライザークラス{0}は org.xml.sax.ContentHandler をインプリメントしません。

KECX04165-E

The resource [{0}] could not be found. {1}

リソース{0}は見つかりませんでした。{1}

KECX04166-E

The resource [{0}] could not load: {1} {2} {3}

リソース{0}は次のものをロードできませんでした。{1} {2} {3}

KECX04167-E

Buffer size <=0

バッファサイズが 0 以下です。

KECX04168-E

Invalid UTF-16 surrogate detected: {0} ?

無効な UTF-16 サロゲートが検出されました。{0}

KECX04169-E

IO error

入出力エラーです。

KECX04170-E

Cannot add attribute {0} after child nodes or before an element is produced. Attribute will be ignored.

子ノードのあと，またはエレメントが現れる前に，属性{0}を加えることはできません。属性は無視されます。

KECX04171-E

Namespace for prefix '{0}' has not been declared.

接頭辞{0}の名前空間が宣言されていません。

KECX04172-E

Attribute '{0}' outside of element.

属性{0}がエレメントの外側です。

KECX04173-E

Namespace declaration '{0}'='{1}' outside of element.

名前空間宣言{0}={1}がエレメントの外側です。

KECX04174-E

Could not load '{0}' (check CLASSPATH), now using just the defaults

{0}をロードできませんでした (CLASSPATH を確認してください)。現在は単にデフォルトを使用しています。

KECX04175-E

Could not load the property file '{0}' for output method '{1}' (check CLASSPATH)

出力メソッド{1}のプロパティファイル{0}をロードできませんでした(CLASSPATH を確認してください)。

KECX04176-E

Attempt to output character of integral value {0} that is not represented in specified output encoding of {1}.

整数値{0}で出力しようとしている文字は，{1}で指定された出力エンコーディングで表現できません。

KECX04177-E

Invalid port number

無効なポート番号です。

KECX04178-E

Port cannot be set when host is null

ホストが null の場合はポートを設定できません。

KECX04179-E

Host is not a well formed address

ホストが整形式アドレスではありません。

KECX04180-E

The scheme is not conformant.

スキームが適合しません。

KECX04181-E

Cannot set scheme from null string

null 文字列からスキームを設定できません。

KECX04182-E

Path contains invalid escape sequence

パスに無効なエスケープ・シーケンスが含まれています。

KECX04183-E

Path contains invalid character: {0}

パスに無効文字が含まれています：{0}

KECX04184-E

Fragment contains invalid character

フラグメントに無効文字が含まれています。

KECX04185-E

Fragment cannot be set when path is null

パスが null であるとフラグメントを設定できません。

KECX04186-E

Fragment can only be set for a generic URI

一般的な URI の場合だけ，フラグメントを設定できます。

KECX04187-E

No scheme found in URI

URI にスキームがありません。

KECX04188-E

Cannot initialize URI with empty parameters

URI は空のパラメタで初期化できません。

KECX04189-E

Fragment cannot be specified in both the path and fragment

フラグメントはパスとフラグメントの両方に指定できません。

KECX04190-E

Query string cannot be specified in path and query string

Query string はパスおよび Query string 内に指定できません。

KECX04191-E

Port may not be specified if host is not specified

ホストが指定されていない場合は，ポートは指定できません。

KECX04192-E

Userinfo may not be specified if host is not specified

ホストが指定されていない場合は，userinfo は指定できません。

KECX04193-W

Warning: The version of the output document is requested to be '{0}'. This version of XML is not supported. The version of the output document will be '1.0'.

警告：出力ドキュメントのバージョンとして{0}を要求されています。本バージョンの XML はサポートされていません。出力ドキュメントのバージョンは 1.0 となります。

KECX04194-E

Scheme is required!

スキームが必要です。

KECX04195-E

The Properties object passed to the SerializerFactory does not have a '{0}' property.

SerializerFactory に渡された Properties オブジェクトは{0}プロパティを持ちません。

KECX04196-W

Warning: The encoding '{0}' is not supported by the Java runtime.

警告：エンコーディング{0}は Java runtime でサポートされていません。

KECX04197-E

The message key '{0}' is not in the message class '{1}'

メッセージキー{0}はメッセージクラス{1}にありません。

KECX04198-E

The format of message '{0}' in message class '{1}' failed.

メッセージクラス{1}内のメッセージ{0}のフォーマットは失敗しました。

KECX04199-E

Name cannot start with a colon

名前はコロンで始められません。

KECX04301-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージを，見つけることができません。

KECX04302-E

An internal error occurred while formatting the following message:¥n

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました：¥n

KECX04303-E

The schema language specified cannot be null.

指定されたスキーマ言語は null にできません。

KECX04304-E

The schema language specified cannot have a length of zero characters.

指定されたスキーマ言語の長さは 0 文字にできません。

KECX04305-E

The Source array parameter cannot be null.

Source 配列パラメタは null にできません。

KECX04306-E

The Source array parameter cannot contain any items that are null.

Source 配列パラメタには null の項目を含めることができません。

KECX04307-E

Source parameter of type '{0}' is not recognized this SchemaFactory.

型{0}の Source パラメタはこの SchemaFactory を認識していません。

KECX04308-E

Source parameter cannot be null.

Source パラメタは null にできません。

KECX04309-E

Source parameter of type '{0}' is not accepted by this validator.

型{0}の Source パラメタはこのバリデータでは受け付けません。

KECX04310-E

Source parameter of type '{0}' is not compatible with result parameter of type '{1}'.

型{0}の Source パラメタは，型{1}の結果パラメタと互換性がありません。

KECX04311-E

A TypeInfoProvider cannot be queried outside of a startElement callback.

TypeInfoProvider は startElement コールバックの外で問い合わせできません。

KECX04312-E

The feature name cannot be null.

フィーチャー名は null にできません。

KECX04313-E

The property name cannot be null.

プロパティ名は null にできません。

KECX04314-E

The SAXSource specified contains no InputSource.

指定された SAXSource には InputSource がありません。

KECX04401-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージを，見つけることができません。

KECX04402-E

An internal error occurred while formatting the following message:¥n

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました：¥n

KECX04403-E

XPointerProcessingError: An error occurred while processing the XPointer expression.

XPointerProcessingError：XPointer 式の処理中にエラーが発生しました。

KECX04404-E

InvalidXPointerToken: The XPointer expression contains the invalid token '{0}'

InvalidXPointerToken：XPointer 式に無効なトークン{0}が含まれています。

KECX04405-E

InvalidXPointerExpression: The XPointer expression '{0}' is invalid.

InvalidXPointerExpression：XPointer 式{0}は無効です。

KECX04406-E

MultipleShortHandPointers: The XPointer expression '{0}' is invalid. It has more than one ShortHand Pointer.

MultipleShortHandPointers：XPointer 式{0}は無効です。式には二つ以上の ShortHand Pointer が含まれています。

KECX04407-E

SchemeDataNotFollowedByCloseParenthesis: The XPointer expression '{0}' is invalid. The SchemeData was not followed by a ')' character.

SchemeDataNotFollowedByCloseParenthesis：XPointer 式{0}は無効です。SchemeData の後に)文字がありません。

KECX04408-W

SchemeUnsupported: The XPointer scheme '{0}' is not supported.

SchemeUnsupported：XPointer スキーム{0}はサポートされていません。

KECX04409-E

InvalidShortHandPointer: The NCName of the ShortHand Pointer '{0}' is invalid.

InvalidShortHandPointer：ShortHand Pointer {0}の NCName は無効です。

KECX04410-E

UnbalancedParenthesisInXPointerExpression: The XPointer expression '{0}' is invalid. The number of open parenthesis '{1}' is not equal to the number of close parenthesis '{2}'.

UnbalancedParenthesisInXPointerExpression：XPointer 式{0}は無効です。開括弧の数{1}は閉括弧の数{2}と等しくありません。

KECX04411-E

InvalidSchemeDataInXPointer: The XPointer expression '{0}' contains invalid SchemeData.

InvalidSchemeDataInXPointer：XPointer 式{0}に無効な SchemeData が含まれています。

KECX04412-E

InvalidElementSchemeToken: The element() scheme XPointer expression contains the invalid token '{0}'

InvalidElementSchemeToken：element()スキーム XPointer 式に無効なトークン{0}が含まれています。

KECX04413-E

InvalidElementSchemeXPointer: The Element Scheme XPointer expression '{0}' is invalid.

InvalidElementSchemeXPointer：Element Scheme XPointer 式{0}は無効です。

KECX04414-E

XPointerElementSchemeProcessingError: An error occurred while processing the XPointer element() Scheme expression.

XPointerElementSchemeProcessingError：XPointer element() Scheme 式の処理中にエラーが発生しました。

KECX04415-E

InvalidNCNameInElementSchemeData: The element() Scheme contains a ShortHand Pointer '{0}' with an invalid NCName.

InvalidNCNameInElementSchemeData：element() Scheme には無効な NCName を持つ ShortHand Pointer {0}が含まれています。

KECX04416-E

InvalidChildSequenceCharacter: The element() Scheme contains an invalid child sequence character '{0}'.

InvalidChildSequenceCharacter：element() Scheme には無効な子シーケンス文字{0}が含まれています。

11.6　KECX06001 から KECX06999 までのメッセージ

XML Processor が出力する KECX06001 から KECX06999 までのメッセージについて説明します。

KECX06001-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージを，見つけることができません。

KECX06002-E

An internal error occurred while formatting the following message:

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

KECX06003-E

Internal error: {0}.

内部エラーが発生しました。{0}

KECX06004-E

Whitespace facet value is not available for the union simpleType '{0}'

空白ファセット値は結合単純型{0}に使用できません。

KECX06005-W

One of the grammar(s) returned from the user's grammar pool is in conflict with another grammar.

ユーザの文法プールから返された文法の一つが，別の文法と矛盾します。

KECX06006-E

Identity Constraint error (cvc-identity-constraint.4.2.1): element "{0}" has a key with no value.

一意性制約エラーです(cvc-identity-constraint.4.2.1)。要素{0}に値のないキーが指定されています。

KECX06007-E

Duplicate match in scope for field "{0}".

フィールド{0}のスコープで重複適合しています。

KECX06008-E

Duplicate key value [{0}] declared for identity constraint of element "{1}".

要素{1}の一意性制約宣言で，キーの値{0}が重複しています。

KECX06009-E

Duplicate unique value [{0}] declared for identity constraint of element "{1}".

要素{1}の一意性制約宣言で，ユニークの値{0}が重複しています。

KECX06010-E

Identity constraint error: field "{0}" matches more than one value within the scope of its selector; fields must match unique values.

一意性制約エラーが発生しました。フィールド{0}が，selector の範囲内で複数個一致しました。フィールドはユニークな値でなければいけません。

KECX06011-E

The content of this element is not equivalent to the value of the "fixed" attribute in the element's declaration in the schema.

要素の内容が，スキーマ中の要素宣言での"fixed"属性の値と等しくありません。

KECX06012-E

Identity Constraint error (cvc-identity-constraint.4.2.3): element "{0}" has a key which matches an element which has nillable set to true.

一意性制約エラーです(cvc-identity-constraint.4.2.3)。要素{0}に空要素指定 nillable に true をセットしている要素と一致するキーが指定されています。

KECX06013-E

Not enough values specified for <key name="{1}"> identity constraint specified for element "{0}".

要素{0}の<key name={1}>一意性制約定義に対して，値の指定が不十分です。

KECX06014-E

Key '{0}' with value '{1}' not found for identity constraint of element '{2}'.

値{1}が指定されたキー{0}は，要素{2}の一意性制約定義にはありません。

KECX06015-E

Not enough values specified for <keyref name="{1}"> identity constraint specified for element "{0}".

要素{0}の<keyref name={1}>一意性制約定義に対して，値の指定が不十分です。

KECX06016-E

Identity Constraint error: identity constraint "{0}" has a keyref which refers to a key or unique that is out of scope.

一意性制約エラーです。一意性制約{0}に，スコープ外の key または unique を参照する keyref が指定されました。

KECX06017-E

Key reference declaration "{0}" refers to unknown key with name "{1}".

キー参照定義{0}は，{1}という名前の未知のキーを参照しています。

KECX06018-E

Not enough values specified for <unique> identity constraint specified for element "{0}".

要素{0}の<unique>一意性制約定義に対して，値の指定が不十分です。

KECX06019-E

Internal identity constraint error; unknown field "{0}".

内部一意性制約エラーです。未知のフィールド{0}です。

KECX06020-E

cvc-attribute.3: The value '{2}' of attribute '{1}' on element '{0}' is not valid with respect to its type, '{3}'.

要素{0}の属性{1}に指定した値{2}は型{3}に関して不正です。

KECX06021-E

cvc-attribute.4: The value '{2}' of attribute '{1}' on element '{0}' is not valid with respect to its fixed {value constraint}. The attribute must have a value of '{3}'.

要素{0}の属性{1}に指定した値{2}は，fixed 値制約に関して不正です。属性は{3}の値でなければいけません。

KECX06022-E

cvc-complex-type.2.1: Element '{0}' must have no character or element information item [children], because the type's content type is empty.

型の内容型が空なので，要素{0}にテキストまたは子要素情報項目を指定することはできません。

KECX06023-E

cvc-complex-type.2.2: Element '{0}' must have no element [children], and the value must be valid.

要素{0}に子要素を指定することはできません。また，値は妥当である必要があります。

KECX06024-E

cvc-complex-type.2.3: Element '{0}' cannot have character [children], because the type's content type is element-only.

型の内容型が要素だけなので，要素{0}に子テキストを指定することはできません。

KECX06025-E

cvc-complex-type.2.4.a: Invalid content was found starting with element '{0}'. One of '{1}' is expected.

要素{0}で始まる内容は不正です。{1}のうちの一つが期待されます。

KECX06026-E

cvc-complex-type.2.4.b: The content of element '{0}' is not complete. One of '{1}' is expected.

要素{0}は完結していません。{1}のうちの一つが期待されます。

KECX06027-E

cvc-complex-type.2.4.c: The matching wildcard is strict, but no declaration can be found for element '{0}'.

任意要素定義で，要素宣言が必要ですが，要素{0}の宣言が見つかりません。

KECX06028-E

cvc-complex-type.2.4.d: Invalid content was found starting with element '{0}'. No child element is expected at this point.

要素{0}で始まる内容は不正です。子要素はこの時点で期待されません。

KECX06029-E

cvc-complex-type.3.1: Value '{2}' of attribute '{1}' of element '{0}' is not valid with respect to the corresponding attribute use. Attribute '{1}' has a fixed value of '{3}'.

要素{0}の属性{1}に指定した値{2}は不正です。属性{1}は{3}の固定値を持っています。

KECX06030-E

cvc-complex-type.3.2.1: Element '{0}' does not have an attribute wildcard for attribute '{1}'.

要素{0}は，属性{1}に対する属性ワイルドカードを持っていません。

KECX06031-E

cvc-complex-type.3.2.2: Attribute '{1}' is not allowed to appear in element '{0}'.

属性{1}は要素{0}に指定できません。

KECX06032-E

cvc-complex-type.4: Attribute '{1}' must appear on element '{0}'.

要素{0}には属性{1}が必要です。

KECX06033-E

cvc-complex-type.5.1: In element '{0}', attribute '{1}' is a Wild ID. But there is already a Wild ID '{2}'. There can be only one.

要素{0}の属性{1}はワイルド ID です。しかし，ワイルド ID{2}がすでにあります。指定できるのは一つだけです。

KECX06034-E

cvc-complex-type.5.2: In element '{0}', attribute '{1}' is a Wild ID. But there is already an attribute '{2}' derived from ID among the {attribute uses}.

要素{0}では，属性{1}はワイルド ID です。しかし，属性用途の中に，ID から派生した属性{2}がすでに存在しています。

KECX06036-E

cvc-datatype-valid.1.2.1: '{0}' is not a valid value for '{1}'.

{0}は{1}の値として不正です。

KECX06037-E

cvc-datatype-valid.1.2.2: '{0}' is not a valid value of list type '{1}'.

{0}は{1}のリスト型として不正です。

KECX06038-E

cvc-datatype-valid.1.2.3: '{0}' is not a valid value of union type '{1}'.

{0}は{1}のユニオン型として不正です。

KECX06039-E

cvc-elt.1: Cannot find the declaration of element '{0}'.

要素{0}の宣言が見つかりません。

KECX06040-E

cvc-elt.2: The value of {abstract} in the element declaration for '{0}' must be false.

要素宣言{0}の属性 abstract の値には，false を指定しないといけません。

KECX06041-E

cvc-elt.3.1: Attribute '{1}' must not appear on element '{0}', because the {nillable} property of '{0}' is false.

nillable プロパティが false のため，属性{1}は要素{0}に指定できません。

KECX06042-E

cvc-elt.3.2.1: Element '{0}' cannot have character or element information [children], because '{1}' is specified.

{1}が指定されているため，要素{0}にはテキストまたは要素情報を指定できません。

KECX06043-E

cvc-elt.3.2.2: There must be no fixed {value constraint} for element '{0}', because '{1}' is specified.

{1}が指定されているため，要素{0}には fixed 値制約があってはいけません。

KECX06044-E

cvc-elt.4.1: The value '{2}' of attribute '{1}' of element '{0}' is not a valid QName.

要素{0}の属性{1}の値{2}が，正しい QName ではありません。

KECX06045-E

cvc-elt.4.2: Cannot resolve '{1}' to a type definition for element '{0}'.

{1}は，要素{0}の型定義として解決できません。

KECX06046-E

cvc-elt.4.3: Type '{1}' is not validly derived from the type definition, '{2}', of element '{0}'.

型 {1} は要素{0}の型定義，{2}からの妥当な派生ではありません。

KECX06047-E

cvc-elt.5.1.1: {value constraint} '{2}' of element '{0}' is not a valid default value for type '{1}'.

要素{0}の値制約{2}は，型{1}のデフォルトに有効ではありません。

KECX06048-E

cvc-elt.5.2.2.1: Element '{0}' must have no element information item [children].

要素{0}には子要素情報項目を指定できません。

KECX06049-E

cvc-elt.5.2.2.2.1: The value '{1}' of element '{0}' does not match the fixed {value constraint} value '{2}'.

要素{0}の値{1}が，固定値制約の値{2}と一致しません。

KECX06050-E

cvc-elt.5.2.2.2.2: The value '{1}' of element '{0}' does not match the {value constraint} value '{2}'.

要素{0}の値{1}が，値制約の値{2}と一致しません。

KECX06051-E

cvc-enumeration-valid: Value '{0}' is not facet-valid with respect to enumeration '{1}'. It must be a value from the enumeration.

値{0}は enumeration ファセットに指定した{1}に関して不正です。enumration からの値を指定しなければいけません。

KECX06052-E

cvc-fractionDigits-valid: Value '{0}' has {1} fraction digits, but the number of fraction digits has been limited to {2}.

値{0}の小数部けた数{1}は，fractionDigits ファセットに指定したけた数{2}を超えています。

KECX06053-E

cvc-id.1: There is no ID/IDREF binding for IDREF '{0}'.

IDREF{0}に結合する ID/IDREF がありません。

KECX06054-E

cvc-id.2: There are multiple occurrences of ID value '{0}'.

ID の値{0}が複数出現しています。

KECX06055-E

cvc-id.3: A field of identity constraint '{0}' matched element '{1}', but this element does not have a simple type.

一意性制約{0}のフィールドは要素{1}と一致しましたが，この要素は単純型を持っていません。

KECX06056-E

cvc-length-valid: Value '{0}' with length = '{1}' is not facet-valid with respect to length '{2}' for type '{3}'.

長さが {1} の値{0}は，型{3}の length ファセットに指定した長さ{2}と異なっています。

KECX06057-E

cvc-maxExclusive-valid: Value '{0}' is not facet-valid with respect to maxExclusive '{1}' for type '{2}'.

値{0}は型{2}の maxExclusive ファセットに指定した値{1}の範囲外です。

KECX06058-E

cvc-maxInclusive-valid: Value '{0}' is not facet-valid with respect to maxInclusive '{1}' for type '{2}'.

値{0}は型{2}の maxInclusive ファセットに指定した値{1}の範囲外です。

KECX06059-E

cvc-maxLength-valid: Value '{0}' with length = '{1}' is not facet-valid with respect to maxLength '{2}' for type '{3}'.

値{0}の長さ{1}は，型{3}の maxLength ファセットに指定した長さ{2}の範囲外です。

KECX06060-E

cvc-minExclusive-valid: Value '{0}' is not facet-valid with respect to minExclusive '{1}' for type '{2}'.

値{0}は型{2}の minExclusive ファセットに指定した値{1}の範囲外です。

KECX06061-E

cvc-minInclusive-valid: Value '{0}' is not facet-valid with respect to minInclusive '{1}' for type '{2}'.

値{0}は型{2}の minInclusive ファセットに指定した値{1}の範囲外です。

KECX06062-E

cvc-minLength-valid: Value '{0}' with length = '{1}' is not facet-valid with respect to minLength '{2}' for type '{3}'.

値{0}の長さ{1}は，型{3}の minLength ファセットに指定した長さ{2}の範囲外です。

KECX06063-E

cvc-pattern-valid: Value '{0}' is not facet-valid with respect to pattern '{1}' for type '{2}'.

値{0}は型{2}の pattern ファセットに指定したパターン{1}に一致しません。

KECX06064-E

cvc-totalDigits-valid: Value '{0}' has {1} total digits, but the number of total digits has been limited to {2}.

値{0}のけた数{1}は，totalDigits ファセットに指定したけた数{2}を超えています。

KECX06065-E

cvc-type.2: The type definition cannot be abstract for element {0}.

要素{0}の型定義は抽象的な型にしてはいけません。

KECX06066-E

cvc-type.3.1.1: Element '{0}' is a simple type, so it cannot have attributes, excepting those whose namespace name is identical to 'http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance' and whose [local name] is one of 'type', 'nil', 'schemaLocation' or 'noNamespaceSchemaLocation'. However, the attribute, '{1}' was found.

要素{0}は単純型のため，その名前空間名が 'http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance' と一致するもの，そのローカル名が type，nil，schemaLocation，noNamespaceSchemaLocation のうちの一つであるものを除いて，属性を指定できません。しかし，属性{1}が見つかりました。

KECX06067-E

cvc-type.3.1.2: Element '{0}' is a simple type, so it must have no element information item [children].

要素{0}は単純型のため，要素情報項目の子を指定できません。

KECX06068-E

cvc-type.3.1.3: The value '{1}' of element '{0}' is not valid.

要素{0}の値{1}が不正です。

KECX06069-E

schema_reference.4: Failed to read schema document '{0}', because 1) could not find the document; 2) the document could not be read; 3) the root element of the document is not <xsd:schema>.

ドキュメントが見つからなかった，ドキュメントが読み込めなかった，またはドキュメントのルート要素が<xsd:schema>ではなかったため，スキーマ文書{0}の読み込みに失敗しました。

KECX06070-E

src-annotation: <annotation> elements can only contain <appinfo> and <documentation> elements, but '{0}' was found.

annotation 要素に指定できるのは，appinfo または documentation だけです。しかし，{0}が見つかりました。

KECX06071-E

src-attribute.1: The properties 'default' and 'fixed' cannot both be present in attribute declaration '{0}'. Use only one of them.

属性宣言{0}に，default と fixed の両方を同時に指定することはできません。それらのうちの一つだけを使用してください。

KECX06072-E

src-attribute.2: : The property 'default' is present in attribute '{0}', so the value of 'use' must be 'optional'.

属性{0}に default が指定されているため，use には optional を指定する必要があります。

KECX06073-E

src-attribute.3.1: One of ''ref'' or ''name'' must be present in a local attribute declaration.

ローカルな属性宣言に ref または name のどちらか一つが必要です。

KECX06074-E

src-attribute.3.2: The content must match (annotation?) for the attribute reference '{0}'.

属性参照{0}の内容に指定できるのは注釈だけです。

KECX06075-E

src-attribute.4: Attribute '{0}' has both a 'type' attribute and an anonymous 'simpleType' child. Only one of these is allowed for an attribute.

属性{0}は，型属性および匿名型の単純型の子を両方持っています。属性にはこれらのうち一つだけを指定します。

KECX06076-E

src-attribute_group.2: The intersection of wildcards is not expressible for attribute group '{0}'.

ワイルドカードの共通集合は属性グループ{0}には表現できません。

KECX06077-E

src-attribute_group.3: Circular definitions detected for attribute group '{0}'. Recursively following attribute group references eventually leads back to itself.

属性グループ{0}の参照が無限ループ宣言されています。再帰的に属性グループ参照が続くことは，結局それ自体にリードバックします。

KECX06078-E

src-ct.1: Complex Type Definition Representation Error for type '{0}'. When <complexContent> is used, the base type must be a complexType. '{1}' is a simpleType.

型{0}のための複合型定義表現でエラーが発生しました。complexContent が使用されているとき，基底型は複合型でなければいけません。{1}は単純型です。

KECX06079-E

src-ct.2.1: Complex Type Definition Representation Error for type '{0}'. When <simpleContent> is used, the base type must be a complexType whose content type is simple, or, only if restriction is specified, a complex type with mixed content and emptiable particle, or, only if extension is specified, a simple type. '{1}' satisfies none of these conditions.

型{0}のための複合型定義表現でエラーが発生しました。simpleContent が使用される場合，基底型は，その内容型が単純な complexType でなければいけません，または制限が指定される場合だけ，混合内容および空のパーティクルを備えた複合型，または拡張が指定される場合だけ，単純型でないといけません。{1}は，これらの条件のどれも満たしません。

KECX06080-E

src-ct.2.2: Complex Type Definition Representation Error for type '{0}'. When a complexType with simpleContent restricts a complexType with mixed content and emptiable particle, then there must be a <simpleType> among the children of <restriction>.

型{0}のための複合型定義表現でエラーが発生しました。simpleContent を備えた complexType が混合内容および空のパーティクルを備えた complexType を制限する場合，それらは制限の子の間で simpleType でなければいけません。

KECX06081-E

src-ct.4: Complex Type Definition Representation Error for type '{0}'. The intersection of wildcards is not expressible.

型{0}のための複合型定義表現でエラーが発生しました。ワイルドカードの共通集合は表現できません。

KECX06082-E

src-element.1: The properties 'default' and 'fixed' cannot both be present in element declaration '{0}'. Use only one of them.

要素宣言{0}に，default と fixed の両方を同時に指定することはできません。それらのうちの一つだけを使用してください。

KECX06083-E

src-element.2.1: : One of ''ref'' or ''name'' must be present in a local element declaration.

ローカルな要素宣言に ref または name のどちらか一つが必要です。

KECX06084-E

src-element.2.2: Since '{0}' contains the 'ref' attribute, its content must match (annotation?). However, '{1}' was found.

{0}が ref 属性を含んでいるので，その内容に指定できるのは注釈だけです。しかし，{1}が見つかりました。

KECX06085-E

src-element.3: Element '{0}' has both a 'type' attribute and a 'anonymous type' child. Only one of these is allowed for an element.

要素{0}は，型属性および匿名型の子の両方を持っています。要素にはこれらのうちの一つだけを指定します。

KECX06086-E

src-import.1.1: The namespace attribute '{0}' of an <import> element information item must not be the same as the targetNamespace of the schema it exists in.

import 要素情報項目の名前空間属性{0}はそれが実在するスキーマの対象名前空間と同じではいけません。

KECX06087-E

src-import.2: The root element of document '{0}' has to have the namespace name 'http://www.w3.org/2001/XMLSchema' and the local name 'schema'.

ドキュメント{0}のルート要素は，名前空間名'http://www.w3.org/2001/XMLSchema'およびローカル名 schema を持たなければいけません。

KECX06088-E

src-import.3.1: The namespace attribute, '{0}', of an <import> element information item must be identical to the targetNamespace attribute, '{1}', of the imported document.

import 要素情報項目の名前空間属性{0}は import されるドキュメントの対象名前空間 {1} と同じでないといけません。

KECX06089-E

src-import.3.2: An <import> element information item that had no namespace attribute was found, so the imported document cannot have a targetNamespace attribute. However, the targetNamespace '{1}' was found in the imported document.

import 要素情報項目に名前空間属性がありません。そのため import されるドキュメントには対象名前空間属性は指定できません。しかし，import されるドキュメントで対象名前空間{1}が見つかりました。

KECX06090-E

src-include.1: The root element of document '{0}' has to have the namespace name 'http://www.w3.org/2001/XMLSchema' and the local name 'schema'.

ドキュメント{0}のルート要素は，名前空間名'http://www.w3.org/2001/XMLSchema'およびローカル名 schema を持たなければいけません。

KECX06091-E

src-include.2.1: The targetNamespace of the referenced schema, currently '{1}', must be identical to that of the including schema, currently '{0}'.

現在{1}の参照づけられたスキーマの対象名前空間は，現在{0}のインクルードしているスキーマの対象名前空間と同じでなければいけません。

KECX06092-E

src-redefine.2: The root element of document '{0}' has to have the namespace name 'http://www.w3.org/2001/XMLSchema' and the local name 'schema'.

ドキュメント{0}のルート要素は，名前空間名'http://www.w3.org/2001/XMLSchema'およびローカル名 schema を持たなければいけません。

KECX06093-E

src-redefine.3.1: The targetNamespace of the referenced schema, currently '{1}', must be identical to that of the redefining schema, currently '{0}'.

redefine で読まれるスキーマの対象名前空間，現在{1}は，読み込み元のスキーマの対象名前空間，現在{0}と同じでなければいけません。

KECX06094-E

src-redefine.5.a.a: No non-annotation children of <simpleType> were found. <simpleType> children of <redefine> elements must have <restriction> descendants, with "base" attributes that refer to themselves.

単純型に注釈以外の子が見つかりませんでした。redefine 要素の単純型の子には，それら自身を参照している基底の属性を持つ，制限派生の子孫がいなくてはいけません。

KECX06095-E

src-redefine.5.a.b: '{0}' is not a valid child element. <simpleType> children of <redefine> elements must have <restriction> descendants, with 'base' attributes that refer to themselves.

{0}は子要素として不正です。redefine 要素の単純型の子には，それら自身を参照している基底の属性を持つ，制限派生の子孫がいなくてはいけません。

KECX06096-E

src-redefine.5.a.c: '{0}' does not have a 'base' attribute that refers to the redefined element, '{1}'. <simpleType> children of <redefine> elements must have <restriction> descendants, with 'base' attributes that refer to themselves.

{0}は再定義された要素{1}を参照する基底の属性を持っていません。redefine 要素の単純型の子には，それら自身を参照している基底の属性を持つ，制限派生の子孫がいなくてはいけません。

KECX06097-E

src-redefine.5.b.a: No non-annotation children of <complexType> were found. <complexType> children of <redefine> elements must have <extension> or <restriction> descendants, with "base" attributes that refer to themselves.

複合型に注釈以外の子が見つかりませんでした。redefine 要素の複合型の子には，それら自身を参照している基底の属性を持つ，拡張派生または制限派生の子孫がいなくてはいけません。

KECX06098-E

src-redefine.5.b.b: No non-annotation grandchildren of <complexType> were found. <complexType> children of <redefine> elements must have <extension> or <restriction> descendants, with "base" attributes that refer to themselves.

複合型に注釈以外の孫が見つかりませんでした。redefine 要素の複合型の子には，それら自身を参照している基底の属性を持つ，拡張派生または制限派生の子孫がいなくてはいけません。

KECX06099-E

src-redefine.5.b.c: '{0}' is not a valid grandchild element. <complexType> children of <redefine> elements must have <extension> or <restriction> descendants, with 'base' attributes that refer to themselves.

{0}は孫要素として不正です。redefine 要素の複合型の子には，それら自身を参照している基底の属性を持つ，拡張派生または制限派生の子孫がいなくてはいけません。

KECX06100-E

src-redefine.5.b.d: '{0}' does not have a 'base' attribute that refers to the redefined element, '{1}'. <complexType> children of <redefine> elements must have <extension> or <restriction> descendants, with 'base' attributes that refer to themselves.

{0}は再定義された要素{1}を参照する基底の属性を持っていません。redefine 要素の複合型の子には，それら自身を参照している基底の属性を持つ，拡張派生または制限派生の子孫がいなくてはいけません。

KECX06101-E

src-redefine.6.1.1: If a group child of a <redefine> element contains a group referring itself, it must have exactly 1; this one has '{0}'.

redefine 要素の子の group は，それ自体を参照する group を一つだけ持てます。これは{0}個持っています。

KECX06102-E

src-redefine.6.1.2: The group '{0}', which contains a reference to a group being redefined, must have 'minOccurs' = 'maxOccurs' = 1.

再定義されているグループの参照を含むグループ{0}の minOccurs および maxOccurs は，1 でなければいけません。

KECX06103-E

src-redefine.6.2.1: No group in the redefined schema has a name matching '{0}'.

再定義されたスキーマ中には，{0}と一致する名前のグループはありません。

KECX06104-E

src-redefine.6.2.2: Group '{0}' does not properly restrict the group it redefines; constraint violated: '{1}'.

グループ{0}は，それが再定義するグループを適切に制限しません。制約は次のものを破りました。{1}

KECX06105-E

src-redefine.7.1: If an attributeGroup child of a <redefine> element contains an attributeGroup referring itself, it must have exactly 1; this one has {0}.

redefine 要素の子の attributeGroup は，それ自体を参照する attributeGroup を一つだけ持てます。これは{0}個持っています。

KECX06106-E

src-redefine.7.2.1: No attributeGroup in the redefined schema has a name matching '{0}'.

再定義されたスキーマ中には，{0}と一致する名前の attributeGroup はありません。

KECX06107-E

src-redefine.7.2.2: AttributeGroup '{0}' does not properly restrict the attributeGroup it redefines; constraint violated: '{1}'.

attributeGroup{0}は，それが再定義する attributeGroup を適切に制限しません。制約は次のものを破りました。{1}

KECX06108-E

src-resolve: Cannot resolve the name '{0}' to a(n) '{1}' component.

{1} 構成要素で指定した名前{0}が見つかりません。

KECX06109-E

src-resolve.4.1: Error resolving component '{2}'. It was detected that '{2}' has no namespace, but components with no target namespace are not referenceable from schema document '{0}'. If '{2}' is intended to have a namespace, perhaps a prefix needs to be provided. If it is intended that '{2}' has no namespace, then an 'import' without a "namespace" attribute should be added to '{0}'.

構成要素の{2}を解決するエラーです。{2}が名前空間を持っていないことが検知されました。しかし，対象名前空間のないコンポーネントはスキーマドキュメント{0}から参照づけることができません。{2}が名前空間を持つように意図される場合，恐らく，接頭辞を提供する必要があります。{2}が名前空間を持っていないことが意図される場合，namespace 属性のない import は{0}に加えられる必要があります。

KECX06110-E

src-resolve.4.2: Error resolving component '{2}'. It was detected that '{2}' is in namespace '{1}', but components from this namespace are not referenceable from schema document '{0}'. If this is the incorrect namespace, perhaps the prefix of '{2}' needs to be changed. If this is the correct namespace, then an appropriate 'import' tag should be added to '{0}'.

構成要素の{2}を解決するエラーです。{2}が名前空間{1}にあることは検知されました。しかし，この名前空間からのコンポーネントはスキーマドキュメント{0}から参照づけることができません。これが正しくない名前空間である場合，恐らく，{2}の接頭辞を変更する必要があります。これが正確な名前空間である場合，適切な import タグは{0}に加えられる必要があります。

KECX06111-E

src-simple-type.2.a: A <restriction> element was found that has both a base [attribute] and a <simpleType> element among its [children]. Only one is allowed.

restriction 要素は，base 属性および子に simpleType 要素の両方を持っています。一つだけが許可されます。

KECX06112-E

src-simple-type.2.b: A <restriction> element was found that has neither a base [attribute] nor a <simpleType> element among its [children]. One is required.

restriction 要素は，base 属性も子に simpleType 要素も持っていません。どちらか一つが必要です。

KECX06113-E

src-simple-type.3.a: A <list> element was found that has both an itemType [attribute] and a <simpleType> element among its [children]. Only one is allowed.

list 要素は，itemType 属性および子に simpleType 要素の両方を持っています。一つだけが許可されます。

KECX06114-E

src-simple-type.3.b: A <list> element was found that has neither an itemType [attribute] nor a <simpleType> element among its [children]. One is required.

list 要素は，itemType 属性も子に simpleType 要素も持っていません。どちらか一つが必要です。

KECX06115-E

src-single-facet-value: The facet '{0}' is defined more than once.

ファセット{0}は複数回指定されています。

KECX06116-E

src-union-memberTypes-or-simpleTypes: A <union> element must have either a non-empty memberTypes [attribute] or at least one <simpleType> element among its [children].

union 要素は，空ではない memberTypes 属性を指定するか，または子に一つ以上の simpleType 要素を指定しなければいけません。

KECX06117-E

ag-props-correct.2: Error for attribute group '{0}'. Duplicate attribute uses with the same name and target namespace are specified. Name of duplicate attribute use is '{1}'.

属性グループ{0}のためのエラーです。同じ名前と対象名前空間で使用する重複属性が指定されています。重複する属性使用の名前は{1}です。

KECX06118-E

ag-props-correct.3: Error for attribute group '{0}'. Two attribute declarations, '{1}' and '{2}' have types which are derived from ID.

属性グループ{0}のためのエラーです。二つの属性宣言，{1}および{2}が，ID から派生した型を持っています。

KECX06119-E

a-props-correct.2: Invalid value constraint value '{1}' in attribute '{0}'.

属性{0}の値制約値{1}は不正です。

KECX06120-E

a-props-correct.3: Attribute '{0}' cannot use 'fixed' or 'default', because the attribute's {type definition} is ID, or is derived from ID.

属性の{型定義}が ID である，または ID から派生しているため，属性{0}に fixed または default を指定できません。

KECX06121-E

au-props-correct.2: In the attribute declaration of '{0}', a fixed value of '{1}' was specified. So if the attribute use referring to '{0}' also has a {value constraint}, it must be fixed and its value must be '{1}'.

属性宣言{0}に固定値{1}が指定されました。したがって，{0}を参照する属性使用がさらに値制約を持っている場合，それは固定で値は{1}でなければいけません。

KECX06122-E

cos-all-limited.1.2: An 'all' model group must appear in a particle with {min occurs} = {max occurs} = 1, and that particle must be part of a pair which constitutes the {content type} of a complex type definition.

all モデルグループは，minOccurs=maxOccurs=1 のパーティクルとならないといけません。そのパーティクルは複合型定義の内容型を構成する一組の一部でなければいけません。

KECX06123-E

cos-all-limited.2: The {max occurs} of an element in an 'all' model group must be 0 or 1. The value '{0}' for element '{1}' is invalid.

all モデルグループ中の要素の maxOccurs には，0 または 1 を指定しなければいけません。要素{1}の値{0}は不正です。

KECX06124-E

cos-applicable-facets: Facet '{0}' is not allowed by type {1}.

型{1}にはファセット{0}は許可されていません。

KECX06125-E

cos-ct-extends.1.1: Type '{0}' was derived by extension from type '{1}'. However, the 'final' attribute of '{1}' forbids derivation by extension.

型{0}は型{1}から拡張によって派生されました。しかし，{1}の final 属性は拡張による派生を禁止しています。

KECX06126-E

cos-ct-extends.1.4.3.2.2.1.a: The content type of a derived type and that of its base must both be mixed or both be element-only. Type '{0}' is element only, but its base type is not.

派生した型の内容型およびその基底の内容型は，共に混合内容であるか共に要素であるかのどちらかです。型{0}の内容型は要素ですが，基底の内容型は異なります。

KECX06127-E

cos-ct-extends.1.4.3.2.2.1.b: The content type of a derived type and that of its base must both be mixed or both be element-only. Type '{0}' is mixed, but its base type is not.

派生した型の内容型およびその基底の内容型は，共に混合内容であるか共に要素であるかのどちらかです。型{0}の内容型は混合内容ですが，基底の内容型は異なります。

KECX06128-E

cos-element-consistent: Error for type '{0}'. Multiple elements with name '{1}', with different types, appear in the model group.

型{0}のエラーです。名前{1}を備えた，タイプが異なる複数の要素が，モデルグループにあります。

KECX06129-E

cos-list-of-atomic: In the definition of list type '{0}', type '{1}' is an invalid list element type because it is not atomic ('{1}' is either a list type, or a union type which contains a list).

リスト型{0}の定義で，型{1}はアトミックではないため不正なリスト要素型です({1}はリストを含んでいるリスト型またはユニオン型のどちらかです)。

KECX06130-E

cos-nonambig: {0} and {1} (or elements from their substitution group) violate "Unique Particle Attribution". During validation against this schema, ambiguity would be created for those two particles.

{0}と{1}(またはそれらの代替グループからの要素)は Unique Particle Attribution に違反しています。スキーマを確認中に，二つのパーティクルが規則に合わなくなるおそれがあります。

KECX06131-E

cos-particle-restrict.a: Derived particle is empty, and base is not emptiable.

派生したパーティクルは空です。また，基底は空ではありません。

KECX06132-E

cos-particle-restrict.b: Base particle is empty, but derived particle is not.

基底のパーティクルは空です。しかし，派生したパーティクルは空ではありません。

KECX06133-E

cos-particle-restrict.2: Forbidden particle restriction: '{0}'.

禁止されたパーティクル制限です。{0}

KECX06134-E

cos-st-restricts.1.1: The type '{1}' is atomic, so its {base type definition}, '{0}', must be an atomic simple type definition or a built-in primitive datatype.

型{1}はアトミックです。したがって，その基底型定義{0}はアトミックの単純型定義またはビルトインデータ型でなければいけません。

KECX06135-E

cos-st-restricts.2.1: In the definition of list type '{0}', type '{1}' is an invalid item type because it is either a list type, or a union type that contains a list.

リスト型{0}の定義では，それがリストを含んでいるリスト型またはユニオン型のどちらかであるため，型{1}は無効の項目型です。

KECX06136-E

cos-st-restricts.2.3.1.1: The {final} component of the {item type definition}, '{0}', contains 'list'. This means that '{0}' cannot be used as an item type for list type '{1}'.

項目型定義{0}の final コンポーネントは，リストを含んでいます。これは，リスト型{1}のために項目型として{0}を使用できないことを意味します。

KECX06137-E

cos-st-restricts.3.3.1.1: The {final} component of the {member type definitions}, '{0}', contains 'union'. This means that '{0}' cannot be used as an member type for union type '{1}'.

メンバ型定義{0}の final コンポーネントは，ユニオンを含んでいます。これは，ユニオン型{1}のためにメンバ型として{0}を使用できないことを意味します。

KECX06138-E

cos-valid-default.2.1: Element '{0}' has a value constraint and must have a mixed or simple content model.

要素{0}は値制約を持っているため，混合か単純な内容モデルでなければいけません。

KECX06139-E

cos-valid-default.2.2.2: Since element '{0}' has a {value constraint} and its type definition has mixed {content type}, then the particle of the {content type} must be emptiable.

要素{0}が値制約を持ち，その型定義が混合の内容型なので，内容型のパーティクルは空でなければいけません。

KECX06140-E

c-props-correct.2: Cardinality of Fields for keyref '{0}' and key '{1}' must match each other.

keyref{0}と key{1}のフィールド指定の数は互いに一致しなければいけません。

KECX06141-E

ct-props-correct.3: Circular definitions detected for complex type '{0}'. This means that '{0}' is contained in its own type hierarchy, which is an error.

複合型{0}は無限ループ宣言されています。これは，それ自身の型の階層に{0}が含まれることを意味し，それはエラーです。

KECX06142-E

ct-props-correct.4: Error for type '{0}'. Duplicate attribute uses with the same name and target namespace are specified. Name of duplicate attribute use is '{1}'.

型{0}のエラーです。同じ名前と対象名前空間で使用する重複属性が指定されています。重複する属性使用の名前は{1}です。

KECX06143-E

ct-props-correct.5: Error for type '{0}'. Two attribute declarations, '{1}' and '{2}' have types which are derived from ID.

型{0}のエラーです。二つの属性宣言，{1}および{2}が，ID から派生した型を持っています。

KECX06144-E

derivation-ok-restriction.1: Type '{0}' was derived by restriction from type '{1}'. However, '{1}' has a {final} property that forbids derivation by restriction.

型{0}は型{1}から制限によって派生しました。しかし, {1}は, 制限によって派生を禁止する final 属性を持っています。

KECX06145-E

derivation-ok-restriction.2.1.1: Error for type '{0}'. The attribute use '{1}' in this type has a 'use' value of '{2}', which is inconsistent with the value of 'required' in a matching attribute use in the base type.

型{0}のエラーです。この型での属性使用{1}は，{2}の use 値を持っています。それは，基底型での適合する属性使用の required 値と矛盾します。

KECX06146-E

derivation-ok-restriction.2.1.2: Error for type '{0}'. The attribute use '{1}' in this type has type '{2}', which is not validly derived from '{3}', the type of the matching attribute use in the base type.

型{0}のエラーです。この型での属性使用{1}は，型{2}を持っています。それは，基底型での適合する属性使用の型{3}から正当に派生していません。

KECX06147-E

derivation-ok-restriction.2.1.3.a: Error for type '{0}'. The attribute use '{1}' in this type has an effective value constraint which is not fixed, and the effective value constraint of the matching attribute use in the base type is fixed.

型{0}のエラーです。この型での属性使用{1}は，固定でない実効値制約を持っています。基底型での適合する属性使用の実行値制約は固定です。

KECX06148-E

derivation-ok-restriction.2.1.3.b: Error for type '{0}'. The attribute use '{1}' in this type has an effective value constraint fixed with a value of '{2}', which is not consistent with the value of '{3}' for the fixed effective value constraint of the matching attribute use in the base type.

型{0}のエラーです。この型での属性使用{1}は，値{2}の固定実効値制約を持っています。基底型での適合する属性使用の固定実行値制約の値{3}と矛盾します。

KECX06149-E

derivation-ok-restriction.2.2.a: Error for type '{0}'. The attribute use '{1}' in this type does not have a matching attribute use in the base, and the base type does not have a wildcard attribute.

型{0}のエラーです。この型での属性使用{1}は基底の中で適合する属性を使用していません。また，基底型はワイルドカード属性を持っていません。

KECX06150-E

derivation-ok-restriction.2.2.b: Error for type '{0}'. The attribute use '{1}' in this type does not have a matching attribute use in the base, and the wildcard in the base type does not allow the namespace '{2}' of this attribute use.

型{0}のエラーです。この型での属性使用{1}は基底の中で適合する属性を使用していません。また，基底型のワイルドカードはこの属性使用の名前空間{2}を許可しません。

KECX06151-E

derivation-ok-restriction.3: Error for type '{0}'. The attribute use '{1}' in the base type has REQUIRED as true, but there is no matching attribute use in the derived type.

型{0}のエラーです。基底型の属性使用{1}には REQUIRED 指定がありますが，派生した型には一致する属性使用がありません。

KECX06152-E

derivation-ok-restriction.4.1: Error for type '{0}'. The derivation has an attribute wildcard, but the base does not have one.

型{0}のエラーです。派生は属性ワイルドカードを持っていますが，基底は持っていません。

KECX06153-E

derivation-ok-restriction.4.2: Error for type '{0}'. The wildcard in the derivation is not a valid wildcard subset of the one in the base.

型{0}のエラーです。派生内のワイルドカードは基底の妥当なワイルドカードの部分集合ではありません。

KECX06154-E

derivation-ok-restriction.4.3: Error for type '{0}'. The process contents of the wildcard in the derivation ({1}) is weaker than that in the base ({2}).

型{0}のエラーです。派生({1})中のワイルドカードのプロセッサ検証指定は，基底({2})のプロセッサ検証指定より弱い指定です。

KECX06155-E

derivation-ok-restriction.5.2.2.1: Error for type '{0}'. The simple content type of this type, '{1}', is not a valid restriction of the simple content type of the base, '{2}'.

型{0}のエラーです。この型の単純な内容型{1}は，基底の単純な内容型{2}の不正な制限です。

KECX06156-E

derivation-ok-restriction.5.3.2: Error for type '{0}'. The content type of this type is empty, but the content type of the base, '{1}', is not empty or emptiable.

型{0}のエラーです。この型の内容型は空ですが，基底の内容型{1}は空ではありません。

KECX06157-E

derivation-ok-restriction.5.4.1.2: Error for type '{0}'. The content type of this type is mixed, but the content type of the base, '{1}', is not.

型{0}のエラーです。この型の内容型は混合ですが，基底の内容型{1}は違います。

KECX06158-E

derivation-ok-restriction.5.4.2: Error for type '{0}'. The particle of the type is not a valid restriction of the particle of the base.

型{0}のエラーです。型のパーティクルは基底のパーティクルの不正な制限です。

KECX06159-E

enumeration-required-notation: The NOTATION type, '{0}' used by {2} '{1}', must have an enumeration facet value which specifies the notation elements used by this type.

NOTATION 型({2}{1}によって使用される{0})は，この型によって使用される記法要素を指定する enumeration ファセット値を指定しなければいけません。

KECX06160-E

enumeration-valid-restriction: Enumeration value '{0}' is not in the value space of the base type, {1}.

enumeration 値{0}が，基底型{1}の値空間内ではありません。

KECX06161-E

e-props-correct.2: Invalid value constraint value '{1}' in element '{0}'.

要素{0}内の値{1}は値制約として不正です。

KECX06162-E

e-props-correct.4: The {type definition} of element '{0}' is not validly derived from the {type definition} of the substitutionHead '{1}', or the {substitution group exclusions} property of '{1}' does not allowed this derivation.

要素{0}の型定義は，ヘッド要素{1}の型定義から正当に派生しません。または，{1}の代替グループ排除の特性はこの派生を許可しません。

KECX06163-E

e-props-correct.5: A {value constraint} must not be present on element '{0}', because the element's {type definition} or {type definition}s {content type} is ID, or is derived from ID.

要素の{型定義}または{型定義}の{内容型}が ID である，または ID から派生しているので，要素{0}上に{値制約}があってはいけません。

KECX06164-E

e-props-correct.6: Circular substitution group detected for element '{0}'.

要素{0}に無限ループの代替グループが検知されました。

KECX06165-E

fractionDigits-valid-restriction: In the definition of {2}, the value '{0}' for the facet 'fractionDigits' is invalid, because it must be <= the value for 'fractionDigits' which was set to '{1}' in one of the ancestor types.

{2}の定義では，fractionDigits ファセットの値{0}は不正です。祖先の型のうちの一つの中でセットされた fractionDigits の値{1}以下でなければいけません。

KECX06166-E

fractionDigits-totalDigits: In the definition of {2}, the value '{0}' for the facet 'fractionDigits' is invalid, because the value must be <= the value for 'totalDigits' which is '{1}'.

{2}の定義では，fractionDigits ファセットの値{0} は不当です。値は totalDigits の値 {1} 以下でなければいけません。

KECX06167-E

length-minLength-maxLength.a: It is an error to specify both length and either of minLength or maxLength. However, {0} has length = '{1}', minLength = '{2}' and maxLength = '{3}'.

length ファセットは，minLength ファセットまたは maxLength ファセットと同時に指定できません。しかし，{0}は length ファセット{1}, minLength ファセット{2}および maxLength ファセット{3}を持っています。

KECX06168-E

length-minLength-maxLength.b: It is an error to specify both length and either of minLength or maxLength. However, {0} has length = '{1}' and minLength = '{2}'.

length ファセットは，minLength ファセットまたは maxLength ファセットと同時に指定できません。しかし，{0}は length ファセット{1}および minLength ファセット{2}を持っています。

KECX06169-E

length-minLength-maxLength.c: It is an error to specify both length and either of minLength or maxLength. However, {0} has length = '{1}' and maxLength = '{2}'.

length ファセットは，minLength ファセットまたは maxLength ファセットと同時に指定できません。しかし，{0}は length ファセット{1}および maxLength ファセット{2}を持っています。

KECX06170-E

length-valid-restriction: Error for type '{2}'. The value of length = '{0}' must be = the value of that of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。length ファセットの値{0}は基底型{1}の値と同じでなければいけません。

KECX06171-E

maxExclusive-valid-restriction.1: Error for type '{2}'. The maxExclusive value ='{0}' must be <= maxExclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。maxExclusive 値{0}は基底型{1}の maxExclusive 以下でなければいけません。

KECX06172-E

maxExclusive-valid-restriction.2: Error for type '{2}'. The maxExclusive value ='{0}' must be <= maxInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。maxExclusive 値{0}は基底型{1}の maxInclusive 以下でなければいけません。

KECX06173-E

maxExclusive-valid-restriction.3: Error for type '{2}'. The maxExclusive value ='{0}' must be > minInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。maxExclusive 値{0}は基底型{1}の minInclusive より大きくなければいけません。

KECX06174-E

maxExclusive-valid-restriction.4: Error for type '{2}'. The maxExclusive value ='{0}' must be > minExclusive of the base type '{1}'.

maxExclusive 値{0}は基底型{1}の minExclusive より大きくなければいけません。

KECX06175-E

maxInclusive-maxExclusive: It is an error for both maxInclusive and maxExclusive to be specified for the same datatype. In {2}, maxInclusive = '{0}' and maxExclusive = '{1}'.

同一データ型に maxInclusive と maxExclusive を同時に指定できません。{2}には maxInclusive{0}と maxExclusive{1}があります。

KECX06176-E

maxInclusive-valid-restriction.1: Error for type '{2}'. The maxInclusive value ='{0}' must be <= maxInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。maxInclusive 値{0}は，基底型{1}の maxInclusive 以下でなければいけません。

KECX06177-E

maxInclusive-valid-restriction.2: Error for type '{2}'. The maxInclusive value ='{0}' must be < maxExclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。maxInclusive 値{0}は，基底型{1}の maxExclusive より小さくなければいけません。

KECX06178-E

maxInclusive-valid-restriction.3: Error for type '{2}'. The maxInclusive value ='{0}' must be >= minInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。maxInclusive 値{0}は，基底型{1}の minInclusive 以上でなければいけません。

KECX06179-E

maxInclusive-valid-restriction.4: Error for type '{2}'. The maxInclusive value ='{0}' must be > minExclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。maxInclusive 値{0}は，基底型{1}の minExclusive より大きくなければいけません。

KECX06180-E

maxLength-valid-restriction: In the definition of {2}, maxLength value = '{0}' must be <= that of the base type '{1}'.

{2}の定義では，maxLength 値{0}は，基底型{1}の maxLength 値以下でなければいけません。

KECX06181-E

mg-props-correct.2: Circular definitions detected for group '{0}'. Recursively following the {term} values of the particles leads to a particle whose {term} is the group itself.

グループ{0}の参照が無限ループ宣言されています。再帰的にグループ参照が続くことは，その項目がグループ自体であるパーティクルに結び付きます。

KECX06182-E

minExclusive-less-than-equal-to-maxExclusive: In the definition of {2}, minExclusive value = '{0}' must be <= maxExclusive value = '{1}'.

{2}の定義では，minExclusive に{0}が指定されていますが，maxExclusive に指定した値 {1} 以下でないといけません。

KECX06183-E

minExclusive-less-than-maxInclusive: In the definition of {2}, minExclusive value = '{0}' must be < maxInclusive value = '{1}'.

{2}の定義では，minExclusive に{0}が指定されていますが，maxInclusive に指定した値 {1} 未満でないといけません。

KECX06184-E

minExclusive-valid-restriction.1: Error for type '{2}'. The minExclusive value ='{0}' must be >= minExclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minExclusive 値{0}は，基底型{1}の minExclusive 以上でなければいけません。

KECX06185-E

minExclusive-valid-restriction.2: Error for type '{2}'. The minExclusive value ='{0}' must be <= maxInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minExclusive 値{0}は，基底型{1}の maxInclusive 以下でなければいけません。

KECX06186-E

minExclusive-valid-restriction.3: Error for type '{2}'. The minExclusive value ='{0}' must be >= minInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minExclusive 値{0}は，基底型{1}の minInclusive 以上でなければいけません。

KECX06187-E

minExclusive-valid-restriction.4: Error for type '{2}'. The minExclusive value ='{0}' must be < maxExclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minExclusive 値{0}は，基底型{1}の maxExclusive より小さくなければいけません。

KECX06188-E

minInclusive-less-than-equal-to-maxInclusive: In the definition of {2}, minInclusive value = '{0}' must be <= maxInclusive value = '{1}'.

{2}の定義では，minInclusive に{0}が指定されていますが，maxInclusive に指定した値 {1} 以下でないといけません。

KECX06189-E

minInclusive-less-than-maxExclusive: In the definition of {2}, minInclusive value = '{0}' must be < maxExclusive value = '{1}'.

{2}の定義では，minInclusive に{0}が指定されていますが，maxExclusive に指定した値 {1} 未満でないといけません。

KECX06190-E

minInclusive-minExclusive: It is an error for both minInclusive and minExclusive to be specified for the same datatype. In {2}, minInclusive = '{0}' and minExclusive = '{1}'.

同一データ型に minInclusive と minExclusive を同時に指定できません。{2}には minInclusive{0}と minExclusive{1}があります。

KECX06191-E

minInclusive-valid-restriction.1: Error for type '{2}'. The minInclusive value ='{0}' must be >= minInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minInclusive 値{0}は，基底型{1}の minInclusive 以上でなければいけません。

KECX06192-E

minInclusive-valid-restriction.2: Error for type '{2}'. The minInclusive value ='{0}' must be <= maxInclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minInclusive 値{0}は，基底型{1}の maxInclusive 以下でなければいけません。

KECX06193-E

minInclusive-valid-restriction.3: Error for type '{2}'. The minInclusive value ='{0}' must be > minExclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minInclusive 値{0}は，基底型{1}の minExclusive より大きくなければいけません。

KECX06194-E

minInclusive-valid-restriction.4: Error for type '{2}'. The minInclusive value ='{0}' must be < maxExclusive of the base type '{1}'.

型{2}のエラーです。minInclusive 値{0}は，基底型{1}の maxExclusive より小さくなければいけません。

KECX06195-E

minLength-less-than-equal-to-maxLength: In the definition of {2}, value of minLength = '{0}' must be < value of maxLength = '{1}'.

{2}の定義では，minLength に指定した値{0}は，maxLength に指定した値 {1} 未満でないといけません。

KECX06196-E

minLength-valid-restriction: In the definition of {2}, minLength = '{0}' must be >= than that of the base type, '{1}'.

{2}の定義では，minLength 値{0}は，基底型{1}の minLength 値以上でなければいけません。

KECX06197-E

no-xmlns: The '{'name'}' of an attribute declaration must not match ''xmlns''.

属性宣言の name は，xmlns と一致してはいけません。

KECX06198-E

no-xsi: The {target namespace} of an attribute declaration must not match '{0}'.

属性宣言の対象名前空間は，{0}と一致してはいけません。

KECX06199-E

p-props-correct.2.1: In the declaration of '{0}', the value of 'minOccurs' is '{1}', but it must not be greater than the value of 'maxOccurs', which is '{2}'.

{0}の宣言で，minOccurs に指定した{1}は maxOccurs の{2}を超えてはいけません。

KECX06200-E

rcase-MapAndSum.1: There is not a complete functional mapping between the particles.

パーティクル間に，完全で機能的なマッピングはありません。

KECX06201-E

rcase-MapAndSum.2: Group's occurrence range, ({0},{1}), is not a valid restriction of base group's occurrence range, ({2},{3}).

グループの出現範囲({0},{1})は，基底のグループの出現範囲({2},{3})の不正な制限です。

KECX06202-E

rcase-NameAndTypeOK.1: Elements have names and target namespaces which are not the same: Element '{0}' in namespace '{1}' and element '{2}' in namespace '{3}'.

要素が，異なる名前および対象名前空間を持っています。名前空間{1}の要素{0}および名前空間{3}の要素{2}です。

KECX06203-E

rcase-NameAndTypeOK.2: Error for the particle whose {term} is the element declaration '{0}'. The element declaration's {nillable} is true, but the corresponding particle in the base type has an element declaration whose {nillable} is false.

項目が要素宣言{0}のパーティクルエラーです。要素宣言の nillable が true ですが，対応する基底型のパーティクルの要素宣言の nillable は false です。

KECX06204-E

rcase-NameAndTypeOK.3: Error for the particle whose {term} is the element declaration '{0}'. Its occurrence range, ({1},{2}), is not a valid restriction of the range, ({3},{4}), of the corresponding particle in the base type.

項目が要素宣言{0}のパーティクルエラーです。出現範囲({1},{2})は基底の範囲({3},{4})の不正な制限です。

KECX06205-E

rcase-NameAndTypeOK.4.a: Element '{0}' is not fixed, but the corresponding element in the base type is fixed with value '{1}'.

要素{0}は fixed ではありませんが，対応する基底型の要素は値{1}の fixed です。

KECX06206-E

rcase-NameAndTypeOK.4.b: Element '{0}' is fixed with value '{1}', but the corresponding element in the base type is fixed with value '{2}'.

要素{0}は値{1}の fixed ですが，対応する基底型の要素は値{2}の fixed です。

KECX06207-E

rcase-NameAndTypeOK.5: Identity constraints for element '{0}' are not a subset of those in base.

要素{0}のための一意性制約は，基底のサブセットではありません。

KECX06208-E

rcase-NameAndTypeOK.6: The disallowed substitutions for element '{0}' are not a superset of those in the base.

要素{0}は，基底の要素の型から派生していない型を持っています。

KECX06209-E

rcase-NameAndTypeOK.7: The type of element '{0}', '{1}', is not derived from the type of the base element, '{2}'.

要素{0}の型{1}は，基底の要素の型{2}から派生していません。

KECX06210-E

rcase-NSCompat.1: Element '{0}' has a namespace '{1}' which is not allowed by the wildcard in the base.

要素{0}は，基底のワイルドカードで許可されていない名前空間{1}を持っています。

KECX06211-E

rcase-NSCompat.2: Error for the particle whose {term} is the element declaration '{0}'. Its occurrence range, ({1},{2}), is not a valid restriction of the range, ({3},{4}), of the corresponding particle in the base type.

要素宣言{0}の項目のパーティクルエラーです。出現範囲({1},{2})は，基底型の対応するパーティクルの出現範囲({3},{4})の不正な制限です。

KECX06212-E

rcase-NSRecurseCheckCardinality.1: There is not a complete functional mapping between the particles.

パーティクル間に，完全で機能的なマッピングはありません。

KECX06213-E

rcase-NSRecurseCheckCardinality.2: Group's occurrence range, ({0},{1}), is not a valid restriction of base wildcard's range, ({2},{3}).

グループの出現範囲は，基底のワイルドカードの範囲の有効な制限ではありません。

KECX06214-E

rcase-NSSubset.1: Wildcard is not a subset of corresponding wildcard in base.

ワイルドカードは基底の対応するワイルドカードの部分集合ではありません。

KECX06215-E

rcase-NSSubset.2: Wildcard's occurrence range, ({0},{1}), is not a valid restriction of that in the base, ({2},{3}).

ワイルドカードの出現範囲({0},{1})は，基底の出現範囲({2},{3})の不正な制限です。

KECX06216-E

rcase-NSSubset.3: Wildcard's process contents, '{0}', is weaker than that in the base, '{1}'.

ワイルドカードのプロセッサ検証指定{0}は，基底のワイルドカードのプロセッサ検証指定{1}より弱い指定です。

KECX06217-E

rcase-Recurse.1: Group's occurrence range, ({0},{1}), is not a valid restriction of base group's occurrence range, ({2},{3}).

グループの出現範囲({0},{1})は，基底のグループの出現範囲({2},{3})の不正な制限です。

KECX06218-E

rcase-Recurse.2: There is not a complete functional mapping between the particles.

パーティクル間に，完全で機能的なマッピングはありません。

KECX06219-E

rcase-RecurseLax.1: Group's occurrence range, ({0},{1}), is not a valid restriction of base group's occurrence range, ({2},{3}).

グループの出現範囲({0},{1})は，基底のグループの出現範囲({2},{3})の不正な制限です。

KECX06220-E

rcase-RecurseLax.2: There is not a complete functional mapping between the particles.

パーティクル間に完全で機能的なマッピングはありません。

KECX06221-E

rcase-RecurseUnordered.1: Group's occurrence range, ({0},{1}), is not a valid restriction of base group's occurrence range, ({2},{3}).

グループの出現範囲({0},{1})は，基底のグループの出現範囲({2},{3})の不正な制限です。

KECX06222-E

rcase-RecurseUnordered.2: There is not a complete functional mapping between the particles.

パーティクル間に完全で機能的なマッピングはありません。

KECX06223-E

sch-props-correct.2: A schema cannot contain two global components with the same name; this schema contains two occurrences of '{0}'.

スキーマは同一名称のグローバルな構成要素を持てません。{0}が重複指定されています。

KECX06224-E

st-props-correct.2: Circular definitions have been detected for simple type '{0}'. This means that '{0}' is contained in its own type hierarchy, which is an error.

単純型{0}の参照が無限ループ宣言されています。{0}が自分自身の型の階層に含まれているエラーです。

KECX06225-E

st-props-correct.3: Error for type '{0}'. The value of {final} of the {base type definition}, '{1}', forbids derivation by restriction.

型{0}のエラーです。基底型定義{1}の final の値は，制限によって派生を禁止しています。

KECX06226-E

totalDigits-valid-restriction: In the definition of {2}, the value '{0}' for the facet 'totalDigits' is invalid, because it must be <= the value for 'totalDigits' which was set to '{1}' in one of the ancestor types.

{2}の定義では，totalDigits ファセットの値{0}は不正です。祖先の型のうちの一つの中でセットされた totalDigits の値{1}以下でなければいけません。

KECX06227-E

whiteSpace-valid-restriction.1: In the definition of {0}, the value '{1}' for the facet 'whitespace' is invalid, because the value for 'whitespace' has been set to 'collapse' in one of the ancestor types.

{0}の定義では，whiteSpace ファセットの値{1}が不正です。祖先の型のうちの一つの中で collapse がセットされています。

KECX06228-E

whiteSpace-valid-restriction.2: In the definition of {0}, the value 'preserve' for the facet 'whitespace' is invalid, because the value for 'whitespace' has been set to 'replace' in one of the ancestor types.

{0}の定義では，whiteSpace ファセットの値 preserve が不正です。祖先の型のうちの一つの中で replace がセットされています。

KECX06229-E

s4s-att-invalid-value: Invalid attribute value for '{1}' in element '{0}'. Recorded reason: {2}

要素{0}の属性{1}に不正な値が指定されています。記録された理由は{2}です。

KECX06230-E

s4s-att-must-appear: Attribute '{1}' must appear in element '{0}'.

要素{0}には属性 {1}が必要です。

KECX06231-E

s4s-att-not-allowed: Attribute '{1}' cannot appear in element '{0}'.

属性{1}は要素{0}に指定できません。

KECX06232-E

s4s-elt-invalid: Element '{0}' is not a valid element in a schema document.

要素{0}はスキーマ文書に指定できない要素です。

KECX06233-E

s4s-elt-must-match.1: The content of '{0}' must match {1}. A problem was found starting at: {2}.

{0}の内容は，{1}と一致しなければいけません。この問題は{2}から始まります。

KECX06234-E

s4s-elt-must-match.2: The content of '{0}' must match {1}. Not enough elements were found.

{0}の内容は，{1}と一致しなければいけません。十分な要素が見つかりませんでした。

KECX06235-E

s4s-elt-invalid-content.1: The content of '{0}' is invalid. Element '{1}' is invalid, misplaced, or occurs too often.

{0}の内容が不正です。要素{1}は無効，不適切，または重複指定されています。

KECX06236-E

s4s-elt-invalid-content.2: The content of '{0}' is invalid. Element '{1}' cannot be empty.

{0}の内容が不正です。要素{1}は空を指定することはできません。

KECX06237-E

s4s-elt-invalid-content.3: Elements of type '{0}' cannot appear after declarations as children of a <schema> element.

型{0}の要素は schema 要素の子として許されていません。

KECX06238-E

s4s-elt-schema-ns: The namespace of element '{0}' must be from the schema namespace, 'http://www.w3.org/2001/XMLSchema'.

要素{0}の名前空間はスキーマの名前空間'http://www.w3.org/2001/XMLSchema'でなければいけません。

KECX06239-E

s4s-elt-character: Non-whitespace characters are not allowed in schema elements other than 'xs:appinfo' and 'xs:documentation'. Saw '{0}'.

空白以外の文字は，xs:appinfo および xs:documentation 以外にはスキーマ要素として許可されていません。{0}が該当部分です。

KECX06240-E

c-fields-xpaths: The field value = '{0}' is not valid.

field の値{0}が不正です。

KECX06241-E

c-general-xpath: The expression '{0}' is not valid with respect to the XPath subset supported by XML Schema.

式{0}は，XML Schema に支援された XPath 部分集合に関して不正です。

KECX06242-E

c-general-xpath-ns: A namespace prefix in XPath expression '{0}' was not bound to a namespace.

XPath 式{0}での名前空間接頭辞は，名前空間に結び付けられませんでした。

KECX06243-E

c-selector-xpath: The selector value = '{0}' is not valid; selector xpaths cannot contain attributes.

selector の値{0}は不正です。selector の xpath には属性を含むことができません。

KECX06244-W

EmptyTargetNamespace: In schema document '{0}', the value of the 'targetNamespace' attribute cannot be an empty string.

スキーマ文書{0}で，対象名前空間に空文字列は指定できません。

KECX06245-E

FacetValueFromBase: In the declaration of type '{0}', value '{1}' of facet '{2}' must be from the value space of the base type, '{3}'.

型{0}の宣言で，ファセット{2}の値{1}は基底型の値{3}の範囲内でなければいけません。

KECX06246-E

FixedFacetValue: In the definition of {3}, the value '{1}' for the facet '{0}' is invalid, because the value for '{0}' has been set to '{2}' in one of the ancestor types, and {fixed} = true.

{3}の定義では，ファセット{0}の値{1}は不正です。{0}の値は祖先の型の中で{2}がセットされています。また fixed は true です。

KECX06247-E

InvalidRegex: Pattern value '{0}' is not a valid regular expression. The reported error was: '{1}'.

パターン値{0}は有効な正規表現ではありません。報告されたエラーは次のとおりでした。{1}

KECX06248-E

Current configuration of the parser doesn't allow the expansion of a content model for a complex type to contain more than {0} nodes.

パーサの現在の環境設定では，複合型の内容モデルの拡張に{0}ノード以上のノードを含めることはできません。

KECX06249-W

SchemaLocation: schemaLocation value = '{0}' must have even number of URI's.

schemaLocation の値{0}は，偶数個の URI を持たなければいけません。

KECX06250-E

TargetNamespace.1: Expecting namespace '{0}', but the target namespace of the schema document is '{1}'.

期待する名前空間は{0}ですが，スキーマ文書の対象名前空間は{1}です。

KECX06251-E

TargetNamespace.2: Expecting no namespace, but the schema document has a target namespace of '{1}'.

名前空間を期待していませんが，スキーマ文書に対象名前空間{1}があります。

KECX06252-E

UndeclaredEntity: Entity '{0}' is not declared.

Entity{0}は宣言されていません。

KECX06253-E

UndeclaredPrefix: Cannot resolve '{0}' as a QName: the prefix '{1}' is not declared.

QName として{0}を解決できません。接頭辞{1}は宣言されていません。

KECX06254-E

length-minLength-maxLength.d: For type {0}, it is an error for the value of length '{1}' to be less than the value of minLength '{2}'.

型{0}の場合，length{1}の値を minLength {2}の値より小さい値に設定するとエラーになります。

KECX06255-E

length-minLength-maxLength.e: For type {0}, it is an error for the value of length '{1}' to be greater than the value of maxLength '{2}'.

型{0}の場合，length{1}の値を maxLength {2}の値より大きい値に設定するとエラーになります。

KECX06256-E

PublicSystemOnNotation: At least one of 'public' and 'system' must appear in element 'notation'.

notation 要素には，少なくとも一つの public または system がなければいけません。

KECX06301-E

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラーメッセージを，見つけることができません。

KECX06302-E

An internal error occurred while formatting the following message:

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

KECX06303-E

{0} cannot be called with 'null' parameter.

null パラメタの場合，{0}は呼び出せません。

KECX06304-E

{0} called with an unknown field:{1}

未知のフィールドで{0}が呼び出されました：{1}

KECX06305-E

Year = {0}, Month = {1}, Day = {2}, Hour = {3}, Minute = {4}, Second = {5}, fractionalSecond = {6}, Timezone = {7} , is not a valid representation of an XML Gregorian Calendar value.

年 = {0}, 月 = {1}, 日 = {2}, 時 = {3}, 分 = {4}, 秒 = {5}, 小数秒 = {6}, タイムゾーン = {7}は，XML Gregorian Calendar 値の有効な表記ではありません。

KECX06306-E

Year = {0}, Month = {1}, Day = {2}, Hour = {3}, Minute = {4}, Second = {5}, fractionalSecond = {6}, Timezone = {7} , is not a valid representation of an XML Gregorian Calendar value.

年 = {0}, 月 = {1}, 日 = {2}, 時 = {3}, 分 = {4}, 秒 = {5}, 小数秒 = {6}, タイムゾーン = {7}は，XML Gregorian Calendar 値の有効な表記ではありません。

KECX06307-E

Invalid set of fields set for XMLGregorianCalendar

XMLGregorianCalendar に無効なフィールドセットが設定されました。

KECX06308-E

Invalid value {0} for fractional second.

小数秒の値{0}が無効です。

KECX06309-E

{0} is not a valid representation of an XML Gregorian Calendar value.

{0}は，XML Gregorian Calendar 値の有効な表記ではありません。

KECX06310-E

Invalid value {0} for {1} field.

{1}フィールドに無効な値{0}です。

KECX06311-E

{0} field is negative

{0}フィールドは負です。

KECX06312-E

All the fields (javax.xml.datatype.DatatypeConstants.Field) are null.

すべてのフィールド（javax.xml.datatype.DatatypeConstants.Field）が null です。

KECX06313-E

{0} value "{1}" too large to be supported by this implementation

{0}値の{1}はこのインプリメンテーションでは大き過ぎてサポートできません。

KECX06501-E

ImplementationMessages.VAL_BST

内部エラーが発生しました。

KECX06502-E

ImplementationMessages.VAL_UST

内部エラーが発生しました。

KECX06503-E

ImplementationMessages.VAL_NIICM

内部エラーが発生しました。

KECX06504-E

parse may not be called while parsing

parse は構文解析中に呼び出してはいけません。

KECX06507-E

Schema factory class {0} does not extend from SchemaDVFactory.

内部エラーが発生しました。スキーマファクトリクラス{0}は SchemaDVFactory から拡張できません。

KECX06508-E

internal error

内部エラーが発生しました。

KECX06509-E

TargetNamespace.3: In schema document '{0}', the value of the targetNamespace attribute must not be equal to "http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance".

スキーマ文書{0}で，対象名前空間の値は http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance であってはいけません。

11.7　KECX07001 から KECX07999 までのメッセージ

XML Processor が出力する KECX07001 から KECX07999 までのメッセージについて説明します。

KECX07001-E

More than one stylesheet defined in the same file.

複数のスタイルシートが同じファイル内に定義されています。

KECX07002-E

Template '{0}' already defined in this stylesheet.

テンプレート{0}はこのスタイルシート内にすでに定義されています。

KECX07003-E

Template '{0}' not defined in this stylesheet.

テンプレート{0}はこのスタイルシート内に定義されていません。

KECX07004-E

Variable '{0}' is multiply defined in the same scope.

変数{0}は同じ有効範囲内に複数回定義されています。

KECX07005-E

Variable or parameter '{0}' is undefined.

変数またはパラメタ{0}が未定義です。

KECX07006-E

Cannot find class '{0}'.

クラス{0}が見つかりません。

KECX07007-E

Cannot find external method '{0}' (must be public).

外部メソッド{0}が見つかりません(public でなければいけません)。

KECX07008-E

Cannot convert argument/return type in call to method '{0}'

引数/戻り型をメソッド{0}への呼び出しで変換できません。

KECX07009-E

File or URI '{0}' not found.

ファイルまたは URI{0}が見つかりません。

KECX07010-E

Invalid URI '{0}'.

無効な URI{0}です。

KECX07011-E

Cannot open file or URI '{0}'.

ファイルまたは URI{0}をオープンできません。

KECX07012-E

<xsl:stylesheet> or <xsl:transform> element expected.

<xsl:stylesheet>または<xsl:transform>要素が必要です。

KECX07013-E

Namespace prefix '{0}' is undeclared.

名前空間接頭辞{0}が宣言されていません。

KECX07014-W

Unable to resolve call to function '{0}'.

関数{0}への呼び出しを解決できません。

KECX07015-E

Argument to '{0}' must be a literal string.

{0}への引数はリテラル文字列でなければいけません。

KECX07016-E

Error parsing XPath expression '{0}'.

XPath 式{0}を構文解析中にエラーが発生しました。

KECX07017-E

Required attribute '{0}' is missing.

必須属性{0}がありません。

KECX07018-E

Illegal character '{0}' in XPath expression.

XPath 式内の文字{0}が正しくありません。

KECX07019-E

Illegal name '{0}' for processing instruction.

命令の処理のための名前{0}が正しくありません。

KECX07020-W

Attribute '{0}' outside of element.

属性{0}が要素の外側です。

KECX07021-W

Illegal attribute '{0}'.

属性{0}が正しくありません。

KECX07022-E

Circular import/include. Stylesheet '{0}' already loaded.

import/include が相互に呼び出し合っています。スタイルシート{0}はすでにロードされています。

KECX07023-W

Result-tree fragments cannot be sorted (<xsl:sort> elements are ignored). You must sort the nodes when creating the result tree.

結果ツリー・フラグメントをソートできません(<xsl:sort>要素は無視されます)。このノードは結果ツリーの作成時にソートしなければいけません。

KECX07024-W

Decimal formatting '{0}' is already defined.

10 進数フォーマット設定{0}はすでに定義されています。

KECX07025-E

XSL version '{0}' is not supported by XSLTC.

XSL バージョン{0}は XSLTC によってサポートされていません。

KECX07026-E

Circular variable/parameter reference in '{0}'.

{0}内の変数/パラメタの参照が相互に呼び出し合っています。

KECX07027-E

Unknown operator for binary expression.

2 進数表記のための演算子が不明です。

KECX07028-E

Illegal argument(s) for function call.

関数呼び出しの引数(一つ以上)が正しくありません。

KECX07029-E

Second argument to document() function must be a node-set.

document()関数への二つ目の引数はノード集合でなければいけません。

KECX07030-E

At least one <xsl:when> element required in <xsl:choose>.

少なくとも一つの<xsl:when>要素が<xsl:choose>内に必要です。

KECX07031-E

Only one <xsl:otherwise> element allowed in <xsl:choose>.

<xsl:choose>で許可されている<xsl:otherwise>要素は一つだけです。

KECX07032-E

<xsl:otherwise> can only be used within <xsl:choose>.

<xsl:otherwise>を使用できるのは<xsl:choose>内だけです。

KECX07033-E

<xsl:when> can only be used within <xsl:choose>.

<xsl:when>を使用できるのは<xsl:choose>内だけです。

KECX07034-E

Only <xsl:when> and <xsl:otherwise> elements allowed in <xsl:choose>.

<xsl:choose>で許可されているのは<xsl:when>および<xsl:otherwise>要素だけです。

KECX07035-E

<xsl:attribute-set> is missing the 'name' attribute.

<xsl:attribute-set>に name 属性がありません。

KECX07036-E

Illegal child element.

子要素が正しくありません。

KECX07037-W

You cannot call an element '{0}'

要素{0}は呼び出せません。

KECX07038-E

You cannot call an attribute '{0}'

属性{0}は呼び出せません。

KECX07039-E

Text data outside of top-level <xsl:stylesheet> element.

テキストが最上位の<xsl:stylesheet>要素の外側にあります。

KECX07040-E

JAXP parser not configured correctly

JAXP パーサは正しく構成されていません。

KECX07041-E

Unrecoverable XSLTC-internal error: '{0}'

回復できない XSLTC の内部エラーが発生しました。{0}

KECX07042-E

Unsupported XSL element '{0}'.

XSL 要素{0}はサポートされていません。

KECX07043-E

Unrecognised XSLTC extension '{0}'.

XSLTC 拡張{0}は認識されていません。

KECX07044-E

The input document is not a stylesheet (the XSL namespace is not declared in the root element).

入力文書はスタイルシートではありません(XSL 名前空間はルート要素内で宣言されていません)。

KECX07045-E

Could not find stylesheet target '{0}'.

スタイルシート・ターゲット{0}が見つかりませんでした。

KECX07046-E

Not implemented: '{0}'.

{0}がインプリメントされていません。

KECX07047-E

The input document does not contain an XSL stylesheet.

入力文書には XSL スタイルシートが入っていません。

KECX07048-E

Could not parse element '{0}'

要素{0}を構文解析できませんでした。

KECX07049-E

The use attribute of <key> must be node, node-set, string or number.

<key>の use 属性は node，node-set，string，または number でなければいけません。

KECX07050-E

Output XML document version should be 1.0

出力 XML 文書のバージョンは 1.0 である必要があります。

KECX07051-E

Unknown operator for relational expression

関係式の演算子が不明です。

KECX07052-E

Attempting to use non-existing attribute set '{0}'.

存在しない属性集合{0}を使用しようとしています。

KECX07053-E

Cannot parse attribute value template '{0}'.

属性値テンプレート{0}を構文解析できません。

KECX07054-E

Unknown data-type in signature for class '{0}'.

クラス{0}のシグニチャ内のデータ型が不明です。

KECX07055-E

Cannot convert data-type '{0}' to '{1}'.

データ型{0}を{1}に変換できません。

KECX07056-E

This Templates does not contain a valid translet class definition.

このテンプレートには有効なトランスレットクラス定義が入っていません。

KECX07057-E

This Templates does not contain a class with the name '{0}'.

このテンプレートには名前が{0}のクラスは入っていません。

KECX07058-E

Could not load the translet class '{0}'.

トランスレットクラス{0}をロードできませんでした。

KECX07059-E

Translet class loaded, but unable to create translet instance.

トランスレットクラスがロードされましたが，トランスレットインスタンスを作成できません。

KECX07060-E

Attempting to set ErrorListener for '{0}' to null

{0}の ErrorListener を null に設定しようとしています。

KECX07061-E

Only StreamSource, SAXSource and DOMSource are supported by XSLTC

XSLTC がサポートしているのは StreamSource，SAXSource，および DOMSource だけです。

KECX07062-E

Source object passed to '{0}' has no contents.

{0}に渡されたソースオブジェクトにはコンテンツがありません。

KECX07063-E

Could not compile stylesheet

スタイルシートをコンパイルできませんでした。

KECX07064-E

TransformerFactory does not recognise attribute '{0}'.

TransformerFactory は属性{0}を認識しません。

KECX07065-E

setResult() must be called prior to startDocument().

setResult()は startDocument()の前に呼び出されていなければいけません。

KECX07066-E

The Transformer has no encapsulated translet object.

変換プログラムにはカプセル化されたトランスレットオブジェクトがありません。

KECX07067-E

No defined output handler for transformation result.

変換結果の出力ハンドラが定義されていません。

KECX07068-E

Result object passed to '{0}' is invalid.

{0}に渡された Result オブジェクトが無効です。

KECX07069-E

Attempting to access invalid Transformer property '{0}'.

無効な Transformer プロパティ{0}にアクセスしようとしています。

KECX07070-E

Could not create SAX2DOM adapter: '{0}'.

SAX2DOM アダプタ{0}を作成できませんでした。

KECX07071-E

XSLTCSource.build() called without systemId being set.

XSLTCSource.build()が systemId を設定しないで呼び出されています。

KECX07072-E

The value of param {0} must be a valid Java Object

param {0}の値は有効な Java Object でなければいけません。

KECX07073-E

Result should not be null

Result パラメタは null であってはいけません。

KECX07075-E

<xsl:sort> can only be used within <xsl:for-each> or <xsl:apply-templates>.

<xsl:sort>を使用できるのは<xsl:for-each>または<xsl:apply-templates>内だけです。

KECX07076-W

Output encoding '{0}' is not supported on this JVM.

出力エンコード{0}はこの JVM ではサポートされていません。

KECX07077-E

Syntax error in '{0}'.

{0}内に構文エラーがあります。

KECX07078-E

Cannot find external constructor '{0}'.

外部コンストラクタ{0}が見つかりません。

KECX07079-E

The first argument to the non-static Java function '{0}' is not a valid object reference.

非 static Java 関数{0}への先頭引数は有効なオブジェクト参照子でありません。

KECX07080-E

Error checking type of the expression '{0}'.

式{0}の型を検査中にエラーが発生しました。

KECX07081-E

Error checking type of an expression at an unknown location.

不明なロケーションで式の型を検査中にエラーが発生しました。

KECX07082-E

The command-line option '{0}' is not valid.

コマンド行オプション '{0}' が無効です。

KECX07083-E

The command-line option '{0}' is missing a required argument.

コマンド行オプション '{0}' に必須属性がありません。

KECX07084-W

WARNING:'{0}' :'{1}'

警告：{0}，{1}

KECX07085-W

WARNING:'{0}'

警告：{0}

KECX07086-E

FATAL ERROR:'{0}' :'{1}'

致命的エラーが発生しました。{0}，{1}

KECX07087-E

FATAL ERROR:'{0}'

致命的エラーが発生しました。{0}

KECX07088-E

ERROR:'{0}' :'{1}'

エラーが発生しました。{0}，{1}

KECX07089-E

ERROR:'{0}'

エラーが発生しました。{0}

KECX07090-E

Transform using translet '{0}'

トランスレット '{0}' を使用する変換です。

KECX07091-E

Transform using translet '{0}' from jar file '{1}'

JAR ファイル '{1}' からのトランスレット '{0}' を使用する変換です。

KECX07092-E

Could not create an instance of the TransformerFactory class '{0}'.

TransformerFactory クラス{0}のインスタンスを作成できませんでした。

KECX07093-E

Compiler errors:

コンパイラ・エラーが発生しました。

KECX07094-W

Compiler warnings:

コンパイラ警告が発生しました。

KECX07095-E

Translet errors:

トランスレットエラーが発生しました。

KECX07096-E

An attribute whose value must be a QName or whitespace-separated list of QNames had the value '{0}'

属性の値が{0}です。この値は QName，または空白で区切られた QName のリストでなければいけません。

KECX07097-E

An attribute whose value must be an NCName had the value '{0}'

属性の値が{0}です。この値は NCName でなければいけません。

KECX07098-E

The feature name cannot be null in TransformerFactory.getFeature(String name).

TransformerFactory.getFeature(String name)では，フィーチャー名は null にできません。

KECX07099-E

The feature name cannot be null in TransformerFactory.setFeature(String name, boolean value).

TransformerFactory.setFeature(String name, boolean value)では，フィーチャー名は null にできません。

KECX07100-E

Cannot set the feature '{0}' on this TransformerFactory.

この TransformerFactory にはフィーチャー{0}を設定できません。

KECX07101-E

The method attribute of an <xsl:output> element had the value '{0}'. The value must be one of 'xml', 'html', 'text', or qname-but-not-ncname

<xsl:output>要素の method 属性は値{0}を持っていました。指定できる値は'xml','html','text'または qname-but-not-ncname でなければいけません。

KECX07102-E

Internal XSLTC error: the generated byte code contains a try-catch-finally block and cannot be outlined.

XSLTC 内部エラー：生成されたバイトコードは，try-catch-finally ブロックを含んでいるため，アウトライン化できません。

KECX07103-E

Internal XSLTC error: OutlineableChunkStart and OutlineableChunkEnd markers must be balanced and properly nested.

XSLTC 内部エラー：OutlineableChunkStart マーカーと OutlineableChunkEnd マーカーは，対応がとれて，かつ，正しくネストされている必要があります。

KECX07104-E

Internal XSLTC error: an instruction that was part of a block of byte code that was outlined is still referred to in the original method.

XSLTC 内部エラー：アウトライン化されたバイトコードのブロックの一部であった命令は，本来のメソッドの中でまだ参照されています。

KECX07105-E

Internal XSLTC error: a method in the translet exceeds the Java Virtual Machine limitation on the length of a method of 64 kilobytes. This is usually caused by templates in a stylesheet that are very large. Try restructuring your stylesheet to use smaller templates.

XSLTC 内部エラー：トランスレット内のメソッドが，Java 仮想マシンの制限（1 メソッドの長さは最大 64 キロバイト）を超えています。一般的な原因として，スタイルシート内のテンプレートのサイズが大き過ぎることが考えられます。

テンプレートのサイズを小さくして，スタイルシートを再構成してください。

KECX07106-E

When Java security is enabled, support for deserializing TemplatesImpl is disabled.

Java のセキュリティが有効な場合，TemplatesImpl のデシリアライズはサポートしません。

KECX07203-E

Couldn't load the class

クラスをロードできませんでした。

KECX07204-E

Method not found

メソッドが見つかりません。

KECX07205-E

Error: Method is inaccessible

メソッドにアクセスできません。

KECX07206-E

Error: Number of actual and formal argument differ

仮引数と実引数の数が一致しません。

KECX07207-E

Error: underlying constructor throws an exception

基底コンストラクタが例外をスローしました。

KECX07208-E

Constructor not found

コンストラクタが見つかりません。

KECX07209-E

Error: constructor throws an exception

コンストラクタが例外をスローしました。

KECX07210-E

Error: constructor is inaccessible

コンストラクタにアクセスできません。

KECX07211-E

Error: Class that declares the underlying constructor represents an abstract class

基底コンストラクタを宣言するクラスは抽象クラスを表しています。

KECX07212-E

CONSTRUCTOR_NOT_FOUND_ERR　{0}：{1}

CONSTRUCTOR_NOT_FOUND_ERR　クラス名：メソッド名

KECX07213-E

METHOD_NOT_FOUND_ERR {0}：{1}

METHOD_NOT_FOUND_ERR　クラス名：メソッド名

KECX07301-E

Run-time internal error in '{0}'

{0}で実行時内部エラーが発生しました。

KECX07302-E

Run-time error when executing <xsl:copy>.

<xsl:copy>を実行中にエラーが発生しました。

KECX07303-E

Invalid conversion from '{0}' to '{1}'.

{0}から{1}への変換が無効です。

KECX07304-E

External function '{0}' not supported by XSLTC.

外部関数{0}は XSLTC によってサポートされていません。

KECX07305-E

Unknown argument type in equality expression.

等式内の引数の型が不明です。

KECX07306-E

Invalid argument type '{0}' in call to '{1}'

{1}を呼び出し中の引数型{0}が無効です。

KECX07307-E

Attempting to format number '{0}' using pattern '{1}'.

数値{0}をパターン{1}を使用してフォーマット設定しようとしています。

KECX07308-E

Cannot clone iterator '{0}'.

イテレータ{0}を複製できません。

KECX07309-E

Iterator for axis '{0}' not supported.

軸{0}のイテレータはサポートされていません。

KECX07310-E

Iterator for typed axis '{0}' not supported.

型付きの軸{0}のイテレータはサポートされていません。

KECX07311-E

Attribute '{0}' outside of element.

属性{0}が要素の外側です。

KECX07312-E

Namespace declaration '{0}'='{1}' outside of element.

名前空間宣言{0}={1}が要素の外側です。

KECX07313-E

Namespace for prefix '{0}' has not been declared.

接頭辞{0}の名前空間が宣言されていません。

KECX07314-E

DOMAdapter created using wrong type of source DOM.

DOMAdapter が間違った型のソース DOM を使用して作成されました。

KECX07315-E

The SAX parser you are using does not handle DTD declaration events.

使用中の SAX パーサは DTD 宣言イベントを処理しません。

KECX07316-E

The SAX parser you are using does not have support for XML Namespaces.

使用中の SAX パーサには XML 名前空間のサポートがありません。

KECX07317-E

Could not resolve the URI reference '{0}'.

URI 参照{0}を解決できませんでした。

KECX07318-E

Unsupported XSL element '{0}'

XSL 要素{0}はサポートしていません。

KECX07319-E

Unrecognized XSLTC extension '{0}'

XSLTC 拡張{0}は認識されません。

KECX07320-E

The specified translet, '{0}', was created using a version of XSLTC more recent than the version of the XSLTC run-time that is in use. You must recompile the stylesheet or use a more recent version of XSLTC to run this translet.

指定されたトランスレット{0}は，使用されている XSLTC ランタイムのバージョンより最近の XSLTC のバージョンを使用して作成されました。stylesheet を再コンパイルするか, またはこのトランスレットを実行するために XSLTC のより最近のバージョンを使用しなければいけません。

KECX07321-E

An attribute whose value must be a QName had the value '{0}'

QName であるはずの属性が値{0}を持っていました。

KECX07322-E

An attribute whose value must be an NCName had the value '{0}'

NCName であるはずの属性が値{0}を持っていました。

KECX07323-E

Use of the extension function '{0}' is not allowed when the secure processing feature is set to true.

secure processing フィーチャーが true に設定されている場合は，拡張関数{0}の使用は許可されません。

KECX07324-E

Use of the extension element '{0}' is not allowed when the secure processing feature is set to true.

secure processing フィーチャーが true に設定されている場合は，拡張要素{0}の使用は許可されません。

KECX07501-E

Can not absolutize URL: {0}

URL を絶対化できません：{0}

KECX07503-E

com.cosminexus.jaxp.impl.transform.xsltc.trax.SmartTransformerFactoryImpl could not create an com.cosminexus.jaxp.impl.transform.processor.TransformerFactoryImpl.

com.cosminexus.jaxp.impl.transform.xsltc.trax.SmartTransformerFactoryImpl は com.cosminexus.jaxp.impl.transform.processor.TransformerFactoryImpl を作成できませんでした。

KECX07701-E

You must supply a filename with the -stdin option.

ファイル名を-stdin オプションで提供する必要があります。

KECX07702-E

Could not open file {0}

ファイル{0}を開けませんでした。

KECX07703-E

No permission to file {0}

ファイル{0}に対する権限がありません。

KECX07704-E

Missing -stdin option!

-stdin オプションがありません。

KECX07705-E

Error running JavaCUP:

JavaCUP 実行エラー：

KECX07900-E

Source cannot be null

Source パラメタは null にできません。

KECX07901-E

Variable reference is not allowed in either the 'match' or the 'use' attribute of the 'xsl:key' element.

xsl:key 要素の match 属性または use 属性では，変数を参照しないでください。

11.8　KECX09001 から KECX09999 までのメッセージ

XML Processor が出力する KECX09001 から KECX09999 までのメッセージについて説明します。

KECX09501-I

J2EE Server '{0}': schema cache: {1}

J2EE サーバ'{0}'：スキーマキャッシュ機能：{1}

KECX09502-W

Property '{0}' must be set in the user configuration file of J2EE server 'usrconf.properties'.

J2EE サーバのユーザ定義ファイル'usrconf.properties'にプロパティ'{0}'が設定されていません。

KECX09503-W

Property '{1}' must be set in the schema definition file '{0}'.

スキーマ定義ファイル'{0}'にプロパティ'{1}'が設定されていません。

KECX09504-W

Can not access the schema definition file '{0}'.

スキーマ定義ファイル'{0}'にアクセスできません。

KECX09505-W

Can not access the diskcache_path '{1}' specified in the schema definition file '{0}'.

スキーマ定義ファイル'{0}'で指定された diskcache_path '{1}'にアクセスできません。

KECX09506-E

Can not access the internal file for executing the command.

コマンド実行に必要な内部ファイルにアクセスできません。

KECX09507-W

The value of diskcache_path in the schema definition file '{0}' must be absolute path.

スキーマ定義ファイル'{0}'の diskcache_path の値は絶対パスでなければいけません。

KECX09508-W

The value of schema_path in the schema definition file '{0}' must be absolute path.

スキーマ定義ファイル'{0}'の schema_path の値は絶対パスでなければいけません。

KECX09509-W

The value of '{0}' in the schema definition file '{1}' must be relative path.

スキーマ定義ファイル'{1}'の'{0}'の値は相対パスでなければいけません。

KECX09510-E

Invalid server name. '{0}'

不正なサーバ名です。'{0}'

KECX09511-W

Can not write schema grammar corresponding to the XMLSchema document '{0}' to disk cache.

XML スキーマ文書'{0}'に対応するスキーマ grammar をディスクキャッシュに書き込めません。

KECX09512-W

Can not read schema grammar corresponding to the XMLSchema document '{0}' from disk cache.

XML スキーマ文書'{0}'に対応するスキーマ grammar をディスクキャッシュから読み取れません。

KECX09513-E

'{0}' : Invalid parameter.

usage : '{1}'

'{0}'：不正な引数です。

使用方法：'{1}'

KECX09601-E

An error occurred while pre-parsing the document : {0}

事前解析時にエラーが発生しました。{0}

KECX09602-E

XML file cannot be null.

XML ファイルには null 以外を指定してください。

KECX09603-E

Error occurs in Tuning Information : {0}

チューニング情報でエラーが発生しました。{0}

KECX09604-E

Cannot access to file : {0}

ファイル{0}にアクセスできません。

KECX09605-E

I/O Error occurs in temporary directory of fast parse function : {0}

高速パース機能の一時ディレクトリで入出力エラーが発生しました。{0}

KECX09606-E

Illegal value for preparsedobject-load property.

preparsedobject-load プロパティの値が不正です。

KECX09607-E

Error occurs in custom scanner loading : {0}

カスタムスキャナのロードでエラーが発生しました。{0}

KECX09608-E

XML InputStream cannot be null.

XML 入力ストリームには null 以外を指定してください。

11.9　JAXB に関連するメッセージ

XML Processor が出力するメッセージの JAXB に関連するメッセージについて説明します。

Directory "{0}" doesn't exist.

ディレクトリ"{0}"は存在しません。

Unrecognized option {0} is not valid.

{0}は無効なオプションです。

Option "{0}" is missing an operand.

オプション"{0}"にオペランドがありません。

Prefix "{0}" is undeclared

接頭辞"{0}"は宣言されていません。

---

extensionBindingPrefixes attribute must be declared at the root element

extensionBindingPrefixes 属性はルート要素で宣言しなければなりません。

---

vendor extension bindings (jaxb:extensionBindingPrefixes) are not allowed in the strict mode.

ベンダー拡張バインディング（jaxb:extensionBindingPrefixes）は strict mode では実行できません。

Unsupported binding namespace "{0}". Perhaps you meant "{1}"?

バインディング名前空間"{0}"はサポートされていません。修正候補は"{1}"です。

Binding declaration namespace "{0}" will be ignored because it is not designated by the jaxb:extensionBindingPrefixes attribute.

バインディング宣言の名前空間"{0}"は jaxb:extensionBindingPrefixes 属性で指定されていないため，無視されます。

The following location is relevant to the above error

上記のエラーはここで発生しています。

Unable to find type "{0}". Without knowing the proper inheritance hierarchy of this type, XJC may fail to generate some signatures correctly.

型"{0}"が見つかりません。この型の継承階層を正確に認識できないと，XJC で一部のシグニチャが正しく生成されない可能性があります。

Property "{0}" is already defined. Use <jaxb:property> to resolve this conflict.

プロパティ"{0}"はすでに定義されています。<jaxb:property>を使用してこの衝突を解決してください。

Element "{0}" shows up in more than one properties.

要素"{0}"が複数のプロパティで定義されています。

Property name "Class" is reserved by java.lang.Object.

"Class"は java.lang.Object の予約済みプロパティ名です。

"{0}" is not a valid customization.

カスタマイズ"{0}"は無効です。

Using "{1}" customizations requires the "-{0}" switch to enable this plug-in.

カスタマイズ"{1}"を使用するには，このプラグインを有効にする"-{0}"スイッチを指定する必要があります。

A class/interface with the same name "{0}" is already in use. Use a class customization to resolve this conflict.

"{0}"と同名のクラス／インタフェースがすでに使用されています。クラスのカスタマイズを使用して，この衝突を解決してください。

(Relevant to above error) another "{0}" is generated from here.

（上記のエラーに関連）"{0}"と重複するクラス／インタフェースがここから生成されます。

Invalid class name "{0}". Either XJC has failed to derive a class name from XML name, or invalid name is given. Use <jaxb:class> customization to override a name.

"{0}"は無効なクラス名です。XJC で XML 名からのクラス名の派生に失敗したか, または無効なクラス名が指定されています。<jaxb:class>カスタマイズを使用して，クラス名をオーバーライドしてください。

This error is caused because on Windows you cannot have both "{0}.java" and "{1}.java" in the same directory.

このエラーは，Windows 上で"{0}.java"と"{1}.java"を同一のディレクトリに置けないことに起因します。

(Relevant to above error) This confusing error happened most likely because the schema uses a technique called "chameleon schema", which causes a single definition to be loaded multiple times into different namespaces.

（上記のエラーに関連）このエラーが発生したのは，"カメレオンスキーマ"と呼ばれる技法が使われているためと推定されます。カメレオンスキーマを使うと，一つの定義を異なる名前空間に何回もロードできます。

---

the object parameter to marshal() is not marshallable

marshal()に渡されたオブジェクトパラメタはマーシャルできません。

---

unsupported javax.xml.transform.Result parameter

javax.xml.transform.Result パラメタはサポートされていません。

---

unsupported encoding: {0}

エンコード{0}はサポートされていません。

DOM implementation ({0} from {1}) is broken. It does not support the createElementNS method.

DOM 実装（{1}から{0}）が壊れています。createElementNS メソッドはサポートしていません。

Unexpected text "{0}"

テキスト"{0}"が正しくありません。

---

undefined prefix: {0}

接頭辞{0}は定義されていません。

---

reader can not be null

reader には null を指定できません。

---

reader must be on a START_ELEMENT event, not a {0} event

reader を{0}でなく，START_ELEMENT イベントに設定してください。

---

illegal entry: "{0}", entries should be of the form "ClassName" or "OuterClass.InnerClass", not "ClassName.class" or "fully.qualified.ClassName"

"{0}"は不正なエントリです。エントリの形式を"ClassName"または"OuterClass.InnerClass"にしてください。"ClassName.class"または"fully.qualified.ClassName"は不正な形式です。

---

error loading class "{0}" listed in {1}, make sure that entries are accessable on CLASSPATH and of the form "ClassName" or "OuterClass.InnerClass", not "ClassName.class" or "fully.qualified.ClassName"

{1}にリストされているクラス"{0}"のロードに失敗しました。エントリが CLASSPATH でアクセス可能であること，および"ClassName"または"OuterClass.InnerClass"の形式であることを確認してください。"ClassName.class"または"fully.qualified.ClassName"は不正な形式です。

{1} is not a valid value for property "{0}"

{1}はプロパティ"{0}"の値として有効ではありません。

---

property "{0}" is not supported

プロパティ"{0}"はサポートされていません。

"{0}" doesnt contain ObjectFactory.class or jaxb.index

"{0}"内に ObjectFactory.class または jaxb.index がありません。

"{0}" is an inner class, and therefore it can never have a default no-argument constructor. Add static.

"{0}"は内部クラスなので，デフォルトの引数なしコンストラクタを持てません。static を指定してください。

Map contains a wrong type

Map に不正な型が含まれています。

JDK's tools.jar was not found in {0}.

JDK の tools.jar が{0}にありません。

Cannot derive a valid Java identifier from "{0}". Specify a customization to change the name.

"{0}"から有効な Java 識別子を派生できません。カスタマイズを指定して，名前を変更してください。

Type-safe enum has more than one values that share the same name "{0}". Use a typesafeEnumMemberName customization to resolve this conflict.

タイプセーフ列挙型に，同じ名前"{0}"を持つ値が複数存在します。typesafeEnumMemberName カスタマイズを使用して，この衝突を解決してください。

Illegal constructor parameter {0}

コンストラクタのパラメタ{0}が不正です。

Two declarations cause a collision in the ObjectFactory class.

ObjectFactory クラスで，二つの宣言による衝突が発生しています。

(Related to above error) This is the other declaration.

（上記のエラーに関連）衝突している宣言の一つがこれです。

Unable to parse "{0}" : {1}

"{0}"をパースできません。{1}

"{0}" is not a part of this compilation. Is this a mistake for "{1}"?

このコンパイルに"{0}"は含まれていません。修正候補は"{1}"です。

XPath error: {0}

XPath のエラーです。{0}

XPath evaluation of "{0}" results in empty target node

"{0}"の XPath 評価の結果として返される対象ノードが空です。

XPath evaluation of "{0}" results in too many ({1}) target nodes

"{0}"の XPath 評価の結果として返される対象ノードの数（{1}）が多過ぎます。

XPath evaluation of "{0}" needs to result in an element.

"{0}"の XPath 評価の結果として返すのは要素でなければなりません。

XPath evaluation of "{0}" needs to result in an element of the schema language, but it results in {1}

"{0}"の XPath 評価の結果には，スキーマ言語の要素が返されなければなりませんが，{1}になっています。

Context node is not an element.

コンテキストノードは要素ではありません。

The "{0}" customization is not associated with any schema element.

"{0}"カスタマイズは，スキーマ要素と関連づけられていません。

A value of JAXB version attribute is wrong.

JAXB バージョン属性の値が正しくありません。

JAXB version attribute must be present

JAXB バージョン属性が存在しません。

Both jaxb:version and version are present

jaxb:version 属性および version 属性の両方が存在します。

We were unable to ensure the correctness of the schema: {0}

スキーマ{0}の妥当性を確認できませんでした。

Schema component designator support is disabled by default.

スキーマコンポーネント指定子（SCD）のサポートは，デフォルトで無効になっています。

Invalid SCD: {0}

無効な SCD です。{0}

SCD "{0}" didn't match any schema component

SCD"{0}"に一致するスキーマコンポーネントが存在しません。

File name is not an URI.

ファイル名は URI ではありません。

IOException thrown when processing "{0}". Exception: {1}.

"{0}"を処理しているとき IOException が投げられました。

An xmime:expectedContentTypes attribute is present on an incorrect element

xmime:expectedContentTypes 属性を設定している要素が正しくありません。

Multiple <schemaBindings> are defined for the target namespace "{0}"

対象名前空間"{0}"に定義されている<schemaBindings>が複数存在します。

Another <schemaBindings> is defined here

別の<schemaBindings>がここで定義されています。

Cannot derive a name from schema. A name attribute specified to the <class> customization.

スキーマから名前を派生できません。<class>カスタマイズに name 属性が指定されています。

Specified name "{0}" is not a valid Java identifier.

指定された名前"{0}"は妥当な Java 識別子ではありません。

The package name "{1}" used for this schema is not a valid package name.

このスキーマに使われているパッケージ名"{1}"が無効です。

Attempt to create a class having the same name as the reserved word "{0}".

予約語"{0}"と同名のクラスを作成しようとしています。

The field name "{0}" is used by two different parts of a schema. See:

{1}

{2}

フィールド名"{0}"が同一のスキーマ内の 2 か所で使用されています。次を参照してください。

{1}

{2}

A type safe enum customization is specified to a simple type that cannot be mapped to a type safe enum.

タイプセーフ列挙型にマッピングできない単純型に対して, タイプセーフ列挙型のカスタマイズが指定されています。

The relevant simple type declaration is specified at this location

この単純型の宣言は，ここで指定されています。

A name attribute is required to customize an anonymous simple type to type-safe enum.

匿名の単純型をタイプセーフ列挙型にカスタマイズするには，name 属性を指定する必要があります。

---

enum class customization is specified on a type that has no enumeration facet.

enum クラス・カスタマイズは，列挙ファセットを持たない型で指定されます。

Unable to parse the expected MIME type "{0}". {1}.

必要な MIME 型"{0}"。{1}をパースできません。

Unable to generate a property name from a model group. A customization is required.

モデルグループからプロパティ名を生成できません。カスタマイズが必要です。

<javaType> customization in this context must be nested (JAXB spec sec 7.9.1):

<property>

<baseType>

<javaType ...>

</baseType>

</property>

このコンテキスト内での javaType 要素のカスタマイズは，ネスト化しなければなりません。(JAXB 仕様　セクション 7.9.1)：

<property>

<baseType>

<javaType ...>

</baseType>

</property>

---

compiler was unable to honor this {0} customization. It is attached to a wrong place, or its inconsistent with other bindings.

このカスタマイズ{0}はコンパイラで処理できませんでした。カスタマイズが誤った場所に設定されているか，ほかのバインディングと矛盾しています。

Two enum members yield the same constant name {0}

同一の定数名{0}を生成する列挙型メンバが二つあります。

Simple type "{0}" was not mapped to Enum due to EnumMemberSizeCap limit. Facets count: {1}, current limit: {2}. You can use customization attribute "typesafeEnumMaxMembers" to extend the limit.

EnumMemberSizeCap 制限があるため，単純型"{0}"は列挙型にマッピングされませんでした。ファセット数：{1}，現在の制限：{2}。制限を拡張するために，カスタム化属性"typesafeEnumMaxMembers"が使えます。

Cannot generate a constant name from the enumeration value "{0}". Use <jaxb:typesafeEnumMember name="..."/> to specify one.

列挙値"{0}"から定数名を生成できません。<jaxb:typesafeEnumMember name="..."/>を使用して指定してください。

---

only one globalBindings customization is allowed in a whole compilation

コンパイル全体で実行できる globalBindings カスタマイズは一つだけです。

{0} is in a referenced schema and do not have the corresponding Java class specified by <jaxb:class ref="..."/> customization. Therefore it cannot be referenced from outside.

{0}は参照先のスキーマ内にありますが，<jaxb:class ref="..."/>カスタマイズで指定される，対応する Java クラスを持っていません。そのため，外部から参照できない状態になっています。

Cannot generate default value for primitive type "{0}".

プリミティブ型"{0}"のデフォルト値が生成できません。

---

the object parameter to marshal() is not marshallable

marshal()に渡されるオブジェクトパラメタがマーシャルできません。

---

unsupported javax.xml.transform.Result parameter

javax.xml.transform.Result パラメタはサポートされていません。

Object "{0}" is found in an IDREF property but this object doesnt have an ID.

オブジェクト"{0}"が IDREF プロパティにありますが，このオブジェクトには ID が割り当てられていません。

This feature is not available

このフィーチャーは使用できません。

"{1}" property of a "{0}" object contains an object of type "{2}" but this is not allowed. See javadoc of this property for what this property can accept.

オブジェクト"{0}"のプロパティ"{1}"に"{2}"型のオブジェクトが含まれていますが，これは使用できません。javadoc を参照して，該当のプロパティに対応可能な型を確認してください。

---

a required field "{0}" is missing an object

必要なフィールド"{0}"にオブジェクトが欠落しています。

An object is referenced as IDREF but its ID field is null

IDREF として参照されているオブジェクトの ID フィールドが null 値になっています。

A tree contains a reference to ID "{0}" but its not a part of the object graph

ID"{0}"への参照がツリー内にありますが，オブジェクトグラフには含まれていません。

---

schema output resolver must not be null

スキーマの出力リゾルバには null 値を指定できません。

---

unable to marshal type "{0}" as an element because it is missing an @XmlRootElement annotation

型"{0}"は@XmlRootElement アノテーションが与えられていないため, 要素としてマーシャルできません。

---

unable to marshal type "{0}" as an element because it is not known to this context.

型"{0}"はこのコンテキストに未登録のため，要素としてマーシャルできません。

"{0}" is not a supported property

プロパティ"{0}"はサポートされていません。

---

property name parameter can not be null

プロパティ名のパラメタには null 値を指定できません。

---

property "{0}" must be an instance of type {1}, not {2}

プロパティ"{0}"は，{2}ではなく{1}型のインスタンスにしなければなりません。

Instance of "{1}" is substituting "{0}", but "{2}" is bound to an anonymous type.

"{1}"型のインスタンスは"{0}"の代替になりますが，"{2}"は匿名型にバインドされています。

A cycle is detected in the object graph. This will cause infinitely deep XML: {0}

オブジェクトグラフで循環が検出されました。このため，XML の階層が非常に深くなります。{0}

Unable to list methods of "{0}". If there is any event callback handler on this class, it will be ignored.

"{0}"のメソッドをリスト表示できません。このクラスにイベントコールバックハンドラが設定されていても，無視されます。

A DOM document "{0}" is found but an element is needed. Use Document.getDocumentElement() and set that object instead.

DOM ドキュメント"{0}"に要素を割り当てる必要があります。Document.getDocumentElement()を使用して，オブジェクトを設定してください。

{0} nor any of its super class is known to this context.

このコンテキストには，{0}およびそのスーパークラスもすべて未登録です。

Failed to generate schema.

スキーマの生成に失敗しました。

Anonymous types form an infinite cycle: {0}

匿名型が無限循環を形成しています。{0}

---

undefined simple type "{0}"

単純型"{0}"が未定義です。

---

undefined complex type "{0}"

複合型"{0}"が未定義です。

---

undefined simple or complex type "{0}"

単純型または複合型の"{0}"が未定義です。

---

undefined element declaration "{0}"

要素宣言"{0}"が未定義です。

---

undefined model group "{0}"

モデルグループ"{0}"が未定義です。

---

undefined attribute "{0}"

属性"{0}"が未定義です。

---

undefined attribute group "{0}"

属性グループ"{0}"が未定義です。

---

undefined identity constraint "{0}"

一意性制約"{0}"が未定義です。

---

unbounded prefix "{0}"

接頭辞"{0}"はバインドされていません。

---

the target namespace of the included schema "{0}" doesn't agree with the expected value "{1}"

インクルードされたスキーマ"{0}"の対象名前空間が，想定される値"{1}"と一致しません。

---

the target namespace of the imported schema "{0}" doesn't agree with the expected value "{1}"

インポートされたスキーマ"{0}"の対象名前空間が，想定される値"{1}"と一致しません。

"{0}" is already defined

"{0}"は定義済みです。

---

a "schemaLocation" attribute is required

"schemaLocation"属性が必要です。

---

failed to retrieve "{0}": {1}

"{0}"の取得に失敗しました。{1}

A complex type with a simple content or a simple type is expected but found "{0}":{1}

単純内容を持つ複合型か単純型が必要ですが"{0}"が使用されています。{1}

---

fixedAttributeAsConstantProperty is allowed only with attributes with a fixed value constraint.

fixedAttributeAsConstantProperty は，固定値制約が与えられた属性にしか使用できません。

---

undefined simple type "{0}".

単純型"{0}"は未定義です。

Simple type "{0}" is not allowed by the spec to be bound to a type-safe enum.

単純型"{0}"は仕様によって，タイプセーフ列挙型にはバインドできません。

Base complex type "{0}" is derived by restriction, while this complex type "{1}" is derived by extension. This is not currently handled by XJC.

基底複合型"{0}"は restriction によって派生されますが，この複合型"{1}"は extension によって派生されます。これは現在のところ，XJC では処理できません。

Specified {0} customization is not used.

指定された{0}カスタマイズが使用されていません。

Unable to check the correctness of the schema due to OutOfMemoryError. This typically happens when your schema contains constructs like maxOccurs="999".

OutOfMemoryError のために，スキーマの妥当性を確認できませんでした。このエラーは通常，スキーマ内に maxOccurs="999"のようなコンストラクタがある場合に発生します。

No JAXB customization was detected in the schema but the prefix "jaxb" is used for other namespace URIs. If you did intend to use JAXB customization, make sure the namespace URI is "{0}"

このスキーマ内で JAXB カスタマイズは検出されませんでしたが，ほかの名前空間 URI には接頭辞 "jaxb"が使用されています。JAXB カスタマイズを使用する場合は，名前空間 URI を"{0}"にしてください。

Annotation "{0}" is present on both "{1}" and "{2}"

アノテーション"{0}"が"{1}"および"{2}"の両方に与えられています。

Property "{0}" has an XmlID annotation but its type is not String.

プロパティ"{0}"は XmlID アノテーション付きですが，String 型ではありません。

{0} has mutually exclusive annotations @{1} and @{2}

同時に指定できないアノテーションの@{1}と@{2}が{0}に与えられています。

@{0} annotation is found on two places; one would be suffice.

@{0}アノテーションが 2 か所で見つかりました。1 か所しか指定できません。

{0} does not have a no-arg default constructor.

{0}には引数なしデフォルトコンストラクタが欠落しています。

{0} is an interface, and JAXB can't handle interfaces.

{0}はインタフェースです。JAXB はインタフェースを処理できません。

{0} is a non-static inner class, and JAXB can't handle those.

{0}は static でない内部クラスです。JAXB はこれを処理できません。

JAXB annotation is placed on a method that is not a JAXB property

JAXB プロパティを持たないメソッドに，JAXB アノテーションが与えられています。

The type of the getter is {0} but that of the setter is {1}. They have to be the same.

getter メソッドは{0}型ですが，setter メソッドは{1}型になっています。どちらかに統一してください。

Property "{0}" appears more than once in the @XmlType.propOrder

プロパティ"{0}"が@XmlType.propOrder 内に複数存在します。

There are two properties named "{0}"

名前"{0}"が同じプロパティが二つ存在します。

The {0} method has @XmlElementMapping on it, but it doesn't return a sub-type of JAXBElement.

{0}メソッドは，@XmlElementMapping が設定されていますが，JAXBElement のサブタイプを返しません。

{0} is not bound to a complex type, and therefore illegal as the scope.

{0}は複合型にバインドされていないため，有効範囲が正しくありません。

The element name '{'{0}'}'{1} has more than one mapping.

要素名'{'{0}'}'{1}へのマッピングが複数存在します。

No element mapping exists for "{0}":"{1}"

"{0}"の要素マッピングが存在しません。"{1}"

{0} has two properties with the @XmlAnyAttribute annotation.

{0}には@XmlAnyAttribute アノテーション付きのプロパティが二つあります。

Can't have @XmlAnyAttribute when a base class has it already.

@XmlAnyAttribute がすでに基底クラスに与えられている場合は設定できません。

@XmlAnyAttribute is placed on a property whose type is {0} but it needs to be assignable to java.util.Map.

@XmlAnyAttribute が{0}型のプロパティに与えられていますが，これは java.util.Map に割り当てられるようにする必要があります。

Property {0} is present but not specified in @XmlType.propOrder

プロパティ{0}が存在しますが，@XmlType.propOrder で指定されていません。

Property {0} appears in @XmlType.propOrder, but no such property exists. Maybe you meant {1}?

プロパティ{0}が@XmlType.propOrder 内で指定されていますが，そのようなプロパティは存在しません。

修正候補：{1}

"{0}" is not a valid value for {1}.

{1}の値"{0}"は無効です。

Failed to initialize JAXP 1.3 DatatypeFactory class.

JAXP1.3 の DatatypeFactory クラスの初期化に失敗しました。

No javax.imageio.ImageWriter is available for the specified MIME type "{0}"

指定した MIME 型"{0}"で使用可能な javax.imageio.ImageWriter がありません。

"{0}" is not a valid MIME type: {1}

"{0}"は無効な MIME 型です。{1}

{0} annotation cannot be placed here

ここには{0}アノテーションを与えられません。

@XmlValue is only allowed one per class, but two properties are annotated with @XmlValue.

@XmlValue アノテーションはクラスに一つしか使用できませんが, @XmlValue 付きのプロパティが二つ存在します。

@XmlValue is not allowed on a class that derives another class.

@XmlValue は，ほかのクラスから派生したクラスでは使用できません。

If a class has @XmlElement property, it cannot have @XmlValue property.

@XmlElement 付きプロパティを持つクラスは， @XmlValue 付きプロパティを持てません。

Two classes have the same XML type name "{0}". Use @XmlType.name and @XmlType.namespace to assign different names to them.

XML 型名"{0}"が同じクラスが二つ存在します。@XmlType.name および@XmlType.namespace を使用して，それぞれに異なる名前を割り当ててください。

@XmlAttribute/@XmlValue need to reference a Java type that maps to text in XML.

@XmlAttribute/@XmlValue は，XML 内のテキストにマップしている Java 型を参照する必要があります。

Class has two properties of the same name "{0}"

クラス内に名前が同じプロパティ"{0}"が二つあります。

XmlIDREF property is referencing a type "{0}" that doesn't have an XmlID property.

XmlIDREF プロパティが，XmlID プロパティを持たない型"{0}"を参照しています。

Invalid @XmlElementRef : Type "{0}" or any of it's subclasses are not known to this context.

無効な XmlElementRef：このコンテキストには，型{0}および型{0}のサブクラスが登録されていません。

There's no ObjectFactory with an @XmlElementDecl for the element '{'{0}'}'{1}.

要素'{'{0}'}'{1}には@XmlElementDecl 付きの ObjectFactory が存在しません。

@XmlElementWrapper is only allowed on a collection property but "{0}" is not a collection property.

@XmlElementWrapper はコレクションプロパティにしか使用できませんが，"{0}"はコレクションプロパティではありません。

{0} annotation is not allowed on this kind of property.

この種のプロパティには{0}アノテーションは使用できません。

{0} maps to a structured XML fragment (AKA complex type), and therefore incompatible with @XmlList.

{0}は構造化された XML フラグメント（別名 複合型）にマップされているため，@XmlList には適合しません。

@XmlList cannot be placed on a single-value property

@XmlList は単一値を持つプロパティに与えられません。

Factory class "{0}" does not have static zero args factory method "{1}".

ファクトリクラス"{0}"には，引数なしの static ファクトリメソッド"{1}"がありません。

XmlType has not defined a factory method for Factory class "{0}".

ファクトリクラス"{0}"のファクトリメソッドが，XmlType で定義されていません。

Package "{0}" is missing jaxb.properties file. Have you copied this from the generated source directory or include it in the classpath?

パッケージ"{0}"に jaxb.properties ファイルがありません。jaxb.properties ファイルを生成されたソースディレクトリからコピーするか，クラスパスにインクルードしてください。

Transient field "{0}" cannot have any JAXB annotations.

transient フィールド"{0}"には JAXB アノテーションを与えられません。

Object must have some value in its @XmlValue field: {0}

オブジェクトはその@XmlValue 付きのフィールドに，何らかの値を持たなければなりません。{0}

You are trying to run JAXB 2.0 runtime (from {1}) but you have old JAXB 1.0 runtime earlier in the classpath (at {0}) Please remove the JAXB 1.0 runtime for 2.0 runtime to work correctly.

JAXB 2.0 ランタイムを（{1}から）実行しようとしていますが，クラスパスの前の方（の{0}）に旧バージョンの JAXB 1.0 ランタイムがあります。2.0 ランタイムを正しく機能させるために，JAXB 1.0 ランタイムを削除してください。

Adapter {0} is not applicable to the field type {1}.

アダプタ{0}はフィールド型{1}には適用できません。

Unable to create instance of AccessorFactory, {0} for class {1}.

クラス{1}の AccessorFactory インスタンス{0}を作成できません。

Unable to access instance of AccessorFactory, {0} for class {1}.

クラス{1}の AccessorFactory インスタンス{0}にアクセスできません。

Custom AccessorFactory, {0}, is reporting an error accessing a property. {1}

Custom AccessorFactory{0}より，プロパティ{1}へのアクセス時にエラーが報告されています。

Custom AccessorFactory, {0}, is reporting an error accessing a field. {1}

Custom AccessorFactory{0}より，フィールド{1}へのアクセス時にエラーが報告されています。

{0} is used as an array component type, so it cannot be anonymous.

{0}は配列要素型として使用されているため，匿名型にはできません。

Invalid set of fields set for XMLGregorianCalendar type {0}.

無効なフィールド集合が XMLGregorianCalendar 型{0}に設定されています。

Unable to make {0}.{1} accessible.

{0}.{1}をアクセス可能な状態にできません。

The type of the field is {0}, but the type of the object is {1}

フィールドの型は{0}ですが，オブジェクトの型が{1}になっています。

The property has a getter "{0}" but no setter. For unmarshalling, please define setters. (Or if this is a collection property, make sure that the getter returns a collection instance.)

このプロパティには getter "{0}"はありますが，setter がありません。アンマーシャルするには，setter を定義する必要があります（コレクションプロパティの場合，getter がコレクションインスタンスを返すことを確認してください）。

The property has a setter "{0}" but no getter. For marshaller, please define getters.

このプロパティには setter"{0}"はありますが，getter がありません。マーシャルするには，getter を定義する必要があります。

{0} is not a valid Qname

{0}は無効な Qname です。

---

unrecognized type name: {0}

型名{0}を認識できません。

---

unrecognized type name: {0}. Did you mean {1}?

型名{0}を認識できません。修正候補は{1}です。

Undefined ID "{0}".

ID"{0}"は未定義です。

---

unexpected element (uri:"{0}", local:"{1}"). Expected elements are {2}

想定外の要素（uri："{0}"，ローカル名："{1}"）です。必要な要素は{2}です。

---

unexpected text "{0}"

"{0}"は想定外のテキストです。

The type of the field is {0}, but JAXB doesnt know how to create an instance assignable to it. Create an instance in the constructor, or use a type that can be assignable from HashMap.

このフィールドの型は{0}ですが，これに割り当て可能なインスタンスの作成方法が不明です。コンストラクタでインスタンスを作成するか，または HashMap から割り当て可能な型を使用してください。

Namespace URIs and local names to the unmarshaller needs to be interned.

Unmarshaller に渡す名前空間 URI およびローカル名は intern 関数で登録する必要があります。

---

java content interface Class object must not be null

Java の内容インタフェースクラスオブジェクトが null であってはいけません。

---

unable to locate "{0}". Check if this file is in the classpath.

"{0}"を見つけられません。このファイルがクラスパスに存在するか確認してください。

---

unable to extract the schema information

スキーマ情報を得ることができません。

---

root element collision detected for '{'{0}'}'{1} - unable to create JAXBContext with the given contextPath

{'{0}'}'{1}のために root 要素の衝突が検出されました。与えられた contextPath で JAXBContext を作成できません。

---

neither map contained contentInterface: {0}

どちらのマップも contentInterface を含んでいません。{0}

---

a required field "{0}" is missing an object

必須のフィールド"{0}"がオブジェクトにありません。

Element "'{'{0}'}'{1}" is not allowed by the wildcard

要素"'{'{0}'}'{1}"はワイルドカードとして許されません。

---

another object has the ID value of "{0}"

ほかのオブジェクトが ID 値"{0}"を持っています。

---

the object pointed by IDREF is not a part of the content tree

IDREF によって示されるオブジェクトは内容ツリーの一部ではありません。

---

a required object is missing

必須のオブジェクトがありません。

---

the object parameter to validate() or validateRoot() is not validatable

validate()または validateRoot()の引数が検証対象ではありません。

---

the content tree forms a cycle

内容ツリーが循環しています。

{0} parameter must not be null

{0}パラメータは，null であってはいけません。

---

derivation from type "{0}" by list is prohibited.

{0}型をリストで導出することはできません。

---

derivation from type "{0}" by union is prohibited.

{0}型をユニオンで導出することはできません。

---

derivation from type "{0}" by restriction is prohibited.

{0}型を制約ファセットで導出することはできません。

---

facet "{0}" must be an integer greater than or equal to 0

{0}ファセットには 0 以上の数字が必要です。

---

facet "{0}" must be an integer greater than zero

{0}ファセットには 1 以上の数字が必要です。

---

facet "{0}" is specified as fixed in the base type.

{0}ファセットは基底型で fixed が指定されているのでこれ以上指定できません。

---

union type is derived with no member type

ユニオン型の定義にはメンバ型が必要です。

---

specified pattern is invalid: {0}

指定された正規表現は無効です。{0}

---

values of the {0} facet and the {1} facet are inconsistent

{0}ファセットと{1}ファセットの値が互いに矛盾しています。

---

values of the {0} facet is inconsistent with the {2} facet of "{1}" type, which is used as the base type.

{0}ファセットの値は，基底型{1}で指定されている{2}の値と矛盾しています。

The facets {0} and {1} are mutually exclusive

{0}ファセットと{1}ファセットを同時に指定することはできません。

---

the value of the {0} facet is looser than the same facet on the "{1}" type.

{0}ファセットの値が基底型{1}で指定された値より緩くなっています。

---

the specified value "{0}" is not a/an {1}

"{0}"は{1}ファセットの有効な値ではありません。

"{0}" is not a valid whiteSpace facet value: it must be preserve, replace, or collapse

"{0}"は whiteSpace ファセットの値としては無効です。preserve,replace,collapse のどれかを指定してください。

---

facet {0} is specified more than once

{0}ファセットは複数回指定することはできません。

---

facet {0} is not applicable to this datatype

この型には{0}ファセットは使えません。

"{0}" does not satisfy the "{1}" type

{0}は，{1}型の値ではありません。

---

the value has {0} digits, where precision must be within {1}.

{0}けたの数字がありますが，{1}けた以内でなくてはなりません。

---

the value has {0} fractional digits, where scale must be within {1}.

小数点以下が{0}けたありますが，{1}けた以内でなくてはなりません。

---

the value is not a member of the enumeration.

値は列挙された値のどれでもありません。

---

the value is not a member of the enumeration: {0}

値は次のどれかでなくてはいけません。{0}

---

the value is out of the range ({0} specifies {1}).

値が制限された範囲を超えています（{0}ファセットは{1}です）。

---

the length of the value is {0}, but the required length is {1}.

値は長さ{0}ですが，長さ{1}でなくてはなりません。

---

the length of the value is {0}, but the required minimum is {1}.

値は長さ{0}ですが，長さは{1}以上でなくてはなりません。

---

the length of the value is {0}, but the required maximum is {1}.

値は長さ{0}ですが，長さは{1}以下でなくてはなりません。

---

the value does not match the regular expression "{0}".

値は指定された正規表現"{0}"にあてはまりません。

---

the value does not match any of the regular expressions.

値は指定された正規表現にあてはまりません。

---

element "{0}" is not allowed here

"{0}"要素はここには書けません。

---

character data not allowed: {0}

キャラクタデータは許されません。{0}

"{1}" attribute is not allowed for "{0}" element.

"{0}"要素に"{1}"属性を指定することはできません。

"{1}" attribute is required for "{0}" element, but is not specified

"{0}"要素には"{1}"属性が必要ですが，指定されていません。

"{1}" or "{2}" attribute is required for "{0}" element, but none is specified

"{0}"要素には"{1}"属性か"{2}"属性が必要ですが，指定されていません。

"{1}" is invalid value for "{0}" attribute

"{1}"は"{0}"属性に指定できる値ではありません。

"{0}" and "{1}" are mutually exclusive, so cannot be specified at the same time.

"{0}"属性と"{1}"属性は背反なので，同時に指定できません。

---

more than one child type is specified

複数の子供が指定されています。

---

no child type is specified

子供の指定がありません。

---

unrecognized value "{0}" in final attribute.

"{0}"は無効な final 属性の値です。

---

recursive inclusion is detected ({0})

再帰的なインクルードが見つかりました（{0}）。

URL "{0}" contains a fragment identifier.

URL"{0}"にはフラグメント識別子が含まれています。

---

data type "{0}" is not defined

データ型"{0}"は定義されていません。

---

data type "{0}" is already defined

データ型"{0}"はすでに定義されています。

---

perhaps namespace URI "{0}" is incorrect?

恐らく namespace URI"{0}"が間違っています。

Datatype "{0}" is obsolete name. Please use "{1}" instead.

"{0}"は古い名前です。"{1}"を代わりに使ってください。

Recursive datatype definition.

データ型が循環して定義されています。

---

child model group is missing

子コンテントモデルがありません。

---

more than one model group is specified whereas only one is allowed

複数のコンテントモデルが指定されています。

---

the following model groups form a infinite recursion ({0})

モデルグループ定義が循環参照を起こしています（{0}）。

---

this can't be used because XML Schema does not have notion of the root element

XML Schema はルート要素の概念を持たないため，これは使われることはありません。

---

maxOccurs attribute is required when minOccurs is more than 1

minOccurs 属性が 1 より大きいので maxOccurs 属性が必要です。

Unimplemented feature: "{0}"

未サポートの機能です。"{0}"

---

namespace prefix "{0}" is not declared

namespace prefix"{0}"は宣言されていません。

---

schema's target namespace is "{0}", although "{1}" is expected

スキーマの target namespace として"{0}"が指定されていますが，呼び出し側は"{1}"を期待しています。

---

importing a schema of the same namespace

同じ名前空間に属するスキーマを import しています。

---

namespace "{0}" is already defined by a schema

名前空間"{0}"はすでに別のスキーマによって定義されています。

---

type "{0}" is not a simple type nor a complex type

simple type にも complex type にも型"{0}"が見つかりません。

---

reference to the undefined attribute declaration: "{0}"

定義されていない属性宣言"{0}"を参照しています。

---

reference to the undefined attribute group: "{0}"

定義されていない属性グループ"{0}"を参照しています。

---

reference to the undefined complex type: "{0}"

定義されていない complex type"{0}"を参照しています。

---

reference to the undefined simple type: "{0}"

定義されていない simple type"{0}"を参照しています。

---

reference to the undefined element declaration: "{0}"

定義されていない要素宣言"{0}"を参照しています。

---

reference to the undefined group: "{0}"

定義されていないグループ"{0}"を参照しています。

---

reference to the undefined simple or complex type: "{0}"

定義されていない complex type もしくは simple type"{0}"を参照しています。

---

reference to the undefined key: "{0}"

定義されていないキー"{0}"を参照しています。

---

namespace "{0}" is referenced but no schema definition of this namespace was found.

名前空間"{0}"を参照していますが，この名前空間を定義するスキーマがありません。

---

the base type "{0}" cannot be used as a base type for a complex type with simple content.

シンプルコンテントを持つコンプレックスタイプのベースタイプとしては"{0}"は不適切です。

"http://www.w3.org/2000/10/XMLSchema" is obsolete as XML Schema namespace. use "http://www.w3.org/2001/XMLSchema" instead.

"http://www.w3.org/2000/10/XMLSchema"は古い名前空間です。"http://www.w3.org/2001/XMLSchema"を使ってください。

---

attempt to redefine undefined component "{0}".

コンポーネント"{0}"を redefine しようとしていますが，そもそも元定義がありません。

---

attribute "{0}" is already defined.

属性宣言"{0}"はすでに定義されています。

---

complex type "{0}" is already defined.

complex type"{0}"はすでに定義されています。

---

attribute group "{0}" is already defined.

属性グループ"{0}"はすでに定義されています。

---

model group "{0}" is already defined.

グループ"{0}"はすでに定義されています。

---

element "{0}" is already defined.

要素宣言"{0}"はすでに定義されています。

---

identity constraint "{0}" is already defined.

一意性制約"{0}"はすでに定義されています。

---

bad XPath "{0}".

XPath{0}が間違っています。

"{0}" is not a key.

"{0}"はキーの名前ではありません。

The specified key "{0}" has {1} fields but this keyref "{2}" has {3} fields.

参照しているキー"{0}"にはフィールドが{1}個ありますが，キー参照"{2}"には{3}個しかありません。

The element "{0}" is designated as the substitution afiiliation of "{1}", but they have unrelated types.

要素宣言"{0}"の置換群の中に要素宣言"{1}"が含まれていますが，互いの型に関連がありません。

The element "{0}" and {1}" forms cyclic substitution relationship.

要素宣言"{0}"と"{1}"が循環する置換群（substitution group）を構成しています。

"anyType" is implicitly used as the content model of this element. Is this your intention? If so, please consider to write it explicitly as type="anyType".

type 属性が指定されていないため, この要素の中身は検証されません。あえて type 属性を指定しない場合は，type="anyType"と明示的にこれを記述することを推奨します。

---

unexpected character literal

キャラクタデータは指定できません。

---

unexpected attribute "{0}"

属性"{0}"は間違っています。

---

unexpected start tag "{0}".

開始タグ"{0}"は指定できません。

---

some attributes are missing for the element "{0}".

要素"{0}"に必要な属性が足りません。

Content of element "{0}" is incomplete

要素"{0}"の内容が不完全です。

"{0}" is referenced by an IDREF, but not defined.

"{0}"は IDREF によって参照されていますが，定義されていません。

"{0}" is used as an ID value more than once.

"{0}"は ID の値として複数回使われています。

---

unexpected element "{0}"

要素"{0}"はここには許されません。

---

field #{2} of the key constraint "{1}" is not found

key 制約"{1}"のフィールド#{2}がありません。

---

this element does not satisfy the uniqueness imposed by "{1}"

この要素は unique 制約"{1}"を満たしていません。

The same key value is used

同じキーの値がここで使われています。

---

more than one elements/attributes match the field #{2} of the identity constraint "{1}"

複数の要素/属性が id 制約"{1}"のフィールド#{2}にマッチしました。

---

keyref "{1}" does not have a corresponding key

keyref"{1}"に対応するキーがありません。

---

element "{0}" was found where no element may occur

要素"{0}"が見つかりましたが，ここには何の要素も書けません。

The content model of this element can never be satisfied as declared.It may be a bug of the schema.

この要素のコンテントモデルは決して満たすことができません。スキーマの書き損じである可能性もあります。

---

tag name "{0}" is not allowed

要素"{0}"はここには書けません。

---

tag name "{0}" is not allowed. Possible tag names are: {1}

要素"{0}"はここには書けません。書けるのは{1}です。

---

namespace URI of tag "{0}" is wrong. It must be "{1}"

要素"{0}"の名前空間が間違っています。"{1}"でなくてはいけません。

Probably namespace URI of tag "{0}" is wrong (correct one is "{1}")

恐らく要素"{0}"の名前空間が間違っています。"{1}"ではないかと思われます。

---

unexpected attribute "{0}"

属性"{0}"はここには書けません。

---

attribute "{0}" has a bad value

属性"{0}"の値が間違っています。

---

attribute "{0}" has a bad value: {1}

属性"{0}"の値が間違っています。{1}

---

attribute "{0}" has a bad value. Possible values are: {1}

属性"{0}"の値は次のどれかでなくてはなりません。{1}

---

element "{0}" is missing "{1}" attribute

要素"{0}"には属性"{1}"が必須です。

---

required attribute(s) is/are missing

必須属性が幾つか欠けています。

---

at least one of the following attributes is required for element "{0}": {1}

要素"{0}"には少なくとも次のどれかの属性が必要です。{1}

---

uncompleted content model. expecting: {1}

ここで要素を閉じることはできません。次のどれかが必要です。{1}

---

unexpected character literal. expecting: {0}

間違った文字列です。次のどれかが必要です。{0}

---

bad character literal.

テキストが正しくありません。

---

the value must be "{0}"

テキストは"{0}"でなくてはいけません。

---

elements of "{0}" namespace

名前空間"{0}"の要素です。

---

elements of any namespace other than "{0}"

名前空間"{0}"以外の要素です。

---

character data is not allowed here

キャラクタデータはここには書けません。

ID "{0}" is already defined.

ID"{0}"はすでに使われています。

---

duplicate key value "{0}" for the symbol space "{1}"

キー"{0}"はシンボルスペース"{1}"ですでに使われています。

---

element "{0}" is not nillable

要素"{0}"は nillable ではありません。

---

specified type "{0}" cannot substitute the current type

指定された型"{0}"で現在の型を置き換えることはできません。

---

undefined type "{0}"

"{0}"は型として定義されていません。

Argument(s) "{0}" can't be null.

引数"{0}"には null を指定できません。

{0} is a primitive

{0}はプリミティブ型です。

? super T not implemented

<? super T>は未実装です。

---

only extends/super can follow ?, but found {0}

?の後ろに付くのは extends/super だけですが，{0}になっています。

Expected ']' but found {0}

']'が必要な個所が{0}になっています。

Missing '>' in {0}

{0}に'>'が欠落しています。

JClass name empty

JClass 名が空です。

JClass name {0} contains illegal character for beginning of identifier: {1}

JClass 名{0}には識別子の先頭として不正な文字{1}が含まれています。

JClass name {0} contains illegal character {1}

JClass 名{0}には不正な文字{1}が含まれています。

---

unable to set the super class for an interface

このスーパークラスはインタフェースに設定できません。

Illegal class inheritance loop. Outer class {0} may not subclass from inner class: {1}

クラス継承に不正な循環が発生しています。外側のクラス{0}は，内部クラス{1}からサブクラス化できません。

---

trying to create the same field twice: {0}

同じフィールド{0}を 2 回作成しようとしています。

Field name contains '.': {0}

フィールド名に'.'が含まれています。{0}

---

name {0} is already in use

名前{0}はすでに使用されています。

---

method name contains '.': {0}

メソッド名に'.'が含まれています。{0}

Cannot have two varargs in a method,

Check if varParam method of JMethod is invoked more than once

一つのメソッドに可変長引数（varargs）を二つ使用できません。JMethod の varParam メソッドが 2 回以上起動されていないか確認してください。

Illegal modifiers for {0}: {1}

{0}の修飾子として不正な修飾子です。{1}

Package name . is not allowed

パッケージ名に.は使用できません。

---

the specified class is not a member of this package, or it is a referenced class

指定したクラスは，このパッケージのメンバーではなく，参照されるクラスです。

JClass name contains '.': {0}

JClass 名に'.'が含まれています。{0}

---

the root package cannot be annotated

ルートパッケージにアノテーションを付けることができません。

Not a primitive type: {0}

プリミティブ型ではありません。{0}

Not an array type

配列型ではありません。

---

type variable has an existing class bound {0}

型変数に既存のクラスバインド{0}が含まれています。

Unable to handle this method call {0}

メソッド呼び出し{0}を処理できません。

Unexpected return type {0}

戻り型{0}が正しくありません。

Unable to handle this method call

このメソッド呼び出しを処理できません。

Expected {0} but found {1}

{0}になるべき個所が{1}になっています。

---

unable to process {0} line:{1}

{2}

{0}の行{1}{2}を処理できません。

{0}: non-existent directory

{0}：存在しないディレクトリです。

{0}: Can't delete previous version

{0}：旧バージョンを削除できません。

The current event is not START_ELEMENT

but {0}

現在のイベントは START_ELEMENT ではなく{0}です。

---

processing event: {0}

イベント{0}を処理しています。

---

getAttributes() attempting to process: {0}

getAttributes()で{0}を処理しようとしています。

Loaded outside a jar {0}

jar{0}の外側にロードされました。

Error starting apt

apt の起動エラーが発生しました。

---

the same namespace is specified twice

同じ名前空間が 2 回指定されました。

---

should throw a MirroredTypeException

MirroredTypeException をスローしなければなりません。

Attempt to modify attribute at illegal index: {0}

不正なインデックスの属性{0}を修正しようとしています。

Unexpected {0} appears at line {1} column {2}

行{1}カラム{2}の位置に想定外の{0}があります。

There's no JAXB 2.2 API in the classpath

クラスパスに JAXB 2.2 API が存在しません。

Unrecognized language: {0}. Did you mean {1} ?

言語{0}は認識できません。修正候補は{1}です。

Unrecognizable stack size: {0}

スタックサイズ{0}が認識できません。

{0} is not a valid version number. Perhaps you meant @destdir?

{0}は無効なバージョン番号です。@destdir を指定してください。

---

unable to parse the schema. Error messages should have been provided

スキーマをパースできません。エラーメッセージを表示する必要があります。

---

failed to compile a schema

スキーマのコンパイルに失敗しました。

---

unable to write files: {0}

ファイルの書き込みに失敗しました。{0}

Illegal version {0}

{0}は不正なバージョンです。

---

nulls in additionalElementDecls

additionalElementDecls が null 値になっています。

{0} was not specified to JavaCompiler.bind

{0}は JavaCompiler.bind に指定されていません。

---

system ID '{0}' isn't absolute

システム ID'{0}'が完全ではありません。

Class not found{0}

クラス{0}が見つかりません。

Unable to load source code of {0} as a resource

{0}のソースコードをリソースとしてロードできません。

---

system id cannot be null

　　システム ID は null にできません。

Unable to find a JAXB implementation to delegate

　　委譲する JAXB 実装が見つかりません。

Not a number: {0}

　　{0}は数字ではありません。

---

input is empty

　　入力値が空です。

---

prefix {0} is not bound to a namespace

　　接頭辞{0}は名前空間にバインドされていません。

---

hexBinary needs to be even-length: {0}

　　hexBinary は偶数長にしなければなりません。{0}

---

contains illegal character for hexBinary: {0}

　　hexBinary として不正な文字が含まれています。{0}

Attempt to modify attribute at illegal index: {0}

　　不正なインデックスの属性{0}を修正しようとしています。

Unknown constant type {0}

　　{0}は未知の定数型です。

---

no encoder for MIME type {0}

　　MIME 型{0}に使用できるエンコーダーがありません。

The factory method didn't return a correct object

ファクトリメソッドから返されるオブジェクトが正しくありません。

Failed to find the constructor for {0} with {1}

{1}を持つ{0}のコンストラクタが見つかりません。

{0} is not known to this context

{0}は，このコンテキストには認識できません。

{0} is not a bean

{0}は bean ではありません。

{0} is not a valid property on {1}

{0}は{1}に対して無効なプロパティです。

---

prefix '{0}' isn't bound

接頭辞'{0}'はバインドされていません。

The current event is not START_ELEMENT but {0}

現在のイベントは START_ELEMENT ではなく{0}です。

Unexpected node type: {0}

{0}は想定外のノード型です。

Error escaping one of these uris:

{0}

{1}

次の URI のエスケープ処理でエラーが発生しました。

{0}

{1}

Malformed URL {0}(base {1})

不正な形式の URL です。{0}（基底 {1}）

---

start tag has already been written

開始タグは記述済みです。

Illegal return type: {0}

不正な戻り型です。{0}

---

argument contains null

引数に null が含まれています。

Unexpected use of prefixes {0}

接頭辞{0}の使用は正しくありません。

The empty namespace cannot have a non-empty prefix

空の名前空間に空でない（非空の）接頭辞を付けることはできません。

The empty namespace can be only bound to the empty prefix

空の名前空間は空の接頭辞にしかバインドできません。

Prefix '{0}' is already bound to '{1}'

接頭辞'{0}'はすでに'{1}'にバインドされています。

The start tag of {0} has already been written.

{0}の開始タグはすでに記述されています。

Your DOM provider doesn't support the createElementNS method properly

ご使用の DOM プロバイダは，createElementNS メソッドのプロパティをサポートしていません。

Unsupported Result type: {0}

結果型{0}はサポートされていません。

LexicalHandler is needed to write PCDATA

PCDATA を記述するには，LexicalHandler が必要です。

LexicalHandler is needed to write comments

コメントを記述するには，LexicalHandler が必要です。

---

not a keyref

keyref ではありません。

---

unresolved reference

未解決の参照です。

Unexpected {0} appears at line {1} column {2}

行{1}カラム{2}の位置に想定外の{0}があります。

Attempt to modify attribute at illegal index: {0}

不正なインデックスの属性{0}を修正しようとしています。

---

unable to process {0}

{0}を処理できません。

Unexpected {0} appears at line {1} column {2}

行{1}カラム{2}の位置に想定外の{0}があります。

Unbound prefix: {0}

接頭辞{0}はバインドされていません。

Missing return statement in function

関数内に return 文がありません。

ERROR: Cannot use a static CharStream class with a non-static lexical analyzer.

非 static な字句アナライザを使う場合，static な CharStream クラスは使用できません。

Error: Ignoring invalid lexical state : {0}. State unchanged.

不正な字句状態{0}は無視されます。状態は変更されません。

Unknown node

未知のノードです。

Unable to resolve relative URI {0} without a base URI

基底 URI がないと，相対 URI{0}を解決できません。

Unable to resolve relative URI {0} because base URI is not absolute: {1}

基底 URI{1}が絶対 URI ではないため，相対 URI{0}を解決できません。

This product does not work in JDK1.2.

この製品は JDK1.2 では動作しません。

---------- linked to ----------

---------- linked to ----------

---

can't declare any more prefixes in this context

この文脈では，これ以上の接頭辞を宣言することはできません。

---

anonymous type

匿名の型です。

---

multiple definition

定義が重複しています。

---

undefined type name: {0}

未定義の型です。{0}

---

invalid value type: {0}

不当な値型です。{0}

Unknown Processing Mode

不明な処理モードです。

---

no implementation of regexp was found.

regexp の実装が見つかりませんでした。

---

undefined process mode: {0}

定義されていない処理モードです。{0}

---

aborted. Errors should have been reported

処理を中止します。エラーは報告されていません。

---

parser factory must be namespace-aware

パーサファクトリは名前空間が有効でなければなりません。

{0} doesn't implement any of TypeOwner

{0}はどの TypeOwner も実装していません。

---

unexpected system ID: {0}

予想外のシステム ID。{0}

---

unable to load schema-for-schema for W3C XML Schema

W3C XML Schema 用の schema-for-schema をロードできません。

Illegal Namespace prefix: {0}

不当な Namespace 接頭辞です。{0}

Undeclared prefix: {0}

定義されていない接頭辞です。{0}

---

namespace URI is null

名前空間 URI が null です。

---

local name is null

ローカル名が null です。

---

unable to parse the schema

スキーマを解析できません。

---

the document is invalid

ドキュメントが妥当ではありません。

---

unrecognized value type: {0}

認められていない値型です。{0}

---

unknown location

位置が不明です。

---

line {0} of {1}

{1}の第{0}行です。

---

unknown file

未知のファイルです。

{0} is not supported.

{0}はサポートしません。

---

cowardly refuses to write to a non-existent directory "{0}"

存在しないディレクトリ"{0}"への書き込みは拒否されました。

---

an operand is missing

オペランドがありません。

"{0}" is not a valid target version. "2.0", "2.1" and "2.2" are supported.

"{0}"は有効な対象バージョンではありません。サポート対象は"2.0"，"2.1"，および"2.2"です。

No such file: {0}

指定したファイル{0}は見つかりません。

"{0}" is not a valid proxy format. The format is [user[:password]@]proxyHost:proxyPort

"{0}"は有効なプロキシ形式ではありません。形式は[ユーザー[：パスワード]@]プロキシホスト：プロキシポートです。

---

unrecognized mode {0}

モード{0}を認識できません。

---

unrecognized parameter {0}

パラメタ{0}を認識できません。

---

grammar is not specified

文法が指定されていません。

Stack overflow. you are compiling a large schema that requires more resources.

スタックオーバーフローが発生しました。リソースが不足するほどの大規模なスキーマをコンパイルしようとしたことが原因です。

Too many schema files for this schema language. Compile one file at a time.

このスキーマ言語に対してスキーマファイルが多過ぎます。ファイルを一つずつコンパイルしてください。

Default Java package specified. You will not be able to access the generated code from classes in any other package.

デフォルトの Java パッケージが指定されています。生成されたコードには，ほかのパッケージ内のクラスからはアクセスできません。

"{0}" is not a valid file name: {1}

"{0}"は有効なファイル名ではありません。{1}

Failed to parse "{0}": {1}

"{0}"のパースに失敗しました。{1}

"{0}" is neither a file name nor a URL

"{0}"はファイル名でも URL でもありません。

"-{0}" and "-{1}" are mutually exclusive since both affect the code generation

"-{0}"と"-{1}"はどちらもコード生成に影響を及ぼすため，同時には指定できません。

Failed to load "{0}": {1}

"{0}"のロードに失敗しました。{1}

Failure to load a plugin: "{0}".

プラグイン"{0}"のロードに失敗しました。

A command could not be executed. (details = {0})

コマンドが{0}の理由によって実行できませんでした。

JDK 1.5.0_01 or later is necessary

JDK 1.5.0_01 以降のバージョンが必要です。

The error message corresponding to the message key can not be found.

メッセージキーに対応するエラー・メッセージを，見つけることができません。

An internal error occurred while formatting the following message:

次のメッセージをフォーマットしている間に，内部エラーが起こりました。

Premature end of file.

解析途中でファイルの終端に達しました。

The root element is required in a well-formed document.

整形式なドキュメントにはルート要素が必要です。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the CDATA section.

CDATA セクションに無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the element content of the document.

ドキュメントの element content に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

An invalid second ':' was found in the element type or attribute name.

要素タイプまたは属性名で無効な 2 番目の「:」が見つかりました。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in markup after the end of the element content.

無効な XML 文字(Unicode:0x{0})が element content 終了後の markup で見つかりました。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the prolog of the document.

無効な XML 文字(Unicode:0x{0})がドキュメントの prolog で見つかりました。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the XML declaration.

XML 宣言に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

The character sequence "]]>" must not appear in content unless used to mark the end of a CDATA section.

文字シーケンス]]>は，CDATA セクションの終了を示す以外の目的で使用してはいけません。

The CDATA section must end with "]]>".

CDATA セクションは]]>で終了しなければなりません。

The XML declaration may only appear at the very beginning of the document.

XML 宣言はドキュメントの先頭だけに現れることを許されます。

The '' = '' character must follow "{0}" in the XML declaration.

XML 宣言中では，{0}のあとには＝がなければいけません。

The value following "{0}" in the XML declaration must be a quoted string.

XML 宣言中では，{0}の値は引用符で囲まなければいけません。

The XML declaration must end with "?>".

XML 宣言中は?>で終了する必要があります。

The version is required in the XML declaration.

XML 宣言には version が必要です。

White space is required before the version pseudo attribute in the XML declaration.

XML 宣言のバージョン擬似属性の前には，空白が必要です。

White space is required before the encoding pseudo attribute in the XML declaration.

XML 宣言のエンコーディング擬似属性の前には，空白が必要です。

The markup in the document preceding the root element must be well-formed.

ルート要素より前のドキュメント中の markup は整形式でなくてはいけません。

The markup in the document following the root element must be well-formed.

ルート要素に続くドキュメント中の markup は整形式でなくてはいけません。

Already seen doctype.

DOCTYPE はすでに宣言されています。

Content is not allowed in prolog.

prolog には，content を指定できません。または，parse メソッドの引数に空文字列が指定された可能性があります。

Reference is not allowed in prolog.

prolog には，reference を指定できません。

Content is not allowed in trailing section.

trailing section には，content を指定できません。

Reference is not allowed in trailing section.

trailing section には，reference を指定できません。

The standalone document declaration value must be "yes" or "no", not "{0}".

standalone ドキュメント宣言の指定は，yes か no にする必要があります。{0}であってはいけません。

The xml:lang attribute value "{0}" is an invalid language identifier.

xml:lang 属性値{0}は無効な言語識別子です。

The element type "{0}" must be terminated by the matching end-tag "</{0}>".

要素タイプ{0}は，終了タグ</{0}>で終わらなければいけません。

Element type "{0}" must be followed by either attribute specifications, ">" or "/>".

要素タイプ{0}のあとには，>または/>のどちらかがなければいけません。

Attribute name "{0}" must be followed by the " = " character.

属性名"{0}"の後ろに" = "文字を付けてください。

Open quote is expected for attribute "{0}".

属性"{0}"には開きクオートが必要です。

Close quote is expected for attribute "{0}".

属性"{0}"には閉じクオートが必要です。

Attribute "{1}" was already specified for element "{0}".

属性{1}は，すでに要素{0}で指定されています。

Attribute "{1}" bound to namespace "{2}" was already specified for element "{0}".

名前空間{2}に境界を付ける属性{1}は，要素{0}にすでに結び付けられています。

The end-tag for element type "{0}" must end with a ">" delimiter.

要素タイプ{0}の終了タグは，>でなければいけません。

The content of elements must consist of well-formed character data or markup.

要素の中身は，整形式の文字または markup でなければいけません。

---

doctype not allowed in content.

要素内容には DOCTYPE を指定できません。

The reference must be terminated by a ';' delimiter.

reference は;で区切らなければなりません。

The reference must be entirely contained within the same parsed entity.

reference は同じ構文解析対象エンティティで構成されなければなりません。

The element "{0}" must start and end within the same entity.

要素{0}は，同じエンティティ内で開始・終了しなければいけません。

XML document structures must start and end within the same entity.

XML 文書は，同じエンティティ内で開始・終了しなければいけません。

An invalid XML character (Unicode: 0x{2}) was found in the value of attribute "{1}".

属性"{1}"の値に無効な XML 文字(Unicode:0x{2})が見つかりました。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the comment.

コメントに無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the processing instruction.

処理命令に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the internal subset of the DTD.

無効な XML 文字(Unicode:0x{0})が DTD の内部サブセット内にあります。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the text declaration.

テキスト宣言に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

The value of attribute "{1}" must begin with either a single or double quote character.

属性指定{1}はシングルクォーテーションまたはダブルクォーテーションで開始する必要があります。

The value of attribute "{1}" must not contain the "<" character.

属性"{1}"の値に"<"文字は使用できません。

The value for attribute "{1}" must end with the matching quote character.

属性指定{1}は対応する引用符で終了しなければなりません。

Comment must start with "<!--".

コメントは<!--で始めなければいけません。

The string "--" is not permitted within comments.

コメント内では，--は使用できません。

The comment must end with "-->".

コメントは-->で終了しなければなりません。

The comment is not enclosed xin the same entity.

コメントは同じエンティティ内では囲いません。

The processing instruction must begin with the name of the target.

処理命令はターゲット名で始めなければいけません。

White space is required between the processing instruction target and data.

処理命令ターゲットとデータの間には空白が必要です。

The processing instruction must end with "?>".

処理命令は?>で終了しなければなりません。

The processing instruction target matching "[xX][mM][lL]" is not allowed.

処理命令ターゲットは[xX][mM][lL]の指定ができません。

The processing instruction is not enclosed in the same entity.

処理命令は同じエンティティ内では囲いません。

Invalid version "{0}".

{0}に無効なバージョンを指定しました。

XML version "{0}" is not supported, only XML 1.0 is supported.

XML バージョン{0}はサポートしていません。XML1.0 だけをサポートしています。

A decimal representation must immediately follow the "&#" in a character reference.

文字参照では，10 進コードは&#の直後に指定しなければいけません。

A hexadecimal representation must immediately follow the "&#x" in a character reference.

文字参照では 16 進コードは&#x の直後に指定しなければいけません。

The character reference must end with the ';' delimiter.

文字参照は；で終了する必要があります。

Character reference "&#{0}" is an invalid XML character.

文字参照&#{0};は無効な XML 文字指定です。

The entity name must immediately follow the '&' in the entity reference.

エンティティ名は，エンティティ参照の中で&の直後に続かなければいけません。

The reference to entity "{0}" must end with the ";" delimiter.

エンティティ{0}の参照は，；で終了する必要があります。

The text declaration may only appear at the very beginning of the external parsed entity.

テキスト宣言は外部構文解析対象エンティティの始まりの直後にだけ指定できます。

The '' = '' character must follow "{0}" in the text declaration.

テキスト宣言は外部構文解析対象エンティティの始まりの直後にだけ指定できます。

The value following "{0}" in the text declaration must be a quoted string.

テキスト宣言中では，{0}の値は引用符で囲まなければいけません。

---

closing quote in the value following "{0}" in the text declaration is missing.

テキスト宣言中の{0}を閉じる引用符がありません。

White space is required before the version pseudo attribute in the text declaration.

テキスト宣言中のバージョン擬似属性の前には空白が必要です。

White space is required before the encoding pseudo attribute in the text declaration.

テキスト宣言中のエンコーディング擬似属性の前には空白が必要です。

The text declaration must end with "?>".

テキスト宣言は?>で終了しなければなりません。

The encoding declaration is required in the text declaration.

テキスト宣言中で，エンコーディング宣言をする必要があります。

---

no more pseudo attributes is allowed.

これ以上の擬似属性指定はできません。

---

more pseudo attributes is expected.

擬似属性指定が足りません。

---

a pseudo attribute name is expected.

擬似属性指定名称が指定されていません。

The comment must be entirely contained within the same parsed entity.

コメントは同じ構文解析対象エンティティ内に含まれなければなりません。

The processing instruction must be entirely contained within the same parsed entity.

処理命令は同じ構文解析対象エンティティ内に含まれなければなりません。

Invalid encoding name "{0}".

{0}は無効なエンコーディング名です。

Given byte order for encoding "{0}" is not supported.

エンコーディング{0}で与えられたバイトオーダーはサポートしていません。

Invalid byte {0} of {1}-byte UTF-8 sequence.

{1}-バイトの UTF-8 シーケンスのバイト{0}が無効です。

Expected byte {0} of {1}-byte UTF-8 sequence.

{1}-バイトの UTF-8 シーケンスのバイト{0}が必要です。

High surrogate bits in UTF-8 sequence must not exceed 0x10 but found 0x{0}.

UTF-8 の上位サロゲートビットの上限は 0x10 ですが，0x{0}が見つかりました。

Operation "{0}" not supported by {1} reader.

オペレーション"{0}"は{1}reader にサポートされていません。

Byte "{0}" not 7-bit ASCII.

バイト"{0}"は 7-ビット ASCII ではありません。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the literal entity value.

リテラルエンティティ値に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})が存在します。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the external subset of the DTD.

DTD の外部サブセットに無効な XML 文字(Unicode:0x{0})が存在します。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the excluded conditional section.

除外条件付きセクションに無効な XML 文字(Unicode:0x{0})が存在します。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the public identifier.

公開識別子に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})があります。

An invalid XML character (Unicode: 0x{0}) was found in the system identifier.

システム識別子に無効な XML 文字(Unicode:0x{0})が存在します。

White space is required after keyword SYSTEM in DOCTYPE decl.

DOCTYPE 宣言で，キーワード SYSTEM のあとに空白が必要です。

The system identifier must begin with either a single or double quote character.

システム識別子はシングルクォーテーションまたはダブルクォーテーションで開始する必要があります。

The system identifier must end with the matching quote character.

システム識別子はシングルクォーテーションまたはダブルクォーテーションで終了する必要があります。

White spaces are required after keyword PUBLIC in DOCTYPE decl.

DOCTYPE 宣言で，キーワード PUBLIC のあとに空白が必要です。

The public identifier must begin with either a single or double quote character.

公開識別子はシングルクォーテーションまたはダブルクォーテーションで開始する必要があります。

The public identifier must end with the matching quote character.

公開識別子は対応する引用符で終了する必要があります。

The character (Unicode: 0x{0}) is not permitted in the public identifier.

公開識別子では文字(Unicode:0x0)は許可されていません。

White spaces are required between publicId and systemId.

公開識別子とシステム識別子の間には空白が必要です。

White space is required after "<!DOCTYPE" in the document type declaration.

DOCTYPE 宣言で，<!DOCTYPE 指定のあとには空白が必要です。

The root element type must appear after "<!DOCTYPE" in the document type declaration.

DOCTYPE 宣言で，<!DOCTYPE 指定のあとにはルート要素タイプが現れる必要があります。

The document type declaration for root element type "{0}" must end with ''>''.

ルート要素タイプ{0}の DOCTYPE 宣言は，>で終わる必要があります。

The parameter entity reference "%{0};" cannot occur within markup in the internal subset of the DTD.

パラメータエンティティ参照{0}は，DTD 内部サブセット内の markup の内側には記述できません。

The markup declarations contained or pointed to by the document type declaration must be well-formed.

markup 宣言は，整形式なドキュメントタイプ宣言を含むか，またはポイントする必要があります。

The attribute declaration for "xml:space" must be given as an enumerated type whose only possible values are "default" and "preserve".

xml:space 属性宣言は default または preserve だけが指定できる列挙型でなければなりません。

White space is required after "<!ELEMENT" in the element type declaration.

要素タイプ宣言で，<!ELEMENT のあとに空白が必要です。

The element type is required in the element type declaration.

要素タイプの指定には，要素タイプ宣言が必要です。

White space is required after the element type "{0}" in the element type declaration.

要素タイプ宣言内で，要素タイプ{0}のあとに空白が必要です。

The constraint is required after the element type "{0}" in the element type declaration.

要素タイプ宣言内での要素タイプ{0}の後ろに制約が必要です。

The declaration for element type "{0}" must end with ''>".

要素タイプ宣言{0}は，>で終了する必要があります。

A "(" character or an element type is required in the declaration of element type "{0}".

要素タイプ{0}の宣言では，（または要素タイプが必要です。

A ")" is required in the declaration of element type "{0}".

要素タイプ{0}の宣言では,）が必要です。

An element type is required in the declaration of element type "{0}".

要素タイプ{0}の宣言で，要素タイプの指定が必要です。

A ")" is required in the declaration of element type "{0}".

要素型"{0}"の宣言に")"が必要です。

The mixed content model "{0}" must end with ")*" when the types of child elements are constrained.

混合内容モデル{0}は，子要素のタイプが必要な場合に）*で終わらなくてはいけません。

White space is required after "<!ATTLIST" in the attribute-list declaration.

属性リスト宣言では，<!ATTLIST のあとに空白が必要です。

The element type is required in the attribute-list declaration.

要素タイプは，要素タイプ宣言が必要です。

White space is required before the attribute name in the attribute-list declaration for element "{0}".

要素{0}の属性リスト宣言では，属性名の前に空白が必要です。

The attribute name must be specified in the attribute-list declaration for element "{0}".

属性名は要素{0}の属性リストを指定する必要があります。

White space is required before the attribute type in the declaration of attribute "{1}" for element "{0}".

要素{0}の属性{1}の宣言で，属性タイプの前に空白が必要です。

The attribute type is required in the declaration of attribute "{1}" for element "{0}".

要素{0}の属性{1}の宣言で，属性タイプが必要です。

White space is required before the attribute default in the declaration of attribute "{1}" for element "{0}".

要素{0}の属性{1}の宣言で，デフォルト属性の前に空白が必要です。

More than one attribute definition is provided for the same attribute "{1}" of a given element "{0}".

指定された要素{0}の同じ属性{1}宣言のために，一つ以上の属性定義が与えられます。

White space must appear after "NOTATION" in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}で，NOTATION のあとに空白が必要です。

The "(" character must follow "NOTATION" in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}で NOTATION に続いて（の指定が必要です。

The notation name is required in the notation type list for the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の記法タイプ指定で，記法名が必要です。

The notation type list must end with '')'' in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の記法タイプ指定では，記法タイプは）で終わらなければいけません。

The name token is required in the enumerated type list for the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の列挙されたタイプリストで名称トークンが必要です。

The enumerated type list must end with '')'' in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}の列挙されたタイプリストは）で終わらなくてはいけません。

White space must appear after "FIXED" in the "{1}" attribute declaration.

属性宣言{1}で，FIXED のあとに空白が必要です。

The included conditional section must end with "]]>".

含まれる条件付きセクションは,]]>で終了する必要があります。

The excluded conditional section must end with "]]>".

除外される条件付きセクションは,]]>で終了する必要があります。

The entity name must immediately follow the '%' in the parameter entity reference.

パラメタエンティティ参照のエンティティ名は，%に続いて記述する必要があります。

The parameter entity reference "%{0};" must end with the '';'' delimiter.

パラメータエンティティ参照{0}は,；で終了する必要があります。

White space is required after "<!ENTITY" in the entity declaration.

エンティティ宣言で，<!ENTITY のあとに空白が必要です。

White space is required between "<!ENTITY" and the '%' character in the parameter entity declaration.

パラメタエンティティ宣言で，<!ENTITY と％の間に空白が必要です。

White space is required between the '%' and the entity name in the parameter entity declaration.

パラメータエンティティ宣言で％とエンティティ名の間に空白が必要です。

The name of the entity is required in the entity declaration.

エンティティの名前は，エンティティ宣言で必要です。

White space is required between the entity name "{0}" and the definition in the entity declaration.

エンティティ宣言で，エンティティ名{0}と定義の間に空白が必要です。

White space is required between "NDATA" and the notation name in the declaration for the entity "{0}".

エンティティ{0}の宣言で，NDATA と記法名の間に空白が必要です。

White space is required before "NDATA" in the declaration for the entity "{0}".

エンティティ{0}の宣言で，NDATA の前に空白が必要です。

The notation name is required after "NDATA" in the declaration for the entity "{0}".

エンティティ{0}宣言で，NDATA のあとに記法名が必要です。

The declaration for the entity "{0}" must end with ''>''.

エンティティ{0}の宣言は，>で終わらなければいけません。

Entity "{0}" is declared more than once.

エンティティ{0}は，2 度以上宣言されています。

The external entity declaration must begin with either "SYSTEM" or "PUBLIC".

外部のエンティティ宣言は SYSTEM か PUBLIC で始まらなければなりません。

White space is required between "PUBLIC" and the public identifier.

PUBLIC と公開識別子の間に空白が必要です。

White space is required between the public identifier and the system identifier.

公開識別子とシステム識別子の間に空白が必要です。

White space is required between "SYSTEM" and the system identifier.

SYSTEM とシステム識別子の間に空白が必要です。

The fragment identifier should not be specified as part of the system identifier "{0}".

フラグメント識別子は，システム識別子{0}の一部分として指定してはいけません。

White space is required after "<!NOTATION" in the notation declaration.

記法宣言で，<!NOTATION のあとに空白が必要です。

The name of the notation is required in the notation declaration.

記法宣言では記法名が必要です。

White space is required after the notation name "{0}" in the notation declaration.

記法宣言で，記法名{0}のあとに空白が必要です。

The declaration for the notation "{0}" must include a system or public identifier.

記法{0}の宣言は，システム識別子または公開識別子を含まなければいけません。

The declaration for the notation "{0}" must end with ''>''.

記法{0}の宣言は，>で終わらなければいけません。

The element type "{1}" was already specified in the content model of the element decl "{0}".

要素タイプ{1}は，要素宣言{0}の内容モデルですでに宣言されています。

Attribute value "{1}" of type ENTITIES must be the names of one or more unparsed entities.

タイプ ENTITIES の属性値{1}は，一つ以上の構文解析対象外エンティティ名でなければなりません。

Attribute value "{1}" of type ENTITY must be the name of an unparsed entity.

タイプ ENTITIES の属性値{1}は，構文解析対象外エンティティ名でなければなりません。

The ID attribute "{0}" must have a declared default of "#IMPLIED" or "#REQUIRED".

ID 属性{0}は，宣言されている#IMPLIED または#REQUIRED のデフォルトでなければいけません。

Attribute value "{0}" of type ID must be a name.

ID 型の属性値{0}は Name 型でなければいけません。

Attribute value "{0}" of type ID must be unique within the document.

ID 型の属性値{0}は，文書中に同じ名称があってはいけません。

Attribute value "{0}" of type IDREF must be a name.

IDREF 型の属性値{0}は Name 型でなければいけません。

Attribute value "{0}" of type IDREFS must be one or more names.

IDREFS 型の属性値{0}は一つ以上の Name 型でなければいけません。

The replacement text of parameter entity "{0}" must include properly nested declarations when the entity reference is used as a complete declaration.

実体参照が完全な宣言として使用される場合，パラメタ実体{0}の置換テキストは，適切にネストされた宣言を含まなくてはいけません。

The replacement text of parameter entity "{0}" must include properly nested declarations.

パラメタエンティティ{0}の置換テキストは，適切にネストされた宣言を含まなくてはいけません。

The replacement text of parameter entity "{0}" must include properly nested pairs of parentheses.

パラメタエンティティ{0}の置換テキストは，適切にネストされたひと組の括弧を含まなくてはいけません。

The replacement text of parameter entity "{0}" must include the entire conditional section or just INCLUDE or IGNORE.

パラメタエンティティ"{0}"の置換テキストには，条件つきセクション全体，または INCLUDE や IGNORE だけを組み込む必要があります。

Attribute "{1}" must be declared for element type "{0}".

属性{1}は要素タイプ{0}の宣言でなくてはいけません。

Attribute "{0}" with value "{1}" must have a value from the list "{2}".

{1}の値を持つ属性{0}は，{2}のリスト中の値でなければいけません。

The value "{1}" of attribute "{0}" must not be changed by normalization (to "{2}") in a standalone document.

属性{0}の値{1}は，スタンドアロン文書で正規化によって（{2}に）変更されてはいけません。

The content of element type "{0}" is incomplete, it must match "{1}".

要素タイプ{0}のコンテンツが不完全です。{1}と一致しなくてはいけません。

The content of element type "{0}" must match "{1}".

要素タイプ{0}のコンテンツは，{1}と一致しなくてはいけません。

Attribute "{1}" for element type "{0}" has a default value and must be specified in a standalone document.

要素タイプ{0}の属性{1}はデフォルト値を持っていて，かつスタンドアロン文書で指定されていなければいけません。

Attribute "{1}" is already declared for element type "{0}".

属性{1}は，要素タイプ{0}のためにすでに宣言されています。

Element type "{0}" must not be declared more than once.

要素タイプ{0}は 2 度以上宣言してはいけません。

Element type "{0}" must be declared.

要素タイプ{0}を宣言しなくてはいけません。

Document is invalid: no grammar found.

ドキュメントは無効です。文法がありません。

An element with the identifier "{0}" must appear in the document.

識別子{0}を持つ要素が，ドキュメント中になければいけません。

The reference to external entity "{0}" is not permitted in a standalone document.

外部エンティティ{0}の参照は，スタンドアロン型の文書で許されません。

Attribute "{1}" with value "{2}" must have a value of "{3}".

値{2}の属性{1}は，{3}の値を持っていなくてはいけません。

Element type "{0}" already has attribute "{1}" of type ID, a second attribute "{2}" of type ID is not permitted.

要素タイプ{0}は ID 型の属性{1}をすでに持っています。ID 型の第二の属性{2}は許可されません。

Element type "{0}" already has attribute "{1}" of type NOTATION, a second attribute "{2}" of type NOTATION is not permitted.

要素タイプ{0}は NOTATION 型の属性{1}をすでに持っています。NOTATION 型の第二の属性{2}は許可されません。

The notation "{1}" must be declared when referenced in the notation type list for attribute "{0}".

属性{0}の記法タイプリストで参照される場合は，記法{1}を宣言する必要があります。

The notation "{1}" must be declared when referenced in the unparsed entity declaration for "{0}".

属性{0}の解析対象外エンティティで参照される場合は，記法{1}を宣言する必要があります。

The reference to entity "{0}" declared in an external parsed entity is not permitted in a standalone document.

外部解析対象エンティティで宣言された{0}の参照は，スタンドアロン文書では許可されません。

Attribute "{1}" is required and must be specified for element type "{0}".

要素タイプ{0}の指定のために属性{1}は必要です。

White space must not occur between elements declared in an external parsed entity with element content in a standalone document.

スタンドアロン文書の要素コンテンツを持つ，外部解析対象エンティティの，要素宣言に空白があってはいけません。

Attribute value "{0}" of type NMTOKEN must be a name token.

NMTOKEN 型の属性値{0}は name token でなければいけません。

Attribute value "{0}" of type NMTOKENS must be one or more name tokens.

NMTOKENS 型の属性値{0}は一つ以上の name token でなければいけません。

Document root element "{1}", must match DOCTYPE root "{0}".

ドキュメントルート要素{1}は，DOCTYPE root{0}と一致する必要があります。

The content model of element "{0}" refers to the undeclared element "{1}".

要素{0}のコンテントモデルは，宣言していない要素{1}を参照します。

ENTITYDatatype Validator: Failed Need to call initialize method with a valid Grammar reference.

エンティティ・データタイプの有効性：有効な文法による初期化メソッドの呼び出しに失敗しました。

ENTITY "{0}" is not unparsed.

エンティティ{0}は解析対象外ではありません。

ENTITY "{0}" is not valid.

エンティティ{0}が無効です。

Value of type ENTITIES, IDREFS, and NMTOKENS cannot be empty list.

ENTITIES 型，IDREFS 型，NMTOKENS 型の値に，空のリスト指定はできません。

The external entity reference "&{0};" is not permitted in an attribute value.

外部エンティティ参照&{0}；は許可されていない属性です。

The entity "{0}" was referenced, but not declared.

エンティティ{0}が参照されましたが，宣言されていません。

The unparsed entity reference "&{0};" is not permitted.

解析対象外エンティティ参照&{0};は許可されません。

Recursive entity reference "{0}". (Reference path: {1}),

再帰的なエンティティ参照{0}です（path{1}を参照してください）。

Recursive general entity reference "&{0};". (Reference path: {1}),

再帰的な一般エンティティ参照&{0}；です（path{1}を参照してください）。

Recursive parameter entity reference "%{0};". (Reference path: {1}),

再帰的なパラメータエンティティ参照%{0}；です（path{1}を参照してください）。

The encoding "{0}" is not supported.

エンコーディング{0}はサポートしていません。

A parsed entity not encoded in either UTF-8 or UTF-16 must contain an encoding declaration.

UTF-8 または UTF-16 の一方でエンコーディングされなかった解析対象エンティティは，エンコーディング宣言を含まなくてはなりません。

Element "{0}" cannot have "xmlns" as its prefix.

要素"{0}"に接頭辞として"xmlns"を付けることはできません。

The prefix "{0}" for element "{1}" is not bound.

要素{1}の接頭辞{0}は結び付けられません。

The prefix "{0}" for attribute "{1}" is not bound.

属性"{1}"の接頭辞"{0}"はバインドされていません。

The value of the attribute "{0}" is invalid. Prefixed namespace bindings may not be empty.

属性{0}値が無効です。接頭辞を付けた名前空間バインディングは，空ではないかもしれません。

The namespace prefix "{0}" was not declared.

名前空間接頭辞{0}が宣言されませんでした。

The prefix "xmlns" cannot be bound to any namespace explicitly; neither can the namespace for "xmlns" be bound to any prefix explicitly.

接頭辞"xmlns"は，名前空間に明示的にバインドできません。また"xmlns"の名前空間も，接頭辞に明示的にバインドできません。

The prefix "xml" cannot be bound to any namespace other than its usual namespace; neither can the namespace for "xml" be bound to any prefix other than "xml".

接頭辞"xml"は，通常の名前空間以外の名前空間にバインドできません。また"xml"の名前空間も，"xml"以外の接頭辞にバインドできません。

The defaultValue "{1}" of attribute "{0}" is not legal as for the lexical constraints of this attribute type.

属性{0}のデフォルト値{1}は，この属性タイプで使えない用語です。

OpenQuoteMissingInDecl

宣言に開始引用符がありません。

InvalidCharInLiteral

リテラルで無効な文字があります。

Doctype declaration is not allowed.

Doctype 宣言は使用できません。

---

http://www.w3.org/TR/1998/REC-xml-19980210#"{0}"?"{1}"&"{2}"...

W3C XML1.0 規格に合致しない構文を検出しました。

---

http://www.w3.org/TR/1999/REC-xml-names-19990114#"{0}"?"{1}"&"{2}"...

W3C Namespaces in XML 規格に合致しない構文を検出しました。

---

true value of isValidating not supported

isValidating の true 値はサポートされていません。

---

false value of {0} feature is not supported

{0}フィーチャーの false 値はサポートされていません。

Encoding byte order not supported

バイトオーダーによるエンコーディングはサポートされていません。

Encoding declaration {0} not valid

エンコーディング宣言{0}は無効です。

Encoding {0} not supported

エンコーディング{0}はサポートされていません。

Scanner State {0} not Recognized

Scanner State {0}を認識できません。

DTDDriver#dispatch: scanner state={0} ({1})

DTDDriver#dispatch: scanner state={0} ({1})

No more events to be parsed

パースするイベントはこれ以上ありません。

Scanner State {0} not Recognized

Scanner State {0}を認識できません。

---

parser must be on START_ELEMENT to read next text

次のテキストを読み込むには，パーサを START_ELEMENT に設定する必要があります。

---

getElementText() function expects text only element but START_ELEMENT was encountered.

getElementText()関数はテキストだけの要素を処理対象としますが，START_ELEMENT を検出しました。

---

unexpected end of document when reading element text content

要素テキストのコンテンツの読み込み中にドキュメントの終端に達しました。

---

getElementText() function expects text only element but START_ELEMENT was encountered.

getElementText()関数はテキストだけの要素を処理対象としますが，START_ELEMENT を検出しました。

Unexpected event type {0}

イベント型{0}が処理対象外です。

---

expected start or end tag

開始タグまたは終了タグが必要です。

Method getLocalName() cannot be called for {0} event.

{0}イベントには getLocalName()メソッドを呼び出せません。

Current state of the parser is {0} But expected state is {1}

パーサの現在の状態は{0}ですが，{1}にする必要があります。

Current state = {0} is not among the states {1} , {2} , {3} , {4} valid for getTextCharacters()

getTextCharacters()の有効な状態は{1}，{2}，{3}，{4}ですが，現在の状態はこれ以外の{0}になっています。

Current state = {0} is not among the states {1} , {2} , {3} , {4} valid for getTextLength()

getTextLength()の有効な状態は{1}，{2}，{3}，{4}ですが，現在の状態はこれ以外の{0}になっています。

Current state = {0} is not among the states {1} , {2} , {3} , {4} valid for getTextStart()

getTextStart()の有効な状態は{1}，{2}，{3}，{4}ですが，現在の状態はこれ以外の{0}になっています。

END_DOCUMENT reached: no more elements on the stream.

END_DOCUMENT に到達しました。ストリームにこれ以上要素はありません。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributeCount()

getAttributeCount()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributeName()

getAttributeName()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributeLocalName()

getAttributeLocalName()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributeNamespace()

getAttributeNamespace()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributePrefix()

getAttributePrefix()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributeQName()

getAttributeQName()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributeType()

getAttributeType()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

Current state is not among the states {0} , {1} valid for getAttributeValue()

getAttributeValue()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

---

parser must be on START_ELEMENT to read next text

次のテキストを読み込むには，パーサを START_ELEMENT に設定する必要があります。

---

unexpected end of document when reading element text content

要素テキストのコンテンツの読み込み中にドキュメントの終端に達しました。

---

getElementText() function expects text only element but START_ELEMENT was encountered.

getElementText()関数はテキストだけの要素を処理対象としますが，START_ELEMENT を検出しました。

Unexpected event type {0}

イベント型{0}が処理対象外です。

Illegal to call getName() when event type is {0} . Valid states are {1}, {2}

イベント型が{0}の場合に getName()を呼び出すのは不正な処理です。有効な状態は{1}，{2}です。

Current state {0} is not among the states {1}, {2}, {3} valid for getNamespaceCount().

getNamespaceCount()の有効な状態は{1}，{2}，{3}ですが，現在の状態はこれ以外の{0}になっています。

Current state {0} is not among the states {1}, {2}, {3} valid for getNamespacePrefix().

getNamespacePrefix()の有効な状態は{1}，{2}，{3}ですが，現在の状態はこれ以外の{0}になっています。

Current state {0} is not among the states {1}, {2}, {3} valid for getNamespaceURI().

getNamespaceURI()の有効な状態は{1}，{2}，{3}ですが，現在の状態はこれ以外の{0}になっています。

Current state {0} is not among the states {1}, {2}, {3}, {4}, {5}, {6} valid for getText()

getText()の有効な状態は{1}，{2}，{3}，{4}，{5}，{6}ですが，現在の状態はこれ以外の{0}になっています。

Event type {0} specified did not match with current parser event {1}

指定したイベント型{0}が，現在のパーサイベント{1}と一致しません。

Namespace URI {0} specified did not match with current namespace URI

指定した名前空間 URI {0}が，現在の名前空間 URI と一致しません。

LocalName {0} specified did not match with current local name

指定した局所名{0}が，現在の局所名と一致しません。

---

target char array can't be null

ターゲットの文字配列は null にできません。

---

sourceStart is greater than number of characters associated with this event

sourceStart が，このイベントに関連づけられた文字数を超えています。

Current state is not among the states {0} , {1}valid for isAttributeSpecified()

isAttributeSpecified()の有効な状態は{0}，{1}ですが，現在はこれ以外の状態になっています。

---

expected start or end tag

開始タグまたは終了タグが必要です。

---

getNamespaceURI(String prefix) is called with a null prefix.

getNamespaceURI(String prefix)を，prefix に null を指定して呼び出しています。

The stream reader has reached the end of the document, or there are no more items to return

ストリーム reader がドキュメントの終端に達したか，返すアイテムがなくなりました。

Property not supported

プロパティがサポートされていません。

Property {0} is not supported

プロパティ{0}はサポートされていません。

{0} type is not supported

{0}型はサポートされていません。

---

result of type {0} is not supported

結果型{0}はサポートされていません。

Property {0} is not supported: XMLStreamWriters are not Thread safe

プロパティ{0}はサポートされていません。XMLStreamWriters はスレッドセーフではありません。

FWK008 Element stack underflow

FWK008 要素スタックのアンダーフローが発生しました。

Reader cannot be null

Reader は null にできません。

Prefix can't be null

接頭辞は null にできません。

URI can't be null or empty String

URI は null や空文字列にできません。

Illegal access to Namespace prefixes enumeration.

名前空間接頭辞 enumeration への不正なアクセスです。

Cannot construct URI with null/empty scheme!

null/空のスキームでは URI を構成できません。

Cannot construct URI with null/empty scheme-specific part!

null/空のスキーム独自部分では URI を構成できません。

Scheme is required!

スキームが必要です。

Userinfo may not be specified if host is not specified!

ホストを指定しないと，Userinfo を指定できません。

Port may not be specified if host is not specified!

ホストを指定しないと，ポートを指定できません。

Query string cannot be specified in path and query string!

Query string はパスおよび Query String 内に指定できません。

Fragment cannot be specified in both the path and fragment!

Fragment はパスと Fragment の両方に指定できません。

Cannot initialize URI with empty parameters.

空のパラメタでは URI を初期化できません。

No scheme found in URI.

URI にスキームがありません。

{0} is invalid. Port should only contain digits!

{0}は無効です。ポートは数字だけで指定してください。

Cannot initialize path from null string!

null String ではパスを初期化できません。

Path contains invalid escape sequence!

パスに無効なエスケープシーケンスが含まれています。

Path contains invalid character: {0}

パスに無効な文字{0}が含まれています。

Query string contains invalid escape sequence!

Query String に無効なエスケープシーケンスが含まれています。

Query string contains invalid character:{0}

Query String に無効な文字{0}が含まれています。

Fragment contains invalid escape sequence!

Fragment に無効なエスケープシーケンスが含まれています。

Fragment contains invalid character:{0}

Fragment に無効な文字{0}が含まれています。

Cannot set scheme from null string!

null String ではスキームを設定できません。

The scheme is not conformant.

スキームは仕様に適合していません。

Userinfo cannot be set when host is null!

ホストが null の場合，Userinfo を設定できません。

Userinfo contains invalid escape sequence!

Userinfo に無効なエスケープシーケンスが含まれています。

Userinfo contains invalid character:{0}

Userinfo に無効な文字{0}が含まれています。

Host is not a well formed address!

ホストのアドレスの形式が正しくありません。

Port cannot be set when host is null!

ホストが null の場合，ポートを設定できません。

Invalid port number!

ポート番号が無効です。

Path contains invalid character!

パスに無効な文字が含まれています。

Query string can only be set for a generic URI!

Query String は一般的な URI にしか設定できません。

Query string cannot be set when path is null!

パスが null の場合，Query String を設定できません。

Query string contains invalid character!

Query String に無効な文字が含まれています。

Fragment can only be set for a generic URI!

Fragment は一般的な URI にしか設定できません。

Fragment cannot be set when path is null!

パスが null の場合，Fragment を設定できません。

Fragment contains invalid character!

Fragment に無効な文字が含まれています。

Remove operation is not supported

削除オペレーションはサポートされていません。

Atttempting to write invalid Unicode code point '{0}'

無効な Unicode コードポイント'{0}'を書き込もうとしています。

Attempting to close a UTF8OutputStreamWriter while awaiting for a UTF-16 code unit

UTF-16 コード単位の待ち受け中に UTF8OutputStreamWriter を閉じようとしています。

Prefix cannot be null

接頭辞は null にできません。

Current DOM Node type is {0}and does not allow attributes to be set

現在の DOM ノード型が{0}であり，属性を設定できません。

NamespaceURI cannot be null

NamespaceURI は null にできません。

Local name cannot be null

局所名は null にできません。

Namespace URI {0}is not bound to any prefix

名前空間 URI {0}が接頭辞にバインドされていません。

CDATA cannot be null

CDATA は null にできません。

Target cannot be null

ターゲットは null にできません。

Event reader shouldn't be null

イベント reader は null にできません。

---

close() Must be called before calling reset()

close()は reset()より前に呼び出さなければなりません。

Property '{0}' is not supported

プロパティ'{0}'はサポートされていません。

URI cannot be null

URI は null にできません。

Attribute not associated with any element

属性が要素に関連づけられていません。

Prefix {0} is already bound to {1}. Trying to rebind it to {2} is an error.

接頭辞{0}はすでに{1}にバインドされています。{2}に再バインドするとエラーになります。

---

cdata cannot be null

cdata は null にできません。

Namespace Attribute not associated with any element

名前空間属性が要素に関連づけられていません。

---

xmlns has been already bound to {0}. Rebinding it to {1} is an error

xmlns はすでに{0}にバインドされています。{1}に再バインドするとエラーになります。

NamespaceURI {0} has not been bound to any prefix

名前空間 URI {0}が接頭辞にバインドされていません。

No more elements to write

記述する要素はこれ以上ありません。

No element was found to write

記述する要素が見つかりません。

No element was found to write: {0}

{0}を記述する要素が見つかりません。

Invalid state: start tag is not opened at writeNamespace({0}, {1})

無効な状態です。writeNamespace({0}, {1})で開始タグが開かれていません。

---

prefix {0} has been already bound to {1}. Rebinding it to {2} is an error

接頭辞{0}はすでに{1}にバインドされています。{2}に再バインドするとエラーになります。

PI target cannot be null

PI target は null にできません。

Underlying stream encoding '{0}' and input parameter for writeStartDocument() method '{1}' do not match.

基底となるストリームのエンコーディング'{0}'と writeStartDocument()メソッドの入力パラメタ'{1}'が一致しません。

Stream closed

ストリームが閉じました。

---

parsing a schema...

スキーマをパースしています。

Failed to parse a schema.

スキーマのパースに失敗しました。

---

compiling a schema...

スキーマをコンパイルしています。

Failed to produce code.

コードの生成に失敗しました。

Writing {0}

{0}ファイルに書き込み中です。

Provider {0} not found

プロバイダ{0}が見つかりません。

Provider {0} could not be instantiated: {1}

プロバイダ{0}をインスタンス化できませんでした。{1}

Unable to locate jaxb.properties for package {0}

パッケージ{0}の jaxb.properties ファイルが見つかりません。

You may not mix JAXB Providers on the context path

同一のコンテキストパス上に複数の JAXB プロバイダを混在させることはできません。

---

jaxb.properties in package {0} does not contain the {1} property.

パッケージ{0}の jaxb.properties ファイルに{1}プロパティが記述されていません。

No package name is given

パッケージ名が指定されていません。

---

name: {0} value: {1}

名前：{0} 値：{1}。

The DatatypeConverterInterface parameter must not be null

DatatypeConverterInterface パラメタには null 値を指定できません。

ClassCastException: attempting to cast {0} to {1}. Please make sure that you are specifying the proper ClassLoader.

ClassCastException：{0}を{1}にキャストしようとしています。クラスローダの指定が正しいか確認してください。

InputStream can not be null

InputStream には null 値を指定できません。

{0} must be boolean

{0}にはブール値を指定してください。

{0} must be a String

{0}には String を指定してください。

"DefaultValidationEventHandler: {0} {1}

Location: {2}"

"DefaultValidationEventHandler：{0} {1}

位置：{2}"

---

unavailable

使用できません。

Unrecognized event severity field "{0}"

イベント重要度フィールド"{0}"を認識できません。

Illegal severity

不正な重要度です。

{0} parameter must not be null

{0}パラメタには null 値を指定できません。

Unrecognized event severity field "{0}"

イベント重要度フィールド"{0}"を認識できません。

JAXBContext can not be null

JAXBContext には null 値を指定できません。

Unmarshaller can not be null

Unmarshaller には null 値を指定できません。

Content object can not be null

コンテンツオブジェクトには null 値を指定できません。

Marshaller can not be null

Marshaller には null 値を指定できません。

Not a number: {0}

{0}は数値ではありません。

Input is empty

入力値が空です。

String "{0}" is not valid boolean value.

文字列"{0}"は有効な boolean 値ではありません。

---

input is empty

入力値が空です。

---

prefix {0} is not bound to a namespace

接頭辞{0}は名前空間にバインドされていません。

---

hexBinary needs to be even-length: {0}

hexBinary 型の{0}は偶数長でなければなりません。

---

contains illegal character for hexBinary: {0}

{0}には hexBinary 型として不正な文字が含まれています。

---

no XML is given

XML が指定されていません。

I don't understand how to handle {0}

{0}の処理方法が不明です。

Provider {0} not found

プロバイダ{0}が見つかりません。

Provider {0} could not be instantiated: {1}

プロバイダ{0}をインスタンス化できませんでした。{1}

Provider for {0} cannot be found

{0}のプロバイダが見つかりません。

12 KEDT (Developer が出力するメッセージ)

この章では，Developer が出力するメッセージについて説明します。

12.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KEDTnnnnn-Y

メッセージテキスト

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

次に，各項目について説明します。

KEDTnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KEDT

Developer が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

Developer で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを示します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

Developer が出力するメッセージテキストを表します。

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した構成ソフトウェアの動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。

12.2　KEDT で始まるメッセージ

Developer が出力する KEDT10001 から KEDT99999 までのメッセージについて説明します。

KEDT10001-I

Setup of the Instant Setup functionality has started.

説明

開発環境インスタントセットアップ機能の開始を表すメッセージです。

KEDT10002-I

Copying file has started. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルのコピー処理を開始したことを表すメッセージです。

KEDT10003-I

Copying file has finished. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルのコピー処理が完了したことを示すメッセージです。

KEDT10004-I

Editing file has started. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルの編集を開始したことを表すメッセージです。

KEDT10005-I

Editing file has finished. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルの編集が完了したことを表すメッセージです。

KEDT10006-I

Executing file has started. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルの実行を開始したことを表すメッセージです。

KEDT10007-I

Executing file has finished. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルの実行が完了したことを表すメッセージです。

KEDT10010-I

Setup of the Instant Setup functionality has finished.

説明

開発環境インスタントセットアップ機能の終了を表すメッセージです。

KEDT10011-I

Making folder has started. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダ作成を開始したことを表すメッセージです。

KEDT10012-I

Making folder has finished. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダ作成が完了したことを表すメッセージです。

KEDT10013-E

The error occurred by the copying file. (details=<ファイル（ディレクトリ）の絶対パス>)

説明

ファイル，またはディレクトリのコピーでエラーが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

- <ファイル（ディレクトリ）の絶対パス>のファイル，またはディレクトリが存在すること。
- <ファイル（ディレクトリ）の絶対パス>のファイル，またはディレクトリの読み込み権限があること。
- コピー先ディレクトリに書き込み権限があること。

コピー対象がファイルの場合は，次の内容も確認してください。

- コピー先ディレクトリに同じ名前のフォルダがないこと。
- コピー先ディレクトリに同じ名前のファイルがある場合，読み込み権限と書き込み権限があること。

コピー対象がディレクトリの場合は，次の内容も確認してください。

- コピー先ディレクトリに同じ名前のファイルがないこと。
- コピー先ディレクトリに同じ名前のフォルダがある場合，書き込み権限があること。

KEDT10014-E

The error occurred by the editing file.(details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルの編集でエラーが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

- <ファイルの絶対パス>のファイルが存在すること。

- <ファイルの絶対パス>のファイルの読み込み権限および書き込み権限があること。

KEDT10015-E

The error occurred by the executing file.(details=<ファイルの絶対パス>)

説明

ファイルの実行でエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前後に出力されているエラーメッセージを参照して対処してください。

上記の対応で対処方法がわからない場合は，次のログファイルを参照してください。

- 呼び出し先のコマンド名（ファイル名）が「cmx」から始まる場合
  <Developerのインストールディレクトリ>¥manager¥log¥message に出力されるログファイル
- 呼び出し先のコマンド名（ファイル名）が「cj」から始まる場合
  <Developerのインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs に出力されるログファイル

KEDT10016-E

The error occurred by the making folder.(details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダの作成でエラーが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

- <フォルダの絶対パス>のフォルダ，およびファイルが存在しないこと。
- <フォルダの絶対パス>の親ディレクトリに書き込み権限があること。

KEDT10017-I

Extracting archive files has started. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

アーカイブファイルの展開を開始したことを表すメッセージです。

KEDT10018-I

Extracting archive files has finished. (details=<ファイルの絶対パス>)

説明

アーカイブファイルの展開が完了したことを表すメッセージです。

KEDT10019-E

The error occurred by the extracting archive files.(details=<ファイルの絶対パス>)

説明

アーカイブファイルの展開でエラーが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

- <ファイルの絶対パス>のファイルが存在すること。

- <ファイルの絶対パス>のファイルの読み込み権限があること。
- アーカイブファイルの展開先ディレクトリに書き込み権限があること。
- アーカイブファイルの展開先ディレクトリと同じパスのファイルがないこと。
- アーカイブファイルの展開先のドライブに十分な空き容量があること。

上記の条件を満たしていてもエラーが発生している場合は，<ファイルの絶対パス>のファイルが壊れているおそれがあります。この場合は，アーカイブファイルを入手し直してください。

KEDT10029-I

Deleting folder has started. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダの削除を開始したことを表すメッセージです。

KEDT10030-I

Deleting folder has finished. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダの削除が完了したことを表すメッセージです。

KEDT10031-E

The error occurred by the deleting folder. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダの削除でエラーが発生しました。

対処

次の内容を確認してください。

- <フォルダの絶対パス>のフォルダが存在すること。
- <フォルダの絶対パス>のフォルダの書き込み権限があること。

KEDT10033-I

Checking folder has started. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダの存在チェックを開始したことを表すメッセージです。

KEDT10034-I

Checking folder has finished. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダの存在チェックが完了したことを表すメッセージです。

KEDT10035-E

The error occurred by the checking folder. (details=<フォルダの絶対パス>)

説明

フォルダの存在チェックでエラーが発生しました。

対処

<フォルダの絶対パス>のフォルダが存在することを確認してください。

KEDT11001-I

Setup of the Eclipse Setup functionality has started.

説明

Eclipse セットアップ機能の開始を表すメッセージです。

KEDT11002-I

Setup functionality has finished.

説明

Eclipse セットアップ機能の完了を表すメッセージです。

KEDT20001-E

%1 has occurred.(details=%2)このメッセージの後にスタックトレースを出力する。

%1：例外の名前

%2：詳細情報

説明

開発環境インスタントセットアップ機能の内部処理で例外（%1）が発生しました。

対処

出力された例外が発生する原因を取り除いてください。

KEDT31001-W

line %1：The trace collection point cannot be recognized.

%1 行目：トレース取得ポイントとして認識できません。

説明

（%1）行目：トレース取得ポイントとして認識できません。

対処

トレース取得ポイントの構文形式を確認してください。

KEDT31002-W

line %1：The trace collection point was not imported because the same trace collection point already exists.

%1 行目：同一の指定形式であったためインポートしませんでした。

説明

（%1）行目：同一の指定形式であったためインポートしませんでした。

対処

［ユーザ拡張性能解析トレース設定ファイルのインポート］ダイアログで［設定済みのトレース取得ポイントと一致する場合上書き］チェックボックスが未チェック，かつすでに設定済みのトレース取得ポイントが定義されていないか確認してください。

KEDT31003-W

line %1：The trace collection point does not correspond to any Java element in the workspace.

%1 行目：トレース取得ポイントに対応する Java 要素がワークスペースに存在しません。

説明

（%1）行目：トレース取得ポイントに対応する Java 要素がワークスペースに存在しません。

対処

Eclipse Java Element が正しく指定されているか確認してください。

13 KEOS (Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージ)

この章では，Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージのうち KEOS02000 から KEOS29999 までのメッセージについて説明します。

13.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KEOSnnnnn-Y　(Z)

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KEOSnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KEOS

Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

Manager を使用した構築・運用・保守で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，02000～29999 の 5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

Q（Question）

出力したメッセージに対して，ユーザの応答を通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，ユーザの応答を待ちます。

R（Request）

出力したメッセージに対するユーザからの応答を待っていることを通知するメッセージです。

なお，KEOS で始まるメッセージの出力先が Management Server の画面の場合，メッセージのレベルによってメッセージテキストの色が異なります。

メッセージのレベルを示す色とその意味を次に示します。

- 赤色：エラーレベルのメッセージを示します。
- 黄色：警告レベルのメッセージを示します。
- 黒色：システム動作を通知するメッセージを示します。

(Z)

メッセージの出力先を表します。出力先は英字 1 文字で示します。

出力先を示す文字とその意味を次に示します。

- C：コンソールに出力されます。
- F：ログファイルに出力されます。
- L：イベントログに出力されます。
- S：syslog に出力されます（UNIX の場合）。
- W：Management Server の画面に出力されます。
- V：リモート管理機能を使用している製品のログに出力されます。

! 注意事項

メッセージの出力先は，マニュアル内で使用する付加情報です。

メッセージテキスト

Manager を使用した構築・運用・保守で出力されるメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は次のどちらかの形式で示します。

- 太字
- 「xx....xx」（xx は英小文字）

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した構成ソフトウェアの動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

13.2　KEOS02000 から KEOS09999 までのメッセージ

Manager を使用した構築・運用・保守で出力される KEOS02000 から KEOS09999 までのメッセージについて説明します。

KEOS02001-E（C）

オプションの指定に誤りがあります。

説明

コマンドの引数に指定されたオプションの指定に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

オプションを正しく指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS02002-E（C）

必須オプションが指定されていません。

説明

コマンドの引数に必須パラメタが指定されていません。

処理を中止します。

対処

オプションを正しく指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS02003-E（C）

Starting the Java application launcher failed. aa....aa is missing.

aa....aa：ファイル名

説明

Java アプリケーション起動コマンドの起動に失敗しました。

処理を中止します。

インストールが失敗している可能性があります。

対処

再インストールしてください。

KEOS02010-E（C）

ファイルにアクセスできません。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

該当ファイルにアクセスできないため，処理を続行できません。

処理を中止します。

対処

次の内容を確認したあと，再度実行してください。

- ファイルがオープン中でないか。
- ファイルが壊れてないか。

KEOS02011-E（C）

指定されたファイルが見付かりません。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

処理を中止します。

対処

正しいファイル名を入れてください。

KEOS02012-E（C）

コンフィギュレーションファイル内に必須項目が指定されていません。 ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

該当ファイル内に記述されているコンフィグレーションの内容が誤っています。

処理を中止します。

対処

ユーザ管理のコンフィグレーションファイルの com.cosminexus.admin.auth.sso.ldap.w で指定した値に対応する次の内容を確認したあと，再度実行してください。

- LDAP サーバの URL 指定（java.naming.provider.url の指定）
- LDAP サーバにアクセスするときのベース DN の指定
  （com.cosminexus.admin.auth.ldap.basedn の指定）

KEOS02020-E（C）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS02020-E」を参照してください。

KEOS02021-E（C）

LDAP サーバへのアクセスに失敗しました。 Exception=aa....aa

aa....aa：例外コード

説明

LDAP ディレクトリサーバへアクセスしたときに，JNDI で例外が発生しました。

処理を中止します。

対処

次の内容を確認したあと，再度実行してください。

- LDAP ディレクトリサーバは起動しているかどうか。
- ユーザ管理のコンフィグレーションファイルに次の項目が正しく指定されているかどうか。
  ・LDAP ディレクトリサーバの URL
  ・ベース DN

・バインド DN

・パスワード

- ユーザ管理のコンフィグレーションファイルで指定された LDAP ディレクトリサーバのバインド DN は，ベース DN 以下のエントリに対して参照，または更新可能なアクセス権を持っているかどうか。
- ユーザ管理のコンフィグレーションファイルで指定された LDAP ディレクトリサーバのベース DN の上位エントリは存在するかどうか。
- シングルサインオンのための拡張オブジェクトクラスおよび属性は正しく LDAP ディレクトリサーバに登録されているかどうか。
- ssoexport コマンドの-u オプションでユーザ ID として不正な文字列を指定していないかどうか。

正しく設定されている場合は，メモリが不足している可能性があります。処理を実行したホストの管理者に連絡して，メモリ不足を解消してください。

上記以外の場合は，LDAP ディレクトリサーバが一時的に負荷が掛かりアクセスできない可能性があるため，少し待ってから再度実行してください。

KEOS02030-E（C）

指定されたファイルの書式に誤りがあります。 ファイル=aa....aa, 行＝ bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行数

説明

指定したファイルの記述で，bb....bb 行目のデータの記述に誤りを検出しました。

入力に指定したファイルが CSV 形式のファイルでないか，またはファイルの記述に誤りがあるため，読み込むことができません。

処理を中止します。

対処

CSV 形式のフォーマットを確認して，再度実行してください。

- 二重引用符（"）は同一行に対で指定されているか。
- 二重引用符（"）で囲んだ文字列の前後にコンマ（,）以外の文字がないか。

KEOS02031-E（C）

項目 ID が指定されていません。 項目 ID=aa....aa, ファイル=bb....bb, 行＝ 1

aa....aa：項目 ID

bb....bb：ファイル名

説明

指定したファイルの記述に誤りがあるため，データを読み込めませんでした。

処理を中止します。

対処

CSV 形式のファイルの 1 行目には，必ず項目 ID を記述してください。ファイルの記述を修正したあと，再度実行してください。

KEOS02032-E（C）

指定した項目 ID はすでに存在します。 項目 ID=aa....aa, ファイル=bb....bb, 行＝ 1

aa....aa：項目 ID

bb....bb：ファイル名

説明

指定したファイルの記述に誤りがあるため，データを読み込めませんでした。

処理を中止します。

対処

CSV 形式のファイルの 1 行目には，重複しない ID を使用して記述してください。ファイルの記述を修正したあと，再度実行してください。

KEOS02036-W（C）

列に値が指定されていません。 ファイル=aa....aa 名, 行＝ bb....bb, 列＝ cc....cc

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行数

cc....cc：列数

説明

指定したファイルの記述で，bb....bb 行，cc....cc 列目の値の指定に誤りを検出しました。

この処理をスキップして次の行を処理します。

cc....cc 列目の値が指定されていません。

対処

bb....bb 行，cc....cc 列目の値を記述したあと，再度処理をしてください。なお，cc....cc 列目の値は，必ず指定してください。

KEOS02037-W（C）

列に無効な値が指定されています。 ファイル=aa....aa, 行＝ bb....bb, 列＝列数 cc....cc

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行数

cc....cc：列数

説明

指定したファイルの記述で，bb....bb 行，cc....cc 列目に指定できない値を検出しました。この処理をスキップして，次の行を処理します。

誤っている列が「OPERATION」の項目の場合，オペレーションモード（A：追加，M：変更，D：削除）で許されていない値が指定されています。

対処

正しい値に修正して，再度実行してください。

KEOS02038-W（C）

プロパティ名の指定値が不正です。デフォルト値を使用します。

説明

プロパティの指定値に誤りがあります。デフォルト値を使用し処理を続行します。

対処

設定ファイルを見直してください。

KEOS02102-E（C）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS02102-E」を参照してください。

KEOS02111-W（C）

既にユーザは登録済みです。 ユーザ ID=aa....aa, レルム=bb....bb, 行=cc....cc

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：レルム名

cc....cc：行数

説明

すでに登録済みのユーザを追加しようとしました。

この処理をスキップして，次の行を処理します。

対処

追加しようとしたユーザ ID およびレルム名に間違いがないかどうかを確認して，間違っていれば正しく値を訂正して，再度実行してください。

KEOS02112-W（C）

ユーザは存在しません。 ユーザ ID=aa....aa, レルム=bb....bb, 行=cc....cc

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：レルム名

cc....cc：行数

説明

存在しないユーザを削除しようとしました。

この処理をスキップして，次の行を処理します。

対処

削除しようとしたユーザ ID およびレルム名に間違いがないかどうかを確認して，間違っていれば正しく値を訂正して，再度実行してください。

KEOS02152-E（C）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS02152-E」を参照してください。

KEOS02202-E（C）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS02202-E」を参照してください。

KEOS02250-E（C）

指定されたパスワードのスクランブル化に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

指定されたパスワードのスクランブル化に失敗しました。

処理を中止します。

対処

パスワードに誤りがないか確認したあと，再度実行してください。

KEOS02251-W（C）

指定されたアクセス情報は無効です。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

統合ユーザ管理のコンフィグレーションファイル内に指定されたアクセス情報がありません。

処理を中止します。

対処

オプションを見直してください。

KEOS02300-E（C／F）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS02300-E」を参照してください。

KEOS02501-W（C）

access denied: aa....aa

aa....aa：ファイル名（理由）

説明

ユーザ管理の設定ファイルにアクセスできません。

デフォルトの設定で処理を継続します。

対処

次の内容を確認して，再起動してください。

- com.cosminexus.admin.auth.config システムプロパティが設定してあるか。
- com.cosminexus.admin.auth.config システムプロパティに設定した設定ファイルがあり，読み込み権限があるか。

13.3　KEOS10000 から KEOS19999 までのメッセージ

Manager の構築・運用・保守で出力される KEOS10000 から KEOS19999 までのメッセージについて説明します。

KEOS10001-E（W／F）

管理ユーザアカウントが設定されていません。

説明

Management Server の設定ファイルに管理ユーザアカウントが登録されていません。

［管理ユーザアカウントの設定］リンクを表示します。

対処

［管理ユーザアカウントの設定］リンクを選択して，管理ユーザのアカウントを設定してください。

KEOS10002-E（W／F）

管理ユーザ ID またはパスワードが違います。

説明

Management Server ログイン時の管理ユーザ ID またはパスワードが違います。

指定された要求を無視して，［ログイン画面］リンクを表示します。

［ログイン画面］リンクを選択すると，［ログイン］画面に戻ります。

対処

正しい管理ユーザ ID またはパスワードを設定してください。

KEOS10003-E（W／F）

管理ユーザ ID が設定されていません。

説明

管理ユーザアカウントの設定画面で，管理ユーザ ID が設定されていません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

管理ユーザアカウントの設定画面で，管理ユーザ ID を設定してください。

KEOS10004-E（W／F）

パスワードの確認入力が正しくありません。

説明

管理ユーザアカウントの設定画面で，入力したパスワードの確認入力が正しくありません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

管理ユーザアカウントの設定画面で，パスワードと同じ情報を確認入力にも設定してください。

KEOS10005-E（W／F）

ホスト名が設定されていません。

説明

ネーミングサービスへの接続の設定画面で，ホスト名が設定されていません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

対処

ネーミングサービスへの接続の設定画面で，ホスト名を設定してください。［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

KEOS10006-E（W／F）

ポート番号に誤りがあります。

説明

ネーミングサービスへの接続の設定画面で，ポート番号の入力形式が正しくありません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

対処

ネーミングサービスへの接続の設定画面で，ポート番号を正しい形式（1～65535）の整数値で設定してください。［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

KEOS10007-E（W／F）

Management Server 接続 HTTP ポート番号に誤りがあります。

説明

ネットワークの設定画面で，Management Server 接続 HTTP ポート番号の入力形式が正しくありません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

ネットワークの設定画面で，Management Server 接続 HTTP ポート番号を正しい形式（1～65535）の整数値で設定してください。

KEOS10008-E（W／F）

Management Server 内部通信用ポート番号に誤りがあります。

説明

ネットワークの設定画面で，Management Server 内部通信用ポート番号の入力形式が正しくありません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

ネットワークの設定画面で，Management Server 内部通信用ポート番号を正しい形式（1～65535）の整数値で設定してください。

KEOS10009-E（W／F）

ログインしていないか，または，タイムアウトのため既にログアウトされています。

説明

現在，Management Server にログインされていません。
指定された要求を無視して，［ログイン画面］リンクを表示します。
［ログイン画面］リンクを選択すると，［ログイン］画面に戻ります。
管理ユーザアカウントの設定を省略している場合は，［ログイン］リンクを表示します。

対処

［ログイン］画面からログインしてください。
管理ユーザアカウントの設定を省略している場合は，［ログイン］リンクを選択してログインしてください。

KEOS10010-I（W／F）

正常にログアウトされました。

説明

Management Server のログアウトを正常に行いました。

KEOS10011-I（W／F）

管理ユーザアカウントの設定を変更しました。

説明

管理ユーザアカウントの設定を変更しました。
新しい設定は，次回のログインから有効になります。

KEOS10012-I（W／F）

ネットワークの設定を変更しました。

説明

ネットワークの設定を変更しました。
新しい設定は，Management Server の再起動後に有効になります。

KEOS10013-I（W／F）

Naming Service への接続の設定を変更しました。

説明

ネーミングサービスへの接続の設定を変更しました。
新しい設定は，Management Server の再起動後に有効になります。

KEOS10014-I（W／F）

ログの設定を変更しました。

説明

ログの設定を変更しました。

ログレベルの新しい設定は，すぐに有効になります。ただし，ログファイル面数とログファイルサイズ，およびログの最大表示件数の新しい設定は，Management Server の再起動後に有効になります。

KEOS10015-E（W／F）

設定ファイルへの保存に失敗しました。 詳細情報＝ aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Management Server の設定時に，Management Server の設定ファイルへの保存に失敗しました。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報を基に，エラーの要因を取り除いてください。詳細情報には，次のメッセージが表示されます。

管理ユーザアカウントの設定，Naming Service への接続の設定，ログの設定，開始時の設定，性能解析トレース収集の設定，JP1 連携の設定の場合

再設定してもエラーが発生する場合，次に示すファイルを削除していないか，またはファイル権限を変更していないかどうかを確認してください。

- Windows の場合

  <Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥config¥mserver.xml

- UNIX の場合

  /opt/Cosminexus/manager/config/mserver.xml

ネットワークの設定の場合

再設定してもエラーが発生する場合，次に示すファイルを削除していないか，またはファイル権限を変更していないかどうかを確認してください。

- Windows の場合

  <Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥config¥mserver.properties

- UNIX の場合

  /opt/Cosminexus/manager/config/mserver.properties

KEOS10019-I（W／F）

Cosminexus Management Server を開始しました。

説明

Management Server を開始しました。

KEOS10020-I（W／F）

Cosminexus Management Server を終了しました。

説明

Management Server を終了しました。

KEOS10021-E（W／F）

ポータル定義ファイル格納ディレクトリが存在しません。

説明

ポータル定義ファイル格納ディレクトリが存在しません。

処理を中止します。

対処

次に示すディレクトリが存在するかどうかを確認してください。

- Windows の場合

  <Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥containers¥m¥webapps¥mngsvr¥mportal¥config

- UNIX の場合

  /opt/Cosminexus/manager/containers/m/webapps/mngsvr/mportal/config

KEOS10022-E（W／F）

ページの呼び出しに失敗しました。

説明

直接 URL を指定して Management Server を起動したため，対応する処理の実行に失敗しました。

処理を中止します。

対処

運用管理ポータルまたはツリーペインから，正しい手順で呼び出してください。

KEOS10023-E（W／F）

選択されたノードは存在しません。

説明

選択されたノードはすでに削除されているか，または変更されているため使用できません。

処理を中止します。

対処

ツリーペインの［ツリーの初期化］を選択してツリーを更新したあと，正しいノードを選択してください。

KEOS10024-E（W／F）

Management Server 終了要求受信ポート番号に誤りがあります。

説明

ネットワークの設定画面で，Management Server 終了要求受信ポート番号の入力形式が正しくありません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

ネットワークの設定画面で，Management Server 終了要求受信ポート番号を正しい形式（1～65535）の整数値で設定してください。

KEOS10025-E（W／F）

ツリーの初期化に失敗しました。

説明

ツリー定義ファイルの読み込みに失敗しました。

処理を中止します。

対処

再度，［運用管理ポータル］画面から，目的の画面を表示させてください。

このときも同様の現象になる場合は，ツリー定義ファイルが破損している可能性があります。保守員に連絡してください。

また，JP1/IM のモニタ起動操作でエラーが発生した場合は，選択している JP1 イベントに関係しているドメインまたは論理サーバが，現在の Management Server の構成に存在しません。この場合，該当する JP1 イベントからは，モニタ起動操作ができません。

KEOS10026-E（W／F）

構成情報の初期化に失敗しました。

説明

構成情報の初期化に失敗しました。

処理を中止します。

対処

構成情報の回復を行って再起動してください。再起動しても解決できない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS10027-I（W／F）

構成情報を退避しました。

説明

構成情報を退避しました。

KEOS10028-E（W／F）

構成情報の退避に失敗しました。

説明

構成情報の退避に失敗しました。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

再設定してもエラーが発生する場合は，存在しないディレクトリを指定していないかどうかを確認してください。

KEOS10029-I（W／F）

構成情報を回復しました。

説明

構成情報を回復しました。

新しい設定は，ツリーペインの［ツリーの初期化］を選択してツリーを更新したあと，有効になります。

KEOS10030-E（W／F）

構成情報の回復に失敗しました。

説明

構成情報の回復に失敗しました。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

再設定してもエラーが発生する場合は，存在しないファイルを指定していないかどうか，または指定したファイルが構成情報の退避で退避したファイルかどうかを確認してください。

KEOS10031-Q（W）

指定された aa....aa ファイルは既に存在します。上書きしますか？

aa....aa：退避するファイルの絶対パス名

説明

すでに存在するファイルに保存する場合に表示されます。

［はい］ボタンまたは［いいえ］ボタンを表示します。

対処

構成情報を上書きする場合は，［はい］ボタンを選択してください。［いいえ］ボタンを選択した場合，この処理は行いません。

KEOS10032-E（W／F）

構成情報ファイル名に誤りがあります。

説明

構成情報の退避・回復画面で，構成情報ファイル名の入力形式が正しくありません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

構成情報の退避・回復画面の構成情報ファイル名を正しい形式（256 文字以内の絶対パス）で設定してください。

KEOS10034-E（W）

指定した URL はアクセスできません。

説明

指定した URL はアクセスできません。

対処

Management Server にアクセスする場合は，正しい手順を使用してください。

KEOS10035-I（W／F）

開始時の設定を変更しました。

説明

開始時の設定を変更しました。

新しい設定は，Management Server の次回開始時に有効になります。

KEOS10036-I（W／F）

性能解析トレース収集の設定を変更しました。

説明

性能解析トレース収集の設定を変更しました。

新しい設定は，すぐに有効になります。

KEOS10037-I（W／F）

JP1 連携の設定を変更しました。

説明

JP1 連携の設定を変更しました。

システム JP1 イベントのフィルタリングの新しい設定は，すぐに有効になります。ただし，システム JP1 イベント発行機能の有効または無効の設定は，Management Server を再起動後，有効になります。

KEOS10038-I（F）

論理サーバが異常停止状態になったため，Management Server を終了します。論理サーバ=aa....aa(bb....bb)

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの稼働状況ステータスが異常停止状態（自動再起動回数をオーバーした状態または自動再起動回数の設定が 0 なら障害を検知した状態）になったため，Management Server を終了します。

KEOS10101-I（L／F）

Management Server service has started.

説明

Management Server のサービスを開始しました。

KEOS10102-I（L／F）

Management Server service ended.

説明

Management Server サービスを停止しました。

KEOS10103-E（L／F）

Management Server service could not be initialized.

説明

Management Server サービスの初期化に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細を示すメッセージが出力されています。メッセージを参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KEOS10104-E（L／F）

Management Server service could not be started.

説明

Management Server サービスを開始できませんでした。

処理を中止します。

対処

再起動しても解決できない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS10105-E（F）

Management Server could not be output information to Event Log service.(ec = aa....aa)

aa....aa：エラーコード

説明

イベントログへの出力ができませんでした。

イベントログへ出力をしないで処理を継続します。

対処

イベントログサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KEOS10106-E（L／F）

Management Server could not be started.

説明

Management Server が起動できませんでした。

処理を中止します。

対処

詳細を示すメッセージが出力されています。メッセージを参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KEOS10108-E（L／F）

The command of Management Server could not be acquired from the registry.

説明

Management Server のコマンドをレジストリから取得できませんでした。

処理を中止します。

対処

再起動しても解決できない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS10109-E（L／F）

Management Server could not be executed.(ec = aa....aa)

aa....aa：エラーコード

説明

Management Server を実行できませんでした。
処理を中止します。

対処

次の要因が考えられます。それぞれの要因に応じて，対処してください。

- **mserver.properties ファイルの内容が不正です。**
  mserver.properties ファイルの内容を確認してください。
- **前提プログラムがインストールされていません。**
  製品の前提プログラムがインストールされていることを確認したあと，再度実行してください。

上記で対処できない場合，Windows のときは mngsvr.exe.[1～16].log，mngsvr.exe.out，mngsvr.exe.err，mngsvrctl.exe.[1～16].log を，UNIX のときは mngsvrctlstart.[1～16].log とコンソールに出力されたメッセージを参照して要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS10110-I（C／F）

Management Server service has started from command line.

説明

コマンドラインから Management Server サービスを開始しました。

KEOS10111-I（C／F）

Management Server service ended from command line.

説明

コマンドラインから Management Server サービスを停止しました。

KEOS10112-E（C／F）

Management Server service could not be started from command line.

説明

コマンドラインからの Management Server サービスの開始に失敗しました。
コマンドの実行を中止します。

対処

次の要因が考えられます。それぞれの要因に応じて，対処してください。

- **すでに Management Server サービスが起動しています。**
  処理を続行するか，またはサービスを停止したあと，再度開始してください。
- **セットアップコマンドを実行していません。**
  セットアップを実行してください。
- **mserver.properties ファイルの内容が不正です。**
  mserver.properties ファイルの内容を確認してください。
- **前提プログラムがインストールされていません。**
  製品の前提プログラムがインストールされていることを確認したあと，再度実行してください。
- **同期実行がタイムアウトしました（コマンド終了コードが 3 の場合）。**

時間をおいたあと，mngsvrutil check コマンドを使用して Management Service が稼働しているかどうかを確認してください。

上記で対処できない場合，Windows のときは mngsvr.exe.[1～16].log，mngsvr.exe.out，mngsvr.exe.err，mngsvrctl.exe.[1～16].log を，UNIX のときは mngsvrctlstart.[1～16].log とコンソールに出力されたメッセージを参照して要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS10113-E（C／F）

Management Server service could not be ended from command line.

説明

コマンドラインからの Management Server サービスの停止に失敗しました。

コマンドの実行を中止します。

対処

次の要因が考えられます。それぞれの要因に応じて，対処してください。

- **すでに Management Server サービスが停止しています。**
  Management Server サービスの動作状態を確認してください。
- **同期実行がタイムアウトしました（コマンド終了コードが 3 の場合）。**
  時間をおいたあと，Management Service が停止しているかどうかを確認してください。

Management Server の動作状態に問題がない場合，Windows のときは mngsvr.exe.[1～16].log，mngsvr.exe.out，mngsvr.exe.err，mngsvrctl.exe.[1～16].log を，UNIX のときは mngsvrctlstop.[1～16].log とコンソールに出力されたメッセージを参照して要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS10114-E（C）（Windows）

usage : mngsvrctl setup [<setup options>]|{start|stop} [<start/stop options>]

<setup options>:

[<server name>] [-u <uid>] [-p <password>]

[-nu <new uid>] [-np <new password>]

<start/stop options>:

[-sync [-timeout <timeout>]]

setup - initializing Management Server environment

start - starting Management Server service

stop - stopping Management Server service

<setup options>:

<server name> - Server name of Web container(default "cosmi_m")

-u <uid> - administrator's user ID

-p <password> - administrator's user password

-nu <new uid> - new administrator's user ID

-np <new password> - new administrator's user password

<start/stop options>:

-sync - Synchronously executes the command.

-timeout <timeout> - Sets the timeout for synchronous execution.

説明

コマンドの起動方法に誤りがあります。

コマンドの実行を中止します。

対処

正しいコマンドを入力して，実行し直してください。

KEOS10114-E（C）（UNIX）

usage : mngsvrctl setup [<setup options>]|{start|stop} [<start/stop options>]

<setup options>:

[<server name>] [-u <uid>] [-p <password>]

[-nu <new uid>] [-np <new password>]

<start/stop options>:

[-sync [-timeout <timeout>]] [-daemon]

setup - initializing Management Server environment

start - starting Management Server service

stop - stopping Management Server service

<setup options>:

<server name> - Server name of Web container(default "cosmi_m")

-u <uid> - administrator's user ID

-p <password> - administrator's user password

-nu <new uid> - new administrator's user ID

-np <new password> - new administrator's user password

<start/stop options>:

-sync - Synchronously executes the command.

-timeout <timeout> - Sets the timeout for synchronous execution.

-daemon - Starts the command as a daemon process.

説明

コマンドの起動方法に誤りがあります。

コマンドの実行を中止します。

対処

正しいコマンドを入力して，実行し直してください。

KEOS10117-E（L／F）

Management Server could not make a temporary file.

説明

一時ファイルの作成に失敗しました。

コマンドの実行を中止します。

mserver.properties ファイルの内容が不正の可能性があります。

対処

ファイルの内容を確認してください。

解決しない場合は，次に示す対処をしてください。

- Windows の場合

  <Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥config¥templates にある初期状態の mserver.properties を，<Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥config に上書きコピーして，再度実行してください。

- UNIX の場合

  /opt/Cosminexus/manager/config/templates にある初期状態の mserver.properties を，/opt/Cosminexus/manager/config に上書きコピーして，再度実行してください。

KEOS10118-I（C／F）

Management Server was initialized normally.

説明

Management Server のセットアップに成功しました。

KEOS10119-E（C／F）

Management Server could not be initialized normally.

説明

Management Server のセットアップに失敗しました。

コマンドの実行を中止します。

対処

次の要因が考えられます。それぞれの要因に応じて，対処してください。

- すでにセットアップ済みです。

  処理を続行してください。

- 指定したサーバ名が不正です。

  サーバ名を変更して再度実行してください。

- 指定したサーバ名はすでに使用されています。

  サーバ名を変更して再度実行してください。

- 前提プログラムがインストールされていません。

  製品の前提プログラムがインストールされていることを確認したあと，再度実行してください。

- Mnagement Server が起動しています。（Windows の場合）

  Management Server を停止したあと，再度実行してください。

上記で対処できない場合，Windows のときは mngsvr.exe.[1～16].log，mngsvr.exe.out，mngsvr.exe.err，mngsvrctl.exe.[1～16].log を，UNIX のときは mngsvrctlsetup.[1～16].log とコンソールに出力されたメッセージを参照して要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS10120-E（L／F）

Management Server could not acquired the server name.

説明

サーバ名を取得できませんでした。

コマンドの実行を中止します。

エラーの要因として，セットアップコマンドを実行していないことが考えられます。

対処

セットアップコマンドを実行してください。

エラーの要因を取り除けない場合，Windows のときは mngsvr.exe.[1～16].log，mngsvr.exe.out，mngsvr.exe.err，mngsvrctl.exe.[1～16].log を，UNIX のときは mngsvrctlstart.[1～16].log を参照して要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS10121-E（C／F）

Management Server could not be started.(ec = aa....aa)

aa....aa：エラーコード

説明

Management Server が起動できませんでした。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS10122-E（L／F）

Since an error occurred, Management Server service stopped.

説明

Management Server が異常停止しました。

処理を中止します。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを基に要因を調査し，対処してください。

KEOS10123-E（W／F）

aa....aa では運用管理ポータルは使用できません。

aa....aa：製品名

説明

aa....aa に示された Cosminexus 統合形式名の製品名では運用管理ポータルは使用できません。処理を中止します。

対処

運用管理ポータルは使用できません。

KEOS10124-W（L／F）

プロパティ(aa....aa)の指定値が不正です。既に設定されている値を使用します。

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティの指定値が不正です。すでに設定されている値を使用します。処理を続行します。

対処

環境変数定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS10126-E（W／F）

common library で障害が発生しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

common library で障害が発生しました。処理を中止します。

対処

再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS10127-E（L／F）

An attempt to copy the file has failed. (src=aa....aa, dest=bb....bb)

aa....aa：コピー元

bb....bb：コピー先

説明

ファイルのコピーに失敗しました。処理を中止します。

対処

再起動しても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS10128-I（C／F）

The settings of the administrator's user account were changed.

説明

管理ユーザアカウントの設定を変更しました。

KEOS10129-E（C／F）

An administrator's user ID or a password is incorrect.

説明

管理ユーザ ID またはパスワードが違います。処理を中止します。

対処

正しい管理ユーザ ID またはパスワードを設定して再度実行してください。

KEOS10130-E（C／F）

The configuration file could not be saved.

説明

設定ファイルへの保存に失敗しました。処理を中止します。

対処

<Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥config にある，mserver.xml ファイルを削除していないか，またはファイル権限を変更していないかどうかを確認してください。

KEOS10131-E（C／F）

A connection to Management Server could not be established.

説明

Management Server に接続できませんでした。処理を中止します。

対処

mserver.properties ファイルの内容が不正のおそれがあります。ファイルの内容を確認してください。解決しない場合は Management Server を停止して再度実行してください。

KEOS10132-E（C）

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

説明

管理者特権がないためコマンドを実行できません。処理を中止します。

対処

管理者として実行したコマンドプロンプト上で，再度コマンドを実行してください。

KEOS10133-E（C）

An error occurred while the permissions were being checked.

説明

権限の判定中にエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。空きメモリを増やしたあと，再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS10134-I（C／F）

The user ID and password of the Management Server administrator account is not set because the management user account is disabled.

説明

管理ユーザアカウントが無効に設定されているため，Management Server の管理上のアカウントのユーザ ID およびパスワードは設定しません。

KEOS10135-E（W／F）

設定情報ファイルに異常があるか，または設定情報ファイルの格納先に問題があるため，設定情報の保存に失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

設定情報ファイルが異常であるか，または，設定情報ファイルの格納先に問題があるため設定情報ファイルの保存に失敗しました。

処理を続行します。

対処

ディスクフルが発生しているおそれがあります。Management Server のインストール先のディスクドライブに空き容量が十分にあることを確認してください。空き容量がない場合は十分に空き容量を確保して，直前の作業を再度実行してください。対処の詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 運用管理ポータル操作ガイド」の「7.6.5　操作画面に KEOS10135-E メッセージが表示された場合の対処」を参照してください。

KEOS10136-W（F）

Synchronous execution of Management Server failed.

説明

Management Server の同期実行に失敗しました。

同期実行を中止します。

対処

時間をおいたあと，mngsvrutil check コマンドを使用して Management Service が稼働しているかどうかを確認してください。稼働が確認できない場合は mngsvr.exe.[1～16].log，mngsvr.exe.out，mngsvr.exe.err，および mngsvrctl.exe.[1～16].log に出力されたメッセージを参照して，原因を取り除いたあとに再度実行してください。

KEOS10137-I（F）

Specified options: aa....aa

aa....aa：指定されたオプション

説明

mngautorun コマンド，adminagentctl コマンド，または mngsvrctl コマンドの実行で，起動または停止に指定したオプションです。

KEOS11020-E（W／F）

運用管理ドメイン構成定義ファイルの出力に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

運用管理ドメイン構成定義ファイルの出力に失敗しました。

運用管理ドメイン構成定義ファイルを出力しません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

Management Server のインストール先のディスクドライブに空き容量が十分あることを確認してください。

KEOS11038-I（W／F）

運用管理ドメインを編集しました。 ドメイン名=[aa....aa] 表示名=[bb....bb]

aa....aa：ドメイン名

bb....bb：表示名

説明

運用管理ドメインを編集しました。

KEOS11040-I（W／F）

ホストを定義しました。 ホスト名=[aa....aa] 表示名=[bb....bb]

aa....aa：ホスト名

bb....bb：表示名

説明

ホストを定義しました。

KEOS11041-I（W／F）

ホストを編集しました。 ホスト名=[aa....aa] 表示名=[bb....bb]

aa....aa：ホスト名

bb....bb：表示名

説明

ホストを編集しました。

KEOS11042-I（W／F）

ホストを削除しました。 ホスト名=[aa....aa] 表示名=[bb....bb]

aa....aa：ホスト名

bb....bb：表示名

説明

ホストを削除しました。

KEOS11043-I（W／F）

ホストを削除しました。 削除したホスト=[aa....aa]

aa....aa：表示名

説明

ホストを削除しました。

KEOS11050-I（W／F）

論理サーバを追加しました。 種別=[aa....aa] 論理サーバ名=[bb....bb] 表示名=[cc....cc]

aa....aa：種別

bb....bb：論理サーバ名

cc....cc：表示名

説明

論理サーバを追加しました。

KEOS11051-I（W／F）

論理サーバを編集しました。 種別=[aa....aa] 論理サーバ名=[bb....bb] 表示名=[cc....cc]

aa....aa：種別

bb....bb：論理サーバ名

cc....cc：表示名

説明

論理サーバを編集しました。

KEOS11052-I（W／F）

論理サーバを削除しました。 種別=[aa....aa] 論理サーバ名=[bb....bb] 表示名=[cc....cc]

aa....aa：種別

bb....bb：論理サーバ名

cc....cc：表示名

説明

論理サーバを削除しました。

KEOS11053-I（W／F）

論理サーバを削除しました。 削除した論理サーバ=[aa....aa]

aa....aa：表示名

説明

論理サーバを削除しました。

KEOS11060-E（W／F）

ホストが定義されていません。

説明

ホストが定義されていません。

選択されたノードに対応した画面を表示しません。

対処

論理サーバを配置するホストを定義してください。

KEOS11061-E（W／F）

ホストの定義に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

ホストの定義に失敗しました。

ホストを定義しません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11062-E（W／F）

ホストの編集に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

ホストの編集に失敗しました。

ホストを編集しません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11063-E（W／F）

ホストの削除に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

ホストの削除に失敗しました。

ホストを削除しません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11064-W（W／F）

削除に失敗したホストがあります。 削除に失敗したホスト=[aa....aa]

aa....aa：表示名

説明

幾つかのホストの削除に失敗しました。

削除できるホストだけを削除します。

対処

ホストに論理サーバが配置されているため，削除に失敗しました。配置されている論理サーバを削除したあと，再度実行してください。

KEOS11070-E（W／F）

論理サーバの追加に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

論理サーバの追加に失敗しました。

論理サーバを追加しません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11071-E（W／F）

論理サーバの編集に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

論理サーバの編集に失敗しました。

論理サーバを編集しません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11072-E（W／F）

論理サーバの削除に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

論理サーバの削除に失敗しました。

論理サーバを削除しません。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11080-I（W／F）

実サーバ名を編集しました。編集した論理サーバ=[aa....aa]

aa....aa：表示名

説明

実サーバ名を編集しました。

KEOS11081-E（W／F）

実サーバ名の編集に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：障害の情報

説明

実サーバ名の編集に失敗しました。

実サーバ名を編集しません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11082-I（W／F）

aa....aa をセットアップしました。ホスト=[bb....bb] 実サーバ=[cc....cc]

aa....aa：表示名

bb....bb：ホスト名

cc....cc：実サーバ名

説明

J2EE サーバをセットアップしました。

KEOS11083-E（W／F）

aa....aa のセットアップに失敗しました。詳細情報=bb....bb

aa....aa：表示名

bb....bb：詳細情報

説明

J2EE サーバのセットアップに失敗しました。

J2EE サーバをセットアップしません。

対処

詳細情報として表示された内容を確認して，問題を解決したあと，再度実行してください。詳細情報には，次の内容が表示されます。

運用管理エージェントと通信できませんでした。

- 該当論理サーバの稼働ホストで運用管理エージェントが起動しているかどうか。
- Management Server の構成定義で定義した運用管理エージェントのポート番号は，J2EE サーバをセットアップするホストで稼働している運用管理エージェントと同じポート番号かどうか。
- Management Server の構成定義で定義しているホスト名に問題はないかどうか（ping コマンドなどで正しく通信ができているかどうか)。
- 運用管理エージェントのプロパティ（adminagent.properties）に「adminagent.adapter.allowedHosts」を指定している場合，アクセスしている Management Server のホストが許可されているかどうか。

セットアップコマンドが異常終了しました。

- 大文字と小文字だけの異なる名称の J2EE サーバがすでにセットアップされていないかどうか（セットアップ先のプラットホームが Windows の場合)。
- セットアップする実サーバ名の文字列長が次の条件式を満たしているかどうか。

  （実サーバ名の文字列長）＝ 220 - （Component Container のインストールディレクトリのパス名長）［単位：バイト］

セットアップコマンドの実行環境が不正です。

J2EE サーバをセットアップするホストに，前提製品がインストールされていることを確認してください。

前提製品がインストールされている場合は，動作環境が破損している可能性があります。再起動および前提製品を再インストールしても問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS11084-E（W／F）

実サーバのセットアップを開始できませんでした。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

J2EE サーバのセットアップ開始時にエラーが発生しました。

J2EE サーバをセットアップしません。

指定された要求を無視して，［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，直前で操作していた画面に戻ります。

対処

詳細情報として表示された問題を解決したあと，再度実行してください。

KEOS11091-I（C）

Usage:

aa....aa

aa....aa：コマンドの使用方法

説明

処理を中止します。コマンドの実行を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS11092-I（C）

The Management Server managed file was saved.

説明

Management Server 管理ファイルを退避しました。

KEOS11093-E（C）

The Management Server managed file could not be saved. (cause = aa....aa)

aa....aa：原因

説明

Management Server 管理ファイルの退避に失敗しました。コマンドの実行を中止します。

対処

存在しない定義ファイルを指定していないかどうか確認してください。

KEOS11094-I（C）

The Management Server managed file was recovered.

説明

Management Server 管理ファイルを回復しました。

KEOS11095-E（C）

The Management Server managed file could not be recovered. (cause = aa....aa)

aa....aa：原因

説明

Management Server 管理ファイルの回復に失敗しました。コマンドの実行を中止します。

対処

存在しないファイルを指定していないかどうか，上書きできないファイルが含まれていないかどうか，または指定したファイルが管理ファイルの退避で退避したファイルであるかどうかを確認してください。

KEOS12001-E（W）

J2EE サーバと接続ができませんでした。

説明

監視対象の J2EE サーバにアクセスしようとしましたが，接続に失敗しました。

監視処理を中断します。

対処

次の内容を確認してください。

- CORBA ネーミングサービスが起動しているかどうか。
- 起動している CORBA ネーミングサービスの設定（ポート番号）は，Management Server で設定している値と同じかどうか。
- 監視対象の J2EE サーバが起動しているかどうか。
- 監視対象の J2EE サーバで運用監視エージェントが設定されているかどうか。

  設定されていない場合は，設定したあと再起動してください。
- 監視対象の J2EE サーバに設定している内容と「運用管理ドメインの構成定義」で定義した内容が一致しているかどうか。

  監視対象の J2EE サーバの設定が間違っている場合は，設定を変更し再起動します。そのあと，参照したいノードをツリーペインから選択してください。

  「運用管理ドメインの構成定義」で定義した J2EE サーバの論理サーバ名が間違っている場合は，「運用管理ドメインの構成定義」の定義を正しく修正して，「論理サーバの運用監視」を再表示します。ツリーペインで［ツリーの初期化］を選択してツリーを最新の状態にしたあと，参照したいノードをツリーペインから選択してください。
- J2EE サーバ起動中に選択した場合は，一時的に回線に負荷が掛かり通信に失敗した可能性があります。再度，参照したいノードをツリーペインから選択してください。

KEOS12002-E（W）

監視対象が見つかりません。

説明

監視対象の MBean が見つかりませんでした。

メトリックを採取しません。

対処

次の内容について確認してください。

- 監視対象のリソースで，監視が無効になっていないかどうか。
- 監視対象のリソースがアンデプロイなどによって削除されていないかどうか。

KEOS12003-E（W）

予期しない例外が発生しました。 詳細情報＝ aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

詳細情報に表示された予期しない現象が発生しました。

監視処理を中断します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS12004-E（W）

構成定義情報の参照に失敗しました。

説明

構成定義情報が変更されているため，監視対象の J2EE サーバクラスタまたは J2EE サーバの参照に失敗しました。

監視処理を中断します。

対処

ツリーペインで［ツリーの初期化］を選択してツリーを最新の状態にしてください。そのあと，参照したいノードをツリーペインから選択してください。

KEOS12005-E（W）

SFO サーバ用の J2EE サーバと接続ができませんでした。

説明

監視対象の SFO サーバ用の J2EE サーバにアクセスしようとしましたが, 接続に失敗しました。監視処理を中断します。

対処

次の内容を確認してください。

- CORBA ネーミングサービスが起動しているかどうか。
- 起動している CORBA ネーミングサービスの設定（ポート番号）は，Management Server で設定している値と同じかどうか。
- 監視対象の SFO サーバ用の J2EE サーバが起動しているかどうか。
- 監視対象の SFO サーバ用の J2EE サーバで運用監視エージェントが設定されているかどうか。
- 設定されていない場合は，設定したあと再起動してください。
- 監視対象となる SFO サーバ用の J2EE サーバに設定している内容と「運用管理ドメインの構成定義」で定義した内容が一致しているかどうか。

  監視対象となる SFO サーバ用の J2EE サーバの設定が間違っている場合は，設定を変更し再起動します。そのあと，参照したいノードをツリーペインから選択してください。

  「運用管理ドメインの構成定義」で定義した SFO サーバ用の J2EE サーバの論理サーバ名が間違っている場合は,「運用管理ドメインの構成定義」の定義を正しく修正して,「論理サーバの運用監視」を再表示します。ツリーペインで［ツリーの初期化］を選択してツリーを最新の状態にしたあと，参照したいノードをツリーペインから選択してください。
- SFO サーバ用の J2EE サーバ起動中に選択した場合は，一時的に回線に負荷が掛かり通信に失敗した可能性があります。再度，参照したいノードをツリーペインから選択してください。

KEOS13000-E（W／F）

J2EE サーバと接続ができませんでした。

説明

監視対象の J2EE サーバにアクセスしようとしましたが，接続に失敗しました。

処理を行いません。

対処

次の内容を確認してください。

- CORBA ネーミングサービスは起動しているかどうか。
- 使用する CORBA ネーミングサービスのポート番号は，Management Server で設定している値と同じかどうか。
- 監視対象の J2EE サーバが起動しているかどうか。
- 監視対象の J2EE サーバで運用監視エージェントの設定がされているかどうか。

  設定されていない場合は，設定したあと再起動してください。
- 監視対象の J2EE サーバに設定している内容と「運用管理ドメインの構成定義」で定義した内容が一致しているかどうか。

  監視対象の J2EE サーバの設定が間違っている場合は，設定を変更し再起動します。そのあと，参照したいノードをツリーペインから選択してください。

  「運用管理ドメインの構成定義」で定義した J2EE サーバの論理サーバ名が間違っている場合は，「運用管理ドメインの構成定義」の定義を正しく修正して，「論理サーバの運用監視」を再表示します。ツリーペインで［ツリーの初期化］を選択してツリーを最新の状態にしたあと，参照したいノードをツリーペインから選択してください。
- J2EE サーバ起動中に選択した場合は，一時的に回線に負荷が掛かり通信に失敗した可能性があります。再度，参照したいノードをツリーペインから選択してください。

KEOS13001-E（W／F）

選択した J2EE サーバでは統合ユーザ管理を使用していないため監視できません。

説明

J2EE サーバに統合ユーザ管理を使用するためのコンフィグレーションファイルが設定されていません。

処理を行いません。

対処

J2EE サーバで統合ユーザ管理の機能を利用する場合は，統合ユーザ管理を設定してください。

KEOS13009-E（W／F）

予期しない例外が発生しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

詳細情報に表示された予期しない現象が発生しました。

処理を行いません。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS13010-W（W／F）

aa....aa のアクセスに失敗しました。詳細情報=bb....bb

aa....aa：リポジトリ

bb....bb：例外コード

説明

接続先 URL で指定されたリポジトリ（LDAP ディレクトリサーバまたは RDB）にアクセスしましたが，詳細情報に示す例外が発生したためアクセスに失敗しました。

この処理を無視して，次の処理を行います。

詳細情報に「javax.naming.CommunicationException」などの通信障害を示す情報が出力されている場合は，リポジトリが起動していないことが考えられます。また，接続先 URL が間違っている可能性もあります。

対処

モニタしている J2EE サーバで設定している統合ユーザ管理のコンフィグレーションファイルの指定を確認してください。値が正しく設定されている場合は，リポジトリに一時的に負荷が掛かりアクセスできないときがあるため，少し待ってから再度実行してください。

KEOS13100-Q（W）

aa....aa の bb....bb はすでに存在します。上書きしてよろしいですか？

aa....aa：レルム

bb....bb：ユーザ ID

説明

すでに存在するユーザエントリに対して登録処理を行った場合に表示されます。

［はい］ボタンまたは［いいえ］ボタンを表示します。

対処

ユーザ情報を上書きする場合は，［はい］ボタンを選択してください。［いいえ］ボタンを選択した場合，この処理を行いません。

KEOS13101-Q（W）

aa....aa を削除します。管理されているエントリは全て削除されますがよろしいですか？

aa....aa：レルム

説明

レルム削除時は下位エントリがすべて削除されるため，ユーザに確認します。

［削除］ボタンを表示します。

対処

レルムを削除する場合は，［削除］ボタンを選択してください。

KEOS13102-Q（W）

aa....aa の bb....bb を削除します。よろしいですか？

aa....aa：レルム

bb....bb：ユーザ ID

説明

ユーザエントリの削除をユーザに確認します。

［削除］ボタンを表示します。

対処

ユーザエントリを削除する場合は，［削除］ボタンを選択してください。

KEOS13103-E（W／F）

aa....aa は既に存在します。

aa....aa：レルム

説明

指定したレルムと同一のレルムがすでに LDAP ディレクトリサーバに存在します。

［戻る］リンクを表示します。［戻る］リンクを選択すると，［レルム作成］画面に戻ります。

対処

登録するレルム名を変更して，再度登録してください。

KEOS13104-E（W／F）

LDAP サーバのアクセスに失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：例外コード

説明

［バインド情報］画面で指定した情報で LDAP ディレクトリサーバにアクセスできなかった場合に発生します。

［戻る］リンクを表示します。［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

［バインド情報］画面に入力した内容が適切であるかどうかを確認してください。また，LDAP ディレクトリサーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していて，設定が正しく設定されている場合は，リポジトリに一時的に負荷が掛かりアクセスできないときがあるため，少し待ってから再度実行してください。

KEOS13105-E（W／F）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS13105-E」を参照してください。

KEOS13106-E（W／F）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS13106-E」を参照してください。

KEOS13107-E（W／F）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS13107-E」を参照してください。

KEOS13108-E（W）

aa....aa はすでに削除されています。

aa....aa：レルム

説明

ユーザを管理する画面ですでに削除されているレルムに対して，ツリーペインまたはタブから操作しました。

メッセージだけを表示します。

対処

ツリーペインからツリーを初期化してください。または，ツリーペインから存在するほかのレルムを選択してください。存在するレルムを選択している場合，リポジトリに一時的に負荷が掛かりアクセスできない可能性があるため，少し待ってから再度実行してください。

KEOS13109-E（W）

aa....aa の bb....bb はすでに削除されています。

aa....aa：レルム

bb....bb：ユーザ ID

説明

ユーザを管理する画面ですでに削除されているユーザエントリに対して，ユーザを検索する画面またはタブから操作しました。

メッセージだけを表示します。

対処

ユーザ検索画面で，削除されていないユーザエントリを選択してください。存在するユーザエントリを選択している場合，リポジトリに一時的に負荷が掛かりアクセスできない可能性があるため，少し待ってから再度実行してください。

KEOS13110-E（W／F）

パスワードが違います。

説明

入力されたパスワードと再入力したパスワードが一致しません。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

パスワードをもう一度入力してください。

KEOS13111-E（W／F）

必須項目が指定されていません。

説明

必須項目が入力されていません。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

画面に表示される項目名に適切な値を入力したあと，再度要求してください。

KEOS13112-E（W／F）

aa....aa はすでに登録されています。

aa....aa：項目名

説明

登録しようとした内容はすでに登録済みです。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

エラーが発生した状況に応じて，対処してください。

ユーザエントリのスキーマ定義の場合

追加するオブジェクトクラスが登録されていないことを確認してください。

追加する任意属性の表示名が登録されていないことを確認してください。

追加するリスナクラスが登録されていないことを確認してください。

ユーザエントリの作成・編集画面の場合

追加するマッピング情報の接続先レルム名が登録されていないことを確認してください。

KEOS13113-W（W）

リスナクラスの登録に失敗しました。リスナクラス=aa....aa 詳細情報=bb....bb

aa....aa：リスナクラス名

bb....bb：例外コード

説明

リスナクラスを設定情報に適用しようとしましたが，失敗しました。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

リスナクラスの格納先ディレクトリに，指定したリスナクラスが存在することを確認してください。また，統合ユーザ管理フレームワークが提供するSSODataListenerインタフェースを実装したクラスであることを確認してください。

KEOS13114-W（W）

リスナクラスの呼び出しで失敗しました。リスナクラス=aa....aa 詳細情報=bb....bb

aa....aa：リスナクラス名

bb....bb：例外コード

説明

リスナクラスからの例外をキャッチしたため，処理が中止されました。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

利用するリスナクラスが，利用できる仕様を満たすクラスであることを確認してください。

KEOS13115-E（W／F）

設定情報ファイルの読み込みに失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：例外コード

説明

設定情報ファイルの読み込みに失敗しました。

メッセージだけを表示します。

各画面ではデフォルト値が適用されます。なお，各画面で作成，適用，更新，および削除の操作を行うと，その時点の設置内容が保存されます。

対処

次に示すディレクトリに，editusersConfig.dtd と editusersConfig.xml が存在して，読み込み権限があることを確認してください。

- Windows の場合

  <Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥containers¥m¥j2eeapps¥mngsvr¥mportal¥useradmin¥config¥data

- UNIX の場合

  /opt/Cosminexus/manager/containers/m/j2eeapps/mngsvr/mportal/useradmin/config/data

存在しない場合は，製品を再インストールしてください。

ファイルが存在する場合は，内容が不正な可能性があります。editusersConfig.xml.bak ファイル名を editusersConfig.xml に変更したあと，再度ユーザを管理する画面を起動してください。

KEOS13116-E（W／F）

設定情報ファイルの書き込みに失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：例外コード

説明

設定情報ファイルの保存に失敗しました。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

Management Server のインストール先のディスクドライブに空き容量が十分あることを確認してください。

KEOS13117-I（W／F）

バインド情報を適用しました。

説明

バインド情報が適用されました。

［戻る］リンクを表示します。

対処

［戻る］リンクを選択してください。［戻る］リンクを選択すると，バインド情報の設定画面に戻ります。

KEOS13118-I（W／F）

aa....aa を作成しました。

aa....aa：レルム

説明

レルムが作成されました。

［戻る］リンクを表示します。

対処

［戻る］リンクを選択してください。［戻る］リンクを選択すると，レルムを作成する画面に戻ります。

KEOS13119-I（W／F）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS13119-I」を参照してください。

KEOS13120-I（W／F）

ユーザエントリのスキーマ定義を更新しました。

説明

ユーザエントリのスキーマ定義を更新しました。

［戻る］リンクを表示します。

対処

［戻る］リンクを選択してください。［戻る］リンクを選択すると，ユーザエントリのスキーマを定義する画面に戻ります。

KEOS13121-I（W／F）

aa....aa の bb....bb を作成しました。

aa....aa：レルム

bb....bb：ユーザ ID

説明

ユーザエントリを作成しました。

［戻る］リンクを表示します。

対処

［戻る］リンクを選択してください。［戻る］リンクを選択すると，ユーザエントリの作成画面に戻ります。

KEOS13122-I（W／F）

aa....aa の bb....bb を更新しました。

aa....aa：レルム

bb....bb：ユーザ ID

説明

ユーザエントリを更新しました。

［戻る］リンクを表示します。

対処

［戻る］リンクを選択してください。［戻る］リンクを選択すると，ユーザエントリの編集画面に戻ります。

KEOS13123-I（W／F）

aa....aa を正常に削除しました。

aa....aa：レルム

説明

レルムとレルムで管理されている下位エントリをすべて削除しました。

メッセージだけ表示します。

対処

ツリーペインからツリーを初期化してください。初期化したあと，ツリーペインでほかの画面に移動してください。

KEOS13124-I（W／F）

aa....aa の bb....bb を正常に削除しました。

aa....aa：レルム

bb....bb：ユーザ ID

説明

ユーザエントリを削除しました。

メッセージだけ表示します。

対処

ツリーペインでほかの画面に移動してください。

KEOS13125-E（W／F）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS13125-E」を参照してください。

KEOS13126-E（W／F）

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEOS13126-E」を参照してください。

KEOS13127-W（W／F）

aa....aa の追加に失敗しました。

aa....aa：レルム

説明

入力されたレルムを，リポジトリを管理する画面から操作できません。

［戻る］リンクを表示します。

入力されたレルム名と同一名のエントリが接続するリポジトリにすでに存在しますが，統合ユーザ管理フレームワークが推奨する標準の DIT に従っていないため追加に失敗しています。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

作成するレルム名を変更するか，または標準の DIT に従ったエントリを指定してください。

KEOS13128-E（W／F）

aa....aa は必須属性として既に登録されています。

aa....aa：属性名

説明

入力された属性名は，すでに必須属性として使用されています。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

登録する属性名を変更してください。変更できない場合は，必須属性に指定された同名の属性名を変更してください。

KEOS13129-E（W／F）

aa....aa は任意属性として既に登録されています。

aa....aa：属性名

説明

入力された属性名は，すでに任意属性として使用されています。

［戻る］リンクを表示します。

［戻る］リンクを選択すると，呼び出し元画面に戻ります。

対処

登録する属性名を変更してください。変更できない場合は，任意属性の一覧から同名の属性名を削除してください。

KEOS14000-I（F）

management agent を開始します。

説明

management agent（運用監視エージェント）の動作を開始します。

KEOS14001-I（F）

management agent を停止します。

説明

management agent（運用監視エージェント）の動作を停止します。

KEOS14002-E（F）

management agent を開始できません。

説明

management agent（運用監視エージェント）の動作の開始に失敗しました。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14003-E（F）

management agent の停止に失敗しました。

説明

management agent（運用監視エージェント）の動作の停止に失敗しました。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14004-E（C）

ファイルを開けません。 ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルのオープンに失敗しました。

運用監視エージェントの動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

ファイルの名前や権限などの動作環境や設定を確認してください。

KEOS14005-E（F）

ORB の初期化に失敗しました。

説明

ORB の初期化ができませんでした。

運用監視エージェントの動作を停止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14006-E（C）

ドメイン名が指定されていません。

説明

運用監視エージェントのドメイン名が正しく指定されていません。

運用監視エージェントの動作を停止します。

対処

運用監視エージェントのドメイン名を適切に設定してください。

KEOS14007-E（C）

エージェント名が指定されていません。

説明

運用監視エージェントのエージェント名が正しく指定されていません。

運用監視エージェントの動作を停止します。

対処

運用監視エージェントのエージェント名を適切に設定してください。

KEOS14008-E（F）

エージェント名がすでに使用されています。

説明

運用監視エージェントのエージェント名がすでに使用されています。

運用監視エージェントの動作を停止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14009-E（F）

ORB 関係の障害が発生しました。 詳細=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

ORB 関係で何らかの障害が発生しました。

運用監視エージェントの動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14010-E（F）

Naming Service 関係の障害が発生しました。 詳細=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

CORBA ネーミングサービス関係で何らかの障害が発生しました。

運用監視エージェントの動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14011-E（C）

ログファイル数の指定が不正です。

説明

運用監視エージェントのログファイル数の指定が正しくありません。

デフォルト値を使用して運用監視エージェントの動作を継続します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14012-E（C）

ログファイルサイズの指定が不正です。

説明

運用監視エージェントのログファイルサイズの指定が正しくありません。

デフォルト値を使用して運用監視エージェントの動作を継続します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14013-E（C）

ログファイル名の指定が不正です。

説明

運用監視エージェントのログファイル名の指定が正しくありません。

デフォルト値を使用して運用監視エージェントの動作を継続します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS14014-E（C）

ドメイン名の指定が不正です。

説明

運用監視エージェントのドメイン名の指定が正しくありません。

運用監視エージェントの動作を停止します。

対処

運用監視エージェントのドメイン名を適切に設定してください。

KEOS14015-E（C）

エージェント名の指定が不正です。

説明

運用監視エージェントのエージェント名の指定が正しくありません。

運用監視エージェントの動作を停止します。

対処

運用監視エージェントのエージェント名を適切に設定してください。

KEOS14016-E（F）

RMI レジストリとの接続に失敗しました。詳細=aa....aa

aa....aa：障害の詳細・理由

説明

RMI レジストリとの接続に失敗しました。management agent(運用監視エージェント)の動作を停止します。

対処

J2EE サーバの RMI レジストリに関する設定を見直してください。

KEOS14017-E（F）

RMI レジストリ関係の障害が発生しました。詳細=aa....aa

aa....aa：障害の詳細・理由

説明

RMI レジストリ関係の何らかの障害が発生しました。management agent(運用監視エージェント)の動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

詳細情報を参照して，動作環境や設定を確認してください。

KEOS16001-I（F）

Authentication succeeded. (remote address = aa....aa)

aa....aa：クライアントの IP アドレス

説明

クライアントの認証に成功しました。

ログファイルにメッセージを出力して，処理を続行します。

KEOS16002-E（F）

Authentication failed. (remote address = aa....aa)

aa....aa：クライアントの IP アドレス

説明

クライアントの認証に失敗しました。

ログファイルにメッセージを出力して，処理を続行します。

対処

Management Server ログイン時の管理ユーザ ID またはパスワードを確認してください。

KEOS16003-I（F）

Authentication was challenged. (remote address = aa....aa)

aa....aa：クライアントの IP アドレス

説明

HTTP によるアクセスを確認しました。

ログファイルにメッセージを出力して，処理を続行します。

KEOS16004-E（F）

Access was denied. (remote address = aa....aa)

aa....aa：クライアントの IP アドレス

説明

クライアントに対してアクセスを拒否しました。

ログファイルにメッセージを出力して，処理を続行します。

対処

クライアントから不正なアクセスが行われていないか確認してください。

KEOS16005-W（F）

Access was denied. (property file = aa....aa)

aa....aa：プロパティファイル名

説明

プロパティファイルにアクセスできません。

ログファイルにメッセージを出力して，処理を続行します。

対処

プロパティファイルが存在するかどうか，またはプロパティファイルにアクセス権限があるかどうかを確認してください。

KEOS16100-I（C）

Usage:

mngsvrutil [-m <host>[:<port>] -u <uid> [-p <password>]

[[-o <output file>] [-h] [-f <format>] [-t <target name>]

[-k <target kind>] [-s] [-i <watching time interval>]

[-l <maximum watching time>] [-w <waiting time>] <command> <args>]]

For more information, type

mngsvrutil -m <host>[:<port>] -u <uid> [-p <password>]

where:

-m <host>[:<port>]

Specifies the host and the port number of the management server to be

connected.

<host> - host name or IP address (in dotted-decimal form)

<port> - port number (the default is 28080)

-u <uid>

Specifies the user ID of the administrative account of the management server

to be connected.

-p <password>

Specifies the password of the administrative account of the management server

to be connected.

--

Version aa....aa (mngsvrutil)

aa....aa：mngsvrutil のバージョン

説明

mngsvrutil コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS16101-E（C）

An argument is empty.

説明

引数に空文字が指定されています。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

mngsvrutil コマンドの書式を確認してください。

KEOS16102-E（C）

The option aa....aa is invalid.

aa....aa：指定されたオプション

説明

無効なオプションです。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

mngsvrutil コマンドの書式を確認してください。

KEOS16103-E（C）

The option aa....aa is unknown.

aa....aa：指定されたオプション

説明

該当するオプションはありません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

mngsvrutil コマンドの書式を確認してください。

KEOS16104-E（C）

No argument was specified for the option aa....aa.

aa....aa：引数が指定されていないオプション

説明

オプションに対する引数が指定されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

オプションに対する引数を指定してください。

KEOS16105-E（C）

An argument of option aa....aa is empty.

aa....aa：引数に空文字が指定されたオプション

説明

オプションに対する引数に空文字が指定されています。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

mngsvrutil コマンドの書式を確認してください。

KEOS16106-E（C）

The Management Server host to which you will connect was not specified.

説明

接続先の Management Server のホスト名が指定されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

接続先の Management Server のホスト名とポート番号を確認して指定してください。

KEOS16107-E（C）

The user ID of the administrative account of Management Server was not specified.

説明

Management Server の管理アカウントのユーザ ID が指定されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

Management Server ログイン時の管理ユーザ ID またはパスワードを確認して指定してください。

KEOS16108-E（C）

A connection to Management Server could not be established. (aa....aa)

aa....aa：指定されたホスト名とポート番号

説明

Management Server に接続できませんでした。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

接続先の Management Server のホスト名とポート番号を確認して指定してください。

また，回線に負荷が掛かっているため通信に失敗している場合は，サーバ側設定ファイル（mngsvrutil.properties）の mngsvrutil.session.max_inactive_interval の値を適切な値に変更して，再度コマンドを実行してください。

KEOS16109-E（C）

The client cannot access the specified file aa....aa.

aa....aa：指定されたファイル名

説明

クライアントは指定されたファイルにアクセスできません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

該当するファイルにアクセス権限があるかどうかを確認してください。

KEOS16110-E（C）

Authentication has failed.

説明

認証要求に失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

接続先の Management Server の IP アドレスとポート番号を確認してください。

KEOS16111-E（C）

An internal error occurred.

説明

内部エラーが発生しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

Management Server を再起動してもエラーの要因が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS16112-E（C）

A Java command call has failed.

説明

java コマンドの呼び出しに失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

前提とする製品がインストールされていないか，または動作環境が破損している可能性があります。

対処

前提とする製品を確認してください。前提製品に問題がない場合は，再起動および再インストールをしてください。

上記の対処で解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS16113-W（C）

An attempt to access the file .aa....aa has failed.

aa....aa：mngsvrutilrc ファイルの絶対パス

説明

.mngsvrutilrc ファイルの読み込みに失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

.mngsvrutilrc ファイルにアクセス権限があるかどうかを確認してください。

KEOS16114-E（C）

An invalid number was specified as the argument for the option aa....aa.

aa....aa：指定されたオプション

説明

オプションに対する引数に不正な数値が指定されています。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

オプションに対する引数を確認してください。

KEOS16115-E（C）

Command processing has failed.

説明

サブコマンドの処理が失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

Management Server のログから，エラーの要因を調査してください。エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS16116-E（C）

Command processing could not finish within the time limit.

説明

最大監視時間で指定された時間内に，処理が終了しませんでした。

対処

最大監視時間の指定値を大きくして，再実行してください。

KEOS16117-E（C）

An error response was received from the Web container. (response code = aa....aa)

aa....aa：レスポンスコード

説明

Web コンテナからエラーレスポンスを受信しました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

レスポンスコードを確認して障害の原因を調査して，障害を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS16200-I（C）

Usage:

mngsvrutil [-m <host>[:<port>] -u <uid> [-p <password>]

[[-o <output file>] [-h] [-f <format>] [-t <target name>]

[-k <target kind>] [-s] [-i <watching time interval>]

[-l <maximum watching time>] [-w <waiting time>] <command> <args>]]
where:
-m <host>[:<port>]
Specifies the host and the port number of the management server to be connected.
<host> - host name or IP address (in dotted-decimal form)
<port> - port number (the default is 28080)
-u <uid>
Specifies the user ID of the administrative account of the management server to be connected.
-p <password>
Specifies the password of the administrative account of the management server to be connected.
-o <output file>
Specifies a file name to which results are output.
-h
Suppresses the header.
-f <format>
Formats the output. <format>:=csv|snmp (the default is csv)
-t <target name>
Specifies a target name, such as a logical server or host.
-k <target kind>
Indicates the kind of a target. <target kind>:=logicalServer|host (the default is logicalServer)
-s
Waits for the completion of the starting or stopping of the logical server and the J2EE application.
-i <watching time interval>
Specifies a watching time interval for operations such as the starting or stopping of the logical server and the J2EE application.
-l <maximum watching time>
Specifies the maximum watching time for operations such as the starting or stopping of the logical server and the J2EE application.
-w <waiting time>
Specifies the waiting time for checks whether specified target is working.
<command>

"list" - Lists the values of the arguments.
"get" - Acquires the value of the argument for the target logical server specified.
"set" - Sets the value of the 1st argument to the 2nd argument for the target logical server specified.
"start" - Starts the logical server specified.
Starts the J2EE application or the J2EE resource of the target logical server specified.
"stop" - Stops the logical server specified.
Stops the J2EE application or the J2EE resource of the target logical server specified.
"reload" - Reloads the settings files specified by the argument.
"hold" - Holds the service specified by the argument.
"release" - Releases the service specified by the argument.
"collect" - Collects the value of the arguments.
"change" - Changes the value of the arguments.
"check" - Checks whether specified target is working.
"dump" - Dumps the javacore of the arguments.
"add" - Add logical server.
"delete" - Delete logical server.
<args>
For the "list" command:
"logicalServers" - Lists the logical server names of the management domain and shows whether each server is alive or not. [DEPRECATED]
"status" - Lists statuses and information for logical servers.
"appStatus" - Lists the J2EE application names imported to the specified target logical server and shows the status.
"resStatus" - Lists the J2EE resource names imported to the specified target logical server and shows the status.
"resJavaBeansStatus" - Lists the J2EE JavaBeans resource names imported to the specified target logical server and shows the status.
"queues" - Lists the CTM queues in the target specified by the argument and shows the status.
For the "get" command:
"domainName" - Acquires the management domain name managed by the connecting management server.

"j2eeContainer" - Acquires information about the J2EE container.
"webContainer" - Acquires information about the Web container.
"jvm" - Acquires information about Java VM.
"transaction" - Acquires information about transactions.
"httpServer" - Acquires information about the included HTTP server.
[DEPRECATED]
"httpSvrConn" - Acquires information about the HTTP server connector.
"inprocHttpSvr" - Acquires information about the In-process HTTP server.
"dataSource" - Acquires information about DataSources (JDBC).
"dataSrcFull" - Acquires information about DataSources (FullJTA).
"resAdapter" - Acquires information about ResourceAdapters.
"j2eeApps" - Acquires information about J2EE applications.
"ejbApps" - Acquires information about EJB applications(EJB-JARs).
"statelessBean" - Acquires information about Stateless Session Beans.
"statelessBeanHome" - Acquires information about the RemoteHome interface of Stateless Session Beans.
"statelessBeanHomeMethod" - Acquires information about the method of the RemoteHome interface of Stateless Session Beans.
"statelessBeanLocalHome" - Acquires information about the LocalHome interface of Stateless Session Beans.
"statelessBeanLocalHomeMethod" - Acquires information about the method of the LocalHome interface of Stateless Session Beans.
"statelessBeanRemote" - Acquires information about the RemoteComponent interface of Stateless Session Beans.
"statelessBeanRemoteMethod" - Acquires information about the method of the RemoteComponent interface of Stateless Session Beans.
"statelessBeanLocalComponent" - Acquires information about the LocalComponent interface of Stateless Session Beans.
"statelessBeanLocalComponentMethod" - Acquires information about the method of the LocalComponent interface of Stateless Session Beans.
"statefulBean" - Acquires information about Stateful Session Beans.
"statefulBeanHome" - Acquires information about the RemoteHome interface of Stateful Session Beans.
"statefulBeanHomeMethod" - Acquires information about the method of the RemoteHome interface of Stateful Session Beans.
"statefulBeanLocalHome" - Acquires information about the LocalHome

interface of Stateful Session Beans.
"statefulBeanLocalHomeMethod" - Acquires information about the method of the LocalHome interface of Stateful Session Beans.
"statefulBeanRemote" - Acquires information about the RemoteComponent interface of Stateful Session Beans.
"statefulBeanRemoteMethod" - Acquires information about the method of the RemoteComponent interface of Stateful Session Beans.
"statefulBeanLocalComponent" - Acquires information about the LocalComponent interface of Stateful Session Beans.
"statefulBeanLocalComponentMethod" - Acquires information about the method of the LocalComponent interface of Stateful Session Beans.
"entityBean" - Acquires information about Entity Beans.
"entityBeanHome" - Acquires information about the RemoteHome interface of Entity Beans.
"entityBeanLocalHome" - Acquires information about the LocalHome interface of Entity Beans.
"entityBeanRemote" - Acquires information about the RemoteComponent interface of Entity Beans.
"entityBeanLocalComponent" - Acquires information about the LocalComponent interface of Entity Beans.
"msgDrivenBean" - Acquires information about Message Driven Beans.
"webApps" - Acquires information about Web applications.
"servlets" - Acquires information about servlets.
"requestUrl" - Acquires information about requested URLs.
"queues" - Acquires information about CTM queues.
"queueApps" - Acquires information about J2EE Application that connected to CTM queues.
For the "set" command:
"jvmSamplingTime <n>" - Sets the sampling time of statistics about Java VM to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"webContainerSamplingTime <n>" - Sets the sampling time of statistics about Web containers to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"tranSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics about transactions to <n> sec.

If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"httpSvrSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics about
the included HTTP server to <n> sec. [DEPRECATED].
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"httpSvrConnSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics
about the HTTP server connector to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"inprocHttpSvrSamplingTime <n>" - Sets the sampling time of statistics
about the In-process HTTP server to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"dataSrcFullSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics
about data sources (Full JTA) to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"resAdapterSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics
about resource adapters to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"ejbSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics about
Enterprise Beans to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"webAppSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics about
Web Applications to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"servletSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics about
Servlets to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"reqUrlSamplingTime <n>" - Sets the sampling time for statistics about
requested URLs to <n> sec.
If <n> is less than or equal to zero, statistics are disabled.
"prfTraceLevel STANDARD|DETAIL|<traceLevel>" - Sets the PRF trace level.
"allPrfTraceLevel STANDARD|DETAIL|<traceLevel>" - Sets the PRF trace level
in the management domain.
For the "start" command:
"allServers" - Starts all logical servers in order.
"server" - Starts the logical server.
"app <displayName>" - Starts the J2EE application of <displayName>.
"resAdapter <displayName>" - Starts the resource adapter of <displayName>.

"resJavaBeans <displayName>" - Starts the JavaBeans resource of
<displayName>.
For the "stop" command:
"allServers" - Stops all logical servers in order.
"server [graceful[:<waitTime>]]" - Stops the logical server.
"app <displayName> [force]" - Stops the J2EE application of <displayName>.
"resAdapter <displayName>" - Stops the resource adapter of <displayName>.
"resJavaBeans <displayName>" - Stops the JavaBeans resource of
<displayName>.
For the "reload" command:
"userAdmin" - Reloads the settings files used by Integrated User
Administration facilities.
"env" - Reloads the settings files from host at destination of
connection with J2EE server and SFO server.
For the "hold" command:
"queue <queueName> {in[:<waitTime>] | out | force[:<waitTime>]}" - Holds
the CTM queue specified by the argument.
"queues {in[:<waitTime>] | out | force[:<waitTime>]}" - Holds the CTM
queues in the target specified by the argument.
"allQueues {in[:<waitTime>] | out | force[:<waitTime>]}" - Holds all CTM
queues in the management domain.
For the "release" command:
"queue <queueName>" - Releases the CTM queue specified by the argument.
"queues" - Releases the CTM queues in the target specified by the
argument.
"allQueues" - Releases all CTM queues in the management domain.
For the "collect" command:
"prfTrace" - Collects the PRF trace.
"allPrfTraces" - Collects the PRF trace in the Management domain.
"ctmStatistics" - Collects the CTM statistics.
"allCtmStatistics" - Collects the CTM statistics in the Management domain.
"snapshot" - Collects the snapshotlog.
For the "change" command:
"webAppThreadCtrl <webApplicationContextRoot> <maxThreads>,
<exclusiveThreads>,<queueSize>" - Changes the Web application thread
control group values in the target specified by the argument.

For the "check" command:

"mngsvr" - Checks whether the management server is working.

"adminAgent" - Checks whether the AdminAgent of specified host is working.

For the "dump" command:

"server [addition]" - Dumps the javacore of specified logical server.

For the "add" command:

"userserver <userServerDefinitionFile>" - Add user server.

For the "delete" command:

"userserver <logicalServerName>" - Delete user server.

--

Version aa....aa (management server connected)

Version bb....bb (mngsvrutil)

aa....aa：接続先 Management Server のバージョン

bb....bb：mngsvrutil のバージョン

説明

mngsvrutil コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS16201-E（C）

Authentication failed.

説明

認証に失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

Management Server ログイン時の管理ユーザ ID またはパスワードを確認してください。

KEOS16202-E（C）

The command aa....aa is unknown.

aa....aa：指定されたサブコマンド

説明

サポートしていないサブコマンドです。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

接続先の Management Server がサポートしているサブコマンドを確認してください。

KEOS16203-E（C）

The option aa....aa is unknown.

aa....aa：指定されたオプション

説明

サポートしていないオプションです。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

接続先の Management Server がサポートしているオプションを確認してください。

KEOS16204-E（C）

The logical server aa....aa is unknown.

aa....aa：指定された論理サーバ名

説明

指定された論理サーバが運用管理ドメインに定義されていないか，セットアップされていないか，または起動されていません。また，特定の種別の論理サーバしか対象にできないコマンドで，対象外である種別の論理サーバが指定されている可能性もあります。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

次の内容を確認してください。

- 指定した論理サーバが運用管理ドメインに定義されていること。
- 定義された論理サーバが起動している，および運用管理ポータルの運用監視機能によって起動が確認できること。
- 定義された論理サーバがセットアップされていること。
- コマンドの対象としている種別の論理サーバが指定されていること。

論理サーバ起動中にコマンドを実行した場合，または一時的に回線に負荷が掛かっている場合は，通信に失敗した可能性があります。再度，コマンドを実行してください。

KEOS16205-E（C）

No argument was specified.

説明

サブコマンドに対する引数が指定されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

サブコマンドに対する引数を指定してください。

KEOS16206-E（C）

There are too few arguments. (aa....aa)

aa....aa：サブコマンドに指定された引数

説明

サブコマンドに対する引数が不足しています。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

サブコマンドに対する引数を確認してください。

KEOS16207-E（C）

There are too many arguments. (aa....aa)

aa....aa：サブコマンドに指定された引数

説明

サブコマンドに対する引数が多過ぎます。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

サブコマンドに対する引数を確認してください。

KEOS16208-E（C）

The argument aa....aa is invalid.

aa....aa：サブコマンドに指定された引数

説明

サブコマンドに対する引数が無効です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

接続先の Management Server がサポートしているサブコマンドを確認してください。

KEOS16209-E（C）

The format aa....aa is unknown.

aa....aa：指定された出力形式

説明

サポートしていない出力形式です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

接続先の Management Server がサポートしている出力形式を確認してください。

KEOS16210-E（C）

The value aa....aa is invalid.

aa....aa：指定された値

説明

数値として無効な値が入力されました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

有効な数値を指定してください。

KEOS16211-E（C）

An internal error occurred.

説明

内部エラーが発生しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

監視対象ホストの Management Server のバージョンが接続先の Management Server のバージョンと同じであるか，それ以上であることを確認してください。バージョンが同じである場合は，Management Server を再起動してください。再起動してもエラーの要因が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS16212-E（C）

The target logical server name was not specified.

説明

コマンドの対象となる論理サーバ名が指定されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

-t オプションを指定するか, または mngsvrutilrc ファイルに mngsvrutil.target_name プロパティを設定してください。

コマンドの対象としているターゲット種別を指定しているか確認してください。

KEOS16213-E（C）

A request failed. (aa....aa)

aa....aa：要求に失敗した原因の詳細情報

説明

起動/停止要求は失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

要求に失敗した原因の詳細情報を確認してください。

KEOS16214-E（C）

Setting files cannot be reloaded because the specified logical server does not use Integrated User Administration.

説明

指定された論理サーバでは統合ユーザ管理を使用していないため，コンフィグレーションファイルの再読み込みができません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

論理サーバで統合ユーザ管理の機能を利用する場合は，統合ユーザ管理を設定してください。

KEOS16215-E（C）

An attempt to reload the setting file aa....aa has failed.

aa....aa：再読み込みに失敗したファイル名

説明

統合ユーザ管理のコンフィグレーションファイルの再読み込みに失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

統合ユーザ管理で指定したパスにコンフィグレーションファイルが存在すること，ファイルのアクセス権が正しいこと，およびファイルの内容に誤りがないことを確認してください。

KEOS16216-E（C）

A target host name was not specified.

説明

コマンドの対象となるホスト名が指定されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

-t オプションおよび-k host オプションを指定するか，または mngsvrutilrc ファイルに mngsvrutil.target_name および mngsvrutil.target_type=host を設定してください。

KEOS16217-E（C）

The host aa....aa is unknown.

aa....aa：指定されたホスト名

説明

指定されたホストが運用管理ドメインに定義されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

指定したホストが運用管理ドメインに定義されているかどうかを確認してください。

KEOS16218-I（C）

File collection succeeded. (file = aa....aa)

aa....aa：収集したファイル名

説明

ファイルを収集しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

KEOS16219-W（C）

File collection succeeded. (file = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：収集したファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルを収集しましたが，エラーが発生しています。

標準出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

必要があれば，詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS16220-E（C）

File collection has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

ファイルの収集に失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS16221-W（C）

Setup succeeded. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

設定に成功しましたが，エラーが発生しています。

標準出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

必要があれば，詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS16222-E（C）

Setup failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

設定に失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS16223-E（C）

The specified logical server aa....aa is not J2EE.

aa....aa：引数に指定された論理サーバ

説明

指定された論理サーバは J2EE サーバではありません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

-t オプションに J2EE サーバまたは J2EE サーバクラスタを指定して，再度実行してください。

KEOS16224-E（C）

The J2EE application aa....aa is not registered.

aa....aa：引数に指定された J2EE アプリケーション

説明

指定された J2EE アプリケーションは登録されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

引数に登録されている J2EE アプリケーションを指定して，再度実行してください。

KEOS16225-E（C）

The resource adapter aa....aa is not registered.

aa....aa：引数に指定されたリソースアダプタ

説明

指定されたリソースアダプタは登録されていません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

引数に登録されているリソースアダプタを指定して，再度実行してください。

KEOS16226-E（C）

aa....aa is running.

aa....aa：実行中の機能名

説明

ほかの操作が実行中のため，実行できません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

しばらくしてから，再度実行してください。

KEOS16227-E（C）

A CTM queue operation has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

CTM のキューの操作に失敗しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS16228-E（C）

The number of simultaneous execution threads is not specified in this Web application.

説明

同時実行スレッド数が Web アプリケーションに設定されていないため，実行できません。

処理を終了します。

対処

同時実行スレッド数を設定後，アプリケーションを再デプロイしてから，再度実行してください。

KEOS16229-E（C）

The simultaneous execution thread control function cannot be used when webserver.container.thread_control.enabled=false.

説明

同時実行スレッド数制御機能が有効でないため，実行できません。

処理を終了します。

対処

同時実行スレッド数制御機能を有効にしてから，再実行してください。

KEOS16230-E（C）

aa....aa was not found.

aa....aa：Web アプリケーションのコンテキストルート

説明

Web アプリケーションのコンテキストルートが見つかりません。

処理を終了します。

対処

Web アプリケーションのコンテキストルートを確認してから，再実行してください。

KEOS16231-E（C）

The maximum number of threads must be greater than the number of exclusive threads. (maximum number of threads = aa....aa, number of exclusive threads = bb....bb)

aa....aa：最大スレッド数

bb....bb：占有スレッド数

説明

最大スレッド数が，占有スレッド数よりも小さい値で設定されています。

処理を終了します。

対処

最大スレッド数が占有スレッド数以上の値になるように指定してから，再実行してください。

KEOS16232-E（C）

The maximum number of threads is greater than the maximum number of simultaneously executable Web container threads. (maximum number of threads = aa....aa, maximum number of Web container threads = bb....bb)

aa....aa：最大スレッド数

bb....bb：Web コンテナがリクエストを処理する同時実行数

説明

最大スレッド数が，Web コンテナがリクエストを処理する同時実行数よりも大きい値で設定されています。

処理を終了します。

対処

最大スレッド数が，Web コンテナがリクエストを処理する同時実行数以下の値になるように指定してから，再実行してください。

Web コンテナがリクエストを処理する同時実行数については，次の設定値を確認してください。

運用管理ポータルを使用する場合

- Web サーバとの接続でインプロセス HTTP サーバ機能を使用している場合には,「通信・スレッド制御に関する設定」画面の「スレッド制御設定」の「同時実行スレッド数」
- Web サーバのリダイレクタと接続している場合（ajp13）には「Web コンテナの設定」画面の「Web サーバとの接続」の「最大スレッド数」

Smart Composer 機能を使用する場合

- webserver.connector.inprocess_http.enabled パラメタの設定値に，true を設定している場合には，webserver.connector.inprocess_http.max_execute_threads パラメタの設定値
- webserver.connector.inprocess_http.enabled パラメタの設定値に，false を設定している場合には，webserver.connector.ajp13.max_threads パラメタの設定値

KEOS16233-E（C）

The thread control is the Call condition error.(aa....aa)

aa....aa：引数に指定された動的変更値

説明

設定変更が失敗しました。呼び出し条件エラーです。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

呼び出し条件を見直してください。

KEOS16234-E（C）

The thread control is the Setup value range error.(aa....aa)

aa....aa：引数に指定された動的変更値

説明

設定変更が失敗しました。設定値範囲エラーです。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

設定値の範囲を見直してください。

KEOS16235-E（C）

The thread control is the Setup value validity error.(aa....aa)

aa....aa：引数に指定された動的変更値

説明

設定変更が失敗しました。設定値妥当性エラーです。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

設定値の妥当性を見直してください。

KEOS16239-E（C）

The operation which was not supported was required.

説明

サポートしていない操作が要求されました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

操作対象のサーバが稼働しているホストの Management Server のバージョンが，接続している Management Server のバージョンと同じか，それ以上であることを確認してください。

KEOS16240-E（C）

The J2EE Server cannot be accessed.

説明

J2EE サーバにアクセスできません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

操作対象の J2EE サーバが稼働中であり，運用監視を実施する設定になっているか確認してください。

KEOS16241-E（C）

A command failed on the agent.

説明

運用管理エージェントでコマンドのエラーが発生しました。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

Management Server のログを参照して障害を取り除いたあと，再度実行してください。

J2EE サーバまたは SFO サーバの core 出力を行った場合，出力情報量が多いとタイムアウトが発生することがあります。この場合，本メッセージを出力しコマンドは終了しますが，core 出力処理は完了するまで継続されていますので，少し時間をおいて core ファイルが出力されていないか確認してください。

KEOS16242-E（C）

The specified logical server aa....aa is not running.

説明

論理サーバが稼働していません。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

論理サーバを稼働させ，再度実行してください。

KEOS16243-E（C）

aa....aa is not installed.

aa....aa：必要なパッケージ

説明

必要なパッケージがインストールされていません。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

必要なパッケージをインストール後，再度実行してください。

KEOS16244-E（C）

The specified Java Beans resource aa....aa is not registered.

aa....aa：引数に指定された JavaBeans リソース

説明

指定された JavaBeans リソースは登録されていません。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

引数に登録されている JavaBeans リソースを指定し，再実行してください。

KEOS16245-E（C）

The definition file is invalid. file name = aa....aa line number = bb....bb column number = cc....cc details = dd....dd

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行番号

cc....cc：列番号

dd....dd：詳細情報

説明

xml ファイルの解析に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

引数に指定した xml ファイルを確認し，再実行してください。

KEOS16246-E（C）

An attempt to add a logical server has failed. (details=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

論理サーバの追加に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

引数に指定した xml ファイルを確認し，再実行してください。

KEOS16247-E（C）

A parser error occurred. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

解析エラーが発生しました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS16248-E（C）

An existing logical server name aa....aa was specified.

aa....aa：指定された論理サーバ名

説明

論理サーバの追加に失敗しました。

既存の論理サーバ名が指定されました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

論理サーバ名を確認し，再実行してください。

KEOS16249-E（C）

Nonexistent host name aa....aa was specified.

aa....aa：指定されたホスト名

説明

論理サーバの追加に失敗しました。

存在しないホスト名が指定されました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

ホスト名を確認し，再実行してください。

KEOS16250-E（C）

An attempt to delete a logical server failed because a nonexistent logical server name aa....aa was specified.

aa....aa：指定された論理サーバ名

説明

論理サーバの削除に失敗しました。

存在しない論理サーバ名が指定されました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

論理サーバ名を確認し，再実行してください。

KEOS16251-E（C）

An attempt to delete a logical server failed because a specified logical server name aa....aa is not among the logical user servers.

aa....aa：指定された論理サーバ名

説明

論理サーバの削除に失敗しました。

論理ユーザサーバでない論理サーバ名が指定されました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

論理サーバ名を確認し，再実行してください。

KEOS16252-E（C）

A connection to an external server cannot be established using aa....aa

aa....aa：アプリケーションサーバの製品名

説明

この製品では外部のサーバへ接続できません。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

コマンドの引数に指定した Management Server のホスト名を確認してください。

KEOS16253-E（C）

An internal error occurred in the common library.(details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

common library で内部エラーが発生しました。再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

対処

再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS16254-E（C）

An attempt to add a logical server failed because the start command is not specified.

説明

論理サーバの追加に失敗しました。

start コマンドが指定されていません。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

start コマンドを追加し，再実行してください。

KEOS16255-E（C）

An attempt to add a logical server failed because the getProcessID command cannot be specified for a direct startup.

説明

論理サーバの追加に失敗しました。

直接起動の場合 getProcessID コマンドは指定できません。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

getProcessID コマンドを削除し，再実行してください。

KEOS16256-E（C）

An attempt to add a logical server failed because the getProcessID command is not specified.

説明

論理サーバの追加に失敗しました。

getProcessID コマンドが指定されていません。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を終了します。

対処

getProcessID コマンドを追加し，再実行してください。

KEOS16257-E（C）

The host aa....aa cannot be converted to an IP address.

aa....aa：ホスト名

説明

ホスト名が IP アドレスに変換できません。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

getProcessID コマンドを追加して，再実行してください。

KEOS16258-E（C）

The command (aa....aa) cannot be used with the product (bb....bb).

aa....aa：指定されたサブコマンド

bb....bb：製品名

説明

サブコマンド aa....aa は，製品 bb....bb では使用できません。処理を中止します。

対処

特にありません。

KEOS17000-E（C／F）

Memory became insufficient.

説明

メモリの確保ができませんでした。

処理を停止します。

メモリが不足している可能性があります。

対処

処理を実行したホストの管理者に連絡して，メモリ不足を解消してください。

KEOS17001-E（C／F）

Java VM was not found.

説明

JavaVM をロードできませんでした。

処理を停止します。

動作環境が破損している可能性があります。

対処

再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

バージョンが 05-00 で OS が HP-UX の場合，/opt/Cosminexus/jdk が HP-UX SDK への正しいシンボリックリンクであるか，または，/opt/Cosminexus/jdk に HP-UX SDK がインストールされていることを確認してください。

KEOS17002-E（C／F）

Java VM could not start.

説明

JavaVM を起動できませんでした。

処理を停止します。

動作環境が破損している可能性があります。

対処

再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS17003-E（C／F）

The specified class was not found:aa....aa

aa....aa：クラス名

説明

aa....aa に示されたクラスが見つかりませんでした。

処理を停止します。

動作環境が破損している可能性があります。

対処

再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS17004-E（C／F）

The specified method was not found: aa....aa.bb....bb

aa....aa：クラス名

bb....bb：メソッド名

説明

aa....aa および bb....bb に示されたメソッドが見つかりませんでした。

処理を停止します。

動作環境が破損している可能性があります。

対処

再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS17006-E（C／F）

An internal error occurred.

説明

内部エラーが発生しました。

処理を停止します。

動作環境が破損している可能性があります。

対処

再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS18001-E（W）

必要な項目が指定されていません。

説明

必要な項目が指定されていません。

操作を行いません。

対処

必要な項目を指定してください。

KEOS18002-E（W）

J2EE アプリケーションが選択されていません。

説明

J2EE アプリケーションが選択されていない，またはすでに登録解除された可能性があります。

操作を行いません。

対処

操作を実施する項目を選択してください。

KEOS18003-E（W）

不正なリクエストです。

説明

不正なリクエストです。

操作を行いません。

対処

正しい手順で実行してください。

KEOS18101-E（W）

J2EE アプリケーションファイルは既に登録済みです。J2EE アプリケーションファイル=aa....aa

aa....aa：指定された J2EE アプリケーションファイル

説明

指定された J2EE アプリケーションファイルはすでに Management Server に登録されています。

J2EE アプリケーションを登録しません。

対処

同一 J2EE アプリケーションファイルの登録，または同一時刻での登録はできません。

KEOS18102-E（W）

J2EE アプリケーションは登録されていません。

説明

J2EE アプリケーションは登録されていません。

操作を行いません。

対処

登録された J2EE アプリケーションに対して操作を実行してください。

KEOS18103-E（W）

ファイルが存在しません。ファイル=aa....aa

aa....aa：指定されたファイル

説明

指定されたファイルは存在しません。

操作を行いません。

対処

指定したファイルの存在を確認してください。

KEOS18104-E（W）

ファイルの内容が不正です。ファイル=aa....aa

aa....aa：指定されたファイル

説明

指定されたファイルの内容が正しくありません。

操作を行いません。

対処

指定したファイルの内容を確認してください。

KEOS18105-E（W）

J2EE アプリケーションの登録に失敗しました。ファイル=aa....aa，詳細情報=bb...bb

aa....aa：指定されたファイル

bb...bb：詳細情報

説明

詳細情報に出力された要因によって，J2EE アプリケーションの登録に失敗しました。

操作を行いません。

対処

詳細情報を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

詳細情報が nnnn（n は数字）で始まるメッセージについては，「24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ」を参照して，対処してください。

KEOS18106-E（W）

絶対パスで指定してください。ファイル=aa....aa

aa....aa：指定されたファイル

説明

絶対パスで指定する必要があります。

操作を行いません。

対処

Management Server が稼働するホストの絶対パスでファイルを指定してください。

KEOS18107-E（W）

「aa....aa」が実行中です。

aa....aa：実行中の機能名

説明

ほかの操作が実行中のため，実行できません。

操作を行いません。

対処

ほかの操作が終了してから，実行してください。

KEOS18108-E（W）

指定された J2EE アプリケーションは登録されていません。

説明

指定された J2EE アプリケーションは登録されていません。

操作を行いません。

指定した J2EE アプリケーションは登録解除された可能性があります。

対処

運用管理ポータルから論理サーバのアプリケーション管理を選択し直して，該当する J2EE アプリケーションが登録されているか確認してください。

KEOS18109-E（W）

登録ディレクトリの指定が不正です。

説明

登録ディレクトリの指定が不正です。

操作を行いません。

登録ディレクトリには，Management Server が稼働するホストの絶対パスを指定する必要があります。この指定は省略できません。

対処

登録ディレクトリを正しく指定してください。

KEOS18110-E（W）

J2EE アプリケーション名は既に登録済みです。

説明

指定された J2EE アプリケーション名はすでに Management Server に登録されています。J2EE アプリケーションの登録を行いません。

対処

同一 J2EE アプリケーション名の登録はできません。

KEOS18111-E（W）

インポートディレクトリの指定が不正です。

説明

インポートディレクトリの指定が不正です。操作を行いません。

対処

インポートディレクトリには，Management Server 稼働ホストの絶対パスを指定する必要があり，省略することはできません。

KEOS18201-E（W）

J2EE アプリケーションが存在しません。

説明

該当サーバに，指定した J2EE アプリケーションのインポート履歴が存在しません。

操作を行いません。

J2EE クラスタで，J2EE アプリケーションのインポートを実施後，クラスタに要素を追加したことがエラーの要因として考えられます。

対処

J2EE クラスタに再度 J2EE アプリケーションのインポートを実施し，すべてのクラスタ要素に J2EE アプリケーションがインポートされたことを確認してから実行してください。

KEOS18202-E（W）

J2EE サーバにアクセスできません。

説明

J2EE サーバにアクセスできません。

対処

V8 モードの場合，J2EE サーバが稼働中であることを確認してください。

V7 互換モードの場合，J2EE サーバが稼働中であり，運用監視を実施する設定になっているか確認してください。

KEOS18300-I（W／F）

J2EE アプリケーションを登録しました。アプリケーション名=aa....aa，登録時刻=bb....bb，説明=cc....cc

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：登録時刻

cc....cc：説明

説明

J2EE アプリケーションを登録しました。

操作を終了します。

KEOS18301-I（W／F）

J2EE アプリケーションの登録解除を実施しました。成功=[aa....aa:bb....bb]，失敗=[cc....cc:dd....dd]

aa....aa：操作が成功した J2EE アプリケーション表示名

bb....bb：登録時刻

cc....cc：操作が失敗した J2EE アプリケーション表示名

dd....dd：登録時刻

説明

J2EE アプリケーションの登録解除を実施しました。

操作を終了します。

失敗した J2EE アプリケーションについては，次の内容が考えられます。

- 論理 J2EE サーバにインポートされています。
- 操作実行中です。
- すでに登録解除されています。

KEOS18302-I（W）

J2EE アプリケーションの登録情報変更を実施しました。成功=[aa....aa:bb....bb]

aa....aa：操作が成功した J2EE アプリケーション表示名

bb....bb：登録時刻

説明

J2EE アプリケーションの登録情報変更を実施しました。

操作を終了します。

KEOS18404-I（W／F）

aa....aa への操作を開始します。操作=bb....bb，名称=cc....cc

aa....aa：対象論理 J2EE サーバ名

bb....bb：操作名称

cc....cc：対象名称

説明

論理 J2EE サーバへの操作を開始します。

KEOS18405-I（W／F）

aa....aa への操作を終了します。操作=bb....bb，名称=cc....cc

aa....aa：対象論理 J2EE サーバ名

bb....bb：操作名称

cc....cc：対象名称

説明

論理 J2EE サーバへの操作を終了しました。

対処

構成要素である J2EE サーバのうち，一つでも操作を失敗している場合は，エラーの要因を取り除いたあとに操作を再度実行してください。

KEOS18406-I（W／F）

操作に成功しました。J2EE サーバ名=aa....aa，操作=bb....bb，名称=cc....cc

aa....aa：対象 J2EE サーバ名

bb....bb：操作名称

cc....cc：対象名称

説明

操作に成功しました。

対象 J2EE サーバへの操作を終了します。

KEOS18407-E（W／F）

運用管理エージェントに接続できません。ホスト名=aa....aa，J2EE サーバ名=bb....bb，操作=cc....cc，名称=dd....dd

aa....aa：対象ホスト名

bb....bb：対象 J2EE サーバ名

cc....cc：操作名称

dd....dd：対象名称

説明

運用管理エージェントに接続できないため，操作に失敗しました。

操作を終了します。

対処

次の内容を確認して，再度実行してください。

- 該当 J2EE サーバの稼働ホストで，運用管理エージェントが起動しているか。
- 起動している運用管理エージェントのポート番号と，構成定義でホストに定義した運用管理エージェントのポート番号は一致しているか。
- 構成定義で定義したホストと通信が可能であるか。
- 運用管理エージェントのプロパティで，アクセスしている Management Server の稼働ホストは接続許可されているか。
- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのバージョンが一致しているか。

- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのエディションが異なる場合，接続可能なエディション関係か。

KEOS18408-E（W／F）

リモートホストでコマンドが失敗しました。ホスト名=aa....aa，J2EE サーバ名=bb....bb，操作=cc....cc，名称=dd....dd

aa....aa：対象ホスト名

bb....bb：対象 J2EE サーバ名

cc....cc：操作名称

dd....dd：対象名称

説明

リモートホストでコマンドが失敗したため，操作に失敗しました。

操作を終了します。

対処

次の内容を確認して，再度実行してください。

1. アプリケーションの更新インポート，世代回復，削除の場合
   該当 J2EE アプリケーションは停止しているかどうか。
2. アプリケーションの開始/停止の場合
   該当 J2EE アプリケーションは停止/稼働しているかどうか。
3. アプリケーションの新規インポート，データソース/リソースアダプタインポートの場合
   同一の表示名を持つアプリケーションまたはデータソース/リソースアダプタがすでにインポートされていないかどうか。
4. リソースアダプタの開始/停止の場合
   ・該当リソースアダプタは停止/稼働しているかどうか。
   ・停止しようとしたリソースアダプタを使用する J2EE アプリケーションはすべて停止しているかどうか。
5. データソースの削除の場合
   該当データソースを使用する J2EE アプリケーションはすべて停止しているかどうか。
6. リソースアダプタの削除の場合
   ・該当リソースアダプタは停止しているかどうか。
   ・稼働しているリソースアダプタを停止してから J2EE サーバを再起動したかどうか。※
   注※　稼働しているリソースアダプタを削除するには，リソースアダプタを停止したあと，J2EE サーバを再起動しておく必要があります。
7. リソースアダプタの接続テストの場合
   該当リソースアダプタに正しいコネクション定義（コンフィグレーションプロパティ，実行時プロパティ）が設定されているかどうか。
8. リソースアダプタのプロパティ設定（基本設定および Connector 属性ファイル編集）の場合
   該当リソースアダプタは停止しているかどうか。

上記によってエラーの要因が取り除かれない場合は，該当 J2EE サーバが稼働するホスト上の次のログファイルを参照して，対処してください。

なお，ログファイルは，サーバ管理コマンド用システムプロパティファイル（usrconf.properties）の ejbserver.cui.logfile.compatible キーの値によって，参照するログファイルが異なります。なお，サー

バ管理コマンド用システムプロパティファイルは，<Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/usrconf/（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥usrconf¥（Windows の場合）に格納されています。参照するログファイルを次に示します。

ejbserver.cui.logfile.compatible プロパティの値が false の場合

<Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjmessage?.log ※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjmessage?.log ※1（Windows の場合）

ejbserver.cui.logfile.compatible プロパティの値が true の場合

アプリケーションやリソースの操作によってログファイルが異なります。

- アプリケーションの新規インポート

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjimportappmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjimportappmessage?.log※1（Windows の場合）

- アプリケーションの更新インポート，世代回復

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjdeleteappmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjdeleteappmessage?.log※1（Windows の場合）

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjimportappmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjimportappmessage?.log※1（Windows の場合）

- アプリケーションの削除

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjdeleteappmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjdeleteappmessage?.log※1（Windows の場合）

- アプリケーションの開始

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjstartappmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjstartappmessage?.log※1（Windows の場合）

- アプリケーションの停止

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjstopappmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjstopappmessage?.log※1（Windows の場合）

- データソースのインポート

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjimportresmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjimportresmessage?.log※1（Windows の場合）

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjsetrespropmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjsetrespropmessage?.log※1（Windows の場合）

- データソースの削除

<Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjdeleteresmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjdeleteresmessage?.log※1（Windows の場合）

- リソースアダプタのインポート

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjimportresmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjimportresmessage?.log※1（Windows の場合）
  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjsetrespropmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjsetrespropmessage?.log※1（Windows の場合）
  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjdeployrarmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjdeployrarmessage?.log※1（Windows の場合）※2
  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjcopyresmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjcopyresmessage?.log※1（Windows の場合）

- リソースアダプタの削除

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjundeployrarmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjundeployrarmessage?.log※1（Windows の場合）
  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjdeleteresmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjdeleteresmessage?.log※1（Windows の場合）

- リソースアダプタの開始

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjstartrarmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjstartrarmessage?.log※1（Windows の場合）

- リソースアダプタの停止

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjstoprarmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjstoprarmessage?.log※1（Windows の場合）

- リソースアダプタの接続テスト

  <Application Server のインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjtestresmessage?.log※1（UNIX の場合）または<Application Server のインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjtestresmessage?.log※1（Windows の場合）

- リソースアダプタのプロパティ設定(基本設定/Connector 属性ファイル編集)

  ejbserver.cui.logfile.compatible プロパティの値が false の場合のログファイルを参照してください。

注※1　「?」はログの面数を示します。

注※2　該当ログファイルに「KDJE37366-E」が出力されている場合は，リソースアダプタがデプロイされたままとなっています。J2EE サーバを再起動して，サーバ管理コマンドを使用してアンデプロイしてください。

ログファイルの詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」を参照してください。

KEOS18409-E（W）

指定されたJ2EEアプリケーションと同一の表示名であるアプリケーションが既にインポートされています。J2EEサーバ名=aa....aa，J2EEアプリケーション=bb....bb

aa....aa：対象J2EEサーバ名

bb....bb：指定されたJ2EEアプリケーション

説明

指定されたJ2EEアプリケーションと同一の表示名であるアプリケーションがすでにインポートされています。

インポートを中止します。

対処

操作を再度実行してください。

KEOS18410-E（W／F）

データソースの操作に失敗しました。ホスト名=aa....aa，J2EEサーバ名=bb....bb，操作=cc....cc，名称=dd....dd

aa....aa：対象ホスト名

bb....bb：対象J2EEサーバ名

cc....cc：操作名称

dd....dd：対象名称

説明

データソース属性ファイルのセットに失敗して，不十分なデータソースがインポートされたままの可能性があります。

操作を終了します。

対処

次のことを実施してください。

Component Containerのサーバ管理コマンドを使用して，該当J2EEサーバにインポートを試みたデータソースが存在している場合は，削除してください。

- データソース属性ファイルのセットに失敗した場合は，該当J2EEサーバが稼働するホスト上の次のログファイルを参照してエラーの要因を取り除いたあと，操作を再度実行してください。

  <Application Serverのインストールディレクトリ>/CC/admin/logs/cjsetrespropmessage?.log※（UNIXの場合）または<Application Serverのインストールディレクトリ>¥CC¥admin¥logs¥cjsetrespropmessage?.log※（Windowsの場合）

  注※　「?」はログの面数を示します。

  ログファイルの詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」を参照してください。

KEOS18411-E（W）

インポート履歴が存在しません。J2EEサーバ名=aa....aa，J2EEアプリケーション=bb....bb

aa....aa：対象J2EEサーバ名

bb....bb：対象J2EEアプリケーション

説明

インポート履歴が存在しません。

対象 J2EE サーバへの操作を終了します。

対処

操作を再度実行してください。

KEOS18412-E（W／F）

操作に失敗しました。J2EE サーバ名=aa....aa，操作=bb....bb，名称=cc....cc，詳細情報=dd....dd

aa....aa：対象 J2EE サーバ名

bb....bb：操作名称

cc....cc：対象名称

dd....dd：詳細情報

説明

操作に失敗しました。

対象 J2EE サーバへの操作を終了します。

対処

詳細情報を確認してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

予期しない例外が発生した場合は，次の内容を確認してください。

1. 前提となる製品が適切にインストールされているかどうか。
2. 1.が適切である場合，該当 J2EE サーバが稼働するホストの運用管理エージェントが稼働しているかどうか。
3. 2.が適切である場合，Management Server が管理するインポート履歴と，該当 J2EE サーバへの J2EE リソースまたは J2EE アプリケーションのインポート状況が同期しているかどうか。

   同期していない場合，Component Container のサーバ管理コマンドで同期を取る必要があります。サーバ管理コマンドの使用方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド」の「付録 M.1　サーバ管理コマンドによるサンプル実行環境の構築，運用手順」を参照してください。

確認したあと，再操作，再起動してもエラーの要因が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS18413-E（W）

一つ前のバージョンが登録されていません。

説明

操作に失敗しました。

世代回復操作を終了します。

対処

一つ前のバージョンが登録解除されているため，世代回復操作はできません。

KEOS18414-W（W／F）

リモートホストで一部のコマンドが失敗しました。 ホスト名 = aa....aa，J2EE サーバ名 = bb....bb，操作 = cc....cc，名称 = dd....dd，詳細情報 = ee....ee

aa....aa：対象ホスト名

bb....bb：対象 J2EE サーバ名

cc....cc：操作名称

dd....dd：対象名称

ee....ee：詳細情報

説明

リモートホストで一部のコマンドが失敗しました。

処理を続行します。

対処

詳細情報を確認して障害を取り除いたあと，必要に応じて再度実行してください。

詳細情報に「リソースの削除に失敗しました。」のメッセージが出力されている場合は，リソースの削除に失敗したため，リソースが残っている場合があります。サーバ管理コマンドの cjlistres コマンド（-type rar）を使用しリソースの存在を確認してください。リソースを削除したい場合は，サーバ管理コマンドの cjdeleteres コマンドを使用し削除してください。

KEOS18500-E（W）

予期しない例外が発生しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：例外情報

説明

詳細情報に表示された予期しない現象が発生しました。

操作を行いません。

対処

再操作，再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS18501-W（F）

設定ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル=aa....aa

aa....aa：設定ファイル

説明

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

設定ファイルを読み込めません。

対処

設定ファイルを確認してください。

KEOS18502-E（W）

予期しない例外が発生しました。

説明

予期しない現象が発生しました。

操作を行いません。

対処

再操作，再起動および再インストールしても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS18503-E（W）

J2EE サーバが存在しません。

説明

論理 J2EE サーバが運用管理ドメインから削除されたか，J2EE クラスタに J2EE サーバが定義されていません。

操作を行いません。

対処

構成定義の内容を確認して，再度実行してください。

KEOS18504-E（W）

データソースが存在しません。

説明

該当サーバに，指定したデータソースのインポート履歴が存在しません。

操作を行いません。

J2EE クラスタで，データソースのインポートを実施後，クラスタに要素を追加したことがエラーの要因として考えられます。

対処

J2EE クラスタに再度データソースのインポートを実施し，すべてのクラスタ要素にデータソースがインポートされたことを確認してから実行してください。

KEOS18505-E（W）

リソースアダプタが存在しません。

説明

該当サーバに，指定したリソースアダプタのインポート履歴が存在しません。

操作を行いません。

J2EE クラスタで，リソースアダプタのインポートを実施後，クラスタに要素を追加したことがエラーの要因として考えられます。

対処

J2EE クラスタに再度リソースアダプタのインポートを実施し，すべてのクラスタ要素にリソースアダプタがインポートされたことを確認してから実行してください。

KEOS18506-E（W）

アプリケーション名が不正です。名称=aa....aa，ファイル=bb....bb

aa....aa：アプリケーション名

bb....bb：ファイル名

説明

指定した J2EE アプリケーションファイル中に定義されたアプリケーション名に，不正な文字が含まれています。

操作を行いません。

対処

J2EE アプリケーションファイルの内容を確認してください。

KEOS18507-E（W）

リソース名が不正です。名称=aa....aa，ファイル=bb....bb

aa....aa：リソース名

bb....bb：ファイル名

説明

指定したファイル中に定義されたリソース名に，不正な文字が含まれています。

操作を行いません。

対処

ファイルの内容を確認してください。

KEOS18508-E（W／F）

指定されたリソースアダプタのプロパティが取得できません。 リソースアダプタ名称 = aa....aa，詳細情報 = bb....bb

aa....aa：リソースアダプタ名称

bb....bb：詳細情報

説明

リソースアダプタから Connector 属性ファイルを取得しようとしましたが，失敗しました。

処理を中断します。

対処

詳細情報または画面に表示されているサーバ管理コマンドのメッセージを参照し，要因を取り除いて再度実行してください。

次の要因が考えられます。

- 運用管理エージェントへ接続できない。
- J2EE サーバへ接続できない。
- 該当のリソースアダプタが削除されている。
- Management Server 稼働ホストまたは運用管理エージェント稼働ホストのディスク容量が枯渇している。

KEOS18509-E（W／F）

リソースアダプタの基本設定画面を表示できません。 リソースアダプタ名称 = aa....aa，詳細情報 = bb....bb

aa....aa：リソースアダプタ名称

bb....bb：詳細情報

説明

該当のリソースアダプタは，アプリケーションサーバが提供する DB Connector ではないため，リソースアダプタの基本設定画面を表示できません。

処理を中断します。

対処

該当のリソースアダプタが，アプリケーションサーバが提供する次の DB Connector かどうかを確認してください。

- DBConnector_Oracle_CP.rar

- DBConnector_HiRDB_Type4_CP.rar
- DBConnector_SQLServer2005_CP.rar（0950 より前の場合）
- DBConnector_SQLServer_CP.rar（0950 以降の場合）

アプリケーションサーバが提供する DB Connector 以外のリソースアダプタのプロパティを表示または編集したい場合は，リソースアダプタの Connector 属性ファイル編集画面を使用してください。

KEOS18510-I（W／F）

リソースアダプタのプロパティ設定に成功しました。 リソースアダプタ名称 = aa....aa

aa....aa：リソースアダプタ名称

説明

リソースアダプタのプロパティ設定に成功しました。

KEOS18511-E（W／F）

リソースアダプタのプロパティ設定に失敗しました。 リソースアダプタ名称 = aa....aa，詳細情報 = bb....bb

aa....aa：リソースアダプタ名称

bb....bb：詳細情報

説明

リソースアダプタのプロパティ設定に失敗しました。

処理を中断します。

対処

詳細情報または画面に表示されているサーバ管理コマンドのメッセージを参照し，要因を取り除いて再度実行してください。

次の要因が考えられます。

- 運用管理エージェントへ接続できない。
- J2EE サーバへ接続できない。
- 該当のリソースアダプタが削除されている。
- 入力したプロパティに誤りがある。
- Management Server 稼働ホストまたは運用管理エージェント稼働ホストのディスク容量が枯渇している。

KEOS18512-I（W／F）

J2EE アプリケーションファイルのアップロードに成功しました。 ファイル名 = aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

J2EE アプリケーションファイルのアップロードに成功しました。

KEOS18513-E（W／F）

アップロード時のリクエストサイズ(aa....aa)が，最大リクエストサイズ(bb....bb)を超えました。

aa....aa：リクエストサイズ

bb....bb：最大リクエストサイズ

説明

アップロード時のリクエストサイズが，最大リクエストサイズを超えました。

処理を中断します。

対処

メッセージ中に出力されているリクエストサイズを確認し，mserver.properties ファイルの com.cosminexus.mngsvr.upload_app.maxsize キーの値を見直してください。値を変更した場合は，Management Server を再起動し，再度実行してください。

KEOS18514-E（W／F）

アップロードできない J2EE アプリケーションファイルが指定されました。 ファイル名 ＝ aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

指定された J2EE アプリケーションファイルの拡張子が「ear」または「zip」ではないため，アップロードできません。

処理を中断します。

対処

指定されたファイルの拡張子が「ear」または「zip」であるかを確認してください。

ファイルの拡張子が「ear」または「zip」のファイルを指定して，再度実行してください。

KEOS18515-E（W／F）

J2EE アプリケーションファイルが存在しないか，ファイルサイズが 0 バイトです。 ファイル名 ＝ aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

指定された J2EE アプリケーションファイルが存在しないか，ファイルサイズが 0 バイトのため，アップロードできません。

処理を中断します。

対処

次の要因が考えられます。

- 指定されたファイルが存在しない。
- 指定されたファイルのサイズが 0 バイトである。
- 指定されたファイルへのアクセス権がない。

アクセス権のある，ファイルサイズが 0 バイトより大きい J2EE アプリケーションファイルを指定して，再度実行してください。

KEOS18516-E（W／F）

J2EE アプリケーションファイルのアップロードに失敗しました。 ファイル名 ＝ aa....aa，詳細情報 ＝ bb....bb

aa....aa：ファイル名または空文字

bb....bb：詳細情報

説明

J2EE アプリケーションファイルのアップロードに失敗しました。

処理を中断します。

対処

詳細情報を確認して要因を取り除いたあと，再度実行してください。

次の要因が考えられます。

- Management Server 稼働ホストのディスク容量が枯渇している。
- アップロードディレクトリが存在しないまたは作成できない。
- アップロードディレクトリへのアクセス権がない。

KEOS18601-E（W／F）

フィルタ定義が不正です。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

定義したフィルタに文法上の誤りがあります。

操作を行いません。

対処

フィルタの定義内容を見直して訂正したあと，再度実行してください。

KEOS18701-E（W）

aa....aa 情報を取得できません。bb....bb

aa....aa：リソース種別

bb....bb：詳細情報

説明

リソース種別の情報を取得できません。操作を行いません。

リソース種別には，次のどちらかが出力されます。

- アプリケーション
- リソースアダプタ

詳細情報には，次のどちらかが出力されます。

- J2EE サーバのステータスが稼働中であることを確認してください。
- J2EE クラスタの一つ以上の J2EE サーバのステータスが稼働中であることを確認してください。

対処

J2EE サーバのステータスに従って，次に示す対処をして，再度実行してください。

- 「停止」の場合，J2EE サーバを起動してください。
- 「通信障害」または「稼働中」の場合，運用管理エージェントの稼働状態を確認し，稼働していなければ運用管理エージェントを起動してください。それでも解決しない場合は，ネットワークの状態を見直してください。

KEOS19000-E（W）

aa....aa が指定されていません。

aa....aa：パラメタ名

説明

必須パラメタが定義されていません。

更新処理を中断します。

対処

必須パラメタを入力したあと，再度実行してください。

KEOS19001-E（W）

aa....aa の値が選択されていません。

aa....aa：パラメタ名

説明

表示されている値を選択してください。

更新処理を中断します。

対処

必要な値を選択したあと，再度実行してください。

KEOS19002-E（W）

aa....aa に指定された値が長すぎます。 許している長さ=bb....bb 指定された値の長さ=cc....cc

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：許している長さ

cc....cc：指定された値の長さ

説明

パラメタが長過ぎます。

更新処理を中断します。

対処

値の長さを訂正したあと，再度実行してください。

KEOS19003-E（W）

aa....aa に入力された値の形式に誤りがあります。 入力された値=bb....bb

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：入力された値

説明

値の形式が不正です。

更新処理を中断します。

対処

値のフォーマットを適切に訂正したあと，再度実行してください。

KEOS19004-E（W）

aa....aa に入力された値は重複しています。入力された値=bb....bb

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：入力された値

説明

パラメタの値が重複しています。

更新処理を中断します。

対処

必要な値を入力または選択したあと，再度実行してください。

KEOS19005-E（W）

aa....aa クラスには，ハンドラ名称を指定できません。

aa....aa：ハンドラクラス名

説明

指定されたハンドラクラスにはハンドラ名称を指定できません。

更新処理を中断します。

対処

ハンドラ名称を指定しないで，再度実行してください。

KEOS19100-E（W／F）

運用管理エージェントと接続ができませんでした。論理サーバの種類=aa....aa 論理サーバ名=bb...bb

aa....aa：論理サーバの種類

bb...bb：論理サーバ名（表示名）

説明

運用管理エージェントの接続に失敗しました。

設定ファイルの配布処理を中断します。

対処

次の内容を確認して問題を対処したあと，再度実行してください。

- 該当論理サーバの稼働ホストで運用管理エージェントが起動しているか。
- Manangemnet Server の構成定義で定義した運用管理エージェントのポート番号は，論理サーバの稼働ホストで稼働している運用管理エージェントと同じポート番号か。
- Manangemnet Server の構成定義で定義しているホスト名に問題はないか（ping コマンドなどで正しく通信ができているか）。
- 運用管理エージェントのプロパティ（adminagent.properties）に adminagent.adapter.allowedHosts を指定している場合，アクセスしている Management Server のホストは許可されているか。
- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのバージョンが一致しているか。
- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのエディションが異なる場合，接続可能なエディション関係か。

KEOS19101-E（W／F）

設定ファイルの配布に失敗しました。論理サーバに対応するサーバが存在しません。 論理サーバの種類=aa....aa 論理サーバ名=bb...bb

aa....aa：論理サーバの種類

bb...bb：論理サーバ名（表示名）

説明

論理サーバが存在しないため，設定ファイルの配布に失敗しました。

設定ファイルの配布処理を中断します。

論理サーバを稼働させるホストで，前提とする製品がインストールされていないか，サーバが作成されていません（J2EEサーバの場合，構成定義機能で作成しておく必要があります）。または，動作環境が破損しているおそれがあります。

対処

前提とする製品を確認してください。前提製品に問題がない場合は，再起動および再インストールをしてください。

上記の対処で解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS19102-E（W／F）

設定ファイルの配布に失敗しました。論理サーバの種類=aa....aa 論理サーバ名=bb...bb 詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバの種類

bb...bb：論理サーバ名（表示名）

cc....cc：詳細情報

説明

必要な製品がインストールされていないか，メモリ不足またはファイルの書き込みに失敗したため，論理サーバを稼働させるホストでファイルの作成に失敗しました。

設定ファイルの配布処理を中断します。

対処

必要な製品がインストールされているかどうか確認してください。問題ない場合は，詳細情報を参照してエラーを解決したあと，再度実行してください。

KEOS19103-E（W／F）

設定ファイルの読み込みに失敗しました。論理サーバに対応するサーバが存在しません。

説明

論理サーバが存在しないため，設定ファイルの読み込みに失敗しました。

設定ファイルの読み込み処理を中断します。

論理サーバを稼働させるホストで，前提とする製品がインストールされていないか，サーバの作成がされていません（J2EEサーバの場合，構成定義機能で作成しておく必要があります）。または，動作環境が破損しているおそれがあります。

対処

前提とする製品を確認してください。前提製品に問題がない場合は，再起動および再インストールをしてください。

上記の対処で解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS19104-E（W／F）

設定ファイルの読み込みに失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

メモリ不足またはファイルの書き込みに失敗したため，論理サーバが稼働するホストでファイルの読み込みに失敗しました。

設定ファイルの読み込み処理を中断します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS19105-Q（W）

aa....aa サーバの設定を読み込みます。よろしいですか？

aa....aa：論理サーバ名

説明

表示している論理サーバの設定を読み込みます。

［はい］ボタンまたは［いいえ］ボタンを表示します。

対処

該当論理サーバの環境設定の情報を上書きする場合は，［はい］ボタンを選択してください。［いいえ］ボタンを選択した場合は，元の画面に戻ります。

KEOS19106-Q（W）

接続先ホストからサーバの設定を読み込みます。よろしいですか？

説明

論理サーバが稼働しているホストのサーバから設定ファイルを読み込みます。

［はい］ボタンまたは［いいえ］ボタンを表示します。

対処

該当論理サーバの環境設定の情報を上書きする場合は，［はい］ボタンを選択してください。［いいえ］ボタンを選択した場合は，元の画面に戻ります。

KEOS19107-I（W／F）

設定の反映を完了しました。論理サーバの種類=aa....aa 論理サーバ名=bb....bb

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名（表示名）

説明

論理サーバが稼働しているホストのサーバから設定ファイルを更新しました。

KEOS19108-E（W／F）

セットアップに失敗しました。論理サーバの種類=aa....aa 論理サーバ名=bb....bb 詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名（表示名）

cc....cc：詳細情報

説明

セットアップ処理に失敗しました。セットアップ処理を終了します。

対処

論理サーバを稼働させるホストで，前提とする製品が正しくインストールされているかどうかを確認してください。

上記の対処で解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS19109-I（W／F）

セットアップを完了しました。論理サーバの種類=aa....aa 論理サーバ名=bb....bb

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名（表示名）

説明

セットアップ処理を完了しました。

KEOS19110-E（W／F）

運用管理エージェントとの通信に失敗しました。論理サーバの種類=aa....aa 論理サーバ名=bb....bb

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名（表示名）

説明

運用管理エージェントとの通信に失敗したため，セットアップに失敗しました。

セットアップ処理を終了します。

対処

論理サーバを稼働させるホストで，運用管理エージェントが起動されているかどうかを確認して，再度実行してください。

起動済みであれば次の内容を確認してください。

- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのバージョンが一致しているか。
- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのエディションが異なる場合，接続できるエディション関係か。

KEOS19111-W（W／F）

該当するパフォーマンストレーサが運用管理ドメイン内に定義されていません。利用するパフォーマンストレーサを未定義にしました。

説明

usrconf.properties ファイルの ejbserver.server.prf.PRFID キーで指定された識別子を持つパフォーマンストレーサが運用管理ドメイン内に定義されていません。ejbserver.server.prf.PRFID キーを無視して，パフォーマンストレーサを未定義にします。

対処

運用管理ドメインの J2EE サーバと同じホストにパフォーマンストレーサを構築して設定し直してください。

KEOS19112-W（W／F）

該当するスマートエージェントが運用管理ドメイン内に定義されていません。該当するプロパティキーは JVM のシステムパラメタに定義しました。

説明

usrconf.properties ファイルの vbroker.agent.port キーで指定されたポート番号を持つスマートエージェントが運用管理ドメイン内に定義されていません。vbroker.agent.port キーを JavaVM のシステムパラメタに定義します。

対処

必要であれば運用管理ドメインにスマートエージェントを構築して設定し直してください。運用管理ドメイン外にスマートエージェントが構築されている場合は問題ありません。

KEOS19113-W（W／F）

該当するネーミングサービスが運用管理ドメイン内に定義されていません。該当するプロパティキーは JVM のシステムパラメタに定義しました。

説明

usrconf.properties ファイルの ejbserver.naming.host キーで指定されたホストに，ejbserver.naming.port キーで指定されたポートを持つネーミングサービスが運用管理ドメイン内に定義されていません。ejbserver.naming.startupMode, ejbserver.naming.host, ejbserver.naming.port キーを JavaVM のシステムパラメタに定義します。

対処

必要であれば運用管理ドメインにスマートエージェントを構築して設定し直してください。運用管理ドメイン外に該当するスマートエージェントが構築されている場合は問題ありません。

KEOS19114-W（W／F）

該当する CTM が運用管理ドメイン内に定義されていません。利用する CTM を未定義にしました。

説明

usrconf.properties ファイルの ejbserver.ctm.CTMID キーで指定された識別子を持つ CTM が運用管理ドメイン内に定義されていません。ejbserver.ctm.CTMID キーを無視し，CTM を未定義にします。

対処

運用管理ドメインの J2EE サーバと同じホストに CTM を構築して設定し直してください。

KEOS19115-W（W／F）

該当する SFO サーバが運用管理ドメイン内に定義されていません。該当するプロパティキーは JVM のシステムパラメタに定義しました。

説明

usrconf.properties ファイルの webserver.sfo.sfo_server.<SFO フィルタのサーバ定義名>.naming キーで指定された IP アドレスまたはホスト名，およびポート番号に該当する SFO サーバが運用管理ドメイン内に定義されていません。webserver.sfo.sfo_servers，webserver.sfo.sfo_server.<SFO フィルタのサーバ定義名>.naming キーを JavaVM のシステムパラメタに定義します。

対処

必要であれば運用管理ドメインに SFO サーバを構築して設定し直してください。運用管理ドメイン外に該当する SFO サーバが構築されている場合は問題ありません。

KEOS19116-W（W／F）

ラウンドロビン検索で指定されたネーミングサービスに該当する論理サーバが運用管理ドメイン内に定義されていません。該当するプロパティキーは JVM のシステムパラメタに定義しました。

説明

usrconf.properties ファイルの ejbserver.jndi.namingservice.group.<定義名>.providerurls キーで指定された URL に該当する論理サーバが運用管理ドメイン内に定義されていません。
ejbserver.jndi.namingservice.group.list，ejbserver.jndi.namingservice.group.<定義名>.providerurls キーを JavaVM のシステムパラメタに定義します。

対処

必要であれば運用管理ドメインに CTM またはネーミングサービスまたは J2EE サーバを構築して設定し直してください。運用管理ドメイン外に該当する CTM またはネーミングサービスまたは J2EE サーバが構築されている場合は問題ありません。

KEOS19117-E（W／F）

再セットアップに失敗しました。論理サーバの種類 = aa....aa 論理サーバ名 = bb....bb 詳細情報 = cc....cc

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

再セットアップ処理に失敗しました。再セットアップ処理を終了します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS19118-I（W／F）

再セットアップを完了しました。論理サーバの種類 = aa....aa 論理サーバ名 = bb....bb

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名（表示名）

説明

再セットアップ処理を完了しました。

KEOS19119-W（W／F）

指定された値は論理サーバが構築されたホストの運用管理エージェントのホスト名と異なります。
aa....aa=bb....bb を無視します。

aa....aa：キー名

bb....bb：指定値

説明

次に示すどれかのキーに設定されているホストが，運用管理エージェントのホスト名ではないため，無視しました。

- manager.mevent.sender.bind.host
- mngagent.connector.host
- vbroker.se.iiop_tp.host

処理を継続します。

対処

必要に応じて，論理サーバが構築されたホストの運用管理エージェントのホスト名を，表示されたキーに再設定して，再度読み込みを実行してください。

KEOS19120-W（W／F）

指定された値は論理サーバが構築されたホストのホスト名と異なります。aa....aa=bb....bb を無視します。

aa....aa：キー名

bb....bb：指定値

説明

次に示すどちらかのキーに設定されているホストが，論理サーバが構築されたホストのホスト名ではないため，無視しました。

- webserver.connector.http.bind_host
- webserver.connector.inprocess_http.bind_host

処理を継続します。

対処

必要に応じて，論理サーバが構築されたホストのホスト名を，表示されたキーに再設定して，再度読み込みを実行してください。

KEOS19121-W（W／F）

指定された値は論理サーバが構築されたホストのホスト名, または"localhost"と異なります。aa....aa=bb....bb を無視します。

aa....aa：キー名

bb....bb：指定値

説明

次に示すどれかのキーに設定されているホストが，論理サーバが構築されたホストのホスト名または"localhost"ではないため，無視しました。

- webserver.connector.ajp13.bind_host
- ejbserver.rmi.naming.host
- vbroker.se.iiop_tp.host

処理を継続します。

対処

必要に応じて，論理サーバが構築されたホストのホスト名または"localhost"を，表示されたキーに再設定して，再度読み込みを実行してください。

KEOS19122-W（W／F）

指定された値は，どちらも論理サーバが構築されたホストの運用管理エージェントのホスト名と異なります。aa....aa=bb....bb，および cc....cc=dd....dd を無視します。

aa....aa：mngagent.connector.host

bb....bb：mngagent.connector.host の値

cc....cc：vbroker.se.iiop_tp.host

dd....dd：vbroker.se.iiop_tp.host の値

説明

次に示すキーのどちらにも，論理サーバが構築されたホストの運用管理エージェントのホスト名が設定されていないため，無視しました。

- mngagent.connector.host
- vbroker.se.iiop_tp.host

処理を継続します。

対処

必要に応じて，論理サーバが構築されたホストの運用管理エージェントのホスト名を，表示されたどちらかのキーに再設定して，再度読み込みを実行してください。

KEOS19123-W（W／F）

利用するネーミングサービスにインプロセスを設定しました。

説明

ejbserver.naming.startupMode キーの設定がないか，"automatic"が設定されていたため，"inprocess"を設定しました。

処理を継続します。

対処

必要に応じて，ejbserver.naming.startupMode キーに"manual"を設定して，再度読み込みを実行してください。

KEOS19124-W（W／F）

利用するネーミングサービスを割り当てることができません。aa....aa=bb....bb を無視します。

aa....aa：ejbserver.naming.startupMode

bb....bb：値

説明

ejbserver.naming.startupMode に指定された値が，"automatic"，"inprocess"，または"manual"のどれでもないため，無視しました。

処理を継続します。

対処

必要に応じて，ejbserver.naming.startupMode キーに"automatic"，"inprocess"，または"manual"を再設定して，再度読み込みを実行してください。

KEOS19125-W（W／F）

指定された JVM の起動パラメタは,Java ヒープの設定に設定できません。aa....aa=bb....bb を拡張起動パラメタに設定しました。

aa....aa：キー名

bb....bb：値

説明

指定されたパラメタは，JVM の Java ヒープの設定に設定できないため，拡張起動パラメタに設定しました。

処理を継続します。

対処

必要に応じて，起動パラメタを再設定して，再度読み込みを実行してください。

KEOS19126-W（W／F）

利用するパフォーマンストレーサが定義されていません。利用するパフォーマンストレーサを未定義にしました。

説明

usrconf.properties の ejbserver.server.prf.PRFID キーが定義されていません。利用するパフォーマンストレーサを未定義にしました。

処理を継続します。

対処

ejbserver.server.prf.PRFID キーを設定して，再度実行してください。

KEOS19127-E（W／F）

設定ファイルの参照に失敗しました。論理サーバの種類=aa....aa, 論理サーバ名=bb....bb, 詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名（表示名）

cc....cc：詳細情報

説明

設定ファイルの参照に失敗しました。

処理を中断します。

対処

詳細情報に従って障害を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS19128-W（W／F）

設定ファイルの検証に失敗しました。論理サーバの種類=aa....aa, 論理サーバ名=bb....bb, 詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：論理サーバ名（表示名）

cc....cc：詳細情報

説明

設定ファイルの検証に失敗しました。

処理を継続します。

対処

配布された設定ファイルの内容が不正です。設定内容を見直して，再度配布してください。

KEOS19201-E（W）

既に使用されているポート番号を指定しました。使用済みポート番号=aa....aa

aa....aa：使用されているポート番号

説明

指定されたポート番号は，同一論理サーバ内ですでに使用されています。別のポート番号を指定してください。

処理を中断します。

対処

ポート番号は，同一論理サーバ内で重ならないように指定してください。

KEOS19202-W（W／F）

同一ホスト内で同じポート番号が指定されています。使用済みポート番号=aa....aa

aa....aa：使用されているポート番号

説明

同一ホスト内で同じポート番号が指定されましたが，定義情報を更新します。

処理を続行します。

対処

必要に応じて，ポート番号が重ならないように変更してください。

KEOS19203-E（W）

aa....aa サーバのネーミングサービスが定義されていないか削除されたため配布できませんでした。

aa....aa：論理サーバ名（表示名）

説明

表示されている論理サーバでネーミングサービスの定義がされていないか，対応するネーミングサービス（論理サーバ）が削除されたため，配布できませんでした。

処理を中断します。

対処

論理サーバにネーミングサービスを定義したあと，再度実行してください。

KEOS19207-W（W／F）

同一ホスト内で同じパスが指定されています。使用済みパス=aa....aa

aa....aa：使用されているパス

説明

同一ホスト内で同じパスが指定されましたが，定義情報は更新します。

処理を続行します。

対処

必要に応じて，パスが重ならないように変更してください。

KEOS19208-W（W／F）

同一ホスト内で同じ論理サーバが指定されています。使用済み論理サーバ=aa....aa

aa....aa：使用されている論理サーバ

説明

同一ホスト内で同じ論理サーバが指定されましたが，定義情報は更新します。

処理を続行します。

対処

必要に応じて，論理サーバが重ならないように変更してください。

KEOS19209-W（W／F）

運用管理ドメイン内で同じ論理サーバが指定されています。使用済み論理サーバ=aa....aa

aa....aa：使用されている論理サーバ

説明

運用管理ドメイン内で同じ論理サーバが指定されましたが，定義情報は更新します。

処理を続行します。

対処

必要に応じて，論理サーバが重ならないように変更してください。

KEOS19210-W（W／F）

同一ホスト内で同じ値が指定されています。値=aa....aa

aa....aa：使用されている値

説明

運用管理ドメイン内で同じ値が指定されましたが，定義情報は更新します。

処理を続行します。

対処

必要に応じて，値が重ならないように変更してください。

KEOS19211-W（W／F）

運用管理ドメイン内で同じ値が指定されています。値=aa....aa

aa....aa：使用されている値

説明

運用管理ドメイン内で同じ値が指定されましたが，定義情報は更新します。

処理を続行します。

対処

必要に応じて，値が重ならないように変更してください。

KEOS19212-E（W／F）

指定されたホストは運用管理ドメイン内に存在しません。ホスト=aa....aa

aa....aa：指定されたホスト

説明

指定されたホストは運用管理ドメイン内から削除されたため，指定できません。

処理を続行します。

対処

必要に応じて［論理サーバの構成定義］でホストを定義して指定してください。

KEOS19213-W（W）

aa....aa が選択されていません。

aa....aa：パラメタ名

説明

スマートエージェントが選択されていません。

処理を続行します。

対処

必要な値を選択したあと，再度実行してください。

KEOS19214-W（W）

aa....aa が，aa....aa の利用するスマートエージェントと一致していません。

aa....aa：パラメタ名

説明

選択したスマートエージェントが，関連論理サーバで利用するスマートエージェントと一致していません。

処理を続行します。

対処

必要な値を選択したあと，再度実行してください。

KEOS19215-E（W）

SFO フィルタのサーバ定義名を指定して下さい。

説明

URL パターンが入力されていないため，追加または内容の適用ができません。

処理を中断します。

対処

SFO フィルタのサーバ定義名を入力してください。

KEOS19216-E（W）

別の SFO フィルタのサーバ定義名を指定して下さい。論理サーバ名=aa....aa 指定された SFO フィルタのサーバ定義名=bb....bb

aa....aa：論理サーバ名（表示名）

bb....bb：SFO フィルタのサーバ定義名

説明

指定された URL パターンが同じため定義できません。

処理を中断します。

対処

別の URL パターンを指定してください。

KEOS19217-W（W／F）

未決着トランザクションが残留している状態でステータスファイル格納先を変更すると，トランザクションの一貫性が失われる可能性があります。論理サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理サーバ名（表示名）

説明

インプロセス OTS のステータスファイル格納先が変更されました。以前のステータスファイルに未決着トランザクションが残留していると，トランザクションの一貫性が失われるおそれがあります。

処理を続行します。

対処

未決着トランザクションが解消したことを確認してから「情報配布」を行ってください。または，現在参照しているステータスファイルを新しい格納先に移動してください。

KEOS19218-W（W／F）

未決着トランザクションが残留している状態でステータスファイル格納先（予備）を変更すると，トランザクションの一貫性が失われる可能性があります。論理サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理サーバ名（表示名）

説明

インプロセス OTS のステータスファイル格納先（予備）が変更されました。以前のステータスファイルに未決着トランザクションが残留していると，トランザクションの一貫性が失われるおそれがあります。

処理を続行します。

対処

未決着トランザクションが解消したことを確認してから「情報配布」を行ってください。または，現在参照しているステータスファイルを新しい格納先に移動してください。

KEOS19219-W（W／F）

未決着トランザクションが残留している状態で JTA リカバリの固定ポートを変更すると，未決着トランザクションが解消されない可能性があります。論理サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理サーバ名（表示名）

説明

JTA リカバリの固定ポートが変更されました。次の J2EE サーバのステータスファイルに未決着トランザクションが残留していると，これらのトランザクションが解消されないおそれがあります。

- JTA リカバリの固定ポートを変更しようとしている J2EE サーバ
- 上記 J2EE サーバとともに分散トランザクション処理に参加しているすべての J2EE サーバ

処理を続行します。

対処

未決着トランザクションが解消したことを確認してから「情報配布」を行ってください。

KEOS19220-W（W／F）

未決着トランザクションが残留している状態で EJB コンテナのホストの固定(する／しない／ループバックアドレス）を変更すると，未決着トランザクションが解消されない可能性があります。また，インプロセス OTS のス

テータスファイルが存在する状態でEJBコンテナのホストの固定を変更すると，このステータスファイルでJ2EEサーバを起動できなくなる可能性があります。論理サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理サーバ名（表示名）

説明

EJBコンテナのホストの固定（する／しない／ループバックアドレス）が変更されました。次のJ2EEサーバのステータスファイル，およびデータベースに未決着トランザクションが残留していると，これらのトランザクションが解消されないおそれがあります。

- ホストの固定を変更しようとしているJ2EEサーバ
- 上記J2EEサーバとともに分散トランザクション処理に参加しているすべてのJ2EEサーバ
- ホストの固定を変更しようとしているJ2EEサーバからアクセスしているデータベース

また，変更前の設定で生成されたインプロセスOTSのステータスファイルが残っていると，変更後にJ2EEサーバを起動できなくなります。

処理を続行します。

対処

未決着トランザクションが解消したことを確認してから「情報配布」を行ってください。また，「トランザクションの設定」で，「インプロセスOTSのステータスファイル格納先」に指定しているディレクトリを削除してからJ2EEサーバを起動してください。

KEOS19221-E（W）

定義名を指定して下さい。

説明

定義名が入力されていないため，追加または内容の適用ができません。

処理を中断します。

対処

定義名を入力してください。

KEOS19222-E（W）

別の定義名を指定して下さい。指定された定義名=aa....aa

aa....aa：定義名

説明

指定された定義名が同じため定義できません。別の定義名を指定してください。

処理を中断します。

対処

別の定義名を入力してください。

KEOS19223-E（W）

リダイレクトURLとファイル名（絶対パス）を同時に設定することはできません。

説明

リダイレクトURLを設定する場合は，ファイル名（絶対パス）を設定することはできません。また，ファイル名（絶対パス）を設定する場合は，リダイレクトURLを設定することはできません。

処理を中断します。

対処

リダイレクト URL かファイル名（絶対パス）のどちらかを入力してください。

KEOS19224-E（W）

ファイル名を絶対パスで指定して下さい。

説明

ファイル名を絶対パスで入力してください。

処理を中断します。

対処

ファイル名が入力されているかどうか，および絶対パスで入力されているかどうかを見直してください。

KEOS19225-E（W）

リダイレクト URL を指定して下さい。ステータス=aa....aa

aa....aa：ステータス

説明

指定されたステータスにはリダイレクト URL を指定する必要があります。

処理を中断します。

対処

ステータスを確認してリダイレクト URL を見直してください。

KEOS19226-E（W）

リダイレクト URL を指定できません。ステータス=aa....aa

aa....aa：ステータス

説明

指定されたステータスにはリダイレクト URL を指定することはできません。

処理を中断します。

対処

ステータスを確認してリダイレクト URL を見直してください。

KEOS19227-E（W）

ファイル名（絶対パス）を指定して下さい。ステータス=aa....aa

aa....aa：ステータス

説明

指定されたステータスにはファイル名（絶対パス）を入力する必要があります。

処理を中断します。

対処

ステータスを確認してファイル名（絶対パス）を見直してください。

KEOS19228-E（W）

別のリクエスト URL を指定して下さい。ステータス=aa....aa

aa....aa：ステータス

説明

指定されたステータスとリクエスト URL の組み合わせは，すでに使用されているため定義できません。
別のリクエスト URL を指定するかステータスを変更してください。

処理を中断します。

対処

ステータスを確認してリクエスト URL を見直してください。

KEOS19229-E（W）

フォーマット名を指定して下さい。

説明

フォーマット名が入力されていないため，追加または内容の適用ができません。

処理を中断します。

対処

フォーマット名を入力してください。

KEOS19230-E（W）

フォーマット形式を指定して下さい。

説明

フォーマット形式が入力されていないため，追加または内容の適用ができません。

処理を中断します。

対処

フォーマット形式を入力してください。

KEOS19231-E（W）

パラメタ(aa....aa)の指定値が不正です。詳細情報=bb....bb

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：詳細情報

説明

パラメタの指定に誤りがあります。

処理を中断します。

対処

設定を見直してください。

KEOS19232-W（W）

インプロセス HTTP サーバ機能は使用されていません。

説明

インプロセス HTTP サーバ機能が使用されていません。

処理を続行します。

対処

インプロセス HTTP サーバ機能が使用されているかどうかを見直してください。

KEOS19233-E（W）

別のフォーマット名を指定して下さい。指定されたフォーマット名=aa....aa

aa....aa：フォーマット名

説明

指定されたフォーマット名が同じため定義できません。別のフォーマット名を指定してください。

処理を中断します。

対処

別のフォーマット名を入力してください。

KEOS19234-W（W）

指定された J2EE サーバもしくは J2EE サーバクラスタのメンバはインプロセス HTTP サーバを使用しているため，リクエストをリダイレクトできません。論理サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理 J2EE サーバ名（表示名）

説明

リダイレクト先に指定された J2EE サーバまたは J2EE サーバクラスタのメンバはインプロセス HTTP サーバ機能を使用しているため，リクエストをリダイレクトできません。

処理を続行します。

対処

インプロセス HTTP サーバ機能が使用されていない J2EE サーバまたは J2EE サーバクラスタを指定してください。

KEOS19235-E（W）

リクエスト URL を指定して下さい。

説明

リクエスト URL が入力されていないため，追加または内容の適用ができません。処理を中断します。

対処

リクエスト URL を入力してください。

KEOS19236-E（W）

同じ名称の変数は複数個定義できません。変数名=aa....aa

aa....aa：重複した変数名

説明

大文字／小文字を区別せずに同じ名称の変数は複数個定義できません。

処理を中断します。

対処

変数名は重複しないように指定してください。

KEOS19237-W（W）

セッション ID に付加するサーバ ID が指定されていません。サーバ ID を省略した場合, Component Container のデフォルト値が使用されます。 論理サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理 J2EE サーバ名（表示名）

説明

セッション ID に付加するサーバ ID が指定されていません。サーバ ID を省略した場合，Component Container のデフォルト値が使用されますが，クライアントに送信されるとセキュリティ上好ましくない情報が含まれる可能性がありますので，明示的にサーバ ID を指定することを推奨します。

対処

サーバ ID には，IP アドレスなどのマシン固有の情報を含まずに一意となる値を明示的に指定してください。

KEOS19238-W（W）

HTTP レスポンスに付加するサーバ ID が指定されていません。サーバ ID を省略した場合，Component Container のデフォルト値が使用されます。 論理サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理 J2EE サーバ名（表示名）

説明

HTTP レスポンスに付加するサーバ ID が指定されていません。サーバ ID を省略した場合，Component Container のデフォルト値が使用されますが，クライアントに送信されるとセキュリティ上好ましくない情報が含まれる可能性がありますので，明示的にサーバ ID を指定することを推奨します。

対処

サーバ ID には，IP アドレスなどのマシン固有の情報を含まずに一意となる値を明示的に指定してください。

KEOS19239-W（W）

J2EE サーバの動作モードがベーシックモードのため，リロード機能を使用できません。

説明

J2EE サーバの動作モードがベーシックモードのため，更新検知によるリロード機能を使用できません。処理を続行します。

対処

更新検知によるリロード機能を使用する場合には，動作モードとしてベーシックモード以外を指定してください。

KEOS19240-W（W）

J2EE アプリケーションの呼び出し方式が全てローカル呼び出しを選択した場合，リロード機能の適用範囲で EJB-JAR，サーブレット，JSP リロードを使用できません。

説明

J2EE アプリケーションの呼び出し方式が［全てローカル呼び出し］を選択した場合，リロード機能の適用範囲で［EJB-JAR，サーブレット，JSP をリロード］を使用できません。処理を続行します。

対処

リロード機能の適用範囲で［EJB-JAR，サーブレット，JSP をリロード］を使用する場合には，J2EE アプリケーションの呼び出し方式として［全てローカル呼び出し］以外を指定してください。

KEOS19241-E（W）

J2EE サーバクラスタ内の構成要素に対して同じ上限値は指定できません。J2EE サーバクラスタ名=aa....aa

aa....aa：論理 J2EE サーバクラスタ名（表示名）

説明

J2EE サーバクラスタ内の構成要素に対して同じ上限値は指定できません。処理を中断します。

対処

J2EE サーバクラスタ内の構成要素に対してほかと異なる上限値を指定してください。

KEOS19242-E（W）

ワーカのタイプが POST データ振り分けのときには POST データサイズの上限値を指定して下さい。J2EE サーバ名=aa....aa

aa....aa：論理 J2EE サーバ名（表示名）

説明

ワーカのタイプが POST データ振り分けのときには POST データサイズの上限値を指定してください。処理を中断します。

対処

この J2EE サーバをデフォルトワーカとして設定していない場合には，POST データサイズの上限値を必ず指定してください。なお，デフォルトワーカとして設定している場合でも，この J2EE サーバが J2EE サーバクラスタ内の唯一の構成要素のときには，POST データサイズの上限値は必ず指定してください。

KEOS19243-W（W／F）

aa....aa に bb....bb バイトが指定されています。意図した値になっているか確認してください。

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：指定値

説明

aa....aa の指定値 bb....bb に単位を表す文字（k，m，または g）が含まれていない場合，指定値の単位はバイトと見なされます。単位を表す文字は必須ではありませんが，指定することを推奨します。指定された値を有効にして，処理を続行します。

対処

指定値の単位がバイトでよいかどうかを確認してください。

単位をバイト以外で指定する場合は，値に単位を表す文字（k，m，または g）を含めて指定し直してください。

KEOS19244-W（W／F）

指定された JVM の起動パラメタは,明示管理ヒープの設定に設定できません。aa....aa=bb....bb を拡張起動パラメタに設定しました。

aa....aa：キー名

bb....bb：値

説明

指定されたパラメタは，JVM の明示管理ヒープの設定に設定できないため，拡張起動パラメタに設定しました。

処理を継続します。

対処

必要があれば，起動パラメタを再設定したあと，読み込みを再実行してください。

KEOS19245-W（W／F）

指定された JVM の起動パラメタは,ユーザ拡張性能解析トレースの設定に設定できません。aa....aa=bb....bb を拡張起動パラメタに設定しました。

aa....aa：キー名

bb....bb：値

説明

指定されたパラメタは，JVM のユーザ拡張性能解析トレースの設定に設定できないため，拡張起動パラメタに設定しました。

処理を継続します。

対処

必要があれば，起動パラメタを再設定した後，読み込みを再実行してください。

KEOS19300-E（W）

環境設定情報の保存に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

環境設定情報をファイルに保存しようとしましたが，失敗しました。

処理を中断します。

対処

エラーの要因を取り除いてから，再度［適用］ボタンを押してください。

KEOS19301-I（W）

環境設定情報を保存しました。

説明

環境設定情報の保存に成功しました。

KEOS19999-E（W／F）

内部エラーが発生しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

内部エラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

Management Server を再起動してもエラーの要因が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

13.4　KEOS20000 から KEOS29999 までのメッセージ

Manager の構築・運用・保守で出力される KEOS20000 から KEOS29999 までのメッセージについて説明します。

KEOS20001-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の起動／停止の設定を変更しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

起動／停止の設定を変更しました。

KEOS20002-E（W）

起動／停止の設定に誤りがあります。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

起動／停止の設定に不正な値が設定されました。

更新処理を行いません。

対処

正しい設定値を入力してください。

KEOS20003-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)のステータスは cc....cc 状態のため起動／停止は実行できません。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：ステータス

説明

処理中のため，起動／停止できません。

論理サーバの起動／停止を行いません。

対処

実行可能なステータスになってから，処理を行ってください。

運用管理エージェントが起動済みで，しばらくしてもステータスが通信障害から変わらない場合は，次の内容を再確認してください。

- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのバージョンが一致しているか。
- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのエディションが異なる場合，接続可能なエディション関係か。

KEOS20004-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の cc....cc を受け付けました。

aa....aa：論理サーバ名，運用管理ドメイン名またはホスト名

bb....bb：論理サーバの種類，運用管理ドメインまたはホスト

cc....cc：起動/停止/一括起動/一括停止/一括再起動

説明

運用管理エージェントに要求を発行しました。

KEOS20005-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の起動に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

論理サーバの起動に失敗しました。

同じ起動順序の論理サーバの起動を行ったあと，起動処理を中断します。

対処

設定情報が配布済みであるかを確認してください。詳細情報と，運用管理エージェントのログを参照して，障害を取り除いてから，再度実行してください。

なお，資料の採取方法および原因の調査方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「6.5　稼働（運用）時のトラブルシュート」を参照してください。

KEOS20007-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を起動しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを起動しました。

KEOS20008-E（W／F）

一括起動を中止します。

説明

一括起動を途中で中止しました。

対処

これまでに出力された詳細情報と，運用管理エージェントのログを参照して，障害を取り除いてから，再度実行してください。

KEOS20009-I（W／F）

一括起動を開始します。

説明

一括起動を開始します。

KEOS20010-I（W／F）

一括起動を終了します。

説明

一括起動が終了しました。

KEOS20011-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の停止に失敗しました。 詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

論理サーバの停止に失敗しました。

ほかに停止対象の論理サーバが存在する場合は，処理を続行します。

対処

詳細情報と，運用管理エージェントのログを参照して，障害を取り除いてから，再度実行してください。

なお，資料の採取方法および原因の調査方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「4.3.1(2)　運用管理エージェント・運用監視エージェント・Management Serverのログの取得」を参照してください。

KEOS20012-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を停止しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを停止しました。

KEOS20014-I（W／F）

一括停止を開始します。

説明

一括停止を開始します。

KEOS20015-I（W／F）

一括停止を終了します。

説明

一括停止が終了しました。

KEOS20016-I（W／F）

一括再起動を開始します。

説明

一括再起動を開始します。

KEOS20017-I（W／F）

一括再起動を終了します。

説明

一括再起動が終了しました。

KEOS20018-E（W／F）

処理対象の論理サーバが存在しません。

説明

指定したドメイン，ホスト，クラスタには一括処理対象の論理サーバが存在しません。

一括処理を行いません。

対処

次の要因が考えられます。それぞれの要因に応じて，対処してください。

- **指定したドメイン，ホスト，クラスタに論理サーバが作成されていません。**
  論理サーバを作成してください。
- **論理サーバに起動順序が設定されていないので，一括処理対象外サーバになっていません。**
  起動順序を設定してください。

KEOS20019-E（W）

aa....aa(bb....bb)の起動順序に誤りがあります。 入力された値=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：入力された値

説明

起動順序に不正な値が入力されました。

起動順序の更新を行いません。

対処

起動順序には，0～99 の数値を入力するか，または入力しない（起動順序の設定なし）でください。

KEOS20020-E（W）

aa....aa(bb....bb)の起動順序が利用する cc....cc(dd....dd)の起動順序より先になっています。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名

dd....dd：論理サーバの種類

説明

依存関係のある論理サーバの起動順序が不正です。

起動順序の更新を行いません。

対処

J2EE サーバの起動順序は，利用するネーミングサービスの起動順序よりもあとに設定してください。

KEOS20021-E（W／F）

起動順序の設定の更新に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

起動順序の設定の更新に失敗しました。

起動順序の更新を行いません。

対処

詳細情報を参照して障害を取り除いたあと，再度設定してください。

KEOS20022-I（W／F）

起動順序の設定を更新しました。

説明

起動順序の設定を更新しました。

KEOS20023-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)を利用する cc....cc(dd....dd)の起動順序が不正です。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名

dd....dd：論理サーバの種類

説明

起動順序が不正です。

起動順序の更新を行いません。

該当論理サーバには起動順序が設定されていませんが，該当論理サーバを利用する論理サーバに起動順序が設定されています。

対処

起動順序の見直しをしてください。

KEOS20024-E（W／F）

一括起動に失敗しました。 詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

一括起動に失敗しました。

一括起動を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS20025-E（W／F）

一括停止に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

一括停止に失敗しました。

一括停止を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS20026-E（W／F）

一括再起動に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

一括再起動に失敗しました。

一括再起動を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS20027-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の自動再起動に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

自動再起動に失敗しました。

自動再起動を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，起動／停止の画面から起動してください。

KEOS20028-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)で設定した自動再起動回数をオーバーしました。再起動回数=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：再起動回数

説明

設定した自動再起動回数をオーバーしました。自動再起動を終了します。

対処

出力された論理サーバのエラー要因を取り除いて，論理サーバを起動してください。

KEOS20029-E（F）

強制停止監視スレッドの作成に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

強制停止監視スレッドの作成に失敗しました。

強制終了処理が行われません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，Management Server を再起動してください。

KEOS20030-E（W／F）

設定に不備があるため aa....aa(bb....bb)は起動できません。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

個別起動／停止ができませんでした。

起動／停止を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS20031-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)が異常停止しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバが異常停止しました。

対処

自動再起動設定がされている場合は，自動再起動を行います。

なお，資料の採取方法および原因の調査方法については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「6.5　稼働（運用）時のトラブルシュート」を参照してください。

KEOS20032-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を自動停止しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを自動停止しました。

KEOS20033-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の自動停止に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

論理サーバの自動停止に失敗しました。

論理サーバが自動停止されません。

論理サーバにプロセスは存在しますが，正常に動作しない状態です。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，停止してください。

KEOS20034-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の自動停止を開始します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

自動停止を開始します。

KEOS20035-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の自動停止を終了します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

自動停止が終了しました。

KEOS20036-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の自動再起動を開始します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

自動再起動を開始します。

KEOS20037-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の自動再起動を終了します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

自動再起動が終了しました。

KEOS20040-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の強制停止に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

強制停止に失敗しました。

強制停止を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，手動でプロセスを停止させてください。

KEOS20042-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の cc....cc ステータスを受信しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：ステータス

説明

論理サーバのステータスを受信しました。

KEOS20050-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の起動／停止の設定の変更に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

起動／停止の設定の更新に失敗しました。

更新処理を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度停止処理を実行してください。

KEOS20051-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログを収集しました。ファイル名=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：snapshot ログファイル名

説明

snapshot ログを取得しました。

KEOS20052-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログの収集に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

snapshot ログの収集でエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照し，要因を取り除いて再度処理を実行してください。

詳細情報に「A timeout occurred while collecting the snapshot log.」が表示された場合は，次のどれかで対処してください。

- mngsvrutil コマンドや運用管理ポータルから手動で snapshot ログを収集する。
- Management Server 環境設定ファイル（mserver.properties）の com.cosminexus.mngsvr.snapshot.auto_collect.timeout キーの値を大きくする。
- snapshot ログ収集定義ファイル（snapshotlog.conf と snapshotlog.2.conf）を見直す。

KEOS20053-I（W／F）

対象となるファイルがないので aa....aa(bb....bb)の snapshot ログを収集しませんでした。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

対象となるファイルがないので，snapshot ログを収集しませんでした。

KEOS20054-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を起動します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを起動します。

KEOS20055-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を停止します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを停止します。

KEOS20056-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を強制停止します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを強制停止します。

KEOS20057-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログを収集します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

snapshot ログを収集します。

KEOS20058-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)とそれを前提とする論理サーバ cc....cc の自動再起動を開始します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名の一覧

説明

自動再起動を開始します。

KEOS20059-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)とそれを前提とする論理サーバ cc....cc の自動再起動を終了します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名の一覧

説明

自動再起動を終了します。

KEOS20060-W（W／F）

環境設定で利用すると設定した論理サーバが前提となる論理サーバとして設定されていません。

説明

環境設定で利用すると設定した論理サーバが，前提となる論理サーバとして設定されていません。

処理を続行します。

KEOS20061-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)とそれを前提とする論理サーバ cc....cc の自動停止を開始します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名の一覧

説明

自動停止を開始します。

KEOS20062-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)とそれを前提とする論理サーバ cc....cc の自動停止を終了します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名の一覧

説明

自動停止を終了します。

KEOS20063-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を前提とする論理サーバ cc....cc の自動停止を開始します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名の一覧

説明

自動停止を開始します。

KEOS20064-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を前提とする論理サーバ cc....cc の自動停止を終了します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：論理サーバ名の一覧

説明

自動停止を終了します。

KEOS20065-E（W）

aa....aa(bb....bb)の起動順序がほかの論理サーバより先に設定されていません。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの起動順序が不正です。

起動順序の更新を行いません。

対処

該当論理サーバの起動順序は，ほかの論理サーバの起動順序よりも前になるように設定してください。

KEOS20067-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログ収集処理を中断しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

snapshot ログの収集処理を中断しました。

KEOS20068-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログ収集処理の中断に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

snapshot ログの収集処理を中断できませんでした。

snapshot ログの収集処理を続行します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度処理を実行してください。

KEOS20069-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の障害検知時コマンドを開始します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの障害検知時コマンドを開始します。

KEOS20070-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の障害検知時コマンドが終了しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの障害検知時コマンドが終了しました。

KEOS20071-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の障害検知時コマンドの実行に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

論理サーバの障害検知時コマンドの実行に失敗しました。

障害検知時コマンドを実行しません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度処理を実行してください。

KEOS20072-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の障害検知時コマンドは定義されていません。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

障害検知時コマンドが定義されていません。

障害検知時コマンドを実行しません。

KEOS20073-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)を計画停止します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

計画停止を開始しました。

KEOS20074-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の計画停止に失敗しました。詳細情報=cc....cc

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

計画停止に失敗しました。

対処

詳細情報と運用管理エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてから再度実行してください。

KEOS20075-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログ(cc....cc)を収集します。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：snapshot ログの収集対象

説明

snapshot ログを取得します。

KEOS20076-I（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログ(cc....cc)を収集しました。ファイル名=dd....dd

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：snapshot ログの収集対象

dd....dd：snapshot ログファイル名

説明

snapshot ログを取得しました。

KEOS20077-I（W／F）

対象となるファイルがないので aa....aa(bb....bb)の snapshot ログ(cc....cc)を収集しませんでした。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：snapshot ログの収集対象

説明

対象となるファイルがないので，snapshot ログを収集しませんでした。

KEOS20078-E（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログ(cc....cc)の収集に失敗しました。詳細情報=dd....dd

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：snapshot ログの収集対象

dd....dd：詳細情報

説明

snapshot ログを取得できませんでした。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度処理を実行してください。

KEOS20079-W（W／F）

aa....aa(bb....bb)の snapshot ログ(cc....cc)を収集しました。ファイル名=dd....dd 詳細情報=ee....ee

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：snapshot ログの収集対象

dd....dd：snapshot ログファイル名

ee....ee：詳細情報

説明

snapshot ログを収集しましたが，障害が発生しています。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度処理を実行してください。

KEOS20080-I（F）

aa....aa(bb....bb)起動時の環境変数情報を取得しました。cc....cc=dd....dd

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：環境変数

dd....dd：環境変数値

説明

論理サーバ起動時の環境変数情報を取得しました。

KEOS20100-E（W／F）

予期しない例外が発生しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

予期しない例外が発生しました。

指定した要求を行いません。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度停止処理を実行してください。

再度障害が発生して，再起動しても解決できない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS20501-I（F）

aa....aa(bb....bb)の監視を開始しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの監視を開始しました。

KEOS20502-I（F）

aa....aa(bb....bb)の監視を終了しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの監視を終了しました。

KEOS20505-E（F）

aa....aa(bb....bb)の処理において cc...cc(Host)の運用管理エージェントと接続ができませんでした。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc...cc：ホスト名

説明

運用管理エージェントと接続できませんでした。

起動・停止処理を中断します。

対処

再度，論理サーバの起動／停止の画面から起動・停止をしてください。再度，起動・停止をしても同様の現象になる場合は，該当論理サーバの稼働ホストで運用管理エージェントが起動しているかどうかを確認してください。

起動済みであれば次の内容を確認してください。

- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのバージョンが一致しているか。

- Management Server と運用管理エージェントのアプリケーションサーバのエディションが異なる場合，接続可能なエディション関係か。

KEOS20506-E（F）

aa....aa(bb....bb)のホスト名及びポート番号の取得に失敗しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

ホスト名およびポート番号の取得に失敗しました。

監視処理を中断します。

対処

次に示すファイルを削除していないか，またはファイル権限を変更していないかどうかを確認してください。

- Windows の場合

  <HTTP Server のインストールディレクトリ>¥conf¥httpsd.conf

- UNIX の場合

  /opt/hitachi/httpsd/conf/httpsd.conf

KEOS20507-E（F）

aa....aa(bb....bb)のプロセス ID の取得に失敗しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

プロセス ID の取得に失敗しました。

監視処理を中断します。

運用管理エージェントのサービスのアカウントを変更していることが，要因として考えられます。

対処

運用管理エージェントのサービスのアカウントをシステムアカウントに変更して，運用管理エージェントを再起動後，再度論理サーバを起動してください。この対処でエラーの要因が取り除かれない場合は，再度論理サーバを起動してください。

再起動しても同様の現象になる場合は，保守員に連絡してください。

KEOS20508-E（F）

aa....aa(bb....bb)の起動監視時間を超えました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

起動監視時間を超えました。

論理サーバを停止します。

対処

論理サーバの起動監視時間を，環境に合わせて設定してください。

論理 J2EE サーバまたは論理 SFO サーバの場合，Management Server が接続するネーミングサービスが起動していないことが考えられます。運用管理ポータルの「Naming Service への接続の設定」画面で設定したネーミングサービスが，起動しているかどうかを確認してください。

KEOS20509-I（F）

aa....aa(bb....bb)のプロセス ID(cc....cc)を取得しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：プロセス ID

説明

プロセス ID の取得に成功しました。

KEOS20510-E（F）

ファイルが開けません。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルのオープンに失敗しました。

監視処理を中断します。

対処

ファイルの名前や権限などの動作環境や設定を確認してください。

KEOS20511-E（F）

aa....aa(bb....bb)の監視中にハングアップを検出しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバのハングアップを検出しました。

Management Server に論理サーバの異常を通知します。

対処

snapshot ログの収集などで資料を採取し，ハングアップした要因を調査してください。

KEOS21000-I（F）

運用管理エージェントを開始しました。

説明

運用管理エージェントを開始しました。

KEOS21001-I（F）

運用管理エージェントを終了しました。

説明

運用管理エージェントを終了しました。

KEOS21002-E（F）

運用管理エージェントを開始できません。

説明

運用管理エージェントの開始に失敗しました。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21003-E（F）

運用管理エージェントの停止に失敗しました。

説明

運用管理エージェントの停止に失敗しました。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21004-E（F）

ファイルを開けません。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルのオープンに失敗しました。

運用管理エージェントの動作を継続できる場合は継続して，継続できない場合は動作を停止します。

対処

ファイルの名前や権限などの動作環境や設定を確認してください。

KEOS21005-E（F）

ポート番号が不正です。ポート番号=aa....aa

aa....aa：ポート番号

説明

ポート番号に誤った値が設定されています。

処理を中止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21006-E（F）

すでに使用されているポート番号を指定しました。使用済みポート番号=aa....aa

aa....aa：ポート番号

説明

設定されたポート番号は，すでに使用されています。

処理を中止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21007-W（F）

コマンドの実行に失敗しました。コマンド=aa....aa

aa....aa：コマンドライン文字列

説明

表示されたコマンドの実行に失敗しました。

処理を継続します。

対処

次の内容を確認してください。

- コマンドのパスは正しいかどうか（存在するかどうか）。
- コマンドは実行可能かどうか（実行可能属性はあるかどうか）。
- コマンドのアクセス権は適切かどうか。
- メモリやディスク容量は十分かどうか。

KEOS21008-W（F）

コマンドがエラー終了しました。コマンド=aa....aa, 終了コード=bb....bb

aa....aa：コマンドライン文字列

bb....bb：終了コード

説明

表示されたコマンドがエラー終了しました。

処理を継続します。

対処

コマンドを実行するための前提条件は満たされているかどうか（設定，環境変数など）を確認して，コマンドのエラーの要因を取り除いてください。

KEOS21009-I（F）

aa....aa で指定されたログファイルが存在しません。

aa....aa：snapshot ログ設定ファイルのパス

説明

表示された snapshot ログ設定ファイルに記述されたログファイルが存在しません。

処理を継続します。snapshot ログファイル（zip）は作成しません。

KEOS21010-I（F）

aa....aa からのアクセスが拒否されました。

aa....aa：IP アドレス

説明

アクセスを許可されていないホストからのアクセスがありました。

このアクセスを無視して処理を継続します。

対処

必要に応じてアクセスを許可するよう設定してください。

KEOS21011-E（F）

アクセスが拒否されました。ホスト=aa....aa ポート番号=bb....bb

aa....aa：ホスト名または IP アドレス

bb....bb：ポート番号

説明

アクセスが拒否されました。

動作を継続できる場合は継続して，継続できない場合は動作を停止します。

対処

次に示す動作環境や設定を確認してください。

- 指定したホストで運用管理エージェントが動作しているかどうか。
- ポート番号は正しいかどうか。
- 接続先の運用管理エージェントにアクセスを拒否されていないかどうか。

KEOS21012-I（F）

コマンドを開始しました。コマンド=aa....aa, pid=bb....bb, cc....cc，dd....dd

aa....aa：コマンドライン文字列

bb....bb：プロセス ID

cc....cc：環境変数

dd....dd：環境情報（Windoes の場合，オーナー（owner）およびグループ（group）は，常に空文字）

説明

コマンドに示されたコマンドを開始しました。

KEOS21013-I（F）

コマンドが終了しました。コマンド=aa....aa, pid=bb....bb, 終了コード=cc....cc

aa....aa：コマンドライン文字列

bb....bb：プロセス ID

cc....cc：終了コード

説明

コマンドに示されたコマンドが終了しました。

KEOS21014-E（F）

コマンドの実行に失敗しました。コマンド=aa....aa, 原因=bb....bb

aa....aa：コマンドライン文字列

bb....bb：原因

説明

コマンドに示されたコマンドの実行に失敗しました。

処理を中断します。

対処

原因に示されたエラーの要因を取り除いて，再度実行してください。

KEOS21015-I（F）

Snapshotlog の収集を中断しました。

説明

snapshot ログの収集中に収集中断の要求を受けました。

KEOS21016-I（C）

Usage: snapshotlog output

説明

snapshotlog コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS21017-I（C）

Collection of Snapshotlog has started.

説明

Snapshotlog の収集を開始しました。

KEOS21018-I（C）

Collection of Snapshotlog has finished.

説明

Snapshotlog の収集が完了しました。

KEOS21019-E（C）

An attempt to collect Snapshotlog has failed. (cause = aa....aa)

aa....aa：原因

説明

Snapshotlog の収集に失敗しました。

対処

原因を確認してください。

KEOS21020-E（F）

運用管理エージェントの初期化に失敗しました。詳細=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

運用管理エージェントの初期化に失敗しました。

対処

動作環境や設定を確認してください。確認する際は，次の内容を確認してください。

- 使用済みのポート番号を設定していないかどうか。
- バインドするアドレスの設定をしている場合は，その設定が正しいかどうか。
- バインドするアドレスを IP アドレスパターンで設定している場合は，ローカル IP アドレスにマッチするパターンになっているか。

KEOS21021-W（F）

Snapshotlog の収集対象の指定に誤りがあります。詳細=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

snapshotlog の収集対象の指定に誤りがあります。その指定を無視して処理を継続します。

対処

設定を見直してください。

KEOS21022-W（F）

プロパティ(aa....aa)の指定値が不正です。(bb....bb)を使用します。

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティの指定に誤りがあります。

デフォルト値を使用します。

対処

設定を見直してください。

KEOS21023-W（F）

ファイルの削除に失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルを削除できませんでした。

運用管理エージェントの動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

ファイルの名前や権限などの動作環境や設定を確認してください。

KEOS21024-E（F）

ディレクトリの作成に失敗しました。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名

説明

ディレクトリを作成できませんでした。

運用管理エージェントの動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

ファイルの名前や権限などの動作環境や設定を確認してください。

KEOS21025-E（F）

ファイルへの書き込みに失敗しました。ファイル名=aa....aa　詳細=bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルに書き込みできませんでした。

運用管理エージェントの動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

ファイルの名前や権限などの動作環境や設定を確認してください。

KEOS21026-I（F）

プロセスの監視を開始します。コマンド=aa....aa, pid=bb....bb

aa....aa：コマンドライン文字列

bb....bb：プロセス ID

説明

論理サーバの監視に使用するプロセスの監視を再開します。コマンドラインは論理サーバの起動に使用したコマンドラインです。

KEOS21027-I（F）

プロセスが終了しました。コマンド=aa....aa, pid=bb....bb

aa....aa：コマンドライン文字列

bb....bb：プロセス ID

説明

論理サーバの監視に使用するプロセスが終了しました。コマンドラインは論理サーバの起動に使用したコマンドラインです。

KEOS21028-W（F）

リダイレクト定義のキー(aa....aa)が許容範囲を超えています。(bb....bb)を使用します。

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティの指定が許容範囲を超えています。デフォルト値を使用します。

対処

設定を見直してください。

KEOS21029-W（F）

スレッドダンプ出力の監視時間を超えました。

説明

強制停止実行時のスレッドダンプ出力の監視時間を超えました。

論理サーバの停止処理を継続します。

対処

設定を見直してください。

KEOS21030-I（F）

aa....aa で指定された Snapshotlog の収集を開始します。

aa....aa：snapshot ログ設定ファイルのパス

説明

snapshot ログの収集を開始します。

KEOS21031-I（F）

aa....aa で指定された Snapshotlog の収集が終了しました。

aa....aa：snapshot ログ設定ファイルのパス

説明

snapshot ログの収集が終了しました。

KEOS21032-W（F）

指定された IP アドレスパターン(aa....aa)に該当する IP アドレスが複数個見つかりました。(bb....bb)を使用します。

aa....aa：IP アドレスパターン文字列

bb....bb：採用した IP アドレス

説明

adminagent.properties ファイル中の adminagent.adapter.bind_host キーに指定した IP アドレスパターンに該当するローカル IP アドレスが複数個見つかりました。該当する IP アドレスのうち，最も小さい IP アドレスにバインドします。

対処

一つの IP アドレスにだけ該当する IP アドレスパターンに変更してください。

KEOS21033-W（F）

aa....aa(bb....bb)の動作確認処理がタイムアウトしました。リトライします。設定値=cc....cc，現在値=dd....dd

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：リトライ回数の設定値

dd....dd：リトライ回数の現在値

説明

動作確認処理がタイムアウトしたため，リトライを実行します。動作確認処理を再実行します。

対処

snapshot ログの収集などで資料を採取して，タイムアウトした要因を調査してください。

KEOS21034-W（F）

aa....aa(bb....bb)の動作確認処理に失敗しました。リトライします。設定値=cc....cc，現在値=dd....dd

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：リトライ回数の設定値

dd....dd：リトライ回数の現在値

説明

動作確認処理に失敗したため，リトライを実行します。動作確認処理を再実行します。

対処

snapshot ログの収集などで資料を採取して，動作確認処理に失敗した要因を調査してください。

KEOS21035-E（F）

aa....aa(bb....bb)の監視中に異常状態を検出しました。

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの異常状態を検出しました。Management Server に論理サーバの異常を通知します。

対処

snapshot ログの収集などで資料を採取して，異常状態を検出した要因を調査してください。

KEOS21036-I（F）

aa....aa および bb....bb で指定されたログファイルが存在しません。

aa....aa：1 次資料の snapshot ログ設定ファイルのパス

bb....bb：2 次資料の snapshot ログ設定ファイルのパス

説明

表示された snapshot ログ設定ファイルに記述されたログファイルが存在しません。処理を継続します。snapshot ログファイル（zip）は作成しません。

KEOS21037-I（F）

aa....aa および bb....bb で指定された Snapshotlog の収集を開始します。

aa....aa：1 次資料の snapshot ログ設定ファイルのパス

bb....bb：2 次資料の snapshot ログ設定ファイルのパス

説明

snapshot ログの収集を開始します。

KEOS21038-I（F）

aa....aa および bb....bb で指定された Snapshotlog の収集が終了しました。

aa....aa：1 次資料の snapshot ログ設定ファイルのパス

bb....bb：2 次資料の snapshot ログ設定ファイルのパス

説明

snapshot ログの収集が終了しました。

KEOS21039-E（F）

ローカルアドレスがみつかりませんでした。強制停止を実行します。アドレス=aa....aa

aa....aa：IP アドレス

説明

待機系になったと判断して論理サーバを強制停止し，運用管理エージェントを停止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21040-W（F）

ファイル aa....aa の所有者(ユーザ ID=bb....bb)に関連したユーザが複数登録されているため，ユーザ名が特定できませんでした。ユーザ名 cc....cc を使用して，コマンド dd....dd を実行します。

aa....aa：ファイル名

bb....bb：ユーザ ID

cc....cc：ユーザ名

dd....dd：コマンド

説明

ファイルの所有者に関連したユーザが複数登録されているため，ユーザ名が特定できませんでした。メッセージ中に表示されているユーザ名を使用して，処理を継続します。

対処

メッセージ中に表示されているユーザ名で問題がある場合は，ユーザ ID からユーザ名を特定できるようにしてください。

KEOS21041-W（F）

RMI レジストリに接続できませんでした。詳細=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

RMI レジストリに接続できませんでした。運用管理エージェントの処理を継続します。

対処

このメッセージのあとで何らかのエラーが発生している場合は，詳細情報を参照して，動作環境や設定を確認してください。

KEOS21042-W（F）

snapshotlog コマンドにおける Snapshotlog 収集対象の変数の置換に失敗しました。収集対象定義ファイル中の変数名=aa....aa，詳細情報=bb....bb

aa....aa：収集対象定義ファイル中の変数名

bb....bb：詳細情報

説明

snapshotlog コマンドで, Snapshotlog 収集対象の変数の置換に失敗しました。置換に失敗した変数を無視して処理を継続します。

対処

メッセージの詳細情報を参照し，変数の設定を見直してください。

KEOS21100-I（L／F）

The administration agent service has started.

説明

運用管理エージェントのサービスを開始しました。

KEOS21101-I（L／F）

The administration agent service has stopped.

説明

運用管理エージェントのサービスを停止しました。

KEOS21102-E（L／F）

The administration agent service could not be initialized.

説明

運用管理エージェントのサービスの初期化に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細を示すメッセージが出力されています。メッセージを参照して，障害を取り除いてください。

KEOS21103-E（L／F）

The administration agent service could not be started.

説明

運用管理エージェントのサービスを開始できませんでした。

処理を中止します。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21104-E（F）

The administration agent service could not output information to the Event Log service. (ec = aa....aa)

aa....aa：エラーコード

説明

イベントログへの出力ができませんでした。

イベントログへ出力をしないで処理を継続します。

対処

イベントログサービスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

KEOS21105-E（L／F）

The administration agent could not be started.

説明

運用管理エージェントが起動できませんでした。

処理を中止します。

対処

詳細を示すメッセージが出力されています。メッセージを参照して，障害を取り除いてください。

KEOS21106-E（L／F）

The administration agent command could not be acquired from the registry.

説明

運用管理エージェントのコマンドをレジストリから取得できませんでした。

処理を中止します。

対処

再起動しても解決できない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS21107-E（L／F）

The administration agent could not be started. (ec = aa....aa)

aa....aa：エラーコード

説明

運用管理エージェントのサービスの開始に失敗しました。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21108-E（L）

The administration agent could not be started. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

運用管理エージェントのサービスを開始できませんでした。処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を参照し，障害を取り除いてください。詳細情報が「The logon user is not using a local system account, or does not belong to the Administrators group」の場合，運用管理エージェントのログオンアカウントにローカルシステムアカウントか Administrators グループに所属しているアカウントを指定してください。

KEOS21109-W（F）

Synchronous execution of Administration Agent failed.

説明

運用管理エージェントの同期実行に失敗しました。

同期実行を中止します。

対処

時間をおいたあと，mngsvrutil check コマンドまたは adminagentcheck コマンドを使用して運用管理エージェントが稼働しているかどうかを確認してください。稼働が確認できない場合は adminagentctl.exe.[1～16].log と adminagentsv.exe.[1～16].log に出力されたメッセージを参照して，原因を取り除いたあとに再度実行してください。

KEOS21120-I（L／F）

The executing TerminateProcess() will now start. (handle = aa....aa, pid = bb....bb, command = cc....cc)

aa....aa：停止するプロセスのハンドル

bb....bb：停止するプロセスのプロセス ID

cc....cc：停止するプロセスの起動時のコマンドライン文字列

説明

TerminateProcess()の実行を開始します。

KEOS21121-I（L／F）

The executing TerminateProcess() ended. (handle = aa....aa, pid = bb....bb, rc = cc....cc, ec = dd....dd, command = ee....ee)

aa....aa：停止するプロセスのハンドル

bb....bb：停止するプロセスのプロセス ID

cc....cc：TerminateProcess()の戻り値

dd....dd：TerminateProcess()のエラーコード

ee....ee：停止するプロセスの起動時のコマンドライン文字列

説明

TerminateProcess()の実行が終了しました。

KEOS21200-I（C／F）

The administration agent has started.

説明

運用管理エージェントのサービスを開始しました。

KEOS21201-I（C／F）

The administration agent has stopped.

説明

運用管理エージェントのサービスを停止しました。

KEOS21202-E（C／F）

An attempt to start the administration agent has failed.

説明

運用管理エージェントのサービスの開始に失敗しました。

コマンドの実行を中止します。

対処

- 終了コードが 1 の場合

  動作環境や設定を確認してください。

- 終了コードが 3 の場合

  時間をおいたあと，mngsvrutil check コマンドまたは adminagentcheck コマンドを使用して運用管理エージェントが稼働しているかどうかを確認してください。

  稼働が確認できない場合，Windows のときは adminagentctl.exe.[1～16].log と adminagentsv.exe.[1～16].log を，UNIX のときは adminagentctl.[1～16].log とコンソールに出力されたメッセージを参照して，原因を取り除いたあとに再度実行してください。

KEOS21203-E（C／F）

An attempt to stop the administration agent service has failed.

説明

運用管理エージェントのサービスの停止に失敗しました。

コマンドの実行を中止します。

対処

- 終了コードが 1 の場合

  動作環境や設定を確認してください。

- 終了コードが 3 の場合

  時間をおいたあと，運用管理エージェントが停止しているかどうかを確認してください。

  停止が確認できない場合，Windows のときは adminagentctl.exe.[1～16].log と adminagentsv.exe.[1～16].log を，UNIX のときは adminagentctl.[1～16].log とコンソールに出力されたメッセージを参照して，原因を取り除いたあとに再度実行してください。

KEOS21206-E（C）（Windows）

Usage : adminagentctl {start|stop} [-sync [-timeout <timeout>]]

start : start Administration Agent Service

stop : stop Administration Agent Service

-sync : Synchronously executes the command.

-timeout <timeout> : Sets the timeout for synchronous execution.

説明

コマンドの起動方法に誤りがあります。

コマンドの実行を中止します。

対処

正しいコマンドを入力し直してください。

KEOS21206-E（C）（UNIX）

Usage : adminagentctl {start|stop} [-sync [-timeout <timeout>]] [-daemon]

start : start Administration Agent Service

stop : stop Administration Agent Service

-sync : Synchronously executes the command.

-timeout <timeout> : Sets the timeout for synchronous execution.

-daemon : Starts the command as a daemon process.

説明

コマンドの起動方法に誤りがあります。

コマンドの実行を中止します。

対処

正しいコマンドを入力し直してください。

KEOS21207-E（C／F）

The administration agent service could not be started. (ec = aa....aa)

aa....aa：エラーコード

説明

運用管理エージェントのサービスの開始に失敗しました。

対処

動作環境や設定を確認してください。

KEOS21300-I（C）

Usage: mngautorun -d | [once|respawn] {server|agent|both} [-sync [-timeout <timeout>]]

-d: Restores the setting to its installation time state.

once : Sets automatic starting.

respawn: Sets automatic restarting.

server: Configures Management Server to run automatically

when this computer is started.

agent : Configures Administration Agent to run automatically

when this computer is started.

both : Configures both Management Server and Administration Agent

to run automatically, IN ORDER, when this computer is started.

-sync : Synchronously executes the command.

-timeout <timeout> : Sets the timeout for synchronous execution.

説明

mngautorun コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS21301-E（C）

An internal error occurred. [aa....aa failed. ec=bb....bb]

aa....aa：API 名称

bb....bb：エラーコード

説明

API が失敗しました。

コマンドの実行を中止します。

ほかのアプリケーションがレジストリを操作中に，このコマンドを使用した可能性があります。

対処

あとで再実行するか，ほかのアプリケーションを終了して再実行してください。

KEOS21302-E（C）

An attempt to allocate memory has failed.

説明

メモリの確保に失敗しました。

コマンドの実行を中止します。

対処

ほかのアプリケーションを終了するなど，十分なメモリを確保して，再度実行してください。

KEOS21303-I（C）

Settings have been successfully completed.

説明

設定が成功しました。

KEOS21304-I（F）

A network drive was successfully allocated.(drive = aa....aa, path = bb....bb)

aa....aa：割り当てるドライブ名

bb....bb：割り当てるパス名

説明

ネットワークドライブの割り当てに成功しました。

KEOS21305-W（F）

An attempt to allocate a network drive failed.(drive = aa....aa, path = bb....bb, winapi ec = cc....cc)

aa....aa：割り当てるドライブ名

bb....bb：割り当てるパス名

cc....cc：WindowsAPI のエラーコード

説明

ネットワークドライブの割り当てに失敗しました。処理を続行します。

対処

エラーコードの内容を確認して，ネットワークドライブの設定内容を見直してください。

また，add.network.drive に設定したパスの最後が"¥"で終わっていると，ネットワークドライブに接続できない場合があります。設定内容を見直してください。

KEOS21306-E（F）

System call error. (func=aa....aa, ec=bb....bb)

aa....aa：API 名称

bb....bb：エラーコード

説明

API の処理に失敗しました。処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS21307-W（F）

Network drives are not allocated because the logon account of the administration agent is a local system account.

説明

運用管理エージェントのログオンアカウントがローカルシステムアカウントなのでネットワークドライブの割り当てを行いません。処理を続行します。

対処

ローカルシステムアカウント以外の Administrators グループに所属したアカウントで運用管理エージェントを起動してください。

KEOS21309-E（C／F）

Configuration failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

設定に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報に出力されているメッセージを参照しエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS21310-I（C）

Usage: mngautorun -d | [once|respawn] {server|agent|both} [-runlevel <runlevel>] [-sync [-timeout <timeout>]]

-d: Restores the setting to its installation time state.

once : Sets automatic starting.

respawn: Sets automatic restarting.

server: Configures Management Server to run automatically

when this computer is started.

agent : Configures Administration Agent to run automatically

when this computer is started.

both : Configures both Management Server and Administration Agent

to run automatically, IN ORDER, when this computer is started.

-runlevel <runlevel> : Specifies the runlevel for performing

automatic starting and restarting.

-sync : Synchronously executes the command.

-timeout <timeout> : Sets the timeout for synchronous execution.

説明

mngautorun コマンドの使用方法です。

KEOS21400-E（F）

An attempt to open the file has failed. (file = aa....aa)

aa....aa：定義ファイルのパス

説明

定義ファイルのオープンに失敗しました。

対処

定義ファイルの権限などの環境を確認してください。

KEOS21401-E（F）

The specified option is invalid. (line = aa....aa)

aa....aa：行数

説明

aa....aa 行目のオプションの指定方法に誤りがあります。

対処

adminagentuser.cfg ファイルの内容を確認してください。

KEOS21500-I（C）

Usage: adminagentcheck [-t <time>][<host>[:<port>]]

-t <time>

Specifies the command timeout limit

<time> - command timeout limit

<host>[:<port>]

Specifies the host and the port number of the Administration Agent to be connected.

<host> - host name or IP address

<port> - port number

説明

adminagentcheck コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS22000-I（C）

The process was successfully killed. (pid=aa....aa)

aa....aa：プロセス ID

説明

プロセスの停止に成功しました。

KEOS22001-E（C）

The pid is invalid. (pid = aa....aa)

aa....aa：プロセス ID

説明

プロセス ID が不正です。

次のプロセスに対する処理を継続します。

対処

コマンドの引数を確認してください。

KEOS22002-E（C）

The process does not exist. (pid = aa....aa)

aa....aa：プロセス ID

説明

プロセスが存在しません。

次のプロセスに対する処理を継続します。

対処

コマンドの引数を確認してください。

KEOS22003-E（C）

Access for execution of the command was denied.

説明

コマンドの実行を拒否されました。

処理を終了します。

対処

Administrators グループに所属するユーザで，コマンドを実行してください。

KEOS22004-E（C）

An attempt to kill the process has failed. (aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

プロセスの停止に失敗しました。

処理を継続できる場合は継続して，継続できない場合は終了します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS22005-I（C）

Usage: kill pid ...

説明

Kill コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS22006-W（F）

Zip ファイルへのエントリの書き込みに失敗しました。ファイル名=aa....aa 詳細情報=bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

Zip ファイルへのエントリの書き込みに失敗しました。

処理を続行します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS22100-I（C）

Usage:

mngsvrupdate [-t <target name>] [-k <target kind>] <command> [<args>]

where:

-t <target name>

Specifies a target name, such as a logical server or host.

-k <target kind>

Indicates the kind of a target. <target kind>:=logicalServer|host (the default is logicalServer)

<command>

"d2r" - Convert DataSource to Resource Adapter.

<args>

For the "d2r" command:

[<dataSource> [<resAdapter>]]

<dataSource> - DataSource

<resAdapter> - Resource Adapter

説明

mngsvrupdate コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS22101-I（C／F）

No convertible datasource was found for the specified parameters.

説明

移行可能なデータソースはありませんでした。

KEOS22102-I（C／F）

The conversion ended successfully. (Logical Server = aa....aa, Datasource = bb....bb, Resource Adapter= cc....cc)

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：変換前のデータソースの表示名

cc....cc：変換後のリソースアダプタの表示名

説明

データソースをリソースアダプタに移行しました。

KEOS22103-W（C／F）

The conversion cannot be performed. (Logical Server = aa....aa, Datasource = bb....bb)

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：変換前のデータソースの表示名

説明

表示名が変更されている可能性があるため移行できません。

処理をスキップして，次のデータソースに対する処理を継続します。

対処

データソースとリソースアダプタの表示名を指定して，移行コマンドを実行してください。

KEOS22104-E（C／F）

An attempt to convert the datasource has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

データソースの移行に失敗しました。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS22300-W（F）

manager.cfg ファイルを読み込めません。デフォルト値を使用します。

説明

manager.cfg ファイルを読み込めませんでした。デフォルト値を使用します。デフォルト値を使用して処理を続行します。

対処

以下のことを確認してください。

- manager.cfg ファイルが存在する
- manager.cfg ファイルにアクセス権がある
- manager.cfg ファイルの形式が正常である

KEOS22301-W（F）

プロパティ(aa....aa)の指定値が不正です。bb....bb を使用します。

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

説明

プロパティの指定に誤りがあります。デフォルト値を使用して処理を続行します。

対処

設定を見直してください。

KEOS22302-E（C）

ログの初期化に失敗しました。(ファイル名=aa....aa, 理由=bb....bb)

aa....aa：ログファイル名

bb....bb：失敗原因

説明

ログの初期化に失敗しました。ログを出力しないで処理を実行します。

対処

ログ出力先の環境を確認してください。

補足事項

このメッセージを出力したあと，処理は継続されますが，このメッセージが出力された要因と関連した要因で後続の処理がエラーとなり，Management Server および運用管理エージェントの起動に失敗する場合があります。

KEOS22303-I（F）

aa....aa

aa....aa：継続メッセージ

説明

このメッセージは継続メッセージです。

このメッセージとプロセス ID，スレッド ID が同一で，このメッセージの直前に出力されたメッセージから継続しています。

KEOS22304-I（F）

コマンドを開始します。コマンド=aa....aa, pid=bb....bb, 開始時刻=cc....cc

aa....aa：コマンドライン

bb....bb：プロセス ID

cc....cc：コマンド開始時刻

説明

メッセージに示すコマンドを開始します。

KEOS22305-I（F）

コマンドを終了します。pid=aa....aa, 開始時刻=bb....bb, 終了コード=cc....cc

aa....aa：プロセス ID

bb....bb：コマンド開始時刻

cc....cc：終了コード

説明

プロセス ID とコマンド開始時刻で示されるコマンドを終了します。

KEOS22400-E（C）

Usage: mngenvsetup [-mng | -ua] { <Management User Group> | -d }

説明

mngenvsetup の使用方法を表示します。標準エラー出力にメッセージコードとメッセージを表示して，処理を中止します。

対処

正しい構文でコマンドを実行してください。

KEOS22401-I（C／F）

The configuration of permission has succeeded.(Command Name = aa....aa)

aa....aa：変更対象コマンド名

説明

変更対象コマンドでパーミッションの設定に成功しました。

KEOS22402-I（C／F）

The configuration of group has succeeded.(Command Name = aa....aa, Group Name = bb....bb)

aa....aa：変更対象コマンド名

bb....bb：指定グループ名

説明

変更対象コマンドで指定されたグループの設定に成功しました。

KEOS22403-I（C／F）

The both configurations of MNG Administration Group and Integration User Administration Group have succeeded.(Group Name = aa....aa)

aa....aa：指定グループ名

説明

Management Server 管理グループおよび統合ユーザ管理グループが，指定されたグループに設定されました。

KEOS22404-I（C／F）

The configuration of MNG Administration Group has succeeded.(Group Name = aa....aa)

aa....aa：指定グループ名

説明

Management Server 管理グループが指定されたグループに設定されました。

KEOS22405-I（C／F）

The configuration of Integration User Administration Group has succeeded.(Group Name = aa....aa)

aa....aa：指定グループ名

説明

統合ユーザ管理グループが指定されたグループに設定されました。

KEOS22406-E（C）

Specified group is not in existence. (Group name = aa....aa)

aa....aa：指定グループ名

説明

指定されたグループは OS に登録されていません。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を中止します。

対処

存在するグループを指定してください。

KEOS22407-E（C／F）

The configuration of permission has failed.(Command Name = aa....aa, errno = bb....bb)

aa....aa：変更対象コマンド名

bb....bb：詳細情報

説明

変更対象コマンドでパーミッションの設定に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を続行します。

対処

root で実行しているかどうかを確認してください。root 以外で実行している場合は root で再度実行してください。それでも解決しない場合は保守員に連絡してください。

KEOS22408-E（C／F）

The configuration of group has failed.(Command Name = aa....aa, Group Name = bb....bb, errno = cc....cc)

aa....aa：変更対象コマンド名

bb....bb：指定グループ名

cc....cc：詳細情報

説明

変更対象コマンドで指定されたグループの設定に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示し，処理を続行します。

対処

root で実行しているかどうかを確認してください。root 以外で実行している場合は root で再度実行してください。それでも解決しない場合は保守員に連絡してください。

KEOS22409-E（C／F）

The both configurations of MNG Administration Group and Integration User Administration Group have failed.(Group Name = aa....aa)

aa....aa：指定グループ名

説明

Management Server 管理グループ，統合ユーザ管理グループが指定されたグループの設定に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を中止します。

対処

root で実行しているかどうかを確認してください。root 以外で実行している場合は root で再度実行してください。それでも解決しない場合は保守員に連絡してください。

KEOS22410-E（C／F）

The configuration of MNG Administration Group has failed.(Group Name = aa....aa)

aa....aa：指定グループ名

説明

Management Server 管理グループが指定されたグループの設定に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を中止します。

対処

root で実行しているかどうかを確認してください。root 以外で実行している場合は root で再度実行してください。それでも解決しない場合は保守員に連絡してください。

KEOS22411-E（C／F）

The configuration of Integration User Administration Group has failed.(Group Name = aa....aa)

aa....aa：指定グループ名

説明

統合ユーザ管理グループが指定されたグループの設定に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を中止します。

対処

root で実行しているかどうかを確認してください。root 以外で実行している場合は root で再度実行してください。それでも解決しない場合は保守員に連絡してください。

KEOS22415-E（C／F）

The memory allocation has failed.

説明

メモリ割り当てに失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を中止します。

対処

原因を取り除いて再度実行してください。

KEOS22416-E（C）

The process of the log initialization has failed.

説明

ログの初期化に失敗しました。標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を中止します。

対処

ログ出力先の環境を確認してください。

KEOS22417-E（C／F）

An attempt to open the file has failed.(File Path = aa....aa, errno = bb....bb)

aa....aa：ファイルパス

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルのオープンに失敗しました。

処理を続行します。

対処

エラーの場合メッセージの「File Path」に表示されたファイルを削除して，再度実行してください。

KEOS22418-E（C／F）

An attempt to remove the file has failed.(File Path = aa....aa, errno = bb....bb)

aa....aa：ファイルパス

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの削除に失敗しました。

処理を続行します。

対処

エラーの場合メッセージの「File Path」に表示されたファイルを削除して，再度実行してください。

KEOS22419-E（C／F）

An attempt to change the process authority has failed.(Detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

プロセス権限の変更に失敗しました。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS23001-E（C）

The option is specified incorrectly.

説明

コマンドの引数に指定された，オプションの指定に誤りがあります。

コマンドの処理を中止します。

対処

オプションを正しく指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS23002-E（C）

JP1/Base was not properly installed.

説明

JP1/Base の製品がインストールされていません。

コマンドの処理を中止します。

対処

JP1/Base の製品をインストール後，再度コマンドを実行してください。

KEOS23003-I（C）

The adapter command setup has started.

説明

アダプタコマンドのセットアップが開始されました。

処理を続行します。

KEOS23004-I（C）

The adapter command setup finished successfully.

説明

アダプタコマンドのセットアップが正常終了しました。

処理を終了します。

KEOS23005-E（C）

Access to the adapter command settings file (aa....aa) was denied.

aa....aa：アダプタコマンド設定ファイル名

説明

アダプタコマンド設定ファイルのアクセスに失敗しました。

コマンドの処理を中止します。

対処

コマンド実行ユーザにファイルの作成または削除の権限があるかどうかを確認してください。また，ファイルの存在するディスクに空きがあるかどうかを確認してください。

KEOS23006-I（C）

The adapter command unsetup has started.

説明

アダプタコマンドのアンセットアップが開始されました。

処理を続行します。

KEOS23007-I（C）

The adapter command unsetup finished successfully.

説明

アダプタコマンドのアンセットアップが正常終了しました。

処理を終了します。

KEOS23008-E（C）

usage : mngsvr_adapter_setup [-i|-u] [-t IM_CS|IM_CM]

-i installing adapter command(default)

-u uninstalling adapter command

-t selection of the target JP1 product(default IM_CS)

説明

mngsvr_adapter_setup コマンドの使用方法です。

標準エラー出力にメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

KEOS23053-E（C）

An error exists in the parameter set up in the standard input.

説明

標準入力中に設定されたパラメタに誤りがあります。

コマンドの処理を中止します。

対処

関連するJP1製品の前提バージョンを確認してください。

KEOS23054-E（C）

The parameter of the format version set up in the standard input cannot be processed.

説明

標準入力中に設定されたフォーマットバージョンのパラメタは処理できません。

コマンドの処理を中止します。

対処

関連するJP1製品の前提バージョンを確認してください。

KEOS23101-E（C）

The option is specified incorrectly.

説明

コマンドの引数に指定された，オプションの指定に誤りがあります。

コマンドの処理を中止します。

対処

オプションを正しく指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS23102-E（C）

An attempt to access the registry has failed.

説明

レジストリのアクセスに失敗しました。

コマンドの処理を中止します。

レジストリなどの動作環境が破損している可能性があります。

対処

OS を再起動後，再実行しても解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS23103-E（C）

An internal error occurred.

説明

内部エラーが発生しました。

コマンドの処理を中止します。

対処

コマンドを再実行しても障害が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS23201-I（F）

JP1 イベントの発行に成功しました。pid=aa....aa, tid=bb....bb, 事象発生時刻=cc....cc

aa....aa：プロセス識別子

bb....bb：スレッド識別子

cc....cc：JP1 イベントの発行が依頼された時刻

説明

JP1 イベントの発行に成功しました。

処理を続行します。

KEOS23202-W（F）

JP1 イベントの発行に失敗しました。pid=aa....aa, tid=bb....bb, 事象発生時刻=cc....cc, dd....dd

aa....aa：プロセス識別子

bb....bb：スレッド識別子

cc....cc：JP1 イベントの発行が依頼された時刻

dd....dd：失敗の原因を表す状態コード

説明

JP1 イベントの発行に失敗しました。

処理を続行します。

対処

次の状態コードごとの対処を基に，エラーの原因を取り除いてください。

40：

JP1 イベントサービスに接続できませんでした。接続先の JP1 イベントサービスが起動されているかを確認してください。

43：

ファイルの入出力エラーが発生しました。システムリソースの使用状況を確認してください。

51：

メモリ不足が発生しました。システムリソースの使用状況を確認してください。

52：

ファイルのオープン数が限界に達しました。システムリソースの使用状況を確認してください。

その他：

保守員に連絡してください。

KEOS23203-E（F）

設定ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

処理を続行しますが，以降の JP1 イベントは発行されません。

対処

設定ファイルがあるかどうか，またアクセス権限を確認してください。確認したあとは，J2EE サーバまたは Management Server を再起動してください。

KEOS23204-I（F）

JP1 イベント発行処理の初期化に成功しました。

説明

JP1 イベント発行処理の初期化に成功しました。

処理を続行します。

KEOS23205-E（F）

JP1 イベント発行処理の初期化に失敗しました。 詳細情報=JP1 イベント発行処理初期化関数がステータス aa....aa で失敗しました。

aa....aa：失敗の原因を表す状態コード

説明

JP1 イベント発行処理初期化関数が異常終了しました。

処理を続行しますが，以降の JP1 イベントは発行されません。

対処

次の状態コードごとの対処を基にエラーの原因を取り除いたあと，J2EE サーバ，Management Server または運用管理エージェントを再起動してください。

50：

ライブラリが見つかりませんでした。前提バージョンの JP1/Base がインストールされているかを確認してください。

51：

メモリ不足が発生しました。システムリソースの使用状況を確認してください。

その他：

保守員に連絡してください。

KEOS23206-E（F）

JP1 イベント発行処理の初期化に失敗しました。 詳細情報=aa....aa のロードに失敗しました。

aa....aa：ロードに失敗したシェアードライブラリ名

説明

シェアードライブラリのロードに失敗しました。

処理を続行しますが，以降の JP1 イベントは発行されません。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS23207-E（F）

内部エラーが発生しました。

説明

内部エラーが発生しました。

処理を続行しますが，以降の JP1 イベントは発行されません。

対処

J2EE サーバ，Management Server，または運用管理エージェントを再起動してもエラーの要因が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS23301-I（F）

The web system aa....aa was added.

aa....aa：追加した Web システム名

説明

Web システムが追加されました。

KEOS23302-I（F）

The web system aa....aa was deleted.

aa....aa：削除した Web システム名

説明

Web システムが削除されました。

KEOS23303-I（F）

The web system aa....aa was modified.

aa....aa：変更した Web システム名

説明

Web システムが変更されました。

KEOS24000-E（C）

Usage:

aa....aa

aa....aa：コマンドの使用方法

説明

コマンドの引数の指定に誤りがあります。

対処

メッセージを参照して，コマンドの使用方法を確認してください。

次の誤りが考えられます。

- 必須のオプションが指定されていません。
- 共通引数の指定が省略されており，クライアント設定プロパティファイル（.cmxrc）が正しく読み込めない状態にあります。クライアント設定プロパティファイルが OS のログインユーザのホームディレクトリ下に作成されていない，またはファイルのアクセス権限に誤りがあります。
- 指定できないオプションが指定されています。
- オプションとオプション引数の指定関係に誤りがあります。オプション引数の指定が必須な場合にオプション引数が指定されていない，またはオプション引数が指定できないオプションに対してオプション引数が指定されています。

KEOS24001-E（C）

The specified file is not a normal file. file name = aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

特殊ファイルが指定されました。

処理を中止します。

対処

指定したファイルを確認してください。

KEOS24002-E（C）

An exception occurred during an attempt to read .cmxrc. (details =aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

.cmxrc ファイルの読み込みに失敗しました。

処理を中止します。

対処

.cmxrc ファイルのアクセス権限を確認してください。

ファイルのアクセス権限に誤りがない場合，コマンドを再実行しても障害が回復しないときは，保守員に連絡してください。

KEOS24003-E（C）

The host or userid common option has not been specified.

説明

共通引数にホストまたはユーザ ID が指定されていません。

処理を中止します。

対処

クライアント設定プロパティファイル（.cmxrc）に，cmx.connect.host キーおよび cmx.connect.userid キーが設定されているかを確認してください。

KEOS24004-E（C）

aa....aa and bb....bb cannot be specified simultaneously.

aa....aa：オプション

bb....bb：オプション

説明

これらのオプションは同時に指定できません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

KEOS24005-E（C）

The file does not exist. file name = aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

指定したファイルは存在しません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

KEOS24006-E（C）

A parser error occurred. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

パーサで障害が発生しました。

処理を中止します。

対処

XML Processor がインストールされているか，またはインストールした XML Processor のバージョンに誤りがないかを確認してください。

KEOS24007-E（C）

The definition file is invalid. file name = aa....aa line number = bb....bb column number = cc....cc details = dd....dd

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行番号

cc....cc：列番号

dd....dd：詳細情報

説明

ファイルの解析時に障害が発生しました。指定した簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容が不正です。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの誤りを修正し，コマンドを再実行してください。なお，詳細情報には XML Processor のメッセージが出力されます。メッセージの内容については，「11.　KECX（XML Processor が出力するメッセージ）」を参照してください。

KEOS24008-E（C）

An exception occurred while reading the file. (file name = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込み時に障害が発生しました。

処理を中止します。

対処

ファイルのアクセス権限を確認してください。

ファイルのアクセス権限に誤りがない場合，コマンドを再実行しても障害が回復しないときは，保守員に連絡してください。

KEOS24009-E（C）

The host is invalid. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

ホスト名またはポート番号の指定が不正です。

処理を中止します。

対処

ホスト名およびポート番号の指定方法を確認してください。

KEOS24010-E（C）

A communication error occurred. (details =aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

通信障害が発生しました。

処理を中止します。

対処

Management Server の起動状態，または共通引数の-m オプションで指定したホスト名およびポート番号の指定値を確認してください。また，接続元と接続先の製品が接続可能な組み合わせであるかを確認してください。

KEOS24011-E（C）

An exception occurred while creating the temporary file. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS24012-E（C）

The option value is invalid. (option = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：オプション

bb....bb：オプション値

説明

オプションに不正な値が指定されています。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24013-E（C）

The parameter aa....aa cannot be specified for a logical server of type bb....bb. (line number = cc....cc)

aa....aa：パラメタ

bb....bb：論理サーバタイプ

cc....cc：行番号

説明

論理サーバタイプに不正なパラメタが指定されています。表示された行番号の位置で処理を中止します。

対処

構成定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24014-E（C）

Multiple parameter values cannot be specified for the parameter aa....aa. (line number = bb....bb)

aa....aa：パラメタ

bb....bb：行番号

説明

パラメタには複数の値を指定できません。表示された行番号の位置で処理を中止します。

対処

構成定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24015-E（C）

The parameter value aa....aa cannot be specified for the parameter bb....bb. (line number = cc....cc)

aa....aa：パラメタ値

bb....bb：パラメタ

cc....cc：行番号

説明

パラメタに不正な値が指定されています。表示された行番号の位置で処理を中止します。

対処

構成定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24016-E（C）

An invalid namespace was used in the XML file.

説明

不正な名前空間が使用されました。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24017-E（C）

File open failed. File Name=aa....aa detail=bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルのオープンに失敗しました。

処理を中止します。

対処

ファイルのアクセス権限を確認してください

KEOS24018-E（C）

Invalid Tier combinations have been specified.

説明

物理ティアの組み合わせが不正です。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24019-E（C）

Two or more aa....aa were allocated for a unit. (unit name = bb....bb)

aa....aa：物理ティアの種類

bb....bb：サービスユニット名

説明

サービスユニット bb....bb に，同じ物理ティアの種類（aa....aa）が指定されている allocated-host 要素が複数記述されています。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24020-E（C）

No tier (tier type = aa....aa) was allocated for a unit (unit name = bb....bb).

aa....aa：物理ティアの種類

bb....bb：サービスユニット名

説明

サービスユニットに，物理ティアの種類が指定された allocated-host 要素が定義されていません。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24021-E（C）

A aa....aa and other tiers were allocated for a unit. (unit name = bb....bb)

aa....aa：物理ティアの種類

bb....bb：サービスユニット名

説明

サービスユニット bb....bb に，物理ティアの種類（aa....aa）が指定された allocated-host 要素とそれ以外の物理ティアの種類が指定された allocated-host 要素が定義されています。

処理を中止します。

対処

構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24022-E（C）

An invalid logical server type (aa....aa) is defined in bb....bb.

aa....aa：論理サーバの種類

bb....bb：物理ティアの種類

説明

物理ティアの種類に指定できない論理サーバの種類が指定されています。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24023-I（C）

The translations of the abstract parameters were successful.

説明

抽象パラメタの展開に成功しました。

KEOS24024-E（C）

An invalid server ID rule (aa....aa) is defined.

aa....aa：サーバ ID ルール

説明

不正なサーバ ID ルールが指定されています。

処理を中止します。

対処

サーバ ID ルールを見直してください。

KEOS24025-E（C）

A number of units exceeding the number that can be generated for the server ID rule was specified.

説明

サーバ ID ルールで生成できるサーバ ID の個数以上のサービスユニットは登録できません。

処理を中止します。

対処

サーバ ID ルールを見直してください。

KEOS24026-E（C）

An invalid number of elements is specified.

説明

オプション引数中の要素数が不正です。

処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24027-E（C）

An invalid element is specified. (option = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：オプション

bb....bb：オプション引数中の要素

説明

オプション引数中に不正な要素が指定されています。

処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24028-E（C）

A duplicated element is specified. (option = aa....aa, element = bb....bb)

aa....aa：オプション

bb....bb：オプション引数中の要素

説明

オプション引数中の要素が重複して指定されています。

処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24029-E（C）

An invalid combination of tiers is specified.

説明

不正な物理ティアの組み合わせが指定されています。

処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24030-E（C）

An invalid command is specified. (command = aa....aa)

aa....aa：コマンド

説明

不正なコマンドが指定されています。

処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24031-E（C）

The sfo-tier and other tiers are allocated to the unit. (unit name = aa....aa)

aa....aa：サービスユニット名

説明

サービスユニットに sfo-tier とそれ以外のティアが割り当てられています。

処理を中止します。

対処

構成定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24032-E（C）

The parameter aa....aa cannot be used with the product bb....bb. (line number =cc....cc)

aa....aa：パラメタ

bb....bb：製品名

cc....cc：定義ファイルの行番号

説明

パラメタ aa....aa は，製品 bb....bb では使用できません。

処理を中止します。

対処

このパラメタは定義ファイルから削除してください。

KEOS24033-E（C）

The aa....aa cannot be used with the product bb....bb.

aa....aa：ティア

bb....bb：製品名

説明

ティア aa....aa は，製品 bb....bb では使用できません。

処理を中止します。

対処

ティアの指定を定義ファイルから削除してください。

KEOS24035-E（C）

In the product aa....aa, you must specify the IP address of the local host (the host executing the command) for the management IP or operational IP address. (host name = bb....bb)

aa....aa：製品名

bb....bb：ホスト名

説明

製品 aa....aa では，operationalIP または，managementIP には自ホスト（コマンドを実行したホスト）の IP アドレス以外は指定できません。

処理を中止します。

対処

定義文中のホストに指定した IP アドレスを自ホストの IP アドレスに変更してください。

KEOS24036-E（C）

The load balancer cannot be defined in the ctm-tier. (Web system name = aa....aa)

aa....aa：Web システム名

説明

CTM ティアにはロードバランサを定義できません。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24037-E（C）

The j2ee-server-count cannot be specified for the aa....aa. (Web system name = bb....bb)

aa....aa：物理ティアの種類

bb....bb：Web システム名

説明

物理ティア aa....aa に j2ee-server-count タグは指定できません（Web システム名=bb....bb）。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

ティア aa....aa の j2ee-server-count タグを簡易構築定義ファイルから削除してください。

KEOS24038-E（C）

When the j2ee-server-count is specified as 0, the j2ee-server cannot be specified for the logical-server-type. (Web system name = aa....aa)

aa....aa：Web システム名

説明

j2ee-server-count タグの指定値が 0 の場合は論理サーバ種別 j2ee-server を指定できません（Web システム名=aa....aa）。

処理を中止します。

対処

論理サーバ種別 aa....aa の指定を簡易構築定義ファイルから削除してください。

KEOS24039-E（C）

When the logical-server-type is specified as aa....aa, the server-no cannot be specified. (Web system name = bb....bb)

aa....aa：論理サーバ種別

bb....bb：Web システム名

説明

論理サーバ種別 aa....aa に server-no タグは指定できません（Web システム名=bb....bb）。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

論理サーバ種別 aa....aa の server-no タグを簡易構築定義ファイルから削除してください。

KEOS24040-E（C）

The server-no(aa....aa) is larger than the j2ee-server-count(bb....bb). (Web system name = cc....cc)

aa....aa：server-no タグの指定値

bb....bb：j2ee-server-count タグの指定値

cc....cc：Web システム名

説明

server-no タグの指定値（aa....aa）に，j2ee-server-count タグの指定値（bb....bb）より大きい値が設定されています（Web システム名=cc....cc）。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24041-E（C）

The server-no is not specified for the define-server. (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb)

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

説明

ユニット（Web システム名=aa....aa，ユニット名=bb....bb）のサーバ定義に server-no タグが指定されていません。

処理を中止します。

対処

ユニット bb....bb のサーバ定義（j2ee-server タグ）に server-no タグを指定してください。

KEOS24042-E（C）

When the j2ee-server-count is not specified, the server-no cannot be specified. (Web system name = aa....aa)

aa....aa：Web システム名

説明

j2ee-server-count タグが指定されていない場合，server-no タグは指定できません（Web システム名=aa....aa）。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

簡易構築定義ファイルから server-no タグを削除してください。

KEOS24043-E（C）

Multiple logical-server-type of the aa....aa are specified. (Web system name = bb....bb)

aa....aa：論理サーバ種別

bb....bb：Web システム名

説明

論理サーバ種別 aa....aa が重複して指定されています（Web システム名=bb....bb）。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24044-E（C）

aa....aa cannot be specified in this Web system. (Web system name = bb....bb)

aa....aa：ティアの種類

bb....bb：Web システム名

説明

この Web システムに aa....aa は指定できません。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

ティアの種類に free-tier を指定する場合は，Web システム名を省略してください。Web システム名を指定している場合はティアの種類に free-tier は指定できません。簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24045-E（C）

A configuration tag cannot be specified for a free-tier tier tag.

説明

free-tier の場合，tier タグに configuration タグは指定できません。処理を中止します。

対処

tier タグの configuration タグの指定を削除して，unit タグの configuration タグに指定してください。

KEOS24046-E（C）

A user-server configuration cannot be specified for the aa....aa. (Web system name = bb....bb)

aa....aa：ティアの種類

bb....bb：Web システム名

説明

tier タグにユーザサーバのコンフィグレーションは指定できません。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

tier タグに指定しているユーザサーバの configuration タグの指定を削除して，unit タグにユーザサーバの configuration タグを指定してください。

KEOS24047-E（C）

The logical server type (aa....aa) cannot be used with the product (bb....bb).

aa....aa：論理サーバ種別

bb....bb：製品名

説明

論理サーバ種別 aa....aa は，製品 bb....bb では使用できません。

処理を中止します。

対処

論理サーバ種別 aa....aa の指定を簡易構築定義ファイルから削除してください。

KEOS24048-E（C）

The load balancer cannot be defined.

説明

Web システム名を省略している場合，load-balancer タグは指定できません。

処理を中止します。

対処

load-balancer タグの定義を削除してください。

KEOS24049-E（C）

The cluster-ref aa....aa is invalid.(Web system name = bb....bb)

aa....aa：クラスタ名

bb....bb：Web システム名

説明

クラスタ化できない論理サーバにクラスタの定義が指定されています。cluster-ref タグの指定値 aa....aa が定義されていない，またはクラスタの種類が異なります。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24050-E（C）

The logical-server-name must be specified for the free-tier.

説明

free-tier の場合，logical-server-name タグは省略できません。

処理を中止します。

対処

logical-server-name タグを指定してください。

KEOS24051-E（C）

The configuration cannot be specified for the cluster aa....aa.

aa....aa：クラスタ名

説明

クラスタに configuration タグは指定できません。

処理を中止します。

対処

クラスタの configuration タグの定義を削除してください。

KEOS24052-E（C）

More than one Web system does not have a name.

説明

名前のない Web システムが複数存在します。処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24053-E（C）

More than one unit does not have a name.

説明

名前のないユニットが複数存在します。処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24054-E（C）

A unit for a Web system that does not have a name, or a Web system that does have a name but for which the unit is omitted, is specified.(Web system name = aa....aa)

aa....aa：Web システム名

説明

Web システム名が定義されていない Web システムで unit タグにサービスユニット名が指定されています。または，Web システム名が定義されている Web システムで unit タグが省略されています。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24055-E（C）

In the product aa....aa, you must specify the IP address or host name of the local host (the host executing the command) for the host-name or agent-host. (host name = bb....bb)

aa....aa：製品名

bb....bb：ホスト名

説明

製品 aa....aa では，host-name タグ，または agent-host タグには自ホスト（コマンドを実行したホスト）の IP アドレスまたはホスト名以外は指定できません。

処理を中止します。

対処

定義文中のホストに指定した IP アドレスを自ホストの IP アドレスに変更してください。

KEOS24056-E（C）

The logical-server-type must be specified for the configuration of tier. (Web system name = aa....aa, tier type = bb....bb)

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ティアの種類

説明

tier の configuration タグでは，logical-server-type タグは省略できません。

処理を中止します。

対処

logical-server-type タグを指定してください。

KEOS24057-E（C）

The command (aa....aa) cannot be used with the product (bb....bb).

aa....aa：コマンド名

bb....bb：製品名

説明

コマンド aa....aa は，製品 bb....bb では使用できません。処理を中止します。

KEOS24058-W（C／F）

The parameter (aa....aa) cannot be used with the product (bb....bb). (line number = cc....cc)

aa....aa：パラメタ

bb....bb：製品名

cc....cc：定義ファイルの行番号

説明

パラメタ aa....aa は，製品 bb....bb では使用できません。エラーを無視して処理を継続します。

対処

パラメタ aa....aa を定義ファイルから削除してください。

KEOS24059-I（C）

The user ID and password of the Management Server administrator account is not set because the management user account is disabled.

説明

管理ユーザアカウントが無効に設定されているため，Management Server の管理上のアカウントのユーザ ID およびパスワードは設定しません。

KEOS24100-I（F）

簡易構築の処理を開始します。(クライアント=aa....aa)

aa....aa：接続元

説明

Smart Composer による構築処理を開始します。

KEOS24101-I（F）

簡易構築の処理を終了します。

説明

Smart Composer による構築処理を終了します。

KEOS24102-E（C）

A communication error occurred. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

通信障害が発生しました。

処理を中止します。

対処

コマンドを再実行しても障害が回復しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS24103-E（C）

An exception occurred while creating a temporary file. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS24104-E（C）

An administrator's user ID or a password is incorrect.

説明

管理ユーザ ID またはパスワードが不正です。

処理を中止します。

対処

指定した管理ユーザ ID およびパスワードを確認してください。

KEOS24105-E（C）

An administrator's user account is already specified.

説明

Management Server の管理ユーザ ID およびパスワードはすでに登録されています。

処理を中止します。

対処

このコマンドでは，登録済みの管理ユーザ ID およびパスワードは変更できません。管理ユーザ ID およびパスワードの変更が必要な場合は，運用管理ポータルを使用してください。

KEOS24106-E（C）

The configuration file could not be saved. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

設定ファイルの保存に失敗しました。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS24107-I（F）

aa....aa の処理を開始します。

aa....aa：コマンド名

説明

コマンドの処理を開始します。

KEOS24108-I（F）

aa....aa の処理が終了しました。

aa....aa：コマンド名

説明

コマンドの処理が終了しました。

KEOS24109-E（C）

The specified Web system (Web system name = aa....aa) is not registered.

aa....aa：Web システム名

説明

コマンドの-s オプション，または構成変更定義ファイルに指定された Web システムは登録されていません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数，または構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24110-E（C）

The specified unit (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb) is not registered.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

説明

コマンドの-unit オプションに指定されたサービスユニットは，Web システムに登録されていません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数，または構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24111-E（C）

The specified tier (Web system name = aa....aa, tier type = bb....bb) is not registered.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ティア種別

説明

構成変更定義ファイルに指定された物理ティアの種類は，Web システムに登録されていません。

処理を中止します。

対処

構成変更定義ファイル中の物理ティアの種類（物理ティアの定義の tier-type タグまたはサービスユニットの定義の hosts-for タグ）に，Web システム構築時に定義された物理ティア以外が指定されています。

構成変更定義ファイルを修正し，コマンドを再実行してください。

KEOS24112-E（C）

No units are registered in the Web system. (Web system name = aa....aa)

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムには，サービスユニットが登録されていません。

すべてのサービスユニットが削除されています。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，サービスユニットを追加してください。

KEOS24113-E（C）

The Web system (Web system name = aa....aa) is already registered.

aa....aa：Web システム名

説明

簡易構築定義ファイルに指定された Web システムは，すでに登録されています。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容およびコマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24114-E（C）

The unit (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb) is already registered.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

説明

構成変更定義ファイルに指定されたサービスユニットは，Web システムにすでに登録されています。

処理を中止します。

対処

構成変更定義ファイルの内容およびコマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24115-E（C）

The host (host name/IP address = aa....aa) is already registered.

aa....aa：ホスト名または運用 IP アドレス

説明

ホストはすでに登録されています。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容およびコマンドの実行方法を確認してください。

別の Web システムに同じ運用 IP アドレスを指定したホストがないか，または，Web システム内で同じホスト名を使用していないかを確認してください。

KEOS24116-E（C）

An attempt to register the host that registers the naming service for the management server (host name = aa....aa) has failed.

aa....aa：Management Server が使用するネーミングサービスを登録するホスト名

説明

Management Server が使用するネーミングサービスを登録するホストの登録に失敗しました。

処理を中止します。

対処

コマンドを再実行しても障害が回復しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS24117-I（C）

The settings of the administrator's user account were changed.

説明

管理ユーザアカウントの設定を変更しました。

KEOS24119-I（C）

The naming service for the management server (logical server name = aa....aa) has already started.

aa....aa：Management Server が使用するネーミングサービスを登録するホスト名

説明

Management Server が使用するネーミングサービスはすでに起動しています。

KEOS24120-E（C）

An attempt to start the naming service for the management server (logical server name = aa....aa) has failed.

aa....aa：Management Server が使用するネーミングサービスを登録するホスト名

説明

Management Server が使用するネーミングサービスの起動に失敗しました。

処理を中止します。

対処

Management Server のログファイルを調査して，論理サーバの起動停止に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24121-I（C）

The naming service for the management server (logical server name = aa....aa) has started.

aa....aa：Management Server が使用するネーミングサービスを登録するホスト名

説明

Management Server が使用するネーミングサービスの起動に成功しました。

KEOS24122-E（C）

The logical server (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc) has been deleted.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバが削除されています。

運用管理ポータルを使用して論理サーバが削除されたおそれがあります。

対処

サービスユニットを削除後，サービスユニットを再追加してください。

KEOS24123-I（C）

The logical server (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc) has already started.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバはすでに起動されています。

KEOS24124-E（C）

An attempt to start the logical server (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc) has failed.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバの起動に失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，論理サーバの起動停止に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24125-I（C）

The logical server (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc) has started.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバの起動に成功しました。

KEOS24126-I（C）

The logical server (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc) has already stopped.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバはすでに停止状態です。

KEOS24127-E（C）

An attempt to stop the logical server (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc) has failed.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバの停止に失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，論理サーバの起動停止に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24128-I（C）

The logical server (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc) has stopped.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット ID

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバの停止に成功しました。

KEOS24129-I（C）

The Web system (Web system name = aa....aa) was successfully built.

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムの構築に成功しました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

KEOS24130-I（C）

The Web system (Web system name = aa....aa) was successfully changed.

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムの変更に成功しました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

KEOS24131-E（C／F）

This command is not supported. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

このコマンドはサポートしていません。

処理を中止します。

対処

運用管理マシンにインストールされている製品のバージョンと，コマンドを実行するマシンにインストールされている製品のバージョンを確認してください。

KEOS24132-I（C）

The operation on the load balancer was successful. (load balancer = aa....aa)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

説明

負荷分散機の操作に成功しました。

KEOS24133-E（C／F）

The attempted operation on the load balancer has failed. (load balancer = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

bb....bb：詳細情報

説明

負荷分散機の操作に失敗しました。

処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13–1　KEOS24133-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
ncm.host is null or empty.	負荷分散機定義プロパティファイル(lb.properties)の ncm.host キーを設定していないか，または ncm.host キーの値が空文字です。	lb.properties ファイルの ncm.host キーを適切に設定してください。
Invalid xxx	負荷分散機定義プロパティファイル(lb.properties)の xxx キーの値が不正です。	lb.properties ファイルの xxx キーを適切に設定してください。
ncm.user is null or empty.	負荷分散機定義プロパティファイル(lb.properties)の ncm.user キーを設定していないか，または ncm.user キーの値が空文字です。	lb.properties ファイルの ncm.user キーを適切に設定してください。
ncm.passwd is null.	負荷分散機定義プロパティファイル(lb.properties)の ncm.passwd キーが設定されていません。	lb.properties ファイルの ncm.passwd キーを適切に設定してください。
The LB named xxx.xxx.xxx.xxx is not configured.	負荷分散機定義プロパティファイル(lb.properties)の lb.list キーに xxx.xxx.xxx.xxx の負荷分散機が定義されていません。	lb.properties ファイルの lb.list キーを適切に設定してください。
Access denied: <file>	<file>が存在しない，通常のファイルでない，または読み込みできません。	<file>が存在すること，通常のファイルであること，および読み込み可能であることを確認してください。
The script named xxx does not exist: <file>	スクリプト定義ファイル<file>にスクリプト(xxx)の定義が存在しません。	<file>に対応する最新のスクリプト定義ファイルを次の場所にコピーしてください。 • Windows の場合

詳細情報	説明	対処
The script named xxx does not exist: <file>	スクリプト定義ファイル<file>にスクリプト(xxx)の定義が存在しません。	<Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥config • UNIX の場合 /opt/Cosminexus/manager/config
The connection failed.	接続に失敗しました。	lb.properties ファイルの lb.telnet.port.xxx，lb.ssh.port.xxx キー，lb.API.port.xxx キー，または簡易構築ファイルのロードバランサ定義の管理 IP アドレスを適切に設定してください。
An I/O error occurred during data transfer from the load balancer.	データ受信時に I/O エラーが発生しました。	cmx コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。
An I/O error occurred during data transfer to the load balancer.	データ送信時に I/O エラーが発生しました。	cmx コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。
A timeout occurred while waiting for a response to the user prompt.	ユーザプロンプトの受信中にタイムアウトが発生しました。	lb.properties ファイルの lb.telnet.user_prompt.xxx キーを適切に設定してください。上記のキーが適切である場合，lb.telnet.login_timeout.xxx キーの値をより大きい値に設定してください。
A timeout occurred while waiting for a response to the password prompt.	パスワードプロンプトの受信中にタイムアウトが発生しました。	lb.properties ファイルの lb.telnet.passwd_prompt.xxx キーを適切に設定してください。上記のキーが適切である場合，lb.telnet.login_timeout.xxx キーの値をより大きい値に設定してください。
A timeout occurred while waiting for a response to the login prompt.	ログインプロンプトの受信中にタイムアウトが発生しました。	lb.telnet.user.xxx，lb.telnet.passwd.xxx，lb.telnet.login_prompt.xxx キーを適切に設定してください。上記のキーが適切である場合，lb.telnet.login_timeout.xxx キーの値をより大きい値に設定してください。
A timeout occurred.	タイムアウトが発生しました。	lb.telnet.command_timeout.xxx，lb.ssh.timeout.xxx キー，または lb.API.timeout.xxx キーの値をより大きい値に設定してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。
An I/O error occurred.	I/O エラーが発生しました。	cmx コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。
The connection closed.	負荷分散機へのコネクションが切断されました。	lb.properties ファイルの lb.telnet.user.xxx，lb.telnet.passwd.xxx，lb.telnet.user_prompt.xxx，lb.telnet.passwd_prompt.xxx，lb.telnet.login_prompt.xxx キーを適切に設定してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

詳細情報	説明	対処
xxx is null or empty.	負荷分散装置定義プロパティファイル(lb.properties)の xxx キーを設定していないか，または xxx キーの値が空文字です。	lb.properties の xxx キーを適切に設定してください。
Authentication has failed.	認証要求に失敗しました。	lb.properties ファイルの lb.ssh.user.xxx，lb.ssh.passwd.xxx，lb.API.user.xxx，または lb.API.passwd.xxx キーを適切に設定してください。
A command execution error occurred: (<returncode>, <errormessage>)	コマンド実行でエラーが発生しました。	コマンドのリターンコード<returncode>とエラーメッセージ<errormessage>からエラーの原因を特定してください。
An API processing error occurred: (<returncode>, <errormessage>)	API の処理でエラーが発生しました。	リターンコード<returncode>とエラーメッセージ<errormessage>からエラーの原因を特定してください。
An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。	保守員に連絡してください。
The load balancer type is incorrect.	ロードバランサタイプが正しくありません。	簡易構築定義ファイルの<load-balancer-type>タグに適切な値を設定してください。
その他	負荷分散機の CLI コマンドの実行に失敗しました。	cmx コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS24135-E（C）

An attempt to register the host (host name = aa....aa) has failed.

aa....aa：ホスト名

説明

ホストの登録に失敗しました。

運用管理ポータルで論理サーバおよびアプリケーションを更新しているおそれがあります。

対処

しばらくしてコマンドを再実行しても障害が回復しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS24138-W（C）

The load balancer is not defined on the Web system (Web system name = aa....aa).

aa....aa：Web システム名

説明

指定された Web システムには負荷分散機が定義されていません（cmx_test_lb では負荷分散機の接続テストをしません）。

処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法および簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24139-E（C）

The load balancer (Web system name = aa....aa, load balancer name = bb....bb) is not registered.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：負荷分散機名

説明

負荷分散機は登録されていません。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24140-E（C）

The virtual server (Web system name = aa....aa, load balancer name = bb....bb, virtual server name = cc....cc) is not registered.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：負荷分散機名

cc....cc：仮想サーバ名

説明

仮想サーバは登録されていません。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24141-E（C）

An internal error occurred. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

内部エラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS24142-E（F／C）

A timeout occurred.

説明

タイムアウトが発生しました。

同時に実行できないコマンドが実行中です。

処理を中止します。

対処

しばらくしてから再実行してください。

KEOS24143-E（F／C）

An exclusion error occurred.

説明

排他エラーが発生しました。

同時に実行できないコマンドが実行中です。

処理を中止します。

対処

しばらくしてから再実行してください。

KEOS24144-I（F）

aa....aa(Web システム名=bb....bb)の処理を受け付けました。

aa....aa：コマンド名

bb....bb：Web システム名

説明

Web システムについて，コマンドの処理を受け付けました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

KEOS24145-E（C）

An attempt to set up the logical server (Web system name=aa....aa, unit name=bb....bb, logical server name=cc....cc) has failed.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバのセットアップに失敗しました。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名やユニット名には[no-name]が出力されます。

対処

Management Server のログファイルを調査して障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24146-I（C）

An attempt to set up the logical server (Web system name=aa....aa, unit name=bb....bb, logical server name=cc....cc) was successful.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバのセットアップに成功しました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名やユニット名には[no-name]が出力されます。

KEOS24147-E（C）

An attempt to distribute the configuration file has failed. Web system name=aa....aa, unit name=bb....bb, logical server name=cc....cc

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバの環境設定の配布に失敗しました。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名やユニット名には[no-name]が出力されます。

対処

Management Server のログファイルを調査して障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24148-I（C）

An attempt to distribute the configuration file was successful. Web system name=aa....aa, unit name=bb....bb, logical server name=cc....cc

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバの環境設定の配布に成功しました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名やユニット名には[no-name]が出力されます。

KEOS24149-I（C）

The logical server (Web system name=aa....aa, unit name=bb....bb, logical server name=cc....cc) has already set upped.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバはすでにセットアップされています。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名やユニット名には[no-name]が出力されます。

KEOS24150-I（C）

The configuration file has already distributed. Web system name=aa....aa, unit name=bb....bb, logical server name=cc....cc

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：論理サーバ名

説明

論理サーバの環境設定はすでに配布されています。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名やユニット名には[no-name]が出力されます。

KEOS24151-E（C）

An invalid XML Schema(aa....aa) was used.

aa....aa：XML スキーマ

説明

不正な XML スキーマが使用されています。

処理を中止します。

対処

サーバおよびクライアントのバージョンを確認してください。

KEOS24153-E（C）

An attempt to allocate memory has failed.

説明

メモリの確保に失敗しました。標準エラーメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

ほかのアプリケーションを終了するなど，十分にメモリを確保してから再実行してください。

KEOS24154-E（C）

An error occurred in the system function. function name = aa....aa, errno = bb....bb

aa....aa：関数名

bb....bb：エラー番号

説明

システム関数でエラーが発生しました。標準エラーメッセージを表示して，処理を終了します。

対処

関数のエラー番号を参照して障害を取り除いてから再度実行してください。

KEOS24157-E（C）

The host(Web system name=aa....aa, unit name=bb....bb, host name=cc....cc) is not registered.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：ホスト名

説明

ホスト（ホスト名=cc....cc）が登録されていません。

処理を中止します。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名やユニット名には[no-name]が出力されます。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24158-W（C／F）

The setting value aa....aa of the specified parameter bb....bb is already being used. (logical server name = cc....cc)

aa....aa：パラメタ値

bb....bb：パラメタ

cc....cc：エラーが発生した論理サーバ

説明

論理サーバに設定したパラメタの設定値は，ほかで使われています。エラーを無視して処理を継続します。

対処

このパラメタの設定値は同じサーバマシン内でユニークにする必要があります。各論理サーバに設定されるパラメタの設定値を見直して，Web システムを変更してください。

KEOS24159-W（C／F）

The aa....aa part of the specified parameter bb....bb is not defined as the setting value of the parameter cc....cc. (logical server name = dd....dd)

aa....aa：パラメタの部分値

bb....bb：パラメタ

cc....cc：パラメタの部分値の設定が不足しているパラメタ

dd....dd：エラーが発生した論理サーバ

説明

論理サーバに設定したパラメタ中の部分値がパラメタの設定値として定義されていません。エラーを無視して処理を継続します。

対処

configuration タグ中に指定したパラメタの設定値を見直して，Web システムを変更してください。

KEOS24160-W（C／F）

The logical server aa....aa specified in the parameter bb....bb of the logical server cc....cc is not defined.

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：パラメタ

cc....cc：エラーが発生した論理サーバ

説明

論理サーバのパラメタで指定した論理サーバは定義されていません。エラーを無視して処理を継続します。

対処

configuration タグ中に指定したパラメタの設定値を見直して，Web システムを変更してください。

KEOS24161-W（C／F）

There is a correlation error in the setting value of the parameter aa....aa(value = bb....bb) and the parametercc....cc(value = dd....dd).(logical server name = ee....ee)

aa....aa：パラメタ 1

bb....bb：パラメタ 1 の設定値

cc....cc：パラメタ 2

dd....dd：パラメタ 2 の設定値

ee....ee：エラーの発生した論理サーバ名

説明

パラメタ 1 とパラメタ 2 の設定値に相関エラー（大小関係エラーなど）があります。エラーを無視して処理を継続します。

対処

configuration タグ中に指定したパラメタの設定値を見直して，Web システムを変更してください。

KEOS24162-W（C／F）

The attempted operation on the load balancer has failed. (load balancer = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

bb....bb：詳細情報

説明

負荷分散機の操作に失敗しました。エラーを無視して処理を継続します。

詳細情報については，「表 13-1　KEOS24133-E に示されるエラーの詳細情報一覧」を参照してください。

対処

負荷分散機の障害を回復したあと，cmx_test_lb で負荷分散機のテストを行ってください。

KEOS24163-W（C／F）

The attempted operation on the load balancer has failed. The operation on this load balancer will be suspended.(load balancer = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

bb....bb：詳細情報

説明

負荷分散機の操作に失敗しました。以後，この負荷分散機の操作は休止します。

詳細情報については，「表 13-1　KEOS24133-E に示されるエラーの詳細情報一覧」を参照してください。

対処

負荷分散機の障害を回復したあと，cmx_test_lb で負荷分散機のテストを行ってください。

KEOS24164-I（C／F）

The operation on the suspended load balancer was successful.(load balancer = aa....aa)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

説明

休止中の負荷分散機の操作に成功しました。

対処

もう一方の負荷分散機が正常の場合は，この負荷分散機の設定を復旧したあと，Smart Composer に障害の回復を指示（cmx_recover_lb）してください。

障害の場合は，障害を回復したあと，cmx_test_lb で負荷分散機のテストを行ってください。

KEOS24165-W（C／F）

The attempted operation on the suspended load balancer has failed. (load balancer = aa....aa, details =bb....bb)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

bb....bb：詳細情報

説明

休止中の負荷分散機の操作に失敗しました。エラーを無視して処理を継続します。

詳細情報については，「表 13-1　KEOS24133-E に示されるエラーの詳細情報一覧」を参照してください。

対処

負荷分散機の障害を回復したあと，cmx_test_lb で負荷分散機のテストを行ってください。

KEOS24166-W（C／F）

The operation on the load balancer canceled because it was suspended. (load balancer = aa....aa)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

説明

休止中のため，負荷分散機の操作を行いませんでした。エラーを無視して処理を継続します。

対処

負荷分散機の障害を回復したあと，cmx_test_lb で負荷分散機のテストを行ってください。

KEOS24167-E（C）

The logical server (logical server name = aa....aa) is already registered.

aa....aa：論理サーバ ID

説明

論理サーバがすでに登録されています。処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルまたは構成変更定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24168-I（C）

The host (host name=aa....aa) has been registered.

aa....aa：ホスト名（複数の場合はコンマ区切り）

説明

ホストが登録されました。

KEOS24169-E（C）

The operation is not available on this unit(Web system name =aa....aa, unit name = bb....bb).

aa....aa：Web システム名

bb....bb：サービスユニット名

説明

その操作は，このサービスユニットに対して有効ではありません。処理を中止します。

対処

指定したサービスユニット名に間違いがないかを確認してください。

KEOS24170-E（C）

The host cannot be identified because a host with the same name exists. (host name = aa....aa)

aa....aa：ホスト名

説明

同じ名前のホストが存在するため，ホストを特定することができません。処理を中止します。

対処

このホストは利用できません。ドメイン内でホスト名がユニークになるようサービスユニットを再作成（サービスユニット削除後追加）してください。

KEOS24171-I（C）

The logical servers were successfully added to the Web system.

説明

Web システムへの論理サーバの追加に成功しました。

KEOS24172-I（C）

The logical server was successfully deleted from the Web system.

説明

Web システムからの論理サーバの削除に成功しました。

KEOS24173-E（C）

The logical server has already been added to the Web system. (Logical Server Name = aa....aa)

aa....aa：論理サーバ名

説明

論理サーバ aa....aa がすでに Web システムに追加されています。処理を中止します。

対処

論理サーバの名称を確認してください。

KEOS24174-E（C）

The logical server has not been added to the Web system. (Logical Server Name = aa....aa)

aa....aa：論理サーバ名

説明

論理サーバ aa....aa が Web システムに追加されていません。処理を中止します。

対処

論理サーバの名称を確認してください。

KEOS24175-E（C）

A nonexistent logical server has been specified. (Logical Server Name = aa....aa)

aa....aa：論理サーバ名

説明

存在しない論理サーバ aa....aa が指定されました。処理を中止します。

対処

論理サーバの名称を確認してください。

KEOS24176-E（C）

A logical server that is not a user server has been specified. (Logical Server Name = aa....aa)

aa....aa：論理サーバ名

説明

ユーザサーバでない論理サーバ aa....aa が指定されました。処理を中止します。

対処

論理サーバの名称を確認してください。

KEOS24177-E（C）

An invalid logical server type (aa....aa) is specified in the unit (unit name = bb....bb).

aa....aa：論理サーバ種別

bb....bb：サービスユニット名

説明

サービスユニット bb....bb 中のサーバ定義に不正な論理サーバ種別 aa....aa が指定されています。処理を中止します。

対処

定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24178-I（C／F）

The settings for the load balancer have resumed. (load balancer = aa....aa)

aa....aa：負荷分散機の管理 IP アドレス

説明

障害によって休止していた負荷分散機の設定を再開しました。

KEOS24179-E（C）

The suspended load balancer does not exist.

説明

休止している負荷分散機が存在しません。処理を中止します。

対処

cmx_resume_lb コマンドは障害によって休止している負荷分散機が存在する場合だけ有効です。

KEOS24180-E（C）

A combination of the values specified to hosts-for element(aa....aa) and host-ref element(bb....bb) is invalid .(Web system name = cc....cc, unit name = dd....dd)

aa....aa：ティア種別

bb....bb：ホスト名

cc....cc：Web システム名

dd....dd：サービスユニット名

説明

hosts-for 要素と host-ref 要素の指定値の組み合わせが不正です。

対処

構成変更定義ファイルのサービスユニット（サービスユニット名）中に指定した hosts-for 要素と host-ref 要素の指定値を Web システム構築時, またはサービスユニット追加時に指定した値の組み合わせに修正して，コマンドを再実行してください。

KEOS24181-I（C／F）

The Web system host information was changed successfully.

説明

Web システムのホスト情報の変更に成功しました。

KEOS24182-E（C／F）

An attempt to change the Web system host information has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Web システムのホスト情報の変更に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。

KEOS24183-W（C／F）

The same CTMID is specified more than once for the same host. (logical server name = aa....aa)

aa....aa：論理サーバ名

説明

同一ホスト内の CTMID が重複して指定されています。エラーを無視して処理を継続します。

対処

同一ホストで CTM を複数定義することはできません。Web システムの構成を見直してください。

KEOS24184-E（C／F）

The settings information for the load balancer is invalid. (Web system name = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：Web システム名

bb....bb：詳細情報

説明

ロードバランサに関する設定情報が不正です。処理を中止します。

対処

詳細情報を確認して，定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS24185-E（C）

The operation is not available on this web system(Web system name = aa....aa).

aa....aa：Web システム名

説明

実行した操作は，この Web システムに対して有効ではありません。処理を中止します。

対処

指定した Web システム名に間違いがないかを確認してください。

KEOS24186-W（C）

The host aa....aa specified in the parameter bb....bb of the logical server cc....cc is not defined.

aa....aa：ホスト名

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：エラーが発生した論理サーバ名

説明

エラーが発生した論理サーバのパラメタで指定したホスト名は，定義されていません。エラーを無視して処理を継続します。

対処

configuration タグ中に指定したパラメタの設定値を見直して，Web システムを変更してください。

KEOS24187-W（C）

A recommended parameter and a non-recommended parameter were specified together. (parameter name - aa....aa ,bb....bb)

aa....aa：推奨パラメタ

bb....bb：非推奨パラメタ

説明

推奨と非推奨のパラメタが同時に指定されました。推奨パラメタが有効になります。

エラーを無視して処理を継続します。

対処

推奨と非推奨のパラメタの設定内容を確認してください。

KEOS24188-W（C）

The logical server corresponding to the specified parameter was not found. (parameter name = aa....aa, logical server name = bb....bb)

aa....aa：パラメタ

bb....bb：論理サーバ名

説明

指定されたパラメタ aa....aa に対応する論理サーバが見つかりませんでした。

エラーを無視して処理を継続します。

対処

指定したパラメタを確認してください。

KEOS24189-E（C）

No hosts are defined for the management server.

説明

Management Server にホストが一つも定義されていません。処理を中止します。

対処

Management Server にホストを一つ以上定義してから再度実行してください。

KEOS24191-E（C）

The host name aa....aa cannot be converted to an IP address.

aa....aa：ホスト名

説明

ホスト名が IP アドレスに変換できません。処理を中止します。

対処

定義文中のホスト名に名前解決ができるホスト名または IP アドレスを指定してください。

KEOS24192-E（C）

The host name cannot be converted because more than one host will be replaced.

説明

複数のホスト名が同じ名前に変換されるためホスト名を変換できません。処理を中止します。

対処

-myhost を指定しないで，コマンドを実行してください。

KEOS24193-E（C）

The host name cannot be converted because the host name and agent host do not match.

説明

host-name タグと agent-host タグが異なるためホスト名を変換できません。処理を中止します。

対処

-myhost を指定しないで，コマンドを実行してください。

KEOS24194-E（C）

The host name cannot be converted because the host name aa....aa cannot be converted to IP addresses.

aa....aa：ホスト名

説明

自ホストか判定できないホストが存在するためホスト名を変換できません。処理を中止します。

対処

-myhost を指定しないで，コマンドを実行してください。

KEOS24195-W（C）

A parameter specification linked to worker settings is incorrect. (logical server name = aa....aa)

aa....aa：論理サーバ名

説明

ワーカの設定に関連するパラメタの指定に誤りがあります。処理を中止します。

対処

指定したパラメタを確認してください。

KEOS24196-W（C）

The logical server aa....aa cannot be exported.

aa....aa：論理サーバ名

説明

論理サーバ aa....aa はエクスポートできませんでした。Web システムに関連しないクラスタのメンバはエクスポートできません。

KEOS24197-I（C）

The management server information was exported successfully.

説明

Management Server の情報のエクスポートに成功しました。

KEOS24198-E（C）

There are no logical servers that are not linked to the Web system.

説明

配布対象となる Web システムに関連しない論理サーバが一つも存在しません。処理を中止します。

対処

Management Server のログファイルを調査して障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24200-E（C）

The specified application file is invalid. file name = aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

不正なアプリケーションファイルが指定されました。

処理を中止します。

対処

ファイルの内容を確認してください。

KEOS24201-E（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb....bb) has already been deployed.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：アプリケーションバージョン ID

説明

指定されたアプリケーションと同一の表示名であるアプリケーションがすでにデプロイされています。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，アプリケーションをアンデプロイしたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24202-E（C）

An attempt to operate the model has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Web システムの情報モデルの操作に失敗しました。

処理を中止します。

運用管理ポータルで論理サーバおよびアプリケーションを更新しているおそれがあります。

対処

しばらくしてコマンドを再実行しても障害が回復しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS24203-E（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb...bb) is already registered.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：アプリケーションバージョン ID

説明

アプリケーションがすでに登録されています。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合，アプリケーションを再登録する場合は，-replace オプションを指定して cmx_register_application コマンドを再実行してください。

KEOS24204-I（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb...bb) was successfully registered.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：アプリケーションバージョン ID

説明

アプリケーションの登録に成功しました。

KEOS24205-E（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb....bb) is defined for a Web system. (Web system name = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：アプリケーションバージョン ID

cc....cc：Web システム名

説明

アプリケーションは Web システムと関連づけられているため，操作できません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，アプリケーションと Web システムの関連づけを削除したあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24206-E（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb...bb) does not exist.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：アプリケーションバージョン ID

説明

指定したアプリケーションは存在しません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

KEOS24207-I（C）

The application (display name =aa....aa, version = bb...bb) does not exist.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：アプリケーションバージョン ID

説明

指定したアプリケーションは存在しません。

指定したアプリケーションは，削除処理中に，ほかの操作ですでに削除されました。

KEOS24208-E（C）

The application (display name=aa....aa, version=bb...bb) was deleted.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：アプリケーションバージョン ID

説明

該当するアプリケーションがありません。

アプリケーションは，運用管理ポータルで削除されたおそれがあります。

対処

アプリケーションを，cmx_register_application コマンドで再登録してください。

KEOS24209-I（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb...bb) was successfully unregistered.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：アプリケーションバージョン ID

説明

アプリケーションの削除に成功しました。

KEOS24210-E（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb....bb) is already defined for a Web system. (Web system name = cc....cc)

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：アプリケーションバージョン ID

cc....cc：Web システム名

説明

アプリケーションはすでに Web システムに関連づけられています。

処理を中止します。

対処

Web システムの情報モデルの内容およびコマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24211-I（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb....bb) was successfully defined for the Web system (Web system name = cc....cc).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：アプリケーションバージョン ID

cc....cc：Web システム名

説明

アプリケーションの Web システムへの関連づけに成功しました。

KEOS24212-E（C）

The application (display name = aa....aa, version = bb....bb) has no definitions for the Web system (Web system name = cc....cc).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：アプリケーションバージョン ID

cc....cc：Web システム名

説明

アプリケーションは Web システムに関連づけられていません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は, cmx_define_application コマンドを実行して, アプリケーションを Web システムに関連づけてください。

KEOS24213-E（C）

There is no logical server in the Web system (Web system name = aa....aa).

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムに論理サーバが存在しません。

処理を中止します。

対処

Web システムの情報モデルの内容およびコマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24215-I（C）

The application's (display name = aa....aa version = bb....bb) Web system definition was successfully deleted (Web system name = cc....cc).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：アプリケーションバージョン ID

cc....cc：Web システム名

説明

アプリケーションと Web システムの関連づけを解除しました。

KEOS24216-E（C）

The application has no definitions for the Web system (Web system name = aa....aa).

aa....aa：Web システム名

説明

アプリケーションは Web システムに関連づけられていません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，cmx_define_application コマンドを実行して，アプリケーションを Web システムに関連づけてください。

KEOS24217-E（C）

The application (display name = aa....aa) has no definitions for the Web system (Web system name = bb....bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb....bb：Web システム名

説明

アプリケーションは Web システムに関連づけられていません。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，cmx_define_application コマンドを実行して，アプリケーションを Web システムに関連づけてください。

KEOS24218-I（C）

The application (display name =aa....aa) was successfully deployed to the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションのデプロイに成功しました。

KEOS24219-E（C）

An attempt to deploy the application (display name = aa....aa) to the logical server (logical server name = bb...bb) has failed.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションのデプロイに失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，アプリケーションの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24220-E（C）

The application (display name = aa....aa) was undeployed from the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションはデプロイされていません。

コマンド実行中にほかの操作でアプリケーションがアンデプロイされたおそれがあります。

対処

アプリケーションをデプロイしてください。

KEOS24221-I（C）

The application (display name = aa....aa) has already been deployed to the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションはすでにデプロイされています。

KEOS24222-E（C）

The application (display name = aa....aa) has not been deployed to the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションはデプロイされていません。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，アプリケーションをデプロイしてください。

KEOS24223-I（C）

The application (display name = aa....aa) was successfully undeployed from the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションのアンデプロイに成功しました。

KEOS24224-E（C）

An attempt to undeploy the application (display name = aa....aa) from the logical server (logical server name = bb...bb) has failed.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションのアンデプロイに失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，アプリケーションの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24225-E（C）

The system is busy. (logical server name = aa....aa, application display name = bb...bb)

aa....aa：論理サーバ名

bb...bb：アプリケーション表示名

説明

アプリケーションに対するほかの操作が実行中のため，操作できません。

対処

ほかの操作を終了したあと，再度実行してください。

KEOS24227-I（C）

The application (display name = aa....aa) was successfully started on the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションの開始に成功しました。

KEOS24228-E（C）

An attempt to start the application (display name = aa....aa) on the logical server (logical server name = bb...bb) has failed.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションの起動に失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，アプリケーションの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24229-I（C）

The application (display name = aa....aa) on the logical server (logical server name = bb...bb) was successfully stopped.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションの停止に成功しました。

KEOS24230-E（C）

An attempt to stop the application (display name = aa....aa) on the logical server (logical server name = bb...bb) has failed.

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションの停止に失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，アプリケーションの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24231-I（C）

The application (display name = aa....aa) has already started on the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションはすでに稼働状態です。

KEOS24232-I（C）

The application (display name = aa....aa) has already stopped on the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションはすでに停止状態です。

KEOS24233-I（C）

The application (display name = aa....aa) does not exist on the logical server (logical server name = bb...bb).

aa....aa：アプリケーション表示名

bb...bb：論理サーバ名

説明

アプリケーションはデプロイされていません。アプリケーションのアンデプロイは不要です。

KEOS24234-E（C）

A J2EE application with a different format is already registered. (display name = aa....aa)

aa....aa：アプリケーション表示名

説明

形式の異なる J2EE アプリケーションがすでに登録されています。処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24300-I（C）

The resource (display name = aa....aa) was successfully registered.

aa....aa：リソース表示名

説明

リソースの登録に成功しました。

KEOS24301-I（C）

The resource (display name = aa....aa) was successfully unregistered.

aa....aa：リソース表示名

説明

リソースの削除に成功しました。

KEOS24302-I（C）

The resource (display name = aa....aa) was successfully defined for the Web system (Web system name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：Web システム名

説明

リソースを Web システムに関連づけました（リソース名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。

KEOS24303-I（C）

The resource's (display name = aa....aa) definition for the Web system (Web system name = bb....bb) was successfully deleted.

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：Web システム名

説明

リソースと Web システムの関連づけを解除しました（リソース名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。

KEOS24304-I（C）

The resource (display name = aa....aa) was successfully deployed to the logical server (logical server name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースのデプロイに成功しました。

KEOS24305-I（C）

The resource (display name = aa....aa) was successfully undeployed from the logical server (logical server name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースのアンデプロイに成功しました。

KEOS24306-I（C）

The resource (display name = aa....aa) on the logical server (logical server name = bb....bb) was successfully started.

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースの開始に成功しました。

KEOS24307-I（C）

The resource (display name = aa....aa) on the logical server (logical server name = bb....bb) was successfully stopped.

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースの停止に成功しました。

KEOS24308-E（C）

The resource display name has not been set.

説明

リソースの表示名が設定されていません。

対処

リソースファイルの内容を確認してください。

KEOS24309-E（C）

The resource (display name = aa....aa) is already registered.

aa....aa：リソース表示名

説明

リソースはすでに登録されています。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合，リソースを再登録する場合は，-replace オプションを指定して cmx_register_resource コマンドを再実行してください。

KEOS24310-E（C）

The resource was not defined for the Web system (Web system name = aa....aa).

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムに関連づけられているリソースがありません（Web システム名=aa....aa）。

処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合，cmx_define_resource コマンドを実行して，リソースを Web システムに関連づけてください。

KEOS24311-E（C）

The resource (display name = aa....aa) does not exist.

aa....aa：リソース表示名

説明

リソースは存在しません。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合，cmx_register_resource コマンドを実行して，リソースを登録してください。

KEOS24312-E（C）

The resource (display name = aa....aa) is already defined for the Web system (Web system name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：Web システム名

説明

リソースはすでに Web システムに関連づけられています（リソース名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。

対処

Web システムの情報モデルの内容およびコマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24314-E（C）

The resource (display name = aa....aa) is not defined for the Web system (Web system name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：Web システム名

説明

指定されたリソースは Web システムに関連づけられていません（リソース名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合，cmx_define_resource コマンドを実行して，リソースを Web システムに関連づけてください。

KEOS24315-E（C）

The resource (display name = aa....aa) has already been deployed for the Web system (Web system name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：Web システム名

説明

リソースはすでにデプロイされています（リソース名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，リソースをアンデプロイしたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24316-E（C）

The resource (display name = aa....aa) has not been deployed to the logical server (logical server name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースがデプロイされていません。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

コマンドの引数に間違いがない場合は，リソースをデプロイしたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24317-E（C）

An attempt to deploy the resource (display name = aa....aa) to the logical server (logical server name = bb....bb) has failed.

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースのデプロイに失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，リソースの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24318-E（C）

An attempt to undeploy the resource (display name = aa....aa) from the logical server (logical server name = bb....bb) has failed.

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースのアンデプロイに失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，リソースの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24319-E（C）

The system is busy. (logical server name = aa....aa, resource display name = bb....bb)

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：リソース表示名

説明

リソースに対するほかの操作が実行中のため，操作できません。

対処

ほかの操作が終了したあと，再度実行してください。

KEOS24320-I（C）

The resource (deployed resource display name = aa....aa) has already been deployed. (resource display name = bb....bb)

aa....aa：リソース表示名(インポート済み)

bb....bb：リソース表示名

説明

リソースは，すでにデプロイされています。

KEOS24321-I（C）

The resource (display name = aa....aa) has already started on the logical server (logical server name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースはすでに開始しています。

KEOS24322-I（C）

The resource (display name = aa....aa) has already stopped on the logical server (logical server name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースはすでに停止しています。

KEOS24323-E（C）

An attempt to start the resource (display name = aa....aa) on the logical server (logical server name = bb....bb) has failed.

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースの起動に失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，リソースの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24324-E（C）

An attempt to stop the resource (display name = aa....aa) on the logical server (logical server name = bb....bb) has failed.

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースの停止に失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して，リソースの操作に関するログを確認してください。障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24325-I（C）

The resource (display name = aa....aa) does not exist on the logical server (logical server name = bb....bb).

aa....aa：リソース表示名

bb....bb：論理サーバ名

説明

リソースは存在しません。

KEOS24326-E（C）

The specified file is invalid. file name = aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

不正なファイルが指定されました。

処理を中止します。

対処

ファイルの内容を確認してください。

KEOS24401-I（C）

The operation on the Web system (Web system name = aa....aa) was successful.

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムに対する操作が成功しました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

KEOS24402-W（C）

The operation on the Web system (Web system name = aa....aa) was partially successful.

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムに対する操作が部分的に成功しました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

Management Server のログファイルを調査して障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24403-E（C）

The attempted operation on the Web system (Web system name = aa....aa) has failed.

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムに対する操作が失敗しました。

なお，処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

対処

Management Server のログファイルを調査して障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24404-I（C）

The operation on the unit (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb) was successful.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：サービスユニット名

説明

サービスユニットに対する操作が成功しました。

KEOS24405-E（C）

The attempted operation on the unit (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb) has failed.

aa....aa：Web システム名

bb....bb：サービスユニット名

説明

サービスユニットに対する操作が失敗しました。

対処

Management Server のログファイルを調査して障害を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS24406-I（C／F）

The operation was executed successfully.

説明

操作が成功しました。

KEOS24407-E（C／F）

An attempt to execute the operation has failed.

説明

操作が失敗しました。

KEOS24408-E（C／F）

An attempt to build the model of Web systems has failed.

説明

Web システムの情報モデル構築に失敗しました。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認して，再度実行してください。

KEOS24409-E（C／F）

An attempt was made to modify unmodifiable definitions of Web system.

説明

Web システムの変更可能でないタグおよびパラメタを変更しようとしました。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイル内の Web システムの内容を確認して，再度実行してください。

KEOS24410-E（C／F）

An attempt was made to modify unmodifiable definitions of host.

説明

ホスト定義の変更可能でないタグを変更しようとしました。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイル内のホスト定義の内容を確認して，再度実行してください。

KEOS24411-E（C／F）

An attempt to modify definitions of the Web system (Web system name = aa....aa) has failed.

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムのタグおよびパラメタの変更に失敗しました。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認し再度実行してください。

KEOS24412-E（C／F）

An attempt to build the Web system (Web system name = aa....aa) has failed.

aa....aa：Web システム名

説明

Web システムの構築に失敗しました。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルを指定していた場合は，簡易構築定義ファイルの内容を確認し再度実行してください。

Web システム名を指定していた場合は，登録されている Web システムの情報モデルを確認してください。

KEOS24500-E（C）

The logical server or host not linked to the Web system is not registered.

説明

Web システムに関連しない論理サーバおよびホストは登録されていません。

処理を中止します。

対処

コマンドの実行方法を確認してください。

KEOS24501-I（C）

A logical server or host not linked to the Web system was deleted successfully.

説明

Web システムに関連しない論理サーバおよびホストの削除に成功しました。

KEOS24502-E（C）

An attempt to change the model has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

モデルの変更に失敗しました（詳細＝ aa....aa）。

処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基に，簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

表 13–2　KEOS24502-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
The Web system does not exist. (Web system name = aa....aa) aa....aa：Web システム名	Web システムが存在しません（Web システム名=aa....aa）※。	指定した Web システムがモデルに登録されているかどうかを確認してください。
The number of tiers in the Web system does not match the number of tiers in the model. (Web system name = aa....aa) aa....aa：Web システム名	Web システムに含まれるティアの数が一致しません（Web システム名=aa....aa）※。	指定した Web システムにティアを追加または削除していないかどうかを確認してください。
The tier type cannot be changed. (tier type = aa....aa, Web system name = bb....bb) aa....aa：ティアの種別 bb....bb：Web システム名	ティアの種類は変更できません（ティア種別=aa....aa, Web システム名=bb....bb）※。	指定したティアがモデルに登録されているかどうかを確認してください。
The number of J2EE servers for the tier cannot be changed. (tier type = aa....aa, Web system name = bb....bb) aa....aa：ティアの種別 bb....bb：Web システム名	ティアの J2EE サーバ数は変更できません（ティア種別=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。	指定したティアの J2EE サーバ数を変更していないかどうかを確認してください。
The number of units in the Web system does not match the number of units in the model. (Web system name = aa....aa) aa....aa：Web システム名	Web システムに含まれるユニットの数が一致しません（Web システム名=aa....aa）。	指定した Web システムにユニットを追加または削除していないかどうかを確認してください。
The unit does not exist. (unit name = aa....aa, Web system name = bb....bb) aa....aa：ユニット名 bb....bb：Web システム名	ユニットが存在しません（ユニット名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。	指定したユニット名がモデルに登録されているかどうかを確認してください。
The number of hosts in the unit does not match the number of hosts in the model. (unit name = aa....aa, Web system name = bb....bb) aa....aa：ユニット名 bb....bb：Web システム名	ユニットに含まれるホストの数が一致しません（ユニット名=aa....aa, Web システム名=bb....bb）※。	指定したユニットにホストを追加または削除していないかどうかを確認してください。
The host specified in the unit does not exist. (unit name = aa....aa, host name = bb....bb, Web system name = cc....cc)	ユニットで指定したホストが存在しません（ユニット名	指定したホストがモデルに登録されているかどうかを確認してください。

詳細情報	説明	対処
aa....aa：ユニット名 bb....bb：ホスト名 cc....cc：Web システム名	=aa....aa，ホスト名=bb....bb，Web システム名=cc....cc）※。	指定したホストがモデルに登録されているかどうかを確認してください。
The specified logical server does not exist. (logical server name = aa....aa, Web system name = bb....bb) aa....aa：論理サーバ名 bb....bb：Web システム名	指定した論理サーバは存在しません（論理サーバ名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）※。	指定した論理サーバがモデルに登録されているかどうかを確認してください。
The logical server name cannot be changed. (host name = aa....aa, Web system name = bb....bb) aa....aa：ホスト名 bb....bb：Web システム名	論理サーバ名は変更できません（ホスト名=aa....aa，Web システム名=bb....bb）。	指定した論理サーバがモデルに登録されているかどうかを確認してください。
The number of logical servers cannot be changed. (Web system name = aa....aa) aa....aa：Web システム名	論理サーバの数は変更できません（Web システム名 = aa....aa）※。	論理サーバの定義を追加または削除していないかどうかを確認してください。
The load balancer definition cannot be changed. (Web system name = aa....aa) aa....aa：Web システム名	ロードバランサの定義は変更できません（Web システム名=aa....aa）。	前回システムを構築したときの定義ファイルから，LoadBalancer タグの定義を変更していないかどうかを確認してください。
The host does not exist. (host name = aa....aa) aa....aa：ホスト名	ホストが存在しません（ホスト名=aa....aa）。	指定したホストがモデルに登録されているかどうかを確認してください。
The definition of the administration agent cannot be changed. (host name = aa....aa) aa....aa：ホスト名	ホストのエージェントの定義は変更できません（ホスト名=aa....aa）。	前回システムを構築したときの定義ファイルから，ホストのエージェントの定義を変更していないかどうかを確認してください。

注※　処理対象が運用管理ポータル，または Smart Composer の free-tier で定義した論理サーバの場合，Web システム名には[no-name]が出力されます。

KEOS24503-E（C）

An enabled In-process HTTP server cannot be disabled. (Web system name = aa....aa, parameter = bb....bb)

aa....aa：Web システム名

bb....bb：パラメタ

説明

インプロセス HTTP サーバは有効から無効に変更できません。

処理を中止します。

対処

指定したパラメタ bb....bb を確認してください。

KEOS24504-E（C）

An error occurred in the starting process of the previous level. (Web system name = aa....aa, logical server name = bb....bb)

aa....aa：Web システム名

bb....bb：論理サーバ名

説明

前レベルの起動でエラーが発生したため，該当する論理サーバは起動できません。

処理を中止します。

対処

最初に起動に失敗した論理サーバの設定情報が配布済みであるかを確認してください。

詳細情報と運用管理エージェントのログを参照し，障害を取り除いてから再度実行してください。

KEOS24505-W（C）

An attempt to verify the configuration file failed. (Web system name = aa....aa, unit name = bb....bb, logical server name = cc....cc, details = dd....dd)

aa....aa：Web システム名

bb....bb：ユニット名

cc....cc：論理サーバ名

dd....dd：詳細情報

説明

設定ファイルの検証に失敗しました。

処理を継続します。

対処

論理サーバの設定を確認して，再度実行してください。

KEOS24700-I（F）

ロードバランサ(aa....aa)に接続します。

aa....aa：負荷分散機（ロードバランサ）の管理用 IP アドレス

説明

負荷分散機（ロードバランサ）に接続します。

KEOS24701-I（F）

ロードバランサ(aa....aa)との接続を切断しました。

aa....aa：負荷分散機（ロードバランサ）の管理用 IP アドレス

説明

負荷分散機（ロードバランサ）との接続を切断しました。

KEOS24710-I（F）

ロードバランサ(aa....aa)に次のコマンドを送信します。script-name=[bb....bb], command-name=[cc....cc], command=[dd....dd]

aa....aa：負荷分散機（ロードバランサ）の管理用 IP アドレス
bb....bb：スクリプト名
cc....cc：コマンド名
dd....dd：コマンド

説明

負荷分散機（ロードバランサ）にコマンドを送信します。

KEOS24711-I（F）

ロードバランサ(aa....aa)からコマンドの出力を受信しました。[bb....bb]

aa....aa：負荷分散機（ロードバランサ）の管理用 IP アドレス
bb....bb：直前のコマンドの出力

説明

負荷分散機（ロードバランサ）からコマンドの出力を受信しました。

KEOS26000-I（F）

Management イベント発行機能を開始しました。

説明

Management イベント発行機能を開始しました。
処理を続行します。

KEOS26001-I（F）

Management イベント発行機能を停止しました。

説明

Management イベント発行機能を停止しました。
処理を続行します。

KEOS26002-E（F）

Management イベント発行機能の開始に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Management イベント発行機能の開始に失敗しました。
処理を続行します。

対処

詳細情報を参照し，動作環境や設定を見直してください。

KEOS26010-E（F）

設定ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

説明

Management イベント発行用プロパティファイルまたは Management イベント発行用メッセージ ID リストファイルの読み込みに失敗しました。

処理を続行しますが，Management イベントは発行されません。

対処

設定ファイルの有無，指定内容，およびアクセス権限を確認して，J2EE サーバを再起動してください。

KEOS26011-E（F）

必要なプロパティ(aa....aa)が指定されていません。

aa....aa：プロパティキー

説明

Management イベント発行用プロパティファイルで必要なプロパティが指定されていません。

Management イベント発行機能の動作を停止します。

対処

Management イベント発行用プロパティファイルの内容を見直してください。

KEOS26012-E（F）

プロパティ(aa....aa)の指定が不正です。

aa....aa：プロパティキー

説明

Management イベント発行用プロパティファイルの指定内容が不正です。

対処

Management イベント発行用プロパティファイルの内容を見直してください。

KEOS26013-E（F）

メッセージ ID が指定されていません。

説明

Management イベント発行用メッセージ ID リストファイルの指定内容が不正です。

Management イベント発行機能の動作を停止します。

対処

Management イベント発行用メッセージ ID リストファイルの内容を見直してください。

KEOS26014-W（F）

プロパティ(aa....aa)の指定が不正です。デフォルト値(bb....bb)を使用します。

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：デフォルト値

説明

Management イベント発行用プロパティファイルの指定内容が不正です。

デフォルト値を使用して Management イベント発行機能の動作を継続します。

対処

Management イベント発行用プロパティファイルの内容を見直してください。

KEOS26050-I（F）

Management イベントの発行に成功しました。メッセージ ID=aa....aa，イベント発生時刻=bb....bb, 付加情報=cc....cc

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：Management イベントの発行が依頼された時刻

cc....cc：付加情報（複数の場合はコロン区切り）

説明

Management イベントの発行に成功しました。

KEOS26051-E（F）

Management イベントの発行に失敗しました。メッセージ ID=aa....aa，イベント発生時刻=bb....bb，付加情報=cc....cc，詳細情報=dd....dd

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：Management イベントの発行が依頼された時刻

cc....cc：付加情報（複数の場合はコロン区切り）

dd....dd：詳細情報

説明

Management イベントの発行に失敗しました。

処理を続行します。再送設定がされていれば，再送を試みます。

要因として次のことが考えられます。

- 設定ファイルに記述した Management Server が起動されていない。
- ネットワークに，障害または一時的な負荷が発生している。

対処

詳細情報を参照し，動作環境および Management イベント発行用プロパティファイルの内容を見直してください。

KEOS26052-E（F）

Management イベントを発行できません。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Management イベントを発行できません。

Management イベント発行機能の動作を停止します。

対処

詳細情報を参照し，動作環境および Management イベント発行用プロパティファイルの内容を見直してください。

KEOS26053-W（F）

Management イベントの再送期限を超過しました。メッセージ ID=aa....aa，イベント発生時刻=bb....bb，付加情報=cc....cc

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：Management イベントの発行が依頼された時刻

cc....cc：付加情報（複数の場合はコロン区切り）

説明

Management イベントの再送期限を超過しました。

該当する Management イベントを破棄します。

対処

動作環境および Management イベント発行用プロパティファイルの内容を見直してください。

KEOS26054-W（F）

同時発行最大数を超過したため，Management イベントを発行できません。メッセージ ID=aa....aa，付加情報=bb....bb

aa....aa：メッセージ ID

bb....bb：付加情報（複数の場合はコロン区切り）

説明

Management イベントの同時発行最大数を超過しました。

該当する Management イベントを破棄します。

対処

動作環境および Management イベント発行用プロパティファイルの内容を見直してください。

KEOS26100-E（F）

内部エラーが発生しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Management イベント発行機能で内部エラーが発生しました。

Management イベント発行機能の動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

J2EE サーバを再起動しても障害が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS26500-E（F）

Management アクションの初期化に失敗しました。詳細=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Management アクションの初期化に失敗しました。

処理を続行しますが，Management アクションは実行されません。

対処

詳細情報を参照し，動作環境および設定ファイルの内容を見直してください。

KEOS26510-I（F）

Management イベントを受信しました。論理サーバ名=aa....aa，メッセージ ID=bb....bb，付加情報=cc....cc，イベント発生時刻=dd....dd

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：メッセージ ID

cc....cc：付加情報（複数の場合はコロン区切り）

dd....dd：イベント発生時刻

説明

Management イベントを受信しました。

KEOS26520-W（F）

Management アクションが定義されていません。論理サーバ名=aa....aa，メッセージ ID=bb....bb

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：メッセージ ID

説明

Management アクションが定義されていません。

処理を続行します。

対処

Management アクションの設定を見直してください。

KEOS26521-E（F）

Management アクションの定義が不正です。Management アクション ID=aa....aa

aa....aa：Management アクション ID

説明

Management アクションの定義が不正です。

処理を続行します。

対処

Management アクションの設定を見直してください。

KEOS26522-W（F）

受信済みの Management イベントを再受信しました。論理サーバ名=aa....aa，メッセージ ID=bb....bb，付加情報=cc....cc，イベント発生時刻=dd....dd

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：メッセージ ID

cc....cc：付加情報（複数の場合はコロン区切り）

dd....dd：Management イベントの発行が依頼されたイベント発行元の時刻

説明

受信した Management イベントは，すでに受信されています。

Management アクションを実行せずに処理を続行します。

要因として，ネットワークの一時的な負荷や障害によって，Management イベントが重複送信されたことが考えられます。

対処

動作環境または次の設定ファイルの内容を見直してください。

- Management イベント発行用プロパティファイル
  manager.mevent.send.timeout
  manager.mevent.retry.limit

KEOS26523-W（F）

Management イベントの受信情報保持数が最大数を超えたため，最も古い受信情報を削除します。受信情報最大保持数=aa....aa，削除する受信情報=[bb....bb]

aa....aa：受信情報最大保持数

bb....bb：削除する受信情報

説明

Management イベントの受信情報保持数が最大数を超えたため，最も古い受信情報を削除します。

処理を続行します。

Management イベントが多発していることが考えられます。

対処

動作環境または次の設定ファイルの内容を見直してください。

- Management アクション実行用プロパティファイル
  maction.mevent.receiving_info.keep_size.max

KEOS26530-I（F）

Management アクションの実行を開始します。Management アクション ID=aa....aa

aa....aa：Management アクション ID

説明

Management アクションの実行を開始します。

処理を続行します。

KEOS26531-I（F）

Management アクションの実行が終了しました。Management アクション ID=aa....aa，終了コード=bb....bb

aa....aa：Management アクション ID

bb....bb：終了コード

説明

Management アクションの実行が終了しました。

処理を続行します。

KEOS26532-W（F）

Management アクションの実行がタイムアウト時間を超過しました。Management アクション ID=aa....aa

aa....aa：Management アクション ID

説明

Management アクションの実行がタイムアウト時間を超過しました。

処理を続行します。

対処

Management アクションの設定を見直してください。

KEOS26533-E（F）

Management アクションの実行に失敗しました。Management アクション ID=aa....aa，詳細情報=bb....bb

aa....aa：Management アクション ID

bb....bb：詳細情報

説明

Management アクションの実行に失敗しました。

処理を続行します。

対処

詳細情報を参照し，動作環境および設定ファイルの内容を見直してください。

KEOS26534-W（F）

抑止時間内のため，Management アクションの実行を制御しました。Management アクション ID=aa....aa

aa....aa：Management アクション ID

説明

抑止時間内のため，Management アクションの実行を制御しました。Management アクションを実行しないで処理を続行します。

対処

頻発する場合は，動作環境および設定ファイルの内容を見直してください。

KEOS26535-W（F）

同時実行数の制限により，Management アクションの実行を制御しました。Management アクション ID=aa....aa

aa....aa：Management アクション ID

説明

同時実行数の制限によって，Management アクションの実行を制御しました。Management アクションを実行しないで処理を続行します。

対処

頻発する場合は，動作環境および設定ファイルの内容を見直してください。

KEOS26600-E（F）

内部エラーが発生しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Management アクション実行機能で内部エラーが発生しました。

Management Server の動作を継続できる場合は継続し，継続できない場合は動作を停止します。

対処

Management Server を再起動しても障害が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS27000-I（F）

認証に成功しました。(ユーザ ID=aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

認証に成功しました。

KEOS27001-E（F）

認証に失敗しました。管理ユーザ ID またはパスワードが違います。(ユーザ ID=aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

認証に失敗しました。管理ユーザ ID またはパスワードが違います。処理を中止します。

対処

正しい管理ユーザ ID またはパスワードを入力してください。

KEOS27002-E（F）

認証に失敗しました。認証要求の有効期限が切れました。(ユーザ ID=aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

認証に失敗しました。認証要求の有効期限が切れました。処理を中止します。

対処

頻発するようであれば，動作環境を見直してください。次の要因が考えられます。

- ネットワークに高負荷が掛かっていないかどうか。
- マシンに高負荷が掛かっていないかどうか。

KEOS27010-I（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)の登録に成功しました。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録に成功しました。

KEOS27011-I（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)の登録解除に成功しました。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録解除に成功しました。

KEOS27012-E（F）

Mbean プラグ定義ファイル(ファイル名=aa....aa)の読み込みに失敗しました。

aa....aa：ファイル名

説明

Mbean プラグ定義ファイルの読み込みに失敗しました。外部 Mbean の登録処理を中止します。

対処

Mbean プラグ定義ファイルの読み込み権限を確認してください。

KEOS27013-E（F）

外部 Mbean プラグイン定義ファイルの解析に失敗しました。(ファイル名=aa....aa, 行番号=bb....bb, 列番号=cc....cc, 詳細番号=dd....dd)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行番号

cc....cc：列番号

dd....dd：詳細番号

説明

外部 Mbean プラグイン定義ファイルの解析に失敗しました。外部 Mbean の登録処理を中止します。

対処

Mbean プラグイン定義ファイルの内容を確認してください。

KEOS27014-E（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)に有効でないオブジェクト名が指定されました。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録に失敗しました。有効でないオブジェクト名が指定されました。以降の外部 Mbean の登録処理を継続します。

対処

有効なオブジェクト名を指定してください。

KEOS27015-E（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)のクラス実装が見つかりません。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録に失敗しました。クラス実装が見つかりませんでした。以降の外部 Mbean の登録処理を継続します。

対処

Mbean プラグイン定義ファイルに対応した外部 JAR ファイルが存在しているかを確認してください。有効なオブジェクト名を指定してください。

KEOS27016-E（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)のインスタンス生成に失敗しました。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録に失敗しました。インスタンス生成に失敗しました。以降の外部 Mbean の登録処理を継続します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS27017-E（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)は既に登録されています。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録に失敗しました。すでに登録済みのオブジェクト名が指定されました。以降の外部 Mbean の登録処理を継続します。

対処

同一内容の MBean プラグイン定義ファイルが存在していないかを確認してください。

KEOS27018-E（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)の登録に失敗しました。詳細情報=MBeanRegistration#preRegister メソッドで例外がスローされました。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録に失敗しました。MBeanRegistration#preRegister メソッドで例外がスローされました。以降の外部 Mbean の登録処理を継続します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS27019-E（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)は JMX 準拠の MBean ではありません。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録に失敗しました。JMX に準拠していない Mbean が指定されました。以降の外部 Mbean の登録処理を継続します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS27020-E（F）

外部 MBean(クラス名=aa....aa, オブジェクト名=bb....bb, ファイル名=cc....cc, 定義順=dd....dd)の登録解除に失敗しました。MBeanRegistration#preRegister メソッドで例外がスローされました。

aa....aa：クラス名

bb....bb：オブジェクト名

cc....cc：ファイル名

dd....dd：定義順

説明

外部 MBean の登録解除に失敗しました。MBeanRegistration#preRegister メソッドで例外がスローされました。以降の外部 Mbean の登録処理を継続します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS27021-E（F）

MBean プラグイン定義ファイルの解析に失敗しました。(ファイル名=aa....aa 詳細情報=bb....bb)の登録解除に失敗しました。MBeanRegistration#preRegister メソッドで例外がスローされました。

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

Mbean プラグイン機能で解析エラーが発生しました。外部 Mbean の登録処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS27030-I（F）

Manager リモート管理機能を開始しました。

説明

Management Server リモート管理機能を開始しました。

KEOS27031-I（F）

Manager リモート管理機能を終了しました。

説明

Management Server リモート管理機能を終了しました。

KEOS27032-I（F）

Manager リモート管理機能の外部接続機能を開始しました。

説明

Management Server リモート管理機能の外部接続機能を開始しました。

KEOS27033-I（F）

Manager リモート管理機能の外部接続機能を終了しました。

説明

Management Server リモート管理機能の外部接続機能を終了しました。

KEOS27034-E（F）

Manager リモート管理機能の外部接続機能の開始に失敗しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Management Server リモート管理機能の外部接続機能の開始に失敗しました。処理を続行します。

対処

設定ファイルの内容を確認し，Management Server を再起動してください。

KEOS27040-E（C）

A communication error occurred.

説明

運用管理エージェントとの通信時にエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

設定ファイルの内容を確認し，Management Server を再起動してください。

KEOS27099-E（F）

内部エラーが発生しました。詳細情報=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

Mbean サーバ機能で内部エラーが発生しました。処理を続行します。

対処

Management Server を再起動しても障害が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS27101-E（V）

Authentication failed. An administrator's user ID or a password is incorrect.

説明

認証に失敗しました。管理ユーザ ID またはパスワードが違います。処理を中止します。

対処

正しい管理ユーザ ID またはパスワードを入力してください。

KEOS27102-E（V）

Authentication failed. Authentication request expired.

説明

認証に失敗しました。認証要求の有効期限が切れました。処理を中止します。

対処

頻発するようであれば，動作環境を見直してください。次の要因が考えられます。

- ネットワークに高負荷が掛かっていないかどうか。
- マシンに高負荷が掛かっていないかどうか。

KEOS27103-E（V）

An internal error occurred. Detail=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

内部エラーが発生しました。処理を中止します。

対処

Management Server を再起動しても障害が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS27105-E（V）

An error occurred while connecting to the RMI registry. Detail=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

RMI レジストリとの接続でエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照し，動作環境，および設定ファイルの内容を見直してください。

- Management Server が起動しているかどうか。
- 指定したホスト名とポート番号が誤っていないかどうか。

KEOS27106-E（V）

An error occurred during JMXConnector generation. Detail=aa....aa

aa....aa：詳細情報

説明

JMXConnector の生成でエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照し，動作環境，および設定ファイルの内容を見直してください。

- Management Server が起動しているかどうか。
- 指定したホスト名とポート番号が誤っていないかどうか。

KEOS28001-I（F）

セットアップウィザード(aa....aa)を開始しました。

The Setup Wizard (aa....aa) has started.

aa....aa：GUI/CUI

説明

セットアップウィザードを開始しました。

KEOS28002-I（F）

セットアップウィザード(aa....aa)を終了しました。

The Setup Wizard (aa....aa) has ended.

aa....aa：GUI/CUI

説明

セットアップウィザードを終了しました。

KEOS28003-E（C／F）

セットアップウィザード(aa....aa)でエラーが発生しました。(詳細:bb....bb)

An error occurred in the Setup Wizard (aa....aa). (details = bb....bb)

aa....aa：GUI/CUI

bb....bb：詳細情報

説明

セットアップウィザードでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

表 13-3　KEOS28003-E に示される詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
排他用のロックファイルで入出力エラーが発生しました。ファイル名=aa....aa, 詳細=bb.....bb An I/O error occurred in the lock file for exclusion. (file name = aa....aa, details = bb....bb) aa....aa：ファイル名 bb....bb：詳細情報	排他用のロックファイルで入出力エラーが発生しました。 処理を中止します。	保守員に連絡してください。

KEOS28004-I（F）

セットアップを開始しました。

The setup has started.

説明

セットアップを開始しました。

KEOS28005-I（F）

セットアップを終了しました。

The setup has ended.

説明

セットアップを終了しました。

KEOS28006-E（F）

セットアップでエラーが発生しました。

An error occurred in the setup.

説明

セットアップでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

このメッセージより前に出力されている，エラーレベルのメッセージの対処法を参照してください。

KEOS28007-I（F）

アンセットアップを開始しました。

The unsetup has started.

説明

アンセットアップを開始しました。

KEOS28008-I（F）

アンセットアップを終了しました。

The unsetup has ended.

説明

アンセットアップを終了しました。

KEOS28009-E（F）

アンセットアップでエラーが発生しました。

An error occurred in the unsetup.

説明

アンセットアップでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

このメッセージより前に出力されている，エラーレベルのメッセージの対処法を参照してください。

KEOS28010-I（F）

コマンドを開始しました。(コマンド:aa....aa)

Command execution has started. (command = aa....aa)

aa....aa：コマンド名

説明

セットアップウィザードがコマンドを開始しました。

KEOS28011-I（F）

コマンドが終了しました。(コマンド:aa....aa, 終了コード:bb....bb)

Command execution has ended. (command = aa....aa, exit code = bb....bb)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：終了コード

説明

セットアップウィザードで実行したコマンドが終了しました。

KEOS28012-E（C／F）

コマンドでエラーが発生しました。(コマンド:aa....aa, 詳細:bb....bb)

An error occurred during command execution. (command = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：詳細情報

説明

セットアップウィザードが実行したコマンドでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。詳細情報に次のどちらかのメッセージが出力された場合は，セットアップウィザードを再度実行してください。

- hwsserveredit: cannot delete
- KDJE40028-E The deletion of the J2EE server has failed. Server name = aa....aa, Reason = Deletion of file failed

  aa....aa：サーバ名

KEOS28014-E（C／F）

ファイルアクセスでエラーが発生しました。(ファイル名:aa....aa, 詳細:bb....bb)

An error occurred during an attempt to access the file. (file name = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

セットアップウィザードのファイルアクセスでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

KEOS28015-I（F）

セットアップ情報ファイルを出力しました。(ファイル名:aa....aa)

The setup information file has been output. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

セットアップ情報ファイルを出力しました。

KEOS28016-I（F）

セットアップ情報リストを出力しました。(ファイル名:aa....aa)

The setup information list has been output. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

セットアップ情報リストを出力しました。

KEOS28017-I（F）

snapshot ログの収集を開始しました。

Collection of the snapshot log files has started.

説明

セットアップウィザードが snapshot ログの収集を開始しました。

KEOS28018-I（F）

snapshot ログの収集が終了しました。(ファイル名:aa....aa)

Collection of the snapshot log files has ended. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

セットアップウィザードが実行した snapshot ログの収集が終了しました。

KEOS28019-E（C／F）

snapshot ログの収集でエラーが発生しました。(詳細:aa....aa)

An error occurred during collection of the snapshot log files. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

セットアップウィザードが実行した snapshot ログの収集でエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS28020-I（F）

バックアップを開始しました。

Backup has started.

説明

セットアップウィザードがバックアップを開始しました。

KEOS28021-I（F）

バックアップを終了しました。

Backup has ended.

説明

セットアップウィザードのバックアップが終了しました。

KEOS28022-E（C／F）

バックアップでエラーが発生しました。(詳細:aa....aa)

An error occurred during backup. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

セットアップウィザードのバックアップでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS28023-I（F）

ポート番号チェックを開始しました。

The port number check has started.

説明

セットアップでポート番号チェックを開始しました。

KEOS28024-I（F）

ポート番号チェックが終了しました。

The port number check has ended.

説明

セットアップでポート番号チェックが終了しました。

KEOS28025-I（F）

Component Container 管理者を変更しました。

The Component Container administrator has been changed.

説明

セットアップで Component Container 管理者を変更しました。

KEOS28026-E（C／F）

Component Container 管理者の変更でエラーが発生しました。(詳細:aa....aa)

An error occurred during an attempt to change the Component Container administrator. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

セットアップで Component Container 管理者の変更でエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

KEOS28027-E（C）

An instance of the Setup Wizard is already running.

説明

同一マシン上のほかのプロセスでセットアップウィザードが起動中のため，セットアップウィザードを起動できません。

処理を中止します。

対処

起動中のセットアップウィザードを停止してください。

KEOS28028-E（C／F）

既にセットアップウィザード以外でセットアップが行われているので，セットアップウィザードでセットアップを行うことはできません。

The setup cannot be executed by the Setup Wizard, because it has already done by a utility other than the Setup Wizard.

説明

セットアップウィザード以外の方法で Management Server のセットアップが行われているため，セットアップウィザードを起動できません。

処理を中止します。

対処

アプリケーションサーバの環境をすべて削除して，再インストールを行ってください。

KEOS28029-E（C／F）

セットアップ情報ファイルが存在しません。(ファイル名:aa....aa)

The setup information file does not exist. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

指定したセットアップ情報ファイルが存在しません。

処理を中止します。

対処

セットアップ情報ファイルのファイル名またはパスを見直してください。

KEOS28030-E（C／F）

セットアップ情報ファイルが壊れています。(ファイル名:aa....aa)

The setup information file is corrupted. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

指定したセットアップ情報ファイルが壊れています。

処理を中止します。

対処

指定したファイルを見直してください。

KEOS28031-E（C／F）

コマンドのオプションに誤りがあります。(詳細:aa....aa)

A specified command option is invalid. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

指定したコマンドのオプションに誤りがあります。

処理を中止します。

対処

コマンドのオプションを見直してください。

表 13–4　KEOS28031-E に示される詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
同じオプションが複数指定されています。オプション=aa....aa The same option has been specified more than once. (option = aa....aa) aa....aa：オプション	コマンドオプションに同じオプションが複数指定されています。 処理を中止します。	コマンドのオプションを見直してください。
オプションに対する値が指定されていません。オプション=aa....aa An option value is not specified. (option = aa....aa) aa....aa：オプション	オプションに対する値が指定されていません。 処理を中止します。	コマンドのオプションを見直してください。
誤ったオプションが指定されています。オプション=aa....aa An invalid option is specified. (option = aa....aa) aa....aa：オプション	誤ったオプションが指定されています。 処理を中止します。	コマンドのオプションを見直してください。
aa....aa オプションは bb....bb オプションと同時に指定できません。 The option aa....aa and the option bb....bb cannot be specified simultaneously. aa....aa：オプション 1 bb....bb：オプション 2	同時に指定できないオプションが指定されています。 処理を中止します。	コマンドのオプションを見直してください。
必要なオプションが指定されていません。オプション=aa....aa A required option is not specified. (option = aa....aa) aa....aa：オプション	必要なオプションが指定されていません。 処理を中止します。	コマンドのオプションを見直してください。

KEOS28032-E（C／F）

セットアップウィザードが強制終了されました。

The Setup Wizard was forced to terminate.

説明

セットアップウィザードが強制終了されました。

処理を中止します。

対処

セットアップウィザードを再度実行してください。セットアップウィザードを再度実行してもエラーが発生する場合は，OS を再起動してください。

KEOS28033-E（C）

Usage :

setupwizard

setupwizard -f <setup information file> [-force]

setupwizard -f <setup information file> -md <definition file> [-force]

setupwizard -export -omd <definition file>

setupwizard -view -f <setup information file>

setupwizard -clean [-force]

setupwizard -h | -help

説明

コマンドの起動方法に誤りがあります。コマンドの実行を中止します。

対処

正しいコマンドを入力して，実行し直してください。

KEOS28034-E（C／F）

Component Container 管理者に aa....aa が指定されているため，1024 から 65535 の範囲で指定してください。(bb....bb=cc....cc)

A value from 1024 to 65535 must be specified because aa....aa has been specified for the Component Container administrator. (bb....bb=cc....cc)

aa....aa：Component Container 管理者

bb....bb：該当項目

cc....cc：ポート番号

説明

Component Container 管理者に root 以外のユーザが指定されているため，ポート番号には 1024 から 65535 の範囲以外では指定できません。

処理を中止します。

対処

Component Container 管理者に root 以外のユーザが指定されている場合は，ポート番号には 1024 から 65535 の範囲で指定してください。

KEOS28035-E（C／F）

ポート番号の値が重複しています。(ポート番号:aa....aa, 重複項目:bb....bb)

A duplicate port number is specified. (port number = aa....aa, duplicate item = bb....bb)

aa....aa：ポート番号

bb....bb：重複項目

説明

セットアップウィザードでポート番号が重複して設定されているため，セットアップが開始できません。

処理を中止します。

対処

セットアップウィザードで指定したポート番号を見直してください。

KEOS28036-E（C／F）

指定されたセットアップ情報ファイルは，このバージョン(aa....aa)で使用できません。(ファイル名:bb....bb，ファイルバージョン:cc....cc)

This version(aa....aa) does not support the specified setup information file. (file name = bb....bb, file version = cc....cc)

aa....aa：アプリケーションサーバのバージョン

bb....bb：ファイル名

cc....cc：ファイルを作成したアプリケーションサーバのバージョン

説明

セットアップウィザードのバージョンより新しいセットアップ情報ファイルでは，セットアップを実行できません。

処理を中止します。

対処

指定したファイルを見直してください。

KEOS28037-E（C／F）

Cosminexus の環境が壊れています。(詳細:aa....aa)

The Cosminexus environment is corrupted. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

アプリケーションサーバの環境が壊れているため，処理を続行できません。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS28038-E（C／F）

An attempt to start the Setup Wizard has failed. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

セットアップウィザードの起動に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報に次のメッセージが出力された場合は，セットアップウィザード定義ファイルのログの設定を見直してください。

- Failed to initialize trace file.
- Failed to make directory

それ以外については保守員に連絡してください。

KEOS28040-I（F）

Management Server 管理グループを変更しました。

The Management Server administrator's group has been changed.

説明

セットアップウィザードが Management Server 管理グループを変更しました。

KEOS28041-E（C／F）

Management Server 管理グループの変更でエラーが発生しました。(詳細:aa....aa)

An error occurred during an attempt to change the Management Server administrator's group. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

セットアップウィザードが実行した Management Server 管理グループの変更でエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

KEOS28042-E（C／F）

簡易構築定義ファイルの解析でエラーが発生しました。(ファイル名:aa....aa)

An error occurred during analysis of the simple configuration definition file. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

簡易構築定義ファイルの解析でエラーが発生しました。簡易構築定義ファイルの記述に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

このあとに表示されるメッセージを参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

KEOS28043-E（C／F）

簡易構築定義ファイルの構文にエラーがあります。(行番号:aa....aa, 列番号:bb....bb, 詳細:cc....cc)

A syntax error exists in the simple configuration definition file. (line number = aa....aa, column number = bb....bb, details = cc....cc)

aa....aa：行番号

bb....bb：列番号

cc....cc：詳細情報

説明

簡易構築定義ファイルの記述に構文にエラーがあります。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

KEOS28044-E（C／F）

セットアップウィザードには指定できない記述があります。(詳細:aa....aa)

Contents that cannot be specified for the Setup Wizard exist. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

簡易構築定義ファイルにセットアップウィザードには指定できない記述があります。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

表 13-5　KEOS28044-E に示される詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
<model-definition>の xmlns 属性に，使用できない XML 名前空間が指定されています。値=aa....aa An unusable XML namespace is specified for the xmlns attribute of <model-definition>. (value = aa....aa) aa....aa：<model-definition>の xmlns 属性に指定された値	簡易構築定義ファイルの<model-definition>に，使用できない XML 名前空間が指定されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。 このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です。
<model-definition>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。 An XML namespace is not specified for the xmlns attribute of <model-definition>	簡易構築定義ファイルの<model-definition>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。 このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です。
<model-definition>-<web-system>の定義がありません。 No definition of <model-definition>-<web-system> exists.	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<web-system>の定義がありません。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイル中にWeb システムの定義(<model-definition>-<web-system>)を追加してください。
複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。 Multiple definitions of <model-definition>-<web-system> exist.	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<web-system>の定義を一つにしてください。

詳細情報	説明	対処
<web-system>-<load-balancer>が定義されています。 A definition of <web-system>-<load-balancer> exists.	簡易構築定義ファイルに<web-system>-<load-balancer>が定義されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<load-balancer>の定義を削除してください。
複数の<web-system>-<tier>が定義されています。 Multiple definitions of <web-system>-<tier> exist.	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<tier>が定義されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<tier>の定義を一つにしてください。
<tier>-<tier-type>の値として"combined-tier"または"j2ee-tier"以外の値が指定されています。値=aa....aa The value of <tier>-<tier-type> is not "combined-tier" or "j2ee-tier". (value = aa....aa) aa....aa：<tier-type>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<tier-type>の値として"combined-tier"または"j2ee-tier"以外の値が指定されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<tier-type>の値として "combined-tier"または"j2ee-tier"を指定してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の値として"1"以外の値が指定されています。値=aa....aa The value of <tier>-<j2ee-server-count> is not "1". (value = aa....aa) aa....aa：<j2ee-server-count>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値に"1"以外が指定されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>タグ指定を削除してください。または，<tier>-<j2ee-server-count>の値に"1"を指定してください。
複数の<web-system>-<unit>が定義されています。 Multiple definitions of <web-system>-<unit> exist.	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<unit>が定義されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<unit>の定義を一つにしてください。
<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として"@myhost"以外の値が指定されています。値=aa....aa The value of <unit>-<allocated-host>-<host-ref> is not "@myhost". (value = aa....aa) aa....aa：<host-ref>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値に"@myhost"以外が指定されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値に"@myhost"を指定してください。
<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値がaa....aa である項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。 No definition of <logical-server-name> exists that corresponds to the item whose <unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type> value is aa....aa. aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値がaa....aa である項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別がaa....aa である論理サーバの定義に，次の<logical-server-name>タグを追加して，論理サーバ名を定義してください。 <unit> - <allocated-host> - <define-server> <logical-server-type>aa....aa</logical-server-type>

詳細情報	説明	対処
<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値がaa....aaである項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。 No definition of <logical-server-name> exists that corresponds to the item whose <unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type> value is aa....aa. aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値がaa....aaである項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。処理を中止します。	<logical-server-name>論理サーバ名</logical-server-name>
<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として"web-server","j2ee-server"または"performance-tracer"以外の値が指定されています。値=aa....aa The value of <unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type> is not "web-server", "j2ee-server", or "performance-tracer". (value = aa....aa) aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として"web-server","j2ee-server"または"performance-tracer"以外の値が指定されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として"web-server","j2ee-server"または"performance-tracer"のどれかを指定してください。
複数の<model-definition>-<host>が定義されています。 Multiple definitions of <model-definition>-<host> exist.	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<host>が定義されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>の定義を一つにしてください。
<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"@myhost"以外の値が指定されています。値=aa....aa The value of <model-definition>-<host>-<host-name> is not "@myhost". (value = aa....aa) aa....aa：<host-name>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"@myhost"以外の値が指定されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"@myhost"を指定してください。
<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"@myhost"以外の値が指定されています。値=aa....aa The value of <model-definition>-<host>-<agent-host> is not "@myhost". (value = aa....aa) aa....aa：<agent-host>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"@myhost"以外の値が指定されています。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"@myhost"を指定してください。
<model-definition>-<host>-<agent-port>の値がセットアップ情報ファイル内で指定されている運用管理エージェントのポート番号(aa....aa)と等しくありません。 The value of <model-definition>-<host>-<agent-port> is not equal to aa....aa, the port number specified for the Administration Agent in the setup information file.	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-port>の値がセットアップ情報ファイル内で指定されている運用管理エージェントのポート番号と等しくありません。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-port>の値として，セットアップ情報ファイルを作成したときに指定した運用管理エージェントのポート番号の値を指定してください。

詳細情報	説明	対処
aa....aa：セットアップ情報ファイル内で指定されている運用管理エージェントのポート番号	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-port>の値がセットアップ情報ファイル内で指定されている運用管理エージェントのポート番号と等しくありません。 処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-port>の値として，セットアップ情報ファイルを作成したときに指定した運用管理エージェントのポート番号の値を指定してください。

KEOS28045-E（C／F）

簡易構築定義ファイルが存在しません。(ファイル名:aa....aa)

No simple configuration definition file exists. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

指定した簡易構築定義ファイルが存在しません。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルのファイル名またはパスを見直してください。

KEOS28046-W（C／F）

コマンドで警告レベルの問題が発生しました。(コマンド:aa....aa, 詳細:bb....bb)

A warning-level problem occurred during command execution. (command = aa....aa, details = :bb....bb)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：詳細情報

説明

セットアップウィザードが実行したコマンドで警告レベルの問題が発生しました。

処理を続行します。

KEOS28047-I（C／F）

簡易構築定義ファイルが正しくエクスポートされました。

The simple configuration definition file was correctly exported.

説明

簡易構築定義ファイルが正しくエクスポートされました。

KEOS28048-I（F）

簡易構築定義ファイルのエクスポートを開始しました。

The export of the simple configuration definition file has started.

説明

簡易構築定義ファイルのエクスポートを開始しました。

KEOS28049-I（F）

簡易構築定義ファイルのエクスポートが終了しました。(ファイル名:aa....aa)

The export of the simple configuration definition file has ended. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

簡易構築定義ファイルのエクスポートが終了しました。

KEOS28050-E（C／F）

簡易構築定義ファイルをエクスポートできません。

The simple configuration definition file cannot be exported.

説明

簡易構築定義ファイルをエクスポートできません。

処理を中止します。

対処

このあとに表示されるメッセージを参照してエラーの要因を取り除いたあと，エクスポートを再度実行してください。

KEOS28051-E（C／F）

エクスポートできない変更があります。(詳細:aa....aa)

A change that cannot be exported exists. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

セットアップウィザードではエクスポートできないシステムの変更が存在します。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

表 13-6　KEOS28051-E に示される詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
有効な Web システムが存在しません。 No valid Web system exists.	有効な Web システムが存在しません。 処理を中止します。	保守員に連絡してください。
複数の Web システムが定義されています。 Multiple Web systems are defined.	複数の Web システムが定義されています。 処理を中止します。	追加した Web システムを削除してください。または，運用管理ポータルで追加した論理サーバを削除してください。
ロードバランサが定義されています。 A load balancer is defined.	ロードバランサが定義されています。 処理を中止します。	追加したロードバランサの定義を削除してください。

詳細情報	説明	対処
複数のティアが定義されています。 Multiple tiers are defined.	複数のティアが定義されています。 処理を中止します。	追加したティアの定義を削除してください。
"combined-tier"または"j2ee-tier"以外のティアが定義されています。ティア種別=aa....aa A tier other than "combined-tier" or "j2ee-tier" is defined. (tier type = aa....aa) aa....aa：ティア種別	"combined-tier"または"j2ee-tier"以外のティアが定義されています。 処理を中止します。	ティア種別を"combined-tier"または"j2ee-tier"に変更してください。
複数の J2EE サーバが定義されています。 Multiple J2EE servers are defined.	複数の J2EE サーバが定義されています。 処理を中止します。	追加した J2EE サーバを削除してください。
複数のユニットが定義されています。 Multiple units are defined.	複数のユニットが定義されています。 処理を中止します。	追加したユニットを削除してください。
セットアップウィザード以外の方法で論理サーバが追加されています。 A logical server has been added using a method other than the Setup Wizard.	セットアップウィザード以外の方法で論理サーバが追加されています。 処理を中止します。	追加した論理サーバを削除してください。
複数のホストが定義されています。 Multiple hosts are defined.	複数のホストが定義されています。 処理を中止します。	追加したホストの定義を削除してください。
ローカルホスト以外のホストが定義されています。ホスト名=aa....aa A host other than a local host is defined. (host name = aa....aa) aa....aa：ホスト名	ローカルホスト以外のホストが定義されています。 処理を中止します。	ホストの定義をローカルホストに変更してください。
運用管理エージェントのホストにローカルホスト以外が定義されています。ホスト名=aa....aa An Administration Agent host other than a local host is defined. (host name = aa....aa) aa....aa：ホスト名	運用管理エージェントのホストにローカルホスト以外が定義されています。 処理を中止します。	ホストの定義をローカルホストに変更してください。
運用管理エージェントのポート番号が変更されています。値=aa....aa The port number of the Administration Agent has been changed. (value = aa....aa) aa....aa：運用管理エージェントのポート番号	運用管理エージェントのポート番号が変更されています。 処理を中止します。	運用管理エージェントのポート番号を，セットアップ情報ファイルを作成したときに指定した値に変更してください。

KEOS28052-E（C／F）

管理ユーザ ID またはパスワードが変更されているので簡易構築定義ファイルをエクスポートできません。

The simple configuration definition file cannot be exported because the management user ID or password has been changed.

説明

管理ユーザ ID またはパスワードが変更されているので簡易構築定義ファイルをエクスポートできません。

処理を中止します。

対処

セットアップウィザードでセットアップした際に指定した管理ユーザ ID またはパスワードに変更して，エクスポートを再度実行してください。

KEOS28053-E（C／F）

Management Server への接続でエラーが発生しました。(詳細:aa....aa)

An error occurred during connection to the Management Server. (details = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Management Server への接続でエラーが発生したため，簡易構築定義ファイルをエクスポートできません。

処理を中止します。

対処

Management Server が起動されているかを確認してください。または，セットアップウィザードでセットアップを行ったあと，Managenet Server への接続 HTTP ポート番号が変更されていないかを確認してください。

KEOS28054-E（C／F）

セットアップウィザードでセットアップされていない環境では，エクスポートは実行できません。

The export cannot be executed because the environment was not set up using the Setup Wizard

説明

セットアップウィザードでセットアップされていない環境では，エクスポートは実行できません。

処理を中止します。

対処

セットアップ済みの環境では，セットアップウィザードを使用したエクスポートおよびシステムの複製はできません。セットアップ済みの環境に対応した方法でエクスポートおよびシステムの移行をしてください。

KEOS28055-W（C）

The specified value of property (aa....aa) is invalid. The default value (bb....bb) will be used. (file name = cc....cc)

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：デフォルト値

cc....cc：ファイル名

説明

プロパティの指定に誤りがあります。デフォルト値を使用して処理を続行します。

対処

設定を見直してください。

KEOS28056-E（C）

An attempt to read the SetupWizard definition file has failed.(file name = aa....aa, details = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

セットアップウィザード定義ファイルの読み込みに失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報には次のメッセージが出力されます。詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，セットアップウィザードを再度実行してください。

- Failed to open the configuration file.
  <Application Server のインストールディレクトリ>/manager/setup/config/setup.cfg ファイルが存在して，読み込み権限があることを確認してください。
- The line of 64 kilobytes or more exists.
  セットアップウィザード定義ファイルの内容に，64 キロバイト以上の行が存在していないかを確認してください。

KEOS28057-E（C／F）

ポート番号の値が別のプロセスで使用されています。(ポート番号:aa....aa, 重複項目:bb....bb)

The port number is already in use by another process. (port number = aa....aa, duplicate item = bb....bb)

aa....aa：ポート番号

bb....bb：重複項目

説明

セットアップウィザードで設定したポート番号が別のプロセスで使用されているため，セットアップが開始できません。

処理を中止します。

対処

セットアップウィザードで指定したポート番号を別のプロセスで使用していない値に変更してください。または，重複しているポート番号を使用しているプロセスを停止してください。

KEOS28058-I（C／F）

Management Server で構築された環境が存在しないため，アンセットアップを実行できません。

An environment cannot be removed because no environment has been set up by the Management Server.

説明

Management Server で構築された環境が存在しないため，アンセットアップを実行する必要がありません。

KEOS28500-I（F）

Management Server で構築した環境のアンセットアップを開始します。

Removal of the environment built by the Management Server is started.

説明

Management Server で構築した環境のアンセットアップを開始します。

KEOS28501-I（C／F）

Management Server で構築した環境のアンセットアップに成功しました。

Removal of the environment built by the Management Server was succeeded.

説明

Management Server で構築した環境のアンセットアップに成功しました。

KEOS28502-E（C／F）

Management Server で構築した環境のアンセットアップに失敗しました。

Removal of the environment built by the Management Server was failed.

説明

Management Server で構築した環境のアンセットアップに失敗しました。
処理を中止します。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS28503-E（C）

Removal of the environment built by the Management Server is already executing.

説明

Management Server で構築した環境のアンセットアップは実行中です。
処理を中止します。

対処

実行中のアンセットアップが終了後に，再度コマンドを実行してください。

KEOS28504-I（F）

Management Server を停止しました。

The Management Server has stoped.

説明

Management Server を停止しました。

KEOS28505-E（C／F）

Management Server の停止に失敗しました。

An attempt to stop the Management Server has failed.

説明

Management Server の停止に失敗しました。

処理を中止します。

対処

Management Server のログを確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28506-I（F）

Management Server を削除しました。

The Management Server has deleted.

説明

Management Server を削除しました。

KEOS28507-E（C／F）

Management Server の削除に失敗しました。

An attempt to delete the Management Server has failed.

説明

Management Server の削除に失敗しました。

処理を中止します。

対処

mngautorun respawn で Management Server の自動再起動を設定している場合は，OS の init プログラムによって Management Server が再起動されているおそれがあります。

Management Server の自動再起動を設定している場合は，mngautorun コマンドの-d オプションで自動再起動設定を解除してマシンを再起動し，コマンドを再度実行してください。

Management Server の自動再起動を設定していない場合は，Management Server のログを参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28508-I（F）

運用管理エージェントを停止しました。

The Administration Agent has stoped.

説明

運用管理エージェントを停止しました。

KEOS28509-E（C／F）

運用管理エージェントの停止に失敗しました。

An attempt to stop the Administration Agent has failed.

説明

運用管理エージェントの停止に失敗しました。

処理を中止します。

対処

運用管理エージェントのログを確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28510-E（C／F）

内部エラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

An internal error occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

アンセットアップ機能で内部エラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28511-I（F）

aa....aa(bb....bb)を停止しました。

aa....aa(bb....bb) was stopped.

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを停止しました。

KEOS28512-E（C／F）

aa....aa(bb....bb)の停止に失敗しました。(詳細情報 = cc....cc)

The stop of aa....aa(bb....bb) failed. (detail = cc....cc)

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

論理サーバの停止に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28513-I（F）

aa....aa(bb....bb)を削除しました。

aa....aa(bb....bb) was deleted.

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを削除しました。

KEOS28514-E（C／F）

aa....aa(bb....bb)の削除に失敗しました。(詳細情報 = cc....cc)

The delete of aa....aa(bb....bb) failed. (detail = cc....cc)

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

論理サーバの削除に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28515-I（F）

Component Container 管理者を解除しました。

The Component Container administrator was removed.

説明

Component Container 管理者を解除しました。

KEOS28516-E（C／F）

Component Container 管理者の解除に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa)

Removal of the Component Container administrator failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Component Container 管理者の解除に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28517-E（C／F）

ファイルの書き込みに失敗しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

An attempt to write to the file failed. (file name = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの書き込みに失敗しました。

処理を続行します。

対処

要因として次のことが考えられます。

- 書き込み先ファイルおよびディレクトリにアクセス権限がない。
- 書き込み先のディスク容量が枯渇している。
- 書き込み先ディレクトリが存在しない。

出力先ファイルおよびディレクトリのアクセス権限，ディスク容量を確認してください。

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28518-E（C／F）

ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

An attempt to read the file failed. (file name = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込みに失敗しました。

処理を中止します。

対処

ファイルおよびディレクトリのアクセス権限を確認してください。

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28522-E（C／F）

ファイルの削除に失敗しました。(ファイル名 = aa....aa)

An attempt to delete file failed. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルの削除に失敗しました。

処理を中止します。

対処

ファイルが存在するかを確認してください。

存在しない場合は，コマンドを再度実行してください。

ファイルが存在する場合は，ファイルおよびディレクトリのアクセス権限を確認してください。エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28525-I（C）

Usage: mngunsetup [options]

options

-force: Executes without requesting confirmation for execution.

説明

コマンドの使用方法です。

KEOS28526-E（C／F）

コマンドの実行に失敗しました。(コマンド名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

An attempt to execute the command has failed. (command name = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：詳細情報

説明

アンセットアップ中のコマンドの実行に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，mngunsetup コマンドを再度実行してください。

KEOS28527-I（F）

Management Server および運用管理エージェントの自動起動および自動再起動設定を解除しました。

The automatic starting and automatic restarting settings for the Management Server and the Administration Agent were removed.

説明

Management Server および運用管理エージェントの自動起動および自動再起動設定を解除しました。

KEOS28528-E（C／F）

Management Server および運用管理エージェントの自動起動および自動再起動設定の解除に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa)

Removal of the automatic starting and automatic restarting settings for the Management Server and the Administration Agent failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Management Server および運用管理エージェントの自動起動および自動再起動設定の解除に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS28529-I（F）

CTM ドメイン情報を削除しました。

The CTM domain information has deleted.

説明

CTM ドメイン情報を削除しました。

KEOS28530-E（C／F）

CTM ドメイン情報の削除に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa)

An attempt to delete the CTM domain information has failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

CTM ドメイン情報の削除に失敗しました。

処理を中止します。

対処

次のファイルおよびディレクトリのアクセス権限を確認してください。

Windows の場合

<Windows ディレクトリ>¥TPBrokerOTM.dat

Linux の場合

/var/spool/TPBrokerOTM/TPBrokerTSC

上記以外

/usr/spool/TPBrokerOTM/TPBrokerTSC

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28532-E（C／F）

論理サーバの構築および稼働状況を取得することができません。

The built and status for the logical server can not be acquired.

説明

論理サーバの構築および稼働状況を取得することができません。

処理を中止します。

対処

次のファイルの有無を確認してください。

<Application Server のインストールディレクトリ>/manager/spool/logicalserver.xml.bak

logicalserver.xml.bak ファイルの有無に応じて，次の対処をしてください。

logicalserver.xml.bak ファイルがある場合

logicalserver.xml.bak ファイルを logicalserver.xml にリネームして，コマンドを再度実行してください。

なお，対処でアンセットアップに成功しても，停止または削除されない論理サーバが存在する場合があり，環境の再構築に失敗する場合があります。その場合は稼働中の論理サーバのプロセスを手動で停止し，実サーバの削除を実施してください。

logicalserver.xml.bak が存在しない場合

稼働中の論理サーバのプロセスを手動で停止し，実サーバの削除を実施して，コマンドを再度実行してください。

KEOS28533-E（F）

論理サーバの構築および稼働状況の保存に失敗しました。(ファイル名 = aa....aa)

An attempt to save the built and status for logical server failed. (file name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

論理サーバの構築および稼働情報の保存に失敗しました。

処理を中止します。

対処

次の順で対処してください。

1. 運用管理エージェントのインストール先のディスクドライブに空き容量が十分にあることを確認してください。

   ディスクフルが発生しているおそれがあります。空き容量がない場合は，十分な空き容量を確保してください。

2. ファイル名に応じて，次のどちらかで対処してください。

ファイル名に「<Application Server インストールディレクトリ>/manager/spool/logicalserver.xml」が出力されている場合

次の順に対処してください。

1.「<Application Server インストールディレクトリ>/manager/spool/logicalserver.xml」を削除してください。

2.「<Application Server インストールディレクトリ>/manager/spool/logicalserver.xml.bak」を「<Application Server インストールディレクトリ>/manager/spool/logicalserver.xml」にリネームしてください。

3. このメッセージが出る直前の作業を再度実行してください。

ファイル名に「<Application Server インストールディレクトリ>/manager/spool/logicalserver.xml.bak」が出力されている場合

このメッセージが出る直前の作業を再度実行してください。

KEOS28534-W（F）

aa....aa(bb....bb)の停止監視時間を超えました。

The period of watching aa....aa(bb....bb) stopped was expired.

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの停止監視時間を超えました。

処理を続行します。

対処

論理サーバの停止監視時間を環境に合わせて設定してください。

KEOS28535-W（F）

aa....aa(bb....bb)の強制停止監視時間を超えました。

The period of watching aa....aa(bb....bb) force stopped was expired.

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバの強制停止監視時間を超えました。

処理を続行します。

対処

論理サーバの強制停止監視時間を環境に合わせて設定してください。

KEOS28536-I（F）

aa....aa(bb....bb)を停止します。

aa....aa(bb....bb) is stopping.

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを停止します。

KEOS28537-I（F）

aa....aa(bb....bb)を強制停止します。

aa....aa(bb....bb) is stopping forcefully.

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

説明

論理サーバを強制停止します。

KEOS28538-E（C／F）

aa....aa(bb....bb)の強制停止に失敗しました。 (詳細情報 = cc....cc)

The force stop of aa....aa(bb....bb) failed. (detail = cc....cc)

aa....aa：論理サーバ名

bb....bb：論理サーバの種類

cc....cc：詳細情報

説明

論理サーバの強制停止に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28700-I（C）

Usage: mngenvupdate

説明

コマンドの使用方法です。

KEOS28701-I（C／F）

Management Server の移行を開始します。

The conversion of the Management Server is started.

説明

Management Server の移行を開始します。

KEOS28702-I（C／F）

Management Server の移行に成功しました。

The conversion of the Management Server was successfully.

説明

Management Server の移行に成功しました。

KEOS28703-E（C／F）

Management Server の移行に失敗しました。

An attempt to convert the Management Server has failed.

説明

Management Server の移行に失敗しました。

処理を中止します。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS28704-E（C／F）

ファイルの移行に失敗しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

An attempt to convert file failed. (file name = aa....aa, detail = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの移行に失敗しました。

処理を中止します。

対処

移行対象となるファイルが存在しているか，または，移行先のディスク容量が枯渇していないことを確認してください。

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28705-W（C／F）

ファイルまたはディレクトリの削除に失敗しました。 (ファイル名またはディレクトリ名 = aa....aa)

An attempt to delete file or directory has failed. (file name or directory name = aa....aa)

aa....aa：ファイル名またはディレクトリ名

説明

ファイルまたはディレクトリの削除に失敗しました。

処理を続行します。

対処

ファイルまたはディレクトリに対して，削除できるアクセス権が設定されているか，起動中のプロセスが使用していないか確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS28706-E（C／F）

内部エラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

An internal error occurred. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

内部エラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。それでも障害が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS28707-E（C／F）

Management Server のセットアップに失敗しました。 (詳細情報 = aa....aa)

An attempt to setup the Management Server has failed. (detail = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

Management Server のセットアップに失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。それでも障害が取り除かれない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS29001-E（C）

Usage:

aa....aa

aa....aa：コマンドの使用方法

説明

コマンドの使用方法に誤りがあります。処理を中止します。

対処

コマンドの使用方法を確認して，再度実行してください。

KEOS29002-E（C）

共通引数にホストまたはユーザ ID が指定されていません。

説明

共通引数にホストまたはユーザ ID が指定されていません。処理を中止します。

対処

クライアント設定プロパティファイル（vmxclient.properties）に，vmx.connect.host キーおよび vmx.connect.userid キーが設定されているか確認してください。

KEOS29003-E（C）

ホスト名またはポート番号の指定が不正です。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

ホスト名またはポート番号の指定が不正です。処理を中止します。

対処

ホスト名およびポート番号の指定方法を確認してください。

KEOS29004-E（C）

通信障害が発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

通信障害が発生しました。処理を中止します。

対処

Management Server の起動状態，または共通引数の-m オプションで指定したホスト名およびポート番号の指定値を確認してください。また，接続元と接続先の製品が接続可能な組み合わせであるか確認してください。

KEOS29005-E（C）

一時ファイル作成時に障害が発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS29006-I（F）

コマンドを開始します。(コマンド = aa....aa, プロセス ID = bb....bb, 開始時刻 = cc....cc)

aa....aa：コマンドライン

bb....bb：プロセス ID

cc....cc：コマンド開始時刻

説明

メッセージに示すコマンドを開始します。

KEOS29007-I（F）

コマンドを終了します。(プロセス ID = aa....aa, 開始時刻 = bb....bb, 終了コード = cc....cc)

aa....aa：プロセス ID

bb....bb：コマンド開始時刻

cc....cc：終了コード

説明

プロセス ID とコマンド開始時刻で示されるコマンドを終了します。

KEOS29008-E（C）

指定されたファイルは存在しません。(ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

指定したファイルは存在しません。処理を中止します。

対処

コマンドに指定した引数を確認してください。

KEOS29009-E（C）

特殊ファイルが指定されました。(ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

特殊ファイルが指定されました。処理を中止します。

対処

指定したファイルを確認してください。

KEOS29010-E（C）

一時ファイル作成時に障害が発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS29011-E（C）

ファイルの読み込み時に障害が発生しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込み時に障害が発生しました。処理を中止します。

対処

ファイルのアクセス権限を確認してください。ファイルのアクセス権限に誤りがない場合，コマンドを再実行しても障害が回復しないときは，保守員に連絡してください。

KEOS29012-E（C）

ファイルの書き込みに失敗しました。(ファイル名=aa....aa, 詳細情報=bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの書き込みに失敗しました。処理を継続します。

対処

ファイルの権限を確認して，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29051-E（W／F）

管理ユーザアカウントが設定されていません。

説明

Management Server の設定ファイルに管理ユーザアカウントが登録されていません。処理を中止します。

対処

mngsvrctl setup コマンドで，管理ユーザアカウントを設定してください。

KEOS29052-E（W／F）

管理ユーザ ID またはパスワードが違います。

説明

Virtual Server Manager ログイン時の管理ユーザ ID またはパスワードが違います。指定された要求を無視し，［ログイン画面へ］アンカーを表示します。

対処

ログイン画面で正しい管理ユーザ ID またはパスワードを設定してください。

［ログイン画面へ］アンカーをクリックすると，ログイン画面に戻ります。

KEOS29053-E（W／F）

ログインしていないか，または，タイムアウトのため既にログアウトされています。

説明

現在 Virtual Server Manager にログインされていません。指定された要求を無視し，［ログイン画面］アンカーを表示します。

対処

ログイン画面からログインしてください。

［ログイン画面］アンカーをクリックすると，ログイン画面に戻ります。

KEOS29054-I（W／F）

正常にログアウトされました。

説明

Virtual Server Manager のログアウトを正常に行ないました。

KEOS29055-Q（W）

管理ユニット「aa....aa」の仮想サーバを一括起動します。よろしいですか？

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの一括起動の実行の確認を行います。［OK］ボタン，［キャンセル］ボタンが表示されます。［OK］ボタンをクリックすると処理が続行されます。［キャンセル］ボタンをクリックすると処理が中断されます。

対処

管理ユニットの一括起動を実行する場合は，［OK］ボタンをクリックしてください。

KEOS29056-I（W／F）

管理ユニット「aa....aa」の一括起動が正常に開始されました。

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの一括起動が正常に開始されました。

対処

一括起動の実行結果は仮想サーバマネージャのログを確認してください。

KEOS29057-E（W／F）

管理ユニット「aa....aa」の一括起動の実行に失敗しました。

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの一括起動に失敗しました。一括起動処理を中止し，［戻る］アンカーが表示されます。

対処

仮想サーバマネージャのログを確認後，原因を取り除いて再度実行してください。

KEOS29058-Q（W）

管理ユニット「aa....aa」の仮想サーバを一括停止します。よろしいですか？

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの一括停止の実行の確認を行います。[OK] ボタン，[キャンセル] ボタンを表示します。[OK] ボタンをクリックすると処理が続行されます。[キャンセル] ボタンをクリックすると処理が中断されます。

対処

管理ユニットの一括停止を実行する場合は，[OK] ボタンをクリックしてください。

KEOS29059-I（W／F）

管理ユニット「aa....aa」の一括停止が正常に開始されました。

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの一括停止が正常に開始されました。

対処

一括停止の実行結果は仮想サーバマネージャのログを確認してください。

KEOS29060-E（W／F）

管理ユニット「aa....aa」の一括停止の実行に失敗しました。

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの一括停止に失敗しました。一括停止処理を中止し，[戻る] アンカーが表示されます。

対処

仮想サーバマネージャのログを確認後，原因を取り除いて再度実行してください。

KEOS29101-I（W／F）

仮想サーバマネージャを開始しました。

説明

仮想サーバマネージャを開始しました。

KEOS29102-E（W／F）

仮想サーバマネージャの開始に失敗しました。

説明

仮想サーバマネージャの開始に失敗しました。処理を中止します。

対処

直前に出力されたメッセージに従って対処してください。

KEOS29103-I（W／F）

仮想サーバマネージャを終了しました。

説明

仮想サーバマネージャを終了しました。

KEOS29104-E（W／F）

必要なプロパティが指定されていません(aa....aa)。(ファイル名=bb....bb)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：ファイル名

説明

必要なプロパティが指定されていません。処理を継続します。

対処

ファイルの内容を確認して，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29105-E（W／F）

プロパティに不正な値が指定されました(aa....aa=bb....bb)。(ファイル名=cc....cc)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：プロパティの指定値（不正値）

cc....cc：ファイル名

説明

プロパティに不正な値が指定されました。処理を継続します。

対処

ファイルの内容を確認して，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29106-W（W／F）

プロパティに不正な値が指定されました(aa....aa=bb....bb)。デフォルト値(cc....cc)を使用します。(ファイル名=dd....dd)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：プロパティの指定値（不正値）

cc....cc：プロパティのデフォルト値

dd....dd：ファイル名

説明

プロパティに不正な値が指定されたので，デフォルト値を使用して処理を継続します。

対処

ファイルの内容を確認して，必要に応じて仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29107-I（W／F）

ディレクトリ(aa....aa=bb....bb)を作成しました。

aa....aa：ディレクトリ種別

bb....bb：ディレクトリ名

説明

ディレクトリを作成しました。

KEOS29108-E（W／F）

ディレクトリ(aa....aa=bb....bb)の作成に失敗しました。

aa....aa：ディレクトリ種別

bb....bb：ディレクトリ名

説明

ディレクトリの作成に失敗しました。処理を継続します。

対処

ディレクトリの権限を確認して，必要に応じて仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29109-E（W／F）

VMware vCenter Server への接続に失敗しました。

説明

VMware vCenter Server への接続に失敗しました。処理を継続します。

対処

vmx.properties の VMware vCenter Server への接続設定を確認して，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29110-E（W／F）

ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名=aa....aa, 詳細情報=bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込みに失敗しました。処理を継続します。

対処

ファイルの権限を確認して，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29111-E（C／W／F）

ファイルの書き込みに失敗しました。(ファイル名=aa....aa, 詳細情報=bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの書き込みに失敗しました。処理を継続します。

対処

ファイルの権限，ディスクの空き容量を確認後に，発生契機ごとに次の処理をしてください。

- 仮想サーバマネージャ起動時に発生した場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。
- 仮想サーバマネージャのコマンド実行時に発生した場合は，直前に出力されたメッセージの対処に従ってください。

KEOS29112-I（W／F）

サブプロセス(Agent for VMware vCenter Server)を起動します。

説明

サブプロセス(Agent for VMware vCenter Server)を起動します。

KEOS29113-E（W／F）

サブプロセス(Agent for VMware vCenter Server)の起動に失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

サブプロセス（Agent for VMware vCenter Server）の起動に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を確認して，仮想サーバマネージャを再起動してください。タイムアウトが発生した場合には，仮想サーバマネージャプロパティファイルの vmx.vcenterserver.agent.start.timeout の値を見直してください。

KEOS29114-I（W／F）

サブプロセス(Agent for VMware vCenter Server)を起動しました。

説明

サブプロセス(Agent for VMware vCenter Server)を起動しました。

KEOS29116-I（W／F）

仮想マシンの操作を行います。(操作=aa....aa, bb....bb)

aa....aa：操作種別（複製，起動，停止，サスペンド，シャットダウン，削除，起動確認，停止確認）

bb....bb：操作対象（複製元仮想マシン，複製先仮想マシン，複製先ホスト，仮想マシン）

説明

仮想マシンの操作を行います。

KEOS29117-I（W／F）

仮想マシンの操作に成功しました。(操作=aa....aa, bb....bb)

aa....aa：操作種別（複製，起動，停止，サスペンド，シャットダウン，削除，起動確認，停止確認）

bb....bb：操作対象（複製元仮想マシン，複製先仮想マシン，複製先ホスト，仮想マシン）

説明

仮想マシンの操作に成功しました。

KEOS29118-E（W／F）

仮想マシンの操作に失敗しました。(操作=aa....aa, bb....bb)

aa....aa：操作種別（複製，起動，停止，サスペンド，シャットダウン，削除，起動確認，停止確認）

bb....bb：操作対象（複製元仮想マシン，複製先仮想マシン，複製先ホスト，仮想マシン）

説明

仮想マシンの操作に失敗しました。処理を継続します。

対処

前後のエラーメッセージに従って対処してください。

KEOS29119-E（W／F）

サブプロセス(Agent for VMware vCenter Server)が異常停止したため，仮想サーバマネージャを停止します。

説明

サブプロセス(Agent for VMware vCenter Server)が異常停止したため, 仮想サーバマネージャを停止します。処理を中止します。

対処

仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29131-E（C／W／F）

VMware vCenter Server 通信用プロセスとの通信でタイムアウトが発生しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server 通信用プロセスとの通信でタイムアウトが発生しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server での処理が設定時間内に完了しませんでした。設定を確認して再度実行してください。

KEOS29132-E（C／W／F）

VMware vCenter Server 通信用プロセスとの通信に失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server 通信用プロセスとの通信に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29133-E（C／W／F）

VMware vCenter Server との通信に失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server との通信に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29134-E（C／W／F）

VMware vCenter Server へのログインに失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server へのログインに失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29135-E（C／W／F）

VMware vCenter Server での操作が失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server での操作に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29136-E（C／W／F）

仮想サーバのファイル操作が失敗したため，VMware vCenter Server での操作が失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

仮想サーバのファイル操作に失敗したため，VMware vCenter Server での操作に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29137-E（C／W／F）

VMware vCenter Server での操作対象が存在しません。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server での操作対象が存在しません。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29138-E（C／W／F）

リソースが不足しているため，VMware vCenter Server での操作が失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

リソースが不足しているため，VMware vCenter Server での操作に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29139-E（C／W／F）

状態に問題があるため，VMware vCenter Server での操作が失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

状態に問題があるため，VMware vCenter Server での操作に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29140-E（C／W／F）

他の操作が実行中のため，VMware vCenter Server での操作が失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

ほかの操作が実行中のため，VMware vCenter Server での操作に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29141-E（C／W／F）

設定に問題があるため，VMware vCenter Server での操作が失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

設定に問題があるため，VMware vCenter Server での操作に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29142-E（C／W／F）

データストアに問題があるため，VMware vCenter Server での操作が失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

データストアに問題があるため，VMware vCenter Server での操作に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Server の状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29143-E（C／W／F）

仮想サーバの移動に失敗しました。(詳細情報=aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

仮想サーバの移動に失敗しました。処理を中止します。

対処

VMware vCenter Serverの状態を確認し，再度実行してください。問題が解決しない場合は，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29144-E（C／W／F）

ネットワークアダプタの数は1個である必要があります。

説明

ネットワークアダプタの数は1個である必要があります。処理を中止します。

対処

仮想マシンの設定を確認し，再度実行してください。

KEOS29145-E（C／W／F）

ネットワークラベル(aa....aa)が割当てられたネットワークアダプタが存在しません。

aa....aa：ネットワークラベル名

説明

指定されたネットワークラベルが割当てられたネットワークアダプタが存在しません。処理を中止します。

対処

仮想マシンの設定を確認し，再度実行してください。

KEOS29146-E（C／W／F）

ネットワークラベル(aa....aa)が割当てられたネットワークアダプタが2個以上存在します。

aa....aa：ネットワークラベル名

説明

指定されたネットワークラベルが割当てられたネットワークアダプタが2個以上存在します。処理を中止します。

対処

仮想マシンの設定を確認し，再度実行してください。

KEOS29151-I（W／F）

仮想サーバマネージャのコマンド処理を開始します。(クライアント = aa....aa)

aa....aa：接続元のホスト

説明

仮想サーバマネージャのコマンド処理を開始します。

KEOS29152-I（W／F）

仮想サーバマネージャのコマンド処理を終了します。

説明

仮想サーバマネージャのコマンド処理を終了します。

KEOS29153-E（C／W／F）

このコマンドはサポートしていません。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

このコマンドはサポートしていません。処理を中止します。

対処

運用管理マシンにインストールされている製品のバージョンと，コマンドを実行するマシンにインストールされている製品のバージョンを確認してください。

KEOS29154-E（C／W／F）

内部エラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

内部エラーが発生しました。処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS29155-I（W／F）

aa....aa の処理を受け付けました。

aa....aa：コマンド名

説明

コマンドの処理を受け付けました。

KEOS29156-I（W／F）

aa....aa コマンドの処理を開始します。

aa....aa：コマンド名

説明

コマンドの処理を開始します。

KEOS29157-I（W／F）

aa....aa コマンドの処理が終了しました。

aa....aa：コマンド名

説明

コマンドの処理が終了しました。

KEOS29159-E（C）

通信障害が発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

通信障害が発生しました。処理を中止します。

対処

コマンドを再実行しても障害が回復しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS29161-E（C／W／F）

他の操作が実行中のため，この操作は行えません。

説明

ほかの操作が実行中のため，この操作はできません。処理を中止します。

対処

しばらくしてから再実行してください。

KEOS29162-E（C）

管理ユーザ ID またはパスワードが不正です。

説明

管理ユーザ ID またはパスワードが不正です。処理を中止します。

対処

指定した管理ユーザ ID およびパスワードを確認してください。

KEOS29163-E（C／W）

仮想サーバマネージャが有効になっていないか，仮想サーバマネージャの起動が完了していないため，接続できません。

説明

仮想サーバマネージャが有効になっていない，または，仮想サーバマネージャが起動中のため接続できません。処理を中止します。

対処

仮想サーバマネージャを有効にする設定をしたあと，仮想サーバマネージャを再起動してください。仮想サーバマネージャを有効にする設定をしている場合は，しばらく待ったあとに再度操作してください。

KEOS29164-E（C／W／F）

ファイル(ファイル名=aa....aa)は通常ファイルではないためアクセスできません。

aa....aa：ファイル名

説明

指定されたファイルは，通常ファイルではないためアクセスできません。処理を中止します。

対処

通常ファイルを指定して，再度実行してください。

KEOS29165-E（C／W／F）

ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込みに失敗しました。処理を中止します。

対処

ファイルが存在するか，またはファイルにアクセス権があるかどうか確認してください。

KEOS29167-E（C／W／F）

VMware vCenter Server に接続できません。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server に接続できません。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29168-E（C／W／F）

VMware vCenter Server から情報が取得できませんでした。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

VMware vCenter Server から情報が取得できませんでした。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29169-E（C／W／F）

一時ファイル作成時に障害が発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS29170-E（C／W／F）

管理ユニットに仮想サーバが存在しません。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットに仮想サーバが存在しません。処理を中止します。

対処

指定された管理ユニットには仮想サーバが存在しません。vmx_deploy_unit コマンドでデプロイしたあと，再度実行してください。

KEOS29172-E（C／W／F）

管理ユニットの作成が完了していません。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの作成が完了していません。処理を中止します。

対処

管理ユニットを作成し，再度実行してください。

KEOS29173-E（W／F）

HTTP サーバからエラーレスポンスが返ってきました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：レスポンスコード

説明

HTTP サーバからエラーレスポンスが返ってきました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照し，サーバ通信エージェントのレスポンスコードに従って対処してください。

KEOS29174-E（W／F）

ファイルの転送処理でエラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：エラー情報

説明

ファイルの転送処理でエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

詳細情報に従って対処してください。

FileNotFoundException

仮想サーバマネージャ側の転送先ディレクトリの指定を見直してください。

IOException

エラーが発生したファイルを確認してください。

SocketIOException

ネットワーク環境や設定を見直してください。

KEOS29175-E（W／F）

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：エラー情報

説明

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

詳細情報に従って対処してください。

DuplicateFileNameException

サーバ通信エージェント側の転送するファイルまたはディレクトリの指定を見直してください。

FileNotFoundException

サーバ通信エージェント側の転送するファイルまたはディレクトリの指定を見直してください。

IOException

エラーが発生したファイルを確認してください。

SocketIOException

ネットワーク環境や設定を見直してください。

KEOS29176-E（W／F）

サーバ通信エージェントのバージョンが不整合です。

説明

サーバ通信エージェントのバージョンが不整合です。処理を中止します。

対処

仮想アプリケーションサーバ上で動作する Application Server は，仮想サーバマネージャがサポートするアプリケーションサーバのバージョンを使用してください。

KEOS29177-E（W／F）

コマンドの実行でタイムアウトが発生しました。(詳細情報 ＝ aa....aa)

aa....aa：プロセス ID

説明

コマンドの実行でタイムアウトが発生しました。処理を中止します。

対処

詳細情報に出力されているプロセスの状態を確認してください。必要であればプロセスを強制終了してください。

KEOS29179-E（C／W／F）

指定された管理ユニットは存在しません。(管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットは存在しません。処理を中止します。

対処

存在する管理ユニット名を指定してください。

KEOS29180-E（C／W／F）

指定された管理ユニットは既に存在します。(管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットがすでに存在します。処理を中止します。

対処

管理ユニット名を確認して，再度実行してください。

KEOS29181-E（C／W／F）

管理対象マシン情報が設定されていません。

説明

管理対象マシン情報が設定されていません。処理を中止します。

対処

vmx_set_machine_info コマンドで管理対象マシン情報を設定してください。

KEOS29182-E（W／F）

ファイルの転送処理でエラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：エラー情報

説明

ファイルの転送処理でエラーが発生しました。

vmx_deploy_unit，vmx_start_unit，vmx_stop_unit コマンドの場合は，処理を続行します。

それ以外のコマンドの場合は，処理を中止します。

対処

詳細情報に従って対処してください。

DuplicateFileNameException

仮想サーバマネージャ側の転送するファイルまたはディレクトリの指定を見直してください。

FileNotFoundException

仮想サーバマネージャ側の転送するファイルまたはディレクトリの指定を見直してください。

IOException

エラーが発生したファイルを確認してください。

SocketIOException

ネットワーク環境や設定を見直してください。

KEOS29183-E（W／F）

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：エラー情報

説明

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。

vmx_deploy_unit，vmx_start_unit，vmx_stop_unit コマンドの場合は，処理を続行します。

それ以外のコマンドの場合は，処理を中止します。

対処

詳細情報に従って対処してください。

FileNotFoundException

サーバ通信エージェント側の転送先ディレクトリの指定を見直してください。

IOException

エラーが発生したファイルを確認してください。

SocketIOException

ネットワーク環境や設定を見直してください。

KEOS29184-E（W／F）

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。

vmx_deploy_unit，vmx_start_unit，vmx_stop_unit コマンドの場合は，処理を続行します。

それ以外のコマンドの場合は，処理を中止します。

対処

詳細情報に従って対処してください。

CommandInterruptedException

コマンド終了待ち中に割り込み発生したため，サーバ通信エージェントの状態と，実行中のプロセスの状態を確認してください。必要であればプロセスを強制終了してください。

IOException

エラーが発生したファイルを確認してください。

SocketIOException

ネットワーク環境や設定を見直してください。

KEOS29201-W（C／W／F）

snapshotlog の出力に失敗しました。(仮想サーバ名=aa....aa, 詳細=bb....bb)

aa....aa：仮想サーバ名

bb....bb：詳細情報

説明

snapshotlog の出力に失敗しました。処理を続行します。

対処

仮想サーバ上で snapshotlog が実行可能かどうか確認してください。

KEOS29202-W（C／W／F）

イベントログの収集に失敗しました。(仮想サーバ名=aa....aa, 詳細=bb....bb)

aa....aa：仮想サーバ名

bb....bb：詳細情報

説明

イベントログの収集に失敗しました。処理を続行します。

対処

仮想サーバ上でイベントログが収集可能か確認してください。

KEOS29203-W（C／W／F）

システムログの収集に失敗しました。(仮想サーバ名=aa....aa, 詳細=bb....bb)

aa....aa：仮想サーバ名

bb....bb：詳細情報

説明

システムログの収集に失敗しました。処理を続行します。

対処

仮想サーバ上でシステムログが収集可能か確認してください。

KEOS29204-E（C／W／F）

Zip ファイルの作成に失敗しました。(仮想サーバ名=aa....aa, 詳細=bb....bb)

aa....aa：仮想サーバ名

bb....bb：詳細情報

説明

Zip ファイルの作成に失敗しました。処理を中止します。

対処

ファイルの書き込み権限があるか確認してください。

KEOS29213-E（C／W／F）

仮想サーバの稼働確認に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

仮想サーバの稼働確認に失敗しました。仮想サーバの障害監視を中断します。

対処

メッセージの直前に出力されたエラーメッセージのユーザ対処を参照してください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて vmx_deploy_unit コマンドを実行してください。

KEOS29214-W（C／W／F）

仮想サーバの停止に失敗しました。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの停止に失敗しました。処理を続行します。

対処

ネットワークの設定または仮想サーバが正常に稼働しているか確認してください。ネットワークの設定が誤っていた場合は，正しく設定してください。仮想サーバが停止していた場合は，ハイパーバイザの機能を使用して障害が発生した仮想サーバを起動し，調査してください。障害の要因を取り除いたあと，管理ユニットを更新して仮想サーバへ反映してください。その後，仮想サーバを起動してください。

KEOS29221-E（C／W／F）

指定できない記述があります。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

簡易構築定義ファイルに指定できない記述があります。処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，vmx_create_unit コマンドを再度実行してください。

表 13-7　KEOS29221-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
<model-definition>の xmlns 属性に，使用できない XML 名前空間が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：<model-definition>の xmlns 属性に指定された値	簡易構築定義ファイルの<model-definition>に，使用できない XML 名前空間が指定されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です。
<model-definition>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。処理を中止します。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です。
<model-definition>-<web-system>の定義がありません。	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<web-system>の定義がありません。処理を中止します。	簡易構築定義ファイル中に Web システムの定義(<model-definition>-<web-system>)を追加してください。
複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<web-system>の定義を一つにしてください。
複数の<web-system>-<tier>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<tier>が定義されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<tier>の定義を一つにしてください。
<tier>-<tier-type>の値として"combined-tier"以外の値が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：<tier-type>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<tier-type>の値として"combined-tier"以外の値が指定されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<tier-type>の値として "combined-tier"を指定してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の値として"1"以外の値が指定されています。(値 = aa....aa)	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値として「1」以外の値が指	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>タグ指定を削除してください。または，<tier>-<j2ee-server-count>の値として「1」を指定してください。

詳細情報	説明	対処
aa....aa：<j2ee-server-count>に指定された値	定されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>タグ指定を削除してください。または，<tier>-<j2ee-server-count>の値として「1」を指定してください。
複数の<web-system>-<unit>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<unit>が定義されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<unit>の定義を一つにしてください。

<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値がaa....aaである項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。
aa....aa：論理サーバ種別
	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値がaa....aaである項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別がaa....aaである論理サーバの定義に，次のような<logical-server-name>タグを追加し，論理サーバ名を定義してください。
		`<unit>`
		`　<allocated-host>`
		`　　<define-server>`
		`　　　<logical-server-type>aa....aa</logical-server-type>`
		`　　　<logical-server-name>論理サーバ名</logical-server-name>`

<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として"web-server","j2ee-server"または"performance-tracer"以外の値が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として"web-server","j2ee-server"または"performance-tracer"以外の値が指定されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として"web-server","j2ee-server"または"performance-tracer"のどちらかを指定してください。
複数の<model-definition>-<host>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<host>が定義されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>の定義を一つにしてください。
<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として"localhost"以外の値が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：<host-ref>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として"localhost"以外の値が指定されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として "localhost" を指定してください。
<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"localhost"以外の値が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：<host-name>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"localhost"以外の値が指定されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"localhost" を指定してください。
<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"localhost"以外の値が指	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<agent-host>の値と	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として "localhost "を指定してください。

詳細情報	説明	対処
定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：<agent-host>に指定された値	して"localhost"以外の値が指定されています。処理を中止します。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として "localhost "を指定してください。

KEOS29222-E（C／W／F）

簡易構築定義ファイルの構文にエラーがあります。(行番号 = aa....aa, 列番号 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：行番号

bb....bb：列番号

cc....cc：詳細情報

説明

簡易構築定義ファイルの構文にエラーがあります。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，vmx_create_unit コマンドを再度実行してください。

KEOS29224-E（C／W／F）

ファイルに不正な値が指定されました(aa....aa = bb....bb)。(ファイル名 = cc....cc)

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：値

cc....cc：ファイル名

説明

ファイルに不正な値が指定されました。処理を中止します。

対処

ファイルに指定した内容を確認して，コマンドを再度実行してください。

KEOS29231-E（C／W／F）

<machine-info>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。(ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：ファイルパス

説明

管理対象マシン情報ファイルの<machine-info>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。処理を中止します。

対処

管理対象マシン情報ファイル中の<machine-info>の定義を変更してください。このバージョンで指定できる管理対象マシン情報ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/MachineInfo-1.0」です。

KEOS29232-E（C／W／F）

<machine-info>の xmlns 属性に，使用できない XML 名前空間が指定されています。(値 = aa....aa, ファイル名 = bb....bb)

aa....aa：<machine-info>の xmlns 属性に指定された値

bb....bb：ファイルパス

説明

管理対象マシン情報ファイルの<machine-info>に，使用できない XML 名前空間が指定されています。処理を中止します。

対処

管理対象マシン情報ファイル中の<machine-info>の定義を変更してください。このバージョンで指定できる管理対象マシン情報ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/MachineInfo-1.0」です。

KEOS29233-E（C／W／F）

不正な値が指定されました(aa....aa = bb....bb)。(ファイル名 = cc....cc)

aa....aa：タグ名

bb....bb：タグの指定値（不正値）

cc....cc：ファイル名

説明

指定した値は不正です。処理を中止します。

対処

ファイルの内容を確認して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29234-E（C／W／F）

管理対象マシン情報ファイルの構文にエラーがあります。(行番号 = aa....aa, 列番号 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：行番号

bb....bb：列番号

cc....cc：詳細情報

説明

管理対象マシン情報ファイルの構文にエラーがあります。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29301-E（C／W／F）

xml ファイルの解析時にエラーが発生しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

xml ファイルの解析時にエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29302-E（C／W／F）

指定された管理対象マシンは存在しません。(管理対象マシン名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理対象マシン名

説明

指定した管理対象マシンは存在しません。処理を中止します。

対処

存在する管理対象マシン名を指定して，再度実行してください。

KEOS29303-E（C／W／F）

削除対象の管理対象マシンに稼働中の仮想サーバが存在します。(管理対象マシン名 ＝ aa....aa, 仮想サーバ名 ＝ bb....bb)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

削除対象の管理対象マシンに稼働中の仮想サーバが存在します。処理を中止します。

対処

管理対象マシン上で稼働中の仮想サーバ（障害中の仮想サーバも含む）を停止させてください。

KEOS29304-E（C／W／F）

仮想サーバの削除に失敗しました。(仮想サーバ名 ＝ aa....aa, 詳細情報 ＝ bb....bb)

aa....aa：仮想サーバ名

bb....bb：詳細情報

説明

仮想サーバの削除に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを削除します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，手動で削除してください。

KEOS29305-I（C／W／F）

管理対象マシン情報の設定に成功しました。

説明

管理対象マシン情報の設定に成功しました。

KEOS29306-E（C／W／F）

削除しようとしている管理対象マシンは管理ユニットで使用されています。(管理対象マシン ＝ aa....aa, 管理ユニット ＝ bb....bb)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：管理ユニット名

説明

削除しようとしている管理対象マシンは管理ユニットで使用されています。処理を中止します。

対処

管理ユニット運用ルールから削除対象の管理対象マシンを削除して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29311-E（C／W／F）

管理対象マシン情報ファイルを取得することが出来ません。

説明

管理対象マシン情報ファイルを取得できません。処理を中止します。

対処

vmx_set_machine_info コマンドで管理対象マシン情報が設定された環境で実行してください。

KEOS29312-I（C／W／F）

管理対象マシン情報の取得に成功しました。

説明

管理対象マシン情報の取得に成功しました。

KEOS29321-E（C／W／F）

マスタ仮想サーバのコピーに失敗しました。(仮想サーバイメージ管理ホスト名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：コピー先の仮想サーバイメージ管理ホスト名

bb....bb：詳細情報

説明

マスタ仮想サーバのコピーに失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29322-E（C／W／F）

ファイルの保存に失敗しました。(ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルの保存に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバマネージャのホストのディスク容量に空きがあることを確認して，再度実行してください。

KEOS29323-E（C／W／F）

仮想アプリケーションサーバのコピーに失敗しました。(仮想サーバイメージ管理ホスト名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：コピー先の仮想サーバイメージ管理ホスト名

bb....bb：詳細情報

説明

仮想アプリケーションサーバのコピーに失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照して，エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29324-E（C／W／F）

業務用ネットワークの IP アドレスを割り振りできませんでした。(最小値 = aa....aa, 最大値 = bb....bb)

aa....aa：最小値

bb....bb：最大値

説明

業務用ネットワークの IP アドレスを割り振りできませんでした。処理を中止します。

対処

業務用ネットワークの IP アドレス割り振り範囲を見直して，再度実行してください。

KEOS29326-E（C／W／F）

仮想アプリケーションサーバの起動に失敗しました。(仮想サーバイメージ管理ホスト名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：仮想サーバイメージ管理ホスト名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想アプリケーションサーバの起動に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照し，必要に応じて要因を取り除いて，vmx_delete_unit コマンドで管理ユニットを削除して，再度実行してください。

KEOS29328-E（C／W／F）

アプリケーション情報ファイルディレクトリのコピーに失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

アプリケーション情報ファイルディレクトリのコピーに失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。
vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29329-E（C／W／F）

Web システムの構築に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

Web システムの構築に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- rasetup コマンドが出力するログ。
- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29331-E（C／W／F）

アプリケーションのインポートに失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, ManagementServer のポート番号 = cc....cc, J2EE サーバ名 = dd....dd, ポート番号 = ee....ee, ファイル名 = ff....ff)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：Management Server のポート番号

dd....dd：J2EE サーバ名

ee....ee：ネーミングサービスのポート番号

ff....ff：ファイル名

説明

アプリケーションのインポートに失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ管理コマンドのログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29333-E（C／W／F）

アプリケーションの開始に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, ManagementServer のポート番号 = cc....cc, J2EE サーバ名 = dd....dd, ポート番号 = ee....ee, アプリケーション名 = ff....ff)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：Management Server のポート番号

dd....dd：J2EE サーバ名

ee....ee：ネーミングサービスのポート番号

ff....ff：アプリケーション名

説明

アプリケーションの開始に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ管理コマンドのログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29334-E（C／W／F）

アプリケーションの停止に失敗しました。(管理ユニット名 ＝ aa....aa, 仮想サーバ名 ＝ bb....bb, ManagementServer のポート番号 ＝ cc....cc, J2EE サーバ名 ＝ dd....dd, ポート番号 ＝ ee....ee, アプリケーション名 ＝ ff....ff)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：Management Server のポート番号

dd....dd：J2EE サーバ名

ee....ee：ネーミングサービスのポート番号

ff....ff：アプリケーション名

説明

アプリケーションの停止に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ管理コマンドのログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29335-E（C／W／F）

論理サーバの一括停止に失敗しました。(管理ユニット名 ＝ aa....aa, 仮想サーバ名 ＝ bb....bb, ManagementServer のポート番号 ＝ cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：Management Server のポート番号

説明

論理サーバの一括停止に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29336-E（C／W／F）

Management Server の停止に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, ManagementServer のポート番号 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：Management Server のポート番号

説明

Management Server の停止に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29337-E（C／W／F）

運用管理エージェントの停止に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

運用管理エージェントの停止に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- 運用管理エージェントのログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29339-E（C／W／F）

引数に指定した値が不正です。(オプション = aa....aa, 値 = bb....bb)

aa....aa：オプション名

bb....bb：値

説明

引数に指定した値が不正です。処理を中止します。

対処

値を確認して，再度実行してください。

KEOS29343-E（C／W／F）

仮想サーバ構築用プロパティファイルで指定した割り振り IP アドレスの最小値が最大値を超えています。(ファイル名 = aa....aa, パラメタ名 = bb....bb, 最小値 = cc....cc, パラメタ名 = dd....dd, 最大値 = ee....ee)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：パラメタ名

cc....cc：値

dd....dd：パラメタ名

ee....ee：値

説明

仮想サーバ構築用プロパティファイルで指定した割り振り IP アドレスの最小値が最大値を超えています。処理を中止します。

対処

管理ユニットの割り振り IP アドレスの最小値は最大値を超えないように，パラメタと値を確認して，再度実行してください。

KEOS29344-E（C／W／F）

仮想サーバ構築用プロパティファイルの運用 IP と管理 IP の割り振り IP アドレス範囲が重複しています。(ファイル名 = aa....aa, パラメタ名 = bb....bb, 最小値 = cc....cc, パラメタ名 = dd....dd, 最大値 = ee....ee, パラメタ名 = ff....ff, 最小値 = gg....gg, パラメタ名 = hh....hh, 最大値 = ii....ii)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：運用 IP 最小値のパラメタ名

cc....cc：運用 IP 最小値の値

dd....dd：運用 IP 最大値のパラメタ名

ee....ee：運用 IP 最大値の値

ff....ff：管理 IP 最小値のパラメタ名

gg....gg：管理 IP 最小値の値

hh....hh：管理 IP 最大値のパラメタ名

ii....ii：管理 IP 最大値の値

説明

仮想サーバ構築用プロパティファイルの割り振り IP アドレス範囲がほかの管理ユニットの割り振り IP アドレス範囲と重複しています。処理を中止します。

対処

ほかの管理ユニットで設定している割り振り IP アドレスの範囲と重複しないように，パラメタと値を確認して，再度実行してください。

KEOS29345-I（C／W／F）

管理ユニットの作成に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの作成に成功しました。

KEOS29347-E（C／W／F）

管理用ネットワークの IP アドレスを割り振りできませんでした。(最小値 = aa....aa, 最大値 = bb....bb)

aa....aa：最小値

bb....bb：最大値

説明

管理用ネットワークの IP アドレスを割り振りできませんでした。処理を中止します。

対処

管理用ネットワークの IP アドレス割り振り範囲を見直して，再度実行してください。

KEOS29348-E（C／W／F）

仮想アプリケーションサーバの停止に失敗しました。(仮想サーバイメージ管理ホスト名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：仮想サーバイメージ管理ホスト名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想アプリケーションサーバの停止に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いてください。vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29349-E（C／W／F）

仮想アプリケーションサーバの起動確認に失敗しました。(仮想サーバイメージ管理ホスト名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：仮想サーバイメージ管理ホスト名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

仮想アプリケーションサーバの起動確認に失敗しました。処理を中止します。

対処

直前のメッセージの詳細に Connection timed out が出力されている場合は，仮想サーバマネージャプロパティファイルの vmx.virtualserver.start.timeout の値を見直してください。それ以外の場合は，仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。
vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29350-E（C／W／F）

アプリケーション名の取得に失敗しました。(アプリケーションファイル = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：アプリケーションファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

アプリケーション名の取得に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いてください。vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

KEOS29355-I（C／W／F）

管理ユニットのデプロイに成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットのデプロイに成功しました。

KEOS29356-W（C／W／F）

管理ユニットのデプロイに一部成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットのデプロイに一部成功しました。処理を継続します。

対処

ログを参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29357-E（C／W／F）

管理ユニットのデプロイに失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットのデプロイに失敗しました。処理を中止します。

対処

ログを参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29358-E（C／W／F）

仮想サーバの削除に失敗しました。(ホスト名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理対象マシン名または仮想サーバイメージ管理ホスト名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの削除に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンド実行時は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_update_unit コマンドまたは vmx_delete_unit コマンド実行時は，処理を中止します。

対処

vmx_deploy_unit コマンドでエラーが発生した場合は，詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを手動で削除してください。vmx_update_unit コマンドまたは，vmx_delete_unit コマンドでエラーが発生した場合は，詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29359-E（C／W／F）

運用管理エージェントの起動に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

運用管理エージェントの起動に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- 運用管理エージェントのログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29360-E（C／W／F）

Management Server の起動に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

Management Server の起動に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29361-E（C／W／F）

スケールアウト用ホスト定義ファイルの作成に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

スケールアウト用ホスト定義ファイルの作成に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29362-E（C／W／F）

サーバ通信エージェントでのファイルのコピーに失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, コピー元のローカルパス = cc....cc, コピー先のリモートパス = dd....dd)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：コピー元のローカルパス

dd....dd：コピー先のリモートパス

説明

サーバ通信エージェントでのファイルのコピーに失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29363-E（C／W／F）

cmx_scaleout_host コマンドの実行に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

cmx_scaleout_host コマンドの実行に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29364-E（C／W／F）

構成変更定義ファイルの作成に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

構成変更定義ファイルの作成に失敗しました。処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29365-E（C／W／F）

cmx_change_model コマンドの実行に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

cmx_change_model コマンドの実行に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29366-E（C／W／F）

cmx_build_system コマンドの実行に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

cmx_build_system コマンドの実行に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29367-E（C／W／F）

論理サーバの起動に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

論理サーバの起動に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29368-E（C／W／F）

アプリケーションの開始に失敗しました。(管理ユニット名 ＝ aa....aa, 仮想サーバ名 ＝ bb....bb, アプリケーション名 ＝ cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：アプリケーション名

説明

アプリケーションの開始に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ管理コマンドのログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29369-E（C／W／F）

論理サーバの停止に失敗しました。(管理ユニット名 ＝ aa....aa, 仮想サーバ名 ＝ bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

論理サーバの停止に失敗しました。処理を中止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29371-E（C／W／F）

一時ファイル作成時に障害が発生しました。(詳細情報 ＝ aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。vmx_deploy_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_rolling_update コマンドを実行した場合は処理を中止します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，手動で削除してください。

KEOS29372-E（C／W／F）

ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込みに失敗しました。vmx_deploy_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_rolling_update コマンドを実行した場合は処理を中止します。

対処

ファイルにアクセス権限があるかどうか確認してください。

KEOS29374-W（C／W／F）

既にデプロイ済みです。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットはすでにデプロイ済みです。

対処

指定した管理ユニット名に問題がないかを確認し，問題がある場合は，正しい管理ユニット名を指定し再度実行してください。

KEOS29375-E（C／W／F）

仮想アプリケーションサーバのデプロイに失敗しました。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想アプリケーションサーバのデプロイに失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想アプリケーションサーバのデプロイを実行します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，手動で削除してください。

表 13–8　KEOS29375-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
一時ファイル作成時に障害が発生しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	一時ファイル作成時に障害が発生しました。vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
運用管理エージェントの起動に失敗しました。	運用管理エージェントの起動に失敗しました。vmx_deploy_unit コマン	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

詳細情報	説明	対処
運用管理エージェントの起動に失敗しました。	ド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	• 運用管理エージェントのログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
Management Server の起動に失敗しました。	Management Server の起動に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
スケールアウト用ホスト定義ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	スケールアウト用ホスト定義ファイルの作成に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。
ファイルのコピーに失敗しました。(コピー元のローカルパス = aa....aa，コピー先のリモートパス = bb....bb，詳細情報 = cc....cc) aa....aa：コピー元のローカルパス bb....bb：コピー先のリモートパス cc....cc：詳細情報	ファイルのコピーに失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
cmx_scaleout_host コマンドの実行に失敗しました。	cmx_scaleout_host コマンドの実行に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
構成変更定義ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	構成変更定義ファイルの作成に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。
cmx_change_model コマンドの実行に失敗しました。	cmx_change_model コマンドの実行に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。

詳細情報	説明	対処
cmx_change_model コマンドの実行に失敗しました。	cmx_change_model コマンドの実行に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
cmx_build_system コマンドの実行に失敗しました。	cmx_build_system コマンドの実行に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
論理サーバの起動に失敗しました。	論理サーバの起動に失敗しました。 vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
論理サーバの停止に失敗しました。	論理サーバの停止に失敗しました。 vmx_deploy_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_stop_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを停止します。 vmx_scalein_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
アプリケーションの開始に失敗しました。(アプリケーション名 = aa....aa) aa....aa：アプリケーション名	アプリケーションの開始に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ管理コマンドのログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバの停止に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	仮想サーバの停止に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバの停止確認に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa)	仮想サーバの停止確認に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの	仮想サーバマネージャプロパティファイルの vmx.virtualserver.stop.timeout の

詳細情報	説明	対処
aa....aa：詳細情報	仮想サーバを起動します。 vmx_stop_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを停止します。 vmx_scalein_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	値を見直してください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバの起動に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	仮想サーバの起動に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバの起動確認に失敗しました。	仮想サーバの起動確認に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	直前のメッセージの詳細に Connection timed out が出力されている場合は，仮想サーバマネージャプロパティファイルの vmx.virtualserver.start.timeout の値を見直してください。それ以外の場合は，仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想アプリケーションサーバのコピーに失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	仮想アプリケーションサーバのコピーに失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想アプリケーションサーバのコピーを実行します。	詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，必要な場合は再度コマンドを実行してください。
仮想サーバ起動時ユーザスクリプトのコピーに失敗しました。	仮想サーバ起動時ユーザスクリプトのコピーに失敗しました。 vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバ起動時ユーザスクリプトの実行に失敗しました。	仮想サーバ起動時ユーザスクリプトの実行に失敗しました。 vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。また，vmx_create_unit コマンドまたは vmx_update_unit コマンドで指定した仮想サーバ起動時のユーザスクリプトの記述に誤りがないか，確認してください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
サーバ通信エージェントの自動起動設定に失敗しました。	サーバ通信エージェントの自動起動設定に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了した

詳細情報	説明	対処
サーバ通信エージェントの自動起動設定に失敗しました。	サーバ通信エージェントの自動起動設定に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	あと，VMware vCenter Serverから仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
hostsファイルの書き換え処理に失敗しました。	hostsファイルの書き換え処理に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。	このメッセージの直前に出力されているエラーメッセージの対処を参照してください。エラーメッセージが出力されていない場合，仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 VMware vCenter Serverから仮想サーバを停止して削除したあと，必要に応じて再度実行してください。

KEOS29376-W（C／W／F）

管理ユニットで使用する管理対象マシンが設定されていない為デプロイできません。(管理ユニット名 ＝ aa....aa, 管理対象マシン名 ＝ bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

説明

管理ユニットで使用する管理対象マシンが設定されていないため，デプロイできません。処理を続行し，ほかの管理対象マシンの処理を実行します。

対処

管理ユニットで使用する管理対象マシンをvmx_set_machine_infoコマンドで設定し，再度コマンドを実行してください。

KEOS29377-W（C／W／F）

稼働中の仮想サーバはデプロイしません。(管理ユニット名 ＝ aa....aa, 管理対象マシン名 ＝ bb....bb, 仮想サーバ名 ＝ cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

cc....cc：仮想サーバ名

説明

仮想サーバが稼働中のためデプロイできません。処理を続行し，ほかの仮想サーバの処理を実行します。

対処

カレントバージョンではない仮想サーバはスケールインして再度コマンドを実行してください。

KEOS29378-I（C／W／F）

カレントバージョンの仮想サーバはデプロイしません。(管理ユニット名 ＝ aa....aa, 管理対象マシン名 ＝ bb....bb, 仮想サーバ名 ＝ cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

cc....cc：仮想サーバ名

説明

仮想サーバがカレントバージョンのためデプロイできません。処理を続行し，ほかの仮想サーバの処理を実行します。

KEOS29379-W（C／W／F）

障害中の仮想サーバはデプロイしません。(管理ユニット名 = aa....aa, 管理対象マシン名 = bb....bb, 仮想サーバ名 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

cc....cc：仮想サーバ名

説明

仮想サーバが障害中のためデプロイできません。処理を続行し，ほかの仮想サーバの処理を実行します。

対処

仮想サーバをデプロイする場合は，VMware vCenter Server から手動で削除し，再度コマンドを実行してください。

KEOS29380-W（C／W／F）

管理ユニットで使用する管理対象マシン以外の管理対象マシンに，障害または稼働中の仮想サーバが存在します。(管理対象マシン = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

管理ユニットで使用する管理対象マシン以外の管理対象マシンに，障害または稼働中の仮想サーバが存在します。処理を続行し，デプロイ処理を実行します。

対処

管理ユニットで使用しない管理対象マシンに存在する仮想サーバは削除または停止した状態で，再度コマンドを実行してください。

KEOS29381-I（C／W／F）

管理ユニットの更新に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの更新に成功しました。

KEOS29382-E（C／W／F）

指定された管理ユニットの一番古いバージョンを削除しようとしましたが，カレントバージョンは削除できません。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想アプリケーションサーバのバージョン番号 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想アプリケーションサーバのバージョン番号

説明

指定された管理ユニットのいちばん古いバージョンを削除しようとしましたが，カレントバージョンであるため削除できません。処理を中止します。

対処

管理ユニットに属する仮想アプリケーションサーバのバージョンを確認し，必要のない仮想アプリケーションサーバのバージョンを削除してから再度実行してください。

KEOS29394-I（C／W／F）

管理ユニットの削除に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの削除に成功しました。

KEOS29395-E（C／W／F）

稼働中の仮想サーバが存在するため管理ユニットを削除できません。(仮想サーバ名 = aa....aa)

aa....aa：仮想サーバ名

説明

稼働中の仮想サーバが存在するため削除できません。処理を中止します。

対処

仮想サーバを停止させて，再度実行してください。

KEOS29396-E（C／W／F）

障害の仮想サーバが存在するため管理ユニットを削除できません。(仮想サーバ名 = aa....aa)

aa....aa：仮想サーバ名

説明

障害の仮想サーバが存在するため削除できません。処理を中止します。

対処

調査済みの仮想サーバは，VMware vCenter Server から手動で削除して，再度実行してください。

KEOS29401-E（C／W／F）

オプション aa....aa に対する引数に不正な数値が指定されました。

aa....aa：指定されたオプション

説明

オプション aa....aa に対する引数に不正な数値が指定されました。処理を中止します。

対処

引数に問題がないか確認して，問題があれば修正して実行してください。

KEOS29402-E（C／W／F）

指定されたバージョンは，既にカレントバージョンとして設定されています。(管理ユニット ＝ aa....aa, バージョン ＝ bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：バージョン

説明

指定されたバージョンは，すでにカレントバージョンとして設定されています。コマンドの処理を中止します。

対処

カレントバージョンを設定する管理ユニット名とバージョン番号を確認し，再度実行してください。

KEOS29403-E（C／W／F）

指定されたバージョンは障害です。(管理ユニット名=aa....aa, バージョン=bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：バージョン

説明

指定されたバージョンは障害です。処理を中止します。

対処

障害が発生していないバージョンを確認して，再度実行してください。

KEOS29404-E（C／W／F）

指定された管理ユニットに，指定されたバージョン番号が存在しません。(管理ユニット ＝ aa....aa, バージョン ＝ bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：バージョン

説明

指定された管理ユニットに，指定されたバージョン番号が存在しません。コマンドの処理を中止します。

対処

存在するバージョン番号を指定してください。

KEOS29405-I（C／W／F）

仮想アプリケーションサーバの状態設定が正常に完了しました。(管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

仮想アプリケーションサーバの状態設定が正常に完了しました。

KEOS29411-E（C／W／F）

指定された管理ユニットが存在しません。(管理ユニット名=aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットが存在しません。コマンドの処理を中止します。

対処

管理ユニット名を確認して，再度実行してください。

KEOS29413-E（C／W／F）

仮想アプリケーションサーバイメージのコピーに失敗したため，アップデートに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

仮想アプリケーションサーバイメージのコピーに失敗したため，アップデートに失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

同じ名前の仮想サーバが存在しないか確認してください。存在する場合は，同じ名前の仮想サーバが使用されていないことを確認したあと，削除して再度コマンドを実行してください。

KEOS29414-E（C／W／F）

旧バージョンの仮想サーバの削除に失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

旧バージョンの仮想サーバの削除に失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

管理対象マシンにアクセス権限があるかを確認してください。

KEOS29416-E（C／W／F）

IP アドレスの取得に失敗したため，新規仮想サーバのデプロイに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 管理対象マシン名=bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

説明

IP アドレスの取得に失敗したため，新規仮想サーバのデプロイに失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

IP アドレスが不足していないか確認してください。

KEOS29417-E（C／W／F）

仮想サーバの設定に失敗したため，アップデートに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

仮想サーバの設定に失敗したため，アップデートに失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

直前のエラーメッセージを参照し，障害を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29418-E（C／W／F）

仮想サーバの停止に失敗したため，アップデートに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

仮想サーバの停止に失敗したため，アップデートに失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

仮想サーバが停止できない原因を調査後，障害を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29419-W（C／W／F）

初期デプロイ数を下回っていたため，仮想サーバをデプロイします。(管理ユニット名=aa....aa, 管理対象マシン名=bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

説明

初期デプロイ数を下回っていたため，仮想サーバをデプロイします。処理を続行し，そのほかの仮想サーバを更新します。

KEOS29420-E（C／W／F）

仮想サーバがアップデート可能なステータスでないため，アップデートに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc,　仮想サーバのステータス=dd....dd)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

dd....dd：仮想サーバのステータス

説明

仮想サーバがアップデート可能なステータスでないため，アップデートに失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

ステータスが障害中の仮想サーバは原因を調査後，その仮想サーバを削除してください。

KEOS29423-E（C／W／F）

仮想サーバの起動に失敗したため，アップデートに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc, 詳細=dd....dd)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

dd....dd：詳細情報

説明

仮想サーバの起動に失敗したため，アップデートに失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

詳細情報を参照して障害を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29424-I（C／W／F）

停止中の仮想サーバをアップデートしました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

停止中の仮想サーバをアップデートしました。

KEOS29425-I（C／W／F）

稼動中の仮想サーバをアップデートしました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

稼働中の仮想サーバをアップデートしました。

KEOS29426-I（C／W／F）

仮想サーバをデプロイしました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

仮想サーバをデプロイしました。

KEOS29427-E（C／W／F）

Web システムの開始に失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

Web システムの開始に失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

エラーメッセージを参照し，原因を取り除いて再度コマンドを実行してください。

KEOS29428-E（C／W／F）

Web システムの停止に失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

Web システムの停止に失敗しました。コマンドの処理を中止します。

対処

エラーメッセージを参照し，原因を取り除いて再度コマンドを実行してください。

KEOS29429-W（C／W／F）

仮想サーバはすでに更新済みです。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

仮想サーバは更新済みです。

KEOS29430-I（C／W／F）

仮想サーバのローリングアップデートに成功しました。(管理ユニット名=aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

仮想サーバのローリングアップデートに成功しました。

KEOS29431-W（C／W／F）

仮想サーバのローリングアップデートを行いましたが，いくつかの仮想サーバでアップデートに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

仮想サーバのローリングアップデートを実行しましたが，幾つかの仮想サーバでアップデートに失敗しました。

KEOS29432-E（C／W／F）

仮想サーバのローリングアップデートに失敗しました。(管理ユニット名=aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

仮想サーバのローリングアップデートに失敗しました。

対処

エラーメッセージを参照し，原因を取り除いて再度コマンドを実行してください。

KEOS29433-E（C／W／F）

仮想サーバ起動時ユーザスクリプト格納用の一時ディレクトリ作成に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバ起動時ユーザスクリプト格納用の一時ディレクトリ作成に失敗しました。処理を中断します。

対処

仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。

KEOS29434-E（C／W／F）

仮想サーバ起動時ユーザスクリプトの実行に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバ起動時ユーザスクリプトの実行に失敗しました。処理を中断します。

対処

仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。また，vmx_create_unit コマンドまたは vmx_update_unit コマンドで指定した仮想サーバ起動時のユーザスクリプトの記述に誤りがないか，確認してください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。

KEOS29435-W（C／W／F）

初期デプロイ数を超えているため，仮想サーバをアンデプロイします。(管理ユニット名=aa....aa, 管理対象マシン名=bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

説明

すでにデプロイ済みの仮想サーバ数が，管理ユニット運用ルールの"unit.rule.deploy.num"プロパティ値を超えているため，仮想サーバをアンデプロイします。処理を続行し，ほかの仮想サーバを更新します。

KEOS29436-I（C／W／F）

仮想サーバをアンデプロイしました。(管理ユニット名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb, 管理対象マシン名=cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：管理対象マシン名

説明

仮想サーバをアンデプロイしました。

KEOS29437-W（C／W／F）

稼働中や障害中の仮想サーバが存在したため，アンデプロイが完全にできませんでした。(管理ユニット名 = aa....aa, 管理対象マシン名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

説明

稼働中や障害中の仮想サーバが存在したため，アンデプロイが完全にできませんでした。処理を続行し，ほかの仮想サーバを更新します。

KEOS29438-E（C／W／F）

サーバ通信エージェントの自動起動設定に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

サーバ通信エージェントの自動起動設定に失敗しました。処理を中断します。

対処

仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。

KEOS29441-E（C／W／F）

カレントバージョンではないバージョンの仮想サーバが稼動中です。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

カレントバージョンではないバージョンの仮想サーバが稼働中です。処理を中止します。

対処

カレントバージョンではないバージョンの仮想サーバを vmx_scalein_unit コマンドで停止させ，再度実行してください。

KEOS29442-I（C／W／F）

既に仮想サーバが稼働中です。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

すでに仮想サーバが稼働中です。処理を続行します。

KEOS29443-W（C／W／F）

既に仮想サーバが起動すべき数で稼動中です。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

すでに仮想サーバが起動しなければならない数で稼働中です。処理を続行します。

対処

仮想サーバが足りない場合は，vmx_scaleout_unit コマンドで仮想サーバを起動させてください。

KEOS29444-I（C／W／F）

管理ユニットを起動しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットを起動しました。

KEOS29445-E（C／W／F）

管理ユニットが起動できません。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットが起動できません。処理を終了します。

対処

直前のメッセージを確認し，エラーが発生していればエラーの要因を取り除いてください。

KEOS29446-W（C／W／F）

一部の仮想サーバが起動できませんでした。(管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

一部の仮想サーバが起動できませんでした。

対処

直前のメッセージを確認し，エラーが発生していればエラーの要因を取り除いてください。エラーが発生していない場合，管理ユニット運用ルールの"unit.rule.start.num"の値を見直してください。

KEOS29447-E（C／W／F）

仮想サーバの起動に失敗しました。(管理対象マシン名 ＝ aa....aa, 仮想サーバ名 ＝ bb....bb, 詳細情報 ＝ cc....cc)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの起動に失敗しました。vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，手動で削除してください。

表 13–9　KEOS29447-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
一時ファイル作成時に障害が発生しました。(詳細情報 ＝ aa....aa) aa....aa：詳細情報	一時ファイル作成時に障害が発生しました。vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。
運用管理エージェントの起動に失敗しました。	運用管理エージェントの起動に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • 運用管理エージェントのログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
Management Server の起動に失敗しました。	Management Server の起動に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンド，vmx_start_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_scaleout_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削

詳細情報	説明	対処
Management Serverの起動に失敗しました。	Management Serverの起動に失敗しました。vmx_deploy_unitコマンド，vmx_start_unitコマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unitコマンドを実行した場合は処理を中止します。	除し，必要に応じて再度実行してください。
論理サーバの起動に失敗しました。	論理サーバの起動に失敗しました。 vmx_deploy_unitコマンド，vmx_start_unitコマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unitコマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Serverのログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Serverから仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバの起動確認に失敗しました。	仮想サーバの起動確認に失敗しました。vmx_deploy_unitコマンド，vmx_start_unitコマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unitコマンドを実行した場合は処理を中止します。	直前のメッセージの詳細にConnection timed outが出力されている場合は，仮想サーバマネージャプロパティファイルのvmx.virtualserver.start.timeoutの値を見直してください。それ以外の場合は，仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Serverから仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバ起動時ユーザスクリプトのコピーに失敗しました。	仮想サーバ起動時ユーザスクリプトのコピーに失敗しました。 vmx_deploy_unitコマンド，vmx_start_unitコマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unitコマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。調査が完了したあと，VMware vCenter Serverから仮想サーバを削除し，必要に応じて，再度処理を実行してください。
仮想サーバ起動時ユーザスクリプトの実行に失敗しました。	仮想サーバ起動時ユーザスクリプトの実行に失敗しました。 vmx_deploy_unitコマンド，vmx_start_unitコマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。 vmx_scaleout_unitコマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。また，vmx_create_unitコマンドまたはvmx_update_unitコマンドで指定した仮想サーバ起動時のユーザスクリプトの記述に誤りがないか，確認してください。調査が完了したあと，VMware vCenter Serverから仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。

KEOS29449-I（C／W／F）

仮想サーバを起動しました。(管理対象マシン名=aa....aa, 仮想サーバ名=bb....bb)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

仮想サーバを起動しました。

KEOS29451-W（C／W／F）

管理ユニット運用ルールに指定された管理対象マシンが存在しません。(管理ユニット名 = aa....aa, 管理対象マシン名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット

bb....bb：管理対象マシン名

説明

管理ユニット運用ルールに指定された管理対象マシンが存在しません。処理を続行します。

対処

vmx_set_machine_info コマンドで管理対象マシン情報を設定してください。

KEOS29461-E（C／W／F）

稼動中の仮想サーバが存在しません。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

稼働中の仮想サーバが存在しません。処理を中止します。

対処

稼働中の仮想サーバがない場合は実行できません。

KEOS29462-I（C／W／F）

管理ユニットを停止しました。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットを停止しました。

KEOS29463-E（C／W／F）

管理ユニットが管理する仮想サーバが，全部または一部停止できませんでした。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットが管理する仮想サーバの全部または一部を停止できませんでした。処理を終了します。

対処

すでに稼働している仮想サーバは，手動で停止してください。

KEOS29465-E（C／W／F）

vm ログの収集に失敗しました。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

vm ログの収集でエラーが発生しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを停止します。

対処

仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

- Management Server のログ。
- サーバ通信エージェントのログ。

調査が完了したあと，必要に応じて再度実行してください。

KEOS29466-E（C／W／F）

仮想サーバの停止に失敗しました。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの停止に失敗しました。vmx_stop_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを停止します。vmx_scalein_unit コマンドを実行した場合は，処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，vmx_scalein_unit コマンドで仮想サーバを停止させてください。

表 13–10　KEOS29466-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
論理サーバの停止に失敗しました。	論理サーバの停止に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_stop_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを停止します。vmx_scalein_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバの次のログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ。 • サーバ通信エージェントのログ。 調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください。
仮想サーバの停止確認に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	仮想サーバの停止確認に失敗しました。vmx_deploy_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。vmx_stop_unit コマンドを実行した場合は，処理を続行し，ほかの仮想サーバを停止します。vmx_scalein_unit コマンドを実行した場合は処理を中止します。	仮想サーバマネージャプロパティファイルの vmx.virtualserver.stop.timeout の値を見直してください。調査が完了したあと，VMware vCenter Server から仮想サーバを削除し，必要に応じて再度実行してください

KEOS29471-E（C／W／F）

指定された管理対象マシンは存在しません。(管理対象マシン名 = aa....aa)

aa....aa：管理対象マシン名

説明

指定された管理対象マシンは存在しません。処理を中止します。

対処

存在する管理対象マシン名を指定して，再度実行してください。

KEOS29472-E（C／W／F）

仮想サーバの起動に失敗しました。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの起動に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。

対処

問題が発生している場合は，詳細情報を参照し，必要に応じて要因を取り除いてください。

KEOS29473-E（C／W／F）

管理ユニットに起動可能な仮想サーバが存在しません。(管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットに起動可能な仮想サーバが存在しません。処理を中止します。

対処

管理ユニットがデプロイ済みか，またはすべての仮想サーバが障害中でないかを確認してください。

KEOS29474-I（C／W／F）

管理ユニットのスケールアウトに成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

管理ユニットのスケールアウトに成功しました。

KEOS29475-E（C／W／F）

指定された管理対象マシンは管理ユニットで使用していません。(管理ユニット名 = aa....aa, 管理対象マシン名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理対象マシン名

説明

指定した管理対象マシンは管理ユニットで使用していません。処理を中止します。

対処

管理ユニットで使用する管理対象マシンを指定して再度コマンドを実行してください。

KEOS29481-E（C／W／F）

指定された仮想サーバは存在しません。(仮想サーバ名 = aa....aa)

aa....aa：仮想サーバ名

説明

指定した仮想サーバは存在しません。処理を中止します。

対処

指定した仮想サーバ名を確認し，再度実行してください。

KEOS29482-E（C／W／F）

既に停止または障害中の仮想サーバです (仮想サーバ名 = aa....aa)

aa....aa：仮想サーバ名

説明

指定した仮想サーバはすでに停止または障害中です。処理を中止します。

対処

停止または障害中以外の仮想サーバを選択して，再度実行してください。

KEOS29484-I（C／W／F）

管理ユニットのスケールインに成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

管理ユニットのスケールインに成功しました。

KEOS29491-E（C／W／F）

管理ユニット運用ルールが開けません。管理ユニット名=aa....aa, 詳細情報=bb....bb

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：詳細情報

説明

管理ユニット運用ルールが開けません。コマンドの処理を中止します。

対処

管理ユニット運用ルールが壊れています。保守員に連絡してください。

KEOS29492-I（C／W／F）

管理ユニット運用ルールをエクスポートしました。(管理ユニット名=aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニット運用ルールをエクスポートしました。

KEOS29501-E（C／W／F）

管理ユニットで使用する管理対象マシン以外にデプロイされている仮想サーバの削除に失敗しました。(管理対象マシン名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理対象マシン名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

管理ユニットで使用しない管理対象マシンの仮想サーバの削除に失敗しました。処理を続行し，ほかの仮想サーバを起動します。

対処

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，仮想サーバを削除してください。

KEOS29502-E（C／W／F）

hosts ファイルの書き換え処理に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

hosts ファイルの書き換え処理に失敗しました。処理を中止します。

対処

このメッセージの直前に出力されているエラーメッセージの対処を参照してください。

エラーメッセージが出力されていない場合，仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

また，必要に応じて VMware vCenter Server から仮想サーバを停止してください。

vmx_create_unit または vmx_update_unit コマンドでエラーが発生した場合は，vmx_delete_unit コマンドでエラーとなった仮想アプリケーションサーバを削除し，再度実行してください。

vmx_rolling_update コマンドでエラーが発生した場合は，VMware vCenter Server から仮想サーバを停止して削除したあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29601-I（C）

Usage :

説明

コマンドの使用方法です。

KEOS29602-E（C）

Usage :

説明

コマンドの形式に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

Usage に表示された使用方法を確認してください。

正しいコマンド形式を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29603-E（C／F）

共通引数にホストまたはユーザ ID が指定されていません。

説明

共通引数にホストまたはユーザ ID が次のどれにも指定されていません。

- コマンドラインの引数
- .vmirc（クライアント設定プロパティファイル）
- vmiclient.properties（クライアント共通設定ファイル）

処理を中止します。

対処

- **共通引数に指定する場合**

  ホストまたはユーザ ID が指定されているかを確認してから，コマンドを再実行してください。

- **デフォルト値を使用する場合**

  .vmirc（クライアント設定プロパティファイル）または vmiclient.properties（クライアント共通設定ファイル）に，vmi.connect.m キーおよび vmi.connect.u キーが設定されているかを確認してから，再度コマンドを実行してください。

KEOS29604-E（C／F）

ホスト名またはポート番号の指定が不正です。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

ホスト名またはポート番号に不正な値が指定されています。

処理を中止します。

対処

- **共通引数に指定する場合**

  ホスト名およびポート番号の指定方法を確認してから，コマンドを再実行してください。

- **デフォルト値を使用する場合**

  .vmirc（クライアント設定プロパティファイル）または vmiclient.properties（クライアント共通設定ファイル）の vmi.connect.m キーに，不正な値が設定されていないか確認してから，再度コマンドを実行してください。

KEOS29605-E（C／F）

クライアントで通信障害が発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

クライアントで通信障害が発生しました。

処理を中止します。

対処

次の要因が考えられます。エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

- 仮想サーバマネージャが起動していません。
  仮想サーバマネージャの起動状態を確認してください。
- 共通引数の-m オプションで指定したホスト名またはポート番号に誤りがあります。
  共通引数の-m オプションで指定したホスト名およびポート番号の指定値を確認してください。デフォルト値を使用している場合は，.vmirc（クライアント設定プロパティファイル）または vmiclient.properties（クライアント共通設定ファイル）に，vmi.connect.m キーおよび vmi.connect.u キーが設定されているかを確認してください。
- 接続元と接続先の製品が接続できる組み合わせではありません。
  接続元と接続先の製品が接続できる組み合わせであるかを確認してください。
- ネットワークに問題があります。
  ネットワークの状態を確認してください。

KEOS29606-E（C／F）

一時ファイル作成時に障害が発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。要因として，詳細情報にファイル名が出力されている場合はそのファイル，詳細情報にファイル名が出力されていない場合は仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリ（vmi.properties の vmi.spool.dir キーに指定されたディレクトリ）に，次のどれかの問題があることが考えられます。

- アクセス権がありません。
- ディスク容量が枯渇しています。
- ディレクトリがありません。
- ディレクトリの作成に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報に出力されたファイル名，または仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリのアクセス権およびディスク容量を確認して，エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29607-I（F）

コマンドを開始します。 (コマンド = aa....aa, プロセス ID = bb....bb, 開始時刻 = cc....cc)

aa....aa：コマンドライン

bb....bb：プロセス ID

cc....cc：コマンド開始時刻

説明

メッセージに示すコマンドを開始します。

KEOS29608-I（F）

コマンドを終了します。 (プロセス ID = aa....aa, 開始時刻 = bb....bb, 終了コード = cc....cc)

aa....aa：プロセス ID

bb....bb：コマンド開始時刻

cc....cc：終了コード

説明

プロセス ID とコマンド開始時刻で示されるコマンドを終了します。

KEOS29609-E（C／F）

指定されたディレクトリは存在しません。 (ディレクトリパス = aa....aa)

aa....aa：ディレクトリパス

説明

指定したディレクトリは存在しません。次の要因が考えられます。

- 指定したディレクトリ名またはディレクトリパスに誤りがあります。
- 指定したディレクトリパスがファイルです。
- 指定したディレクトリパスにアクセス権限がありません。

処理を中止します。

対処

指定したディレクトリパスがディレクトリかどうか，またはディレクトリ名およびディレクトリパスを確認してください。ディレクトリパスに問題がない場合は，アクセス権限があるかどうかを確認してください。

正しいディレクトリを指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29610-E（C／F）

指定されたファイルは存在しません。 (ファイルパス = aa....aa)

aa....aa：ファイルパス

説明

指定したファイルは存在しません。

処理を中止します。

対処

次の要因が考えられます。それぞれの要因に応じて対処してください。

- ファイルパスの名称またはパスに誤りがあります。
  名称およびパスを確認してください。
- ファイルパスがディレクトリです。
  ファイルパスがファイルかどうか確認してください。
- ファイルパスにアクセス権がありません。
  ファイルパスに問題がない場合は，アクセス権限があるかどうか確認してください。

正しいファイルパスおよびアクセス権限のあるファイルパスを指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29611-E（C／F）

ファイルの読み込み時に障害が発生しました。 (ファイル名 ＝ aa....aa, 詳細情報 ＝ bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込み時に障害が発生しました。要因として，ファイルおよびディレクトリのアクセス権限，または入出力環境に問題があることが考えられます。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

ファイルの読み取り権限がない場合は，権限を付与してください。ファイルのアクセス権限に誤りがない場合に，再度コマンドを実行しても障害が回復しないときは，保守員に連絡してください。

KEOS29612-E（C／F）

必要なファイルが存在しません。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa, ファイル名 ＝ bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ファイル名

説明

<LB 接続情報の識別名>.properties または tierlb.properties（負荷分散機接続設定プロパティファイル）が，仮想サーバマネージャまたは定義ディレクトリにありません。

処理を中止します。

対処

<LB 接続情報の識別名>.properties または tierlb.properties（負荷分散機接続設定プロパティファイル）が次のディレクトリにあるか確認してください。

- 仮想サーバマネージャが Windows の場合
  仮想サーバマネージャの<Application Server のインストールディレクトリ>¥manager¥vmi¥config¥lb ディレクトリ
- 仮想サーバマネージャが UNIX の場合
  仮想サーバマネージャの/opt/Cosminexus/manager/vmi/config/lb ディレクトリ
- 定義ディレクトリ

<LB 接続情報の識別名>.properties または tierlb.properties（負荷分散機接続設定プロパティファイル）を適切な場所に格納し，再度コマンドを実行してください。

KEOS29613-I（F）

仮想サーバマネージャを開始しました。

説明

仮想サーバマネージャを開始しました。

KEOS29614-E（F）

仮想サーバマネージャの開始に失敗しました。

説明

仮想サーバマネージャの開始に失敗しました。要因として，仮想サーバマネージャの実行環境に問題があることが考えられます。

処理を中止します。

対処

直前に出力されたメッセージを参照してエラーの要因を取り除いたあと，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29615-I（F）

仮想サーバマネージャを終了しました。

説明

仮想サーバマネージャを終了しました。

KEOS29616-E（F）

必要なプロパティが指定されていません。 (aa....aa) (ファイル名 = bb....bb)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：ファイル名

説明

必要なプロパティが指定されていません。

処理を中止します。

対処

ファイルの内容を確認してエラーの要因を取り除いたあと，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29618-W（F）

プロパティに不正な値が指定されました。 (aa....aa = bb....bb) デフォルト値(cc....cc)を使用します。 (ファイル名 = dd....dd)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：プロパティの指定値（不正値）

cc....cc：プロパティのデフォルト値

dd....dd：ファイル名

説明

プロパティに不正な値が指定されました。デフォルト値を使用します。

処理を継続します。

対処

ファイルの内容を確認してください。

必要に応じてワーニングの要因を取り除いたあと，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29619-I（F）

ディレクトリ(aa....aa = bb....bb)を作成しました。

aa....aa：ディレクトリ種別

bb....bb：ディレクトリ名

説明

ディレクトリを作成しました。

KEOS29620-E（F）

ディレクトリ(aa....aa = bb....bb)の作成に失敗しました。

aa....aa：ディレクトリ種別

bb....bb：ディレクトリ名

説明

ディレクトリの作成に失敗しました。要因として，ディレクトリのアクセス権が不正であることが考えられます。

処理を継続します。

対処

ディレクトリのアクセス権を確認してください。

必要に応じてエラーの要因を取り除いたあと，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29621-E（F）

ファイルの読み込みに失敗しました。 (ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの読み込みに失敗しました。要因として，ファイルのアクセス権が不正であることが考えられます。

処理を継続します。

対処

ファイルのアクセス権を確認してください。

必要に応じてエラーの要因を取り除いたあと，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29622-E（C／F）

内部状態の保存に失敗しました。 (処理結果 = aa....aa, ファイル名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：内部状態の保存以外の処理結果（保存に失敗しなかった場合のコマンドの戻り値）

bb....bb：保存に失敗したファイル名

cc....cc：詳細情報

説明

内部状態の保存に失敗しました。次の要因が考えられます。

- ファイルの権限が不正です。
- ディスクに空き領域がありません。
- ディスクに障害が発生しています。

処理を継続します。

対処

- ファイルの権限，およびディスクの状態を確認してください。
- 処理結果が 0 の場合，エラーの要因を取り除いたあと，実行したコマンドに応じて次の対処をしてください。

コマンド名		対処
vmiaccount	create	追加したアカウントを削除したあと，再度そのアカウントを追加してください。
	delete	削除したアカウントを追加したあと，再度そのアカウントを削除してください。
	password	パスワードを再度変更してください。
vmiunitadmin	changeowner	所有者を変更前のアカウントに変更したあと，再度その所有者を変更してください。
	create	作成した管理ユニットを削除したあと，再度その管理ユニットを作成してください。
	delete	削除した管理ユニットを作成したあと，再度その管理ユニットを削除してください。
vmiunit	attach	登録した仮想サーバを登録解除したあと，再度その仮想サーバを登録してください。
	detach	登録解除した仮想サーバを登録したあと，再度その仮想サーバを登録解除してください。
上記以外		新規の仮想サーバを登録したあと，その仮想サーバを登録解除してください。

- 処理結果が 0 以外の場合，エラーの要因を取り除いたあと，直前に出力されたメッセージに従って対処してください。

KEOS29623-I（F）

仮想サーバマネージャのコマンド処理を開始します。 (クライアント = aa....aa)

aa....aa：接続元のホスト

説明

仮想サーバマネージャのコマンドの処理を開始します。

KEOS29624-I（F）

仮想サーバマネージャのコマンド処理を終了します。

説明

仮想サーバマネージャのコマンドの処理を終了します。

KEOS29626-E（C／F）

内部エラーが発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

内部エラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

保守員に連絡してください。

KEOS29627-I（C／F）

aa....aa の処理を受け付けました。

aa....aa：コマンド名

説明

コマンドの処理を受け付けました。コマンド名=aa....aa

KEOS29628-I（F）

aa....aa コマンドの処理を開始します。

aa....aa：コマンド名

説明

コマンドの処理を開始します。

KEOS29629-I（F）

aa....aa コマンドの処理が終了しました。 (終了コード = bb....bb)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：終了コード

説明

コマンドの処理が終了しました。

KEOS29630-E（C／F）

仮想サーバマネージャで通信障害が発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

仮想サーバマネージャで通信障害が発生しました。要因として，仮想サーバマネージャとコマンドを実行したクライアントとの通信に問題があることが考えられます。

処理を中止します。

対処

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。再度コマンドを実行しても障害が回復しない場合は，保守員に連絡してください。

KEOS29631-E（C／F）

ユーザ ID またはユーザパスワードが不正です。

説明

ユーザ ID またはユーザパスワードに誤りがあります。

処理を中止します。

対処

指定したユーザ ID およびユーザパスワードを確認してください。

正しいユーザ ID およびユーザパスワードを指定して，再度実行してください。

KEOS29632-E（C／F）

仮想サーバマネージャの機能を利用する設定になっていないか，仮想サーバマネージャの起動が完了していないため，接続できません。

説明

Management Server を仮想サーバマネージャとして動作させる設定になっていないか，仮想サーバマネージャの起動が完了していないため，接続できません。

処理を中止します。

対処

- mserver.properties（Management Server 環境設定ファイル）の com.cosminexus.mngsvr.vmi.enabled キーに true が設定されているか確認してください。false が設定されている場合は，true に設定して，仮想サーバマネージャを再起動してください。すでに true が設定されている場合は，しばらく待ったあとで再度コマンドを実行してください。
- 仮想サーバマネージャの起動が完了しているか確認してください。

KEOS29633-E（F）

サーバ通信エージェントからエラーレスポンスが返ってきました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：レスポンスコード

説明

サーバ通信エージェントからエラーレスポンスが返されました。要因として，サーバ通信エージェントが仮想サーバマネージャのアクセスを許可していないか，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

サーバ通信エージェント側の sinaviagent.properties の sinaviagent.permitted.hosts プロパティ，および詳細情報のレスポンスコードを確認してください。

sinaviagent.properties の sinaviagent.permitted.hosts プロパティに仮想サーバマネージャの IP アドレスを設定し，アクセスを許可してください。すでに許可している場合は，サーバ通信エージェントのレスポンスコードに従って対処してください。

KEOS29634-E（F）

ファイルのダウンロード処理でエラーが発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：例外

説明

ファイルのダウンロード処理でエラーが発生しました。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

詳細情報，またはサーバ通信エージェントのログを確認してください。次の例外が出力されている場合は，例外ごとの確認をしてください。

また，詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いてください。

vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の設定に問題がある場合は，設定を変更し，仮想サーバマネージャを再起動してください。

- FileNotFoundException

  仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリ（vmi.properties の vmi.spool.dir キーに指定されたディレクトリ）があるか確認してください。

- IOException

  仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリ（vmi.properties の vmi.spool.dir キーに指定されたディレクトリ）のアクセス権，およびディスク容量を確認してください。

- SocketIOException

  ネットワーク環境，サーバ通信エージェントのポート番号，および vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の次のキーの設定を確認してください。

  vmi.serverconnectionagent.connect.timeout

  vmi.serverconnectionagent.socket.timeout

KEOS29635-E（F）

ファイルのダウンロード処理中にサーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：例外

説明

ファイルのダウンロード処理中にサーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

詳細情報またはサーバ通信エージェントのログを確認してください。次の例外が出力されている場合は，例外ごとの確認をしてください。

また，詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いてください。

vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の設定に問題がある場合は，設定を変更し，仮想サーバマネージャを再起動してください。

- DuplicateFileNameException
  出力されているサーバ通信エージェント側が転送する，ファイルまたはディレクトリが重複していないか確認してください。
- FileNotFoundException
  出力されているサーバ通信エージェント側が転送する，ファイルまたはディレクトリがあるか確認してください。
- IOException
  出力されているサーバ通信エージェント側が転送する，ファイルまたはディレクトリのアクセス権およびディスク容量を確認してください。
- SocketIOException
  ネットワーク環境，サーバ通信エージェントのポート番号，および vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の次のキーの設定を確認してください。
  vmi.serverconnectionagent.connect.timeout
  vmi.serverconnectionagent.socket.timeout

KEOS29636-E（F）

サーバ通信エージェントのバージョンが不整合です。

説明

サーバ通信エージェントのバージョンが不整合です。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

仮想サーバ上で動作するアプリケーションサーバに，仮想サーバマネージャがサポートするアプリケーションサーバのバージョンを使用しているか確認してください。

KEOS29637-E（F）

コマンドの実行でタイムアウトが発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：プロセス ID

説明

コマンドの実行でタイムアウトが発生しました。要因として，サーバ通信エージェントで実行されたプロセスが終了しないか，終了までに時間が掛かっています。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

詳細情報に出力されたプロセスの状態を確認してください。また，このプロセスから起動された子プロセスの状態も確認してください。

タイムアウト値を確認したい場合は，vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の次のキーの設定を確認してください。

vmi.serverconnectionagent.exec.timeout

必要に応じて，プロセスを強制終了してください。vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の設定に問題がある場合は，設定を変更し，仮想サーバマネージャを再起動してください。

KEOS29638-E（C／F）

指定された管理ユニットは存在しません。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットがありません。要因として，指定された管理ユニット名に誤りがあることが考えられます。

処理を中止します。

対処

管理ユニット名を確認してください。管理ユニット名に問題がない場合は，仮想サーバマネージャ管理者に問い合わせて，管理ユニットの有無を確認してください。

正しい管理ユニット名を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29639-E（C／F）

指定された管理ユニットは既に存在します。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットはすでにあります。要因として，指定された管理ユニット名で，すでに管理ユニットが作成されていることが考えられます。

処理を中止します。

対処

所有している管理ユニット名を確認してください。管理ユニット名に問題がない場合は，仮想サーバマネージャ管理者に問い合わせて，同じ名称でほかのユーザが作成した管理ユニットがないかを確認してください。

すでに作成された管理ユニットと重複しない管理ユニット名を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29640-E（F）

ファイルのアップロード処理でエラーが発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：例外

説明

ファイルのアップロード処理でエラーが発生しました。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

詳細情報またはサーバ通信エージェントのログを確認してください。次の例外が出力されている場合は，例外ごとの確認をしてください。

また，詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いてください。

vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の設定に問題がある場合は，設定を変更し，仮想サーバマネージャを再起動してください。

- DuplicateFileNameException
  出力されている仮想サーバマネージャ側が転送する，ファイルまたはディレクトリが重複していないか確認してください。
- FileNotFoundException
  出力されている仮想サーバマネージャ側が転送する，ファイルまたはディレクトリがあるか確認してください。
- IOException
  仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリ（vmi.properties の vmi.spool.dir キー）のアクセス権，およびディスク容量を確認してください。
- SocketIOException
  ネットワーク環境，サーバ通信エージェントのポート番号，および vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の次のキーの設定を確認してください。
  vmi.serverconnectionagent.connect.timeout
  vmi.serverconnectionagent.socket.timeout

KEOS29641-E（F）

ファイルのアップロード処理中にサーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：例外

説明

ファイルのアップロード処理中にサーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

詳細情報またはサーバ通信エージェントのログを確認してください。次の例外が出力されている場合は，例外ごとの確認をしてください。

また，詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いてください。

vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の設定に問題がある場合は，設定を変更し，仮想サーバマネージャを再起動してください。

- FileNotFoundException
  出力されているサーバ通信エージェント側の転送先ディレクトリがあるか確認してください。
- IOException

出力されているサーバ通信エージェント側の転送先ディレクトリのアクセス権およびディスク容量を確認してください。

- SocketIOException

  ネットワーク環境，サーバ通信エージェントのポート番号，および vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の次のキーの設定を確認してください。

  vmi.serverconnectionagent.connect.timeout

  vmi.serverconnectionagent.socket.timeout

KEOS29642-E（F）

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。 (詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：例外

説明

サーバ通信エージェントの処理でエラーが発生しました。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。

次のコマンドで仮想サーバ識別子を指定している場合，処理を中止します。

- 管理ユニットまたは仮想サーバの起動コマンド
- 管理ユニットまたは仮想サーバの停止コマンド

それ以外の場合は処理を継続します。

対処

詳細情報またはサーバ通信エージェントのログを確認してください。次の例外が出力されている場合は，例外ごとの確認をしてください。

また，詳細情報に従ってエラーの要因を取り除いてください。必要に応じてプロセスを強制終了してください。

vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の設定に問題がある場合は，設定を変更し，仮想サーバマネージャを再起動してください。

- CommandInterruptedException

  サーバ通信エージェントの状態と，実行中のプロセスの状態を確認してください。

- IOException

  出力されているファイルのアクセス権を確認してください。

- SocketIOException

  ネットワーク環境，サーバ通信エージェントのポート番号，および vmi.properties（仮想サーバマネージャプロパティファイル）の次のキーの設定を確認してください。

  vmi.serverconnectionagent.connect.timeout

  vmi.serverconnectionagent.socket.timeout

KEOS29643-E（C／F）

簡易構築定義ファイルに指定できない記述があります。 (ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

指定した定義ディレクトリに格納されている簡易構築定義ファイル（DefModel.xml）の記述に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度 vmiunit import コマンドを実行してください。

表 13–11　KEOS29643-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
<model-definition>の xmlns 属性に，使用できない XML 名前空間が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：<model-definition> の xmlns 属性に指定された値	簡易構築定義ファイルの<model-definition>に，使用できない XML 名前空間が指定されています。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。 このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です。
<model-definition>の xmlns 属性で, XML 名前空間が指定されていません。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。 このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です。
<model-definition>-<web-system>の定義がありません。	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<web-system>の定義がありません。	簡易構築定義ファイル中に Web システムの定義(<model-definition>-<web-system>)を追加してください。
複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<web-system>の定義を一つにしてください。
複数の<web-system>-<tier>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<tier>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<tier>の定義を一つにしてください。
<tier>-<tier-type>の値に指定できない値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<tier-type>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<tier-type>の値として使用できない値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<tier-type>に使用できる値を指定してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の値として"1"以外の値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<j2ee-server-count>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値として"1"以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>タグの指定を削除してください。または，<tier>-<j2ee-server-count>の値として"1"を指定してください。

詳細情報	説明	対処
複数の<web-system>-<unit>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<unit>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<unit>の定義を一つにしてください。
<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値が aa....aa である項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。 aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値が aa....aa である項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別が aa....aa である論理サーバの定義に，次のような<logical-server-name>タグを追加し，論理サーバ名を定義してください。 <unit> <allocated-host> <define-server> <logical-server-type>aa....aa</logical-server-type> <logical-server-name>論理サーバ名</logical-server-name>
<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値に指定できない値が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として使用できない値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値に使用できる値を指定してください。
複数の<model-definition>-<host>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<host>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>の定義を一つにしてください。
<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として"localhost"以外の値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<host-ref>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として"localhost"以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として"localhost"を指定してください。
<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"localhost"以外の値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<host-name>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"localhost"以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"localhost"を指定してください。
<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"localhost"以外の値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<agent-host>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"localhost"以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"localhost"を指定してください。
<web-system>-<load-balancer>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに<web-system>-<load-balancer>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<load-balancer>の定義を削除してください。

詳細情報	説明	対処
物理ティア aa....aa に<tier>-<j2ee-server-count>は指定できません。 aa....aa：ティアの種類	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>の定義を削除してください。
論理サーバ種別 aa....aa に<server-no>は指定できません。 aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに論理サーバ種別が"j2ee-server"以外の論理サーバで<server-no>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別が"j2ee-server"以外の論理サーバに対する<server-no>の定義を削除してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の指定値が 0 の場合は論理サーバ種別 j2ee-server を指定できません。	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値が"0"の場合に，論理サーバ種別"j2ee-server"が定義されています。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別"j2ee-server"の定義を削除してください。
<server-no>の値（aa....aa）に，<tier>-<j2ee-server-count>の値（bb....bb）より大きい値が指定されています。 aa....aa：<server-no>に指定された値 bb....bb：<j2ee-server-count>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値より大きい値が<server-no>の値として定義されています。	簡易構築定義ファイルの<server-no>の値に，<tier>-<j2ee-server-count>の値より小さい値を指定してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の値（aa....aa）に対し，<unit>-<allocated-host>-<define-server>の定義が不足しています。 aa....aa：<j2ee-server-count>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値に対する<unit>-<allocated-host>-<define-server>の定義が不足しています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>の値の数だけ論理サーバ種別が"j2ee-server"である<unit>-<allocated-host>-<define-server>を定義してください。
<tier>-<j2ee-server-count>が指定されていない場合，<server-no>は指定できません。	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の定義がない場合，<server-no>は定義できません。	簡易構築定義ファイルの<server-no>の定義を削除してください。
論理サーバ種別が"j2ee-server"である論理サーバ定義に<server-no>が指定されていません。(ユニット名 = aa....aa) aa....aa：ユニット名	簡易構築定義ファイルに論理サーバ種別が"j2ee-server"である論理サーバ定義に対して<server-no>が定義されていません。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別が"j2ee-server"である論理サーバ定義に，<server-no>を定義してください。

KEOS29644-E（C／F）

簡易構築定義ファイルの構文にエラーがあります。 (ファイル名 = aa....aa, 行番号 = bb....bb, 列番号 = cc....cc, 詳細情報 = dd....dd)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行番号

cc....cc：列番号

dd....dd：詳細情報

説明

指定された簡易構築定義ファイル（DefModel.xml）の構文にエラーがあります。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29645-E（C／F）

仮想サーバグループ情報ファイルの構文にエラーがあります。 (ファイル名 = aa....aa, 行番号 = bb....bb, 列番号 = cc....cc, 詳細情報 = dd....dd)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：行番号

cc....cc：列番号

dd....dd：詳細情報

説明

仮想サーバグループ情報ファイルの構文にエラーがあります。

処理を中止します。

対処

仮想サーバグループ情報ファイルの内容を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29646-E（C／F）

xml ファイルの解析時にエラーが発生しました。 (ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

xml ファイルの解析時にエラーが発生しました。指定された簡易構築定義ファイル（DefModel.xml）に重大な構成エラーがあります。

処理を中止します。

対処

簡易構築定義ファイルの内容を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KEOS29647-E（C／F）

引数に指定された値が不正です。 (オプション = aa....aa, 値 = bb....bb)

aa....aa：オプション名

bb....bb：値

説明

引数に指定した値が不正です。

処理を中止します。

対処

エラーとなった引数に指定できる文字制限を確認してください。引数に指定できる文字制限については，マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編」の「9. 仮想化システムで使用するコマンド」を参照してください。

指定できる値を設定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29648-E（C／F）

指定されたユーザ ID は既に仮想サーバマネージャ管理者アカウントに存在します。 (ユーザ ID = aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

指定されたシステム構築者アカウントのユーザ ID が，仮想サーバマネージャ管理者アカウントと重複しています。

処理を中止します。

対処

管理している仮想サーバマネージャ管理者アカウントのユーザ ID を確認してください。

仮想サーバマネージャ管理者アカウントと異なるユーザ ID を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29649-E（C／F）

指定されたユーザ ID は既に存在します。 (ユーザ ID = aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

指定されたユーザ ID は，すでにシステム構築者アカウントで使用されています。

処理を中止します。

対処

vmiaccount list コマンドを実行して，登録済みのユーザ ID を確認してください。登録済みのユーザ ID と異なるユーザ ID を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29650-I（C／F）

システム構築者アカウントの追加に成功しました。 (ユーザ ID = aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

システム構築者アカウントの追加に成功しました。

KEOS29651-E（C／F）

指定されたユーザ ID は仮想サーバマネージャ管理者アカウントのユーザ ID のため，操作できません。 (ユーザ ID = aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

指定されたユーザ ID は仮想サーバマネージャ管理者アカウントのため，パスワード変更または削除はできません。

処理を中止します。

対処

管理している仮想サーバマネージャ管理者アカウントのユーザ ID を確認してください。また，vmiaccount list コマンドを実行して登録済みのユーザ ID を確認してください。

正しいシステム構築者アカウントのユーザ ID を指定してコマンドを再実行してください。

仮想サーバマネージャ管理者アカウントのパスワードを変更する場合は，mngsvrctl コマンドを使用してください。

KEOS29652-E（C／F）

指定されたユーザ ID は管理ユニットを所有しているため，削除できません。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定されたシステム構築者アカウントのユーザ ID は管理ユニットを所有しているため，削除できません。

処理を中止します。

対処

vmiunit info コマンドで所有者を確認してください。

指定したシステム構築者アカウントのユーザ ID が管理ユニットの所有者と異なる状態にして，再度コマンドを実行してください。

KEOS29653-I（C／F）

システム構築者アカウントの削除に成功しました。 (ユーザ ID ＝ aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

システム構築者アカウントの削除に成功しました。

KEOS29654-E（C／F）

コマンドのオプションに誤りがあります。 (詳細情報 ＝ aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

指定されたオプションに誤りがあります。

処理を中止します。

対処

指定したコマンドのオプションを確認してください。

次の表に示す詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

表 13-12　KEOS29654-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
誤ったオプションが指定されています。 (オプション ＝ aa....aa) aa....aa：オプション	指定したコマンドのオプションに誤りがあります。	コマンドのオプションを見直してください。

詳細情報	説明	対処
必要なオプションが指定されていません。(オプション = aa....aa) aa....aa：オプション	必要なオプションが指定されていません。	コマンドのオプションを見直してください。

KEOS29655-E（C／F）

指定されたユーザ ID は存在しません。(ユーザ ID = aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

指定されたユーザ ID はシステム構築者アカウントにありません。要因として，指定したユーザ ID に誤りがあることが考えられます。

処理を中止します。

対処

vmiaccount list コマンドを実行して，ユーザ ID の有無を確認してください。

存在するシステム構築者のユーザ ID を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29656-I（C／F）

システム構築者アカウントのユーザパスワード変更に成功しました。(ユーザ ID = aa....aa)

aa....aa：ユーザ ID

説明

システム構築者アカウントのユーザパスワード変更に成功しました。

KEOS29657-W（C／F）

指定の管理ユニットは，既に指定のユーザ ID の所有者です。(管理ユニット名 = aa....aa, ユーザ ID = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ユーザ ID

説明

指定されたユーザ ID は，すでに管理ユニットの所有者です。

処理は行わないで，コマンドを終了します。

対処

指定した管理ユニット名また所有者名を確認してください。問題がない場合は，仮想サーバマネージャ管理者に問い合わせて，管理ユニットの所有者を確認してください。

KEOS29658-I（C／F）

管理ユニットの所有者の変更に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 所有者 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：所有者

説明

管理ユニットの所有者の変更に成功しました。

KEOS29659-E（C／F）

処理待機中に割り込みが発生しました。 (詳細情報 ＝ aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

処理待機中に割り込みが発生しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29660-E（C／F）

指定された時間内に処理が開始できませんでした。

説明

指定された時間内に処理が開始できませんでした。要因として，実行待ち時間内にほかのコマンドが終了しなかったことが考えられます。

処理を中止します。

対処

次の実行待ち時間の値を確認してください。

- 共通引数の-wait オプションで指定した値。
- .vmirc（クライアント設定プロパティファイル）または vmiclient.properties（クライアント共通設定ファイル）の vmi.connect.wait キーに指定した値。

ほかのコマンドが終了したあと，または実行待ち時間の値を延ばして，再度コマンドを実行してください。

KEOS29661-I（C／F）

管理ユニットの作成に成功しました。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの作成に成功しました。

KEOS29662-E（C／F）

指定された管理ユニットに仮想サーバが登録されているため，削除できません。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットに仮想サーバが登録されているため，削除できません。

処理を中止します。

対処

vmiunit list コマンドで管理ユニット内の仮想サーバの有無を確認してください。

vmiunit detach コマンドで管理ユニットに登録されている仮想サーバをすべて解除して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29663-I（C／F）

管理ユニットの削除に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの削除に成功しました。

KEOS29664-W（C／F）

指定された管理ユニットに仮想サーバが登録されていません。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットに仮想サーバが登録されていません。

処理は行わないで，コマンドを終了します。

対処

vmiunit list コマンドで管理ユニット内の仮想サーバの有無を確認してください。

仮想サーバの登録および管理ユニットへの定義の反映をしてから，再度コマンドを実行してください。

KEOS29665-E（C／F）

指定された管理ユニットに仮想サーバが登録されていません。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットに仮想サーバが登録されていません。

処理を中止します。

対処

vmiunit list コマンドで管理ユニット内の仮想サーバの有無を確認してください。

正しい管理ユニット名を指定してから，再度コマンドを実行してください。

KEOS29666-I（C／F）

仮想サーバの起動に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバの起動に成功しました。

KEOS29667-I（C／F）

管理ユニットの起動に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：起動が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：起動が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットの起動に成功しました。

KEOS29668-W（C／F）

管理ユニットの起動に一部失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：起動が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：起動が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットの起動に一部失敗しました。

管理ユニットに次の仮想サーバが含まれています。

- 起動に成功した仮想サーバ
- 起動に失敗した仮想サーバ

対処

このメッセージよりも前に出力されているメッセージに，仮想サーバの起動に成功したインフォメーションメッセージと失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの起動に失敗したエラーメッセージに対する対処をしてください。

KEOS29669-E（C／F）

管理ユニットの起動に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：起動が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：起動が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットの起動に失敗しました。管理ユニットに，起動に失敗した仮想サーバが含まれます。起動に成功した仮想サーバはありません。

処理を中止します。

対処

このメッセージよりも前に出力されているメッセージに，仮想サーバの起動に失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの起動に失敗したエラーメッセージに対する対処をしてください。

KEOS29670-I（C／F）

仮想サーバの起動を行いませんでした。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバを起動しませんでした。

表 13–13　KEOS29670-I に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
既に稼働しています。	すでに稼働中です。	－

（凡例）－：該当なし。

KEOS29673-I（F）

仮想サーバを起動します。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバを起動します。

KEOS29674-W（F）

仮想サーバを起動します。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバを起動します。

論理ステータスと実ステータスが一致していません。

処理を継続します。

対処

vmiunit status コマンドを実行して，仮想サーバの論理ステータスと実ステータスを確認してください。

次の表に示す詳細情報を確認してください。また，必要に応じて，仮想サーバを停止してください。

表 13-14　KEOS29674-W に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
ステータスが不一致です。 (論理ステータス = aa....aa, 実ステータス = bb....bb) aa....aa：論理ステータス bb....bb：実ステータス	仮想サーバの論理ステータスと実ステータスが不一致です。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスと実ステータスを確認してください。 この仮想サーバに対して，vmiunit start コマンドまたは vmiunit stop コマンドを実行し，ステータスを合わせてください。

KEOS29675-E（C／F）

ファイルの書き込みに失敗しました。 (ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

ファイルの書き込みに失敗しました。次の要因が考えられます。

- 書き込み先ファイルまたはディレクトリにアクセス権限がありません。
- 書きこみ先のディスク容量が枯渇しています。
- 書き込み先ディレクトリが存在しません。
- ディレクトリの作成に失敗しました。

処理を中止します。

対処

出力先ディレクトリのパスに誤りがないか，または出力先ディレクトリのアクセス権およびディスク容量を確認してください。詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29676-E（C／F）

仮想サーバの起動に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの起動に失敗しました。要因として，仮想サーバの起動処理で問題が発生したか，起動処理を実行できる条件を満たしていないことが考えられます。

仮想サーバ識別子を指定している場合は処理を中止します。仮想サーバ識別子を指定していない場合は処理を継続します。

対処

詳細情報を基に対処してください。

論理ステータスが障害になった仮想サーバを再起動したい場合は，vmiunit detach コマンドを実行して起動に失敗した仮想サーバを管理ユニットから外し，vmiunit attach コマンドを実行して再度管理ユニットに登録したあと，vmiunit update コマンドで反映してください。その後，再度コマンドを実行してください。

表 13-15　KEOS29676-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
論理ステータスが未構築状態です。	論理ステータスが未構築状態です。	vmiunit status コマンドで論理ステータスを確認してください。 vmiunit update コマンドで仮想サーバを構築して，再度コマンドを実行してください。
仮想サーバの定義が管理ユニットの定義と異なります。	仮想サーバの定義が管理ユニットの定義と異なります。	vmiunit status コマンドで定義の変更範囲を確認してください。 vmiunit update コマンドで定義を最新にしてから再度実行してください。
運用管理エージェントの起動に失敗しました。	運用管理エージェントの起動に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 定義ファイルにある運用管理エージェントの設定に問題があります。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの原因を取り除いてください。 • 運用管理エージェントのログ • サーバ通信エージェントのログ
Management Server の起動に失敗しました。	Management Server の起動に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 定義ファイルにある Management Server の設定に問題があります。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの原因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ
Web システムの起動に失敗しました。	Web システムの起動に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 定義ファイルにある簡易構築定義ファイルの設定に問題があります。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの原因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ
論理ステータスが障害状態です。	仮想サーバの論理ステータスが障害状態のため操作できません。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。 この仮想サーバを復旧させたい場合は，一度，vmiunit detach コマンドで管理ユニットから登録を解除し，vmiunit attach コマンドで管理ユニットに再度登録してください。
処理を実行できない論理ステータスです。 (論理ステータス = aa....aa) aa....aa：論理ステータス	仮想サーバの論理ステータスが，"起動中"，"停止中"，または"反映中"のため，処理を実行できません。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。

詳細情報	説明	対処
処理を実行できない論理ステータスです。 (論理ステータス = aa....aa) aa....aa：論理ステータス	仮想サーバの論理ステータスが，"起動中"，"停止中"，または"反映中"のため，処理を実行できません。	この仮想サーバを復旧させたい場合は，一度，vmiunit detach コマンドで管理ユニットから登録を解除し，vmiunit attach コマンドで管理ユニットに再度登録してください。
仮想サーバに接続できません。	仮想サーバに接続できません。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。	仮想サーバの電源状態を確認してください。 • 電源が ON の場合：仮想サーバ側のサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 仮想サーバの電源が OFF の場合：電源を ON にしてください。
一時ファイル作成時に障害が発生しました。 (詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	一時ファイル作成時に障害が発生しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 作成しようとしたファイルまたはディレクトリの親ディレクトリにアクセス権がありません。	詳細情報，または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。
アプリケーションの開始に失敗しました。 (J2EE サーバ名 = aa....aa，ポート番号 = bb....bb，アプリケーション名 = cc....cc) aa....aa：J2EE サーバ名 bb....bb：ネーミングサービスのポート番号 cc....cc：アプリケーション名	アプリケーションの開始に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • アプリケーションに問題があります。	詳細情報，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • サーバ管理コマンドのログ • サーバ通信エージェントのログ
運用管理エージェントの稼働確認に失敗しました。	運用管理エージェントの稼働確認に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 運用管理エージェントのプロセスに問題があります。	リターンコード，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 運用管理エージェントのログ • サーバ通信エージェントのログ
Management Server の稼働確認に失敗しました。	Management Server の稼働確認に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • Management Server のプロセスに問題があります。	リターンコード，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ

詳細情報	説明	対処
Webシステムの稼働確認に失敗しました。(Webシステム名 = aa....aa, サービスユニット名 = bb....bb) aa....aa：Webシステム名 bb....bb：サービスユニット名	Webシステムの稼働確認に失敗しました。要因として, 次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • 仮想サーバのディスク容量が枯渇しています。 • cmx_list_statusコマンドの実行に失敗しました。	リターンコード, または仮想サーバの次のログを確認して, エラーの要因を取り除いてください。 • Management Serverのログ • サーバ通信エージェントのログ
アプリケーションの状態取得に失敗しました。(J2EEサーバ名 = aa....aa, ポート番号 = bb....bb) aa....aa：J2EEサーバ名 bb....bb:ネーミングサービスのポート番号	アプリケーションの状態取得に失敗しました。要因として次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • 仮想サーバのディスク容量が枯渇しています。 • cjlistappコマンドの実行に失敗しました。	リターンコード, または仮想サーバの次のログを確認して, エラーの要因を取り除いてください。 • サーバ管理コマンドのログ • サーバ通信エージェントのログ

KEOS29677-I（C／F）

仮想サーバの停止に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

管理ユニットの停止に成功しました。

KEOS29678-I（C／F）

管理ユニットの停止に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：停止が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：停止が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットの停止に成功しました。

KEOS29679-W（C／F）

管理ユニットの停止に一部失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：停止が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：停止が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットの停止に一部失敗しました。管理ユニットに，停止に成功した仮想サーバ，および停止に失敗した仮想サーバが含まれています。

対処

このメッセージよりも前に出力されているメッセージに，仮想サーバの停止に成功したインフォメーションメッセージと失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの停止に失敗したエラーメッセージに対する対処をしてください。

KEOS29680-E（C／F）

管理ユニットの停止に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：停止が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：停止が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットの停止に失敗しました。管理ユニットに，停止に失敗した仮想サーバが含まれています。停止に成功した仮想サーバは含まれていません。

処理を中止します。

対処

このメッセージよりも前に出力されているメッセージに，仮想サーバの停止に失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの停止に失敗したエラーメッセージに対する対処をしてください。

KEOS29681-I（C／F）

仮想サーバの停止を行いませんでした。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバを停止しませんでした。

表 13-16　KEOS29681-I に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
既に停止しています。	すでに停止しています。	－

（凡例）－：該当なし。

KEOS29684-I（F）

仮想サーバを停止します。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバを停止します。

KEOS29685-W（F）

仮想サーバを停止します。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバを停止します。論理ステータスと実ステータスが一致していません。

処理を継続します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスと実ステータスを確認してください。また，詳細情報を確認してください。必要に応じて，仮想サーバを停止してください。

表 13-17　KEOS29685-W に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
実ステータスが不正です。 (実ステータス = aa....aa) aa....aa：実ステータス	仮想サーバの実ステータスが不正です。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの実ステータスを確認してください。 コマンドの実行結果に応じて，コマンドを再度実行してください。
ステータスが不一致です。 (論理ステータス = aa....aa, 実ステータス = bb....bb) aa....aa：論理ステータス bb....bb：実ステータス	仮想サーバの論理ステータスと実ステータスが不一致です。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスと実ステータスを確認してください。 この仮想サーバに対して，vmiunit start コマンドまたは vmiunit stop コマンドを実行し，ステータスを合わせてください。

KEOS29686-I（C／F）

負荷分散機の操作に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

説明

負荷分散機の操作に成功しました。

KEOS29687-E（C／F）

仮想サーバの停止に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの停止に失敗しました。要因として，仮想サーバの停止処理で問題が発生したか，停止処理を実行できる条件を満たしていないことが考えられます。

仮想サーバ識別子を指定している場合は処理を中止します。仮想サーバ識別子を指定していない場合は処理を継続します。

対処

詳細情報を基に対処してください。

論理ステータスが障害になった仮想サーバを復旧したい場合は，vmiunit detach コマンドを実行して停止に失敗した仮想サーバを管理ユニットから外し，vmiunit attach コマンドを実行して再度管理ユニットに登録したあと，vmiunit update コマンドで反映してください。

表 13-18　KEOS29687-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
論理ステータスが未構築状態です。	論理ステータスが未構築状態です。	vmiunit status コマンドで論理ステータスを確認してください。 vmiunit update コマンドで仮想サーバを構築して，再度コマンドを実行してください。
運用管理エージェントの停止に失敗しました。	運用管理エージェントの停止に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 運用管理エージェントのプロセスが異常です。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 運用管理エージェントのログ • サーバ通信エージェントのログ
Management Server の停止に失敗しました。	Management Server の停止に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • Management Server のプロセスが異常です。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ
Web システムの停止に失敗しました。	Web システムの停止に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ

詳細情報	説明	対処
Webシステムの停止に失敗しました。	• サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • Webシステムの設定に問題があります。	• サーバ通信エージェントのログ
処理を実行できない論理ステータスです。 (論理ステータス = aa....aa) aa....aa：論理ステータス	仮想サーバの論理ステータスが，"起動中"，"停止中"，または"反映中"のため，処理を実行できません。	vmiunit statusコマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。 この仮想サーバを復旧したい場合は，vmiunit detachコマンドで管理ユニットから登録を解除し，vmiunit attachコマンドで管理ユニットに再度登録してください。
仮想サーバに接続できません。	仮想サーバに接続できません。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。	仮想サーバの電源状態を確認してください。 • 電源がONの場合：仮想サーバ側のサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 仮想サーバの電源がOFFの場合：電源をONにしてください。
一時ファイル作成時に障害が発生しました。 (詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	一時ファイル作成時に障害が発生しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 作成しようとしたファイルまたはディレクトリの親ディレクトリにアクセス権がありません。	詳細情報，または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。
運用管理エージェントの稼働確認に失敗しました。	運用管理エージェントの稼働確認に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 運用管理エージェントのプロセスに問題があります。	リターンコード，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 運用管理エージェントのログ • サーバ通信エージェントのログ
Management Serverの稼働確認に失敗しました。	Management Serverの稼働確認に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • Management Serverのプロセスに問題があります。	リターンコード，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Serverのログ • サーバ通信エージェントのログ
Webシステムの稼働確認に失敗しました。 (Webシステム名 = aa....aa，サービスユニット名 = bb....bb)	Webシステムの稼働確認に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。	リターンコード，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。

詳細情報	説明	対処
aa....aa：Web システム名 bb....bb：サービスユニット名	• サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • 仮想サーバのディスク容量が枯渇しています。 • cmx_list_status コマンドの実行に失敗しました。	• Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ

KEOS29688-E（C／F）

必要なプロパティが指定されていません。 (aa....aa) (管理ユニット名 = bb....bb, ティア識別子 = cc....cc, ファイル名=dd....dd)

aa....aa：プロパティのキー

bb....bb：管理ユニット名

cc....cc：ティア識別子

dd....dd：ファイル名

説明

必要なプロパティが指定されていません。

処理を中止します。

対処

ファイルの内容を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29689-E（C／F）

指定された仮想サーバ識別子は，指定の管理ユニットに属する他の仮想サーバの仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとして既に使用されています。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：指定された管理ユニット名

bb....bb：指定された仮想サーバ識別子

説明

指定された仮想サーバ識別子に誤りがあるか，すでに仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとして管理ユニットに登録されています。

処理を中止します。

対処

vmiunit list コマンドを使用して，指定した仮想サーバ識別子または業務 IP アドレスの有無を確認してください。

仮想サーバ識別子を変更して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29690-I（C／F）

仮想サーバグループの登録に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 新仮想サーバグループ数 = bb....bb, 新仮想サーバ数 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：追加された仮想サーバグループの数

cc....cc：追加された仮想サーバの数

説明

仮想サーバグループの登録に成功しました。

KEOS29691-E（C／F）

指定された仮想サーバは存在しません。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

指定された仮想サーバがありません。指定された仮想サーバ識別子に誤りがあるか，管理ユニットに登録されていません。

処理を中止します。

対処

vmiunit list コマンドで，指定した仮想サーバ識別子があるかを確認してください。正しい仮想サーバ識別子を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29692-I（C／F）

仮想サーバグループの登録解除に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

仮想サーバグループの登録解除に成功しました。

KEOS29693-E（C／F）

管理ユニットに定義ディレクトリが取り込まれていません。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットに定義ファイル，および業務アプリケーションが取り込まれていません。

処理を中止します。

対処

vmiunit status コマンドで，定義状態を確認してください。

vmiunit import コマンドで定義ディレクトリを取り込んで，再度コマンドを実行してください。

KEOS29694-E（C／F）

一時ファイル作成時に障害が発生しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：詳細情報

説明

一時ファイル作成時に障害が発生しました。要因として，ファイルおよびディレクトリのアクセス権，または作成先のディスク容量が枯渇していることが考えられます。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認して，作成先のアクセス権，またはディスク容量を確認してください。エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29695-E（C／F）

アプリケーション名の取得に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, アプリケーションファイル = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：アプリケーションファイル名

cc....cc：詳細情報

説明

アプリケーション名の取得に失敗しました。要因として，定義ディレクトリに格納されている J2EE アプリケーションの EAR ファイルに問題があることが考えられます。

処理を中止します。

対処

EAR ファイルを確認してください。また，詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再実行してください。

KEOS29696-E（C／F）

指定された管理ユニットの所有者ではありません。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

指定された管理ユニットの所有者ではありません。指定された管理ユニット名またはユーザ ID に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

管理ユニット名とユーザ ID を確認してください。

正しい管理ユニット名とユーザ ID を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29697-I（C／F）

定義ディレクトリの登録に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

定義ディレクトリの登録に成功しました。

KEOS29698-E（C／F）

プロパティに不正な値が指定されました。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, cc....cc = dd....dd) (ファイル名 = ee....ee)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：プロパティのキー

dd....dd：プロパティの指定値（不正値）

ee....ee：ファイル名

説明

ファイルのプロパティに不正な値が指定されています。

処理を中止します。

対処

ファイルの内容を確認してください。

正しい値に変更し，コマンドを再実行してください。

KEOS29699-E（C／F）

ファイルに不正な値が指定されました。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, cc....cc = dd....dd) (ファイル名 = ee....ee)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：パラメタ名

dd....dd：値

ee....ee：ファイル名

説明

ファイルに不正な値が指定されています。

処理を中止します。

対処

ファイルの内容を確認してください。

正しい値に変更し，コマンドを再実行してください。

KEOS29700-E（C／F）

ファイルの読み込み時に障害が発生しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, ファイル名 = cc....cc, 詳細情報 = dd....dd)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：ファイル名

dd....dd：詳細情報

説明

ファイルの読み込み時に障害が発生しました。要因として，定義ディレクトリまたは定義ディレクトリに格納されているファイルのアクセス権に問題があることが考えられます。

処理を中止します。

対処

定義ディレクトリおよび定義ファイルのアクセス権を確認してください。詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29701-W（C／F）

既に障害マークが設定済みです。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバ識別子に誤りがあるか，すでに障害マークが設定されています。

処理は行わないで，コマンドを終了します。

対処

仮想サーバ識別子を確認してください。仮想サーバ識別子に問題がなければ，vmiunit status コマンドで，障害マーク設定時刻と障害マークコメントを確認してください。

正しい仮想サーバ識別子を指定して，再度コマンドを実行してください。

障害マークコメントを変更したい場合は，vmiunit unmark コマンドで障害マークを除去し，再度 vmiunit mark コマンドを実行してください。

KEOS29702-I（C／F）

障害マークを設定しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 設定時刻 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：設定時刻

説明

障害マークを設定しました。

KEOS29703-W（C／F）

障害マークは設定されていません。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバ識別子に誤りがあるか，すでに障害マークが除去されています。

処理は行わないで，コマンドを終了します。

対処

仮想サーバ識別子を確認してください。仮想サーバ識別子に問題がなければ，vmiunit status コマンドで，障害マーク設定時刻と障害マークコメントを確認してください。

正しい仮想サーバ識別子を指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29704-I（C／F）

障害マークを除去しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

障害マークを除去しました。

KEOS29705-W（F）

プロパティに不正な値が指定されました。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, cc....cc = dd....dd) デフォルト値(ee....ee)を使用します。 (ファイル名 = ff....ff)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：プロパティのキー

dd....dd：プロパティの指定値（不正値）

ee....ee：プロパティのデフォルト値

ff....ff：ファイル名

説明

定義ディレクトリに格納されているファイルのプロパティに不正な値が指定されました。デフォルト値を使用します。

処理を継続します。

対処

ファイルの内容を確認してください。

必要に応じてワーニングの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29706-I（C／F）

仮想サーバの反映に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバの反映に成功しました。

KEOS29707-I（C／F）

管理ユニットへの定義の反映に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：反映が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：反映が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットへの定義の反映に成功しました。

KEOS29708-W（C／F）

管理ユニットへの定義の反映に一部失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：反映が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：反映が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットへの定義の反映に一部失敗しました。反映に失敗した仮想サーバがあります。

対処

このメッセージより前に出力されているメッセージを確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29709-E（C／F）

管理ユニットへの定義の反映に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = bb....bb (成功: cc....cc, スキップ: dd....dd, 失敗: ee....ee) (負荷分散機操作 成功: ff....ff, 失敗: gg....gg))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：管理ユニットに属する仮想サーバ数

cc....cc：反映が成功した仮想サーバ数

dd....dd：スキップした仮想サーバ数

ee....ee：反映が失敗した仮想サーバ数

ff....ff：負荷分散機操作に成功した数

gg....gg：負荷分散機操作に失敗した数

説明

管理ユニットへの定義の反映に失敗しました。反映に成功した仮想サーバがありません。

処理を中止します。

対処

このメッセージより前に出力されているメッセージを確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29710-I（C／F）

仮想サーバへの定義の反映を行いませんでした。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバへの定義の反映をしませんでした。

表 13-19　KEOS29710-I に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
既に最新の定義が反映済みです。	すでに最新の定義が反映されています。	－

（凡例）－：該当なし。

KEOS29712-E（C／F）

仮想サーバの反映に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの反映に失敗しました。要因として，仮想サーバの反映処理で問題が発生したか，反映処理を実行できる条件を満たしていないことが考えられます。

ほかの仮想サーバへの処理を継続します。

対処

詳細情報を基に対処してください。

論理ステータスが障害になった仮想サーバを再度反映したい場合は，vmiunit detach コマンドで管理ユニットから外し，vmiunit attach コマンドで再度管理ユニットに登録したあと，再度コマンドを実行してください。

表 13-20　KEOS29712-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
運用管理エージェントの起動に失敗しました。	運用管理エージェントの起動に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 定義ファイルにある運用管理エージェントの設定に問題があります。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 運用管理エージェントのログ • サーバ通信エージェントのログ
Management Server の起動に失敗しました。	Management Server の起動に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 定義ファイルにある Management Server の設定に問題があります。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ

詳細情報	説明	対処
Web システムの起動に失敗しました。	Web システムの起動に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 定義ファイルにある簡易構築定義ファイルの設定に問題があります。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ
運用管理エージェントの停止に失敗しました。	運用管理エージェントの停止に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 運用管理エージェントのプロセスが異常です。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 運用管理エージェントのログ • サーバ通信エージェントのログ
Management Server の停止に失敗しました。	Management Server の停止に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • Management Server のプロセスが異常です。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ
Web システムの停止に失敗しました。	Web システムの停止に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • Web システムの設定に問題があります。	仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ
論理ステータスが障害状態です。	仮想サーバの論理ステータスが障害状態のため操作できません。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。 この仮想サーバを復旧したい場合は，vmiunit detach コマンドで管理ユニットから登録を解除し，vmiunit attach コマンドで管理ユニットに再度登録してください。
処理を実行できない論理ステータスです。 (論理ステータス = aa....aa) aa....aa：論理ステータス	仮想サーバの論理ステータスが，"起動中"，"停止中"，または"反映中"のため，処理を実行できません。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。 この仮想サーバを復旧したい場合は，vmiunit detach コマンドで管理ユニットから登録を解除し，vmiunit attach コマンドで管理ユニットに再度登録してください。

詳細情報	説明	対処
仮想サーバに接続できません。	仮想サーバに接続できません。要因として，サーバ通信エージェントとの通信に問題があることが考えられます。	仮想サーバの電源状態を確認してください。 • 電源が ON の場合：仮想サーバ側のサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • 仮想サーバの電源が OFF の場合：電源を ON にしてください。
ステータスが不一致です。(論理ステータス = aa....aa, 実ステータス = bb....bb) aa....aa：論理ステータス bb....bb：実ステータス	仮想サーバの論理ステータスと実ステータスが不一致です。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスと実ステータスを確認してください。 この仮想サーバに対して，vmiunit start コマンドまたは vmiunit stop コマンドを実行し，ステータスを合わせてください。
一時ファイル作成時に障害が発生しました。 (詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	一時ファイル作成時に障害が発生しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 作成しようとしたファイルまたはディレクトリの親ディレクトリにアクセス権がありません。	詳細情報，または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。
論理ステータスが稼働状態です。	仮想サーバの論理ステータスが稼働状態のため操作できません。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。 この仮想サーバを反映したい場合は，vmiunit stop コマンドで停止してください。
定義ディレクトリのアップロードに失敗しました。 (詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	定義ディレクトリのアップロードに失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • アップロード先の親ディレクトリにアクセス権がありません。 • 仮想サーバのディスク容量が枯渇しています。	詳細情報，または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。
Web システムの構築に失敗しました。	Web システムの構築に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。	詳細情報，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • rasetup -vm コマンドが出力するログ • Management Server のログ • サーバ通信エージェントのログ

詳細情報	説明	対処
Web システムの構築に失敗しました。	• 管理ユニットに設定した定義ディレクトリの内容に問題があります。 また，フックスクリプトで JP1 自動設定をしている場合は，ログファイルトラップ機能が起動した状態のため，ファイルの削除に失敗しています。	また，フックスクリプトで JP1 自動設定をしている場合は，仮想サーバでログファイルトラップ機能が起動していないか確認してください。
アプリケーションのインポートに失敗しました。 (J2EE サーバ名 = aa....aa, ポート番号 = bb....bb, ファイル名 = cc....cc) aa....aa：J2EE サーバ名 bb....bb：ネーミングサービスのポート番号 cc....cc：ファイル名	アプリケーションのインポートに失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • アプリケーションに問題があります。	詳細情報，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • サーバ管理コマンドのログ • サーバ通信エージェントのログ
アプリケーションの開始に失敗しました。 (J2EE サーバ名 = aa....aa, ポート番号 = bb....bb, アプリケーション名 = cc....cc) aa....aa：J2EE サーバ名 bb....bb：ネーミングサービスのポート番号 cc....cc：アプリケーション名	アプリケーションの開始に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • アプリケーションに問題があります。	詳細情報，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • サーバ管理コマンドのログ • サーバ通信エージェントのログ
アプリケーションの削除に失敗しました。 (J2EE サーバ名 = aa....aa, ポート番号 = bb....bb, J2EE アプリケーション名 = cc....cc) aa....aa：J2EE サーバ名 bb....bb：ネーミングサービスのポート番号 cc....cc：J2EE アプリケーション名	アプリケーションの削除に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • J2EE サーバの環境またはアプリケーションに問題があります。	詳細情報，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • サーバ管理コマンドのログ • サーバ通信エージェントのログ
アプリケーションの停止に失敗しました。 (J2EE サーバ名 = aa....aa, ポート番号 = bb....bb, J2EE アプリケーション名 = cc....cc) aa....aa：J2EE サーバ名 bb....bb：ネーミングサービスのポート番号 cc....cc：J2EE アプリケーション名	アプリケーションの停止に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • J2EE サーバの環境またはアプリケーションに問題があります。	詳細情報，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • サーバ管理コマンドのログ • サーバ通信エージェントのログ

詳細情報	説明	対処
フックスクリプトの実行に失敗しました。(リターンコード = aa....aa) aa....aa：フックスクリプトのリターンコード	フックスクリプトの実行に失敗しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • フックスクリプトの内容に問題があります。	リターンコード，または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。
アプリケーションの状態取得に失敗しました。(J2EEサーバ名 = aa....aa, ポート番号 = bb....bb) aa....aa：J2EEサーバ名 bb....bb：ネーミングサービスのポート番号	アプリケーションの状態取得に失敗しました。要因として次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。 • 仮想サーバのディスク容量が枯渇しています。 • cjlistappコマンドの実行に失敗しました。	リターンコード，または仮想サーバの次のログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。 • サーバ管理コマンドのログ • サーバ通信エージェントのログ
簡易構築定義ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	簡易構築定義ファイルの作成に失敗しました。 仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリに問題があります。要因として次のことが考えられます。 • アクセス権限がありません。 • ディスク容量が枯渇しています。 • ディスク障害が発生しています。	メッセージの詳細情報を確認してください。エラーの要因を取り除いて，再度実行してください。

KEOS29713-E（C／F）

定義ディレクトリに必要なファイルが存在しません。(ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

指定した定義ディレクトリに必要なファイルがありません。

処理を中止します。

対処

必要なファイルがすべて格納されているかを確認してください。

不足しているファイルを定義ディレクトリに格納し，再度コマンドを実行してください。

KEOS29714-E（C／F）

定義ディレクトリに同時に指定できないファイルが存在します。(ファイル = aa....aa, bb....bb)

aa....aa：ファイル名1

bb....bb：ファイル名2

説明

定義ディレクトリに，指定した EAR ファイルと同名の EAR ファイル名があります。

処理を中止します。

対処

同名の EAR ファイルがないか確認してください。なお，大文字小文字は区別されません。"A"と"a"は同じ文字として扱われます。

同名の EAR ファイルがある場合，ファイル名を再検討してください。ファイル名を変更した EAR ファイルを定義ディレクトリに指定し，再度コマンドを実行してください。

KEOS29715-E（C／F）

指定されたパスは空のディレクトリではありません。 (パス ＝ aa....aa)

aa....aa：パス

説明

指定したパスは空のディレクトリではありません。次の要因が考えられます。

- 指定したパスに誤りがあります。
- 指定したパスがファイルです。
- 指定したパスのディレクトリが空ではありません。
- 指定したパスにアクセス権限がありません。

処理を中止します。

対処

指定したパスが空のディレクトリかどうか，またはパスを確認してください。パスに問題がない場合は，アクセス権限があるかどうかを確認してください。

アクセス権限のある空のディレクトリを作成し，正しいパスを指定して，再度コマンドを実行してください。

KEOS29716-E（C／F）

定義ディレクトリの取り出しに失敗しました。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa, 詳細情報 ＝ bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：詳細情報

説明

定義ディレクトリの取り出しに失敗しました。要因として，詳細情報にファイル名が出力されている場合はそのファイル，詳細情報にファイル名が出力されていない場合は仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリ（vmi.properties の vmi.spool.dir キーに指定されたディレクトリ）に，次のどれかの問題があることが考えられます。

- アクセス権がありません。
- ディスク容量が枯渇しています。
- ディレクトリがありません。
- ディレクトリの作成に失敗しました。

処理を中止します。

対処

詳細情報に出力されたファイル名，または仮想サーバマネージャの処理データ格納ディレクトリのアクセス権およびディスク容量を確認して，エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29717-I（C／F）

定義ディレクトリの取り出しに成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 出力先ディレクトリパス = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：出力先ディレクトリパス

説明

定義ディレクトリの取り出しに成功しました。

KEOS29718-I（F）

仮想サーバの操作を行います。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, 仮想サーバ識別子 = cc....cc, 操作種別 = dd....dd, 操作対象 = ee....ee)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：仮想サーバ識別子

dd....dd：操作種別（起動，停止，実行，構築，削除，インポート）

ee....ee：操作対象（運用管理エージェント，Management Server，Web システム，J2EE アプリケーション，フックスクリプト）

説明

仮想サーバの操作をします。

KEOS29719-I（F）

仮想サーバの操作に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, 仮想サーバ識別子 = cc....cc, 操作種別 = dd....dd, 操作対象 = ee....ee)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：仮想サーバ識別子

dd....dd：操作種別（起動，停止，実行，構築，削除，インポート）

ee....ee：操作対象（運用管理エージェント，Management Server，Web システム，J2EE アプリケーション，フックスクリプト）

説明

仮想サーバの操作に成功しました。

KEOS29720-W（C／F）

そのファイルは定義ディレクトリとして有効な構成要素ではないので，無視しました。 (ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：無視したファイル名

説明

そのファイルは定義ディレクトリとして有効な構成要素ではないため，無視されました。要因として，次のことが考えられます。

- 定義ディレクトリに配置したファイル名に誤りがあります。
- 定義ディレクトリの構成に誤りがあります。
- アプリケーションサーバの構築に不要なファイルが配置されています。

処理を継続します。

対処

メッセージに出力されたファイル名を確認してください。

ファイル名に誤りがある場合は正しいファイル名に変更し，ファイルの格納場所に誤りがある場合は正しい場所に移動してから，コマンドを再度実行してください。

KEOS29721-E（C／F）

負荷分散機の操作に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：詳細情報

説明

負荷分散機の操作に失敗しました。要因として，負荷分散機の操作中に問題が発生していることが考えられます。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認してください。詳細情報を基に対処をして，再度コマンドを実行してください。

表 13-21　KEOS29721-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
負荷分散機制御スクリプトの構築に失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機制御スクリプトの構築に失敗しました。 要因として，負荷分散機の構成に誤りがあることが考えられます。	メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。
負荷分散機制御スクリプトの実行に失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機制御スクリプトの実行に失敗しました。 要因として，負荷分散機の構成に誤りがあるか，負荷分散機が正常に稼働していないことが考えられます。	負荷分散機の稼働状態を確認してください。また，メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。
負荷分散機接続設定プロパティファイルの読み込みに失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機接続設定プロパティファイルの読み込みに失敗しました。 要因として，負荷分散機の構成に誤りがあることが考えられます。	メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。
負荷分散機へのログインに失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機へのログインに失敗しました。 要因として，負荷分散機のアカウント情報に誤りがあることが考えられます。	負荷分散機接続設定プロパティファイルで設定されている lb.user キー，lb.password キーおよびメッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

詳細情報	説明	対処
負荷分散機との通信に失敗しました。(詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機との通信に失敗しました。 要因として，負荷分散機が正常に稼働していないか，ネットワークに異常があることが考えられます。	ネットワークの状態を確認してください。また，メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。
負荷分散機の種類が正しくありません。	負荷分散機の種類が正しくありません。 要因として，設定している負荷分散機の種類が，接続する負荷分散機の種類と異なることが考えられます。	負荷分散機接続設定プロパティファイルで設定されている lb.type キーの値を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29722-W（C／F）

仮想サーバの起動を行いませんでした。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバを起動しませんでした。仮想サーバの実ステータスは稼働状態となっていますが，論理ステータスが停止状態になっています。

仮想サーバ識別子を指定している場合は処理は行わないで，コマンドを終了します。仮想サーバ識別子を指定していない場合は処理を継続します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータス，および実ステータスを確認してください。詳細情報を基に対処をして，コマンドを再度実行してください。

表 13–22　KEOS29722-W に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
ステータスが不一致です。(論理ステータス = aa....aa, 実ステータス = bb....bb) aa....aa：論理ステータス bb....bb：実ステータス	仮想サーバの論理ステータスと実ステータスが不一致です。	vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスと実ステータスを確認してください。 この仮想サーバに対して，vmiunit start コマンドまたは vmiunit stop コマンドを実行し，ステータスを合わせてください。

KEOS29723-E（C／F）

指定された業務用 IP アドレスは，指定の管理ユニットに属する他の仮想サーバの仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとして既に使用されています。(管理ユニット名 = aa....aa, 業務用 IP アドレス = bb....bb)

aa....aa：指定された管理ユニット名

bb....bb：指定された業務用 IP アドレス

説明

指定された業務用 IP アドレスに誤りがあるか，すでに仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとして管理ユニットに登録されています。

処理を中止します。

対処

vmiunit list コマンドで，指定した仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスの有無を確認してください。

業務用 IP アドレスを変更して，コマンドを再度実行してください。

KEOS29724-E（C／F）

指定された仮想サーバ識別子は，他の管理ユニットで既に使用されています。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：指定された管理ユニット名

bb....bb：指定された仮想サーバ識別子

説明

指定された仮想サーバ識別子に誤りがあるか，仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとしてほかの管理ユニットに登録されています。

処理を中止します。

対処

仮想サーバ識別子を確認してください。

仮想サーバ識別子に問題がない場合は仮想サーバマネージャ管理者に問い合わせて，指定された仮想サーバ識別子があるか確認してください。

仮想サーバ識別子を変更して，コマンドを再度実行してください。

KEOS29725-E（C／F）

指定された業務用 IP アドレスは，他の管理ユニットで既に使用されています。 (管理ユニット名 = aa....aa, 業務用 IP アドレス = bb....bb)

aa....aa：指定された管理ユニット名

bb....bb：指定された業務用 IP アドレス

説明

指定された業務用 IP アドレスに誤りがあるか，仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとしてほかの管理ユニットに登録されています。

処理を中止します。

対処

業務用 IP アドレスを確認してください。

業務用 IP アドレスに問題がない場合は仮想サーバマネージャ管理者に問い合わせて，指定された業務用 IP アドレスがあるか確認してください。

業務用 IP アドレスを変更して，コマンドを再度実行してください。

KEOS29726-I（C／F）

仮想サーバの閉塞に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバの閉塞に成功しました。

KEOS29727-E（C／F）

仮想サーバの閉塞に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの閉塞に失敗しました。要因として，負荷分散機の構成に誤りがあるか，論理ステータスが未構築状態であることが考えられます。

処理を中止します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。

詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13-23　KEOS29727-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
論理ステータスが未構築状態です。	論理ステータスが未構築状態です。 要因として, 仮想サーバの論理ステータスが未構築状態になっていることが考えられます。	vmiunit status コマンドで論理ステータスを確認してください。 vmiunit update コマンドで仮想サーバを構築して, 再度コマンドを実行してください。
負荷分散機制御スクリプトの構築に失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機制御スクリプトの構築に失敗しました。 要因として, 負荷分散機の構成に誤りがあることが考えられます。	メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと, 再度コマンドを実行してください。
負荷分散機制御スクリプトの実行に失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機制御スクリプトの実行に失敗しました。 要因として, 負荷分散機の構成に誤りがあるか, 負荷分散機が正常に稼働していないことが考えられます。	負荷分散機の稼働状態を確認してください。また, メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと, 再度コマンドを実行してください。
負荷分散機接続設定プロパティファイルの読み込みに失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機接続設定プロパティファイルの読み込みに失敗しました。 要因として, 負荷分散機の構成に誤りがあることが考えられます。	メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと, 再度コマンドを実行してください。
負荷分散機へのログインに失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機へのログインに失敗しました。 要因として, 負荷分散機のアカウント情報に誤りがあることが考えられます。	負荷分散機接続設定プロパティファイルで設定されている lb.user キー, lb.password キーおよびメッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと, 再度コマンドを実行してください。
負荷分散機との通信に失敗しました。 (詳細情報=aa....aa) aa....aa：詳細情報	負荷分散機との通信に失敗しました。 要因として, 負荷分散機が正常に稼働していないか, ネットワークに異常があることが考えられます。	ネットワークの状態を確認してください。また, メッセージの詳細情報を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと, 再度コマンドを実行してください。

詳細情報	説明	対処
負荷分散機の種類が正しくありません。	負荷分散機の種類が正しくありません。 要因として，設定している負荷分散機の種類が，接続する負荷分散機の種類と異なることが考えられます。	負荷分散機接続設定プロパティファイルで設定されている lb.type キーの値を確認してください。 エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

KEOS29728-I（C／F）

仮想サーバの閉塞解除に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

仮想サーバの閉塞解除に成功しました。

KEOS29729-E（C／F）

仮想サーバの閉塞解除に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバの閉塞解除に失敗しました。要因として，負荷分散機の構成に誤りがあるか，論理ステータスが未構築状態であることが考えられます。

処理を中止します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。

詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。詳細情報については，「表 13-23　KEOS29727-E に示されるエラーの詳細情報一覧」を参照してください。

KEOS29730-I（C／F）

管理ユニットの閉塞に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの閉塞に成功しました。

KEOS29731-E（C／F）

管理ユニットの閉塞に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：詳細情報

説明

管理ユニットの閉塞に失敗しました。要因として，負荷分散機の構成に誤りがあるか，論理ステータスが未構築状態であることが考えられます。

処理を中止します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。

詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。詳細情報については，「表 13-23　KEOS29727-E に示されるエラーの詳細情報一覧」を参照してください。

KEOS29732-I（C／F）

管理ユニットの閉塞解除に成功しました。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

管理ユニットの閉塞解除に成功しました。

KEOS29733-E（C／F）

管理ユニットの閉塞解除に失敗しました。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa, 詳細情報 ＝ bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：詳細情報

説明

管理ユニットの閉塞解除に失敗しました。要因として負荷分散機の構成に誤りがあるか，論理ステータスが未構築状態であることが考えられます。

処理を中止します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。

詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。詳細情報については，「表 13-23　KEOS29727-E に示されるエラーの詳細情報一覧」を参照してください。

KEOS29734-E（C／F）

負荷分散機連携機能が有効ではありません。 (管理ユニット名 ＝ aa....aa)

aa....aa：管理ユニット名

説明

負荷分散機連携が有効ではありません。要因として，コマンドに-lb オプションが指定されていますが，ティア別プロパティファイルに使用する負荷分散機の接続情報が指定されていないことが考えられます。

処理を中止します。

対処

ティア別プロパティファイルの lb.use キーの値を確認してください。

ティア別プロパティファイルに使用する負荷分散機の接続情報を指定し，管理ユニットへの定義の反映をしてから，再度実行してください。

KEOS29735-I（C／F）

負荷分散機の操作に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

負荷分散機の操作に成功しました。

KEOS29736-E（C／F）

負荷分散機の操作に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

負荷分散機の操作に失敗しました。要因として，負荷分散機の操作中に問題が発生していることが考えられます。

処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

詳細情報については，「表 13-21　KEOS29721-E に示されるエラーの詳細情報一覧」を参照してください。

KEOS29737-W（C／F）

操作中の仮想サーバに障害マークが設定されています。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

障害マークが設定されている仮想サーバを操作します。

処理を継続します。

対処

vmiunit status コマンドで，障害マーク設定時刻と障害マークコメントを確認してください。

必要に応じて vmiunit unmark コマンドで障害マークを除去し，コマンドを再実行してください。

KEOS29738-E（C／F）

認証処理でエラーが発生しました。(詳細情報 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

認証処理中にエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

メッセージ中に出力されている詳細情報を確認してください。

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

表 13-24　KEOS29738-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
メモリ不足が発生しました。	メモリが不足しています。 処理を中止します。	実行に必要なメモリがあるか確認してください。 空きメモリ領域を増やしてから，再実行してください。
認証処理を開始できません。 (詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	認証処理を開始できません。 処理を中止します。	保守員に連絡してください。
JP1/Base に接続できません。	JP1/Base に接続できません。次の原因が考えられます。 • JP1/Base が起動していない。 • JP1/Base の設定で認証サーバのホスト名を誤って指定している。 処理を中止します。	JP1/Base が起動しているかどうかを確認してください。また，JP1/Base で指定している認証サーバのホスト名を確認してください。 JP1/Base が起動していない場合は，JP1/Base を起動してください。また，JP1/Base で指定している認証サーバのホスト名を適切に設定してください。
JP1/Base でエラーが発生しました。	JP1/Base で障害が発生しています。 処理を中止します。	JP1/Base のログを参照してください。 ログの調査結果に基づいてエラー要因を取り除いてください。

KEOS29739-E（C／F）

JP1 ユーザ認証連携機能を利用する設定になっているため，aa....aa コマンドの処理を開始できません。

aa....aa：コマンド名

説明

JP1 ユーザ認証連携機能を利用する設定になっているため，コマンドの処理を開始できません。

処理を中止します。

対処

JP1 ユーザ認証連携機能を利用する場合，認証サーバを直接操作してアカウントを管理してください。

JP1 ユーザ認証連携機能を利用しない場合，JP1 ユーザ認証連携機能を無効にしてください。

KEOS29740-W（C／F）

JP1 ユーザ認証連携機能を利用する設定になっているため，仮想サーバマネージャ管理者アカウントは設定しません。

説明

JP1 ユーザ認証連携機能を利用する設定になっているため，仮想サーバマネージャ管理者アカウントは設定しません。

仮想サーバマネージャ管理者アカウントは設定しないで処理を継続します。

対処

JP1 ユーザ認証連携機能を利用する場合，認証サーバを直接操作してアカウントを管理してください。

JP1 ユーザ認証連携機能を利用しない場合，JP1 ユーザ認証連携機能を無効にしてください。

KEOS29741-I（C／F）

ユーザスクリプトの実行に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 結果 = 成功:bb....bb 警告:cc....cc 失敗:dd....dd)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：成功した数

cc....cc：警告終了の数

dd....dd：エラー終了の数

説明

ユーザスクリプトの実行に成功しました。

KEOS29742-W（C／F）

ユーザスクリプトを実行しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 結果 = 成功:bb....bb 警告:cc....cc 失敗:dd....dd)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：成功した数

cc....cc：警告終了の数

dd....dd：エラー終了の数

説明

配布したユーザスクリプトの削除に失敗しました。

KEOS29743-E（C／F）

ユーザスクリプトの実行に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 結果 = 成功:bb....bb 警告:cc....cc 失敗:dd....dd)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：成功した数

cc....cc：警告終了の数

dd....dd：エラー終了の数

説明

ユーザスクリプトの配布または実行に失敗しました。

処理を中止します。

対処

仮想サーバマネージャのログを参照してください。

ユーザスクリプトの実行に失敗した仮想サーバについて仮想サーバマネージャのログを参照して詳細情報を確認し，原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS29744-E（C／F）

ユーザスクリプトの実行中にエラーが発生しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：詳細情報

説明

ユーザスクリプトの実行中にエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13-25　KEOS29744-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
ユーザスクリプト配置ディレクトリにユーザスクリプトが存在しません。	ユーザスクリプト配置ディレクトリにユーザスクリプトが存在しません。	ユーザスクリプト配置ディレクトリのファイル構成を確認してください。ユーザスクリプト配置ディレクトリにユーザスクリプトを配置してください。
ユーザスクリプトを実行する仮想サーバが存在しません。	指定された管理ユニットに仮想サーバが存在しません。	管理ユニットに仮想サーバが存在するか確認してください。管理ユニットにユーザスクリプトを実行する仮想サーバを登録してください。
ユーザスクリプトの展開に失敗しました。	<Application Server のインストールディレクトリ>/manager/vmi/spool へのファイル操作権限がありません。	ディレクトリの操作権限を確認してください。
一時ファイル作成時に障害が発生しました。 (詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	一時ファイル作成時に障害が発生しました。 作成しようとしたファイルまたはディレクトリの親ディレクトリにアクセス権がありません。	詳細情報を確認してください。エラーの要因を取り除いてください。
仮想サーバに接続できません。(仮想サーバ名 = aa....aa) aa....aa：仮想サーバ名	仮想サーバに接続できません。 サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。	仮想サーバの電源状態を確認してください。 電源が ON 状態である場合は，仮想サーバ側のサーバ通信エージェントのログを確認してください。ログ情報を基にエラーの要因を取り除いてください。 仮想サーバの電源が OFF 状態の場合は電源を ON にしてください。

KKEOS29745-I（C／F）

仮想サーバ上でのユーザスクリプトの実行に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

説明

ユーザスクリプトの実行に成功しました。

KEOS29746-W（C／F）

仮想サーバ上でユーザスクリプトを実行しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

ユーザスクリプトを実行しました。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13-26　KEOS29746-W に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
仮想サーバ上の一時ディレクトリの削除に失敗しました。	仮想サーバ上の一時ディレクトリ<Application Server のインストールディレクトリ>/manager/sinagent/work/vmi が削除できません。	ディレクトリの操作権限を確認して，一時ディレクトリを削除してください。
仮想サーバ上のユーザスクリプトの削除に失敗しました。	仮想サーバ上のユーザスクリプトファイル<Application Server のインストールディレクトリ>/manager/sinagent/work/userscript_dir が削除できません。	ディレクトリの操作権限を確認して，ユーザスクリプトを削除してください。

KEOS29747-E（C／F）

仮想サーバ上でのユーザスクリプトの実行に失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ名

cc....cc：詳細情報

説明

ユーザスクリプトの実行に失敗しました。

処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13-27　KEOS29747-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
アップロードに失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	ユーザスクリプトのアップロードに失敗しました。 次の要因が考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に問題があります。	詳細情報または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認してください。

詳細情報	説明	対処
アップロードに失敗しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	• アップロード先の親ディレクトリにアクセス権がありません。 • 仮想サーバのディスク容量が枯渇しています。	詳細情報または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認してください。
ユーザスクリプトが異常終了しました。(リターンコード = aa....aa) aa....aa：ユーザスクリプトのリターンコード	ユーザスクリプトが異常終了しました。 ユーザスクリプトの内容に問題があります。	リターンコードを確認してください。
一時ファイル作成時に障害が発生しました。(詳細情報 = aa....aa) aa....aa：詳細情報	一時ファイル作成時に障害が発生しました。要因として，次のことが考えられます。 • サーバ通信エージェントとの通信に障害が発生しています。 • 作成しようとしたファイルまたはディレクトリの親ディレクトリにアクセス権がありません。	詳細情報，または仮想サーバのサーバ通信エージェントのログを確認して，エラーの要因を取り除いてください。

KEOS29748-E（C／F）

仮想サーバグループ情報ファイルに指定できない記述があります。(ファイル名 = aa....aa, 詳細情報 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

指定した仮想サーバグループ情報ファイルの記述に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13-28　KEOS29748-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
<virtualserver-info>-<group>に同じティア識別子の<virtualserver>が複数指定されています。(仮想サーバグループ名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb) aa....aa：仮想サーバグループ名 bb....bb：ティア識別子	<virtualserver-info>-<group>に同じティア識別子の<virtualserver>が複数指定されています。	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>-<virtualserver>の値を確認後，正しいティア識別子を指定してください。
必要な<virtualserver>の設定がありません。(仮想サーバグループ名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb) aa....aa：仮想サーバグループ名 bb....bb：ティア識別子	<virtualserver>の設定がありません。	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>-<virtualserver>を確認後，<virtualserver>の設定を追加してください。

詳細情報	説明	対処
<virtualserver-info>-<group>-<virtualserver>の属性に指定された値が不正です。 (属性名 = aa....aa, 値 = bb....bb) aa....aa：属性名 bb....bb：値	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>-<virtualserver>の属性に指定された値が不正です。	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>-<virtualserver>の属性の値を確認後，指定できる値を指定してください。
<virtualserver-info>-<group>の属性に指定された値が不正です。 (属性名 = aa....aa, 値 = bb....bb) aa....aa：属性名 bb....bb：値	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>の属性に指定された値が不正です。	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>の属性の値を確認後，指定できる値を指定してください。
同じ name 属性の<virtualserver-info>-<group>が複数指定されています。 (name 属性の値 = aa....aa) aa....aa：name 属性の値	同じ name 属性の<virtualserver-info>-<group>が複数指定されています。	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>の name 属性の値を確認後，適切な値を指定してください。
大文字と小文字が異なるだけの仮想サーバグループ名が指定されています。 (仮想サーバグループ名 1 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 2 = bb....bb) aa....aa：仮想サーバグループ名 1 bb....bb：仮想サーバグループ名 2	<virtualserver-info>-<group>の name 属性に，大文字と小文字が異なるだけの仮想サーバグループ名が指定されています。	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>の name 属性の値を確認後，適切な値を指定してください。
大文字と小文字だけが異なる仮想サーバグループ名が既に登録されています。 (指定された仮想サーバグループ名 = aa....aa, 登録済みの仮想サーバグループ名 = bb....bb) aa....aa：指定された仮想サーバグループ名 bb....bb：登録済みの仮想サーバグループ名	<virtualserver-info>-<group>の name 属性に指定された仮想サーバグループ名と，大文字と小文字だけが異なる仮想サーバグループ名の仮想サーバグループがすでに登録されています。	仮想サーバグループ情報ファイルの<virtualserver-info>-<group>の name 属性の値を確認後，適切な値を指定してください。

KEOS29749-E（C／F）

指定された仮想サーバグループは存在しません。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

指定された仮想サーバグループは存在しません。要因としては，指定された仮想サーバグループ名に誤りがあるか，管理ユニットに登録されていないなどが考えられます。

処理を中止します。

対処

vmiunit list コマンドで仮想サーバグループ名の存在を確認してください。

正しい仮想サーバグループ名を指定して，再度実行してください。

KEOS29750-E（C／F）

仮想サーバグループの閉塞に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバグループの閉塞に失敗しました。要因としては，負荷分散機の構成に誤りがあるか，論理ステータスが未構築状態であるなどが考えられます。

処理を中止します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。また，メッセージの詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS29751-I（C／F）

仮想サーバグループの閉塞に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

仮想サーバグループの閉塞に成功しました。

KEOS29752-E（C／F）

指定された定義ディレクトリに，不正なティア別定義ディレクトリが含まれています。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

説明

ティア別定義ディレクトリの名称が，管理ユニットに定義されているティア識別子と異なります。

処理を中止します。

対処

vmiunit compare コマンドで，定義ディレクトリの比較を行ってください。

正しい定義ディレクトリを指定して，再度実行してください。

KEOS29753-E（C／F）

指定された定義ディレクトリに，必要なティア別定義ディレクトリが含まれていません。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

説明

管理ユニットに定義されているティア識別子と同じ名称のティア別定義ディレクトリが存在しません。

処理を中止します。

対処

vmiunit compare コマンドで，定義ディレクトリの比較を行ってください。

正しい定義ディレクトリを指定して，再度実行してください。

KEOS29754-E（C／F）

ティア別定義ディレクトリの名称がティア識別子として適切ではありません。 (ディレクトリパス = aa....aa)

aa....aa：ディレクトリパス

説明

ティア別定義ディレクトリの名称がティア識別子として適切ではありません。

処理を中止します。

対処

メッセージ中に表示されているティア別定義ディレクトリの名称を確認してください。

要因としては, -dir 引数で指定された定義ディレクトリの下のティア別定義ディレクトリの名称が, ティア識別子として使用できない文字が含まれるか，文字列の長さが 31 バイトを超えていることが考えられます。

ティア別定義ディレクトリの名称を適切な名称に変更して，再度実行してください。

KEOS29755-W（C／F）

既に障害マークが設定済みです。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

仮想サーバグループ名に誤りがあるか，すでに障害マークが設定済みです。

処理を中止します。

対処

仮想サーバグループ名を確認してください。仮想サーバグループ名に問題がなければ，vmiunit status コマンドで，障害マーク設定時刻と障害マークコメントを確認してください。

正しい仮想サーバグループ名を指定して，コマンドを再実行してください。

障害マークコメントを変更したい場合は，vmiunit unmark コマンドで障害マークを除去し，vmiunit mark コマンドを再実行してください。

KEOS29756-I（C／F）

障害マークを設定しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 設定時刻 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：設定時刻

説明

障害マークを設定しました。

KEOS29757-W（C／F）

障害マークは設定されていません。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

仮想サーバ識別子に誤りがあるか，すでに障害マークが除去済みです。

処理を中止します。

対処

仮想サーバグループ名を確認してください。仮想サーバグループ名に問題がなければ，vmiunit status コマンドで，障害マーク設定時刻と障害マークコメントを確認してください。

正しい仮想サーバグループ名を指定して，コマンドを再実行してください。

KEOS29758-I（C／F）

障害マークを除去しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

障害マークを除去しました。

KEOS29759-E（C／F）

負荷分散機連携機能が有効ではありません。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

説明

負荷分散機連携が有効ではありません。

コマンドに-lb オプションを指定していますが，ティア別プロパティファイルに使用する負荷分散機の接続情報が指定されていません。

処理を中止します。

対処

ティア別プロパティファイルの lb.use プロパティの値を確認してください。

ティア別プロパティファイルに使用する負荷分散機の接続情報を指定し，管理ユニットへの定義の反映を行ってから，再度実行してください。

KEOS29760-I（C／F）

仮想サーバグループの起動に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 仮想サーバグループに属する仮想サーバ数 = cc....cc (成功: dd....dd, スキップ: ee....ee, 失敗: ff....ff) (負荷分散機操作 成功: gg....gg, 失敗: hh....hh))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：仮想サーバグループに属する仮想サーバ数

dd....dd：起動が成功した仮想サーバ数

ee....ee：スキップした仮想サーバ数

ff....ff：起動が失敗した仮想サーバ数

gg....gg：負荷分散機操作に成功した数

hh....hh：負荷分散機操作に失敗した数

説明

仮想サーバグループの起動に成功しました。

KEOS29761-W（C／F）

仮想サーバグループの起動に一部失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 仮想サーバグループに属する仮想サーバ数 = cc....cc (成功: dd....dd, スキップ: ee....ee, 失敗: ff....ff) (負荷分散機操作 成功: gg....gg, 失敗: hh....hh))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：仮想サーバグループに属する仮想サーバ数

dd....dd：起動が成功した仮想サーバ数

ee....ee：スキップした仮想サーバ数

ff....ff：起動が失敗した仮想サーバ数

gg....gg：負荷分散機操作に成功した数

hh....hh：負荷分散機操作に失敗した数

説明

仮想サーバグループの起動に一部失敗しました。

仮想サーバグループに，起動に成功した仮想サーバと起動に失敗した仮想サーバが含まれていることが考えられます。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージに，仮想サーバの起動に成功したインフォメーションメッセージと失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの起動に失敗したエラーメッセージの対処を実行してください。

KEOS29762-E（C／F）

仮想サーバグループの起動に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 管理ユニットに属する仮想サーバ数 = cc....cc (成功: dd....dd, スキップ: ee....ee, 失敗: ff....ff) (負荷分散機操作 成功: gg....gg, 失敗: hh....hh))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：仮想サーバグループに属する仮想サーバ数

dd....dd：起動が成功した仮想サーバ数

ee....ee：スキップした仮想サーバ数

ff....ff：起動が失敗した仮想サーバ数

gg....gg：負荷分散機操作に成功した数

hh....hh：負荷分散機操作に失敗した数

説明

仮想サーバグループの起動に失敗しました。

起動に失敗した仮想サーバが仮想サーバグループに含まれていることが考えられます。起動に成功した仮想サーバはありません。

処理を中止します。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージに，仮想サーバの起動に失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの起動に失敗したエラーメッセージの対処を実行してください。

KEOS29763-I（C／F）

仮想サーバグループの停止に成功しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 仮想サーバグループに属する仮想サーバ数 = cc....cc (成功: dd....dd, スキップ: ee....ee, 失敗: ff....ff) (負荷分散機操作 成功: gg....gg, 失敗: hh....hh))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：仮想サーバグループに属する仮想サーバ数

dd....dd：停止が成功した仮想サーバ数

ee....ee：スキップした仮想サーバ数

ff....ff：停止が失敗した仮想サーバ数

gg....gg：負荷分散機操作に成功した数

hh....hh：負荷分散機操作に失敗した数

説明

仮想サーバグループの停止に成功しました。

KEOS29764-W（C／F）

仮想サーバグループの停止に一部失敗しました。(管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 仮想サーバグループに属する仮想サーバ数 = cc....cc (成功: dd....dd, スキップ: ee....ee, 失敗: ff....ff) (負荷分散機操作 成功: gg....gg, 失敗: hh....hh))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：仮想サーバグループに属する仮想サーバ数

dd....dd：停止が成功した仮想サーバ数

ee....ee：スキップした仮想サーバ数

ff....ff：停止が失敗した仮想サーバ数

gg....gg：負荷分散機操作に成功した数

hh....hh：負荷分散機操作に失敗した数

説明

仮想サーバグループの停止に一部失敗しました。

仮想サーバグループに停止に成功した仮想サーバと停止に失敗した仮想サーバが含まれていることが考えられます。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージに，仮想サーバの停止に成功したインフォメーションメッセージと失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの停止に失敗したエラーメッセージのユーザ対処を行ってください。

KEOS29765-E（C／F）

仮想サーバグループの停止に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 仮想サーバグループに属する仮想サーバ数 = cc....cc (成功: dd....dd, スキップ: ee....ee, 失敗: ff....ff) (負荷分散機操作 成功: gg....gg, 失敗: hh....hh))

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：仮想サーバグループに属する仮想サーバ数

dd....dd：停止が成功した仮想サーバ数

ee....ee：スキップした仮想サーバ数

ff....ff：停止が失敗した仮想サーバ数

gg....gg：負荷分散機操作に成功した数

hh....hh：負荷分散機操作に失敗した数

説明

仮想サーバグループの停止に失敗しました。

仮想サーバグループに停止に失敗した仮想サーバが含まれていることが考えられます。停止に成功した仮想サーバはありません。

処理を中止します。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージに，仮想サーバの停止に失敗したエラーメッセージが含まれていることを確認してください。

仮想サーバの停止に失敗したエラーメッセージのユーザ対処を行ってください。

KEOS29766-E（C／F）

仮想サーバグループの閉塞解除に失敗しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバグループの閉塞解除に失敗しました。

次の要因が考えられます。

- 負荷分散機の構成に誤りがあります。
- 論理ステータスが未構築状態です。

処理を中止します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの論理ステータスを確認してください。また，メッセージの詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEOS29767-I（C／F）

仮想サーバグループの閉塞解除に成功しました。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

仮想サーバグループの閉塞解除に成功しました。

KEOS29768-W（C／F）

仮想サーバグループ情報ファイルに指定されている仮想サーバグループの情報が，既に登録されている仮想サーバグループの情報と違っています。 (ファイル名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb, ティア識別子 = cc....cc, 属性名 = dd....dd, 登録済みの値 = ee....ee, 指定された値 = ff....ff)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：仮想サーバグループ名

cc....cc：ティア識別子

dd....dd：属性名

ee....ee：登録済みの値

ff....ff：指定された値

説明

仮想サーバグループ情報ファイルに指定されている仮想サーバグループの情報が，すでに登録されている仮想サーバグループの情報と違っています。

この仮想サーバグループの情報は無視し，処理を続行します。

対処

仮想サーバグループ情報ファイルに指定した仮想サーバグループの情報と，vmiunit list コマンドで表示される情報を比較してください。

次に示すどちらかの対処をして，コマンドを再度実行してください。

- 仮想サーバグループ情報ファイルに指定した情報が誤っている場合
  仮想サーバグループ情報ファイルの情報を訂正してください。
- vmiunit list コマンドで表示された情報が誤っている場合

vmiunit detach コマンドを使用して誤っている仮想サーバグループの情報を削除してください。

KEOS29769-E（C／F）

新たに登録される情報が仮想サーバグループ情報ファイルに指定されていません。 (ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

新たに登録される情報が仮想サーバグループ情報ファイルに指定されていません。

要因として，指定した仮想サーバグループ情報ファイルに誤りがあることが考えられます。

処理を中止します。

対処

指定した仮想サーバグループ情報ファイルのパスおよび内容を確認してください。

正しい仮想サーバグループ情報ファイルを指定して，コマンドを再度実行してください。

KEOS29770-E（C／F）

仮想サーバの起動を行いませんでした。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバを開始できる状態でないため，仮想サーバを起動しません。

仮想サーバ識別子を指定している場合は処理は行わないで，コマンドを終了します。指定していない場合は処理を継続します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの状態を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13-29　KEOS29770-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
この仮想サーバの前に起動すべき仮想サーバの起動が失敗しました。 (前に起動すべき仮想サーバ識別子 = aa....aa) aa....aa：仮想サーバ識別子	この仮想サーバの前に起動する必要がある仮想サーバの起動が失敗しました。	このメッセージの前に出力されたメッセージの対処をしてください。

KEOS29771-E（C／F）

仮想サーバの停止を行いませんでした。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb, 詳細情報 = cc....cc)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバ識別子

cc....cc：詳細情報

説明

仮想サーバを停止できる状態でないため，仮想サーバの停止を実行しませんでした。

仮想サーバ識別子を指定している場合は処理は行わないで，コマンドを終了します。指定していない場合は処理を継続します。

対処

vmiunit status コマンドで，仮想サーバの状態を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 13-30　KEOS29771-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
この仮想サーバの前に停止すべき仮想サーバの停止が失敗しました。 (前に停止すべき仮想サーバ識別子 = aa....aa) aa....aa：仮想サーバ識別子	この仮想サーバの前に停止する必要がある仮想サーバの停止が失敗しました。	このメッセージの前に出力されたメッセージの対処をしてください。

KEOS29772-E（C／F）

大文字と小文字が異なるだけのティア別定義ディレクトリが指定されています。 (ディレクトリパス 1 = aa....aa, ディレクトリパス 2 = bb....bb)

aa....aa：ディレクトリパス 1

bb....bb：ディレクトリパス 2

説明

大文字と小文字が異なるだけのティア別定義ディレクトリが指定されています。

処理を中止します。

対処

-dir 引数で指定した定義ディレクトリの下のティア別定義ディレクトリを確認してください。

ティア別定義ディレクトリの名称を変更し，コマンドを再度実行してください。

KEOS29773-E（C／F）

指定された仮想サーバ識別子は，仮想サーバグループ情報ファイルに指定されている他の仮想サーバの仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとして既に使用されています。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバ識別子 = bb....bb)

aa....aa：指定された管理ユニット名

bb....bb：指定された仮想サーバ識別子

説明

指定された仮想サーバ識別子は，仮想サーバグループ情報ファイルに指定されているほかの仮想サーバの仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとしてすでに使用されています。

要因として，指定された仮想サーバ識別子に誤りがあるか，ほかの仮想サーバの仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスに誤りがあることが考えられます。

処理を中止します。

対処

仮想サーバグループ情報ファイルの内容を確認してください。

仮想サーバ識別子を変更して，コマンドを再度実行してください。

KEOS29774-E（C／F）

指定された業務用 IP アドレスは，仮想サーバグループ情報ファイルに指定されている他の仮想サーバの仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとして既に使用されています。 (管理ユニット名 = aa....aa, 業務用 IP アドレス = bb....bb)

aa....aa：指定された管理ユニット名

bb....bb：指定された業務用 IP アドレス

説明

指定された業務用 IP アドレスは，仮想サーバグループ情報ファイルに指定されているほかの仮想サーバの仮想サーバ識別子または業務用 IP アドレスとしてすでに使用されています。

処理を中止します。

対処

仮想サーバグループ情報ファイルの内容を確認してください。

業務用 IP アドレスを変更して，コマンドを再度実行してください。

KEOS29775-W（C／F）

操作中の仮想サーバグループに障害マークが設定されています。 (管理ユニット名 = aa....aa, 仮想サーバグループ名 = bb....bb)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：仮想サーバグループ名

説明

障害マークが設定されている仮想サーバグループを操作します。

処理を継続します。

対処

vmiunit status コマンドで，障害マーク設定時刻と障害マークコメントを確認してください。

必要に応じて vmiunit unmark コマンドで障害マークを除去し，コマンドを再実行してください。

KEOS29776-E（C／F）

ティア別プロパティファイルに定義されている OS 種別と仮想サーバの OS に互換性がありません。 (管理ユニット名 = aa....aa, ティア識別子 = bb....bb, 仮想サーバ識別子 = cc....cc, 定義された OS 種別 = dd....dd, 仮想サーバの OS 名 = ee....ee)

aa....aa：管理ユニット名

bb....bb：ティア識別子

cc....cc：仮想サーバ識別子

dd....dd：定義された OS 種別

ee....ee：仮想サーバの OS 名

説明

ティア別プロパティファイルに定義されている OS 種別と仮想サーバの OS に互換性がありません。

処理を中止します。

対処

次の要因が考えられます。それぞれの要因に応じて対処して，コマンドを再度実行してください。

- ティア別プロパティファイルの tier.target.os で指定した OS 種別に誤りがあります。

ティア別プロパティファイルの tier.target.os の指定値を訂正し，vmiunit import コマンドで定義を取り込み直してください。

- 仮想サーバの OS に誤りがあります。
  仮想サーバの OS をインストールし直してください。

14 KEQR（仮想サーバマネージャの構築ツールで出力されるメッセージ）

この章では, 仮想サーバマネージャの構築ツールが出力するメッセージについて説明します。

14.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KEQRnnnnn-Y　(Z)

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KEQRnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KEQR

仮想サーバマネージャの構築ツールで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

仮想サーバマネージャの構築ツールで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，20000～29999 の 5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

(Z)

メッセージの出力先を表します。出力先は英字 1 文字で示します。

出力先を示す文字とその意味を次に示します。

- C：コンソールに出力されます。
- F：ログファイルに出力されます。

! 注意事項

メッセージの出力先は，マニュアル内で使用する付加情報です。

メッセージテキスト

仮想サーバマネージャの構築ツールで出力されるメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は次のどちらかの形式で示します。

- 太字
- 「xx....xx」（xx は英小文字）

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した構成ソフトウェアの動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「サポートサービスに連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

14.2　KEQR20000 から KEQR29999 までのメッセージ

仮想サーバマネージャの構築ツールが出力する KEQR20000 から KEQR29999 までのメッセージについて説明します。

KEQR28200-I（F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)を開始しました。

説明

rasetup -vm コマンドを開始しました。

KEQR28201-I（F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)を終了しました。

説明

rasetup -vm コマンドを終了しました。

KEQR28202-E（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)でエラーが発生しました。(詳細 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28203-I（F）

セットアップを開始しました。

説明

セットアップを開始しました。

KEQR28204-I（F）

セットアップを終了しました。

説明

セットアップを終了しました。

KEQR28205-E（F）

セットアップでエラーが発生しました。

説明

セットアップでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

このメッセージの前に出力されたエラーレベルのメッセージの対処をしてください。

エラーの要因を取り除いたあと，セットアップを再度実行してください。

KEQR28206-I（F）

アンセットアップを開始しました。

説明

アンセットアップを開始しました。

KEQR28207-I（F）

アンセットアップを終了しました。

説明

アンセットアップを終了しました。

KEQR28208-E（F）

アンセットアップでエラーが発生しました。

説明

アンセットアップでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

このメッセージの前に出力されているエラーレベルのメッセージの対処をしてください。

エラーの要因を取り除いたあと，アンセットアップを再度実行してください。

KEQR28209-I（F）

コマンドを開始しました。(コマンド = aa....aa)

aa....aa：コマンド名

説明

asetup -vm コマンドが内部コマンドを開始しました。

KEQR28210-I（F）

コマンドが終了しました。(コマンド = aa....aa, 終了コード = bb....bb)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：終了コード

説明

rasetup -vm コマンドで実行した内部コマンドが終了しました。

KEQR28211-E（C／F）

コマンドでエラーが発生しました。(コマンド = aa....aa, 詳細 = bb....bb)

aa....aa：コマンド名

bb....bb：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドが実行した内部コマンドでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。ただし，Web システムのセットアップ中の場合は，コマンドを再度実行する前に Web システムのアンセットアップを実行してください。

詳細情報に次のどちらかのメッセージが出力された場合は，コマンドを再度実行してください。

- hwsserveredit: cannot delete
- KDJE40028-E The deletion of the J2EE server has failed.

KEQR28212-E（C／F）

ファイルアクセスでエラーが発生しました。(ファイル名 = aa....aa, 詳細 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドでファイルアクセスのエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。ただし，Web システムのセットアップ中の場合は，コマンドを再度実行する前に Web システムのアンセットアップを実行してください。

KEQR28213-I（F）

snapshot ログの収集を開始しました。

説明

rasetup -vm コマンドが snapshot ログの収集を開始しました。

KEQR28214-I（F）

snapshot ログの収集が終了しました。(ファイル名 = aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

rasetup -vm コマンドが実行した snapshot ログの収集が終了しました。

KEQR28215-E（C／F）

snapshot ログの収集でエラーが発生しました。(詳細 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドが実行した snapshot ログの収集でエラーが発生しました。
処理を中止します。

対処

必要な資料を退避してサポートサービスに連絡してください。

KEQR28216-I（F）

バックアップを開始しました。

説明

rasetup -vm コマンドがバックアップを開始しました。

KEQR28217-I（F）

バックアップを終了しました。

説明

rasetup -vm コマンドのバックアップが終了しました。

KEQR28218-E（C／F）

バックアップでエラーが発生しました。(詳細 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドのバックアップでエラーが発生しました。
処理を中止します。

対処

必要な資料を退避してサポートサービスに連絡してください。

KEQR28219-I（F）

Component Container 管理者を変更しました。

説明

rasetup -vm コマンドで Component Container 管理者を変更しました。

KEQR28220-E（C／F）

Component Container 管理者の変更でエラーが発生しました。(詳細 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドで実行した Component Container 管理者の変更でエラーが発生しました。
処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。

詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。ただし，Web システムのセットアップ中の場合は，コマンドを再度実行する前に Web システムのアンセットアップを実行してください。

KEQR28222-E（C／F）

ファイルが存在しません。(ファイル名 ＝ aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルが存在しません。

処理を中止します。

対処

詳細情報に出力されているファイルが存在し，アクセス権が適切に設定されているか確認してください。

ファイルが存在しない場合は，アプリケーションサーバの環境をすべて削除して，再インストールを実行してください。

KEQR28223-E（C／F）

ファイルが壊れています。(ファイル名 ＝ aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルが壊れています。

処理を中止します。

対処

必要な資料を退避してサポートサービスに連絡してください。

KEQR28224-E（C／F）

コマンドのオプションに誤りがあります。(詳細 ＝ aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

指定したコマンドのオプションに誤りがあります。

要因としては，コマンド形式の指定誤りが考えられます。

処理を中止します。

対処

次の表に示す詳細情報を確認し，コマンドのオプションを見直してください。

詳細情報を基に対処して，コマンドを再度実行してください。

表 14–1　KEQR28224-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
同じオプションが複数指定されています。オプション ＝ aa....aa aa....aa：オプション	コマンドオプションに同じオプションが複数指定されています。	正しいコマンド形式を指定してください。

詳細情報	説明	対処
オプションに対する値が指定されていません。オプション ＝ aa....aa aa....aa：オプション	オプションに対する値が指定されていません。	正しいコマンド形式を指定してください。
誤ったオプションが指定されています。オプション ＝ aa....aa aa....aa：オプション	誤ったオプションが指定されています。	
aa....aa オプションと bb....bb オプションは同時に指定できません。 aa....aa：オプション 1 bb....bb：オプション 2	同時に指定できないオプションが指定されています。	
必要なオプションが指定されていません。オプション ＝ aa....aa aa....aa：オプション	必要なオプションが指定されていません。	
必要なオプションが指定されていません。	必要なオプションが指定されていません。	

KEQR28225-E（C／F）

ファイルの内容が不正です。(ファイル名 ＝ aa....aa)

aa....aa：ファイル名

説明

ファイルの内容が不正なため，処理は実行できません。

処理を中止します。

対処

アプリケーションサーバの環境をすべて削除して，再インストールを行ってください。

KEQR28226-E（C／F）

Cosminexus の環境が壊れています。(詳細 ＝ aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

アプリケーションサーバの環境が壊れているため，処理を続行できません。

処理を中止します。

対処

必要な資料を退避してサポートサービスに連絡してください。

KEQR28227-I（F）

Management Server 管理グループを変更しました。

説明

rasetup -vm コマンドで Management Server 管理グループを変更しました。

KEQR28228-E（C／F）

Management Server 管理グループの変更でエラーが発生しました。(詳細 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドで実行した Management Server 管理グループの変更でエラーが発生しました。
要因としては，指定した Management Server 管理グループが不正であることが考えられます。
処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。
詳細情報を基にエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。ただし，Web システムのセットアップ中の場合は，コマンドを再度実行する前に Web システムのアンセットアップを実行してください。

KEQR28229-E（C／F）

簡易構築定義ファイルの構文にエラーがあります。(行番号 = aa....aa, 列番号 = bb....bb, 詳細 = cc....cc)

aa....aa：行番号
bb....bb：列番号
cc....cc：詳細情報

説明

簡易構築定義ファイルの構文にエラーがあります。
処理を中止します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。
詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28230-W（C／F）

コマンドで警告レベルの問題が発生しました。(コマンド = aa....aa, 詳細 = bb....bb)

aa....aa：コマンド名
bb....bb：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドが実行したコマンドで警告レベルの問題が発生しました。
処理を続行します。

KEQR28231-E（C）

Usage :

rasetup -vm -dir <setup configuration directory>

rasetup -vm -clean

rasetup -vm -check

説明

コマンド形式に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

Usage に表示された使用方法を確認してください。

正しいコマンド形式を指定して，コマンドを再度実行してください。

KEQR28233-I（F）

定義ファイルチェックを開始しました。

説明

定義ファイルチェックを開始しました。

KEQR28234-I（F）

定義ファイルチェックが終了しました。

説明

定義ファイルチェックが終了しました。

KEQR28235-E（C／F）

指定したディレクトリに，必要な定義ファイルが存在しません。(定義ファイル名 ＝ aa....aa)

aa....aa：定義ファイル名

説明

指定した定義ファイル格納ディレクトリに，必要な定義ファイルが存在しません。

処理を中止します。

対処

定義ファイル格納ディレクトリのパスおよび格納しているファイルのファイル名を見直してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28236-E（C／F）

指定したディレクトリに，指定できない定義ファイルが存在します。(定義ファイル名 ＝ aa....aa)

aa....aa：定義ファイル名

説明

指定したディレクトリに，指定できない定義ファイルが存在します。

処理を中止します。

対処

格納しているファイルのファイル名を見直してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28245-E（C／F）

プロパティに不正な値が指定されました。(ファイル名 ＝ aa....aa, プロパティ名 ＝ bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：プロパティ名

説明

プロパティに不正な値が指定されました。

処理を中止します。

対処

プロパティの指定値を見直してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28246-E（C／F）

必要なプロパティが指定されていません。(ファイル名 = aa....aa, プロパティ名 = bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：プロパティ名

説明

必要なプロパティが指定されていません。

処理を中止します。

対処

メッセージに表示されたプロパティがファイルに存在するか，または値が設定されているか見直してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28237-E（C／F）

指定したディレクトリに格納されている定義ファイルに，不正な設定が存在するためセットアップができません。

説明

指定した定義ファイル格納ディレクトリに，不正な設定が存在する定義ファイルが含まれているためセットアップができません。

処理を中止します。

対処

このあとに表示されるメッセージを確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28238-E（C／F）

複数の定義ファイルで，パラメータの値が異なる設定が存在します。(定義ファイル = [aa....aa], パラメータ名 = bb....bb)

aa....aa：定義ファイル名

bb....bb：パラメータ名

説明

複数の定義ファイルの間で，同じ値が設定されるべきパラメータに，それぞれ異なる値が設定されています。

処理を中止します。

対処

定義ファイルに設定されている値を見直してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28239-E（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)によるセットアップが実行された環境では，セットアップを行うことはできません。

説明

rasetup -vm コマンドで Management Server のセットアップが実行されているため，セットアップができません。

処理を中止します。

対処

Management Server の実行環境を確認してください。

アンセットアップ後，コマンドを実行してください。

KEQR28240-E（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)以外の方法によるセットアップが実行された環境では，セットアップを行うことはできません。

説明

rasetup -vm コマンド以外の方法で Management Server のセットアップが実行されているため，セットアップができません。

要因として，Management Server が手動でセットアップされているか，セットアップウィザードでセットアップされていることが考えられます。

処理を中止します。

対処

Management Server の実行環境を確認してください。

mngunsetup コマンドを使用してアンセットアップを実行してください。または，アプリケーションサーバの環境をすべて削除して，再インストールを実行してください。

KEQR28241-E（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)によるセットアップが実行されていない環境では，アンセットアップを行うことはできません。

説明

rasetup -vm コマンドでセットアップが実行されていない環境では，アンセットアップは実行できません。

要因として，Management Server が次のどれかの状態であることが考えられます。

- セットアップされていません。
- 手動でセットアップ済みです。
- セットアップウィザードでセットアップ済みです。

処理を中止します。

対処

Management Server の実行環境を確認してください。

セットアップされていない場合はアンセットアップは必要ありません。

rasetup -vm コマンド以外でセットアップされている場合は，mngunsetup コマンドを使用してアンセットアップを実行してください。

KEQR28242-E（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)では指定できない記述があります。(ファイル名 ＝ aa....aa, 詳細 ＝ bb....bb)

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

説明

簡易構築定義ファイルに rasetup -vm コマンドでは指定できない記述があります。

処理を中止します。

対処

詳細情報を確認し，簡易構築定義ファイルの内容を見直してください。

詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 14–2　KEQR28242-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
<model-definition>の xmlns 属性に，使用できない XML 名前空間が指定されています。(値 ＝ aa....aa) aa....aa：<model-definition>の xmlns 属性に指定された値	簡易構築定義ファイルの<model-definition>に，使用できない XML 名前空間が指定されています。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です
<model-definition>の xmlns 属性で, XML 名前空間が指定されていません。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>の xmlns 属性で，XML 名前空間が指定されていません。	簡易構築定義ファイル中の<model-definition>の定義を変更してください。このバージョンで指定できる簡易構築定義ファイルの XML 名前空間は「http://www.cosminexus.com/mngsvr/schema/ModelDefinition-2.5」です。
<model-definition>-<web-system>の定義がありません。	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<web-system>の定義がありません。	簡易構築定義ファイル中に Web システムの定義(<model-definition>-<web-system>)を追加してください。
複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<web-system>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<web-system>の定義を一つにしてください。
複数の<web-system>-<tier>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<tier>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<tier>の定義を一つにしてください。
<tier>-<tier-type>の値に指定できない値が指定されています。 (値 ＝ aa....aa)	簡易構築定義ファイルに<tier>-<tier-type>の値として使用できない値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<tier-type>の値として使用できる値を指定してください。

詳細情報	説明	対処
aa....aa：<tier-type>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<tier-type>の値として使用できない値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<tier-type>の値として使用できる値を指定してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の値として"1"以外の値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<j2ee-server-count>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値として 1 以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>タグ指定を削除してください。または，<tier>-<j2ee-server-count>の値として 1 を指定してください。
複数の<web-system>-<unit>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<web-system>-<unit>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<web-system>-<unit>の定義を一つにしてください。
<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値が aa....aa である項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。 aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値が aa....aa である項目に対する<logical-server-name>の定義がありません。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別が aa....aa である論理サーバの定義に，次の<logical-server-name>タグを追加し，論理サーバ名を定義してください。 <unit> <allocated-host> <define-server> <logical-server-type>aa....aa</logical-server-type> <logical-server-name>論理サーバ名</logical-server-name>
<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値に指定できない値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として使用できない値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<unit>-<allocated-host>-<define-server>-<logical-server-type>の値として使用できる値を指定してください。
複数の<model-definition>-<host>が定義されています。	簡易構築定義ファイルに複数の<model-definition>-<host>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>の定義を一つにしてください。
<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として"localhost"以外の値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<host-ref>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として localhost 以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<unit>-<allocated-host>-<host-ref>の値として localhost を指定してください。
<model-definition>-<host>-<host-name>の値として"localhost"以外の値が指定されています。 (値 = aa....aa) aa....aa：<host-name>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<host-name>の値として localhost 以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<host-name>の値として localhost を指定してください。

詳細情報	説明	対処
<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として"localhost"以外の値が指定されています。(値 = aa....aa) aa....aa：<agent-host>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として localhost 以外の値が指定されています。	簡易構築定義ファイルの<model-definition>-<host>-<agent-host>の値として localhost を指定してください。
物理ティア aa....aa に<tier>-<j2ee-server-count>は指定できません。 aa....aa：ティアの種類	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>の定義を削除してください。
論理サーバ種別 aa....aa に<server-no>は指定できません。 aa....aa：論理サーバ種別	簡易構築定義ファイルに論理サーバ種別が"j2ee-server"以外の論理サーバで<server-no>が定義されています。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別が"j2ee-server"以外の論理サーバに対する<server-no>の定義を削除してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の指定値が 0 の場合は論理サーバ種別 j2ee-server を指定できません。	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値が"0"の場合に，論理サーバ種別"j2ee-server"が定義されています。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別"j2ee-server"の定義を削除してください。
<server-no>の値（aa....aa）に，<tier>-<j2ee-server-count>の値（bb....bb）より大きい値が指定されています。 aa....aa：<server-no>に指定された値 bb....bb：<j2ee-server-count>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値より大きい値が<server-no>の値として定義されています。	簡易構築定義ファイルの<server-no>の値に，<tier>-<j2ee-server-count>の値より小さい値を指定してください。
<tier>-<j2ee-server-count>の値（aa....aa）に対し，<unit>-<allocated-host>-<define-server>の定義が不足しています。 aa....aa：<j2ee-server-count>に指定された値	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の値に対する<unit>-<allocated-host>-<define-server>の定義が不足しています。	簡易構築定義ファイルの<tier>-<j2ee-server-count>の値の数だけ論理サーバ種別が"j2e-server"である<unit>-<allocated-host>-<define-server>を定義してください。
<tier>-<j2ee-server-count>が指定されていない場合，<server-no>は指定できません。	簡易構築定義ファイルに<tier>-<j2ee-server-count>の定義がない場合，<server-no>は定義できません。	簡易構築定義ファイルの<server-no>の定義を削除してください。
論理サーバ種別が"j2ee-server"である論理サーバ定義に<server-no>が指定されていません。(ユニット名 = aa....aa) aa....aa：ユニット名	簡易構築定義ファイルに論理サーバ種別が"j2ee-server"である論理サーバ定義に対して<server-no>が定義されていません。	簡易構築定義ファイルの論理サーバ種別が"j2ee-server"である論理サーバ定義に，<server-no>を定義してください。

KEQR28244-E（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)が強制終了されました。

説明

rasetup -vm コマンドが強制終了されました。

処理を中止します。

対処

コマンドを再度実行してください。

ただし，Web システムのセットアップ中の場合は，環境を削除後にコマンドを再度実行してください。

コマンドを再度実行してもエラーが発生する場合は，OS を再起動してください。

KEQR28247-E（C／F）

指定したディレクトリが存在しません。(ディレクトリ名 = aa....aa)

aa....aa：ディレクトリ名

説明

指定したディレクトリが存在しません。

次の要因が考えられます。

- 指定したディレクトリが存在しません。
- 指定したディレクトリ名に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

指定したディレクトリパスを見直してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28248-I（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)でセットアップは完了しています。

説明

rasetup -vm コマンドでセットアップは完了しています。

KEQR28249-W（C／F）

VM セットアップ(rasetup -vm コマンド)でセットアップは完了していません。

説明

asetup -vm コマンドでセットアップは完了していません。

要因としては，前回の VM セットアップ（rasetup -vm コマンド）によるセットアップが途中でエラー終了した状態であることが考えられます。

処理を終了します。

対処

rasetup -vm コマンドのログでセットアップが完了しているか確認してください。エラーメッセージが出力されている場合はメッセージの内容を確認してください。

エラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KEQR28250-E（C／F）

定義ファイルのバージョン情報が不正です。(詳細 = aa....aa)

aa....aa:詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドで対応していないバージョン情報の定義ファイルは使用できません。

要因としては，指定のインタフェースバージョン定義ファイルの指定値に誤りがあることが考えられます。

処理を終了します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。

次の表に示す詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 14–3　KEQR28250-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
定義ファイルのバージョン情報が設定されていません。	定義ファイルのバージョン情報が設定されていません。	インタフェースバージョン定義ファイルの内容を確認してください。 rasetup -vm コマンドで対応しているバージョン情報を使用して，インタフェースバージョン定義ファイルを設定してください。
定義ファイルのバージョン情報：aa....aa, 指定可能なバージョン情報：bb....bb aa....aa：定義ファイルのバージョン情報 bb....bb:指定可能なバージョン情報	定義ファイルのバージョン情報がVM セットアップ(rasetup -vm コマンド) のバージョン情報と一致していません。	インタフェースバージョン定義ファイルの内容を確認してください。 rasetup -vm コマンドで対応しているバージョン情報を使用して，インタフェースバージョン定義ファイルを設定してください。

KEQR28251-E（C／F）

定義ファイルのエディション情報が不正です。(詳細 = aa....aa)

aa....aa：詳細情報

説明

rasetup -vm コマンドで対応していないエディション情報の Web システムの定義ファイルは使用できません。

要因としては，指定のインタフェースバージョン定義ファイルの指定値に誤りがあることが考えられます。

処理を終了します。

対処

メッセージの詳細情報を確認してください。

次の表に示す詳細情報を参照してエラーの要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

表 14–4　KEQR28251-E に示されるエラーの詳細情報一覧

詳細情報	説明	対処
定義ファイルのエディション情報が設定されていません。	定義ファイルのエディション情報が設定されていません。	インタフェースバージョン定義ファイルの内容を確認してください。 構築対象のアプリケーションサーバのエディション情報を使用して，インタフェースバージョン定義ファイルを設定してください。
指定された定義ファイルは，本エディションのアプリケーションサーバを構築対象としていません。定義ファイルのエディション情報：aa....aa，指定可能なエディション情報：bb....bb aa....aa：定義ファイルが構築対象としているアプリケーションサーバのエディション情報 bb....bb：指定可能なアプリケーションサーバのエディション情報	定義ファイルのエディション情報が構築対象のアプリケーションサーバのエディション情報と一致していません。	インタフェースバージョン定義ファイルの内容を確認してください。 構築対象のアプリケーションサーバのエディション情報を使用して，インタフェースバージョン定義ファイルを設定してください。

15 KEUC（実行環境の切り替えで出力されるメッセージ）

この章では，実行環境の切り替えで出力されるメッセージについて説明します。

15.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KEUCnnnnn-Y　(Z)

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KEUCnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KEUC

構築済み実行環境の切り替えで出力されるメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

構築済み実行環境の切り替えで管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

Q（Question）

出力したメッセージに対して，ユーザの応答を通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，ユーザの応答を待ちます。

R（Request）

出力メッセージに対するユーザからの応答を待っていることを通知するメッセージです。

(Z)

メッセージの出力先を表します。出力先は英字 1 文字で示します。

出力先を示す文字とその意味を次に示します。

- C：コンソールに出力されます。
- F：ログファイルに出力されます。
- L：イベントログに出力されます。
- M：Log Monitor の画面に出力されます。
- S：syslog に出力されます（UNIX の場合）。
- W：Management Server の画面に出力されます。

! 注意事項

メッセージの出力先は，マニュアル内で使用する付加情報です。

メッセージテキスト

構築済み実行環境の切り替えで出力されるメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力した構成ソフトウェアの動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

15.2　KEUC で始まるメッセージ

構築済み実行環境の切り替えで出力される KEUC00001 から KEUC09999 までのメッセージについて説明します。

KEUC00001-I (C)

The cosmienv aa....aa command will now start.

aa....aa：-s，-d，-r，または-l

説明

cosmienv aa....aa コマンドを開始します。

KEUC00002-I (C)

The cosmienv aa....aa command ended successfully.

aa....aa：-s，-d，-r，または-l

説明

cosmienv aa....aa コマンドが正常に終了しました。

KEUC00003-E (C)

Execution of the cosmienv aa....aa command failed. (code = bb....bb[, cc....cc])

aa....aa：-s，-d，-r，または-l

bb....bb：リターンコード

cc....cc：保守コード

説明

cosmienv aa....aa コマンドが失敗しました。

対処

メッセージに出力されているリターンコードを確認して，対処してください。なお，リターンコードが 143 の場合，保守コードもあわせて表示されます。

リターンコードと対処については，次の表を参照してください。

表 15-1　リターンコードと対処

リターンコード	意味	対処
0	正常終了	−
128	異常終了	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
129	退避・回復の基になる情報の不正	
130	退避・回復の後処理で障害発生	
131	退避・回復用の情報の不正	インストールしている製品のバージョンが，構築済み実行環境の切り替えに対応しているバージョンかどうかを確認してください。 それでも解決しない場合は，出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。

リターンコード	意味	対処
133	ディスクアクセスエラー	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
135	ファイルオープンエラー	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
138	引数指定の不正	コマンドのシンタックスを確認してください。
139	未サポート機能の要求	インストールしている製品を確認してください。
140	コマンドの二重実行要求	コマンドが実行中でないかを確認してください。
141	稼働環境の不正	回復機能を実行する前に，次の内容を確認してください。 • アプリケーションサーバがアンインストールされていること • インストール先に不要なファイルが残っていないこと
142	実行権限なし	コマンド発行時の権限を確認してください。
143	構成ソフトウェアの処理で障害発生	メッセージに表示された構成ソフトウェアの保守コード（bb....bb[,cc....cc]の cc....cc）を確認してください。保守コードについては，次の表を参照してください。 なお，障害が発生した構成ソフトウェアについては，cosmienv コマンドのログで確認します。

表 15–2　構成ソフトウェアの保守コード

構成ソフトウェア	保守コード	意味	対処
Component Container	145	HNTRLib のインストールに失敗	Component Container を再インストールしてください。
	146	退避に失敗	次のどちらかの方法で対処してください。 • 指定した退避先のディレクトリを作成する。 • 存在するディレクトリパスを指定する。
	147	異常終了	/opt/Cosminexus/env/log 以下のファイルを採取して，保守員に連絡してください。
Component Transaction Monitor	129	退避・回復の基になる情報の不正	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	130	退避・回復の後処理エラー	
	131	退避・回復用の情報の不正	
	138	引数指定の不正	
	142	実行ユーザの不正	root で実行しているかどうかを確認してください。
	146	退避先のディレクトリが存在しない	次のどちらかの方法で対処してください。

構成ソフトウェア	保守コード	意味	対処
Component Transaction Monitor	146	退避先のディレクトリが存在しない	• 指定した退避先のディレクトリを作成する。 • 存在するディレクトリパスを指定する。
	147	そのほかのエラー	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	148	ファイル・ディレクトリの削除の失敗	
DABroker Library	128	異常終了	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	131	退避・回復用の情報の不正	
	138	引数指定の不正	コマンドの引数を確認して，再度実行してください。
	144	DABroker Library が稼働中	DABroker Library にアクセス中のプログラムをすべて終了してから再度実行してください。
Developer's Kit for Java	131	退避・削除用の情報の不正	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	138	引数指定の不正	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	144	回復に失敗	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	145	/opt/Cosminexus/jdk がシンボリックリンクファイル	/opt/Cosminexus/jdk がシンボリックリンクファイルの場合はサポートしていません。実体のファイルを置いてください。
	146	そのほかのエラー	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
Performance Tracer	129	退避・回復の基になる情報の不正	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	130	退避・回復の後処理エラー	
	131	退避・回復用の情報の不正	
	138	引数指定の不正	
	142	実行ユーザの不正	root で実行しているかどうかを確認してください。
	145	HccLib のインストールに失敗	再インストールしてください。
	146	退避先のディレクトリが存在しない	次のどちらかの方法で対処してください。 • 指定した退避先のディレクトリを作成する。 • 存在するディレクトリパスを指定する。
	147	そのほかのエラー	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。

構成ソフトウェア	保守コード	意味	対処
Performance Tracer	148	ファイル・ディレクトリの削除の失敗	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
Reliable Messaging	129	退避・回復の基になる情報の不正	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	130	退避・回復の後処理で障害発生	
	144	HNTRLib2 のインストールに失敗	再インストールしてください。
	145	退避先のディレクトリが存在しない	次のどちらかの方法で対処してください。 • 指定した退避先のディレクトリを作成する。 • 存在するディレクトリパスを指定する。
	146	そのほかのエラー	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
TPBroker	129	退避・回復の基になる情報の不正	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	130	退避・回復の後処理で障害発生	
	131	退避・回復用の情報の不正	
	133	ディスクアクセスエラー	
	135	ファイルオープンエラー	
	144	HCCLib のインストールに失敗	TPBroker を再インストールしてください。
	145	HNTRLib2 のインストールに失敗	
	146	退避に失敗	次のどちらかの方法で対処してください。 • 指定した退避先のディレクトリを作成する。 • 存在するディレクトリパスを指定する。
	147	PP インストーラ情報の取得・設定に失敗	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
Web Services - Security	129	退避・回復の基になる情報の不正	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	130	退避・回復の後処理で障害発生	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	131	退避・回復用の情報の不正	
	138	引数指定の不正	
	146	退避に失敗	次のどちらかの方法で対処してください。

構成ソフトウェア	保守コード	意味	対処
Web Services - Security	146	退避に失敗	• 指定した退避先のディレクトリを作成する。 • 存在するディレクトリパスを指定する。
	147	そのほかのエラー	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	148	ファイル・ディレクトリの削除の失敗	
XML Processor	128	異常終了	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	138	引数指定の不正	コマンドの引数を確認して，再度実行してください。
	144	退避に失敗	次の手順で対処してください。 1. 指定した退避先のディレクトリを作成する。または存在するディレクトリパスを指定する。 2. XML Processor の使用を終了する。
	145	HNTRLib2 のインストールに失敗	XML Processor を再インストールしてください。
HTTP Server	128	異常終了	出力メッセージとログを取得して，保守員に連絡してください。
	138	引数指定の不正	
	144	退避に失敗	次のどちらかの方法で対処してください。 • 指定した退避先のディレクトリを作成する。 • 存在するディレクトリパスを指定する。

KEUC00004-I (C)

Command usage: cosmienv <options> [-I<identifier>] [-P<save-path>] [-f]

<options>:

-s - saves the Cosminexus environment

-d - deletes the saved Cosminexus environment

-r - restores the saved Cosminexus environment

-l - lists the saved Cosminexus environment

-h - displays this help information

<identifier>:

Specify a unique identifier to distinguish the Cosminexus environment to be saved.

Use a maximum of 20 alphanumeric characters.

This identifier must be specified when the -s,-d, or -r option is used.

<save-path>:

Specify the full path of the Cosminexus environment to be saved.

You cannot specify a 1-byte space, 2-byte space, or tab character in a path name.

The save destination of the Cosminexus environment becomes <save-path>/<identifier>.

This save path must be specified when the -s option is used.

<-f>:

When the -r option is specified, specify the -f option to force restoration of the Cosminexus environment.

If the -f option is specified, the Cosminexus environment will be restored even if there are files remaining in the Cosminexus installation directory.

If the -f option is not specified, the Cosminexus environment will not be restored if there are files remaining in the Cosminexus installation directory.

The -f option is ignored if it is specified with any option other than the -r option.

説明

cosmienv コマンドの使用方法です。

KEUC00005-E (C)

To save, restore, or delete the Cosminexus system environment, use the cosmienv command.

説明

アプリケーションサーバのシステム環境の退避，回復，または削除の操作方法に誤りがあります。

対処

アプリケーションサーバのシステム環境を退避，回復，および削除する場合は，cosmienv コマンドを使用してください。

KEUC00006-E (C)

Command usage: cosmienv <options> [-I<identifier>] [-P<save-path>] [-f]

説明

cosmienv コマンドの使用方法に誤りがあります。

対処

cosmienv コマンドの引数の指定方法に誤りがないかどうかを確認してください。

引数の指定方法に誤りがない場合は，「echo $?」を実行して cosmienv コマンドのリターンコードを取得して，リターンコードに対する対処を実施してください。

cosmienv コマンドのリターンコードについては，「KEUC00003-E」を参照してください。

16 KEXS（XML Security - Core が出力するメッセージ）

この章では，XML Security - Core が出力するメッセージについて説明します。

16.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KEXSnnnnn-E

メッセージテキスト

（要因）

メッセージが出力された要因

（処理）

XML Security - Core の処理

（対処）

ユーザの対処方法

次に，各項目について説明します。

KEXSnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KEXS

XML Security - Core が出力するメッセージのプリフィックスです。

nnnnn

XML Security - Core で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

E

エラーメッセージであることを示すメッセージの種別を示します。

XML Security - Core が出力するメッセージのメッセージ種別は，「E」だけです。

メッセージテキスト

XML Security - Core が出力するメッセージテキストを表します。

要因

メッセージが出力された要因を示します。メッセージテキストの説明中に｛0｝のようなパラメタがある場合は，そのパラメタに出力される内容についても説明します。

処理

XML Security - Core がメッセージを出力したあとに実行する主な処理を示します。

対処

ユーザが実施する対処方法を示します。

16.2　KEXS で始まるメッセージ

XML Security - Core が出力する KEXS10001 から KEXS99999 までのメッセージについて説明します。

KEXS10001-E

引数に null が指定されました。変数名 = {0}

(要因)

引数に null が指定されました。

{0}：変数名

(処理)

例外を通知します。

(対処)

有効な値を引数に指定してください。

KEXS10002-E

内部エラーが発生しました。原因 = {0}

(要因)

内部エラーが発生しました。

{0}：内部エラーの原因

(処理)

例外を通知します。

(対処)

保守員に連絡してください。

KEXS10003-E

I/O エラーが発生しました。

(要因)

I/O エラーが発生しました。

(処理)

例外を通知します。

(対処)

ネットワーク環境やファイルシステムなど入出力に問題がないか確認してください。

KEXS10004-E

ファイルが見つかりません。ファイル名 = {0}

(要因)

指定されたファイルが存在しません。

{0}：ファイル名

(処理)

例外を通知します。

（対処）

適切なファイルを指定してください。

KEXS10005-E

URL コネクションを開けません。URI = {0}

（要因）

URL コネクションの接続時に I/O エラーが発生しました。

{0}：URI

（処理）

例外を通知します。

（対処）

有効な URI であるか確認してください。

KEXS20001-E

ログ／トレース設定ファイルの読込みに失敗しました。

（要因）

ログ／トレース設定ファイルの指定に誤りがあります。

（処理）

例外を通知します。

（対処）

ログ／トレース設定ファイルの指定を確認してください。

KEXS20002-E

不正なログ／トレース設定です。{0} = {1}

（要因）

ログ／トレースの設定で不正なプロパティ値が指定されました。

{0}：プロパティキー

{1}：プロパティ値

（処理）

例外を通知します。

（対処）

有効なプロパティ値を指定してください。

KEXS20003-E

XML プロセッサを構築できません。

（要因）

XML Processor のクラスパス設定に誤りがあります。

（処理）

例外を通知します。

（対処）

適切なクラスパスを設定してください。

KEXS20006-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS20006-E」を参照してください。

KEXS20007-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS20007-E」を参照してください。

KEXS20008-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS20008-E」を参照してください。

KEXS20009-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS20009-E」を参照してください。

KEXS30001-E

XML 文書のパースに失敗しました。

（要因）

次のどちらかが well-formed な XML 文書ではない可能性があります。

- 正規化処理への入力データ
- 変換処理への入力データ

（処理）

例外を通知します。

（対処）

well-formed な XML 文書を指定してください。

KEXS30002-E

宣言されていないエンティティがあります。エンティティ名 = {0}

（要因）

宣言されていないエンティティが含まれています。

{0}：エンティティ名

（処理）

例外を通知します。

（対処）

適切なエンティティ宣言をしてください。

KEXS30003-E

宣言されていないプレフィックスがあります。プレフィックス名 = {0}

（要因）

宣言されていないプレフィックスが含まれています。

{0}：プレフィックス名

（処理）

例外を通知します。

（対処）

適切なプレフィックス宣言をしてください。

KEXS30004-E

Document が null または空です。

（要因）

指定された Document オブジェクトにルート要素がありません。

（処理）

例外を通知します。

（対処）

ルート要素を持つ Document オブジェクトを指定してください。

KEXS30005-E

異なる XML 文書です。

（要因）

Object 要素に異なる XML 文書を追加しようとしました。

（処理）

例外を通知します。

（対処）

Document.importNode を使用してノードをインポートしてから，XML 文書を追加してください。

KEXS30006-E

不正なノードの親子関係です。

（要因）

親と子の関係にないノードが指定されました。

（処理）

例外を通知します。

（対処）

親子関係にあるノードを指定してください。

KEXS30007-E

サポートされないノードタイプです。ノードタイプ = {0}

(要因)

正規化処理で不正なノードが含まれています。または，XMLSerializer で不正なノードが指定されました。

{0}：org.w3c.dom.Node で定義されるノードタイプ

(処理)

例外を通知します。

(対処)

不正なノードを適切なノードに変更してください。

KEXS30008-E

すでに親ノードが存在します。

(要因)

すでに親ノードが存在するノードを追加しようとしました。

(処理)

例外を通知します。

(対処)

親ノードと切り離してから追加してください。

KEXS30009-E

外部エンティティ参照があります。公開識別子 = {0}, システム識別子 = {1}

(要因)

外部エンティティ参照が含まれています。

{0}：公開識別子

{1}：システム識別子

(処理)

例外を通知します。

(対処)

外部エンティティ参照を含まない文書を指定してください。

KEXS30010-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS30010-E」を参照してください。

KEXS30011-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS30011-E」を参照してください。

KEXS40001-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40001-E」を参照してください。

KEXS40002-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40002-E」を参照してください。

KEXS40003-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40003-E」を参照してください。

KEXS40004-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40004-E」を参照してください。

KEXS40005-E

すでにノードが存在します。

(要因)

すでにノードが関連づけられているオブジェクトに対して，ノードを関連づけようとしました。

(処理)

例外を通知します。

(対処)

ノードの関連づけは 1 回しか行えません。該当部分を修正してください。

KEXS40006-E

不正な名前空間 URI が指定されました。名前空間 URI = {0}

(要因)

名前空間 URI に不正な値が指定されました。

{0}：名前空間 URI

(処理)

例外を通知します。

(対処)

有効な名前空間 URI を指定してください。

KEXS40007-E

リソース解決に失敗しました。ベース URI = {0}, URI = {1}

(要因)

リソースリゾルバでリソース解決に失敗しました。

{0}：ベース URI

{1}：URI

(処理)

例外を通知します。

(対処)

有効な URI であるか確認してください。または，指定された URI を処理できるリソースリゾルバをアプリケーションで実装してください。

KEXS40008-E

ID 解決に失敗しました。ID = {0}

(要因)

ID リゾルバで ID 解決に失敗しました。

{0}：ID 値

(処理)

例外を通知します。

(対処)

有効な ID であるか確認してください。または，指定された ID を処理できる ID リゾルバをアプリケーションで実装してください。

KEXS40009-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40009-E」を参照してください。

KEXS40010-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40010-E」を参照してください。

KEXS40011-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40011-E」を参照してください。

KEXS40012-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40012-E」を参照してください。

KEXS40013-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40013-E」を参照してください。

KEXS40014-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40014-E」を参照してください。

KEXS40015-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40015-E」を参照してください。

KEXS40016-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS40016-E」を参照してください。

KEXS50001-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50001-E」を参照してください。

KEXS50002-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50002-E」を参照してください。

KEXS50003-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50003-E」を参照してください。

KEXS50004-E

必須要素が見つかりません。親要素名 = {0}, 必須要素名 = {1}, モード = {2}

(要因)

必須な要素が設定されていません。

{0}：親要素名

{1}：必須要素名

{2}：モード

(処理)

例外を通知します。

(対処)

必須要素を設定してください。

KEXS50005-E

必須属性が見つかりません。要素 = {0}, 必須属性名 = {1}, モード = {2}

(要因)

必須な属性が設定されていません。

{0}：要素名

{1}：必須属性名

{2}：モード

(処理)

例外を通知します。

（対処）

必須属性を設定してください。

KEXS50006-E

必須コンテントが見つかりません。要素名 = {0}, モード = {1}

（要因）

必須なコンテントが設定されていません。

{0}：要素名

{1}：モード

（処理）

例外を通知します。

（対処）

必須コンテントを設定してください。

KEXS50007-E

無効な HMAC 出力長です。出力長 = {0}

（要因）

無効な HMAC 出力長が設定されました。

{0}：HMAC 出力長

（処理）

例外を通知します。

（対処）

有効な HMAC 出力長を設定してください。

KEXS50008-E

無効な URI が指定されました。URI = {0}

（要因）

次に示すような無効な URI が指定されました。

- クエリ／フラグメントを含む URI
- http:で始まるが URL として不正な URI
- http:で始まるがホスト名が含まれていない URI

{0}：URI

（処理）

例外を通知します。

（対処）

有効な URI を指定してください。または，指定された URI を処理できるリソースリゾルバをアプリケーションで実装してください。

KEXS50009-E

無効な鍵が指定されました。

（要因）

無効な鍵が指定されました。

（処理）

例外を通知します。

（対処）

有効な鍵を指定してください。

KEXS50010-E

不正なプレフィックスマッピングです。プレフィックス名 = {0}

（要因）

XML 署名で使用しているプレフィックスの名前空間 URI を書き換えるプレフィックスマッピングを指定しました。

{0}：プレフィックス名

（処理）

例外を通知します。

（対処）

XML 署名で使用しているプレフィックスとは異なるプレフィックスを使用してください。

KEXS50011-E

不正な Filter 属性です。属性値 = {0}

（要因）

XPath 要素の Filter 属性に不正な値が設定されています。

{0}：属性値

（処理）

例外を通知します。

（対処）

有効な Filter 属性値を設定してください。

KEXS50012-E

無効な enveloped-signature 変換または XPath 関数 here()が指定されました。

（要因）

enveloped-signature 変換または XPath 関数 here()をオクテットストリームに対して適用しました。

（処理）

例外を通知します。

（対処）

変換の指定が正しいか確認してください。

KEXS50013-E

XPath 式の評価に失敗しました。XPath 式 = {0}

(要因)

XPath 式に誤りがあります。

{0}：XPath 式

(処理)

例外を通知します。

(対処)

XPath 式が正しいか確認してください。

KEXS50014-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50014-E」を参照してください。

KEXS50015-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50015-E」を参照してください。

KEXS50016-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50016-E」を参照してください。

KEXS50017-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50017-E」を参照してください。

KEXS50018-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50018-E」を参照してください。

KEXS50019-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50019-E」を参照してください。

KEXS50020-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50020-E」を参照してください。

KEXS50021-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50021-E」を参照してください。

KEXS50022-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50022-E」を参照してください。

KEXS50023-E

このメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「KEXS50023-E」を参照してください。

17 KFCB（TPBroker が出力するメッセージ）

この章では，TPBroker が出力する KFCB で始まるメッセージのうち，KFCB29000 から KFCB59999 までのメッセージおよびメッセージ「KFCB32206」（Java OTS が出力するメッセージ）の詳細について説明します。

KFCB9 で始まるメッセージおよび TPBroker の運用で出力されるメッセージ ID のないメッセージについては，「18. KFCB（TPBroker の運用で出力されるメッセージ）」を参照してください。

17.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KFCBnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

［内容］または［意味］

メッセージテキストに対する説明

［要因］

メッセージの出力要因

［システムの処理］

TPBroker の処理

［対策］

メッセージ確認時の TPBroker 管理者の処置

なお，「可変値に関する説明」，［内容］，［意味］，［要因］，「システムの処理」および「対策」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KFCBnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KFCB

TPBroker が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

TPBroker で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

TPBroker が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

内容または意味

メッセージに対する補足説明を示します。

要因

メッセージが通知された要因を示します。

システムの処理

システムがメッセージを出力したあとに実行する主な処理を示します。

対策

メッセージ確認時の TPBroker 管理者の処置を示します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

17.2　KFCB29000 から KFCB29999 までのメッセージ

TPBroker が出力する KFCB29000 から KFCB29999 までのメッセージについて説明します。

KFCB29000-I

System has already invoked.

[システムの処理]

ADM デーモンがすでに起動しているので，何もしません。コマンドは正常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29001-I

System has not invoked yet.

[システムの処理]

ADM デーモンが起動していないので，何もしません。コマンドは正常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29002-E

Failure to allocate memory.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

ほかのアプリケーションプログラムを終了させてください。

KFCB29003-I

Failure to allocate memory in ADMD.

[システムの処理]

ADM デーモンが異常終了します。コマンドは異常終了します。

[対策]

ほかのアプリケーションプログラムを終了させてください。

KFCB29004-E

Failure to initialize command.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29005-E

Communication error occurred.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

1. 運用定義/ADM/port_id_info に設定しているポート番号が，アクセスしたい ADM デーモンと同じかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。異なっていれば運用コマンドで運用定義を変更してください。また，マシンにホスト名が設定されているかどうかを確認し，設定されていなければホスト名を設定してください。
2. ほかのアプリケーションプログラムが運用定義/ADM/port_id_info に設定されているポート番号を使用していないかを確認してください。
3. ADM デーモンが稼働しているかどうかを確認してください。

KFCB29006-E

Failure to open system definition (aa...aa).

aa...aa：定義キー

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

定義キーが設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合は tsdefvalue コマンドを入力して，システム環境定義を設定してください。

KFCB29007-E

Failure to get system definition (aa...aa).

aa...aa：定義パラメタ

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

システム環境定義 aa...aa の取得に失敗しました。定義パラメタ aa...aa が正しく設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合は，tsdefvalue コマンドを入力して，システム環境定義を設定してください。

KFCB29008-E

Invalid definition (aa...aa=bb...bb) is found.

aa...aa：定義パラメタ

bb...bb：定義値

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

システム環境定義 aa...aa の値が不正です。定義パラメタ aa...aa に正しい値が設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。正しい値が設定されていない場合は，tsdefvalue コマンドを入力して，正しいシステム環境定義を設定してください。

KFCB29011-E

Function (aa...aa) returns error code (bb...bb).

aa...aa：異常を検知した関数名

bb...bb：関数のエラーコード

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

ADM デーモン側で異常を検知した場合がありますので，ADM デーモンが出力したメッセージを admlogcat コマンドで確認し，そのメッセージに対する処置を行ってください。

KFCB29012-I

aa...aa

aa...aa：コマンドの使用方法

[システムの処理]

コマンドの使用方法を示して，コマンドは正常終了します。

[対策]

メッセージに従って，正しい使用方法で再度コマンドを入力してください。

KFCB29013-E

Cannot access to ADMD.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

ほかの運用コマンドが ADM デーモンにアクセスしているか，または ADM デーモンが起動していません。ほかの運用コマンドの終了を待って，再度コマンドを入力するか，または ADM デーモンが起動していない場合は起動してください（Windows の場合，サービス「TPBroker」を開始しておく必要があります）。運用ミスによって ADM デーモンを手動で起動すると，手動で起動された ADM デーモンは運用定義/ADM/port_id_info を書き換え，KFCB29179-I を syslog，イベントログ，メッセージログファイルに出力します。このあと手動で起動した ADM デーモンを停止すると，OS に登録されている ADM デーモンと運用コマンドの間でポート番号の不一致が発生し，このメッセージが出力されます。この場合，運用定義/ADM/port_id_info の値を，KFCB29179-I で出力されたシステム環境定義で指定されたポート番号に再設定してください。

KFCB29014-I

The command received invalid message format from ADMD.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29015-E

'$ADMDIR' is not set.

[システム処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

環境変数 TPDIR を設定して，プロセスを再起動してください。

KFCB29016-I

The specified process (aa...aa) has been already monitored.

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

コマンドは正常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29017-I

The specified process (aa...aa) has not been monitored yet.

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

コマンドは正常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29018-E

$ADMSPOOL or $ADMFS directory does not exist.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admsetup コマンドを入力し，実行環境を構築してください。

KFCB29019-E

File (aa...aa) is not found.

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

プロセス監視定義ファイルに設定されたファイル名やコマンドのオプションで指定したファイル名が正しいかを確認してください。これらのファイル名はすべて絶対パス名で設定してください。

KFCB29020-E

Number of monitored processes exceeded the value defined in the system definition. (aa...aa)

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tsdefvalue コマンドで運用定義/ADM/max_process_num の値を変更し，再度 ADM デーモンを起動してください。

KFCB29021-E

Configuration file does not exist.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

admstart コマンドでこのメッセージが出力された場合, ADM デーモンはプロセス監視定義ファイルに何も定義されていないものと見なし，処理を開始します。TPBroker を終了させ，admsetup コマンドを再度実行して，正しいプロセス監視定義ファイルを指定してください。admreload コマンドでこのメッセージが出力された場合，プロセス監視定義ファイルを admsetup コマンド入力時に指定したパスに作成し，再度 admreload コマンドを実行してください。

KFCB29022-E

Process (aa...aa) is not defined in the configuration file.

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

プロセス監視定義ファイルに指定された識別子と，admstartprc コマンドの-i オプションに指定した識別子が一致しているかどうか確認を指定して，再度コマンドを入力してください。

KFCB29023-E

Cannot stop process (ID=aa...aa).

aa...aa：停止に失敗したプロセスの識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

指定された識別子に対するプロセスは，API で監視対象に参加させたプロセスなので，コマンドで停止させることはできません。

KFCB29024-E

Cannot start process (ID=aa...aa).

aa...aa：起動に失敗したプロセスの識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

プロセス監視定義ファイルまたはコマンドのオプションに指定されたファイルが実行形式ファイルかどうかをチェックしてください。また，16 ビットアプリケーションの場合は，起動できても監視対象に参加させることができないので，手動でプロセスを停止させてください。

KFCB29025-E

Length of specified file name is too long.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admstartprc または admstopprc コマンドのオプションに指定されたファイル名が長過ぎます。オプションも含めて 255 文字以内のファイル名を指定してください。

KFCB29026-E

The specified key (aa...aa) does not exist.

aa...aa：指定された定義キー

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

システム環境定義を tslsconf コマンドで参照し，正しい定義キー名を指定してください。

KFCB29028-E

The specified definition (aa...aa) does not exist.

aa...aa：指定された定義パラメタ

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

システム環境定義を tslsconf コマンドで参照し，正しい定義パラメタを指定してください。

KFCB29029-W

Number of the invoked processes indirectly exceeded the limit(100). (aa...aa)

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admstartprc コマンドで指定したプロセス監視定義ファイルに設定されている，間接起動方式のプロセスの起動プロセス数を見直してください。間接起動方式では 100 プロセスまで監視できます。

KFCB29030-W

Cannot monitor processes(es) by indirect activation. ID=aa...aa

aa...aa：プロセスに対する識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

間接起動方式で起動された監視対象プロセスが起動しているか，またはプロセス ID 取得用コマンドが正しく動作するかどうかを確認してください。監視対象プロセスが起動している場合は，ADM デーモンの監視対象外になっていますので手動でプロセスを停止させてください。監視対象プロセスが正しく起動するか, またはプロセス ID 取得用コマンドが正常に動作することを確認して, 再度 admstartprc コマンドを実行してください。

KFCB29031-I

aa...aa successful.

aa...aa：コマンド名

[システムの処理]

コマンドは正常終了しました。

[対策]

なし。

KFCB29032-E

Must be super user.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

スーパーユーザで再度コマンドを実行してください。

KFCB29033-E

This system is not supported by TPBroker.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

OS 名が HP-UX の場合は"HP-UX"，AIX の場合は"AIX"と出力されるようにコンピュータシステムの情報を uname コマンドで設定してください。

KFCB29034-E

TPBroker is already registered to inittab. admsetup -d is needed to unregister.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

TPBroker が/etc/inittab にすでに登録されているため，再度登録する必要はありません。登録削除するには，admsetup コマンドに-d オプションを指定して入力してください。

KFCB29035-E

TPDIR is not set.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

環境変数 TPDIR を設定してから，再度コマンドを入力してください。

KFCB29037-E

Cannot access ServiceControlManager.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

Administrators 権限のあるユーザで再度コマンドを入力してください。

KFCB29038-E

Failure to open ServiceControlManager.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

Administrators 権限のあるユーザで再度コマンドを入力してください。

KFCB29039-I

Cannot find specified service [aa...aa].

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは正常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29040-E

Failure to open service [aa...aa].

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

Administrators 権限で実行しているかどうかを確認してください。

KFCB29041-E

Cannot stop specified service [aa...aa].

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

サービスが動作中です。サービスコントロールパネルからサービスを停止したあと，再度コマンドを入力してください。

KFCB29042-E

The specified service [aa...aa] has not stopped yet.

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

サービスが動作中です。サービスコントロールパネルからサービスを停止したあと，再度コマンドを入力してください。

KFCB29043-E

The specified service [aa...aa] has been already deleted.

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29044-E

Failure to delete service [aa...aa].

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

Administrators 権限で再度コマンドを入力してください。

KFCB29045-E

The specified service [aa...aa] has already existed.

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29046-E

Cannot create specified service [aa...aa].

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admsetup の実行ユーザに Administrators 権限があることを確認してください。

KFCB29047-E

Spool directory exists. Please execute 'admsetup -d'.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

-d オプションを指定した admsetup コマンドを入力してから，再度-c オプションを指定した admsetup コマンドを入力してください。

KFCB29048-E

Cannot create directory. path=aa...aa.

aa...aa：パス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

指定されたディレクトリに対するアクセス権限があるかどうかを確認してください。

KFCB29049-E

Cannot remove directory. path=aa...aa.

aa...aa：パス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

再度-d オプションを指定した admsetup コマンドを入力してください。

KFCB29050-E

Failure to access file. file=aa...aa.

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

指定されたディレクトリに対するアクセス権限があるかどうかを確認してください。

KFCB29052-E

Failure to register daemon to /etc/inittab.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

スーパーユーザで再度コマンドを実行してください。

KFCB29053-E

Failure to unregister daemon from /etc/inittab.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

スーパーユーザで再度コマンドを実行してください。

KFCB29055-E

[aa...aa] is not setup.

aa...aa：ディレクトリ名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

-d オプションを指定した admsetup コマンドを実行したあと，再度 admsetup コマンドを入力してください。

KFCB29056-E

Fatal error occurred.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29057-E

The admd configuration file is invalid.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admsetup コマンドで指定されたプロセス監視定義ファイルが存在しません。正しいプロセス監視定義ファイル名を指定して，再度 admsetup コマンドを入力してください。

KFCB29058-E

System definition is not set. Please execute 'tssetup'.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンドを入力してシステム環境定義を設定してください。

KFCB29059-E

Specified arguments are invalid combination.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admstartprc または admstopprc コマンドで複数の識別子を指定した場合，-o オプションを指定しないで再度実行してください。

KFCB29060-E

Number of specified IDs exceeded the limit.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admstartprc または admstopprc コマンドで指定する識別子の数が多過ぎます。64 個以内の識別子を指定してから再度実行してください。

KFCB29061-E

$ADMFS directory exists.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

環境変数 ADMFS で設定されるディレクトリがすでに存在するので，次のどれかの操作をしてください。

1. 環境変数 ADMFS を別のディレクトリに設定して，再度コマンドを実行する。
2. -i オプションを指定して admsetup コマンドを実行する。
3. -i オプションを指定した admsetup コマンドでセットアップした環境を作成し直す場合は，環境変数 ADMFS に設定されているディレクトリを削除してから再度コマンドを実行する。

KFCB29062-E

Cannot share $ADMFS directory.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

環境変数 ADMFS で設定されるディレクトリを共用する場合は，同じバージョンの TPBroker で共用するように環境を設定したあとで，コマンドを再度実行してください。環境変数 ADMFS で設定されるディレクトリを共用する必要がない場合は，-i オプションを指定しないで再度実行してください。

KFCB29063-E

Lack of ID on /etc/inittab.

[システムの処理]

admsetup コマンドは，処理を中断します。

[対策]

OS に登録されている TPBroker 環境の数が 5 を超えています。不要な環境を-d オプションを指定した admsetup コマンドで削除して，再度実行してください。

KFCB29064-E

ADMD downed.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

admlogcat コマンドで，ADM デーモンが異常終了した原因を調べてください。原因は，次のどちらかになります。

1. 監視対象プロセスの起動に失敗した場合の定義が"down"に設定されていて，プロセスの起動に失敗した。
2. メモリ不足が発生した。

KFCB29065-W

Specified process is alive. This change was ignored. ID = aa...aa

aa...aa：識別子

[システムの処理]

aa...aa は起動中のため，プロセス監視定義の変更は行いません。コマンドは処理を続けます。

[対策]

起動中のプロセスに対するプロセス監視定義を変更する場合，次のどちらかの操作をしてください。

1. admstopprc コマンドを実行して該当プロセスを停止させてから，admreload コマンドを実行する。
2. -f オプションを指定した admreload コマンドを実行する。

KFCB29066-W

The TPBroker system environment is intended to be changed. This change was ignored.

[システムの処理]

TPBroker システム全体の環境変数が変更されています。この環境変数は反映されません。コマンドは処理（プロセス監視定義の追加，削除，変更）を続けます。

[対策]

TPBroker システム全体の環境変数を変更する場合は，admstop コマンドを実行し，TPBroker を正常終了させてから，再開始してください。

KFCB29067-I

The definition has not been changed.

[システムの処理]

プロセス監視定義に変更がありませんでした。コマンドは正常終了します。

[対策]

なし。

KFCB29068-W

Number of monitored processes exceeds the value defined in the system definition. (aa...aa)

aa...aa：起動したプロセスの識別子

[システムの処理]

運用定義/ADM/max_process_num で指定した数以上のプロセスがすでに定義されているか，または起動されています。aa...aa を追加できません。コマンドは処理（プロセス監視定義の追加，削除，変更）を続けます。

[対策]

プロセス監視定義の追加と同時にプロセス監視定義の削除があり，運用定義/ADM/max_process_num で指定した数より少ないプロセス数となった場合，admreload コマンドを再度入力してください。または，運用定義/ADM/max_process_num で監視できるプロセス数の最大値を増加させ，admstop コマンドを実行し，TPBroker を正常終了させてから，再開始してください。また，admreload コマンドを実行した場合，プロセス監視定義ファイルが削除されて存在しないときは，メッセージ KFCB29021-E を出力します。それ以外のエラー発生時は，対応したメッセージを出力します。各メッセージに従って対策してください。

KFCB29069-E

Specified service [TPBroker] is marked for delete.

[システムの処理]

admsetup コマンドは異常終了します。

[対策]

［サービス］ウィンドウを閉じて，-d オプションを指定した admsetup コマンドを入力してから再度-c オプションを指定した admsetup コマンドを実行してください。

KFCB29070-I

ADMD has already terminated.

[システムの処理]

ADM デーモンがすでに終了しているので何もしません。

[対策]

なし。

KFCB29071-I

Process started (ID=aa...aa, pid= bb...bb)

aa...aa：起動したプロセスの識別子

bb...bb：起動したプロセスのプロセス ID

[システムの処理]

プロセスを起動します。

[対策]

なし。

KFCB29072-I

Process stopped (ID=aa...aa, pid= bb...bb)

aa...aa：停止したプロセスの識別子

bb...bb：停止したプロセスのプロセス ID

[システムの処理]

プロセスを停止します。

[対策]

なし。

KFCB29073-W

Cannot remove status file. filename=aa...aa info1=bb...bb info2=cc...cc

aa...aa：TPBroker システムステータスファイル名

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

コマンドは処理を続けます。

[対策]

環境変数 ADMFS を使用している TPBroker 環境が起動中でないことを確認してください。または，aa...aa で示されるファイルが使用中でないことを確認してください。確認後，コマンドを再度実行してください。

- ファイルが存在しない場合，メッセージを出力しないで処理を続けます。
- クラスタシステムで環境変数 ADMFS を共有する構成の場合，全ノードの運用支援機能の環境を削除する場合だけ-d オプションおよび-f オプションを指定した admsetup コマンドを実行してください。

KFCB29075-E

[aa...aa] is not registered to service.

aa...aa：サービス名

[システムの処理]

aa...aa はサービスに登録されていません。コマンドは終了します。

[対策]

aa...aa がサービスに登録されているかどうか確認してください。

KFCB29078-E

Length of service name [aa....aa] is over the maximum.

ADM サービス名が最大長を超えています。

aa....aa：TPBroker サービス名称

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

サービス名には 1～32 文字の半角英数字を指定してください。

KFCB29079-E

The path of ADMSPOOL cannot be obtained from the registry.

レジストリから ADMSPOOL のパスが取得できません。

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

レジストリから ADM の SPOOL ディレクトリのパスが取得できないため，手動で ADM の SPOOL ディレクトリを削除して ADM のセットアップを再度行ってください。

KFCB29080-E

Specified service name is invalid [aa....aa].

サービス名称が正しくありません。

aa....aa：ADM サービス名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

ADM サービス名に半角英数字，アンダーバー，および半角スペース以外の文字が含まれていないか確認してください。また，ADM サービス名に指定した文字列の先頭と語尾に空白文字が含まれていないか，確認した上でセットアップを再度行ってください。

KFCB29082-E

Service = aa....aa,Port = bb....bb,Command = cc....cc,Error code = dd....dd

aa....aa：ADM サービス名

bb....bb：ポート番号

cc....cc：コマンド名

dd....dd：エラーコード（1～3 の範囲）

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンド cc....cc が ADM デーモンにアクセスできない時に出力されます。aa....aa の ADM サービス名でコントロールパネルのサービスに登録された TPBroker が bb....bb のポート番号で起動しているか，またはエラーコードに応じて以下の内容から，エラー要因を確認して対処してください。

エラーコード	意味	対策
1	ADM デーモンが未起動であるため，エラーが発生しました。	ADM デーモンが起動しているか，確認してください。 ADM デーモンが起動している場合，ADM デーモンの環境変数 ADMSPOOL が，実行したコマンドの環境変数 ADMSPOOL と一致しているか，確認してください。
2	ADM デーモンとの通信に失敗しました。	指定したコマンドの環境変数 TPSPOOL と ADM デーモンの環境変数 TPSPOOL が一致しているか，確認してください。一致している場合，システム定義/ADM/port_id_info で定義されているポート番号で ADM デーモンが起動しているか，確認してください。
3	致命的なエラーが発生しました。	保守員に連絡してください。

KFCB29083-E

[admsetup-d] was executed to the environment of ADM built by [admsetup -c conffile -r service]. Please specify a [-r service-name] and execute 'admsetup -d'.

ADM サービス名付きでセットアップされた ADMSPOOL ディレクトリを[admsetup -d]で削除しようとしました。

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

-r [service-name]を指定して，admsetup を再実行してください。

KFCB29084-E

Cannot create rc script.

rc スクリプトの登録に失敗しました。

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

root 権限で admsetup コマンドを実行しているか，確認してください。

KFCB29085-E

Cannot delete rc script.

rc スクリプトの削除に失敗しました。

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

root 権限で admsetup コマンドを実行しているか，確認してください。

KFCB29086-I

aa...aa was started with bb...bb wait-time.

aa...aa：コマンド名

bb...bb：指定した ADM デーモン起動待ち時間

[意味]

aa...aa が，bb...bb で示される ADM デーモン起動待ち時間をオプションにして実行されました。

[システムの処理]

コマンドは ADM デーモンの起動を最大 bb...bb 秒待ち合わせます。

[対策]

なし。

KFCB29087-E

Cannot change standard I/O. info1=aa...aa, info2=bb...bb, info3=cc...cc

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

cc...cc：保守情報 3

[意味]

標準入出力の変更ができませんでした。

[システムの処理]

admlaunchux コマンドは異常終了します。

[対策]

/dev/null が存在し，読み取り・書き込み権限があることを確認してください。

KFCB29088-E

Cannnot change signal. signal=aa...aa, info1=bb...bb

aa...aa：変更に失敗したシグナル値

bb...bb：保守情報 1

[意味]

シグナルの扱いが変更できませんでした。

[システムの処理]

admlaunchux コマンドは異常終了します。

[対策]

システム上のメモリが破壊されていないことを確認してください。

KFCB29089-E

Cannot execute command. command=aa...aa, reason=bb...bb, info1=cc...cc

aa...aa：起動に失敗した起動コマンド

bb...bb：理由コード

access denied：コマンドを起動する権限が不足しています。

not exist：コマンドが存在しません。

invalid format：コマンドのフォーマットが不正です。

unknown：上記以外の理由です。

cc...cc：保守情報 1

[意味]

起動コマンドの実行ができませんでした。

[システムの処理]

admlaunchux コマンドは異常終了します。

[対策]

理由コードに従って対処してください。

access denied：

起動コマンドに実行権限があるか，起動コマンドのパスを構成するディレクトリにサーチ権限があるかを確認してください。

not exist：

起動コマンドまたは起動コマンドのパスを構成するディレクトリが存在することを確認してください。または絶対パスで起動コマンドを指定していることを確認してください。

または admlaunchux コマンドをプロセス監視定義ファイルに記載した場合に起動コマンドのパスが環境変数を含む記述になっていないことを確認してください。

invalid format：

起動コマンドが壊れていないか確認してください。起動コマンドがシェルスクリプトの場合，先頭の 2 バイトが「#!」であることを確認してください。

unknown：

以下の内容を確認してください。

- 起動コマンドの引数リストに環境変数を加えたバイト数が OS の制限を超えていない。
- 互換のないアーキテクチャの起動コマンドでないか。
- 起動コマンドのパスを構成するディレクトリで，シンボリックリンクが循環していないか。
- 起動コマンドがシステムによって決められた最大値以上のメモリを要求していないか。
- 起動コマンドのパスの構成要素がディレクトリであるか。

KFCB29090-E

System definition is not set. Please execute 'tssetup' or 'tstpbsetup'.

[意味]

システム環境定義が設定されていません。tssetup コマンド，または tstpbsetup コマンドを実行してください。

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンド，または tstpbsetup コマンドを入力してシステム環境定義を設定してください。

KFCB29100-E

Configuration file (aa...aa) does not exist.

aa...aa：プロセス監視定義ファイル名

[システムの処理]

ADM デーモンはプロセス監視定義ファイルが指定されていないものと見なして，処理を続けます。

[対策]

プロセス監視定義ファイル(aa...aa)が見つかりません。正しいプロセス監視定義ファイルを指定して ADM デーモンを再開始してください。プロセス監視定義ファイルは admsetup コマンドでセットアップ時に指定します。このとき，ドライブ名を含め絶対パス名で指定してください。

KFCB29102-E

Failure to allocate memory (size = aa...aa).

aa...aa：確保しようとしたメモリの大きさ

[システムの処理]

ADM デーモンが異常終了します。

[対策]

ほかのアプリケーションプログラムを終了させ，再度 ADM デーモンを起動してください。

KFCB29103-E

Failure to allocate memory (aa...aa).

aa...aa：メモリ不足を起こした関数名

[システムの処理]

ADM デーモンが異常終了します。

[対策]

ほかのアプリケーションプログラムを終了させ，再度 ADM デーモンを起動してください。

KFCB29104-E

Failure to initialize system.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29105-E

Error is found in the configuration file at aa...aa [bb...bb] cc...cc.

aa...aa：不正な定義値が設定されている識別子（識別子が未設定の場合は，aa...aa には何も表示されません）

bb...bb：カラム番号

cc...cc：次に示す詳細情報

Number of definition is invalid.

1 エントリに対する項目数が不正です。

dd...dd:Error is found.

項目 dd...dd にエラーがあります。

ID(dd...dd) is too long or too short.

識別子 dd...dd の長さが不正です。

ID(dd...dd) is invalid format.

識別子 dd...dd のフォーマットが不正です（英数字以外の文字が使用されています）。

dd...dd is not file.

dd...dd はファイルではありません（ディレクトリが指定されている場合など）。

Command is not defined.

監視対象プロセスが異常終了したときの処理が"command"の場合に起動するコマンドが定義されていません。または，間接起動方式で，プロセス ID 取得用コマンドおよびプロセス停止用コマンドが定義されていません。

dd...dd is invalid.

定義値が不正です（restart，none，command，および down 以外を指定しています。または，設定できる範囲を超えています）。

dd...dd is not a number.

dd...dd は数字ではありません。

dd...dd is too long.

環境変数またはコマンド名／パス名の設定が長過ぎます。

Environment variable is not set.

"PUTENV"で環境変数が設定されていません。

dd...dd is not reserved.

"PUTENV"を定義する個所に dd...dd と記載されています。

Error is found

何らかのエラーが発生しました。または，前のエントリの定義項目数が不正です。

ID (dd...dd) has been already registered.

識別子 dd...dd はすでに登録されています。または，プロセス監視定義ファイル内に同じ識別子が設定されています。

[システムの処理]

ADM デーモンは，不正が見つかったプロセス監視定義を無視し，続きのプロセス監視定義を読み込む処理を続けます。

[対策]

ADM デーモンは異常終了しないので，そのまま処理を続けます。正しいプロセス監視定義を有効にするには，admstop コマンド入力後，次に示す項目を確認してから再度 ADM デーモンを起動してください。

1. 識別子が正しいか。
2. プロセス名が正しいか。
3. 設定値が正しいか。

4. 項目数が正しいか。

KFCB29106-E

Process (aa...aa) is not defined in the configuration file.

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

admstartprc コマンドの-i オプションで指定する識別子が，プロセス監視定義に存在しません。次のどれかの対策を行ってください。

- admstartprc コマンドの-i オプションに指定する識別子を変更してコマンドを再投入する。
- プロセス監視定義の識別子を修正して，admreload コマンドを投入する。
- プロセス監視定義の識別子を修正して，再度 ADM デーモンを起動する。

KFCB29107-E

File (aa...aa) is not found.

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

プロセス監視定義ファイルに指定されたファイル名やコマンドのオプションで指定したファイル名が正しいかを確認してください。これらのファイル名はすべて絶対パス名で指定してください。

KFCB29108-E

Failure to get system definition (aa...aa).

aa...aa：定義パラメタ

[システムの処理]

ADM デーモンはデフォルト値で処理を続けます。

[対策]

システム環境定義 aa...aa の取得に失敗しました。定義パラメタ aa...aa が正しく設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合は, tsdefvalue コマンドで設定してください。

KFCB29109-E

Failure to open system definition (aa...aa).

aa...aa：定義キー

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

定義キーが設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合は，tssetup コマンドを入力して実行環境を初期化してください。

KFCB29110-E

Invalid definition (aa...aa=bb...bb) is found.

aa...aa：定義パラメタ

bb...bb：定義値

[システムの処理]

ADM デーモンはデフォルト値で処理を続けます。

[対策]

システム環境定義 aa...aa の値が不正です。定義パラメタ aa...aa が正しく設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合は，tsdefvalue コマンドで設定してください。

KFCB29111-I

Invalid definition (aa...aa=bb...bb) is found.

aa...aa：定義パラメタ

bb...bb：定義値

[システムの処理]

ADM デーモンはデフォルト値を使用して，処理を続けます。

[対策]

システム環境定義 aa...aa の値が不正です。定義パラメタ aa...aa が正しく設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合は，tsdefvalue コマンドで設定してください。

KFCB29112-E

Failure to initialize status file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

$ADMSPOOL が存在するかを確認してください。

KFCB29113-E

Failure to write status file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

$ADMSPOOL が存在するかを確認してください。

KFCB29114-E

Failure to read status file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

$ADMSPOOL が存在するかを確認してください。

KFCB29115-E

Failure to open status file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

$ADMSPOOL が存在するかを確認してください。

KFCB29116-I

Recreate status file.

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

$ADMSPOOL が存在するかを確認してください。

KFCB29117-E

Invalid parameter is found.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29118-E

Failure to start process (ID=aa...aa).

aa...aa：プロセス監視定義ファイルまたは運用コマンドで指定された識別子

[システムの処理]

1. プロセス監視定義ファイルに設定された実行可能ファイルの起動に失敗した場合，定義に従って，次のうちどれか一つの動作をします。
   - ADM デーモンが起動に失敗した実行可能ファイルを再開始します。
   - ADM デーモンが異常終了します。
   - 何もしないで処理を続けます。
2. 運用コマンドで指定された実行可能ファイルの起動に失敗した場合，運用コマンド入力時に指定されたオプションに従って，次のどちらかの動作をします。
   - ADM デーモンが異常終了します。

・何もしないで処理を続けます。

[対策]

指定された識別子に対する実行可能ファイルが存在するか，および実行権限が与えられているかどうかを確認してください。ADM デーモンが異常終了した場合，正しいプロセス監視定義ファイルを指定して ADM デーモンを再開始してください。[システムの処理] の 2.の「何もしないで処理を続ける」場合，再度運用コマンドを入力してください。

KFCB29119-E

Failure to create process (ID=aa...aa).

aa...aa：プロセス監視定義ファイルまたは運用コマンドで指定された識別子

[システムの処理]

1. プロセス監視定義ファイルに指定された実行可能ファイルの起動に失敗した場合，定義に従って，次のうちどれか一つの動作をします。
   ・ADM デーモンが起動に失敗した実行可能ファイルを再開始します。
   ・ADM デーモンが異常終了します。
   ・何もしないで処理を続けます。
2. 運用コマンドで指定された実行可能ファイルの起動に失敗した場合，運用コマンド入力時に指定されたオプションに従って，次のどちらかの動作をします。
   ・ADM デーモンが異常終了します。
   ・何もしないで処理を続けます。

[対策]

指定された識別子に対する実行可能ファイルが存在するか，および実行権限が与えられているかどうかを確認してください。ADM デーモンが異常終了した場合，正しいプロセス監視定義ファイルを指定して ADM デーモンを再開始してください。[システムの処理] の 2.の「何もしないで処理を続ける」場合，再度運用コマンドを入力してください。

KFCB29120-E

Failure to get process ID (ID=aa...aa).

aa...aa：プロセス監視定義ファイルまたは運用コマンドで指定された識別子

[システムの処理]

ADM デーモンは，アプリケーションプログラムを監視しません。

[対策]

Windows の場合は, 16 ビットアプリケーションを監視対象にできません。プロセスが起動しているかを確認してください。

KFCB29121-E

Failure to start watch process (PID=aa...aa).

aa...aa：プロセス ID

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29122-E

Failure to register watch handler.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29123-E

Failure to unregister watch handler.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29124-E

Failure to stop monitoring process (PID=aa...aa).

aa...aa：プロセス ID

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29125-I

ADMD started (PID=aa...aa, TIME=bb...bb).

aa...aa：ADM デーモンのプロセス ID

bb...bb：起動時刻

[システムの処理]

処理を続けます。

[対策]

なし。

KFCB29126-E

Process (PID=aa...aa, ID=bb...bb) downed.

aa...aa：異常終了したプロセスのプロセス ID

bb...bb：異常終了したプロセスに対する識別子

[システムの処理]

監視中のプロセスが異常終了しました。プロセス監視定義に従って処理を進めます。

[対策]

なし。

KFCB29127-I

Restart the down process (ID=aa...aa).

aa...aa：異常終了したプロセスに対する識別子

[システムの処理]

異常終了したプロセスを再起動します。

[対策]

なし。

KFCB29128-I

aa...aa is executed.

aa...aa：プロセス監視定義ファイルに設定されたコマンド

[システムの処理]

プロセス監視定義ファイルに設定されたコマンドを実行します。

[対策]

なし。

KFCB29129-I

ADMD do nothing.

[システムの処理]

何もしません。

[対策]

なし。

KFCB29130-I

ADMD downed.

[システムの処理]

ADM デーモンが終了し，OS から再度 ADM デーモンが起動します。

[対策]

なし。

KFCB29131-I

ADMD started automatically.

[システムの処理]

ADM デーモンは自動起動です。

[対策]

なし。

KFCB29132-I

ADMD started manually.

[システムの処理]

ADM デーモンは手動起動です。

[対策]

なし。

KFCB29133-I

ADMD started with normal mode.

[システムの処理]

ADM デーモンは正常開始モードです。

[対策]

なし。

KFCB29134-I

ADMD started with forcible normal mode.

[システムの処理]

ADM デーモンは強制正常開始モードです。

[対策]

なし。

KFCB29135-I

ADMD started with recovery mode.

[システムの処理]

ADM デーモンは再開始モードです。

[対策]

なし。

KFCB29136-I

ADMD stopped with normal mode.

[システムの処理]

ADM デーモンは正常終了モードです。

[対策]

なし。

KFCB29137-I

ADMD stopped with forcible mode.

[システムの処理]

ADM デーモンは強制正常終了モードです。

[対策]

なし。

KFCB29138-I

Process (PID=aa...aa, ID=bb...bb) started.

aa...aa：起動したプロセスのプロセス ID

bb...bb：起動したプロセスの識別子

[システムの処理]

プロセスを起動します。

[対策]

なし。

KFCB29139-I

Process (PID=aa...aa, ID=bb...bb) stopped.

aa...aa：停止したプロセスのプロセス ID

bb...bb：停止したプロセスの識別子

[システムの処理]

プロセスを停止します。

[対策]

なし。

KFCB29140-I

Starting to monitor process (PID=aa...aa, ID=bb...bb).

aa...aa：監視を開始するプロセスのプロセス ID

bb...bb：監視を開始するプロセスの識別子

[システムの処理]

外部から API を使用して，監視を要求したプロセスの監視を開始します。ID にはシステムでユニークに設定した識別子が設定されます。

[対策]

なし。

KFCB29141-I

Stopping to monitor process (PID=aa...aa, ID=bb...bb).

aa...aa：監視を終了するプロセスのプロセス ID

bb...bb：監視を終了するプロセスの識別子

[システムの処理]

外部から API を使用して，監視を要求したプロセスの監視を終了します。

[対策]

なし。

KFCB29142-E

Failure to read shared memory.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29143-E

Function (aa...aa) returns error code (bb...bb).

aa...aa：異常が発生した関数名

bb...bb：関数が返したエラーコード

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29144-E

Failure to write process status.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29145-E

Failure to write system status.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29146-E

Failure to write status.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29147-E

Failure to initialize TCP.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29148-E

Communication error occurred.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29149-I

Command (aa...aa) is executed.

aa...aa：入力されたコマンド

[システムの処理]

コマンドが入力されました。

[対策]

なし。

KFCB29150-I

API (aa...aa) is executed.

aa...aa：実行された API

[システムの処理]

API が実行されました。

[対策]

なし。

KFCB29151-E

Failure to create message log file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29152-E

Failure to write message to log file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29156-E

Failure to create shared memory file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29157-E

Failure to allocate shared memory file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29158-E

Failure to open shared memory file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29159-E

Number of processes which are monitored exceeded the value defined in the system definition.

[システムの処理]

プロセス監視定義ファイルの読み込み時，またはプロセス起動時に運用定義/ADM/max_process_num に設定された最大監視対象プロセス数を超えました。ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

運用定義/ADM/max_process_num を変更後，admstop コマンドで TPBroker を正常終了してから，再度 TPBroker を開始してください。

KFCB29160-I

Abort handler is invoked.

[システムの処理]

監視中のプロセスが異常終了し，ハンドラが起動しました。プロセス監視定義に従って処理します。

[対策]

なし。

KFCB29161-I

System has already invoked.

[システムの処理]

ADM デーモンがすでに起動しているので何もしません。

[対策]

なし。

KFCB29162-I

System has not invoked yet.

[システムの処理]

何もしません。

[対策]

admstart コマンドを入力して，ADM デーモンを使用できる状態にしてください。

KFCB29163-I

ADMD received invalid message format from APIs or command.

[システムの処理]

ADM デーモンは何もしません。

[対策]

なし。

KFCB29164-E

Failure to check previous status file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29165-E

Failure to create new thread.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29166-E

Failure to execute specified command.

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

指定したコマンドに実行権限があるかどうかを確認してください。

KFCB29167-E

System is invalid status.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29168-E

Length of file name is too long.

[システムの処理]

プロセス監視定義ファイルやコマンドに指定したファイル名が長過ぎます。ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

適切な長さのファイル名を指定してください。

KFCB29169-E

Process (ID=aa...aa) is not found.

aa...aa：プロセスに対する識別子

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29170-E

Cannot stop the process (ID=aa...aa).

aa...aa：プロセスに対する識別子

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29171-E

Environment is invalid.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

環境変数を見直してください。

KFCB29172-I

The specified process (aa...aa) has been already monitored.

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

なし。

KFCB29173-I

The specified process (aa...aa) has not been monitored yet.

aa...aa：指定された識別子

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

なし。

KFCB29179-I

The specified port number(aa...aa) is invalid or used. ADMD uses bb...bb .

aa...aa：システム環境定義で設定されたポート番号

bb...bb：自動的に割り当てたポート番号

[システムの処理]

自動的に割り当てたポート番号をシステム環境定義に設定します。ADM デーモンとコマンドとの通信はこのポート番号を使用します。

[対策]

なし。

KFCB29180-W

Number of environment variables in configuration file is over the maximum.

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

プロセス監視定義ファイルに設定できる環境変数の数は 100 以下のため，プロセス監視定義ファイルを確認してください。

KFCB29181-E

$ADMSPOOL or $ADMFS directory does not exist.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

admsetup コマンドを入力し，実行環境を構築してください。

KFCB29182-W

Number of invoked processes indirectly exceeded the limit(100).

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。

[対策]

なし。

KFCB29183-W

Configuration file is not specified.

[システムの処理]

ADM デーモンは処理を続けます。ただし，プロセス監視定義ファイルが設定されていません。

[対策]

いったん TPBroker を終了し，再度セットアップすることをお勧めします。

KFCB29184-E

The administration daemon terminated abnormally ten continuous times.

The administration daemon stops processing.

[システムの処理]

ADM デーモンの起動を停止します。

[対策]

-d オプションを指定した admsetup コマンドで実行環境を削除したあと，再度 admsetup コマンドで実行環境を構築してください。

KFCB29185-E

Cannot create management file.

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29186-W

ADMD terminated process(es) forcibly. ID=aa...aa

aa...aa：強制停止したプロセスに対する識別子

[システムの処理]

停止コマンドの発行後，監視対象プロセスが停止しなかったため，監視対象プロセスを強制的に停止しました。監視対象プロセスは正常に停止していない可能性があります。

[対策]

なし。

KFCB29187-W

Cannot get process IDs by indirect activation. ID=aa...aa COMMAND=bb...bb

aa...aa：プロセスに対する識別子

bb...bb：プロセス ID 取得用コマンド

[システムの処理]

ADM デーモンはプロセスを監視しないで処理を続けます。

[対策]

間接起動方式で起動された監視対象プロセスが起動しているか，またはプロセス ID 取得用コマンドが正しく動作するかを確認してください。監視対象プロセスが起動している場合は，ADM デーモンの監視対象外になっていますので，手動でプロセスを停止させてください。監視対象プロセスが正しく起動するか，またはプロセス ID 取得用コマンドが正常に動作することを確認して，再度 admstartprc コマンドを実行してください。

KFCB29188-E

The monitored process terminated abnormally continuously.

The administration daemon gave up to restart the process (ID=aa...aa).

aa...aa：異常終了したプロセスに対する識別子

[システムの処理]

異常終了したプロセスを再起動しないでそのままにします。

[対策]

admstartprc コマンドで再起動してください。

KFCB29189-W

A definition (aa...aa=bb...bb) is invalid. cc..cc is assumed.

aa...aa：定義パラメタ

bb...bb：定義に設定された値

cc...cc：定義値として仮定される値

[システムの処理]

値として cc...cc が設定されたものと仮定して処理を続行します。

[対策]

定義パラメタ aa...aa に無効な値が指定されています。設定内容を見直し，正しい値を設定してください。

KFCB29190-W

The order is invalid.(ID=aa...aa)

aa...aa：識別子

[システムの処理]

order が指定されていないものと仮定して処理を続行します。

[対策]

プロセス監視定義ファイル中の識別子 aa...aa で設定されている order が不正，または上限を超えています。設定内容を見直してください。

KFCB29191-I

$ADMFS directory was created.

[システムの処理]

$ADMFS ディレクトリがないため，ADM デーモンは$ADMFS ディレクトリを作成し，処理を続行します。

[対策]

-i オプションを指定して admsetup コマンドを実行した場合の初回起動時は対策の必要はありません。それ以外の場合，$ADMFS ディレクトリがマウントされているか，または$ADMFS ディレクトリが削除されていないかどうかを見直してください。

KFCB29195-I

[aa...aa]Version=bb...bb.TPDIR=cc...cc,TPSPOOL=dd...dd,TPFS=ee...ee,ADMSPOOL=ff...ff,ADMFS=gg...gg,VBROKER_ADM=hh...hh,Confile=ii...ii,port=jj...jj

aa...aa：コントロールパネルのサービスに登録されている ADM サービス名。

bb...bb：TPBroker のバージョン

cc...cc：aa...aa の admd が使用している TPDIR の値

dd...dd：aa...aa の admd が使用している TPSPOOL の値

ee...ee：aa...aa の admd が使用している TPFS の値

ff...ff：aa...aa の admd が使用している ADMSPOOL の値

gg...gg：aa...aa の admd が使用している ADMFS の値

hh...hh：aa...aa の admd が定義している VBROKER_ADM の値

ii...ii：aa...aa の admd が使用している adm の定義ファイル

jj...jj：aa...aa の admd が使用しているポート番号

[システムの処理]

なし

[対策]

なし

KFCB29196-I

The system definition /ADM/set_conf_mode is aa..aa.

ADM の開始モードは aa...aa です。

aa...aa：システム環境定義値 (AUTO/MANUAL/MANUAL2/MANUAL3/MANUAL4)

[システムの処理]

なし

[対策]

なし

KFCB29197-I

Prior termination of ADM daemon was due to aa...aa.

前回，ADM デーモンは理由コード aa...aa により，終了しました。

admsetup 後に初めて開始したときにも出力します。

aa...aa：理由コード

理由コード	意味
1	admstop コマンドによる停止
2	OS ダウンによる停止
3	OS シャットダウンによる停止
4	ADM デーモンダウン
5	プロセス監視定義に従った ADM デーモンダウン

[システムの処理]

なし

[対策]

なし

KFCB29198-W

Monitoring process was already downing(PID=aa...aa, ID=bb...bb).

aa...aa:プロセス ID

bb...bb:プロセス監視定義または運用コマンドで指定された識別子

[意味]

監視プロセスはすでにダウンしていました。監視プロセスは「ADM デーモンが定義ファイルに従って，監視プロセスを停止させようとするまでの間に」ダウンしています。

[システムの処理]

何もしません。

[対策]

監視プロセスがダウンした原因を調査してください。

KFCB29199-W

Start command of monitoring process(ID=aa...aa) is terminated by ADMD.

aa...aa:プロセス監視定義または運用コマンドで指定された識別子

[意味]

プロセス起動用コマンドが ADM デーモンによって，停止されます。プロセス起動用コマンドのタイムアウト値を過ぎても，プロセス起動用コマンドが終了しませんでした。

[システムの処理]

プロセス起動用コマンドを停止した後，処理を続行します。

[対策]

開始コマンドの終了時間の長さが不当に長い場合，その原因を調査してください。

そうでない場合にはプロセス起動用コマンドのタイムアウト値を適切な値に設定した後に admreload コマンドを実行，または ADM を正常開始で再起動してください。
プロセス起動用コマンドのタイムアウト値はプロセス監視定義ファイルにて設定可能です。

KFCB29200-E

Fatal error. info1=aa...aa info2=bb...bb

aa...aa：保守情報 1
bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29201-E

aa...aa: bb...bb

aa...aa：OS の関数名
bb...bb：エラーコード

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

このメッセージのあとに続くメッセージを基に対策してください。

KFCB29202-E

Internal error. info1=aa...aa info2=bb...bb

aa...aa：保守情報 1
bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29203-E

aa...aa has failed. reason=bb...bb info1=cc...cc info2=dd...dd

aa...aa：コマンド名
bb...bb：詳細情報
no memory：メモリが不足しています。
environment：環境設定が不足しています。
cc...cc：保守情報 1
dd...dd：保守情報 2

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

理由を確認して，設定を見直してください。メモリ不足の場合，使用できるメモリ領域を増やしてください。環境設定不足の場合，実行環境を正しく設定してください。

KFCB29204-E

Cannot start command process. ID=aa...aa cmd=bb...bb

aa...aa：識別子

bb...bb：コマンド列（512 文字以下）

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

識別子に対応したコマンド列の実行に失敗しました。コマンド列が正しいかどうかを確認してください。

KFCB29205-E

Cannot read file. ID= aa...aa file=bb...bb

aa...aa：識別子

bb...bb：ファイル名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

ファイルを読み込めません。ファイル名が正しいかどうかを確認してください。

KFCB29206-E

ID conflicts. ID=aa...aa info1=bb...bb info2=cc...cc

aa...aa：識別子

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

指定された識別子が重複しています。admlaunch コマンドの識別子に正しい値を設定してください。

KFCB29207-E

aa...aa process to be stopped not found. ID=bb...bb

aa...aa：コマンド名

bb...bb：識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

指定された識別子で起動中の監視対象プロセスが存在しません。admlaunch コマンドの識別子に正しい値を設定してください。

KFCB29208-I

aa...aa

aa...aa：コマンドの使用方法

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンドの使用方法に従って，正しい使用方法で再度コマンドを入力してください。

KFCB29209-E

Cannot create logfile. file=aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

ログファイルを作成できません。メッセージに出力されたファイルのアクセス権限を確認してください。または，ディスクの空き領域を確保してください。

KFCB29210-E

Illegal argument. reason=aa...aa arg=bb...bb

aa...aa：詳細情報

invalid ID：不正な ID が指定されています。

bb...bb：識別子

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

メッセージに従って，不正な引数を見直してください。

KFCB29211-W

Excess characters are ignored. ID=aa...aa file=bb...bb

aa...aa：識別子

bb...bb：起動コマンド列ファイル名

[システムの処理]

コマンドは処理を続けます。

[対策]

コマンド列の長さが最大値を超えています。コマンド列の長さを確認してください。

KFCB29220-W

Stop command of monitoring process(ID=aa...aa) is terminated by ADMD.

aa...aa:プロセス監視定義または運用コマンドで指定された識別子

[意味]

プロセス停止用コマンドが ADM デーモンによって，停止されます。プロセス停止用コマンドのタイムアウト値（300 秒）を過ぎても，プロセス停止用コマンドが終了しませんでした。

[システムの処理]

ADM デーモンはプロセス停止用コマンドを停止した後，処理を続行します。

[対策]

終了コマンドの終了時間が長い場合，その原因を調査してください。

KFCB29221-W

Command for process ID acquisition(ID= aa...aa) is terminated by ADMD.

aa...aa:プロセス監視定義または運用コマンドで指定された識別子

[意味]

プロセス ID を取得するためのコマンドが ADM デーモンによって，停止されます。

監視プロセスのプロセス ID を取得するコマンドがタイムアウト値（300 秒）を過ぎても，終了しませんでした。

[システムの処理]

ADM デーモンはプロセス ID を取得するためのコマンドを停止したあと，定義ファイルに従って処理を続けます。

[対策]

プロセス ID を取得するコマンドの終了時間が長い原因を調査してください。

KFCB29222-I

Command for process ID acquisition was not specified, so ADMD does not monitor the process(ID=aa...aa).

aa...aa:プロセス監視定義または運用コマンドで指定された識別子

[意味]

プロセス ID を取得するコマンドが指定されていないため，ADM デーモンはプロセスを監視しません。

[システムの処理]

ADM デーモンはプロセスを監視しません。

[対策]

ADM の定義ファイルに監視プロセスのプロセス ID を取得するコマンドを指定してください。

KFCB29223-I

ADMD is terminating process that was monitoring previously(PID=aa...aa,ID=bb...bb).

aa...aa:プロセス ID

bb...bb:プロセス監視定義または運用コマンドで指定された識別子

[意味]

ADM デーモンは前回，起動中に監視していたプロセスを停止しています。

[システムの処理]

ADM デーモンは前回，起動中に監視していたプロセスをシステムコールで停止します。

[対策]

なし。

KFCB29224-E

Fatal error occurred (line=aa...aa,info1=bb...bb,info2=cc...cc).

aa...aa:保守情報 1

bb...bb:保守情報 2

cc...cc:保守情報 3

[意味]

致命的なエラーが発生しました。

[システムの処理]

ADM デーモンは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29225-E

ADMD gave up to restart the process (ID=aa...aa). Monitoring process was already downing bb...bb times within ten minutes.

aa...aa: 指定された識別子

bb...bb: 監視プロセスが異常終了した回数

[意味]

ADM デーモンはプロセスを再起動するのを中止しました。監視プロセスはすでに 10 分以内に（bb...bb）回ダウンしていました。

[システムの処理]

コマンドは異常終了して，ADM デーモンは処理を続行します。

[対策]

監視プロセスがダウンした原因を調査してください。監視プロセスをすぐに再起動させるには-c オプションを指定せず，admstartprc を実行してください。

KFCB29226-I

The monitored process information. ID=aa...aa DOWN-COUNT=bb...bb DOWN-RETRY-INTERVAL=cc...cc

aa...aa：異常終了したプロセスに対する識別子

bb...bb：連続して異常終了する回数の上限の設定値

cc...cc：監視時間の設定値

[意味]

再起動を抑止したプロセスの連続して異常終了する回数の上限の設定，および監視時間に関する設定値を表示します。

[システムの処理]

KFCB29188-E のシステムの処理に従います。

[対策]

KFCB29188-E の対策に従ってください。

KFCB29500-E

aa...aa returns bb...bb.

aa...aa：異常を検出した関数名

bb...bb：関数のエラーコード

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29501-E

aa...aa: bb...bb

aa...aa：関数名

bb...bb：保守情報

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

前後のメッセージを基に対策してください。

KFCB29502-E

Invalid port number(aa...aa) is specified.

aa...aa：指定されたポート番号

[システムの処理]

プロセスは，このメッセージのあとに出力されるメッセージに従って処理を進めます。

[対策]

このメッセージのあとに出力されるメッセージに従ってください。

KFCB29503-W

Not enough memory.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

メモリが不足しています。ほかのアプリケーションプログラムを終了させてください。

KFCB29504-W

Unexpected data was received. data: aa...aa

aa...aa：保守資料

[意味]

想定外のデータを受け取りました。ADM のコマンドが異常終了したか，または不正なアクセスがあった可能性があります。

[システムの処理]

何もしません。

[対策]

ADM のコマンドが異常終了していないか確認してください。異常終了していない場合は不正アクセスがなかったか確認してください。

KFCB29505-E

aa...aa is not recognized as hostname or ip address.

aa...aa：指定されたホスト名または IP アドレス

[システムの処理]

プロセスは，このメッセージのあとに出力されるメッセージに従って処理を進めます。

[対策]

このメッセージのあとに出力されるメッセージに従ってください。

KFCB29506-E

Cannot create or open file. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29507-E

Cannot create temporary file.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29508-E

Cannot close file. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29509-E

Cannot read data. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29510-E

Cannot write data. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29511-E

Cannot seek file. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29512-E

Cannot release file lock.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29513-E

Cannot create directory. directory_name: aa...aa

aa...aa：ディレクトリ名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29514-E

Cannot remove file. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29515-E

Cannot rename from aa...aa to bb...bb.

aa...aa：変更前のファイル名またはディレクトリ名

bb...bb：変更後のファイル名またはディレクトリ名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29516-E

Cannot copy from aa...aa to bb...bb.

aa...aa：コピー元のファイル名またはディレクトリ名

bb...bb：コピー先のファイル名またはディレクトリ名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29517-W

Cannot change owner of process to aa...aa.

aa...aa：ユーザ ID

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29518-W

Cannot change group of process to aa...aa.

aa...aa：グループ ID

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29519-W

Cannot set environment variable aa...aa.

aa...aa：環境変数名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29520-E

Cannot create process. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29521-W

Cannot get environment variable aa...aa.

aa...aa：環境変数名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29522-E

Cannot create shared memory file. filename: aa...aa

aa...aa：共用メモリファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29523-E

Cannot open shared memory file. filename: aa...aa

aa...aa：共用メモリファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンドを実行しているか，および環境変数 TPSPOOL に正しい値が設定されているかどうかを確認してください。

KFCB29524-E

Cannot remove shared memory file. filename: aa...aa

aa...aa：共用メモリファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29525-E

Cannot create trace file. filename: aa...aa

aa...aa：トレースファイル名

[システムの処理]

プロセスは処理を続けます。

[対策]

トレースファイルの書き込みに失敗しました。次の項目を確認してください。

- 環境変数 TPSPOOL，ADMSPOOL に設定したディスクの空き容量。
- 実行環境の環境変数 TPSPOOL で tssetup コマンドが実行されているかどうか。
- $TPSPOOL および$ADMSPOOL ディレクトリが作成されているかどうか。
- $TPSPOOL および$ADMSPOOL ディレクトリに書き込み権限があるかどうか。

KFCB29526-E

Cannot open trace file. filename: aa...aa#

aa...aa：トレースファイル名

[システムの処理]

プロセスは処理を続けます。

[対策]

$ADMSPOOL に読み込み権限があるかを確認してください。

KFCB29527-E

Process aborted. PID=aa...aa

aa...aa：プロセス ID

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

このメッセージの直前のメッセージを基に対策してください。このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB29528-E

Internal error occurred. Number of process handler is over the maximum.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29529-E

Internal error occurred. Number of wait-object is over the maximum.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29530-E

Internal error occurred. Number of handler-object is over the maximum.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29531-W

Cannot output a message. ID=aa...aa

aa...aa：メッセージ ID

[システムの処理]

メッセージの出力に失敗しました。プロセスは処理を続けます。

[対策]

該当プロセスがオープンできるファイル数を見直してください。または，TPBroker で必要な環境変数が正しく設定されているかどうかを確認してください。

KFCB29532-E

Cannot change owner of process to root.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

$TPDIR/bin/otsd および$TPDIR/bin/tsstop のファイル所有者が root 権限を持つユーザで，アクセスパーミッションが r-sr-xr-x であることを確認してください。

KFCB29533-E

Cannot kill process. pid=aa...aa

aa...aa：プロセス ID

[システムの処理]

プロセスは処理を続けます。該当プロセスでトランザクションタイムアウトが発生した場合，無視されます。

[対策]

$TPDIR/bin/otsd および$TPDIR/bin/tsstop のファイル所有者が root 権限を持つユーザで，アクセスパーミッションが r-sr-xr-x であることを確認してください。

KFCB29534-W

Cannot acquire lock.

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

このメッセージの直後のメッセージを基に対策してください。

KFCB29535-W

Unable to allocate aa...aa bytes of shared memory.

aa...aa：サイズ

[システムの処理]

プロセスは処理を続けます。

[対策]

OS の限界値を超えています。システム環境定義を変更してください。ご使用の OS が AIX で，次の条件に該当する場合，ヒープサイズを小さくしてください。

- 環境変数 LDR_CNTRL に MAXDATA を設定している場合
- リンケージオプションに-bmaxdata を指定している場合

KFCB29600-E

aa...aa returns bb...bb.

aa...aa：異常を検知した関数名

bb...bb：エラーコード

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29601-E

aa...aa: bb...bb

aa...aa：異常を検知した関数名

bb...bb：保守情報

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29602-E

Internal error occurred. Number of process handler is over the maximum.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29603-E

Internal error occurred. Number of processes which are monitored is over the maximum.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29604-E

Cannot create or open file. filename: aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29605-E

Process aborted. PID=aa...aa

aa...aa：プロセス ID

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB29606-E

Cannot start system monitoring. rc=aa...aa

aa...aa：エラーコード

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

トランザクションサービスがオンライン状態であるか，または OSAgent が動作しているかどうかを確認してください。

KFCB29607-E

Cannot stop system monitoring. rc=aa...aa

aa...aa：エラーコード

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

トランザクションサービスがオンライン状態であるか，または OSAgent が動作しているかどうかを確認してください。

KFCB29608-E

Failure to create the status file. reason=aa...aa info1=bb...bb info2=cc...cc

aa...aa：理由コード

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

処理を打ち切ります。また，プロセスは異常終了します。

[対策]

理由コードに応じて，次に示す内容に従って対策してください。

理由コード	意味	対策
1	メモリが不足しています。	使用できるメモリ領域を増やしてください。
3	ファイルの作成に失敗しました。	次の内容を見直してください。 • 環境変数 TPFS または ADMFS で設定したディレクトリおよびキャラクタ型スペシャルファイルのアクセス権限。 • 必要なディスクの空き領域。 • ファイルが使用中でないか。 • AIX 版の場合，TPBroker ファイルシステムを初期化した TPBroker のバージョンと，使用している TPBroker のバージョンに不整合がないか。

理由コード	意味	対策
16	ファイルシステムの状態取得に失敗しました。	次の内容を見直してください。 • 環境変数 TPFS または ADMFS にキャラクタ型スペシャルファイルを設定している場合，tsmkfs コマンドで TPBroker ファイルシステムを初期化したかどうか。 • AIX 版の場合，TPBroker ファイルシステムを初期化した TPBroker のバージョンと，使用している TPBroker のバージョンに不整合がないか。
上記以外	上記以外のエラー	保守員に連絡してください。

KFCB29609-E

Failure to open the status file. reason=aa...aa info1=bb...bb info2=cc...cc

aa...aa：理由コード

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

処理を打ち切ります。また，プロセスは異常終了します。

[対策]

理由コードに応じて，次に示す内容に従って対策してください。

理由コード	意味	対策
1	メモリが不足しています。	使用できるメモリ領域を増やしてください。
2	ファイルのオープンに失敗しました。	環境変数 TPFS で設定したディレクトリおよびキャラクタ型スペシャルファイルのアクセス権限を見直してください。または，必要なディスクの空き領域を確保してください。 TPBroker ファイルシステムの初期設定を行っていない場合は，tsmkfs コマンドを実行してください。
上記以外	上記以外のエラー	保守員に連絡してください。

KFCB29610-E

Failure to set the record count of a status group. reason=aa...aa info1=bb...bb info2=cc...cc

aa...aa：理由コード

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

処理を打ち切ります。また，プロセスは異常終了します。

[対策]

理由コードに応じて，次に示す内容に従って対策してください。

理由コード	意味	対策
1	メモリが不足しています。	使用できるメモリ領域を増やしてください。
2	ファイルのオープンに失敗しました。	環境変数 TPFS で設定したディレクトリおよびキャラクタ型スペシャルファイルのアクセス権限を見直してください。または，必要なディスクの空き領域を確保してください。
上記以外	上記以外のエラー	保守員に連絡してください。

KFCB29611-E

Failure to remove the status file. reason=aa...aa info1=bb...bb info2=cc...cc

aa...aa：理由コード

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

処理を打ち切ります。また，プロセスは異常終了します。

[対策]

理由コードに応じて，次に示す内容に従って対策してください。

理由コード	意味	対策
1	メモリが不足しています。	使用できるメモリ領域を増やしてください。
上記以外	上記以外のエラー	保守員に連絡してください。

KFCB29614-W

Number of processes which are monitored is over the maximum.

[システムの処理]

処理を続けます。

[対策]

このメッセージに続いて KFCB32001-E，KFCB32015-E が出力される場合，トランザクション定義/OTS/max_process_monitor_count の設定値が不足しています。この定義の設定値を見直し，増やしてください。

17.3　KFCB30000 から KFCB39999 までのメッセージ

TPBroker が出力する KFCB30000 から KFCB39999 までのメッセージについて説明します。

KFCB30000-E

Internal error occurred. info1=aa...aa info2=bb...bb

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB30001-E

Invalid sequence. info1=aa...aa info2=bb...bb

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB30200-E

Internal error occurred. Process has aborted. info1=aa...aa info2=bb...bb

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB30400-W

Can not create API trace file. filename:aa...aa reason=bb...bb info=cc...cc code=dd...dd

aa...aa：異常のあったファイル名

bb...bb：理由コード

1：ファイルを開けません

3：ディレクトリがファイルとして指定されています

4：テンポラリファイルが指定されています

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスは異常のあったファイル操作を無視し，回復したあと，処理を続けます。

[対策]

理由コードを参考に，ファイル名に示されたファイルを確認してください。

KFCB30401-W

An error occurred while handling API trace file. info1=aa...aa info2=bb...bb code=cc...cc

aa...aa：理由コード

3：プロセス名を取得できません

6：API トレースファイル数が最大値を超えました

7：メモリが不足しています

8：NULL ポインタが引数として指定されました

10：パスを格納できません

11：パス文字列を格納できません

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスは異常のあった操作を無視し，回復したあと，処理を続けます。

[対策]

info1 ＝ 3 の場合，UAP のプロセス名を短くしてください。

info1 ＝ 6 の場合，スレッド数が少なくなった時点で自動的に回復します。

そのほかの場合，メモリの設定を見直してください。

KFCB30402-I

There is no information in this file.

[システムの処理]

tsedapt コマンドは処理を終了します。

[対策]

なし。

KFCB30403-E

This is an invalid API trace file. filename:aa...aa reason=bb...bb info=cc...cc code=dd...dd

aa...aa：異常のあったファイル名

bb...bb：理由コード

0：ファイルが壊れています

1：ファイルを開けません

2：ファイルを読めません

3：ディレクトリがファイルとして指定されています

4：テンポラリファイルが指定されています

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

[システムの処理]

tsedapt コマンドは処理を終了します。

[対策]

理由コードを参考に，ファイル名に示されたファイルを確認してください。

KFCB30404-E

An error occurred while handling API trace file. info1=aa...aa info2=bb...bb code=cc...cc

aa...aa：理由コード

7：メモリが足りません

9：ファイル上でシークできません

10：パスを格納できません

11：パス文字列を格納できません

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

tsedapt コマンドは処理を終了します。

[対策]

エラー原因を調査し，対策したあと，コマンドを再度入力してください。

KFCB30600-W

An internal event happened. info1=aa...aa info2=bb...bb code1=cc...cc code2=dd...dd

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

cc...cc：保守情報 3

dd...dd：保守情報 4

[システムの処理]

プロセスは異常のあった操作を無視し，回復したあと，処理を続けます。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB30700-E

(aa...aa) bb...bb(cc...cc) failed : dd...dd.

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：システムコール名（最大 15 文字の半角英数字）

cc...cc：システムコールを呼び出したモジュール，関数名やシステムコールへの引数の内容など，任意の情報（最大 63 文字の半角英数字）

dd...dd：システムコールエラー時のエラー番号

[システムの処理]

障害の重要度によって，次のどれか一つを実行します。

- 処理を打ち切り，プロセスを異常終了させます。
- 処理を打ち切り，実行中サービスの呼び出し元へリターンします。
- そのまま処理を続けます。

[対策]

TPBroker 内で発行したシステムコールで，エラーが発生しました。次の表に示す内容に従って対策してください。コアファイルが出力されている場合，そのファイルを保存して，保守員に連絡してください。

表 17-1　エラー番号の意味と対策

エラー番号	意味	対策
EMFILE	該当プロセスでオープンしたファイル数が，OS で規定されている上限値を超えました。	OS の定義を見直し，必要に応じて変更したあと，OS の定義を再作成してください。
ENFILE	ノード上にあるプロセスからのオープン要求が，OS で規定されている最大値を超えました。	
ENOLCK	ノード上にあるプロセスからのファイルロック要求が，OS で規定されている最大値を超えました。	
ENXIO	キャラクタ型スペシャルファイルに対応するデバイスが存在しません。	TPFS または ADMFS 環境変数が共用ディスク上のキャラクタスペシャルファイルの場合は，共用ディスクが活性化していることを確認してください。
上記以外	上記以外のエラー	システムコール名とエラー番号を基に，該当するマニュアルで原因を調査し，アプリケーションプログラムの修正，システム環境定義の変更，または OS の定義の再作成をしてください。

KFCB30708-E

TPBroker file system area aa...aa cannot be initialized, because of being used by other process.

aa...aa：fcntl システムコールによってロックされている TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

fcntl システムコールによってロックされているプロセスを停止させたあと，コマンドを実行してください。

KFCB30709-E

Cannot initialize TPBroker file system area aa...aa because of memory shortage.

aa...aa：TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

次の項目について検討したあと，再度実行してください。

- 初期化する容量を減らす。
- 容量を満たすスペシャルファイルを指定する。
- ファイルシステム中にあるほかのファイルを削除する。

KFCB30710-E

Only superuser and the owner of TPBroker file system area can execute this command.

[システムの処理]

実行中の処理を中断します。

[対策]

このコマンドはスーパーユーザ，または TPBroker ファイルシステム領域の所有者が実行してください。

KFCB30711-E

TPBroker file aa...aa is not found.

aa...aa：ユーザが指定した TPBroker ファイル名

[システムの処理]

実行中の処理を終了します。

[対策]

該当する TPBroker ファイルがないか，または指定したファイル名が不正なため，検索できません。正しい TPBroker ファイル名を指定して，再度実行してください。

KFCB30712-E

Invalid argument for option flag aa...aa specified with command bb...bb.

aa...aa：ユーザが指定したフラグ引数

bb...bb：ユーザが指定したコマンド名

[システムの処理]

実行中の処理を打ち切ります。

[対策]

このメッセージの直後に出力される使用方法のメッセージに従って，再度入力してください。

KFCB30714-E

Command argument is invalid.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンド引数の指定がないか，または指定できるコマンド引数の個数よりも多くのコマンド引数が指定されています。このメッセージの直後に出力される使用方法のメッセージに従って，再度入力してください。

KFCB30715-E

Lack of mandatory option flag, or invalid combination of option flags.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

必須のオプションフラグが指定されていないか，またはオプションフラグの組み合わせが不正です。このメッセージの直後に出力される使用方法のメッセージに従って，再度入力してください。

KFCB30716-E

This command cannot handle version aa...aa of the TPBroker file system area (bb...bb).

aa...aa：TPBroker ファイルシステム領域のバージョン番号

bb...bb：TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB30717-E

No access authority for TPBroker file system area aa...aa.

aa...aa：ユーザが指定した TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

そのファイルのアクセスモードを変更するか，またはアクセス権限のあるユーザで再度実行してください。

KFCB30718-E

Number of open files in TPBroker file system area aa...aa exceeds the upper limit.

aa...aa：ユーザが指定した TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

TPBroker ファイルシステム領域(aa...aa)のオープン処理で上限値オーバが報告されました。正しい値を指定するか，または不要にオープンしているファイルをクローズしたあとで，再度実行してください。

KFCB30719-E

TPBroker file system area aa...aa is not found.

aa...aa：ユーザが指定した TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

正しい TPBroker ファイルシステム領域名を指定して，再度実行してください。

KFCB30720-E

Length of TPBroker file system area name aa...aa is invalid.

aa...aa：TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

指定した TPBroker ファイルシステム領域名が 49 文字を超えています。適切な TPBroker ファイルシステム領域名を指定して，再度実行してください。

KFCB30721-E

TPBroker file system cannot be built in file aa...aa.

aa...aa：ユーザが指定したキャラクタ型スペシャルファイル名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

指定したファイルがキャラクタ型スペシャルファイルでないか，またはファイルに対応する装置がありません。正しいスペシャルファイル名を指定して，再度実行してください。

KFCB30722-E

File aa...aa is not a TPBroker file system.

aa...aa：ユーザが指定したキャラクタ型スペシャルファイル名

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

正しいファイル名を指定して，再度実行してください。

KFCB30723-E

Failed to lock the TPBroker file system.

[システムの処理]

実行中の処理を中断します。

[対策]

ファイルシステムのロック処理で使用する fcntl システムコールで，ロックの上限値オーバが発生しました。ロックできるレコード数のシステム定数を変更して，システムを再構築してください。

KFCB30726-E

Failed to allocate process-specific memory.

[システムの処理]

処理を打ち切ります。

[対策]

不要なプロセスを削除して，再度実行してください。

KFCB30727-E

I/O error occurred in TPBroker file system area aa...aa.

aa...aa：TPBroker ファイルシステムがある TPBroker ファイルシステム領域名

[システムの処理]

管理領域を片面に切り替えます。両面が入出力エラーの場合は，実行中の処理を中断します。

[対策]

TPBroker ファイルシステムの管理領域で入出力エラーが発生しました。TPBroker ファイルシステム領域に割り当てたディスクパーティションを見直してください。

KFCB30728-E

Error occurred during TPBroker file service. Maintenance info:aa...aa:bb...bb.

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

TPBroker ファイルサービスの処理を打ち切ります。

[対策]

TPBroker ファイルサービスで異常が発生しました。このメッセージの内容を記録し，保守員に連絡してください。

KFCB30800-E

aa...aa(bb...bb) is failed.errno=cc...cc

aa...aa：エラーとなったシステムコール

bb...bb：内部情報（システムコールの呼び出し元モジュール名）

cc...cc：システムコールのエラー番号

[システムの処理]

システムコールでエラーが発生しました。障害の重要度によって，次のどれかの処置をします。

- 処理を打ち切り，プロセスを異常終了させます。
- 処理を打ち切り，実行中サービスの呼び出し元へリターンします。
- 処理を続けます。

[対策]

エラー番号を参照して，原因を確認して対策してください。

KFCB30801-E

aa...aa(bb...bb) killed by code=cc...cc

aa...aa：エラーを検出した内部処理コード

bb...bb：停止したプロセスのプロセス ID

cc...cc：アボートコード（異常終了要因コード）

[システムの処理]

異常が発生したため，プロセスを停止します。

[対策]

異常終了の原因を調査し，プロセスを再起動してください。

KFCB30900-E

"aa...aa(bb...bb)" failed.errno=cc...cc

aa...aa：エラーとなったシステムコール

bb...bb：内部情報（システムコールの呼び出し元ファイル名）

cc...cc：システムコールのエラー番号

[システムの処理]

システムコールでエラーが発生しました。処理を中止します。

[対策]

システムコールがエラーとなった原因を調査してください。

KFCB31000-E

"TPDIR" is not set.

[システムの処理]

ADM デーモン，OTS デーモン，およびコマンドが終了します。

[対策]

環境変数 TPDIR が未設定です。環境変数 TPDIR を設定してください。

KFCB31001-E

$TPSPOOL directory does not exist.

[システムの処理]

OTS デーモン，コマンドが終了します。

[対策]

環境変数 TPSPOOL の値が正しく設定されているかどうかを確認してください。

tssetup コマンドを実行して，TPBroker の実行環境を作成してください。

KFCB31002-I

tssetup successful.

tssetup コマンドまたは tstpbsetup コマンドは正常終了しました。

[システムの処理]

コマンドは正常終了します。

[対策]

なし。

KFCB31003-E

Setup configurations failed.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31004-E

aa...aa is not set.

aa...aa：環境変数名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

環境変数 aa...aa に正しい値を設定して，再度実行してください。

KFCB31005-E

Failure to allocate memory.

[システムの処理]

コマンドが終了します。

[対策]

ほかのアプリケーションプログラムを終了させてください。

KFCB31006-E

Fatal error occurred.

[システムの処理]

回復不能エラーが発生しました。プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31007-E

Failure to change path delimiter. path=aa...aa

aa...aa：指定されたパス名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。aa...aa で指定されたパス名のデリミタを変更できませんでした。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31008-E

Failure to open definition.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

定義キーが設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合，tsdefvalue コマンドを入力して，システム環境定義を設定してください。

KFCB31009-E

Failure to get definition key.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

定義キーが設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合，tsdefvalue コマンドを入力して，システム環境定義を設定してください。

KFCB31010-E

Failure to get definition.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

定義パラメタが設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合，tsdefvalue コマンドを入力して，システム環境定義を設定してください。

KFCB31011-E

Failure to read definition.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

定義パラメタが設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合，tsdefvalue コマンドを入力して，システム環境定義を設定してください。

KFCB31012-E

KeyName is invalid.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tslsconf コマンドでシステム環境定義を参照し，正しい定義キー名を指定してください。

KFCB31013-E

tskeycreate failed.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンドに指定した引数を確認して，再度入力してください。

KFCB31014-E

tsdefremove failed.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンドに指定した引数を確認して，再度入力してください。

KFCB31015-E

tskeyremove failed.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンドに指定した引数を確認して，再度入力してください。

KFCB31016-E

Cannot open Key.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tslsconf コマンドでシステム環境定義を参照し，正しい定義キー名を指定してください。

KFCB31017-E

tsdefvalue failed.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンドに指定した引数を確認して，再度入力してください。

KFCB31018-E

mkdir error. path=aa...aa

aa...aa：ディレクトリ名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

環境変数 TPSPOOL，TPFS に設定したディレクトリが正しいかどうか，および環境変数 TPSPOOL，TPFS に設定したディレクトリを作成するパーミッションがあるかどうかを確認してください。

KFCB31019-E

rmdir error. path=aa...aa

aa...aa：ディレクトリ名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

環境変数 TPSPOOL，TPFS に設定したディレクトリが正しいか，および環境変数 TPSPOOL，TPFS に設定したディレクトリを削除するパーミッションがあるかどうかを確認してください。

KFCB31020-E

File copy error. filename=aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31021-E

File access error. filename=aa...aa

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31022-E

Parameter is invalid.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31023-I

Starting system setup configurations.

[システムの処理]

処理を続けます。

[対策]

なし。

KFCB31024-E

$TPSPOOL or $TPFS directory already exists.

[システムの処理]

$TPSPOOL，または$TPFS ディレクトリがすでに存在しているため，tssetup コマンドの処理を中断しました。

[対策]

環境変数 TPSPOOL または TPFS で設定されるディレクトリがすでに存在するため，次のどれかの操作をしてください。

1. 環境変数 TPSPOOL または TPFS の値が正しいかどうか確認する。
2. 実行環境を再作成する場合は，-i オプションを指定して tssetup コマンドを実行する。
3. -i オプションを指定した tssetup コマンドでセットアップした環境を作成し直す場合は，環境変数 TPFS に設定されているディレクトリを削除してから再度コマンドを実行する。

KFCB31025-E

Cannot share $TPFS directory.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

環境変数 TPFS で設定されるディレクトリを共用する場合，同じバージョンの TPBroker で共用するように環境変数を設定したあとで，tssetup コマンドを再度実行してください。環境変数 TPFS で設定されるディレクトリを共用する必要がない場合，-i オプションを指定しないで tssetup コマンドを再度実行してください。

KFCB31026-E

$TPB_TRN_TRACE_PATH directory already exists.

[システムの処理]

$TPB_TRN_TRACE_PATH ディレクトリがすでに存在しているため，tssetup コマンドの処理を中断しました。

[対策]

環境変数 TPB_TRN_TRACE_PATH の値が正しいかどうかを確認してください。実行環境を再作成する場合，-d オプションを指定した tssetup コマンドを実行して以前の実行環境を削除してください。

KFCB31033-W

A definition (aa...aa) is irregular.

reason:bb...bb

aa...aa：定義パラメタ

bb...bb：詳細情報

Irregular Defname

TPBroker で規定されていない定義パラメタ名が指定されています。

Invalid Combination

定義パラメタ名と，定義キー名の組み合わせが一致していません。

Invalid Type

定義パラメタ名は TPBroker で規定されていますが，指定値タイプが誤っています。

[システムの処理]

コマンドは，処理を続行します。

[対策]

tsdefremove コマンドで誤ったシステム環境定義を削除して，tsdefvalue コマンドで正しいシステム環境定義を設定してください。

KFCB31200-E

aa...aa function error. rmid=bb...bb rc=cc...cc

aa...aa：XA 関数名

bb...bb：XA 関数を発行したリソースマネージャの実行環境での ID

cc...cc：XA 関数のリターンコード

[システムの処理]

関数およびリターンコードに応じて適切な処理をします。場合によっては，プロセスを異常終了させることがあります。

[対策]

表示された XA 関数名およびリターンコードを基に，接続しているリソースマネージャの設定および環境を見直してください。xa_open や xa_close でのエラーは，リソースマネージャ定義の/OTS/RM/RMn/xa_open_string_info または/OTS/RM/RMn/xa_close_string_info 定義，および環境変数を見直してください。

そのほか，XA 関数のエラーについては，接続するリソースマネージャのマニュアルなどを参照してください。

また，TPBroker やリソースマネージャをバージョンアップした場合，tslnkrm コマンドでリソースマネージャの再登録や，ユーザアプリケーションに再びリンクしていないときにもこのエラーが発生します。TPBroker やリソースマネージャのバージョンアップ後の場合，tslnkrm コマンドの再度実行やユーザアプリケーションに再びリンクしてください。

KFCB31201-E

Cannot add branch to current transaction.

[システムの処理]

リクエストコールの結果として CosTransactions::Unavailable 例外を発生させます。

[対策]

トランザクション定義 OTS/TM/max_crm_branch_count の設定値を大きくしてください。

KFCB31202-E

Cannot initialize the status file.

[システムの処理]

OTS デーモンが終了します。

[対策]

環境変数 TPFS，TPSPOOL やアクセス権限などを見直してください。または，tssetup コマンドを再度入力してください。tssetup コマンドを実行すると，定義内容やリソースマネージャの登録状態などが初期化されるので注意が必要です。

KFCB31203-E

Cannot recover transaction status.

[システムの処理]

OTS デーモンが終了します。

[対策]

トランザクションステータスファイルのオープンまたは読み込みができません。環境変数 TPFS，TPSPOOL やアクセス権限などを見直してください。または，tssetup コマンドを再度入力してください。tssetup コマンドを実行すると，定義内容やリソースマネージャの登録状態などが初期化されるので注意が必要です。

KFCB31204-E

Failed to read XA open/close strings.

[システムの処理]

そのプロセスでのリソースマネージャに対する xa_open または xa_close が行われません。プロセスによっては異常終了することがあります。

[対策]

リソースマネージャ定義の/OTS/RM/RMn/xa_open_string_info または/OTS/RM/RMn/xa_close_string_info の設定値を見直してください。または，環境変数 TPRMINFO の値を見直してください。

KFCB31205-E

Internal error. pid=aa...aa tid=bb...bb info=cc...cc code=dd...dd

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：スレッド ID

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31206-E

The XA routine return code has an invalid value.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

接続しているリソースマネージャの設定または環境を見直してください。

KFCB31207-E

The xa_ready return code has an invalid value. rmid=aa...aa rc=bb...bb

aa...aa：XA 関数を発行したリソースマネージャの実行環境での ID

bb...bb：XA 関数のリターンコード

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

接続しているリソースマネージャの設定または環境を見直してください。

KFCB31208-E

Too many transaction branches. (/OTS/TM/process_count)

[システムの処理]

OTSCurrent::begin()，OTSFactory::create()，またはリクエストコールの結果として IMP_LIMIT 例外を発生させます。

[対策]

トランザクション定義/OTS/TM/process_count の設定値を大きくしてください。または，リソースマネージャおよびリソースオブジェクトが起動していることを確認してください。

KFCB31209-E

Invalid XA switch.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

新しい XA switch をユーザアプリケーションプログラムにリンクしてください。

KFCB31210-E

xa_ready function error. rmid=aa...aa rc=bb...bb

aa...aa：XA 関数を発行したリソースマネージャの実行環境での ID

bb...bb：XA 関数のリターンコード

[システムの処理]

リターンコードに応じて適切な処理を行います。場合によっては，プロセスを異常終了させることがあります。

[対策]

リターンコードを基に，接続しているリソースマネージャの設定および環境を見直してください。

KFCB31211-E

Fatal error. pid=aa...aa tid=bb...bb info=cc...cc code=dd...dd

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：スレッド ID

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスを異常終了します。

[対策]

このメッセージの直前のメッセージを基に対策してください。このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB31212-E

Fatal error. info=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスを異常終了します。

[対策]

このメッセージの直前のメッセージを基に対策してください。このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB31213-E

Failed to initialize.

[システムの処理]

プロセスを異常終了します。

[対策]

このメッセージの直前のメッセージを基に対策してください。このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB31214-E

Write to transaction status file failed.

[システムの処理]

プロセスを異常終了します。

[対策]

このメッセージの直前のメッセージを基に対策してください。このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB31215-E

Maximum retry achieved for XA function call.

[システムの処理]

アプリケーションプログラムの場合，プロセスを異常終了します。回復デーモンの場合，一定時間経過後，再度処理を行います。

[対策]

リソースオブジェクトが存在するプロセスが異常終了している場合，そのプロセスを再起動してください。

KFCB31217-E

The xa_complete return code has an invalid value. rmid=aa...aa rc=bb...bb

aa...aa：XA 関数を発行したリソースマネージャの実行環境での ID

bb...bb：XA 関数のリターンコード

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

接続しているリソースマネージャの設定または環境を見直してください。

KFCB31218-E

Too many CRM branches. (/OTS/TM/max_crm_branch_count)

[システムの処理]

CosTransactions::Coordinator::register_resource(),
CosTransactions::Coordinator::register_subtran_aware()，またはリクエストコールの結果として CORBA::IMP_LIMIT 例外を発生させます。

[対策]

トランザクション定義/OTS/TM/max_crm_branch_count の設定値を大きくしてください。

KFCB31219-E

Unable to find XA switch list.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

トランザクション制御用オブジェクトをアプリケーションプログラムにリンクしてください。

KFCB31220-W

Creating a new transaction has not been allowed.

[システムの処理]

CORBA::NO_PERMISSION または CORBA::TRANSACTION_ROLLEDBACK 例外を発生させます。

[対策]

OTS が停止しているときに，新しいトランザクションを作成しようとしました。tsstart コマンドで OTS を再開始してください。

KFCB31221-E

/OTS/RM/aa...aa/set_xa_open_scope is bb...bb.

aa...aa：リソースマネージャ名

bb...bb：設定されている定義値

[システムの処理]

OTS デーモンが終了します。

[対策]

定義値が不正です。正しい値に設定し直してください。

KFCB31222-E

Too many transaction branches. reason=aa...aa

aa...aa：理由コード

/OTS/RCV/set_startup_recovery_skip

[システムの処理]

Current オブジェクトの begin オペレーション, TransactionFactory オブジェクトの create オペレーション，またはリクエストコールの結果として TRANSACTION_ROLLEDBACK 例外を発生させます。

[対策]

トランザクション定義/OTS/RCV/set_startup_recovery_skip に 1 が指定されていますが，トランザクションブランチが多過ぎるため，OTS 再起動時のトランザクション回復処理が完了していません。時間をおいて再度実行してください。回復できない場合は，リソースマネージャおよびリソースオブジェクトが起動しているかどうかを確認してください。

KFCB31224-W

Transaction was ignored (XA func=aa....aa, rc=bb....bb)

aa...aa：XA 関数名

bb...bb：XA 関数のリターン値

[システムの処理]

XA 関数でエラーが発生したトランザクションブランチをロールバック決着したものと見なします。

[対策]

なし（エラーが発生した XID を確認したい場合は，$TPSPOOL/log/XATrace を参照してください）。

KFCB31226-E

aa...aa function error. xid=bb...bb rmid=cc...cc rc=dd...dd

aa...aa：発行した XA 関数名

bb...bb：失敗したトランザクション ID

cc...cc：エラーを返した rmid

dd...dd：RM から戻って来たリターンコード

[意味]

aa...aa 関数でエラーが発生しました。

[システムの処理]

/OTS/RCV/set_recover_retry_count で指定した回数全面回復処理を繰り返します。

[対策]

リソースマネージャが起動されているか，またはデーモンに与える RM のユーザ権限を見直してください。

KFCB31227-E

Transaction recovery processing is not completed. Creating a new transaction has not been allowed.

[意味]

トランザクション回復処理が完了していません。新しいトランザクションを作成することができません。

[システムの処理]

CORBA::NO_PERMISSION または CORBA::TRANSACTION_ROLLEDBACK 例外を発生させます。

[対策]

KFCB31512-I メッセージが発行されてから新しいトランザクションを開始してください。

KFCB31228-I

xid=aa...aa info=bb...bb code1=cc...cc

aa...aa：XID

bb...bb：保守資料

cc...cc：保守資料

[意味]

直前のメッセージを出力したトランザクションの XID を出力します。

[システムの処理]

何もしません。

[対策]

なし。

KFCB31233-I

Heuristic decision was ignored. xid=aa...aa info=bb...bb code1=cc...cc code2=dd...dd

aa...aa：ヒューリスティック状態が無視されたトランザクションブランチの XID（トランザクション ID）

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

dd...dd：保守情報 3

[システムの処理]

2 相コミットの 1 相目でヒューリスティックが発生しましたが，無視されました。

[対策]

ご使用のリソースマネージャのマニュアルを参照して，原因を取り除いてください。

KFCB31400-E

/OTS/completion_process_count is aa...aa

aa...aa：現在の定義値

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

定義値が不正です。正しい値に設定し直してください。

KFCB31401-E

/OTS/recovery_process_count is aa...aa

aa...aa：現在の定義値

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

定義値が不正です。正しい値に設定し直してください。

KFCB31402-E

/OTS/RCV/set_retry_time is aa...aa

aa...aa：現在の定義値

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

定義値が不正です。正しい値に設定し直してください。

KFCB31403-E

/OTS/RM/set_xa_async_interval is aa...aa

aa...aa：現在の定義値

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

定義値が不正です。正しい値に設定し直してください。

KFCB31404-E

/OTS/TM/max_crm_branch_count is aa...aa

aa...aa：現在の定義値

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

定義値が不正です。正しい値に設定し直してください。

KFCB31405-E

/OTS/TM/process_count is aa...aa

aa...aa：現在の定義値

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

定義値が不正です。正しい値に設定し直してください。

KFCB31406-E

aa...aa is already registered.

aa...aa：リソースマネージャ名

[システムの処理]

tslnkrm または tsmkobj コマンドは終了します。

[対策]

指定したリソースマネージャ名が TPBroker システムにすでに登録されています。登録されているリソースマネージャ名を tslsrm コマンドで確認し，正しいリソースマネージャ名を指定してください。

KFCB31407-E

OTS definition is illegal.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

システム環境定義に誤りがありました。定義内容を確認してください。

KFCB31408-E

Cannot access RM information.

[システムの処理]

tslsrm コマンドは終了します。

[対策]

tslnkrm コマンドがリソースマネージャ情報をアップデートしています。tslnkrm コマンドが終了してから tslsrm コマンドを実行してください。

KFCB31409-E

Cannot create RM information.

[システムの処理]

tslnkrm または tsmkobj コマンドは終了します。

[対策]

$TPSPOOL ディレクトリに書き込み権限があるかどうかを確認してください。

また，$TPSPOOL ディレクトリがあるディスクの容量に余裕があるかどうかを確認してください。

KFCB31410-E

Cannot delete aa...aa.

aa...aa：リソースマネージャ名

[システムの処理]

tslnkrm コマンドは終了します。

[対策]

表示された名称のリソースマネージャを削除できません。

KFCB31411-E

Cannot find $TPDIR/bin/TP_CC_DB.

[システムの処理]

tslnkrm または tsmkobj コマンドは終了します。

[対策]

環境変数 TPDIR の値が正しく設定されているかどうかを確認してください。

KFCB31412-E

Cannot open $TPDIR/bin/TP_CC_DB.

[システムの処理]

tslnkrm または tsmkobj コマンドは終了します。

[対策]

$TPDIR/bin/TP_CC_DB ファイルの読み取り権限があるかどうかを確認してください。

KFCB31413-E

Cannot read the information about the compiler.

[システムの処理]

tslnkrm または tsmkobj コマンドは終了します。

[対策]

$TPDIR/bin/TP_CC_DB ファイルが壊れている可能性があります。TPBroker をインストールし直してください。

KFCB31415-E

Recovery definition is illegal.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

Recovery の定義に誤りがありました。定義内容を確認してください。

KFCB31416-E

RM definition is illegal.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

リソースマネージャの定義に誤りがありました。定義内容を確認してください。

KFCB31417-E

RM information has changed.

[システムの処理]

リソースマネージャ情報を前回の状態に回復し，OTS デーモンを起動します。

[対策]

前回正常終了していないにもかかわらず，リソースマネージャ情報が変更されています。リソースマネージャ情報を変更したい場合は，強制正常開始モードで起動してください。

KFCB31418-E

System definition has changed.

[システムの処理]

システム環境定義の値が変更されていますが，前回起動時の定義値を有効にして，OTS デーモンを起動します。

[対策]

変更後のシステム環境定義の値を有効にする場合は，次のどちらかの方法で OTS を再起動してください。

1. tsstop コマンドで OTS を正常終了してから，tsstart コマンドで OTS を正常開始する。
2. 任意の方法で OTS を停止してから，-f オプションを指定した tsstart コマンドで OTS を強制正常開始する。

ただし，2.の方法ではトランザクションの情報を引き継げないため，1.の方法で再起動することをお勧めします。

KFCB31419-E

System definition is illegal.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

システム環境定義に誤りがありました。定義内容を確認してください。

KFCB31420-E

The number of RM's exceeded.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

TPBroker システムに登録されているリソースマネージャが多過ぎます。tslnkrm コマンドを使用して，使用しないリソースマネージャを TPBroker システムから削除してください。

KFCB31421-E

System definitions not set.

[システムの処理]

コマンドは終了します。

[対策]

環境変数 TPSPOOL の値が正しく設定されているかどうかを確認してください。または，tssetup コマンドを実行して，実行環境を作成してください。

KFCB31422-E

Transaction Service is already online.

[システムの処理]

tsstart コマンドは終了します。

[対策]

TPBroker システムがすでにオンライン状態です。tslnkrm コマンドが実行中かどうかを確認してください。または，$TPSPOOL ディレクトリ下のファイルとディレクトリのアクセス権限があることを確認してください。

KFCB31423-E

Transaction Service is not online.

[システムの処理]

tsstop，tslstrn，tscommit，または tsrollback コマンドが終了します。

[対策]

TPBroker システムが開始されていません。システムを開始したあとにコマンドを実行してください。

KFCB31424-E

Transaction Service is online.

[システムの処理]

tslnkrm コマンドが終了します。

[対策]

TPBroker システムを終了したあとに，tslnkrm コマンドを実行してください。

KFCB31425-E

Transaction definition is illegal.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

トランザクションの定義に誤りがありました。定義内容を確認してください。

KFCB31426-E

tslnkrm command is now running, Transaction Service cannot start.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

同一環境で tslnkrm コマンドが実行されています。tslnkrm コマンドが終了したあとに，システムを起動してください。

KFCB31429-E

aa...aa is illegal file.

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

処理を打ち切り，プロセスを異常終了させます。

[対策]

ファイル名に応じて，次に示す内容に従って対策してください。

ファイル名	対策
$TPDIR/bin/TP_CC_DB $TPDIR/bin/TP_CC_DB_FP $TPDIR/bin/TP_CC_DB_FP_R $TPDIR/bin/TP_CC_DB_R	使用している共用ライブラリ，または DLL が$TPDIR ディレクトリ下のものではありません。 ご使用の OS ごとに次の環境変数が$TPDIR/lib に設定されているかどうかを確認してください。 • LD_LIBRARY_PATH（Linux） • LIBPATH（AIX） • PATH（Windows） • SHLIB_PATH（HP-UX） 再設定後，コマンドを再度実行してください。
その他	保守員に連絡してください。

KFCB31430-E

Fatal error occurred. (aa...aa,bb...bb)

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスを異常終了させます。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31432-E

Bad parameter::aa...aa.

aa...aa：指定されたコマンドオプション

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

コマンドに異常なオプションが設定されました。正しいオプションを設定して再度実行してください。

KFCB31433-I

No transactions to process.

[システムの処理]

tslstrn，tscommit，または tsrollback コマンドは終了します。処理対象のトランザクションが見つかりませんでした。

[対策]

なし。

KFCB31434-E

Command error.

[システムの処理]

tscommit，tsrollback，または tslstrn コマンドの実行に失敗しました。

[対策]

OTS デーモンが出力するメッセージ，またはコマンドが出力するほかのメッセージに従って対策してください。

KFCB31435-E

Not enough memory.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

メモリが不足しています。ほかのアプリケーションプログラムを終了させて，再度実行してください。

KFCB31436-E

Unexpected flags. (aa...aa,bb...bb)

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31437-E

Transaction timeout occurred. (GID=aa...aa BID=bb...bb)

aa...aa：トランザクションブランチのグローバル ID

bb...bb：トランザクションブランチのブランチ ID

[システムの処理]

該当トランザクションを処理していたプロセスを強制停止します。設定したトランザクションタイムアウト時間が経過したため，該当トランザクションを処理していたプロセスを強制停止します。該当トランザクションは，自動的にロールバックされます。

[対策]

該当アプリケーションプログラムで設定しているトランザクションタイムアウト値を見直してください。また，タイムアウトが発生した要因を取り除いてください。

KFCB31438-E

Cannot recover transaction branches.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31439-E

An error occurred in tslnkrm command.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31440-E

Unexpected server status. (aa...aa,bb...bb)

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31441-E

$TPSPOOL directory does not exist.

[システムの処理]

OTS デーモン，コマンドが終了します。

[対策]

環境変数 TPSPOOL の値が正しく設定されているかどうかを確認してください。または，tssetup コマンドを実行して，TPBroker の実行環境を作成してください。

KFCB31442-E

Cannot create $TPSPOOL/.command.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31443-E

Cannot create $TPSPOOL/.otsd.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31444-I

Starting OTS Daemon. pid=aa...aa date=bb...bb

aa...aa：OTS デーモンのプロセス ID

bb...bb：OTS デーモンの開始時刻

[システムの処理]

OTS デーモンの開始処理を始めました。

[対策]

なし。

KFCB31446-E

System definition error.

[システムの処理]

OTS デーモンが終了します。

[対策]

システム環境定義に誤りがありました。定義内容を確認してください。

KFCB31447-E

aa...aa is a directory.

aa...aa：ディレクトリ名

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンドをやり直してから，プロセスを再起動してください。

KFCB31448-E

Cannot start monitoring process.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31449-I

Transaction Service has started.

[システムの処理]

トランザクションサービスの開始処理が完了しました。

[対策]

なし。

KFCB31450-E

Unexpected termination. (aa...aa,bb...bb)

aa...aa：保守コード 1

bb...bb：保守コード 2

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31451-I

Transaction Service has ended.

[システムの処理]

トランザクションサービスが終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31452-E

Cannot create Transaction Control Tables.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

トランザクション管理テーブルの作成に失敗しました。トランザクション処理を行うアプリケーションプログラムが起動している場合，一度停止してください。

KFCB31453-E

Cannot start Completion Daemon.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

決着デーモンの起動時にエラーが発生しました。設定が間違っている可能性があります。環境変数の設定およびシステム環境定義を見直してください。

KFCB31454-E

Cannot start Recovery Daemon.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

回復デーモンの起動時にエラーが発生しました。設定が間違っている可能性があります。環境変数の設定およびシステム環境定義を見直してください。

KFCB31455-E

Cannot start Concurrency Control Daemon.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31456-E

Cannot find a directory, aa...aa.

aa...aa：ディレクトリ名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンドをやり直してからコマンドを再度実行してください。

KFCB31457-E

Cannot find compiler information.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンドをやり直してからコマンドを再度実行してください。

KFCB31458-E

Cannot create a new TP_RM_DB file.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

環境変数 TPSPOOL に設定しているディスク領域が不足していないかどうかを確認してください。領域が不足している場合，必要な領域を確保してから再度コマンドを実行してください。領域が十分ある場合，tssetup コマンドをやり直してからプロセスを再起動してください。

KFCB31459-E

aa...aa is not registered.

aa...aa：リソースマネージャ名

[システムの処理]

tslnkrm または tsmkobj コマンドは終了します。

[対策]

指定したリソースマネージャは，現在の実行環境に登録されていません。現在登録されているリソースマネージャ名を tslsrm コマンドで確認してください。また，未登録の場合，tslnkrm コマンドで登録してください。

KFCB31460-E

No RM defined to this system.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンドをやり直してから再度コマンドを実行してください。

KFCB31462-I

Starting Completion Daemon. pid=aa...aa date=bb...bb

aa...aa：決着デーモンのプロセス ID

bb...bb：決着デーモンの開始時刻

[システムの処理]

決着デーモンの開始処理を始めました。

[対策]

なし。

KFCB31463-I

Completion Daemon has started.

[システムの処理]

決着デーモンの開始処理が終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31464-I

Completion Daemon has ended.

[システムの処理]

決着デーモンが終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31465-I

Starting Recovery Daemon. pid=aa...aa date=bb...bb

aa...aa：回復デーモンのプロセス ID

bb...bb：回復デーモンの開始時刻

[システムの処理]

回復デーモンの開始処理を始めました。

[対策]

なし。

KFCB31466-I

Recovery Daemon has started.

[システムの処理]

回復デーモンの開始処理が終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31467-I

Recovery Daemon has ended.

[システムの処理]

回復デーモンが終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31474-E

Cannot find $TPDIR/bin/TP_CC_DB_R.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

$TPDIR/bin/TP_CC_DB_R ファイルが存在するかどうかを確認してください。存在しない場合, 再インストールしてください。

KFCB31475-E

Cannot open $TPDIR/bin/TP_CC_DB_R.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

$TPDIR/bin/TP_CC_DB_R ファイルに読み取り権限があるかどうかを確認してください。

KFCB31476-E

Cannot find aa...aa compiler information in TP_CC_DB file.

aa...aa：保守情報

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

tssetup コマンドをやり直してから再度コマンドを実行してください。

KFCB31477-E

Cannot move files to aa...aa.

aa...aa：ファイル名

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

ファイル aa...aa に書き込み権限があるかどうかを確認してください。または，環境変数 TPSPOOL に設定しているディスク領域が不足していないかどうかを確認してください。領域が不足している場合，必要な領域を確保してから再度実行してください。

KFCB31478-E

Cannot add/delete RMs without -f option.

[システムの処理]

tslnkrm コマンドは終了します。

[対策]

TPBroker が前回正常に終了していません。TPBroker を再開始して，未決着のトランザクションがあれば決着をしてから tsstop コマンドで正常終了し，そのあとに tslnkrm コマンドを実行してください。または，tslnkrm コマンドに-f オプションを指定して実行してください。この場合，未決着のトランザクションがあっても次回の起動時にそのトランザクションは回復されません。

KFCB31479-E

Cannot create daemon aa...aa.

aa...aa：作成に失敗したデーモンの名称

[システムの処理]

tslnkrm コマンドが終了します。

[対策]

デーモンの作成に失敗しました。tslnkrm コマンドのオプションが正しいかどうかを確認してください。環境変数 PATH（Windows の場合）が%TPDIR%¥bin に正しく設定されているかどうかを確認してください。または，環境変数 SHLIB_PATH（HP-UX の場合），環境変数 LD_LIBRARY_PATH（Linux の場合），環境変数 LIBPATH（AIX の場合）が$TPDIR/lib に正しく設定されているかどうかを確認してください。

KFCB31480-E

A compiler error has occurred. (aa...aa)

aa...aa：コンパイラの名称

[システムの処理]

tslnkrm または tsmkobj コマンドは終了します。

[対策]

コンパイラのエラーメッセージに従って対処してください。

Windows の場合，環境変数 INCLUDE が正しく設定されているかどうかを確認してください。

KFCB31481-E

Timeout has occurred.

[システムの処理]

tsstart または tsstop コマンドは終了します。TPBroker の開始処理，または終了処理に時間が掛かったために，コマンドの処理を中断しました。TPBroker は開始処理，または終了処理を続けています。

[対策]

処理が終了するまでお待ちください。

KFCB31482-E

aa...aa terminated.

aa...aa：異常終了したデーモンの名称

[システムの処理]

TPBroker の開始処理を中断し，終了します。TPBroker の開始処理中にデーモンが異常終了しました。

[対策]

データベースなどと XA 連携している場合，設定に誤りがある可能性があります。環境変数やシステム環境定義などを見直してください。

KFCB31483-E

Process terminated. (pid=aa...aa)

aa...aa：異常終了したプロセスのプロセス ID

[システムの処理]

プロセス ID が aa...aa のプロセスが異常終了したため，トランザクションの回復処理をします。異常終了したプロセスが処理していたトランザクションは，自動的に回復されます。

[対策]

異常終了したプロセス上にリソースオブジェクトを作成している場合は，必要に応じてプロセスを再起動してください。

また，プロセスが正常停止した場合でも，そのプロセスが処理していたトランザクションが決着されていなかったときは，このメッセージが出力されます。アプリケーションプログラムのトランザクションの開始と決着の対応を見直してください。

KFCB31484-I

Transaction recovered. (GID=aa...aa BID=bb...bb)

aa...aa：回復したトランザクションブランチのグローバル ID

bb...bb：回復したトランザクションブランチのブランチ ID

[システムの処理]

表示されたトランザクションブランチを回復しました。

[対策]

なし。

KFCB31485-I

Transaction cannot be recovered. (GID=aa...aa BID=bb...bb)

aa...aa：回復できなかったトランザクションブランチのグローバル ID

bb...bb：回復できなかったトランザクションブランチのブランチ ID

[システムの処理]

表示されたトランザクションブランチを回復できませんでした。回復できなかったブランチは，ほかのブランチの決着処理時に決着されるか，あとで再度回復処理をして決着されます。

[対策]

TPBroker が決着できないトランザクションブランチは，tscommit または tsrollback コマンドを使用して決着方法を指示してください。

KFCB31486-I

tsstart successful.

[システムの処理]

TPBroker の開始処理が正常に終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31487-I

tsstop successful.

[システムの処理]

TPBroker の終了処理が正常に終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31488-W

tsstop has forced the termination of Transaction Service.

[システムの処理]

TPBroker を強制的に終了しました。TPBroker を指定したモードで終了できなかったため，強制的に停止しました。

[対策]

なし。

KFCB31489-I

OTS Daemon already exists.

[システムの処理]

OTS デーモンは終了します。

[対策]

トランザクションサービスがすでに開始しているか，または現在開始中です。新たに開始したい場合，異なる実行環境を使用するか，または tsstop コマンドでオンライン状態のトランザクションサービスを停止してください。

KFCB31490-I

Ending Transaction Service.

[システムの処理]

TPBroker の終了処理を開始します。

[対策]

なし。

KFCB31491-E

Environment is illegal. reason=aa...aa

aa...aa：理由コード

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

理由コードに応じて，対策してください。

理由コード	対策
License Information	環境変数 TPDIR，PATH，SHLIB_PATH（HP-UX の場合），LD_LIBRARY_PATH（Linux の場合），または LIBPATH（AIX の場合）の設定が正しいか確認してください。
その他	保守員に連絡してください。

KFCB31492-E

The port number of Completion Daemon is already in use. pid=aa...aa port=bb...bb info1=cc...cc

aa...aa：決着デーモンのプロセス ID

bb...bb：決着デーモンが使用するポート番号

cc...cc：保守情報

[システムの処理]

OTS 開始処理を中断し，OTS デーモンは終了します。

[対策]

決着デーモンで使用するポート番号が，すでにほかのプロセスによって使用されているか，OS で使用できないと判断された状態です。netstat コマンドや services ファイルで該当するプロセスが使用するポート番号を調べ，使用されていないポート番号に変更してください。または，トランザクション定義/OTS/completion_process_port_base の値に，未使用のポート番号を設定してください。

KFCB31493-W

Definition read error. (aa...aa) The default value (bb...bb) is assumed.

aa...aa：定義パラメタ

bb...bb：仮定されるデフォルト値

[システムの処理]

デフォルト値 bb...bb が指定されたものと仮定して処理を続行します。

[対策]

定義パラメタ aa...aa が設定されているかどうかを tslsconf コマンドで確認してください。設定されていない場合，tsdefvalue コマンドを使用して定義パラメタ aa...aa を設定してください。

KFCB31494-W

A definition (aa...aa=bb...bb) is invalid. cc...cc is assumed.

aa...aa：定義パラメタ

bb...bb：定義に設定された値

cc...cc：定義値として仮定される値

[システムの処理]

値として cc...cc が設定されたものと仮定して処理を続行します。

[対策]

定義パラメタ aa...aa に無効な設定がされています。tslsconf コマンドを実行して設定内容を見直し，tsdefvalue コマンドを実行して正しい値を設定してください。

KFCB31495-E

Deadlock detected; OTS Daemon aborted.

[システムの処理]

OTS デーモンは異常終了します。

[対策]

トランザクショナルアプリケーションが，クリティカルな領域をロックしたまま異常終了，またはトランザクションタイムアウトによって強制終了しました。発生原因を取り除いたあと，OTS およびアプリケーションプログラムを再開始してください。

KFCB31496-I

Transaction Service is online.

[システムの処理]

何もしません。トランザクションサービスは現在オンラインです。

[対策]

なし。

KFCB31497-I

Transaction Service is offline.

[システムの処理]

何もしません。トランザクションサービスは現在オフラインです。

[対策]

なし。

KFCB31498-W

aa...aa is not registered.

aa...aa：リソースマネージャ名称

[システムの処理]

指定された aa...aa は，現在の実行環境では登録されていません。コマンドは処理を続けます。

[対策]

なし。

KFCB31499-E

Cannot access shared memory.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

OTS デーモンが開始されていることを確認し，コマンドを再度入力してください。

KFCB31500-E

Cannot start Trace Daemon.

[システムの処理]

トレースデーモンを起動できませんでした。

[対策]

このメッセージの前にほかのメッセージを出力している場合は，そのメッセージを基に対策してください。

このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB31501-I

Starting Trace Daemon. pid=aa...aa date=bb...bb

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：トレースデーモンの開始時刻

[システムの処理]

トレースデーモンの開始処理を始めました。

[対策]

なし。

KFCB31502-I

Trace Daemon has started.

[システムの処理]

トレースデーモンの開始処理が終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31503-I

Trace Daemon has ended.

[システムの処理]

トレースデーモンが終了しました。

[対策]

なし。

KFCB31504-E

Trace definition is illegal.

[システムの処理]

トレースのシステム環境定義に不正があります。トレースデーモンはデフォルトの定義で起動します。

[対策]

なし。

KFCB31505-W

aa...aa has failed. reason=bb...bb info1=cc...cc info2=dd...dd info3=ee...ee pid=ff...ff

aa...aa：デーモン名称

Completion Daemon：決着デーモン

OTS Daemon：OTS デーモン

Recovery Daemon：回復デーモン

Trace Daemon：トレースデーモン

bb...bb：障害理由

CORBA::COMM_FAILURE：CORBA::COMM_FAILURE 例外が発生しました。トランザクション定義/OTS/set_ipaddr_info または/OTS/completion_process_ipaddr_info に指定された IP アドレスが使用可能かどうかを確認してください。また，トランザクション定義/OTS/completion_process_port_base に指定されたポート番号ベースから，/OTS/completion_process_count に指定されたプロセス数分のポート番号が使用可能かどうかを確認してください。

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

ポート番号（aa...aa が Completion Daemon で，bb...bb が CORBA::COMM_FAILURE の場合）

ee...ee：保守情報 3

ホスト名または IP アドレス（bb...bb が CORBA::COMM_FAILURE で，ホスト名または IP アドレスが指定されている場合）

ff...ff：プロセス ID

[システムの処理]

デーモンプロセスは異常終了します。OTS サービスも停止します。

[対策]

障害理由を参照して，原因を取り除いてください。

KFCB31506-E

aa...aa downed. pid=bb...bb

aa...aa：デーモン名称

Completion Daemon：決着デーモン

OTS Daemon：OTS デーモン

Recovery Daemon：回復デーモン

Trace Daemon：トレースデーモン

bb...bb：プロセス ID

[システムの処理]

デーモンプロセスは異常終了します。

[対策]

このメッセージの直前のメッセージを基に対策してください。このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB31507-I

$TPFS directory was created.

[システムの処理]

$TPFS ディレクトリがないため，OTS デーモンは$TPFS ディレクトリを作成し，処理を続行します。

[対策]

-i オプションを指定して tssetup コマンドを実行した場合の初回起動時は対策の必要はありません。それ以外の場合，$TPFS ディレクトリがマウントされているか，または$TPFS ディレクトリが削除されていないかを見直してください。

KFCB31509-I

OTS Daemon is terminating process(OTS Application,Daemon of OTS function).

[意味]

OTS デーモンがプロセスを停止しています。

[システムの処理]

OTS デーモンは OTS アプリケーションプログラム，決着デーモン，および回復デーモンを停止します。

[対策]

なし。

KFCB31510-I

OTS Application and Daemon of OTS function was terminated by OTS Daemon.

[意味]

OTS アプリケーションプログラム，および OTS 機能のデーモンが OTS デーモンによってプロセスを停止されました。

[システムの処理]

なし。

[対策]

なし。

KFCB31511-E

Maximum retry achieved for XA function call. (/OTS/RCV/set_recover_retry_count)

[意味]

システム定義/OTS/RCV/set_recover_retry_count に指定されている最大のリトライ回数 XA 関数の発行を行いました。

[システムの処理]

OTS の起動に失敗します。

[対策]

リソースマネージャが起動されているか確認してください。

KFCB31512-I

xa_recover() function finished. A new transaction can be started.

[意味]

xa_recover()関数が終了しました。新しいトランザクションを開始できます。

[システムの処理]

回復処理は終了しました。新しいトランザクションを開始できます。

[対策]

なし。

KFCB31900-W

Tracing service cannot be started. pid=aa...aa reason=bb...bb

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：理由コード

101

予期しないエラーが発生しました。

102

トレースサービスで使用する共用メモリのアドレスを取得できません。

103

メモリ不足が発生しました。

104

msgget システムコールで，新しいメッセージ待ち行列 ID の割り当てに失敗しました。ipcs コマンドを実行して使用状況を確認してください。不要なメッセージキューがある場合，ipcrm コマンドを実行して削除してください。

105

システムコールでエラーが発生しました。

106

トレースサービスで使用する共用メモリでメモリ不足が発生しました。

112

指定されたトレースサービスは，すでに開始されています。または，トレースサービスは終了していますが，トレースを取得していたプロセスが起動中のため，新たにトレースサービスを開始できません。

114

プロセス内のスレッド生成システムコールでエラーが発生しました。

115

ファイルのオープンでエラーが発生しました。

116

ファイルの検定時，または新規作成時に I/O エラーが発生しました。

[システムの処理]

該当する OTS システムのトレースサービスを中止します。

[対策]

理由コードを参照して，障害の原因を取り除いてください。

KFCB31901-W

Failed to initialize tracing service. pid=aa...aa reason=bb...bb

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：理由コード

101：予期しないエラーが発生しました。

102：トレースサービスで使用する共用メモリのアドレスを取得できません。

103：メモリ不足が発生しました。

105：システムコールでエラーが発生しました。

[システムの処理]

該当するプロセスのトレース取得を中止します。

[対策]

理由コードを参照して，障害の原因を取り除いてください。

KFCB31902-W

Failed to output shared memory information. reason=aa...aa

aa...aa：理由コード

101

トレースサービスで使用する共用メモリをダンプしようとしたが，共用メモリが削除された可能性があります。前回の OTS 異常終了後に，OS が再起動されていないか，または ipcrm コマンドで共用メモリを削除していないかどうかを確認してください。削除していない場合，システムコールでエラーが発生しました。

117

トレースサービスで使用する共用メモリのダンプファイル出力処理中にメモリ不足が発生しました。

118

トレースサービスで使用する共用メモリのダンプファイル出力処理中のロック処理でエラーが発生しました。

119

トレースサービスで使用する共用メモリのダンプファイル出力処理のファイルアクセスでエラーが発生しました。

120

トレースサービスで使用する共用メモリが壊れています。

[システムの処理]

該当する OTS システムでのトレースサービスは正常に開始されます。ただし，OTS 異常終了時の一部のトレース情報が取得できなかった可能性があります。

[対策]

理由コードを参照して，障害の原因を取り除いてください。

KFCB31903-E

Not enough memory.

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

ほかのアプリケーションプログラムを終了してください。

KFCB31904-E

Command argument is invalid.

[システムの処理]

コマンドは異常終了します。

[対策]

コマンド引数が不正です。このメッセージの直後に出力される使用方法のメッセージに従って，再度入力してください。

KFCB31906-E

Command error. (aa...aa,bb...bb)

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB31907-E

Cannot open tracefile. reason=aa...aa

aa...aa：理由コード

101：予期しないエラーが発生しました。

103：メモリ不足が発生しました。

115：ファイルのオープンに失敗しました。

121：指定したトレースファイル名に誤りがあります。

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

理由コードを参照して，障害の原因を取り除いてください。

KFCB31908-W

Failed to read record of the Trace File. reason=aa...aa

aa...aa：理由コード

101：予期しないエラーが発生しました。

103：メモリ不足が発生しました。

116：トレースファイルの I/O エラーが発生しました。

121：指定したトレースファイル名に誤りがあります。

122：レコードの読み込みに失敗しました。

[システムの処理]

レコードを正常に読み込めませんでした。

[対策]

理由コードを参照して，障害の原因を取り除いてください。

KFCB32000-E

Fatal lock error occurred. info=aa...aa

aa...aa：保守情報

[システムの処理]

プロセスを異常終了します。処理中のトランザクションがある場合，決着処理をします。

[対策]

OS のロックに関する何らかの問題が発生しています。その原因を取り除いてください。

KFCB32001-E

Fatal error occurred. The process aborts. pid=aa...aa tid=bb...bb info=cc...cc code1=dd...dd code2=ee...ee

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：スレッド ID

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

ee...ee：保守情報 3

[システムの処理]

処理中のトランザクションがある場合，決着処理をします。

[対策]

このメッセージの直前のメッセージを基に対策してください。このメッセージの前にほかのメッセージを出力していない場合は，保守員に連絡してください。

KFCB32002-W

CORBA exception caught. excep=aa...aa pid=bb...bb tid=cc...cc info=dd...dd code1=ee...ee code2=ff...ff

aa...aa：catch した CORBA 例外

CORBA 例外については，マニュアル「TPBroker プログラマーズガイド」およびマニュアル「Borland(R) Enterprise Server VisiBroker(R) デベロッパーズガイド」を参照してください。

bb...bb：プロセス ID

cc...cc：スレッド ID

dd...dd：保守情報 1

ee...ee：保守情報 2

ff...ff：保守情報 3

[システムの処理]

処理を継続できる場合，継続します。継続できない場合，発生例外や発生場所によって適切な処理をします。

[対策]

なし。

KFCB32003-E

Unexpected CORBA exception caught. excep=aa...aa pid=bb...bb tid=cc...cc info=dd...dd code1=ee...ee code2=ff...ff

aa...aa：catch した CORBA 例外

CORBA 例外については，マニュアル「TPBroker　プログラマーズガイド」およびマニュアル「Borland(R) Enterprise Server VisiBroker(R) デベロッパーズガイド」を参照してください。

bb...bb：プロセス ID

cc...cc：スレッド ID

dd...dd：保守情報 1

ee...ee：保守情報 2

ff...ff：保守情報 3

[システムの処理]

処理を継続できる場合，継続します。継続できない場合，発生例外や発生場所によって適切な処理をします。

[対策]

なし。

KFCB32004-E

Unknown exception caught. pid=aa...aa tid=bb...bb info=cc...cc code1=dd...dd code2=ee...ee

aa...aa：プロセス ID

bb...bb：スレッド ID

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

ee...ee：保守情報 3

[システムの処理]

処理を継続できる場合，継続します。継続できない場合，プロセスを異常終了します（KFCB32001-E のメッセージが出力されます）。

[対策]

プロセスを異常終了する場合は syslog またはイベントログ, および$TPSPOOL ディレクトリ下のファイルを保存して保守員に連絡してください。

KFCB32005-W

Failed to delete objects. info1=aa...aa info2=bb...bb

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

[システムの処理]

オブジェクトの削除に失敗したが，処理を続けます。

[対策]

メモリリークが生じている可能性があるため，頻発する場合は保守員に連絡してください。

KFCB32006-E

Internal error occurred. reason=aa...aa info=bb...bb code=cc...cc

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

cc...cc：保守情報 3

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

syslog またはイベントログ，および$TPSPOOL ディレクトリ下のファイルを保存して保守員に連絡してください。

KFCB32007-W

Transaction created outside the Transaction Service and imported is ignored at the end of transaction branch. info=aa...aa code1=bb...bb code2=cc...cc

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

cc...cc：保守情報 3

[システムの処理]

処理を続けます。

[対策]

なし。

KFCB32008-E

aa...aa is not supported by Transaction Service. info=bb...bb code=cc...cc

aa...aa：サポートされていない機能

TII：TII（Time Independent Invocation）はサポートされていません。

oneway：トランザクショナルな一方送信（一方受信）呼び出しはサポートされていません。

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

[システムの処理]

CORBA::IMP_LIMIT 例外を発生させます。

[対策]

該当する機能は使用しないでください。

KFCB32009-W

Reply check is unavailable. reason=aa...aa

aa...aa：使用できない理由

[システムの処理]

処理を続けます。ただし，応答チェックは行いません。

[対策]

なし。

KFCB32010-E

Failed to allocate memory. info=aa...aa code1=bb...bb code2=cc...cc

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

cc...cc：保守情報 3

[システムの処理]

CORBA::NO_MEMORY 例外を発生させるか，または該当プロセスを異常終了します。

[対策]

使用できる仮想メモリを増やすか，または不要なメモリ確保をしていないかどうかを見直してください。

KFCB32011-E

An exception occurred at the Resource operation. operation=aa...aa excep=bb...bb pid=cc...cc

aa...aa：例外の発生したオペレーション名

bb...bb：発生した例外名

cc...cc：例外が発生したプロセスのプロセス ID

[システムの処理]

トランザクションの決着については，OTS が適切に判断して処理を行います。ただし，commit オペレーションの例外ではリソースオブジェクトに対してオペレーションのリトライを行います。

[対策]

ヒューリスティック例外が発生している場合は，管理者に連絡し，リソースの不整合が生じていないかを確認してください。Resource オブジェクトが存在するプロセスが異常終了している場合，必要に応じてプロセスを再開始してください。

KFCB32012-E

An exception occurred at the Synchronization operation. operation=aa...aa excep=bb...bb pid=cc...cc

aa...aa：例外の発生したオペレーション名

bb...bb：発生した例外名

cc...cc：例外が発生したプロセスのプロセス ID

[システムの処理]

before_completion オペレーションで例外が発生した場合，処理中のトランザクションをロールバックさせます。after_completion オペレーションでの例外は，無視されます。

[対策]

Synchronization オブジェクトが存在するプロセスが異常終了している場合，必要に応じてプロセスを再起動してください。

KFCB32013-E

An exception occurred at the SubtransactionAwareResource operation. operation=aa...aa excep=bb...bb pid=cc...cc

aa...aa：例外の発生したオペレーション名

bb...bb：発生した例外名

cc...cc：例外が発生したプロセスのプロセス ID

[システムの処理]

処理中のサブトランザクションを含むトランザクションファミリーをロールバックします。

[対策]

SubtransactionAwareResource オブジェクトが存在するプロセスが異常終了している場合，必要に応じてプロセスを再起動してください。

KFCB32014-E

Unable to create subtransaction. Number of the subtransaction has reached to maximum in this Coordinator. pid=aa...aa

aa...aa：例外が発生したプロセスのプロセス ID

[システムの処理]

Coordinator::create_subtransaction または Current::begin オペレーションを発行したアプリケーションプログラムに対して CORBA::IMP_LIMIT 標準例外を発生させます。

[対策]

アプリケーションプログラムの構成を見直し，一つの Coordinator に対して生成するサブトランザクションの数を削減してください。上限値は 255 です。

KFCB32015-E

Transaction Service is unavailable. info=aa...aa code1=bb...bb code2=cc...cc

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

cc...cc：保守情報 3

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。

[対策]

トランザクションサービスが開始されていないか，またはメモリが不足している可能性があります。トランザクションサービスが開始されていない場合，tsstart コマンドを実行してください。

KFCB32016-E

Cannot start transaction branch. info=aa...aa code1=bb...bb code2=cc...cc

aa...aa：保守情報 1

bb...bb：保守情報 2

cc...cc：保守情報 3

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。トランザクションブランチの開始に失敗しました。

[対策]

リソースマネージャの準備が完了していないか，またはトランザクションブランチの数がシステムの上限値を超えた可能性があります。KFCB31208-E が直前に出力されている場合, KFCB31208-E の対策に従ってください。または，リソースマネージャの環境および起動を確認してください。

KFCB32017-I

Heuristic decision was ignored. otid=aa...aa info=bb...bb code1=cc...cc code2=dd...dd

aa...aa：ヒューリスティック状態が無視されたトランザクションブランチの otid（トランザクション ID）

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

dd...dd：保守情報 3

[システムの処理]

次の場合，発生したヒューリスティックが無視されました。

- report_heuristics 引数に false を指定した commit()オペレーション実行
- rollback()オペレーション実行
- commit()オペレーションの延長の 2 相コミットの 1 相目実行

[対策]

ご使用のリソースマネージャのマニュアルを参照して，原因を取り除いてください。

KFCB32018-E

Root transaction associated with Transaction Current object has not completed. The transaction is rolled back. transaction name=aa...aa

aa...aa：ロールバックされたトランザクション名

[システムの処理]

ロールバック後，処理を続けます。

[対策]

TransactionCurrent オブジェクトに結び付いたトランザクションを決着するか，またはサスペンドしてからサーバオブジェクトのオペレーションを終了するように，アプリケーションプログラムを修正してください。

KFCB32019-E

Cannot preserve transaction information. otid=aa...aa info=bb...bb code1=cc...cc code2=dd...dd

aa...aa：情報の保存に失敗したトランザクションブランチの otid

bb...bb：保守情報 1

cc...cc：保守情報 2

dd...dd：保守情報 3

[システムの処理]

プロセスは異常終了します。トランザクション情報の保存に失敗しました。

[対策]

トランザクションブランチに登録された Synchronization オブジェクト，および SubtransactionAwareResource オブジェクトの数がシステムの許容量を超えました。これらの数を減らすか，インタフェース名，オブジェクト名を短いものに変更してください。

KFCB32020-E

A policy value is invalid. reason=aa...aa value=bb...bb

aa...aa：不正なポリシー値が設定されたポリシータイプ

OTSPolicy：OTSPolicy の値が不正です。

InvocationPolicy：InvocationPolicy の値が不正です。

NonTxTargetPolicy：NonTxTargetPolicy の値が不正です。

bb...bb：UNKNOWN（文字列）

[システムの処理]

オペレーションを停止します

[対策]

Policy の値を確認してください。

KFCB32021-E

A policy type is invalid. reason=aa...aa value=bb...bb

aa...aa：Unknown Policy Type

bb...bb：設定されたポリシー値（整数値）

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

Policy の値を確認してください。

KFCB32022-E

The combination of OTSPolicy value and InvocationPolicy value is invalid. value1=aa...aa value2=bb...bb

aa...aa：設定された OTSPolicy の値

bb...bb：設定された InvocationPolicy の値

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

OTSPolicy の値と InvocationPolicy の値の組み合わせが正しいかどうかを確認してください。

KFCB32023-E

OTSPolicy value or InvocationPolicy value is duplicate.

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

OTSPolicy，または InvocationPolicy を重複して設定していないかどうかを確認してください。

KFCB32024-E

The way to call server don't follow the InvocationPolicy value. Server's InvocationPolicy value is aa...aa.

aa...aa：InvocationPolicy の値

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

InvocationPolicy の値を確認してください。

KFCB32025-E

Server requires the transactional call. Server's OTSPolicy value is REQUIRES. code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

トランザクショナルな呼び出しをしているかどうかを確認してください。

KFCB32026-E

Server requires the non-transactional call. Server's OTSPolicy value is FORBIDS. code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

トランザクショナルでない呼び出しをしているかどうかを確認してください。

KFCB32027-E

The TaggedComponent of Server's IOR is invalid. reason=aa...aa

aa...aa：TaggedComponent から読み出した値が不正なポリシータイプ

OTSPolicy：TaggedComponent から読み出した OTSPolicy の値が不正です。

InvocationPolicy：TaggedComponent から読み出した InvocationPolicy の値が不正です。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

サーバの処理を見直してください。

KFCB32028-E

Marshaling OTS ServiceContext was failed. code= aa...aa

aa...aa：メソッド名

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB32200-I

aa...aa

aa...aa：Java プログラムから出力される UAP トレースメッセージ，またはシステムトレースメッセージ

[システムの処理]

なし。

［対策］

Java プログラムから出力される UAP トレースメッセージを確認してください。エラーが発生している場合，Java プログラムを見直してください。TPBroker のエラーメッセージが出力されている場合，メッセージを保存して，保守員へ連絡してください。

KFCB32201-I

aa...aa has started. pid=bb...bb

aa...aa：デーモン名

TransactionContextServer：トランザクションコンテキストサーバ

bb...bb：プロセス ID

［システムの処理］

デーモンの開始処理は完了しました。

［対策］

なし。

KFCB32202-I

aa...aa has stopped. pid=bb...bb

aa...aa：デーモン名

TransactionContextServer：トランザクションコンテキストサーバ

bb...bb：プロセス ID

［システムの処理］

デーモンは終了しました。

［対策］

なし。

KFCB32203-E

aa...aa has failed. reason=bb...bb code=cc...cc pid=dd...dd

aa...aa：デーモン名，またはコマンド名

TransactionContextServer：トランザクションコンテキストサーバ

tsstoptrnctxsv：tsstoptrnctxsv コマンド

bb...bb：次に示す障害理由

NO MEMORY

メモリ不足

Already Started

トランザクションコンテキストサーバはすでに開始しています。複数のトランザクションコンテキストサーバは起動できません。トランザクションコンテキストサーバが存在していることを確認してください。

Not Exist

tsstoptrnctxsv コマンドがトランザクションコンテキストサーバを発見できませんでした。トランザクションコンテキストサーバが起動しているかどうかを確認してください。

Definition

トランザクションコンテキストサーバに関連するシステム環境定義にエラーがあります。システム環境定義を見直してください。

cc...cc：保守情報

dd...dd：プロセス ID

[システムの処理]

デーモン，またはコマンドを異常終了します。

[対策]

障害理由を参照して，原因を取り除いてください。

KFCB32204-E

There is an invalid configuration. name=aa...aa value=bb...bb

aa...aa：不正な定義値が設定されている定義名

bb...bb：不正な定義値

[システムの処理]

該当する定義を無視して，デフォルト値を使用します。

[対策]

該当する定義を確認し，正しい値を設定してください。

KFCB32205-E

Transaction timeout occurred. result=aa...aa transaction_name=bb...bb

aa...aa：ロールバックした結果

RolledBack：トランザクションはロールバックしました。

HeuristicMixed：HeuristicMixed 例外が発生しました。

HeuristicHazard：HeuristicHazard 例外が発生しました。

bb...bb：Coordinator::get_transaction_name()が返したトランザクション名

[システムの処理]

トランザクションコンテキストサーバはトランザクションのタイムアウトを検知し，そのトランザクションをロールバックします。

[対策]

ロールバックの結果が Heuristic 例外である場合，トランザクション状態を確認してください。

KFCB32206-E

Error reason=xx...xx code=yy...yy

Java OTS が出力するメッセージです。詳細は，「17.6　KFCB32206（Java OTS が出力するメッセージ）の詳細」を参照してください。

KFCB32207-W

Invalid property value property_key=aa...aa invalid=bb...bb action=cc...cc

aa...aa：プロパティ名

bb...bb：誤ったプロパティ値

cc...cc：アクション

used_default：デフォルト値を使用

ignored：無視

[内容]

プロパティ値を無視しました。プロパティ値が誤っているか，または利用できない状態です。

[システムの処置]

システムはアクションに従って処理を続行します。

[対策]

プロパティ値を確認してください。

KFCB32208-E

aa...aa has failed. reason=bb...bb info1=cc...cc info2=dd...dd info3=ee...ee pid=ff...ff

aa...aa：デーモンまたはコマンド名称

TransactionContextServer：トランザクションコンテキストサーバ

bb...bb：障害理由

CORBA::COMM_FAILURE：CORBA::COMM_FAILURE 例外が発生しました。指定された IP アドレスが使用できない可能性があります。トランザクションコンテキストサーバに関連するシステム環境定義，またはコマンドのオプションを見直してください。

cc...cc：保守情報 1

dd...dd：保守情報 2

ホスト名または IP アドレス（bb...bb が CORBA::COMM_FAILURE で，ホスト名または IP アドレスが指定されている場合）

ee...ee：保守情報 3

ff...ff：プロセス ID

[システムの処理]

デーモンプロセスまたはコマンドは異常終了します。

[対策]

障害理由を参照して，原因を取り除いてください。

KFCB32400-E

The transaction was decided to be heuristic due to an XAResource error.method=aa...aa rc=bb...bb xid=cc...cc info=dd...dd

aa...aa：エラーが発生した XA リソースのメソッド名

bb...bb：aa...aa が返したエラーコード

cc...cc：エラーが発生したトランザクションの XID（トランザクション ID）

dd...dd：保守情報

[内容]

このメッセージは，Component Container のメッセージログに出力されます。XA リソースでエラーが発生したため，トランザクションはヒューリスティックに決着されます。このため，トランザクションで処理したデータの一貫性が失われる可能性があります。

[システムの処置]

XA リソースのリターンコードに応じて適切な処理を行います。

[対策]

トランザクションで処理したデータの一貫性が失われていないかどうか確認してください。また，ご使用のリソースマネージャのマニュアルを参照して，原因を取り除いてください。

KFCB32401-E

The transaction was heuristically committed and rolled back due to one or more XAResource errors. method=aa...xid= bb...bb

aa...aa：エラーが発生した XA リソースのメソッド名

bb...bb：エラーが発生したトランザクションの XID

[内容]

このメッセージは，Component Container のメッセージログに出力されます。一つ以上の XA リソースのエラーが原因で，トランザクションは部分的にコミットおよびロールバックされ，データの一貫性が失われました。

[システムの処置]

このトランザクションに関連するすべての XA リソースのリターンコードに応じて，それぞれ適切な処理を実行します。

[対策]

ご使用のリソースマネージャのマニュアルを参照して，原因を取り除いてください。

17.4　KFCB40000 から KFCB49999 までのメッセージ

TPBroker が出力する KFCB40000 から KFCB49999 までのメッセージについて説明します。

KFCB40010-W

A transaction branch has taken too long time on its completion process. status=aa....aa method=bb....bb id=cc....cc info=dd....dd

aa....aa：現在のステータス

bb....bb：決着処理のメソッド名

cc....cc：トランザクション ID

dd....dd：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションの決着処理に時間が掛かっています。

[システムの処理]

決着処理が始まってから 60 秒以上経過すると，このメッセージを出力します。メッセージ出力後も，決着処理は継続します。

[対策]

リソースマネジャ，サーバプロセスの状態を確認し，次の状態に陥っていないか確認してください。

- リソースマネジャの停止，またはリソースマネジャとの通信接続の切断。
- リモート呼び出し元もしくは呼び出し先のサーバプロセスの停止，または通信接続の切断。
- ステータスファイルへの書き込み処理の遅延。

KFCB40011-E

A transaction branch has decided to complete heuristically. method=aa....aa outcome=bb....bb tid=cc....cc info=dd....dd

aa....aa：決着処理のメソッド名

bb....bb：ヒューリスティック決着の種別

cc....cc：トランザクション ID

dd....dd：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションがヒューリスティック決着をしました。

ヒューリスティック決着の種別（bb....bb）によって，詳細は次のとおりになります。

- HeuristicHazard：各リソースマネジャのトランザクションが一貫性を保って決着したことが確認できませんでした。トランザクションの一貫性が失われている可能性があります。
- HeuristicCommit：このトランザクションブランチの参加リソースすべてがヒューリスティック決着によってコミットしました。
- HeuristicRollback：このトランザクションブランチの参加リソースすべてがヒューリスティック決着によってロールバックしました。
- HeuristicMixed：一部のリソースマネジャのトランザクションがコミットし，ほかのリソースマネジャのトランザクションがロールバックしました。トランザクションの一貫性は失われました。

[対策]

各リソースマネジャで，トランザクションの状態を確認してください。トランザクション ID（cc....cc）と同じグローバルトランザクション ID を持つブランチについて，各リソースマネジャでのトランザクションの決着方法（コミットまたはロールバック）を確認してください。

KFCB40012-I

A transaction branch has completed normally, overriding heuristic completion in some participants. method=aa....aa original=bb....bb outcome=cc....cc tid=dd....dd info=ee....ee

aa....aa：決着処理のメソッド名

bb....bb：参加リソースに存在したヒューリスティックの種別

cc....cc：グローバルトランザクションの決着方法

dd....dd：トランザクション ID

ee....ee：保守情報

[要因]

参加リソースのヒューリスティック決着の結果と，グローバルトランザクションの決着方法とが一致したため，グローバルトランザクションは一貫性を保ったまま決着しました。

KFCB40013-W

A participant has completed heuristically. method=aa....aa outcome=bb....bb participant=cc....cc info1=dd....dd info2=ee....ee

aa....aa：現象が発生した参加リソースのメソッド名

bb....bb：aa....aa が返した決着結果

cc....cc：現象が発生した参加リソースの情報（リソースの種類，Xid または Gid）

dd....dd：保守情報 1

ee....ee：保守情報 2

[要因]

グローバルトランザクションの参加リソース（cc....cc）がヒューリスティック決着をしました。

[対策]

このメッセージに続いて，グローバルトランザクションの決着結果を示すメッセージが出力されます。出力されたメッセージに従って対処してください。

KFCB40014-W

Unable to distinguish the outcome of a participant due to a communication error. method=aa....aa outcome=bb....bb participant=cc....cc info1=dd....dd info2=ee....ee

aa....aa：現象が発生した参加リソースのメソッド名

bb....bb：aa....aa が返した決着結果

cc....cc：現象が発生した参加リソースの情報（リソースの種類，Xid または Gid）

dd....dd：保守情報 1

ee....ee：保守情報 2

[要因]

グローバルトランザクションの決着処理中に参加リソース（cc....cc）との接続が失われたため，決着結果が不明になりました。ただし，リソースマネジャで，ほかのエラーが発生していない場合は，通常トランザクションの一貫性はリソースマネジャによって保証されます。

[対策]

リソースマネジャでトランザクションの状態に異常が発生していないか確認してください。

KFCB40015-W

Duplicate status file definition. path=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：ステータスファイルのパス名称

bb....bb：保守情報

[要因]

ステータスファイルの格納ディレクトリ名称同士が重複しています。

[システムの処理]

J2EE サーバ起動時，または EJB クライアント起動時にこのメッセージが出力される場合は，予備ステータスファイルのパス名称を無視し，ステータスファイルを二重化しません。cjlisttrnfile コマンド発行時にこのメッセージが出力される場合は，予備ステータスファイルのパス名称を無視し，主ステータスファイルのトランザクション情報を表示します。

[対策]

予備ステータスファイルのパス名称またはステータスファイルのパス名称のどちらかを変更し，重複を避けてください。

ステータスファイルのパス名称は，J2EE サーバ，または EJB クライアントのプロパティ ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1 および ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2 で指定されます。

KFCB40016-E

Invalid status file path. path=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：ステータスファイルのディレクトリ名称

bb....bb：保守情報

[要因]

ステータスファイルのディレクトリ名称が不正です。

[対策]

J2EE サーバ，または EJB クライアントのプロパティ ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1 または ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2 を確認し，次の状態になっていないか確認してください。

- 指定されたパス名称に通常ファイル以外のファイル（ディレクトリなど）がすでに存在している。
- 指定されたパス名称のファイルに対するアクセス権限が正しく設定されていないため，読み書きできない状態になっている。
- ステータスファイル（予備ステータスファイルではない）のパス名称が，空文字列になっている。

KFCB40017-W

Invalid property was defined. Replaced with default property. name=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：不正なプロパティ名

bb....bb：メソッド名

[要因]

プロパティに設定された値が不正です。

[システムの処理]

設定値の代わりにデフォルト値を使用します。

[対策]

プロパティの設定値を見直してください。

KFCB40018-E

Initialization failed. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

インプロセストランザクションサービスの初期化に失敗しました。

[対策]

初期化に失敗した要因がほかのメッセージで示されます。メッセージを参照して，問題を解決してください。

KFCB40019-E

Invalid host name. name=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：ホスト名

bb....bb：保守情報

[要因]

ホスト名が不正です。

[対策]

J2EE サーバのホスト名の設定値を見直してください。また，J2EE サーバおよび EJB クライアントが動作するマシンのホスト名の設定を見直してください。

KFCB40020-E

Internal error occurred. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

内部エラーが発生しました。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40021-E

Failed to allocate a status file entry. The transaction branch will rollback. method=aa....aa tid=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：決着処理のメソッド名

bb....bb：トランザクション ID

cc....cc：保守情報

[要因]

ステータスファイルの同時使用エントリ数が上限に達したため，トランザクションをコミット決着できません。

[システムの処理]

トランザクションはロールバックします。

[対策]

同時に決着処理を実行するトランザクション数を減らしてください。

また，長時間にわたって未決着トランザクションが残留していないか確認してください。トランザクションの決着処理が遅延する要因として，次のことが考えられます。

- リソースマネジャの停止，またはリソースマネジャとの通信接続の切断。
- リモート呼び出し元もしくは呼び出し先のサーバプロセスの停止，または通信接続の切断。
- ステータスファイルへの書き込み処理の遅延。

問題が解決しない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40022-E

Failed to write a transaction status to a status file. path=aa....aa method=bb....bb tid=cc....cc info=dd....dd

aa....aa：失敗したステータスファイルのパス名称

bb....bb：決着処理のメソッド名

cc....cc：トランザクション ID

dd....dd：保守情報

[要因]

ステータスファイルに対してトランザクション決着処理のステータスを書き込むことができませんでした。

[システムの処理]

インプロセストランザクションサービスは動作を停止します。

[対策]

ステータスファイルが存在する HDD でハード障害が発生していないか確認してください。

ハード障害が発生していた場合，J2EE サーバ，または EJB クライアントを停止させ，次の 1，2 どちらかの手順を実施後，J2EE サーバ，または EJB クライアントを開始してください。

1. ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1 または ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2 のうち，ハード障害が発生したプロパティを別の障害が発生していないパスに変更する。
2. HDD を交換する。

KFCB40024-E

Internal error. Treat it as HeuristicHazard. method=aa....aa tid=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：決着処理のメソッド名

bb....bb：現象が発生したトランザクション ID

cc....cc：保守情報

[要因]

決着処理中に内部エラーが発生しました。

[システムの処理]

決着処理中のトランザクションはヒューリスティック決着したものとして取り扱います。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

また，トランザクションの一貫性が失われている可能性がありますので，リソースマネジャでトランザクションの状態を確認してください。

KFCB40025-E

Prepared branch has abnormally rolled back in a commit operation. method=aa....aa tid=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：決着処理のメソッド名

bb....bb：トランザクション ID

cc....cc：保守情報

[要因]

プリペア済トランザクションに対してコミットを試みましたが，異常が発生しトランザクションはロールバックしました。

[対策]

トランザクションの一貫性が失われている可能性がありますので，リソースマネジャでトランザクションの状態を確認してください。

トランザクションがロールバックした要因は，同時に出力されるほかのメッセージや例外情報に示されています。そちらを参照して対処してください。

KFCB40026-E

A participant returned an unexpected error code. method=aa....aa outcome=bb....bb participant=cc....cc info1=dd....dd info2=ee....ee

aa....aa：現象が発生した参加リソースのメソッド名

bb....bb：現象の要因となったエラーコード

cc....cc：現象が発生した参加リソースの情報（リソースの種類，Xid または Gid）

dd....dd：保守情報 1

ee....ee：保守情報 2

[要因]

グローバルトランザクションの参加リソース（cc....cc）が，決着処理に対して予期しない戻り値を戻しました。

トランザクションの一貫性が失われている可能性があります。

[対策]

リソースマネジャの動作および状態を確認してください。

KFCB40027-W

A participant could not forget its heuristic decision. method=aa....aa outcome=bb....bb participant=cc....cc info1=dd....dd info2=ee....ee

aa....aa：現象が発生した参加リソースのメソッド名

bb....bb：現象の要因となったエラーコード

cc....cc：現象が発生した参加リソースの情報（リソースの種類，Xid または Gid）

dd....dd：保守情報 1

ee....ee：保守情報 2

[要因]

グローバルトランザクションの参加リソース（cc....cc）が，ヒューリスティック決着状態を忘れることができませんでした。

[対策]

リソースマネジャの動作を確認してください。

このメッセージが出力されても，グローバルトランザクションの決着結果には特に影響ありません。

KFCB40028-W

The reboot counter has reached the maximum permissive value. Reset to zero. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

トランザクション ID または Xid 内に保持する，J2EE サーバ，または EJB クライアントの再起動回数カウンタが，ラップして 0（ゼロ）に戻りました。参加リソースに割り振られる Xid が重複する可能性があります。

[システムの処理]

ステータスファイルを新規に作成して以降，J2EE サーバ，または EJB クライアントの起動回数が 2,147,483,647 回に達すると表示します。

KFCB40029-E

Could not create a management information of status file. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

ステータスファイル管理領域情報の設定に失敗しました。

ステータスファイルを利用できません。

[対策]

ステータスファイルが存在する HDD のハード障害が発生していないか確認してください。

解決しない場合，例外情報やほかのメッセージを参照して，問題を解決してください。

KFCB40030-E

The status entry was already released. number=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：エントリ番号

bb....bb：保守情報

[要因]

ステータスファイルのエントリ管理処理で内部エラーが発生しました。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40031-E

The status entry was broken. number=aa....aa info1=bb....bb info2=cc....cc

aa....aa：エントリ番号

bb....bb：保守情報 1

cc....cc：保守情報 2

[要因]

ステータスファイルの特定エントリの内容が不正なため，読み出すことができませんでした。

J2EE サーバ，または EJB クライアントの異常終了後，最初の J2EE サーバ，または EJB クライアントの起動時にこのメッセージを出力した場合は，ステータスファイルに書き込まれていた決着中のトランザクション情報が回復できなかった可能性があります。

[対策]

トランザクションの一貫性が失われる可能性がありますので，リソースマネジャでトランザクションの状態を確認してください。

KFCB40032-E

Status file write error. path=aa....aa fail=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：ステータスファイルのパス名称

bb....bb：書き込み失敗要因（期待した書き込みサイズと実際の値との差分，または発生した例外文字列）

cc....cc：保守情報

[要因]

ステータスファイルへの書き込みに失敗しました。

[対策]

次の内容を確認してください。

- 指定されたパス名称に正しいファイルが存在しているか。
- 指定されたパス名称のファイルへのアクセス権限は正しく設定されているか。
- ステータスファイルが存在する HDD のハード障害が発生していないか。

解決しない場合は，例外情報やほかのメッセージを参照して，問題を解決してください。

KFCB40033-I

Created new status file. path=aa....aa

aa....aa：ステータスファイル名

[要因]

新しいステータスファイルが，正常に作成されました。

KFCB40034-W

Invalid file was found. Forcibly overwritten with newly-created status file. path=aa....aa

aa....aa：ステータスファイルのパス名称

[要因]

指定されたパスに，ステータスファイルではない不正なファイルが見つかりました。

[システムの処理]

不正なファイルは強制的に削除し，新規ステータスファイルを作成して上書きしました。

[対策]

ステータスファイルのパス位置には，正しいステータスファイルだけを置いてください。

KFCB40035-W

The sequence number of the transaction id has reached the maximum permissive value. Reset to zero. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

トランザクション ID または Xid に割り振る通番が，ラップして 0（ゼロ）に戻りました。参加リソースに割り振られる Xid が重複する可能性があります。

J2EE サーバ，または EJB クライアントを起動して一度も再起動しないまま，連続して 2 の 63 乗個トランザクション ID または Xid を生成した場合に表示されます。

KFCB40038-E

A participant work has been rolled back due to RM error. (Catastrophic error.) method=aa....aa participant=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：現象が発生した参加リソースのメソッド名

bb....bb：現象が発生した参加リソースの情報（リソースの種類，Xid または Gid）

cc....cc：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションの参加リソース（bb....bb）にエラーが発生し，参加リソースのプリペア済トランザクションが 2 相目のコミット処理でロールバックしました。

[対策]

本メッセージに続いて，グローバルトランザクションの決着結果を示すメッセージが出力されますので，それに従って対処してください。

KFCB40039-E

A participant work has been rolled back due to RM error. method=aa....aa participant=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：現象が発生した参加リソースのメソッド名

bb....bb：現象が発生した参加リソースの情報（リソースの種類，Xid または Gid）

cc....cc：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションの参加リソース（bb....bb）にエラーが発生し，参加リソースに対する 1 相コミット処理がロールバックしました。

[対策]

リソースマネジャでトランザクションの状態に異常が発生していないか確認してください。

KFCB40040-E

Could not know if a participant work has been rolled back due to RM error. Treat it as HeuristicHazard. method=aa....aa participant=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：現象が発生した参加リソースのメソッド名

bb....bb：現象が発生した参加リソースの情報（リソースの種類，Xid または Gid）

cc....cc：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションの参加リソース（bb....bb）にエラーが発生し，参加リソースに対するロールバック処理に失敗しました。トランザクションの一貫性が失われている可能性があります。

[対策]

リソースマネジャの動作を確認してください。

KFCB40041-E

Status file read error. path=aa....aa size=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：ステータスファイルのパス名称

bb....bb：読み込み失敗要因（期待した読み込みサイズと実際の値との差分，または発生した例外文字列）

cc....cc：保守情報

[要因]

ステータスファイルからの読み込みに失敗しました。

[対策]

次の内容を確認してください。

- 指定されたパス名称に正しいファイルが存在しているか。
- 指定されたパス名称のファイルへのアクセス権限は正しく設定されているか。
- ステータスファイルが存在する HDD のハード障害が発生していないか。

解決しない場合，例外情報やほかのメッセージを参照し，問題を解決してください。

KFCB40042-E

Status file open error. path=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：失敗したステータスファイルのパス名称

bb....bb：保守情報

[要因]

ステータスファイルのオープンに失敗しました。

[対策]

次の内容を確認してください。

- 指定されたパス名称に正しいファイルが存在しているか。
- 指定されたパス名称のファイルへのアクセス権限は正しく設定されているか。
- ステータスファイルが存在する HDD のハード障害が発生していないか。

解決しない場合，例外情報やほかのメッセージを参照し，問題を解決してください。

KFCB40043-E

The specified status file may hold transaction status which belongs to other TM. info1=aa....aa info2=bb....bb

aa....aa：ステータスファイルを作成した J2EE サーバ，EJB クライアントのホスト名と実サーバ名，またはクライアント名

bb....bb：保守情報

[要因]

起動しようとしている J2EE サーバ，または EJB クライアントは，ステータスファイルと次の情報が異なるため起動できません。

- ホスト名，または IP アドレス
- J2EE サーバの実サーバ名，または EJB クライアントのクライアント名

[対策]

ほかの J2EE サーバ，または EJB クライアントと同一のステータスファイルを重複して指定していないか確認してください。

ステータスファイルのパス名称は，J2EE サーバ，または EJB クライアントのプロパティ ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1 および ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2 で指定されます。

これ以外の場合，次の設定がステータスファイル生成以降に変更されています。

- J2EE サーバ，または EJB クライアントが起動するマシンのホスト名，または IP アドレス
- J2EE サーバの vbroker.se.iiop_tp.host プロパティ
- J2EE サーバの実サーバ名，または EJB クライアントのクライアント名

この場合，次の手順で対処してください。

1. 変更した設定を元に戻します。
2. J2EE サーバ上，または EJB クライアント上でトランザクションが存在しない状態で，J2EE サーバ，または EJB クライアントを停止してください。
3. ホスト名，IP アドレス，プロパティ vbroker.se.iiop_tp.host の値，実サーバ名，およびクライアント名を設定してください。
4. ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1 キーで指定したディレクトリ，および ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2 キーで指定したディレクトリを削除してください。
5. J2EE サーバ，または EJB クライアントを起動してください。

KFCB40044-E

The status file version was not supported. version=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：ステータスファイルのバージョン情報

bb....bb：保守情報

[要因]

指定されたステータスファイルのバージョンは，サポートしていません。

[対策]

指定したステータスファイルが正しいものであるか確認してください。

ステータスファイルのパス名称は，J2EE サーバ，または EJB クライアントのプロパティ ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1 および ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2 で指定されます。

KFCB40045-E

Attempted to use an invalid resource which does not pass the recovery permission check. tid=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：トランザクション ID

bb....bb：保守情報

[要因]

未決着トランザクションの走査に失敗したか，または適切な権限がないリソースを，グローバルトランザクションに参加させようとしました。

未決着トランザクションの走査が可能なリソースだけを，グローバルトランザクションに参加させることができます。

[対策]

次の内容を確認して，対処してください。

- リソースの設定内容
- 対象リソースが起動しているかどうか
- ネットワーク障害が発生していないかどうか

対象リソースへ接続できている場合は，未決着トランザクションの走査ができるように，適切な権限を設定してください。設定に問題がない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40046-E

Failed to allocate status file entry. method=aa....aa tid=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：決着処理のメソッド名

bb....bb：トランザクション ID

cc....cc：保守情報

[要因]

ステータスファイルの同時使用エントリ数が上限に達したため，トランザクションがヒューリスティック決着したことをステータスファイルに記録できません。

[対策]

同時に決着処理を実行するトランザクション数を減らしてください。

また，長時間にわたって未決着トランザクションが残留していないか確認してください。トランザクションの決着処理が遅延する要因には，次のものが考えられます。

- リソースマネジャの停止，またはリソースマネジャとの通信接続の切断。
- リモート呼び出し元もしくは呼び出し先のサーバプロセスの停止，または通信接続の切断。
- ステータスファイルへの書き込み処理の遅延。

問題が解決しない場合，保守情報を取得して保守員に連絡してください。

KFCB40047-E

Could not know if a transaction branch has rolled back due to participants'' erroneous behavior. method=aa....aa outcome=bb....bb tid=cc....cc info=dd....dd

aa....aa：決着処理のメソッド名

bb....bb：すべての参加リソースの決着結果を総合した結果

cc....cc：トランザクション ID

dd....dd：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションのロールバック処理中に一部の参加リソースにエラーが発生したため，正しくロールバック処理が行われたことを確認できません。

[対策]

リソースマネジャで，トランザクションが正常にロールバックされているかどうか確認してください。

KFCB40048-E

Local host information is unavailable. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

OS のネットワーク設定が有効でないため，ローカルホスト情報を入手できません。このため，インプロセストランザクションサービスの初期化に失敗しました。

[対策]

OS のネットワーク設定を見直してください。

KFCB40049-W

Deprecated property is found. key=aa....aa value=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：推奨されていないプロパティのキー

bb....bb：推奨されていないプロパティに設定された値

cc....cc：保守情報

[要因]

旧バージョンのインプロセストランザクションサービスだけで有効なプロパティのキー aa....aa に，bb....bb が設定されました。現在のバージョンのインプロセストランザクションサービスでは，このプロパティは使用できません。

[対策]

代替のプロパティを使用してください。

KFCB40050-E

Failed to rename a file. from=aa....aa attemptedTo=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：移動元ファイルのパス名称

bb....bb：ファイルの移動先のパス名称

cc....cc：保守情報

[要因]

ファイルの移動に失敗しました。インプロセストランザクションサービスは，正しく初期化できませんでした。

[対策]

移動元ファイルが使用中でないか確認してください。使用中の場合は，ファイルの使用を終了させてください。なお，使用中となる要因に cjlisttrnfile コマンドの投入があります。コマンドが終了していることを確認してください。使用中でない場合は，ファイルの移動先のパスが，書き込みできない状態になっていないか確認してください。書き込みできない状態になっている場合は，書き込み可能な状態にしてください。

KFCB40051-I

OTS in-process mode has initialized successfully. TmInfo=aa....aa TmHash=bb....bb recoveryPort=cc....cc statusFile=dd....dd

aa....aa：OTS トランザクションマネジャの識別に使用するホスト名と実サーバ名またはクライアント名

bb....bb：上記ホスト名と実サーバ名またはクライアント名を示すハッシュ値（XID に埋め込まれる値）

cc....cc：分散トランザクション回復用ポート番号

dd....dd：使用されるステータスファイルのパス名称

[要因]

インプロセス OTS は正しく初期化されました。

KFCB40052-E

Could not create a directory for status files. path=aa....aa info1=bb....bb info2=cc....cc

aa....aa：作成しようとしたディレクトリ名称

bb....bb：保守情報 1

cc....cc：保守情報 2

[要因]

aa....aa ディレクトリの作成に失敗しました。インプロセストランザクションサービスは，正しく初期化できませんでした。

[対策]

aa....aa に示されているパスに，作成しようとしたディレクトリ名称と同じ名称の一般ファイルや特殊ファイルなどがないか確認してください。同じ名称のファイルがある場合は，異なる名称になるよう対処してください。同じ名称のファイルがない場合は，aa....aa を作成する権限があるか確認してください。権限がない場合は，aa....aa が作成できる権限を設定してください。

KFCB40053-W

Completion process of transaction was interrupted. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

トランザクションの決着処理が一時的に中断されました。

トランザクションは一時的な障害が解消され次第，整合性を保持したまま決着します。

[対策]

リソースマネジャ，サーバプロセスの状態を確認し，次の状態に陥っていないか確認してください。

- リソースマネジャの停止，またはリソースマネジャとの通信接続の切断
- リモート呼び出し先のサーバプロセスの停止，または通信接続の切断

KFCB40099-E

Message format error. id=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：出力できなかったメッセージ ID

bb....bb：保守情報

[要因]

内部エラーによって，メッセージを出力できません。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40100-E

Argument is null. arg=aa....aa method=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：不正なパラメタのオブジェクト名

bb....bb：現象が発生したメソッド名

cc....cc：保守情報

[要因]

トランザクション処理のオペレーションが発行されましたが，パラメタが不正なため，受け付けませんでした。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40101-E

Transaction service is not initialized. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

インプロセストランザクションサービスが初期化されていません。

[対策]

インプロセストランザクションサービスを正しく初期化してください。

初期化に失敗した要因がほかのメッセージで示されていますので，それを参照し，問題を解決してください。

KFCB40102-E

Failed to decode. target=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：デコードに失敗した対象

bb....bb：保守情報

[要因]

OTS に準拠したリモート呼び出し処理で，通信先プロセスがデコードできない不正な情報を生成しました。このためトランザクション伝播処理を正しく行えません。

デコードに失敗した対象（aa....aa）によって，詳細は次のとおりです。

- PropagationContext：クライアントプロセスから送付されたトランザクション伝播コンテキストが不正です。
- TaggedComponent：サーバプロセスの IOR に含まれる OTS 関連 TaggedComponent が不正です。

[対策]

通信先プロセスの動作を確認してください。

KFCB40104-W

Transaction has already been timed out. method=aa....aa tid=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：現象が発生したメソッド名

bb....bb：トランザクション ID

cc....cc：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションはすでにタイムアウトしたため，ロールバックしたか，またはロールバックすることに決定しています。

KFCB40106-E

Transaction is in completion phase already. method=aa....aa tid=bb....bb info=cc....cc

aa....aa：現象が発生したメソッド名

bb....bb：トランザクション ID

cc....cc：保守情報

[要因]

トランザクションの決着オペレーションが発行されましたが，すでに決着処理中のため受け付けませんでした。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40107-E

Argument is null. arg=aa....aa method=bb....bb tid=cc....cc info=dd....dd

aa....aa：不正なパラメタのオブジェクト名

bb....bb：現象が発生したメソッド名

cc....cc：トランザクション ID

dd....dd：保守情報

[要因]

トランザクション処理のオペレーションが発行されましたが，パラメタが不正なため受け付けませんでした。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40108-W

Transaction has begun the completion process. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

トランザクション処理のオペレーションが発行されましたが，すでに決着処理中のため受け付けませんでした。

KFCB40110-E

Subordinate branch does not have a Terminator. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

サブオーディネートブランチで，許可されていないオペレーションが発行されました。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40111-E

Transaction service is disabled. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

インプロセストランザクションサービスが停止しているか，または正しく初期化されていないため，トランザクション処理を行えません。

[対策]

トランザクションサービスが停止した要因がほかのメッセージで示されますので，それを参照して問題を取り除いてください。

問題が解決しない場合，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40113-E

Failed to initialize an OTS-internal POA. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

トランザクションリカバリで使用する固定ポート番号が使用できないか，またはそのほかの理由でインプロセストランザクションサービスの初期化に失敗しました。

[対策]

トランザクションリカバリで使用する固定ポート番号が正しく設定されているか，ejbserver.distributedtx.recovery.port プロパティの値を確認してください。

解決しない場合は，例外情報やほかのメッセージを参照し，問題を解決してください。それでも解決しない場合は，保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40114-E

The register_initial_reference method failed. name=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

[要因]

内部エラーによって，インプロセストランザクションサービスの初期化に失敗しました。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40115-E

The register_policy_factory method failed. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

内部エラーによって，インプロセストランザクションサービスの初期化に失敗しました。

[対策]

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCB40116-E

Since OTSPolicy is REQUIRES, non-transactional call cannot be made. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

サーバはトランザクショナルな呼び出しを要求しています。

[対策]

サーバに対し，トランザクショナルな呼び出しをしているか調べてください。

KFCB40117-E

Since OTSPolicy is FORBIDS, transactional call cannot be made. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

サーバはトランザクショナルではない呼び出しを要求しています。

[対策]

サーバに対し，トランザクショナルな呼び出しをしていないかどうかを調べてください。

KFCB40118-E

One-way operation is not callable in a transaction context. info=aa....aa

aa....aa：保守情報

[要因]

サーバに対するトランザクショナルな一方送信（一方受信）呼び出しはサポートしていません。

[対策]

サーバの呼び出し方法を見直してください。

KFCB40119-E

No value is specified. (option = aa....aa)

aa....aa：オプション名

[要因]

オプション名に対応する値が指定されていません。

[システムの処理]

コマンドの実行を中断します。

[対策]

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KFCB40120-E

The same options have been specified repeatedly. (option = aa....aa)

aa....aa：オプション名

[要因]

同じオプションが複数回指定されています。

[システムの処理]

コマンドの実行を中断します。

[対策]

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KFCB40121-E

The specified option is invalid. (option = aa....aa)

aa....aa：オプション名（必要なオプションを指定していない場合は空文字）

[要因]

誤ったオプションが指定されています。または，必要なオプションが指定されていません。

[システムの処理]

コマンドの実行を中断します。

[対策]

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KFCB40122-E

The specified value is invalid. (option = aa....aa, value = bb....bb)

aa....aa：オプション名

bb....bb：オプション値

[要因]

不正なオプション値が指定されています。

[システムの処理]

コマンドの実行を中断します。

［対策］

コマンドのパラメタを見直して，再度実行してください。

KFCB40123-E

Usage: cjlisttrn [servername] [-nameserver providerURL] [-gid globalTransactionId] [-pending] [-time elapsedTime] [-bqual] [-tp1]

［内容］または［意味］

cjlisttrn コマンドの使用方法です。

［対策］

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KFCB40126-E

Usage: cjlisttrnfile [servername] [-gid globalTransactionId] [-bqual]

［内容］または［意味］

cjlisttrnfile コマンドの使用方法です。

［対策］

コマンドの引数および値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KFCB40127-I

The status file was not found. path=aa....aa info=bb....bb

aa....aa：ステータスファイルのパス

bb....bb：保守情報

［要因］

ステータスファイルが見つかりません。

［対策］

aa....aa が存在するかどうか確認してください。

存在しない場合は，J2EE サーバのセットアップ後，または次のプロパティ変更後に，インプロセストランザクションサービスを利用する設定で J2EE サーバを起動したことがあるかどうか確認してください。

- ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1
- ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2

KFCB40128-E

The status file is invalid. info1=aa....aa info2=bb....bb

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

［要因］

ステータスファイルが不正です。

［対策］

正しいステータスファイルを指定しているか，次のプロパティを確認してください。

- ejbserver.distributedtx.ots.status.directory1
- ejbserver.distributedtx.ots.status.directory2

プロパティが正しい場合は，J2EE サーバが停止した状態でこのオペレーションを実行しているか確認してください（このオペレーションは，J2EE サーバ停止状態でだけ有効です）。

J2EE サーバが停止状態でない場合は，cjlisttrn コマンドを実行するか，または J2EE サーバを停止してから，このオペレーションを再実行してください。

なお，このメッセージが出力される場合は，ステータスファイル内の情報が壊れています。トランザクションの一貫性が失われるおそれがあるため，リソースマネジャでトランザクションの状態を確認してください。以後，J2EE サーバの再起動，または cjstartrecover コマンドの発行に成功すると，壊れたステータスファイルを破棄し，新規ステータスファイルが作成されます。

KFCB40129-E

Could not read a transaction information. info1=aa....aa info2=bb....bb info3=cc....cc

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

cc....cc：保守情報 3

[要因]

ステータスファイルから特定のトランザクション情報を読み出せません。

[対策]

J2EE サーバ停止状態でこのオペレーションを実行しているかどうか確認してください（このオペレーションは，J2EE サーバ停止状態でだけ有効です）。J2EE サーバ停止状態でない場合は，cjlisttrn コマンドを実行するか，または J2EE サーバを停止してから，このオペレーションを再実行してください。

なお，このメッセージが出力される場合は，ステータスファイル内のトランザクション情報が壊れています。トランザクションの一貫性が失われるおそれがあるため，リソースマネジャでトランザクションの状態を確認してください。以後，J2EE サーバの再起動，または cjstartrecover コマンドの発行に成功すると，ステータスファイルから壊れたトランザクション情報が破棄されます。

KFCB40130-E

Usage: cjcommittrn [servername] [-nameserver providerURL] -gid globalTransactionId

[内容] または [意味]

cjcommittrn コマンドの使用方法です。

[対策]

コマンドの引数に指定したオプションおよび値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KFCB40131-E

The specified global transaction ID could not be found. (global transaction ID = aa....aa)

aa....aa：グローバルトランザクション ID

[要因]

指定したグローバルトランザクション ID が存在しません。

[対策]

- 実行したコマンドが cjcommittrn コマンドまたは cjrollbacktrn コマンドの場合

Prepared 状態で滞留しているトランザクションのグローバルトランザクション ID を指定してください。

- 実行したコマンドが cjforgettrn コマンドの場合

  HeuristicCommit，HeuristicRollback，HeuristicMixed，HeuristicHazard のどれかの状態で滞留しているトランザクションのグローバルトランザクション ID を指定してください。

KFCB40132-E

The status of the specified transaction is not "Prepared". (status = aa....aa)

aa....aa：トランザクションの状態

[要因]

指定したグローバルトランザクション ID のトランザクションの状態 aa....aa が Prepared 以外です。

[対策]

Prepared 状態で滞留しているトランザクションのグローバルトランザクション ID を指定してください。

KFCB40133-E

Usage: cjrollbacktrn [servername] [-nameserver providerURL] -gid globalTransactionId

[内容] または [意味]

cjrollbacktrn コマンドの使用方法です。

[対策]

コマンドの引数に指定したオプションおよび値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KFCB40134-E

Usage: cjforgettrn [servername] [-nameserver providerURL] -gid globalTransactionId

[内容] または [意味]

cjforgettrn コマンドの使用方法です。

[対策]

コマンドの引数に指定したオプションおよび値を確認して，再度コマンドを実行してください。

KFCB40135-E

The status of the specified transaction is not "Heuristic". (status = aa....aa)

aa....aa：トランザクションの状態

[要因]

指定したグローバルトランザクション ID のトランザクションの状態 aa....aa が HeuristicCommit，HeuristicRollback，HeuristicMixed，HeuristicHazard のどれでもありません。

[対策]

HeuristicCommit，HeuristicRollback，HeuristicMixed，HeuristicHazard のどれかの状態で滞留しているトランザクションの，グローバルトランザクション ID を指定してください。

KFCB40136-W

A global transaction is taking too long to complete. (status = aa....aa, global transaction ID = bb....bb, info = cc....cc)

aa....aa：決着処理に時間が掛かっているトランザクションのステータス

bb....bb：決着処理に時間が掛かっているトランザクションのアプリケーションサーバのグローバルトランザクション ID

cc....cc：保守情報

[要因]

グローバルトランザクションの決着処理に時間が掛かっています。

OpenTP1 から伝播したトランザクションの状態が，Prepared 状態またはヒューリスティック決着状態（HeuristicHazard，HeuristicMixed，HeuristicRollback，HeuriticCommit）に遷移してから 30 秒以上経過すると，このメッセージを出力します。

bb....bb で出力されたトランザクションがアプリケーションサーバ内に残るおそれがあります。

[対策]

トランザクションの状態 aa....aa に応じて対処してください。

- **aa....aa が Prepared の場合**

  OpenTP1 のトランザクションの状態を確認し，状態に応じてアプリケーションサーバのコマンドを使用してトランザクションを決着してください。

  手順を次に示します。

1. アプリケーションサーバの cjlisttrn コマンドを実行し，アプリケーションサーバに関連づいた OpenTP1 のトランザクショングローバル識別子を確認します。このとき-gid オプションに bb....bb で出力されたグローバルトランザクション ID を指定します。

   bb....bb の値が d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000000001 の場合のコマンド実施例を次に示します。

```
> cjlisttrn MyServer -gid d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000000001 -tp1
[Global transaction information]
Status            GlobalTransactionId                                          ElapsedTime
BranchType TP1TRNGID        TP1TRNBID
----------------- ------------------------------------------------------------ -----------
---------- ---------------- -----------------
Prepared          d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000000001          30
Sub        cab9TP1S0000074f @@@@TP1S0000074f

total count:1
```

2. 1.で表示されたトランザクショングローバル識別子を持つトランザクションの状態を OpenTP1 の trnls コマンドで確認します。OpenTP1 でのコマンド実行例を次に示します。

```
> trnls -T cab9TP1S0000074f
```

3. OpenTP1 のトランザクションの状態によってトランザクションの決着方法が異なります。

- **OpenTP1 のトランザクション情報が出力されない場合**

  OpenTP1 のコマンド実施結果を次に示します。

```
> trnls -T cab9TP1S0000074f
TRNGID                TRNBID            状態                        PID    サーバ
```

  アプリケーションサーバのトランザクションを cjrollbacktrn コマンドを使用しロールバックで決着します。

  アプリケーションサーバのコマンド実行例を次に示します。

```
> cjrollbacktrn MyServer -gid d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000001
```

- OpenTP1 のトランザクションの状態が HEURISTIC_FORGETTING の場合

  OpenTP1 のコマンド実行結果を次に示します。

```
> trnls -T cab9TP1S0000074f
TRNGID                TRNBID              状態                        PID    サーバ
cab9TP1S0000074f      TP1STP1S0000074f    HEURISTIC_FORGETTING(u,n)   30446   TP1S
```

  アプリケーションサーバのトランザクションを cjcommittrn コマンドを使用しコミットで決着します。

  アプリケーションサーバのコマンド実行例を次に示します。

```
> cjcommittrn MyServer -gid d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000001
```

- OpenTP1 のトランザクションの状態が HEURISTIC_COMMIT または HEURISTIC_ROLLBACK 状態の場合

  トランザクションの状態が HEURISTIC_COMMIT の場合の OpenTP1 のコマンド実行結果を次に示します。

```
> trnls -T cab9TP1S0000074f
TRNGID                TRNBID              状態                        PID    サーバ
cab9TP1S0000074f      TP1STP1S0000074f    HEURISTIC_COMMIT(u,n)       30446   TP1S
```

  OpenTP1 に関連づいたリソースマネジャが，コミット決着またはロールバック決着したかを確認してください。リソースマネジャのトランザクションの決着種別に応じて，アプリケーションサーバが管理するトランザクションを cjcommittrn コマンドまたは cjrollbacktrn コマンドで決着してください。

  トランザクションをコミットする場合のアプリケーションサーバのコマンド実行例を次に示します。

```
> cjcommittrn MyServer -gid d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000001
```

  OpenTP1 のトランザクションの復旧は OpenTP1 の運用に従ってください。

- OpenTP1 のトランザクションの状態が上記以外の場合

  OpenTP1 はトランザクションを決着処理中です。

  しばらく時間をおき，トランザクションの状態ごとの上記の手順に従って，必要に応じてトランザクションを決着してください。

- aa....aa が HeuristicHazard，HeuristicMixed，HeuristicRollback，HeuriticCommit の場合

  アプリケーションサーバに関連づいたリソースの一貫性が保たれていないおそれがあります。次の手順に従って，アプリケーションサーバに関連づいたリソースの状態を確認し，トランザクションを強制終了してください。

1. アプリケーションサーバに関連づいたリソースで，bb....bb に出力されたグローバルトランザクション ID を持つトランザクションが，コミット決着またはロールバック決着したかを確認してください。また，トランザクションの一貫性が保たれていない場合は修復してください。
2. cjforgettrn コマンドでアプリケーションサーバのトランザクションを強制終了してください。

   bb....bb の値が d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000001 の場合のコマンド実行例を次に示します。

```
> cjforgettrn MyServer -gid d13800010000000000000000000000fefb58e6480000000000000001
```

KFCB40137-E

Completion of a global transaction failed. (status = aa....aa)

aa....aa：トランザクションの状態

[要因]

グローバルトランザクションの決着に失敗しました。

[対策]

次のどれかで問題が発生しています。問題の発生個所を調査し，問題を取り除いてください。

- リソースマネジャ
- リソースマネジャへの通信経路
- ほかの J2EE サーバ
- ほかの J2EE サーバへの通信経路

KFCB40138-E

A transaction branch has decided to complete heuristically. (status = aa....aa)

aa....aa：ヒューリスティック決着時のトランザクションの状態

[要因]

グローバルトランザクションがヒューリスティック決着されました。

- aa....aa が HeuristicHazard の場合
  各リソースマネジャのトランザクションが一貫性を保って決着したことが確認できませんでした。トランザクションの一貫性が失われているおそれがあります。
- aa....aa が HeuristicCommit の場合
  このトランザクションブランチの参加リソースすべてがヒューリスティック決着によってコミットしました。
- aa....aa が HeuristicRollback の場合
  このトランザクションブランチの参加リソースすべてがヒューリスティック決着によってロールバックしました。
- aa....aa が HeuristicMixed の場合
  一部のリソースマネジャのトランザクションがコミットし，ほかのリソースマネジャのトランザクションがロールバックしました。トランザクションの一貫性は失われました。

[対策]

アプリケーションサーバに関連づいたリソースの一貫性が保たれていないおそれがあります。次の手順に従ってアプリケーションサーバに関連づいたリソースの状態を確認し，トランザクションを強制終了してください。

1. アプリケーションサーバに関連づいたリソースで，指定したグローバルトランザクション ID を持つトランザクションが，コミット決着またはロールバック決着したかを確認してください。また，トランザクションの一貫性が保たれていない場合は修復してください。
2. cjforgettrn コマンドでアプリケーションサーバのトランザクションを強制終了してください。

KFCB40139-W

The scanning of incomplete resource transactions failed, or you do not have the proper permissions to perform a scan of incomplete transactions. (resource name = aa....aa, info = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタ名

bb....bb：保守情報

[要因]

リソースへの未決着トランザクションの走査に失敗したか，または未決着トランザクションの走査を実行するための適切な権限がありません。

対象となるリソースに接続できていないおそれがあります。

[対策]

未決着トランザクションの走査が完了すると，該当するリソースについて KFCB40140-I メッセージが出力されます。KFCB40140-I メッセージが出力された場合，対処は不要です。

該当するリソースについて KFCB40140-I メッセージが出力されていない場合は，リソースに接続できていないおそれがあります。

次の内容を確認して，問題がある場合は対処してください。

- リソースアダプタおよびリソースマネジャの設定内容が正しいか。
- リソースマネジャが起動しているか。
- ネットワーク障害が発生していないか。

KFCB40140-I

The scanning of incomplete resource transactions completed. (resource name = aa....aa, info = bb....bb)

aa....aa：リソースアダプタ名

bb....bb：保守情報

[要因]

リソースへの未決着トランザクションの走査が完了しました。

17.5　KFCB50000 から KFCB59999 までのメッセージ

KFCB50000 から KFCB59999 までのメッセージは，UAP ログ出力機能を利用してユーザアプリケーションプログラムが出力するメッセージです。

KFCB5nnnn-X

Error reason=xx...xx code=yy...yy

KFCB50000-X～KFCB59999-X まではユーザが作成するメッセージです。詳細についてはマニュアル「TPBroker ユーザーズガイド」の UAP ログの出力方式を参照してください。

17.6　KFCB32206（Java OTS が出力するメッセージ）の詳細

ここでは，「17.3　KFCB30000 から KFCB39999 までのメッセージ」に記載されているメッセージ「KFCB32206-E」（Java OTS が出力するメッセージ）の記述形式および詳細を説明します。

17.6.1　Java OTS が出力するメッセージの形式

(1)　メッセージの記述形式

ここでは，メッセージの記述形式を説明します。

メッセージ ID

メッセージテキスト

説明

[内容]

例外の意味を示します。

[システムの処理]

メッセージが出力されたあとに，システムが実行する主な処理を示します。

[対策]

メッセージ確認時の TPBroker 管理者の処置を示します。

TPBroker の場合※

[内容]

例外の意味を示します。

[システムの処理]

システムがメッセージを出力したあとにする主な処理を示します。

[対策]

メッセージ確認時の TPBroker 管理者の処置を示します。

注※

TPBroker だけに発生する例外の場合，または TPBroker 特有の情報がある例外の場合に記述しています。

(2)　例外

TPBroker は，自分自身で発生させた CORBA SystemException（org.omg.CORBA.SystemException），または CORBA 標準仕様の User Exception（org.omg.CORBA.UserException）にエラーの説明を組み込みます。ORB およびサーバ側で発生した CORBA SystemException には詳細情報が提供されません。詳細情報を得るには，次の例のようにコーディングして org.omg.CORBA.SystemException.toString()を呼び出してください。

```
try{
     current.begin();
} catch(org.omg.CORBA.SystemException e) {
     System.out.println("Exception Catch:" + e);
}
```

形式は，各 CORBA SystemException で定義されています。

例

- org.omg.CORBA.BAD_PARAM

不正なパラメタが指定されています。

(3)　メッセージの出力先

メッセージの出力先は，標準出力および標準エラー出力です。標準エラー出力には，メモリ不足など，例外を発生させられない場合にメッセージが出力されます。

17.6.2　SystemException および UserException に組み込まれるメッセージ

ここでは，SystemException および UserException に組み込まれるメッセージを出力先別に説明します。

なお，次に示す例外は，TPBroker だけに発生する例外，または TPBroker 特有の情報がある例外です。

- java.lang.IllegalArgumentException 例外
- java.lang.IllegalStateException 例外
- org.omg.CORBA.COMM_FAILURE 例外
- org.omg.CORBA.IMP_LIMIT 例外
- org.omg.CORBA.INITIALIZE 例外
- org.omg.CORBA.INVALID_TRANSACTION 例外
- org.omg.CORBA.NO_IMPLEMENT 例外
- org.omg.CORBA.NO_PERMISSION 例外
- org.omg.CORBA.OBJECT_NOT_EXIST 例外
- org.omg.CORBA.PolicyError 例外
- org.omg.CORBA.TRANSACTION_MODE 例外
- org.omg.CORBA.TRANSACTION_REQUIRED 例外
- org.omg.CORBA.TRANSACTION_ROLLEDBACK 例外
- org.omg.CORBA.TRANSACTION_UNAVAILABLE 例外
- org.omg.PortableServer.POAPackage.InvalidPolicy 例外

ここで示す Java OTS が出力するメッセージのメッセージ ID はすべて KFCB32206-E です。

(1)　java.lang.IllegalArgumentException 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：不正なパラメタ名

bb...bb：メソッド名

TPBroker の場合

[内容]

不正なパラメタが指定されました。

[システムの処理]

メソッドオペレーションを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

(2)　java.lang.IllegalStateException 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

bb...bb：メソッド名

TPBroker の場合

[内容]

このオペレーションは許可されていません。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

(3)　org.omg.CORBA.BAD_PARAM 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：不正なパラメタ名

bb...bb：メソッド名

[内容]

不正なパラメタが指定されました。

[システムの処理]

メソッドオペレーションを停止します。

[対策]

パラメタの値を調べてください。

(4)　org.omg.CORBA.COMM_FAILURE 例外

KFCB32206-E

Error reason=TransactionContextServer code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

TPBroker の場合

[内容]

トランザクションコンテキストサーバとの通信でエラーが発生しました。

[システムの処置]

オペレーションを停止します。

[対策]

トランザクションコンテキストサーバが正常に動作しているかどうかを確認してください。

(5)　org.omg.CORBA.IMP_LIMIT 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

Time Independent Invocation

Time Independent Invocation はサポートされていません。

One Way Method Invocation

トランザクションコンテキストの暗黙的プロパゲーションによる一方送信（一方受信）呼び出しはサポートされていません。

An error occurred in TCS execution environment

TPBroker 環境でエラーが発生しました。

bb...bb：メソッド名

[内容]

TPBroker でサポートしていないケースが発生しました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

サーバの呼び出し方法を見直してください。

TPBroker の場合

[内容]

実装の上限を超えました。または，サポートしていない機能を使用しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

TPBroker 環境でエラーが発生している場合は，syslog（UNIX），またはイベントログ（Windows）を参照して原因を取り除いてください。そのほかの場合は，アプリケーションプログラムの処理を見直してください。

vmcid=0x48542000 minor code=257

TPBroker の場合

[内容]

最大接続可能 CRM ブランチ数が上限を超えています。

[システムの処置]

メソッドオペレーションを停止します。

[対策]

トランザクション定義/OTS/TM max_crm_branch_count の指定値を調整し，TPBroker を再起動してください。

(6)　org.omg.CORBA.INITIALIZE 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

Already Init Class Is Loaded：すでに Init クラスがロードされています。

Already XARInit Class Is Loaded：すでに XARInit クラスがロードされています。

bb...bb：メソッド名

[内容]

OTS 起動プロパティの指定が誤っています。

[システムの処理]

アプリケーションプログラムの起動を中止します。

[対策]

適切な起動プロパティを設定してアプリケーションプログラムを起動してください。

TPBroker の場合

[内容]

OTS 起動プロパティの指定が誤っています。

[システムの処置]

アプリケーションプログラムの起動を中止します。

[対策]

TPBroker では，OTS 起動プロパティを指定できません。

(7)　org.omg.CORBA.INTERNAL 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

NO_MEMORY：メモリ不足

EXCEPTION：不正な例外の発生

INTERNAL：内部エラーの発生

bb...bb：保守情報

[内容]

内部エラーが発生しました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

理由コードが NO_MEMORY の場合，必要に応じてメモリ確保を増やしてください。解決できない場合，保守員に連絡してください。

(8)　org.omg.CORBA.INV_OBJREF 例外

KFCB32206-E

Error reason=Invalid Server's TaggedComponent code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[内容]

サーバ IOR の OTS 関連 TaggedComponent が不正です。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

サーバの処理を見直してください。

(9)　org.omg.CORBA.INVALID_TRANSACTION 例外

KFCB32206-E

Error reason=Server's OTSPolicy: FORBIDS code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[内容]

サーバはトランザクションコンテキストの暗黙的プロパゲーションをしない呼び出しを要求しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

サーバに対し，トランザクションコンテキストの暗黙的プロパゲーションをしない呼び出しをしているかどうかを調べてください。

TPBroker の場合

[内容]

サーバはトランザクショナルではない呼び出しを要求しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

トランザクショナルな呼び出しをしていないかどうかを調べてください。

(10)　org.omg.CORBA.MARSHAL 例外

KFCB32206-E

Error reason=Invalid ServiceContext code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[内容]

OTS サービスコンテキストのマーシャリングに失敗しました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

クライアントの処理を見直してください。

(11)　org.omg.CORBA.NO_IMPLEMENT 例外

KFCB32206-E

Error reason=Not Supported (Interface) code=aa...aa

aa...aa：インタフェース名

TPBroker の場合

[内容]

サポートしていないインタフェースです。

[システムの処置]

オペレーションを停止します。

[対策]

アプリケーションプログラムの処理を見直してください。

(12)　org.omg.CORBA.NO_MEMORY 例外

KFCB32206-E

Error reason=NO_MEMORY code=aa...aa

aa...aa：保守情報

[内容]

メモリ不足が発生しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

メモリサイズを増やすか，または不要なメモリ確保をしていないかどうかを見直してください。

(13)　org.omg.CORBA.NO_PERMISSION 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

trn_ctx_sv_name

トランザクションコンテキストサーバと接続したあとに，名前を指定できません。

Branch Transaction

このオペレーションはトランザクションブランチに許可されていません。

Inactive Transaction

このトランザクションは Active ではありません。

recover permission check failed

XAResource.recover を正しく発行できないリソースを使用しようとしています。

not successfully recovered yet

システム再起動後の回復処理が完了していないリソースを使用しようとしています。

Not Registrable XAResource Object

登録できない XAResource オブジェクトです。

Not Supported TCS

現在接続しているトランザクションコンテキストサーバは，サポート外です。

bb...bb：メソッド名

[内容]

このオペレーションは許可されていません。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

ユーザアプリケーションプログラムのオペレーションを調べてください。

TPBroker の場合

[内容]

このオペレーションは許可されていません。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

理由コードに応じて次に示す対策をしてください。

Inactive Transaction

トランザクションタイムアウトが発生するとトランザクションの状態が Active でなくなり，この例外が発生する場合があります。タイムアウトの設定値を見直してください。

recover permission check failed

XAResource.recover の発行に失敗している場合は，リソースの設定を見直してください。

not successfully recovered yet

システム再起動後の回復処理が完了していないリソースを使用した場合，間隔をおいて再試行してください。

Not Registrable XAResource Object

登録したい XAResource オブジェクトが指定しているリソースマネージャを確認してください。
すでに OTS に登録されている XAResource オブジェクトが指定するリソースマネージャと同じリソースマネージャを指定している場合，OTS は登録を許可しません。
XARCoordinator.registerXAResource の仕様を確認して，再度登録してください。

Not Supported TCS

現在使用しているアプリケーションサーバでバンドルされているトランザクションコンテキストサーバを使用しているか確認してください。

上記以外の理由コードの例外が発生した場合は，保守員に連絡してください。

(14)　org.omg.CORBA.OBJECT_NOT_EXIST 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

Already Transaction Is Completed

トランザクションは，すでに決着しています。

Transaction is NullTx

NullTx トランザクションです。

bb...bb：メソッド名

TPBroker の場合

[内容]

無効なトランザクションコンテキストを操作しようとしています。

[システムの処置]

オペレーションを停止します。

[対策]

無効になったトランザクションコンテキストは，それ以降ユーザプログラムでは使用しないようにしてください。

(15)　org.omg.CORBA.PolicyError 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa: bb...bb code=cc...cc

aa...aa：不正な値が設定されたポリシータイプ

OTSPolicy：OTSPolicy の値が不正です。

InvocationPolicy：InvocationPolicy の値が不正です。

NonTxTargetPolicy：NonTxTargetPolicy の値が不正です。

bb...bb：設定された値

cc...cc：メソッド名

[内容]

不正な値が設定されました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

設定した値を調べてください。

TPBroker の場合

[内容]

不正な値が設定されました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

(16)　org.omg.CORBA.TRANSACTION_MODE 例外

KFCB32206-E

Error reason=Server's InvocationPolicy: aa...aa code=bb...bb

aa...aa：InvocationPolicy の値

bb...bb：メソッド名

[内容]

サーバの呼び出し方法が InvocationPolicy の値に従っていません。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

サーバの呼び出し方法，および InvocationPolicy の値を調べてください。

TPBroker の場合

[内容]

サーバの呼び出し方法が InvocationPolicy の値に従っていません。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

InvocationPolicy の値を調べてください。

(17)　org.omg.CORBA.TRANSACTION_REQUIRED 例外

KFCB32206-E

Error reason=Server's OTSPolicy: REQUIRES code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[内容]

サーバはトランザクションコンテキストの暗黙的プロパゲーションによる呼び出しを要求しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

サーバに対し，トランザクションコンテキストの暗黙的プロパゲーションによる呼び出しをしているかどうかを調べてください。

TPBroker の場合

[内容]

サーバはトランザクショナルな呼び出しを要求しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

トランザクショナルな呼び出しをしているかどうかを調べてください。

(18)　org.omg.CORBA.TRANSACTION_ROLLEDBACK 例外

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

Already Transaction Is Timedout

トランザクションはすでにタイムアウトしています。

TransactionContextServer

処理中にトランザクションコンテキストサーバと接続できませんでした。

An error occurred in TCS execution environment

TPBroker 環境でエラーが発生しました。

bb...bb：メソッド名

[内容]

トランザクションはすでにロールバックしたか，またはロールバックすることに決定しました。

[システムの処置]

メソッドオペレーションを停止します。

[対策]

TPBroker 環境でエラーが発生している場合は，syslog（UNIX），またはイベントログ（Windows）を参照して原因を取り除いてください。

TPBroker の場合

[内容]

トランザクションはすでにロールバックしたか，またはロールバックすることに決定しました。

[システムの処置]

メソッドオペレーションを停止します。

[対策]

すでにトランザクションのロールバックが決定したトランザクションコンテキストは，それ以降ユーザプログラムでは使用しないようにしてください。

TPBroker 環境でエラーが発生している場合は，syslog（UNIX），またはイベントログ（Windows）を参照して原因を取り除いてください。

(19)　org.omg.CORBA.TRANSACTION_UNAVAILABLE 例外

KFCB32206-E

Error reason=TransactionContextServer code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[内容]

トランザクションコンテキストサーバとの通信でエラーが発生しました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

OSAgent ポートなどの実行環境が正しく設定されているかどうか，またはトランザクションコンテキストサーバが正常に動作しているかどうかを確認してください。また，ご使用の TPBroker のバージョンに適合するトランザクションコンテキストサーバを使用しているかどうかを確認してください。

TPBroker の場合

[内容]

トランザクションコンテキストサーバとの通信でエラーが発生しました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

TPBroker に設定した OSAGENT_PORT 環境変数と，J2EE サーバの vbroker.agent.port プロパティの設定が一致しているかどうかなど，実行環境が正しく設定されているかどうか，またはトランザクションコンテキストサーバが正常に動作しているかどうかを確認してください。また，ご使用の TPBroker のバージョンに適合するトランザクションコンテキストサーバを使用しているかどうかを確認してください。

(20)　org.omg.PortableServer.POAPackage.InvalidPolicy 例外

KFCB32206-E

Error reason=OTSPolicy:aa...aa, InvocationPolicy:bb...bb code=cc...cc

aa...aa：設定された OTSPolicy の値

bb...bb：設定された InvocationPolicy の値

cc...cc：メソッド名

[内容]

OTSPolicy の値と InvocationPolicy の値の組み合わせが不正です。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

OTSPolicy の値と InvocationPolicy の値の組み合わせを調べてください。

TPBroker の場合

[内容]

OTSPolicy の値と InvocationPolicy の値の組み合わせが不正です。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

KFCB32206-E

Error reason=Duplicate Policy code=aa...aa

aa...aa：メソッド名

[内容]

OTSPolicy，または InvocationPolicy を重複して設定しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

OTSPolicy，または InvocationPolicy を重複して設定していないかどうかを調べてください。

TPBroker の場合

[内容]

OTSPolicy，または InvocationPolicy を重複して設定しています。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

保守員に連絡してください。

17.7　標準エラー出力に出力されるメッセージ

ここで示す Java OTS が出力するメッセージのメッセージ ID はすべて KFCB32206-E です。

KFCB32206-E

Error reason=aa...aa code=bb...bb

aa...aa：理由コード

NO_MEMORY：メモリ不足

EXCEPTION：不正な例外の発生

INTERNAL：内部エラーの発生

bb...bb：保守情報

[内容]

エラーが発生しました。

[システムの処理]

オペレーションを停止します。

[対策]

理由コードが NO_MEMORY の場合，メモリサイズを増やすか，または不要なメモリ確保をしていないかどうかを見直してください。

解決できない場合，保守員に連絡してください。

18 KFCB（TPBroker の運用で出力されるメッセージ）

この章では，TPBroker の運用で出力される，KFCB9 で始まるメッセージおよびメッセージ ID のない次のメッセージについて説明します。

・トレース情報取得ができない場合に出力されるメッセージ

・hvmgtee コマンドのエラーメッセージ

・hdumpns コマンドのエラーメッセージ

KFCB29000 から KFCB59999 までのメッセージおよびメッセージ「KFCB32206」(Java OTS が出力するメッセージ) の詳細については,「17. KFCB（TPBroker が出力するメッセージ)」を参照してください。

18.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KFCBnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

[要因]

メッセージの出力要因

[システムの処理]

システムが実行する処理

[対策]

メッセージ確認時の TPBroker 管理者の処置

なお，「KFCBnnnnn-Y」，「可変値に関する説明」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KFCBnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KFCB

TPBroker が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

TPBroker で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

メッセージテキスト

TPBroker が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

要因

メッセージの出力要因を示します。

システムの処理

システムがメッセージを出力したあとに実行する主な処理を示します。

対策

メッセージ確認時の TPBroker 管理者の処置を示します。

メッセージ ID がある場合は，メッセージ ID の順に並んでいます。メッセージ ID がない場合は，アルファベット順に並んでいます。

18.2　KFCB91000 から KFCB91999 までのメッセージ

TPBroker の運用で出力される KFCB91000 から KFCB91999 までのメッセージについて説明します。

KFCB91000-I

Now starting Naming Service.

[要因]

ネーミングサービスを起動中です。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

なし。

KFCB91001-I

Naming Service is now online. FactoryName=aa....aa, Port=bb....bb

aa....aa：ネーミングサービス起動時に指定した名前

bb....bb：ネーミングサービスの待ち受けポート番号

vbroker.orb.htc.msgLog.security=true が指定されている場合，ポート番号は固定文字列"*****"が表示されます。

[要因]

ネーミングサービスが起動されました。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

なし。

KFCB91002-I

Naming Service stopped. FactoryName=aa....aa, Port=bb....bb

aa....aa：ネーミングサービス起動時に指定した名前

bb....bb：ネーミングサービスの待ち受けポート番号

vbroker.orb.htc.msgLog.security=true が指定されている場合，ポート番号は固定文字列"*****"が表示されます。

[要因]

ネーミングサービスユーティリティ（nsutil）の shutdown コマンドによって，ネーミングサービスが終了しました。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

なし。

KFCB91003-I

Naming Service terminated. FactoryName=aa....aa, Port=bb....bb

aa....aa：ネーミングサービス起動時に指定した名前

bb....bb：ネーミングサービスの待ち受けポート番号

vbroker.orb.htc.msgLog.security=true が指定されている場合，ポート番号は固定文字列"*****"が表示されます。

また，名前，ポート番号が取得できなかった場合，名前およびポート番号は固定文字列"*****"が表示されます。

[要因]

ネーミングサービスが終了しました。

ただし，このメッセージはネーミングサービスが強制終了された場合には出力されません。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

なし。

KFCB91004-W

A CORBA::TIMEOUT occurred. aa....aa=bb....bb, info=cc....cc

aa....aa：発生したタイムアウトの種類

RelativeConnectionTimeout，RelativeRequestTimeout，または RelativeRoundtripTimeout のどれかが出力されます。

bb....bb：設定したタイムアウト値（単位：100 ナノ秒）

cc....cc：保守情報

RelativeConnectionTimeout

プロセス間通信のコネクション接続時にタイムアウトが発生しました。

RelativeRequestTimeout

データ送信時にタイムアウトが発生しました。

RelativeRoundtripTimeout

リクエスト送信処理からリクエストの応答受信までの間にタイムアウトが発生しました。

[要因]

タイムアウトが発生しました。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

RelativeConnectionTimeout

ネットワークに問題があるため，コネクション接続に時間が掛かっている可能性があります。ネットワークの状態を見直してください。

指定したタイムアウト時間が短い場合は，
com.inprise.vbroker.QoSExt.RELATIVE_CONN_TIMEOUT_POLICY_TYPE の値を大きくしてください。

RelativeRequestTimeout

サーバ側のリソース不足，ネットワークの問題などによって，サーバにリクエストを送信できない可能性があります。サーバ側の状態，およびネットワークの状態を見直してください。

指定したタイムアウト時間が短い場合は，
org.omg.Messaging.RELATIVE_REQ_TIMEOUT_POLICY_TYPE の値を大きくしてください。

RelativeRoundtripTimeout

次の状態になっている可能性があります。

- サーバ処理に時間が掛かっている
- リソース不足などによって，サーバがリクエストを受信できない
- 再接続処理が繰り返し行われている

サーバの状態を見直してください。

また，ネットワークの問題によって，次の状態になっている可能性があります。

- サーバにリクエストが到達していない
- 再接続処理が繰り返し行われている

ネットワークの状態を見直してください。

指定したタイムアウト値が小さい場合には，
org.omg.Messaging.RELATIVE_RT_TIMEOUT_POLICY_TYPE の値を大きくしてください。

KFCB91005-W

ORB trace is unavailable due to failure to create directory. reason=aa....aa, path=bb....bb.

aa....aa：エラーコード

Windows は GetLastError()，UNIX は errno の値です。

bb....bb：パス名

作成時にエラーが発生したパス名です。

[要因]

トレース出力ディレクトリの生成に失敗しました。そのため，生成に失敗したディレクトリ下の Java ORB トレースは取得されません。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

指定されたパスの，どのディレクトリまで作成できたかを確認した上で，エラーコードからパスやアクセス権限などを見直してください。

出力ディレクトリのパスを再設定し，プロセスを再起動することをお勧めします。

問題を解決したあとプロセスを再起動しない場合には，障害発生時にトレース情報がないので，調査が困難になります。

18.3　KFCB92000 から KFCB92999 までのメッセージ

TPBroker の運用で出力される KFCB92000 から KFCB92999 までのメッセージについて説明します。

KFCB92000-I

Now starting OSAgent.

[要因]

osagent が起動しました。

[システムの処理]

処理を継続します。

[対策]

なし。

KFCB92001-I

OSAgent is now online. OSAGENT_PORT=aa....aa , OSAGENT_CLIENT_HANDLER_PORT=bb....bb

aa....aa：OSAGENT_PORT の値

bb....bb：OSAGENT_CLIENT_HANDLER_PORT の値

指定されていない場合は，それぞれのデフォルト値（14000 および 0）が表示されます。

vbroker.orb.htc.msgLog.security=true が指定されている場合は，それぞれ"*****"が表示されます。

[要因]

osagent がサービスを開始しました。

[システムの処理]

処理を継続します。

[対策]

なし。

KFCB92002-I

OSAgent terminated. SIGNAL=aa....aa

aa....aa：シグナル番号

[要因]

Windows の場合

osagent が終了しました。

UNIX の場合

osagent がシグナル aa....aa 番によって終了しました。

"SIGNAL=aa....aa"は UNIX の場合だけ出力されます。Windows では該当個所のメッセージは出力されません。

[システムの処理]

osagent プロセスを終了します。

[対策]

なし。

KFCB92003-I

OSAgent stopped.

[要因]

osagent が WM_CLOSE メッセージによって終了しました。

このメッセージは Windows で-m オプションを指定した osagent だけ出力されます。

[システムの処理]

osagent プロセスを終了します。

[対策]

なし。

KFCB92004-E

OSAgent abnormal terminated.

[要因]

osagent がエラーによって終了しました。

[システムの処理]

osagent プロセスを終了します。

[対策]

osagent に指定したパラメタ（ポート番号，引数など），環境などに問題がないか確認してください。

KFCB92005-E

Lack of the memory occurred in OSAgent.

[要因]

osagent でメモリ不足が発生しました。

[システムの処理]

osagent プロセスを終了します。

[対策]

システムで osagent を複数起動するなどして，一つの osagent プロセスに対する負荷を軽減してください。

KFCB92006-W

OSAgent detected client's going down. Host Name:[aa....aa] Process id:[bb....bb]

aa....aa：osagent と通信があったプロセスが起動されていたホスト名

bb....bb：osagent と通信があったプロセス ID

[要因]

osagent と一定期間の通信がなかったため，osagent は該当プロセスの登録情報を削除しました。

登録情報を削除する条件は次のとおりです。

- 該当プロセスが異常終了している（C++ ORB の場合，［Ctrl］＋［C］での割り込みは含まれません）。
- 該当プロセスと osagent が通信できない状態になっている。
- 該当プロセスが，ORB.shutdown（Java ORB）や ORB.destroy（Java ORB），または CORBA::ORB::shutdown（C++ ORB）や CORBA::ORB::destroy（C++ ORB）を実行しないままプロセスを終了している。

注

アプリケーションプログラムが Java ORB の場合，プロセス ID はプロセスを識別するために TPBroker が割り当てた整数値になります。

Java ORB で起動したときのプロセス ID に該当する，アプリケーションプログラムの情報は，osagent のバーボースログで確認してください。

［システムの処理］

処理を継続します。

［対策］

該当プロセスの登録情報削除が予期しない動作である場合，ネットワーク構成，該当プロセスの起動状態，および該当プロセスの処理を見直してください。

KFCB92007-W

Invalid host is specified in agentaddr. (aa....aa)

aa....aa：agentaddr ファイルに指定されているホスト

［要因］

osagent は agentaddr ファイルに指定されているホスト aa....aa を，ホストとして解決できませんでした。

［システムの処理］

処理を継続します。

［対策］

agentaddr ファイルに指定されているホストが正しいか確認して修正してください。修正を有効にするためには，osagent を再起動してください。

18.4　トレース情報取得ができない場合に出力されるメッセージ

トレース情報取得ができない場合に出力されるメッセージについて説明します。このメッセージは，C++ ORB の場合だけ，標準出力に出力されます。

ORB trace is unavailable due to failure to create directory. reason=aa....aa, path=bb....bb.

aa....aa：エラーコード

Windows は GetLastError()，UNIX は errno の値です。

bb....bb：パス名

作成時にエラーが発生したパス名です。

[要因]

トレース出力ディレクトリの生成に失敗しました。そのため，生成に失敗したディレクトリ下の C++ ORB トレースは取得されません。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

指定されたパスの，どのディレクトリまで作成できたかを確認した上で，エラーコードからパスやアクセス権限などを見直してください。

出力ディレクトリのパスを再設定し，プロセスを再起動することをお勧めします。

問題を解決したあとプロセスを再起動しない場合には，障害発生時にトレース情報がなく，調査が困難になります。

ORB trace is unavailable due to system call failure. trace=aa....aa, func=bb....bb, reason=cc....cc.

aa....aa：トレース種別

mdl：モジュールトレース

comt：通信トレース

stk：スタックトレース

hgt：バーボースログ

bb....bb：エラーが発生したシステムコール名

cc....cc：システムコールのエラーコード

[要因]

システムコールでエラーが発生したため，トレース情報を取得できません。

[システムの処理]

処理を続行します。

[対策]

エラーコードから問題を解決し，プロセスを再起動することをお勧めします。

問題を解決したあとプロセスを再起動しない場合には，障害発生時にトレース情報がなく，調査が困難になります。

18.5　hvmgtee コマンドのエラーメッセージ

hvmgtee コマンドのエラーメッセージについて説明します。このエラーメッセージは，UNIX の場合だけ出力されます。

hvmgtee コマンドでエラーが発生した場合，エラーメッセージは次のフォーマットで標準エラー出力に出力されます。

```
*** hvmgtee error ,cause=<XXX> ,errno=<XXX> ,line=<XXX> ***
```

（凡例）　XXX：任意の文字列

XXX に出力される情報を項目ごとに次に示します。

- cause
  エラーの内容（関数名など）が出力されます。この情報で要因を特定できます。詳細は表 18-1 を参照してください。
- errno
  関数のエラーが要因となる場合に，errno にセットされた値が出力されます。
- line
  エラーが発生した hvmgtee コマンドの行番号が出力されます。

cause に出力される情報でエラー要因を特定します。errno や line の情報を参考にして，要因を取り除いたあとに，hvmgtee コマンドを再起動してください。

cause に出力される情報とその要因を次の表に示します。

表 18-1　cause に出力される情報とその要因

項番	cause に出力される情報	考えられる要因
1	$VBROKER_ADM not defined	環境変数 VBROKER_ADM が指定されていません。
2	$VBROKER_ADM over length	環境変数 VBROKER_ADM に指定されたパス名が 980 バイトを超えています。
3	child process dead	hvmgtee コマンドのプロセスが，起動後に何らかの要因で終了しました。
4	dup error1	osagent の標準出力のファイルディスクリプタを FIFO へ移すのに失敗しました。
5	dup error2	osagent の標準エラー出力のファイルディスクリプタを FIFO へ移すのに失敗しました。
6	execlp error	hvmgtee コマンドの起動に失敗しました。
7	FIFO can't be opened	hvmgtee コマンドが FIFO のアクセスに失敗しました。
8	FIFO can't be opened in the time	osagent が作成した FIFO のアクセスを一定時間内に成功させることができませんでした。
9	fifo_dir opendir error	hgtfifo ディレクトリのアクセスに失敗しました。
10	fork error	hvmgtee コマンドを自動実行させるために必要な fork の処理で失敗しました。

項番	cause に出力される情報	考えられる要因
11	malloc error	hvmgtee コマンドのプロセス内で malloc 処理が失敗しました。
12	mkfifo error	hgtfifo ディレクトリの下で FIFO の作成に失敗しました。
13	output_dir can't open	hvmgtee コマンドがファイル出力するディレクトリのアクセスに失敗しました。
14	outputfile fopen error	バーボースログの出力ファイルの作成に失敗しました。
15	parents process dead	hvmgtee コマンドのプロセスを自動起動した osagent が, ログ出力前に終了しました。

18.6　hdumpns コマンドのエラーメッセージ

hdumpns コマンドのエラーメッセージについて説明します。このエラーメッセージは，TPBroker（Windows）だけで，戻り値が 0 以外の場合に出力されます。戻り値は［戻り値］に示します。

---

hdumpns error:can't communicate with specified process.

ERROR CODE = <エラーコード>

[要因]

指定されたネーミングサービスと通信できません。

[対策]

引数に指定されたプロセス ID が正しいかを確認してください。

[戻り値]

1

---

hdumpns error:can't send request.

ERROR CODE = <エラーコード>

[要因]

指定されたネーミングサービスと通信できません。

[対策]

hdumpns コマンドを再度実行してください。

負荷が高い状態では hdumpns コマンドが一時的にエラーになる場合があります。その場合，しばらくしてから hdumpns コマンドを再度実行してください。

[戻り値]

2

19 KFCT（CTM および PRF が出力するメッセージ）

この章では，CTM および PRF が出力するメッセージについて説明します。

19.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KFCTnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KFCTnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KFCT

CTM および PRF が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

CTM および PRF で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。Windows の場合，PRF が出力するメッセージは，標準エラー出力に出力されることがあります。

Q（Question）

出力したメッセージに対して，ユーザの応答を通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，ユーザの応答を待ちます。

R（Request）

出力メッセージに対するユーザからの応答を待っていることを通知するメッセージです。

メッセージテキスト

CTM および PRF が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因や CTM および PRF の動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

19.2　KFCT20000 から KFCT29999 までのメッセージ

CTM および PRF が出力する KFCT20000 から KFCT29999 までのメッセージについて説明します。

KFCT26949-E

"aa....aa(bb....bb)" failed.errno=cc....cc

aa....aa：エラーとなったシステムコール

bb....bb：内部情報（システムコール呼び出し元ファイル名）

cc....cc：システムコールの errno 値

説明

システムコールでエラーが発生しました。処理を中止します。

対処

システムコールがエラーになった要因を調査してください。

KFCT26999-W

trace data was not able to output, because the buffer area was insufficient.

説明

一時的にバッファ領域が不足しているため，トレース情報が出力されませんでした。このメッセージが出力されたあと，バッファ領域に空きができるまで，トレース情報は出力されなくなります。バッファ領域に空きができると，トレース情報は自動的に出力されるようになります。

対処

PRF トレース取得用のバッファサイズを設定されている値より大きくすることをお勧めします。バッファサイズは，cprfstart コマンドの-PrfTraceBufferSize オプションで変更します。cprfstart コマンドについては，マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編」の「cprfstart (PRF デーモンの開始)」を参照してください。

KFCT27600-I

aa....aa was assigned as current trace file. ID:bb....bb

aa....aa：割り当てたファイル名

bb....bb：PRF 識別子または CTM 識別子

説明

PRF トレースを出力するファイルまたは稼働統計情報を出力するファイルを割り当てました。処理を続行します。

19.3　KFCT70000 から KFCT79999 までのメッセージ

CTM および PRF が出力する KFCT70000 から KFCT79999 までのメッセージについて説明します。

KFCT70002-E

cannot open file : aa....aa

aa....aa：オープンできないファイル名称

説明

ファイル aa....aa がオープンできません。

コマンドの処理を中止します。

対処

aa....aa に示されるファイルが存在するかどうか，および読み込み権限があるかどうかを確認してください。

KFCT70003-E

invalid command argument.

説明

コマンド引数が間違っています。

コマンドの処理を中止します。

対処

コマンド引数を見直してください。

KFCT70004-E

TSCDIR variable undefined.

説明

環境変数「TSCDIR」が設定されていません。

コマンドの処理を中止します。

対処

環境変数「TSCDIR」を設定してください。

KFCT70322-E

not enough memory.

説明

メモリ不足が発生しました。

コマンドの処理を中止します。

対処

ほかのプログラムを終了させるなど，十分なメモリを確保して，再度実行してください。

KFCT70332-E

aa....aa failed.bb....bb.

aa....aa：失敗したコマンドの名称

bb....bb：失敗した理由（コマンドからのメッセージ）

説明

内部コマンドの実行に失敗しました。

コマンドの処理を中止します。

対処

bb....bb に示された情報を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT70450-E

the error occurred while initializing idl function. reason=aa....aa kind=bb....bb code1=cc....cc code2=dd....dd.

aa....aa：エラーの発生要因

bb....bb：プロセス種別（ctmd：CTM デーモン，または ctmregltd：CTM レギュレータ）

cc....cc： 保守情報 1

dd....dd： 保守情報 2

説明

デーモンプロセスの初期化中にエラーが発生しました。

プログラムの開始処理を中断します。

対処

aa....aa に示されるエラーの発生要因に従って対処し，再度実行してください。aa....aa に示されるエラーの発生要因と対処を次の表に示します。

表 19-1　KFCT70450-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
BAD_ENVIRONMENT	環境変数の取得に失敗しました。	環境変数「CTMSPOOL」および環境変数「CTMDIR」が設定されているかどうかを見直してください。
FILE_ACCESS	ファイルアクセスに失敗しました。	CTMSPOOL ディレクトリが存在するかどうか，アクセス権があるかどうか，また，ディスクに十分な空き領域があるかどうかを見直してください。
NO_MEMORY	メモリ不足が発生しました。	不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。
LOCK_ERROR	排他制御に失敗しました。	メモリが不足している場合は，不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。 それ以外の場合は，保守員に連絡してください。
ACTIVATE	受信機能の活性化に失敗しました。	reason（aa....aa），kind（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）

エラーの要因	説明	対処
ACTIVATE	受信機能の活性化に失敗しました。	の内容を取得して，保守員に連絡してください。
PORT_ALREADY_USED	EJB リクエスト受信ポート番号の重複を検知しました。	EJB リクエスト受信ポート番号がすでに使用済みの可能性があります。 -CTMEjbPort オプションで調節できます。
INTERNAL	内部矛盾が発生しました。	reason（aa....aa），kind（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
UNKNOWN	要因の特定できないエラーが発生しました。	reason（aa....aa），kind（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
OTHER	そのほかのエラーが発生しました。	reason（aa....aa），kind（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70451-E

the error occurred while communicating with J2EE Server. exception=aa....aa detail=bb....bb code1=cc....cc code2=dd....dd.

aa....aa：発生した CORBA 例外の名称

bb....bb：発生した CORBA 例外のマイナーコード／発生した CORBA 例外の完了ステータス

取得できなかった場合には" - "が表示されます。

cc....cc：保守情報 1

dd....dd：保守情報 2

説明

J2EE サーバとの通信でエラーが発生しました。

デーモンプロセスの処理を続行します。

対処

このメッセージの exception（aa....aa），detail（bb....bb）の内容を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT70452-E

the error occurred while processing aa....aa message. reason=bb....bb code1=cc....cc code2=dd.....dd.

aa....aa：電文種別（request：J2EE サーバへのリクエスト電文，または reply：J2EE サーバからのリプライ電文）

bb....bb：エラーの発生要因

cc....cc： 保守情報 1

dd....dd： 保守情報 2

説明

リクエストまたはリプライ電文の処理中にエラーが発生しました。

デーモンプロセスの処理を続行します。

対処

bb....bb に示されるエラーの発生要因に従って対処し，再度実行してください。bb....bb に示されるエラーの発生要因と対処を次の表に示します。

表 19–2　KFCT70452-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
NO_MEMORY	メモリ不足が発生しました。	不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。
NOT_SUPPORT_VER	未サポートのバージョンの GIOP 電文を受信しました。	ユーザアプリケーションの前提製品，およびアプリケーションサーバについて，適切なバージョンのものを使用してください。
INTERNAL	内部矛盾が発生しました。	aa....aa，reason（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
UNKNOWN	要因の特定できないエラーが発生しました。	aa....aa，reason（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
OTHER	そのほかのエラーが発生しました。	aa....aa，reason（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70453-E

the error occurred while processing aa....aa message. exception=bb....bb detail=cc....cc reason=dd....dd code1=ee....ee code2=ff....ff.

aa....aa：電文種別（request：J2EE サーバへのリクエスト電文，または reply：J2EE サーバからのリプライ電文）

bb....bb：スローする CORBA 例外の名称

cc....cc：スローする CORBA 例外のマイナーコードまたはスローする CORBA 例外の完了ステータス

dd....dd：エラーの発生要因

ee....ee：保守情報 1

ff....ff：保守情報 2

説明

リクエストまたはリプライ電文の処理中にエラーが発生したため，CORBA システム例外をスローします。

デーモンプロセスの処理を続行します。

対処

dd....dd に示されるエラーの発生要因に従って対処し，再度実行してください。dd....dd に示されるエラーの発生要因と対処を次の表に示します。

表 19-3　KFCT70453-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
NO_MEMORY	メモリ不足が発生しました。	不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。
NOT_SUPPORT_VER	未サポートのバージョンの GIOP 電文を受信しました。	ユーザアプリケーションの前提製品，およびアプリケーションサーバについて，適切なバージョンのものを使用してください。
INTERNAL	内部矛盾が発生しました。	aa....aa，exception（bb....bb），detail（cc....cc），reason（dd....dd），code1（ee....ee），code2（ff....ff）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
UNKNOWN	要因の特定できないエラーが発生しました。	aa....aa，exception（bb....bb），detail（cc....cc），reason（dd....dd），code1（ee....ee），code2（ff....ff）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
OTHER	そのほかのエラーが発生しました。	aa....aa，exception（bb....bb），detail（cc....cc），reason（dd....dd），code1（ee....ee），code2（ff....ff）の内容を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70457-E

the error occurred while getting aa....aa reference. reason=bb....bb code1=cc....cc code2=dd....dd.

aa....aa：EJB 参照種別（Home interface：ホームインタフェースの参照，または EJB object：EJB オブジェクトの参照）

bb....bb：エラーの発生要因

cc....cc：保守情報 1

dd....dd：保守情報 2

説明

ホームインタフェースの参照，または EJB オブジェクトの参照の取得処理中にエラーが発生しました。

デーモンプロセスの処理を続行します。

対処

bb....bb に示されるエラーの発生要因に従って対処し，再度実行してください。bb....bb に示されるエラーの発生要因と対処を次の表に示します。

表 19-4　KFCT70457-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
NO_MEMORY	メモリ不足が発生しました。	不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。
NOT_SUPPORT_VER	未サポートのバージョンの GIOP 電文を受信しました。	ユーザアプリケーションの前提製品，およびアプリケーションサーバについて，適切なバージョンのものを使用してください。
INTERNAL	内部矛盾が発生しました。	aa....aa，reason（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
UNKNOWN	要因の特定できないエラーが発生しました。	aa....aa，reason（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
OTHER	そのほかのエラーが発生しました。	aa....aa，reason（bb....bb），code1（cc....cc），code2（dd....dd）の内容を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70458-E

the error occurred while propagating information of remote exception. reason=aa....aa code1=bb....bb code2=cc....cc.

aa....aa： エラーの発生要因

bb....bb： 保守情報 1

cc....cc： 保守情報 2

説明

J2EE サーバ内でスローされた例外の詳細情報を EJB クライアントに通知できません。

デーモンプロセスの処理を続行します。

対処

aa....aa に示されるエラーの発生要因に従って対処し，再度実行してください。aa....aa に示されるエラーの発生要因と対処を次の表に示します。

表 19-5　KFCT70458-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
NO_MEMORY	メモリ不足が発生しました。	不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。
LOCK_ERROR	排他制御に失敗しました。	メモリが不足している場合は，不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。 それ以外の場合は，reason（aa....aa），code1（bb....bb），code2

エラーの要因	説明	対処
LOCK_ERROR	排他制御に失敗しました。	（cc....cc）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
INTERNAL,INVALID_PARAM	内部矛盾が発生しました。	reason（aa....aa），code1（bb....bb），code2（cc....cc）の内容を取得して，保守員に連絡してください。
OTHER, INVALID_STATUS, -	そのほかのエラーが発生しました。	reason（aa....aa），code1（bb....bb），code2（cc....cc）の内容を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70459-E

the timeout occurred while communicating with J2EE Server. time=aa....aa detail=bb....bb code1=cc....cc code2=dd....dd.

aa....aa：タイムアウト時間（秒）

bb....bb：発生した CORBA 例外のマイナーコード／発生した CORBA 例外の完了ステータス

cc....cc：保守情報 1

dd....dd：保守情報 2

説明

J2EE サーバとの通信でタイムアウトが発生しました。

デーモンプロセスの処理を続行します。

対処

このメッセージの time（aa....aa）の内容を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT70460-E

command argument is invalid. option=aa....aa value=bb....bb code=cc....cc.

aa....aa：不正なオプションの名称

bb....bb：不正なオプションの引数

cc....cc：保守情報

説明

オプションが不正です。デーモンの処理を中断します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70470-I

usage: ctmjava2idl [-h] | [-g] [-o output-file] [-c class-path] class-file.

説明

ctmjava2idl コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70471-I

usage: ctmidl2cpp [-h] | [-TSCclient_ext ext-string] [-TSChdr_suffix hdr-suffix] [-TSCsrc_suffix src-suffix] [-client_ext ext-string] [-hdr_suffix hdr-suffix] [-src_suffix src-suffix] [-TSCroot_dir directory] [-TSCsrc_dir directory] [-TSChdr_dir directory] [-root_dir directory] [-TSCexport tag-string] [-export tag-string] [-type_code_info] [-namespace] [-gen_included_files] [[-I directory[;directory...]]...] [-A] idlfile

説明

ctmidl2cpp コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70472-I

usage: ctmidl2j [-h] | [-package package_name][-TSCroot_dir directory][-root_dir directory] [-gen_included_files][[-I directory[;directory...]]...][-A] idlfile

説明

ctmidl2j コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70473-E

usage: the internal error occurred. reason=aa....aa code=bb....bb.

aa....aa：処理名称

bb....bb：エラーコード

説明

内部呼び出し処理でエラーが発生した場合に出力します。コマンドをエラー終了します。

対処

次の内容を確認してください。

- IDL 定義ファイルの内容
- 環境変数の指定

IDL 定義ファイルおよび環境変数に問題がない場合は，保守員に連絡してください。

KFCT70474-E

usage: unsupported version. code=aa....aa.

aa....aa：取得した OTM のバージョン

説明

利用されている OTM のバージョンが不正な場合に出力します。コマンドをエラー終了します。

対処

環境変数「TSCDIR」に設定されている環境を見直してください。

KFCT70500-I

now starting ctmdmd.

説明

CTM ドメインマネジャを開始中です。

CTM ドメインマネジャの開始処理を続行します。

KFCT70501-E

cannot start ctmdmd because another ctmdmd with the same domain name is operating. domain name = aa....aa

aa....aa：CTM ドメイン名

説明

同じ CTM ドメイン名の CTM ドメインマネジャが動作中のため，開始できません。

CTM ドメインマネジャの開始処理を中断します。

対処

動作中の CTM ドメインマネジャの終了を待って，再度開始してください。または，CTM ドメイン名を変更して，再度開始してください。

KFCT70502-I

ctmdmd is now online.

説明

CTM ドメインマネジャ開始が完了しました。

CTM ドメインマネジャの処理を続行します。

KFCT70503-I

now terminating ctmdmd. terminate type=aa....aa

aa....aa：終了形態（NORMAL STOP：正常終了，または FORCE STOP：強制正常終了）

説明

CTM ドメインマネジャを終了中です。

CTM ドメインマネジャの処理を続行します。

KFCT70504-I

ctmdmd stop.

説明

CTM ドメインマネジャが終了しました。

KFCT70505-I

now starting ctmd.

説明

CTM デーモンを開始中です。

CTM デーモンの処理を続行します。

KFCT70506-E

cannot start ctmd because another ctmd with the same CTMID is operating in the same domain. CTMID=aa....aa

aa....aa：CTM 識別子

説明

同じ CTM 識別子の CTM デーモンが動作中のため，開始できません。

CTM デーモンの開始処理を中断します。

対処

動作中の CTM デーモンの終了を待って再度開始してください。または，CTM 識別子を変更して再度開始してください。

KFCT70507-E

the combination of domain name and CTMSPOOL directory is invalid.

説明

CTM ドメイン名と CTMSPOOL の組み合わせが誤っています。

CTM ドメインマネジャおよび CTM デーモンの開始処理を中断します。

対処

CTM ドメイン名と CTMSPOOL の組み合わせで, 次に当てはまるものがないかどうかを調べてください。

- 指定された CTMSPOOL がすでにほかの CTM ドメイン名を持つ CTM ドメインマネジャに使用されている。
- 指定された CTM ドメイン名を持つ CTM ドメインマネジャが別の CTMSPOOL を使用してすでに動作している。

上記の組み合わせで当てはまるものがある場合は，正しい組み合わせを指定し直して，再度開始してください。ただし，CTM ドメインマネジャ開始時に環境を調べて，該当する CTMSPOOL ディレクトリが未使用の場合で，新しい組み合わせで動作させたいときは，ctmdminfo コマンドで CTM ドメイン情報を削除してから再度 CTM ドメインマネジャを開始してください。

KFCT70508-W

CTMSPOOL directory is not specified. $CTMDIR/spool suppose to $CTMSPOOL.

説明

環境変数「CTMSPOOL」が設定されていません。

$CTMDIR/spool（UNIX の場合）または%CTMDIR%¥spool（Windows の場合）ディレクトリを，$CTMSPOOL（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%（Windows の場合）と仮定して処理を続行します。

KFCT70509-E

cannot start aa....aa because of improper operational environment. reason code=bb....bb

aa....aa：CTM デーモン（ctmd：CTM デーモン，または ctmdmd：CTM ドメインマネジャ）

bb....bb：開始できない要因

説明

動作環境が不正なため，デーモンプロセスを開始できません。

デーモン開始処理を中断します。

対処

bb....bb に示される要因を確認して，対処してください。

bb....bb には，次の要因が示されます。

MEMORY

OS の実メモリサイズ，スワップメモリサイズが十分あるか調べてください。

ENV_CTMDIR

環境変数「CTMDIR」を設定してください。または，CTMDIR ディレクトリがアクセスできるか調べてください。

ENV_CTMSPOOL

CTMSPOOL ディレクトリがアクセスできるか調べてください。

KFCT70510-I

ctmd is now online.

説明

CTM デーモン開始が完了し，オンライン業務を開始できます。

CTM デーモンの処理を続行します。

KFCT70511-I

now terminating ctmd. terminate type=aa....aa

aa....aa：終了形態（NORMAL STOP：正常終了，または FORCE STOP：強制終了）

説明

CTM デーモンを終了中です。

CTM デーモンの処理を続行します。

KFCT70512-I

ctmd stop.

説明

CTM デーモンが終了しました。

KFCT70513-E

command argument is invalid. option=aa....aa

aa....aa：誤りがあるオプション名

説明

コマンド引数の指定に誤りがあります。

コマンドをエラー終了します。

対処

次の内容を確認してください。

- 指定したオプションに誤りがないかどうか。
- 省略できないオプションを省略していないかどうか。
- 指定したオプションがほかのオプションと同時に指定できるかどうか。

誤りがあった指定オプションを修正し，正しい組み合わせでオプションを指定したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70514-I

usage:ctmstart [-h] [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid]

[-CTMPort port_no] [-CTMEjbPort port_no] [-CTMMyHost host_name]

[-CTMEntryCount count] [-CTMNice nice] [-CTMRegStart count]

[-CTMRegOption file] [-CTMEnviron file] [-CTMStartTimeOut time]

[-CTMTSCGwStart count] [-CTMTSCGwOption file]

-CTMINSRef host_name:port_number [-CTMDCSendTimeOut time]

[-CTMClientConnectCount count] [-CTMServerConnectCount count]

[-CTMLogFileSize file_size] [-CTMLogFileCount file_count]

[-PRFID cprfid] [-CTMQueueCount count] [-CTMQueueRegistCount count]

[-CTMServerCacheSize size] [-CTMDispatchPolicy normalDispatch | priorDispatch]

[-CTMDispatchParallelCount count] [-CTMMaxRequestCount count]

[-CTMQueueDeleteWait time] [-CTMWatchQueue percent,percent,interval,mode]

[-CTMCreatePolicy normalDispatch | priorDispatch]

[-CTMWatchRequest count,interval] [-CTMLoadCheckInterval interval]

[-CTMStatsUse Y|N] [-CTMStatsFileCount file_count] [-CTMStatsFileSize file_size]

説明

ctmstart コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合, または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70515-I

usage:ctmstop [-h] [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid][-CTMMyHost host_name] [-CTMForce [-CTMDebugInfo]]

説明

ctmstop コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70516-I

usage:ctmdmstart [-h] [-CTMDomain domain_name] [-CTMMaxCTM ctmd_cnt] [-CTMPort port_no] [-CTMMyHost host_name] [-CTMForceStart | -CTMAutoForce] [-CTMSendInterval value] [-CTMSubnetMask value] [-CTMSendHost host_name] [-CTMSendHostInterval value][-CTMAliveCheckCount value]

説明

ctmdmstart コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70517-I

usage:ctmdmstop [-h] [-CTMDomain domain_name] [-CTMMyHost host_name] [-CTMForce [-CTMDebugInfo]]

説明

ctmdmstop コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70518-E

the number of processes (EJBRegulator and J2EE server) is over connection count

説明

接続プロセス数が，コネクション数を超えました。

登録処理は中断し，CTM デーモンは処理を続行します。

対処

接続プロセス数が，-CTMEntryCount オプションで指定した値を超えていないかどうかを調べてください。

KFCT70520-E

internal error occurred. err_code=aa....aa-bb....bb exception=cc....cc

aa....aa：要因コード 1

bb....bb：要因コード 2

cc....cc：例外情報

説明

内部処理で例外を受け取りました。

デーモンの処理を中断します。

対処

要因コード（aa....aa，bb....bb）および例外情報（cc....cc）を取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70522-E

the number of ctmd processes is over connection count.

説明

CTM デーモンの登録数がコネクション数を超えました。

登録処理は中断し，CTM デーモンは処理を続行します。

対処

接続プロセス数がコネクション数を超えていないかどうかを調べてください。

KFCT70523-E

cannot access shared memory.

説明

共用メモリへのアクセスでエラーが発生しました。

デーモンの処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **共用メモリが作成されているかどうか**

  デーモンが開始されていることを確認して，再度コマンドを実行してください。

- **共用メモリサイズが取得できる最大サイズを超えていないかどうか**

  メモリを増やしてください。または，取得するサイズを変更してください。

- **-CTMDomain オプションに指定された CTM ドメイン名と CTMSPOOL との関係に誤りがないかどうか**

  -CTMDomain オプションに適切な値を指定してください。

KFCT70524-E

CTMDIR directory is not specified.

説明

環境変数「CTMDIR」が指定されていません。

デーモンの処理を中断します。

対処

環境変数を確認してください。

KFCT70525-E

too many files are open in this process.

説明

プロセス内でオープンできるファイルの数が最大値を超えました。

デーモンの場合はエラーメッセージを出力して処理を継続します。コマンドの場合は処理を中断します。

対処

プロセス内でオープンできるファイルの最大値を確認してください。

KFCT70526-E

internal error occurred. err_code=aa....aa-bb....bb

aa....aa：要因コード 1

bb....bb：要因コード 2

説明

内部処理エラーが発生しました。

デーモンの処理を中断します。

対処

要因コード（aa....aa，bb....bb）を取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70527-E

cannot find ctmd with specified CTMID in this domain. CTMID=aa....aa.

aa....aa：CTM 識別子

説明

指定された CTM 識別子を持つ CTM デーモンが見つかりません。

デーモンの処理を中断します。

対処

指定された CTM 識別子を持つ CTM デーモンが開始されているかどうかを確認してください。

このメッセージは CTM デーモンがある場合も出力されることがあります。この場合，オプションの指定が誤っているか, または CTM デーモンへの通信ができない状態になっていることが考えられます。-CTMDomain オプションおよび-CTMID オプションが正しいかどうかを確認してください。

それ以外の場合には"ctmstop -TMForce -CTMDebugInfo"を実行して CTM デーモンを強制終了してください。

KFCT70528-E

cannot find ctmdmd with specified domain name. domain name = aa....aa.

aa....aa：CTM ドメイン名

説明

指定された CTM ドメイン名を持つ CTM ドメインマネジャが見つかりません。

CTM ドメインマネジャでこのメッセージを出力した場合は，デーモンの処理を続行します。それ以外の場合はコマンドまたはデーモンの処理を中断します。

このメッセージは, CTM ドメインマネジャがある場合も出力することがあります。この場合, オプションの指定が誤っているか，または CTM ドメインマネジャへの通信ができない状態になっていることが考えられます。

対処

指定された CTM ドメイン名を持つ CTM ドメインマネジャが開始されているかどうかを確認してください。

このメッセージが出力されたプロセスによって次のとおり対処してください。

ctmdmstop コマンドの場合

-CTMDomain オプションが正しいかどうかを確認してください。それ以外の場合には "ctmdmstop -CTMForce -CTMDebugInfo"を実行して CTM ドメインマネジャを強制終了してください。

ctmstart コマンドの場合

-CTMDomain オプションが正しいかどうかを確認してください。それ以外の場合には "ctmdmstop -CTMForce -CTMDebugInfo"を実行して CTM ドメインマネジャを強制終了し，資料採取したあと，CTM ドメインマネジャを再度開始してください。そのあと，CTM デーモンを再度開始してください。

KFCT70529-E

the specified CTMPort number may be repeated.

説明

デーモンの処理を中断します。

-CTMPort オプションに指定したポート番号は，すでに使用されている可能性があります。

対処

ポート番号を変更して，再度デーモンを開始してください。

KFCT70530-E

the initialization of domain manager is failed. error_code1=aa....aa error_code2=bb....bb.

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

説明

CTM ドメインマネジャの初期化処理に失敗しました。

デーモンの処理を中断します。

-CTMPort オプションで指定したポート番号が，ほかのプロセスですでに使用されているなどの可能性があります。

対処

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージを参照して，対処してください。エラーメッセージから対処方法がわからない場合は，error_code1（aa....aa）と error_code2（bb....bb）の値を取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70531-E

cannot start sending UDP.

説明

CTM ドメインマネジャが，UDP の送信開始に失敗しました。

デーモンの処理を中断します。

対処

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージを参照して，対処してください。

KFCT70532-E

the initialization of ctmd is failed. error_code1=aa....aa error_code2=bb....bb.

説明

CTM デーモンが初期化処理に失敗しました。

デーモンの処理を中断します。

対処

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージを参照して，対処してください。エラーメッセージから対処方法がわからない場合は，error_code1（aa....aa）と error_code2（bb....bb）の値を取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70533-I

CTMDIR directory=aa....aa

CTM version=bb....bb

CTMSPOOL directory=cc....cc

CTMDomain=dd....dd

CTMPort=ee....ee

aa....aa：CTMDIR ディレクトリ

bb....bb：バージョン

cc....cc：CTMSPOOL ディレクトリ

dd....dd：CTM ドメイン名

ee....ee：CTMPort 指定値

説明

開始中の CTM ドメインマネジャに関する情報を出力します。

CTM ドメインマネジャ開始処理を続行します。

KFCT70534-I

CTMDIR directory=aa....aa

CTM version=bb....bb

CTMSPOOL directory=cc....cc

CTMDomain=dd....dd

CTMID=ee....ee

CTMPort=ff....ff

aa....aa：CTMDIR ディレクトリ

bb....bb：バージョン

cc....cc：CTMSPOOL ディレクトリ

dd....dd：CTM ドメイン名

ee....ee：CTM 識別子

ff....ff：CTMPort 指定値

説明

開始中の CTM デーモンに関する情報を出力します。

CTM デーモン開始処理を続行します。

KFCT70535-I

ctmdmd determined start type. start type=aa....aa.

aa....aa：開始形態（NORMAL START：正常開始，FORCE START：強制正常開始，または AUTO FORCE START：自動強制開始）

説明

CTM ドメインマネジャの開始形態を決定しました。

CTM ドメインマネジャの処理を続行します。

KFCT70536-E

too many files are open in this system.

説明

システム内でオープンできるファイルの数が最大値を超えました。

デーモンの場合は，エラーメッセージを出力して処理を継続します。

コマンドの場合は，処理を中断します。

対処

システム内でオープンできるファイルの最大値を確認してください。

KFCT70537-E

cannot get system resources. resource_code = aa....aa resource_value = bb....bb.

aa....aa：リソース名（RLIMIT_NOFILE：ファイルディスクリプタ）

bb....bb：確保しようとしている値

説明

システムのリソース取得処理が失敗しました。

デーモンの処理を中断します。

対処

システム内のリソースの最大値と，確保しようとしているリソースの値を確認してください。

KFCT70538-E

ctmd with specified CTMID is on the other host.

説明

指定された CTM 識別子を持つ CTM デーモンは，別のホストで開始されています。

デーモンの処理を中断します。

対処

指定された CTM 識別子を持つ CTM デーモンが，同じホストで開始されているかどうかを確認してください。

KFCT70539-I

now starting ctmregltd.

説明

CTM レギュレータが開始中です。

CTM レギュレータの開始処理を続行します。

KFCT70540-I

usage:ctmregltd [-h] [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid]

[-CTMEjbPort port_no] [-CTMMyHost host_name] [-CTMTimeOut time]

[-CTMAgent 0|1] [-PRFID cprfid] [-CTMClientConnectCount count]

説明

CTM レギュレータの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70542-I

ctmregltd is now online.

説明

CTM レギュレータ開始が完了し，オンライン業務を開始できます。

CTM レギュレータの処理を続行します。

KFCT70543-E

the error occurred while accessing domain manager information file.

説明

CTMSPOOL 情報ファイルへのアクセスでエラーが起きました。

コマンドおよびデーモンの処理を中断します。

対処

次の内容を確認してください。

- CTMSPOOL 情報ファイルに対するロックの取得に失敗した可能性があります。このメッセージを出力したコマンドまたはデーモンと同時刻に，10 秒間以上実行中であるコマンド，および 10 秒間以上開始処理中であるデーモンが存在しないかどうかを確認してください。
- CTMSPOOL 情報ファイルが存在しない可能性があります。インストール後，CTM ドメインマネジャを一度も起動していないかどうかを確認してください。
- このメッセージの前に出力されているメッセージがないかどうかを確認してください。

上記を確認したあと，次のとおり対処してください。

- 実行中のコマンドおよび開始処理中のデーモンが存在しない状態で，再度コマンド，またはデーモンを開始してください。
- CTM ドメインマネジャを開始してください。このメッセージの前に出力されているメッセージを参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT70544-E

input number is invalid.

説明

ctmdminfo コマンドの入力番号が不正です。

コマンドの処理を中断します。

対処

正しい番号を入力してください。

KFCT70545-I

now terminating ctmregltd

説明

CTM レギュレータが終了中です。

CTM レギュレータの処理を続行します。

KFCT70546-I

ctmregltd stop

説明

CTM レギュレータが終了しました。

KFCT70547-W

ctmdmd is restarted, so -CTMMaxCTM value is ignored. now -CTMMaxCTM value is aa....aa

aa....aa：今回の開始で使用される-CTMMaxCTM オプションの値

説明

CTM ドメインマネジャを再開始します。

この場合-CTMMaxCTM オプションに指定された値は無視され，前回の開始時に使用された-CTMMaxCTM オプションの値が使用されます。

CTM ドメインマネジャの処理を続行します。

対処

-CTMMaxCTM オプションに指定された値を有効にする場合は，-CTMForceStart オプションを指定して，再度 ctmdmstart コマンドを実行してください。

KFCT70548-E

cannot stop aa....aa. reason code=bb....bb.

aa....aa：デーモン

bb....bb：終了できない要因

説明

デーモンが終了できません。

デーモン終了処理を中断します。

対処

デーモンの動作状況を確認したあと，デーモンが終了していない場合は，再度終了してください。

デーモンの動作状況を確認する際は，bb....bb に示される要因について確認して，対処してください。bb....bb に示されるエラーの要因と対処を次の表に示します。

表 19-6　KFCT70548-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
SHARED_MEMORY	共用メモリが参照できません。	デーモンが動作中かどうか，環境変数「CTMSPOOL」下のファイルが削除されていないかどうかを調べてください。
STATUS	デーモンは開始中または終了中です。	デーモンが開始中または終了中でないかどうかを調べてください。
DAEMON_STARTING	デーモンは開始中です。	デーモンが開始中でないかどうかを調べてください。デーモンの開始処理完了後，再度終了処理を実行してください。
DAEMON_TERMINATING	デーモンは終了中です。	デーモンが終了中でないかどうかを調べてください。
PRC_STARTING	登録プロセスが開始中です。CTM デーモン終了時にだけ出力されます。	登録プロセスが開始中でないかどうかを調べてください。登録プロセスの開始処理完了後，再度終了処理を実行してください。
PRC_TERMINATING	登録プロセスが終了中です。CTM デーモン終了時にだけ出力されます。	登録プロセスが終了中でないかどうかを調べてください。登録プロセスの終了処理完了後，再度終了処理を実行してください。
MAYBE_DOWN	終了中のデーモンが強制終了または異常終了した可能性があります。	aa....aa が ctmdmd の場合は，CTM ドメインマネジャの次回開始時に強制開始してください。
SYSTEM_CALL	デーモン終了中にコマンドがシステムコールエラーを検知しました。	デーモンが正常終了しているかどうか確認してください。異常終了して

エラーの要因	説明	対処
SYSTEM_CALL	デーモンは正常終了している可能性があります。	いる場合は，メッセージを参照してエラーの要因を取り除いてください。

KFCT70549-I

there is no domain information.

説明

自ホストには CTM ドメイン，および$CTMSPOOL 情報（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%情報（Windows 場合）が登録されていません。

ctmdminfo コマンドの処理を終了します。

KFCT70550-E

cannot delete domain information, because now ctmdmd is running.

説明

指定された CTM ドメイン名を持つ CTM ドメインマネジャが動作中のため，CTM ドメインおよび CTMSPOOL 情報は削除できません。

ctmdminfo コマンドの処理を終了します。

対処

CTM ドメインマネジャの動作状況を確認したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70551-E

the error occurred while terminating process. name=aa....aa reason=bb....bb.

aa....aa：実行形式ファイル名

該当するプロセスが Java アプリケーションの場合は"-"を出力します。

bb....bb：エラーの発生要因

説明

CTM デーモン登録プロセスの終了中にエラーが発生しました。

該当する CTM デーモン登録プロセスの終了処理を中断します。

対処

エラーが発生したプロセスの実行形式ファイル名および要因を確認してください。bb....bb に示されるエラーの発生要因と対処は，次のとおりです。

TIMEOUT

時間内に CTM デーモン登録プロセスの終了が完了しません。

登録プロセスの終了処理に時間が掛かっています。必要に応じて ctmstopprc コマンドで強制終了してください。

MAYBE_DOWN

CTM デーモン登録プロセスに対して終了要求が実行できませんでした。

登録プロセスが異常終了した可能性があります。登録プロセスが異常終了していないかどうかを認してください。異常終了している場合は，例外などを参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT70552-I

usage:ctmdminfo [-h] [-d]

説明

ctmdminfo コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70553-E

the initialization of ctmregltd is failed. error_code1=aa....aa error_code2=bb....bb.

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

説明

CTM レギュレータの初期化処理で失敗しました。

デーモンの処理を中断します。

対処

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージを参照して，対処してください。エラーメッセージから対処方法がわからない場合は，error_code1 と error_code2 の値を取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70554-E

cannot stop ctmdmd, because ctmd is now running.

説明

登録済みの CTM デーモンが開始中のため，CTM ドメインマネジャを終了できませんでした。

コマンドの処理を中断します。

対処

登録済みの CTM デーモンの動作状況を確認したあと，CTM デーモンを終了してから再度コマンドを実行してください。

KFCT70556-E

cannot entry this process, because of status.

説明

登録先の CTM デーモンが開始中または終了中であるため，登録処理ができませんでした。

デーモンの処理を中断します。

対処

登録先の CTM デーモンが開始中のときは，オンラインになってから実行してください。終了中のときは，再度 CTM デーモンを開始してから実行してください。

KFCT70558-E

cannot get shared memory, because its size is too large. size = aa....aa.

aa....aa：取得しようとした共用メモリサイズ

説明

取得しようとした共用メモリサイズ（aa....aa）が，システムによって決められた最大値を超えています。

デーモンの処理を中断します。

対処

共用メモリサイズ算出式によって，取得する共用メモリサイズを調整するか，またはシステムの最大値を変更してください。

KFCT70559-E

the error occurred while starting ctmd. process terminated.

説明

CTM デーモン開始中にエラーが発生しました。

コマンドの処理を中断します。

対処

このメッセージの前にほかのメッセージが出力されている場合，出力されているメッセージを参照して，対処してください。ほかのメッセージが出力されていない場合は，CTM デーモンが異常終了している可能性があります。環境変数「CTMSPOOL」下のファイルを取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70560-E

the error occurred while starting ctmdmd. process terminated.

説明

CTM ドメインマネジャ開始中にエラーが発生しました。

コマンドの処理を中断します。

対処

このメッセージの前にほかのメッセージが出力されている場合，出力されているメッセージを参照して，対処してください。ほかのメッセージが出力されていない場合は，CTM ドメインマネジャが異常終了している可能性があります。環境変数「CTMSPOOL」下のファイルを取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70561-E

memory allocation failed.

説明

メモリの取得に失敗しました。

デーモンおよびコマンドの処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT70566-W

an error occurred during the starting of aa....aa. pid=bb....bb

aa....aa：プロセス名

bb....bb：開始失敗プロセスのプロセス ID

説明

システムプロセス（bb....bb）の自動開始，または再開始に失敗しました。

CTM デーモン開始時は，CTM デーモンの処理を終了します。システムプロセス再開始時は，CTM デーモンの処理を続行します。

対処

指定された CTM レギュレータのコマンドオプションファイルが正しいかどうかを確認して，正しく指定してから，再度 CTM デーモンを開始してください。

KFCT70567-W

an error occurred during the accessing of the option file for aa....aa.pid=bb....bb

aa....aa：プロセス名

bb....bb：開始失敗プロセスのプロセス ID

説明

システムプロセス（bb....bb）のコマンドオプションファイルのアクセスで，エラーが発生しました。

CTM デーモン開始時は，CTM デーモンの処理を終了します。システムプロセス再開始時は，CTM デーモンの処理を続行します。

対処

CTM デーモン開始時は，指定された CTM レギュレータのコマンドオプションファイルが正しいかどうかを確認して，再度 CTM デーモンを開始してください。CTM デーモン開始済みの場合は，環境変数「CTMSPOOL」下のファイルが削除されていないかどうかを確認してください。

KFCT70568-W

the specified option for aa....aa is invalid. pid=bb....bb

aa....aa：プロセス名

bb....bb：開始失敗プロセスのプロセス ID

説明

システムプロセス（bb....bb）のコマンドオプションファイルの記述内容が不正です。

CTM デーモン開始時は，CTM デーモンの処理を終了します。システムプロセス再開始時は，CTM デーモンの処理を続行します。

対処

CTM デーモン開始時の場合は，次の内容を確認して，再度 CTM デーモンを開始してください。

- CTM レギュレータのコマンドオプションファイルの記述内容が正しいかどうか

  コマンドオプションファイル内で使用できる文字は，英数字，空白，ハイフン（-），ピリオド（.），およびスラント（/）です。

- 指定したコマンドオプションファイル名が正しいかどうか

システムプロセス再開始時の場合は，システム管理者に連絡してください。

KFCT70569-I

restart the system process. name=aa....aa.

aa....aa：プロセスの実行形式ファイル名

説明

異常終了したシステムプロセスを再度開始します。

KFCT70570-E

cannot restart system process. name=aa....aa.

aa....aa：プロセスの実行形式ファイル名

説明

システムプロセスの再開始に失敗しました。

CTM デーモンの処理を続行します。

対処

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージなどを参照して，エラーの要因を取り除いたあと，必要に応じてシステムプロセスを再度開始してください。エラーメッセージが何も出力されていない場合は，システム管理者に連絡してください。

また，システムプロセスを直接開始で再開始した場合は，システムプロセスが異常終了しても再開始されません。システムプロセスが異常終了した場合に再開始させたいときは，CTM デーモンを終了してから再開始してください。

KFCT70571-I

usage:ctmrasget { [-h] | [-p] [-s] [-CTMSpool spool_directory | -CTMDomain domain_name] [-PRFSpool spool_directory] dest_directory }

説明

ctmrasget コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70572-I

Cosminexus Component Transaction Monitor: RAS completed collection of aa....aa

aa....aa：収集する情報，メッセージなど

説明

ctmrasget コマンドの情報，およびメッセージを出力します。

KFCT70573-E

cannot create the process. process_name=aa....aa.

aa....aa：プロセス名（ctmd：CTM デーモン，ctmdmd：CTM ドメインマネジャ，または ctmregltd：CTM レギュレータ）

説明

プロセスの生成に失敗しました。

各デーモンの開始処理を終了します。

対処

次の内容を確認するか，または時間をおいて再度開始してください。

- システムファイルリソースが不足していないかどうか。
- 子プロセスの生成に失敗していないかどうか。
- メモリが不足していないかどうか。

KFCT70574-I

usage:ctmgetpid [-h] | -CTMDomain domain_name [-CTMID ctmid] [-CTMMyHost host_name]

説明

ctmgetpid コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70575-E

the error occurred while getting process ID.

説明

プロセス ID 取得時にエラーが発生しました。

コマンドの処理を終了します。

対処

取得対象の CTM デーモン，および CTM ドメインマネジャが開始されているかどうか，または環境変数「CTMSPOOL」下のファイルが削除されていないかどうかを確認してください。

KFCT70589-E

the error occurred in lock control for shared memory access.

説明

共用メモリアクセス時のロック取得，または解放でエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **メモリが不足していないかどうか**

  不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。

- **CTMSPOOL ディレクトリ下のファイルを削除したり，アクセス権を変更したりしていないかどうか**

  CTM デーモンおよび CTM ドメインマネジャを強制終了したあと，再度開始してください。

KFCT70593-I

the entry of process is completed. process_kind=aa....aa prc_id=bb....bb pid=cc....cc.

aa....aa：プロセス種別（Reg：CTM レギュレータ，または J2ee：J2EE サーバ）

bb....bb：アプリケーション識別子

J2EE サーバ，および CTM レギュレータの場合は，"-"を出力します。

cc....cc：開始プロセスのプロセス ID

説明

開始プロセス（aa....aa）の CTM デーモンへの登録処理が完了しました。

プロセスの開始処理を続行します。

KFCT70594-I

the process is ready for request. process_kind=aa....aa prc_id=bb....bb pid=cc....cc.

aa....aa：プロセス種別（Reg：CTM レギュレータ）

bb....bb：アプリケーション識別子

CTM レギュレータの場合は，"-"を出力します。

cc....cc：開始プロセスのプロセス ID

説明

CTM デーモン登録プロセスが要求待ち状態になりました。

プロセスの開始処理を続行します。

KFCT70596-I

the release of process is completed. process_kind=aa....aa prc_id=bb....bb pid=cc....cc.

aa....aa：プロセス種別（Reg：CTM レギュレータ，または J2ee：J2EE サーバ）

bb....bb：アプリケーション識別子

J2EE サーバ，および CTM レギュレータの場合は，"-"を出力します。

cc....cc：終了処理を完了したプロセスのプロセス ID

説明

CTM デーモン登録プロセスの終了処理が完了しました。

登録プロセスの処理を続行します。

KFCT70601-E

execution of process is failed. name=aa....aa reason=bb....bb.

aa....aa：実行形式ファイル名

bb....bb：エラーの発生要因

説明

開始プロセスの実行に失敗しました。

プロセスの開始処理を中断します。

エラー発生要因は，動作環境で提供されているシステムコール execvp(2)の errno 値を示しています。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージ「KFCT75500-E」，または各動作環境に応じたエラーの発生要因を参照して対処してください。なお，Windows を使用する場合，このメッセージは出力されません。

KFCT70603-W

shared memory is invalid. initialize shared memory. reason=aa....aa. kind=bb....bb.

aa....aa：エラーの発生要因

bb....bb：共用メモリ種別（ctmd：CTM デーモン用共用メモリ，または ctmdmd：CTM ドメインマネジャ用共用メモリ）

説明

共用メモリが不正です。新規に共用メモリを作成します。デーモンの開始処理を続行します。

aa....aa には，次の内容を示します。

INVALID_VERSION

共用メモリのバージョンが不正です。

CRITICAL_NG

共用メモリ内の管理情報が壊れています。

KFCT70604-E

shared memory is invalid. process terminated. reason=aa....aa. kind=bb....bb.

aa....aa：エラーの発生要因

bb....bb：共用メモリ種別（ctmd：CTM デーモン用共用メモリ，または ctmdmd：CTM ドメインマネジャ用共用メモリ）

説明

参照しようとした共用メモリが不正です。

コマンドまたはデーモンの処理を終了します。

対処

aa....aa に示されるエラーの発生要因ごとに，次の内容を確認して，対処してください。

INVALID_VERSION の場合

1. 現在開始されている CTM ドメインマネジャおよび CTM デーモンのバージョンが，このメッセージを出力したプロセスのバージョンと異なっていないかどうか。
2. CTM ドメインマネジャおよび CTM デーモンは開始されていないが，前回どちらかのデーモンが異常終了，または強制終了したときに，前回の共用メモリが残っていないかどうか。
3. CTM ドメインマネジャの再開始時に，前回の共用メモリを参照してその際にバージョン不一致が検出されていないかどうか。

1.および 2.の場合は，このメッセージを出力したプロセスと，作成されている共用メモリのバージョンが異なるため，共用メモリが使用できません。共用メモリを使用する場合は，このメッセージを出力したプロセスと同じバージョンの CTM ドメインマネジャおよび CTM デーモンを再度開始してください。

3.の場合は，使用しようとしている共用メモリが再利用できません。ctmdmstart コマンドに-CTMForceStart オプションまたは-CTMAutoForce オプションを指定して，CTM ドメインマネジャを開始してください。

CRITICAL_NG の場合

CTM デーモンまたは CTM ドメインマネジャが，異常終了または強制終了しているときは，使用しようとしている共用メモリが再利用できません。ctmdmstart コマンドに-CTMForceStart オプションまたは-CTMAutoForce オプションを指定して，CTM ドメインマネジャを開始してください。

KFCT70606-I

the creation of process is succeeded. prc_id=aa....aa program_name=bb....bb pid=cc....cc dir_id=dd....dd.

aa....aa：プロセス識別子

プロセス識別子を持たない場合は"-"を出力します。

bb....bb：実行形式ファイル名

cc....cc：生成したプロセスのプロセス ID

dd....dd：カレントディレクトリ ID

ディレクトリ ID を持たない場合は"-"を出力します。

説明

プロセス生成に成功しました。

CTM デーモン登録プロセスの開始処理を続行します。

KFCT70607-E

the error occurred while accessing environment definition file. CTMEnviron=aa....aa

aa....aa：ユーザ環境変数定義ファイル名

説明

ユーザ環境変数定義ファイルへのアクセスでエラーが発生しました。

コマンドの処理を終了します。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージ「KFCT75500-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT70608-E

the definition of environment is invalid. CTMEnviron=aa....aa line=bb....bb.

aa....aa：ユーザ環境変数定義ファイル名

bb....bb：解析エラーとなった行番号

説明

ユーザ環境変数定義ファイルの記述内容に誤りがあります。

継続符号（¥）によって一つの定義が複数行に記述されている場合は，エラーとなった定義の最初の行を示す行番号を出力します。

コマンドの処理を終了します。

対処

ユーザ環境変数定義ファイルの記述で，次の内容を確認してください。

- イコール（=）の記述が抜けている行がないかどうか。

- 行の先頭または最後にイコール（=）の行がないかどうか。
- 先頭が"CTM"または"ctm"で始まる環境変数名がないかどうか。
- 空白またはタブだけの行がないかどうか。

誤りがあった場合は，ユーザ環境変数定義ファイルの記述内容を修正してください。

KFCT70611-W

load library failed. library=aa....aa reason=bb....bb.

aa....aa：ロードに失敗したライブラリ名

bb....bb：ロードの失敗要因

説明

ライブラリ（aa....aa）のロードに失敗しました。

処理を続行します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，bb....bb に示されるロードの失敗要因を参照して，対処してください。bb....bb に示されるロードの失敗要因と対処を次に示します。

unsatisfied

ライブラリのシンボルが解決できません。

ライブラリ格納ディレクトリを指定する環境変数に誤りがあるか，または不正なバージョンの TPBroker を使用している可能性があります。ライブラリ格納ディレクトリを指定する環境変数を修正するか，もしくは正しいバージョンの TPBroker をインストールしたあと，再度実行してください。または，cpp.library.version の指定値を見直してください。

security

ライブラリのロードが許可されていません。

保守員に連絡してください。

init

ライブラリの初期化に失敗しました。

保守員に連絡してください。

KFCT70612-E

the fatal error occurred. so process is aborted. reason=aa....aa.

aa....aa：エラーの発生要因

説明

致命的なエラーが発生しました。

実行中のプロセスを中断します。

aa....aa には，次の内容を示します。

SHM_LOCK_ERROR

共用メモリのロック制御に失敗しました。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- メモリが不足していないかどうか

不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。

- **CTMSPOOL ディレクトリ下のファイルを削除したり，アクセス権の変更をしたりしていないかどうか**

  CTM ドメインマネジャおよび CTM デーモンを強制終了したあと，再度開始してください。

KFCT70613-E

system process may be down. name=aa....aa pid=bb....bb end_status=cc....cc.

aa....aa：プロセスの実行形式ファイル名

bb....bb：異常終了を検出したプロセスのプロセス ID

cc....cc：終了状態

説明

システムプロセスの異常終了を検出しました。

cc....cc の終了状態には，次の内容を表示します。

表示される終了状態

- CTM デーモン開始時に自動開始されたシステムプロセスの場合

  CTM デーモンがオンライン中のときは，プロセスの終了状態を表示します。CTM デーモンが開始中または終了（強制終了を含む）中のときは，"*"を表示します。

- 上記以外のシステムプロセスの場合

  "-"を表示します。

異常終了したプロセスが CTM デーモン開始時に自動開始するシステムプロセスであった場合は，再度，開始処理を実行します。それ以外の場合は，CTM デーモンの処理を続行します。

対処

このメッセージのあとに，メッセージ「KFCT70569-I」が出力されているかどうかを確認してください。

メッセージ「KFCT70569-I」が出力されている場合は，該当するシステムプロセスは，再度開始されています。出力されていない場合は，このメッセージの前に出力されているエラーメッセージなどを参照して，エラーの要因を取り除いてから，必要に応じて再度開始してください。

該当するシステムプロセスが再度開始されていなく，またエラーメッセージが何も出力されていない場合は，システム管理者に連絡してください。

KFCT70634-E

timeout occurred.

説明

ctmstart コマンドの実行時に，-CTMStartTimeOut オプションで指定したタイムアウト時間が経過しても，CTM デーモンの開始処理が終了しませんでした。

コマンドの処理を中断します。

対処

コマンド実行時の-CTMStartTimeOut オプションの指定値を見直してください。

タイムアウト値の指定を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70641-W

cannot terminate ctmd, because shared memory has been broken. error_code=aa....aa.

aa....aa：保守情報

説明

CTM ドメインマネジャが強制終了または異常終了したため，共用メモリの管理情報の一部が壊れました。

前回管理していた CTM デーモンを強制終了できません。CTM ドメインマネジャの開始処理を続行します。

対処

CTM ドメインマネジャ開始コマンドに指定した CTM ドメイン内に，前回開始した CTM デーモンがないかどうかを確認してください。

ctmdmstart コマンドで指定した CTM ドメイン内に，前回開始した CTM デーモンが見つかった場合，その CTM デーモンを直接終了させてください。

KFCT70643-I

ctmdmd determined restart mode. mode= aa....aa.

aa....aa：前回のシステム状態の引き継ぎ状況

説明

CTM ドメインマネジャの自動強制開始時に，前回のシステム状態を引き継いで開始したのか，またはシステム状態を引き継げないため初期状態で開始したのかを示します。CTM ドメインマネジャの開始処理を続行します。

aa....aa には，次の内容を表示します。

REUSE

管理情報を引き継げたので，前回終了前のシステム状態を復元して開始します。

INITIALIZE

管理情報を引き継げなかったので，初期状態で開始します。

KFCT70648-I

now starting ctmtscgwd.

説明

OTM ゲートウェイが開始中です。

OTM ゲートウェイの開始処理を続行します。

KFCT70649-I

usage:ctmtscgwd [-h] [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid] [-CTMMyHost host_name] [-CTMPort port_no] [-CTMTPool] [-CTMClientConnectCount count]

説明

OTM ゲートウェイの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT70650-I

ctmtscgwd is now online.

説明

OTM ゲートウェイの開始が完了し，オンライン業務を開始できます。

OTM ゲートウェイの処理を続行します。

KFCT70651-I

now terminating ctmtscgwd.

説明

OTM ゲートウェイを終了中です。

OTM ゲートウェイの処理を続行します。

KFCT70652-I

ctmtscgwd stop.

説明

OTM ゲートウェイが終了しました。

KFCT70653-E

the initialization of ctmtscgwd is failed. error_code1=aa....aa error_code2=bb....bb.

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

説明

OTM ゲートウェイの初期化処理で失敗しました。

OTM ゲートウェイの処理を中断します。

対処

このメッセージの前に出力されているエラーメッセージを参照して対処してください。エラーメッセージから対処方法がわからない場合は，error_code1（aa....aa）と error_code2（bb....bb）の値を取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT70700-I

now initializing CTM for J2EE server.

説明

J2EE サーバ内の CTM 機能を初期化します。

CTM 機能の初期化処理を続行します。

KFCT70701-I

the initialization of CTM is completed.

説明

J2EE サーバ内の CTM 機能の初期化が完了しました。

処理を続行します。

KFCT70702-E

the initialization of CTM is failed.

説明

J2EE サーバ内の CTM 機能の初期化に失敗しました。

J2EE サーバの起動処理は続行されますが，CTM 機能は使用できません。

対処

直前のメッセージに従って対処してから，再度 J2EE サーバを起動してください。

KFCT70703-I

now finalizing CTM for J2EE server.

説明

J2EE サーバ内の CTM 機能を終了します。

CTM 機能の終了処理を続行します。

KFCT70704-I

the finalization of CTM is completed.

説明

J2EE サーバ内の CTM 機能の終了処理が完了しました。

処理を続行します。

KFCT70705-E

the finalization of CTM is failed.

説明

J2EE サーバ内の CTM 機能の終了処理に失敗しました。

J2EE サーバの終了処理を続行します。

対処

次回，J2EE サーバを起動する前に，直前のメッセージに応じた対処をしてください。

KFCT70706-E

the property is invalid. property. name=aa....aa inter=bb....bb.

aa....aa：不正なプロパティ名

bb....bb：保守情報

説明

プロパティ（aa....aa）が不正です。

対処

プロパティの定義を見直し，再度 J2EE サーバを起動してください。

KFCT70710-E

the error occurred while initializing CTM for J2EE server. kind=aa....aa detail=bb....bb inter=cc....cc.

aa....aa：エラーの種別

bb....bb：保守情報 1

cc....cc：保守情報 2

説明

J2EE サーバ内の CTM 機能の初期化中にエラーが発生しました。

CTM 機能は使用できません。

対処

aa....aa に示されるエラーの種別に従って対処して，再度 J2EE サーバを起動してください。aa....aa に示されるエラーの種別と対処を次の表に示します。

表 19-7　KFCT70710-E に示されるエラーの種別一覧

エラーの種別	説明	対処
LOAD_LIBRARY	ライブラリの読み込みに失敗しました。	ライブラリパス環境変数が正しく設定されているかどうかを見直してください。
ENVIRON	環境変数の取得に失敗しました。	環境変数「CTMDIR」，および環境変数「CTMSPOOL」が正しく設定されているかどうかを見直してください。
COMMUNICATION	通信処理でエラーが発生しました。	TPBroker の環境およびプロパティが正しく設定されているかどうかを見直してください。
SH_MEM	共用メモリのアクセスに失敗しました。	環境変数「CTMDIR」，および環境変数「CTMSPOOL」が正しく設定されているかどうかを見直してください。 また，CTMSPOOL ディレクトリが存在しているかどうか，CTMSPOOL 下のファイルやディレクトリを削除，または変更したり，権限を変更したりしていないかどうかを見直してください。
MEMORY	メモリが不足しています。	不要なプロセスを停止させてください。
その他	内部処理でエラーが発生しました。	kind（aa....aa），detail（bb....bb）および inter（cc....cc）を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70711-E

the error occurred while finalizing CTM for J2EE server. kind=aa....aa detail=bb....bb inter=cc....cc.

aa....aa：エラーの種別

bb....bb：保守情報 1

cc....cc：保守情報 2

説明

J2EE 内の CTM 機能の終了処理中にエラーが発生しました。

CTM の終了処理は中断しますが，J2EE サーバの停止処理は続行します。

対処

aa....aa に示されるエラーの種別に従って対処し，再度 J2EE サーバを起動してください。aa....aa に示されるエラーの種別と対処を次に示します。

NOT_INITIALIZED

CTM の初期化が完了していません。CTM の初期化処理中にエラーが発生していないかどうかを確認してください。

初期化処理中にエラーが発生していた場合は，そのエラーを取り除いてください。

上記以外の場合

内部処理でエラーが発生しました。

kind（aa....aa），detail（bb....bb）および inter（cc....cc）を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70712-E

Performance trace is unavailable due to failure of initialization. (reason=aa....aa)

aa....aa：理由コード

説明

初期化に失敗したため PRF トレースは使用できません。

CTM 機能は使用できません。

対処

aa....aa に示される理由コードに従って対処して，再度 J2EE サーバを起動してください。aa....aa に示される理由コードと対処を次の表に示します。

表 19–8　KFCT70712-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
-1	環境変数「PRFSPOOL」が設定されていません。	環境変数「PRFSPOOL」が設定されているかどうかを確認してください。
-2	プロセスでの PRF トレースサービスの開始処理でエラーが発生しました。	PRF デーモンが起動していない可能性があります。 PRF デーモンが起動されているかどうかを確認してください。
-3	プロセスでの PRF トレースサービスの開始処理でエラーが発生しました（システムコールのエラーなど）。	<環境変数 PRFSPOOL の設定ディレクトリ>¥log¥<PRF 識別子>（Windows の場合）または$PRFSPOOL/log/<PRF 識別子>（UNIX の場合）の下にあるログファイルを参照してください。 Performance Tracer のメッセージを調べて要因を確認して，対処してください。

KFCT70713-E

cannot entry J2EE server. reason=aa....aa detail=bb....bb.

aa....aa：理由

bb....bb：保守情報

説明

J2EE プロセスを登録できませんでした。

J2EE サーバの登録処理を中断します。

対処

aa....aa に示される理由に従って対処して，再度 J2EE サーバを起動してください。aa....aa に示される理由と対処を次の表に示します。

表 19–9　KFCT70713-E に示される理由一覧

理由	説明	対処
STARTING	CTM デーモンが開始中です。	CTM デーモンがオンラインの状態で J2EE サーバを起動してください。
STOPPING	CTM デーモンが停止中です。	CTM デーモンがオンラインの状態で J2EE サーバを起動してください。
OVER	CTM デーモンに登録できるプロセス数を超えています。	ctmstart コマンドの-CTMEntryCount を適正な値にして，CTM デーモンを再起動し，再度 J2EE サーバを起動してください。
HOST	CTM デーモンと異なるホストです。	同一マシン上で CTM デーモンが起動しているかどうか，ctmstart コマンドの-CTMMyHost オプション，および J2EE サーバの ejbserver.ctm.CTMMyHost プロパティに誤りがないかどうかを見直してください。
SYSTEM	共用メモリ操作，または排他制御に失敗しました。	CTMSPOOL 下のファイルやディレクトリを削除，または変更したり，権限を変更したりしていないかどうかを見直してください。
MEMORY	メモリが不足しています。	不要なプロセスを停止してください。
その他	内部処理でエラーが発生しています。	reason（aa....aa）および detail（bb....bb）を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70714-E

cannot clear J2EE server. reason=aa....aa detail=bb....bb.

aa....aa：理由

bb....bb：保守情報

説明

J2EE サーバの登録削除に失敗しました。

J2EE サーバの登録削除処理を中断します。また，このメッセージを出力した場合，CTM デーモンを正常に停止できないことがあります。

対処

aa....aa に示される理由に従って対処して，再度 J2EE サーバを起動してください。aa....aa に示される理由と対処を次の表に示します。

表 19–10　KFCT70714-E に示される理由一覧

理由	説明	対処
STARTING	CTM デーモンが開始中です。	CTM デーモンがオンラインの状態で J2EE サーバを停止してください。
STOPPING	CTM デーモンが停止中です。	CTM デーモンがオンラインの状態で J2EE サーバを停止してください。
MEMORY	メモリが不足しています。	不要なプロセスを停止してください。
その他	内部処理でエラーが発生しています。	reason（aa....aa）および detail（bb....bb）を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT70715-E

cannot find ctmd. domain=aa....aa ctmid=bb....bb.

aa....aa：対象となる CTM デーモンの CTM ドメイン名

bb....bb：対象となる CTM デーモンの CTMID

説明

CTM デーモンが見つかりません。

J2EE サーバの CTM 機能の初期化，または終了処理を中断します。

対処

エラーが発生した状況に応じて，対処してください。

J2EE サーバ開始時の場合

次の内容を確認して，対処してください。

- CTM デーモンが起動しているかどうか。
- osagent が起動しているかどうか。
- 環境変数「OSAGENT_PORT」が正しいかどうか。
- J2EE サーバの CTM に対するプロパティ（ejbserver.ctm.CTMDomain, ejbserver.ctm.CTMID，ejbserver.ctm.CTMMyHost）が正しいかどうか。

J2EE サーバ停止時の場合

次の内容を確認して，対処してください。

- CTM デーモンを強制停止していないかどうか。
- CTM デーモンが異常終了していないかどうか。

KFCT70716-E

J2EE server may be down. name=aa....aa pid=bb....bb.

aa....aa：終了を検出した J2EE サーバのサーバ名

bb....bb：終了を検出した J2EE サーバのプロセス ID

説明

J2EE サーバの終了を検出しました。

登録済みの J2EE サーバが正常に停止しなかった場合に，このメッセージを出力します。CTM デーモンがオンライン中の場合は CTM デーモンの処理を続行します。

対処

出力されたサーバ名，およびプロセス ID を持つ J2EE サーバが異常終了していないかどうかを確認してください。

異常終了している場合は，その要因を調査して，エラーの要因を取り除いてから，再度開始してください。

KFCT71000-E

memory allocation error. size : aa....aa

aa....aa：確保領域サイズ

説明

メモリの取得に失敗しました。

処理を続行します。

対処

システム管理者に連絡してください。

不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71001-E

can't start thread. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

スレッドを開始できません。

処理を続行します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **-CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションの指定値が不正でないかどうか**

  -CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションに適切な値を指定してください。

- **メモリが不足していないかどうか**

  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71003-W

option error:aa....aa

aa....aa：オプション名

説明

オプションの取得に失敗しました。

デフォルト値を設定して処理を続行します。

KFCT71004-E

invalid option value:aa....aa

aa....aa：オプション名

説明

オプションの指定値が不正です。

対処

オプションの指定値を確認してください。

KFCT71005-W

failed in initializing communication module. reason code : aa....aa

aa....aa：初期化に失敗した要因コード

説明

通信モジュールの初期化に失敗しました。

処理を続行します。

aa....aa には，次の要因コードが表示されます。

表 19–11　KFCT71005-W に示されるエラーの要因コード一覧

要因コード	エラーの要因
1	メモリ不足が発生しました。
2	CORBA の例外を受けました。
3	予期しない例外を受けました。
4	ロックエリアの初期化に失敗しました。
5	ロックの確保に失敗しました。
6	ロックの解放に失敗しました。
7	通信データが不正です。
8	処理できない通信データを受け取りました。
9	予期しないエラーが発生しました。

KFCT71051-W

communication manager not found. communication manager name : aa....aa host name :bb....bb maintenance code1 : cc....cc code2 : dd....dd

aa....aa：通信管理オブジェクト名

bb....bb：ホスト名

通信管理オブジェクトの検索を特定のホストに実行していない場合は，"********"を表示します。

cc....cc：保守コード

dd....dd：保守コード

説明

通信管理オブジェクトが見つかりません。

処理を続行しますが，接続の確立ができません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- osagent が異常終了していないかどうか

osagent を再度開始してください。

- **osagent の負荷が掛かり過ぎていないかどうか**
  不要なプロセスを終了してください。
- **環境変数「OSAGENT_PORT」，環境変数「OSAGENT_ADDR」，環境変数「OSAGENT_ADDR_FILE」，および ORB オプションに誤りがないかどうか**
  正しい環境変数「OSAGENT_PORT」，環境変数「OSAGENT_ADDR」，環境変数「OSAGENT_ADDR_FILE」，および ORB オプションを指定してください。
- **CTM デーモンまたは CTM ドメインマネジャが異常終了していないかどうか**
  CTM デーモンまたは CTM ドメインマネジャを再度開始してください。
- **指定した CTMID および CTM ドメイン名に誤りがないかどうか**
  正しい CTMID および CTM ドメイン名を指定してください。

対処しても，引き続きこのメッセージが出力される場合は，osfind コマンドを実行して，その結果を保守員に連絡してください。

KFCT71052-W

convert an object reference to string/convert string to an object reference error for CORBA object. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

CORBA オブジェクトの文字列化または復元に失敗しました。
処理を続行しますが，通信できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **-CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションの指定値が不正でないかどうか**
  -CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションに適切な値を指定してください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。
- **ネットワークインタフェースが異常終了していないかどうか**
  ネットワークインタフェースの設定を通信可能状態にしてください。
- **オブジェクトがあるプロセス（CTM デーモンまたは CTM ドメインマネジャ）が異常終了していないかどうか**
  CTM の規定に従い，プロセスを再度開始してください。
- **オブジェクトがあるプロセスが，異なるポート番号で再開始していないかどうか**
  プロセスに-CTMPort オプションを指定してください。

KFCT71053-E

failed in initializing communication module. maintenance code1 : aa....aa code2 : bb....bb

aa....aa：保守コード 1
bb....bb：保守コード 2

説明

通信モジュールの初期化処理に失敗しました。

処理を続行します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，メモリを増やしてください。
- **-CTMPort オプションの指定値がほかのプロセスで使用されていないかどうか**
  -CTMPort オプションの指定値をほかのプロセスで使用していない値に変更してください。

KFCT71100-W

request of communication manager timeout. communication manager name : aa....aa timeout : bb....bb

aa....aa：通信管理オブジェクト名

bb....bb：タイムアウト値

説明

通信管理オブジェクトの呼び出しが，タイムアウトしました。

処理を続行します。

対処

次の内容を確認してください。

- 通信管理オブジェクトがあるプロセスの負荷が掛かり過ぎていないかどうか。
- 接続が物理的に切断されていないかどうか。

KFCT71101-W

can't register communication object : aa....aa,bb....bb

aa....aa：通信管理オブジェクト名

bb....bb：通信オブジェクト名

説明

通信オブジェクトを登録できません。

処理を続行しますが，その通信オブジェクトへのメッセージを送信できません。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71102-W

can't register communication object : aa....aa

aa....aa：通信管理オブジェクト名

説明

通信オブジェクトを登録できません。

処理を続行しますが，その通信オブジェクトへのメッセージを送信できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **登録する通信オブジェクトが多過ぎないかどうか**
  一つの CTM デーモンに接続する J2EE サーバ数を減らしてください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71103-W

communication object not registered : aa....aa,bb....bb

aa....aa：通信管理オブジェクト名

bb....bb：通信オブジェクト名

説明

通信オブジェクトが登録されていません。

処理を続行しますが，その通信オブジェクトへのメッセージを送信できません。

対処

通信オブジェクトの登録に失敗していないか，メッセージ「KFCT71101-W」またはメッセージ「KFCT71102-W」を確認して，対処してください。

KFCT71150-W

cannot open a new connection for a thread. maintenance code1 : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

接続の確立に失敗しました。

処理を続行しますが，リクエストを送信できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **-CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションの指定値が不正でないかどうか**
  -CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションに適切な値を指定してください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。
- **ネットワークインタフェースが異常終了していないかどうか**
  ネットワークインタフェースの設定を通信可能状態にしてください。

KFCT71151-W

static connection request timeout. timeout : aa....aa

aa....aa：タイムアウト値

説明

リクエストがタイムアウトしました。

処理を続行します。

対処

次の内容を確認してください。

- 送信先プロセスの負荷が掛かり過ぎていないかどうか。
- リクエストの処理に時間を要していないかどうか。

KFCT71152-W

static connection request failure. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

リクエストの処理に失敗しました。

処理を続行しますが，リクエストの処理結果を取得できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **プロセスが異常終了していないかどうか**

  CTM の規定に従って，プロセスを再度開始してください。
- **-CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションの指定値が不正でないかどうか**

  -CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションに適切な値を指定してください。

KFCT71153-W

cannot narrow an object reference to a sub-type. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

オブジェクトの変換に失敗しました。

処理を続行しますが，リクエストを送信できません。

対処

プロセスが異常終了していないかどうかを確認してください。確認したあとは，CTM の規定に従って，プロセスを再度開始してください。

KFCT71200-W

dynamic connection request failure. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

リクエストの処理に失敗しました。

処理を続行しますが，リクエストの処理結果を取得できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **プロセスが異常終了していないかどうか**

CTM の規定に従って，プロセスを再度開始してください。

- **-CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションの指定値が不正でないかどうか**

  -CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションに適切な値を指定してください。

KFCT71201-W

cannot open a new connection for inter-ctmd. maintenance code1 : aa....aa code2 : bb....bb

aa....aa：保守コード 1

bb....bb：保守コード 2

説明

CTM デーモン間の接続の確立に失敗しました。

処理を続行しますが，メッセージを送信できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **-CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションの指定値が不正でないかどうか**

  -CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションに適切な値を指定してください。

- **メモリが不足していないかどうか**

  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

- **ネットワークインタフェースが異常終了していないかどうか**

  ネットワークインタフェースの設定を通信可能状態にしてください。

- **ネットワーク間を含む複数の osagent の相互連携の設定に，誤りがないかどうか**

  ネットワーク間を含む複数の osagent の相互連携の設定を正しく設定してください。詳細については，マニュアル「Borland(R) Enterprise Server VisiBroker(R) デベロッパーズガイド」を参照してください。

KFCT71202-W

inter-ctmd receiver not found : aa....aa

aa....aa：メッセージ受信オブジェクト名

説明

CTM デーモン間のメッセージ受信オブジェクトが見つかりません。

処理を続行します。

KFCT71203-W

can't register inter-ctmd receiver : aa....aa

aa....aa：メッセージ受信オブジェクト名

説明

CTM デーモン間のメッセージ受信オブジェクトを登録できません。

処理を続行します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。
- **共用メモリが不足していないかどうか**
  -CTMMaxCTM オプションの指定値を増やしてください。

KFCT71204-W

can't remove inter-ctmd receiver : aa....aa

aa....aa：メッセージ受信オブジェクト名

説明

CTM デーモン間のメッセージ受信オブジェクトの登録を消せません。
処理を続行します。

KFCT71250-W

shared memory allocation error. maintenance code1 : aa....aa code2 : bb....bb

aa....aa：保守コード 1
bb....bb：保守コード 2

説明

共用メモリが不足しています。
処理を続行しますが，CTM デーモン間の通信に関する情報が不足します。

対処

-CTMMaxCTM オプションの指定値を確認してください。確認したあと，-CTMMaxCTM オプションの指定値を増やしてください。

KFCT71251-E

UDP initialization error. port : aa....aa

aa....aa：ポート番号

説明

UDP の初期化処理に失敗しました。
処理を続行しますが，CTM デーモン間の通信に関する情報を送信できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **指定したポート番号がすでに使用されていないかどうか**
  CTMPort オプションの指定値を変更してください。
- **-CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションの指定値が不正でないかどうか**
  -CTMMaxCTM オプション，-CTMClientConnectCount オプション，および-CTMServerConnectCount オプションに適切な値を指定してください。
- **メモリが不足していないかどうか**

不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71252-W

UDP receive error. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

UDP の受信に失敗しました。

処理を続行しますが，CTM デーモン間の通信に関する情報を受信できません。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71253-W

UDP send Error. maintenance code : aa....aa address : bb....bb port : cc....cc

aa....aa：保守コード

bb....bb：送信先 IP アドレス（ブロードキャストアドレス）

cc....cc：送信先ポート番号

説明

UDP の送信に失敗しました。

処理を続行しますが，CTM デーモン間の通信に関する情報を送信できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。
- **ネットワークインタフェースが異常終了していないかどうか**
  ネットワークインタフェースの設定を通信可能状態にしてください。

KFCT71255-W

UDP data processing error : method aa....aa

aa....aa：メソッド名

説明

UDP 通信データの処理に失敗しました。

処理を続行します。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71256-W

UDP from other domain : aa....aa

aa....aa：CTM ドメイン名

説明

ほかの CTM ドメインの UDP データを受信しました。

データを破棄して処理を続行します。

対処

ほかの CTM ドメインの CTM ドメインマネジャが同じポート番号で開始されていないかどうかを確認してください。同じポート番号で開始されている場合は，CTM ドメインごとに異なるポート番号で CTM ドメインマネジャを開始してください。

KFCT71257-E

the same CTMID was detected. CTMID: aa....aa ipaddr:bb....bb

aa....aa：CTM 識別子

bb....bb：CTM 識別子が起動しているノードの IP アドレス

説明

CTM 識別子の重複を検出しました。

対処

CTM ドメイン内では CTM 識別子は一意になるようにしてください。

KFCT71300-W

read/write lock error

説明

「リードロック」または「ライトロック」で失敗しました。

処理を続行します。

KFCT71352-I

usage:ctmridinfo [-h] | [-CTMDomain domain_name] [-CTMHost host_name] [-CTMMyHost host_name]

説明

ctmridinfo コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。誤りがあった場合，指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT71353-E

domain information not found. maintenance code1：aa....aa code2：bb....bb code3：cc....cc

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

cc....cc：保守情報 3

説明

指定した CTM ドメインマネジャに，CTM ドメイン情報が見つからない場合に出力します。

CTM ドメイン情報取得処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **オプションの指定値に誤りがないかどうか**
  オプションの指定値を正しく指定してください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。
- **指定した CTM ドメインマネジャに接続している CTM デーモンがあるかどうか**
  指定した CTM ドメインマネジャに接続する CTM デーモンを開始してください。

KFCT71357-E

communication manager request failure. maintenance code1：aa....aa code2：bb....bb

aa....aa：保守情報 1

bb....bb：保守情報 2

説明

通信管理オブジェクトへのリクエスト処理が失敗しました。

CTM ドメイン情報取得処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **CTM ドメインマネジャが異常終了していないかどうか**
  CTM ドメインマネジャを開始してください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。
- **ネットワークインタフェースが異常終了していないかどうか**
  ネットワークインタフェースの設定を通信可能状態にしてください。

KFCT71361-E

convert string to an object reference error for Naming Context. maintenance code：aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

CORBA ネーミングコンテキスト文字列の復元に失敗しました。

CORBA ネーミングサービスが利用できないため，処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **-CTMINSRef オプションの指定値が不正でないかどうか**
  -CTMINSRef オプションに適切な値を指定してください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71362-E

Naming Service not found. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

CORBA ネーミングサービスが見つかりません。

CORBA ネーミングサービスが利用できないため，処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **-CTMINSRef オプションの指定値が不正でないかどうか**
  -CTMINSRef オプションに適切な値を指定してください。
- **CORBA ネーミングサービスが異常終了していないかどうか**
  CORBA ネーミングサービスを再度開始したあと，CTM デーモンを再度開始してください。
- **メモリが不足していないか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71363-E

failed in initializing communication with Naming Service. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

CORBA ネーミングサービスとの通信の初期化処理に失敗しました。

CORBA ネーミングサービスが利用できないため，処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **-CTMINSRef オプションの指定値が不正でないかどうか**
  -CTMINSRef オプションに適切な値を指定してください。
- **CORBA ネーミングサービスのネーミングコンテキストやオブジェクトを変更していないかどうか**
  CORBA ネーミングサービスを再度開始したあと，CTM デーモンを再度開始してください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71364-W

timeout occurred in communication with Naming Service. timeout : aa....aa

aa....aa：タイムアウト値

説明

CORBA ネーミングサービスとの通信でタイムアウトが発生しました。

処理を続行します。

対処

CORBA ネーミングサービスの負荷が掛かり過ぎていないかどうかを確認してください。

KFCT71365-E

timeout occurred in communication with Naming Service. timeout : aa....aa

aa....aa：タイムアウト値

説明

CORBA ネーミングサービスとの通信でタイムアウトが発生しました。

処理を続行しますが，CORBA ネーミングサービスが利用できません。

対処

CORBA ネーミングサービスの負荷が掛かり過ぎていないかどうかを確認してください。

CORBA ネーミングサービスを再度開始したあと，CTM デーモンを再度開始してください。

KFCT71366-E

request to Naming Service failure. maintenance code : aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

CORBA ネーミングサービスの処理に失敗しました。

処理を続行しますが，CORBA ネーミングサービスが利用できません。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- CORBA ネーミングサービスが異常終了していないかどうか

  CORBA ネーミングサービスを再度開始したあと，CTM デーモンを再度開始してください。
- CORBA ネーミングサービスのネーミングコンテキストやオブジェクトを変更していないかどうか

  CORBA ネーミングサービスを再度開始したあと，CTM デーモンを再度開始してください。
- メモリが不足していないかどうか

  不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT71403-W

cannot get System Property. property name : ejbserver.client.ctm.RequestPriority maintenance code: aa....aa default value is used:bb....bb.

aa....aa：発生した例外

bb....bb：デフォルト値

説明

ejbserver.client.ctm.RequestPriority のプロパティ解析中に例外が発生しました。

デフォルト値を使用して，処理を続行します。

対処

発生した例外（aa....aa）に応じて，対処してください。

SecurityException

セキュリティマネージャのポリシーを確認してください。

NullPointerException

保守員に連絡してください。

IllegalArgumentException

保守員に連絡してください。

KFCT71404-W

invalid property value is specified. ejbserver.client.ctm.RequestPriority=aa....aa. default value is used:bb....bb.

aa....aa：指定したプロパティ値

bb....bb：デフォルト値

説明

ejbserver.client.ctm.RequestPriority に不正な値が指定されました。

デフォルト値を使用して，処理を続行します。

対処

プロパティに正しい値を指定してください。

KFCT73002-E

prf tracing service cannot be started. ID:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：PRF 識別子

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

PRF トレースサービスの開始でエラーが発生しました。

PRF デーモンを終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査して，エラーの要因を取り除いたあと，PRF デーモンを再度起動してください。

表 19–12　KFCT73002-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
102	メモリ不足が発生しました。
103	ファイルの検定時，または新規作成時に入出力エラーが発生しました。
104	msgget システムコールでの新しいメッセージ待ち行列 ID が，割り当てられませんでした。ipcs コマンドで使用状況を確認し，不要なメッセージキューがある場合は，ipcrm コマンドで削除する必要があります。
106	環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。
112	指定された PRF トレースサービスは，すでに起動されています。または，PRF トレースサービスは停止されていますが，トレースを取得していたプロセスが起動中のため，新しい PRF トレースサービスが開始できません。
114	PRF トレースサービスで使用する共用メモリが破壊されています。
115	PRF トレースサービスで使用する共用メモリのアドレスが取得できません。

理由コード	説明
401	PRF トレースサービスの内部制御ファイルのオープン時にエラーが発生しました。
402	PRF トレースサービスの内部制御ファイルが破壊されています。
403	PRF トレースサービスの内部制御ファイルで，エラーが発生しました。環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。
404	トレースファイル作成ディレクトリの指定に誤りがあります。
502	PRF トレースサービスの制御に必要な環境を作成するときに，エラーが発生しました。
1601	システムコールでエラーが発生しました。

KFCT73003-E

prf tracing service cannot be continued. ID:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：PRF 識別子

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

PRF トレースの取得中に障害が発生しました。

PRF デーモンを終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査して，エラーの要因を取り除いたあと，PRF デーモンを再度起動してください。

表 19–13　KFCT73003-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
103	トレースファイルで入出力エラーが発生しました。
104	msgget システムコールでの新しいメッセージ待ち行列 ID が，割り当てられませんでした。ipcs コマンドで使用状況を確認し，不要なメッセージキューがある場合は，ipcrm コマンドで削除する必要があります。
1601	システムコールでエラーが発生しました。

KFCT73004-W

failure to initialize for prf tracing service. ID:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：PRF 識別子

PRF 識別子を特定できない場合は，****を表示します。

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

プロセスでの PRF トレースサービスの初期化でエラーが発生しました。

エラーが発生したプロセスの，PRF トレース取得を中止します。この初期化は，プロセスでの PRF トレースを取得するための準備をする処理です。

なお，このメッセージは，コマンド実行時にも出力する場合があります。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19-14　KFCT73004-W に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
106	環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。
115	PRF デーモンが制御する共用メモリにアクセスできません。コマンドで出力された場合，指定した PRF デーモンが開始されているかどうかを確認してください。
1601	システムコールでエラーが発生しました。

KFCT73100-I

now starting statistical information service. ID:aa....aa

aa....aa：サービス識別子（CTM 識別子）

説明

稼働統計情報取得サービスを開始中です。

KFCT73101-I

statistical information service started. ID:aa....aa

aa....aa：サービス識別子（CTM 識別子）

説明

稼働統計情報取得サービスを開始しました。

KFCT73102-I

statistical information service stopped ID:aa....aa

aa....aa：サービス識別子（CTM 識別子）

説明

稼働統計情報取得サービスを終了しました。

KFCT73104-W

statistical information service cannot be started. ID:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：サービス識別子（CTM 識別子）

bb....bb：理由コード

cc....cc：内部コード

説明

稼働統計情報取得サービスの初期化処理で障害が発生しました。

該当する CTM ノードで稼働統計情報を取得できません。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19-15　KFCT73104-W に示されるエラーの理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。
2	稼働統計で使用する共用メモリのメモリ不足が発生しました。	共用メモリのサイズを見直してください。
3	稼働統計で使用する共用メモリにアクセスできません。	保守員に連絡してください。
4	msgget システムコールでの，新しいメッセージ待ち行列 ID が割り当てられませんでした。	不要なメッセージ待ち行列を削除するなどしてください。
5	環境変数「CTMSPOOL」の指定に誤りがあります。	環境変数「CTMSPOOL」に指定した値を見直してください。
6	タイマスレッドの起動に失敗しました。	保守員に連絡してください。
8	環境変数「CTMSPOOL」に指定したパスが長過ぎます。	パスの長さが 1,023 バイトを超えていないかどうか見直してください。
9	指定された稼働統計情報取得サービスは，すでに起動されています。	－
10	排他制御に失敗しました。	保守員に連絡してください。
11	内部処理でエラーが発生しました。	保守員に連絡してください。

（凡例）

－：対処しません。

KFCT73105-W

failure to create I/O thread for statistical information service. ID:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：サービス識別子（CTM 識別子）

bb....bb：理由コード

cc....cc：内部コード

説明

稼働統計情報取得サービスの I/O 専用スレッドの作成に失敗しました。

該当する CTM ノードで稼働統計情報の取得を実行できません。

該当する CTM ノードでは稼働統計情報取得サービスを実行しません。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19-16　KFCT73105-W に示されるエラーの理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。

理由コード	説明	対処
3	稼働統計で使用する共用メモリにアクセスできません。	保守員に連絡してください。
5	環境変数「CTMSPOOL」の指定に誤りがあります。	CTMSPOOL 環境変数に指定した値を見直してください。
8	環境変数「CTMSPOOL」に指定したパスが長過ぎます。	パスの長さが 1,023 バイトを超えていないかどうか見直してください。
13	システムコールでエラーが発生しました。	直前に出力されたメッセージを確認して，保守員に連絡してください。

KFCT73106-W

I/O thread for statistical information service is stopped. ID:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：サービス識別子（CTM 識別子）

bb....bb：理由コード

cc....cc：内部コード

説明

稼働統計情報取得サービスの I/O 専用スレッドを終了しました。

該当する CTM ノードで稼働統計情報の取得を継続できません。

該当する CTM ノードでの稼働統計情報取得サービスを中止します。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19–17　KFCT73106-W に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。
4	msgget システムコールでの，新しいメッセージ待ち行列 ID が割り当てられませんでした。	不要なメッセージ待ち行列を削除するなどしてください。
11	稼働統計情報ファイルのオープンに失敗しました。	保守員に連絡してください。
12	稼働統計情報ファイルの I/O エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。

KFCT73107-W

failure to initialize on process for statistical information service. ID:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：サービス識別子（CTM 識別子）

bb....bb：理由コード

cc....cc：内部コード

説明

稼働統計情報取得サービスのプロセス内の初期化処理に失敗しました。

該当するプロセスの稼働統計情報は取得されません。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19–18　KFCT73107-W に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。
3	稼働統計で使用する共用メモリにアクセスできません。	保守員に連絡してください。
5	環境変数「CTMSPOOL」の指定に誤りがあります。	環境変数「CTMSPOOL」に指定した値を見直してください。
8	環境変数「CTMSPOOL」に指定したパスが長過ぎます。	パスの長さが 1,023 バイトを超えていないかどうか見直してください。
13	システムコールでエラーが発生しました。	直前に出力されたメッセージを確認して，保守員に連絡してください。

KFCT73200-E

cannot delete module trace file. file name:aa....aa reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：削除できないファイルのパス名

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

CTM，パフォーマンストレーサで使用するモジュールトレースファイルの削除ができません。

モジュールトレースファイルの削除をスキップします。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

表 19–19　KFCT73200-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
204	モジュールトレースファイルの削除に失敗しました。
1601	システムコールエラーが発生しました。

KFCT73201-E

module trace cannot be started. reason code=aa....aa-bb....bb

aa....aa：理由コード

bb....bb：システム内部コード

説明

CTM，パフォーマンストレーサで使用するモジュールトレース取得の開始中にエラーが発生しました。

モジュールトレースを取得しません。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

表 19-20　KFCT73201-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
106	環境変数「CTMSPOOL」，環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。また，環境変数「CTMSPOOL」を省略した場合，環境変数「CTMDIR」に示すディレクトリを見直す必要があります。
201	次のディレクトリを作成できませんでした。 • $CTMSPOOL/utt（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%¥utt（Windows の場合） • $PRFSPOOL/utt（UNIX の場合）または%PRFSPOOL%¥utt（Windows の場合）
202	次のディレクトリを作成できませんでした。 • $CTMSPOOL/utt/umt（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合） • $PRFSPOOL/utt/umt（UNIX の場合）または%PRFSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合）
502	モジュールトレースの制御に必要な環境を作成するときに，エラーが発生しました。
504	タイマ処理の初期化処理に失敗しました。システムは続行し，モジュールトレースを取得します。ただし，次のディレクトリにできた不要ファイルは削除しません。 • $CTMSPOOL/utt/umt（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合） • $PRFSPOOL/utt/um（UNIX の場合）または%PRFSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合） 通常，不要ファイルは 24 時間ごとに削除されます。保守員に連絡してください。
1601	システムコールエラーが発生しました。

KFCT73202-E

failure to initialize for module trace. reason code=aa....aa-bb....bb

aa....aa：理由コード

bb....bb：システム内部コード

説明

CTM，パフォーマンストレーサで使用するモジュールトレース取得の初期化処理でエラーが発生しました。

エラーが発生したプロセスのモジュールトレースは取得しません。この初期化処理はプロセスでのモジュールトレースを取得するための準備をする処理です。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

表 19–21　KFCT73202-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
106	環境変数「CTMSPOOL」，環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。また，環境変数「CTMSPOOL」を省略した場合，環境変数「CTMDIR」に示すディレクトリを見直す必要があります。
109	モジュールトレースファイルの作成時にエラーが発生しました。 メッセージ「KFCT73351-E」またはメッセージ「KFCT75500-E」の errno 値からエラーの要因を取り除いてください。
201	次のディレクトリを作成できませんでした。 • $CTMSPOOL/utt（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%¥utt（Windows の場合） • $PRFSPOOL/utt（UNIX の場合）または%PRFSPOOL%¥utt（Windows の場合） メッセージ「KFCT73351-E」またはメッセージ「KFCT75500-E」の errno 値からエラーの要因を取り除いてください。
202	次のディレクトリを作成できませんでした。 • $CTMSPOOL/utt/umt（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合） • $PRFSPOOL/utt/umt（UNIX の場合）または%PRFSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合） メッセージ「KFCT73351-E」またはメッセージ「KFCT75500-E」の errno 値からエラーの要因を取り除いてください。
203	umt 内部の排他制御でエラーが発生しました。 メッセージ「KFCT75500-E」の errno 値を保守員に連絡してください。
503	モジュールトレースファイルを作成するディレクトリのオープンに失敗しました。このディレクトリは，CTM ドメインマネジャ，PRF デーモンの開始時に作成します。このメッセージが出力された実行環境で，CTM ドメインマネジャ，PRF デーモンが正常に開始しているかどうかを確認してください。
505	コマンドのオプション引数が不正です。 メッセージ「KFCT73350-E」のオプション引数を見直してください。
1601	システムコールエラーが発生しました。

KFCT73203-W

error occurred while checking trace file number. reason code=aa....aa-bb....bb

aa....aa：理由コード

bb....bb：システム内部コード

説明

次のディレクトリ下にあるファイルの削除中にエラーが発生しました。

- $CTMSPOOL/utt/umt（UNIX の場合）または%CTMSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合）
- $PRFSPOOL/utt/umt（UNIX の場合）または%PRFSPOOL%¥utt¥umt（Windows の場合）

これらのディレクトリ下のファイルは削除しませんが，システムの処理は続行します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19–22　KFCT73203-W に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
203	umt 内部の排他制御でエラーが発生しました。 メッセージ「KFCT75500-E」の errno 値を保守員に連絡してください。

KFCT73300-E

cannot execute aa....aa command. reason code=bb....bb-cc....cc

aa....aa：実行できなかったコマンド名

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

コマンド（aa....aa）が実行できませんでした。

コマンドをエラー終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基にエラーの要因を取り除いたあと，再度コマンドを実行してください。

表 19–23　KFCT73300-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
103	ファイルで入出力エラーが発生しました。
106	aa....aa コマンドを実行するために必要なシステム内部ファイルがありません。次の内容を確認してください。 • コマンドを実行した環境での環境変数「PRFSPOOL」のディレクトリ • コマンドに指定した PRF 識別子
107	トレースファイルのオープンエラーが発生しました。
116	指定されたトレースファイルの数が 256 個を超えています。
804	ファイルが見つかりません。
1601	システムコールでエラーが発生しました。

KFCT73303-I

usage:ctmstsstart [-h] | [[-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid] [-CTMInterval interval_time] [-CTMCheckInterval interval_time]]

説明

ctmstsstart コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT73304-I

usage:ctmstsstop [-h] | [[-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid]]

説明

ctmstsstop コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT73307-I

usage:ctmstsed [-h] | [-CTMEdit edit-item[,edit-item]] [-CTMInterval interval] [-CTMTime [start][,end]] [-CTMQueueName queuename[,queuename]] [-CTMMethod methodname[,methodname]] [-CTMCsv] [-CTMStdout] [ststrace-file [ststrace-file]]

説明

ctmstsed コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT73308-E

ctmstsstart command cannot be executed. reason code=aa....aa-bb....bb

aa....aa：理由コード

bb....bb：内部コード

説明

ctmstsstart コマンドを実行できませんでした。

コマンドの実行を中止します。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19–24　KFCT73308-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。

理由コード	説明	対処
3	稼働統計で使用する共用メモリにアクセスできません。	保守員に連絡してください。
5	環境変数「CTMSPOOL」の指定に誤りがあります。	環境変数「CTMSPOOL」に指定した値を見直してください。環境変数「CTMSPOOL」を設定していない場合は，環境変数「CTMDIR」に指定した値を見直してください。
8	環境変数「CTMSPOOL」に指定したパスが長過ぎます。	パスの長さが 1,023 バイトを超えていないかどうか見直してください。
13	システムコールでエラーが発生しました。	直前に出力されたメッセージを確認して，保守員に連絡してください。
15	内部処理でエラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
16	IP アドレスの取得に失敗しました。	保守員に連絡してください。
17	該当する CTM 識別子の CTM デーモンがオンラインではないか，CTM ノードで稼働統計情報取得サービスが開始されていません。	CTM デーモンが開始しているかどうか確認してください。
18	プロセス間の排他制御に失敗しました。	保守員に連絡してください。
19	ctmstsstart コマンドは実行済みです。	必要な場合，ctmstsstop コマンドを実行後，再度 ctmstsstart コマンドを実行してください。
26	稼働統計情報取得サービスが開始されていません。	稼働統計情報を取得する場合は，稼働統計情報サービスを開始してください。

KFCT73309-E

ctmstsstop command cannot be executed. reason code=aa....aa-bb....bb

aa....aa：理由コード

bb....bb：内部コード

説明

ctmstsstop コマンドを実行できませんでした。

コマンドの実行を中止します。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19–25　KFCT73309-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。
3	稼働統計で使用する共用メモリにアクセスできません。	保守員に連絡してください。

理由コード	説明	対処
5	環境変数「CTMSPOOL」の指定に誤りがあります。	環境変数「CTMSPOOL」に指定した値を見直してください。環境変数「CTMSPOOL」を設定していない場合は，環境変数「CTMDIR」に指定した値を見直してください。
8	環境変数「CTMSPOOL」に指定したパスが長過ぎます。	パスの長さが 1,023 バイトを超えていないかどうか見直してください。
10	排他制御に失敗しました。	保守員に連絡してください。
13	システムコールでエラーが発生しました。	直前に出力されたメッセージを確認して，保守員に連絡してください。
15	内部処理でエラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
16	IP アドレスの取得に失敗しました。	保守員に連絡してください。
17	該当する CTM 識別子の CTM デーモンがオンラインではないか，CTM ノードで稼働統計情報取得サービスが開始されていません。	CTM デーモンが開始しているかどうか確認してください。
18	プロセス間の排他制御に失敗しました。	保守員に連絡してください。
22	ctmstsstart コマンドがまだ実行されていません。	ctmstsstart コマンド実行後に，ctmstsstop コマンドを実行してください。

KFCT73310-E

ctmstsed command cannot be executed. reason code=aa....aa-bb....bb

aa....aa：理由コード

bb....bb：内部コード

説明

ctmstsed コマンド実行中にエラーが発生しました。

コマンドの実行を中止します。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19–26　KFCT73310-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。
11	編集出力を出力するファイルの作成に失敗したか，稼働統計情報ファイルのオープンに失敗しました。	ファイルが作成できない理由（権限，OS の設定）を調査し，要因を取り除いたあと，再度実行してください。稼働統計情報ファイルのオープンに失敗している場合は，コマンドの指定を見直し再度実行してください。
13	システムコールでエラーが発生しました。	直前に出力されたメッセージを確認して，保守員に連絡してください。

理由コード	説明	対処
14	ctmstsed コマンドの引数に指定した稼働統計情報ファイル数が 256 個を超えました。	コマンドの引数に指定する稼働統計情報ファイル数を 256 以下に指定して実行してください。
15	内部処理でエラーになりました。	保守員に連絡してください。
23	稼働統計情報の編集出力中にエラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
24	カレントディレクトリに以前の出力結果ファイルが残っています。	稼働統計情報ファイルを標準入力から入力しているため，ファイルを上書きするかどうか問い合わせできません。そのため処理を中断しました。稼働統計情報ファイルを標準入力から入力する場合は，実行するディレクトリにある稼働統計出力ファイルを削除または退避してから実行してください。

KFCT73311-W

no records found to meet the condition. aborts processing.

説明

稼働統計情報編集の対象となるレコードが見つかりませんでした。処理を中断します。

指定した時間間隔ではレコードがないか，指定したファイルの内容がありません。

コマンドの処理を中止します。

対処

-CTMTime オプションに指定した時間を見直すか，または指定した稼働統計情報ファイルを見直してください。

Windows 環境の場合，稼働統計情報ファイルを指定しているか確認してください。

KFCT73314-I

usage: ctmstsflush [-h] | [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid]

説明

ctmstsflush コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT73315-E

ctmstsflush command cannot be executed. reason code= aa....aa- bb....bb

aa....aa：理由コード

bb....bb：内部コード

説明

ctmstsflush コマンド実行中にエラーが発生しました。

コマンドの実行を中止します。

対処

次に示す理由コード一覧を基に，エラーの要因を取り除いてください。

表 19–27　KFCT73315-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。
5	環境変数「CTMSPOOL」の指定に誤りがあります。	環境変数「CTMSPOOL」に指定した値を見直してください。環境変数「CTMSPOOL」を設定していない場合は，環境変数「CTMDIR」に指定した値を見直してください。
8	環境変数「CTMSPOOL」に指定したパスが長過ぎます。	パスの長さが 1,023 バイトを超えていないかどうか見直してください。
13	システムコールでエラーが発生しました。	直前に出力されたメッセージを確認して，保守員に連絡してください。
15	内部処理でエラーになりました。	保守員に連絡してください。
17	該当する CTM 識別子の CTM デーモンがオンラインではないか，CTM ノードで稼働統計情報取得サービスが開始されていません。	CTM デーモンが開始しているかどうか確認してください。
18	プロセス間の排他制御に失敗しました。	保守員に連絡してください。
22	ctmstsstart コマンドがまだ実行されていません。	ctmstsstart コマンド実行後に，ctmstsflush コマンドを実行してください。
26	稼働統計情報取得サービスが開始されていません。	稼働統計情報を取得する場合は，稼働統計情報サービスを開始してください。
27	タイムアウトが発生しました。	バッファ内のトレース情報のファイルへの書き出しが完了しているときがあります。保守員に連絡してください。

KFCT73350-E

command option is invalid. aa....aa

aa...aa：オプション名

説明

コマンドのオプションに誤りがあります。

処理を中止します。

対処

指定したオプションに誤りがないか，または指定したオプションの組み合わせに問題がないか見直してください。指定オプションを修正後，再度コマンドを実行してください。

KFCT73351-E

"aa....aa(bb....bb)" failed. errno=cc....cc

aa....aa：エラーとなったシステムコール

bb....bb：内部情報

cc....cc：システムコールの errno 値

説明

システムコールでエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，システムコールがエラーになった要因を調査してください。

KFCT73352-R

aa....aa file exists. Is it overwritten ? [Y:Yes N:No]

aa....aa：ファイル名称

説明

ctmstsed コマンド実行時のカレントディレクトリに，以前に実行したときに作成された稼働統計出力ファイルがあります。上書きする場合は"Y"を，上書きしたくない場合は"N"を選択してください。小文字でも指定できます。

対処

メッセージに従って"Y"または"N"を指定してください。

KFCT73353-I

The execute of aa....aa command was suspended.

aa....aa：コマンド名

説明

実行中のコマンドの処理を中断します。

対処

このメッセージの前にメッセージが出力されている場合は，そのメッセージを基に原因を取り除いたあと，再度実行してください。このメッセージの前にメッセージが出力されていない場合は，保守員に連絡してください。

KFCT73354-E

the combination of domain name and CTMSPOOL directory is invalid.

説明

CTM ドメイン名称と環境変数「CTMSPOOL」の組み合わせが誤っています。

コマンドの処理を中断します。

対処

指定した環境変数「CTMSPOOL」がすでにほかの CTM ドメイン名称を持つ CTM ドメインマネジャに使用されていないか確認し，再度コマンドを実行してください。

KFCT73355-I

buffering of statistical information is started. ID:aa....aa start time:bb....bb output interval:cc....cc connect check interval:dd....dd

aa....aa：CTM 識別子

bb....bb：バッファリングを開始した時刻（yyyy／mm／dd　hh：mm 形式）

cc....cc：ファイルに出力する時間間隔（分単位）

dd....dd：コネクション数のチェックをする時間間隔（秒単位）

説明

稼働統計情報の共用メモリへの取得を開始します。

KFCT73356-I

buffering of statistical information is stopped. ID:aa....aa

aa....aa：CTM 識別子

説明

稼働統計情報の共用メモリへのバッファリングを終了しました。

KFCT73357-I

ctmstsstart command is accepted. option: aa....aa

aa....aa：指定されたオプション名およびオプション引数を次の形式で表示します。

オプション名[,オプション引数][;オプション名[,オプション引数]...]

説明

ctmstsstart を受け付けました。

コマンドの処理を続行します。

KFCT73364-W

cannot output trace information to a statistical file.

説明

稼働統計情報をファイルに出力できなくなりました。

稼働統計情報の出力を停止します。

対処

ctmstsstop コマンド，ctstsstart コマンドを実行して，稼働統計情報の取得を再開してください。前回ファイルに出力してから，バッファに貯められた稼働統計情報はファイルに出力されません。

KFCT73401-I

usage:cprfstart [-h] | [-PRFID cprfid] [-PrfTraceLevel tracelevel[,[tracelevel]...]] [-PrfTraceCount count] [-PrfTraceFileSize file_size] [-PrfTraceBufferSize buffer_size] [-PrfRemakeBuffer][-PrfNoBackUp [0|1]]

説明

cprfstart コマンドの使用方法を示しています。

このメッセージは，コマンドの形式が不正，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。指定オプションを修正後，再度コマンドを実行してください。

KFCT73402-I

usage:cprfstop [-h] | [-PRFID cprfid] [-Force]

説明

cprfstop コマンドの使用方法を示しています。

このメッセージは，コマンドの形式が不正，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。指定オプションを修正後，再度コマンドを実行してください。

KFCT73403-I

usage:cprfed [-h] | [[-Dump | -CSV] [-Time [start][,end]] [-ProcessID process-ID[,process-ID...]][-TraceFile prftrace-file[,prftrace-file...] | -AllTraceFile]]

説明

cprfed コマンドの使用方法を示しています。

このメッセージは，コマンドの形式が不正，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。指定オプションを修正後，再度コマンドを実行してください。

KFCT73404-I

usage:cprflevel [-h] | [-PRFID cprfid] [-PrfChangeLevel tracelevel[,[tracelevel]...]] [-PrfLevelIndex index] [-PrfLevelAll]

説明

cprflevel コマンドの使用方法を示しています。

このメッセージは，コマンドの形式が不正，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。指定オプションを修正後，再度コマンドを実行してください。

KFCT73405-I

usage:cprfflush [-h] | [-PRFID cprfid]

説明

cprfflush コマンドの使用方法を示しています。

このメッセージは，コマンドの形式が不正，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。指定オプションを修正後，再度コマンドを実行してください。

KFCT73406-I

usage:cprfgetpid [-h] | [-PRFID cprfid]

説明

cprfgetpid コマンドの使用方法を示しています。

このメッセージは，コマンドの形式が不正，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。指定オプションを修正後，再度コマンドを実行してください。

KFCT73410-I

now starting cprfd.

説明

PRF デーモン開始中です。

PRF デーモン開始処理を続行します。

KFCT73411-I

ProductName = aa....aa

PpNo = bb....bb

Version = cc....cc

PRFID = dd....dd

PRFSPOOL directory = ee....ee

aa....aa：製品名

bb....bb：製品 ID

cc....cc：バージョン

dd....dd：PRF 識別子

ee....ee：PRFSPOOL ディレクトリ

説明

開始中の PRF デーモンに関する情報を出力します。

PRF デーモン開始処理を続行します。

KFCT73412-I

cprfd is now online.

説明

PRF デーモン開始が完了しました。

PRF デーモンの処理を続行します。

KFCT73413-I

now terminating cprfd. terminate type =aa....aa

aa....aa：終了形態（NORMAL STOP：正常終了，FORCE STOP：強制正常終了）

説明

PRF デーモン終了中です。

終了形態（aa....aa）に示される内容に従って，PRF デーモンの処理を続行します。

KFCT73414-I

CPRFD stop.

説明

PRF デーモンが正常停止しました。

PRF デーモンの処理を終了します。

KFCT73415-I

prf trace level is aa....aa.

aa....aa：PRF トレースレベル

説明

現在のインデックス番号 1 の PRF トレースレベルを表示して終了します。

KFCT73416-I

prf trace level was changed from aa....aa to bb....bb.

aa....aa：変更前の PRF トレースレベル

bb....bb：変更後の PRF トレースレベル

説明

インデックス番号 1 の変更前と変更後の PRF トレースレベルを表示して終了します。

KFCT73417-I

option for aa....aa= bb....bb

aa....aa：コマンド名

bb....bb：指定されたオプション名，オプション引数を次の形式で表示します。

オプション名[,オプション引数][;オプション名[,オプション引数]...]

説明

コマンドを受け付けました。コマンドに指定したオプション（bb....bb）を出力します。

コマンドの処理を続行します。

KFCT73418-I

all prf trace levels are：

[aa...aa]=bb...bb [aa...aa]=bb...bb [aa...aa]=bb...bb [aa...aa]=bb...bb

aa....aa：インデックス番号

bb....bb：該当するインデックスの PRF トレースレベル

説明

現在のすべての PRF トレースレベルを表示して終了します。

KFCT73419-I

prf trace level of [aa...aa] is bb...bb.

aa....aa：インデックス番号

bb....bb：該当するインデックス番号の PRF トレースレベル

説明

指定されたインデックス番号の PRF トレースレベルを表示して終了します。

KFCT73420-I

prf trace level was changed：

[aa...aa]= bb...bb -> [aa...aa]= cc...cc

aa....aa：インデックス番号

bb....bb：該当するインデックス番号の変更前の PRF トレースレベル

cc....cc：該当するインデックス番号の変更後の PRF トレースレベル

説明

変更前，変更後の PRF トレースレベルを表示して終了します。

KFCT73430-E

prf tracing service cannot be started. ID= aa....aa reason code = bb....bb - cc....cc.

aa....aa：PRF 識別子

PRF 識別子を特定できない場合は，****を表示します。

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

PRF トレースサービスの開始に失敗しました。

PRF トレースサービスを終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査し，エラーの要因を取り除いてください。ただし，排他制御に失敗した場合，内部エラーが発生した場合，および一覧に示されている理由コード以外のメッセージが発生した場合は，保守員に連絡してください。

表 19–28　KFCT73430-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
101	メモリ不足が発生しました。
102	メモリ不足が発生しました。
104	msgget システムコールでの新しいメッセージ待ち行列 ID が，割り当てられませんでした。ipcs コマンドで使用状況を確認し，不要なメッセージキューがある場合は，ipcrm コマンドで削除する必要があります。

理由コード	説明
106	環境変数「PRFSPOOL」が指定されていないか，環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。
112	指定された PRF トレースサービスは，すでに開始されています。または，PRF トレースサービスは終了されていますが，トレースを取得していたプロセスが開始中のため，新しい PRF トレースサービスを開始できません。
115	PRF トレースサービスで使用する共用メモリへのアクセスが失敗しました。
117	指定したオプションに誤りがあります。
118	PRF トレースサービスで使用する共用メモリを再利用できません。cprfstart コマンドに，-PrfRemakeBuffer オプションを付けて実行してください。
119	PRF トレースサービスで使用する共用メモリの再作成に失敗しました。PRF トレースサービスを利用しているプロセスが起動している場合，共用メモリは再作成できません。共用メモリを再作成して PRF デーモンを起動したいときは，PRF トレースサービスを利用しているプロセスを終了させてください。 なお，ここでの共用メモリを再作成するとは，次の場合を指します。 • -PrfRemakeBuffer オプションを付けて cprfstart コマンドを実行した場合 • -PrfTraceBufferSize オプションに，前回とは異なる値（前回未指定のときは，8194 以外の値）を指定して cprfstart コマンドを実行した場合
502	PRF トレースサービスの制御に必要な環境を作成するときにエラーが発生しました。
1601	システムコールでエラーが発生しました。
3201	PRF デーモン起動時に，タイムアウトが発生しました。PRF デーモンは正常起動している可能性があります。
3203	排他制御に失敗しました。
8001	内部エラーが発生しました。

KFCT73431-E

cannot create the process. process_name=aa....aa.

aa....aa：プロセス名（cprfd：PRF デーモン）

説明

子プロセスの生成に失敗しました。

デーモンの開始処理を終了します。

対処

時間をおいて再度，開始するか，または次の内容を確認してください。

- システムファイルリソースが不足していないかどうか。
- 子プロセスの生成に失敗していないかどうか。
- メモリが不足していないかどうか。

また，このメッセージの前に出力されている，メッセージ「KFCT73430-E」を参考にエラーの要因を取り除いてください。

KFCT73432-W

failure to initialize for prf tracing service. ID: aa....aa reason code bb....bb - cc....cc.

aa....aa：PRF 識別子

PRF 識別子を特定できない場合は，****を表示します。

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

PRF トレースサービスの初期化処理に失敗しました。

エラーが発生したプロセスの PRF トレース取得を中止します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査し，エラーの要因を取り除いてください。また，内部エラーが発生した場合は，保守員に連絡してください。

表 19–29　KFCT73432-W に示される理由コード一覧

理由コード	説明
117	指定したオプションに誤りがあります。
8001	内部エラーが発生しました。

KFCT73433-E

cannot stop CPRFD. ID= aa....aa reason code = bb....bb - cc....cc.

aa....aa：PRF 識別子

PRF 識別子を特定できない場合は，****を表示します。

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

PRF デーモンの停止処理に失敗しました。

cprfstop コマンドをエラー終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査し，エラーの要因を取り除いてください。PRF デーモンが終了していない場合には，再度 cprfstop コマンドを実行してください。ただし，排他制御に失敗した場合，内部エラーが発生した場合，および一覧に示されている理由コード以外のメッセージが発生した場合は，保守員に連絡してください。

表 19–30　KFCT73433-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
106	環境変数「PRFSPOOL」が指定されていないか，環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。
115	PRF トレースサービスで使用する共用メモリへのアクセスが失敗しました。-Force オプションを指定して実行してください。
117	指定したオプションに誤りがあります。

理由コード	説明
3201	タイムアウトが発生しました。-Force オプションを指定して実行してください。
3202	指定された PRF 識別子を持つ，PRF デーモンが起動していません。
3203	排他制御に失敗しました。
8001	内部エラーが発生しました。

KFCT73434-E

CPRFD is already started. ID= aa....aa.

aa....aa：PRF 識別子

説明

指定された PRF 識別子を持つ PRF デーモンは，すでに起動しています。

cprfstart コマンドをエラー終了します。

すでに起動している PRF デーモンと，同じ PRF 識別子を持つ PRF デーモンは起動できません。

対処

同じ PRF 識別子を持つ PRF デーモンが起動していないかどうかを確認してください。確認後，必要に応じて別の PRF 識別子を指定して，再度 cprfstart コマンドを実行してください。

KFCT73435-E

CPRFD has not started. ID=aa....aa.

aa....aa：PRF 識別子

説明

指定された PRF 識別子を持つ PRF デーモンが起動していません。

コマンドをエラー終了します。

対処

指定された PRF 識別子を持つ PRF デーモンが開始されているかどうかを確認してください。なお，このメッセージは，PRF デーモンが起動している場合も出力されることがあります。この場合は，コマンド起動時の-PRFID オプションが正しいかどうかを確認してください。または，起動している PRF デーモンと環境変数「PRFSPOOL」が異なっていないかどうかを確認してください。

KFCT73436-E

PRFSPOOL environment is undefined.

説明

環境変数「PRFSPOOL」が指定されていません。

プロセスをエラー終了します。

対処

環境変数「PRFSPOOL」が指定されているかどうかを確認してください。環境変数「PRFSPOOL」を正しく指定したあと，再度プロセスを実行してください。

KFCT73437-E

cannot find PRFSPOOL directory.

説明

環境変数「PRFSPOOL」に示される，ディレクトリが見つかりません。

プロセスをエラー終了します。

対処

環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されているかどうかを確認してください。

環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリを正しく作成したあと，再度プロセスを実行してください。

KFCT73438-E

cannot change prf trace level. ID= aa....aa reason code = bb....bb - cc....cc.

aa....aa：PRF 識別子

PRF 識別子を特定できない場合，****を表示します。

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

PRF トレースレベルを変更できませんでした。

cprflevel コマンドをエラー終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査し，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあとは，再度 cpflevel コマンドを実行してください。ただし，排他制御に失敗した場合，内部エラーが発生した場合，および一覧に示されている理由コード以外のメッセージが発生した場合は，保守員に連絡してください。

表 19–31　KFCT73438-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
106	環境変数「PRFSPOOL」が指定されていないか，環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。
117	指定したオプションに誤りがあります。
3202	指定された PRF 識別子を持つ，PRF デーモンが起動していません。
3203	排他制御に失敗しました。
8001	内部エラーが発生しました。

KFCT73439-E

cannot execute aa....aa command. reason code bb....bb - cc....cc.

aa....aa：実行できなかったコマンド名

bb....bb：理由コード

cc....cc：システム内部コード

説明

コマンド（aa....aa）が実行できませんでした。

コマンドをエラー終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査し，エラーの要因を取り除いてください。ただし，排他制御に失敗した場合，内部エラーが発生した場合，および一覧に示されている理由コード以外のメッセージが発生した場合は，保守員に連絡してください。

表 19–32　KFCT73439-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
106	環境変数「PRFSPOOL」が指定されていないか，環境変数「PRFSPOOL」に示すディレクトリが正しく作成されていない可能性があります。
115	PRF トレースサービスで使用する共用メモリへのアクセスが失敗しました。
117	指定したオプションに誤りがあります。
3201	タイムアウトが発生しました。cprfflush コマンド実行時に出力された場合は，バッファ内のトレース情報のファイルへの書き出しが完了しているときがあります。
3202	指定された PRF 識別子を持つ，PRF デーモンが起動していません。
3203	排他制御に失敗しました。
8001	内部エラーが発生しました。

KFCT73440-E

cannot read trace-file.

説明

PRF トレース編集処理で，トレースファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

コマンドをエラー終了します。

対処

次の内容を確認してください。

- 編集コマンドにトレースファイルを指定していない場合があります。-TraceFile でトレースファイルを指定してください（Windows の場合）。
- 指定したトレースファイルが正しいかどうか，アクセス権限があるかどうかを見直してください。

また，このメッセージの前に出力されているメッセージ「KFCT75500-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT73441-E

-PrfTraceBufferSize value is over -PrfTraceFileSize value.

説明

-PrfTraceBufferSize オプションの指定値が，-PrfTraceFileSize オプションの指定値を超えています。開始コマンドをエラー終了します。

対処

-PrfTraceBufferSize オプションの指定値が，-PrfTraceFileSize オプションの指定値を超えていないかどうかを確認してください。また，-PrfTraceFileSize オプションを指定していない場合は，-PrfTraceBufferSize オプションの指定値が 8192 以下であることを確認してください。

-PrfTraceBufferSize オプションの指定値が，-PrfTraceFileSize オプションの指定値を超えている場合は，-PrfTraceFileSize オプションの指定値以下の値を-PrfTraceBufferSize オプションに指定してください。

KFCT73445-E

cannot output trace information to a trace-file.

説明

トレース情報をファイルに出力できなくなりました。

トレースファイルの出力を停止します。このメッセージは，PRF トレース取得用のバッファが不足している場合に出力します。

対処

起動中の PRF デーモンを強制停止させてください。そのあと，PRF デーモンを通常起動させてください。強制停止するには，cprfstop コマンドに-Force オプションを付けて実行してください。

また，このエラーを回避するために，PRF トレース取得用のバッファサイズを，デフォルト値（8192 キロバイト）より大きくすることをお勧めします。バッファサイズの変更については，マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編」の「cprfstart（PRF デーモンの開始）」を参照してください。

KFCT73501-E

process aborted.(reason=aa....aa)

aa....aa：処理を続行できない理由

説明

処理を続行できないためプロセスを中止します。

aa....aa には，次のどちらかの理由を表示します。

- スレッド間排他の解除に失敗しました。
- プロセス間排他の解除に失敗しました。

対処

動作中のメモリ不足が考えられます。動作環境のメモリを増やしてください。

引き続きエラーが多発する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFCT73502-W

cannot load library.

説明

ライブラリ格納ディレクトリを指定する環境変数，または使用している TPBroker のバージョンが不正です。

処理を続行します。ただし，このメッセージが出力されたプロセスからのすべてのメッセージは，標準出力または標準エラー出力に出力し，システムログ，CTM ログ，および CTM ドメインログには出力しません。

対処

ライブラリ格納ディレクトリを指定する環境変数を変更後，または正しい TPBroker のバージョンをインストール後，再度実行してください。

KFCT73551-E

cannot get aa....aa.

aa....aa：取得できなかった情報の名称

説明

aa....aa の情報を取得できません。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，情報が取得できる環境になっているかどうかを確認してください。

KFCT73552-E

cannot access directory indicated by aa....aa. "bb....bb"

aa....aa：ディレクトリを示す情報の名称

bb....bb：ディレクトリ名

説明

ディレクトリ（bb....bb）にアクセスできません。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，ディレクトリを示す情報の内容に誤りがないか，またはディレクトリのアクセス権などを確認してください。

KFCT73553-E

cannot open file "aa....aa".

aa....aa：オープンできないファイル名

説明

ファイル（aa....aa）がオープンできません。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，ファイルやディレクトリのアクセス権などを確認してください。

KFCT73554-E

cannot read file "aa....aa".

aa....aa：読み込みできないファイル名

説明

ファイル（aa....aa）の読み込みができません。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，ファイルやディレクトリのアクセス権などを確認してください。

KFCT73555-E

cannot close file "aa....aa".

aa....aa：クローズできないファイル名

説明

ファイル（aa....aa）がクローズできません。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，ファイルやディレクトリのアクセス権などを確認してください。

KFCT73556-E

cannot access file "aa....aa".

aa....aa：アクセスできないファイル名

説明

ファイル（aa....aa）にアクセスできません。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，ファイルやディレクトリのアクセス権などを確認してください。

KFCT73557-E

aa....aa environment variable undefined.

aa....aa：設定されていない環境変数名

説明

環境変数（aa....aa）が設定されていません。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，環境変数を設定してください。

KFCT73558-E

invalid option. option=aa....aa value=bb....bb reason=cc....cc.

aa....aa：オプション名

bb....bb：不正なオプション引数（cc....cc が INVALID_VALUE のときだけ表示されます）

cc....cc：理由コード

説明

オプションが不正です。

処理を中止します。

対処

cc....cc に示される理由コードに従って対処してください。cc....cc に示される理由コードと対処を次の表に示します。

表 19-33　KFCT73558-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
NO_OPT_ARG	オプション引数が指定されていません。	オプションの指定値を見直し，再度コマンドを実行してください。
INVALID_VALUE	オプション引数の値が不正です。	オプションの指定値を見直し，再度コマンドを実行してください。
その他	オプション解析処理中に内部エラーが発生しました。	option（aa....aa），value（bb....bb），および reason（cc....cc）の内容を取得して保守員に連絡してください。

KFCT73559-E

the error occurred while initializing log function. reason=aa....aa detail=bb....bb inter=cc....cc.

aa....aa：エラーの発生要因

bb....bb：詳細情報

cc....cc：保守情報

説明

ログ機能の初期化中にエラーが発生しました。

処理を中止します。

対処

aa....aa に示されるエラーの発生要因に従って対処し，再度コマンドを実行してください。aa....aa に示されるエラーの発生要因と対処を次の表に示します。

表 19-34　KFCT73559-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
ENVIRON	環境変数の取得に失敗しました。	環境変数「CTMDIR」および「CTMSPOOL」「PRFSPOOL」が設定されているかどうかを見直してください。
FILE_ACC	ファイルアクセスに失敗しました。	CTMSPOOL，PRFSPOOL ディレクトリが存在し，アクセス権が正しく設定されているかどうか確認してください。また，CTMSPOOL ディレクトリに十分な空き領域があるかどうかを確認してください。
LOCK	排他制御に失敗しました。	メモリが不足している場合は，不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。それ以外の場合は，保守員に連絡してください。
MEMORY	メモリが不足しています。	不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

エラーの要因	説明	対処
OTHER	上記以外のエラーが発生しました。	reason（aa....aa），detail（bb....bb），および inter（cc....cc）の内容を取得して保守員に連絡してください。

KFCT73560-W

cannot get log control information, so using default value for -CTMLogFileSize and -CTMLogFileCount.

説明

CTM ログ制御情報を取得できませんでした。

CTM ログファイルの最大サイズ（ctmstart コマンドの-CTMLogFileSize オプション指定値）および最大数（ctmstart コマンドの-CTMLogFileCount オプション指定値）にデフォルト値を設定して処理を続行します。

KFCT73561-E

cannot get log control information. reason=aa....aa detail=bb....bb inter=cc....cc.

aa....aa：エラーの発生要因

bb....bb：詳細情報

cc....cc：保守情報

説明

ログ制御情報を取得できませんでした。

コマンドの処理を終了します。

対処

aa....aa に示されるエラーの発生要因に従って対処してください。aa....aa に示されるエラーの発生要因と対処を次の表に示します。

表 19–35　KFCT73561-E に示されるエラーの要因一覧

エラーの要因	説明	対処
FILE_ACC	ファイルのアクセスに失敗しました。	CTMSPOOL および PRFSPOOL ディレクトリがあるかどうかを確認してください。また，CTMSPOOL ディレクトリ下のファイルを不当に編集していないかどうか，アクセス権を変更していないかどうかを確認してください。
NO_EXIST	ファイルがありません。	インストール後，ctmdmstart コマンド，ctmstart コマンドもしくは cprfstart コマンドを実行しているかどうか，または CTMSPOOL ディレクトリもしくは PRFSPOOL ディレクトリ下のファイルを不当に削除していないかどうかを確認してください。
VERSION	認識できないバージョンのファイルです。	ctmlogcat コマンドよりも新しいバージョンの ctmdmstart コマンドまたは ctmstart

エラーの要因	説明	対処
VERSION	認識できないバージョンのファイルです。	コマンドを実行していないかどうかを確認してください。

上記の内容を確認したあとは，ctmlogcat コマンドと同じバージョンの ctmdmstart コマンド，または ctmstart コマンドを実行してください。コマンドが正常終了した場合，ログ制御情報が更新されて取得できるようになります。

KFCT73590-I

usage:ctmlogcat [-h] | [-d | -t ctmid]

説明

ctmlogcat コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。誤りがあった場合，指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT73591-I

no aa....aa log message to output.

aa....aa：ログメッセージの種別（domain：CTM ドメインログ，または ctm：CTM ログ）

説明

出力するログメッセージがありません。

コマンドを終了します。

KFCT73592-E

the fatal error occurred, so process terminated. reason=aa....aa detail=bb....bb inter=cc....cc.

aa....aa：エラーの発生要因

bb....bb：詳細情報

cc....cc：保守情報

説明

エラーが発生したため，処理を終了します。

対処

aa....aa に示されるエラーの発生要因を確認して，対処してください。

aa....aa に示されるエラーの発生要因を次に示します。

MEMORY

メモリが不足しています。

不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

OTHER

MEMORY 以外のエラーが発生しました。

reason，detail，および inter の内容を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT74000-E

command argument is invalid. option:aa....aa

aa....aa：誤りがあるオプション名

説明

コマンド引数の指定に誤りがあります。

コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74001-E

this processing exceeded the maximum which was specified by the CTMClientConnectCount option. the effective option value at present is aa....aa.

aa....aa：現在有効なオプション値

説明

OTM ゲートウェイに指定した-CTMClientConnectCount オプションの最大値を超えました。

リクエスト送信処理を中断します。

ORB ゲートウェイに指定した-CTMClientConnectCount オプションの最大値を超えました。

リクエスト送信処理を中断します。

対処

-CTMClientConnectCount オプションの指定値を確認してください。

動作中の OTM クライアントアプリケーションの終了を待って，再度実行してください。また，必要であれば，-CTMClientConnectCount オプションの指定値を増やしたあとに，再度実行してください。

動作中の CORBA クライアントアプリケーションの終了を待って，再度実行してください。また，必要であれば，-CTMClientConnectCount オプションの指定値を増やしたあとに，再度実行してください。

KFCT74002-E

memory allocation error. maintenance code:aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

メモリの取得に失敗しました。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。

KFCT74003-E

shared memory allocation error. maintenance code:aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

共用メモリの取得に失敗しました。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

オプションの引数を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74004-E

cannot assign a ctmtscgwd. reason code:aa....aa .

aa....aa：理由コード

説明

OTM クライアントアプリケーションに OTM ゲートウェイを割り当てられません。

対処

aa....aa に示される理由コードに従って，OTM クライアントアプリケーション数，OTM ゲートウェイ数などを調整してください。

表 19–36　KFCT74004-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明	対処
1	CTM デーモンに OTM ゲートウェイが接続されていません。	CTM デーモンに OTM ゲートウェイが接続されているかどうか確認してください。
2	CTM デーモンに接続している OTM ゲートウェイにコネクションの空きがありません。	OTM クライアントアプリケーションの数を確認してください。

KFCT74550-E

scheduler initialization error. reason code=aa....aa

aa....aa：理由コード

説明

初期化処理に失敗しました。

CTM デーモンの開始処理をエラー終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査し，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあとは，再度コマンドを実行してください。

表 19–37　KFCT74550-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
1	オプション引数解析エラーが発生しました。
2	共用メモリ不足が発生しました。
3	メモリ不足が発生しました。
4	通信環境初期化処理エラーが発生しました。

KFCT74551-E

command option is invalid. option:aa....aa

aa....aa：オプション名

説明

コマンドオプションの引数に誤りがあります。

処理を中止します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを確認してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74552-E

memory allocation error. maintenance code:aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

メモリ不足が発生しました。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

不要なプロセスを終了させるか，またはメモリを増やしてください。

KFCT74553-E

shared memory allocation error. maintenance code:aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

共用メモリの確保に失敗しました。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

オプションの引数を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74554-E

cache memory allocation error. allocation size=aa....aa maintenance code:bb....bb

aa....aa：確保しようとしたサイズ

bb....bb：保守コード

説明

CTM デーモンのサーバキャッシュメモリの確保に失敗しました。

処理を中止します。

対処

システム管理者に連絡してください。

ctmstart コマンドの-CTMServerCacheSize オプションの引数を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74555-W

this processing exceeded the maximum request registration. CTM queue name:aa....aa reason code:bb....bb

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：理由コード（Max_Request：ctmstart コマンドの-CTMMaxRequestCount オプションに指定した値を超えたため，リクエストを登録できません）

説明

CTM キューの最大リクエストの登録数を超えたため，リクエストが登録できません。

処理を続行します。

このメッセージは CTM キューごとに出力します。このメッセージを出力したあと，60 秒間は同一 CTM キューに対するメッセージは出力しません。

対処

ctmlsque コマンドを使用して登録されているリクエスト数を確認してください。

J2EE アプリケーションに登録したサービス処理が遅延している場合は，その要因を取り除いてください。

J2EE アプリケーションの処理能力が不足している場合は，スケジュールキューの同時実行数，または同一 J2EE アプリケーションを持つ J2EE サーバを増やすか，ctmstart コマンドの-CTMMaxRequestCount オプションの指定値を見直して，CTM デーモンを再度開始してください。

KFCT74556-E

cannot return the reply of the request. client ip:aa....aa client pid：bb....bb communication no：cc....cc,dd....dd

aa....aa：破棄したリクエストのクライアント IP アドレス

bb....bb：破棄したリクエストのクライアントプロセス ID

cc....cc：保守情報 1

dd....dd：保守情報 2

説明

リクエストの応答を返すことができません。処理を続行します。

対処

レギュレータのプロセス数を増やしてください。

KFCT74557-W

decline in the rate of processing was detected by the stay watch function. CTM queue name：aa....aa decision data：bb....bb/cc....cc/dd....dd/ee....ee/ff....ff/gg....gg

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：システム停止直前にチェックした時点でのリクエスト滞留数

cc....cc：監視時間内に処理されたリクエスト数

dd....dd：監視状態移行しきい値

ee....ee：システム停止移行しきい値

ff....ff：監視時間インターバル

gg....gg：停止モード

説明

スケジュールキュー滞留監視機能によって，処理率の低下が検出されました。

対処

PRF トレースファイルと稼働統計情報ファイルを参照して，処理ができない要因を洗い出すか，キュー滞留監視設定を見直してください。

KFCT74558-E

cannot increase thread. CTMDispatchParallelCount=aa....aa. CTM queue name:bb....bb change count=cc....cc reason code:dd....dd

aa....aa：CTM デーモンで管理できるスレッド数の上限値

bb....bb：CTM キュー名

cc....cc：ctmchpara コマンドで指定した同時実行数の値

dd....dd：理由コード

ParallelCount：一つの J2EE サーバで起動できるスレッド数の上限を超えました。

DispatchParallelCount：CTM デーモンで管理できるスレッド数の上限を超えました。

説明

ctmchpara コマンドで指定した同時実行数によって，CTM デーモン内の J2EE サーバに振り分けるスレッドの上限を超えました。

ctmchpara コマンドによる変更処理を行いません。

対処

dd....dd に示される理由コードごとに，次の内容を確認して対処してください。

ParallelCount

一つの J2EE サーバで起動できるスレッド数の上限（(127）×スケジュールキューの共有数）を超えないような値を ctmchpara コマンドに指定してください。

DispatchParallelCount

aa....aa を超えないような値を ctmchpara コマンドに指定するか，ほかのキューの同時実行数を見直してください。

KFCT74559-E

cannot change the ParallelCount.error code=aa....aa maintenance code1=bb....bb maintenance code2=cc....cc

aa....aa：保守エラーコード

bb....bb：保守コード 1

cc....cc：保守コード 2

説明

同時実行数の変更中にエラーが発生しました。

ctmchpara コマンドによる変更処理を行わないで，処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **EJB プール数の最大値に指定した値が Unlimited，または 127 以上に設定されていない**
  EJB プール数の最大値を Unlimited，または 127 以上に設定し，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。
- **ejbCreate()メソッド内部で時間がかかっていないかどうか**
  プロパティ ejbserver.ctm.ActivateTimeOut の値を大きな値に設定し，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。
- **スレッドが不足していないかどうか**
  スレッド資源の上限の設定値を増やしてください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。

KFCT74600-I

aa....aa is placed in shutdown state by bb....bb.

aa....aa：閉塞した CTM キュー名

bb....bb：閉塞モード

normal：通常閉塞

force：強制閉塞

timeout：タイムアウト閉塞

説明

CTM キュー（aa....aa）のスケジュールを閉塞しました。

対処

bb....bb に示される閉塞モードごとに，次の内容を確認して対処してください。

normal または force の場合

ctmholdque コマンドによって，スケジュールを閉塞しました。

閉塞を解除する場合は，ctmrlesque コマンドを実行してください。

timeout の場合

タイムアウト閉塞機能によって，スケジュールを閉塞しました。

タイムアウトが発生した要因を調査し，閉塞を解除する場合は，ctmrlesque コマンドを実行してください。

KFCT74601-I

aa....aa restarted.

aa....aa：閉塞を解除した CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）のスケジュールの閉塞を解除しました。

KFCT74604-I

the ParallelCount of aa....aa was changed to bb....bb.

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：変更後の同時実行数の有効値

説明

CTM キュー（aa....aa）の同時実行数を bb....bb に変更しました。

KFCT74700-E

aa....aa command is used invalidly.

aa....aa：コマンド名

説明

コマンド（aa....aa）の使用方法が正しくありません。

コマンドをエラー終了します。

対処

コマンドに指定したオプションに，誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74701-E

error occurred during aa....aa command processing. reason code=bb....bb

aa....aa：コマンド名

bb....bb：理由コード

説明

コマンド処理でエラーが発生しました。

コマンドをエラー終了します。

対処

次の表に示す理由コード一覧を基に要因を調査し，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあとは，再度コマンドを実行してください。

表 19–38　KFCT74701-E に示される理由コード一覧

理由コード	説明
1	CTM デーモンが開始していません。
2	共用メモリの確保に失敗しました。
3	タイムアウトが発生しました。
4	通信障害が発生しました。
5	プロセス固有メモリの確保に失敗しました。
6	CTM デーモンとのバージョン不一致が発生しました。
7	CTM デーモンで生成できるスレッドの上限を超えました。
8	CTM デーモンでスレッドの追加に失敗しました。
9	CTM デーモンで排他処理に失敗しました。
10	内部矛盾エラーが発生しました。
11	ctmstart -CTMQueueDeleteWait が有効なためコマンドが受け付けられません。

KFCT74702-E

aa....aa specified with bb....bb command do not match.

aa....aa：コマンド名

bb....bb：オプション引数名

説明

コマンド（aa....aa）で指定されたオプションの引数（bb....bb）が正しくありません。

コマンドをエラー終了します。

対処

オプションの引数を確認してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74703-E

aa....aa specified with ctmholdque command is already in shutdown state. CTMDomain:bb....bb CTMID:cc....cc

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：CTM ドメイン名

cc....cc：CTM 識別子

説明

ctmholdque コマンドで指定された CTM キューは閉塞しています。

コマンドをエラー終了します。

対処

オプションの引数を確認してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74704-E

failed in placing all ctm_queue in shutdown state. CTMDomain:aa....aa CTMID:bb....bb

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM キューの一括閉塞処理でエラーが発生しました。

コマンドをエラー終了します。

対処

オプションの引数を確認してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74705-E

aa....aa specified with ctmrlesque command is not in shutdown state. CTMDomain:bb....bb CTMID:cc....cc

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：CTM ドメイン名

cc....cc：CTM 識別子

説明

ctmrlesque コマンドで指定された CTM キューは閉塞していません。

コマンドをエラー終了します。

対処

オプションの引数を確認してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74706-E

failed restarting all ctm_queue in shutdown state. CTMDomain:aa....aa CTMID:bb....bb

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM キューの一括閉塞解除処理でエラーが発生しました。

コマンドをエラー終了します。

対処

オプションの引数を確認してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74750-I

usage:ctmlsque [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid]

[-CTMQueue CTM queue name] [-CTMMyHost host_name] [-CTMInterface [interface_name]]

[-CSV] [-CTMAppInfo][-h]

説明

ctmlsque コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74752-I

usage:ctmholdque [-CTMDomain domain_name][-CTMID ctmid]

{-CTMQueue CTM queue name | -CTMQueueALL} [-CTMMyHost host_name]

[[-CTMRequestLeave] [-CTMTimeOut time] | [-CTMChangeServer]] [-CTMForce] [-h]

説明

ctmholdque コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74753-I

usage:ctmrlesque [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid]

{-CTMQueue CTM queue name | -CTMQueueALL} [-CTMMyHost host_name] [-h]

説明

ctmrlesque コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT74755-I

usage:ctmchpara [-CTMDomain domain_name] [-CTMID ctmid]

[-CTMMyHost host_name] [-CTMTimeOut time] -CTMQueue CTM queue name

-CTMChangeCount count [-h]

説明

ctmchpara コマンドの使用方法を示します。 コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。

コマンド形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT75000-E

command argument is invalid. option name:aa....aa

aa....aa：誤りがあるオプション名

説明

コマンド引数の指定に誤りがあります。

コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT75001-E

this processing exceeded the maximum which was specified by the CTMClientConnectCount option. the effective option value at present is aa....aa.

aa....aa：現在有効なオプション値

説明

-CTMClientConnectCount オプションに指定された最大値を超えました。

CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイの起動を中断します。

対処

-CTMClientConnectCount オプションの指定値を確認してください。

動作中の CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイの終了を待って，再度実行してください。また，必要であれば，-CTMClientConnectCount オプションを修正したあと，再度実行してください。

KFCT75002-E

this processing exceeded the maximum which was specified by the CTMServerConnectCount option. The effective option value at present is aa....aa.

aa....aa：現在有効なオプション値

説明

-CTMServerConnectCount オプションに指定された最大値を超えました。

J2EE サーバの処理を中断します。

対処

-CTMServerConnectCount オプションの指定値を確認してください。

必要であれば，-CTMServerConnectCount オプションの指定値を修正したあと，再度実行してください。

KFCT75003-E

the error occurred in the initialization processing of CTM-daemon. error code=aa....aa maintenance code1=bb....bb maintenance code2=cc....cc

aa....aa：保守エラーコード

bb....bb：保守コード 1

cc....cc：保守コード 2

説明

CTM デーモンの初期化処理中にエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，異常終了した要因を調査して，CTM デーモンを再度開始してください。

KFCT75004-E

the error occurred by the lock control processing of the shared memory access.

説明

共用メモリアクセスの排他制御処理中にエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

オプションの引数を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT75005-E

the error occurred by the registration processing of a communication object. error code=aa....aa maintenance code1=bb....bb maintenance code2=cc....cc

aa....aa：保守エラーコード

bb....bb：保守コード 1

cc....cc：保守コード 2

説明

通信オブジェクトの登録処理中にエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **osagent が異常終了していないかどうか**
  osagent を再開始したあと，再度コマンドを実行してください。
- **osagent の負荷が掛かり過ぎていないかどうか**
  不要なプロセスを終了してください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  必要であればメモリを増やしてください。

KFCT75050-E

the error occurred by the lock acquisition processing of the lock resources. error code=aa....aa maintenance code1=bb....bb maintenance code2=cc....cc

aa....aa：保守エラーコード

bb....bb：保守コード 1

cc....cc：保守コード 2

説明

排他資源に対する排他取得処理中にエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。

KFCT75051-E

the error occurred by the lock release processing of the lock resources. error code=aa....aa maintenance code1=bb....bb maintenance code2=cc....cc

aa....aa：保守エラーコード

bb....bb：保守コード 1

cc....cc：保守コード 2

説明

排他資源に対する排他解放処理中にエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。

KFCT75052-E

the error occurred by the generation processing of a thread. error code=aa....aa maintenance code1=bb....bb maintenance code2=cc....cc

aa....aa：保守エラーコード

bb....bb：保守コード 1

cc....cc：保守コード 2

説明

スレッド生成処理中にエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，対処してください。

- **スレッド資源が不足していないかどうか**
  スレッド資源の上限の設定値を増やしてください。
- **メモリが不足していないかどうか**
  不要なプロセスを終了するか，またはメモリを増やしてください。

KFCT75053-E

the memory allocation failed. maintenance code1=aa....aa maintenance code2=bb....bb

aa....aa：保守コード 1

bb....bb：保守コード 2

説明

メモリの割り当てに失敗しました。

処理を中断します。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了するか，または必要であればメモリを増やしてください。

KFCT75054-E

the error occurred by the generation processing of lock resources. error code=aa....aa maintenance code1=bb....bb maintenance code2=cc....cc

aa....aa：保守エラーコード

bb....bb：保守コード 1

cc....cc：保守コード 2

説明

排他資源生成中にエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了するか，または必要であればメモリを増やしてください。

KFCT75122-E

the error occurred in the deactivation processing of CTM queue. Queue name:aa....aa maintenance code=bb....bb

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：保守情報

説明

CTM キュー（aa....aa）の閉塞処理でエラーが発生しました。

処理を続行します。

対処

メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因が不明な場合は，保守コードを取得して，保守員に連絡してください。

KFCT75127-W

the length of CTM queue is already specified. name=aa....aa set length=bb....bb activate length=cc....cc.

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：J2EE サーバで指定した CTM キューの長さ

cc....cc：すでに生成されている CTM キューの長さ

説明

異なる長さで CTM キューが生成されています。すでに生成されている CTM キューの長さが有効になります。

処理を続行します。

対処

指定した長さで CTM キューを作成したい場合，異なる CTM キュー名を指定するか，対象の CTM キューを削除してから，再度実行してください。

KFCT75201-E

invalid argument value is specified. name=aa....aa, bb....bb=cc....cc.

aa....aa：メソッド名

bb....bb：引数名

cc....cc：指定値

説明

メソッド（aa....aa）の引数（bb....bb）の指定値（cc....cc）が不正です。

処理を中断します。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT75202-E

cannot get property. name=aa....aa.

aa....aa：プロパティ名

説明

プロパティ（aa....aa）の取得に失敗しました。

処理を中断します。

対処

保守情報を取得して，システム管理者に連絡してください。

KFCT75204-E

invalid property value is specified. aa....aa=bb....bb.

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ値

説明

プロパティ値（bb....bb）の取得に失敗しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，プロパティの指定値を修正したあと，再度実行してください。

KFCT75206-E

internal error occurred. name=aa....aa.

aa....aa：保守情報

説明

内部矛盾が発生しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KFCT75207-E

it has already created CTM queue. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

指定された CTM キュー（aa....aa）は生成済みです。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，CTM キュー名を変更したあと，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。

KFCT75208-E

an error occurred in the communication CTM-daemon. reason=aa....aa. mainteance code=bb....bb.

aa....aa：理由コード

bb....bb：保守コード

説明

CTM デーモンとの通信処理でエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，aa....aa に示される理由コードを確認して，対処してください。aa....aa に示される理由コードを次に示します。

DAEMON_FAILURE

デーモンでエラーが発生しました。

メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。対処したあと，再度実行してください。

SEND_FAILURE

デーモンへの通信時にエラーが発生しました。

CTM デーモンが起動しているかどうかを確認してください。

TIMED_OUT

デーモンへの通信時にタイムアウトが発生しました。

必要であれば，ejbserver.ctm.ActivateTimeOut キー，および ejbserver.ctm.DeactivateTimeOut キーの値を大きくしたあと，再度実行してください。

KFCT75209-E

the specified JNDI lookup name has already been registered. name=aa....aa.

aa....aa：JNDI ルックアップ名

説明

指定された JNDI ルックアップ名（aa....aa）は登録されています。

処理を中断します。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT75210-E

the specified JNDI lookup name is not existed. name=aa....aa.

aa....aa：JNDI ルックアップ名

説明

指定された JNDI ルックアップ名（aa....aa）は存在しません。

処理を中断します。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT75211-E

Stateless Session Bean is not registered in CTM queue. name=aa...aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）に Stateless Session Bean が登録されていません。
処理を中断します。

対処

保守情報を取得して，保守員に連絡してください。

KFCT75212-I

the activation of CTM queue is completed. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）の活性化が完了しました。
処理を続行します。

KFCT75213-I

the deactivation of CTM queue is completed. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）の閉塞が完了しました。
処理を続行します。

KFCT75214-E

the error occurred in activation of CTM queue. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）の活性化でエラーが発生しました。
J2EE アプリケーションの開始処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。
システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。
エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

KFCT75215-E

the error occurred in deactivation of CTM queue. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）の閉塞で異常が発生しました。
J2EE アプリケーションの停止処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

エラーが再発する場合は，CTM デーモンとのコネクション障害が考えられます。CTM デーモンが起動しているかどうかを確認してください。

KFCT75216-E

invalid version protocol. reason=aa....aa.

aa....aa：理由コード

説明

CTM 通信プロトコル上で，バージョンの不一致があります。

処理を中断します。

対処

保守情報を取得して，システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，aa....aa に示される理由コードを参照して，対処してください。aa....aa に示される理由コードは次のとおりです。

INCOMPATIBLE

互換性のないプロトコルバージョンです。

同じ CTM ドメインに含まれる CTM のシステムデーモン，またはアプリケーションプログラムの中で，バージョンの不一致があります。再度，確認してください。

NOT_IGNORE

通信プロトコル上に，無視できない情報があります。

一部の機能について，場所コードで示されるプロセスのバージョンが，ほかのプロセスのバージョンと不一致です。再度，確認してください。

KFCT75217-I

the connecting to CTM-daemon is started. CTMDomain=aa....aa CTMID=bb....bb.

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM デーモンへの接続処理を開始しました。

処理を続行します。

KFCT75218-I

the connection to CTM-daemon is completed. CTMDomain=aa...aa CTMID=bb....bb.

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM デーモンへの接続が完了しました。

処理を続行します。

KFCT75219-E

the connection to CTM-daemon is failed. CTMDomain=aa....aa CTMID=bb....bb.

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM デーモンへの接続が失敗しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあとは，再度 J2EE サーバを起動してください。

KFCT75220-I

the connecting from J2EE server is started. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで接続処理を開始します。

処理を続行します。

KFCT75221-I

the connection from J2EE server is completed. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで接続処理が完了しました。

処理を続行します。

KFCT75222-E

the connection from J2EE server is failed. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで接続処理が失敗しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあとは，再度 J2EE サーバを起動してください。

KFCT75223-I

the activation of CTM queue is started. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）の活性化を開始します。

処理を続行します。

KFCT75224-I

the activation of CTM queue from J2EE server is started. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで CTM キュー（aa....aa）の活性化を開始します。

処理を続行します。

KFCT75225-I

the activation of CTM queue from J2EE server is completed. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで CTM キュー（aa....aa）の活性化を完了しました。

処理を続行します。

KFCT75226-E

the activation of CTM queue from J2EE server is failed. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：CTM キュー名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで CTM キュー（aa....aa）の活性化が失敗しました。

J2EE アプリケーションの開始処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

エラーの要因を取り除いたあとは，再度 J2EE アプリケーションを開始してください。

KFCT75227-I

the deactivation of CTM queue is started. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）の閉塞を開始します。

処理を続行します。

KFCT75228-I

the deactivation of CTM queue from J2EE server is started. conn_id=aa....aa.

aa....aa：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで CTM キューの閉塞を開始します。

処理を続行します。

KFCT75229-I

the deactivation of CTM queue from J2EE server is completed. conn_id=aa....aa.

aa....aa：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで CTM キューの閉塞を終了します。

処理を続行します。

KFCT75230-E

the deactivation of CTM queue from J2EE server is failed. conn_id=aa....aa.

aa....aa：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで CTM キューの閉塞が失敗しました。

J2EE アプリケーションの停止処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。エラーの要因を取り除いたあとは，再度 CTM キューの閉塞を実行してください。

CTM キューの閉塞に再度失敗する場合，CTM デーモンとのコネクション障害が発生している可能性があります。CTM デーモンが存在しているかどうかを確認してください。

KFCT75231-I

the disconnecting to CTM-daemon is started. CTMDomain=aa....aa CTMID=bb....bb.

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM デーモンへの切断処理を開始しました。

処理を続行します。

KFCT75232-I

the disconnection to CTM-daemon is completed. CTMDomain=aa....aa CTMID=bb....bb.

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM デーモンへの切断処理が完了しました。

処理を続行します。

KFCT75233-E

the disconnection to CTM-daemon is failed. CTMDomain=aa....aa CTMID=bb....bb.

aa....aa：CTM ドメイン名

bb....bb：CTM 識別子

説明

CTM デーモンへの切断処理が失敗しました。

処理を続行します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT75234-I

the disconnecting from J2EE server is started. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで切断処理を開始します。

処理を続行します。

KFCT75235-I

the disconnection from J2EE server is completed. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで切断処理が完了しました。

処理を続行します。

KFCT75236-E

the disconnection from J2EE server is failed. name=aa....aa conn_id=bb....bb.

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：コネクション識別子

説明

CTM デーモンで切断処理が失敗しました。

処理を続行します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，メッセージ「KFCT75499-E」を参照して，エラーの要因を取り除いてください。

KFCT75237-W

the connection down from J2EE server is detected. conn_id=aa....aa.

aa....aa：コネクション識別子

説明

J2EE サーバからのコネクション切断を検知しました。

処理を続行します。

KFCT75238-W

the deactivation of CTM queue is not completed in terminating J2EE server. maintenance code=aa....aa.

aa....aa：保守情報

説明

CTM キューの閉塞が完全ではない状態で，J2EE サーバを停止しようとしました。

処理を続行します。

J2EE サーバと CTM デーモン間のコネクションで異常が発生し，J2EE アプリケーションの停止処理が正常に終了していない可能性があります。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，CTM デーモンが存在しているかどうかを確認してください。

KFCT75239-W

it is already active in destroying CTM queue. name=aa....aa.

aa....aa：CTM キュー名

説明

CTM キュー（aa....aa）が活性化状態で，CTM キューを削除しようとしました。

処理を続行します。

J2EE サーバと CTM デーモン間のコネクションで異常が発生し，J2EE アプリケーションの停止処理が正常に終了していない可能性があります。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，CTM デーモンが存在しているかどうかを確認してください。

KFCT75300-E

the combination of JNDI lookup name and interface name is invalid.

JNDI lookup name=aa....aa.

registered interface=bb....bb registering interface=cc....cc.

aa....aa：JNDI ルックアップ名

bb....bb：登録されているインタフェース名

cc....cc：登録しようとしているインタフェース名

説明

JNDI ルックアップ名とインタフェース名の組み合わせがすでに登録されている組み合わせと異なります。

メソッドの処理を中断します。

対処

JNDI ルックアップ名とインタフェース名の組み合わせを確認してください。修正したあと，再度実行してください。

KFCT75303-E

the registration to Naming Service is failed. JNDI lookup name=aa....aa maintenance code=bb....bb.

aa....aa：失敗した JNDI ルックアップ名

bb....bb：保守情報

説明

CORBA ネーミングサービスへの登録に失敗しました。

処理を中断します。

対処

次の内容を確認して，再度実行してください。

- INS が起動していることを確認してください。
- CTM デーモン起動前に，登録する予定の JNDI ルックアップ名が登録されていないことを確認してください。
- INS 登録名が正しいことを確認してください。

KFCT75305-E

the removal from Naming Service is failed. JNDI lookup name=aa....aa maintenance code=bb....bb.

aa....aa：失敗した JNDI ルックアップ名

bb....bb：保守情報

説明

CORBA ネーミングサービスからの削除に失敗しました。

処理を続行します。

対処

グローバル CORBA ネーミングサービスが起動していることを確認してください。

KFCT75306-E

the connection failure between aa..aa and CTM-daemon. maintenance code1=bb..bb maintenance code2=cc..cc.

aa....aa：切断を検知したプロセス

CTM-regulator：CTM レギュレータプロセス

OTM-gateway：OTM ゲートウェイプロセス

bb....bb：保守情報 1

cc....cc：保守情報 2

説明

CTM デーモンとのコネクション切断を検知しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KFCT75307-E

the timeout occurred. server pid=aa...aa JNDI lookup name=bb....bb interface=cc....cc operation=dd....dd.

aa....aa：接続先サーバプロセス ID

bb....bb：JNDI ルックアップ名

cc...cc：インタフェース名

dd....dd：オペレーション名

説明

タイムアウトを検出しました。

処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，タイムアウトが発生した要因を調査して，CTM または J2EE サーバを再度開始してください。

KFCT75492-W

the CORBA exception was thrown in user application. class name:aa....aa minor=bb....bb completed=cc....cc

aa....aa：CORBA 例外クラス名

CORBA 例外クラス名を取得できない場合は，"****"を表示します。

bb....bb：CORBA 例外のマイナーコード

cc....cc：CORBA 例外処理の完了状態

説明

CORBA 例外が発生しました。

例外情報を出力したあと，処理を続行します。

対処

CORBA 例外クラス名，CORBA 例外のマイナーコード，および CORBA 例外処理の完了状態を取得して，要因を調査してください。

KFCT75499-E

a system exception occurred. error code=aa....aa detail code=bb....bb place code=cc....cc completion status=dd....dd maintenance code=ee....ee,ff....ff,gg....gg,hh....hh.

aa...aa：エラーコード

bb....bb：内容コード

cc....cc：場所コード

dd....dd：完了状態

ee....ee：保守コード 1

ff....ff：保守コード 2

gg....gg：保守コード 3

hh....hh：保守コード 4

説明

システムで例外が発生しました。

エラーの重要度によって，次のどれかの処置をとります。

- 処理を打ち切り，プロセスを異常終了させます。
- 処理を打ち切り，実行中サービスの呼び出し元へリターンします。
- このまま処理を続行します。

対処

システム管理者に連絡してください。

システム管理者は，エラーコードおよび内容コードを参照し，エラーの要因を取り除いてください。エラーコードおよび内容コードについては，「19.4.1　エラーコード一覧」，および「19.4.4　内容コード一覧」を参照してください。エラーの要因が不明な場合は，保守コードを取得し，保守員に連絡してください。

KFCT75500-E

aa....aa(bb....bb) is failed.errno=cc....cc:dd....dd

aa....aa：エラーとなったシステムコール

bb....bb：保守情報

cc....cc：システムコールの errno 値

dd....dd：システムコールエラーの内容

説明

システムコール（aa....aa）でエラーが発生しました。

エラーの重要度によって，次のどれかの処置をとります。

- 処理を打ち切り，プロセスを異常終了させます。
- 処理を打ち切り，実行中サービスの呼び出し元へ返します。
- このまま処理を続行します。

対処

システムコール名と errno 値を基に，該当する OS のシステムコールリファレンスマニュアルで要因を調査してください。

KFCT75800-E

an exception occurred. code=aa....aa ExpAddr:bb....bb

aa....aa：例外コード

bb....bb：例外が発生したアドレス

説明

bb....bb の命令の実行中に，コード aa....aa の構造化例外が発生しました。

スタックトレースを取得して，処理を中断します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KFCT75999-E

aa....aa(bb....bb) killed by code=cc....cc

aa....aa：エラーを検出した内部処理コード

bb....bb：終了したプロセス ID

cc....cc：アボートコード（異常終了要因コード）

説明

異常が発生したため，CTM，PRF のサービスを終了しました。

エラーの重要度によって，次のどれかの処置をとります。

- CTM ドメインマネジャプロセスを異常終了させます。
- CTM デーモンプロセスを異常終了させます。
- CTM レギュレータプロセスを異常終了させます。
- OTM ゲートウェイプロセスを異常終了させます。
- PRF デーモンプロセスを異常終了させます。
- EJB クライアントアプリケーションプロセスを異常終了させます。
- J2EE サーバプロセスを異常終了させます。

対処

システム管理者に連絡してください。

異常終了要因コードを調査し，CTM，PRF または EJB のアプリケーションプログラムを再度開始してください。アボートコードについては，「19.5　アボートコード一覧」を参照してください。

KFCT76000-I

usage:ctmver -h | file_path

説明

ctmver コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンドの形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76001-I

usage:ctmjver -h | file_path

説明

ctmjver コマンドの使用方法を示します。

コマンドの形式が不正な場合，または-h オプションが指定された場合に出力します。コマンドの形式が不正だった場合は，コマンドをエラー終了します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76002-E

the memory allocation failed.

説明

メモリの割り当てに失敗しました。

処理を中断します。

対処

メモリが不足していないかどうかを確認してください。

不足している場合は，不要なプロセスを終了するか，または必要であればメモリを増やしてください。

KFCT76003-E

the setting of an environment variable is unreasonable. environment variable name:aa....aa

aa....aa：誤りがある環境変数名

説明

環境変数（aa....aa）の指定に誤りがあります。

処理を中断します。

対処

環境変数の指定に誤りがないかどうかを見直してください。

環境変数の指定を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76004-E

the specified file path is unreasonable. file path:aa....aa

aa....aa：誤りがあるファイルパス名

説明

ファイルパス（aa....aa）の指定に誤りがあります。

処理を中断します。

対処

指定したファイルパスに誤りがないかどうかを見直してください。

ファイルパスの指定を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76005-E

the specified file path is too long.

説明

指定されたファイルパスが長過ぎます。

処理を中断します。

対処

指定したファイルパスの文字列長が，255 バイトを超えていないかどうかを見直してください。

ファイルパスの指定を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76006-E

command argument is invalid.

説明

コマンドの引数の指定に誤りがあります。

処理を中断します。

対処

指定したオプションに誤りがないかどうかを見直してください。

指定オプションを修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76007-E

the specified file path doesn't exist. file path:aa....aa

aa....aa：指定されたファイルパス名

説明

指定されたファイルパス（aa....aa）がありません。

コマンドをエラー終了します。

対処

指定したファイルパスに誤りがないかどうかを見直してください。

ファイルパスの指定を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76008-E

the version information doesn't exist in the specified file path.

説明

指定されたファイルパスにバージョン情報がありません。

コマンドをエラー終了します。

対処

指定したファイルパスに誤りがないかどうかを見直してください。

ファイルパスの指定を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76009-E

permission denied. file path:aa....aa

aa....aa：指定されたファイルパス名

説明

指定されたファイルへのアクセス権限がありません。

コマンドをエラー終了します。

対処

指定したファイルパスのアクセス権を見直してください。

ファイルパスのアクセス権限を chmod コマンドで修正したあと，再度コマンドを実行してください。

KFCT76010-E

cannot get version information. reason code=aa....aa

aa....aa：要因コード

説明

バージョン情報取得中にエラーが発生しました。

コマンドをエラー終了します。

対処

aa....aa に示される要因コードに従って対処してください。aa....aa に示される要因コードと対処を次の表に示します。

表 19-39　KFCT76010-E に示される要因コード一覧

要因コード	説明	対処
1	環境変数「CTMDIR」の設定に誤りがあります。	環境変数「CTMDIR」を適当なものに修正してください。
2	インストールに失敗しています。	再インストールしてください。
3	環境変数「CTMDIR」の設定に誤りがあるか，またはインストールに失敗しています。	環境変数「CTMDIR」を適当なものに修正してください。または再インストールしてください。

KFCT76014-E

the wrong library was loaded. Name:aa...aa PP-No:bb...bb Version:cc...cc

aa....aa：ライブラリファイル名

bb....bb：製品形名

cc....cc：製品のバージョン

説明

不正なライブラリがローディングされました。

デーモンおよびコマンドの処理を中断します。

対処

インストール環境や環境変数の設定内容を見直してください。設定内容を修正したあと，再度コマンドを実行してください。

19.4　KFCT のメッセージの詳細情報

メッセージ「KFCT75499-E」で出力されるメッセージのエラーコード，場所コード，完了状態および内容コードについて説明します。

19.4.1　エラーコード一覧

KFCT75499-E が出力された場合のエラーの種類を示すエラーコードの一覧を次の表に示します。このメッセージは，CTM で出力されます。

表 19-40　エラーコード一覧

値	エラーコード	意味
1	BAD_PARAM	CORBA 例外を参照してください。
2	NO_MEMORY	
3	COMM_FAILURE	
4	NO_PERMISSION	
5	INTERNAL	
6	MARSHAL	
7	INITIALIZE	
8	NO_IMPLEMENT	
9	BAD_OPERATION	
10	NO_RESOURCES	
11	NO_RESPONSE	
12	BAD_INV_ORDER	
13	TRANSIENT	
14	OBJECT_NOT_EXISTS	
15	UNKNOWN	
16	INV_OBJREF	
17	IMP_LIMIT	
18	BAD_TYPECODE	
19	PERSIST_STORE	
20	FREE_MEM	
21	INV_IDENT	
22	INV_FLAG	
23	INTF_REPOS	
24	BAD_CONTEXT	

値	エラーコード	意味
25	OBJ_ADAPTER	CORBA 例外を参照してください。
26	DATA_CONVERSION	
27	TRANSACTION_REQUIRED	
28	TRANSACTION_ROLLEDBACK	
29	INVALID_TRANSACTION	
30	INV_POLICY	
31	CODESET_INCOMPATIBLE	
32	REBIND	
33	TIMEOUT	
34	TRANSACTION_UNAVAILABLE	
35	TRANSACTION_MODE	
36	BAD_QOS	

19.4.2　場所コード一覧

場所コードは，CTM で障害が発生した場所を示す値です。場所コード一覧を次の表に示します。

表 19-41　場所コード一覧

値	場所コード	場所
1	PLACE_CODE_USER_AP	J2EE アプリケーション
2	PLACE_CODE_SERV	J2EE サーバ
3	PLACE_CODE_DAEMON	CTM デーモン
4	PLACE_CODE_CLNT	CTM のクライアント機能
9	PLACE_CODE_EJBREG	CTM レギュレータ

19.4.3　完了状態一覧

完了状態は，障害が発生したときにメソッドの呼び出しが完了しているかどうかを示す値です。完了状態一覧を次の表に示します。

表 19-42　完了状態一覧

値	完了状態	説明
-1	COMPLETED_NO	メソッド呼び出しが完了していません。
0	COMPLETED_MAYBE	メソッド呼び出しの完了状態を決定できません。
1	COMPLETED_YES	メソッド呼び出しが完了しています。

19.4.4　内容コード一覧

CTM の例外で使用する内容コードについて，定数値の順に説明します。なお，角括弧内［ ］は該当する処理または個所を表します。

(1)　1000 から 1999 までの内容コード

1001　INVALID_TIMEOUT

障害内容

指定したタイムアウト値が不正です。

開発時の対策

EJB クライアントや J2EE サーバで指定したタイムアウト値を確認し，規定の監視時間を指定してください。

1998　TPBROKER_BAD_PARAM

障害内容

［CORBA メソッド］

CORBA::BAD_PARAM の例外通知を受けました。

(2)　2000 から 2999 までの内容コード

2001　MEM_ALLOC_FAILURE

障害内容

メモリ確保に失敗しました。

［EJB メソッドの呼び出し］

EJB メソッドの処理が完了しているおそれがあります。

［そのほかのシステム提供メソッドの呼び出し］

システム提供メソッドの処理が完了しているおそれがあります。

開発時の対策

［処理の終了］

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

場所コードで示される部分でメモリの確保に失敗しました。CTM のシステムを終了してください。CTM のシステムを終了したら，プロセス単位またはシステム全体で確保できる最大ユーザメモリサイズを変更し，再度，システムを開始してください。

2998　TPBROKER_NO_MEMORY

障害内容

［CORBA メソッド］

CORBA::NO_MEMORY の例外通知を受けました。

(3)　3000 から 3999 までの内容コード

3004　SEND_CLNT_FAILURE

障害内容

CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイと，CTM デーモン間の通信中に障害が発生しました。ただし，EJB メソッドの呼び出しは完了しているおそれがあります。

開発時の対策

［EJB メソッドの呼び出し］

CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイから CTM デーモンへの接続が切断されているおそれがあります。EJB ホームの create 処理から，し直してください。

運用時の対策

［CTM レギュレータの再開始］

CTM デーモンが開始していることを確認してから，再度，CTM レギュレータを開始してください。

［OTM ゲートウェイの再開始］

CTM デーモンが開始していることを確認してから，再度，OTM ゲートウェイを開始してください。

3006　SEND_SERV_FAILURE

障害内容

CTM デーモンと J2EE サーバ間の通信中に障害が発生しました。ただし，EJB メソッドの呼び出しは完了しているおそれがあります。

開発時の対策

［EJB メソッドの呼び出し］

再度，EJB オブジェクトを呼び出してください。ただし，前回の EJB メソッドの呼び出しは完了しているおそれがあります。また，OTM 呼び出しの場合，次の項目についても確認してください。

- TSC プロキシ作成時に JNDI ルックアップ名称を指定しているかどうか
- セッション呼び出しを実施していないかどうか

運用時の対策

［J2EE サーバの再開始］

CTM デーモンが開始されていることを確認してから，再度，J2EE サーバを開始してください。なお，バッチアプリケーションを実行するシステムでは，J2EE サーバはバッチサーバとなります。

3007　SEND_DAEMON_FAILURE

障害内容

CTM デーモン間の通信中に障害が発生しました。ただし，EJB メソッドの呼び出しは完了しているおそれがあります。

開発時の対策

［EJB メソッドの呼び出し］

再度，EJB オブジェクトを呼び出してください。ただし，前回の EJB メソッドの呼び出しは完了しているおそれがあります。

運用時の対策

［CTM デーモンの確認］

同じ CTM ドメイン内の CTM デーモンが開始していることを確認してください。CTM デーモンが開始していない場合，CORBA ネーミングサービスの開始から，し直したあと，EJB メソッドを呼び出してください。

3008　SEND_REPLY_FAILURE

障害内容

CTM デーモンから CTM レギュレータ，ORB ゲートウェイ，または OTM ゲートウェイへの通信中に障害が発生しました。ただし，EJB アプリケーションの呼び出しは完了している可能性があります。

運用時の対策

CTM レギュレータ，OTM ゲートウェイが開始されているか確認してください。

3009　BASIC_CONN_FAILURE

障害内容

通信先の CTM デーモンが見つかりませんでした。

運用時の対策

[osagent の確認]

osagent が開始されているかどうかを確認してください。

[環境変数の確認]

osagent，CTM のプロセス，および J2EE サーバの OSAGENT_PORT 環境変数が一致しているかどうかを確認してください。

[CTM デーモンの確認]

接続する CTM デーモンが開始されているかどうかを確認してください。

[その他]

J2EE サーバの ejbserver.ctm.CTMDomain または ejbserver.ctm.CTMID プロパティの指定を確認してください。

3010　CONN_FAILURE

障害内容

通信路の接続に失敗しました。

[J2EE サーバの開始]

J2EE サーバと CTM デーモンの接続の過程で障害が発生しました。

[CTM レギュレータの開始]

CTM レギュレータと CTM デーモンの接続の過程で障害が発生しました。

[OTM ゲートウェイの開始]

OTM ゲートウェイと CTM デーモンの接続の過程で障害が発生しました。

[J2EE アプリケーションの開始]

CTM キューの活性化の過程で通信障害が発生しました。

[J2EE アプリケーションの停止]

CTM キューの閉塞（非活性化）の過程で通信障害が発生しました。

[J2EE サーバの終了]

J2EE サーバと CTM デーモンの切断の過程で障害が発生しました。

[CTM レギュレータの終了]

CTM レギュレータと CTM デーモンの切断の過程で障害が発生しました。

運用時の対策

[最大コネクション数（ファイルディスクリプタ数）の確認]

プロセス単位で確立できる最大コネクション数，または取得できるファイルディスクリプタ数を超えて，コネクションを確立しようとしたおそれがあります。CTM のシステムを終了してください。そのあと，プロセス単位で確立できる最大コネクション数，または取得できるファイルディスクリプタ数の上限を変更し，再度，システムを開始してください。

[CTM デーモンの確認]

J2EE アプリケーションの停止でこの例外が発生した場合，CTM キューの閉塞処理が完了していないため，J2EE アプリケーションが開始できないおそれがあります。J2EE サーバを終了させ，CTM デーモンが開始していることを確認してから，再度，J2EE サーバを開始してください。

3011　INCOMPATIBLE_PROTOCOL

障害内容

CTM の通信プロトコルで，バージョンの不一致がありました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

同じ CTM ドメインに含まれる CTM のプログラムにバージョンの不一致があります。確認してください。

3012　NOT_IGNORE_PROTOCOL

障害内容

[EJB メソッドの呼び出し]

CTM の一部の機能についてバージョンの不一致があり処理できません。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

一部の機能について，場所コードで示されるプロセスのバージョンが，ほかのプロセスのバージョンと不一致です。確認してください。

3013　ACTIVATE_TIMED_OUT

障害内容

J2EE アプリケーションの開始処理でタイムアウトが発生しました。

運用時の対策

ejbserver.ctm.ActivateTimeOut の値を見直し，再度，J2EE サーバを開始してください。

3014　DEACTIVATE_TIMED_OUT

障害内容

J2EE アプリケーションの停止処理でタイムアウトが発生しました。

開発時の対策

EJB 業務のリクエスト処理が完了するのを待ち合わせるため，PRF などで実行状態を確認してください。

運用時の対策

[J2EE サーバの終了]

CTM キューの閉塞処理が完了していないため，J2EE アプリケーションが開始できなくなるおそれがあります。J2EE サーバを終了させ，再度，J2EE サーバを開始してください。

3015　CLNT_CONN_TIMED_OUT

障害内容

ORB ゲートウェイの開始処理でタイムアウトが発生しました。

運用時の対策

J2EE アプリケーションを開始する前に ORB ゲートウェイを開始してください。

3016　CLNT_DISCONN_TIMED_OUT

障害内容

ORB ゲートウェイの終了処理でタイムアウトが発生しました。

運用時の対策

複数の ORB ゲートウェイを同時に開始または終了しないでください。

3017　SERV_CONN_TIMED_OUT

障害内容

J2EE アプリケーションの起動時にタイムアウトが発生しました。

運用時の対策

[J2EE アプリケーションの再起動]

J2EE アプリケーションを再度起動してください。

エラーが多発する場合は，内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，システム管理者に連絡してください。

3018　SERV_DISCONN_TIMED_OUT

障害内容

J2EE アプリケーションの停止にタイムアウトが発生しました。

運用時の対策

[CTM デーモンの再起動]

CTM デーモンを再起動してください。

エラーが多発する場合は，内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，システム管理者に連絡してください。

3021　DEACTIVATE_FAILURE

障害内容

J2EE アプリケーションの停止処理中にエラーが発生しました。次の要因が考えられます。

- J2EE アプリケーションが実行中で正常に閉塞ができない。
- 通信処理中に CTM デーモンで通信障害が発生しました。
- 通信処理中に CTM デーモンでタイムアウトを検知しました。

運用時の対策

[J2EE サーバの終了]

エラーの詳細については，メッセージ「KFCT75122-E」を参照してください。CTM キューの閉塞処理が完了していないため，J2EE アプリケーションが開始できなくなるおそれがあります。J2EE サーバを終了させ，再度，J2EE サーバを開始してください。

3022　SEND_INS_FAILURE

障害内容

CORBA ネーミングサービスへの登録，または削除に失敗しました。

運用時の対策

[CORBA ネーミングサービスの確認]

CORBA ネーミングサービスが開始していることを確認してから，再度，J2EE アプリケーションを開始してください。

CORBA ネーミングサービスの情報が不整合となった場合，J2EE アプリケーションを開始できません。COBRA ネーミングサービスと CTM デーモンを終了させ，COBRA ネーミングサービスの開始から，し直してください。

3998　TPBROKER_COMM_FAILURE

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::COMM_FAILURE の例外通知を受けました。

(4)　4000 から 4999 までの内容コード

4001　CALL_IN_HOLD

障害内容

次の要因が考えられます。

- 該当する EJB オブジェクトが提供するサービスが閉塞中です。
- J2EE サーバが異常終了しました。

開発時の対策

[リトライ（閉塞解除できる場合）]

再度，EJB メソッドを呼び出してください。

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

該当する EJB オブジェクトが提供するサービスが閉塞中の場合は，それらのサービスを閉塞解除してから，再度，EJB メソッドを呼び出してください。

J2EE サーバが異常終了している場合は，必要に応じて J2EE サーバを再開始してから，再度，EJB メソッドを呼び出してください。

4005　SERV_CONN_IN_END

障害内容

CTM デーモンの終了処理中に J2EE サーバを開始しました。

運用時の対策

[CTM デーモンの再開始]

CTM デーモンを再開始したあと，J2EE サーバの開始から，し直してください。

4007　CLNT_CONN_IN_END

障害内容

CTM デーモンの終了処理中に CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイを開始しました。

運用時の対策

[CTM デーモンの再開始]

CTM デーモンを再開始したあと，CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイの開始から，し直してください。

4009　CALL_IN_END

障害内容

CTM デーモン終了処理中に EJB オブジェクトを呼び出しました。EJB メソッドの呼び出しは完了していません。

開発時の対策

[リトライ（CORBA ネーミングサービス）]

ほかの CTM デーモンを検索するため，JNDI の Lookup 処理から，し直してください。

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

[CTM デーモンの再開始]

CTM デーモンを再開始したあと， JNDI の Lookup 処理から，し直してください。

4011　SERV_CONN_IN_START

障害内容

CTM デーモンの開始処理中に J2EE サーバを開始しました。

運用時の対策

［CTM デーモンの確認］

CTM デーモンが開始していることを確認してから，再度，J2EE サーバを開始してください。

4012　CLNT_CONN_IN_START

障害内容

CTM デーモンの開始処理中に CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイを開始しました。

運用時の対策

［CTM デーモンの確認］

CTM デーモンが開始していることを確認してから，再度，CTM レギュレータまたは OTM ゲートウェイを開始してください。

4013　CTMD_IS_NOT_MY_HOST

障害内容

J2EE アプリケーションを CTM デーモンとは異なるホストで開始しました。

運用時の対策

［再開始］

J2EE アプリケーションと CTM デーモンを同一ホストで起動してください。

4015　NOT_SUPPORTED

障害内容

機能をサポートしていません。

［EJB ホームの create］

ステートレスセッション Bean の EJB ホームに対して，create 以外のメソッドが発行されました。

開発時の対策

［リトライ（EJB ホームの create）］

EJB ホームに対して，create 以外のメソッドを発行していないかどうかを確認してから，し直してください。

［処理の終了］

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

［上記以外］

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得して，システム管理者に連絡してください。

4016　ACTIVATE_IN_START

障害内容

CTM デーモンの開始中に J2EE アプリケーションの開始が実行されました。

運用時の対策

CTM デーモンが開始したあと，J2EE アプリケーションまたは J2EE サーバを再開始してください。

4018　DEACTIVATE_IN_END

障害内容

CTM デーモンの終了中に J2EE アプリケーションの停止が実行されました。

運用時の対策

CTM デーモンを終了する前に，J2EE アプリケーションまたは J2EE サーバを終了してください。

4020　CLNT_DISCONN_IN_END

障害内容

CTM デーモンの終了中に ORB ゲートウェイを終了しようとしました。

運用時の対策

CTM デーモンを終了する前に，ORB ゲートウェイを終了してください。

4022　ACTIVATE_WITH_DIFF_PROP

障害内容

すでに同じ CTM キュー名称で登録されている J2EE アプリケーションが提供する EJB オブジェクトの種類が一致しません。

開発時の対策

[J2EE アプリケーションの確認]

CTM キュー名称を変更するか，CTM キューを共有する場合は，J2EE アプリケーションに登録する EJB オブジェクトの種類を一致させてください。

4035　INVALID_NAME_PAIR

障害内容

INS 登録名称とインタフェース名称の組み合わせが，すでに登録されている組み合わせと異なります。

開発時の対策

[J2EE アプリケーションの定義変更]

J2EE アプリケーションに登録されている EJB オブジェクトのインタフェース名称と INS 登録名称の組み合わせについて確認したあと，再度，J2EE アプリケーションを開始してください。

4037　QUEUE_IS_ACTIVE

障害内容

指定された CTM キューはすでに活性化状態です。

運用時の対策

[J2EE サーバの終了]

J2EE アプリケーションの停止処理で CTM キューを正常に閉塞できていないおそれがあります。J2EE サーバを終了させ，再度，J2EE サーバを開始してください。

4039　ACTIVATE_WITH_UNMATCH_QUEUE

障害内容

共有できない種類のスケジュールキューを活性化しています。

運用時の対策

［スケジュールキューの確認］

CTM キュー名称を変更するか，スケジュールキューを共有する場合は，活性化するスケジュールキューの種類を一致させてください。

4040　CALL_IN_BATCH_QUEUE

障害内容

バッチサーバへのリクエスト以外をバッチ用のスケジュールキューに登録できません。

運用時の対策

［J2EE アプリケーションの開始］

リクエストを受け付け可能なスケジュールキューを提供する J2EE アプリケーションを開始したあと，再度，EJB オブジェクトのユーザメソッドを呼び出す処理を実行してください。

4041　INVALID_JOB_ID

障害内容

受け付けたバッチアプリケーションのジョブ ID はすでに使用されています。

運用時の対策

［ジョブの再実行］

cjexecjob（バッチアプリケーションの実行）コマンドで指定するジョブ ID を変更して，再度，cjexecjob コマンドを実行してください。

4998　TPBROKER_NO_PERMISSION

障害内容

［CORBA メソッド］

CORBA::NO_PERMISSION の例外通知を受けました。

(5)　5000 から 5999 までの内容コード

5001　PROPERTIES_FAILURE

障害内容

プロパティ定義の解析中に障害が発生しました。

開発時の対策

［処理の終了］

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，システム管理者に連絡してください。

5002　MSG_TYPE_FAILURE

障害内容

通信プロトコルの処理中に障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，システム管理者に連絡してください。

5003　MUTEX_FAILURE

障害内容

排他制御の処理で障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

場所コードで示される部分でメモリが不足しているおそれがあります。CTM のシステムを終了してください。そのあと，プロセス単位の最大ユーザメモリサイズを大きくして，再度，システムを開始してください。

5004　SIG_COND_FAILURE

障害内容

排他制御付きスレッド間通信の処理で障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

場所コードで示される部分でメモリが不足しているおそれがあります。CTM のシステムを終了してください。そのあと，プロセス単位の最大ユーザメモリサイズを大きくして，再度，システムを開始してください。

5005　EVENT_FAILURE

障害内容

スレッド間通信の処理で障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

場所コードで示される部分でメモリが不足しているおそれがあります。CTM のシステムを終了してください。そのあと，プロセス単位の最大ユーザメモリサイズを大きくして，再度，システムを開始してください。

5006　SH_MEM_FAILURE

障害内容

共有メモリの初期化処理で障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

CTMSPOOL 環境変数と CTM ドメイン名称の関係が正しいかどうかを確認してください。また，ctmstart コマンドの-CTMServerCacheSize オプション引数の指定値が正しいかどうかを確認してください。

5007　THREAD_CREATE_FAILURE

障害内容

スレッド生成の処理中に障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

プロセス単位の最大スレッド数の上限を超えて，スレッドを生成しようとしました。プロセス単位のスレッド数の上限を大きくしてください。

5008　TSD_FAILURE

障害内容

スレッド固有メモリの初期化処理で障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

場所コードで示される部分でメモリが不足しているおそれがあります。CTM のシステムを終了してください。そのあと，プロセス単位の最大ユーザメモリサイズを大きくして，再度，システムを開始してください。

5011　CONN_INFO_FAILURE

障害内容

コネクション識別子の取得に失敗しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

場所コードで示される部分でメモリが不足しているおそれがあります。CTM のシステムを終了してください。そのあと，プロセス単位の最大ユーザメモリサイズを大きくして，再度，システムを開始してください。

5998　TPBROKER_INTERNAL

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::INTERNAL の例外通知を受けました。

5999　PROGRAM_ERROR

障害内容

CTM のシステム内で，そのほかの障害が発生しました。

開発時の対策

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。また，EJB クライアントアプリケーションまたは J2EE サーバのプロセスを終了させてください。

運用時の対策

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，システム管理者に連絡してください。

(6)　6000 から 6999 までの内容コード

6998　TPBROKER_MARSHAL

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::MARSHAL の例外通知を受けました。

(7)　7000 から 7999 までの内容コード

7005　LOAD_SHLIB_FAILURE

障害内容

共有ライブラリの読み込みに失敗しました。

運用時の対策

ライブラリパス環境変数が正しく設定されているか確認してください。

7006　INVALID_DEF_CTMID

障害内容

プロパティ ejbserver.ctm.CTMID に指定した CTM 識別子が不正です。

運用時の対策

プロパティ ejbserver.ctm.CTMID に，規定の CTM 識別子（1～31 文字の英数字）を指定してください。

7007　INVALID_DEF_DOMAIN_NAME

障害内容

プロパティ ejbserver.ctm.CTMDomain に指定した CTM ドメイン名称が不正です。

運用時の対策

プロパティ ejbserver.ctm.CTMDomain に，規定の CTM ドメイン名称（1～31 文字の英数字）を指定してください。

7009　INVALID_ENV_CTMDIR

障害内容

CTMDIR 環境変数または CTMSPOOL 環境変数が不正です。

運用時の対策

CTM がインストールされているディレクトリを CTMDIR 環境変数に指定してください。または CTMSPOOL ディレクトリがあるかどうか，アクセス権限があるかどうかを確認してください。

7020　INVALID_DEF_MY_HOST

障害内容

プロパティ ejbserver.ctm.CTMMyHost に指定したホスト名称または IP アドレスが不正です。

運用時の対策

プロパティ ejbserver.ctm.CTMMyHost に規定のホスト名称または IP アドレス（1～64 文字の文字列）を指定してください。

7032　INVALID_DEF_ACTIVATE_TIMEOUT

障害内容

J2EE アプリケーションの活性化処理タイムアウトを設定するプロパティ（ejbserver.ctm.ActivateTimeOut）に指定した値が不正です。

運用時の対策

[J2EE サーバの再開始]

プロパティに指定したタイムアウト値を確認し，規定の監視時間を指定して，J2EE サーバを再開始してください。

7033　INVALID_DEF_DEACTIVATE_TIMEOUT

障害内容

J2EE アプリケーションの非活性化処理タイムアウトを設定するプロパティ（ejbserver.ctm.DeactivateTimeOut）に指定した値が不正です。

運用時の対策

[J2EE サーバの再開始]

プロパティに指定したタイムアウト値を確認し，規定の監視時間を指定して，J2EE サーバを再開始してください。

7040　INVALID_DEF_QUEUE_LENGTH

障害内容

プロパティ ejbserver.ctm.QueueLength で指定した CTM キューの長さが不正です。

運用時の対策

J2EE サーバのプロパティで指定した CTM キューの長さを見直し，規定の CTM キューの長さを指定してください。

7998　TPBROKER_INITIALIZE

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::INITIALIZE の例外通知を受けました。

(8)　8000 から 8999 までの内容コード

8001　NO_SUCH_INTERF

障害内容

クライアントから EJB ホームまたは EJB オブジェクトを呼び出しましたが，J2EE アプリケーションが開始されていません。そのため，該当する EJB オブジェクト呼び出しに失敗しました。

開発時の対策

[リトライ（EJB メソッドの呼び出し）]

該当するインタフェースの EJB オブジェクトを提供する J2EE アプリケーションを開始させたあと，再度，EJB オブジェクトを呼び出してください。

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，EJB オブジェクト呼び出しを終了してください。

運用時の対策

[J2EE アプリケーションの開始]

該当するインタフェースの EJB オブジェクトを提供する J2EE アプリケーションを開始させたあと，再度，EJB オブジェクトのユーザメソッドを呼び出す処理をしてください。

[環境設定の確認]

CTM ドメインマネジャの環境設定に誤りがないかどうかを確認し，再度，EJB オブジェクトを呼び出してください。次に示す環境設定に誤りがあるおそれがあります。

- OSAGENT_PORT 環境変数の指定値
- コマンドオプション引数-CTMDomain の指定値
- コマンドオプション引数-CTMPort の指定値
- コマンドオプション引数-CTMSendInterval の指定値

8002　NO_SUCH_NAME

障害内容

クライアントから，EJB オブジェクトを呼び出しましたが，同じインタフェース名称で，かつ，同じ INS 登録名称の EJB オブジェクトを提供する J2EE アプリケーションが開始されていません。そのため，該当する EJB オブジェクト呼び出しは失敗しました。

開発時の対策

[リトライ（EJB メソッドの呼び出し）]

該当するインタフェース名称，INS 登録名称の EJB オブジェクトを提供する J2EE アプリケーションを開始させたあと，再度，EJB オブジェクトを呼び出してください。

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，EJB オブジェクト呼び出しを終了してください。

運用時の対策

該当するインタフェース名称，および INS 登録名称の EJB オブジェクトを開始させたあと，再度，EJB メソッドを呼び出す処理を実行してください。

8003　NO_SUCH_REGLTD

障害内容

クライアントから，EJB オブジェクトを呼び出しましたが，J2EE アプリケーションを開始した CTM デーモンに CTM レギュレータが開始されていません。そのため，該当する EJB オブジェクト呼び出しは失敗しました。

開発時の対策

[リトライ（EJB ホームの create）]

J2EE アプリケーションを開始する CTM デーモンに CTM レギュレータおよび J2EE サーバを開始したあと，再度，EJB ホームに対して，create メソッドを呼び出してください。

[処理の終了]

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，EJB オブジェクト呼び出しを終了してください。

運用時の対策

[CTM レギュレータの確認]

J2EE アプリケーションを開始した CTM デーモンに CTM レギュレータが開始していることを確認してください。CTM レギュレータが開始していない場合，CTM レギュレータを開始したあと，再度，EJB メソッドを呼び出す処理を実行してください。

8998　TPBROKER_NO_IMPLEMENT

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::NO_IMPLEMENT の例外通知を受けました。

(9)　9000 から 9999 までの内容コード

9998　TPBROKER_BAD_OPERATION

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::BAD_OPERATION の例外通知を受けました。

(10)　10000 から 10999 までの内容コード

10001　OVER_MAX_CLNT

障害内容

[CTM レギュレータの開始]

CTM レギュレータの数が，CTM デーモンのコマンドオプション引数-CTMClientConnectCount で指定した値を超えました。

[OTM ゲートウェイの開始]

OTM ゲートウェイの数が，CTM デーモンのコマンドオプション引数-CTMClientConnectCount で指定した値を超えました。

運用時の対策

[定義の変更]

CTM デーモンを終了後，コマンドオプション引数-CTMClientConnectCount の値を増加させて，再度，開始してください。

10002　OVER_MAX_SERV

障害内容

[J2EE サーバの開始]

CTM デーモンに接続する J2EE サーバの数が，CTM デーモンのコマンドオプション引数-CTMServerConnectCount で指定した値を超えました。

運用時の対策

[定義の変更]

CTM デーモンを終了後，コマンドオプション引数-CTMServerConnectCount の値を増加させて，再度，開始してください。

10006　OVER_ADM_MAX_SERV

障害内容

[J2EE サーバの開始]

CTM デーモンに管理されるプロセス数が，CTM デーモンのコマンドオプション引数-CTMEntryCount で指定した値を超えました。

運用時の対策

[定義の変更]

CTM デーモンを終了後，コマンドオプション引数-CTMEntryCount（省略している場合は-CTMServerConnectCount）の値を増加させて，再度，開始してください。

10007　OVER_MAX_QUEUE

障害内容

[J2EE アプリケーションの開始]

CTM デーモンに登録する CTM キュー数が，CTM デーモンのコマンドオプション引数-CTMQueueCount または-CTMQueueRegistCount に指定した値を超えました。

運用時の対策

[定義の変更]

CTM デーモンを終了後，コマンドオプション引数-CTMQueueCount，または-CTMQueueRegistCount の値を増加させて，再度，開始してください。

10008　OVER_MAX_THIN_CLIENT

障害内容

[EJB メソッドの呼び出し]

CTM レギュレータ，ORB ゲートウェイ，または OTM ゲートウェイに接続するクライアントの数が，-CTMClientConnectCount オプション引数で指定した値を超えました。

運用時の対策

CTM レギュレータ，ORB ゲートウェイ，または OTM ゲートウェイのプロセス数を増やすか，-CTMClientConnectCount オプションの指定値を見直して再開始してください。

10009　OVER_MAX_DISPATCH_PARALLEL

障害内容

[J2EE アプリケーションの開始]

CTM デーモンに登録する CTM キューのパラレルカウント（常駐スレッド数）の和が，CTM デーモンのコマンドオプション引数-CTMDispatchParallelCount で指定した値を超えました。

運用時の対策

[定義の変更]

CTM デーモンを終了後，コマンドオプション引数-CTMDispatchParallelCount の値を増加させて，再度，開始してください。

10010　OVER_MAX_REQUEST_COUNT

障害内容

[EJB メソッドの呼び出し]

クライアントから呼び出したインタフェースの EJB オブジェクトを提供する J2EE アプリケーションの，スケジュールキューの最大値を超えました。

開発時の対策

［リトライ］

再度，EJB オブジェクトを呼び出してください。スケジュールキューに空きがあるおそれがあります。

長時間連続して発生する場合は，該当するインタフェースの EJB オブジェクトを提供する J2EE アプリケーションのパラレルカウント，または J2EE サーバのプロセス数を増加してください。

［処理を終了］

内容コード，場所コード，完了状態，および保守コード 1～4 を取得し，CTM の処理を終了してください。

運用時の対策

［定義の変更］

該当するインタフェース名称と同じ EJB オブジェクトを持つ J2EE アプリケーションを増加するか，J2EE アプリケーションのパラレルカウント数を増加させて，再度，J2EE アプリケーションを開始してください。

10998　TPBROKER_NO_RESOURCES

障害内容

［CORBA メソッド］

CORBA::NO_RESOURCES の例外通知を受けました。

(11)　11000 から 11999 までの内容コード

11001　TIMED_OUT

障害内容

［EJB メソッドの呼び出し］

EJB オブジェクトのユーザメソッド呼び出しの応答が，監視時間を超えても戻りません。EJB オブジェクトのユーザメソッドの呼び出しは完了しているおそれがあります。

11003　CANCEL_BATCH_REQUEST

障害内容

cjkilljob（バッチアプリケーションの停止またはバッチサーバの強制停止）コマンドによって，スケジュールキューに待機中のバッチアプリケーションのリクエストを実行しませんでした。

11998　TPBROKER_NO_RESPONSE

障害内容

［CORBA メソッド］

CORBA::NO_RESPONSE の例外通知を受けました。

(12)　12000 から 12999 までの内容コード

12002　ALREADY_ACTIVE

障害内容

[J2EE アプリケーションの開始]

すでに J2EE アプリケーションは開始されており，CTM キューは活性化状態です。

運用時の対策

[J2EE サーバの終了]

J2EE アプリケーションの停止処理で CTM キューを正常に閉塞できていないおそれがあります。J2EE サーバを終了させ，再度，J2EE サーバを開始してください。

12015　DUPLICATE_QUEUE_NAME

障害内容

同じ CTM キュー名称の J2EE アプリケーションがすでに登録されています。

開発時の対策

[CTM キュー名称の変更]

J2EE アプリケーションの CTM キュー名称を J2EE サーバ内で一意になるように設定してください。

12998　TPBROKER_BAD_INV_ORDER

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::BAD_INV_ORDER の例外通知を受けました。

(13)　13000 以降の内容コード

13998　TPBROKER_TRANSIENT

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::TRANSIENT の例外通知を受けました。

14998　TPBROKER_OBJECT_NOT_EXIST

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::OBJECT_NOT_EXIST の例外通知を受けました。

15998　TPBROKER_UNKNOWN

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::UNKNOWN の例外通知を受けました。

16998　TPBROKER_INV_OBJREF

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::INV_OBJREF の例外通知を受けました。

17998　TPBROKER_IMP_LIMIT

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::IMPLIMIT の例外通知を受けました。

18998　TPBROKER_BAD_TYPECODE

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::BAD_TYPECODE の例外通知を受けました。

19998　TPBROKER_PERSIST_STORE

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::PERSIST_STORE の例外通知を受けました。

20998　TPBROKER_FREE_MEM

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::FREE_MEM の例外通知を受けました。

21998　TPBROKER_INV_IDENT

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::INV_IDENT の例外通知を受けました。

22998　TPBROKER_INV_FLAG

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::INV_FLAG の例外通知を受けました。

23998　TPBROKER_INTF_REPOS

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::INTF_REPOS の例外通知を受けました。

24998　TPBROKER_BAD_CONTEXT

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::BAD_CONTEXT の例外通知を受けました。

25998　TPBROKER_OBJ_ADAPTER

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::OBJ_ADAPTER の例外通知を受けました。

26998　TPBROKER_DATA_CONVERSION

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA::DATA_CONVERSION の例外通知を受けました。

27998　TPBROKER_ TRANSACTION_REQUIRED

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: TRANSACTION_REQUIRED の例外通知を受けました。

28998　TPBROKER_ TRANSACTION_ROLLEDBACK

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: TRANSACTION_ROLLEDBACK の例外通知を受けました。

29998　TPBROKER_ INVALID_TRANSACTION

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: INVALID_TRANSACTION の例外通知を受けました。

30998　TPBROKER_ INV_POLICY

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: INV_POLICY の例外通知を受けました。

31998　TPBROKER_ CODESET_INCOMPATIBLE

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: CODESET_INCOMPATIBLE の例外通知を受けました。

32998　TPBROKER_ REBIND

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: REBIND の例外通知を受けました。

33998　TPBROKER_ TIMEOUT

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: TIMEOUT の例外通知を受けました。

34998　TPBROKER_ TRANSACTION_UNAVAILABLE

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: TRANSACTION_UNAVAILABLE の例外通知を受けました。

35998　TPBROKER_ TRANSACTION_MODE

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: TRANSACTION_MODE の例外通知を受けました。

36998　TPBROKER_ BAD_QOS

障害内容

[CORBA メソッド]

CORBA:: BAD_QOS の例外通知を受けました。

19.5　アボートコード一覧

CTM，PRF のメッセージが出力するアボートコードについて，コード順に次の表に示します。表にないアボートコードが出力された場合は，core ファイルを取得して，保守員に連絡してください。

表 19-43　アボートコード一覧

アボートコード	要因	対処
bCo003 bCo011 bCo023 bCo024 bSh001 bSh003 bSh004 bSh007 bSh011 bSh024 bSh030 bSh033 bSh042	メモリ不足が発生しました。	メモリを見積もり直してください。
eEVT001～eEVT999	コネクション切断処理中に，同期制御でエラーが発生しました。	TPBroker および CTM のログを採取後，CTM のプロセスを再起動してください。 引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
eFLK001～eFLK999	コネクション切断処理中に，排他確保に失敗しました。	動作中のメモリ不足が考えられます。動作環境のメモリを増やしてください。 引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
eFPM001～eFPM999	CTM デーモン内で，メモリ不足が発生しました。	メモリを見積もり直して，再度実行してください。
eNPM001～eNPM999	通信処理中に，メモリ不足が発生しました。	メモリを見積もり直して，再度実行してください。
eULK001～eULK999	CTM デーモン内で，排他解放に失敗しました。	動作中のメモリ不足が考えられます。動作環境のメモリを増やしてください。 引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
eCNM001～eCNM999	メモリ不足が発生しました。	メモリを見積もり直して，再度実行してください。
eCUL001～eCUL999	排他解放に失敗しました。	動作中のメモリ不足が考えられます。動作環境のメモリを増やしてください。

アボートコード	要因	対処
eCUL001～eCUL999	排他解放に失敗しました。	引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
eCFL001～eCFL999	排他処理に失敗しました。	動作中のメモリ不足が考えられます。動作環境のメモリを増やしてください。 引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
eCEV001～eCEV999	コネクション切断を検知しました。	TPBroker および CTM のログを採取後，CTM のプロセスが起動しているかを確認してください。起動していない場合は起動してください。 引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
r000000～r001900	排他確保処理，または解放処理でエラーが発生しました。	プロセス固有メモリ不足が発生している可能性があります。メモリ不足が発生している場合は，メモリサイズを見直してください。 繰り返しエラーが発生する場合は，保守員に連絡してください。
r002000	コネクション切断を検知しました。	TPBroker および CTM のログを採取後，CTM のプロセスが起動しているかを確認してください。起動していない場合は起動してください。 引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
s000002 s002000 s002001 s003000 s003001 s004000 s004001 s008000～s008010	排他確保処理，または解放処理でエラーが発生しました。	プロセス固有メモリ不足が発生している可能性があります。メモリ不足が発生している場合は，再度メモリを見直してください。 繰り返しエラーが発生する場合は，保守員に連絡してください。
s005000	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。 繰り返しエラーが発生する場合は，保守員に連絡してください。
s007000	スケジュールキュー滞留監視機能によって，処理率の低下が検出されました。	PRF トレースファイルと稼働統計情報ファイルを参照して，処理ができない要因を洗い出すか，キュー滞留監視設定を見直してください。
uFPM001～uFPM999	メモリ不足が発生しました。	メモリを見積もり直して，再度実行してください。
uLCK001～uLCK999	排他確保に失敗しました。	動作中のメモリ不足が考えられます。動作環境のメモリを増やしてください。

アボートコード	要因	対処
uLCK001～uLCK999	排他確保に失敗しました。	引き続きエラーが多発する場合は，保守員に連絡してください。
uNPM001～uNPM999	メモリ不足が発生しました。	メモリを見積もり直して，再度実行してください。
tnad01	メモリ不足が発生しました。	メモリサイズを見直してください。 繰り返しエラーが発生する場合は，保守員に連絡してください。
Wshm02	Windows で共用メモリとして使用するファイルの作成に失敗しました。	環境変数「PRFSPOOL」または環境変数「CTMSPOOL」にディスク容量が十分あるかどうかを確認してください。

20 KFDB（DABroker Library が出力するメッセージ）

この章では，DABroker Library が出力するメッセージのうち，KFDB で始まるメッセージについて説明します。

20.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KFDBnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KFDBnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KFDB

DABroker Library が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

DABroker Library で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

Q（Question）

出力したメッセージに対して，ユーザの応答を通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，ユーザの応答を待ちます。

R（Request）

出力メッセージに対するユーザからの応答を待っていることを通知するメッセージです。

メッセージテキスト

DABroker Library が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因や DABroker Library の動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

20.2　KFDB で始まるメッセージ

DABroker Library が出力する KFDB001DB から KFDB302NM までのメッセージについて説明します。

KFDB001DB-E

Required memory cannot be obtained. ErrInfo［aa....aa］

aa....aa：保守用情報

説明

処理に必要な領域の確保時，メモリ不足が発生しました。

処理を終了します。

対処

実行中のほかの処理を終了してから，再実行してください。

KFDB001EC-E

コマンドの引数に誤りがあります。使用法：dabstop［-p｜-f｜-c IP アドレス又はホスト名］

説明

dabstop コマンドのオプションに誤りがあります。

処理を終了します。

対処

コマンドを正しく指定して，再実行してください。

KFDB001LM-E

システムコールでエラーが発生しました。[aa....aa() errno=bb....bb]

aa....aa：システムコール名称

bb....bb：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB001RM-E

システムコールでエラーが発生しました。[aa....aa() errno=bb....bb]

aa....aa：システムコール名称

bb....bb：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB001RR-E

指定されたユーザ ID のデータベースとのアクセストレースは見つかりません。

説明

指定したユーザ ID のデータベースアクセストレースが見つかりません。

処理を終了します。

対処

指定したユーザ ID を確認してください。

KFDB001SM-E

システムコールでエラーが発生しました。[aa....aa() errno=bb....bb]

aa....aa：システムコール名称

bb....bb：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB001TD-E

システムコールでエラーが発生しました。[errno=aa....aa]

aa....aa：システムコールのエラー番号

説明

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB001TJ-E

JNI function (aa....aa) failed. LINE：bb....bb

aa....aa：Java のシステム関数名称

bb....bb：保守用情報

説明

Java のシステム関数でエラーが発生しました。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB002DB-E

RDBMS に対する要求シーケンスが不正です。ErrInfo[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

ユーザから RDBMS に対する要求シーケンスが誤っています。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

RDBMS に対する要求シーケンスを見直してください。

KFDB002MM-E

動作環境定義に誤りがあります。[aa....aa]

aa....aa：環境変数名

説明

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- DABroker Library 動作環境定義ファイルに設定した環境変数の値に誤りがあります。
- ユーザが設定した環境変数の値に誤りがあります。

対処

要因に応じて対処してください。

- テキストエディタを使用して，DABroker Library 動作環境定義ファイルの環境変数の値を修正してください。
- ユーザが設定した環境変数の値を修正してください。

KFDB002RC-E

コマンドの引数に誤りがあります。使用法:dabdbtrc [-u ユーザ ID] [-p プログラム名]

説明

dabdbtrc コマンドに指定したオプションに誤りがあります。

処理を終了します。

対処

コマンドを正しく指定して，再実行してください。

KFDB002RR-E

指定されたプログラム名のデータベースとのアクセストレースは見つかりません。

説明

指定したクライアントのプログラム名のデータベースアクセストレースが見つかりません。

処理を終了します。

対処

指定したクライアントのプログラム名を確認してください。

KFDB002SM-E

共有メモリを取得できませんでした。[shmget() errno=aa....aa]

aa....aa：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数（shmget）でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB002TD-E

メモリ不足が発生しました。

説明

メモリ不足が発生しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB002TJ-E

Handle of dayd_Control is NULL. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

内部関数（dayd_Control()）で使うハンドルが NULL です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB003DB-E

システムコールでエラーが発生しました。ErrInfo[aa....aa() errno=bb....bb]

aa....aa：システムコール名称

bb....bb：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB003LC-E

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

説明

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB003MM-E

動作環境定義に誤りがあります。LINE=aa....aa [bb....bb]

aa....aa：エラー発生行

bb....bb：エラー発生定義

説明

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- DABroker Library 動作環境定義ファイルの構文に誤りがあります。
- DABroker Library 動作環境定義ファイルに設定した環境変数の値に誤りがあります。

対処

テキストエディタを使用して，DABroker Library 動作環境定義ファイルを修正してください。

KFDB003NM-E

DABroker の実行中にメモリ不足が発生しました。

説明

DABroker Library の実行中にメモリ不足が発生しました。

処理を終了します。

対処

ほかのアプリケーションプログラムを終了して，再実行してください。

KFDB003RC-E

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

説明

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB003RR-E

指定されたユーザ ID，又はプログラム名のデータベースとのアクセストレースは見つかりません。

説明

指定したユーザ ID，またはクライアントのプログラム名の，データベースアクセストレースが見つかりません。

処理を終了します。

対処

指定したユーザ ID，またはクライアントのプログラム名を確認してください。

KFDB003SM-E

共有メモリを削除できませんでした。[shmctl() errno=aa....aa]

aa....aa：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数（shmctl）でエラーが発生しました。

処理を続行します。

対処

このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB003TD-E

指定されたカーソルは使用中，又は初期化処理がされていません。[CursorId=aa....aa]

aa....aa：カーソル番号

説明

指定されたカーソルは，ほかの処理で使用中です。または，初期化処理がされていません。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

未使用のカーソルを使用して，再実行してください。または，初期化処理をしてください。

KFDB003TJ-E

Invalid handle. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数に指定するハンドルに不正があります。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB004DB-I

DBMS に対する処理を中断しました。

説明

DBMS に対する処理を中断しました。

対処

必要に応じて再実行してください。

KFDB004MM-E

DABroker is not installed.

説明

DABroker Library がインストールされていないか，インストール環境が不正です。

処理を中断します。

対処

DABroker Library を再インストールしてください。

KFDB004NM-E

動作環境が不正です。DABroker をインストールし直してください。

説明

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- インストールが正しく完了していない。
- 環境変数（レジストリ）が不正である。
- DABroker Library のファイルがないか，または破壊されている。

対処

イベントログ（アプリケーション）にほかのメッセージが出力されている場合は，出力されているエラーメッセージを参照して，対処してください。エラーメッセージが出力されていない場合は，DABroker Library をインストールし直して，再実行してください。

KFDB004SM-E

セマフォを取得できませんでした。[semget() errno=aa....aa]

aa....aa：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数（semget）でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB004TD-E

カーソルの値が不正です。[CursorId=aa....aa]

aa....aa：カーソルの値

説明

指定されたカーソルの値が不正です。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

カーソルは 1 から 64 の値を指定してください。

KFDB004TJ-E

Local storage allocation failed.

説明

メモリの確保ができません。

このメッセージをスローします。

対処

システム管理者に連絡して，メモリの確保ができる状態にしてください。

KFDB005DB-E

DABroker でサポートされていないデータ属性がありました。 [aa....aa]

aa....aa：サポートされていない列属性コード（16 進表示）

説明

指定した表列属性（aa....aa）は，DABroker Library でサポートしていません。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

列属性を修正し，ユーザからの要求を再実行してください。なお，列属性コードについては接続先のデータベースのマニュアルを参照してください。

KFDB005MM-E

システムコールでエラーが発生しました。[aa....aa errno=bb....bb]

aa....aa：エラー発生関数の名称

bb....bb：エラー番号

説明

aa....aa 関数でエラーが発生しました。

処理を中断します。

対処

エラー番号（bb....bb）を見て要因がわかる場合は，対処してください。要因がわからない場合は，保守員に連絡してください。

KFDB005NM-E

DABroker の初期化中にエラーが発生しました。

説明

DABroker Library の初期化処理でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

- イベントログ（アプリケーション）にほかのメッセージが出力されている場合は，出力されているエラーメッセージを参照して，対処してください。
- ログファイル（dabsv.log）にほかのメッセージが出力されている場合は，出力されているエラーメッセージを参照して，対処してください。

- 上記の対処でエラーが解決できない場合は，既存の定義ファイル dasysconf を退避したあと，削除してください。

KFDB005SM-E

セマフォを削除できませんでした。[semctl() errno=aa....aa]

aa....aa：エラー番号

説明

OS のシステムコール関数（semctl）でエラーが発生しました。

処理を続行します。

対処

このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB005TD-E

不正なデータを受信しました。[ErrorCode=aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

クライアントから不正なデータを受信しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB005TJ-E

Invalid argument. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数に指定する引数に不正があります。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB006DB-E

指定した DBMS と接続した DBMS が異なります。

user DBMS=aa....aa system DBMS=bb....bb nodename=cc....cc

aa....aa：ユーザが指定した DBMS

bb....bb：DABroker Library が接続した DBMS

cc....cc：RD ノード名称

説明

ユーザが指定した DBMS と接続した DBMS が異なります。

ユーザの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB006MM-E

System call error occurred. [aa....aa errno=bb....bb]

aa....aa：エラー発生関数の名称

bb....bb：エラー番号

説明

aa....aa 関数でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

エラー番号（bb....bb）を見て要因がわかる場合は，対処してください。要因がわからない場合は，保守員に連絡してください。

KFDB006SM-E

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

説明

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB006TA-E

不正なデータを受信しました。エラーコード= [aa....aa],[bb....bb]

aa....aa：エラーコード 1（保守用情報）

bb....bb：エラーコード 2（保守用情報）

説明

クライアントから不正なデータを受信しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB006TD-E

必要なパラメタがありません。または，パラメタの値が不正です。[aa....aa]

aa....aa：パラメタ名

USER ID：ユーザ ID

RD NODE NAME：RD ノード名称

TABLE TYPE：表属性

ABSTRACT KIND：データベース種別名

ABSTRACT NAME：データベース名

DATASOURCE：ODBC3.0 のデータソース名

説明

パラメタがありません。または，パラメタの値が不正です。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

パラメタを正しく設定して，再実行してください。

KFDB006TJ-E

Invalid calling sequence. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数の呼び出し順序が不正です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB007DB-E

DABroker では，繰り返し列，及び配列列を含む表はサポートしていません。

説明

DABroker Library では，繰り返し列および配列列を含む表はサポートしていません。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

列属性を修正し，ユーザからの要求を再実行してください。

KFDB007MM-E

The message file could not be opened. [aa....aa errno=bb....bb]

aa....aa：メッセージファイル名称

bb....bb：エラー番号

説明

DABroker Library の動作環境が破壊されているため，DABroker Library のメッセージファイルがオープンできません。

処理を続行します。このメッセージ出力以降は，メッセージ ID だけを出力します。セットアップコマンドの場合は，処理を中止します。

対処

DABroker Library を組み込み直してください。

KFDB007TD-E

指定された機能はサポートしていません。[RequestCode=aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

クライアントのバージョンが新しいため，サポートしていない機能を要求しました。または，クライアントが不正なデータを送信しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

システム管理者に連絡してください。

KFDB007TJ-E

Storage allocation failed.

説明

メモリの確保ができないので DBMS 側が処理できません。

このメッセージをスローします。

対処

システム管理者に連絡してください。メモリの確保ができる状態にしてください。

KFDB008MM-E

An error occurred in a system call during output of aa....aa. [bb....bb errno=cc....cc]

aa....aa：メッセージログファイル名称

bb....bb：エラー発生関数名称

cc....cc：エラー番号

説明

メッセージログ出力中にシステムコールエラーが発生しました。

処理を続行し，メッセージを syslog に出力します。

対処

このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB008TD-E

システムでエラーが発生しました。[ErrorCode=aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

システムでエラーが発生しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB008TJ-E

jbyteArray of send data is NULL. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数に渡された送信データが NULL です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB009MM-E

メモリを確保できませんでした。aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

DABroker Library の動作に必要なメモリが不足しています。

DABroker Library を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB009TD-E

返信データの要求サイズが不正です。[ResponseSize=aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

クライアントが要求した返信データのサイズが不正です。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB009TJ-E

Size of receive buffer is under 0. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数に渡された受信データバッファサイズが負の数です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB010MM-E

接続先データベース定義に誤りがあります。LINE=aa....aa [bb....bb]

aa....aa：エラー発生行

bb....bb：エラー発生定義

説明

接続先データベース定義に誤りがあります。

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- 接続先データベース定義ファイルの構文に誤りがあります。
- 接続先データベース定義ファイルに設定した値に誤りがあります。

対処

テキストエディタを使用して，接続先データベース定義ファイルを修正してください。

KFDB010TD-E

要求コードのシーケンスエラーが発生しました。[RequestCode=aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

クライアントからの要求コードのシーケンスエラーが発生しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB010TJ-E

The size of the received data is over the buffer size. LINE:aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数に渡された受信バッファサイズを受信データのサイズが超えました。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB011DB-E

接続している DBMS でエラーが発生しました。nodename=aa....aa SQLCODE=bb....bb Info=[cc....cc]

aa....aa：RD ノード名称

bb....bb：接続している DBMS の SQL コード

cc....cc：接続している DBMS の SQL コードに対する付加情報（付加情報がない場合は出力されません）

説明

接続している DBMS でエラーが発生しました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB011MM-E

動作環境定義ファイルに対するアクセス権限が有りません。[aa....aa]

aa....aa：DABroker Library 動作環境定義ファイル名称

説明

DABroker Library 動作環境定義ファイルに対するアクセス権限がありません。

処理を終了します。

対処

DABroker Library 動作環境定義ファイルにリード権限があるかどうか調べてください。リード権限がなければ，リード権限を付加してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB011TD-E

指定されたデータベースは未サポートです。

説明

クライアントのバージョンが新しいため，サポートしていないデータベースを指定しました。または，クライアントが不正なデータを送信しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

システム管理者に連絡してください。

KFDB011TJ-E

jbyteArray of receive buffer is NULL. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数に渡された受信バッファアドレスが NULL です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB012CM-E

接続したサーバシステムでシステムエラーが発生しました。[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

接続したサーバシステムでエラーが発生しました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続した DBMS を見直し，指定し直してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB012DB-E

接続している DBMS でエラーが発生しました。nodename=aa....aa SQLCODE=bb....bb IPADDR=cc....cc

aa....aa：RD ノード名称

bb....bb：接続している DBMS の SQL コード

cc....cc：IP アドレスまたはホスト名

説明

接続している DBMS でエラーが発生しました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB012MM-E

接続先データベース定義ファイルに対するアクセス権限が有りません。[aa....aa]

aa....aa：接続先データベース定義ファイル名称

説明

接続先データベース定義ファイルに対するアクセス権限がありません。

処理を終了します。

対処

接続先データベース定義ファイルにリード権限があるかどうか調べてください。リード権限がなければ，リード権限を付加してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB012TD-E

指定された SQL に誤りがあります。

説明

クライアントが指定した SQL に誤りがあります。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

正しい SQL を指定してください。

KFDB012TJ-E

Invalid response information. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

ハンドルごとに保持している応答情報に不正があります。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB013DB-E

ユーザが指定した，認可識別子，パスワード，又は DBMS 情報のどれかが 32 バイトを超えています。

説明

ユーザが指定した，認可識別子，パスワード，または DBMS 情報のどれかが 32 バイトを超えています。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

認可識別子，パスワード，または DBMS 情報を 32 バイト以内で指定してください。

KFDB013MM-E

データベース種別名が重複しています。LINE=aa....aa [bb....bb]

aa....aa：エラー発生行

bb....bb：エラー発生ブロック名称

説明

接続先データベース定義ファイル中のデータベース種別名が重複しています。

処理を終了します。

対処

テキストエディタを使用して，接続先データベース定義ファイルの値を修正してください。

KFDB013TD-E

データベースアクセスライブラリでエラーが発生しました。[ErrorCode=aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

データベースアクセスライブラリでエラーが発生しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

サーバの環境設定に問題があることが考えられます。

対処

サーバでメッセージが出力されていないか確認してください。

KFDB013TJ-E

Invalid status. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数の状態不正です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB014DB-E

分散サーバでエラーが発生しました。nodename=aa....aa error text=bb....bb

aa....aa：RD ノード名称

bb....bb：エラー発生システムのエラーメッセージ

説明

分散サーバでエラーが発生しました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

エラーが発生したシステムのマニュアルを参照してください。

KFDB014MM-E

データベース名が重複しています。LINE=aa....aa [bb....bb]

aa....aa：エラー発生行

bb....bb：エラー発生ブロック名称

説明

接続先データベース定義ファイル中のデータベース名が重複しています。

処理を終了します。

対処

テキストエディタを使用して，接続先データベース定義ファイルの値を修正してください。

KFDB014TD-E

処理中，又は登録中により，エージェントの実行結果データはありません。

説明

処理中または登録中のため，エージェントの実行結果データはありません。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

正常終了のエージェントを指定してください。

KFDB014TJ-E

Error outbreak. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数がエラー発生中です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB015MM-E

aa....aa を定義していません。[bb....bb]

aa....aa：必須定義名称

bb....bb：定義ブロック名称

説明

接続先データベース定義ファイルのブロック中に必須定義がありません。

処理を終了します。

対処

テキストエディタを使用して，接続先データベース定義ファイルの値を修正してください。

KFDB015TD-E

タイムオーバのため処理を中断しました。

説明

タイムアウトが発生しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

クライアントを再起動してから，操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB015TJ-E

Invalid response information status. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

Java I/F 関数でハンドルごとに保持している応答データ情報状態が不正です。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB016TD-E

データベースアクセスでエラーが発生しました。[ErrorCode=aa....aa]

aa....aa：DBMS のエラーコード

説明

データベースアクセスでエラーが発生しました。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB016TJ-E

dayd_Control failed. LINE：aa....aa

aa....aa：保守用情報

説明

dayd_Control 関数が予期しない return 値で失敗しました。

このメッセージをスローします。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB017DB-E

表属性の指定が誤っています。ErrInfo[aa....aa]

aa....aa：エラーコード

説明

表属性の指定が誤っています。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

表属性を正しく指定してから，再実行してください。

なお，出力されたエラーコードによって次の内容を見直してください。

エラーコードが 1 の場合

表属性の前後が`で囲まれているか確認してください。

エラーコードが 2 の場合

指定されている表属性が誤っていないか確認してください。

エラーコードが 3 の場合

複数の表属性を指定した場合の区切り文字を確認してください。

KFDB017TJ-E

Invalid environment. aa....aa

aa....aa：Java I/F 関数

説明

DABroker Library の動作環境が不正です。

このメッセージをスローします。

対処

DABroker Library の動作環境を見直してください。

KFDB018DB-E

入力パラメタの指定が誤っています。ErrInfo［aa....aa，bb....bb，cc....cc］

aa....aa：入力パラメタの行番号

bb....bb：入力パラメタの列番号

cc....cc：エラー項目名

説明

入力パラメタの指定が誤っています。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

入力パラメタを正しく指定してから，再実行してください。

KFDB019DB-E

出力パラメタの指定が誤っています。ErrInfo[aa....aa, bb....bb]

aa....aa：出力パラメタの列番号

bb....bb：エラー項目名

説明

出力パラメタの指定が誤っています。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

出力パラメタを正しく指定してから，再実行してください。

KFDB019MM-E

ディレクトリが存在しません。ディフォルトディレクトリを使用します。[aa....aa]

aa....aa：環境変数名

説明

環境変数に設定したディレクトリを無視して，デフォルトのディレクトリを使用します。

環境変数に設定したディレクトリが存在しないか，ディレクトリの指定が誤っていることが考えられます。

対処

要因に応じて対処してください。

ディレクトリが存在しない場合

- 環境変数に設定したディレクトリを作成してください。

ディレクトリの指定が誤っている場合

- DABroker Library 動作環境定義ファイルで環境変数を設定した場合は，テキストエディタなどを使用して，DABroker Library 動作環境定義ファイルの環境変数に正しいディレクトリを指定してください。
- DABroker Library 環境設定ユティリティで環境変数を設定した場合は，DABroker Library 環境設定ユティリティを使用して，環境変数に正しいディレクトリを指定してください。

KFDB020DB-E

DBMS のバージョンが違います。ErrInfo[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

DBMS は接続できるバージョンではありません。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

システム管理者に DBMS のバージョンを確認してください。

KFDB020MM-E

ディレクトリが存在しません。[aa....aa]

aa....aa：環境変数名

説明

ディレクトリが存在しないため，処理を終了します。

環境変数に設定したディレクトリが存在しないか，ディレクトリの指定が誤っていることが考えられます。

対処

要因に応じて対処してください。

ディレクトリが存在しない場合

- 環境変数に設定したディレクトリを作成してください。

ディレクトリの指定が誤っている場合

- テキストエディタなどを使用して，DABroker Library 動作環境定義ファイルの環境変数に正しいディレクトリを指定してください。
- DABroker Library 環境設定ユティリティで環境変数を設定した場合は，DABroker Library 環境設定ユティリティを使用して，環境変数に正しいディレクトリを指定してください。

KFDB021DB-E

複数 SQL 実行の指定が誤っています。ErrInfo[aa....aa,bb....bb]

aa....aa：SQL 番号

bb....bb：詳細コード

説明

複数 SQL 実行の指定が誤っています。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

複数 SQL 実行を正しく指定してから，再実行してください。

KFDB024DB-E

接続している DBMS の制限のため，？パラメタで NULL を指定できません。[aa....aa]

aa....aa：NULL が指定された？パラメタの位置

説明

？パラメタに NULL が指定されました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

？パラメタを見直して再実行してください。

KFDB025DB-E

HiRDB に対する接続環境が整っていません。Error code=aa....aa

aa....aa：保守コード

説明

OTS の初期化が完了していないか，HiRDB が TPBroker（OTS）に登録されていないことが考えられます。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

OTS の初期化完了後に DABroker Library にアクセスを要求しているか，アプリケーションを確認してください。また，TPBroker に HiRDB を登録しているかを確認してください。

KFDB030TD-W

キャンセルされたため，処理を中断しました。

説明

キャンセルされたため，処理を中断しました。

処理を終了します。

KFDB031TD-W

処理が終了したため，キャンセルできません。

説明

処理をキャンセルしようとしましたが，処理が終了したため，キャンセルできませんでした。

キャンセル処理を終了します。

KFDB032TD-E

クライアントでサポートされていないデータ型があります。(DataType=aa....aa)

aa....aa：データ属性コード

説明

クライアントでサポートされていないデータ型があります。

処理を終了します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KFDB033TD-E

データベースに接続されていません。

説明

データベースに接続されていません。

処理を終了します。

対処

データベースに接続してから，処理を再実行してください。

KFDB037TD-E

クライアントへの情報の送信に使用する領域が不足しました。要因=aa....aa

aa....aa：要因コード

説明

クライアントへの情報の送信に使用する領域が不足しました。

クライアントからの要求を受け付け，処理を行いました。

対処

クライアントプログラムで設定した受信データ領域長を見直してください。データベースに対して更新した場合，または表の定義を要求した場合は，データベースにアクセスし，処理が正しく実行されているか確認してください。

なお，出力された要因コードによって次の計算式を使用して必要な受信データ領域長を算出し，受信データ領域長を見直してください。ただし，対処後もこのエラーが繰り返し発生する場合，および次に示す要因コード以外が出力された場合は，保守員に連絡してください。

要因が EXT-CMD <Prepare> の場合

$$24 * n + \sum_{i=1}^{n} (\uparrow (\text{検索対象の列名称の長さ} / 4) \uparrow * 4) \quad \text{バイト} \quad (n : \text{検索する列数})$$

要因が EXT-CMD <Fetch> の場合

検索する 1 レコードの長さ＋ 4＊検索する列数 バイト

要因が PROCEDURE PREPARE の場合

$$52+36*n+\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(\text{パラメタ列名称の長さ}/4)\uparrow*4)\quad \text{バイト}$$

（n：入力，出力および入出力パラメタ数*2の和）

要因が PROCEDURE EXECUTE の場合

$$44+20*n+\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(\text{出力または入出力パラメタの列名称の長さ}/4)\uparrow*4)\quad \text{バイト}$$

（n：出力および入出力パラメタ数の和）

要因が PROCEDURE-PARAMETER の場合

$$52+48*n+\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(\text{入力，出力または入出力パラメタの列名称の長さ}/4)\uparrow*4)\quad \text{バイト}$$

（n：入力，出力および入出力パラメタ数の和）

要因が PROCEDURE-RESULT の場合

$$52+48*m+\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(\text{入力，出力または入出力パラメタの列名称の長さ}/4)\uparrow*4)+36*n+$$

$$\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(\text{ResultSetの列名称の長さ}/4)\uparrow*4)\quad \text{バイト}$$

（m：入力，出力および入出力パラメタ数の和 n：ResultSet数）

要因が EXT-CMD <EXECUTE> の場合

52+4＊設定された可変値データのうち実行されたレコード数 バイト

KFDB040TD-E

指定されたデータベース種別定義がありません。データベース種別名：aa....aa

aa....aa：データベース種別名

説明

指定されたデータベース種別名が見つかりません。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

接続先データベース定義で指定したデータベース種別名を確認し，再実行してください。

KFDB041TD-E

指定されたデータベース名定義がありません。データベース種別名：aa....aa，データベース名：bb....bb

aa....aa：データベース種別名

bb....bb：データベース名

説明

指定されたデータベース名が見つかりません。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

接続先データベース定義で指定したデータベース名を確認し，再実行してください。

KFDB043TD-E

指定されたデータベース名定義に分散定義名称がありません。データベース種別名：aa....aa，データベース名：bb....bb

aa....aa：データベース種別名

bb....bb：データベース名

説明

指定されたデータベース名定義に分散定義名称が定義されていません。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

接続先データベース定義を確認し，再実行してください。

KFDB044DB-E

接続した DBMS は未サポートです。[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

接続した DBMS はサポートしていません。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続した DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB045DB-E

指定した DBMS と接続した DBMS が異なります。

user DBMS=aa....aa system DBMS=bb....bb

aa....aa：ユーザが指定した DBMS

bb....bb：DABroker Library が接続した DBMS

説明

ユーザが指定した DBMS と接続した DBMS が異なります。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB047TD-E

データベース種別定義に定義したデータベース種別と，クライアントから接続要求したデータベース種別が異なります。

データベース種別名：aa....aa，データベース名：bb....bb

aa....aa：データベース種別名

bb....bb：データベース名

説明

データベース種別定義に定義したデータベース種別とクライアントから接続要求したデータベース種別が異なります。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

接続先データベース定義，およびクライアントの設定を確認し，再実行してください。

KFDB048TD-E

指定されたデータベース名定義にユーザ ID がありません。

データベース種別名：aa....aa，データベース名：bb....bb

aa....aa：データベース種別名

bb....bb：データベース名

説明

指定されたデータベース名定義にユーザ ID が定義されていません。

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

接続先データベース定義を確認し，再実行してください。

KFDB049TD-E

データ処理中にメモリ不足が発生しました。 ErrInfo[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

処理に必要な領域を確保しようとしたとき，メモリ不足が発生しました。

処理を終了します。

対処

実行中のほかの処理を終了してから，再実行してください。

KFDB051DB-E

接続したサーバーシステムはサポートしていません。[aa....aa,bb....bb]

aa....aa：接続サーバ名

bb....bb：保守用情報

説明

接続しようとしたサーバシステムはサポートしていません。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB052DB-E

接続したサーバーシステムでシステムエラーが発生しました。[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

接続したサーバシステムでエラーが発生しました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続した DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB053DB-E

DABroker DBMS ドライバでシステムエラーが発生しました。[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

DBMS ドライバでエラーが発生しました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB060DB-E

XA 要求でエラーが発生しました。[aa....aa]

aa....aa：保守用情報

説明

XA 要求でエラーが発生しました。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB061DB-E

接続した VOS 3　XDM/RD E2 での XA 環境はサポートしていません。

説明

HiRDB のクライアント経由で，VOS3　XDM/RD E2 を使用しているときは，XA 環境で使用できません。

対処

非 XA 環境で使用してください。

KFDB070DB-E

配列の要素に，異なるデータ型があります。[aa....aa]

aa....aa：エラーの要因となったパラメタインデックス

説明

HiRDB の配列インサート機能使用時，配列に指定するデータ型が一致していません。

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

配列に指定するデータ型をすべて同じにして，再度実行してください。

KFDB100CS-E

システムコールでエラーが発生しました。(aa....aa() errno=bb....bb)

aa....aa：関数名称（保守用情報）

bb....bb：エラー番号（保守用情報）

説明

OS のシステムコール関数，または DABroker Library の共通関数でエラーが発生しました。

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB101DB-E

メモリが不足しているため，処理に必要な領域を確保できません。

説明

処理に必要な領域の確保時に，メモリ不足が発生しました。

処理を終了します。

対処

実行中のほかの処理を終了してから，再実行してください。

KFDB201NM-E

ディレクトリが正しくありません。

説明

ディレクトリが正しくありません。

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- ディレクトリ名の指定に誤りがある
- 存在しないディレクトリが指定されている

対処

ディレクトリ名を正しく指定して，再実行してください。

KFDB202NM-E

範囲外の数値データが入力されました。

説明

範囲外の数値データが入力されました。

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- 数値データ以外の文字が入力された
- 全角文字が入力された
- 指定できる範囲外の数値データ入力された

対処

指定できるデータの範囲を確認してから，データを再入力してください。

KFDB204NM-E

レジストリ名 aa....aa の値が長過ぎます。

aa....aa：レジストリの値の名前

説明

レジストリ名 aa....aa の値の文字列長が 1,024 バイトを超えました。

処理を終了します。

対処

レジストリエディタで，レジストリ名 aa....aa の値の文字列を 1,024 バイト以下に設定してください。

KFDB205NM-E

レジストリ名 aa....aa で，DABroker がサポートしているデータタイプと異なるデータタイプが取得されました。

aa....aa：レジストリの値の名前

説明

レジストリ名 aa....aa に DABroker Library がサポートしているデータタイプと異なるデータタイプが指定されました。

処理を終了します。

対処

レジストリエディタでデータを修正してください。

KFDB206NM-E

レジストリ名 aa....aa の値の取得に失敗しました。（エラー関数：bb....bb，エラーコード：cc....cc）

aa....aa：レジストリの値の名前

bb....bb：エラー関数名

cc....cc：GetLastError 関数に返されたエラーコード

説明

レジストリ名 aa....aa の値の取得に失敗しました。

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- レジストリが破壊された
- DABroker Library またはユティリティの稼働環境が不安定になった
- DABroker Library またはユティリティが破壊された
- レジストリの読み取り権限がない

対処

- DABroker Library またはユティリティを一度終了して，操作を再実行してください。
- レジストリに読み取り権限を付与してください。
- 上記の方法で対処できない場合は，Windows を再起動するか，DABroker Library をインストールし直してください。

KFDB207NM-E

レジストリ名 aa....aa の値の更新に失敗しました。（エラー関数：bb....bb，エラーコード：cc....cc）

aa....aa：レジストリの値の名前

bb....bb：エラー関数名

cc....cc：GetLastError 関数に返されたエラーコード

説明

レジストリ名 aa....aa の値の更新に失敗しました。

処理を続行します。

次の要因が考えられます。

- レジストリが破壊された
- DABroker Library またはユティリティの稼働環境が不安定になった
- DABroker Library またはユティリティが破壊された
- レジストリに書き込み権限がない

対処

- DABroker Library またはユティリティを一度終了して，操作を再実行してください。
- レジストリに書き込み権限を付与してください。
- 上記の方法で対処できない場合は，Windows を再起動するか，DABroker Library をインストールし直してください。

KFDB213NM-E

環境設定ユティリティを実行する権限がありません。

説明

環境設定ユティリティを実行したユーザが Administrators グループに属していないため，実行できません。

処理を終了します。

対処

環境設定ユティリティは，Administrators グループに属しているユーザが実行してください。

KFDB214NM-E

取得する情報の種類が指定されていません。

説明

データベースアクセストレースの取得が指示されましたが，取得する情報の種類が一つも指定されていません。

［設定値変更］ダイアログボックスを再表示し，ユーザの操作を待ちます。

対処

取得する情報の種類を一つ以上指定するか，［アクセストレースを取得する］チェックボックスをオフにして，再実行してください。

KFDB250NM-I

トレースを出力しました。

説明

トレース出力ユティリティで指定したファイルにトレースを出力しました。

処理を続行します。

KFDB251NM-I

出力するトレースがありません。

説明

出力を要求された種別のトレースが 1 件も取得されていません。

処理を続行します。

KFDB253NM-E

アクセストレースの出力処理中にエラーが発生しました。

説明

アクセストレースの出力処理中にエラーが発生しました。

処理を終了します。

次の要因が考えられます。

- 出力先のディスクに十分な容量がない
- 出力先のディスクに書き込む権限がない
- 出力先のディスクが書き込み禁止である

対処

出力先のディスクまたはファイルを確認し，再実行してください。

KFDB302NM-E

接続できないデータベース種別が指定されています。

説明

クライアントからデータベースへの接続が要求されましたが，サポートしていないデータベース種別のため，処理できません。

データベースとの接続を中止し，コネクションを解放します。

対処

接続できるデータベース種別を指定してください。

20.3　KFDB で始まるメッセージのエラーコード

DABroker Library 関連製品で開発するアプリケーションに，DABroker Library のメッセージ ID と対応するエラーコードを返す場合があります。アプリケーションに返すエラーコードと DABroker Library のメッセージ ID の対応を次に示します。メッセージの詳細については,「20.2　KFDB で始まるメッセージ」を参照してください。

KFDBxxxyz-E → aabbxxx

- aa
  メッセージ ID の y のけたを次に示すメッセージ ID の変換表によって，変換した y の変換結果の値です。
- bb
  メッセージ ID の z のけたを次に示すメッセージ ID の変換表によって，変換した z の変換結果の値です。
- xxx
  メッセージ ID の xxx

（例）

KFDB001DB-E → 402001

表 20–1　メッセージ ID の変換表

メッセージ ID のコード	y の変換結果	z の変換結果
A	1	01
B	2	02
C	3	03
D	4	04
E	5	05
F	6	06
G	7	07
H	8	08
I	9	09
J	10	10
K	11	11
L	12	12
M	13	13
N	14	14
O	15	15
P	16	16
Q	17	17

メッセージ ID のコード	y の変換結果	z の変換結果
R	18	18
S	19	19
T	20	20
U	21	21
V	22	22
W	23	23
X	24	24
Y	25	25
Z	26	26

20.4　DABroker Library のメッセージの注意事項

出力されたメッセージの内容に「DABroker Library 動作環境定義ファイルの環境変数」という記述がある場合は，Windows 環境では，環境設定ユティリティで設定する項目を指します。環境変数と環境設定ユティリティの対応を次の表に示します。

環境設定ユティリティおよび項目の詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 互換編」の「4.3　DABroker Library の初期設定」を参照してください。

表 20–2　環境変数と環境設定ユティリティの項目の対応表

環境変数名	環境設定ユティリティで対応する項目
DABTMP	作業ディレクトリ
DABSVLOGSIZE	ログファイルサイズ［dabsv.log］
DABSELECTCOLCNT	表検索カラム数
DABSELECTINFCNT	更新・検索条件カラム数
DABORACLE_TYPE	使用する ORACLE のバージョン
DABSQL_HiRDB_DICTIONARY_DATATYPE	HiRDB のディクショナリ表のデータ属性
DAB_HIRDB_DBINF_ESC	HiRDB 環境変数区切り文字
DABHIRDBA_BLOBBUFSIZE	BLOB 型データ受取バッファサイズ(HiRDB)
DABORADBA_LONGBUFSIZE	LONG 型データ受取バッファサイズ(ORACLE)
DABLANGMODE	漢字コードセット
DABAGTFILMAX	実行結果格納ファイル容量
DABAGT_LOG_INFO	取得メッセージ種別(インフォメーション)
DABAGT_LOG_ERROR	取得メッセージ種別(エラー)
DABAGTGRP	グループ管理用ディレクトリ
DABAGTWCHALDAY	実行予約日を経過しても有効にする日数
DABAGTWCHALTIME	実行予約日を経過しても有効にする秒数
DABAGTEXEDIRETIME	即時配信実行監視時間
DABCPP_EVTTRC_SIZE	トレース取得サイズ(DABroker for C++)
DABCPP_EVTTRC_LEVEL	トレース取得レベル(DABroker for C++)
DAB_XA_ERROR	XA トレースを取得する

21 KFDJ（DABroker Library が出力するメッセージ）

この章では，DABroker Library が出力するメッセージのうち，KFDJ から始まるメッセージについて説明します。

21.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KFDJnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値に関する説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KFDJnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KFDJ

DABroker Library が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

DABroker Library で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

Q（Question）

出力したメッセージに対して，ユーザの応答を通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，ユーザの応答を待ちます。

R（Request）

出力メッセージに対するユーザからの応答を待っていることを通知するメッセージです。

メッセージテキスト

DABroker Library が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は，「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因や DABroker Library の動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

21.2　KFDJ で始まるメッセージ

DABroker Library が出力する KFDJ00001 から KFDJ99999 までのメッセージについて説明します。

KFDJ00001-E

Error occurred at server.

説明

サーバでエラーが発生しました。

SQLException をスローします。

対処

続けて出力される DABroker Library からのメッセージを参照して，対処してください。

KFDJ00002-E

Statement is closed.

説明

すでに Statement インスタンスがクローズされているため，処理を受け付けられません。

SQLException をスローします。

対処

Statement インスタンスを生成し直してから処理を再実行してください。

KFDJ00003-E

Failed character convert.

説明

文字データの Unicode 変換でエラーが発生しました。Java 実行環境の文字変換ライブラリに問題がある可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

JDK のサポートバージョンなど Java 実行環境に問題がないかどうかを確認してください。

KFDJ00004-E

Unable to read stream.

説明

入力ストリームからの読み込みに失敗しました。

SQLException をスローします。

対処

PreparedStatement クラスの setXXX メソッドで指定した，入力ストリームの内容を見直してください。

KFDJ00005-E

Unable to write stream.

説明

出力ストリームへの書き込みに失敗しました。メモリ不足の可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

ほかのアプリケーションを終了してから UAP を再実行してください。

KFDJ00006-E

Connection is closed.

説明

すでに Connection インスタンスがクローズされているため，処理を受け付けられません。

SQLException をスローします。

対処

Connection インスタンスを生成し直し，処理を再実行してください。

KFDJ00007-E

Number format exception.

説明

数値形式が不正です。

データベースから取得したデータが数値ではないため，使用した ResultSet クラスの getXXX メソッドではデータを取得できません。

対処

データ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ00008-E

Set number is overflow to server.

説明

PreparedStatement クラスの setDouble メソッドで指定したデータの，メインフレーム形式への変換でオーバーフローが発生しました。

SQLException をスローします。

対処

PreparedStatement クラスの setDouble メソッドで指定したデータの内容を見直してください。

KFDJ00009-E

Not support method. METHOD:aa....aa

aa....aa：メソッド名

説明

aa....aa のメソッドはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

aa....aa のメソッドを呼び出さないようにしてください。

KFDJ00010-E

Unable to execute BATCH SQL returned ResultSet. SQL:aa....aa

aa....aa：SQL 文

説明

aa....aa の SQL は ResultSet を返却するため，バッチでは実行できません。

BatchUpdateException をスローします。

対処

指定した SQL を見直してください。

KFDJ00011-E

Not support fetch direction. DIRECTION:aa....aa

aa....aa：フェッチ方向

説明

setFetchDirection メソッドで指定した，aa....aa は無効です。

ResultSet.FETCH_FORWARD 以外の検索方向はサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

ResultSet.FETCH_FORWARD を指定してください。

KFDJ00012-E

Invalid fetch size. SIZE:aa....aa

aa....aa：サイズ

説明

setFetchSize メソッドで指定した引数の内容 aa....aa が，次の理由で不正です。

- 引数が 0 未満。
- setMaxRows メソッドの指定値が 1 以上の場合に，setFetchSize メソッドの指定値が setMaxRows メソッドの指定値より大きい。

SQLException をスローします。

対処

指定した引数の内容を見直してください。

KFDJ00013-E

Server version unmatch. VERSION-ID:aa....aa

aa....aa：バージョンコード

説明

DABroker Library のバージョンが古いため，実行できません。

SQLException をスローします。

対処

接続する DABroker Library のバージョンを見直してください。

KFDJ00014-E

aa....aa is closed.

aa....aa：クラス名（PooledConnection，または XAConnection）

説明

aa....aa クラスのインスタンスがすでにクローズされているため，処理が受け付けられません。

対処

aa....aa クラスのインスタンスを生成し直し，再度処理してください。

KFDJ01001-E

Unable to register driver.

説明

ドライバマネジャへの登録に失敗しました。Java 実行環境の JDBC インタフェースライブラリに問題がある可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

JDK のサポートバージョンなど Java 実行環境に問題がないかどうかを確認してください。

KFDJ01002-E

Invalid protocol name.

説明

URL で指定したプロトコル名称が不正です。

SQLException をスローします。

対処

URL で指定したプロトコル名称を見直してください。

KFDJ01003-E

Invalid subprotocol name.

説明

URL で指定したサブプロトコル名称が不正です。

SQLException をスローします。

対処

URL で指定したサブプロトコル名称を見直してください。

KFDJ01004-E

Invalid host name.

説明

URL で指定したホスト名称が不正です。

SQLException をスローします。

対処

URL で指定したホスト名称を見直してください。

KFDJ01005-E

Invalid port number.

説明

URL で指定したポート番号が不正です。

SQLException をスローします。

対処

URL で指定したポート番号を見直してください。

KFDJ01006-E

Invalid DB.

説明

URL で指定したデータベース種別が不正です。

SQLException をスローします。

対処

URL で指定したデータベース種別を見直してください。

KFDJ01007-E

Invalid DBID.

説明

URL で指定した接続情報が不正です。

SQLException をスローします。

対処

URL で指定したデータベースの接続情報を見直してください。

KFDJ01008-E

Invalid DBENV.

説明

データベース種別が「DABroker－Database Connection Server 経由」の場合，URL に接続先データベース定義情報が指定されていないか，指定内容が不正です。

SQLException をスローします。

対処

URL で指定した接続先データベース定義情報を見直してください。

KFDJ01009-W

Unable to specify aa...aa in BUF_SIZE property, replace aa...aa with bb...bb.

aa....aa：BUF_SIZE に指定した値

bb...bb：仮定された値

説明

BUF_SIZE プロパティには aa....aa を指定できません。BUF_SIZE プロパティの指定値を bb...bb に置き換えます。

対処

BUF_SIZE プロパティの指定値を見直してください。

KFDJ01010-E

URL is null.

説明

URL に null が指定されました。

SQLException をスローします。

対処

URL を見直してください。

KFDJ01011-W

Unable to specify aa....aa in BUF_POOL_SIZE property, replace aa....aa with bb....bb.

aa....aa：BUF_POOL_SIZE に指定した値

bb....bb：仮定された値

説明

BUF_POOL_SIZE プロパティには aa....aa を指定できません。BUF_POOL_SIZE プロパティの指定値を bb....bb に置き換えます。

対処

BUF_POOL_SIZE プロパティの指定値を見直してください。

KFDJ02002-E

Not support LangID. LangID：aa....aa

aa....aa：言語モード

説明

DABroker Library から渡された言語モードはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

DABroker Library の言語モードを見直してください。

KFDJ02004-E

Active statement over.

説明

一度にオープンできるステートメントの上限を超えました。

SQLException をスローします。

対処

使用している Statement または ResultSet のインスタンスをクローズして，処理を再実行してください。

KFDJ02005-E

Current Connection is XA mode.

The method is invalid.METHOD:aa....aa

aa....aa：メソッド名

説明

現在のコネクションは XA モードであるため，aa....aa のメソッド呼び出しは無効です。

SQLException をスローします。

対処

aa....aa のメソッド呼び出しを行わないようにしてください。

KFDJ02006-W

Not support TYPE_SCROLL_SENSITIVE ResultSet type.

Changed ResultSet type:aa....aa

aa....aa：ResultSet オブジェクトの型

説明

更新内容が反映される，スクロールできる ResultSet タイプはサポートしていないため，aa....aa のタイプの ResultSet に変更しました。

SQLWarning を設定します。

KFDJ02007-W

Not support CONCUR_UPDATABLE ResultSet concurrency.

Changed ResultSet concurrency:aa....aa

aa....aa：ResultSet オブジェクトの並行処理モード

説明

更新できる ResultSet はサポートしていないため，aa....aa の ResultSet に変更しました。

SQLWarning を設定します。

KFDJ02008-E

Invalid ResultSet type. TYPE:aa....aa

aa....aa：ResultSet オブジェクトの型

説明

指定された ResultSet のスクロールタイプ aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

ResultSet のスクロールタイプを見直してください。

KFDJ02009-E

Invalid ResultSet concurrency. CONCURRENCY:aa....aa

aa....aa：ResultSet オブジェクトの並行処理モード

説明

指定された ResultSet の並行処理タイプ aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

ResultSet の並行処理タイプを見直してください。

KFDJ02010-E

Invalid Escape Syntax.

説明

指定された SQL のエスケープ句が不正です。

SQLException をスローします。

対処

正しい SQL を指定してください。

KFDJ02011-W

Unable to use locator.

説明

使用しているデータベースは位置づけ子(locator)機能をサポートしていません。

または，使用しているデータベースの位置づけ子(locator)機能は，DABroker Library ではサポートしていません。

対処

- HiRDB を使用している場合
  クライアントライブラリおよびサーバのバージョンが共に 07-01 以上の HiRDB を使用してください。
- HiRDB 以外を使用している場合
  HiRDB 以外のデータベースでは，位置づけ子(locator)機能をサポートしません。

KFDJ03001-E

Not support cancel.

説明

現在接続しているデータベースは，非同期キャンセルをサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

非同期キャンセル機能を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ03002-E

Invalid max rows. MAX ROWS:aa....aa

aa....aa：行数

説明

setMaxRows で指定した最大検索行数の値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

最大検索行数の値を見直してください。

KFDJ03003-E

Invalid SQL statement.

説明

指定された SQL が null，または長さが 0 です。

SQLException をスローします。

対処

正しい SQL を指定してください。

KFDJ03004-E

Unable to set timeout.

説明

タイムアウト値の設定に失敗しました。

SQLException をスローします。

対処

タイムアウト値を見直してください。

KFDJ03005-E

Unable to set max field size.

説明

最大フィールド長の設定に失敗しました。

SQLException をスローします。

対処

最大フィールド長を見直してください。

KFDJ03006-E

Unable to perform executeQuery, since SQL doesn't return ResultSet.

SQL:aa....aa

aa....aa：SQL 文

説明

指定した aa....aa は ResultSet を返さないため，executeQuery を実行できません。

SQLException をスローします。

対処

SQL を見直してください。または，exuecute か executeUpdate を使用してください。

KFDJ03007-E

Unable to perform executeUpdate, since SQL returns ResultSet.

SQL:aa....aa

aa....aa：SQL 文

説明

指定した aa....aa は ResultSet を返すため，executeUpdate を実行できません。

SQLException をスローします。

対処

SQL を見直してください。または，exuecute か executeQuery を使用してください。

KFDJ04001-E

Not support boolean（SQL BIT） parameter.

説明

現在接続しているデータベースでは，boolean（SQL BIT）型のパラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

BIT 型を使用しないよう，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04002-E

Not support byte（SQL TINYINT） parameter.

説明

現在接続しているデータベースでは，byte（SQL TINYINT）型のパラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

TINYINT 型を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04003-E

Not support long（SQL BIGINT） parameter.

説明

現在接続しているデータベースでは，long（SQL BIGINT）型のパラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

BIGINT 型を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04006-E

Not support Ref(SQL REF) parameter.

説明

現在接続しているデータベースでは，Ref(SQL REF)型のパラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

REF 型を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04007-E

Not support Array(SQL ARRAY) parameter.

説明

現在接続しているデータベースでは，Array(SQL ARRAY)型のパラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

ARRAY 型を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04008-E

Not support NULL parameter for SQL STRUCT.

説明

現在接続しているデータベースでは，SQL STRUCT 型に対する NULL パラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

STRUCT 型を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04009-E

Unable to execute batch update.

説明

現在接続している DABroker Library では，複数行の？パラメタ転送をサポートしていないため，バッチ更新は実行できません。

BatchUpdateException をスローします。

対処

バッチ更新機能を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04010-E

Not support this SQL type. TYPE：aa....aa

aa....aa：データ型

説明

現在接続しているデータベースでは，aa....aa のデータ型のパラメタは設定できません。

SQLException をスローします。

対処

データ型 aa...aa を使用しないで，アプリケーションを修正してください。

KFDJ04011-E

Not set parameter. INDEX：aa....aa

aa....aa：パラメタ位置

説明

aa....aa 番目のパラメタが設定されていません。

SQLException をスローします。

対処

aa....aa 番目のパラメタを設定してください。

KFDJ04012-E

Invalid parameter.

説明

パラメタの内容が不正です。

SQLException をスローします。

対処

パラメタの内容を見直してください。

KFDJ04013-E

Invalid parameter index. INDEX：aa....aa

aa....aa：パラメタ位置

説明

パラメタインデックスの内容が不正です。

SQLException をスローします。

対処

パラメタインデックスの内容を見直してください。

KFDJ04014-E

Not set parameters for batch.

説明

addBatch メソッドの呼び出しで，バッチ実行用のパラメタが一つも設定されていません。

SQLException をスローします。

対処

setXXX メソッドでバッチ実行用のパラメタを設定してから，addBatch メソッドを呼び出すようにしてください。

KFDJ04015-E

Not support Blob(SQL BLOB) parameter.

説明

現在接続しているデータベースでは，Blob(SQL BLOB)型のパラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

Blob(SQL BLOB)型のパラメタは指定しないでください。

KFDJ04016-E

Not support Clob(SQL CLOB) parameter.

説明

現在接続しているデータベースでは，Clob(SQL CLOB)型のパラメタはサポートしていません。

SQLException をスローします。

対処

Clob(SQL CLOB)型のパラメタは指定しないでください。

KFDJ04017-E

Model of the JAVA_OBJECT is not able to be transformed to SQL type.

説明

JAVA_OBJECT が，指定された SQL タイプに変換できません。

SQLException をスローします。

対処

変換できる SQL タイプを指定してください。または，SQL タイプに対応した JAVA_OBJECT を指定してください。

KFDJ04018-E

Not exist ResultSetMetaData.

説明

ResultSetMetaData がありません。

SQLException をスローします。

対処

ResultSet を返す SQL を先に実行してください。

KFDJ04019-E

When decimal data were adapt table definition, the omission of data occurred.

説明

DECIMAL 型のデータを表定義の属性に合わせると，データの切り捨てが発生しました。

SQLException をスローします。

対処

DECIMAL 型のデータを見直してください。

KFDJ04020-E

Data is the value besides the range of a sequence attribute or the form which cannot be used.
DataType:aa....aa

aa....aa：変換先データ型。

表定義の属性，または setObject(int parameterIndex, Object x, int targetSqlType)メソッドの引数 targetSqlType に指定したデータ型。

TINYINT：1 バイト整数

SMALLINT：2 バイト整数

INTEGER：4 バイト整数

BIGINT：8 バイト整数

DECIMAL or NUMERIC：固定小数点数
FLOAT or DOUBLE PRECISION：倍精度浮動小数点数
REAL or SMALLFLT：単精度浮動小数点数
DATE：日付
TIME：時刻
TIMESTAMP：時刻印

説明

データは変換先データ型の範囲外の値であるか，使用できない形式です。
SQLException をスローします。

対処

データを見直してください。または setObject(int parameterIndex, Object x, int targetSqlType)メソッドの引数 targetSqlType を見直してください。

KFDJ05001-E

CallableStatement is closed.

説明

CallableStatement インスタンスがすでにクローズされているため，処理が受け付けられません。
SQLException をスローします。

対処

CallableStatement インスタンスを生成し直し，再度処理してください。

KFDJ05002-E

Unable to get data aa....aa

aa...aa：列属性の Java 型表現

説明

指定した列のデータは，CallableStatement クラスの getXXX メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，CallableStatement クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ05003-E

Invalid number of get scale.

説明

CallableStatement クラスの getBigDecimal メソッドで指定した scale の内容が不正です。
SQLException をスローします。

対処

scale の内容を見直してください。

KFDJ05004-E

Invalid parameter index. INDEX:aa....aa

aa....aa：パラメタ位置

説明

パラメタインデックスの内容が不正です。

SQLException をスローします。

対処

パラメタインデックスの内容を見直してください。

KFDJ05005-E

Attribute that designated it with IN and OUT differs.

説明

パラメタに指定した IN と OUT の属性が異なります。

SQLException をスローします。

対処

属性を見直してください。

KFDJ05006-E

Output attribute is not able to acquire information because it does not exist in a parameter.

説明

パラメタに OUT 指定がないため，情報は取得できません。

SQLException をスローします。

対処

情報を取得しないようにしてください。

KFDJ06001-E

Unable to get number of result columns.

説明

ResultSet クラスの getXXX メソッドで指定した列名の内容が不正です。

SQLException をスローします。

対処

列名の内容を見直してください。

KFDJ06004-E

Unable to get data string.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getString メソッドでは取得できません。

SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06005-E

Unable to get data boolean.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getBoolean メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06006-E

Unable to get data byte.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getByte メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06007-E

Unable to get data short.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getShort メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06008-E

Unable to get data int.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getInt メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06009-E

Unable to get data long.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getLong メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06010-E

Unable to get data float.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getFloat メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06011-E

Unable to get data double.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getDouble メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06012-E

Unable to get data BigDecimal.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getBigDecimal メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06013-E

Unable to get data bytes.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getBytes メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06014-E

Unable to get data Date.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getDate メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06015-E

Unable to get data Time.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getTime メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06016-E

Unable to get data Timestamp.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getTimestamp メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06017-E

Unable to get ascii stream.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getAsciiStream メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06018-E

Unable to get unicode stream.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getUnicodeStream メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06019-E

Unable to get binary stream.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getBinaryStream メソッドでは取得できません。
SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06021-E

ResultSet is closed.

説明

すでに ResultSet インスタンスがクローズされているため，処理を受け付けられません。

SQLException をスローします。

対処

ResultSet インスタンスを生成し直し，処理を再実行してください。

KFDJ06022-E

Unable to get character stream.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getCharacterStream メソッドでは取得できません。

SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06023-E

Unable to get data blob.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getBlob メソッドでは取得できません。

SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06024-E

Unable to get data clob.

説明

指定した列のデータは，ResultSet クラスの getClob メソッドでは取得できません。

SQLException をスローします。

対処

列のデータ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06027-E

Invalid number of get column index.

説明

ResultSet クラスの getXXX メソッドで指定したインデックスの内容，またはカラム名称が不正です。

SQLException をスローします。

対処

インデックスの内容を見直してください。

KFDJ06029-E

Invalid number of get scale.

説明

ResultSet クラスの getBigDecimal メソッドで指定した scale 内容が不正です。

SQLException をスローします。

対処

scale の内容を見直してください。

KFDJ06030-E

Date format exception.

説明

データベースから取得したデータが日付データの形式に合う内容のデータではないため，使用した ResultSet クラスの getXXX メソッドではデータを取得できません。

SQLException をスローします。

対処

データ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06031-E

Time format exception.

説明

データベースから取得したデータが時間データの形式に合う内容のデータではないため，使用した ResultSet クラスの getXXX メソッドではデータを取得できません。

SQLException をスローします。

対処

データ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06032-E

Timestamp format exception.

説明

データベースから取得したデータが Timestamp データの形式に合う内容のデータではないため，使用した ResultSet クラスの getXXX メソッドではデータを取得できません。

SQLException をスローします。

対処

データ型に応じた，ResultSet クラスの getXXX メソッドを使用してください。

KFDJ06033-E

Current ResultSet is TYPE_FORWARD_ONLY.

The method is invalid. METHOD:aa....aa

aa....aa：メソッド名

説明

現在の ResultSet は，順方向専用のため，aa....aa のメソッド呼び出しは無効です。

SQLException をスローします。

対処

aa....aa のメソッドを呼び出さないようにしてください。

KFDJ06034-E

Not support CONCUR_UPDATABLE ResultSet concurrency.

The method is invalid. METHOD:aa....aa

aa....aa：メソッド名

説明

更新できる ResultSet は未サポートのため，aa....aa のメソッド呼び出しは無効です。

SQLException をスローします。

対処

aa....aa のメソッドを呼び出さないようにしてください。

KFDJ06035-E

Zero is designated to the row.

説明

row に 0 が指定されています。

SQLException をスローします。

対処

row に 0 を指定しないようにしてください。

KFDJ06036-E

row that was designated without existing.

説明

行が存在しない ResultSet に対して操作を指定しました。

SQLException をスローします。

対処

行が存在しない ResultSet に対して操作しないようにしてください。

KFDJ06037-E

There is data exceeding length storable in an internal buffer.

説明

内部バッファに格納できる長さを超えるデータがあります。

SQLException をスローします。

対処

ROW_SIZE を拡張してください。ただし，ROW_SIZE に指定できる長さを超えるデータは取得できません。

KFDJ07001-E

Invalid column index. INDEX：aa....aa

aa....aa：列位置

説明

ResultSetMetaData クラスの getXXX メソッドで指定したインデックスの内容が不正です。
SQLException をスローします。

対処

インデックスの内容を見直してください。

KFDJ10001-E

Not found internet address.

説明

ホスト名称に対応するインターネットアドレスが取得できません。
SQLException をスローします。

対処

URL に指定したホスト名称を見直してください。

KFDJ10002-E

Unable to connect with server.

説明

DABroker Library との接続に失敗しました。
SQLException をスローします。

対処

- DABroker Library が起動しているかどうかを確認してください。
- ホスト名称およびインターネットアドレスを見直してください。
- 接続する DABroker Library のポート番号を見直してください。

KFDJ10003-E

Socket is closed.

説明

DABroker Library との接続がすでにクローズされているため，処理を受け付けられません。
SQLException をスローします。

対処

DABroker Library と接続し直し，処理を再実行してください。

KFDJ10004-E

Data send error occurred.

説明

データの送信に失敗しました。

SQLException をスローします。

対処

DABroker Library との接続状態を確認してください。

KFDJ10005-E

Data receive error occurred.

説明

データの受信に失敗しました。

SQLException をスローします。

対処

DABroker Library との接続状態を確認してください。

KFDJ10006-E

Unable to set timeout.

説明

タイムアウト値の設定に失敗しました。Java 実行環境のソケットライブラリに問題がある可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

JDK のサポートバージョンなど Java 実行環境に問題がないかどうかを確認してください。

KFDJ10007-E

Unable to get timeout.

説明

タイムアウト値の取得に失敗しました。Java 実行環境のソケットライブラリに問題がある可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

JDK のサポートバージョンなど Java 実行環境に問題がないかどうかを確認してください。

KFDJ10008-E

Data receive timeout occurred.

説明

データ受信タイムアウトが発生しました。

SQLException をスローします。

対処

UAP を再実行してください。繰り返し発生する場合は，DriverManager クラスの setLoginTimeout メソッドで指定した内容, または Statement クラスの setQueryTimeout で指定した内容を見直してください。

KFDJ11001-E

Unable to load native library.

説明

現在のスレッドからネイティブライブラリを使用できません（Applet などのダウンロードしたクラスが動作しているスレッドから，JDBC ドライバを使用する場合，ネイティブライブラリのロードができません）。

SQLException をスローします。

対処

DABroker Library がインストールされていない場合は，インストールしてください。また，URL の指定をネイティブライブラリ接続から TCP/IP 接続に変更してください。

KFDJ11002-E

Not found native library.

説明

ネイティブライブラリのロードに失敗しました。

SQLException をスローします。

対処

DABroker Library がインストールされていない場合は，インストールしてください。また，ネイティブライブラリが，DABroker Library システムで標準のディレクトリに存在するか確認してください。

KFDJ20001-E

Invalid OperationType. TYPE：aa....aa

aa....aa：操作種別

説明

DABroker Library からの受信データが不正です。DABroker Library で異常が発生している可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

繰り返し発生する場合は，DABroker Library の通信トレースを取得し，保守員に連絡してください。

KFDJ20002-E

Data encode error.

説明

送信データの作成に失敗しました。メモリ不足の可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

ほかのアプリケーションを終了してから UAP を再実行してください。

KFDJ20003-E

Data decode error.

説明

受信データの解析に失敗しました。DABroker で異常が発生している可能性があります。

SQLException をスローします。

対処

繰り返し発生する場合は，DABroker Library の通信トレースを取得し，保守員に連絡してください。

KFDJ21001-E

Invalid Argument. METHOD:aa....aa,Argument：bb....bb

aa....aa：メソッド名

bb....bb：引数の内容

説明

Blob で指定した値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

Blob で指定した値を見直してください。

KFDJ22001-E

Invalid Argument. METHOD:aa....aa,Argument：bb....bb

aa....aa：メソッド名

bb....bb：引数の内容

説明

Clob で指定した値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

Clob で指定した値を見直してください。

KFDJ23001-E

Connection, Statement or ResultSet is closed, so locator access is denied.

説明

Connection，Statement，または ResultSet のどれかがクローズされているため，ロケータアクセスできません。

対処

ロケータアクセスする前に，Connection，Statement，または ResultSet がクローズされていないか確認してください。

KFDJ30001-E

Argument is null.

説明

接続情報設定用メソッドで指定された引数の内容が null です。

SQLException をスローします。

対処

指定した引数の内容を見直してください。

KFDJ30002-E

Mandatory property no set.PROPERTY:aa....aa

aa...aa：設定されていない必須情報

説明

aa....aa の必須接続情報が設定されていません。

SQLException をスローします。

対処

aa....aa の接続情報を設定してください。

KFDJ30003-E

Invalid LoginTimeout.VALUE:aa....aa

aa....aa：タイムアウト値

説明

setLoginTimeout メソッドの指定値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

setLoginTimeout メソッドの指定値を見直してください。

KFDJ30004-E

Invalid NetworkProtocol.VALUE:aa....aa

aa....aa：接続種別

説明

setNetworkProtcol メソッドの指定値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

setNetworkProtcol メソッドの指定値を見直してください。

KFDJ30005-E

Invalid PortNumber.VALUE:aa....aa

aa....aa：ポート番号

説明

setPortNumber メソッドの指定値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

setPortNumber メソッドの指定値を見直してください。

KFDJ30006-E

Invalid DatabaseName.VALUE:aa....aa

aa....aa：データベース種別

説明

setDatabaseName メソッドの指定値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

setDatabaseName メソッドの指定値を見直してください。

KFDJ30007-E

Invalid DBEnv.VALUE:aa....aa

aa....aa：データベース定義情報名

説明

setDBEnv メソッドの指定値 aa....aa が不正です。

SQLException をスローします。

対処

setDBEnv メソッドの指定値を見直してください。

KFDJ30008-E

Encoding Lang is null.

説明

エンコードが指定されていません。

SQLException をスローします。

対処

エンコード文字列を見直してください。

KFDJ30009-W

Unable to specify aa....aa in setBufSize argument, replace aa....aa with bb....bb.

aa....aa：setBufSize に指定した値

bb....bb：仮定された値

説明

setBufSize メソッドの引数には aa....aa を指定できません。setBufSize メソッドの引数を bb....bb に置き換えます。

対処

setBufSize メソッドの引数を見直してください。

KFDJ30010-W

Unable to specify aa....aa in setBufferPoolSize argument, replace aa....aa with bb....bb.

aa....aa：setBufferPoolSize に指定した値

bb....bb：仮定された値

説明

setBufferPoolSize メソッドの引数には aa....aa を指定できません。setBufferPoolSize メソッドの引数を bb....bb に置き換えます。

対処

setBufferPoolSize メソッドの引数を見直してください。

KFDJ35001-E

Current connection is not XA mode.

The getXAResource method is invalid.

説明

現在のコネクションは XA モードではないため，getXAResource メソッドの呼び出しは無効です。

SQLException をスローします。

対処

getXAResource メソッドを呼び出さないようにしてください。

KFDJ35002-E

Current NetworkProtocol is not NativeLibrary mode.

The getXAResource method is invalid.

説明

現在の接続種別がネイティブライブラリ接続ではないため，getXAResource メソッドの呼び出しは無効です。

SQLException をスローします。

対処

接続種別をネイティブライブラリ接続に変更してください。

KFDJ36001-E

XA Session is closed.

説明

XA セッションがクローズされているため，XA 処理を受け付けられません。

XAException をスローします。

対処

XAConnection インスタンスを生成し，getXAResource メソッドで XAResource インスタンスを取得し直してから，処理を再実行してください。

KFDJ36002-E

XID is null.

説明

XID 引数の内容が null です。

XAException をスローします。

対処

XID 引数の内容を見直してください。

KFDJ60001-I

SQL process is canceled.

説明

SQL 処理をキャンセルしました。

SQLException をスローします。

KFDJ60002-E

Transaction is completed.

説明

すでにトランザクションがコミットまたはロールバックされているため，処理を受け付けられません。

SQLException をスローします。

対処

ResultSet インスタンスをクローズし，処理を再実行してください。

KFDJ60003-E

Not support SQL type exist in result.TYPE：aa....aa

aa....aa：データ型

説明

SQL の実行結果に，サポートしていないデータ型があります。

SQLException をスローします。

対処

SQL および処理対象となる表中のデータ型を見直してください。

KFDJ60004-E

Buffer area is over the range.Area：aa....aa

aa....aa：サイズ

説明

送受信バッファエリアが，指定できる範囲の上限を超えています。

SQLException をスローします。

対処

setFetchSize の設定が大き過ぎるので見直してください。

22 KFRM（Reliable Messaging が出力するメッセージ）

この章では，Reliable Messaging が出力するメッセージについて説明します。

22.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

KFRMnnnnn-Y　(Z)

メッセージテキスト

可変値についての説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

対処

ユーザが実施する対処

なお，「可変値についての説明」，「説明」および「対処」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

KFRMnnnnn

メッセージ ID を表します。

メッセージ ID を構成する要素について，次に説明します。

KFRM

Reliable Messaging が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

Reliable Messaging で管理するメッセージ番号を表します。それぞれのメッセージには，5 けたの固有の番号が付いています。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E（Error）

エラーレベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

このメッセージが出力されたときは，処理を中断します。

W（Warning）

警告レベルのトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

I（Information）

システムの動作を通知するメッセージです。

メッセージが出力されたあとも処理を続行します。

(Z)

メッセージの出力先を表します。出力先は英字 1 文字で示します。

出力先を示す文字とその意味を次に示します。

- C：Component Container のコンソールに出力されます。
- O：アプリケーションサーバ用メッセージログに出力されます。
- S：開始停止メッセージログに出力されます。

- T：Reliable Messaging のコマンド出力として標準出力に出力されます。
- U：Reliable Messaging のコマンド出力として標準エラー出力に出力されます。

これらの文字はメッセージには出力されません。複数の出力先がある場合はスラント（／）で区切ります。

メッセージテキスト

Reliable Messaging が出力するメッセージテキストを表します。

なお，メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は「xx....xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

可変値についての説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx....xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値についての説明の記述例を次に示します。

（例）

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アプリケーション名

説明

メッセージが通知された要因やメッセージを出力したソフトウェアの動作など，メッセージに対する補足説明を示します。

対処

ユーザが実施する対処を表します。なお，対処方法の「保守員に連絡してください」とは，購入時の契約に基づいて，ユーザが弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

22.2　KFRM で始まるメッセージ

Reliable Messaging が出力する KFRM00001 から KFRM99999 までのメッセージについて説明します。

KFRM00002-W（C／O）

An error was detected during QueueSession close processing. Method name=aa....aa, Exception name=bb....bb, Output location=cc....cc

aa....aa：メソッド名

bb....bb：例外名および例外発生原因を示す文字列

cc....cc：出力個所

説明

QueueSession オブジェクトのクローズ処理で異常を検知しました。

対処

このメッセージの前にエラーメッセージが出力されている場合には，そのメッセージの対処に従ってください。

KFRM00003-W（C／O）

When the message-reception method was executed, the value returned was null because QueueConnection was in an undeliverable state.

説明

メッセージ受信メソッドを実行した際，QueueConnection オブジェクトがメッセージを配送できない状態だったので，メッセージ受信メソッドの戻り値が null になりました。

KFRM00004-W（C／O）

After Connection.start() (reception start processing) was called, there was a mixture of QueueSession states because QueueSession reception start processing was sometimes successful and sometimes unsuccessful.

説明

Connection.start()メソッド（受信開始処理）の発行後，受信開始処理に成功した QueueSession オブジェクトと受信開始処理に失敗した QueueSession オブジェクトが混在する状態になりました。

対処

必要に応じてアプリケーションを停止し，障害要因を取り除いたあと，アプリケーションを再度開始してください。

KFRM00005-W（C／O）

After Connection.stop() (reception stop processing) was called, there was a mixture of QueueSession states because QueueSession reception stop processing was sometimes successful and sometimes unsuccessful.

説明

Connection.stop()メソッド（受信終了処理）の発行後，受信終了処理に成功した QueueSession オブジェクトと受信終了処理に失敗した QueueSession オブジェクトが混在する状態になりました。

対処

必要に応じてアプリケーションを停止し，障害要因を取り除いたあと，アプリケーションを再度開始してください。

KFRM01000-E（S）

An attempt to start uCosminexus Reliable Messaging has failed.

説明

Reliable Messaging の開始に失敗しました。

対処

メッセージログファイルを参照し，直前のエラーメッセージから障害要因を特定してください。障害要因を対処したあと，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM01001-E（S）

An attempt to start Logger has failed. cause=aa....aa

aa....aa：原因

説明

ロガーの開始に失敗しました。Reliable Messaging の開始は失敗します。

対処

原因を参照し，障害要因を取り除いてください。

原因が OutOfMemoryError 発生のメッセージの場合は，J2EE サーバを再開始してください。

KFRM01002-E（S）

An attempt to start the resource manager has failed.

説明

リソースマネジャの開始に失敗しました。Reliable Messaging の開始は失敗します。

対処

メッセージログファイルを参照し，直前のエラーメッセージから障害要因を特定してください。障害要因を対処したあと，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM01003-W（S）

An error was detected during the processing to stop uCosminexus Reliable Messaging.

説明

Reliable Messaging の停止処理中に異常を検知しました。Reliable Messaging の停止は完了します。

対処

メッセージログファイルを参照し，直前のメッセージの対処方法に従って障害要因を取り除いてください。

KFRM01004-I（S）

uCosminexus Reliable Messaging will now start.

説明

Reliable Messaging を開始します。

KFRM01005-I（S）

Logger will now start.

説明

ロガーを開始します。

KFRM01006-I（S）

Logger has started.

説明

ロガーを開始しました。

KFRM01007-I（S）

The resource manager will now start.

説明

リソースマネジャを開始します。

KFRM01008-I（S）

The resource manager has started.

説明

リソースマネジャを開始しました。

KFRM01009-I（C／O／S）

uCosminexus Reliable Messaging has started.

説明

Reliable Messaging を開始しました。

KFRM01010-I（S）

uCosminexus Reliable Messaging will now stop.

説明

Reliable Messaging を停止します。

KFRM01011-I（S）

uCosminexus Reliable Messaging has stopped.

説明

Reliable Messaging を停止しました。

KFRM01012-E（S）

An attempt to register the message log writer has failed.

説明

メッセージログライターの登録に失敗しました。Reliable Messaging の開始は失敗します。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM01013-E（S）

The format of the value input for container authentication is invalid. Input item=aa....aa

aa....aa：入力項目

説明

コンテナ認証で入力した値のフォーマットが不正です。Reliable Messaging の開始は失敗します。

対処

コンテナ認証の指定値を見直して，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM01014-I（S）

Container authentication information has been set. Entered item for container authentication=aa....aa

aa....aa：コンテナ認証の入力項目

説明

コンテナ認証情報がセットされました。

KFRM01015-I（S）

The server name has been set. Server name=aa....aa

aa....aa：サーバ名

説明

サーバ名がセットされました。

KFRM01016-I（S）

The display name has been set. Display name=aa....aa

aa....aa：表示名

説明

表示名がセットされました。

KFRM01017-E（C／O）

An attempt to create the queueSession has failed. cause=aa....aa

aa....aa：原因

説明

QueueSession オブジェクトの生成に失敗しました。

対処

原因を調査し，障害要因を取り除いてください。

原因が QueueSession のコネクションシェアリングに関するメッセージの場合，QueueSession 生成時の引数が誤っている可能性があります。シェアリングする場合は transacted 引数が false で，かつ AUTO_ACKNOWLEDGE モードの QueueSession オブジェクトを使用してください。

なお，「MDB のメッセージ配信で Reliable Messaging が使用するコネクション」，「close()されていない論理コネクション（java.sql.Connection，QueueSession オブジェクト）」とのコネクションシェアリングが行われ，このメッセージが出力される場合があります。

コネクションシェアリングの詳細については，次の個所を参照してください。

- マニュアル「Reliable Messaging」の「2.6.7　アプリケーション作成時の注意事項」
- マニュアル「Reliable Messaging」の「2.7.3　DB Connector for Reliable Messaging 連携時のコネクションと SQL の運用」
- マニュアル「Reliable Messaging」の「付録 G.1　アプリケーションが消費するコネクション数」

KFRM01018-E（C／O）

An attempt to create the physical connection has failed. cause=aa....aa

aa....aa：原因

説明

物理コネクションの生成に失敗しました。

対処

原因を調査し，障害要因を取り除いてください。

KFRM01019-I（S）

The Transaction Support Level has been set. Transaction support level=aa....aa

aa....aa：トランザクションサポートレベル

説明

トランザクションサポートレベルがセットされました。

KFRM01020-I（S）

The version of starting Cosminexus Reliable Messaging=aa....aa

aa....aa：Reliable Messaging のバージョン

説明

稼働中の Reliable Messaging のバージョンを表示します。

KFRM01800-E（C／O）

The MDB queue monitoring function has stopped. Name of the monitored queue=aa....aa

aa....aa：監視対象のキュー名

説明

Message-driven Bean のキュー監視機能が終了しました。Reliable Messaging はこれ以降，その Message-driven Bean と連携しません。Message-driven Bean はキューの監視をしない状態で継続します。

対処

このメッセージを出力する要因として DB が停止していることが考えられます。DB の状態を確認し，一度 Message-driven Bean を終了したあと，Message-driven Bean を再度開始してください。

KFRM01801-E（C／O）

The value defined for MDB is invalid. Property name=aa....aa

aa....aa：プロパティ名

説明

Message-driven Bean 定義の値が不正です。

Message-driven Bean の開始は失敗します。Reliable Messaging はその Message-driven Bean と連携しません。

対処

プロパティ名が Queue name の場合はキュー名を，Multiplex degree の場合は Message-driven Bean の多重度を，Message selector の場合はメッセージセレクタを変更して，Message-driven Bean を再度開始してください。

KFRM01802-E（C／O）

The message was returned to the queue, and again became a candidate for distribution. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

メッセージはキューに戻り，再び配送対象となります。メッセージがキューに戻り，Reliable Messaging は継続します。

対処

メッセージログファイルを参照し，直前のメッセージの対処方法に従って障害要因を取り除いてください。

KFRM01803-W（C／O）

Multiple instances of the MDB queue monitoring function were reduced by one. Name of the monitored queue=aa....aa

aa....aa：監視対象のキュー名

説明

Message-driven Bean のキュー監視機能の多重度が一つ減りました。Reliable Messaging はその Message-driven Bean との連携を減らして継続します。

対処

このメッセージを出力する要因として DB が停止しているか，ユーザ定義のクラスが読み込めないことが考えられます。システムの状態を確認し，一度 Message-driven Bean を終了してください。そのあと，障害要因を取り除いて，Message-driven Bean を再度開始してください。それでも状態が回復しない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM01804-I（C／O）

MDB queue monitoring will now start. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

Message-driven Bean のキューの監視を開始します。

KFRM01805-I（C／O）

MDB queue monitoring will now end. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

Message-driven Bean のキューの監視を終了します。

KFRM01806-E（C／O）

The system definition information conflicts with the queue attribute information.

説明

システムの状態とキューの状態に矛盾があります。Message-driven Bean の開始は失敗します。Reliable Messaging は該当する Message-driven Bean と連携しません。

対処

RMSHConnectFlag プロパティに適正な値が指定されているかどうかを確認してください。

KFRM01807-W（C／O）

MDB is started in Cosminexus Reliable Messaging of blocked state.

説明

Reliable Messaging が閉塞状態のまま，Message-driven Bean を開始しました。

対処

Message-driven Bean は開始しますが，メッセージは配信されません。Reliable Messaging を正常に開始できる環境にしてから，次のどちらかの操作を実行してください。

- アプリケーションサーバを再起動する。
- Message-driven Bean を終了してから，Reliable Messaging を再度開始する。その後，Message-driven Bean を開始する。

KFRM02000-E（C／O）

An error was detected during processing of a transaction request from the transaction manager. Name of the method that detected the error=aa....aa, Transaction identifier=bb....bb, Error code=cc....cc, Maintenance information:dd....dd

aa....aa：異常を検知したメソッド名

bb....bb：トランザクション識別子

cc....cc：エラーコード（保守情報）

dd....dd：保守情報

説明

トランザクションマネジャからのトランザクション要求の処理中に異常を検知しました。

Reliable Messaging は処理を続行します。ただし，「KFRM10002-E」のメッセージを出力した場合は，Reliable Messaging を閉塞します。

対処

このメッセージを出力する原因として，DB が停止している，または管理状態でトランザクションを開始したことが考えられます。システムの状態を確認してください。それ以外の場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM10000-E（C／O）

Resource manager initialization failed because the user lacked access permission.

説明

アクセス権がなかったため，リソースマネジャの初期化に失敗しました。Reliable Messaging の開始は失敗します。

対処

server.policy ファイルの permission 設定を見直してください。

KFRM10001-E（C／O）

Processing failed because the system status is aa....aa.

aa....aa：Reliable Messaging のシステム状態

説明

システム状態が不正なため，処理実行に失敗しました。

対処

システム状態が管理状態の場合は hrmstart コマンドでシステムを実行状態にしたあと，アプリケーションを再度実行してください。

閉塞状態の場合は Reliable Messaging の閉塞状態を回復したあと，アプリケーションを再度実行してください。なお，閉塞状態で Reliable Messaging を停止すると，このメッセージが出力される場合があります。

KFRM10002-E（C／O）

The system state changed to a blocked state.

説明

システム状態が閉塞状態に移行しました。この状態で要求される処理はすべて実行できません。

対処

Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM10003-E（C／O）

The version of the database table to be used by this uCosminexus Reliable Messaging version does not match the version of the table in the database. Version of the table that an attempt was made to use= aa....aa, Version of the table used by the started system= bb....bb

説明

Reliable Messaging が利用する DB テーブルのバージョンと，DB にあるテーブルのバージョンが一致していません。

aa....aa：使用しようとしたテーブルのバージョン

bb....bb：起動した Reliable Messaging が用いるテーブルのバージョン

対処

DB のテーブルバージョンの値を確認してください。旧バージョンのテーブルを使用している場合は，新たにテーブルを作成してください。使用しようとしたテーブルバージョンよりも新しいバージョンのテーブルであった場合，Reliable Messaging をあわせてバージョンアップしてください。

KFRM10022-E（C／O）

An attempt to register the queue into the JNDI name space has failed. Maintenance information=aa....aa

aa....aa：保守情報

説明

キューが JNDI ネーミングサービスへの登録に失敗しました。

Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

Reliable Messaging を再度開始してください。

開始後も JNDI ネーミングサービスに関連するエラーや警告などが出力される場合は，保守員に連絡してください。

KFRM10023-E（C／O）

The processing to retry starting of Cosminexus Reliable Messaging will now stop because the RMStartTimeout time has elapsed. RMStartTimeout value=aa....aa

aa....aa：コンフィグレーションプロパティ RMStartTimeout プロパティ値

説明

Reliable Messaging の開始処理のリトライが，RMStartTimeout プロパティの時間を経過しました。開始処理が中止され，Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

次の要因が考えられます。

- DB が停止している。
- DB への接続情報（ユーザ名，パスワードなど）に誤りがある。

メッセージログファイルを参照し，直前のエラーメッセージから障害要因を特定してください。障害要因を対処したあと，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM11000-E（C／O）

An attempt to create a thread has failed.

説明

スレッドの生成に失敗しました。Reliable Messaging の開始に失敗します。

対処

スレッドの生成に必要なメモリ量が JavaVM のヒープ領域に確保できることを確認し，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM11001-E（C／O）

An internal error occurred. Maintenance information=aa....aa

aa....aa：保守情報

説明

内部エラーが発生しました。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM11002-W（C／O）

An attempt to start an asynchronous message delivery has failed. Thread pool identifier=aa....aa

aa....aa：スレッドプール識別子

説明

非同期メッセージの配送開始に失敗しました。

スレッドプール識別子が MDB の場合，Message-driven Bean の監視スレッドが一つ減ります。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM12000-E（C／O）

An error was detected in the transaction control of uCosminexus Reliable Messaging. Name of the internal method that detected the error=aa....aa, Transaction identifier=bb....bb, Error code=cc....cc, Maintenance information:dd....dd

aa....aa：異常を検知した内部メソッド名

bb....bb：トランザクション識別子

cc....cc：エラーコード（保守情報）

dd....dd：保守情報

説明

Reliable Messaging のトランザクション制御内で異常を検知しました。

Reliable Messaging は処理を続行します。ただし，「KFRM10002-E」のメッセージを出力した場合は Reliable Messaging を閉塞します。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM12001-E（C／O）

An error was detected during the issuing of a transaction to a database. Transaction request to database=aa....aa, Transaction identifier=bb....bb, Error code=cc....cc, Maintenance information:dd....dd

aa....aa：DB に対するトランザクション命令

bb....bb：トランザクション識別子

cc....cc：エラーコード（保守情報）

dd....dd：保守情報

説明

DB へのトランザクション発行中に異常を検知しました。Reliable Messaging は処理を続行します。ただし，「KFRM10002-E」のメッセージを出力した場合は Reliable Messaging を閉塞します。

対処

DB が正常に稼働していることを確認してください。DB の状態が正常な場合はメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

DB に対するトランザクション命令に"end"または"rollback"が表示されている場合，Reliable Messaging は HiRDB のロールバックを待ちます。HiRDB では，PDSWAITTIME の指定時間が経過した時点で，該当のトランザクションをロールバックする場合があります。この場合，同一のキューに対するアプリケーションの処理はロールバック実行時点まで待たされることになるので，注意してください。PDSWAITTIME については，マニュアル「Reliable Messaging」の「3.4.1　DBMS の設定（HiRDB を使用する場合）」を参照してください。

KFRM13000-E（C／O）

An attempt to restore management information failed because of a database error. Exception=aa....aa

aa....aa：発生した例外名

説明

DB 障害によって管理情報の復元に失敗しました。Reliable Messaging は復元処理を再試行します。

対処

メッセージログファイルを参照して，DB の障害要因を取り除いてください。

KFRM13001-I（C／O）

A message exceeding its valid term was deleted. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc

aa....aa：削除元のキュー名

bb....bb：削除したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：削除したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

説明

有効期限に達したメッセージを削除しました。

KFRM13004-W（C／O）

The queue specified by RMDeadMessageQueueName does not exist.

説明

RMDeadMessageQueueName プロパティに指定したキューがありません。Reliable Messaging は処理を続行します。

対処

デッドメッセージキューを使用する場合は，次に示すどちらかの対策を実施してください。

- RMDeadMessageQueueName プロパティに正しいローカルキュー名を指定して Reliable Messaging を再度開始します。
- RMDeadMessageQueueName プロパティに指定したローカルキューを作成します。

KFRM13005-E（C／O）

A queue other than a local queue is specified in RMDeadMessageQueueName.

説明

RMDeadMessageQueueName プロパティにローカルキュー以外のキューを指定しています。Reliable Messaging は閉塞します。

対処

RMDeadMessageQueueName プロパティに正しいローカルキュー名を指定して，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM13006-W（C／O）

A message exceeding its valid term was not deleted because an exception occurred. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Exception=dd....dd

aa....aa：キュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：発生した例外

説明

例外が発生したため，有効期限に達したメッセージを削除できません。Reliable Messaging は処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照して，障害要因を取り除いてください。

KFRM13007-W（C／O）

A message exceeding the maximum number of delivery attempts was not moved to the dead message queue because an exception occurred. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Number of deliveries=dd....dd, Exception=ee....ee

aa....aa：キュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：メッセージの配送回数

ee....ee：発生した例外

説明

例外が発生したため，配送回数が最大値に達したメッセージをデッドメッセージキューに移動できません。

Reliable Messaging は処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照して，障害要因を取り除いてください。

KFRM13011-W（C／O）

The accumulating time of the message exceeded the value for RMTRPendingNotifyInterval.Queue name= aa....aa, Transmission group ID= bb....bb, Transmission sequence number in the group of unreceived messages that are causing the accumulation=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：グループ ID

cc....cc：滞留の原因となっている未受信メッセージのグループ内シーケンス番号

説明

メッセージの滞留時間が RMTRPendingNotifyInterval プロパティの値を超えました。Reliable Messaging は処理を続行します。

対処

通信路で障害が発生していないか，または送信側システムがダウンしていないかなどを調査してください。滞留原因となっている未受信のメッセージを破棄してよい場合は，hrmskipmsg（受信待ちメッセージのスキップ）コマンドを実行してスキップしてください。

KFRM13012-W（C／O）

The accumulated messages that reached the valid period for transmission-level messages could not be deleted because an exception occurred. Queue name= aa....aa, JMSMessageID= bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Transmission group ID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee, Exception= ff....ff

aa....aa：配信予定だったキュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：メッセージの通信層のグループ ID

ee....ee：メッセージの通信層のグループ内シーケンス番号

ff....ff：発生した例外

説明

例外が発生したため，通信層のメッセージ有効期限を過ぎた滞留メッセージを削除できません。Reliable Messaging は処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照して，障害要因を取り除いてください。

KFRM13013-I（C／O）

The accumulating messages were deleted because they exceeded the valid period for transmission-level messages. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Transmission GroupID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee

aa....aa：配信予定だったキュー名

bb....bb：削除したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：削除したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：削除したメッセージのグループ ID

ee....ee：削除したメッセージのグループ内シーケンス番号

説明

滞留しているメッセージが通信層のメッセージ有効期限を過ぎたため，削除しました。

対処

送信側システムがダウンしていないか，または通信路で障害が発生していないかを確認してください。

KFRM13015-I（C／O）

The group was closed in accordance with the deletion of the accumulated messages or the movement of the dead message queue. Queue name=aa....aa, Transmission group ID=bb....bb

aa....aa：滞留メッセージの配信先キュー名

bb....bb：閉鎖したグループのグループ ID

説明

滞留メッセージの削除，またはデッドメッセージキュー移動に伴い，グループを閉鎖しました。

KFRM13016-E（C／O）

An attempt to restore management information failed because the queue information was invalid. Queue name=aa....aa, Reason code=bb....bb, Column name=cc....cc, Value=dd....dd

aa....aa：キュー名

bb....bb：理由コード（保守情報）

cc....cc：テーブルの列名

dd....dd：値

説明

キュー情報が不正なため，管理情報の復元に失敗しました。該当のキューは閉塞します。

対処

キューの削除コマンドで，該当のキューを削除してください。ただし，テーブルの列名が"QUEUE_TYPE"の場合は，キューの削除コマンドでキューを削除することはできません。この場合，Reliable Messaging を停止したあと，キュー情報テーブルと FIFO 情報テーブルから不正な情報が含まれる行を削除してください。なお，メッセージ情報テーブルの削除は，キューの種類ごとに対応したテーブルが存在しているかどうかを確認し，存在している場合は削除してください。

テーブルの列名が"PERSISTENCE_MODE"の場合，キューの削除コマンドが正常に完了しても，DB のメッセージ情報テーブルが残っている可能性があります。キュー情報テーブル，FIFO 情報テーブルから不正な情報の含まれる行を削除する，およびメッセージ情報テーブルを削除するための SQL 文を次に示します。なお，SQL 文を実行する前に，必ず DB のバックアップを取得してください。

(a)　キュー情報テーブル

キュー情報テーブルから不正な情報が含まれる行を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DELETE FROM <RMSystemNameプロパティ指定値>_QUEUEINFORMATION
  WHERE QUEUE_NAME ='<エラーが発生したキュー名>';
COMMIT;
```

(b)　FIFO 情報テーブル

FIFO 情報テーブルから不正な情報が含まれる行を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DELETE FROM <RMSystemNameプロパティ指定値>_FIFOINFORMATION
  WHERE QUEUE_NAME ='<エラーが発生したキュー名>';
COMMIT;
```

(c)　メッセージ情報テーブル

メッセージ情報テーブルを削除するには，キューの種類に応じて次に示す SQL 文を実行します。

キューの種類によってメッセージ情報テーブル名が定まっています。キューの種類が不明な場合は実際の DB にあるテーブル名と次に示す SQL 文のテーブル名（DROP TABLE 文のオペランド）を比較して判断してください。

・ローカルキューおよび転送キューの場合

```
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_MSG_<エラーが発生したキュー名>;
```

・受信用共用キューの場合

```
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_SHR_<エラーが発生したキュー名>MG;
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_SHR_<エラーが発生したキュー名>RD;
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_SHR_<エラーが発生したキュー名>WT;
```

・送信用共用キューの場合

削除するメッセージ情報テーブルはありません。

KFRM13017-E（C／O）

An attempt to restore management information failed because the FIFO information was invalid. FIFO ID=aa....aa, Belonging Queue name=bb....bb, Reason code=cc....cc, Column name=dd....dd, Value=ee....ee

aa....aa：FIFO ID

bb....bb：属するキュー名

cc....cc：理由コード（保守情報）

dd....dd：テーブルの列名

ee....ee：値

説明

FIFO 情報が不正なため，管理情報の復元に失敗しました。該当の FIFO が属するキューを閉塞します。

対処

キューの削除コマンドで，該当のキューを削除してください。

KFRM13018-E（C／O）

An attempt to restore management information failed because the message information was invalid. Queue name=aa....aa, FIFO ID=bb....bb, Sequence number=cc....cc, Transmission group ID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee, Reason code=ff....ff, Column name=gg....gg, Value=hh....hh

aa....aa：キュー名

bb....bb：FIFO ID

cc....cc：シーケンス番号

dd....dd：通信層のグループ ID

ee....ee：通信層のグループ内シーケンス番号

ff....ff：理由コード（保守情報）

gg....gg：テーブルの列名

hh....hh：値

説明

メッセージ情報が不正なため管理情報の復元に失敗しました。このメッセージを保持するキューを閉塞します。

対処

Reliable Messaging を停止したあと，メッセージ情報テーブルから不正な情報が含まれる行を削除してください。不正な情報が含まれる行を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。なお，SQL 文を実行する前に，必ず DB のバックアップを取得してください。

```
DELETE FROM <RMSystemNameプロパティ指定値>_MSG_<キュー名>
  WHERE FIFO_ID ='<エラーが発生したメッセージのFIFO ID>' AND
  SEQUENCE_NO='<エラーが発生したメッセージのシーケンス番号>' AND
GROUP_NAME='<エラーが発生したメッセージの通信層のグループID>'  AND
GROUP_MESSAGE_NUMBER='<エラーが発生したメッセージの通信層のグループ内シーケンス番号>' ;
COMMIT;
```

ただし，エラーが発生したメッセージの通信層のグループ ID は，値が入っていないことがあります。その場合は，上記の SQL 文で「AND GROUP_NAME='<エラーが発生したメッセージの通信層のグループ ID>'」部分を除いて実行してください。

KFRM13019-E（C／O）

Queue is blocked because this share queue is invalid version. Queue name=aa....aa, Queue type=bb....bb, Current version=cc....cc, Required version=dd....dd

aa....aa：キュー名

bb....bb：キューの種類

cc....cc：現在の共用キューのバージョン

dd....dd：Reliable Messaging がサポートする共用キューのバージョン

説明

キューの種類が"SHARE_RECEIVE"の場合，受信用共用キューのバージョンが無効のため，キューを閉塞しました。キューの種類が"SHARE_SEND"の場合，該当の送信用共用キューに対応する受信用共用キューのバージョンが無効のため，キューを閉塞しました。

対処

Reliable Messaging を停止したのち，次の対処をしてください。

現在の共用キューのバージョンが，Reliable Messaging がサポートする共用キューバージョンよりも上の場合，現在の共用キューのバージョンをサポートするシステムにバージョンアップしてください。

現在の共用キューのバージョンが，Reliable Messaging がサポートする共用キューバージョンよりも下の場合で，キューの種類が受信用共用キューのとき，該当の共用キューのバージョンを Reliable Messaging がサポートする共用キューのバージョンにバージョンアップしてください。

現在の共用キューのバージョンが，Reliable Messaging がサポートする共用キューバージョンよりも下の場合で，キューの種類が送信用共用キューのとき，送信先となる受信用共用キューを Reliable Messaging がサポートする共用キューのバージョンにバージョンアップし，システムもサポートするバージョンにバージョンアップしてください。共用キューのバージョンアップについては，マニュアル「Reliable Messaging」の「付録 H.3　共用キューのバージョンアップ」を参照してください。

KFRM13020-E（C／O）

Queue is blocked, because of an error occurred at during database access. Queue name=aa....aa

aa....aa：閉塞したキュー名

説明

DB アクセス時にエラーが発生したため，キューを閉塞しました。

対処

このメッセージを出力する要因として，次の要因が考えられます。

- DB が停止している。
- 受信用共用キュー（閉塞したキューが送信用共用キューの場合は，対応する受信用共用キュー）の DB テーブルが存在しない。
- テーブル内のデータが不正である。

DB の停止が原因の場合は，DB を起動してから Reliable Messaging を再起動してください。それ以外の原因の場合は，キューの削除コマンドで，該当のキューを削除してください。

KFRM13021-E（C／O）

The queue specified for RMDeadMessageQueueName is blocked. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

RMDeadMessageQueueName プロパティに指定したキューは閉塞状態です。Reliable Messaging は閉塞状態となります。

対処

Reliable Messaging を停止したのち，RMDeadMessageQueueName プロパティに空白または別のキューを指定して，再度開始してください。そのあと，最初に RMDeadMessageQueueName プロパティに指定したキューを，キューの削除コマンドで削除してください。

KFRM13022-W（C／O）

Invalid data detected in the FIFO information table was deleted. FIFO_ID=aa....aa, QUEUE_NAME=bb....bb

aa....aa：FIFO 情報テーブルの主キーである FIFO_ID 列の値

bb....bb：FIFO 情報テーブルの QUEUE_NAME 列の値

説明

FIFO 情報テーブルから不正なデータを検知したため，該当のデータを削除しました。Reliable Messaging は処理を続行します。

KFRM13023-E（C／O）

The transmission queue was blocked because the group used for sending does not exist. Queue name=aa....aa

aa....aa：閉塞したキュー名

説明

送信用グループが存在しないため，転送キューを閉塞しました。

対処

キューの削除コマンドで，該当のキューを削除してください。

KFRM13024-W（C／O）

A message exceeding its valid term was not moved to the dead message queue because an exception occurred. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Exception=dd....dd

aa....aa：キュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：発生した例外

説明

例外が発生したため，有効期限に達したメッセージをデッドメッセージキューに移動できませんでした。このメッセージは削除されます。Reliable Messaging は処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照して，障害要因を取り除いてください。

KFRM13025-I（C／O）

A message exceeding its valid term was moved to the dead message queue. Queue name=aa....aa, Dead message ID=bb....bb, JMSMessageID=cc....cc, JMSCorrelationID=dd....dd

aa....aa：移動元のキュー名

bb....bb：移動したメッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

cc....cc：移動したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

dd....dd：移動したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

説明

有効期限に達したメッセージをデッドメッセージキューに移動しました。

KFRM13026-I（C／O）

A message exceeding the maximum number of delivery attempts was moved to the dead message queue. Queue name=aa....aa, Dead message ID=bb....bb, JMSMessageID=cc....cc, JMSCorrelationID=dd....dd, Number of deliveries=ee....ee

aa....aa：移動元のキュー名

bb....bb：移動したメッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

cc....cc：移動したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

dd....dd：移動したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

ee....ee：移動したメッセージの配送回数

説明

配送回数の最大値に達したメッセージをデッドメッセージキューに移動しました。

KFRM13027-I（C／O）

The accumulating messages were moved to the dead message queue because the valid period for transmission-level messages had expired or because a group was closed. Queue name=aa....aa, Dead message ID=bb....bb, JMSMessageID=cc....cc, JMSCorrelationID=dd....dd, Transmission group ID=ee....ee, Transmission sequence number=ff....ff

aa....aa：配信予定だったキュー名

bb....bb：移動したメッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

cc....cc：移動したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

dd....dd：移動したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

ee....ee：移動したメッセージのグループ ID

ff....ff：移動したメッセージのグループ内シーケンス番号

説明

滞留しているメッセージが通信層のメッセージ有効期限を超過した，またはグループが閉鎖したため，デッドメッセージキューに移動しました。

対処

送信側システムがダウンしていないか，または通信路で障害が発生していないかを確認してください。

KFRM13028-W（C／O）

The accumulating messages for which the valid period for transmission-level messages had expired or for which a group was closed could not be moved to the dead message queue because an exception occurred. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Transmission group ID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee, Exception=ff....ff

aa....aa：配信予定だったキュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：メッセージの通信層でのグループ ID

ee....ee：メッセージの通信層でのグループ内シーケンス番号

ff....ff：発生した例外

説明

例外が発生したため，通信層のメッセージ有効期限に達したまたはグループが閉鎖された滞留メッセージを，デッドメッセージキューに移動できませんでした。Reliable Messaging は処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照して，障害要因を取り除いてください。

KFRM13029-I（C／O）

A message exceeding the maximum number of delivery attempts was deleted. Queue name=aa....aa, JMSMessage ID=bb....bb, JMSCorrelation ID=cc....cc, Number of deliveries=dd....dd

aa....aa：削除元のキュー名称

bb....bb：削除したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：削除したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：削除したメッセージの配送回数

説明

配送回数の最大値に達したメッセージを削除しました。

KFRM14000-E（C／O）

An error occurred during queue access. Queue name=aa....aa, Error information=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：DB Connector のエラー情報

説明

キューアクセス時にエラーが発生しました。

使用中のコネクションを切断し，JMSException を発生します。またはコマンド処理を中断します。

対処

DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。ただし，このメッセージのあとに KFRM16010-I メッセージが出力されている場合，対処は不要です。また，DB を再起動した場合，メッセージの削除処理の延長でこのメッセージが出力されることがあります。その場合は対処する必要はありません。

エラーの要因が運用上の問題でない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14001-E（C／O）

An error occurred during database access. Error information=aa....aa

aa....aa：DB Connector のエラー情報

説明

DB アクセス時にエラーが発生しました。

使用中のコネクションを切断し，JMSException を発生します。またはコマンド処理を中断します。

対処

DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。

エラーの要因が運用上の問題でない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14002-E（C／O）

An error occurred in transaction control for a database. Transaction control type=aa....aa, Error information=bb....bb

aa....aa：トランザクション制御種別（begin，commit または rollback）

bb....bb：DB Connector のエラー情報

説明

DB へのトランザクション制御でエラーが発生しました。

使用中のコネクションを切断し，JMSException を発生します。またはコマンド処理を中断します。

対処

DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。ただし，このメッセージのあとに KFRM16010-I メッセージが出力されている場合，対処は不要です。また，DB を再起動した場合，メッセージの削除処理の延長でこのメッセージが出力されることがあります。その場合は対処する必要はありません。

エラーの要因が運用上の問題でない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14003-E（C／O）

An attempt to acquire a connection to the database has failed. Error information=aa....aa

aa....aa：DB Connector のエラー情報

説明

DB へのコネクションの取得に失敗しました。

DB へのコネクション取得処理を中断し, JMSException を発生します。Reliable Messaging の開始処理の場合，開始処理を中断します。またはコマンド処理を中断します。

対処

DB Connector および DB の指定値に誤りがあることが考えられます。DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。

エラーの要因が運用上の問題でない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14004-E（C／O）

An attempt to release the connection to the database has failed. Error information=aa....aa

aa....aa：DB Connector のエラー情報

説明

DB へのコネクションの解放に失敗しました。処理を続行します。

対処

次に示す内容を確認してください。

- DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。エラーの要因が運用上の問題でない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。
- Reliable Messaging が起動中に DB を再起動するとこのメッセージが出力されます。その場合，このメッセージは無視してください。

KFRM14005-E（C／O）

The configuration property value is invalid. Configuration property name=aa....aa, Configuration property value=bb....bb, Error information=cc....cc

aa....aa：コンフィグレーションプロパティ名

bb....bb：コンフィグレーションプロパティ指定値

cc....cc：DB Connector のエラー情報

説明

コンフィグレーションプロパティの指定値が不正です。

Reliable Messaging の開始処理を中断します。

対処

コンフィグレーションプロパティ名称が表示されている場合はコンフィグレーションプロパティの指定値を見直してください。該当しないコンフィグレーションプロパティ名称が表示されている場合はメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14008-E（C／O）

The shared queue changed to a blocked state, because the table management information of the shared queue was invalid. Queue name=aa....aa, Write number=bb....bb, Lap counter of the write number=cc....cc, Maximum value of the write number=dd....dd, Read number=ee....ee, Lap counter of the read number=ff....ff

aa....aa：キュー名

bb....bb：ライト通番

cc....cc：ライト通番のラップカウンタ

dd....dd：ライト通番の最大値

ee....ee：リード通番

ff....ff：リード通番のラップカウンタ

説明

共用キューのテーブル管理情報が不正なため，共用キューを閉塞状態にしました。キューを閉塞後，JMSException を発生します。またはコマンド処理を中断します。

対処

キューを再度作成してください。また，このメッセージが頻繁に出力される場合はメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14009-E（C／O）

An attempt to register a message failed because the size of the message exceeded the maximum length of messages that can be registered in the queue. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

登録しようとしたメッセージのサイズがキューに登録できるメッセージ長を超えたため，メッセージの登録に失敗しました。JMSException を発生します。

対処

登録先のキューがローカルキューの場合，メッセージのペイロード，プロパティおよびヘッダの指定値を見直し，メッセージのサイズを小さくしてください。送信用共用キューの場合は，メッセージのペイロードのサイズを小さくするか，共用キューを使用する場合の登録先キューとなる受信用共用キューの最大メッセージ長を増やしてください。

KFRM14010-E（C／O）

The table remained incorrect because an attempt to perform deletion of the table failed. Queue name=aa....aa, Table name=bb....bb, Error information=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：テーブル名称

cc....cc：DB Connector のエラー情報

説明

テーブルの削除または起動処理に失敗したため，テーブルが不正に残りました。コマンド処理を中断または起動処理を続行します。

対処

DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。障害を取り除いたあと，テーブル名称で示されるテーブルを手動で削除してください。なお，削除対象のキューが受信用共用キューの場合，複数のテーブル名称が表示されることがありますが，表示されるすべてのテーブルが DB 上に残っているとはかぎりません。

テーブルを削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DROP TABLE <テーブル名称>;
```

KFRM14012-W（C／O）

Close processing has failed. Java class name=aa....aa

aa....aa：Java のクラス名

説明

クローズ処理に失敗しました。処理を続行します。

対処

オブジェクトが不正に残る場合があります。必要に応じて Reliable Messaging を再度開始してください。また，このメッセージが頻繁に出力される場合はメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14013-E（C／O）

Queue and FIFO information remained incorrect because an attempt to perform post-processing after the error occurred failed. Queue name=aa....aa, FIFO ID=bb....bb, Error information=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：FIFO ID

cc....cc：DB Connector のエラー情報

説明

障害後の後処理に失敗したため，キュー情報および FIFO 情報が不正に残りました。コマンド処理を中断します。

対処

DB Connector のエラー情報を参照してエラーとなった原因を調査し，対策してください。障害を取り除いたあと次に示す処理を実行し，必要に応じてキューを再度作成してください。

キュー情報と FIFO の情報がキュー情報テーブルおよび FIFO 情報テーブルに残っているため，キュー名と FIFO ID で示される値をキーに，各情報をテーブルから削除する必要があります。

キュー情報を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DELETE FROM <RMSystemNameプロパティ指定値>_QUEUEINFORMATION
 WHERE QUEUE_NAME='<キュー名>';
COMMIT;
```

FIFO 情報を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DELETE FROM <RMSystemNameプロパティ指定値>_FIFOINFORMATION
 WHERE QUEUE_NAME='<キュー名>';
COMMIT;
```

KFRM14014-E（C／O）

Share queues cannot be created in Oracle.

説明

共用キューを Oracle に作成できません。コマンド処理を中断します。

対処

接続先の DB を HiRDB に変更し，必要に応じてコマンドを再度実行してください。

KFRM14015-E（C／O）

An attempt to register a message failed because queue capacity or the number of messages exceeded the maximum. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューの容量やメッセージ数の上限値を超過したため，メッセージの登録に失敗しました。

JMSException を発生します。

対処

キューの最大メッセージ数を増やすか，または hrmdelmsg コマンドを使用してメッセージを削除してください。

KFRM14016-E（C／O）

An attempt to read a message failed because the end of the stream was unexpectedly reached while reading the message. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

メッセージ読み取り中に予期しないストリームの終端に達したため，メッセージの読み取りに失敗しました。

JMSException を発生します。

対処

DABroker 対応の DB Connector for Reliable Messaging を使用している場合は，DABroker Library の環境設定の［リモートアクセス設定］タブで［BLOB/LONG/CLOB 型データ受取バッファサイズ］に適切な値を設定してください。そのあと，必要に応じて J2EE サーバを再度開始してください。HiRDB Type4 JDBC Driver 対応の DB Connector for Reliable Messaging を使用している場合は，DB Connector for Reliable Messaging の maxBinarySize プロパティに適切な値を設定してください。そのあと，Reliable Messaging と DB Connector for Reliable Messaging を再度開始してください。バッファサイズの見積もりについては，マニュアル「Reliable Messaging」の「6.3　DB Connector for Reliable Messaging のコンフィグレーションプロパティの一覧」を参照してください。解決されない場合はメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM14017-E（C／O）

System management information has not been registered.

説明

システム管理情報が登録されていません。Reliable Messaging の開始処理を続行します。

対処

SQL ファイルの実行が失敗していないかどうかを確認してください。失敗していた場合は，障害を取り除いたあと必要に応じて SQL ファイルを再度実行してください。

KFRM14018-E（C／O）

Authentication Information is not set.

説明

認証情報が登録されていません。

対処

認証情報が登録されているか確認してください。

KFRM14019-E（C／O）

An error occurred during creating queue. Queue name=aa....aa, Table name=bb....bb, Error information=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：テーブル名称

cc....cc：DB Connector のエラー情報

説明

キュー作成時にエラーが発生しました。コマンド処理を中断します。

対処

DB アクセスに失敗したか，テーブルが不正に残っている可能性があります。DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。障害を取り除いたあと，テーブル名称で示されるテーブルを手動で削除してください。なお，対象のキューが受信用共用キューの場合，複数のテーブル名称が表示されることがありますが，表示されるすべてのテーブルが DB 上に残っているとはかぎりません。

テーブルを削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DROP TABLE <テーブル名称>;
```

KFRM14020-E（C／O）

The shared queue used for sending was blocked because the destination queue had been deleted. Queue name=aa....aa, Destination table name=bb....bb

aa....aa：閉塞したキュー名

bb....bb：閉塞したキューの書き込み先のテーブル名称

説明

送信先のキューが削除されていたため，送信用共用キューを閉塞しました。

対処

閉塞した送信用共用キューは利用することができないので，キューの削除コマンドで削除してください。

KFRM14021-E（C／O）

An error occurred during database access. Table name=aa....aa, Error information=bb....bb

aa....aa：アクセスしようとしたテーブル名称

bb....bb：DB Connector のエラー情報

説明

DB アクセス時にエラーが発生しました。開始処理で発生した場合, Reliable Messaging の処理を続行します。または，コマンド処理を中断します。

対処

DB Connector のエラー情報を参照してエラーの要因を調査し，対策してください。

KFRM14022-E（C／O）

An attempt to read a group information failed because the end of the stream was unexpectedly reached while reading the group information.

説明

グループ情報の読み込み中に予期しないストリームの終端に達したため，グループ情報の読み込みに失敗しました。

対処

DABroker 対応の DB Connector for Reliable Messaging を使用している場合は，DABroker Library の環境設定の［リモートアクセス設定］タブで［BLOB/LONG/CLOB 型データ受取バッファサイズ］の値を増やしてください。そのあと，J2EE サーバを再度開始してください。HiRDB Type4 JDBC Driver 対応の DB Connector for Reliable Messaging を使用している場合は，DB Connector for Reliable Messaging の maxBinarySize プロパティの値を増やしてください。そのあと，Reliable Messaging と DB Connector を再度開始してください。バッファサイズの見積もりについては，マ

ニュアル「Reliable Messaging」の「6.3　DB Connector for Reliable Messaging のコンフィグレーションプロパティの一覧」を参照してください。解決されない場合はメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM15000-E（C／O）

An internal error occurred. Thread pool identifier=aa....aa, Maintenance information=bb....bb

aa....aa：スレッドプール識別子

bb....bb：保守情報

説明

内部エラーが発生しました。

スレッドプール識別子が MDB の場合，Message-driven Bean の監視スレッドが一つ減ります。

スレッドプール識別子が TRS の場合，キュー間転送の送信スレッドが一つ減ります。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM16000-E（C／O）

An attempt to initialize a system-related linkage function that is using a shared queue has failed.

説明

共用キューを使用して複数システム間でのアプリケーション連携をする機能の初期化に失敗しました。RMSHPort プロパティに指定したポート番号がすでに使用されている可能性があります。Reliable Messaging の開始処理を中断します。

対処

メッセージログファイルを参照し，直前のメッセージから障害要因を特定してください。

障害要因を対処したあと，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM16001-E（C／O）

Event transmission was ignored because an invalid of event data was detected transmitted from the system, which is using a system-related linkage function that is using a shared queue. aa....aa=bb....bb, IP address=cc....cc, Port number=dd....dd

aa....aa：要素

bb....bb：指定値

cc....cc：イベント送信元 IP アドレス

dd....dd：イベント送信元ポート番号

説明

共用キューを使用して複数システム間でのアプリケーション連携をする機能で，イベント送信元システムから送信されたイベントデータの不正を検知しため，イベント通知を無視しました。

処理を続行します。

対処

メッセージログを参照し，障害要因を取り除いてください。障害となった要因が運用上の問題でない場合は，相手システムと自システムのメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM16002-E（C／O）

Event transmission or recovery was ignored because the queue is in a blocked state. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューが閉塞状態のため，イベント通知またはリカバリを無視しました。

処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照し，以前のメッセージからキューが閉塞した要因を特定してください。

障害要因を対処したあと，キューを再作成してください。

KFRM16003-W（C／O）

An attempt to connect to the system to transmit events has failed. Host name or IP address=aa....aa, Port number=bb....bb, Queue name=cc....cc

aa....aa：イベント送信先ホスト名または IP アドレス

bb....bb：イベント送信先ポート番号

cc....cc：キュー名

説明

イベント通知を送信するための接続先システムとの接続に失敗しました。

処理を続行します。

対処

次に示す内容を確認してください。

- 送信用共用キューの「共用キューを使用する場合のイベント送信先ホスト名」および「共用キューを使用する場合のイベント送信先ポート番号」の指定値が正しく定義されていること。
- 接続先システムが正常に開始していること。
- 接続先システムで，共用キューを使用して複数システム間でのアプリケーション連携をする機能が利用できるようになっていること。

KFRM16005-E（C／O）

Event transmission was ignored because the system name of the specified queue name is invalid. Queue name=aa....aa, IP address=bb....bb, Port number=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：イベント送信元 IP アドレス

cc....cc：イベント送信元ポート番号

説明

指定したキューのシステム名が不正なため，イベント通知を無視しました。

処理を続行します。

対処

送信用共用キューに指定した，共用キューを使用する場合の登録先キューのシステム名を見直してください。または，イベント送信先 IP アドレスおよびイベント送信先ポート番号を見直してください。

KFRM16006-E（C／O）

Event transmission was ignored because the queue with the specified queue name does not exist. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

指定したキュー名のキューはないため，イベント通知を無視しました。

処理を続行します。

対処

送信用共用キューに指定した「共用キューを使用する場合の登録先キュー名」を見直してください。

KFRM16008-E（C／O）

The port number for event receiving is already used. Port number=aa....aa

aa....aa：イベント受信用のポート番号

説明

イベント受信用のポート番号は，すでに使用されています。

開始処理を中断します。

対処

ほかのプログラムで使用していないポート番号に変更したあと，再度システムを開始してください。

KFRM16009-I（C／O）

An attempt to acquire a connection to the database is performed because a connection error was detected.

説明

コネクション障害を検知したため，DB へのコネクション取得をリトライします。

処理を続行します。

KFRM16010-I（C／O）

An attempt to acquire a connection to the database was successful.

説明

DB へのコネクション取得のリトライに成功しました。

処理を続行します。

KFRM16011-E（C／O）

An attempt to acquire a connection to the database has failed.

説明

DB へのコネクション取得をリトライしましたが，失敗しました。

処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照し，その直前のメッセージから障害要因を特定してください。

KFRM16012-E（C／O）

The property of RMSHConnectFlag is illegal with the combination of types of connected DB. Type of connected DB= aa....aa.

aa....aa：接続する DB の種別

説明

RMSHConnectFlag プロパティの値が true の状態で，HiRDB 以外の DB 種別と接続しようとしました。

処理を中断します。

対処

HiRDB 以外の DB に接続する場合は，RMSHConnectFlag プロパティに false を指定して，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM16013-E（C／O）

Process was aborted or ignored because the queue was not found. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューが存在しないため，処理を中断または無視しました。

対処

処理の途中でキューが削除されました。別のキューを指定するか，またはキューを作成し直してください。

KFRM16014-E（C／O）

An attempt to bind the socket used for event reception has failed. IP address=aa....aa, Port number=bb....bb

aa....aa：バインドしようとした IP アドレス

bb....bb：バインドしようとしたポート番号

説明

イベント受信用のソケットのバインドに失敗しました。Reliable Messaging の開始処理を中断します。

対処

RMSHPort プロパティで指定したポート番号が，すでに利用されていないか確認してください。

KFRM17000-E（C／O）

The queue make file is invalid.File = aa....aa

aa....aa：ファイル名（フルパス）

説明

初期処理失敗，またはキュー定義文の構文不正です。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

メッセージログファイルを参照して，その直前のメッセージの対処方法に従って障害要因を取り除いてください。

KFRM17001-E（C／O）

The queue make file cannot be accessed.

説明

キュー作成ファイルの読み込み権限がありません。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

キュー作成ファイルに読み込み権限があるか確認してください。

KFRM17002-E（C／O）

There is no queue make file in the specified path.

説明

指定されたパスにキュー作成ファイルがありません。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

指定したパスにファイルがあるか，または指定したファイルにアクセス権限があるか確認してください。

KFRM17003-E（C／O）

A memory shortage occurred while loading the file.

説明

キュー作成ファイルの読み込みでメモリ不足が発生しました。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

メモリ量が javaVM のヒープ領域に確保できることを確認してください。

KFRM17004-E（C／O）

There is an invalid definition statement. Line = aa....aa

aa....aa：行番号

説明

キュー作成ファイルで不正な定義文があります。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

指定された行番号の定義文を見直してください。

KFRM17005-E（C／O）

There is no semi-colon for the hrmmkque definition statement. Line = aa....aa

aa....aa：hrmmkque が指定された行番号

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

hrmmkque に対応するセミコロン（;）がありません。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

hrmmkque に対応するセミコロン（;）を指定してください。

KFRM17006-E（C／O）

There is no valid queue definition statement.

説明

キュー作成ファイルに有効なキュー定義文がありません。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

キュー作成ファイルに，有効なキュー定義文を一つ以上指定してください。

KFRM17007-W（C／O）

In the queue make file, a specified queue definition statement contains an invalid option flag. Line = aa....aa

aa....aa：キュー定義文の先頭行番号

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

オプションフラグが不正です。この定義文を無視して，処理を続行します。

対処

指定したオプションフラグを見直してください。

KFRM17008-W（C／O）

In the queue make file, a specified queue definition statement contains an invalid flag argument value. Line = aa....aa

aa....aa：キュー定義文の先頭行番号

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

フラグ引数の値が不正です。この定義文を無視して，処理を続行します。

対処

指定したフラグ引数の値を見直してください。

オプションフラグごとに，指定できるフラグ引数の値を次の表に示します。

項番	オプションフラグ	指定できるフラグ引数
1	d	「serial」または「parallel」
2	e	0～2592000 の範囲の数字
3	n	1～65535 の範囲の数字
4	x	1～64 文字の英数字と_（アンダースコア）

KFRM17009-W（C／O）

In the queue make file, a specified queue definition statement contains a queue name that has an invalid character. Line = aa....aa

aa....aa：キュー定義文の先頭行番号

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

キュー名称に不正な文字が含まれています。この定義文を無視して，処理を続行します。

対処

指定したキュー名称に識別子でない文字を使用していないか見直してください。

KFRM17010-W（C／O）

In the queue make file, a specified queue definition statement contains a queue name that exceeds the maximum length of 20 characters. Line = aa....aa

aa....aa：キュー定義文の先頭行番号

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

キュー名称が 20 文字を超えています。この定義文を無視して，処理を続行します。

対処

キュー名称には 1～20 文字の識別子を指定してください。

KFRM17011-W（C／O）

In the queue make file, a specified queue definition statement contains an invalid number (none, or 2 or more) of queue names. Line = aa....aa

aa....aa：キュー定義文の先頭行番号

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

キュー名称が指定されていない，または二つ以上指定されています。この定義文を無視して，処理を続行します。

対処

キュー名称を一つだけ指定してください。不要なキュー名称は削除してください。

KFRM17012-W（C／O）

In the queue make file, a specified queue definition statement contains a queue name that already exists. Line = aa....aa

aa....aa：キュー定義文の先頭行番号

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

指定したキュー名称はすでに存在しています。この定義文を無視して，処理を続行します。

対処

キュー名称を見直してください。

KFRM17013-E（C／O）

IOException occurred when the queue make file is accessing. ClassName#MethodName = aa....aa, Maintenance information = bb....bb

aa....aa：クラス名#メソッド名

bb....bb：保守情報

説明

例外が発生したため，キュー作成ファイルの読み込みに失敗しました。Reliable Messaging は閉塞状態になります。

対処

キュー作成ファイルの状態を確認してください。キュー作成ファイルに異常がない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM17014-W（C／O）

In the queue make file, a specified queue definition statement contains a display name that already exists. Line=aa....aa, Display name=bb....bb, Name of queue that caused duplication of the display name=cc....cc

aa....aa：キュー定義文の先頭行番号

bb....bb：重複した表示名

cc....cc：表示名と重複したキュー名称

説明

キュー作成ファイルに記述されたキュー定義文が不正です。

指定した表示名はすでに存在しています。この定義文を無視して，処理を続行します。

対処

指定した表示名を見直してください。

なお，表示名を指定していなくても，指定したキュー名が定義済みのキューの表示名に重複する場合，このメッセージが出力されます。この場合は，キュー名も見直してください。

KFRM20000-E（U）

The number of characters in the specified queue name exceeded the maximum (20 characters).

説明

指定したキュー名の文字数が，上限の 20 文字を超えています。

対処

指定したキュー名を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20001-E（U）

The specified queue name contains an invalid character.

説明

指定したキュー名に不正な文字が含まれています。

対処

指定したキュー名に識別子でない文字を使用していないか見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20002-E（U）

The specified queue name already exists. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

指定したキュー名はすでにあります。

対処

指定したキュー名を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20003-E（U）

A queue with the specified queue name does not exist. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

指定したキュー名のキューはありません。

対処

指定したキュー名を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20004-E（U）

A message with the specified message number does not exist. Message number=aa....aa

aa....aa：メッセージ通番

説明

指定したメッセージ通番のメッセージはありません。

対処

指定したメッセージ通番を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20005-E（U）

A timeout request occurred in the command.

説明

コマンドでリクエストタイムアウトが発生しました。

対処

コマンドのバッチファイル（Windows の場合）またはシェルスクリプト（UNIX の場合）内のリクエストタイムアウト値を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20006-E（U）

The system status is invalid. uCosminexus Reliable Messaging system status=aa....aa

aa....aa：Reliable Messaging のシステム状態

説明

システム状態が不正です。

対処

発行したコマンドを実行できる状態であるかシステムの状態を確認し，必要に応じてシステムの状態を変更したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20007-E（U）

The command cannot execute because the specified queue is in a blocked state.

説明

指定したキューは閉塞状態であるため，コマンドを実行できません。

対処

キュー状態を正常にし，コマンドを再度実行してください。

KFRM20008-E（U）

A message in the shared queue used for sending cannot be deleted.

説明

送信用共用キューのメッセージは削除できません。

対処

相手システム上でメッセージを削除してください。

KFRM20009-E（U）

The attributes of the queue cannot be updated or deleted because a message has been registered in the specified queue.

説明

指定したキューにはメッセージが登録されているため，キューの属性変更および削除はできません。

対処

必要に応じてキューのメッセージを削除したあと，コマンドを再度実行してください。hrmdelque コマンドの場合は強制オプション（-f オプション）を利用できます。

KFRM20010-E（U）

The value specified for the command option is invalid. Invalid cause=aa....aa

aa....aa：不正原因

説明

コマンドオプションに指定した値が不正です。

対処

コマンドオプションに指定した値を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20011-E（U）

The command syntax is invalid.

説明

コマンドの形式が不正です。

対処

コマンドの形式を確認し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20012-E（U）

The command has failed.

説明

コマンドが失敗しました。

対処

メッセージログファイルを参照し，障害要因を表すメッセージを特定したあと，そのメッセージの対処方法に従ってください。障害要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

なお，Reliable Messaging 停止処理中にコマンドを実行すると，このメッセージが出力されることがあります。この場合，Reliable Messaging を起動したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20014-I（T）

Usage: hrmdelque [-f] [-S system-name] queue-name

説明

キューの削除コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20016-I（T）

Usage: hrmlsque {-n | -q queue-name} [-S system-name]

説明

キュー情報の表示コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20017-I（T）

Usage: hrmlsmsg -n message-number [-e output-message-number] [-o output-message-byte] [-S system-name] queue-name

説明

メッセージの表示コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20018-I（T）

Usage: hrmdelmsg {-a | -n message-number} [-f] [-S system-name] queue-name

説明

メッセージの削除コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20019-I（T）

Usage: hrmstart [-S system-name]

説明

実行開始コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20020-I（T）

Usage: hrmstop [-S system-name]

説明

実行終了コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20021-I（T）

Usage: hrmlsstat [-S system-name]

説明

システム状態の表示コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20022-I（T）

Usage: hrmlstrn [-S system-name]

説明

トランザクション状態の表示コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20024-I（T）

The uCosminexus Reliable Messaging command ended normally.

説明

Reliable Messaging のコマンドが正常に終了しました。

KFRM20025-I（C／O）

The queue was created. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューを作成しました。

KFRM20026-I（C／O）

The queue was deleted. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューを削除しました。

KFRM20027-I（C／O）

The message was deleted. Queue name=aa....aa, Message number=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：メッセージ通番，または"ALL"

説明

メッセージを削除しました。

KFRM20028-E（U）

Initialization processing of the command has failed.

説明

コマンドの初期化処理に失敗しました。

対処

次に示す項目を確認し，コマンドを再度実行してください。

- ネーミングサービスが正常に起動していること。
- 指定したシステム名の Reliable Messaging が正常に開始していること。
- HRM_CMD_PORT 環境変数が正しく定義されていること。

KFRM20029-E（U）

A message in the shared queue used for sending cannot be read.

説明

送信用共用キューのメッセージは参照できません。

対処

送信用共用キューで定義されている「共用キューを使用する場合の登録先キュー名」を相手システム上で確認してください。

KFRM20030-E（U）

A message in the shared queue cannot be read because the system-related linkage function that is using the shared queue is invalid.

説明

共用キューを使用して複数システム間でのアプリケーション連携をする機能が無効となっているため，共用キューのメッセージを参照できません。

対処

RMSHConnectFlag プロパティに true を指定し，Reliable Messaging を再度開始したあとでコマンドを再度実行してください。

KFRM20031-I（C／O）

The state of uCosminexus Reliable Messaging has changed. System state of uCosminexus Reliable Messaging=aa....aa

aa....aa：Reliable Messaging のシステム状態

説明

Reliable Messaging のシステム状態を変更しました。

KFRM20032-E（U）

The HRMDIR environment variable has not been defined.

説明

HRMDIR 環境変数は定義されていません。

対処

HRMDIR 環境変数を定義したあとでコマンドを再度実行してください。

KFRM20033-E（U）

A message in the shared queue cannot be deleted because the system-related linkage function that is using the shared queue is invalid.

説明

共用キューを使用して複数システム間でのアプリケーション連携をする機能が無効となっているため，共用キューのメッセージを削除できません。

対処

RMSHConnectFlag プロパティに true を指定し，Reliable Messaging を再度開始したあとで，コマンドを再度実行してください。

KFRM20034-E（U）

A message cannot be deleted because it is being delivered.

説明

メッセージが配送中のため削除できません。

対処

必要に応じて hrmstop コマンドでシステムを管理状態にしたあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20035-E（U）

The queue is in a state where its configuration cannot be changed.

説明

キューの構成を変更できない状態です。

対処

システム状態が実行状態の場合は hrmstop コマンドでシステムを管理状態にし，Reliable Messaging を再開始後，コマンドを再度実行してください。

システム状態が管理状態の場合は Reliable Messaging を再開始後，コマンドを再度実行してください。

KFRM20036-E（U）

An address with the specified address name does not exist. Address name=aa....aa

aa....aa：あて先名

説明

指定したあて先名のあて先は存在しません。

対処

指定したあて先名を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20037-E（U）

A transferring between queues cannot be used because its function is disabled.

説明

キュー間転送機能が無効となっていて，使用できない状態です。

対処

RMTRConnectFlag プロパティに true を指定し，Reliable Messaging を再起動したあとで再度コマンドを実行してください。

KFRM20038-E（U）

The specified address name already exists. Address name=aa....aa

aa....aa：あて先名

説明

指定したあて先名はすでに存在しています。

対処

指定したあて先名を見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20039-E（U）

The specified address cannot be deleted because it is being referenced in the queue. Address name=aa....aa

aa....aa：あて先名

説明

指定したあて先はキューで参照しているため削除できません。

対処

指定したあて先名を見直してください。

KFRM20040-E（U）

An attribute of an address or queue cannot be changed because messages are being transmitted.

説明

メッセージが転送中であるため，あて先またはキューの属性を変更できません。

対処

hrmdelmsg（メッセージの削除）コマンドを実行してから，コマンドを再度実行してください。

KFRM20041-E（U）

The type of the specified queue is invalid.

説明

指定したキューの種別が不正です。

対処

正しいキュー種別のキューを指定して，コマンドを再度実行してください。

KFRM20042-E（U）

A group with the specified transmission group ID does not exist. Transmission group ID=aa....aa

aa....aa：通信層グループ ID

説明

指定した通信層グループ ID のグループは存在しません。

対処

指定したグループを見直し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20043-E（U）

The specified group cannot be used and referred because it is disabled.

説明

指定したグループは無効な状態なので，グループの参照や使用はできません。

対処

状態が有効であるグループを指定して，再度コマンドを実行してください。

KFRM20044-E（U）

The QoS of the specified group is invalid.

説明

指定したグループの QoS（通信品質）が不正です。

対処

指定したグループの QoS を見直してください。

KFRM20045-E（U）

The type of the specified group is invalid. Transmission group ID= aa....aa

aa....aa：通信層グループ ID

説明

指定したグループの種別が不正です。

対処

指定したグループを見直してください。

KFRM20046-E（U）

The transmission sequence number of the specified message is invalid. Transmission sequence number=aa....aa

aa....aa：通信層グループ内シーケンス番号

説明

指定したメッセージの通信層シーケンス番号が不正です。

対処

指定した通信層シーケンス番号を見直してください。

KFRM20047-I（C／O）

The address was registered. Address name=aa....aa

aa....aa：あて先名

説明

あて先を登録しました。

KFRM20048-I（C／O）

The address was deleted. Address name=aa....aa

aa....aa：あて先名

説明

あて先を削除しました。

KFRM20049-I（C／O）

The message was skipped. Queue name=aa....aa, Transmission sequence number=bb....bb

aa....aa：キュー名

bb....bb：通信層グループ内シーケンス番号

説明

メッセージをスキップしました。

KFRM20050-I（T）

Usage: hrmmkaddr -u url [-i user-id -p password] [-S system-name] address-name

説明

hrmmkaddr（あて先登録）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20051-I（T）

Usage: hrmdeladdr [-S system-name] address-name

説明

hrmdeladdr（あて先削除）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20052-I（T）

Usage: hrmchgaddr [-u url] [-i user-id -p password] [-S system-name] address-name

説明

hrmchgaddr（あて先変更）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20053-I（T）

Usage: hrmlsaddr {-n | -a address-name} [-S system-name]

説明

hrmlsaddr（あて先表示）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20055-I（T）

Usage: hrmstoptrs -y {send | receive} [-S system-name] queue-name

説明

hrmstoptrs（送受信抑止）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20056-I（T）

Usage: hrmstarttrs -y {send | receive} [-S system-name] queue-name

説明

hrmstarttrs（送受信抑止解除）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20057-I（T）

Usage: hrmskipmsg -n transmission-sequence-number -g transmission-group-id [-S system-name] queue-name

説明

hrmskipmsg（受信待ちメッセージスキップ）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20058-I（T）

Usage: hrmlstrs {-n | -g transmission-group-id} [-m transmission-group-message-number] [-e output-message-number] [-S system-name] queue-name

説明

hrmlstrs（通信状態表示）コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20059-E（U）

An attempt to delete a queue failed because the queue was monitored by an MDB.

説明

キューを監視している Message-driven Bean が存在するため，キューの削除に失敗しました。

対処

削除予定のキューを監視している Message-driven Bean を停止させたあと，キューの削除コマンドを再度実行してください。

KFRM20060-E（U）

An attempt to create a queue failed because a queue with the same name as the one specified in RMDeadMessageQueueName cannot be created under the current system status. Queue name=aa....aa

aa....aa：指定したキュー名

説明

管理状態以外のシステム状態で，RMDeadMessageQueueName プロパティと同じキュー名を指定したため，キューの作成に失敗しました。

対処

必要に応じて hrmstop コマンドでシステムを管理状態にしたあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20061-E（U）

An attempt to create a queue failed because the queue to be created had the same name as a deleted queue but a different queue type. Queue name=aa....aa

aa....aa：指定したキュー名

説明

削除したキューと同じキュー名で，かつ異なる種類のキューを作成しようとしたため，キューの作成に失敗しました。

対処

Reliable Messaging を再起動したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20062-E（U）

An attempt to create a queue failed because the queue to be created had the same name as a deleted queue but a different queue mode. Queue name=aa....aa

aa....aa=指定したキュー名

説明

削除したキューと同じキュー名で，かつ異なるキューモードのキューを作成しようとしたため，キューの作成に失敗しました。

対処

Reliable Messaging を再起動したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20063-E（U）

An attempt to create a shared queue used for receiving failed because the queue to be created had the same name as a deleted queue but a different maximum length of messages. Queue name=aa....aa

aa....aa=指定したキュー名

説明

削除したキューと同じキュー名の受信用共用キューを作成する場合，異なる値の最大メッセージ長でキューを作成しようとしたため，キューの作成に失敗しました。

対処

Reliable Messaging を再起動したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20064-E（U）

An attempt to create a shared queue failed because the version of the shared queue used for receiving is not supported. Queue name=aa....aa

aa....aa：指定したキュー名

説明

受信用共用キューがサポートしていないバージョンであるため，共用キューの作成に失敗しました。

対処

対応する受信用共用キューを適切なバージョンで作成したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20065-E（U）

An attempt to create a shared queue failed because an error occurred during database access. Queue name=aa....aa

aa....aa：指定したキュー名

説明

DB アクセス時にエラーが発生したため，共用キューの作成に失敗しました。

対処

要因として DB の停止，対応する受信用共用キューが削除されているなどが考えられます。障害要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20066-E（U）

An attempt to delete a queue failed because the queue was not stopped or was not blocked. Queue name=aa....aa

aa....aa：指定したキュー名

説明

キューが抑止されているまたは閉塞状態ではないため，キューの削除に失敗しました。

対処

削除予定のキューをすべての形式で抑止したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20067-E（U）

An attempt to delete a queue failed because a transaction for the queue was executing. Queue name=aa....aa

aa....aa=指定したキュー名

説明

キューに対するトランザクションが実行状態のため，キューの削除に失敗しました。

対処

削除予定のキューに対するトランザクションの決着を待ち，コマンドを再度実行してください。

KFRM20068-E（U）

An attempt to delete a queue failed because a queue with the same name as the one specified in RMDeadMessageQueueName cannot be deleted under the current system status. Queue name=aa....aa

aa....aa=指定したキュー名

説明

Reliable Messaging 起動直後，管理状態以外のシステム状態で，RMDeadMessageQueueName プロパティと同じキュー名を指定したため，キューの削除に失敗しました。

対処

デッドメッセージキューを削除する場合は，hrmstop コマンドでシステムを管理状態にし，Reliable Messaging を再起動したあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20071-E（U）

An attempt to get queue information failed because an error occurred during database access. Queue name=aa....aa

aa....aa：指定したキュー名

説明

DB アクセス時にエラーが発生したため，キュー情報の参照に失敗しました。

対処

要因として DB の停止，対応する受信用共用キューが削除されているなどが考えられます。障害要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20072-E（U）

An attempt to delete a queue failed because the queue is blocked as the result of an unknown queue type. Queue name=aa....aa

aa....aa：指定したキュー名

説明

キューの種類の値不正によってキューが閉塞状態であるため，キューの削除に失敗しました。

対処

Reliable Messaging を停止したあと，キュー情報テーブルと FIFO 情報テーブルから不正な情報が含まれる行を削除してください。不正な情報が含まれる行を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。なお，メッセージ情報テーブルの削除は，キューの種類ごとに対応したテーブルが存在しているかどうかを確認し，存在している場合は削除してください。また，SQL 文を実行する前に，必ず DB のバックアップを取得してください。

(a)　キュー情報テーブル

キュー情報テーブルから不正な情報が含まれる行を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DELETE FROM <RMSystemNameプロパティ指定値>_QUEUEINFORMATION
  WHERE QUEUE_NAME ='<エラーが発生したキュー名>';
COMMIT;
```

(b)　FIFO 情報テーブル

FIFO 情報テーブルから不正な情報が含まれる行を削除するには，次に示す SQL 文を実行します。

```
DELETE FROM <RMSystemNameプロパティ指定値>_FIFOINFORMATION
  WHERE QUEUE_NAME ='<エラーが発生したキュー名>';
COMMIT;
```

(c)　メッセージ情報テーブル

メッセージ情報テーブルを削除するには，キューの種類に応じて次に示す SQL 文を実行します。
キューの種類によってメッセージ情報テーブル名が定まっています。キューの種類が不明な場合は実際の DB にあるテーブル名と次に示す SQL 文のテーブル名（DROP TABLE 文のオペランド）を比較して判断してください。

・ローカルキューおよび転送キューの場合

```
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_MSG_<エラーが発生したキュー名>;
```

・受信用共用キューの場合

```
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_SHR_<エラーが発生したキュー名>MG;
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_SHR_<エラーが発生したキュー名>RD;
DROP TABLE <RMSystemNameプロパティ指定値>_SHR_<エラーが発生したキュー名>WT;
```

・送信用共用キューの場合

削除するメッセージ情報テーブルはありません。

KFRM20074-I（T）

Usage: hrmstopque -y {ap_send | ap_receive | trs_send | trs_receive | ap_all | all} [-S system-name] queue-name

説明

キューの抑止コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20075-I（T）

Usage: hrmstartque -y {ap_send | ap_receive | trs_send | trs_receive | ap_all | all} [-S system-name] queue-name

説明

キューの抑止解除コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20078-I（T）

Usage: hrmlsdmsg {-i dead-message-id | -n message-number [-e output-message-number]} [-o output-message-byte] [-p] [-S system-name]

説明

デッドメッセージの参照コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20079-I（T）

Usage: hrmregdmsg {-i dead-message-id | -q original-queue-name} [-S system-name]

説明

デッドメッセージの再登録コマンドの使用方法を示します。コマンドの形式が誤っている場合に出力します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20080-I（C／O）

The dead message was re-registered in the original queue. Queue name=aa....aa, Dead message ID=bb....bb, JMSMessageID=cc....cc, JMSCorrelationID=dd....dd

aa....aa：移動前のキュー名

bb....bb：再登録したメッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

cc....cc：再登録したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

dd....dd：再登録したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

説明

デッドメッセージをデッドメッセージキュー移動前のキューに再登録しました。

KFRM20081-W（C／O）

An attempt to re-register a dead message in the original queue has failed. Queue name=aa....aa, Dead message ID=bb....bb, JMSMessageID=cc....cc, JMSCorrelationID=dd....dd

aa....aa：移動前のキュー名

bb....bb：スキップしたメッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

cc....cc：スキップしたメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

dd....dd：スキップしたメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

説明

デッドメッセージキュー移動前のキューへのデッドメッセージの再登録に失敗しました。以降のメッセージの再登録を続行します。

対処

次の原因が考えられます。障害要因を取り除いてください。

- メッセージが配信中または配信済みである
- メッセージサイズが移動元キューの最大メッセージ長より大きい
- 移動元のキューの種類が変更された

なお，共用キューのメッセージをローカルキューに再登録しようとした場合，デッドメッセージの再登録はできません。

KFRM20082-E（U）

The command cannot be executed because the dead message queue is not being used.

説明

デッドメッセージキューを使用していないため，デッドメッセージの参照コマンドまたはデッドメッセージの再登録コマンドは実行できません。

対処

RMDeadMessageQueueName プロパティを指定していない場合は，
RMDeadMessageQueueName プロパティを指定してください。

RMDeadMessageQueueName プロパティに指定したローカルキュー名がない場合は，指定したローカルキューを作成してください。そのあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20083-E（U）

No message matches the condition specified in the command option.

説明

コマンドオプションに指定した条件に該当するメッセージがありませんでした。

対処

指定した条件を見直して，コマンドを再度実行してください。

KFRM20084-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue failed because the original queue did not exist. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

再登録先のキュー（デッドメッセージキュー移動前のキュー）が存在しないため，デッドメッセージの再登録に失敗しました。

対処

再登録先のキューが存在するか確認してください。再登録先のキューが存在する状態で，コマンドを再度実行してください。

KFRM20085-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue failed because the original queue was blocked. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

再登録先のキュー（デッドメッセージキュー移動前のキュー）が閉塞しているため，デッドメッセージの再登録に失敗しました。

対処

再登録先のキューを正常な状態に戻し，コマンドを再度実行してください。

KFRM20086-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue failed because the original queue was stopped. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

再登録先のキュー（デッドメッセージキュー移動前のキュー）が登録抑止状態のため，デッドメッセージの再登録に失敗しました。

対処

再登録先のキューの登録抑止を解除して，コマンドを再度実行してください。

KFRM20087-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue failed because the information for the original queue and for the dead message do not match. Dead message ID=aa....aa

aa....aa：メッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

説明

デッドメッセージと再登録先のキュー（デッドメッセージキュー移動前のキュー）の情報に不一致があるため，再登録に失敗しました。

対処

次の原因が考えられます。障害要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

- メッセージサイズが再登録先のキューの最大メッセージ長より大きい
- 再登録先のキューの種類が変更された

なお，共用キューのメッセージをローカルキューに再登録しようとした場合，デッドメッセージの再登録はできません。

KFRM20088-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue failed because the dead message is being delivered. Dead message ID=aa....aa

aa....aa：メッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

説明

メッセージが配送中のため，デッドメッセージ再登録に失敗しました。

対処

アプリケーションがデッドメッセージキューからメッセージを取り出していない状態で，コマンドを再度実行してください。

KFRM20089-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue failed because the original queue was full. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

再登録先のキュー（デッドメッセージキュー移動前のキュー）が満杯のため，デッドメッセージの再登録に失敗しました。

対処

再登録先のキューに，次のどれか一つの処置を実行したあと，コマンドを再度実行してください。

- キューのメッセージを取り出す
- キューの最大メッセージ数を増やす
- メッセージ削除コマンドでメッセージを削除する

KFRM20090-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue failed because the system-related linkage function that is using the shared queue is invalid. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

共用キューを使用して複数システム間でのアプリケーション連携をする機能が無効となっているため，共用キューへのデッドメッセージの再登録に失敗しました。

対処

RMSHConnectFlag プロパティに true を指定して，Reliable Messaging を再度起動してください。そのあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20091-E（U）

An attempt to re-register a dead message in the original queue has failed.

説明

デッドメッセージの再登録に失敗しました。

対処

原因としてメモリが不足していることが考えられます。障害要因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。

KFRM20092-E（C／O）

An unsupported command option was specified. Command name = aa....aa Option name = bb....bb

aa....aa：コマンド名

bb....bb：オプションフラグ

説明

非永続版リソースアダプタでサポートしていないオプションが指定されました。

対処

オプションを見直してください。

KFRM20093-E（C／O）

An unsupported command was specified. Command name = aa....aa

aa....aa：コマンド名

説明

非永続版リソースアダプタでサポートしていないコマンドが実行されました。

対処

実行したコマンドが，非永続版リソースアダプタでサポートされているかどうかを確認してください。

KFRM20094-W（C／O）

An attempt to read messages has failed while executing hrmstopque command. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

共用キューの抑止コマンドは成功しましたが，メッセージの読み取りに失敗しました。取り出しの対象とならないメッセージが残っている可能性があります。

対処

原因として DB が停止していることが考えられます。メッセージログファイルを参照して障害要因を取り除いたあと，必要に応じて再度抑止コマンドを実行してください。

KFRM20095-E（C／O）

An attempt to bind failed because an object with the same name as an object created by Cosminexus Reliable Messaging has already been bound to the JNDI name space.

説明

Reliable Messaging と同じ名称のオブジェクトが JNDI の名前空間にバインドされているため，バインド処理に失敗しました。Reliable Messaging の開始を中断します。

対処

要因として，RMSystemName プロパティ指定値と同じシステム名の Reliable Messaging がすでに開始していることが考えられます。RMSystemName プロパティ指定値を見直し，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM20096-W（U）

An attempt to release a remote object created by Cosminexus Reliable Messaging has failed.

説明

Reliable Messaging で作成したリモートオブジェクトの解放に失敗しました。Reliable Messaging のオブジェクトがリークすることがあります。

対処

このメッセージのあとに出力されるエラー情報を参照し，障害要因を取り除いたあと，必要に応じて J2EE サーバを再度開始してください。

KFRM20097-W（C／O）

An attempt to release a remote object created by Cosminexus Reliable Messaging has failed. cause=aa....aa

aa....aa：原因

説明

Reliable Messaging で作成したリモートオブジェクトの解放に失敗しました。

Reliable Messaging のオブジェクトがリークすることがあります。

対処

出力された原因を基に障害要因を取り除いたあと，必要に応じて J2EE サーバを再開始してください。

KFRM20100-E（U）

The specified display name already exists. Display name=aa....aa, Name of queue that caused duplication of the display name=bb....bb

aa....aa：指定した表示名（指定していない場合はキュー名）

bb....bb：表示名と重複したキュー名称

説明

指定した表示名はすでに存在しています。

対処

指定した表示名を見直して，コマンドを再度実行してください。

なお，表示名を指定していなくても，指定したキュー名が定義済みのキューの表示名に重複する場合，このメッセージが出力されます。この場合は，キュー名も見直してください

KFRM20121-W（C／O）

An attempt to register the queue into the JNDI name space has failed. Queue name=aa....aa, Display name=bb....bb, Maintenance information=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：表示名（指定していない場合はキュー名）

cc....cc：保守情報

説明

JNDI ネーミングサービスへのキューの登録に失敗しました。

対処

アプリケーションが, 対象のキューを JNDI ネーミングサービスから取得できません。hrmdelque コマンドでキューを削除し，再度同じキューを作成してください。また，キュー作成後に Reliable Messaging を再度開始してください。

Reliable Messaging の開始後も, JNDI ネーミングサービスに関連するエラーや警告が出力される場合は，保守員に連絡してください。

KFRM20122-W（C／O）

An attempt to delete the queue from the JNDI name space has failed. Queue name=aa....aa, Display name=bb....bb, Maintenance information=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：表示名（指定していない場合はキュー名）

cc....cc：保守情報

説明

JNDI ネーミングサービスからのキューの削除に失敗しました。

対処

JNDI ネーミングサービスに不要なリソースが残っています。

再度，JNDI ネーミングサービスに関連するエラーや警告が出力される場合は，保守員に連絡してください。

KFRM20123-W（C／O）

An attempt to register or delete the queue from the JNDI name space has failed. Queue name=aa....aa, Display name=bb....bb, Maintenance information=cc....cc

aa....aa：キュー名

bb....bb：属性変更前の表示名または属性変更後の表示名

cc....cc：保守情報

説明

キューの JNDI ネーミングサービスへの登録，または JNDI ネーミングサービスからの削除に失敗しました。

対処

次の原因が考えられます。Reliable Messaging を再度開始してください。

- アプリケーションが，対象のキューを JNDI ネーミングサービスから取得できない。
- JNDI ネーミングサービスに不要なリソースが残っている。

Reliable Messaging の開始後も，JNDI ネーミングサービスに関連するエラーや警告が出力される場合は，保守員に連絡してください。

KFRM20125-E（U）

An error occurred while the permissions were being checked.

説明

権限の判定中にエラーが発生しました。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。空きメモリを増やしてから再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。

KFRM20126-E（U）

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

説明

管理者特権がないためコマンドを実行できません。

対処

管理者として実行したコマンドプロンプト上で，再度コマンドを実行してください。

KFRM20127-I（T）

Usage:

hrmmkque -t local [-m persistent] [-d {serial | parallel}] [-n max-message-number] [-c cache-message-number] [-e expiry-time] [-w {sender | receiver}] [-r rd-area-name] [-x display-name] [-S system-name] queue-name hrmmkque -t local -m non_persistent [-d {serial | parallel | parallel_unit_order}] [-n max-message-number] [-c cache-message-number] [-e expiry-time] [-w {sender | receiver}] [-r rd-area-name] [-x display-name] [-S system-name] queue-name

hrmmkque -t shr_receive [-l max-message-size] [-n max-message-number] [-c cache-message-number] [-r rd-area-name] [-x display-name] [-S system-name] queue-name

hrmmkque -t shr_send [-l max-message-size] -b shared-queue-name [-x display-name] [-S system-name] queue-name

hrmmkque -t transmit [-m {persistent | non_persistent}] [-n max-message-number] [-c cache-message-number] [-e expiry-time] -a address-name {-v address-queue-name | -y} [-i {normal | compatible}] [-j {exactly_once | in_order}] [-g transmission-group-expiry-time] [-s transmission-expiry-time] [-r rd-area-name] [-x display-name] [-S system-name] queue-name

説明

コマンドの形式が誤っている場合に出力されます。キューの作成コマンドの使用方法を示します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM20128-I（T）

Usage:

local : hrmchgque [-d {serial | parallel | parallel_unit_order}] [-n max-message-number] [-c cache-message-number] [-e expiry-time] [-w {sender | receiver}] [-x display-name] [-S system-name] queue-name

shr_receive : hrmchgque [-c cache-message-number] [-x display-name] [-S system-name] queue-name

shr_send : hrmchgque [-x display-name] [-S system-name] queue-name

transmit : hrmchgque [-n max-message-number] [-c cache-message-number] [-e expiry-time] [-a address-name] [-v address-queue-name | -y] [-i {normal | compatible}] [-j {exactly_once | in_order}] [-g transmission-group-expiry-time] [-s transmission-expiry-time] [-x display-name] [-S system-name] queue-name

説明

コマンドの形式が誤っている場合に出力されます。キューの属性変更コマンドの使用方法を示します。

対処

正しい形式でコマンドを再度実行してください。

KFRM32000-E（S）

The value specified for the property is invalid. Property name=aa....aa, Specified property value=bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ指定値

説明

プロパティに指定した値が不正です。

対処

プロパティに正しい値を指定して，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM32001-E（S）

A required property has not been specified or the value is invalid. uCosminexus Reliable Messaging startup will be cancelled. Required property enumeration=aa....aa

aa....aa：入力が必要なプロパティ

説明

入力必須のプロパティが指定されていない，または値が不正です。Reliable Messaging の開始を中断します。

対処

必須のプロパティを設定して，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM32002-W（S）

This property will execute with the default value, because the value specified for the property is invalid. Property name=aa....aa, Specified property value=bb....bb, Default value=cc....cc

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ指定値

cc....cc：デフォルト値

説明

プロパティに指定した値が不正なため，このプロパティをデフォルト値で実行します。

対処

必要に応じてプロパティ指定値を見直してください。

KFRM32003-I（S）

The property has been set. Property name=aa....aa, Set property value=bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：プロパティ指定値

説明

プロパティがセットされました。

KFRM32006-W（C／O）

RMTRTransferControlDir will execute with default path of the client definition file, because there was no client definition file at path specified for RMTRTransferControlDir. RMTRTransferControlDir value=aa....aa, Default path=bb....bb

aa....aa：プロパティ指定値

bb....bb：デフォルトのクライアント定義ファイルがあるディレクトリのパス

説明

RMTRTransferControlDir プロパティに指定したパスにクライアント定義ファイルがないため，RMTRTransferControlDir プロパティはデフォルトのクライアント定義ファイルのパスで実行します。

対処

必要に応じて RMTRTransferControlDir プロパティに指定したパスを見直してください。

KFRM32007-W（S）

Cosminexus Reliable Messaging does not support this property. Property name=aa....aa

aa....aa：プロパティ名

説明

Reliable Messaging は，このプロパティをサポートしていません。

対処

サポートしていないプロパティを削除し，Reliable Messaging を再開始してください。

KFRM32008-W（C／O）

Cosminexus Web Services operates by the default value because there is not the client definition file on the default path=aa....aa

aa....aa：クライアント定義ファイルが存在するデフォルトのフォルダ名

説明

デフォルトのパスにクライアント定義ファイルがないため，SOAP 通信基盤はデフォルト値で動作します。

対処

デフォルトのパスにクライアント定義ファイルを置いてください。

KFRM32009-E（C／O）

No value is specified in the RMTRTransferControlDir property, or the directory of the specified value contains no client definition file. RMTRTransferControlDir value=aa....aa

aa....aa：プロパティ指定値

説明

RMTRTransferControlDir プロパティに値が指定されていないか，指定したディレクトリにクライアント定義ファイルがありません。Reliable Messaging の開始を中断します。

対処

RMTRTransferControlDir プロパティに正しいクライアント定義ファイルのパスが指定されているか見直し，Reliable Messaging を再度開始してください。

KFRM34000-E（C／O）

A memory shortage occurred.

説明

メモリ不足が発生しました。

使用中のコネクションを切断し，JMSException を発生します。

対処

Reliable Messaging で必要なメモリ量が JavaVM のヒープ領域に確保できることを確認し，アプリケーションサーバを再度開始してください。

KFRM40001-I（C／O）

A message that reported reception failure during communication was deleted. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Transmission group ID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee, Error code=ff....ff

aa....aa：削除元のキュー名

bb....bb：削除したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：削除したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：削除したメッセージのグループ ID

ee....ee：削除したメッセージのグループ内シーケンス番号

ff....ff：エラーコード（保守情報）

説明

通信で受信失敗が通知されたメッセージを削除しました。

対処

原因として，送信側の設定誤り，メッセージの有効期間切れ，受信側でのスキップコマンド実施，プロトコルのバージョン不正などが考えられます。障害原因を調査してください。

KFRM40003-W（C／O）

A message that reported reception failure during communication was held. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Transmission group ID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee, Error code=ff....ff

aa....aa：キュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：メッセージのグループ ID

ee....ee：メッセージのグループ内シーケンス番号

ff....ff：エラーコード（保守情報）

説明

通信で受信失敗が通知されたメッセージを保留しました。

対処

原因として，送信側の設定誤り，メッセージの有効期間切れ，受信側でのスキップコマンド実施，プロトコルのバージョン不正などが考えられます。障害原因を調査してください。

メッセージが不要であれば，コマンドで障害が発生したメッセージを削除してください。

KFRM40004-W（C／O）

A message that reported reception failure during communication could not be deleted because an exception occurred. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Transmission group ID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee, Error code=ff....ff, Exception=gg....gg

aa....aa：キュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：メッセージのグループ ID

ee....ee：メッセージのグループ内シーケンス番号

ff....ff：エラーコード（保守情報）

gg....gg：発生した例外

説明

例外が発生したため，通信で受信失敗が通知されたメッセージを削除できません。

処理を続行します。

対処

メッセージログファイルを参照して，障害要因を取り除いてください。

KFRM40005-E（C／O）

An attempt to create a thread has failed.

説明

スレッドの生成に失敗しました。

Reliable Messaging が起動できません。

対処

RMTRSendThreadNum プロパティに適正な値が指定されているかどうかを確認してください。

KFRM40006-W（C／O）

An attempt to start a transmission thread has failed. Thread pool identifier=aa....aa

aa....aa：スレッドプールの識別子

説明

送信スレッドの開始に失敗しました。

識別子が TRS の場合，キュー間転送の送信スレッドが減ります。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM40007-I（C／O）

The group where the reception failure occurred during communication was closed. Queue name=aa....aa, Transmission group ID=bb....bb

aa....aa：閉鎖したグループの属するキュー名

bb....bb：閉鎖したグループのグループ ID

説明

通信で受信障害が発生したグループを閉鎖しました。

KFRM40008-W（C／O）

The protocol header of the received message is invalid, has not been specified, or is not supported by uCosminexus Reliable Messaging. IP address of the sender=aa....aa

aa....aa：送信元 IP アドレス

説明

次のうちのどちらかが当てはまります。

- 受信したメッセージにプロトコルヘッダが指定されていません。
- Reliable Messaging がサポートしないプロトコルヘッダ，または不正なプロトコルヘッダが指定されています。

対処

通信相手システムに応じて対処してください。

相手システムが Reliable Messaging 以外の場合

相手システムが適切なプロトコルのメッセージを送信するように問い合わせてください。

相手システムが Reliable Messaging の場合

次の原因が考えられます。相手システムに問い合わせてください。

- 別のキューに存在するグループまたは閉鎖されたグループが指定されたメッセージを受信した。
- 次に示す原因で，プロトコルヘッダが指定されていない応答メッセージを受信した。

・転送先の Reliable Messaging が実行状態でない。

・転送先の Reliable Messaging の RMTRConnectFlag プロパティに true が指定されていない。

・転送先の Reliable Messaging でコネクションの取得に失敗するなどの内部障害が発生した。

KFRM40009-W（C／O）

A message that had a non-existent or non-receptive queue specified for the transmission destination was received. IP address of the sender=aa....aa, Queue name=bb....bb

aa....aa：送信元 IP アドレス

bb....bb：転送先キュー名

説明

存在しないキュー，または受信できないキューを送信先として指定したメッセージを受信しました。

対処

送信元の相手システムが適切なキュー名を指定するように問い合わせてください。

KFRM40010-W（C／O）

The message could not be received because the queue was full. Queue name=aa....aa

aa....aa：キュー名

説明

キューが満杯のため，メッセージが受信できません。

対処

次のうちどれか一つの処置を実行してください。

- キューのメッセージを取り出す。
- キューの最大メッセージ数を増やす。
- メッセージ削除コマンドでメッセージを削除する。

KFRM40011-E（C／O）

An attempt to start all transmission thread has failed. Thread pool identifier=aa....aa

aa....aa：スレッドプールの識別子

説明

すべての送信スレッドの開始に失敗しました。

識別子が TRS の場合，送信スレッドが開始していないため，キュー間転送機能を使用できません。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM40012-I（C／O）

A message that reported reception failure during communication was moved to the dead message queue. Queue name=aa....aa, Dead message ID=bb....bb, JMSMessageID=cc....cc, JMSCorrelationID=dd....dd, Transmission group ID=ee....ee, Transmission sequence number=ff....ff, Error code=gg....gg

aa....aa：移動元のキュー名

bb....bb：移動したメッセージのデッドメッセージ ID（JMS_HITACHI_DeadMessageID プロパティ値）

cc....cc：移動したメッセージの JMSMessageID ヘッダ値

dd....dd：移動したメッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

ee....ee：移動したメッセージのグループ ID

ff....ff：移動したメッセージのグループ内シーケンス番号

gg....gg：エラーコード（保守情報）

説明

通信で受信失敗が通知されたメッセージをデッドメッセージキューに移動しました。

対処

原因として，送信側の設定誤り，メッセージの有効期限切れ，受信側でのスキップコマンド実施，プロトコルのバージョン不正などが考えられます。障害原因を調査してください。

KFRM40013-E（C／O）

The message was not sent because an attempt to convert the message type failed. Queue name=aa....aa, JMSMessageID=bb....bb, JMSCorrelationID=cc....cc, Transmission group ID=dd....dd, Transmission sequence number=ee....ee

aa....aa：キュー名

bb....bb：メッセージの JMSMessageID ヘッダ値

cc....cc：メッセージの JMSCorrelationID ヘッダ値

dd....dd：メッセージのグループ ID

ee....ee：メッセージのグループ内シーケンス番号

説明

メッセージの型変換に失敗したので，メッセージの送信を中止しました。

対処

次の原因が考えられます。障害要因を取り除いたあとでアプリケーションサーバを再度開始するか，hrmdelmsg コマンドを使用してメッセージを削除してください。

- ObjectMessage オブジェクトに格納するオブジェクトがユーザの定義したクラスの場合，クラスパスが J2EE サーバ用オプション定義ファイルに指定されていない。
- Reliable Messaging で必要なメモリ量を javaVM のヒープ領域に確保できない。

なお，これらの原因に該当しない場合は，メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM41000-W（C／O）

Header information for an invalid WS-Reliability was received. IP address of the sender: aa....aa

aa....aa：送信元 IP アドレス

説明

不正な WS-Reliability のヘッダ情報を受信しました。

対処

メッセージの送信元に，正しい WS-Reliability の電文を送信しているかどうかを確認してください。

KFRM42000-W（C／O）

Processing to send the SOAP message for inter-queue transmission processing has failed. Address name=aa....aa, URL=bb....bb, Queue name=cc....cc

aa....aa：あて先名

bb....bb：あて先アドレス

cc....cc：転送先キュー名

説明

キュー間転送処理中に，SOAP メッセージ送信処理に失敗しました。転送キューのあて先アドレスが正しくないか，またはあて先システムが停止しています。

対処

転送キューのあて先アドレスを確認し，あて先システムの起動状態を確認してください。

KFRM42002-W（C／O）

A message that had a non-existent or non-receptive queue specified for the transmission destination was received. IP address of the sender=aa....aa, Queue name=bb....bb

aa....aa：送信元 IP アドレス

bb....bb：転送先キュー名

説明

存在しないキュー，または受信できないキューを送信先として指定したメッセージを受信しました。

対処

送信元の相手システムが適切なキュー名を指定するよう問い合わせてください。

KFRM42003-W（C／O）

When the message was received, the queue name was not specified. IP address of the sender=aa....aa

aa....aa：送信元 IP アドレス

説明

メッセージを受信した際，キュー名が指定されていません。

対処

送信元の相手システムがキュー名を指定するように問い合わせてください。

KFRM42004-W（C）

It failed to receive the message because of NamingException. error message=aa....aa

aa....aa：障害文字列

説明

NamingException が発生したため，メッセージの受信に失敗しました。

対処

メッセージログファイルを参照し，障害要因を取り除いてください。障害となった要因が運用上の問題でない場合は，相手システムと自システムのメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM42005-W（C）

It failed to receive the message because of JMSException. error message=aa....aa

aa....aa：障害文字列

説明

JMSException が発生したためにメッセージの受信に失敗しました。

対処

メッセージログファイルを参照し，障害要因を取り除いてください。障害となった要因が運用上の問題でない場合は，相手システムと自システムのメッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

KFRM99000-E（C／O）

An internal error occurred. Class=aa....aa, Method=bb....bb, Maintenance information=cc....cc

aa....aa：内部エラーが発生したクラス名（パッケージ名を含む）

bb....bb：内部エラーが発生したメソッド名（括弧はなし）

cc....cc：保守情報

説明

内部エラーが発生しました。

対処

メッセージログとトレースを採取し，保守員に連絡してください。

23 Web サーバ(HTTP Server)が出力するメッセージ

この章では，HTTP Server が出力するメッセージについて説明します。

23.1　メッセージの記述形式

この章でのメッセージの記述形式を次に示します。

メッセージテキスト

メッセージの説明文

エラーレベル：エラーログに出力するエラーのレベル

(S)システムの処理

(O)ユーザの処置

なお，「エラーレベル」，「(O)」はメッセージによって記述しないものもあります。

次に，各項目について説明します。

メッセージテキスト

メッセージは，時刻，エラーレベルとそれに続くメッセージテキストで構成されているものと，メッセージテキストだけで構成されているものがあります。形式を次に示します。

形式 1

［時刻］［エラーレベル］メッセージテキスト

形式 2

メッセージテキスト

メッセージテキストの説明で「詳細情報」と記載している部分には，「(エラーコード) エラー文字列」などが出力されます。

メッセージの説明文

メッセージが通知された要因など，メッセージに対する補足説明を示します。

エラーレベル

LogLevel ディレクティブで指定したエラーレベルが表示されます。

出力されるエラーレベルは次のとおりです。

- emerg レベル
- alert レベル
- crit レベル
- error レベル
- warn レベル
- notice レベル
- info レベル
- レベルなし

「レベルなし」のメッセージは，レベル設定のないメッセージで，メッセージテキストだけ出力されます。

(S)

システムがメッセージを出力したあとにする主な処理を示します。

(O)

メッセージが出力されたときに，ユーザが実施する処置を示します。

23.2　注意事項

notice レベルのメッセージは，LogLevel ディレクティブの指定に関係なく出力されます。

HTTP Server 起動時など，レベル指定解析前には，LogLevel ディレクティブの指定に関係なくメッセージが出力される場合があります。

次に示すメッセージは一部を除き，記載していません。

- HTTP Server の起動時に出力される，コンフィグファイルの文法エラーに伴うメッセージ
- HTTP Server の起動後に出力される，エラーレベルが debug のメッセージ
- HTTP Server の起動後に出力される，エラーレベルがないメッセージ

23.3　基本機能についてのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージについて説明します。

(1)　emerg レベルのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで，エラーレベルが emerg のメッセージについて説明します。

詳細情報: OpenEvent on **イベント名称** event

イベントのオープンに失敗しました。

エラーレベル：emerg

(S) Web サーバは停止，再起動処理を中断します。

(O) OpenEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: SetEvent on **イベント名称** event

イベントの通知に失敗しました。

エラーレベル：emerg

(S) Web サーバは停止，再起動処理を中断します。

(O) SetEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: couldn't grab the accept mutex

accept の排他獲得処理に失敗しました。

エラーレベル：emerg

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: couldn't release the accept mutex

accept の排他解除処理に失敗しました。

エラーレベル：emerg

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Couldn't initialize cross-process lock in child

サーバプロセス間で使用する排他の初期化処理に失敗しました。

エラーレベル：emerg

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Couldn't create accept lock **ファイル名**

accept の排他環境生成に失敗しました。なお，ファイル名は出力されないことがあります。

エラーレベル：emerg

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Couldn't set permissions on cross-process lock; check User and Group directives

サーバプロセス間で使用する排他のパーミッション設定に失敗しました。

エラーレベル：emerg

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)User および Group ディレクティブ値を**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: apr_accept: giving up.

accept()関数でエラー（ENETDOWN）が発生しました。

エラーレベル：emerg

(S)リクエストを受けたサーバプロセスを終了します。

(O)accept()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

(2)　alert レベルのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで，エラーレベルが alert のメッセージについて説明します。

[client **クライアントアドレス**] **アクセスコントロールファイル名: エラーメッセージ**

アクセスコントロールファイルを解析中にエラーが発生しました。

エラーレベル：alert

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)アクセスコントロールファイルを**エラーメッセージ**について見直してください。

---

no listening sockets available, shutting down

listen 状態のソケットがありません。

エラーレベル：alert

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)Listen，BindAddress ディレクティブまたは Port ディレクティブについて，ソケット生成が失敗する原因がないか見直してください。

---

httpsd: Could not determine the server's fully qualified domain name, using **Web サーバ名称** for ServerName

Web サーバの完全なドメイン名称を解決できなかったため，ServerName として **Web サーバ名称**を使用します。

エラーレベル：alert

(S)ServerName に **Web サーバ名称**を使用します。

Child **サーバプロセス ID** returned a Fatal error... Server is exiting!

サーバプロセスは，続行できないエラーのため終了しました。

エラーレベル：alert

(S)Web サーバは終了します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

詳細情報: getpwuid: couldn't determine user name from uid **ユーザ ID**, you probably need to modify the User directive

パスワード・データベース内の**ユーザ ID** の検索処理でエラーが発生しました。User ディレクティブを見直す必要があります。

エラーレベル：alert

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)User ディレクティブでの指定値と getpwuid()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: setgid: unable to set group id to Group **グループ ID**

グループ ID の設定に失敗しました。

エラーレベル：alert

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)setgid()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: initgroups: unable to set groups for User **ユーザ名** and Group **グループ ID**

ユーザに関するグループアクセスリストの初期化に失敗しました。

エラーレベル：alert

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)initgroups()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: setuid: unable to change to uid: **ユーザ ID**

ユーザ ID の設定に失敗しました。

エラーレベル：alert

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)setuid()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: set dumpable failed - this child will not coredump after software errors

コアダンプの設定に失敗しました。サーバプロセスは通常コアダンプするようなエラーが発生してもコアを出力しません。

エラーレベル：alert

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)prctl()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

(3)　crit レベルのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで，エラーレベルが crit のメッセージについて説明します。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報: アクセスコントロールファイル名** pcfg_openfile: unable to check htaccess file, ensure it is readable

アクセスコントロールファイルを読み込めません。

エラーレベル：crit

(S)ステータスコード「403　Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因についてアクセスコントロールファイルを見直してください。

詳細情報: unable to replace stderr with error_log

標準エラー出力ファイル記述子をエラーログのファイル記述子に複製できません。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: unable to replace stderr with /dev/null

標準エラー出力を/dev/null で置き換えられません。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)freopen()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **プロセス ID:** Failed to create a max_requests event.

サーバプロセスは最大リクエスト数のためのイベント生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O) CreateEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **プロセス ID:** _beginthreadex failed. Unable to create all worker threads. Created **生成したスレッド数** of the **ディレクティブ値** threads requested with the ThreadsPerChild configuration directive.

ThreadsPerChild ディレクティブに指定された数の Web サーバスレッドを生成中に，スレッド生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスは制御プロセスに対して，Web サーバの停止を要求します。

(O)_beginthreadex()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **プロセス ID:** WAIT_FAILED -- shutting down server

サーバプロセスは終了，計画停止または最大リクエスト数のイベント待ちに失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O) WaitForMultipleObjects()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** Unable to retrieve the ready event from the parent

サーバプロセスの開始イベントハンドルを制御プロセスから取得できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O) ReadFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** Unable to retrieve the exit event from the parent

サーバプロセスの終了イベントハンドルを制御プロセスから取得できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O) ReadFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** Unable to retrieve the start_mutex from the parent

排他用のハンドラを制御プロセスから取得できませんでした。
エラーレベル：crit
(S)サーバプロセスを終了します。
(O)ReadFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** Unable to access the start_mutex from the parent
排他用のハンドラにアクセスできませんでした。
エラーレベル：crit
(S)サーバプロセスを終了します。
(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** Unable to retrieve the scoreboard from the parent
スコアボード用のハンドラを制御プロセスから取得できませんでした。
エラーレベル：crit
(S)サーバプロセスを終了します。
(O)ReadFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** Unable to access the scoreboard from the parent
スコアボードにアクセスできませんでした。
エラーレベル：crit
(S)サーバプロセスを終了します。
(O)MapViewOfFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** Unable to reopen the scoreboard from the parent
スコアボードをオープンできませんでした。
エラーレベル：crit
(S)サーバプロセスを終了します。
(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to duplicate the ready event handle for the child
サーバプロセスの開始イベントハンドルを複製できませんでした。
エラーレベル：crit
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)DuplicateHandle()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to send the ready event handle to the child

サーバプロセスに開始イベントハンドルを送信できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to duplicate the exit event handle for the child

サーバプロセスの終了イベントハンドルを複製できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O) DuplicateHandle()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to send the exit event handle to the child

サーバプロセスに終了イベントハンドルを送信できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to retrieve the start mutex for the child

排他用のハンドルを取得できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to duplicate the start mutex to the child

排他用のハンドルを複製できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O) DuplicateHandle()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to duplicate the start mutex to the child

排他用のハンドルを複製できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)DuplicateHandle()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to send the start mutex to the child

サーバプロセスに排他用のハンドルを送信できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to retrieve the scoreboard handle for the child

スコアボード用のハンドルを取得できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to duplicate the scoreboard handle to the child

スコアボード用のハンドルを複製できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)DuplicateHandle()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Unable to send the scoreboard handle to the child

サーバプロセスにスコアボード用のハンドルを送信できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: setup_inherited_listeners: Unable to read socket data from parent.

制御プロセスからのソケットデータを読み込めません。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)ReadFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID:** setup_inherited_listeners(), WSASocket failed to open the inherited socket.

継承したソケットのオープンに失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)WSASocket()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: WSADuplicateSocket failed for socket **fd 番号.**

制御プロセスはソケットの複製に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)WSADuplicateSocket()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to write duplicated socket **fd 番号** to the child.

制御プロセスはソケットを通してサーバプロセスへの書き込みに失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Failed to get the current path

カレントパス情報の取得に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Failed to get full path of **起動コマンド**

起動コマンドの絶対パス取得に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to create child stdin pipe.

サーバプロセスに情報を送信するためのパイプ生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to connect child stdout to NUL.

サーバプロセスから情報を取得するための NUL ハンドルへの接続に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to connect child stderr.

サーバプロセスに設定する標準エラー出力に接続できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Could not create ready event for child process

サーバプロセスの開始イベント生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)CreateEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Could not create exit event for child process

サーバプロセスの終了イベント生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)CreateEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Failed to create the child process.

サーバプロセスの生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: master_main: create child process failed. Exiting.

制御プロセスはサーバプロセスの生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: master_main: WaitForMultipleObjects WAIT_FAILED -- doing server shutdown

制御プロセスは停止，計画停止または再起動のイベント待ちに失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは終了します。

(O) WaitForMultipleObjects()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Failed to get the full path of **起動コマンド**

起動コマンドの絶対パス取得に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: サービス名称: Unable to start the service manager.

サービス起動に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Cannot create shutdown event **イベント名称**

制御プロセスは停止のためのイベント生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O) CreateEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Cannot create restart event **イベント名称**

制御プロセスは再起動のためのイベント生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは再起動処理を中断します。

(O) CreateEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: サービス名称: Failed to start the service process.

サービスの起動に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: make_sock: for address **Web サーバアドレス: ポート番号**, apr_socket_opt_set: (SO_KEEPALIVE)

ソケットレベルオプション SO_KEEPALIVE の設定時にエラーが発生しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)setsockopt()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: make_sock: for address **Web サーバアドレス: ポート番号**, apr_socket_opt_set: (SO_REUSEADDR)

ソケットレベルオプション SO_REUSEADDR の設定時にエラーが発生しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)setsockopt()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: alloc_listener: failed to set up sockaddr for **IP アドレス**

IP アドレスに関するソケット情報を取得できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)Listen ディレクティブまたは BindAddress ディレクティブで指定した **IP アドレス**について見直してください。

詳細情報: alloc_listener: failed to get a socket for **IP アドレス**

ソケットの終端の作成時にエラーが発生しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)socket()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID**: Unable to retrieve the graceful exit event from the parent

サーバプロセスの計画停止イベントハンドルを制御プロセスから取得できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)ReadFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to duplicate the graceful exit event handle for the child

サーバプロセスの計画停止イベントハンドルを複製できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O) DuplicateHandle()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to send the graceful exit event handle to the child

サーバプロセスに計画停止イベントハンドルを送信できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Parent: Could not create graceful exit event for child process

サーバプロセスの計画停止イベント生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセス生成処理を中断します。

(O) CreateEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Cannot create graceful stop event **イベント名称**

制御プロセスは計画停止のためのイベント生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O) CreateEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] configuration error: couldn't **テキスト: リクエスト URI 値**

リクエスト URI 値にアクセスする場合に，コンフィグファイル内での設定にエラーがあるため，**テキスト**に示す事象を実行できません。

エラーレベル：crit

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)テキストに示す内容についてコンフィグファイルを見直してください。

詳細情報: Fatal error: unable to create global pool for use with by the scoreboard

スコアボードで使用する領域を確保できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: Unable to create scoreboard (anonymous shared memory failure)

スコアボードで使用する共有メモリを確保できませんでした。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

Invalid config file path **コンフィグファイル名**

コンフィグファイルのパスが不正です。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)コンフィグファイル名に示すパスについて見直してください。

詳細情報: Invalid PID file path **プロセス ID 格納ファイル名**, ignoring.

プロセス ID 格納ファイル名が不正です。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O) PidFile ディレクティブを**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: make_sock: could not bind to address **Web サーバアドレス:ポート番号**

ソケットへのアドレスバインド時にエラーが発生しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)bind()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

Ouch! Out of memory in add_job()!

リクエスト受付処理中にメモリ確保に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)メモリ使用量について，システムの状態を確認してください。

詳細情報: Could not open pipe-of-death.

サーバプロセスの終了要求で使用するパイプの生成に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)pipe()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: make_sock: for address **Web サーバアドレス: ポート番号**, apr_socket_opt_set: (IPV6_V6ONLY)

ソケットレベルオプション IPV6_V6ONLY の設定時にエラーが発生しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)setsockopt()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: An attempt to load the audit log library has failed.

監査ログ出力用ライブラリのロードに失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: An attempt to acquire the address of the audit log function has failed.

監査ログ出力用ライブラリの関数のアドレス取得に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: An attempt to acquire the path of the audit log library has failed.

監査ログ出力用ライブラリのパスの取得に失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID**: Unable to retrieve the parent process handle from the parent

制御プロセスのプロセスハンドルを制御プロセスから取得できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)ReadFile()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to duplicate the parent process handle for the child

制御プロセスのプロセスハンドルを複製できませんでした。

エラーレベル：crit

(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)DuplicateHandle()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: Unable to send the parent process handle to the child

サーバプロセスに制御プロセスのプロセスハンドルを送信できませんでした。
エラーレベル：crit
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: SetHandleInformation failed.

制御プロセスの標準入力，標準出力または標準エラー出力のプロパティ設定に失敗しました。
エラーレベル：crit
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)SetHandleInformation()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **サーバプロセス ID**: SetHandleInformation failed.

サーバプロセスの標準入力，標準出力または標準エラー出力のプロパティ設定に失敗しました。
エラーレベル：crit
(S)サーバプロセスを終了します。
(O)SetHandleInformation()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

Parent: the child process exited before starting initialization.

サーバプロセスは初期化処理を開始する前に終了しました。
エラーレベル：crit
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

詳細情報: Parent: WaitForMultipleObjects failed.

制御プロセスはサーバプロセスの初期化処理開始イベント待ちに失敗しました。
エラーレベル：crit
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)WaitForSingleObject()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

---

the service control dispatcher terminated before completing initialization of the service.

サービス制御ディスパッチャスレッドはサービス初期化処理が完了する前に終了しました。

エラーレベル：crit

(S)サービスの起動処理を中断します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

---

service initialization wait timed out.

サービス起動プロセスのサービス初期化処理完了イベント待ちでタイムアウトが発生しました。

エラーレベル：crit

(S)サービスの起動処理を中断します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

詳細情報: WaitForMultipleObjects failed.

サービス起動プロセスはサービス初期化処理完了イベント待ちに失敗しました。

エラーレベル：crit

(S)サービスの起動処理を中断します。

(O) WaitForSingleObject()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

(4)　error レベルのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで，エラーレベルが error のメッセージについて説明します。

[client **クライアントアドレス**] Request exceeded the limit of **制限値** internal redirects due to probable configuration error. Use 'LimitInternalRecursion' to increase the limit if necessary. Use 'LogLevel debug' to get a backtrace.

リクエストの内部リダイレクトの回数が，**制限値**(10)に達しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)内部リダイレクトが不要に繰り返されないように，設定を確認してください。

[client **クライアントアドレス**] Request exceeded the limit of **制限値** subrequest nesting levels due to probable configuration error. Use 'LimitInternalRecursion' to increase the limit if necessary. Use 'LogLevel debug' to get a backtrace.

リクエストのサブリクエストのネスト回数が**制限値**(10)に達しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)サブリクエストが不要に繰り返されないように，設定を確認してください。

[client クライアントアドレス] Invalid URI in request リクエスト

リクエスト中の URI が不正です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400　Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエスト中の URI を見直してください。

[client クライアントアドレス] File does not exist: ファイル名

要求したファイルが見つかりません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「404　Not Found」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)要求したファイル名について見直してください。

[client クライアントアドレス] Attempt to serve directory: ディレクトリ名

ディレクトリ名への要求はできません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「404　Not Found」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエスト中の URI を見直してください。

[client クライアントアドレス] This resource does not accept the メソッド method.

ソースに対して許可されていないメソッドでの要求でした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「405　Method Not Allowed」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエスト中のメソッドを見直してください。

[client クライアントアドレス] 詳細情報: file permissions deny server access: ファイル名

要求されたファイルへのアクセス権限がありません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403　Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)要求されたファイルについて詳細情報に従い見直してください。

[client クライアントアドレス] Invalid method in request リクエスト

リクエスト中のメソッドが不正です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「501　Method Not Implemented」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエスト中のメソッドを見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: core_output_filter: Error reading from bucket.

送信データの読み込み処理に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: Failed to read cgi file **ファイル名称** for testing

ファイルの読み込みに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)スクリプト実行処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **ファイル名称** is not executable; ensure interpreted scripts have "#!" first line

指定されたファイルは実行できません。

エラーレベル：error

(S)CGI プログラムの起動を中断します。

(O)最初の行に"#!"が指定してあるか確認してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: reading request body failed

クライアントからのリクエストボディの受信に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す原因について見直してください。

詳細情報: could not create **プロセス ID 格納ファイル名**

プロセス ID 格納ファイルを作成できませんでした。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)PidFile ディレクティブで指定したファイルを**詳細情報**について見直してください。

---

httpsd: could not log pid to file **プロセス ID 格納ファイル名**

プロセス ID 格納ファイルへのプロセス ID の記録に失敗しました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

Too many errors in select loop. Child process exiting.

サーバプロセスでの select()エラー発生回数が 100 回を超えたため，サーバプロセスを終了します。

エラーレベル：error

(S)リクエスト受付処理を終了します。

(O)このメッセージのほかに出力されている select()関数のエラーの原因について見直してください。

詳細情報: accept: (client socket)

accept()関数でエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S)リクエスト受付処理を続行します。

(O)accept()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **プロセス ID**: Failed to acquire the start_mutex. Process will exit.

サーバプロセス排他用のロック獲得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サーバプロセスを終了します。

(O) WaitForSingleObject()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Child **プロセス ID**: Failure releasing the start mutex

サーバプロセス排他用のロック解放に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サーバプロセスは終了処理を続行します。

(O) ReleaseMutex()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: set_listeners_noninheritable: SetHandleInformation failed.

オブジェクトハンドルのプロパティ設定に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サーバプロセスは初期化処理を続行します。

(O)SetHandleInformation()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: master_main: WaitForMultipleObjects with INFINETE wait exited with WAIT_TIMEOUT

制御プロセスは停止，計画停止または再起動のイベント待ち中に，INFINETE 指定であるにもかかわらずタイムアウトが発生しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは終了します。

(O)WaitForMultipleObjects()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: ResetEvent(shutdown_event)

制御プロセスは停止イベントの解除に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは停止処理を続行します。

(O)ResetEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: ResetEvent(restart_event) failed.

制御プロセスは再起動イベントの解除に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは再起動処理を続行します。

(O)ResetEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: SetEvent for child process **スロット番号** failed

制御プロセスはサーバプロセスの再起動イベントの設定に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは再起動処理を続行します。

(O)SetEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Parent: SetEvent for child process **スロット番号** failed

制御プロセスはサーバプロセスの停止または計画停止イベントの設定に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは停止または計画停止処理を続行します。

(O)SetEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

Parent: child process exited with status **終了コード** -- Aborting.

サーバプロセスは**終了コード**で終了しました。Web サーバを停止します。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは停止処理を開始します。

(O)**終了コード**が示す原因について，見直してください。

サービス名称: Service is already installed.

すでにインストールされているサービスをインストールしようとしました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバはサービスインストール処理を中止します。

(O)サービスを確認してください。

詳細情報: No installed service named "**サービス名称**".

インストールされていないサービスを指定しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)サービスを確認してください。

詳細情報: サービス名称: Unable to create the start_mutex.

排他用のハンドラ生成に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)CreateMutexW()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: could not open transfer log file **ファイル名.**

ログファイルが開けません。

エラーレベル：error

(S)Web サーバの起動処理を終了します（Web サーバを起動しません)。

(O)TransferLog ディレクティブまたは CustomLog ディレクティブの設定を見直してください。

詳細情報: invalid transfer log path **ファイル名.**

ログファイルが不正です。

エラーレベル：error

(S)Web サーバの起動処理を終了します（Web サーバを起動しません)。

(O)TransferLog ディレクティブまたは CustomLog ディレクティブの設定を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報：**log writer isn't correctly setup

log writer が正しくセットアップされていません。

エラーレベル：error

(S)サーバは処理を続行します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: ResetEvent(graceful_stop_event)

制御プロセスは計画停止イベントの解除に失敗しました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは計画停止処理を続行します。

(O) ResetEvent()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] request failed: URI too long (longer than **上限値**)

リクエスト URI が長過ぎるため，リクエスト処理を続行できません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「414　Request-URI Too Large」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエストライン（メソッド，問い合わせ文字列などを含む URI，HTTP バージョン）で指定した文字列が LimitRequestLine ディレクティブ値を超えていないか見直してください。

[client **クライアントアドレス**] request failed: erroneous characters after protocol string: **リクエストライン**

リクエストラインに不正な HTTP プロトコル文字列が指定されています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400 Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエストラインに文法エラーがあります。リクエストラインに指定された HTTP バージョンに，不正な文字列が指定されていないかどうかを確認してください。

[client **クライアントアドレス**] request failed: error reading the headers

リクエストヘッダにエラーがあるためリクエスト処理を続行できません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400　Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエストヘッダに文法エラーがあります。ヘッダとして誤ったものを指定していないかまたはリクエストヘッダの個数が LimitRequestFields ディレクティブ値を超えていないかを見直してください。

[client **クライアントアドレス**] client sent invalid HTTP/0.9 request: HEAD **リクエスト URI 値**

クライアントは不当な HTTP/0.9 リクエスト（HEAD リクエスト URI 値）を送付したため，リクエスト処理を続行できません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400　Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)HEAD メソッドでのリクエストは HTTP プロトコル 1.0 以降で有効です。HTTP プロトコル文字列を含まないで，HEAD メソッドによるリクエストをしていないか確認してください。

[client **クライアントアドレス**] client sent HTTP/1.1 request without hostname (see RFC2616 section 14.23): **リクエスト URI 値**

クライアントは HTTP/1.1 リクエストを HOST ヘッダを付けないで送付したため, リクエスト処理を続行できません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400　Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)HOST ヘッダを付けた HTTP/1.1 リクエストであるかを確認してください。

[client **クライアントアドレス**] need AuthType to note auth failure: **リクエスト URI 値**

ユーザ認証する場合の AuthType ディレクティブで指定する認証タイプ名が指定されていません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「401　Authorization Required」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)ユーザ認証する場合には，AuthType ディレクティブを指定してください。

[client **クライアントアドレス**] need AuthName: **リクエスト URI 値**

ユーザ認証する場合の AuthName ディレクティブで指定する realm 名が指定されていません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)ユーザ認証する場合には，AuthName ディレクティブを指定してください。

[client **クライアントアドレス**] client used wrong authentication scheme: **リクエスト URI 値**

ユーザ認証する場合の Authorization ヘッダの認証制御のタイプが不正です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「401　Authorization Required」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)Authorization ヘッダには Basic だけを指定できます。Authorization ヘッダでの指定値を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: ap_content_length_filter: apr_bucket_read() failed

レスポンスデータの読み込み処理に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

[client クライアントアドレス] 詳細情報: dir_walk error, path_info パス情報 is not relative to the filename path ディレクトリ名 for uri リクエスト URI 値

パス情報に示すパスがディレクトリ名に示すディレクトリ以下に含まれていません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

[client クライアントアドレス] 詳細情報: dir_walk error, could not determine the root path of filename ファイル名 for uri リクエスト URI 値

ファイル名に示すパスに対して，基準となるパスを決定できませんでした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

[client クライアントアドレス] 詳細情報: access to リクエスト URI 値 denied

リクエスト URI に示すファイルへのアクセスは，ファイルへの検索パーミッションがないために失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403 Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)アクセスファイルについて詳細情報に従い見直してください。

[client クライアントアドレス] 詳細情報: access to リクエスト URI 値 failed

リクエスト URI に示すファイルへアクセスできません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403 Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)アクセスファイルについて詳細情報に従い見直してください。

[client クライアントアドレス] Forbidden: アクセスファイル doesn't point to a file or directory

アクセスファイルはファイルおよびディレクトリではありません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403 Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)アクセスファイルの属性を見直してください。

Access to file **ファイル名** denied by server: not a regular file

ファイルが標準ファイルではないため，ファイルへのアクセスは，Web サーバによって拒否されました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバの起動処理を中断します。

(O)アクセスするファイルが標準ファイルかどうか見直してください。

[client **クライアントアドレス**] Premature end of script headers: **CGI プログラム**

CGI プログラムからクライアントへの出力データがありません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。CGI プログラムは実行を終了します。

(O)CGI プログラムについて見直してください。CGI プログラムは，最初に HTTP ヘッダを出力する必要があります。

[client **クライアントアドレス**] malformed header from script. Bad header=**ヘッダ: CGI プログラム**

CGI プログラムからクライアントへ出力された HTTP ヘッダのフォーマットは不正です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。CGI プログラムは実行を終了します。

(O)CGI プログラムについて見直してください。CGI プログラムは，最初に HTTP ヘッダを出力する必要があります。出力された HTTP ヘッダのフォーマットが不正です。

詳細情報: Cannot resolve host name **バーチャルホスト名** --- ignoring!

不正なバーチャルホストを指定しているため，指定を無視します。

エラーレベル：error

(S)不正なバーチャルホストは無視して，Web サーバの起動処理を続行します。

(O) NameVirtualHost ディレクティブまたは VirtualHost ディレクティブで指定したホスト名について見直してください。

VirtualHost **ホスト名:ポート番号** -- mixing * ports and non-* ports with a NameVirtualHost address is not supported, proceeding with undefined results

VirtualHost ディレクティブと NameVirtualHost ディレクティブに*（アスタリスク）で指定したポート番号と*ではないポート番号が混在しています。実行結果は保証できません。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)VirtualHost ディレクティブと NameVirtualHost ディレクティブで指定するポート番号について，*(アスタリスク)の混在について見直してください。VirtualHost ディレクティブで指定するポート番号で*を指定した場合には，NameVirtualHost ディレクティブについてもポート番号には*を指定してください。

詳細情報: Failed to resolve server name for **IP アドレス** (check DNS) -- or specify an explicit ServerName

VirtualHost ディレクティブで指定したホスト名の解決処理に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバはホスト名の解決処理に失敗したバーチャルホストについては無視して，起動処理を続行します。解決処理に失敗したバーチャルホストは，バーチャルホストとして認識されません。

(O)VirtualHost ディレクティブで指定したホスト名について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] Client sent malformed Host header

クライアントは不正な Host ヘッダを送付しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400　Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)Host ヘッダを見直してください。

[client **クライアントアドレス**] Invalid Content-Length

Content-Length ヘッダで指定した長さが不正です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400　Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)Content-Length ヘッダには数値（10 進数）だけが指定できます。指定値を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] Requested content-length of **指定長** is larger than the configured limit of **LimitRequestBody ディレクティブ値**

Content-Length ヘッダでの指定長は，LimitRequestBody ディレクティブ値よりも大きい値を指定しています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「413　Request Entity Too Large」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)LimitRequestBody ディレクティブでの指定値を見直してください。リクエストボディサイズに上限値を設定しない場合には，0 を指定してください。

[client **クライアントアドレス**] Read content-length of **読み込みボディサイズ** is larger than the configured limit of **LimitRequestBody ディレクティブ値**

LimitRequestBody ディレクティブ値よりも大きいサイズのボディを読み込みました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「413　Request Entity Too Large」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)LimitRequestBody ディレクティブでの指定値を見直してください。リクエストボディサイズに上限値を設定しない場合には，0 を指定してください。

[client **クライアントアドレス**] Unknown Transfer-Encoding **Transfer-Encoding ヘッダ値**

Transfer-Encoding ヘッダでの指定値が不正です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「501　Method Not Implemented」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)Transfer-Encoding ヘッダに chunked 以外を指定しています。Transfer-Encoding ヘッダを見直してください。

[client **クライアントアドレス**] chunked Transfer-Encoding forbidden: **リクエスト URI 値**

Transfer-Encoding ヘッダに chunked を指定することは禁止されています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「411　Length Required」または「400　Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)Transfer-Encoding ヘッダに chunked 以外を指定しています。Transfer-Encoding ヘッダを見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **メソッド** with body is not allowed for **リクエスト URI 値**

ボディを伴うことを許可されていないメソッドに対して，ボディを伴って指定されています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「413　Request Entity Too Large」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リクエストボディが付加された TRACE メソッドを許可する場合は，TraceEnable ディレクティブで extended を指定してください。ただし，リクエストボディサイズが 64KB を超える場合は受け付けられません。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: apr_brigade_partition() failed [**開始オフセット値又は終了オフセット値+1,ファイルサイズ**]

バイトレンジオペレーション処理時にエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバはエラーの発生したバイトレンジオペレーションについてのデータはクライアントには送信しないで，次のバイトレンジオペレーション処理を実行します。

(O)**詳細情報**に示す原因について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] Invalid error redirection directive: **リダイレクト先**

ErrorDocument ディレクティブで指定するカスタマイズ方法に文法的にエラーがあります。

エラーレベル：error

(S)エラーステータス番号はカスタマイズしません。

(O) ErrorDocument ディレクティブでエラーメッセージをカスタマイズする場合には，テキスト，ローカル URL またはフル URL を指定してください。詳細は，ErrorDocument ディレクティブの説明を参照してください。

Unable to open logs

ログ出力先の設定またはソケット生成処理でエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

Configuration Failed

コンフィグファイル読み込み後処理でエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

詳細情報: Failure registering service handler

サービス制御マネジャへのサービス制御要求処理関数の登録に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの起動処理を中断します。

(O) RegisterServiceCtrlHandler()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Error starting service control dispatcher

サービス制御マネジャへのサービス制御ディスパッチャスレッドの設定に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの起動処理を中断します。

(O) StartServiceCtrlDispatcher()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: GetModuleFileName failed

Web サーバ実行ファイルのパス取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの登録処理を中断します。

(O)GetModuleFileName()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Failed to open the WinNT service manager

ローカルコンピュータのサービス制御マネジャとの接続に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスのインストール，削除または起動などの Web サーバ操作処理を中断します。

(O)OpenSCManager()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Failed to open the WinNT service manager.

ローカルコンピュータのサービス制御マネジャとの接続に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの削除処理を中断します。

(O)OpenSCManager()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: OpenService failed

サービスのハンドルの取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの構成パラメタ変更処理を中断します。

(O)OpenService()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: ChangeServiceConfig failed

サービスの構成パラメタ変更に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの構成パラメタ変更処理を中断します。

(O)ChangeServiceConfig()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Failed to create WinNT Service Profile

サービスの登録に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの登録処理を中断します。

(O)CreateService()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: サービス名称: Failed to store the ConfigArgs in the registry.

レジストリエントリ ConfigArgs の格納に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスのインストール，構成パラメタ変更処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: サービス名称: OpenService failed

サービスのハンドルの取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの削除処理を中断します。

(O)OpenService()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: サービス名称: Failed to delete the service.

サービスの削除に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの削除処理を中断します。

(O)DeleteService()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: サービス名称: Failed to open the service.

サービスのハンドルの取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの起動処理を中断します。

(O)OpenService()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

Service **サービス名称** is already started!

すでに起動しているサービスを起動しようとしました。

エラーレベル：error

(S)サービスの起動処理を中断します。

(O)**サービス名称**に示すサービスがすでに起動していないかを確認してください。

詳細情報: Failed to open the NT Service Manager

ローカルコンピュータのサービス制御マネジャとの接続に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの停止，計画停止または再起動処理を中断します。

(O)OpenSCManager()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Failed to open the **サービス名称** Service

サービスのハンドルの取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの停止，計画停止または再起動処理を中断します。

(O) OpenService()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Query of Service **サービス名称** failed

サービスのステータス情報の取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)サービスの停止，計画停止または再起動処理を中断します。

(O) QueryServiceStatus()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: make_sock: unable to listen for connections on address **Web サーバアドレス:ポート番号**

ソケット上での接続の受け入れ準備時にエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)listen()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not open the log file **ファイル名** specified in the HWSTraceLogFile.

HWSTraceLogFile ディレクティブで指定した**ファイル名**に示すファイルを開けません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not create the segment(size=**サイズ**).

共有メモリを確保できません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not map the segment(id=**識別子**) for the child.

共有メモリを空間に割り当てられません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す原因について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not map the segment(id=**識別子**) for the parent.

共有メモリを空間に割り当てられません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す原因について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not open the ID file **ファイル名** specified in the HWSTraceIdFile.

HWSTraceIdFile ディレクティブで指定した**ファイル名**で示すファイルを開けません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す原因について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not write the log file **ファイル名** specified in the HWSTraceLogFile.

HWSTraceLogFile ディレクティブで指定したファイルへ, プロセス ID についての共有メモリの内容を出力することに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)出力処理を中断します。

詳細情報: The HWS trace could not open the segment(id=**共有メモリ識別子**).

共有メモリのオープンに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す原因について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] File does not exist: **ファイル名**

要求したファイルが見つかりません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「404　Not Found」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)要求したファイル名について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: Can't open directory for index: **ディレクトリ名**

ディレクトリインデクスのディレクトリが開けません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403　Forbidden」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)**詳細情報**に示す原因について，システムの状態を確認してください。

[client **クライアントアドレス**] Directory index forbidden by rule: **ファイル名**

設定によって，ディレクトリインデクスを表示できません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403　Forbidden」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)ディレクトリインデクスを許可する場合には，設定を変更してください。

[client **クライアントアドレス**] cannot redirect '**リクエスト URI**' to '**リダイレクト先**'; target is not a valid absoluteURI or abs_path

リダイレクト先にリダイレクトできません。設定されたリダイレクト先は，URL ではありません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)設定されたリダイレクト先が URL となっていることを確認してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: couldn't create child process:**エラーコード ファイル名**

CGI 実行時にエラーが発生し，プログラム用のプロセスを生成できませんでした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)**詳細情報**に示す原因について，システムの状態を確認してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: don't know how to spawn child process: **ファイル名**

プロセスを生成できません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)**詳細情報**に示す原因について，システムの状態を確認してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: couldn't spawn child process: **ファイル名**

CGI プログラム用のプロセスを生成できませんでした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)**詳細情報**に示す原因について，システムの状態を確認してください。

[client **クライアントアドレス**] invalid base directive in map file: **リクエスト URI 値**

イメージマップファイル中の base ディレクティブ指定が無効です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)マップファイルの base 設定を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] invalid directory name in map file: **リクエスト URI 値**

イメージマップファイル中で指定されているディレクトリ名が無効です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)イメージマップファイル内の指定値を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] map file **リクエスト URI 値**, line **行番号** syntax error: requires at least two fields

イメージマップファイルの**行番号**で示す行で構文エラーがあります。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)エラーとなっている行の設定に対して，一つ以上の指定を追加してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報**: cannot read directory for multi: **ディレクトリ名**

コンテントネゴシエーションをしようとするディレクトリを開けません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403 Forbidden」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)詳細情報に示す原因について，システムの状態を確認してください。

[client **クライアントアドレス**] no acceptable variant: **ファイル名**

Web サーバによるコンテントネゴシエーションの結果，クライアントが受理できるタイプがありませんでした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「406 Not Acceptable」を返してリクエスト処理を終了します。

[client **クライアントアドレス**] Negotiation: discovered file(s) matching request: **ファイル名** (None could be negotiated).

ファイル名にマッチするファイルの中に，コンテントネゴシエーション可能なものがありませんでした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「404 Not Found」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)コンテントネゴシエーションさせたいファイルのアクセス権限を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] client denied by server configuration: **ファイル名**

ファイル名に示すファイルへのアクセスが Allow または Deny ディレクティブによって拒否されました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403　Forbidden」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)アクセスを許可する場合には，設定を変更してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報:** Could not open password file: **ファイル名**

AuthUserFile ディレクティブで指定された**ファイル名**で示すパスワードファイルが開けません。

エラーレベル：error

(S)

- AuthAuthoritative ディレクティブの値が off の場合
  クライアントから送信されてきたユーザ名はパスワードファイルに未登録であったと解釈して，処理を続行します。
- そのほかの場合
  ステータスコード「401　Authorization Required」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)AuthUserFile ディレクティブ指定値を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] user **ユーザ名** not found: **リクエスト URI 値**

リクエスト URI にアクセスしようとしたクライアントが送信してきたユーザ名が，アクセスできるユーザ名一覧の中に見つかりませんでした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「401　Authorization Required」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)ユーザのアクセスを許可する場合には，設定に追加してください。

[client **クライアントアドレス**] user **ユーザ名**: authentication failure for "**リクエスト URI 値**": Password Mismatch

リクエスト URI にアクセスしようとしたクライアントは認証エラーとなりました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「401　Authorization Required」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)パスワードを見直してください。

[client **クライアントアドレス**] access to **リクエスト URI 値** failed, reason: unknown require directive: "**識別子**"

Require ディレクティブに対して不明な識別子が指定されていたため，正常に認証されませんでした。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「401　Authorization Required」を返してリクエスト処理を終了します。

(O) Require ディレクティブの指定を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] access to **リクエスト URI 値** failed, reason: user **ユーザ名** not allowed access

認証に失敗したため，ユーザはリクエスト URI にアクセスできません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「401　Authorization Required」を返してリクエスト処理を終了します。

(O)ユーザのアクセスを許可する場合には，アクセス制御設定を変更してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報:** Could not open group file: **ファイル名**

AuthGroupFile ディレクティブで指定されたファイルを開けません。

エラーレベル：error

(S)リクエスト処理を続行します。

(O) AuthGroupFile ディレクティブの設定を見直してください。

詳細情報: Invalid mime types config path **ファイル名**

TypesConfig ディレクティブで指定されたファイルのパスが不正です。

エラーレベル：error

(S) Web サーバの起動処理を終了します（Web サーバを起動しません）。

(O) TypesConfig ディレクティブの設定を見直してください。

詳細情報: could not open mime types config file **ファイル名.**

TypesConfig ディレクティブで指定されたファイルが開けません。

エラーレベル：error

(S) Web サーバの起動処理を終了します（Web サーバを起動しません）。

(O) TypesConfig ディレクティブの設定を見直してください。

Pre-configuration failed

コンフィグファイル読み込み前処理でエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのエラーの原因について見直してください。

詳細情報: unable to setup module trace:**関数名**

モジュールトレースを出力するための初期設定ができませんでした。

エラーレベル：error

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)_open_osfhandle()関数または_fdopen 関数が返す詳細情報について見直してください。

詳細情報: apr_poll: (listen)

select()関数でエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S)サーバプロセスを終了します。

(O)select()関数が返す詳細情報について見直してください。

---

server reached MaxClients setting, consider raising the MaxClients setting

サーバプロセス数は MaxClients ディレクティブ設定値に到達しました。MaxClients ディレクティブを増加させることを検討してください。

エラーレベル：error

(S)Web サーバの起動を続行します。MaxClients ディレクティブ指定値を超えてはサーバプロセスの生成はされません。

(O)MaxClients ディレクティブ指定値を見直してください。MinSpareServers ディレクティブで指定した数のアイドル状態のサーバプロセスを生成するためには，MaxClients ディレクティブでの指定値を増加させる必要があります。

---

child process **プロセス ID** still did not exit, sending a SIGKILL

プロセス ID で示すサーバプロセスが終了していないため，SIGKILL シグナルを送信します。

エラーレベル：error

(S)Web サーバの停止または再起動処理を続行します。

(O)サーバプロセスが終了するまでお待ちください。

---

could not make child process **プロセス ID** exit, attempting to continue anyway

プロセス ID で示すサーバプロセスを終了させることができませんでした。

エラーレベル：error

(S)未終了のサーバプロセスを無視してサーバの停止または再起動処理を続行します。

(O)未終了のサーバプロセスがあります。終了しない原因を調査し，終了させる必要があればシグナルを送付し強制的に終了させてください。

詳細情報: apr_accept: (client socket)

accept()関数でエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S)リクエストを受けたサーバプロセスを終了します。

(O)accept()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not assign the segment(id=**共有メモリ識別子**).

共有メモリの割り当てができません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)shmat()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: HWS trace shmctl() IPC_STAT could not educe the current value(id=**共有メモリ識別子**).

共有メモリ識別子に対する共有メモリの状態を抽出できません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O)shmctl 関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: HWS trace shmctl() IPC_SET could not set the value(id=**共有メモリ識別子**), you probably need to modify User or Group directives.

共有メモリ識別子に対する共有メモリの状態を設定できません。

エラーレベル：error

(S)処理を中断します。

(O) User ディレクティブまたは Group ディレクティブで指定したユーザが，システムに登録されていない場合に発生します。User ディレクティブ，Group ディレクティブの指定値を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] Symbolic link not allowed: **アクセスファイル**

アクセスファイルで示すファイルはシンボリックリンクをたどることを許可されていません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403　Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) Options ディレクティブの FollowSymLinks が有効であることを確認ください。FollowSymLinks が無効の場合には，SymLinksIfOwnerMatch が有効であるか確認してください。
SymLinksIfOwnerMatch が有効である場合には，**アクセスファイル**またはディレクトリの所有者がシンボリックリンクの所有者と同じことを確認してください。

詳細情報: socket: SetHandleInformation failed.(client **クライアントアドレス**)

ソケットのプロパティ設定に失敗しました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバはリクエスト処理を中断します。

(O) SetHandleInformation()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: 関数名 failed

関数名で示す関数でエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)関数が返す**詳細情報**について見直してください。

---

request queue reached HWSMaxQueueSize setting, consider raising the HWSMaxQueueSize setting

リクエストキューに保持されているリクエストの数が，HWSMaxQueueSize ディレクティブの設定値に到達しました。HWSMaxQueueSize ディレクティブの設定値を増加させることを検討してください。

エラーレベル：error

(S)処理を続行します。キューサイズを超えたクライアントからのリクエストの接続は Web サーバ側で切断されます。

(O)HWSMaxQueueSize ディレクティブの設定値を見直してください。

---

httpsd (pid **プロセス ID**) already running

プロセス ID で示すプロセスがすでに起動しています。

エラーレベル：error

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)HTTP Server がすでに起動していないかを確認してください。または, HTTP Server が起動していない状態で，PidFile ディレクティブで指定したファイルが存在している場合，PidFile ディレクティブで指定したファイルを削除してから HTTP Server を起動してください。

(5)　warn レベルのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで，エラーレベルが warn のメッセージについて説明します。

---

module **モジュール名称** is already loaded, skipping

モジュールはすでに Web サーバに組み込まれているため，処理を行いません。

エラーレベル：warn

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)LoadModule ディレクティブの記述内容を見直してください。

---

pid file **プロセス ID 格納ファイル名** overwritten -- Unclean shutdown of previous server run?

プロセス ID を格納しているファイルを上書きしました。前回 Web サーバが正常にシャットダウンされなかったおそれがあります。Web サーバが正常にシャットダウンされた場合は，プロセス ID 格納ファイルは消去されます。

エラーレベル：warn

(S)Web サーバは起動処理を続行します。

(O)未終了の Web サーバがないかどうか確認してください。PidFile ディレクティブで指定したファイルには，Web サーバの起動時に制御プロセスのプロセス ID が格納されます。複数の Web サーバで PidFile ディレクティブで指定したファイルが重複した場合にも，このメッセージは出力されます。複数の Web サーバで共用していないか確認してください。

詳細情報: apr_socket_opt_set: (TCP_NODELAY)

IP プロトコルレベルのオプション TCP_NODELAY 設定時にエラーが発生しました。

エラーレベル：warn

(S)Web サーバは TCP_NODELAY オプションは設定しないで，起動処理を続行します。Nagle バッファリングアルゴリズムは有効です。

(O)setsockopt()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: getsockname failed

getsockname()に失敗しました。

エラーレベル：warn

(S)サーバスレッドはリクエスト待ち状態となります。

(O)getsockname()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: getpeername failed

getpeername()に失敗しました。

エラーレベル：warn

(S)サーバスレッドはクライアントのソケット情報を設定しないで，リクエスト処理を続行します。

(O)getpeername()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

Server ran out of threads to serve requests. Consider raising the ThreadsPerChild setting

リクエストを処理するサーバスレッドが不足しています。

エラーレベル：warn

(S)リクエスト処理を続行します。

(O)ThreadsPerChild ディレクティブ値の増加を検討してください。

詳細情報: No installed ConfigArgs for the service "**サービス名称**", using Server defaults.

サービス名称で示すサービスのレジストリエントリ ConfigArgs の内容を取得できないため，デフォルトで起動します。

エラーレベル：warn

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)サービス名称のレジストリキー下に，レジストリエントリ ConfigArgs があるかを確認してください。

NameVirtualHost **ホスト名:ポート番号** has no VirtualHosts

NameVirtualHost ディレクティブが定義されたホスト名，ポート番号は VirtualHost ディレクティブで使用されていません。

エラーレベル：warn

(S) NameVirtualHost ディレクティブの指定を無視し，Web サーバ起動処理を続行します。

(O)不要な NameVirtualHost ディレクティブは削除してください。NameVirtualHost ディレクティブは，同一のホスト名，ポート番号に対して複数の VirtualHost ディレクティブを定義する場合に指定してください。

---

default VirtualHost overlap on port **ポート番号**, the first has precedence

デフォルトバーチャルホストはポート番号についてオーバラップしました。最初に指定したバーチャルホストが有効になります。

エラーレベル：warn

(S)最初に指定したバーチャルホスト以外は無視し，Web サーバ起動処理を続行します。

(O)デフォルトバーチャルホスト(VirtualHost ディレクティブで*，255.255.255.255 または_default_を指定する)は，同じポートについて複数指定できません。デフォルトバーチャルホストの指定について見直してください。

VirtualHost **ホスト名:ポート番号** overlaps with VirtualHost **ホスト名:ポート番号**, the first has precedence, perhaps you need a NameVirtualHost directive

ホスト名:ポート番号で指定されたバーチャルホストはオーバラップしました。最初に指定したバーチャルホストが有効になります。

エラーレベル：warn

(S)最初に指定したバーチャルホスト以外は無視し，Web サーバ起動処理を続行します。

(O)ホスト名：ポート番号に同じバーチャルホストを指定する場合には，該当するホスト名，ポート番号について NameVirtualHost ディレクティブを定義してください。

---

httpsd: gethostname() failed to determine ServerName

gethostname()によって，ServerName を決定しようとしましたが失敗しました。

エラーレベル：warn

(S)Web サーバのアドレスは 127.0.0.1 とします。

(O)ホスト名が取得できない原因について見直してください。

PassEnv variable **環境変数** was undefined

PassEnv ディレクティブで指定した**環境変数**は環境変数として定義されていません。

エラーレベル：warn

(S)処理を続行します。

(O)環境変数を設定してください。

The **ディレクティブ** directive in **コンフィグファイル** at line **行番号** will probably never match because it overlaps an earlier **ディレクティブ**.

同一の URL に適用可能なディレクティブを重複して指定しているため，後の指定は適用されません。

エラーレベル：warn

(S)Web サーバは起動処理を続行します。

(O)表示されている行のディレクティブの設定を見直してください。

詳細情報: Cannot get media type from '**メディアタイプ**'

MIME のメディアタイプが正しく取得できません。

エラーレベル：warn

(S)リクエスト処理を続行します。

(O)MIME の設定を見直してください。

詳細情報: Cannot get media parameter.

MIME のメディアパラメータが正しく取得できません。

エラーレベル：warn

(S)リクエスト処理を続行します。

(O)MIME の設定を見直してください。

詳細情報: Cannot get media subtype.

MIME のメディアサブタイプが正しく取得できません。

エラーレベル：warn

(S)リクエスト処理を続行します。

(O)MIME の設定を見直してください。

詳細情報: mod_mime: analyze_ct: cannot get media type from '**メディアタイプ**'

MIME のメディアタイプが正しく取得できません。

エラーレベル：warn

(S)リクエスト処理を続行します。

(O)MIME の設定を見直してください。

詳細情報: sigaction(**シグナル**)

シグナルに対するアクションの変更時にエラーが発生しました。

シグナルの種類を次に示します。

SIGSEGV SIGBUS SIGABRT SIGILL SIGTERM SIGINT

SIGXCPU SIGXFSZ SIGPIPE SIGHUP SIGUSR1 SIGUSR2

エラーレベル：warn

(S)Web サーバは起動処理を続行します。

(O)sigaction()関数が返す詳細情報について見直してください。

---

long lost child came home! (pid **プロセス ID**)

graceful によるサーバの再起動後，制御プロセスが監視対象以外のプロセスを終了しました。

エラーレベル：warn

(S)制御プロセスはスコアボードファイルを使用してサーバプロセスの状態を管理しています。graceful による再起動後に，終了したプロセスが管理しているプロセスに該当しない場合，このメッセージを出力します。

(O)終了したプロセスが制御プロセスの監視対象外である原因について見直してください。例えば，gcache サーバは，制御プロセスの監視対象外のプロセスです。サーバプロセスは制御プロセスの監視対象であり，サーバプロセスに対してこのメッセージが出力された場合には，何らかの原因でサーバプロセスが監視対象から外れたことになります。

詳細情報: killpg SIGTERM

Web サーバを終了させるために制御プロセスは killpg()関数によってサーバプロセスに対してシグナル SIGTERM を送信しましたがエラーが発生しました。

エラーレベル：warn

(S)制御プロセスは，数秒後にサーバプロセスそれぞれに対して SIGTERM シグナルを送信しサーバプロセス終了処理を続行します。

(O)killpg()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: apr_socket_opt_set: (TCP_NODELAY)

IP プロトコルレベルのオプション TCP_NODELAY 設定時にエラーが発生しました。

エラーレベル：warn

(S)TCP_NODELAY オプションは設定しないで Web サーバの起動処理を続行します。Nagle バッファリングアルゴリズムは有効です。

(O)setsockopt()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: write pipe_of_death

サーバプロセスの終了要求で使用するパイプへの書き込みに失敗しました。

エラーレベル：warn

(S)サーバプロセス終了要求処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: get socket to connect to listener

サーバプロセスの終了要求で使用するソケット生成に失敗しました。

エラーレベル：warn

(S)サーバプロセス終了要求処理を中断します。

(O)socket()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: set timeout on socket to connect to listener

サーバプロセスの終了要求で使用するソケットのタイムアウト設定に失敗しました。

エラーレベル：warn

(S)サーバプロセス終了要求処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: connect to listener on Web サーバアドレス:ポート番号

サーバプロセス終了要求処理中，Web サーバへの接続に失敗しました。

エラーレベル：warn

(S)サーバプロセス終了要求処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: The HWS trace could not obtain the shared memory identifier from the file **ファイル名** specified in the HWSTraceIdFile.

HWSTraceIdFile ディレクティブで指定した**ファイル名**で示すファイルから共有メモリ識別子を取り出せません。

エラーレベル：warn

(S)処理を続行します。

(O)**詳細情報**で示す原因について見直してください。

The format of the shared memory identifier specified in the HWSTraceIdFile is invalid.

HWSTraceIdFile ディレクティブで指定したファイルの共有メモリ識別子はフォーマットが不正です。

エラーレベル：warn

(S)処理を続行します。

(O)共有メモリ識別子について見直してください。

詳細情報: HWS trace shmctl() IPC_RMID could not remove the shared memory segment(id=**共有メモリ識別子**).

共有メモリを削除できません。

エラーレベル：warn

(S)処理を続行します。

(O)**詳細情報**で示す原因について見直してください。

詳細情報: killpg SIGUSR1

graceful による再起動または計画停止させるために制御プロセスは killpg()関数によってサーバプロセスに対してシグナル SIGUSR1 を送信しましたがエラーが発生しました。

エラーレベル：warn

(S)制御プロセスは，再起動または計画停止処理を続行します。

(O)killpg()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] authenticated user '**ユーザ名称**' not a member of any groups, so 'file-group' requirement cannot succeed for file '**ファイル名称**'

認証ユーザはどのグループのメンバでもないため，file-group 要求は失敗しました。

エラーレベル：warn

(S) リクエスト処理を続行します。

詳細情報: killpg SIGHUP

Web サーバを再起動させるために制御プロセスは killpg()関数によってサーバプロセスに対してシグナル SIGHUP を送信しましたがエラーが発生しました。

エラーレベル：warn

(S)制御プロセスは，数秒後にサーバプロセスそれぞれに対して SIGTERM シグナルを送信し，サーバプロセス終了処理を続行します。

(O)killpg()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

MaxClients can't be changed by restart. Original was used

MaxClients ディレクティブは，graceful または restart による再起動時には変更できません。

エラーレベル：warn

(S)Web サーバは起動時の MaxClients ディレクティブ値を設定し，再起動処理を続行します。

(O)再起動時には，MaxClients ディレクティブ値を変更しないでください。

---

child process **プロセス ID** still did not exit, sending a SIGTERM

プロセス ID で示すサーバプロセスが終了していないため，SIGTERM シグナルを送信します。

エラーレベル：warn

(S)Web サーバの停止または再起動処理を続行します。

(O)サーバプロセスに対して SIGTERM シグナルがブロックされていないか確認し，サーバプロセスが終了するまでお待ちください。

(6)　notice レベルのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで，エラーレベルが notice のメッセージについて説明します。

---

cannot use a full URL in a 401 ErrorDocument directive --- ignoring!

ErrorDocument ディレクティブでエラーステータスコードに 401 を指定したときにはフル URL 指定はできません。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは起動処理を続行します。

(O)エラーステータスコードに 401 を指定したときは，テキストまたはローカル URL を指定してください。

Child **プロセス ID**: Listening on port **ポート番号**.

ポート番号に示すポートへのリクエストを受け付けます。

エラーレベル：notice

(S)リクエスト受付処理を開始します。

Child **プロセス ID**: Acquired the start mutex.

サーバプロセス排他用のロックを獲得しました。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスは起動処理を続行します。

Child **プロセス ID**: Starting **スレッド数** worker threads

スレッド数に示す数のサーバスレッドを生成します。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスはサーバスレッド生成を開始します。

Child プロセス ID: Exit event signaled. Child process is ending.

サーバプロセスに終了イベントが通知されました。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスの終了処理を開始します。

Child プロセス ID: Released the start mutex

サーバプロセス排他用のロックを解放しました。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスは終了処理を続行します。

Child プロセス ID: Waiting for 生成サーバスレッド数 worker threads to exit.

サーバプロセスはサーバスレッドの終了待ち状態です。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスはサーバスレッドの終了を待ちます。

Child プロセス ID: Terminating 未終了のサーバスレッド数 threads that failed to exit.

終了しないサーバスレッドを強制的に終了させます。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスは終了処理を続行します。

Child プロセス ID: All worker threads have exited.

すべてのサーバスレッドが終了しました。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスは終了処理を続行します。

Parent: Created child process プロセス ID

サーバプロセスを生成しました。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは起動処理を続行します。

Parent: Received shutdown signal -- Shutting down the server.

制御プロセスに停止イベントが通知されました。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは停止処理を開始します。

Parent: Received restart signal -- Restarting the server.

制御プロセスに再起動イベントが通知されました。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは再起動処理を開始します。

Parent: child process exited with status **終了コード** -- Restarting.

サーバプロセスは**終了コード**で終了しました。サーバプロセスを再起動します。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは再起動処理を開始します。

Parent: Child process exited successfully.

サーバプロセスは正常に終了しました。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは停止または計画停止処理を続行します。

Parent: Forcing termination of child process **ハンドル番号**

制御プロセスが設定した停止または計画停止イベントで終了しないサーバプロセスを強制的に終了させます。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは停止または計画停止処理を続行します。

(O)サーバプロセスが終了しない要因を見直してください。

Child **プロセス ID:** Child process is running

サーバプロセスの起動処理が開始されました。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスは起動処理を続行します。

Child **プロセス ID:** Child process is exiting

サーバプロセスを終了します。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスは終了処理を続行します。

サーバ名 configured -- resuming normal operations

Web サーバの起動が開始されました。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは起動処理を続行します。

Server built: **Web サーバの構築された時刻**

起動された Web サーバの構築時刻を示します。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバの構築時刻を出力し，起動処理を続行します。

Child **サーバプロセス ID**: Graceful exit event signaled. Child process is ending.

サーバプロセスに計画停止イベントが通知されました。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスの計画停止処理を開始します。

Parent: Received graceful stop signal -- Shutting down the server gracefully.

制御プロセスに計画停止イベントが通知されました。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバは計画停止処理を開始します。

[client **クライアントアドレス**] {child process プロセス ID|server thread **スレッド ID**}:forcing termination of request "**リクエストライン**"

計画停止要求受付から強制停止時間が経過したため，**リクエストライン**に示すリクエスト処理を中断しました。

エラーレベル：notice

(S)Web サーバはリクエスト処理を中断して，停止処理を続行します。

---

caught シグナル, shutting down

Web サーバを停止しました。

シグナルの種類を次に示します。

SIGTERM SIGUSR2 SIGXCPU SIGXFSZ

エラーレベル：notice

(S)Web サーバを停止します。

Graceful restart requested, doing restart

Web サーバに対して graceful による再起動が要求されました。

エラーレベル：notice

(S)graceful による再起動処理を開始します。

SIGHUP received. Attempting to restart

Web サーバはシグナル SIGHUP による再起動要求を受信しました。

エラーレベル：notice

(S) Web サーバは再起動処理を開始します。

Graceful stop requested, doing graceful stop

Web サーバに対して計画停止が要求されました。

エラーレベル：notice

(S)計画停止処理を開始します。

---

child pid **プロセス ID** exit signal **シグナル意味** (**シグナル番号**) [, possible coredump in **コア出力先ディレクトリ**]

サーバプロセスは，**シグナル番号**で示すシグナルで終了しました。出力可能である場合には，**コア出力先ディレクトリ**にコアを出力します。

エラーレベル：notice

(S) Web サーバは処理を続行します。

(O)保守員に連絡してください。

---

seg fault or similar nasty error detected in the parent process

制御プロセスを終了させるシグナルを受信しました。

エラーレベル：notice

(S)制御プロセスを終了します。

(O)保守員に連絡してください。

Child **サーバプロセス ID**: Parent process exited. Child process is ending.

制御プロセスの終了を検知しました。

エラーレベル：notice

(S)サーバプロセスの終了処理を開始します。

Parent **制御プロセス ID:** Using config file "**コンフィグファイル名**"

制御プロセスのプロセス ID および起動処理で使用したコンフィグファイル名を示します。

エラーレベル：notice

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

The server started by non-root user. User and Group directives is not used.

一般ユーザで起動しているため，User ディレクティブと Group ディレクティブは使用しません。

エラーレベル：notice

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(7)　info レベルのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで, エラーレベルが info のメッセージについて説明します。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報:** core_output_filter: writing data to the network

クライアントへのデータ送信処理中にエラーが発生しました。

エラーレベル：info

(S) Web サーバからクライアントへのデータ送信処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: apr_socket_addr_get(APR_LOCAL)

Web サーバのソケット情報を取得できませんでした。

エラーレベル：info

(S) Web サーバはリクエスト処理を中断します。

(O)getsockname()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報:apr_socket_addr_get(APR_REMOTE)

クライアントのソケット情報を取得できませんでした。

エラーレベル：info

(S) Web サーバはリクエスト処理を中断します。

(O)getpeername()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

No ExecCGI or Open verb found for files of type '**拡張子**'.

レジストリキー ExecCGI，Open を検索しましたが，スクリプトの拡張子に関連づけられているインタプリタは見つかりませんでした。

エラーレベル：info

(S)"#!"行に指定されたインタプリタを用いてスクリプト実行処理を続行します。

(O)スクリプトの拡張子とそれに関連づけられているプログラムについて見直してください。

詳細情報: select failed

サーバプロセスの select()でエラーが発生しました。

エラーレベル：info

(S)リクエスト受付処理を続行します。

(O)select()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

Parent: Duplicating socket **fd 番号** and sending it to child process **プロセス ID**

制御プロセスはソケットを複製し，サーバプロセスに送付します。

エラーレベル：info

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

Using ConfigArgs of the installed service "**サービス名称**".

サービス名称で示すサービスのレジストリエントリ ConfigArgs を起動オプションに使用します。

エラーレベル：info

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

---

removed PID file **ファイル名** (pid=**制御プロセス ID**)

制御プロセス ID 格納ファイルを削除しました。

エラーレベル：info

(S) Web サーバは停止処理を続行します。

No ConfigArgs registered for **サービス名称**, perhaps this service is not installed?

サービス名称に示すサービスのレジストリエントリ ConfigArgs がありません。

エラーレベル：info

(S) Web サーバは起動処理を続行します。

(O)サービスがインストールされているか確認してください。

[client **クライアントアドレス**] client sent an unrecognized expectation value of Expect: **ヘッダ値**

クライアントは，Expect ヘッダ値にサポートしていない値を指定してリクエストを送付したため，リクエスト処理を続行できません。

エラーレベル：info

(S)ステータスコード「417　Expectation Failed」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) Expect ヘッダ値には 100-continue だけが指定できます。Expect ヘッダを見直してください。

The HWS trace created shared memory segment #**共有メモリ識別子**.

内部トレース用の共有メモリを確保しました。

エラーレベル：info

(S)処理を続行します。

The HWS trace output the log of the process (pid=**プロセス ID**) into the file **ファイル名** specified in the HWSTraceLogFile.

HWSTraceLogFile ディレクティブで指定した**ファイル名**に示すファイルへ，**プロセス ID** に示すプロセスの共有メモリの内容を出力しました。

エラーレベル：info

(S)ファイルへの出力を正常に終了して続行します。

Child **プロセス ID**: Accept thread exiting.

リクエスト受付スレッドを終了します。

エラーレベル：info

(S)サーバプロセスは終了処理を続行します。

---

server seems busy, (you may need to increase StartServers, or Min/MaxSpareServers), spawning **生成予定のサーバプロセス数** children, there are **存在するアイドル状態のサーバプロセス数** idle, and **存在するサーバプロセス数** total children

Web サーバはリクエスト処理でビジー状態です。StartServers ディレクティブ値を増加させるかまたは Min/MaxSpareServers ディレクティブ値を見直す必要があります。生成予定のサーバプロセス数は，**生成予定のサーバプロセス数**に示す数です。現状のアイドル状態のサーバプロセス数は，**存在するアイドル状態のサーバプロセス数**に示す数です。現状の全体のサーバプロセス数は，**存在するサーバプロセス数**に示す数です。

エラーレベル：info

(S) Web サーバの起動を続行します。MinSpareServers ディレクティブで指定した数のアイドルサーバに到達するまで，1，2，4，8，16，32 個ずつ生成します。生成する数が 8 個以上になるとこのメッセージが出力されます。

[client クライアントアドレス] no AuthGroupFile, so 'file-group' requirement cannot succeed for file 'ファイル名'

AuthGroupFile が指定されていないため，file-group 要求は成功しません。

エラーレベル：info

(S)リクエスト処理を続行します。

詳細情報: Socket Input: timed out (接続元 IP アドレス:ポート番号 --> 接続先 IP アドレス:ポート番号)(サーバプロセス ID またはサーバスレッド ID)

クライアントまたはバックエンドサーバとの受信処理でタイムアウトしました。次のどれかの待ち時間を経過しました。

- クライアントからのリクエスト受信（コネクション確立後，HTTP プロトコルの受信）中にデータを受信しなくなった場合の待ち時間
- リバースプロキシを使用している場合の，バックエンドサーバへのリクエスト送信後からレスポンス受信までの待ち時間
- リバースプロキシを使用していて，バックエンドサーバからのレスポンス受信中にデータを受信しなくなった場合の待ち時間

エラーレベル：info

(S)処理を続行します。

(O)Timeout ディレクティブで指定した時間を経過したため，このメッセージが出力されました。Timeout ディレクティブでの指定値を見直してください。

詳細情報: Socket Output: timed out (接続先 IP アドレス:ポート番号 <-- 接続元 IP アドレス:ポート番号)(サーバプロセス ID またはサーバスレッド ID)

クライアントまたはバックエンドサーバとの送信処理でタイムアウトしました。次のどちらかの待ち時間を経過しました。

- クライアントへのレスポンス送信中にデータを送信できなくなった場合の待ち時間
- リバースプロキシを使用していて，バックエンドサーバへのリクエスト送信中にデータを送信できなくなった場合の待ち時間

エラーレベル：info

(S)処理を続行します。

(O)Timeout ディレクティブで指定した時間を経過したため，このメッセージが出力されました。Timeout ディレクティブでの指定値を見直してください。

[client クライアントアドレス] The server did not send a status-code ステータスコード response because the server already sent an error response to the client.

すでにエラーレスポンスをクライアントに送信しているため, ステータスコードのレスポンスは送信しません。

エラーレベル：info

(S)処理を続行します。

(8)　レベルなしのメッセージ

HTTP Server の基本機能で出力されるメッセージで，エラーレベルがないメッセージについて説明します。

---

httpsd: module "**モジュール名**" is not compatible with this version (found **モジュールのバージョン番号**, need **互換性のあるバージョン番号**).

追加しようとしたモジュールは，サーバとの互換性がありません。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**互換性のあるバージョン番号**に示したバージョンのモジュールを使用してください。

Please contact the vendor for the correct version.

サーバと互換性のあるバージョンのモジュールについてベンダに問い合わせてください。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)このメッセージのほかに出力されているメッセージのモジュールについて，サーバと互換性のあるバージョンのモジュールを入手してください。

---

httpsd: could not open document config file **コンフィグファイル名**

コンフィグファイル名に示すファイルを開けませんでした。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)**コンフィグファイル名**について見直してください。

Syntax error on line **行番号** of **ファイル名**:

エラーメッセージ

ファイル名，**行番号**に示す位置に構文エラーがあります。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)構文エラーとなった行を**エラーメッセージ**について見直してください。

Warning: DocumentRoot [**ディレクトリ名**] does not exist

DocumentRoot ディレクティブで指定されたディレクトリが見つかりません。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは起動処理を続行します。
(O)<VirtualHost>ブロック内で指定した DocumentRoot ディレクティブについて見直してください。

Cannot resolve host name **ホスト名**

BindAddress ディレクティブの指定値が不正です。
エラーレベル：なし
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)BindAddress ディレクティブで指定した IP アドレスについて見直してください。

Host **ホスト名** has multiple addresses --- you must choose one explicitly.

BindAddress ディレクティブで指定したホスト名から一つの IP アドレスを特定できませんでした。
エラーレベル：なし
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)BindAddress ディレクティブは IP アドレスで指定してください

詳細情報: Couldn't start ErrorLog process

エラーログを出力するためのプロセス生成に失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)ErrorLog ディレクティブを**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Couldn't start RequestLog process

リクエストログを出力するためのプロセス生成に失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)HWSRequestLog ディレクティブを**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: httpsd: Invalid error log path **ファイル名.**

ErrorLog ディレクティブで指定したファイルパスが不正です。
エラーレベル：なし
(S)Web サーバは起動処理を中断します。
(O)ErrorLog ディレクティブを**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: httpsd: Invalid request log path **ファイル名.**

HWSRequestLog ディレクティブで指定したファイルパスが不正です。

エラーレベル：なし

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)HWSRequestLog ディレクティブを**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: httpsd: could not open error log file **ファイル名.**

エラーログファイルをオープンできませんでした。

エラーレベル：なし

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O) ErrorLog ディレクティブを**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: httpsd: could not open request log file **ファイル名.**

リクエストログファイルをオープンできませんでした。

エラーレベル：なし

(S) Web サーバは起動処理を中断します。

(O)HWSRequestLog ディレクティブを**詳細情報**について見直してください。

---

piped_log_spawn: unable to setup child process '**ログ出力プログラム**': **エラーメッセージ**

ログを出力するためのプロセスの属性初期設定ができませんでした。

エラーレベル：なし

(S)ログ出力用のプロセス生成処理を中断します。

(O)エラーメッセージについて見直してください。

---

unable to start piped log program '**ログ出力プログラム**': **エラーメッセージ**

ログ出力プログラムによるログ出力を開始できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)ログ出力用のプロセス生成処理を中断します。

(O)エラーメッセージについて見直してください。

---

piped log program '**ログ出力プログラム**' failed unexpectedly

ログ出力プログラムに予期しないエラーが発生しました。

エラーレベル：なし

(S)ログ出力用のプロセスを再生成します。

---

piped_log_maintenance: unable to respawn '**ログ出力プログラム**': **エラーメッセージ**

ログ出力用のプロセス再生成処理に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)ログ出力用のプロセス生成処理を中断します。

(O)**エラーメッセージ**について見直してください。

Ouch! malloc failed in **詳細情報**

メモリの確保に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)メモリが不足している状態です。Web サーバプロセスは終了します。

(O)メモリ使用量について，システムの状態を確認してください。

WARNING: ThreadsPerChild of **ディレクティブ値** exceeds ThreadLimit value of **上限値** threads, lowering ThreadsPerChild to **上限値**. To increase, please see the ThreadLimit directive.

ThreadsPerChild ディレクティブ値が上限値を超えています。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは ThreadsPerChild ディレクティブ値に**上限値**を設定して，起動処理を続行します。

(O)ThreadsPerChild ディレクティブ値を見直してください。

WARNING: Require ThreadsPerChild > 0, setting to 1

ThreadsPerChild ディレクティブに不正な値が指定されています。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは ThreadsPerChild ディレクティブ値に 1 を設定して，起動処理を続行します。

(O)ThreadsPerChild ディレクティブ値を見直してください。

WARNING: detected MinSpareServers set to non-positive.

Resetting to 1 to avoid almost certain Server failure.

Please read the documentation.

MinSpareServers ディレクティブに不正な値が指定されています。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは MinSpareServers ディレクティブ値に 1 を設定して，起動処理を続行します。

(O)MinSpareServers ディレクティブ値を見直してください。

WARNING: MaxClients of **ディレクティブ値** exceeds compile time limit of **上限値** servers,

lowering MaxClients to **上限値**.

MaxClients **ディレクティブ値**が**上限値**を超えています。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは MaxClients **ディレクティブ値**に**上限値**を設定して，起動処理を続行します。

(O)MaxClients **ディレクティブ値**を見直してください。

WARNING: Require MaxClients > 0, setting to 1

MaxClients ディレクティブに不正な値が指定されています。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは MaxClients ディレクティブ値に 1 を設定して，起動処理を続行します。

(O)MaxClients ディレクティブ値を見直してください。

---

httpsd: bad user name **ユーザ名**

指定されたユーザはシステムに登録されていません。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)システムに登録された**ユーザ名**を指定してください。

---

httpsd: bad group name **グループ名**

指定されたグループはシステムに登録されていません。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバは起動処理を中断します。

(O)システムに登録された**グループ名**を指定してください。

詳細情報: sending signal to server

Web サーバへのシグナル送信に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバへのシグナル送信処理を中断します。

(O)kill()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: Error retrieving pid file **PID 格納ファイル名**

PID 格納ファイルの検索に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバへのシグナル送信処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

Ouch! **関数名 1** failed : (エラーコード) **詳細情報** (**関数名 2**)(**プロセス ID**)

関数名 1 の実行に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)Web サーバのプロセスは終了します。

(O)**関数名 1** が返す**詳細情報**について見直してください。エラーの原因の一つとして，Windows が内部的に使用しているデスクトップヒープの不足が考えられます。

23.4　SSL についてのメッセージ

HTTP Server の SSL 処理で出力されるメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「19.8　SSL についてのメッセージ」を参照してください。

23.5　リバースプロキシについてのメッセージ

HTTP Server のリバースプロキシ処理で出力されるメッセージについて説明します。

[client **クライアントアドレス**] proxy: Max-Forwards has reached zero - proxy loop? returned by **URI**

Max-Forwards リクエストヘッダの値が 0 になりました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Proxy Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) Max-Forwards リクエストヘッダを使用する場合は，TRACE メソッドまたは OPTIONS メソッドを使用してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy: No protocol handler was valid for the URL **パス名**. If you are using a DSO version of mod_proxy, make sure the proxy submodules are included in the configuration using LoadModule.

ProxyPass ディレクティブで指定したスキーマが不正です。

エラーレベル：warn

(S)ステータスコード「403 Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) ProxyPass ディレクティブの転送先のスキーマを見直してください。

詳細情報: proxy: HTTP: error creating fam **アドレスファミリ** socket for target **ホスト名**

ソケットの作成に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Bad Gateway」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

詳細情報: proxy: HTTP: attempt to connect to **IP アドレス:ポート番号** (**ホスト名**) failed

リバースプロキシはリモートの Web サーバへの接続に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Bad Gateway」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy: TRACE forbidden by server configuration

TraceEnable ディレクティブの設定によって，TRACE メソッドによるリクエストを拒否します。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「403 Forbidden」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)アクセスを許可する場合は TraceEnable ディレクティブの設定を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy: TRACE with request body is not allowed

TraceEnable ディレクティブの設定によって，リクエストボディが付加されている TRACE メソッドによるリクエストを拒否します。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「413 Request Entity Too Large」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)アクセスを許可する場合は TraceEnable ディレクティブの設定を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] error parsing URL **URL: 詳細情報**

リバースプロキシによる URL の解析中にエラーが発生しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400 Bad Request」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) ProxyPass ディレクティブで指定している URL に関して**詳細情報**に示す原因について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy: URI cannot be parsed: **転送先 URI** returned by **リクエスト URI**

ProxyPass ディレクティブで指定した転送先の URI のフォーマットが不正です。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「400 Proxy Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) ProxyPass ディレクティブで指定した転送先の URI を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy: DNS lookup failure for: **ホスト名** returned by **URI**

ProxyPass ディレクティブで指定した転送先のホスト名の DNS ルックアップに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Proxy Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) ProxyPass ディレクティブで指定した転送先のホスト名について見直してください。

---

proxy: previous connection is closed, creating a new connection.

以前のコネクションはクローズしているため，新しいコネクションを作成します。

エラーレベル：info

(S)処理を続行します。新しいソケットを作成します。

---

proxy: failed to enable ssl support for **IP アドレス:ポート番号** (**ホスト名**)

リバースプロキシはリモートの Web サーバとのコネクションに SSL を使用できません。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)Web サーバのアクセス方法に関する設定を見直してください。

[client クライアントアドレス] proxy: no HTTP 0.9 request (with no host line) on incoming request and preserve host set forcing hostname to be ホスト名 for uri URI

クライアントから受信したリクエストヘッダに Host ヘッダが含まれていません。

エラーレベル：warn

(S)リバースプロキシが作成した Host ヘッダをリモートの Web サーバへ送信して処理を続行します。

(O)クライアントの設定を見直してください。

[client クライアントアドレス] proxy: error reading status line from remote server ホスト名

リバースプロキシはリモートの Web サーバからのステータスラインの読み込みに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Proxy Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リモートの Web サーバが送信したレスポンスを見直してください。

[client クライアントアドレス] proxy: Error reading from remote server returned by URI

リバースプロキシはリモートの Web サーバからのステータスラインの読み込みに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Proxy Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リモートの Web サーバが送信したレスポンスを見直してください。

[client クライアントアドレス] proxy: error reading response header from remote server ホスト名

リバースプロキシはリモートの Web サーバからのレスポンスヘッダの読み込みに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Bad Gateway」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リモートの Web サーバが送信したレスポンスを見直してください。

[client クライアントアドレス] 詳細情報: proxy: error reading response body from remote server ホスト名

リバースプロキシはリモートの Web サーバからのレスポンスボディの読み込みに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)クライアントおよびリモートの Web サーバとの接続を切断します。

(O)リモートの Web サーバが送信したレスポンスを見直してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy: Corrupt status line returned by remote server: **文字列** returned by **URI**

リモートの Web サーバが不正な HTTP ヘッダを送信しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Proxy Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リモートの Web サーバが送信したレスポンスを見直してください。

---

proxy: bad **HTTP メジャーバージョン.マイナーバージョン** header returned by **URI** (**メソッド**)

リモートの Web サーバが不正な HTTP ヘッダを送信しました。

エラーレベル：warn

(S)ステータスコード「502 Bad Gateway」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リモートの Web サーバの設定を見直してください。

詳細情報: proxy: pass request body failed to **IP アドレス:ポート番号** (**ホスト名**)

リバースプロキシはリモートの Web サーバへのリクエストボディの送信に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

---

proxy: client **クライアントアドレス** given Content-Length did not match number of body bytes read

クライアントが送信したリクエストボディのサイズが Content-Length ヘッダ値と異なります。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) Content-Length リクエストヘッダ値が正しいかどうか見直してください。

詳細情報: proxy: search for temporary directory failed

リバースプロキシはリクエストボディを一時的に格納するディレクトリの検索に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

詳細情報: proxy: creation of temporary file in directory **ディレクトリ名** failed

リバースプロキシはリクエストボディを一時的に格納するファイルの作成に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

詳細情報: proxy: write to temporary file **ファイル名** failed

リバースプロキシはリクエストボディを一時的に格納するファイルへの書き込みに失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

---

proxy: **転送コーディング値** Transfer-Encoding is not supported

クライアントが送信した Transfer-Encoding ヘッダに，サポートしていない転送コーディング値が設定されています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O) Transfer-Encoding ヘッダに使用する転送コーディング値は chunked を使用してください。

詳細情報: proxy: prefetch request body failed to **ホスト名** from **クライアントアドレス** (**クライアントホスト名**)

リバースプロキシはクライアントからのリクエストボディの受信に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

詳細情報: proxy: pass request body failed to **IP アドレス:ポート番号** (**ホスト名**) from **クライアントアドレス** (**クライアントホスト名**)

リバースプロキシはリクエストボディの送信に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy fin wait timed out.

リモートの Web サーバからの FIN パケット待ち処理がタイムアウトしました。

エラーレベル：info

(S)リバースプロキシから FIN パケットを送ることによって, リモートの Web サーバとの接続をクローズして処理を続行します。

(O)リモートの Web サーバのコネクションに関する設定を見直してください。

詳細情報: proxy: processing prefetched request body failed to **ホスト名** from **クライアントアドレス** (**クライアントホスト名**)

リバースプロキシはクライアントからのリクエストボディの受信に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500 Internal Server Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] proxy: Could not get proxypass entry

バックエンドサーバから読み込んだ Set-Cookie ヘッダの変換に使用する ProxyPass ディレクティブの指定値を取得できませんでした。

エラーレベル：error

(S)バックエンドサーバから読み込んだ Set-Cookie ヘッダを変換しないで，リクエスト処理を続行します。

[client **クライアントアドレス**] proxy: Too many（**上限回数**）interim responses from origin server returned by **URI**

リモートの Web サーバが**上限回数**を超えるステータスコード 100 を送信しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「502 Proxy Error」をクライアントに返し，リクエスト処理を中断します。

(O)リモートの Web サーバが送信したレスポンスを見直してください。

23.6　流量制限機能についてのメッセージ

HTTP Server の流量制限機能で出力されるメッセージについて説明します。

詳細情報: Could not open file: **ファイル名**

QOSResponse ディレクティブで指定したファイルがオープンできません。

エラーレベル：crit

(S)サーバが起動しません。

(O)詳細情報を基にディレクティブ設定値を見直してください。

詳細情報: Could not read file: **ファイル名**

QOSResponse ディレクティブで指定したファイルが読み込めません。

エラーレベル：crit

(S)サーバが起動しません。

(O)詳細情報を基に対応してください。

This file is too large: **ファイル名**

QOSResponse ディレクティブで指定したファイルが大き過ぎて読み込めません。

エラーレベル：crit

(S)サーバが起動しません。

(O)4,294,967,295 バイトよりも小さなファイルを指定してください。

QOSCookieServers is out of range

QOSCookieServers ディレクティブの指定範囲が不正です。

エラーレベル：crit

(S)サーバが起動しません。

(O)ディレクティブ設定値を見直してください。

QOSRejectionServers is out of range

QOSRejectionServers ディレクティブの指定範囲が不正です。

エラーレベル：crit

(S)サーバが起動しません。

(O)ディレクティブ設定値を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報:** client stopped connection before send QOSResponse completed

クライアントからプロトコルボディデータ受信中または Web サーバからクライアントへデータ送信中, クライアントからコネクションが切断されました。

エラーレベル：info

(S)Web サーバからクライアントへのデータ送信処理を中断します。

Request rejected (service temporarily unavailable)

リクエスト処理が拒否されました。

エラーレベル：info

(S)リクエスト処理を中断します。

23.7　静的コンテンツキャッシュ機能についてのメッセージ

HTTP Server の静的コンテンツキャッシュ機能で出力されるメッセージについて説明します。

詳細情報: Error creating mutex

mutex 作成時にエラーが発生しました。

エラーレベル：crit

(S) Web サーバを停止します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

---

malloc failure in mod_hws_cache

ファイルのキャッシュ処理中にメモリ確保エラーが発生しました。

エラーレベル：warn

(S)ファイルはキャッシュされませんが処理を続行します。

HWSContentCacheMaxFileSize exceeded HWSContentCacheSize: reduced to **HWSContentCacheSize 設定値**

HWSContentCacheMaxFileSize ディレクティブ値が，キャッシュ可能なメモリサイズを超えています。HWSContentCacheSize ディレクティブ値まで減少させました。

エラーレベル：notice

(S)処理を続行します。

[client **クライアントアドレス**] **詳細情報:** client stopped connection before send cache completed

クライアントからプロトコルボディデータを受信中または Web サーバからクライアントへデータを送信中，クライアントからコネクションが切断されました。

エラーレベル：info

(S) Web サーバからクライアントへのデータ送信処理を中断します。

---

cache error: reason(file open error)

ファイルのオープンに失敗したためキャッシュできませんでした。

エラーレベル：info

(S)ファイルはキャッシュされませんが処理を続行します。

---

cache error: reason(file read error)

ファイルの読み込みに失敗したためキャッシュできませんでした。

エラーレベル：info

(S)ファイルはキャッシュされませんが処理を続行します。

---

cache error: reason(file size unstable)

ファイルサイズが確定できないためキャッシュできませんでした。

エラーレベル：info

(S)ファイルはキャッシュされませんが処理を続行します。

23.8　LDAP 連携機能についてのメッセージ

HTTP Server の LDAP 連携機能で出力されるメッセージについて説明します。

[client **クライアントアドレス**] An attempt to bind user **ユーザ ID** to the LDAP server failed: **詳細情報**

LDAP サーバでのユーザ認証に失敗しました。失敗した理由は次のどれかです。

- 無効なユーザ名やパスワードが指定されました。
- ユーザ名やパスワードをエンコード（BER-encoding）するときにエラーが発生しました。
- LDAP サーバが要求を受信できなかったまたは LDAP サーバへの接続ができなくなりました。
- メモリが不足しています。
- LDAP サーバから戻された処理結果を取得するときにエラーが発生しました。
- エンコード済みの処理結果をデコードするときにエラーが発生しました。

詳細情報に従い，エラーに対応してください。

エラーレベル：error

(S)ユーザ情報が LDAP サーバ内で見つからない場合（詳細情報に Invalid credentials か No such object が出力されている場合）はステータスコード「401　Authorization Required」で処理を中断します。それ以外のエラーならば，ステータスコード「500　Internal Server Error」で処理を中断します。

(O)詳細情報に従い，LDAP サーバに登録されているユーザ情報と入力したユーザ情報に問題がないかどうか確認してください。

[client **クライアントアドレス**] An attempt to initialize the LDAP server session failed.

LDAP サーバとのセションの初期化に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」を返して処理を中断します。

(O)LDAPServerName/LDAPServerPort ディレクティブに誤りがないかどうか確認してください。

[client **クライアントアドレス**] An attempt to terminate the LDAP server session failed.

LDAP サーバとのセションの終了に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)処理を続行します。

(O)LDAP サーバをアクセスするための資源の解放を失敗しているため，多発するようであれば，HTTP Server を再起動してください。

[client **クライアントアドレス**] An LDAP search for user **ユーザ ID** failed: **詳細情報**

検索フィルタに従いユーザの情報を検索しましたが，エラーが発生して検索を完了できませんでした。エラーの詳細を**詳細情報**に示します。失敗する原因として次に示す原因が考えられます。

- 無効な検索フィルタが指定されました。

- 検索フィルタをエンコードするときにエラーが発生しました。
- LDAP サーバとの通信路に問題が発生しました。
- メモリの割り当てに失敗しました。
- LDAP サーバから戻された処理結果にエラーが見つかりました。
- 検索フィルタで検索したエンコード済みの処理結果をデコードできませんでした。
- LDAP のプロトコルバージョンが異なります。
- 検索フィルタを解析およびエンコード時にエラーが発生しました。
- 制限時間を検索処理が超過しました。
- LDAP サーバ内でユーザ情報を見つけられませんでした。

上記以外にもエラーの原因があることがありますので**詳細情報**について見直してください。

エラーレベル：error

(S)ユーザ情報が LDAP サーバ内で見つからない場合は，ステータスコード「401　Authorization Required」で処理を中断します。それ以外のエラーならば，ステータスコード「500　Internal Server Error」で処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について見直してください。

[client **クライアントアドレス**] Authentication failed

パスワードが入力されていない，ユーザ名が 255 文字を超えているまたはユーザ名の取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「401　Authorization Required」で処理を中断します。

(O)ユーザ名とパスワードを正しく入力してください。

[client **クライアントアドレス**] The first entry could not be acquired.

認証に成功しましたが，エントリの取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」で処理を中断します。

(O)LDAP サーバのスキーマに問題がないかどうか見直してください。

[client **クライアントアドレス**] The invalid DN **DN 値** was found in LDAPBaseDN.

無効な DN を LDAPBaseDN ディレクティブに指定しています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」で処理を中断します。

(O)LDAPServerName ディレクティブ，LDAPServerPort ディレクティブとの対応を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] The invalid LDAP server **LDAP サーバ名** was found in LDAPServerName.

無効な LDAP サーバ名を LDAPServerName ディレクティブに指定しています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」で処理を中断します。

(O)LDAPServerPort ディレクティブ，LDAPBaseDN ディレクティブとの対応を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] The invalid port number **ポート番号** was found in LDAPServerPort.

無効なポート番号を LDAPServerPort ディレクティブに指定しています。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」で処理を中断します。

(O)LDAPServerName ディレクティブ，LDAPBaseDN ディレクティブとの対応を見直してください。

[client **クライアントアドレス**] The session option **オプション** could not be set.

セションのオプション設定に失敗しました。

- オプションが DEREF の場合

  LDAPRequire ディレクティブの検索フィルタの処理中に別名の機能を使わないように設定しましたが，失敗しました。
- オプションが PROTOCOL_VERSION の場合

  LDAP サーバにアクセスするためのプロトコルバージョンの設定に失敗しました。
- オプションが REFERRALS の場合

  クライアントがリフェラルに従わないように設定しましたが，失敗しました。

エラーレベル：error

(S)ステータスコード「500　Internal Server Error」で処理を中断します。

(O)LDAPServerName ディレクティブで指定した日立ディレクトリサーバ V2 であるか確認してください。

[client **クライアントアドレス**] The user **ユーザ ID** lacks LDAPRequire filter permission.

LDAPRequire ディレクティブで指定された検索フィルタに一致するものはありませんでした。

エラーレベル：error

(S)LDAPNoEntryStatus ディレクティブに Authorization を指定した場合は，ステータスコード「401 Authorization Required」で処理を中断します。LDAPNoEntryStatus ディレクティブに Forbidden を指定した場合は，ステータスコード「403　Forbidden」で処理を中断します。

(O)問題があるならば，検索フィルタを再度見直してください。

[client **クライアントアドレス**] The value of attribute **属性** could not be acquired: **詳細情報**

属性値の取得に失敗しました。

エラーレベル：error

(S)処理を続行します。文字列値の取得に失敗した属性を LDAPSetEnv ディレクティブに指定している場合は，その属性値を設定しようとした環境変数は設定されません。

(O)**詳細情報**に示す原因について見直してください。

LDAP: A separator (%) could not be found.

LDAPRequire ディレクティブに指定された DN 属性のセパレータ(%)がありません。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)DN 属性を正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: No DN was specified for LDAPBaseDN.

LDAPBaseDN ディレクティブに DN 値が指定されていません。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)DN 値を正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: No IP address or hostname was specified for LDAPServerName.

LDAPServerName ディレクティブにホスト名または IP アドレスが指定されていません。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)LDAPServerName ディレクティブを正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: No port number was specified for LDAPServerPort.

LDAPServerPort ディレクティブにポート番号が指定されていません。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)LDAPServerPort ディレクティブを正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The specified DN is invalid.

LDAPBaseDN ディレクティブに指定された値が正しくありません。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)LDAPBaseDN ディレクティブを正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The specified IP address is invalid.

LDAPServerName ディレクティブに指定された IP アドレスが不正です。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)IP アドレスを正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The specified LDAPRequire value is invalid.

LDAPRequire ディレクティブに指定された値が正しくありません。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)LDAPRequire ディレクティブを正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The specified LDAPTimeout exceeds the maximum limit, and has been changed to 86400 seconds.

LDAPTimeout ディレクティブに指定された検索処理の最大待ち時間（秒単位）が最大値を超えているため，86400 秒を設定します。

エラーレベル：warn

(S)処理を続行します。

(O)フィルタの検索処理の最大待ち時間について見直してください。

LDAP: The specified port number is invalid.

LDAPServerPort ディレクティブに指定されたポート番号に数字以外の文字が含まれています。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)ポート番号を正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The specified port number is out of range (range = 1 to 65535).

LDAPServerPort ディレクティブに指定されたポート番号が範囲外です。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)ポート番号を正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The specified timeout is invalid.

LDAPTimeout ディレクティブに指定されたフィルタの検索処理の最大待ち時間（秒単位）に数字以外の文字が含まれています。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)フィルタの検索処理の最大待ち時間を正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The specified timeout is out of range (range = 1 to 86400).

LDAPTimeout ディレクティブに指定された検索処理の最大待ち時間（秒単位）が範囲外です。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)フィルタの検索処理の最大待ち時間を正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

LDAP: The status code specified in LDAPNoEntryStatus is invalid.

LDAPNoEntryStatus ディレクティブに指定された値が正しくありません。

エラーレベル：なし

(S)HTTP Server の起動を中止します。

(O)LDAPNoEntryStatus ディレクティブを正しく指定して HTTP Server を再起動してください。

23.9　コマンド・プログラムについてのメッセージ

HTTP Server のコマンドやプログラムで出力されるメッセージについて説明します。

(1)　certutil コマンド

certutil コマンドで出力されるメッセージについて説明します。

オプション名 option requires an argument

オプション名で指定したオプションには引数が必要です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)オプション名の指定を見直してください。

Unknown option **オプション名**

不正なオプションが指定されています。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)指定したオプションを見直してください。

Unknown signature type **署名アルゴリズム名**

不正な署名アルゴリズム名が指定されています。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)指定した署名アルゴリズム名を見直してください。

Unable to create a certificate request context

証明書要求コンテキストを作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

The specified subject is too long

サブジェクト情報が長過ぎます。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)サブジェクトの指定について見直してください。

Unable to set a flag for the certificate request context

証明書要求コンテキストにフラグを設定できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a key context

キーコンテキストを作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to open the key file **ファイル名**

鍵ファイルがオープンできませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)ファイル名の鍵ファイルが存在するかを確認してください。

Unable to create a certificate request

証明書要求を作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to set a version for the certificate request

証明書要求にバージョンを設定できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to retrieve the subject name from the user

ユーザからのサブジェクト名取得に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)サブジェクトの指定について見直してください。

Subject: サブジェクト

証明書発行要求に使用するサブジェクトです。

エラーレベル：なし

(S)処理を続行します。

Unable to create a subject name object

サブジェクト名オブジェクトが作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to set a subject name

サブジェクト名を設定できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to set a public key

公開鍵を設定できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Failed to sign the certificate request

証明書要求の署名に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to open the file **ファイル名**

ファイル名のファイルをオープンできませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to open the input file **ファイル名**

ファイル名の入力ファイルをオープンできませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)**ファイル名**のファイルが存在するか確認してください。

Failed to write the certificate request

証明書要求の出力に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)同時に出力されるエラーメッセージを参照してください。

A certificate signing request was successfully created

証明書発行要求の作成に成功しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を終了します。

No certificate request was specified

証明書要求が指定されていません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)-in オプションが指定されているか確認してください。

Failed to read the certificate request

証明書要求の読み込みに失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)同時に出力されるエラーメッセージを参照してください。

Unknown certificate format **指定値**

不正な証明書の形式が指定されています。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)形式の指定を見直してください。

No certificate file was specified

証明書が指定されていません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)-in オプションが指定されているか確認してください。

Unable to create a certificate context

証明書コンテキストを作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Failed to read the certificate

証明書の読み込みに失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)同時に出力されるエラーメッセージを参照してください。

Failed to write the certificate

証明書の出力に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)同時に出力されるエラーメッセージを参照してください。

Unable to retrieve a subject name object from the certificate

証明書からサブジェクト名オブジェクトを取得できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a hash

ハッシュを作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a library context

ライブラリコンテキストを作成できませんでした。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

ERROR: (**エラー番号**) **詳細情報**

詳細情報で示すエラーが発生しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を終了します。
(O)**詳細情報**に示す内容について見直してください。

(2)　crldownload コマンド

crldownload コマンドで出力されるメッセージについて説明します。

An attempt to download the CRL file failed: **理由**

CRL ファイルのダウンロードに失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)**理由**に沿った対応をしてください。

An attempt to download the CRL file **ファイル名** failed.

CRL のダウンロードに失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)同時に出力されるほかのエラーメッセージを参照してください。

An attempt to initialize the ldap server session failed.

LDAP サーバとのセションの初期化に失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)LDAP サーバ名やポート番号に誤りがないかどうか確認してください。

Could not locate **ファイル名** API: **理由**

LDAP ライブラリの処理を失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)理由に沿った対応をしてください。

---

invalid option.

オプションが不正です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)オプションを見直してください。

Memory could not be allocated.

メモリの確保ができません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)メモリの使用状態を見直してください。

The CRL file **ファイル名** could not be opened: **詳細情報**

設定された CRL ファイルが開けません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)詳細情報に示す原因について対応してください。

The CRL **ファイル名** was downloaded successfully.

CRL のダウンロードに成功しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を続行します。

The library file **ライブラリファイル名** could not be opened.

LDAP ライブラリが読み込めません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)ライブラリがあるかどうかおよびディレクトリに読み出し許可が設定されているかどうかを見直してください。

The port number is out of range.

ポート番号の指定値が，指定できない値（1-65535 以外）です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)-p オプションの指定値を見直してください。

The **オプション** option was not specified.

必要なオプション（-L，-b および-o）が指定されていません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)-L，-b および-o オプションを指定してください。

(3)　hwsserveredit コマンド

hwsserveredit コマンドで出力されるメッセージについて説明します。

---

hwsserveredit: completed

コマンドの処理が完了しました。または，-check 実行時，サーバ環境は構築されていました。

エラーレベル：なし

(S)処理を終了します。

---

hwsserveredit: cannot {create|delete|open|read|write|close} **ファイル名 関数名: 詳細情報**

ファイルの操作に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す内容について見直してください。

---

hwsserveredit: malloc failed

メモリの確保に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)メモリ使用量について，システムの状態を確認してください。

---

hwsserveredit: Service {add|delete} failed **関数名: 詳細情報**

サービスの登録または削除処理に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)詳細情報に示す内容について見直してください。

---

hwsserveredit: uncompleted

-check 実行時，サーバ環境は構築されていませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を終了します。

(O)サーバ名に対するリソースが作成されているか確認してください。

詳細情報: 関数名 レジストリキー

レジストリに対する操作で失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)詳細情報に示す内容について見直してください。

Registry does not contain key **レジストリキー** after creation

レジストリのオープンに失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)レジストリキーが存在するか確認してください。

詳細情報: GetModuleFileName failed

実行ファイルのパス取得に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O) GetModuleFileName()関数が返す**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: An attempt to load the audit log library has failed.

監査ログ出力用ライブラリのロードに失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: An attempt to acquire the address of the audit log function has failed.

監査ログ出力用ライブラリの関数のアドレス取得に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

詳細情報: An attempt to acquire the path of the audit log library has failed.

監査ログ出力用ライブラリのパスの取得に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**について見直してください。

(4)　hwstraceinfo コマンド

hwstraceinfo コマンドで出力されるメッセージについて説明します。

---

hwstraceinfo: An open logfile error occurred.

出力ファイルを開けません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)出力ファイルについて見直してください。

---

hwstraceinfo: An open shared memory error(**詳細情報**) occurred.

共有メモリの参照に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す内容について見直してください。

---

hwstraceinfo: A map shared memory error(**詳細情報**) occurred.

共有メモリのマッピングに失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)**詳細情報**に示す内容について見直してください。

hwstraceinfo: A shmat error occurred.

共有メモリの割り当てができません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)共有メモリ識別子について見直してください。

hwstraceinfo: A shmctl ID removal error occurred.

共有メモリ識別子を削除できません。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)共有メモリ識別子について見直してください。

hwstraceinfo: A write error occurred.

共有メモリの内容をファイル出力することに失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)出力ファイルについて見直してください。

hwstraceinfo: The shmid removal completed.

共有メモリ識別子を削除しました。

エラーレベル：なし

(S)hwstraceinfo コマンド処理を終了します。

hwstraceinfo: The trace output completed.

共有メモリの内容をファイルに出力しました。

エラーレベル：なし

(S)hwstraceinfo コマンド処理を終了します。

(5)　keygen コマンド

keygen コマンドで出力されるメッセージについて説明します。

オプション名 option requires an argument

オプション名で指定したオプションには引数が必要です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。
(O)**オプション名**の指定を見直してください。

The value specified for the -bits option exceeds the maximum

-bits に指定した値が指定可能な最大値を超えています。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)-bits に指定した値について見直してください。

Unknown option **オプション名**

不正なオプションが指定されています。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)指定したオプションを見直してください。

Unable to create a library context

ライブラリコンテキストを作成できませんでした。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a cryptographic context

暗号コンテキストを作成できませんでした。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a random object

ランダムオブジェクトを作成できませんでした。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Adding 'entropy' into random generator

ランダムジェネレータにエントロピーを追加します。

エラーレベル：なし

(S)処理を続行します。

Failed to set entropy

エントロピーの設定に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

バイト数 random bytes loaded

乱数生成に使用するデータを**バイト数**分読み込みました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

Unable to associate the random object with the cryptographic context

暗号コンテキストとランダムオブジェクトを関連づけられませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a key context

キーコンテキストを作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a cryptographic object

暗号オブジェクトを作成できませんでした。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Failed to initialize a cryptographic object

暗号オブジェクトの初期化に失敗しました。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to set key generation parameters

鍵生成パラメタを設定できませんでした。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Unable to create a key object

キーオブジェクトを作成できませんでした。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Key generation failed

鍵生成に失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Failed to write the private key

秘密鍵の出力に失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)同時に出力されるエラーメッセージを参照してください。

Key generation successful

鍵生成に成功しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を終了します。

ERROR: (**エラー番号**) **詳細情報**

詳細情報で示すエラーが発生しました。
エラーレベル：なし

(S)処理を終了します。
(O)詳細情報に示す内容について見直してください。

RSA Key Generation e= **指数値**, bits= **ビット数**, primes= **素数**

RSA キーを生成します。
エラーレベル：なし
(S)処理を続行します。

Failed to set the parameter **パラメタ名**

パラメタ名で示すパラメタの設定に失敗しました。
エラーレベル：なし
(S)処理を終了します。
(O)システムリソースの使用状況を確認してください。

Could not get the random number generator file **ファイル名**

乱数生成用のファイルが見つかりませんでした。
エラーレベル：なし
(S)処理を続行します。
(O)**ファイル名**のファイルが存在するか確認してください。

(6)　rotatelogs プログラム

rotatelogs プログラムで出力されるメッセージについて説明します。

Rotation time must be > 0

ログ分割時間間隔が不正です。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)ログ分割時間の間隔について見直してください。

The number of files must be >= 1 and <=256

-fnum に指定した値が不正です。
エラーレベル：なし
(S)処理を中断します。
(O)-fnum に指定した値について見直してください。

The offset minutes from UTC must be >= -1439 and <=1439

-diff に指定した値が不正です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)-diff に指定した値について見直してください。

The file path is too long.

分割ログファイル名の長さが長過ぎます。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)分割ログファイルのプリフィックス長について見直してください。

Usage: ［**プログラム名**］<logfile> <rotation time in seconds> [-fnum <file number>] [-diff <offset minutes from UTC>]

引数が不正です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)引数について見直してください。

(7)　rotatelogs2 プログラム

rotatelogs2 プログラムで出力されるメッセージについて説明します。

The size(KB) of file must be >= 1 and <= 2097151

ログファイルサイズが不正です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)ログファイルのサイズについて見直してください。

The number of files must be >= 1 and <= 256

ログファイル個数が不正です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)ログファイルの個数について見直してください。

The file path is too long.

ログファイル名の長さが長過ぎます。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)ログファイルのプリフィックス長について見直してください。

Usage: ［**プログラム名**］<logfile prefix> <maximum file size> <maximum number of files>

引数の数が不正です。

エラーレベル：なし

(S)処理を中断します。

(O)引数の数について見直してください。

(8)　sslpasswd コマンド

sslpasswd コマンドで出力されるメッセージについては，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 セキュリティ管理機能編」の「19.9　Web サーバ(HTTP Server)の sslpasswd コマンドが出力するメッセージ」を参照してください。

24 番号やメッセージ本文だけが出力されるメッセージ

この章では，プレフィックスがなく，番号やメッセージ本文だけが出力されるメッセージについて説明します。

24.1　Web サーバ (HTTP Server) が出力するメッセージ

アプリケーションサーバに含まれる Web サーバである HTTP Server のメッセージには，メッセージ本文だけが出力されます。

HTTP Server によって出力されるメッセージの詳細については，「23.　Web サーバ(HTTP Server)が出力するメッセージ」を参照してください。

24.2　XML Processor の JAXB 機能が出力するメッセージ

XML Processor で出力されるメッセージのうち，JAXB 機能が出力するメッセージには，メッセージ本文だけが出力されます。

XML Processor の JAXB 機能によって出力されるメッセージの詳細については,「11.9　JAXB に関連するメッセージ」を参照してください。

24.3　作業ディレクトリ移行およびインポートでエラーが発生したときのメッセージ

作業ディレクトリ移行やインポートでは，XML プロセッサで検証したあと，DD が仕様に従っているかどうかをチェックします。DD が仕様を満たしていないと判断された場合，ほかのメッセージの詳細情報としてメッセージが出力されます。

このメッセージには，番号とメッセージ本文だけが出力されます。

ここでは，このメッセージの形式と詳細ついて説明します。

(1)　メッセージの形式

メッセージの形式を次に示します。

nnnn メッセージ ([nnnn メッセージ ([nnnn ....])])

形式の意味を次に示します。

- nnnn
  Component Container で管理するメッセージ番号を表します。
- メッセージ
  エラーメッセージを表します。
- ([nnnn メッセージ ([nnnn ....])])
  複数のエラー要因がある場合，入れ子で出力されます。メッセージは（）で区切られます。

(2)　メッセージの詳細

メッセージの詳細情報として出力されるメッセージを次に示します。

番号	メッセージ	説明	対処
0101	It failed in the analysis of TagLib. The 1st argument of <InputStream> is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0102	It failed in the analysis of TagLib. The 2nd argument <WebDescriptorFactory> is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0103	cannot read tld: [aa....aa]	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
0104	'aa....aa' not found in TagLib XML. Actual value was <bb....bb>.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
0105	TagLib XML parsing error: [aa....aa]	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
0106	Invalid value = aa....aa (in TagLib XML). Correct value is boolean value, yes or no.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
0201	It failed in the analysis of Web Application. The 1st argument <InputStream> is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0202	It failed in the analysis of Web Application. The 2nd argument <WebDescriptorFactory> is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0203	The configuration cannot be read. (aa....aa)	WAR の DD の読み込みができませんでした。 aa....aa：詳細メッセージ	詳細メッセージに従って要因を取り除いてください。
0204	'aa....aa' was not found in web.xml. The actual value was <bb....bb>.	WAR の DD 解析に失敗しました。 aa....aa：誤っている DD の要素名 bb....bb：正しい DD の要素名	DD の記述を修正してください。
0205	A web.xml parsing error occurred: (aa....aa)	WAR の DD 解析中にエラーを検出しました。 aa....aa：詳細メッセージ	詳細メッセージに従って要因を取り除いてください。
0206	Invalid XML: The document type of web.xml is null.	WAR の DD に文書型宣言が正しく指定されていません。	文書型宣言を正しく指定してください。
0207	There is no web component by the name of 'aa....aa' here.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
0208	Invalid argument. name=aa....aa value=bb....bb	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
0209	<web-app> contains more than one element of <aa....aa>.	<web-app>タグ内で，複数の aa....aa タグを指定しています。 aa....aa：<web-app>タグ内で複数指定しているタグ名	<web-app>タグ内で，aa....aa タグを複数指定できません。一つだけ指定してください。
0301	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for ApplicationClient.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0302	Cannot get the descriptor unless this node has been added to a document for ApplicationClient.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0303	Invalid XML: The document type of the application client is null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0304	Invalid XML: The document type of the application client is unknown. (root name = 'aa....aa', public ID = 'bb....bb', system ID = 'cc....cc')	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報 cc....cc：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
0305	The <application-client> node was not found.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0401	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for ApplicationClient Runtime DeploymentDescriptor.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0501	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for Application.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0502	Cannot get the descriptor unless this node has been added to a document for Application.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0503	Invalid XML: The document type of the application is null.	EAR の DD に文書型宣言が指定されていません。	文書型宣言を指定してください。
0504	Invalid XML: The document type of the application is unknown: aa....aa	EAR の DD に文書型宣言が正しく指定されていません。 aa....aa：指定されていた文書型宣言	文書型宣言を正しく指定してください。
0506	Cannot find context root for web bundle with entry 'aa....aa' in this ear.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
0507	No <application> nodes were found.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0601	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for Connector.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0602	The transaction support value for the connector is invalid: aa....aa	transaction-support の指定が誤っています。 aa....aa：指定されていた transaction-support の値	「NoTransaction」,「LocalTransaction」または「XATransaction」のどれかを指定してください。
0603	The authentication-mechanism-type of the connector is invalid: aa....aa	authentication-mechanism-type の指定が誤っています。 aa....aa：指定されていた authentication-mechanism-type の値	「BasicPassword」または「Kerbv5」のどちらかを指定してください。
0604	No <connector> nodes could be found.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0605	Invalid XML: <security-permission-spec> in <connector> is empty.	security-permission-spec に値が指定されていません。	security-permission-spec に適切な値を指定してください。

番号	メッセージ	説明	対処
0701	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of type cc....cc, but no bean of this name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）の種別と，ejb-ref-type（cc....cc）で指定される種別とが異なります。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：ejb-ref-type で指定された値	リンク先 EJB の種別と一致する値を ejb-ref-type に指定してください。
0702	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of home interface cc....cc, but no bean of this home interface name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）の home インタフェース名と，home で指定されたインタフェース名（cc....cc）が一致しません。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：home で指定された値	EJB（aa....aa）の home インタフェース名を home に指定してください。
0703	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of remote interface cc....cc, but no bean with this remote interface name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）の remote インタフェース名と，remote で指定されたインタフェース名（cc....cc）が一致しません。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：remote で指定された値	EJB（aa....aa）の remote インタフェース名を remote に指定してください。
0704	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of type cc....cc, but no bean of this name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）の種別と，ejb-ref-type（cc....cc）で指定される種別とが異なります。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：ejb-ref-type で指定された値	リンク先 EJB の種別と一致する値を ejb-ref-type に指定してください。
0705	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of local home interface cc....cc, but no bean with this local home interface name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）の local-home インタフェース名と，local-home で指定されたインタフェース名（cc....cc）が一致しません。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：local-home で指定された値	EJB（aa....aa）の local-home インタフェース名を local-home に指定してください。

番号	メッセージ	説明	対処
0706	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of local interface cc....cc, but no bean with this local interface name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）の local インタフェース名と，local で指定されたインタフェース名（cc....cc）が一致しません。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：local で指定された値	EJB（aa....aa）の local インタフェース名を local に指定してください。
0707	Cannot have null value for mandatory element 'aa....aa'.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
0708	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of remote business interface cc....cc, but no bean with this remote business interface name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）のリモートビジネスインタフェース名と，business-remote で指定されたインタフェース名（cc....cc）が一致しません。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：business-remote で指定された値	リモートビジネスインタフェース名が一致するよう修正してください。
0709	aa....aa says it is linked to an EJB called bb....bb of local business interface cc....cc, but no bean with this local business interface name and type can be found in this ejb-jar.	ejb-ref-name（bb....bb）でリンクされる EJB（aa....aa）のローカルビジネスインタフェース名と，business-local で指定されたインタフェース名（cc....cc）が一致しません。 aa....aa：リンク先 EJB の display-name の値 bb....bb：ejb-ref-name で指定された値 cc....cc：business-local で指定された値	ローカルビジネスインタフェース名が一致するよう修正してください。
0801	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for ejb.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0802	Cannot get the descriptor unless this node has been added to a document for ejb.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0803	Invalid XML: The document type of EJB is null.	EJB-JAR の DD に文書型宣言が指定されていません。	文書型宣言を指定してください。
0804	Invalid XML: The document type of EJB is unknown: aa....aa	EJB-JAR の DD に文書型宣言が正しく指定されていません。 aa....aa：指定されていた文書型宣言	文書型宣言を正しく指定してください。

番号	メッセージ	説明	対処
0805	ERROR: Cascade-delete can only be specified if the other role has a multiplicity of One.	cascade-delete が指定されている場合は，multiplicity に「One」を指定しなければなりません。	cascade-delete を指定しないようにするか，multiplicity に「One」を指定してください。
0806	The value 'aa....aa' of the multiplicity element in EJB deployment descriptor XML is incorrect: the value must be One or Many.	multiplicity の指定が誤っています。 aa....aa：multiplicity の値	「One」または「Many」のどちらかを指定してください。
0807	No <ejb> nodes could be found.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0901	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for ejb.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
0902	Invalid XML: The Bean setting aa....aa is not specified as a local home or as a home interface.	EJB aa....aa には，home，local-home のどちらも指定されていません。 aa....aa：EJB の display-name の値	home, local-home のどちらか（または両方）を指定してください。
0903	Invalid XML : Document type for ejb is (null).	EJB-JAR の DD に文書型宣言が指定されていません。	文書型宣言を指定してください。
0904	Invalid XML : Unknown document type for ejb: aa....aa	EJB-JAR の DD に文書型宣言が正しく指定されていません。 aa....aa：指定されていた文書型宣言	文書型宣言を正しく指定してください。
0905	The jms acknowledge mode is invalid: aa....aa	acknowledge-mode の指定が誤っています。 aa....aa：acknowledge-mode の値	「Auto-acknowledge」または「Dups-ok-acknowledge」のどちらかを指定してください。
0906	The subscription durability string is invalid: aa....aa	subscription-durability の指定が誤っています。 aa....aa：subscription-durability の値	「Durable」または「NonDurable」のどちらかを指定してください。
0907	The jms destination type is invalid: aa....aa	destination-type の指定が誤っています。 aa....aa：destination-type の値	「javax.jms.Queue」または「javax.jms.Topic」のどちらかを指定してください。
0908	No query element method was found in the XML: [aa....aa]	query-method で指定されたメソッドが見つかりません。 aa....aa：詳細メッセージ	詳細メッセージに従い，query-method を正しく指定してください。
0909	The <query-method> is ambiguous or invalid.	query-method に指定されたメソッドが存在しません。または，query-method の method-name にアスタリスク（*）が指定されています。	query-method を正しく指定してください。
0910	Invalid XML: Bean aa....aa does not define a remote interface.	EJB（aa....aa）には remote が指定されていません。 aa....aa：EJB の display-name の値	home を指定した場合は，remote も指定してください。
0911	Invalid XML: Bean aa....aa does not define a local interface.	EJB（aa....aa）には local が指定されていません。	local-home を指定した場合は，local も指定してください。

番号	メッセージ	説明	対処
0911	Invalid XML: Bean aa....aa does not define a local interface.	aa....aa：EJB の display-name の値	local-home を指定した場合は，local も指定してください。
0912	Invalid XML: Bean aa....aa does not define a ejb-class.	EJB（aa....aa）の ejb-class が正しく指定されていません。 aa....aa：EJB の display-name の値	ejb-class を正しく指定してください。
0913	Invalid XML: Bean aa....aa does not define a ejb-name.	EJB（aa....aa）の ejb-name が正しく指定されていません。 aa....aa：EJB の display-name の値	ejb-name を正しく指定してください。
0914	Bean aa....aa must specify a <abstract-schema-name> tag for cmp-version 2.x.	CMP2.x である EJB（aa....aa）で，abstract-schema-name が指定されていません。 aa....aa：EJB の display-name の値	abstract-schema-name を正しく指定してください。
1001	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for ejb.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1101	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for ejb.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1102	Failure : SQL relations to CMP aa....aa cannot be found from CMPEntityBean bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
1201	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for Web.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1301	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for Web.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1401	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for Web.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1402	No <web> nodes could be found.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1501	Cannot set the descriptor unless this node has been added to a document for Web.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1601	getAttribute(key) : key is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1602	getAttribute(key, value) : key is (null). value is aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1603	removeAttribute(key) : key is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
1604	addElement(value) : value is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1605	removeElement(value) : value is (null)	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1701	Document was null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1702	cannot find a node under aa....aa with tag bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
1703	aa....aa has no sub nodes with tag bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
1704	The public ID and the system ID for this XML document could not be resolved: aa....aa [bb....bb].	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
1705	Type mismatch of DTD.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
1801	The public ID is incorrect.	文書型宣言に不正な公開識別子が指定されています。	正しい公開識別子を指定してください。
1901	Illegal application version : aa....aa	J2EE アプリケーションのバージョンが不正です。 aa....aa：保守情報	application.xml の公開識別子または application 要素の version 属性の値が正しいか確認してください。
1902	This application has no ejb jars of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1903	This application has no ejb jars of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1904	This application has no beans of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1905	This application has no application clients of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1906	This application has no application clients jars of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1907	This application has no web app of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1908	This application has no web app jars of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
1909	This application has no rar jar of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
1910	This application has no application clients jars of name aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2001	An attempt to create a temporary directory has failed.	一時ディレクトリの作成に失敗しました。	• 一時ディレクトリの場所に書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 一時ディレクトリの場所に容量が不足している場合，容量を確保してください。
2002	The class loader could not be created.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2003	J2EE module 'aa....aa' cannot be extracted from the EAR file 'bb....bb'.	module で指定されたファイルが EAR ファイルにありません。 aa....aa：module で指定されたファイル名 bb....bb：EAR ファイル名	• EAR のインポート時にこのメッセージが出力された場合，EAR ファイルの構成を見直してください。 • インポート以外でこのメッセージが出力された場合，保守員に連絡してください。
2004	An attempt to unpack the archive failed. The parent file for aa....aa could not be made.	アーカイブファイルを展開するディレクトリを生成できませんでした。 aa....aa：展開先ディレクトリ名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
2005	It failed in the analysis of Ear. The 1st argument of <File> is (null).	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2006	The EAR file 'aa....aa' does not exist	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2007	No deployment information was found. The format was invalid. (EAR file = aa....aa)	指定されたファイルは，EAR ファイルとして正しくない形式です。 aa....aa：EAR ファイル名	• EAR のインポート時の場合は，インポートしようとしたファイルの構成を見直してください。 • インポート以外でこのメッセージが出力された場合，保守員に連絡してください。
2008	File Object for Save to do Deployment Descriptor of J2EEModule for EJB is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
2009	File Object for Save to do Deployment Descriptor of J2EEModule for Web Application is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2010	File Object for Save to do Deployment Descriptor of j2EEModule for ApplicationClient is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2011	File Object for Save to do Runtime Deployment Descriptor of ApplicationClient is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2012	File Object for Save to do Deployment Descriptor of j2EEModule for Connector is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2013	File Object for Save to do Application(Ear) is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2014	An attempt to save an EAR file resulted in an error: aa....aa to bb....bb	EAR ファイルの保存に失敗しました。 aa....aa：EAR ファイル生成時に作られる一時ファイル名 bb....bb：保存先ファイル名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
2015	File Object for Save to do Deployment Descriptor of J2EEApplication is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2016	File Object for Save to do Runtime Deployment Descriptor is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2017	aa....aa is an unknown Descriptor type for removing.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2018	aa....aa is an unknown BundleDescriptor type for removing.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2019	'aa....aa' cannot be extracted from file 'bb....bb'.	アーカイブファイルから aa....aa を展開できません。 aa....aa：アーカイブファイル内のファイル名 bb....bb：アーカイブファイル名	• インポート時の場合は，インポートしようとしたファイルの構成を見直してください。 • インポート以外でこのメッセージが出力された場合，

番号	メッセージ	説明	対処
2019	'aa....aa' cannot be extracted from file 'bb....bb'.	アーカイブファイルから aa....aa を展開できません。 aa....aa：アーカイブファイル内のファイル名 bb....bb：アーカイブファイル名	保守員に連絡してください。
2020	The file aa....aa to acquire ApplicationName doesn't exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2021	The Application name for Load to do 'application.xml' is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2022	The File Object for Load to do 'Ear' is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2023	The File Object for Load to do Runtime Deployment Descriptor is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2024	The J2EEModule name of EJB for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2025	The File Object of EJB Jar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2026	The J2EEModule name of Web Application for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2027	The File Object of Web Application War for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2028	The J2EEModule name of Connactor for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2029	The File Object of Connector Rar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2030	The J2EEModule name of ApplicationClient for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2031	The File Object of ApplicationClient Jar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2032	The J2EEModule name of ApplicationClient for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2033	The File Object of ApplicationClient Runtime Deployment Descriptor for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2101	No archive file for ApplicationClient: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
2102	Cannot package Application Client: aa....aa does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2103	You must include the class file for aa....aa in the packaging command of ApplicationClient Jar bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
2104	The File Object of ApplicationClient Jar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2105	ApplicationClient Jar 'aa....aa' does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2106	No deployment information for the application client was found at aa....aa in bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
2107	The manifest format is incorrect. There is no Mail-Class description in the manifest.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2108	The File Object of ApplicationClient Deployment Descriptor for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2109	The File Object of ApplicationClient Runtime Deployment Descriptor for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2110	The File Object of ApplicationClient Jar for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2111	An error occurred during renaming of an application client: from aa....aa to bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
2112	The J2EEModule name of ApplicationClient for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2113	The File Object of ApplicationClient Jar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2114	The File Object of ApplicationClient Runtime Deployment Descriptor for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
2201	Illegal application client version : aa....aa	J2EE アプリケーションクライアントのバージョンが不正です。 aa....aa：保守情報	application-client.xml の公開識別子または application-client 要素の version 属性の値が正しいか確認してください。
2202	This application client has no ejb reference by the name aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2203	This application client has no JMS destination reference by the name of aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2204	This application client has no resource reference by the name aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2301	An attempt to rename a JAR file failed: from aa....aa to bb....bb.	JAR ファイルの保存に失敗しました。ファイル名を bb....bb に変更できません。 aa....aa：変更前のファイル名 bb....bb：変更後のファイル名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
2302	An attempt to rename a JAR file failed: from aa....aa to bb....bb.	JAR ファイルの保存に失敗しました。ファイル名を bb....bb に変更できません。 aa....aa：変更前のファイル名 bb....bb：変更後のファイル名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
2303	An attempt to unpack the archive has failed. The parent file of aa....aa could not be made.	アーカイブファイルを展開するディレクトリ aa....aa を生成できませんでした。 aa....aa：作成しようとしたディレクトリ名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
2304	aa....aa does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2401	No archive file for Connector: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
2402	The File Object of Connector Rar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2403	Connector RAR 'aa....aa' does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2404	No deployment information for the connector was found at aa....aa in bb....bb	指定されたファイルは，RAR ファイルとして正しくない形式です。 aa....aa：RAR ファイルから取得しようとしたファイル名 bb....bb：RAR ファイル名	• インポート時の場合は，インポートしようとしたファイルの構成を見直してください。 • インポート以外でこのメッセージが出力された場合，保守員に連絡してください。
2405	The File Object of Connector Rar for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2406	The File Object of Connector Deployment Descriptor for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2407	An attempt to rename an RAR file failed: from aa....aa to bb....bb.	RAR ファイルの保存に失敗しました。ファイル名を bb....bb に変更できません。 aa....aa：変更前のファイル名 bb....bb：変更後のファイル名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
2408	The connector cannot be packaged: aa....aa does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2409	An attempt to read the connector XML has failed: [aa....aa]	RAR の DD を読み込みできませんでした。 aa....aa：詳細メッセージ	詳細メッセージに従って要因を取り除いてください。
2410	The J2EEModule name of Connector Rar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2411	The File Object Connector Deployment Descriptor for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2501	The container transaction type is unknown: aa....aa	trans-attribute の指定が不正です。 aa....aa：指定されていた trans-attribute の値	「NotSupported」，「Supports」，「Required」，「RequiresNew」「Mandatory」または「Never」のどれかを指定してください。
2601	No archive file for EjbBundle: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
2602	An EJB cannot be packaged. aa....aa does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2603	The EJB JAR file 'aa....aa' does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2604	No deployment information for the EJB was found at aa....aa in bb....bb	指定されたファイルは，EJB-JAR ファイルとして正しくない形式です。 aa....aa：EJB-JAR ファイルから取得しようとしたファイル名 bb....bb：EJB-JAR ファイル名	• インポート時の場合は，インポートしようとしたファイルの構成を見直してください。 • インポート以外でこのメッセージが出力された場合は，保守員に連絡してください。
2605	The J2EEModule name of Ejb Jar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2606	The File Object of Ejb Jar for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2607	File Object of Ejb Jar for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2608	An attempt to rename an EJB JAR file failed: from aa....aa to bb....bb.	EJB-JAR ファイルの保存に失敗しました。ファイル名を bb....bb に変更できません。 aa....aa：変更前のファイル名 bb....bb：変更後のファイル名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
2609	Couldn't get application archivist for Ejb Jar Update.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2701	Illegal ejb version : aa....aa	EJB-JAR のバージョンが不正です。 aa....aa：保守情報	ejb-jar.xml の公開識別子または ejb-jar 要素の version 属性の値が正しいか確認してください。
2702	Referencing error: This bundle has no bean with the name aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2703	Invalid XML: aa....aa(bb....bb) is not defined at cc....cc .	aa....aa が bb....bb で定義されていません。 aa....aa：タグ値 bb....bb：aa....aa が定義されているタグ名 cc....cc：タグ名	bb....bb で定義されている値を cc....cc に指定してください。

番号	メッセージ	説明	対処
2801	The CMP version is invalid: aa....aa	cmp-version が誤っています。 aa....aa：指定されていた cmp-version の値	「1.x」または「2.x」のどちらかを指定してください。
2901	Cannot set use-caller-identity for Message Driven beans.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2902	Cannot set RunAs identity when using caller identity.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2903	Cannot get RunAs identity when using caller identity.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2904	A method level transaction attribute cannot be specified for a bean with the transaction type aa....aa. This EJB name is bb....bb.	EJB（bb....bb）は，BMT です。container-transaction を指定できません。 aa....aa：指定されていた transaction-type の値 bb....bb：EJB の ejb-name の値	• CMT に変更してください。 • container-transaction を削除してください。
2905	Cannot add roles when the descriptor is not part of a ejb bundle.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2906	Cannot add roles when the ejb bundle does have them: RoleName is aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2907	Cannot add roles when the descriptor is not part of a ejb bundle.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
2908	Cannot remove roles when the ejb bundle does not have them: RoleName is aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
2909	This bean 'aa....aa' has no environment property by the name of bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
2910	This bean 'aa....aa' has no Ejb Reference by the name of bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
2911	This bean 'aa....aa' has no JMS destination reference by the name of bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
2912	This web app has no resource reference by the name of aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3001	Entity beans can only have Container transaction type. The type was being set to aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
3002	aa....aa is not a valid value for the entity reentrancy of EJB bb....bb.	reentrant の指定が誤っています。 aa....aa：指定されていた reentrant 値 bb....bb：EJB の ejb-name の値	「True」または「False」のどちらかを指定してください。
3003	aa....aa is not an allowed persistence type of Ejb bb....bb.	persistence-type の指定が誤っています。 aa....aa：指定されていた persistence-type 値 bb....bb：EJB の ejb-name の値	「Bean」または「Container」のどちらかを指定してください。
3004	Cannot set type aa....aa on an entity bean bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。
3101	aa....aa is not a valid EJB reference type.	ejb-ref-type の指定が誤っています。 aa....aa：指定されていた ejb-ref-type の値	「Entity」または「Session」を指定してください。
3201	aa....aa is not a legal ejb type.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3202	Remote home interface aa....aa does not have a findByPrimaryKey method.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3301	Incorrect value for integrity: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3302	Incorrect value for confidentiality: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3303	Incorrect value for establishTrustInTarget: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3304	Incorrect value for establishTrustInClient: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3305	Incorrect value for authentication method: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3306	Incorrect value for callerPropagation: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3401	The transaction attribute 'aa....aa' of a message-driven bean bb....bb is invalid.	Message-driven Bean で使用できないトランザクション属性が指定されました。 aa....aa：指定された trans-attribute の値 bb....bb：EJB の ejb-name の値	「NotSupported」または「Required」のどちらかを指定してください。
3402	Cannot set the type 'aa....aa' of a message-driven bean bb....bb.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報 bb....bb：保守情報	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
3403	Message-driven bean aa....aa isn't set up to have durable subscription.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3404	Message-driven bean aa....aa isn't set up to have durable subscription.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3405	onMessage is not defined for message-bean aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3406	The transaction type aa....aa of a message-driven bean bb....bb is invalid.	Message-driven Bean で使用できない transaction-type を指定されました。 aa....aa：指定されていた transaction-type の値 bb....bb：EJB の ejb-name の値	「Bean」または「Container」のどちらかを指定してください。
3501	EJB aa....aa cannot be set up in ejb-local-ref 'bb....bb' because the local interface has not been defined.	ejb-local-ref で参照する EJB には，local が定義されていません。 aa....aa：参照先 EJB の ejb-name の値 bb....bb：ejb-ref-name の値	aa....aa に local を定義してください。
3502	EJB aa....aa cannot be set up in ejb-ref 'bb....bb' because the remote interface has not been defined.	ejb-ref で参照する EJB には，remote が定義されていません。 aa....aa：参照先 EJB の ejb-name の値 bb....bb：ejb-ref-name の値	aa....aa に remote を定義してください。
3503	The API syntax is invalid. The link name cannot be acquired from an external reference.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
3504	This ejb reference has no ejb descriptor.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
3505	This ejb reference has no ejb descriptor.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
3601	The session type aa....aa for session EJB bb....bb is invalid. The type must be 'cc....cc', 'dd....dd' or 'ee....ee'.	session-type が誤っています。 aa....aa：指定されている session-type の値 bb....bb：EJB の ejb-name の値 cc....cc：Stateful dd....dd：Stateless ee....ee：Singleton	「Stateful」,「Stateless」または「Singleton」のどれかを指定してください。
3602	Cannot set the type of a session bean aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
3603	The transaction type aa....aa for a session bean bb....bb is invalid.	Session Bean で使用できない transaction-type を指定されました。 aa....aa：指定された transaction-type の値 bb....bb：EJB の ejb-name の値	「Bean」または「Container」のどちらかを指定してください。

番号	メッセージ	説明	対処
3702	aa....aa is not an allowed property value type.	env-entry-type の指定が誤っています。 aa....aa：指定されたデータ型	「java.lang.Boolean」, 「java.lang.Byte」, 「java.lang.Character」, 「java.lang.String」, 「java.lang.Short」, 「java.lang.Integer」, 「java.lang.Long」, 「java.lang.Float」または 「java.lang.Double」のどれかを指定してください。
3703	'aa....aa' cannot be changed to the Character class.	env-entry-value に指定された値を java.lang.Character で扱えません。 aa....aa：env-entry-value に指定された値	env-entry-value には 1 文字だけ指定してください。
3704	An instance of aa....aa could not be created from bb....bb. (reason = cc....cc)	env-entry-value に指定された値を aa....aa で扱えません。 aa....aa：env-entry-type に指定された値 bb....bb：env-entry-value に指定された値 cc....cc：詳細メッセージ	env-entry-type で扱える値を env-entry-value に指定してください。
3705	The environment properties type is invalid: aa....aa	env-entry-type の指定が誤っています。 aa....aa：指定されたデータ型	「java.lang.Boolean」, 「java.lang.Byte」, 「java.lang.Character」, 「java.lang.String」, 「java.lang.Short」, 「java.lang.Integer」, 「java.lang.Long」, 「java.lang.Float」または 「java.lang.Double」のどれかを指定してください。
3801	The cmp-field or cmr-field name cannot be empty strings.	cmp-field の field-name または cmr-field の cmr-field-name に値が指定されていません。	field-name や cmr-field-name に正しく値を指定してください。
3803	The cmp-field or cmr-field name aa....aa must begin with a lower-case letter.	cmp-field の field-name または cmr-field の cmr-field-name の先頭文字は小文字にしなければなりません。 aa....aa：field-name または cmr-field-name に指定された値	先頭文字は小文字にしてください。小文字かどうかの判定は，java.lang.Character の isLowerCase メソッドに従います。
3901	aa....aa is not a valid authentication method for the Web.	auth-method の指定が誤っています。 aa....aa：指定された auth-method の値	「BASIC」,「FORM」, 「DIGEST」または「CLIENT-CERT」のどれかを指定してください。
4001	The message-driven bean aa....aa does not process the method 'bb....bb'.	Message-driven Bean（aa....aa）は，メソッド（bb....bb）を持っていません。 aa....aa：EJB の ejb-name の値	メソッド名を正しく指定してください。

番号	メッセージ	説明	対処
4001	The message-driven bean aa....aa does not process the method 'bb....bb'.	bb....bb：指定されたメソッド名	メソッド名を正しく指定してください。
4002	Method aa....aa is not contained in Ejb 'bb....bb'.	メソッド（aa....aa）は，EJB（bb....bb）に含まれていません。 aa....aa：指定されたメソッド名 bb....bb：EJB の ejb-name の値	メソッド名を正しく指定してください。
4003	Method aa....aa was not found in EJB bb....bb.	メソッド（aa....aa）は，EJB（bb....bb）に含まれていません。 aa....aa：指定されたメソッド名 bb....bb：EJB の ejb-name の値	メソッド名を正しく指定してください。
4101	unknown Reference type.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4201	CMRFieldInfo not found for field aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4202	There is no local interface for the target bean aa....aa of the CMR field.	cmr-field を指定した場合，その EJB には local も指定しなければなりません。 aa....aa：EJB の ejb-name の値	EJB に local も指定してください。
4203	PersistentFieldInfo not found for field aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4204	PersistentFieldInfo not found for pkey field aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4205	No cmp field is defined for CMP EJB aa....aa.	EJB（aa....aa）には，cmp-field が定義されていません。 aa....aa：EJB の display-name の値	cmp-field を定義してください。
4206	Error building allSqlStatementedMethods: aa....aa	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4207	Accessor aa....aa for CMP field bb....bb cannot be found.	cmp-field（bb....bb）に対応するアクセサメソッド（aa....aa）が見つかりません。 aa....aa：アクセサメソッド名 bb....bb：cmp-field に指定された値	cmp-field を正しく指定してください。
4208	CMP field aa....aa in class bb....bb cannot be found.	クラス（bb....bb）には，CMP フィールド（aa....aa）が定義されていません。 aa....aa：cmp-field に指定された値 bb....bb：CMP のクラス名	cmp-field を正しく指定してください。
4209	CMP/CMR field aa....aa must start with a lower-case character.	field-name または cmr-field-name の先頭文字は小文字にしなければなりません。 aa....aa：field-name または cmr-field-name に指定された値	先頭文字は小文字にしてください。小文字かどうかの判定は，java.lang.Character の isLowerCase メソッドに従います。

番号	メッセージ	説明	対処
4301	cmr-field-type is aa....aa. The value must be java.util.Collection or java.util.Set.	cmr-field-type の指定が誤っています。 aa....aa：cmr-field-type に指定された値	「java.util.Collection」または「java.util.Set」のどちらかを指定してください。
4401	aa....aa is not a valid transport guarantee value.	transport-guarantee の指定が誤っています。 aa....aa：transport-guarantee に指定された値	「NONE」,「INTEGRAL」または「CONFIDENTIAL」のどれかを指定してください。
4501	Jsp aa....aa does not exist in the Web application bb....bb.	jsp-file に指定されたファイルが存在しません。 aa....aa：jsp-file で指定されたファイル名 bb....bb：WAR の display-name の値	• インポート時の場合は，インポートしようとしたファイルの構成を見直してください。 • インポート以外でこのメッセージが出力された場合，保守員に連絡してください。
4502	The Web application cannot be packaged. aa....aa does not exist.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4503	Reading web.xml resulted in an error: [aa....aa]	WAR の DD の読み込みができませんでした。 aa....aa：詳細メッセージ	詳細メッセージに従って要因を取り除いてください。
4504	File Object of Web Application Deployment Descriptor for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4505	An attempt to rename a WAR file failed: from aa....aa to bb....bb.	WAR ファイルの保存に失敗しました。ファイル名を bb....bb に変更できません。 aa....aa：変更前のファイル名 bb....bb：変更後のファイル名	• ほかのアプリケーションがロックしている場合は，そのアプリケーションを終了させてください。 • 書き込み権限がない場合，書き込み権限を付与してください。 • 容量が不足している場合，容量を確保してください。
4506	The File Object of Web Application War for Save is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4507	The J2EEModule name of Web Application War for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4508	The File Object of Web Application War for Load is Null.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4509	The Web WAR file 'aa....aa' does not exist.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。

番号	メッセージ	説明	対処
4509	The Web WAR file 'aa....aa' does not exist.	aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4510	No deployment information for the Web was found at aa....aa in bb....bb.	指定されたファイルは，WAR ファイルとして正しくない形式です。 aa....aa：WAR ファイルから取得しようとしたファイル名 bb....bb：WAR ファイル名	• インポート時の場合は，インポートしようとしたファイルの構成を見直してください。 • インポート以外でこのメッセージが出力された場合，保守員に連絡してください。
4511	A descriptor parsing error occurred: [aa....aa]	DD の解析に失敗しました。 aa....aa：詳細メッセージ	詳細メッセージに従って要因を取り除いてください。
4601	Illegal web version : aa....aa	WAR のバージョンが不正です。 aa....aa：保守情報	web.xml の公開識別子または web-app 要素の version 属性の値が正しいか確認してください。
4602	This web component has no JMS destination reference by the name of aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4603	This web app has no ejb reference by the name of aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4604	This web app has no resource reference by the name of aa....aa.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4701	The implementation of aa....aa for the Web cannot be instantiated.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4702	The aa....aa implementation class for the Web cannot be found.	内部エラーが発生しました。 aa....aa：保守情報	保守員に連絡してください。
4801	Invalid argument for createMessage method of duplicate object.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4802	Cannot get Message when the descriptor is not part of a bundle.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4803	Cannot get Message when the descriptor is not part of a enterprise-beans.	内部エラーが発生しました。	保守員に連絡してください。
4901	Illegal connector version : aa....aa	リソースアダプタのバージョンが不正です。 aa....aa：保守情報	ra.xml の公開識別子または connector 要素の version 属性の値が正しいか確認してください。

24.4　開発調査ログに出力されるメッセージ

次の機能を使用したアプリケーションを開発する場合，開発時に有効なメッセージが出力されます。このメッセージが出力されるログを**開発調査ログ**といいます。

- JSF
- CDI
- JSF と CDI から使用する Bean Validation

これらのメッセージには，プリフィックスや ID は出力されません。また，これらのメッセージはデフォルトでは出力されません。必要に応じて出力のための設定をした上で，アプリケーションを開発してください。

ここでは，開発調査ログの出力先，出力形式，レベル，および設定について説明します。

(1)　開発調査ログの出力先

開発調査ログは，コンソールまたは次のパスにファイルが生成され，出力されます。

<J2EE サーバのログ出力ディレクトリ（ejb.server.log.directory）>¥cjdevelopment[n].log

n は，ログファイルの面数を示しています。面数 n の設定については，「24.4(4)　ログの面数，サイズおよびレベルの設定」で説明します。

(2)　出力形式

開発調査ログのメッセージは次の形式で出力されます。

番号	日付	時刻	AP 名	Pid	tid	空白	**メッセージテキスト**	CRLF

「メッセージテキスト」には次の情報が出力されます。

- ログレベル
- メッセージを出力しているクラス名
- メッセージを出力しているメソッド名
- メッセージ詳細

また，メッセージテキストは，次のように 2 行に分けて出力されます。

1 行目	ログレベル	メッセージを出力しているクラス名	メッセージを出力しているメソッド名
2 行目	メッセージ詳細		

! 注意事項

スタックトレースを出力する場合，2 行目以降（メッセージが設定されていなかった場合），または 3 行目以降からスタックトレースが出力されます。

メッセージテキスト以外の出力内容については，マニュアル「アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編」の「5.2.1　トレース共通ライブラリ形式のログの出力形式と出力項目」を参照してください。

(3)　ログのレベル

開発調査ログは，次の 9 段階のレベルで出力できます。項番 2～8 については，項番が大きいほど詳細な情報が出力されます。

表 24-1　開発調査ログが提供するログレベル

項番	レベル	備考※
1	ALL	すべてのメッセージをログに出力する
2	SEVERE	致命的な問題などの重要なレベルのメッセージを出力
3	WARNING	警告レベルのメッセージを出力
4	INFO	情報として把握するレベルのメッセージを出力
5	CONFIG	静的なレベルのメッセージを出力
6	FINE	デバッグレベルのログを出力（トレースレベルの情報）
7	FINER	デバッグレベルのログを出力
8	FINEST	デバッグレベルのログを出力（最も詳細なレベル）
9	OFF	すべてのメッセージを出力しない デフォルトのレベル

注※

- 備考に記載している出力するメッセージの内容は目安です。
- 「OFF」レベルを指定すると，ログファイルは生成されません（すでにログファイルがある場合は何も実行されません）。
- 開発時には，INFO レベルよりも詳細な情報を出力するレベルを設定することを推奨します。

(4)　ログの面数，サイズおよびレベルの設定

開発調査ログの面数，サイズおよびレベルの設定は，簡易構築定義ファイルの論理 J2EE サーバ（j2ee-Server）の<configuration>タグ内に指定します。

ログの面数，サイズおよびレベルの設定に利用できるキーを次の表に示します。

表 24-2　開発調査ログの面数，サイズおよびレベルの設定にできるキーの詳細

項目	キー名称	内容	省略値	単位
ファイルの面数	ejbserver.logger.channels.define.DevelopmentLogFile.filenum	開発調査ログ機能で出力するログファイルの面数を指定します。	4	面
ファイルのサイズ	ejbserver.logger.channels.define.DevelopmentLogFile.filesize	開発調査ログ機能で出力するログファイルのサイズを指定します。	1048576	byte
ログの出力レベル	ejbserver.logger.DevelopmentLogFile.level	開発調査ログ機能のログの出力レベルを指定します。	OFF	-

（凡例）－：該当なし

注「省略値」とは，キーの指定がない場合に仮定される値です。

ポイント

ログレベルの指定

開発しているアプリケーションの障害調査のためには，まず，INFO レベルの設定を推奨します。INFO レベルで出力した情報が調査に不十分な場合，より詳細なログを出力する CONFIG レベルまたは FINE レベルを指定します。さらに詳細な情報が必要な場合は，FINER レベルを指定してください。

このように，必要に応じて，段階的に詳細な情報を出力するレベルを指定して，詳細な情報を取得するようにしてください。

次は，簡易構築定義ファイルを利用して開発調査ログの面数，サイズおよびレベルを設定する例を示します。

```
:
 <logical-server-name>j2ee-server</logical-server-name>
   <configuration>
     <param>
       <param-name>
         ejbserver.logger.channels.define.DevelopmentLogFile.filenum
       </param-name>
       <param-value>4</param-value>
     </param>
     <param>
       <param-name>
         ejbserver.logger.channels.define.DevelopmentLogFile.filesize
       </param-name>
       <param-value>1048576</param-value>
     </param>
     <param>
       <param-name>
         ejbserver.logger.DevelopmentLogFile.level
       </param-name>
       <param-value>OFF</param-value>
     </param>
   </configuration>
:
```

パラメタおよび簡易構築定義ファイルの詳細については，マニュアル「アプリケーションサーバ リファレンス 定義編(サーバ定義)」の「2.4　usrconf.properties（J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル)」および「4.6　簡易構築定義ファイル」を参照してください。